

SETSUNAN UNIVERSITY

SYLLABUS

2019 外国語学部 授業
計画

外 国 語 学 科

I

外 国 語 学 部

(学部略号：L)

Faculty of Foreign Studies

外国語学科

(学科略号：L)

Department of Foreign Studies

◎教育研究上の目的

外国語と日本語によるコミュニケーション能力および異文化と日本の文化に対する理解を涵養し、人間力・実践力・統合力を身につけた、異文化接触の現場で活躍できる知的専門職業人を養成する。

◎ディプロマ・ポリシー(DP:卒業認定・学位授与の方針)

本学科の課程を修め、所定の単位を修得したうえで、次の要件を満たした者に学士（文学）の学位を授与します。

■知識・理解

- [DP1] 言語と文化が果たす役割や機能に基づいて、人間社会の学術的考察に必要な知識やリテラシーを身につけている。（一般教養と専門教育の基礎知識）
- [DP2] グローバルな視点で国際社会の多様性を理解するとともに、世界と日本の関係について人文・社会学的研究を行うための専門知識を身につけている。（人文・社会分野の国際的専門知識）

■思考・判断

- [DP3] 言語・文化・国際社会における問題を発見し、その解決に必要な情報の収集、分析、結論に至るまでの追究の計画・立案にかかる思考力と判断力を身につけている。（計画・立案力）
- [DP4] 課題に対する計画的な解決策に基づいて、論理的な思考および多面的・多角的な判断を行うことができる。（問題解決力）

■関心・意欲・態度

- [DP5] 問題解決のために他者と協調して活動するとともに、社会的規範やマナーを遵守して行動することができる。（チームワーク・倫理観）
- [DP6] 課題や問題の解決のために必要な事柄について、主体的かつ継続的に学ぶ意欲や態度を身につけている。（学習意欲・態度）

■技能・表現

- [DP7] <英語プロフェッショナルコース>
国際社会において円滑なコミュニケーションを可能にするような高いレベルの英語の4技能（聞く、話す、読む、書く）を身につけている。
<国際キャリアコース>
各専攻言語（英語、スペイン語、中国語、インドネシア・マレー語）について日本語と比較しながら学び、将来のキャリアにつながるようなコミュニケーション能力を身につけている。（コミュニケーション力）
- [DP8] <英語プロフェッショナルコース>
必修となっている海外留学の経験なども含めて、英語での議論やプレゼンテーションをしっかりと行うことができる表現力を身につけている。

<国際キャリアコース>

各専攻言語圏（英語圏、スペイン語圏、中国語圏、インドネシア・マレー語圏）などの言語はもとより文化や歴史についても日本（語）と比較しながら学び、調査や発表を行う技能や表現力を身につけている。（発表力・調査力）

◎カリキュラム・ポリシー（CP：教育課程編成・実施の方針）

ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するため、次のとおり教育課程を編成・実施します。

■知識・理解

- ①人間社会において言語と文化が果たす役割や機能などについての知識を習得するために、1年次にはその導入として基礎科目の「英語」「情報処理」など、2年次から3年次にかけては基礎科目の「英語」「中国語」「スペイン語」「インドネシア語」「韓国語」「フランス語」「時事問題」、教養科目の「心理学」「世界の政治」「自然科学の理解」などを段階的に配当する。
- ②グローバルな視点で国際社会の多様性を理解し、日本に関する人文・社会的知識を習得するために、1年次にはその導入として文化・社会科目の「各語圏概論」「言語学」「日本文学」など、2年次には文化・社会科目の「異文化接触論」「国際社会論」やパッケージプログラム科目の「ホスピタリティ論」「メディア文化論」、そして3年次には文化・社会科目の「ヨーロッパ史学」「現代学術論」やパッケージプログラム科目の「ビジネスコミュニケーション論」「グローバル社会と日本」などを段階的に配当する。

■思考・判断

- ③思考力と判断力に基づいて問題を発見し、その解決に必要な情報の収集・分析・結論に至るまでの研究過程を計画・立案する力を養成するため、1年次から4年次にかけてゼミおよび卒業研究を段階的に配当する。
- ④課題に対する計画的な解決策に基づいて、論理的な思考力および多面的・多角的な判断力を養成するために、1年次から4年次にかけてゼミおよび卒業研究を段階的に配当する。

■関心・意欲・態度

- ⑤問題解決のために他者と協調して活動することや、社会的規範やマナーを遵守して行動することを身につけるために、1年次から4年次にかけてゼミおよび卒業研究を段階的に配当する。
- ⑥課題や問題の解決のために必要な事柄について、主体的かつ継続的に学ぶ意欲や態度を身につけるために、1年次から4年次にかけてゼミおよび卒業研究を段階的に配当する。

■技能・表現

⑦-1 <英語プロフェッショナルコース>

国際社会において円滑なコミュニケーションを可能にするような高いレベルの英語の4技能（聞く、話す、読む、書く）を身につけるために、1年次にはその導

入として「ボキャブラリー&グラマー」「スピーキング&ライティング」など、2年次前期には「Practical English Conversation」「Integrated Skills Training」など、そして2年次後期にはコース所属の全員が英語圏の大学に海外留学する。帰国後の3年次には「English for Global Communication」「Comprehensive English」など、さらに4年次には「Oral Communication」などを段階的に配当する。

⑦-2 <国際キャリアコース>

各専攻言語（英語、スペイン語、中国語、インドネシア・マレー語）について日本語と比較しながら学び、将来のキャリアにつながるようなコミュニケーション能力を身につけるために、1年次にはその導入として「中国語を聞く/読む/書く/話す」「スペイン語/インドネシア語入門」など、2年次には「スペイン語文章構成」「総合インドネシア語」など、3年次には「スペイン語通訳」「実践インドネシア・マレー語」など、さらに4年次には「中国語コミュニケーション」「スペシャリストインドネシア・マレー語」などを段階的に配当する。

⑧-1 <英語プロフェッショナルコース>

英語での議論やプレゼンテーションをしっかりと行うことができる表現力を身につけるために、1年次にはその導入として「プレゼンテーション」「トピックスタディーズ」など、2年次前期には「Global Issues」「Academic Reading/Writing」など、そして2年次後期にはコース所属の全員が英語圏の大学に海外留学する。帰国後の3年次には「English Lecture」「Debate & Presentation」など、さらに4年次には「Advanced English」などを段階的に配当する。

⑧-2 <国際キャリアコース>

各専攻言語圏（英語圏、スペイン語圏、中国語圏、インドネシア・マレー語圏）などの言語はもとより文化や歴史についても日本（語）と比較しながら学び、調査や発表を行う技能や表現力を身につけるために、1年次にはその導入として「ビジネス中国語」「ドラマ」など、2年次には「メディアイングリッシュ」「観光中国語」「旅行インドネシア語」など、3年次には「貿易中国語」「映画/メディアのスペイン語」「時事インドネシア・マレー語」など、さらに4年次には「ビジネスイングリッシュ」「スペイン語プレゼンテーション」などを段階的に配当する。

◎アドミッション・ポリシー（AP:入学者受入れの方針）

本学科のディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを理解し、次に掲げる知識・技能・意欲などを備え、入学後は学修・課外活動に主体的に取り組む人を求めます。

■知識・理解

①外国語学部で学ぶ諸科目の前提となる「英語」や「国語」などの科目を中心に、高等学校の教育課程を幅広く修得し、基礎的教養を身につけている。

■思考・判断

②論理的な思考力や、多面的・多角的な判断力の基礎となる文章読解力・記述力および表現力を身につけている。

■ 関心・意欲・態度

- ③言語や文化に関心を持ち、大学で学んだ語学や社会・文化論などを自分の将来のキャリアに活かしたいという意欲があり、またそれらを主体的かつ協調的に学ぶ姿勢・態度を身につけている。

■ 技能・表現

- ④外国語学部の教育の柱である語学力を養成するために、語学検定試験などに積極的に取り組む姿勢やその実績、およびコミュニケーション能力の基礎を身につけている。

入学者選抜の実施にあたっては、学力試験、適性検査をはじめとして、大学入試センター試験、面接、学修計画書、小論文、高等学校調査書、英語ほかの資格検定試験の結果などを入試毎に組み合わせて評価します。

授 業 計 画

※本書(外国語学部 外国語学科Ⅰ)に掲載している科目は、専門科目：
P. 15 ～ P. 518 です。

専門科目：P. 519 ～ P. 970 はⅡに、基礎科目：P. 971 ～ P. 1088、
教養科目：P. 1089 ～ P. 1202、キャリア形成科目：P. 1203 ～ P. 1234、
教職科目：P. 1235 ～ P. 1273 はⅢに掲載しております。

科目名	担当者	ページ
ア		
アーバンツーリズム論	麻 生 将	17
Academic Writing	西 川 眞由美	18
Academic Writing	高 橋 真理子	20
Academic Reading	フーパー トッド	22
Academic Reading	天 野 貴 史	23
Advanced English a	高 橋 真理子	24
Advanced English b	高 橋 真理子	25
アドバンスト ライティング a	高 橋 真理子	26
アドバンスト ライティング b	江 崎 早 苗	27
アメリカ文化論	鳥 居 祐 介	28

イ		
ESP(English for Specific Purposes) a	永 富 真 梨	30
ESP(English for Specific Purposes) a	矢 野 涼 子	32
ESP(English for Specific Purposes) a	西 川 眞由美	33
ESP(English for Specific Purposes) a	齋 藤 安以子	35
ESP(English for Specific Purposes) a	三 宅 一 平	36
ESP(English for Specific Purposes) a	久 田 歩	38
ESP(English for Specific Purposes) a	平 野 惟	40
ESP(English for Specific Purposes) a	マイケル ハーキー	42
ESP(English for Specific Purposes) b	三 宅 一 平	44
ESP(English for Specific Purposes) b	矢 野 涼 子	46
ESP(English for Specific Purposes) b	永 富 真 梨	48
ESP(English for Specific Purposes) b	齋 藤 安以子	50
ESP(English for Specific Purposes) b	江 崎 早 苗	51
ESP(English for Specific Purposes) b	久 田 歩	52
ESP(English for Specific Purposes) b	平 野 惟	54
異文化コミュニケーション論	門 脇 薫	56
異文化接触論	藤 井 嘉 祥	58
異文化ビジネス論	中 島 直 嗣	60
イベント企画論	田浦 アマンダ	62
English for Global Communication a	マイケル ハーキー	64
English for Global Communication a	アイビス ウイリアム	65
English for Global Communication a	リチャード ダイアース	66
English for Global Communication a	田浦 アマンダ	67
English for Global Communication b	マイケル ハーキー	68
English for Global Communication b	アイビス ウイリアム	69
English for Global Communication b	リチャード ダイアース	70
English for Global Communication b	田浦 アマンダ	71
English for TOEFL	松 田 早 恵	72
イングリッシュ プレゼンテーション I b	ダニエル マリンズ	74
English Writing Workshop a	田浦 アマンダ	75
English Writing Workshop a	マイケル ハーキー	77
English Writing Workshop b	田浦 アマンダ	79
English Writing Workshop b	マイケル ハーキー	81
English Lecture I a	フーパー トッド	83
English Lecture I a	ジョセフ シウンシ	85
English Lecture I b	ジョセフ シウンシ	87
English Lecture I b	フーパー トッド	89
English Lecture II a	高 橋 真理子	91
English Lecture II b	田浦 アマンダ	92

科目名	担当者	ページ
インターンシップ I	石 井 三 恵	1205
インターンシップ II	石 井 三 恵	1207
Integrated Skills Training	天 野 貴 史	94
Integrated Skills Training	後 藤 一 章	95
インドネシア・マレー語圏概論	上 田 達	96
インドネシア語 I	山 口 玲 子	973
インドネシア語 II	大 坪 紀 子	975
インドネシア語 II a	山 口 玲 子	98
インドネシア語 II b	大 坪 紀 子	100
インドネシア語 III	大 坪 紀 子	976
インドネシア語 III a	大 坪 紀 子	101
インドネシア語 III b	大 坪 紀 子	103
インドネシア語 IV	大 坪 紀 子	978
インドネシア語コミュニケーション II a	エニ レスタリ	105
インドネシア語コミュニケーション II b	エニ レスタリ	106
インドネシア語コミュニケーション I a	エニ レスタリ	107
インドネシア語コミュニケーション I b	エニ レスタリ	108
インドネシア語コミュニケーション II a (1)	エニ レスタリ	109
インドネシア語コミュニケーション II a (2)	エニ レスタリ	110
インドネシア語コミュニケーション III a	エニ レスタリ	111
インドネシア語コミュニケーション III b	エニ レスタリ	112
インドネシア語入門 a (1)	山 口 玲 子	114
インドネシア語入門 a (2)	山 口 真佐夫	115
インドネシア語入門 b (1)	山 口 玲 子	116
インドネシア語入門 b (2)	山 口 真佐夫	117
インドネシア語表現法	エニ レスタリ	118
インドネシア語表現法 a	エニ レスタリ	119
インドネシア語ボキャブラリー a	山 口 真佐夫	120
インドネシア語ボキャブラリー b	エニ レスタリ	121
インドネシア・マレー語学研究	山 口 真佐夫	122

エ		
エアラインビジネス論	塩 崎 裕 司	123
エアラインビジネス論 I	塩 崎 裕 司	125
映画のスペイン語 I	オラシオ ゴメス	127
映画のスペイン語 I	ディアス イバン	128
映画のスペイン語 II	オラシオ ゴメス	129
映画のスペイン語 II	ディアス イバン	130
映画のスペイン語 II	オラシオ ゴメス	131
映画のスペイン語 II	ディアス イバン	132
映画のスペイン語 III	オラシオ ゴメス	133
映画のスペイン語 III	ディアス イバン	134
英語 I	関 初 海	980
英語 I	井 原 駿	982
英語 I	有 本 好一郎	984
英語 I	曾 我 直 隆	985
英語 I	関 初 海	986
英語 I	李 孝 聖	988
英語 I	金 原 眞由美	990
英語 II	関 初 海	991
英語 II	井 原 駿	993
英語 II	有 本 好一郎	995
英語 II	曾 我 直 隆	996

科目名	担当者	ページ
英語Ⅱ	関 初 海	997
英語Ⅱ	李 孝 聖	999
英語Ⅱ	金 原 真由美	1001
英語Ⅲ	松 井 信 義	1002
英語Ⅳ	松 井 信 義	1003
英語意味論・語用論	藤 原 崇	135
英語科教育法Ⅰ	松 田 早 恵	1237
英語科教育法Ⅱ	齋 藤 安以子	1238
英語科教育法Ⅲ	齋 藤 安以子	1240
英語科教育法Ⅳ	松 田 早 恵	1242
英語学Ⅰ	杉 浦 秀 行	137
英語学Ⅱ	藤 原 崇	138
英語学Ⅲ	鈴 木 大 介	140
英語学概論	杉 浦 秀 行	141
英語圏概論（北米・ヨーロッパ）	高 橋 真理子	142
英語圏概論（北米・ヨーロッパ）	フーパー トッド	143
英語圏概論	高 橋 真理子	144
英語圏概論	フーパー トッド	145
英語構造論	鈴 木 大 介	146
映像中国語 a	中 西 正 樹	147
映像中国語 b	中 西 正 樹	149
英米文学	天 野 貴 史	151
エコツーリズム論	手代木 功 基	153
エリアスタディーズ（アフリカ）	早 川 真 悠	154
エリアスタディーズ（オセアニア）	杉 浦 秀 行	156
エリアスタディーズ（北アメリカ）	鳥 居 祐 介	157
エリアスタディーズ（東南アジア）	上 田 達	159
エリアスタディーズ（日本）	赤 澤 春 彦	160
エリアスタディーズ（東アジア）	小 都 晶 子	161
エリアスタディーズ（ヨーロッパ）	林 田 敏 子	162
エリアスタディーズ（ラテンアメリカ）	北 條 ゆかり	163
エンプロイメントデザインⅠ	石 井 三 恵	1209
エンプロイメントデザインⅡ	石 井 三 恵	1211

オ

Oral Communication a	ダンカン ホワイト	164
Oral Communication b	ダンカン ホワイト	165
オーラル コミュニケーションⅠ a	中 道 英美子	166
オーラル コミュニケーションⅠ b	中 道 英美子	167
オーラル コミュニケーションⅡ a	曾 我 直 隆	168
オーラル コミュニケーションⅡ b	曾 我 直 隆	169
音声学	中 島 直 嗣	170

カ

海外インターンシップ	中 島 直 嗣	172
海外実習	田浦 アマンダ	173
海外実習	兪 鳴 蒙	174
海外実習	安 達 直 樹	175
海外実習	上 田 達	176
海外ビジネスインターンシップ	西之坊 穂	1091
海外留学事前演習	杉 浦 秀 行	177
海外留学事前演習	中 島 直 嗣	178
海外留学事前演習	鈴 木 大 介	179

科目名	担当者	ページ
海外留学事前演習	鈴 木 大 介	180
海外留学事前演習	兪 鳴 蒙	181
海外留学事前演習	兪 鳴 蒙	182
海外留学事前演習	中 西 正 樹	183
海外留学事前演習	中 島 直 嗣	184
海外留学事前演習	北 條 ゆかり	185
海外留学事前演習	北 條 ゆかり	186
海外留学事前演習	安 達 直 樹	187
海外留学事前演習	藤 井 嘉 祥	188
海外留学事前演習	安 達 直 樹	189
海外留学事前演習	山 口 真佐夫	190
海外留学事前演習	山 口 真佐夫	191
海外留学事前演習	上 田 達	192
海外留学事前演習	上 田 達	193
海外留学事前演習	中 西 正 樹	194
海外留学事前演習	藤 井 嘉 祥	195
海外ワークキャンプ	浅 野 英 一	196
外国語通訳法	湊 由妃子	197
外国語通訳法	段 飛 虹	198
外国語通訳法	北 條 ゆかり	199
外国語通訳法	エニ レスタリ	200
外国語翻訳法	湊 由妃子	201
外国語翻訳法	安 達 直 樹	202
外国語翻訳法	段 飛 虹	203
株式投資と企業家育成	林 正 浩	1092
カレント イングリッシュ a	ニール カー	204
カレント イングリッシュ a	三 宅 一 平	205
カレント イングリッシュ a	藤 原 崇	206
カレント イングリッシュ a	廣 野 允 紀	207
カレント イングリッシュ b	ニール カー	208
カレント イングリッシュ b	三 宅 一 平	209
カレント イングリッシュ b	藤 原 崇	210
カレント イングリッシュ b	平 野 惟	211
環境学	手代木 功 基	1094
観光中国語 a	孫 輝	212
観光中国語 b	孫 輝	213
韓国語Ⅰ	北 島 由紀子	1004
韓国語Ⅰ	沈 明 姫	1005
韓国語Ⅱ	北 島 由紀子	1007
韓国語Ⅱ	沈 明 姫	1008
韓国語Ⅱ a	北 島 由紀子	214
韓国語Ⅱ a	沈 明 姫	215
韓国語Ⅱ b	北 島 由紀子	217
韓国語Ⅱ b	沈 明 姫	218
韓国語Ⅲ	李 知 垠	1010
韓国語Ⅲ a	李 知 垠	220
韓国語Ⅲ b	李 知 垠	222
韓国語Ⅳ	李 知 垠	1012

キ

基礎演習Ⅰ	皆 本 智 美	223
基礎演習Ⅰ	後 藤 一 章	224
基礎演習Ⅰ	林 田 敏 子	225

科目名	担当者	ページ
基礎演習Ⅰ	橋 本 正 俊	226
基礎演習Ⅰ	赤 澤 春 彦	227
基礎演習Ⅰ	浅 野 英 一	228
基礎演習Ⅰ	有 馬 善 一	229
基礎演習Ⅰ	藤 原 崇	230
基礎演習Ⅰ	杉 浦 秀 行	231
基礎演習Ⅰ	手代木 功 基	232
基礎演習Ⅰ	鈴 木 大 介	233
基礎演習Ⅰ	田 中 悟	234
基礎演習Ⅰ	門 脇 薫	235
基礎演習Ⅰ	杉 山 博 昭	236
基礎演習Ⅰ	古 矢 篤 史	237
基礎演習Ⅰ	上 田 達	238
基礎演習Ⅱ	山 口 真佐夫	239
基礎演習Ⅱ	中 西 正 樹	240
基礎演習Ⅱ	小 都 晶 子	241
基礎演習Ⅱ	安 達 直 樹	242
基礎演習Ⅱ	北 條 ゆかり	243
基礎演習Ⅱ	フーパー トッド	244
基礎演習Ⅱ	田浦 アマンダ	245
基礎演習Ⅱ	マイケル ハーキー	246
基礎演習Ⅱ	天 野 貴 史	247
基礎演習Ⅱ	齋 藤 安以子	248
基礎演習Ⅱ	鳥 居 祐 介	249
基礎演習Ⅱ	吉 村 征 洋	250
基礎演習Ⅱ	中 島 直 嗣	251
基礎演習Ⅱ	高 橋 真理子	252
基礎ゼミナール	浅 野 英 一	253
基礎ゼミナール	鈴 木 大 介	254
基礎ゼミナール	天 野 貴 史	255
基礎ゼミナール	有 馬 善 一	256
基礎ゼミナール	赤 澤 春 彦	257
基礎ゼミナール	橋 本 正 俊	258
基礎ゼミナール	田 中 悟	259
基礎ゼミナール	古 矢 篤 史	260
基礎ゼミナール	後 藤 一 章	264
基礎ゼミナール	門 脇 薫	262
基礎ゼミナール	手代木 功 基	263
基礎ゼミナール	藤 原 崇	264
基礎ゼミナール	林 田 敏 子	265
基礎ゼミナール	杉 浦 秀 行	266
基礎ゼミナール	皆 本 智 美	267
基礎ゼミナール	杉 山 博 昭	268
基礎マレー語 a	上 田 達	269
基礎マレー語 b	上 田 達	270
北河内を知る	荻 田 喜代一	1095
キャリアデザイン	石 井 三 恵	1213
キャリアプランニング	林 田 敏 子	1215
キャリアプランニング	橋 本 正 俊	1217
教育課程論	大 野 順 子	1243
教育経営論	朝 日 素 明	1245
教育原理	谷 口 雄 一	1247
教育実習Ⅰ	朝 日 素 明	1248

科目名	担当者	ページ
教育実習Ⅱ	朝 日 素 明	1249
教育実習Ⅲ	朝 日 素 明	1250
教育社会学	大 野 順 子	1251
教育心理学	吉 田 佐治子	1253
教育相談	吉 田 佐治子	1254
教育方法論	林 茂 樹	1255
教職実践演習（中・高）	吉 田 佐治子	1257
教師論	朝 日 素 明	1259
共同体論	林 田 敏 子	271

ク

暮らしの中の文化	杉 山 博 昭	272
グラマー	西 川 眞由美	274
クリエイティブビジネス論	針 尾 大 嗣	275
Global Issues	吉 村 征 洋	277
グローバル企業研究	中 島 直 嗣	278
グローバル経済論	野 口 義 直	280
グローバル社会と日本	村 上 司 樹	281
グローバルマーケティング論	武 居 奈緒子	282

ケ

経済学入門	原 田 裕 治	1097
経済のしくみ	原 田 裕 治	1098
芸術論	杉 山 博 昭	1099
芸能と文化	杉 山 博 昭	283
芸能文化論	杉 山 博 昭	285
健康論	吉 川 万 紀	1013
言語学	山 口 真佐夫	287
現代学術論	有 馬 善 一	288
現代韓国事情	田 中 悟	1101
現代社会と法	小 野 晃 正	1103
現代社会論	有 馬 善 一	289
現代中国論	大 西 紀	291
現代ビジネス論	牧 美喜男	1105

コ

語学教育工学	後 藤 一 章	292
国際関係の基礎理解	田 中 悟	293
国際関係論	田 中 悟	295
国際機構論	浅 野 英 一	297
国際協力論	浅 野 英 一	298
国際貢献実習演習	浅 野 英 一	299
国際社会論	田 中 悟	300
国際文化概論Ⅰ	田 中 悟	302
国際文化概論Ⅱ	赤 澤 春 彦	304
国際平和論	田 中 悟	305
国際ボランティア論	浅 野 英 一	307
ことばと意味	西 川 眞由美	308
コミュニケーション能力開発	亀 田 峻 宣	1219
Comprehensive English a	鳥 居 祐 介	309
Comprehensive English a	松 田 早 恵	311
Comprehensive English b	鳥 居 祐 介	313
Comprehensive English b	松 田 早 恵	315

科目名	担当者	ページ
シ		
時事インドネシア・マレー語	上 田 達	317
時事インドネシア・マレー語 a	上 田 達	319
時事問題 I	山 本 文 子	1014
時事問題 I	大 坪 康 巳	1016
時事問題 I	西 垣 有	1018
時事問題 I	早 川 真 悠	1020
時事問題 II	山 本 文 子	1022
時事問題 II	西 垣 有	1024
時事問題 II	早 川 真 悠	1026
自然科学の理解	大 塚 正 人	1107
思想と文化	橋 本 正 俊	321
実践インドネシア・マレー語 a	山 口 真佐夫	322
実践インドネシア・マレー語 b	大 坪 紀 子	323
社会開発論	手代木 功 基	325
社会文化史	林 田 敏 子	327
就職実践基礎	山 岡 亮 太	1110
就職実践基礎	亀 田 峻 宣	1111
就職実践基礎	亀 田 峻 宣	1112
生涯学習概論	橋 本 孝 成	328
生涯学習論	橋 本 孝 成	329
上級検定インドネシア語	山 口 玲 子	330
情報処理 I	星 山 幸 子	1028
情報処理 I	藤 木 健 史	1029
情報処理 I	星 山 幸 子	1030
情報処理 I	藤 木 健 史	1031
情報処理 II	星 山 幸 子	1032
情報処理 II	藤 木 健 史	1034
情報処理 II	星 山 幸 子	1036
情報処理 II	藤 木 健 史	1038
初級検定インドネシア語	山 口 真佐夫	331
食品機能学	大 橋 貴 生	1113
初年次ゼミナール	浅 野 英 一	332
初年次ゼミナール	天 野 貴 史	333
初年次ゼミナール	有 馬 善 一	334
初年次ゼミナール	安 達 直 樹	335
初年次ゼミナール	皆 本 智 美	336
初年次ゼミナール	中 島 直 嗣	337
初年次ゼミナール	杉 山 博 昭	338
初年次ゼミナール	藤 井 嘉 祥	339
初年次ゼミナール	西 川 眞由美	340
初年次ゼミナール	吉 村 征 洋	341
初年次ゼミナール	小 都 晶 子	342
初年次ゼミナール	藤 原 崇	343
初年次ゼミナール	高 橋 真理子	344
初年次ゼミナール	中 西 正 樹	345
初年次ゼミナール	古 矢 篤 史	346
初年次ゼミナール	山 口 真佐夫	347
人体の構造と機能	宇 野 恭 介	1115
心理学	吉 田 佐治子	1116
神話論	橋 本 正 俊	348

科目名	担当者	ページ
ス		
数的能力開発	津 村 忠	1220
数的能力開発	山 岡 亮 太	1221
スキルズ トレーニング I a	皆 本 智 美	349
スキルズ トレーニング I b	天 野 貴 史	350
スキルズ トレーニング a	皆 本 智 美	351
スキルズ トレーニング a	杉 浦 秀 行	352
スキルズ トレーニング a	後 藤 一 章	353
スキルズ トレーニング a	鈴 木 大 介	354
スキルズ トレーニング a	鳥 居 祐 介	355
スキルズ トレーニング a	皆 本 智 美	356
スキルズ トレーニング b	鳥 居 祐 介	357
スキルズ トレーニング b	後 藤 一 章	358
スキルズ トレーニング b	高 橋 真理子	360
スキルズ トレーニング b	松 田 早 恵	361
スキルズ トレーニング b	吉 村 征 洋	362
スキルズ トレーニング b	天 野 貴 史	364
スピーキング I a	ジェーン パーメンター	365
スピーキング I b	ジェーン パーメンター	366
スピーキング II a	アイビス ウイリアム	367
スピーキング II b	アイビス ウイリアム	368
スピーキング&ライティング I a	フーバー トッド	369
スピーキング&ライティング I a	グラント パーミンハム	370
スピーキング&ライティング I a	ダニエル マリンズ	371
スピーキング&ライティング I a	久 田 歩	372
スピーキング&ライティング I a	スコット ライリー	373
スピーキング&ライティング I a	ニール カー	374
スピーキング&ライティング I a	リチャード ダイアース	375
スピーキング&ライティング I a	ジェフリー ベル	376
スピーキング&ライティング I a	マーティン オイクル	377
スピーキング&ライティング I a	ジェーン パーメンター	378
スピーキング&ライティング I b	フーバー トッド	379
スピーキング&ライティング I b	グラント パーミンハム	380
スピーキング&ライティング I b	ダニエル マリンズ	381
スピーキング&ライティング I b	久 田 歩	382
スピーキング&ライティング I b	スコット ライリー	383
スピーキング&ライティング I b	ニール カー	384
スピーキング&ライティング I b	リチャード ダイアース	385
スピーキング&ライティング I b	ジェフリー ベル	386
スピーキング&ライティング I b	マーティン オイクル	387
スピーキング&ライティング I b	ジェーン パーメンター	388
スピーキング&ライティング II a	ダニエル マリンズ	389
スピーキング&ライティング II a	スコット ライリー	390
スピーキング&ライティング II a	マイケル ハーキー	391
スピーキング&ライティング II a	グラント パーミンハム	392
スピーキング&ライティング II a	ジョン カール	393
スピーキング&ライティング II a	ブライアン スレーター	394
スピーキング&ライティング II a	ブルース ライリー	395
スピーキング&ライティング II a	アイビス ウイリアム	396
スピーキング&ライティング II b	ダニエル マリンズ	397
スピーキング&ライティング II b	スコット ライリー	398
スピーキング&ライティング II b	マイケル ハーキー	399

科目名	担当者	ページ
スピーキング&ライティングⅡ b	グラント パーミンハム	400
スピーキング&ライティングⅡ b	ジョン カール	401
スピーキング&ライティングⅡ b	ブライアン スレーター	402
スピーキング&ライティングⅡ b	ブルース ライリー	403
スピーキング&ライティングⅡ b	アイビス ウイリアム	404
スピーキング&ライティングⅢ a	ジェーン パーメンター	405
スピーキング&ライティングⅢ a	アーサー ロリングスン	406
スピーキング&ライティングⅢ a	ジョセフ シウンシ	407
スピーキング&ライティングⅢ a	中 村 信 之	408
スピーキング&ライティングⅢ a	松 井 夏津紀	409
スピーキング&ライティングⅢ a	杉 浦 秀 行	410
スピーキング&ライティングⅢ a	中 道 英美子	411
スピーキング&ライティングⅢ b	ジェーン パーメンター	412
スピーキング&ライティングⅢ b	アーサー ロリングスン	413
スピーキング&ライティングⅢ b	ジョセフ シウンシ	414
スピーキング&ライティングⅢ b	中 村 信 之	415
スピーキング&ライティングⅢ b	松 井 夏津紀	416
スピーキング&ライティングⅢ b	杉 浦 秀 行	417
スピーキング&ライティングⅢ b	中 道 英美子	418
スペイン語Ⅰ	北 條 ゆかり	1040
スペイン語Ⅰ	篠 原 愛 人	1041
スペイン語Ⅱ	篠 原 愛 人	1042
スペイン語Ⅱ a	北 條 ゆかり	419
スペイン語Ⅱ b	篠 原 愛 人	420
スペイン語Ⅲ	西 村 初 美	1043
スペイン語Ⅲ a	西 村 初 美	421
スペイン語Ⅲ b	西 村 初 美	423
スペイン語Ⅳ	西 村 初 美	1045
スペイン語応用Ⅰ	安 達 直 樹	425
スペイン語応用Ⅰ	磯 野 吉 美	427
スペイン語応用Ⅱ	磯 野 吉 美	429
スペイン語応用Ⅱ	林 安紀子	431
スペイン語オラルⅡ A	アラセリ コラール	433
スペイン語オラルⅡ A	モンセラート ロイデ	435
スペイン語オラルⅠ	モンセラート ロイデ	437
スペイン語オラルⅠ	アラセリ コラール	439
スペイン語オラルⅡ	アラセリ コラール	441
スペイン語オラルⅡ	モンセラート ロイデ	443
スペイン語オラルⅢ	オラシオ ゴメス	445
スペイン語オラルⅢ	ディアス イバン	446
スペイン語オラルⅣ	ディアス イバン	447
スペイン語オラルⅣ	オラシオ ゴメス	449
スペイン語オラルⅠ A	モンセラート ロイデ	451
スペイン語オラルⅠ A	アラセリ コラール	453
スペイン語オラルⅢ A	オラシオ ゴメス	455
スペイン語オラルⅢ A	ディアス イバン	456
スペイン語オラルⅣ A	ディアス イバン	457
スペイン語オラルⅣ A	オラシオ ゴメス	459
スペイン語オラルⅤ	モンセラート ロイデ	461
スペイン語オラルⅤ	アラセリ コラール	462
スペイン語オラルⅥ	アラセリ コラール	463
スペイン語オラルⅥ	モンセラート ロイデ	464
スペイン語オラルⅦ	オラシオ ゴメス	465

科目名	担当者	ページ
スペイン語オラルⅧ	オラシオ ゴメス	466
スペイン語基礎A	北 條 ゆかり	468
スペイン語基礎A	西 村 初 美	470
スペイン語基礎B	三 浦 知佐子	472
スペイン語基礎B	藤 井 嘉 祥	474
スペイン語基礎C	篠 原 愛 人	476
スペイン語基礎C	安 達 直 樹	478
スペイン語圏概論	安 達 直 樹	480
スペイン語圏トピックスⅣ	安 達 直 樹	481
スペイン語講読Ⅰ	藤 井 嘉 祥	482
スペイン語講読Ⅰ	三 浦 知佐子	483
スペイン語講読Ⅱ	三 浦 知佐子	484
スペイン語講読Ⅱ	藤 井 嘉 祥	485
スペイン語総合A	北 條 ゆかり	486
スペイン語総合A	西 村 初 美	488
スペイン語総合B	三 浦 知佐子	490
スペイン語総合B	藤 井 嘉 祥	492
スペイン語通訳Ⅰ	北 條 ゆかり	494
スペイン語通訳Ⅰ	篠 原 愛 人	495
スペイン語通訳Ⅱ	篠 原 愛 人	496
スペイン語通訳Ⅱ	北 條 ゆかり	497
スペイン語通訳ガイドⅠ	北 條 ゆかり	498
スペイン語通訳ガイドⅠ	篠 原 愛 人	499
スペイン語通訳ガイドⅡ	篠 原 愛 人	500
スペイン語通訳ガイドⅡ	北 條 ゆかり	501
スペイン語トピックス	安 達 直 樹	502
スペイン語入門A	西 村 初 美	503
スペイン語入門A	北 條 ゆかり	504
スペイン語入門B	藤 井 嘉 祥	505
スペイン語入門B	三 浦 知佐子	506
スペイン語入門C	安 達 直 樹	507
スペイン語入門C	篠 原 愛 人	508
スペイン語プレゼンテーションⅠ	オラシオ ゴメス	509
スペイン語プレゼンテーションⅡ	オラシオ ゴメス	510
スペイン語文章構成Ⅰ	磯 野 吉 美	512
スペイン語文章構成Ⅰ	林 安紀子	513
スペイン語文章構成Ⅱ	林 安紀子	514
スペイン語文章構成Ⅱ	磯 野 吉 美	515
スペイン語文章構成Ⅲ	林 安紀子	516
スペイン語文章構成Ⅲ	磯 野 吉 美	517
スペイン語文章構成Ⅳ	磯 野 吉 美	518
スペイン語文章構成Ⅳ	林 安紀子	519
スペシャリストインドネシア・マレー語	上 田 達	520
スポーツ科学実習Ⅰ	藤 林 真 美	1047
スポーツ科学実習Ⅰ	藤 林 真 美	1048
スポーツ科学実習Ⅱ	藤 林 真 美	1049
スポーツ科学実習Ⅱ	藤 林 真 美	1050
住まいとデザイン	北 本 裕 之	1117
住まいとデザイン	岩 波 由 佳	1119

セ

青少年育成ファシリテーター養成講座	浅 野 英 一	1121
生徒指導論	朝 日 素 明	1260

科目名	担当者	ページ
生物と環境	手代木 功 基	1122
生命と物質	宇 野 恭 介	1124
世界遺産論	北 條 ゆかり	1125
世界の政治	田 中 悟	1127
世界の歴史	林 田 敏 子	521
摂南大学P B LプロジェクトⅠ	居 場 嘉 教	1129
摂南大学P B LプロジェクトⅠ	橋 本 正 治	1130
摂南大学P B LプロジェクトⅠ	石 田 秀 士	1131
摂南大学P B LプロジェクトⅠ	石 田 裕 子	1132
摂南大学P B LプロジェクトⅠ	浅 野 英 一	1133
摂南大学P B LプロジェクトⅠ	久 保 貞 也	1134
摂南大学P B LプロジェクトⅠ	牧 野 幸 志	1135
摂南大学P B LプロジェクトⅠ	大 塚 正 人	1136
摂南大学P B LプロジェクトⅠ	石 井 信 輝	1137
摂南大学P B LプロジェクトⅠ	田 井 義 人	1138
摂南大学P B LプロジェクトⅠ	吉 田 佐治子	1140
摂南大学P B LプロジェクトⅠ	上野山 裕 士	1141
摂南大学P B LプロジェクトⅠ	藤 原 京 佳	1142
摂南大学P B LプロジェクトⅡ	居 場 嘉 教	1143
摂南大学P B LプロジェクトⅡ	橋 本 正 治	1144
摂南大学P B LプロジェクトⅡ	石 田 秀 士	1145
摂南大学P B LプロジェクトⅡ	石 田 裕 子	1146
摂南大学P B LプロジェクトⅡ	浅 野 英 一	1147
摂南大学P B LプロジェクトⅡ	久 保 貞 也	1148
摂南大学P B LプロジェクトⅡ	牧 野 幸 志	1149
摂南大学P B LプロジェクトⅡ	大 塚 正 人	1150
摂南大学P B LプロジェクトⅡ	石 井 信 輝	1151
摂南大学P B LプロジェクトⅡ	田 井 義 人	1152
摂南大学P B LプロジェクトⅡ	吉 田 佐治子	1154
摂南大学P B LプロジェクトⅡ	上野山 裕 士	1155
摂南大学P B LプロジェクトⅡ	藤 原 京 佳	1156
専門日本語FⅠ	塩 谷 尚 子	1051
専門日本語FⅡ	塩 谷 尚 子	1052
専門日本語R	塩 谷 尚 子	1053

ソ

総合インドネシア語a（1）	山 口 真佐夫	522
総合インドネシア語a（2）	大 坪 紀 子	523
総合インドネシア語b（1）	山 口 真佐夫	524
総合インドネシア語b（2）	大 坪 紀 子	525
総合スペイン語Ⅰ	安 達 直 樹	526
総合スペイン語Ⅰ	磯 野 吉 美	528
総合スペイン語Ⅱ	磯 野 吉 美	530
総合スペイン語Ⅱ	林 安紀子	532
総合スペイン語ⅢA	北 條 ゆかり	534
総合スペイン語ⅢA	西 村 初 美	536
総合スペイン語ⅢB	三 浦 知佐子	538
総合スペイン語ⅢB	藤 井 嘉 祥	540
ソーシャル・イノベーション実務総論	石 井 三 恵	1157
組織と経営	西之坊 穂	1159
卒業研究Ⅰ	赤 澤 春 彦	542
卒業研究Ⅰ	浅 野 英 一	543
卒業研究Ⅰ	安 達 直 樹	544

科目名	担当者	ページ
卒業研究Ⅰ	天 野 貴 史	545
卒業研究Ⅰ	有 馬 善 一	546
卒業研究Ⅰ	上 田 達	547
卒業研究Ⅰ	浦 野 崇 央	548
卒業研究Ⅰ	大原関 一 浩	549
卒業研究Ⅰ	神 崎 舞	550
卒業研究Ⅰ	後 藤 一 章	551
卒業研究Ⅰ	齋 藤 安以子	552
卒業研究Ⅰ	柴 田 陽 一	553
卒業研究Ⅰ	杉 浦 秀 行	554
卒業研究Ⅰ	鈴 木 大 介	555
卒業研究Ⅰ	住 吉 誠	556
卒業研究Ⅰ	田浦 アマンダ	557
卒業研究Ⅰ	田 中 悟	558
卒業研究Ⅰ	手代木 功 基	559
卒業研究Ⅰ	鳥 居 祐 介	560
卒業研究Ⅰ	中 島 直 嗣	561
卒業研究Ⅰ	中 西 正 樹	562
卒業研究Ⅰ	西 川 眞由美	563
卒業研究Ⅰ	橋 本 正 俊	564
卒業研究Ⅰ	林 田 敏 子	565
卒業研究Ⅰ	フーバー トッド	566
卒業研究Ⅰ	北 條 ゆかり	567
卒業研究Ⅰ	マイケル ハーキー	568
卒業研究Ⅰ	松 田 早 恵	569
卒業研究Ⅰ	山 口 真佐夫	570
卒業研究Ⅰ	兪 鳴 蒙	571
卒業研究Ⅰ	吉 村 征 洋	572
卒業研究Ⅰ	小 都 晶 子	573
卒業研究Ⅱ	赤 澤 春 彦	574
卒業研究Ⅱ	浅 野 英 一	575
卒業研究Ⅱ	安 達 直 樹	576
卒業研究Ⅱ	天 野 貴 史	577
卒業研究Ⅱ	有 馬 善 一	578
卒業研究Ⅱ	上 田 達	579
卒業研究Ⅱ	浦 野 崇 央	580
卒業研究Ⅱ	大原関 一 浩	581
卒業研究Ⅱ	神 崎 舞	582
卒業研究Ⅱ	後 藤 一 章	583
卒業研究Ⅱ	齋 藤 安以子	584
卒業研究Ⅱ	柴 田 陽 一	585
卒業研究Ⅱ	杉 浦 秀 行	586
卒業研究Ⅱ	鈴 木 大 介	587
卒業研究Ⅱ	住 吉 誠	588
卒業研究Ⅱ	田浦 アマンダ	589
卒業研究Ⅱ	田 中 悟	590
卒業研究Ⅱ	手代木 功 基	591
卒業研究Ⅱ	鳥 居 祐 介	592
卒業研究Ⅱ	中 島 直 嗣	593
卒業研究Ⅱ	中 西 正 樹	594
卒業研究Ⅱ	西 川 眞由美	595
卒業研究Ⅱ	橋 本 正 俊	596
卒業研究Ⅱ	林 田 敏 子	597

科目名	担当者	ページ
卒業研究Ⅱ	フーバー トッド	598
卒業研究Ⅱ	北 條 ゆかり	599
卒業研究Ⅱ	マイケル ハーキー	600
卒業研究Ⅱ	松 田 早 恵	601
卒業研究Ⅱ	皆 本 智 美	602
卒業研究Ⅱ	山 口 真佐夫	603
卒業研究Ⅱ	兪 鳴 蒙	604
卒業研究Ⅱ	吉 村 征 洋	605
卒業研究Ⅱ	小 都 晶 子	606

タ

大学教養応用	大 塚 正 人	1161
大学教養実践	伊 藤 譲	1163
大学教養入門	荻 田 喜代一	1165
体験型特別実習 A	沖 中 美 喜	607
体験型特別実習 B	中 西 正 樹	608
大衆文化論	森 本 誠 一	609
ダイバーシティとコミュニケーション	石 井 三 恵	1167
旅と観光の地理	手代木 功 基	611
旅の文学	古 矢 篤 史	612
多文化共生論	橋 本 正 俊	614
多文化の共生	橋 本 正 俊	615

チ

地域環境論	手代木 功 基	616
地域貢献実践演習	鶴 坂 貴 恵	1169
地域と国際ビジネス	藤 井 嘉 祥	617
地域と私	鶴 坂 貴 恵	1170
地域連携教育活動Ⅰ	吉 田 佐治子	1172
地域連携教育活動Ⅱ	吉 田 佐治子	1173
チームビルディング	水 野 武	1174
中級検定インドネシア語	山 口 玲 子	619
中国語Ⅰ	孫 輝	1054
中国語Ⅰ	曹 櫻	1055
中国語Ⅰ	中 西 正 樹	1056
中国語Ⅱ	曹 櫻	1057
中国語Ⅱ	孫 輝	1058
中国語Ⅱ a	孫 輝	620
中国語Ⅱ a	曹 櫻	621
中国語Ⅱ b	曹 櫻	622
中国語Ⅱ b	孫 輝	623
中国語Ⅲ	欒 玉 璽	1059
中国語Ⅲ a	欒 玉 璽	624
中国語Ⅲ b	欒 玉 璽	625
中国語Ⅳ	欒 玉 璽	1060
中国語圏概論	史 耕 雲	627
中国語科教育法Ⅰ	中 西 正 樹	1261
中国語科教育法Ⅱ	中 西 正 樹	1262
中国語科教育法Ⅲ	小 都 晶 子	1264
中国語科教育法Ⅳ	兪 鳴 蒙	1265
中国語学Ⅰ	中 西 正 樹	628
中国語学Ⅱ	兪 鳴 蒙	629
中国語語彙論	兪 鳴 蒙	630

科目名	担当者	ページ
中国語コミュニケーション a	曹 櫻	631
中国語コミュニケーション b	曹 櫻	632
中国語プレゼンテーション a	馮 艶	633
中国語プレゼンテーション a	史 耕 雲	634
中国語プレゼンテーション b	史 耕 雲	635
中国語プレゼンテーション b	馮 艶	636
中国語文字論	中 西 正 樹	637
中国語を書くⅠ a	孫 輝	638
中国語を書くⅠ b	孫 輝	639
中国語を書くⅡ a	兪 鳴 蒙	640
中国語を書くⅡ b	兪 鳴 蒙	642
中国語を聞くⅠ a	史 耕 雲	644
中国語を聞くⅠ a	小 都 晶 子	645
中国語を聞くⅠ b	小 都 晶 子	646
中国語を聞くⅠ b	史 耕 雲	647
中国語を聞くⅡ a	馮 艶	648
中国語を聞くⅡ a	小 都 晶 子	649
中国語を聞くⅡ b	馮 艶	650
中国語を聞くⅡ b	小 都 晶 子	651
中国語を話すⅠ a	大 西 紀	652
中国語を話すⅠ a	曹 櫻	653
中国語を話すⅠ b	曹 櫻	654
中国語を話すⅠ b	大 西 紀	655
中国語を話すⅡ a	段 飛 虹	656
中国語を話すⅡ a	曹 櫻	658
中国語を話すⅡ b	段 飛 虹	660
中国語を話すⅡ b	曹 櫻	662
中国語を読むⅠ a	欒 玉 璽	664
中国語を読むⅠ b	欒 玉 璽	665
中国語を読むⅡ a	中 西 正 樹	666
中国語を読むⅡ b	中 西 正 樹	668
中国史学	小 都 晶 子	670
中国地誌学	小 都 晶 子	671
中国文学	馮 艶	672

ツ

通訳・翻訳インドネシア・マレー語	山 口 真佐夫	673
ツーリズム論Ⅰ	手代木 功 基	674
ツーリズム論Ⅱ	麻 生 将	675

テ

ディスプレイ論	松 浦 清	676
ディスプレイ論	松 浦 清	678
Debate & Presentation a	久 田 歩	680
Debate & Presentation b	齋 藤 安以子	682
哲学から学ぶ	有 馬 善 一	1176
哲学と倫理	有 馬 善 一	683

ト

道德教育の研究	谷 口 雄 一	1266
東南アジア史学	上 田 達	684
東南アジア地誌学	上 田 達	685
特別活動・総合的な学習の時間の理論と指導法	林 茂 樹	1268

科目名	担当者	ページ
特別活動の理論と方法	林 茂 樹	1270
特別支援教育論	林 茂 樹	1272
トピック スタディーズⅠ	ジェフリー ベル	686
トピック スタディーズⅠ	ブライアン スレーター	687
トピック スタディーズⅠ	ニール カー	689
トピック スタディーズⅠ	永 富 真 梨	690
トピック スタディーズⅠ a	ニール カー	691
トピック スタディーズⅠ a	ブライアン スレーター	692
トピック スタディーズⅠ a	永 富 真 梨	694
トピック スタディーズⅠ a	ジェフリー ベル	696
トピック スタディーズⅠ b	ジェフリー ベル	697
トピック スタディーズⅠ b	ブライアン スレーター	698
トピック スタディーズⅠ b	ニール カー	700
トピック スタディーズⅠ b	永 富 真 梨	701
トピック スタディーズⅡ	リチャード ダイアース	702
トピック スタディーズⅡ	金 原 真由美	703
トピック スタディーズⅡ	アーサー ロリングスン	704
トピック スタディーズⅡ	松 井 夏津紀	705
トピック スタディーズⅡ a	アイビス ウイリアム	706
トピック スタディーズⅡ a	金 原 真由美	707
トピック スタディーズⅡ a	アーサー ロリングスン	709
トピック スタディーズⅡ a	松 井 夏津紀	710
トピック スタディーズⅡ b	リチャード ダイアース	711
トピック スタディーズⅡ b	金 原 真由美	712
トピック スタディーズⅡ b	アーサー ロリングスン	713
トピック スタディーズⅡ b	松 井 夏津紀	714
トピック スタディーズⅢ	アイビス ウイリアム	715
トピック スタディーズⅢ	金 原 真由美	716
トピック スタディーズⅢ	アーサー ロリングスン	718
トピック スタディーズⅢ	松 井 夏津紀	719
ドラマ	齋 藤 安以子	720
ドラマ	ダニエル マリンズ	721
ドラマ	ニール カー	722
ドラマ	久 田 歩	723
ドラマ	スコット ライリー	724
ドラマⅠ	スコット ライリー	725
トランスレーション トレーニング a	齋 藤 安以子	726
トランスレーション トレーニング b	齋 藤 安以子	727

二

日米比較文化	鳥 居 祐 介	728
日米文化交流史	永 富 真 梨	730
日本語音韻論	橋 本 正 俊	731
日本語会話 FⅠ	古 川 由理子	1061
日本語会話 FⅡ	古 川 由理子	1062
日本語会話 R	古 川 由理子	1063
日本語学Ⅰ	橋 本 正 俊	732
日本語学Ⅱ	橋 本 正 俊	733
日本語学Ⅲ	古 矢 篤 史	734
日本語学Ⅳ	古 矢 篤 史	735
日本語教育実習演習	門 脇 薫	736
日本語教授法Ⅰ	門 脇 薫	738
日本語教授法Ⅱ	大 西 ま き	739

科目名	担当者	ページ
日本語教授法Ⅲ	千々岩 宏 晃	740
日本国憲法	鳥谷部 壤	1177
日本語語彙論	古 矢 篤 史	742
日本語史概説	橋 本 正 俊	743
日本語総合 FⅠ	藤 原 京 佳	1064
日本語総合 FⅡ	藤 原 京 佳	1065
日本語総合 R	藤 原 京 佳	1066
日本語読解 FⅠ	佐々木 成 美	1067
日本語読解 FⅡ	佐々木 成 美	1068
日本語読解 R	佐々木 成 美	1069
日本語能力開発Ⅰ	人形寺 英利子	1222
日本語能力開発Ⅰ	澤 野 加 奈	1223
日本語能力開発Ⅰ	細 川 知佐子	1224
日本語能力開発Ⅰ	人形寺 英利子	1225
日本語能力開発Ⅰ	細 川 知佐子	1226
日本語能力開発Ⅱ	人形寺 英利子	1227
日本語能力開発Ⅱ	澤 野 加 奈	1228
日本語能力開発Ⅱ	細 川 知佐子	1229
日本語能力開発Ⅱ	人形寺 英利子	1230
日本語能力開発Ⅱ	細 川 知佐子	1231
日本語表現作文 FⅠ	佐々木 成 美	1070
日本語表現作文 FⅡ	佐々木 成 美	1071
日本語表現作文 R	佐々木 成 美	1072
日本語表現論	橋 本 正 俊	744
日本語文法 FⅠ	佐々木 成 美	1073
日本語文法 FⅡ	佐々木 成 美	1074
日本語文法 R	佐々木 成 美	1075
日本語文法論	古 矢 篤 史	745
日本史学	赤 澤 春 彦	746
日本事情 FⅠ	門 脇 薫	1076
日本事情 FⅡ	門 脇 薫	1078
日本事情 RⅠ	門 脇 薫	1080
日本事情 RⅡ	門 脇 薫	1082
日本と世界の出会い	村 上 司 樹	747
日本の歴史	赤 澤 春 彦	748
日本文学	古 矢 篤 史	749
人間の探求	池 田 清	1178

八

博物館概論	岩 間 香	751
博物館教育論	松 永 和 浩	753
博物館実習	赤 澤 春 彦	755
博物館情報・メディア論	中 川 馨	756
博物館資料保存論	赤 澤 春 彦	757
博物館資料論	杉 山 博 昭	758
パッケージプログラム演習	中 島 直 嗣	760
パッケージプログラム演習	手代木 功 基	761
パッケージプログラム演習	中 西 正 樹	762
パッケージプログラム演習	塩 崎 裕 司	763
パッケージプログラム演習	皆 本 智 美	764
パッケージプログラム演習	赤 澤 春 彦	765
犯罪被害者の支援と法的救済	小 野 晃 正	1179

科目名	担当者	ページ
ヒ		
ビジネス イングリッシュ a	井 原 駿	766
ビジネス イングリッシュ b	井 原 駿	767
ビジネスインドネシア・マレー語	エニ レスタリ	768
ビジネスインドネシア語	エニ レスタリ	769
ビジネスコミュニケーション論	石 井 三 恵	770
ビジネス心理学	牧 野 幸 志	772
ビジネス中国語 a	兪 鳴 蒙	774
ビジネス中国語 b	兪 鳴 蒙	776
ビジネスマナー	奥 田 和 子	1181
ビジネスマナー	奥 田 和 子	1232
ビジュアルデザイン論	漆 麟	777
美術の歩み	杉 山 博 昭	778

フ		
風土と地理	手代木 功 基	780
Practical English Conversation	田浦 アマンダ	781
Practical English Conversation	リチャード ダイアース	782
Practical English Conversation	クリストファー ジョンストン	783
フランス語 I	中 井 裕 之	1084
フランス語 II	中 井 裕 之	1085
フランス語 II a	中 井 裕 之	784
フランス語 II b	中 井 裕 之	785
フランス語 III	藤 本 武 司	1086
フランス語 III a	藤 本 武 司	786
フランス語 III b	藤 本 武 司	787
フランス語 IV	藤 本 武 司	1087
プレゼンテーション	フーパー トッド	788
プレゼンテーション	久 田 歩	789
プレゼンテーション	スコット ライリー	790
プレゼンテーション	ニール カー	791
プレゼンテーション	ダニエル マリンズ	792
プレゼンテーションインドネシア・マレー語	上 田 達	793
フレッシュマン イングリッシュ	中 島 直 嗣	794
プロポーザル・デザイン	北 村 浩	1183
文化演習 I	赤 澤 春 彦	795
文化演習 I	浅 野 英 一	796
文化演習 I	安 達 直 樹	797
文化演習 I	天 野 貴 史	798
文化演習 I	有 馬 善 一	799
文化演習 I	上 田 達	800
文化演習 I	藤 井 嘉 祥	801
文化演習 I	後 藤 一 章	802
文化演習 I	齋 藤 安以子	803
文化演習 I	皆 本 智 美	804
文化演習 I	杉 浦 秀 行	805
文化演習 I	鈴 木 大 介	806
文化演習 I	門 脇 薫	807
文化演習 I	田浦 アマンダ	808
文化演習 I	田 中 悟	809
文化演習 I	手代木 功 基	810
文化演習 I	鳥 居 祐 介	811

科目名	担当者	ページ
文化演習 I	中 島 直 嗣	812
文化演習 I	中 西 正 樹	813
文化演習 I	西 川 眞由美	814
文化演習 I	橋 本 正 俊	815
文化演習 I	林 田 敏 子	816
文化演習 I	フーパー トッド	817
文化演習 I	北 條 ゆかり	818
文化演習 I	マイケル ハーキー	819
文化演習 I	松 田 早 恵	820
文化演習 I	兪 鳴 蒙	821
文化演習 I	吉 村 征 洋	822
文化演習 I	小 都 晶 子	823
文化演習 I	杉 山 博 昭	824
文化演習 I	古 矢 篤 史	825
文化演習 I	高 橋 真理子	826
文化演習 II	赤 澤 春 彦	827
文化演習 II	浅 野 英 一	828
文化演習 II	安 達 直 樹	829
文化演習 II	天 野 貴 史	830
文化演習 II	有 馬 善 一	831
文化演習 II	上 田 達	832
文化演習 II	藤 井 嘉 祥	833
文化演習 II	後 藤 一 章	834
文化演習 II	齋 藤 安以子	835
文化演習 II	皆 本 智 美	836
文化演習 II	杉 浦 秀 行	837
文化演習 II	鈴 木 大 介	838
文化演習 II	門 脇 薫	839
文化演習 II	田浦 アマンダ	840
文化演習 II	田 中 悟	841
文化演習 II	手代木 功 基	842
文化演習 II	鳥 居 祐 介	843
文化演習 II	中 島 直 嗣	844
文化演習 II	中 西 正 樹	845
文化演習 II	西 川 眞由美	846
文化演習 II	橋 本 正 俊	847
文化演習 II	林 田 敏 子	848
文化演習 II	フーパー トッド	849
文化演習 II	北 條 ゆかり	850
文化演習 II	マイケル ハーキー	851
文化演習 II	松 田 早 恵	852
文化演習 II	兪 鳴 蒙	853
文化演習 II	吉 村 征 洋	854
文化演習 II	小 都 晶 子	855
文化演習 II	杉 山 博 昭	856
文化演習 II	古 矢 篤 史	857
文化演習 II	高 橋 真理子	858
文化観光実習演習	赤 澤 春 彦	859
文化人類学	西 垣 有	1185
文化と表現	橋 本 正 俊	860

科目名	担当者	ページ
ホ		
貿易中国語 a	兪 鳴 蒙	861
貿易中国語 b	兪 鳴 蒙	863
ボキャブラリー&グラマー a	吉 村 征 洋	864
ボキャブラリー&グラマー a	松 田 早 恵	865
ボキャブラリー&グラマー a	皆 本 智 美	866
ボキャブラリー&グラマー a	西 川 眞由美	867
ボキャブラリー&グラマー a	鳥 居 祐 介	868
ボキャブラリー&グラマー a	鈴 木 大 介	869
ボキャブラリー&グラマー a	後 藤 一 章	870
ボキャブラリー&グラマー a	杉 浦 秀 行	871
ボキャブラリー&グラマー a	高 橋 真理子	872
ボキャブラリー&グラマー a	中 島 直 嗣	873
ボキャブラリー&グラマー b	鈴 木 大 介	874
ボキャブラリー&グラマー b	杉 浦 秀 行	875
ボキャブラリー&グラマー b	中 島 直 嗣	876
ボキャブラリー&グラマー b	鳥 居 祐 介	877
ボキャブラリー&グラマー b	吉 村 征 洋	878
ボキャブラリー&グラマー b	後 藤 一 章	879
ボキャブラリー&グラマー b	高 橋 真理子	880
ボキャブラリー&グラマー b	齋 藤 安以子	881
ボキャブラリー&グラマー b	松 田 早 恵	882
ボキャブラリー&グラマー b	西 川 眞由美	883
ホスピタリティ・インターンシップ	塩 崎 裕 司	884
ホスピタリティ論	沖 中 美 喜	885
ホスピタリティ論 I	沖 中 美 喜	886
ホテルビジネス論	塩 崎 裕 司	887
ホテルビジネス論 I	塩 崎 裕 司	889
ボランティア論	浅 野 英 一	891
翻訳文化論	古 矢 篤 史	892

マ			
マーケティングと歴史	武 居 奈緒子	1187	
マーケティング入門	武 居 奈緒子	1189	
マスコミ論	上 島 誠 司	893	

三

身近な犯罪から自分、家族、まちを守る	中 沼 丈 晃	1190
ミュージアムコレクション論	杉 山 博 昭	895
ミュージアムへの招待	岩 間 香	897
ミュージアムマネジメント論	赤 澤 春 彦	899

×

メディア	イングリッシュ a	マイケル	ハーキー	900
メディア	イングリッシュ a	中 道	英美子	901
メディア	イングリッシュ a	金 原	真由美	902
メディア	イングリッシュ a	松 井	夏津紀	903
メディア	イングリッシュ a	里 井	真理子	904
メディア	イングリッシュ b	マイケル	ハーキー	905
メディア	イングリッシュ b	中 道	英美子	906
メディア	イングリッシュ b	金 原	真由美	907
メディア	イングリッシュ b	松 井	夏津紀	908

科目名	担当者	ページ
メディア イングリッシュ b	里 井 真理子	909
メディア中国語 a	大 西 紀	910
メディア中国語 b	大 西 紀	911
メディアのスペイン語 I	安 達 直 樹	912
メディアのスペイン語 I	藤 井 嘉 祥	913
メディアのスペイン語 I	三 浦 知佐子	914
メディアのスペイン語 II	三 浦 知佐子	915
メディアのスペイン語 II	藤 井 嘉 祥	916
メディアのスペイン語 III	安 達 直 樹	917
メディア文化論	森 本 誠 一	918
メディアリテラシー論	有 馬 善 一	920

モ

ものづくりインターンシップ基礎	坂 本 淳 二	1192
ものづくりインターンシップ基礎	檜 橋 祥 一	1194
ものづくりインターンシップ実践	坂 本 淳 二	1195
ものづくり海外インターンシップ	檜 橋 祥 一	1197
ものづくり研究の世界	堀 江 昌 朗	1198

ヤ			
役立つ金融知力		陸川富盛	1200

ヨ	
ヨーロッパ史学	林 田 敏 子 922

ラ

ライティングb	ブライアン スレーター	923
ライフサイエンスの基礎	西 矢 芳 昭	1202
ラテンアメリカの社会と文化	北 條 ゆかり	925

リ

リーディング I a	湊 由妃子	926
リーディング I a	吉 村 征 洋	928
リーディング I a	西 谷 継 治	929
リーディング I a	里 井 真理子	930
リーディング I a	金 原 真由美	932
リーディング I a	ジェーン パーメンター	933
リーディング I b	湊 由妃子	934
リーディング I b	藤 原 崇	936
リーディング I b	西 谷 継 治	937
リーディング I b	里 井 真理子	938
リーディング I b	金 原 真由美	940
リーディング I b	ジェーン パーメンター	941
リーディング II a	吉 村 征 洋	942
リーディング II a	湊 由妃子	944
リーディング II a	リチャード ダイアース	946
リーディング II a	マーティン オイクル	947
リーディング II a	グラント パーミンハム	949
リーディング II b	吉 村 征 洋	951
リーディング II b	湊 由妃子	953
リーディング II b	リチャード ダイアース	955
リーディング II b	マーティン オイクル	956
リーディング II b	グラント パーミンハム	958

科目名	担当者	ページ
リーディングⅢ a	鈴木 大 介	960
リーディングⅢ a	松 井 信 義	961
リーディングⅢ a	井 寺 利 奈	962
リーディングⅢ a	有 本 好一郎	963
リーディングⅢ b	鈴木 大 介	964
リーディングⅢ b	松 井 信 義	965
リーディングⅢ b	井 寺 利 奈	966
リーディングⅢ b	有 本 好一郎	967
旅行インドネシア・マレー語	山 口 玲 子	968
旅行インドネシア語	山 口 玲 子	969

專 門 科 目

科目名	アーバンツーリズム論	科目名（英文）	Urban Tourism
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	麻生 将
ディプロマポリシー (DP)	DP2◎		
科目ナンバリング	LDL3223a0		

授業概要・目的	アーバンツーリズム（都市観光）とは、都市が有する歴史的・文化的遺産を活かしながら、都市経済および都市環境の再生を目指す、比較的新しい観光の形である。芸術、娯楽、ショッピングを楽しんだり、その都市の町並みや市民の暮らしに触れたりすることも含まれている。 本講義では、アーバンツーリズムに関する基礎知識を学び、具体例からその現状と課題、今後の展望について考える。受講者がアーバンツーリズムをはじめとした様々な観光現象について表面的な理解にとどまらず、その背景をしっかりと理解し、批判的に見ることによって、新たなツーリズムを生み出すスキルを身につけ、「観光まちづくり」への理解を深め、ゲストとホストの立場から観光プランを考案する力を養うことを目的とする。 ※この科目は、「観光ホスピタリティ」プログラム対応科目である。																																																																		
到達目標	アーバンツーリズム（都市観光）に関する基礎知識を習得し、それをふまえ、ゲストとホストの立場から都市観光プランと観光まちづくりプランを考案することができる。																																																																		
授業方法と留意点	配付資料とパワーポイントを用いて授業を進める。何度かグループディスカッションの時間を設ける。期末にはグループ発表を行ってもらう。日ごろから観光に関する報道（TVニュース、新聞、ネットなど）に関心を払うこと。																																																																		
科目学習の効果（資格）	アーバンツーリズム（都市観光）について学習・理解することにより、将来の進路決定をする際の一つの判断材料として役立てることができる（とはいえ、特に公的資格には直接つながらない）。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>オリエンテーション</td><td>授業の進め方、参考書の紹介など</td><td>特になし</td></tr> <tr> <td>2</td><td>都市の成立と形態①</td><td>日本と世界の都市を事例に、都市の成立と形態について考える</td><td>大学周辺（寝屋川市）の都市形成について調べ、幾つかの住宅地や旧集落を訪ねてみる（2時間）</td></tr> <tr> <td>3</td><td>都市の成立と形態②</td><td>日本と世界の都市を事例に、都市の成立と形態について考える</td><td>大学周辺（寝屋川市）の都市形成について調べ、幾つかの住宅地や旧集落を訪ねてみる（2時間）</td></tr> <tr> <td>4</td><td>都市の様々な現象と課題①</td><td>都市で生じる様々な現象や問題とその背景を理解する。</td><td>授業で紹介した事例が自分の住んでいる都市でどのように生じているかについて観察する（2時間）</td></tr> <tr> <td>5</td><td>都市の様々な現象と課題②</td><td>都市で生じる様々な現象や問題とその背景を理解する。</td><td>授業で紹介した事例が自分の住んでいる都市でどのように生じているかについて観察する（2時間）</td></tr> <tr> <td>6</td><td>都市観光の歴史①</td><td>日本もしくは海外のいくつかの都市の事例から都市観光の起源と変化について考える</td><td>紹介した参考文献を読む（2.5時間）</td></tr> <tr> <td>7</td><td>都市観光の歴史②</td><td>日本もしくは海外のいくつかの都市の事例から都市観光の起源と変化について考える</td><td>紹介した参考文献を読む（2.5時間）</td></tr> <tr> <td>8</td><td>都市観光の歴史③</td><td>日本もしくは海外のいくつかの都市の事例から都市観光の起源と変化について考える</td><td>紹介した参考文献を読む（2.5時間）</td></tr> <tr> <td>9</td><td>都市における様々な観光①</td><td>日本もしくは海外のいくつかの都市での事例を通して、都市観光の実態や特徴を把握する</td><td>授業で紹介した事例についてのニュースを確認するとともに、紹介した参考文献を読む（2.5時間）</td></tr> <tr> <td>10</td><td>都市における様々な観光②</td><td>日本もしくは海外のいくつかの都市での事例を通して、都市観光の実態や特徴を把握する</td><td>授業で紹介した事例についてのニュースを確認するとともに、紹介した参考文献を読む（2.5時間）</td></tr> <tr> <td>11</td><td>都市における観光資源活用 のプランニング</td><td>京阪神、外国都市の事例からアーバンツーリズムについて考える</td><td>授業で紹介した事例と比較しながら、各グループで発表の準備をする（2.5～3時間）</td></tr> <tr> <td>12</td><td>巡検①</td><td>講義2回分を利用し、アーバンツーリズム（都市観光）の現場を巡検する（ただし、受講生が多い場合は実施しない）。目的地は講義中に決める</td><td>巡検で観察した事例と比較しながら、各グループで発表の準備をする（3時間）</td></tr> <tr> <td>13</td><td>巡検②</td><td>講義2回分を利用し、アーバンツーリズム（都市観光）の現場を巡検する（ただし、受講生が多い場合は実施しない）。目的地は講義中に決める</td><td>巡検で観察した事例と比較しながら、各グループで発表の準備をする（3時間）</td></tr> <tr> <td>14</td><td>グループ発表①</td><td>ゲストの立場から、都市観光プランに関するグループ発表を行う</td><td>各グループで発表の準備をする（3時間）</td></tr> <tr> <td>15</td><td>グループ発表②</td><td>ホストの立場から、観光まちづくりプランに関するグループ発表を行う</td><td>期末レポートを作成する（3時間）</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション	授業の進め方、参考書の紹介など	特になし	2	都市の成立と形態①	日本と世界の都市を事例に、都市の成立と形態について考える	大学周辺（寝屋川市）の都市形成について調べ、幾つかの住宅地や旧集落を訪ねてみる（2時間）	3	都市の成立と形態②	日本と世界の都市を事例に、都市の成立と形態について考える	大学周辺（寝屋川市）の都市形成について調べ、幾つかの住宅地や旧集落を訪ねてみる（2時間）	4	都市の様々な現象と課題①	都市で生じる様々な現象や問題とその背景を理解する。	授業で紹介した事例が自分の住んでいる都市でどのように生じているかについて観察する（2時間）	5	都市の様々な現象と課題②	都市で生じる様々な現象や問題とその背景を理解する。	授業で紹介した事例が自分の住んでいる都市でどのように生じているかについて観察する（2時間）	6	都市観光の歴史①	日本もしくは海外のいくつかの都市の事例から都市観光の起源と変化について考える	紹介した参考文献を読む（2.5時間）	7	都市観光の歴史②	日本もしくは海外のいくつかの都市の事例から都市観光の起源と変化について考える	紹介した参考文献を読む（2.5時間）	8	都市観光の歴史③	日本もしくは海外のいくつかの都市の事例から都市観光の起源と変化について考える	紹介した参考文献を読む（2.5時間）	9	都市における様々な観光①	日本もしくは海外のいくつかの都市での事例を通して、都市観光の実態や特徴を把握する	授業で紹介した事例についてのニュースを確認するとともに、紹介した参考文献を読む（2.5時間）	10	都市における様々な観光②	日本もしくは海外のいくつかの都市での事例を通して、都市観光の実態や特徴を把握する	授業で紹介した事例についてのニュースを確認するとともに、紹介した参考文献を読む（2.5時間）	11	都市における観光資源活用 のプランニング	京阪神、外国都市の事例からアーバンツーリズムについて考える	授業で紹介した事例と比較しながら、各グループで発表の準備をする（2.5～3時間）	12	巡検①	講義2回分を利用し、アーバンツーリズム（都市観光）の現場を巡検する（ただし、受講生が多い場合は実施しない）。目的地は講義中に決める	巡検で観察した事例と比較しながら、各グループで発表の準備をする（3時間）	13	巡検②	講義2回分を利用し、アーバンツーリズム（都市観光）の現場を巡検する（ただし、受講生が多い場合は実施しない）。目的地は講義中に決める	巡検で観察した事例と比較しながら、各グループで発表の準備をする（3時間）	14	グループ発表①	ゲストの立場から、都市観光プランに関するグループ発表を行う	各グループで発表の準備をする（3時間）	15	グループ発表②	ホストの立場から、観光まちづくりプランに関するグループ発表を行う	期末レポートを作成する（3時間）
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション	授業の進め方、参考書の紹介など	特になし																																																																
2	都市の成立と形態①	日本と世界の都市を事例に、都市の成立と形態について考える	大学周辺（寝屋川市）の都市形成について調べ、幾つかの住宅地や旧集落を訪ねてみる（2時間）																																																																
3	都市の成立と形態②	日本と世界の都市を事例に、都市の成立と形態について考える	大学周辺（寝屋川市）の都市形成について調べ、幾つかの住宅地や旧集落を訪ねてみる（2時間）																																																																
4	都市の様々な現象と課題①	都市で生じる様々な現象や問題とその背景を理解する。	授業で紹介した事例が自分の住んでいる都市でどのように生じているかについて観察する（2時間）																																																																
5	都市の様々な現象と課題②	都市で生じる様々な現象や問題とその背景を理解する。	授業で紹介した事例が自分の住んでいる都市でどのように生じているかについて観察する（2時間）																																																																
6	都市観光の歴史①	日本もしくは海外のいくつかの都市の事例から都市観光の起源と変化について考える	紹介した参考文献を読む（2.5時間）																																																																
7	都市観光の歴史②	日本もしくは海外のいくつかの都市の事例から都市観光の起源と変化について考える	紹介した参考文献を読む（2.5時間）																																																																
8	都市観光の歴史③	日本もしくは海外のいくつかの都市の事例から都市観光の起源と変化について考える	紹介した参考文献を読む（2.5時間）																																																																
9	都市における様々な観光①	日本もしくは海外のいくつかの都市での事例を通して、都市観光の実態や特徴を把握する	授業で紹介した事例についてのニュースを確認するとともに、紹介した参考文献を読む（2.5時間）																																																																
10	都市における様々な観光②	日本もしくは海外のいくつかの都市での事例を通して、都市観光の実態や特徴を把握する	授業で紹介した事例についてのニュースを確認するとともに、紹介した参考文献を読む（2.5時間）																																																																
11	都市における観光資源活用 のプランニング	京阪神、外国都市の事例からアーバンツーリズムについて考える	授業で紹介した事例と比較しながら、各グループで発表の準備をする（2.5～3時間）																																																																
12	巡検①	講義2回分を利用し、アーバンツーリズム（都市観光）の現場を巡検する（ただし、受講生が多い場合は実施しない）。目的地は講義中に決める	巡検で観察した事例と比較しながら、各グループで発表の準備をする（3時間）																																																																
13	巡検②	講義2回分を利用し、アーバンツーリズム（都市観光）の現場を巡検する（ただし、受講生が多い場合は実施しない）。目的地は講義中に決める	巡検で観察した事例と比較しながら、各グループで発表の準備をする（3時間）																																																																
14	グループ発表①	ゲストの立場から、都市観光プランに関するグループ発表を行う	各グループで発表の準備をする（3時間）																																																																
15	グループ発表②	ホストの立場から、観光まちづくりプランに関するグループ発表を行う	期末レポートを作成する（3時間）																																																																
関連科目	「エコツーリズム論」「風土と地理」など																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1																																																											
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>観光の空間</td><td>神田考治</td><td>ナカニシヤ出版</td></tr> <tr> <td>2</td><td>アーバンツーリズム</td><td>淡野明彦</td><td>古今書院</td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	観光の空間	神田考治	ナカニシヤ出版	2	アーバンツーリズム	淡野明彦	古今書院																																																				
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	観光の空間	神田考治	ナカニシヤ出版																																																																
2	アーバンツーリズム	淡野明彦	古今書院																																																																
評価方法（基準）	期末レポート 50%、グループ発表 30%、授業中課題 20%																																																																		
学生へのメッセージ	訪日外国人の増加や 2020 年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、観光産業はますます重要性を増している。加えてアーバンツーリズム（都市観光）は、わたしたちが日常的に接している場所で行われていることでもある。したがって、アーバンツーリズムをはじめとした様々な観光現象について、表面的な理解にとどまらず、その背景をしっかりと理解し、批判的に見ることによって、新たなツーリズムを生み出すスキルを身につけてほしい。観光関連産業を将来の進路として考えている学生はもちろん、そうでない学生も興味をもって学習できる内容であろう。身近な場所を捉え直す視点を獲得しよう。																																																																		
担当者の研究室等備考																																																																			

科目名	Academic Writing	科目名 (英文)	Academic Writing
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	A
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	西川 眞由美
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL2016c0		

授業概要・目的	留学先の大学や帰国後の専門課程での学びに適したライティングスキル（パラグラフライティング）を習得する。
到達目標	CEFR-J[B1-1]を目標とし、辞書や参考資料を用いながら、簡単なエッセイやアカデミックなレポートなどが書けるようになる。また、留学生活に必要なとなる書類の書き方や英文メールの書き方を学ぶ。
授業方法と留意点	・海外留学において必要となるライティングスキル（書類や英文メールの書き方、エッセイの書き方）を養う。 ・エッセイやレポートの書式は、Setsunan Academic Essay Guideline に従う。 ・課題等は添削された後、合格基準に到達するまで再提出が求められる。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, TOEFL, 英検, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	授業概要説明、ブレインストーミング	Process writing, paragraph format, paragraph structure	Review / Preview (2 hours)
	2	パラグラフの定義と構成 トピックセンテンスを書き始める	Creating topic sentences	Review / Preview (2 hours)
	3	トピックセンテンスを発展させる	Improving topic sentences	Review / Preview (2 hours)
	4	サポーティングセンテンスを書き始める パラグラフ執筆演習: 描写のパラグラフを書き始める	Creating supporting sentences	Review / Preview (2 hours)
	5	サポーティングセンテンスを発展させる パラグラフ執筆演習: 描写のパラグラフを発展させる	Improving supporting sentences	Review / Preview (2 hour)
	6	パラグラフ執筆演習: 描写のパラグラフを完成させる	Creating detail sentences	Review / Preview (2 hours)
	7	パラグラフ執筆演習: 時系列・手順のパラグラフを書き始める	Improving detail sentences	Review / Preview (2 hours)
	8	結びのセンテンスを学習する パラグラフ執筆演習: 時系列・手順のパラグラフを完成させる	Creating concluding sentences	Review / Test preparation (2 hours)
	9	中間チェック: パラグラフライティングテストと振り返り演習	In-class paragraph test	Review / Preview (2 hours)
	10	エッセイ執筆演習: アウトラインをつくる 全体の内容のまとまりを確認する	Unity	Review / Preview (2 hours)
	11	エッセイ執筆演習: 比較対照のエッセイを下書きする 内容の一貫性を確認する	Coherence	Review / Preview (2 hours)
	12	エッセイ執筆演習: 比較対照のエッセイを完成させる 文法的結束性を確認する	Cohesion	Review / Preview (2 hour)
	13	エッセイ執筆演習: 論述のエッセイを下書きする 編集のスキルを学ぶ	Editing techniques	Review / Preview (2 hours)
	14	エッセイ執筆演習: 論述のエッセイを完成させる 様式・エッセイライティングの要素を復習	Style Review Elements of essay writing	Review / Test preparation (2 hours)
	15	まとめ: エッセイライティングテストと振り返り演習	In-class Essay Test	

関連科目	Academic Reading, Integrated Skills Training
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Writing Together-From Sentence to Paragraph	Mark D. Stafford	金星堂
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	平常点 30% 授業内ライティングテスト 40% その他の授業内外課題および提出物 30%
学生への メッセージ	1 Unit ずつ進む予定なので、結構なスピードになると思います。欠席するとついて行けなくなりますので、毎回出席し、与えられた課題をタイムリーにこなしていくことが成功の鍵です。
担当者の 研究室等	7 号館 4 階 西川研究室
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。

科目名	Academic Writing	科目名 (英文)	Academic Writing
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	B C
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	高橋 真理子
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL2016c0		

授業概要・目的	留学先の大学や帰国後の専門課程での学びに適したライティングスキル（パラグラフライティング）を習得する。
到達目標	CEFR-J[B1-1]を目標とし、辞書や参考資料を用いながら、簡単なエッセイやアカデミックなレポートなどが書けるようになる。また、留学生活に必要なとなる書類の書き方や英文メールの書き方を学ぶ。
授業方法と留意点	・海外留学において必要となるライティングスキル（書類や英文メールの書き方、エッセイの書き方）を養う。 ・エッセイやレポートの書式は、Setsunan Academic Essay Guideline に従う。 ・課題等は添削された後、合格基準に到達するまで再提出が求められる。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, TOEFL, 英検, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	授業概要説明、ブレインストーミング	Process writing, paragraph format, paragraph structure	Review / Preview (2 hours)
	2	パラグラフの定義と構成 トピックセンテンスを書き始める	Creating topic sentences	Review / Preview (2 hours)
	3	トピックセンテンスを発展させる	Improving topic sentences	Review / Preview (2 hours)
	4	サポーティングセンテンスを書き始める パラグラフ執筆演習: 描写のパラグラフを書き始める	Creating supporting sentences	Review / Preview (2 hours)
	5	サポーティングセンテンスを発展させる パラグラフ執筆演習: 描写のパラグラフを発展させる	Improving supporting sentences	Review / Preview (2 hour)
	6	パラグラフ執筆演習: 描写のパラグラフを完成させる	Creating detail sentences	Review / Preview (2 hours)
	7	パラグラフ執筆演習: 時系列・手順のパラグラフを書き始める	Improving detail sentences	Review / Preview (2 hours)
	8	結びのセンテンスを学習する パラグラフ執筆演習: 時系列・手順のパラグラフを完成させる	Creating concluding sentences	Review / Test preparation (2 hours)
	9	中間チェック: パラグラフライティングテストと振り返り演習	In-class paragraph test	Review / Preview (2 hours)
	10	エッセイ執筆演習: アウトラインをつくる 全体の内容のまとまりを確認する	Unity	Review / Preview (2 hours)
	11	エッセイ執筆演習: 比較対照のエッセイを下書きする 内容の一貫性を確認する	Coherence	Review / Preview (2 hours)
	12	エッセイ執筆演習: 比較対照のエッセイを完成させる 文法的結束性を確認する	Cohesion	Review / Preview (2 hour)
	13	エッセイ執筆演習: 論述のエッセイを下書きする 編集のスキルを学ぶ	Editing techniques	Review / Preview (2 hours)
	14	エッセイ執筆演習: 論述のエッセイを完成させる 様式・エッセイライティングの要素を復習	Style Review Elements of essay writing	Review / Test preparation (2 hours)
	15	まとめ: エッセイライティングテストと振り返り演習	In-class Essay Test	

関連科目	Academic Reading, Integrated Skills Training
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Writing Together-From Sentence to Paragraph	Mark D. Stafford	金星堂
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	平常点 30% 授業内ライティングテスト 40% その他の授業内外課題および提出物 30%
学生への メッセージ	1 Unit ずつ進む予定なので、結構なスピードになると思います。欠席するとついて行けなくなりますので、毎回出席し、与えられた課題をタイムリーにこなしていくことが成功の鍵です。
担当者の 研究室等	7 号館 4 階 高橋研究室
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。

科目名	Academic Reading	科目名 (英文)	Academic Reading
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	A
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	フーバー トッド
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL2015c0		

授業概要・目的	平易な英文を速読するためのリーディングスキルを修得する。CEFR-J[A2-1]を目標とし、平易な英語で書かれた日常生活に関するトピックや文化に関する説明文、短い物語文や新聞記事の中の重要な情報を理解できるようになる。また同時に、難易度の高い英文を精読する活動も行う。難解な英語でも、辞書を用いながら必要な情報を探し、理解できるようになる。				
到達目標	リーディングスキルを用いて比較的難易度の高い英文を読む精読活動と、大量の英文をインプットすることを目指す多読活動の両方を行う。				
授業方法と留意点	比較的難易度の高い英文を読む精読活動と、大量の英文をインプットする多読活動の両方を行う。「TOEIC 基本語彙テスト」およびリンガポルタによる単語学習課題「Academic Reading 用課題 no. 1-1500」を課す。必ず辞書を持参すること。				
科目学習の効果（資格）	TOEIC, TOEFL				
授業計画		回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
		1	オリエンテーション	Orientation	Students should study the content of the day's lesson.
		2	トピック：期末試験	Individual tasks and pair work.	Students should study the content of the day's lesson.
		3	トピック：留学	Individual tasks and pair work.	Students should study the content of the day's lesson.
		4	トピック：映画製作	Individual tasks and pair work.	Students should study the content of the day's lesson.
		5	トピック：期待の若手アスリート	Individual tasks and pair work.	Students should study the content of the day's lesson.
		6	トピック：人体の驚異	Individual tasks and pair work.	Students should study the content of the day's lesson.
		7	トピック：自由時間	Individual tasks and pair work.	Students should study the content of the day's lesson.
		8	レビュー 1	Individual tasks and pair work.	Review the contents of Units 1-6.
		9	トピック：音楽の世界	Individual tasks and pair work.	Students should study the content of the day's lesson.
		10	トピック：進路	Individual tasks and pair work.	Students should study the content of the day's lesson.
		11	トピック：食文化	Individual tasks and pair work.	Students should study the content of the day's lesson.
		12	トピック：宣伝の秘訣	Individual tasks and pair work.	Students should study the content of the day's lesson.
		13	トピック：食と環境	Individual tasks and pair work.	Review for the vocabulary test. Students should study the content of the day's lesson.
		14	トピック：未来に向けて	Individual tasks and pair work.	Students should study the content of the day's lesson.
		15	レビュー 2	Individual tasks.	Review the contents of Units 7-12.
関連科目	Academic Writing, Integrated Skills Training				
教科書		番号	書籍名	著者名	出版社名
		1	Active Skills for Reading 2	Neil J. Anderson	Cengage
		2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	Koji Nishiya	Seibido
		3	『Timed Reading for Fluency 2』	Paul Nation and Casey Malarcher	Seed Learning
参考書		番号	書籍名	著者名	出版社名
		1			
		2			
		3			
評価方法（基準）	e-learning 課題 20% 多読活動 10% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 70%				
学生へのメッセージ	We will be reading complex texts in this course. Come with an open mind and don't worry if you don't understand the readings 100%. You will learn strategies that will help make academic reading easier for you.				
担当者の研究室等	7号館3階 フーバー研究室				
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。				

科目名	Academic Reading	科目名 (英文)	Academic Reading
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	B C
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	天野 貴史
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL2015c0		

授業概要・目的	平易な英文を速読するためのリーディングスキルを修得する。CEFR-J[A2-1]を目標とし、平易な英語で書かれた日常生活に関するトピックや文化に関する説明文、短い物語文や新聞記事の中の重要な情報を理解できるようになる。また同時に、難易度の高い英文を精読する活動も行う。難解な英語でも、辞書を用いながら必要な情報を探し、理解できるようになる。																																																																		
到達目標	リーディングスキルを用いて比較的難易度の高い英文を読む精読活動と、大量の英文をインプットすることを目指す多読活動の両方を行う。																																																																		
授業方法と留意点	比較的難易度の高い英文を読む精読活動と、大量の英文をインプットする多読活動の両方を行う。「TOEIC 基本語彙テスト」およびリンガポルタによる単語学習課題「Academic Reading 用課題 no.1-1500」を課す。必ず辞書を持参すること。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>オリエンテーション</td><td>Orientation</td><td>Students should study the content of the day's lesson.</td></tr> <tr><td>2</td><td>トピック：期末試験</td><td>Individual tasks and pair work.</td><td>Students should study the content of the day's lesson.</td></tr> <tr><td>3</td><td>トピック：留学</td><td>Individual tasks and pair work.</td><td>Students should study the content of the day's lesson.</td></tr> <tr><td>4</td><td>トピック：映画製作</td><td>Individual tasks and pair work.</td><td>Students should study the content of the day's lesson.</td></tr> <tr><td>5</td><td>トピック：期待の若手アスリート</td><td>Individual tasks and pair work.</td><td>Students should study the content of the day's lesson.</td></tr> <tr><td>6</td><td>トピック：人体の驚異</td><td>Individual tasks and pair work.</td><td>Students should study the content of the day's lesson.</td></tr> <tr><td>7</td><td>トピック：自由時間</td><td>Individual tasks and pair work.</td><td>Students should study the content of the day's lesson.</td></tr> <tr><td>8</td><td>レビュー 1</td><td>Individual tasks and pair work.</td><td>Review the contents of Units 1-6.</td></tr> <tr><td>9</td><td>トピック：音楽の世界</td><td>Individual tasks and pair work.</td><td>Students should study the content of the day's lesson.</td></tr> <tr><td>10</td><td>トピック：進路</td><td>Individual tasks and pair work.</td><td>Students should study the content of the day's lesson.</td></tr> <tr><td>11</td><td>トピック：食文化</td><td>Individual tasks and pair work.</td><td>Students should study the content of the day's lesson.</td></tr> <tr><td>12</td><td>トピック：宣伝の秘訣</td><td>Individual tasks and pair work.</td><td>Students should study the content of the day's lesson.</td></tr> <tr><td>13</td><td>トピック：食と環境</td><td>Individual tasks and pair work.</td><td>Review for the vocabulary test. Students should study the content of the day's lesson.</td></tr> <tr><td>14</td><td>トピック：未来に向けて</td><td>Individual tasks and pair work.</td><td>Students should study the content of the day's lesson.</td></tr> <tr><td>15</td><td>レビュー 2</td><td>Individual tasks.</td><td>Review the contents of Units 7-12.</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション	Orientation	Students should study the content of the day's lesson.	2	トピック：期末試験	Individual tasks and pair work.	Students should study the content of the day's lesson.	3	トピック：留学	Individual tasks and pair work.	Students should study the content of the day's lesson.	4	トピック：映画製作	Individual tasks and pair work.	Students should study the content of the day's lesson.	5	トピック：期待の若手アスリート	Individual tasks and pair work.	Students should study the content of the day's lesson.	6	トピック：人体の驚異	Individual tasks and pair work.	Students should study the content of the day's lesson.	7	トピック：自由時間	Individual tasks and pair work.	Students should study the content of the day's lesson.	8	レビュー 1	Individual tasks and pair work.	Review the contents of Units 1-6.	9	トピック：音楽の世界	Individual tasks and pair work.	Students should study the content of the day's lesson.	10	トピック：進路	Individual tasks and pair work.	Students should study the content of the day's lesson.	11	トピック：食文化	Individual tasks and pair work.	Students should study the content of the day's lesson.	12	トピック：宣伝の秘訣	Individual tasks and pair work.	Students should study the content of the day's lesson.	13	トピック：食と環境	Individual tasks and pair work.	Review for the vocabulary test. Students should study the content of the day's lesson.	14	トピック：未来に向けて	Individual tasks and pair work.	Students should study the content of the day's lesson.	15	レビュー 2	Individual tasks.	Review the contents of Units 7-12.
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション	Orientation	Students should study the content of the day's lesson.																																																																
2	トピック：期末試験	Individual tasks and pair work.	Students should study the content of the day's lesson.																																																																
3	トピック：留学	Individual tasks and pair work.	Students should study the content of the day's lesson.																																																																
4	トピック：映画製作	Individual tasks and pair work.	Students should study the content of the day's lesson.																																																																
5	トピック：期待の若手アスリート	Individual tasks and pair work.	Students should study the content of the day's lesson.																																																																
6	トピック：人体の驚異	Individual tasks and pair work.	Students should study the content of the day's lesson.																																																																
7	トピック：自由時間	Individual tasks and pair work.	Students should study the content of the day's lesson.																																																																
8	レビュー 1	Individual tasks and pair work.	Review the contents of Units 1-6.																																																																
9	トピック：音楽の世界	Individual tasks and pair work.	Students should study the content of the day's lesson.																																																																
10	トピック：進路	Individual tasks and pair work.	Students should study the content of the day's lesson.																																																																
11	トピック：食文化	Individual tasks and pair work.	Students should study the content of the day's lesson.																																																																
12	トピック：宣伝の秘訣	Individual tasks and pair work.	Students should study the content of the day's lesson.																																																																
13	トピック：食と環境	Individual tasks and pair work.	Review for the vocabulary test. Students should study the content of the day's lesson.																																																																
14	トピック：未来に向けて	Individual tasks and pair work.	Students should study the content of the day's lesson.																																																																
15	レビュー 2	Individual tasks.	Review the contents of Units 7-12.																																																																
関連科目	Academic Writing, Integrated Skills Training																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>Active Skills for Reading 2</td><td>Neil J. Anderson</td><td>Cengage</td></tr> <tr><td>2</td><td>The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test</td><td>Koji Nishiya</td><td>Seibido</td></tr> <tr><td>3</td><td>『Timed Reading for Fluency 2』</td><td>Paul Nation and Casey Malarcher</td><td>Seed Learning</td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	Active Skills for Reading 2	Neil J. Anderson	Cengage	2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	Koji Nishiya	Seibido	3	『Timed Reading for Fluency 2』	Paul Nation and Casey Malarcher	Seed Learning																																																
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	Active Skills for Reading 2	Neil J. Anderson	Cengage																																																																
2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	Koji Nishiya	Seibido																																																																
3	『Timed Reading for Fluency 2』	Paul Nation and Casey Malarcher	Seed Learning																																																																
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	e-learning 課題 20% 多読活動 10% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 70%																																																																		
学生へのメッセージ	We will be reading complex texts in this course. Come with an open mind and don't worry if you don't understand the readings 100%. You will learn strategies that will help make academic reading easier for you.																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 3 階 天野研究室																																																																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。																																																																		

科目名	Advanced English a	科目名 (英文)	Advanced English a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	高橋 真理子
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL3033b0		

授業概要・目的	様々なトピックに関するリスニングやリーディングを行い、その内容、構造、表現について話し合い、プレゼンテーションや作文をする総合演習授業となる。																																																																		
到達目標	3 年次までに培った英語力をさらに伸ばし、CEFR-J [B2-2] レベルの 4 技能の習得を目指す。																																																																		
授業方法と留意点	・授業は原則として全て英語で行われる。アカデミックレベルの内容の英文をインプットして、それを論理的にアウトプットする訓練を行う。 ・コミュニケーション重視の授業となるため、授業への積極的な参加を求める。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL, 英検, IELTS																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>Introduction</td><td>Overview of the schedule and what will be covered in the course</td><td>Review (4 時間)</td></tr> <tr> <td>2</td><td>Unit 1 Communication studies: Slang and language change</td><td>Activities, vocabulary, unit lecture</td><td>Preview/ review (4 時間)</td></tr> <tr> <td>3</td><td>Unit 1 Communication studies: Slang and language change</td><td>Activities, unit test</td><td>Preview/ review (4 時間)</td></tr> <tr> <td>4</td><td>Unit 2 Child psychology: The genius within</td><td>Activities, vocabulary, unit lecture</td><td>Preview/ review (4 時間)</td></tr> <tr> <td>5</td><td>Unit 2 Child psychology: The genius within</td><td>Activities, unit test</td><td>Preview/ review (4 時間)</td></tr> <tr> <td>6</td><td>Unit 3 Sociology: Online communities</td><td>Activities, vocabulary, unit lecture</td><td>Preview/ review (4 時間)</td></tr> <tr> <td>7</td><td>Unit 3 Sociology: Online communities</td><td>Activities, unit test</td><td>Preview/ review (4 時間)</td></tr> <tr> <td>8</td><td>Unit 4 Business: Core business skills</td><td>Activities, vocabulary, unit lecture</td><td>Preview/ review (4 時間)</td></tr> <tr> <td>9</td><td>Unit 4 Business: Core business skills</td><td>Activities, unit test</td><td>Preview/ review / preparation for the short presentation (4 時間)</td></tr> <tr> <td>10</td><td>Unit 5 Cognitive psychology: Memory</td><td>Short presentations, activities</td><td>Preparation for the short presentation/ preview/ review (4 時間)</td></tr> <tr> <td>11</td><td>Unit 5 Cognitive psychology: Memory</td><td>Activities</td><td>Preview/ review (4 時間)</td></tr> <tr> <td>12</td><td>Unit 6 Anthropology/ Biology: The science of love</td><td>Activities, vocabulary, unit lecture</td><td>Preview/ review (4 時間)</td></tr> <tr> <td>13</td><td>Unit 6 Anthropology/ Biology: The science of love</td><td>Activities, unit test</td><td>Preview/ review/ preparation of a short essay (4 時間)</td></tr> <tr> <td>14</td><td>Short essays and feedback</td><td>Sharing short essays with classmates</td><td>Preparation of a short essay/ review/ preparation for the final presentation (4 時間)</td></tr> <tr> <td>15</td><td>Final presentations</td><td>Final individual presentations</td><td>Preparation for the final presentation/ review (4 時間)</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	Introduction	Overview of the schedule and what will be covered in the course	Review (4 時間)	2	Unit 1 Communication studies: Slang and language change	Activities, vocabulary, unit lecture	Preview/ review (4 時間)	3	Unit 1 Communication studies: Slang and language change	Activities, unit test	Preview/ review (4 時間)	4	Unit 2 Child psychology: The genius within	Activities, vocabulary, unit lecture	Preview/ review (4 時間)	5	Unit 2 Child psychology: The genius within	Activities, unit test	Preview/ review (4 時間)	6	Unit 3 Sociology: Online communities	Activities, vocabulary, unit lecture	Preview/ review (4 時間)	7	Unit 3 Sociology: Online communities	Activities, unit test	Preview/ review (4 時間)	8	Unit 4 Business: Core business skills	Activities, vocabulary, unit lecture	Preview/ review (4 時間)	9	Unit 4 Business: Core business skills	Activities, unit test	Preview/ review / preparation for the short presentation (4 時間)	10	Unit 5 Cognitive psychology: Memory	Short presentations, activities	Preparation for the short presentation/ preview/ review (4 時間)	11	Unit 5 Cognitive psychology: Memory	Activities	Preview/ review (4 時間)	12	Unit 6 Anthropology/ Biology: The science of love	Activities, vocabulary, unit lecture	Preview/ review (4 時間)	13	Unit 6 Anthropology/ Biology: The science of love	Activities, unit test	Preview/ review/ preparation of a short essay (4 時間)	14	Short essays and feedback	Sharing short essays with classmates	Preparation of a short essay/ review/ preparation for the final presentation (4 時間)	15	Final presentations	Final individual presentations	Preparation for the final presentation/ review (4 時間)
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	Introduction	Overview of the schedule and what will be covered in the course	Review (4 時間)																																																																
2	Unit 1 Communication studies: Slang and language change	Activities, vocabulary, unit lecture	Preview/ review (4 時間)																																																																
3	Unit 1 Communication studies: Slang and language change	Activities, unit test	Preview/ review (4 時間)																																																																
4	Unit 2 Child psychology: The genius within	Activities, vocabulary, unit lecture	Preview/ review (4 時間)																																																																
5	Unit 2 Child psychology: The genius within	Activities, unit test	Preview/ review (4 時間)																																																																
6	Unit 3 Sociology: Online communities	Activities, vocabulary, unit lecture	Preview/ review (4 時間)																																																																
7	Unit 3 Sociology: Online communities	Activities, unit test	Preview/ review (4 時間)																																																																
8	Unit 4 Business: Core business skills	Activities, vocabulary, unit lecture	Preview/ review (4 時間)																																																																
9	Unit 4 Business: Core business skills	Activities, unit test	Preview/ review / preparation for the short presentation (4 時間)																																																																
10	Unit 5 Cognitive psychology: Memory	Short presentations, activities	Preparation for the short presentation/ preview/ review (4 時間)																																																																
11	Unit 5 Cognitive psychology: Memory	Activities	Preview/ review (4 時間)																																																																
12	Unit 6 Anthropology/ Biology: The science of love	Activities, vocabulary, unit lecture	Preview/ review (4 時間)																																																																
13	Unit 6 Anthropology/ Biology: The science of love	Activities, unit test	Preview/ review/ preparation of a short essay (4 時間)																																																																
14	Short essays and feedback	Sharing short essays with classmates	Preparation of a short essay/ review/ preparation for the final presentation (4 時間)																																																																
15	Final presentations	Final individual presentations	Preparation for the final presentation/ review (4 時間)																																																																
関連科目																																																																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>Contemporary Topics 3</td><td>David Beglarand Neil Murray</td><td>Pearson</td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	Contemporary Topics 3	David Beglarand Neil Murray	Pearson	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	Contemporary Topics 3	David Beglarand Neil Murray	Pearson																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	Participation 30% Unit tests 25% Short essay15% Presentations 30%																																																																		
学生へのメッセージ	トピックに合わせたアクティビティを中心とした授業になります。英語でさらに色々なトピックについて考え、発信できるようになりましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 4 階 高橋研究室																																																																		
備考	授業内容については進度等により調整する場合がある。毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、担当者からの課題、発表の準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 60 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。																																																																		

科目名	Advanced English b	科目名 (英文)	Advanced English b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	高橋 真理子
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL3034b0		

授業概要・目的	様々なトピックに関するリスニングやリーディングを行い、その内容、構造、表現について話し合い、プレゼンテーションや作文をする総合演習授業となる。																																																																		
到達目標	3 年次までに培った英語力をさらに伸ばし、CEFR-J [B2-2] レベルの 4 技能の習得を目指す。																																																																		
授業方法と留意点	・授業は原則として全て英語で行われる。アカデミックレベルの内容の英文をインプットして、それを論理的にアウトプットする訓練を行う。 ・コミュニケーション重視の授業となるため、授業への積極的な参加を求める。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL, 英検, IELTS																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>Introduction</td><td>Overview of the schedule and what will be covered in the course</td><td>Review (4 時間)</td></tr> <tr> <td>2</td><td>Unit 7 Technology: Artificial intelligence</td><td>Activities, vocabulary, unit lecture</td><td>Preview/ review (4 時間)</td></tr> <tr> <td>3</td><td>Unit 7 Technology: Artificial intelligence</td><td>Activities, unit test</td><td>Preview/ review (4 時間)</td></tr> <tr> <td>4</td><td>Unit 8 Political science: Big brother and the surveillance society</td><td>Activities, vocabulary, unit lecture</td><td>Preview/ review (4 時間)</td></tr> <tr> <td>5</td><td>Unit 8 Political science: Big brother and the surveillance society</td><td>Activities, unit test</td><td>Preview/ review (4 時間)</td></tr> <tr> <td>6</td><td>Unit 9 Linguistics: Animal communication</td><td>Activities, vocabulary, unit lecture</td><td>Preview/ review/ preparation for the short presentation (4 時間)</td></tr> <tr> <td>7</td><td>Unit 9: Linguistics: Animal communication</td><td>Short presentations, activities</td><td>Preview/ review/ preparation for the short presentation (4 時間)</td></tr> <tr> <td>8</td><td>Unit 10: Economics: The evolution of money</td><td>Activities, vocabulary, unit lecture</td><td>Preview/ review (4 時間)</td></tr> <tr> <td>9</td><td>Unit 10: Economics: The evolution of money</td><td>Activities, unit test</td><td>Preview/ review (4 時間)</td></tr> <tr> <td>10</td><td>Unit 11: Biology: The fountain of youth</td><td>Activities, vocabulary, unit lecture</td><td>Preview/ review (4 時間)</td></tr> <tr> <td>11</td><td>Unit 11: Biology: The fountain of youth</td><td>Activities, unit test</td><td>Preview/ review (4 時間)</td></tr> <tr> <td>12</td><td>Unit 12: Sociology: Marriage</td><td>Activities, vocabulary, unit lecture</td><td>Preview/ review (4 時間)</td></tr> <tr> <td>13</td><td>Unit 12: Sociology: Marriage</td><td>Activities, unit test</td><td>Preview/ review/ preparation of a short essay (4 時間)</td></tr> <tr> <td>14</td><td>Short essays and feedback</td><td>Sharing short essays with classmates</td><td>Preparation of a short essay/ review/ preparation for the final presentation (4 時間)</td></tr> <tr> <td>15</td><td>Final presentations</td><td>Final individual presentations</td><td>Preparation for the final presentation/ review (4 時間)</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	Introduction	Overview of the schedule and what will be covered in the course	Review (4 時間)	2	Unit 7 Technology: Artificial intelligence	Activities, vocabulary, unit lecture	Preview/ review (4 時間)	3	Unit 7 Technology: Artificial intelligence	Activities, unit test	Preview/ review (4 時間)	4	Unit 8 Political science: Big brother and the surveillance society	Activities, vocabulary, unit lecture	Preview/ review (4 時間)	5	Unit 8 Political science: Big brother and the surveillance society	Activities, unit test	Preview/ review (4 時間)	6	Unit 9 Linguistics: Animal communication	Activities, vocabulary, unit lecture	Preview/ review/ preparation for the short presentation (4 時間)	7	Unit 9: Linguistics: Animal communication	Short presentations, activities	Preview/ review/ preparation for the short presentation (4 時間)	8	Unit 10: Economics: The evolution of money	Activities, vocabulary, unit lecture	Preview/ review (4 時間)	9	Unit 10: Economics: The evolution of money	Activities, unit test	Preview/ review (4 時間)	10	Unit 11: Biology: The fountain of youth	Activities, vocabulary, unit lecture	Preview/ review (4 時間)	11	Unit 11: Biology: The fountain of youth	Activities, unit test	Preview/ review (4 時間)	12	Unit 12: Sociology: Marriage	Activities, vocabulary, unit lecture	Preview/ review (4 時間)	13	Unit 12: Sociology: Marriage	Activities, unit test	Preview/ review/ preparation of a short essay (4 時間)	14	Short essays and feedback	Sharing short essays with classmates	Preparation of a short essay/ review/ preparation for the final presentation (4 時間)	15	Final presentations	Final individual presentations	Preparation for the final presentation/ review (4 時間)
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	Introduction	Overview of the schedule and what will be covered in the course	Review (4 時間)																																																																
2	Unit 7 Technology: Artificial intelligence	Activities, vocabulary, unit lecture	Preview/ review (4 時間)																																																																
3	Unit 7 Technology: Artificial intelligence	Activities, unit test	Preview/ review (4 時間)																																																																
4	Unit 8 Political science: Big brother and the surveillance society	Activities, vocabulary, unit lecture	Preview/ review (4 時間)																																																																
5	Unit 8 Political science: Big brother and the surveillance society	Activities, unit test	Preview/ review (4 時間)																																																																
6	Unit 9 Linguistics: Animal communication	Activities, vocabulary, unit lecture	Preview/ review/ preparation for the short presentation (4 時間)																																																																
7	Unit 9: Linguistics: Animal communication	Short presentations, activities	Preview/ review/ preparation for the short presentation (4 時間)																																																																
8	Unit 10: Economics: The evolution of money	Activities, vocabulary, unit lecture	Preview/ review (4 時間)																																																																
9	Unit 10: Economics: The evolution of money	Activities, unit test	Preview/ review (4 時間)																																																																
10	Unit 11: Biology: The fountain of youth	Activities, vocabulary, unit lecture	Preview/ review (4 時間)																																																																
11	Unit 11: Biology: The fountain of youth	Activities, unit test	Preview/ review (4 時間)																																																																
12	Unit 12: Sociology: Marriage	Activities, vocabulary, unit lecture	Preview/ review (4 時間)																																																																
13	Unit 12: Sociology: Marriage	Activities, unit test	Preview/ review/ preparation of a short essay (4 時間)																																																																
14	Short essays and feedback	Sharing short essays with classmates	Preparation of a short essay/ review/ preparation for the final presentation (4 時間)																																																																
15	Final presentations	Final individual presentations	Preparation for the final presentation/ review (4 時間)																																																																
関連科目																																																																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>Contemporary Topics 3</td><td>David Beglarand Neil Murray</td><td>Pearson</td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	Contemporary Topics 3	David Beglarand Neil Murray	Pearson	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	Contemporary Topics 3	David Beglarand Neil Murray	Pearson																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	Participation 30% Unit tests 25% Short essay15% Presentations 30%																																																																		
学生へのメッセージ	トピックに合わせたアクティビティを中心とした授業になります。英語でさらに色々なトピックについて考え、発信できるようになりましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 4 階 高橋研究室																																																																		
備考	授業内容については進度等により調整する場合がある。毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、担当者からの課題、発表の準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 60 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。																																																																		

科目名	アドバンスト ライティング a	科目名 (英文)	Advanced Writing a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	高橋 真理子
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	アドバンスト・ライティングでは、さらに高度な文章構成力・表現力を磨く練習をする。 エッセイ・ライティングの力を養う。																																																																		
到達目標	英語で様々なジャンルの文章を書けるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	課題については初回の授業で詳しく説明する。授業には必ず辞書を持参すること。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検, TOEFL, IELTS																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>オリエンテーション</td><td>授業計画や課題などの説明</td><td>シラバスと教科書の内容確認 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>2</td><td>Review: Basics of paragraph writing</td><td>パラグラフ・ライティングの復習</td><td>パラグラフ・ライティングの予習・復習 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>3</td><td>Writing a description</td><td>ジャンル: 記述 文章構成力・表現力を磨く練習をする。</td><td>記述に関する予習・ライティング課題 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>4</td><td>Writing a narrative</td><td>ジャンル: 物語 文章構成力・表現力を磨く練習をする。</td><td>物語に関する予習・ライティング課題 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>5</td><td>Writing a procedure</td><td>ジャンル: 手順 文章構成力・表現力を磨く練習をする。</td><td>予習・復習 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>6</td><td>フィードバック</td><td>ここまでの課題のフィードバック</td><td>これまでの授業内容の復習 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>7</td><td>Writing a persuasion</td><td>ジャンル: 主張 文章構成力・表現力を磨く練習をする。</td><td>主張に関する予習・ライティング課題 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>8</td><td>Writing a response</td><td>ジャンル: 意見 文章構成力・表現力を磨く練習をする。</td><td>意見に関する予習・復習 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>9</td><td>Writing an explanation</td><td>ジャンル: 説明 文章構成力・表現力を磨く練習をする。</td><td>説明に関する予習・ライティング課題 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>10</td><td>Writing a discussion</td><td>ジャンル: 議論 文章構成力・表現力を磨く練習をする。</td><td>議論に関する予習・復習 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>11</td><td>フィードバック</td><td>ここまでの課題のフィードバック</td><td>これまでの授業内容の復習 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>12</td><td>Writing an E-mail</td><td>ジャンル E-mail 文章構成力・表現力を磨く練習をする。</td><td>E-mail に関する予習・復習 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>13</td><td>Writing an informative speech</td><td>ジャンル: 知識を提供するスピーチ 文章構成力・表現力を磨く練習をする。</td><td>予習・スピーチ作成 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>14</td><td>Writing a persuasive speech</td><td>ジャンル: 説得的スピーチ 文章構成力・表現力を磨く練習をする。</td><td>予習・スピーチ作成 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>15</td><td>スピーチとまとめ</td><td>13 週目または 14 週目の授業に基づいて書いたスピーチの発表、全体のまとめ</td><td>スピーチ練習・復習 (2 時間)</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション	授業計画や課題などの説明	シラバスと教科書の内容確認 (2 時間)	2	Review: Basics of paragraph writing	パラグラフ・ライティングの復習	パラグラフ・ライティングの予習・復習 (2 時間)	3	Writing a description	ジャンル: 記述 文章構成力・表現力を磨く練習をする。	記述に関する予習・ライティング課題 (2 時間)	4	Writing a narrative	ジャンル: 物語 文章構成力・表現力を磨く練習をする。	物語に関する予習・ライティング課題 (2 時間)	5	Writing a procedure	ジャンル: 手順 文章構成力・表現力を磨く練習をする。	予習・復習 (2 時間)	6	フィードバック	ここまでの課題のフィードバック	これまでの授業内容の復習 (2 時間)	7	Writing a persuasion	ジャンル: 主張 文章構成力・表現力を磨く練習をする。	主張に関する予習・ライティング課題 (2 時間)	8	Writing a response	ジャンル: 意見 文章構成力・表現力を磨く練習をする。	意見に関する予習・復習 (2 時間)	9	Writing an explanation	ジャンル: 説明 文章構成力・表現力を磨く練習をする。	説明に関する予習・ライティング課題 (2 時間)	10	Writing a discussion	ジャンル: 議論 文章構成力・表現力を磨く練習をする。	議論に関する予習・復習 (2 時間)	11	フィードバック	ここまでの課題のフィードバック	これまでの授業内容の復習 (2 時間)	12	Writing an E-mail	ジャンル E-mail 文章構成力・表現力を磨く練習をする。	E-mail に関する予習・復習 (2 時間)	13	Writing an informative speech	ジャンル: 知識を提供するスピーチ 文章構成力・表現力を磨く練習をする。	予習・スピーチ作成 (2 時間)	14	Writing a persuasive speech	ジャンル: 説得的スピーチ 文章構成力・表現力を磨く練習をする。	予習・スピーチ作成 (2 時間)	15	スピーチとまとめ	13 週目または 14 週目の授業に基づいて書いたスピーチの発表、全体のまとめ	スピーチ練習・復習 (2 時間)
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション	授業計画や課題などの説明	シラバスと教科書の内容確認 (2 時間)																																																																
2	Review: Basics of paragraph writing	パラグラフ・ライティングの復習	パラグラフ・ライティングの予習・復習 (2 時間)																																																																
3	Writing a description	ジャンル: 記述 文章構成力・表現力を磨く練習をする。	記述に関する予習・ライティング課題 (2 時間)																																																																
4	Writing a narrative	ジャンル: 物語 文章構成力・表現力を磨く練習をする。	物語に関する予習・ライティング課題 (2 時間)																																																																
5	Writing a procedure	ジャンル: 手順 文章構成力・表現力を磨く練習をする。	予習・復習 (2 時間)																																																																
6	フィードバック	ここまでの課題のフィードバック	これまでの授業内容の復習 (2 時間)																																																																
7	Writing a persuasion	ジャンル: 主張 文章構成力・表現力を磨く練習をする。	主張に関する予習・ライティング課題 (2 時間)																																																																
8	Writing a response	ジャンル: 意見 文章構成力・表現力を磨く練習をする。	意見に関する予習・復習 (2 時間)																																																																
9	Writing an explanation	ジャンル: 説明 文章構成力・表現力を磨く練習をする。	説明に関する予習・ライティング課題 (2 時間)																																																																
10	Writing a discussion	ジャンル: 議論 文章構成力・表現力を磨く練習をする。	議論に関する予習・復習 (2 時間)																																																																
11	フィードバック	ここまでの課題のフィードバック	これまでの授業内容の復習 (2 時間)																																																																
12	Writing an E-mail	ジャンル E-mail 文章構成力・表現力を磨く練習をする。	E-mail に関する予習・復習 (2 時間)																																																																
13	Writing an informative speech	ジャンル: 知識を提供するスピーチ 文章構成力・表現力を磨く練習をする。	予習・スピーチ作成 (2 時間)																																																																
14	Writing a persuasive speech	ジャンル: 説得的スピーチ 文章構成力・表現力を磨く練習をする。	予習・スピーチ作成 (2 時間)																																																																
15	スピーチとまとめ	13 週目または 14 週目の授業に基づいて書いたスピーチの発表、全体のまとめ	スピーチ練習・復習 (2 時間)																																																																
関連科目	アカデミック スタディーズなど																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>Genre Approach to Paragraph Writing</td><td>Yoshihito Sugita and Richard R. Caraker</td><td>成美堂</td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	Genre Approach to Paragraph Writing	Yoshihito Sugita and Richard R. Caraker	成美堂	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	Genre Approach to Paragraph Writing	Yoshihito Sugita and Richard R. Caraker	成美堂																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	授業への積極的な参加: 40% ライティング課題: 40% スピーチ: 20%																																																																		
学生へのメッセージ	様々なジャンルの英文を書く練習を通して、英語ライティングのさらなるスキルアップを目指しましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 4 階 高橋研究室																																																																		
備考	授業内容については、進度等により調整する場合がある。毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間を 60 時間程度とする。課題に関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。																																																																		

科目名	アドバンスト ライティング b	科目名 (英文)	Advanced Writing b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	江崎 早苗
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	アドバンスト・ライティングでは、ライティングよりさらに高度な文章構成力・表現力を磨く練習をする。 エッセイ・ライティングの力を養う。			
到達目標	英語でエッセイを書く能力を身につける。			
授業方法と留意点	学期末レポートに向けて Step by Step で取り組む レポート作成時の注意事項や、英語表現などは、別途プリントを配布する。			
科目学習の効果（資格）	TOEIC や英検など			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	授業概要説明 自己紹介	シラバスの熟読（2 時間）
	2	レポートのテーマを決める	期末レポートに向け、テーマを決める	興味のあることを 3 つ用意する。 具体的に何を主張し、論じていくのかを考え、発表に備える（2 時間）
	3	主張	レポートで主張したいことを決める	具体的に何を主張し、論じていくのかを考え、発表に備える 参考文献を見つけ、内容を理解し、発表の準備（2 時間）
	4	参考文献 1	参考文献の内容発表 ディスカッション	参考文献を見つけ、内容を理解し、発表の準備（2 時間）
	5	参考文献 2	参考文献の内容発表 ディスカッション	参考文献を見つけ、内容を理解し、発表の準備（2 時間）
	6	参考文献 3	参考文献の内容発表 ディスカッション	参考文献を見つけ、内容を理解し、発表の準備（2 時間）
	7	参考文献のまとめ（1）	参考文献をまとめる	3 つの参考文献の内容をまとめ、発表ならびにレポートの準備（2 時間）
	8	参考文献のまとめ（2）	レポート提出（参考文献）、ディスカッション	参考文献レポート 参考文献を引用しながら自分の主張をまとめ、発表の準備（2 時間）
	9	主張 1	参考文献を引用しながら自分の主張を発表する	参考文献を引用しながら自分の主張をまとめ、発表の準備（2 時間）
	10	主張 2	参考文献を引用しながら自分の主張を発表する	参考文献を引用しながら自分の主張をまとめ、発表の準備（2 時間）
	11	主張 3	参考文献を引用しながら自分の主張を発表する	参考文献を引用しながら自分の主張をまとめ、発表の準備 主張をレポートにまとめる。（2 時間）
	12	主張のまとめ（1）	主張をまとめる	主張をまとめ、発表の準備 主張をレポートにまとめる。（2 時間）
	13	主張のまとめ（2）	レポート提出（主張）、ディスカッション	主張をレポートにまとめる。 ディスカッションで出てきた残りの問題点について、追加の参考文献を探す レポート作成（Conclusion）（2 時間）
	14	まとめ	Conclusion の内容	レポート作成（Conclusion, Introduction）（2 時間）
	15	Intro	Introduction の内容	レポート作成（Introduction） 期末レポート（2 時間）
関連科目	アドバンスト イングリッシュなど			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	必要に応じてプリントを配布する		
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法（基準）	期末レポート： 60% 授業内エッセイ： 40%			
学生へのメッセージ	毎回何かしらの課題がありますので、出席が大切になります。 たとえ、予習ができていなくても、まずはきちんと出席して下さい。			
担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 60 時間程度とする。レポートに関するフィードバック、質問等は授業内で対応する。			

科目名	アメリカ文化論	科目名（英文）	American Studies
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	鳥居 祐介
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	アメリカの歴史はヨーロッパ人が入植してから 400 年ほどですが、ダイナミックな変化を経験してきました。この授業では、アメリカという国の社会・文化を、歴史、地理、民族、精神、生活、人間関係、日米関係など、さまざまな視点から考察し理解を深めていきます。各回のテーマに沿って、統計・写真・地図などの資料を参照しながら、講義を進めます。 外国語学部のディプロマ・ポリシーのうち、主として「国際社会の多様性を理解するとともに、世界と日本の関係について人文・社会学的研究を行うための専門知識を身につけている」の部分の基礎をつくる科目です。教職課程における「異文化理解」区分の選択科目でもあります。 毎回の講義には、指定された資料に目を通し予習をした上で臨んでもらいます。復習のための課題も随時出します。講義中は多くの情報を伝えるので、ポイントを自分の言葉でまとめることを心がけ、ノートテキングのスキルを身につけましょう。また、講義の内容を鵜のみにするのではなく、自ら問いかける姿勢を持って授業の課題（宿題、リスポンスペーパー等）にとり組んでください。
到達目標	1) アメリカ社会・文化を多角的な視点から理解する。 2) アメリカという国の理念とその実現の試みを批判的に理解する。 3) 日本人としてアメリカ社会・文化を学ぶ意義を説明できる。
授業方法と留意点	各回のテーマに沿って、Moodle または Webbox であらかじめ資料を配布して予習・復習課題を指示します。PC やスマホの学習への活用方法や、学内の情報ネットワークサービスの使い方に習熟することが必要です。教室では予習・復習テストを適宜行いながら、文書・統計・写真・地図などの資料を表示して講義を進めていきます。画面の文字を書き写すだけでなく、後で見返した時に要点がわかるように、自分の言葉でメモをとることがとても大切です。わからないこと、疑問に感じたことはそのままにせず教員に質問しましょう。 配布予定の資料や課題については、授業内でより詳細なシラバスを配布してアナウンスします。
科目学習の効果（資格）	海外での研修や留学に際して、また国内での異文化交流に際して必要となる一般常識、国際感覚。高度な英語力を身に着けるための基盤となる英語圏についての基礎知識。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	イントロダクション	授業内容・方法説明	電子配布される資料を入手して目を通し、指定の予習・復習課題を次回授業までに済ませる。（3 時間程度）
	2	アメリカの歴史 1	植民地時代から独立まで	電子配布される資料を入手して目を通し、指定の予習・復習課題を次回授業までに済ませる。（3 時間程度）
	3	アメリカの歴史 2	領土拡張、奴隷制、南北戦争	電子配布される資料を入手して目を通し、指定の予習・復習課題を次回授業までに済ませる。（3 時間程度）
	4	アメリカの歴史 3	金びか時代から第二次大戦まで	電子配布される資料を入手して目を通し、指定の予習・復習課題を次回授業までに済ませる。（3 時間程度）
	5	アメリカの歴史 4	戦後のアメリカ、現在まで	電子配布される資料を入手して目を通し、指定の予習・復習課題を次回授業までに済ませる。（3 時間程度）
	6	アメリカの地理 1	北部・南部	電子配布される資料を入手して目を通し、指定の予習・復習課題を次回授業までに済ませる。（3 時間程度）
	7	アメリカの地理 2	中西部・西部	電子配布される資料を入手して目を通し、指定の予習・復習課題を次回授業までに済ませる。（3 時間程度）
	8	アメリカの民族 1	ヨーロッパ系	電子配布される資料を入手して目を通し、指定の予習・復習課題を次回授業までに済ませる。（3 時間程度）
	9	アメリカの民族 2	アジア系	電子配布される資料を入手して目を通し、指定の予習・復習課題を次回授業までに済ませる。（2 時間程度）
	10	アメリカの民族 3	ラティーノ／ネイティブほか	電子配布される資料を入手して目を通し、指定の予習・復習課題を次回授業までに済ませる。（3 時間程度）
	11	アメリカの精神	ピューリタニズム、フロンティア精神、個人主義ほか	電子配布される資料を入手して目を通し、指定の予習・復習課題を次回授業までに済ませる。（3 時間程度）
	12	アメリカ人の生活	衣食住、祝祭	電子配布される資料を入手して目を通し、指定の予習・復習課題を次回授業までに済ませる。（2 時間程度）
	13	人間関係	子供、家族、LGBT など	電子配布される資料を入手して目を通し、指定の予習・復習課題を次回授業までに済ませる。（3 時間程度）
	14	日米関係	中浜万次郎から現在まで	ここまでの全ての資料やノートにあらためて目を通し、確認テストの最終回に備える。（5 時間程度）
	15	まとめ	確認テストの最終回および総論＋質疑：日本人にとってのアメリカ	確認テストの結果と総論を踏まえ、質疑の時間が足りなければアポイントをとって研究室へ
関連科目	日米比較文化、日米文化交流史			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	プリント教材（電子配布）		
	2			
	3			
参考書				

	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	シンプルな英語で話すアメリカ史	ジェームス・バーダマン	ジャパンタイムズ
	2			
	3			
評価方法 (基準)	平常点 50% (リスポンスペーパー、小レポート等の提出物および質疑への参加による評価の合計) 確認テスト 50% (講義内容の理解度を測る小テストの合計)			
学生への メッセージ	外国語学部に来たのにアメリカの面白さを知らずに過ごしてしまう学生を一人でも減らしたいと思っています。決して「楽」な授業にはしませんが、アメリカのことを知りたい学生には「楽しい」授業にしたいです。一緒にがんばりましょう。			
担当者の 研究室等	7号館3階鳥居研究室			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 60 時間程度とする。予習、復習、宿題、レポート等に関する質問やフィードバックはスチューデントアワーまたはアポイントにより研究室にて対応する。アポイントは電子メール torii@ilc.setsunan.ac.jp まで。			

科目名	ESP(English for Specific Purposes) a	科目名 (英文)	ESP (English For Specific Purposes) a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	永富 真梨
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL2041c0		

授業概要・目的	本科目は、国際キャリアコースの6つのパッケージプログラムのうち、「国際貢献」プログラムを選択した学生を対象とした英語の授業です。よって、グローバルな視点から国際貢献に関する英語の語彙や表現を習得することを目的とします。
到達目標	英語を仕事のツールととらえ、「国際貢献」の分野における基本的な語彙や表現を習得しながら、英文を読んだり、書いたりできるようになることを目標とします。
授業方法と留意点	リスニングやリーディングを基本としながらも、ディスカッションやプレゼンテーションといった学習活動も織り交ぜて授業を進めていきます。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC や英検 など

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	イントロダクション 国際貢献についてのビデオ	授業運営の説明 ビデオ鑑賞 ディスカッション	次回の授業の Topic 7 で分からない単語や表現を調べる (1 時間)
	2	Topic 7 Global Warming	リスニング ディスカッション リーディング 1 リーディング 2 確認テスト	次回の授業の Topic 7 で分からない単語や表現を調べる (1 時間)
	3	Topic 7 Global Warming	リーディング 2 の読解 ライティング 確認テスト	次回の授業の Topic 8 で分からない単語や表現を調べる (1 時間)
	4	Topic 8 Energy	リスニング ディスカッション リーディング 1 リーディング 2 確認テスト	次回の授業の Topic 8 で分からない単語や表現を調べる (1 時間)
	5	Topic 8 Energy	リーディング 2 の読解 ライティング 確認テスト	次回の授業の Topic 11 で分からない単語や表現を調べる (1 時間)
	6	Topic 11 International Relationships	リスニング ディスカッション リーディング 1 リーディング 2 確認テスト	次回の授業の Topic 11 で分からない単語や表現を調べる (1 時間)
	7	Topic 11 International Relationships	リーディング 2 の読解 ライティング 確認テスト	プレゼンテーションの準備 (1 時間)
	8	中間の確認テスト	授業で扱った内容を総合的に確認する試験	次回の授業の Topic 12 で分からない単語や表現を調べる (1 時間)
	9	Topic 12 War and Peace	リスニング ディスカッション リーディング 1 リーディング 2 確認テスト	次回の授業の Topic 12 で分からない単語や表現を調べる (1 時間)
	10	Topic 12 War and Peace	リーディング 2 の読解 ライティングとプレゼンテーション 確認テスト	次回の授業の Topic 13 で分からない単語や表現を調べる (1 時間)
	11	Topic 13 Human Rights	リスニング ディスカッション リーディング 1 リーディング 2 確認テスト	次回の授業の Topic 13 で分からない単語や表現を調べる (1 時間)
	12	Topic 13 Human Rights	リーディング 2 の読解 ライティングとプレゼンテーション 確認テスト	次回の授業の Topic 14 で分からない単語や表現を調べる (1 時間)
	13	Topic 14 Global Citizenship	リスニング ディスカッション リーディング 1 リーディング 2 確認テスト	次回の授業の Topic 14 で分からない単語や表現を調べる (1 時間)
	14	Topic 14 Global Citizenship	リーディング 2 の読解 ライティングとプレゼンテーション 確認テスト	確認 (最終) テストの準備 (1 時間)
	15	確認 (最終) テスト 総括 (まとめ)	これまで学んできた授業内容について 復習テストをする。	これまで学んできた授業内容について総復習する。 (1 時間)
関連科目	リーディング II a, b など			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	CLIL 英語で学ぶ国際問題	笹島茂、他	三修社

		2			
		3			
参考書					
		番号	書籍名	著者名	出版社名
		1			
		2			
		3			
評価方法 (基準)	作文課題 20% 授業中の確認テスト・発言・討論、宿題、提出物等 80%				
学生への メッセージ	世界を取り巻く文化や社会の問題を扱ったテキストを使用します。日本語でもアクセスできる情報を使いながら、より効果的に英語を 学びます。 英語で簡単な説明やプレゼンテーションができるようにすることも目的としています。				
担当者の 研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室				
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。 授業の進度は、上記の表を目安としますが、開講後のクラスの状況を見て、必要があれば調整します。				

科目名	ESP(English for Specific Purposes) a	科目名 (英文)	ESP (English For Specific Purposes) a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	矢野 涼子
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL2041c0		

授業概要・目的	本科目は、国際キャリアコースの6つのパッケージプログラムのうち、「国際ビジネス」プログラムを選択した学生を対象とした英語の授業です。よって、グローバルな視点からビジネスに関する英語の語彙や表現を習得することを目的とします。
到達目標	英語を仕事のツールととらえ、「国際ビジネス」の分野における基本的な語彙や表現を習得しながら、英文を読んだり、書いたりできるようになることを目標とします。
授業方法と留意点	授業は「グループワーク」形式で行い、特にビジネスの分野で必要とされる英語を中心に学習します。 国際キャリアコースの学生を対象とし、選択したプログラムによって ESP のクラスが異なるので注意すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC や英検 など

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	英語による自己紹介、授業の進め方や評価方法の説明	テキスト全体に目を通しておく (1 時間)
	2	Chapter 1: Making Contact	聴解 (DVD 視聴) を中心に英語表現を解説し、単純な作文・会話活動を行う。	今回の Chapter 1 に目を通しておくこと。(1 時間)
	3	Chapter 1: Making Contact	読解を中心に語彙や文法を解説し、単純な作文・会話活動を行う。	今回の Chapter 1 のリーディング文章を読み、ライティング課題を提出すること。(1 時間)
	4	Chapter 2: Getting to Know You	小テストを終えてから、聴解 (DVD 視聴) を中心に英語表現を解説し、単純な作文・会話活動を行う。	小テストのための復習を行うこと。(1 時間)
	5	Chapter 2: Getting to Know You	読解を中心に語彙や文法を解説し、単純な作文・会話活動を行う。	今回の Chapter 2 のリーディング文章を読み、ライティング課題を提出すること。(1 時間)
	6	Chapter 3: Dining Out	小テストを終えてから、聴解 (DVD 視聴) を中心に英語表現を解説し、単純な作文・会話活動を行う。	小テストのための復習を行うこと。(1 時間)
	7	Chapter 3: Dining Out	読解を中心に語彙や文法を解説し、単純な作文・会話活動を行う。	今回の Chapter 3 のリーディング文章を読み、ライティング課題を提出すること。(1 時間)
	8	Chapter 4: Can I Ask Who Is Calling, Please?	小テストを終えてから、聴解 (DVD 視聴) を中心に英語表現を解説し、単純な作文・会話活動を行う。	小テストのための復習を行うこと。(1 時間)
	9	Chapter 4: Can I Ask Who Is Calling, Please?	読解を中心に語彙や文法を解説し、単純な作文・会話活動を行う。	今回の Chapter 4 のリーディング文章を読み、ライティング課題を提出すること。(1 時間)
	10	Chapter 5: Let's Stick to the Schedule	小テストを終えてから、聴解 (DVD 視聴) を中心に英語表現を解説し、単純な作文・会話活動を行う。	小テストのための復習を行うこと。(1 時間)
	11	Chapter 5: Let's Stick to the Schedule	読解を中心に語彙や文法を解説し、単純な作文・会話活動を行う。	今回の Chapter 5 のリーディング文章を読み、ライティング課題を提出すること。(1 時間)
	12	Chapter 6: Tell Us about Yourself	小テストを終えてから、聴解 (DVD 視聴) を中心に英語表現を解説し、単純な作文・会話活動を行う。	小テストのための復習を行うこと。(1 時間)
	13	Chapter 6: Tell Us about Yourself	読解を中心に語彙や文法を解説し、単純な作文・会話活動を行う。	今回の Chapter 6 のリーディング文章を読み、ライティング課題を提出すること。(1 時間)
	14	Chapter 7: Could We Meet Next Week?	小テストを終えてから、聴解 (DVD 視聴) を中心に英語表現を解説し、単純な作文・会話活動を行う。	小テストのための復習を行うこと。(1 時間)
	15	Chapter 7: Could We Meet Next Week?	読解を中心に語彙や文法を解説し、単純な作文・会話活動を行う。	今回の Chapter 7 のリーディング文章を読み、ライティング課題を提出すること。(1 時間)

関連科目	ESP (English for Specific Purposes) b
------	---------------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Interactive Business English on DVD	徳田 豊、他	成美堂
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	(必要に応じて指示します)		
	2			
	3			

評価方法 (基準)	作文課題 20 % 授業への取り組みの評価 40 % 小テスト 40 %
-----------	--

学生へのメッセージ	みなさんと相談しながら楽しい授業にしたいと思っています。そのために、遅刻をしない、提出物を提出するなど、できることはきちんとやってください。難しいこと、できないことは「難しい、できない」と先生に伝えてください。一緒に充実した時間を過ごしましょう。
-----------	---

担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室
----------	-----------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。
----	---

科目名	ESP(English for Specific Purposes) a	科目名 (英文)	ESP (English For Specific Purposes) a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	西川 真由美
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL2041c0		

授業概要・目的	授業概要： 本科目は、国際キャリアコースの6つのパッケージプログラムのうち、「観光ホスピタリティ」プログラムを選択した学生を対象とした英語の授業です。よって、テキストを読みながら、さまざまなアクティビティを通じて、観光業・ホスピタリティ産業に必要な英語の語彙や表現、仕事への態度を学びます。 授業目的： ・観光とホスピタリティについての調べ学習：基本的な知識を増やす。 ・基礎英会話の練習：簡単な英語が口から出てくるようにする。 ・英語を使ったアクティビティ：空港・機内・ホテル・レストラン、ショッピング、観光、乗り物、トラブル、観光地で役に立つ英語の表現を学ぶ。 ・ペアワークやグループワーク：コミュニケーション能力をつける。																																																																		
到達目標	英語を仕事のツールととらえ、「観光ホスピタリティ」の分野における以下の項目について習得することを目指します。 ・業界についての知識の習得。 ・業界でよく用いられる英語の語彙・表現の習得。 ・業界で働くのに必要な英語のコミュニケーションの習得。 ・業界で必要とされるホスピタリティの精神の習得。																																																																		
授業方法と留意点	特に観光業で必要とされる英語を中心に学習します。 テキストをしっかりと読んで、授業に出席してください。 毎回小テストをしますので、f 復習を忘れずにしてください。 国際キャリアコースの学生を対象とし、選択したプログラムによってESPのクラスが異なるので注意すること。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	TOEICや英検など																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>ガイダンス</td><td>評価方法、授業の進め方、基本会話</td><td>授業の進め方などを確認するとともに、教科書の概要を把握する。(1時間)</td></tr> <tr> <td>2</td><td>Transportation 交通案内</td><td>交通案内に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。</td><td>交通案内に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)</td></tr> <tr> <td>3</td><td>A t a Check-in Counter ホテルでのチェックイン</td><td>ホテルでのチェックインに必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。</td><td>ホテルでのチェックインに関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)</td></tr> <tr> <td>4</td><td>Facilities and Services ホテル内の施設やサービス案内</td><td>ホテル内の施設やサービス案内に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。</td><td>ホテル内の施設やサービス案内に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)</td></tr> <tr> <td>5</td><td>Giving Directions 街歩きのための道案内</td><td>街歩きのための道案内に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。</td><td>街歩きのための道案内に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)</td></tr> <tr> <td>6</td><td>Recommending a Trip 観光スポットを薦める</td><td>観光スポットを薦めるのに必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。</td><td>観光スポットを薦めることに関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)</td></tr> <tr> <td>7</td><td>Dining in Japan1&2 日本食の紹介</td><td>日本食の紹介に必要な英語の語彙や表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。</td><td>日本食の紹介に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)</td></tr> <tr> <td>8</td><td>Arranging a Tour 国内旅行の手配</td><td>国内旅行の手配に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。</td><td>国内旅行の手配に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)</td></tr> <tr> <td>9</td><td>Staying at a Ryokan 旅館</td><td>旅館で必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。</td><td>旅館での滞在に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)</td></tr> <tr> <td>10</td><td>Culture Experience in Japan1 日本文化体験</td><td>日本文化体験に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。</td><td>日本文化体験に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)</td></tr> <tr> <td>11</td><td>Culture Experience in Japan2 日本文化体験</td><td>日本文化体験に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。</td><td>日本文化体験に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)</td></tr> <tr> <td>12</td><td>Japanese Souvenirs ショッピング</td><td>ショッピングに必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。</td><td>ショッピングに関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)</td></tr> <tr> <td>13</td><td>Dealing with Health Problems and Emergencies けがや病気の対応</td><td>けがや病気の対応に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。</td><td>けがや病気の対応に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)</td></tr> <tr> <td>14</td><td>Dealing with Complaints and Accidents: Upon Departure クレームやアクシデントの対応</td><td>クレームやアクシデントの対応に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。</td><td>クレームやアクシデントの対応に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)</td></tr> <tr> <td>15</td><td>まとめのテスト</td><td>これまで学んできた授業内容について復習テストをする。</td><td>これまで学んできた授業内容について総復習する。(1時間)</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	ガイダンス	評価方法、授業の進め方、基本会話	授業の進め方などを確認するとともに、教科書の概要を把握する。(1時間)	2	Transportation 交通案内	交通案内に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	交通案内に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)	3	A t a Check-in Counter ホテルでのチェックイン	ホテルでのチェックインに必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	ホテルでのチェックインに関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)	4	Facilities and Services ホテル内の施設やサービス案内	ホテル内の施設やサービス案内に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	ホテル内の施設やサービス案内に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)	5	Giving Directions 街歩きのための道案内	街歩きのための道案内に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	街歩きのための道案内に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)	6	Recommending a Trip 観光スポットを薦める	観光スポットを薦めるのに必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	観光スポットを薦めることに関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)	7	Dining in Japan1&2 日本食の紹介	日本食の紹介に必要な英語の語彙や表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	日本食の紹介に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)	8	Arranging a Tour 国内旅行の手配	国内旅行の手配に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	国内旅行の手配に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)	9	Staying at a Ryokan 旅館	旅館で必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	旅館での滞在に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)	10	Culture Experience in Japan1 日本文化体験	日本文化体験に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	日本文化体験に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)	11	Culture Experience in Japan2 日本文化体験	日本文化体験に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	日本文化体験に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)	12	Japanese Souvenirs ショッピング	ショッピングに必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	ショッピングに関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)	13	Dealing with Health Problems and Emergencies けがや病気の対応	けがや病気の対応に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	けがや病気の対応に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)	14	Dealing with Complaints and Accidents: Upon Departure クレームやアクシデントの対応	クレームやアクシデントの対応に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	クレームやアクシデントの対応に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)	15	まとめのテスト	これまで学んできた授業内容について復習テストをする。	これまで学んできた授業内容について総復習する。(1時間)
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	ガイダンス	評価方法、授業の進め方、基本会話	授業の進め方などを確認するとともに、教科書の概要を把握する。(1時間)																																																																
2	Transportation 交通案内	交通案内に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	交通案内に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)																																																																
3	A t a Check-in Counter ホテルでのチェックイン	ホテルでのチェックインに必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	ホテルでのチェックインに関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)																																																																
4	Facilities and Services ホテル内の施設やサービス案内	ホテル内の施設やサービス案内に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	ホテル内の施設やサービス案内に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)																																																																
5	Giving Directions 街歩きのための道案内	街歩きのための道案内に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	街歩きのための道案内に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)																																																																
6	Recommending a Trip 観光スポットを薦める	観光スポットを薦めるのに必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	観光スポットを薦めることに関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)																																																																
7	Dining in Japan1&2 日本食の紹介	日本食の紹介に必要な英語の語彙や表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	日本食の紹介に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)																																																																
8	Arranging a Tour 国内旅行の手配	国内旅行の手配に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	国内旅行の手配に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)																																																																
9	Staying at a Ryokan 旅館	旅館で必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	旅館での滞在に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)																																																																
10	Culture Experience in Japan1 日本文化体験	日本文化体験に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	日本文化体験に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)																																																																
11	Culture Experience in Japan2 日本文化体験	日本文化体験に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	日本文化体験に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)																																																																
12	Japanese Souvenirs ショッピング	ショッピングに必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	ショッピングに関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)																																																																
13	Dealing with Health Problems and Emergencies けがや病気の対応	けがや病気の対応に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	けがや病気の対応に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)																																																																
14	Dealing with Complaints and Accidents: Upon Departure クレームやアクシデントの対応	クレームやアクシデントの対応に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	クレームやアクシデントの対応に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)																																																																
15	まとめのテスト	これまで学んできた授業内容について復習テストをする。	これまで学んできた授業内容について総復習する。(1時間)																																																																
関連科目	ESP(English for Specific Purposes)b など																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名																																																												
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																

	1	Hospitality on the Scene	上杉恵美 他	金星堂
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	授業への参加度 30% 小テスト 40% まとめのテスト 30%			
学生への メッセージ	さまざまなアクティビティを通して、ホスピタリティ&おもてなしの精神やツーリズム業界について楽しく学びましょう。			
担当者の 研究室等	7号館4階 西川研究室			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ30時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に研究室にて対応する。			

科目名	ESP(English for Specific Purposes) a	科目名 (英文)	ESP (English For Specific Purposes) a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	齋藤 安以子
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL2041c0		

授業概要・目的	本科目は、国際キャリアコースの6つのパッケージプログラムのうち、「国際教養」プログラムを選択した学生を対象とした英語の授業です。よって、グローバルな視点から国際教養に関する英語の語彙や表現を習得することを目的とします。 日本と世界をアートの時々の二つの視点から見つめ、情報をわかりやすく説明したり、表現したりする英語を学習します。また、日本から英語、英語から日本語の、音声通訳および文字による翻訳のための演習も行います。																																																																		
到達目標	英語を仕事のツールととらえ、「国際教養」の分野における基本的な語彙や表現を習得しながら、英文を読んだり、書いたりできるようになることを目標とします。 国内だけでなく、世界の出来事に関心を向け、それらについて自分の見解を述べるために必要な基本的な語彙や表現を習得しながら、英文を読んだり、書いたり、書いたりできるようになることも目標とします。																																																																		
授業方法と留意点	- 発表やディスカッションも織り交ぜながら授業を進めていきます。 - 国際キャリアコースの英語専攻の学生を対象とし、選択したプログラムによって ESP のクラスが異なるので注意すること。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	TOEIC や英検 など																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>オリエンテーション 世界のニュースを英語で 時事問題を描く戯曲とは</td><td>読解・ディスカッション</td><td>報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>2</td><td>社会と子ども</td><td>発表</td><td>報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>3</td><td>難民状態になる、ということ</td><td>読解・ディスカッション</td><td>報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>4</td><td>戦争と報道</td><td>発表</td><td>報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>5</td><td>世界と日本の難民事情比較</td><td>読解・ディスカッション</td><td>報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>6</td><td>入国管理と受け入れ制度</td><td>発表</td><td>報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>7</td><td>難民問題を描く映画・劇・ドラマ (1)</td><td>読解・ディスカッション</td><td>報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>8</td><td>難民問題を描く映画・劇・ドラマ (2)</td><td>発表</td><td>報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>9</td><td>受け入れ側の視点 (1)</td><td>読解・ディスカッション</td><td>報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>10</td><td>受け入れ側の視点 (2)</td><td>発表</td><td>報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>11</td><td>歴史上の有名な人の難民体験 (1)</td><td>読解・ディスカッション</td><td>報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>12</td><td>歴史上の有名な人の難民体験 (2)</td><td>発表</td><td>報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>13</td><td>多文化が共に生きる (1)</td><td>読解・ディスカッション</td><td>報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>14</td><td>多文化が共に生きる (2)</td><td>発表</td><td>報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>15</td><td>まとめ</td><td>これまで学んできた授業内容について 総復習する。</td><td>授業内容のふりかえり (1 時間)</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション 世界のニュースを英語で 時事問題を描く戯曲とは	読解・ディスカッション	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)	2	社会と子ども	発表	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)	3	難民状態になる、ということ	読解・ディスカッション	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)	4	戦争と報道	発表	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)	5	世界と日本の難民事情比較	読解・ディスカッション	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)	6	入国管理と受け入れ制度	発表	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)	7	難民問題を描く映画・劇・ドラマ (1)	読解・ディスカッション	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)	8	難民問題を描く映画・劇・ドラマ (2)	発表	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)	9	受け入れ側の視点 (1)	読解・ディスカッション	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)	10	受け入れ側の視点 (2)	発表	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)	11	歴史上の有名な人の難民体験 (1)	読解・ディスカッション	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)	12	歴史上の有名な人の難民体験 (2)	発表	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)	13	多文化が共に生きる (1)	読解・ディスカッション	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)	14	多文化が共に生きる (2)	発表	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)	15	まとめ	これまで学んできた授業内容について 総復習する。	授業内容のふりかえり (1 時間)
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション 世界のニュースを英語で 時事問題を描く戯曲とは	読解・ディスカッション	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)																																																																
2	社会と子ども	発表	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)																																																																
3	難民状態になる、ということ	読解・ディスカッション	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)																																																																
4	戦争と報道	発表	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)																																																																
5	世界と日本の難民事情比較	読解・ディスカッション	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)																																																																
6	入国管理と受け入れ制度	発表	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)																																																																
7	難民問題を描く映画・劇・ドラマ (1)	読解・ディスカッション	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)																																																																
8	難民問題を描く映画・劇・ドラマ (2)	発表	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)																																																																
9	受け入れ側の視点 (1)	読解・ディスカッション	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)																																																																
10	受け入れ側の視点 (2)	発表	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)																																																																
11	歴史上の有名な人の難民体験 (1)	読解・ディスカッション	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)																																																																
12	歴史上の有名な人の難民体験 (2)	発表	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)																																																																
13	多文化が共に生きる (1)	読解・ディスカッション	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)																																																																
14	多文化が共に生きる (2)	発表	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)																																																																
15	まとめ	これまで学んできた授業内容について 総復習する。	授業内容のふりかえり (1 時間)																																																																
関連科目	リーディング II a, b など																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>『戯曲で学ぶ対話力 : based on Promised Land by Peter Griffith』 詳細は授業初回にお知らせします。 予定価格 1500 円。</td><td>塩沢泰子ほか</td><td>立教大学出版事業部</td></tr> <tr> <td>2</td><td>プリント教材</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td>そのほか教材フォルダにて配布</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	『戯曲で学ぶ対話力 : based on Promised Land by Peter Griffith』 詳細は授業初回にお知らせします。 予定価格 1500 円。	塩沢泰子ほか	立教大学出版事業部	2	プリント教材			3	そのほか教材フォルダにて配布																																																		
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	『戯曲で学ぶ対話力 : based on Promised Land by Peter Griffith』 詳細は授業初回にお知らせします。 予定価格 1500 円。	塩沢泰子ほか	立教大学出版事業部																																																																
2	プリント教材																																																																		
3	そのほか教材フォルダにて配布																																																																		
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	作文課題 20% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 80%																																																																		
学生へのメッセージ	視点を移すと、見えるものが変わってきます。自分が当たり前と思っていたことも、その背景を知らない人にとっては理解できないことかもしれません。自分とちがった文化圏で暮らしてきた人たちにわかるように、英語で伝えるには、どうしたらいいでしょうか？少しでもわかり合うことができれば、相手は将来、あなたの大切な友人となるかもしれません。試行錯誤していきましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 4 階 齋藤研究室																																																																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。																																																																		

科目名	ESP(English for Specific Purposes) a	科目名 (英文)	ESP (English For Specific Purposes) a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	三宅 一平
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL2041c0		

授業概要・目的	本科目は、国際キャリアコースの6つのパッケージプログラムのうち、「外国語専門職」プログラムを選択した学生を対象とした英語の授業です。よって、グローバルな視点から外国語専門職に関する英語の語彙や表現を習得することを目的とします。				
到達目標	英語を仕事のツールととらえ、「外国語専門職」の分野における基本的な語彙や表現を習得しながら、英文を読んだり、書いたりできるようになることを目標とします。				
授業方法と留意点	各授業で教科書を2ユニットずつ進める。 また教科書以外に、学期中に3つの短編小説を取り上げ、実践的な翻訳演習を行う。 短編翻訳の授業の際はグループワークを行い、事前に準備してきた訳をもとに、グループとしての訳を作る。				
科目学習の効果（資格）	TOEIC や英検 など				
授業計画		回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
		1	オリエンテーション	授業概要説明	シラバスに目を通しておくこと Unit 1, 2 の予習（1 時間）
		2	Unit 1: 辞書はただのコンサルタント Unit 2: やさしい英語がむずかしい	各ユニットの解説 練習問題の実践	Unit 3, 4 の予習（1 時間）
		3	Unit 3: まず主語を見つけよう Unit 4: 形式主語の'it'は	各ユニットの解説 練習問題の実践	Unit 5, 6 の予習（1 時間）
		4	Unit 5: 無生物名詞の主語はどう訳す Unit 6: 目的語と補語の関係は	各ユニットの解説 練習問題の実践	短編翻訳課題の準備（1 時間）
		5	短編小説翻訳演習	グループワークを通じた翻訳実践	Unit 7, 8 の予習（1 時間）
		6	Unit 7: 英文の語順に従って Unit 8: 名詞を動詞に代えてみる	各ユニットの解説 練習問題の実践	Unit 9, 10 の予習（1 時間）
		7	Unit 9: 形容詞・副詞を工夫して Unit 10: 修飾語と被修飾語はピッタリか	各ユニットの解説 練習問題の実践	Unit 11, 12 の予習（1 時間）
		8	Unit 11: 特定なのか不特定なのか Unit 12: 動作か状態か、動詞の意味を考えて	各ユニットの解説 練習問題の実践	短編翻訳課題の準備（1 時間）
		9	短編小説翻訳演習	グループワークを通じた翻訳実践	Unit 13, 14 の予習（1 時間）
		10	Unit 13: その助動詞はどう訳す Unit 14: 'Should, Would'を無視するな	各ユニットの解説 練習問題の実践	Unit 15, 16 の予習（1 時間）
		11	Unit 15: 時制の統一と不統一と Unit 16: 完了形、その意味は	各ユニットの解説 練習問題の実践	Unit 17, 18 の予習（1 時間）
		12	Unit 17: 受動を能動に Unit 18: 能動を受動に	各ユニットの解説 練習問題の実践	Unit 19, 20 の予習（1 時間）
		13	Unit 19: 仮定法、事実はいつのことなのか Unit 20: 不定詞の意味もいろいろ	各ユニットの解説 練習問題の実践	短編翻訳課題の準備（1 時間）
		14	短編小説翻訳演習	グループワークを通じた翻訳実践	まとめテスト準備（1 時間）
		15	まとめテスト	学期中に扱った中から複数の課題を翻訳する試験を行う	作文課題（1 時間）
関連科目	リーディング II a, b など				
教科書		番号	書籍名	著者名	出版社名
		1	英和翻訳入門	石黒昭博 他	南雲堂
		2	配布資料		
		3			
参考書		番号	書籍名	著者名	出版社名
		1			
		2			
		3			
評価方法（基準）	作文課題 20% まとめテスト 20% 提出物（各週の練習問題） 40%				

	授業への積極的参加度(グループワーク含む) 20%
学生へのメッセージ	直訳では伝えきることのできない英語の文章を、いかに読み物として日本語に翻訳していくか。柔軟な発想をもって臨んでください。
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ30時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。

科目名	ESP(English for Specific Purposes) a	科目名 (英文)	ESP (English For Specific Purposes) a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	久田 歩
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL2041c0		

授業概要・目的	本科目は、国際キャリアコースの6つのパッケージプログラムのうち、「メディアビジネス」プログラムを選択した学生を対象とした英語の授業です。よって、グローバルな視点からメディアビジネスに関する英語の語彙や表現を習得することを目的とします。 授業概要としては、次の2分野の教材に交互に取り組みます。一つは「映画」というメディアを通じての学習、もう一つは「メディアツール」を通じてのビジネス英語活用を学習します。
到達目標	英語を仕事のツールととらえ、「メディアビジネス」の分野における基本的な語彙や表現を習得しながら、英文を読んだり、書いたりできるようになることを目標とします。 ・日常英語の延長線上にあるビジネス英語も学習し、高いコミュニケーション能力を身につけましょう。 ・ネイティブスピーカーのナチュラルスピードの英語を聞くことに慣れましょう。 ・口語表現と書き言葉の違いに注目して、両方の解釈が取れるようにしましょう。
授業方法と留意点	1. 辞書を毎回持参すること。パソコン、アイパッドによるオンライン辞書使用は認めますが、スマートフォンを辞書として活用することは認めません。 2. 原則として欠席が4回に達すると単位取得できません。遅刻は3回で1回の欠席と勘定します。
科目学習の効果 (資格)	TOEICや英検など

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション Unit 1 Email Mania Night at the Museum	授業の進め方と評価方法等の説明 Addicted to email 映画前半	Unit 1 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)
	2	Unit 1 Email Mania Night at the Museum	単語テスト 1 Volume explosion 映画 1	Unit 1 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)
	3	Unit2 Email Spam Night at the Museum	単語テスト 2 Irritated by spam 映画 2	Unit 2 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)
	4	テスト Unit2 Email Spam Night at the Museum	単語テスト 3 Fighting spam 映画 3	テスト勉強 Unit 2 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)
	5	Unit 3 Email Fraud Night at the Museum	第一回チェックテスト Scam spam 映画 4	Unit 3 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)
	6	Unit 3 Email Fraud Night at the Museum	単語テスト 4 Getting personal information 映画 5	Unit 3 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)
	7	Unit4 Email Lingo Night at the Museum	単語テスト 5 LOL and more 映画調整日	Unit 4 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)
	8	テスト Unit4 Email Lingo Night at the Museum	単語テスト 6 Getting your point across 映画後半	テスト勉強 Unit 4 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)
	9	Unit5 Email Breakups Night at the Museum	単語テスト 7 Ending it with a click of the mouse 映画 6	Unit 5 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)
	10	Unit5 Email Breakups Night at the Museum	第二回チェックテスト Virtual goodbyes 映画 7	Unit 5 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)
	11	Unit6 Mobile Email Night at the Museum	単語テスト 8 Email on the go 映画 8	Unit 6 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)
	12	テスト Unit6 Mobile Email Night at the Museum	単語テスト 9 Youth Shun Email 映画 9	テスト勉強 Unit 6 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)
	13	Unit7 Email Efficiencies Night at the Museum	単語テスト 10 Faster communication 映画 10	Unit 7 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)
	14	Unit7 Email Efficiencies Night at the Museum	単語テスト 11 Businessman prefer Email 映画調整日	Unit 7 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)
	15	テスト Night at the Museum	第三回チェックテスト review	語彙暗記 テスト勉強 (2 時間)
関連科目	ESP(English for Specific Purposes)b			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	English for the Digital World	Mprma Reveler ほか	三修社
	2	Night at the Museum ナイトミュージアム	Robert B Grant 他	松柏社
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			

	2			
	3			
評価方法 (基準)	単語小テスト 33% 授業中テスト 54% 授業に対する積極的な姿勢 13% ※欠席4回未満、総合点60点以上を持って単位取得対象とする。			
学生への メッセージ	面白い内容で教材がそろえられたと思います。 口語表現やメディア用語は難しく思えるかもしれませんが、ひとつひとつ覚えていきましょう。			
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師室			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ30時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。			

科目名	ESP(English for Specific Purposes) a	科目名 (英文)	ESP (English For Specific Purposes) a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	平野 惟
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL2041c0		

授業概要・目的	授業概要： 本科目は、国際キャリアコースの6つのパッケージプログラムのうち、「観光ホスピタリティ」プログラムを選択した学生を対象とした英語の授業です。よって、テキストを読みながら、さまざまなアクティビティを通じて、観光業・ホスピタリティ産業に必要な英語の語彙や表現、仕事への態度を学びます。 授業目的： ・観光とホスピタリティについての調べ学習：基本的な知識を増やす。 ・基礎英会話の練習：簡単な英語が口から出てくるようにする。 ・英語を使ったアクティビティ：空港・機内・ホテル・レストラン、ショッピング、観光、乗り物、トラブル、観光地で役に立つ英語の表現を学ぶ。 ・ペアワークやグループワーク：コミュニケーション能力をつける。
到達目標	英語を仕事のツールととらえ、「観光ホスピタリティ」の分野における以下の項目について習得することを目指します。 ・業界についての知識の習得。 ・業界でよく用いられる英語の語彙・表現の習得。 ・業界で働くのに必要な英語のコミュニケーションの習得。 ・業界で必要とされるホスピタリティの精神の習得。
授業方法と留意点	特に観光業で必要とされる英語を中心に学習します。 テキストをしっかりと読んで、授業に出席してください。 毎回小テストをしますので、f 復習を忘れずにしてください。 国際キャリアコースの学生を対象とし、選択したプログラムによってESPのクラスが異なるので注意すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEICや英検など

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	ガイダンス	評価方法、授業の進め方、基本会話	授業の進め方などを確認するとともに、教科書の概要を把握する。(1時間)
	2	Transportation 交通案内	交通案内に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	交通案内に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)
	3	A t a Check-in Counter ホテルでのチェックイン	ホテルでのチェックインに必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	ホテルでのチェックインに関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)
	4	Facilities and Services ホテル内の施設やサービス案内	ホテル内の施設やサービス案内に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	ホテル内の施設やサービス案内に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)
	5	Giving Directions 街歩きのための道案内	街歩きのための道案内に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	街歩きのための道案内に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)
	6	Recommending a Trip 観光スポットを薦める	観光スポットを薦めるのに必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	観光スポットを薦めるのに必要な英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)
	7	Dining in Japan1&2 日本食の紹介	日本食の紹介に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	日本食の紹介に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)
	8	Arranging a Tour 国内旅行の手配	国内旅行の手配に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	国内旅行の手配に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)
	9	Staying at a Ryokan 旅館	旅館での滞在に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	旅館での滞在に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)
	10	Culture Experience in Japan1 日本文化体験	日本文化体験に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	日本文化体験に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)
	11	Culture Experience in Japan2 日本文化体験	日本文化体験に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	日本文化体験に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)
	12	Japanese Souvenirs ショッピング	ショッピングに必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	ショッピングに関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)
	13	Dealing with Health Problems and Emergencies けがや病気の対応	けがや病気の対応に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	けがや病気の対応に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)
	14	Dealing with Complaints and Accidents: Upon Departure クレームやアクシデントの対応	クレームやアクシデントの対応に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	クレームやアクシデントの対応に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)
	15	まとめのテスト	これまで学んできた授業内容について復習テストをする。	これまで学んできた授業内容について総復習する。(1時間)
関連科目	ESP(English for Specific Purposes)b など			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名

	1	Hospitality on the Scene	上杉恵美 他	金星堂
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	授業参加 30% 小テスト 40% まとめのテスト 30%			
学生への メッセージ	さまざまなアクティビティを通して、ホスピタリティ&おもてなしの精神やツーリズム業界について楽しく学びましょう。			
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師室			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ30時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。			

科目名	ESP(English for Specific Purposes) a	科目名 (英文)	ESP (English For Specific Purposes) a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	マイケル ハーキー
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL2041c0		

授業概要・目的	授業概要： 本科目は、国際キャリアコースの6つのパッケージプログラムのうち、「観光ホスピタリティ」プログラムを選択した学生を対象とした英語の授業です。よって、テキストを読みながら、さまざまなアクティビティを通じて、観光業・ホスピタリティ産業に必要な英語の語彙や表現、仕事への態度を学びます。 授業目的： ・観光とホスピタリティについての調べ学習：基本的な知識を増やす。 ・基礎英会話の練習：簡単な英語が口から出てくるようにする。 ・英語を使ったアクティビティ：空港・機内・ホテル・レストラン、ショッピング、観光、乗り物、トラブル、観光地で役に立つ英語の表現を学ぶ。 ・ペアワークやグループワーク：コミュニケーション能力をつける。																																																																		
到達目標	英語を仕事のツールととらえ、「観光ホスピタリティ」の分野における以下の項目について習得することを目指します。 ・業界についての知識の習得。 ・業界でよく用いられる英語の語彙・表現の習得。 ・業界で働くのに必要な英語のコミュニケーションの習得。 ・業界で必要とされるホスピタリティの精神の習得。																																																																		
授業方法と留意点	特に観光業で必要とされる英語を中心に学習します。 テキストをしっかりと読んで、授業に出席してください。 毎回小テストをしますので、f 復習を忘れずにしてください。 国際キャリアコースの学生を対象とし、選択したプログラムによってESPのクラスが異なるので注意すること。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	TOEICや英検など																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>ガイダンス</td><td>評価方法、授業の進め方、基本会話</td><td>授業の進め方などを確認するとともに、教科書の概要を把握する。(1時間)</td></tr> <tr> <td>2</td><td>Transportation 交通案内</td><td>交通案内に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。</td><td>交通案内に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)</td></tr> <tr> <td>3</td><td>A t a Check-in Counter ホテルでのチェックイン</td><td>ホテルでのチェックインに必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。</td><td>ホテルでのチェックインに関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)</td></tr> <tr> <td>4</td><td>Facilities and Services ホテル内の施設やサービス案内</td><td>ホテル内の施設やサービス案内に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。</td><td>ホテル内の施設やサービス案内に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)</td></tr> <tr> <td>5</td><td>Giving Directions 街歩きのための道案内</td><td>街歩きのための道案内に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。</td><td>街歩きのための道案内に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)</td></tr> <tr> <td>6</td><td>Recommending a Trip 観光スポットを薦める</td><td>観光スポットを薦めるのに必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。</td><td>観光スポットを薦めることに関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)</td></tr> <tr> <td>7</td><td>Dining in Japan1&2 日本食の紹介</td><td>日本食の紹介に必要な英語の語彙や表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。</td><td>日本食の紹介に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)</td></tr> <tr> <td>8</td><td>Arranging a Tour 国内旅行の手配</td><td>国内旅行の手配に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。</td><td>国内旅行の手配に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)</td></tr> <tr> <td>9</td><td>Staying at a Ryokan 旅館</td><td>旅館で必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。</td><td>旅館での滞在に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)</td></tr> <tr> <td>10</td><td>Culture Experience in Japan1 日本文化体験</td><td>日本文化体験に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。</td><td>日本文化体験に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)</td></tr> <tr> <td>11</td><td>Culture Experience in Japan2 日本文化体験</td><td>日本文化体験に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。</td><td>日本文化体験に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)</td></tr> <tr> <td>12</td><td>Japanese Souvenirs ショッピング</td><td>ショッピングに必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。</td><td>ショッピングに関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)</td></tr> <tr> <td>13</td><td>Dealing with Health Problems and Emergencies けがや病気の対応</td><td>けがや病気の対応に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。</td><td>けがや病気の対応に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)</td></tr> <tr> <td>14</td><td>Dealing with Complaints and Accidents: Upon Departure クレームやアクシデントの対応</td><td>クレームやアクシデントの対応に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。</td><td>クレームやアクシデントの対応に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)</td></tr> <tr> <td>15</td><td>まとめのテスト</td><td>これまで学んできた授業内容について復習テストをする。</td><td>これまで学んできた授業内容について総復習する。(1時間)</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	ガイダンス	評価方法、授業の進め方、基本会話	授業の進め方などを確認するとともに、教科書の概要を把握する。(1時間)	2	Transportation 交通案内	交通案内に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	交通案内に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)	3	A t a Check-in Counter ホテルでのチェックイン	ホテルでのチェックインに必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	ホテルでのチェックインに関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)	4	Facilities and Services ホテル内の施設やサービス案内	ホテル内の施設やサービス案内に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	ホテル内の施設やサービス案内に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)	5	Giving Directions 街歩きのための道案内	街歩きのための道案内に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	街歩きのための道案内に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)	6	Recommending a Trip 観光スポットを薦める	観光スポットを薦めるのに必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	観光スポットを薦めることに関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)	7	Dining in Japan1&2 日本食の紹介	日本食の紹介に必要な英語の語彙や表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	日本食の紹介に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)	8	Arranging a Tour 国内旅行の手配	国内旅行の手配に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	国内旅行の手配に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)	9	Staying at a Ryokan 旅館	旅館で必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	旅館での滞在に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)	10	Culture Experience in Japan1 日本文化体験	日本文化体験に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	日本文化体験に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)	11	Culture Experience in Japan2 日本文化体験	日本文化体験に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	日本文化体験に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)	12	Japanese Souvenirs ショッピング	ショッピングに必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	ショッピングに関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)	13	Dealing with Health Problems and Emergencies けがや病気の対応	けがや病気の対応に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	けがや病気の対応に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)	14	Dealing with Complaints and Accidents: Upon Departure クレームやアクシデントの対応	クレームやアクシデントの対応に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	クレームやアクシデントの対応に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)	15	まとめのテスト	これまで学んできた授業内容について復習テストをする。	これまで学んできた授業内容について総復習する。(1時間)
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	ガイダンス	評価方法、授業の進め方、基本会話	授業の進め方などを確認するとともに、教科書の概要を把握する。(1時間)																																																																
2	Transportation 交通案内	交通案内に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	交通案内に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)																																																																
3	A t a Check-in Counter ホテルでのチェックイン	ホテルでのチェックインに必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	ホテルでのチェックインに関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)																																																																
4	Facilities and Services ホテル内の施設やサービス案内	ホテル内の施設やサービス案内に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	ホテル内の施設やサービス案内に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)																																																																
5	Giving Directions 街歩きのための道案内	街歩きのための道案内に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	街歩きのための道案内に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)																																																																
6	Recommending a Trip 観光スポットを薦める	観光スポットを薦めるのに必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	観光スポットを薦めることに関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)																																																																
7	Dining in Japan1&2 日本食の紹介	日本食の紹介に必要な英語の語彙や表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	日本食の紹介に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)																																																																
8	Arranging a Tour 国内旅行の手配	国内旅行の手配に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	国内旅行の手配に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)																																																																
9	Staying at a Ryokan 旅館	旅館で必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	旅館での滞在に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)																																																																
10	Culture Experience in Japan1 日本文化体験	日本文化体験に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	日本文化体験に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)																																																																
11	Culture Experience in Japan2 日本文化体験	日本文化体験に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	日本文化体験に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)																																																																
12	Japanese Souvenirs ショッピング	ショッピングに必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	ショッピングに関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)																																																																
13	Dealing with Health Problems and Emergencies けがや病気の対応	けがや病気の対応に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	けがや病気の対応に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)																																																																
14	Dealing with Complaints and Accidents: Upon Departure クレームやアクシデントの対応	クレームやアクシデントの対応に必要な英語の表現について、ペアワークやグループワークなども利用して学習する。	クレームやアクシデントの対応に関する英語の語彙や表現について予習・復習する。(1時間)																																																																
15	まとめのテスト	これまで学んできた授業内容について復習テストをする。	これまで学んできた授業内容について総復習する。(1時間)																																																																
関連科目	ESP(English for Specific Purposes)b など																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名																																																												
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																

	1	Hospitality on the Scene	上杉恵美 他	金星堂
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	授業への参加度 30% 小テスト 40% まとめのテスト 30%			
学生への メッセージ	さまざまなアクティビティを通して、ホスピタリティ&おもてなしの精神やツーリズム業界について楽しく学びましょう。			
担当者の 研究室等	7号館3階 ハーキー研究室			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ30時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に研究室にて対応する。			

科目名	ESP(English for Specific Purposes) b	科目名 (英文)	ESP (English For Specific Purposes) b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	三宅 一平
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL2042c0		

授業概要・目的	本科目は、国際キャリアコースの6つのパッケージプログラムのうち、「外国語専門職」プログラムを選択した学生を対象とした英語の授業です。よって、よって、グローバルな視点から外国語専門職に関する英語の語彙や表現を習得することを目的とします。
到達目標	英語を仕事のツールととらえ、「外国語専門職」の分野における基本的な語彙や表現を習得しながら、英文を読んだり、書いたりできるようになることを目標とします。
授業方法と留意点	各授業で教科書を2ユニットずつ進める。 また教科書以外に、学期中に3つの短編小説を取り上げ、実践的な翻訳演習を行う。 短編翻訳の授業の際はグループワークを行い、事前に準備してきた訳をもとに、グループとしての訳を作る。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC や英検 など

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	前期の復習	前期の復習	前期の内容を確認しておく Unit 21, 22 の予習 (1 時間)
	2	Unit 21: 動詞の原形は何のため Unit 22: 分詞の用法もいろいろ	各ユニットの解説 練習問題の実践	Unit 23, 24 の予習 (1 時間)
	3	Unit 23: 分詞構文、その訳し方 Unit 24: 動名詞の句はどこまでか	各ユニットの解説 練習問題の実践	Unit 25, 26 の予習 (1 時間)
	4	Unit 25: 句の表現を節にして Unit 26: 「ところの」だけでは関係詞が泣く	各ユニットの解説 練習問題の実践	短編翻訳課題の準備 (1 時間)
	5	短編小説翻訳演習	グループワークを通じた翻訳実践	Unit 27, 28 の予習 (1 時間)
	6	Unit 27: 節の訳し方を考えよう Unit 28: 'of' の訳に注意して	各ユニットの解説 練習問題の実践	Unit 29, 30 の予習 (1 時間)
	7	Unit 29: 比較構文、ひとひねり Unit 30: 'less' は 'more' に代えてみる	各ユニットの解説 練習問題の実践	Unit 31, 32 の予習 (1 時間)
	8	Unit 31: 否定の表現、いろいろに Unit 32: 長い文は短く切って	各ユニットの解説 練習問題の実践	短編翻訳課題の準備 (1 時間)
	9	短編小説翻訳演習	グループワークを通じた翻訳実践	Unit 33, 34 の予習 (1 時間)
	10	Unit 33: 語句を補ってわかりやすく Unit 34: 同格構文、その訳し方	各ユニットの解説 練習問題の実践	Unit 35, 36 の予習 (1 時間)
	11	Unit 35: 共通関係を把握しよう Unit 36: 控えめな主張の譲歩構文	各ユニットの解説 練習問題の実践	Unit 37, 38 の予習 (1 時間)
	12	Unit 37: 語句の倒置は何のため Unit 38: 文にめりはり、強調表現	各ユニットの解説 練習問題の実践	Unit 39, 40 の予習 (1 時間)
	13	Unit 39: 挿入語句をどう訳す Unit 40: 語句の相関に注目しよう	各ユニットの解説 練習問題の実践	短編翻訳課題の準備 (1 時間)
	14	短編小説翻訳演習	グループワークを通じた翻訳実践	まとめテスト準備 (1 時間)
	15	まとめテスト	学期中に扱った中から複数の課題を翻訳する試験を行う	作文課題 (1 時間)

関連科目	リーディング II a, b など
------	-------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	英和翻訳入門	石黒昭博 他	南雲堂
	2	配布資料		
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	作文課題 20% まとめテスト 20% 提出物(各週の練習問題) 40% 授業への積極的参加度(グループワーク含む) 20%
学生への メッセージ	直訳では伝えきることのできない英語の文章を、いかに読み物として日本語に翻訳していくか。柔軟な発想をもって臨んでください。
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師室
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。

科目名	ESP(English for Specific Purposes) b	科目名 (英文)	ESP (English For Specific Purposes) b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	矢野 涼子
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL2042c0		

授業概要・目的	本科目は、国際キャリアコースの6つのパッケージプログラムのうち、「国際ビジネス」プログラムを選択した学生を対象とした英語の授業です。よって、グローバルな視点からビジネスに関する英語の語彙や表現を習得することを目的とします。
到達目標	英語を仕事のツールととらえ、「国際ビジネス」の分野における基本的な語彙や表現を習得しながら、英文を読んだり、書いたりできるようになることを目標とします。
授業方法と留意点	・授業は「グループワーク」形式で行い、特にビジネスの分野で必要とされる英語を中心に学習します。 ・国際キャリアコースの学生を対象とし、選択したプログラムによって ESP のクラスが異なるので注意すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC や英検 など

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション Chapter 8: Can I Make a Point Here?	英語による自己紹介、授業の進め方や評価方法の説明、Chapter 8 の導入	テキスト全体に目を通しておく (1 時間)
	2	Chapter 8: Can I Make a Point Here?	聴解 (DVD 視聴) と読解を中心に英語表現と語彙や文法を解説し、単純な作文・会話活動を行う。	今回の Chapter のリーディング文章を読んでおくこと。(1 時間)
	3	Chapter 9: I'm Not Sure I Agree	小テストを終えてから、聴解 (DVD 視聴) を中心に英語表現を解説し、単純な作文・会話活動を行う。	小テストのための復習を行うこと。(1 時間)
	4	Chapter 9: I'm Not Sure I Agree	読解を中心に語彙や文法を解説し、単純な作文・会話活動を行う。	今回の Chapter のリーディング文章を読み、ライティング課題を提出すること。(1 時間)
	5	Chapter 10: Today's Topic Is	小テストを終えてから、聴解 (DVD 視聴) を中心に英語表現を解説し、単純な作文・会話活動を行う。	小テストのための復習を行うこと。(1 時間)
	6	Chapter 10: Today's Topic Is	読解を中心に語彙や文法を解説し、単純な作文・会話活動を行う。	今回の Chapter のリーディング文章を読み、ライティング課題を提出すること。(1 時間)
	7	Chapter 11: To Sum Up	小テストを終えてから、聴解 (DVD 視聴) を中心に英語表現を解説し、単純な作文・会話活動を行う。	小テストのための復習を行うこと。(1 時間)
	8	Chapter 11: To Sum Up	読解を中心に語彙や文法を解説し、単純な作文・会話活動を行う。	今回の Chapter のリーディング文章を読み、ライティング課題を提出すること。(1 時間)
	9	Chapter 12: Any Questions?	小テストを終えてから、聴解 (DVD 視聴) を中心に英語表現を解説し、単純な作文・会話活動を行う。	小テストのための復習を行うこと。(1 時間)
	10	Chapter 12: Any Questions?	読解を中心に語彙や文法を解説し、単純な作文・会話活動を行う。	今回の Chapter のリーディング文章を読み、ライティング課題を提出すること。(1 時間)
	11	Chapter 13: Making the Offer	小テストを終えてから、聴解 (DVD 視聴) を中心に英語表現を解説し、単純な作文・会話活動を行う。	小テストのための復習を行うこと。(1 時間)
	12	Chapter 13: Making the Offer	読解を中心に語彙や文法を解説し、単純な作文・会話活動を行う。	今回の Chapter のリーディング文章を読み、ライティング課題を提出すること。(1 時間)
	13	Chapter 14: That's My Final Offer	小テストを終えてから、聴解 (DVD 視聴) を中心に英語表現を解説し、単純な作文・会話活動を行う。	小テストのための復習を行うこと。(1 時間)
	14	Chapter 14: That's My Final Offer Chapter 15: Finalizing the Deal	読解を中心に語彙や文法を解説し、単純な作文・会話活動を行う。Chapter 15 を導入する。	Chapter 14 のリーディング文章を読み、ライティング課題を提出すること。(1 時間)
	15	Chapter 15: Finalizing the Deal	小テストを終えてから、聴解 (DVD 視聴) と読解を中心に英語表現と語彙や文法を解説し、単純な作文・会話活動を行う。	小テストのための復習を行うこと。Chapter15 のリーディング文章を読み、ライティング課題を提出すること。(1 時間)

関連科目	ESP (English for Specific Purposes) a
------	---------------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Interactive Business English on DVD	徳田 豊、他	成美堂
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	(必要に応じて指示します)		
	2			
	3			

評価方法 (基準)	作文課題 20% 授業への取り組みの評価 40% 小テスト 40%
学生へのメッセージ	みなさんと相談をしながら楽しい授業にしたいと思っています。そのために、遅刻をしない、提出物を提出するなど、できることはきちんとやってください。難しいこと、できないことは「難しい、できない」と先生に伝えてください。一緒に充実した時間を過ごしましょう。
担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。
----	---

科目名	ESP(English for Specific Purposes) b	科目名 (英文)	ESP (English For Specific Purposes) b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	永富 真梨
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL2042c0		

授業概要・目的	本科目は、国際キャリアコースの6つのパッケージプログラムのうち、「観光ホスピタリティ」を選択した学生を対象とした英語の授業です。 授業概要： テキストを読みながら、さまざまなアクティビティを通じて、観光業・ホスピタリティ産業に必要な英語の語彙や表現、仕事への態度を学びます。 授業目的： ・観光とホスピタリティについての調べ学習： 基本的な知識を増やす。 ・基礎英会話の練習：簡単な英語が口から出てくるようにする。 ・英語を使ったアクティビティ：空港・機内・ホテル・レストラン、ショッピング、観光、乗り物、トラブル、観光地で役に立つ英語の表現を学ぶ。 ・ペアワークやグループワーク：コミュニケーション能力をつける。
到達目標	英語を仕事のツールととらえ、「観光ホスピタリティ」の分野における以下の項目について習得することを目指します。 ・業界についての知識の習得。 ・業界でよく用いられる英語の語彙・表現の習得。 ・業界で働くのに必要な英語のコミュニケーションの習得。 ・業界で必要とされるホスピタリティの精神の習得。
授業方法と留意点	・リスニングやリーディングを基本としながらも、ロールプレイなども取り入れて学習していきます。 ・テキストをしっかりと読んで、授業に出席してください。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC や英検 など

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	イントロダクション	授業の進め方と評価についての説明	教科書を購入し、一読する。 次の授業で扱うチャプター 1 でわからない語句を調べておく (1 時間)
	2	Chapter 1: Preparing for the Trip ??旅の準備をしよう	リスニング リーディング ロールプレイ	次の授業で扱うチャプター 2 でわからない語句を調べておく (1 時間)
	3	Chapter 2: On the Airplane ??機内にて	リスニング リーディング ロールプレイ	次の授業で扱うチャプター 3 でわからない語句を調べておく (1 時間)
	4	Chapter 3: Arrival and Passport Control ??到着と入国審査	リスニング リーディング ロールプレイ	次の授業で扱うチャプター 4 でわからない語句を調べておく (1 時間)
	5	Chapter 4: Banking and Leaving the Airport ??両替をしよう	リスニング リーディング ロールプレイ	次の授業で扱うチャプター 5 でわからない語句を調べておく (1 時間)
	6	Chapter 5: Checking Into the Hotel ??ホテルにチェックインしよう	リスニング リーディング ロールプレイ	次の授業で扱うチャプター 6 でわからない語句を調べておく (1 時間)
	7	Chapter 6: Hotel Facilities ??ホテル内の施設を利用しよう	リスニング リーディング ロールプレイ	チャプター 1～6 の復習をする (1 時間)
	8	中間のまとめ	中間のまとめテスト	次の授業で扱うチャプター 7 でわからない語句を調べておく (1 時間)
	9	Chapter 7: Let's Eat! ??食事をしよう	リスニング リーディング ロールプレイ	次の授業で扱うチャプター 8 でわからない語句を調べておく (1 時間)
	10	Chapter 8: Sightseeing ??観光に行こう	リスニング リーディング ロールプレイ	次の授業であつかうチャプター 9 でわからない語句を調べておく (1 時間)
	11	Chapter 9: Making Small Talk ??会話をしよう	リスニング リーディング ロールプレイ	次の授業で扱うチャプター 10 でわからない語句を調べておく (1 時間)
	12	Chapter 10: Shopping ??ショッピングをしよう	リスニング リーディング ロールプレイ	次の授業で扱うチャプター 11 でわからない語句を調べておく (1 時間)
	13	Chapter 11: Feeling Sick ??体調を崩してしまったら	リスニング リーディング ロールプレイ	次の授業で扱うチャプター 13 でわからない語句を調べておく (1 時間)
	14	Chapter 13: Checking Out of the Hotel ??ホテルをチェックアウトしよう	リスニング リーディング ロールプレイ	チャプター 7～11、13 の復習をする (1 時間)
	15	まとめ (復習) のテスト 総括	これまで学んできた授業内容について 復習テストをする。	これまで学んできた授業内容について総復習をする。

関連科目	ESP(English for Specific Purposes)a など			
教科書				
	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	場面別フレーズで学ぶ はじめての旅行英会話	Diane H. Nagatomo, 村瀬文子	金星堂
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	作文課題 20% 授業中の確認テスト・発言・討論、宿題、提出物等 80%			
学生への メッセージ	本授業では、海外に旅をする視点から書かれた教科書を利用して、観光英語を学びます。観光客を迎える人、観光客を送り出す人、実際に観光客になった時に利用できる英語のフレーズや、理解力を養います。一緒に頑張りましょう			
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師室			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ30時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。 授業の進度は、上記の表を目安とするが、開講後の様子を見て、必要であれば調整します。			

科目名	ESP(English for Specific Purposes) b	科目名 (英文)	ESP (English For Specific Purposes) b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	齋藤 安以子
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL2042c0		

授業概要・目的	本科目は、国際キャリアコースの6つのパッケージプログラムのうち、「国際教養」プログラムを選択した学生を対象とした英語の授業です。よって、グローバルな視点から国際教養に関する英語の語彙や表現を習得することを目的とします。 日本と世界をアートと時事の二つの視点から見つめ、情報をわかりやすく説明したり、表現したりする英語を学習します。また、日本から英語、英語から日本語の、音声通訳および文字による翻訳のための演習も行います。																																																																		
到達目標	英語を仕事のツールととらえ、「国際教養」の分野における基本的な語彙や表現を習得しながら、英文を読んだり、書いたりできるようになることを目標とします。 国内だけでなく、世界の出来事に関心を向け、それらについて自分の見解を述べるために必要な基本的語彙や表現を習得しながら、英文を読んだり、離したり、書いたりできるようになることも目標とします。																																																																		
授業方法と留意点	- 発表やディスカッションも織り交ぜながら授業を進めていきます。 - 国際キャリアコースの英語専攻の学生を対象とし、選択したプログラムによって ESP のクラスが異なるので注意すること。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	TOEIC や英検など																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>オリエンテーション 世界のニュースを英語で 時事問題を描く映画・文学と は</td><td>読解・ディスカッション</td><td>報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>2</td><td>食糧生産 (1)</td><td>読解・ディスカッション</td><td>報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>3</td><td>食糧生産 (2)</td><td>読解・ディスカッション</td><td>報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>4</td><td>食糧生産 (3)</td><td>発表</td><td>報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>5</td><td>国境を超える犯罪捜査 (1)</td><td>読解・ディスカッション</td><td>報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>6</td><td>国境を超える犯罪捜査 (2)</td><td>読解・ディスカッション</td><td>報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>7</td><td>国境を超える犯罪捜査 (3)</td><td>発表</td><td>報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>8</td><td>科学と倫理 (1)</td><td>読解・ディスカッション</td><td>報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>9</td><td>科学と倫理 (2)</td><td>読解・ディスカッション</td><td>報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>10</td><td>科学と倫理 (3)</td><td>発表</td><td>報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>11</td><td>日本発の製品・文化を世界に (1)</td><td>読解・ディスカッション</td><td>報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>12</td><td>日本発の製品・文化を世界に (2)</td><td>読解・ディスカッション</td><td>報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>13</td><td>日本発の製品・文化を世界に (3)</td><td>発表</td><td>報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>14</td><td>ポスター発表 (1)</td><td>発表と相互に質問</td><td>報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>15</td><td>ポスター発表 (2)</td><td>発表と相互に質問</td><td>ふりかえり (1 時間)</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション 世界のニュースを英語で 時事問題を描く映画・文学と は	読解・ディスカッション	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)	2	食糧生産 (1)	読解・ディスカッション	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)	3	食糧生産 (2)	読解・ディスカッション	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)	4	食糧生産 (3)	発表	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)	5	国境を超える犯罪捜査 (1)	読解・ディスカッション	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)	6	国境を超える犯罪捜査 (2)	読解・ディスカッション	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)	7	国境を超える犯罪捜査 (3)	発表	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)	8	科学と倫理 (1)	読解・ディスカッション	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)	9	科学と倫理 (2)	読解・ディスカッション	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)	10	科学と倫理 (3)	発表	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)	11	日本発の製品・文化を世界に (1)	読解・ディスカッション	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)	12	日本発の製品・文化を世界に (2)	読解・ディスカッション	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)	13	日本発の製品・文化を世界に (3)	発表	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)	14	ポスター発表 (1)	発表と相互に質問	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)	15	ポスター発表 (2)	発表と相互に質問	ふりかえり (1 時間)
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション 世界のニュースを英語で 時事問題を描く映画・文学と は	読解・ディスカッション	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)																																																																
2	食糧生産 (1)	読解・ディスカッション	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)																																																																
3	食糧生産 (2)	読解・ディスカッション	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)																																																																
4	食糧生産 (3)	発表	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)																																																																
5	国境を超える犯罪捜査 (1)	読解・ディスカッション	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)																																																																
6	国境を超える犯罪捜査 (2)	読解・ディスカッション	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)																																																																
7	国境を超える犯罪捜査 (3)	発表	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)																																																																
8	科学と倫理 (1)	読解・ディスカッション	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)																																																																
9	科学と倫理 (2)	読解・ディスカッション	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)																																																																
10	科学と倫理 (3)	発表	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)																																																																
11	日本発の製品・文化を世界に (1)	読解・ディスカッション	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)																																																																
12	日本発の製品・文化を世界に (2)	読解・ディスカッション	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)																																																																
13	日本発の製品・文化を世界に (3)	発表	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)																																																																
14	ポスター発表 (1)	発表と相互に質問	報道記事を読む・聴く 復習 (1 時間)																																																																
15	ポスター発表 (2)	発表と相互に質問	ふりかえり (1 時間)																																																																
関連科目	リーディング II a, b など																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>『戯曲で学ぶ対話力: based on Promised Land by Peter Griffith』 詳細は授業初回にお知らせします。 予定価格 1500 円。</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td>プリント教材</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td>そのほか教材フォルダで配布</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	『戯曲で学ぶ対話力: based on Promised Land by Peter Griffith』 詳細は授業初回にお知らせします。 予定価格 1500 円。			2	プリント教材			3	そのほか教材フォルダで配布																																																		
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	『戯曲で学ぶ対話力: based on Promised Land by Peter Griffith』 詳細は授業初回にお知らせします。 予定価格 1500 円。																																																																		
2	プリント教材																																																																		
3	そのほか教材フォルダで配布																																																																		
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	作文課題 20% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 80%																																																																		
学生へのメッセージ	視点を移すと、見えるものが変わってきます。自分が当たり前と思っていたことも、その背景を知らない人にとっては理解できないことかもしれません。自分とちがった文化圏で暮らしてきた人たちにわかるように、英語で伝えるには、どうしたらいいでしょう？少しでもわかり合うことができれば、相手は将来、あなたの大切な友人となるかもしれません。試行錯誤していきましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 4 階 齋藤研究室																																																																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。																																																																		

科目名	ESP(English for Specific Purposes) b	科目名 (英文)	ESP (English For Specific Purposes) b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	江崎 早苗
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL2042c0		

授業概要・目的	本科目は、国際キャリアコースの6つのパッケージプログラムのうち、「国際貢献」プログラムを選択した学生を対象とした英語の授業です。よって、グローバルな視点から国際貢献に関する英語の語彙や表現を習得することを目的とします。
到達目標	英語を仕事のツールととらえ、「国際貢献」の分野における基本的な語彙や表現を習得しながら、英文を読んだり、書いたりできるようになることを目標とします。
授業方法と留意点	国際キャリアコースの英語専攻の学生を対象とし、選択したプログラムによって ESP のクラスが異なるので注意すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC や英検など

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	授業のガイダンス	シラバスの熟読 (1 時間)
	2	Unit 1 Giving Directions and Helping Input	テーマに関する英語の語彙や表現を実践的に習得する。	発音練習 映像を再度確認し、英語表現を身に着ける (1 時間)
	3	Unit 1 Giving Directions and Helping Output	テーマに関する英語の語彙や表現を実践的に習得する。	発音練習 映像を再度確認し、英語表現を身に着ける (1 時間)
	4	Unit 2 Talking about Yourself Input	テーマに関する英語の語彙や表現を実践的に習得する。	発音練習 映像を再度確認し、英語表現を身に着ける (1 時間)
	5	Unit 2 Talking about Yourself Output	テーマに関する英語の語彙や表現を実践的に習得する。	発音練習 映像を再度確認し、英語表現を身に着ける (1 時間)
	6	Unit 4 Commuting by Train Input	テーマに関する英語の語彙や表現を実践的に習得する。	発音練習 映像を再度確認し、英語表現を身に着ける (1 時間)
	7	Unit 4 Commuting by Train Output	テーマに関する英語の語彙や表現を実践的に習得する。	発音練習 映像を再度確認し、英語表現を身に着ける (1 時間)
	8	Unit 7 Finding friends Input	テーマに関する英語の語彙や表現を実践的に習得する。	発音練習 映像を再度確認し、英語表現を身に着ける (1 時間)
	9	Unit 7 Finding friends Output	テーマに関する英語の語彙や表現を実践的に習得する。	発音練習 映像を再度確認し、英語表現を身に着ける (1 時間)
	10	Unit 8 Potluck Input	テーマに関する英語の語彙や表現を実践的に習得する。	発音練習 映像を再度確認し、英語表現を身に着ける (1 時間)
	11	Unit 8 Potluck Output	テーマに関する英語の語彙や表現を実践的に習得する。	発音練習 映像を再度確認し、英語表現を身に着ける (1 時間)
	12	Unit 13 Part-time Jobs Input	テーマに関する英語の語彙や表現を実践的に習得する。	発音練習 映像を再度確認し、英語表現を身に着ける (1 時間)
	13	Unit 13 Part-time Jobs Output	テーマに関する英語の語彙や表現を実践的に習得する。	発音練習 映像を再度確認し、英語表現を身に着ける (1 時間)
	14	Unit 15 Asakusa Output	テーマに関する英語の語彙や表現を実践的に習得する。	発音練習 映像を再度確認し、英語表現を身に着ける (1 時間)
	15	Unit 15 Asakusa Output	テーマに関する英語の語彙や表現を実践的に習得する。	発音練習 映像を再度確認し、英語表現を身に着ける (1 時間)

関連科目	ESP(English for Specific Purposes)a など
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	ようこそ！ ニッポンへ	田地野 彰	朝日出版社

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	英和辞典・和英辞典		

評価方法 (基準)	隔週の Output 課題 70% 授業への取り組み 30%
-----------	-----------------------------------

学生へのメッセージ	ESP はパッケージプログラムと連動する英語科目です。自分の将来をしっかりと見据えて英語学習に取り組みましょう。
-----------	--

担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室
----------	-----------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。Output 課題に関するフィードバックならびに、質問等は授業内で対応します。
----	---

科目名	ESP(English for Specific Purposes) b	科目名 (英文)	ESP (English For Specific Purposes) b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	久田 歩
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL2042c0		

授業概要・目的	本科目は、国際キャリアコースの6つのパッケージプログラムのうち、「メディアビジネス」プログラムを選択した学生を対象とした英語の授業です。よって、グローバルな視点からメディアビジネスに関する英語の語彙や表現を習得することを目的とします。 授業概要としては、次の2分野の教材に交互に取り組みます。一つは「映画」というメディアを通じての学習、もう一つは「メディアツール」を通じてのビジネス英語活用を学習します。																																																																		
到達目標	英語を仕事のツールととらえ、「メディアビジネス」の分野における基本的な語彙や表現を習得しながら、英文を読んだり、書いたりできるようになることを目標とします。 ・日常英語の延長線上にあるビジネス英語も学習し、高いコミュニケーション能力を身につけましょう。 ・ネイティブスピーカーのナチュラルスピードの英語を聞くことに慣れましょう。 ・口語表現と書き言葉の違いに注目して、両方の解釈が取れるようにしましょう。																																																																		
授業方法と留意点	1. 辞書を毎回持参すること。パソコン、タブレットによるオンライン辞書使用は認めますが、スマートフォンを辞書として活用することは認めません。 2. 原則として欠席が4回に達すると単位取得できません。遅刻は3回で1回の欠席と勘定します。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	TOEIC や英検 など																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>オリエンテーション Unit 8 Social Networking Sites Charade</td><td>授業の進め方と評価方法等の説明 The Facebook Phenomenon 映画 1</td><td>Unit 8 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>2</td><td>Unit 8 Social Networking Sites Charade</td><td>単語テスト 1 Social Networking Trouble 映画 2</td><td>Unit 8 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>3</td><td>Unit 9 Blogging Charade</td><td>単語テスト 2 Telling the World 映画 3 & 4</td><td>Unit 9 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>4</td><td>テスト Unit 9 Blogging Charade</td><td>第一回チェックテスト Popular Japan 映画 5 まとめレポート 1</td><td>テスト勉強 Unit 9 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>5</td><td>Unit 10 Information Superhighway Charade</td><td>単語テスト 3 Knowledge Haven 映画 6</td><td>Unit 10 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>6</td><td>Unit 10 Information Superhighway Charade</td><td>単語テスト 4 Sharing What You Know 映画 7</td><td>Unit 10 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>7</td><td>Unit 11 Online Gambling Charade</td><td>単語テスト 5 Clicking, Chances and Control 映画 8 まとめレポート 2</td><td>Unit 11 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>8</td><td>テスト Unit 11 Online Gambling Charade</td><td>単語テスト 6 Online Casinos and Japan 映画 9 & 10</td><td>テスト勉強 Unit 11 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>9</td><td>Unit 12 Citizen Journalism Charade</td><td>単語テスト 7 On-the-Scene Reporting 映画 11</td><td>Unit 12 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>10</td><td>Unit 12 Citizen Journalism Charade</td><td>第二回チェックテスト OHMYNEWS in Japan 映画 12</td><td>Unit 12 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>11</td><td>Unit 13 Online Shopping Charade</td><td>単語テスト 8 E-Commerce Boom 映画 13 まとめレポート 3</td><td>Unit 13 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>12</td><td>テスト Unit 13 Online Shopping Charade</td><td>単語テスト 9 On line Shopong and Social Networks 映画 14</td><td>テスト勉強 Unit 13 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>13</td><td>Unit 14 Advertising Internet Charade</td><td>単語テスト 10 Cyberspace Sales 映画 15</td><td>Unit 14 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>14</td><td>Unit 14 Advertising Internet Charade</td><td>単語テスト 11 Japan connected to Advertising 映画 16 まとめレポート 4</td><td>Unit 14 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>15</td><td>テスト 復習</td><td>第三回チェックテスト review</td><td>語彙暗記 テスト勉強 (2 時間)</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション Unit 8 Social Networking Sites Charade	授業の進め方と評価方法等の説明 The Facebook Phenomenon 映画 1	Unit 8 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)	2	Unit 8 Social Networking Sites Charade	単語テスト 1 Social Networking Trouble 映画 2	Unit 8 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)	3	Unit 9 Blogging Charade	単語テスト 2 Telling the World 映画 3 & 4	Unit 9 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)	4	テスト Unit 9 Blogging Charade	第一回チェックテスト Popular Japan 映画 5 まとめレポート 1	テスト勉強 Unit 9 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)	5	Unit 10 Information Superhighway Charade	単語テスト 3 Knowledge Haven 映画 6	Unit 10 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)	6	Unit 10 Information Superhighway Charade	単語テスト 4 Sharing What You Know 映画 7	Unit 10 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)	7	Unit 11 Online Gambling Charade	単語テスト 5 Clicking, Chances and Control 映画 8 まとめレポート 2	Unit 11 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)	8	テスト Unit 11 Online Gambling Charade	単語テスト 6 Online Casinos and Japan 映画 9 & 10	テスト勉強 Unit 11 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)	9	Unit 12 Citizen Journalism Charade	単語テスト 7 On-the-Scene Reporting 映画 11	Unit 12 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)	10	Unit 12 Citizen Journalism Charade	第二回チェックテスト OHMYNEWS in Japan 映画 12	Unit 12 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)	11	Unit 13 Online Shopping Charade	単語テスト 8 E-Commerce Boom 映画 13 まとめレポート 3	Unit 13 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)	12	テスト Unit 13 Online Shopping Charade	単語テスト 9 On line Shopong and Social Networks 映画 14	テスト勉強 Unit 13 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)	13	Unit 14 Advertising Internet Charade	単語テスト 10 Cyberspace Sales 映画 15	Unit 14 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)	14	Unit 14 Advertising Internet Charade	単語テスト 11 Japan connected to Advertising 映画 16 まとめレポート 4	Unit 14 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)	15	テスト 復習	第三回チェックテスト review	語彙暗記 テスト勉強 (2 時間)
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション Unit 8 Social Networking Sites Charade	授業の進め方と評価方法等の説明 The Facebook Phenomenon 映画 1	Unit 8 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)																																																																
2	Unit 8 Social Networking Sites Charade	単語テスト 1 Social Networking Trouble 映画 2	Unit 8 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)																																																																
3	Unit 9 Blogging Charade	単語テスト 2 Telling the World 映画 3 & 4	Unit 9 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)																																																																
4	テスト Unit 9 Blogging Charade	第一回チェックテスト Popular Japan 映画 5 まとめレポート 1	テスト勉強 Unit 9 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)																																																																
5	Unit 10 Information Superhighway Charade	単語テスト 3 Knowledge Haven 映画 6	Unit 10 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)																																																																
6	Unit 10 Information Superhighway Charade	単語テスト 4 Sharing What You Know 映画 7	Unit 10 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)																																																																
7	Unit 11 Online Gambling Charade	単語テスト 5 Clicking, Chances and Control 映画 8 まとめレポート 2	Unit 11 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)																																																																
8	テスト Unit 11 Online Gambling Charade	単語テスト 6 Online Casinos and Japan 映画 9 & 10	テスト勉強 Unit 11 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)																																																																
9	Unit 12 Citizen Journalism Charade	単語テスト 7 On-the-Scene Reporting 映画 11	Unit 12 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)																																																																
10	Unit 12 Citizen Journalism Charade	第二回チェックテスト OHMYNEWS in Japan 映画 12	Unit 12 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)																																																																
11	Unit 13 Online Shopping Charade	単語テスト 8 E-Commerce Boom 映画 13 まとめレポート 3	Unit 13 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)																																																																
12	テスト Unit 13 Online Shopping Charade	単語テスト 9 On line Shopong and Social Networks 映画 14	テスト勉強 Unit 13 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)																																																																
13	Unit 14 Advertising Internet Charade	単語テスト 10 Cyberspace Sales 映画 15	Unit 14 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)																																																																
14	Unit 14 Advertising Internet Charade	単語テスト 11 Japan connected to Advertising 映画 16 まとめレポート 4	Unit 14 の語彙暗記 読み直し スクリプト確認 (2 時間)																																																																
15	テスト 復習	第三回チェックテスト review	語彙暗記 テスト勉強 (2 時間)																																																																
関連科目	ESP(English for Specific Purposes) a など																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名																																																												
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																

	1	English for the Digital World	Mprma Reveler ほか	三修社
	2	Charade	Kenzo Soneda 他	開文社
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	単語小テスト 33% 授業中テスト 54% 授業に対する積極的な姿勢 13% ※欠席4回未満、総合点60点以上を持って単位取得対象とする。			
学生への メッセージ	面白い内容で教材がそろえられたと思うので頑張りましょう。			
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師室			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ30時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時（木曜日午前中）に非常勤講師室にて対応する。			

科目名	ESP(English for Specific Purposes) b	科目名 (英文)	ESP (English For Specific Purposes) b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	平野 惟
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL2042c0		

授業概要・目的	本科目は、国際キャリアコースの6つのパッケージプログラムのうち、「観光ホスピタリティ」を選択した学生を対象とした英語の授業です。 授業概要： テキストを読みながら、さまざまなアクティビティを通じて、観光業・ホスピタリティ産業に必要な英語の語彙や表現、仕事への態度を学びます。 授業目的： ・観光とホスピタリティについての調べ学習： 基本的な知識を増やす。 ・基礎英会話の練習：簡単な英語が口から出てくるようにする。 ・英語を使ったアクティビティ：空港・機内・ホテル・レストラン、ショッピング、観光、乗り物、トラブル、観光地で役に立つ英語の表現を学ぶ。 ・ペアワークやグループワーク：コミュニケーション能力をつける。
到達目標	英語を仕事のツールととらえ、「観光ホスピタリティ」の分野における以下の項目について習得することを目指します。 ・業界についての知識の習得。 ・業界でよく用いられる英語の語彙・表現の習得。 ・業界で働くのに必要な英語のコミュニケーションの習得。 ・業界で必要とされるホスピタリティの精神の習得。
授業方法と留意点	・リスニングやリーディングを基本としながらも、ロールプレイなども取り入れて学習していきます。 ・テキストをしっかりと読んで、授業に出席してください。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC や英検 など

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	イントロダクション	授業の進め方と評価についての説明	教科書を購入し、一読しておく。 次の授業で扱うチャプター 1 でわからない語句を調べておく (1 時間)
	2	Chapter 1: Preparing for the Trip ??旅の準備をしよう	リスニング リーディング ロールプレイ	次の授業で扱うチャプター 2 でわからない語句を調べておく (1 時間)
	3	Chapter 2: On the Airplane ??機内にて	リスニング リーディング ロールプレイ	次の授業で扱うチャプター 3 でわからない語句を調べておく (1 時間)
	4	Chapter 3: Arrival and Passport Control ??到着と入国審査	リスニング リーディング ロールプレイ	次の授業で扱うチャプター 4 でわからない語句を調べておく (1 時間)
	5	Chapter 4: Banking and Leaving the Airport ??両替をしよう	リスニング リーディング ロールプレイ	次の授業で扱うチャプター 5 でわからない語句を調べておく (1 時間)
	6	Chapter 5: Checking Into the Hotel ??ホテルにチェックインしよう	リスニング リーディング ロールプレイ	次の授業で扱うチャプター 6 でわからない語句を調べておく (1 時間)
	7	Chapter 6: Hotel Facilities ??ホテル内の施設を利用しよう	リスニング リーディング ロールプレイ	チャプター 1～6 の復習をする (1 時間)
	8	中間のまとめ	中間のまとめテスト	次の授業で扱うチャプター 7 でわからない語句を調べておく (1 時間)
	9	Chapter 7: Let's Eat! ??食事をしよう	リスニング リーディング ロールプレイ	次の授業で扱うチャプター 8 でわからない語句を調べておく (1 時間)
	10	Chapter 8: Sightseeing ??観光に行こう	リスニング リーディング ロールプレイ	次の授業であつかうチャプター 9 でわからない語句を調べておく (1 時間)
	11	Chapter 9: Making Small Talk ??会話をしよう	リスニング リーディング ロールプレイ	次の授業で扱うチャプター 10 でわからない語句を調べておく (1 時間)
	12	Chapter 10: Shopping ??ショッピングをしよう	リスニング リーディング ロールプレイ	次の授業で扱うチャプター 11 でわからない語句を調べておく (1 時間)
	13	Chapter 11: Feeling Sick ??体調を崩してしまったら	リスニング リーディング ロールプレイ	次の授業で扱うチャプター 13 でわからない語句を調べておく (1 時間)
	14	Chapter 13: Checking Out of the Hotel ??ホテルをチェックアウトしよう	リスニング リーディング ロールプレイ	チャプター 1～11, 13 の復習をする (1 時間)
	15	まとめ (復習) のテスト 総括	これまで学んできた授業内容について 復習テストをする。	これまで学んできた授業内容について総復習する。 (1 時間)

関連科目	ESP(English for Specific Purposes)a など			
教科書				
	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	場面別フレーズで学ぶ はじめての旅行英会話	Diane H. Nagatomo, 村瀬文子	金星堂
	2			
	3			

参考書	<table><tr><td>番号</td><td>書籍名</td><td>著者名</td><td>出版社名</td></tr><tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法 (基準)	作文課題 20% 授業中の確認テスト・発言・討論、宿題、提出物等 80%																
学生への メッセージ	本授業では、海外に旅をする視点から書かれた教科書を利用して、観光英語を学びます。観光客を迎える人、観光客を送り出す人、実際に観光客になった時に利用できる英語のフレーズや、理解力を養います。一緒に頑張りましょう																
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師室																
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。 授業の進度は、上記の表を目安とするが、開講後の様子を見て、必要であれば調整します。																

科目名	異文化コミュニケーション論	科目名（英文）	Cross-Cultural Communication
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	門脇 薫
ディプロマポリシー (DP)	DP1○, DP2△		
科目ナンバリング	LDL2212a0		

授業概要・目的	・この科目は、「外国語専門職プログラム」および「国際教養プログラム」対応科目です。 ・人間の使う言葉・行動・価値の置き方には、文化の違いが反映されています。この授業では、自文化を知り、他文化を尊重し、価値観を尊重しながら、異なる文化を持つ人々とのようにつきあっていくかを考えること、文化の多様性を受け入れること、価値観の違いを乗り越えて意志疎通を図ることの意義や実践法を学びます。
到達目標	・異文化コミュニケーションに関する専門用語を理解し、基礎的な知識を得る。 ・異文化経験の具体的な事例について、観察・分析し、考察することができる。 ・自分の意見を表現できる。
授業方法と留意点	・講義 プリント資料の内容は熟読する。 ・タスク 異文化コミュニケーションについて考えるタスク・活動を行う。授業外の課題として行うものもある。ペアワーク、グループワーク、発表も含まれる。 (授業の進行状況により、授業テーマの順番や内容が多少変更することがあります)

科目学習の 効果（資格）																																																																	
授業計画	<table><tr><th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr><tr><td>1</td><td>イントロダクション</td><td>授業の概要・進め方・評価について・学習にあたっての留意事項</td><td>プリント資料 熟読 （用語の意味確認、内容理解） （1. 5H）</td></tr><tr><td>2</td><td>異文化コミュニケーション とは（1）</td><td>講義、タスク</td><td>プリント資料 熟読 （用語の意味確認、内容理解） （1. 5H）</td></tr><tr><td>3</td><td>異文化コミュニケーション とは（1）</td><td>講義、タスク</td><td>プリント資料 熟読 （用語の意味確認、内容理解） （1. 5H）</td></tr><tr><td>4</td><td>異文化適応</td><td>講義、タスク</td><td>授業で出された課題（1. 5H）</td></tr><tr><td>5</td><td>異文化摩擦・異文化コミュニケーションの障壁</td><td>講義、タスク</td><td>授業で出された課題（1. 5H）</td></tr><tr><td>6</td><td>異文化に対する認識</td><td>講義、タスク</td><td>レポート作成（1. 5H）</td></tr><tr><td>7</td><td>比較する</td><td>講義、タスク</td><td>レポート作成（1. 5H）</td></tr><tr><td>8</td><td>言語コミュニケーション （1）</td><td>講義、タスク</td><td>プリント資料 熟読 （用語の意味確認、内容理解） 授業で出された課題 （1. 5H）</td></tr><tr><td>9</td><td>言語コミュニケーション （2）</td><td>講義、タスク</td><td>プリント資料 熟読 （用語の意味確認、内容理解） 授業で出された課題 （1. 5H）</td></tr><tr><td>10</td><td>非言語コミュニケーション</td><td>講義、タスク</td><td>プリント資料 熟読 （用語の意味確認、内容理解） 授業で資料出された課題 （1. 5H）</td></tr><tr><td>11</td><td>外国語の学習</td><td>ゲストスピーカー（予定）、グループディスカッション</td><td>プリント熟読 （用語の意味確認、内容理解） 授業で出された課題 （1. 5H）</td></tr><tr><td>12</td><td>異文化コミュニケーション スキル・ トレーニング</td><td>講義、タスク</td><td>プリント熟読 （用語の意味確認、内容理解） 授業で出された課題 （1. 5H）</td></tr><tr><td>13</td><td>多文化共生社会と日本語教育</td><td>講義、タスク</td><td>総復習 （ノート、資料熟読） （2H）</td></tr><tr><td>14</td><td>多文化共生社会と日本語教育</td><td>講義、タスク</td><td>総復習 （ノート、資料熟読） （2H）</td></tr><tr><td>15</td><td>総復習・確認テスト</td><td>総復習・テスト</td><td>授業の振り返り（1H）</td></tr></table>	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	イントロダクション	授業の概要・進め方・評価について・学習にあたっての留意事項	プリント資料 熟読 （用語の意味確認、内容理解） （1. 5H）	2	異文化コミュニケーション とは（1）	講義、タスク	プリント資料 熟読 （用語の意味確認、内容理解） （1. 5H）	3	異文化コミュニケーション とは（1）	講義、タスク	プリント資料 熟読 （用語の意味確認、内容理解） （1. 5H）	4	異文化適応	講義、タスク	授業で出された課題（1. 5H）	5	異文化摩擦・異文化コミュニケーションの障壁	講義、タスク	授業で出された課題（1. 5H）	6	異文化に対する認識	講義、タスク	レポート作成（1. 5H）	7	比較する	講義、タスク	レポート作成（1. 5H）	8	言語コミュニケーション （1）	講義、タスク	プリント資料 熟読 （用語の意味確認、内容理解） 授業で出された課題 （1. 5H）	9	言語コミュニケーション （2）	講義、タスク	プリント資料 熟読 （用語の意味確認、内容理解） 授業で出された課題 （1. 5H）	10	非言語コミュニケーション	講義、タスク	プリント資料 熟読 （用語の意味確認、内容理解） 授業で資料出された課題 （1. 5H）	11	外国語の学習	ゲストスピーカー（予定）、グループディスカッション	プリント熟読 （用語の意味確認、内容理解） 授業で出された課題 （1. 5H）	12	異文化コミュニケーション スキル・ トレーニング	講義、タスク	プリント熟読 （用語の意味確認、内容理解） 授業で出された課題 （1. 5H）	13	多文化共生社会と日本語教育	講義、タスク	総復習 （ノート、資料熟読） （2H）	14	多文化共生社会と日本語教育	講義、タスク	総復習 （ノート、資料熟読） （2H）	15	総復習・確認テスト	総復習・テスト	授業の振り返り（1H）
	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																													
	1	イントロダクション	授業の概要・進め方・評価について・学習にあたっての留意事項	プリント資料 熟読 （用語の意味確認、内容理解） （1. 5H）																																																													
	2	異文化コミュニケーション とは（1）	講義、タスク	プリント資料 熟読 （用語の意味確認、内容理解） （1. 5H）																																																													
	3	異文化コミュニケーション とは（1）	講義、タスク	プリント資料 熟読 （用語の意味確認、内容理解） （1. 5H）																																																													
	4	異文化適応	講義、タスク	授業で出された課題（1. 5H）																																																													
	5	異文化摩擦・異文化コミュニケーションの障壁	講義、タスク	授業で出された課題（1. 5H）																																																													
	6	異文化に対する認識	講義、タスク	レポート作成（1. 5H）																																																													
	7	比較する	講義、タスク	レポート作成（1. 5H）																																																													
	8	言語コミュニケーション （1）	講義、タスク	プリント資料 熟読 （用語の意味確認、内容理解） 授業で出された課題 （1. 5H）																																																													
	9	言語コミュニケーション （2）	講義、タスク	プリント資料 熟読 （用語の意味確認、内容理解） 授業で出された課題 （1. 5H）																																																													
	10	非言語コミュニケーション	講義、タスク	プリント資料 熟読 （用語の意味確認、内容理解） 授業で資料出された課題 （1. 5H）																																																													
	11	外国語の学習	ゲストスピーカー（予定）、グループディスカッション	プリント熟読 （用語の意味確認、内容理解） 授業で出された課題 （1. 5H）																																																													
	12	異文化コミュニケーション スキル・ トレーニング	講義、タスク	プリント熟読 （用語の意味確認、内容理解） 授業で出された課題 （1. 5H）																																																													
	13	多文化共生社会と日本語教育	講義、タスク	総復習 （ノート、資料熟読） （2H）																																																													
14	多文化共生社会と日本語教育	講義、タスク	総復習 （ノート、資料熟読） （2H）																																																														
15	総復習・確認テスト	総復習・テスト	授業の振り返り（1H）																																																														

関連科目	外国語専門職プログラム・国際教養プログラム科目																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>プリント、資料を配布する</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	プリント、資料を配布する			2				3					
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	プリント、資料を配布する																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>異文化コミュニケーションの AtoZ -理論と実践の両面からわかる-</td><td>小坂貴志</td><td>研究社</td></tr> <tr> <td>2</td><td>多文化共生のための異文化コミュニケーション</td><td>原澤伊都夫</td><td>明石書店</td></tr> <tr> <td>3</td><td>その他は授業で指示する</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	異文化コミュニケーションの AtoZ -理論と実践の両面からわかる-	小坂貴志	研究社	2	多文化共生のための異文化コミュニケーション	原澤伊都夫	明石書店	3	その他は授業で指示する				
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	異文化コミュニケーションの AtoZ -理論と実践の両面からわかる-	小坂貴志	研究社																
2	多文化共生のための異文化コミュニケーション	原澤伊都夫	明石書店																
3	その他は授業で指示する																		

評価方法 (基準)	課題及びレポート (30%)・授業への参加度(10%)・テスト (60%)により総合的に評価する。
学生への メッセージ	外国語を学習している皆さんにとって、『異文化コミュニケーション』について学ぶことは非常に大切なことです。 授業を通して多くの「気づき」が生じると思います。 授業中は、ペアワーク、グループワーク、全体でのディスカッションをすることが多いので、積極的に授業に参加してください。
担当者の 研究室等	7号館4階 (門脇研究室)
備考	テスト終了後に、テスト内容についてのフィードバックを行う。

科目名	異文化接触論	科目名（英文）	Cultural Interactions
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	藤井 嘉祥
ディプロマポリシー (DP)	DP2◎		
科目ナンバリング	LDL2174a0		

授業概要・目的	この授業の目的は、多文化共生社会の実現に寄与できる異文化認知力と異文化適応力を養うために、異文化接触の理論を手掛かりに日常的な自分と身近な他者の接触の仕方を分析し、その技能を外国文化にも応用する知識と態度を身につけることである。IT 技術の発達や人や企業活動の国境を越えた広がりによって、かつてないほど多様な文化的背景をもつ人々と接触し、理解し合わなくてはならない場面が増えている。この授業は、異文化接触の理論と世界の異文化対立の事例を学び、それに依拠しながら、身近な他者や異文化との接触仕方をグループワークによって考え、また、留学時に生じる異文化摩擦における自分の対処法を考える。
到達目標	- 世界の異文化接触の事例を理解する上で重要な理論を説明できる。 - 多様な異文化認識の癖を知るためにグループワークに参加する。 - 自己のアイデンティティについての身近な他者（クラスメイト）との議論に参加し、他者との文化的差異を発見し、その原因を理論を踏まえて説明できる。 - 外国認識についての身近な他者（クラスメイト）との議論に参加し、他者との文化的差異を発見し、その原因を理論を踏まえて説明できる。
授業方法と留意点	- 文化の捉え方や歴史的な異文化接触の事例はプリントを配布して講義形式で行い、あわせて身近な異文化発見のためのグループワークを 4 回程度行う。そのため出席と積極的なグループワーク参加を求めます。 - グループワークのたびに異文化認識についての発見を中間レポートにまとめて提出する。 - 学期末には中間レポートからの発見と講義で紹介する異文化接触の理論と事例を総合し、「異文化との豊かな交流のための提言」というテーマで学期末レポートを作成・提出し、口頭発表を行う。
科目学習の効果（資格）	自文化と異文化の違いを知り、違いを積極的に理解する思考をもって、より多くの文化的背景の異なる人々との交流を広げる。異文化摩擦やカルチャーショックの仕組みを理解することで、留学の際に直面するカルチャーショックを乗り越える力を得る。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	イントロダクションおよび異文化対応力 (1)	授業の概要、講師の異文化体験	日常生活における自分の文化の癖を探してリストアップする。(1 時間)
	2	異文化対応力 (2)	自分の日常行動を分析し、他者と比較する。	配布資料を読んで、自己の日常行動の癖と異文化への視線との関係を考える。(1 時間)
	3	異文化への視線	西洋と非西洋の接触の歴史から異文化に対する視線と言説の創造の歴史を知る。	グループワークの下準備として、異文化接触時に想定される自分の行動や他者認識をリストアップする。(1 時間)
	4	身近な異文化を発見するグループワーク	異文化ゲームを通じて異文化的存在の他者との接触の際の自分の行動と思考を分析する。	グループワークからの発見をもとに中間レポートを作成する。(3 時間)
	5	文化の捉え方	「見える文化」と「見えない文化」の文化の重層性の理論を通して、他者をめぐる言説、文化のカテゴリー化の概念を知る。	中間レポートの講評をもとにレポート作成の技法を再確認する。およびレジュメと配布資料を見直して文化の重層性の理論を理解する。(1 時間)
	6	価値観の衝突: 西洋とイスラーム	西洋とイスラームの文化摩擦の歴史を、言説、文化のカテゴリー化の概念を手がかりに読み解く。	欧米とイスラームの対立が表れている新聞・インターネットの記事を 5 つ探して、今回の授業で要点を発表できるように準備しておく。(2 時間)
	7	自分の文化の構成要素を分析するグループワーク	自己のサブカルチャー構成をリストアップし、他者との比較・分析から、自己を形成する文化的要素を認識する。	グループワークからの発見をもとに、文化のカテゴリー化の概念を用いて、中間レポートを作成する。(3 時間)
	8	アフリカの文化対立の事例 (1)	ルワンダ内戦の事例から、植民地支配における文化のカテゴリー化の影響を学ぶ。	中間レポートの講評をもとにレポート作成の技法を再確認する。および配布の質問用紙に従って、ルワンダ内戦の経緯について調べる。(2 時間)
	9	アフリカの文化対立の事例 (2)	ルワンダ内戦の事例から、為政者による「他者の創造」と人種・民族の政治的操作の事例を学ぶ。	ルワンダ内戦に関する映画を観て、文化のカテゴリー化と他者の創造が分かる場面をリストアップする。(2 時間)
	10	自己と他者の外国認識の違いを分析するグループワーク	外国に対する関心の違いをクラスメイトと比較し、知識量と外国認識の相関性を考察する。	グループワークからの発見をもとに、中間レポートを作成する。(3 時間)
	11	異文化摩擦と接触仮説	多文化共生のための接触仮説の詳細を知り、日本における日系ブラジル人の事例から確認する。	中間レポートの講評をもとにレポート作成の技法を再確認する。および接触仮説に関する配布資料を読んでおく。(1 時間)
	12	北米の文化対立と多文化主義	米国の文化的分断とカナダの多文化主義の事例を接触仮説に即して読み解く	米国とカナダの多文化政策に関する配布資料を読んでおく。(2 時間)
	13	多文化共生の条件を考えるグループワーク	多文化状況を描いた映像をもとに、文化の溝が縮まる条件と広がる条件を考察する。	グループワークからの発見をもとに、中間レポートを作成する。(3 時間)
	14	個人レベルの異文化接触: 留学	留学を事例に、カルチャーショックの諸段階と自文化中心主義から文化相対主義への移行について学ぶ。	中間レポートの講評をもとにレポート作成の技法を再確認する。および期末レポート (A4 判 3 枚) の作成と発表準備 (3 時間)
	15	個人発表	学んだ諸概念を用いて「異文化との豊かな交流のための提言」について個人発表	個人発表、レポート提出および講評をもとにレポートの見直し (2 時間)

関連科目	日米比較文化、芸術文化論、異文化ビジネス論、異文化コミュニケーション論、国際社会論
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	プリント配布		
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	改訂版 異文化トレーニング ボーダレス社会を生きる	八代京子ほか	三修社

	2	イスラム化するヨーロッパ	三井美奈	新潮社
	3	紛争・対立・暴力―世界の地域から考える	西崎文子・武内進一 編著	岩波書店
評価方法 (基準)	授業参加度（グループワークへの取り組み、提出物等）20点、中間レポート40点、期末レポート40点で評価する。			
学生への メッセージ	他者や異文化とのかかわりを客観的に考えられるようになって、より多くの他者・異文化との関係を広げてください。			
担当者の 研究室等	7号館5階 藤井研究室			
備考	事前・事後学習に要する総時間数は30時間を目安とする。 受講生の関心や予備知識によって授業内容を一部変更する可能性がある。 課題に対するフィードバックとして、中間レポートは提出の翌週の授業で講評を行い、学期末レポートの講評と返却は研究室にて行う。			

科目名	異文化ビジネス論	科目名（英文）	Cross-Cultural Business
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	中島 直嗣
ディプロマポリシー (DP)	DP2◎		
科目ナンバリング	LDL2198a0		

授業概要・目的	本授業は、国際キャリアコースの6つのパッケージプログラムのうち、「国際ビジネス」プログラムに対応する科目です。特に「食文化」に注目し、小麦や米といった主食から、茶やコーヒーといった嗜好品に至るまで、様々な食物をテーマとして扱っていきます。大切なことは、高校時代に学んだ「世界史」や「地理」の知識が基礎になっていることです。よって、それらをしっかりと復習しながら学んでいくという姿勢を忘れないでください。また、「食文化」のトピックに関連するビジネスや企業の動向にも着目し、その展開などについて議論しながら理解を深めることも授業目的の一つです。
到達目標	食物が世界の文化・社会・産業に及ぼしてきた影響や、それらに関連するビジネスの現状や今後の展開について理解することを目標とします。
授業方法と留意点	ディスカッションやプレゼンテーションといった「グループワーク」を中心に行います。よって、メンバー間のコミュニケーションや協調性が大切になるでしょう。
科目学習の効果（資格）	文化演習（3ゼミ）の研究など。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	・授業の進め方などを確認する。 ・映像・資料からビジネスの現場を知る。 ・次回のグループ・ディスカッションのテーマを説明する。	・教科書をざっと一読し、大まかな内容を確認する（2時間）。 ・次回の授業で扱う教科書の第1, 2章を読んでおくとともに、グループ・ディスカッションのテーマについて下調べしておく（2時間）。
	2	小麦や米の歴史とビジネスについて	・前半（講義）：世界史や地理の観点から、小麦や米について考察する。 ・後半（グループ・ディスカッション）：小麦や米のビジネスとして「パン、うどん・ラーメン、おにぎり」などに注目し、現状と今後の展開について議論する。	・今回の授業で扱った小麦や米について、さらに文献等で詳しく調べてみる（2時間）。 ・次回の授業で扱う教科書の第3, 4章を読んでおくとともに、グループ・ディスカッションのテーマについて下調べしておく（2時間）。
	3	胡椒・唐辛子や肉の歴史とビジネスについて	・前半（講義）：世界史や地理の観点から、胡椒・唐辛子や肉について、宗教の観点も交えて考察する。 ・後半（グループ・ディスカッション）：胡椒・唐辛子や肉のビジネスとして、「カレー、キムチ」や「いきなりステーキ」などに注目し、現状と今後の展開について議論する。	・今回の授業で扱った胡椒・唐辛子や肉について、さらに文献等で詳しく調べてみる（2時間）。 ・次回の授業の準備として、プレゼンテーションのテーマについて下調べし、候補を考えておくこと（2時間）。
	4	・プレゼンテーションの計画を立てる。 ・プレゼンテーションのスキルを学ぶ。	・プレゼンテーションのグループメンバー、テーマ、発表日等を決定する。 ・プレゼンテーションのスキルについて、企業で行われている具体例などとともに大切な点を学ぶ。	・決定したグループメンバーと、今後の活動計画について話し合う（2時間）。 ・次回の授業で扱う教科書の第5, 6章を読んでおくとともに、グループ・ディスカッションのテーマについて下調べしておく（2時間）。
	5	ジャガイモやトマトの歴史とビジネスについて	・前半（講義）：世界史や地理の観点から、ジャガイモやトマトについて考察する。 ・後半（グループ・ディスカッション）：ジャガイモやトマトのビジネスとして「ポテトチップス（カルビー）」や「ファストフードチェーン（マクドナルド）」などに注目し、現状と今後の展開について議論する。	・今回の授業で扱ったジャガイモやトマトの歴史やビジネスについて、さらに文献等で詳しく調べてみる（1時間）。 ・次回の授業で扱う教科書の第8, 9章を読んでおくとともに、グループ・ディスカッションのテーマについて下調べしておく（1時間）。 ・グループごとにプレゼンテーションの準備を進めていく（2時間）。
	6	茶・コーヒー・砂糖（黍）の歴史とビジネスについて	・前半（講義）：世界史や地理の観点から、茶・コーヒー・砂糖（黍）について考察する。 ・後半（グループ・ディスカッション）：茶・コーヒー・砂糖（黍）のビジネスとして「スターバックス、ドトール、コメダ珈琲店」などに注目し、現状と今後の展開について議論する。	・今回の授業で扱った茶・コーヒー・砂糖（黍）の歴史やビジネスについて、さらに文献等で詳しく調べてみる（1時間）。 ・次回の授業で扱う教科書の第10, 13章を読んでおくとともに、グループ・ディスカッションのテーマについて下調べしておく（1時間）。 ・グループごとにプレゼンテーションの準備を進めていく（2時間）。
	7	大豆やトウモロコシの歴史とビジネスについて	・前半（講義）：世界史や地理の観点から、大豆やトウモロコシについて考察する。 ・後半（グループ・ディスカッション）：大豆やトウモロコシのビジネスとして「味噌、醤油」や「油」などに注目し、現状と今後の展開について議論する。	・今回の授業で扱った大豆やトウモロコシの歴史やビジネスについて、さらに文献等で詳しく調べてみる（1時間）。 ・次回の授業で扱う教科書の第7章を読んでおくとともに、グループ・ディスカッションのテーマについて下調べしておく（1時間）。 ・グループごとにプレゼンテーションの準備を進めていく（2時間）。
	8	綿（花）の歴史と繊維・アパレル業界のビジネスについて	・前半（講義）：世界史や地理の観点から、綿（花）について考察する。 ・後半（グループ・ディスカッション）：繊維・アパレル業界のビジネスとして「ユニクロ・GU、しまむら」などに注目し、現状と今後の展開について議論する。	・今回の授業で扱った綿（花）の歴史やビジネスについて、さらに文献等で詳しく調べてみる（1時間）。 ・次回のグループ・ディスカッションのテーマについて下調べしておく（1時間）。 ・グループごとにプレゼンテーションの準備を進めていく（2時間）。
	9	ビールやワインの歴史と飲料業界のビジネスについて	・前半（講義）：世界史や地理の観点から、ビールやワインについて考察する。 ・後半（グループ・ディスカッション）：飲料業界（キリン・アサヒ・サントリーなど）のビジネスに注目し、関税やM&Aなどの動向と今後の展開について議論	・今回の授業で扱ったビールやワインの歴史やビジネスについて、さらに文献等で詳しく調べてみる（2時間）。 ・グループごとにプレゼンテーションの準備を進めていく（2時間）。

	10	プレゼンテーション（１）： 小麦や米の歴史とビジネス について	小麦や米の歴史とビジネスについて、担当グループによるプレゼンテーションを行う。また、フロアや教員との質疑応答により考察を深めていく。	・今回の授業（プレゼンテーション）で扱ったテーマについて、さらに文献等で詳しく調べてみる（２時間）。 ・グループごとにプレゼンテーションの準備を進めていく。また、プレゼンが終了したグループは事後報告書を作成する（２時間）。																
	11	プレゼンテーション（２）： 胡椒・唐辛子や肉の歴史とビジネスについて	胡椒・唐辛子や肉の歴史とビジネスについて、担当グループによるプレゼンテーションを行う。また、フロアや教員との質疑応答により考察を深めていく。	・今回の授業（プレゼンテーション）で扱ったテーマについて、さらに文献等で詳しく調べてみる（２時間）。 ・グループごとにプレゼンテーションの準備を進めていく。また、プレゼンが終了したグループは事後報告書を作成する（２時間）。																
	12	プレゼンテーション（３）： ジャガイモやトマトの歴史とビジネスについて	ジャガイモやトマトの歴史とビジネスについて、担当グループによるプレゼンテーションを行う。また、フロアや教員との質疑応答により考察を深めていく。	・今回の授業（プレゼンテーション）で扱ったテーマについて、さらに文献等で詳しく調べてみる（２時間）。 ・グループごとにプレゼンテーションの準備を進めていく。また、プレゼンが終了したグループは事後報告書を作成する（２時間）。																
	13	プレゼンテーション（４）： 茶・コーヒー・砂糖（茶）の歴史とビジネスについて	茶・コーヒー・砂糖（茶）の歴史とビジネスについて、担当グループによるプレゼンテーションを行う。また、フロアや教員との質疑応答により考察を深めていく。	・今回の授業（プレゼンテーション）で扱ったテーマについて、さらに文献等で詳しく調べてみる（２時間）。 ・グループごとにプレゼンテーションの準備を進めていく。また、プレゼンが終了したグループは事後報告書を作成する（２時間）。																
	14	プレゼンテーション（５）： 大豆・トウモロコシ・綿（花）の歴史とビジネスについて	大豆・トウモロコシ・綿（花）の歴史とビジネスについて、担当グループによるプレゼンテーションを行う。また、フロアや教員との質疑応答により考察を深めていく。	・今回の授業（プレゼンテーション）で扱ったテーマについて、さらに文献等で詳しく調べてみる（２時間）。 ・グループごとにプレゼンテーションの準備を進めていく。また、プレゼンが終了したグループは事後報告書を作成する（２時間）。																
	15	総括（まとめ）	・「食文化」とそのビジネスに注目して展開してきた授業の内容を総括し、要点を整理する。 ・これまでのプレゼンテーションの内容・展開やスキルについて振り返り、講評する。	・これまでの授業やプレゼンテーションで扱ったテーマについて、さらに文献等で詳しく調べてみる（２時間）。 ・自分たちのプレゼンテーションについてフィードバック用紙に基づいて振り返り、改善すべき点などを明らかにし、今後に活かせるようにする（２時間）。																
	関連科目	「地域と国際ビジネス」やその他の国際ビジネスプログラム科目など。																		
教科書	<table><tr><td>番号</td><td>書籍名</td><td>著者名</td><td>出版社名</td></tr><tr><td>1</td><td>世界史を大きく動かした植物</td><td>稲垣栄洋</td><td>PHP</td></tr><tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				番号	書籍名	著者名	出版社名	1	世界史を大きく動かした植物	稲垣栄洋	PHP	2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																	
1	世界史を大きく動かした植物	稲垣栄洋	PHP																	
2																				
3																				
参考書	<table><tr><td>番号</td><td>書籍名</td><td>著者名</td><td>出版社名</td></tr><tr><td>1</td><td>砂糖の歴史</td><td>川北 稔</td><td>岩波</td></tr><tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				番号	書籍名	著者名	出版社名	1	砂糖の歴史	川北 稔	岩波	2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																	
1	砂糖の歴史	川北 稔	岩波																	
2																				
3																				
評価方法 （基準）	プレゼンテーション：４０％、グループ・ディスカッション：４０％、授業に取り組む姿勢・貢献度など：２０％ ※ただし、原則として、出席率８０％（出席１２回）以上を単位取得のための要件とします。																			
学生への メッセージ	・社会人の仕事でもチームワークが重要です。この授業でも協調的な姿勢を大切にしてほしいと思います。 ・英語プロフェッショナルコースの学生も履修できますので、将来、国際ビジネスの分野で活躍したい人は、ぜひ学んでみてください。																			
担当者の 研究室等	7号館４階 中島研究室																			
備考	毎回の授業のための教科書の読解、グループ・ディスカッションの下調べ、プレゼンテーションの準備などに要する事前・事後学習総時間は、60時間程度を目安とします。グループ・ディスカッションやプレゼンテーションに関するフィードバックはその都度（授業内）で行うとともに、翌週に評価（フィードバック）票を渡します。																			

科目名	イベント企画論	科目名 (英文)	Event Planning
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	田浦 アマンダ
ディプロマポリシー (DP)	DP2◎		
科目ナンバリング	LDL3222a0		

授業概要・目的	This course will be examine tourism events in the leisure industry around the world. An overview of the history, reasons for holding the events, planning and organization of events will provide the focus of the course. ※なお、この科目は、「観光ホスピタリティ」および「メディアビジネス」プログラムの対応科目です。			
到達目標	Students will demonstrate an understanding of the roles and significance of tourism events and experiences in past and present societies, and knowledge of the factors surrounding the process of organizing an event. Students will work collaboratively to research and attend a special event and demonstrate knowledge of the key concepts involved in the planning and staging of that special event.			
授業方法と留意点	Students will research events in Japan for homework prior to the class. The lecture will then introduce similar events in other countries. The class will be interactive including a mini-lecture, note-taking in English, group discussion, and a content quiz to confirm understanding of the key concepts in English.			
科目学習の効果（資格）				
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction to Leisure Behaviour and the Event Industry / Note taking / Research on Japanese events	An introduction to the course, This class is very important to attend.	Find out about 1 music festival in Japan & type about it in your own words in English (100 words) .
	2	Iconic Music Events & Planning	Pair share about your festival, Mini-lecture, Note-taking for the Portfolio, Visuals, Content quiz	Research 1 event you would like to attend in Kansai.
	3	Event project plans	Project-based groups made Events decided. This is an important class to attend	Find out about 1 food festival in Japan & type about it in your own words in English (100 words) .
	4	Food Events & Planning	Group share about your event, Mini-lecture, Note-taking for the Portfolio, Visuals, Content quiz	Find out about 1 religious festival in Japan & type about it in your own words in English (100 words) .
	5	Religion-based Events & Planning	Group share about your event, Mini-lecture, Note-taking for the Portfolio, Visuals, Content quiz	Find out about 1 political event in Japan & type about it in your own words in English (100 words) .
	6	Political Events & Planning	Group share about your event, Mini-lecture, Note-taking for the Portfolio, Visuals, Content quiz	Find out about 1 beer or wine event in Japan & type about it in your own words in English (100 words) .
	7	Beer and Wine Events & Planning	Group share about your event, Mini-lecture, Note-taking for the Portfolio, Visuals, Content quiz	Find out about 1 flower event in Japan & type about it in your own words in English (100 words) .
	8	Flower Events & Planning	Group share about your event, Mini-lecture, Note-taking for the Portfolio, Visuals, Content quiz	Find out about 1 sporting event in Japan & type about it in your own words in English (100 words) .
	9	Sporting Events & Planning	Group share about your event, Mini-lecture, Note-taking for the Portfolio, Visuals, Content quiz	Find out about 1 comedy event in Japan & type about it in your own words in English (100 words) .
	10	Comedy Events & Planning	Group share about your event, Mini-lecture, Note-taking for the Portfolio, Visuals, Content quiz	Find out about 1 christmas event in Japan & type about it in your own words in English (100 words) .
	11	Christmas Market Events & Planning	Group share about your festival, Mini-lecture, Note-taking for the Portfolio, Visuals, Content quiz	Prepare information for your powerpoint presentation to discuss with your group / text in English / video / photos
	12	Event Project group - division of work - English check	Example of 2017 powerpoint presentations shown	Portfolio summaries collected (9 events at least 100 words each event) Event Presentations (1) to send powerpoint files
	13	Event Presentations (1)	Evaluations	Event Presentations (2) to send powerpoint files
	14	Event Presentations (2)	Evaluations	Event Presentations (3) to send powerpoint files
	15	Event Presentations (3)	Evaluations	Final sum-up
関連科目	「観光ホスピタリティ」や「メディアビジネス」プログラムの他の科目など。			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	Group-based Attendance at an event & Presentation about that event 30% In-lecture quizzes on class content 30% Portfolio of Research about events in Japan 20% Class attitude - participating, using English, talking, asking questions 20%			
学生への メッセージ	Enjoy finding out about events all over the world while using English in a meaningful way.			
担当者の 研究室等	7 号館 5 階田浦研究室			
備考	事前・事後学習にかかる総時間は 60 時間です。			

科目名	English for Global Communication a	科目名 (英文)	English for Global Communication a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	A
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	マイケル ハーキー
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3019b0		

授業概要・目的	留学で身につけた英語力を発展させ、英語コミュニケーション能力の総合的な向上を図る。																																																																		
到達目標	CEFR-J[B1-1]を目標とし、主張したい点を順序良く提示しながら、自分に関連する事項・専門分野に関して、英語で流暢に紹介や説明ができるようになる。また、自分の経験したことについて、どのような感情を持ち、どのように反応したかということに触れながら詳細に説明できる。																																																																		
授業方法と留意点	授業はすべて英語で行われる。学内外で行われる各種英語コンテストへの出場を前提とした発話訓練を行う。必ず辞書を持参すること。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL, 英検, IELTS																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>Psychology "Happiness"</td><td>テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成</td><td>講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習</td></tr> <tr> <td>2</td><td>Psychology "Happiness"</td><td>テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成</td><td>講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習</td></tr> <tr> <td>3</td><td>Linguistics "CPH"</td><td>テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成</td><td>講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習</td></tr> <tr> <td>4</td><td>Linguistics "CPH"</td><td>テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成</td><td>講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習</td></tr> <tr> <td>5</td><td>Flex Week</td><td>進度調整とプレゼンテーション</td><td>講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習</td></tr> <tr> <td>6</td><td>Public Health "Sleep"</td><td>テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成</td><td>講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習</td></tr> <tr> <td>7</td><td>Public Health "Sleep"</td><td>テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成</td><td>講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習</td></tr> <tr> <td>8</td><td>Flex Week</td><td>進度調整とプレゼンテーション</td><td>講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習</td></tr> <tr> <td>9</td><td>Business "Negotiating"</td><td>テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成</td><td>講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習</td></tr> <tr> <td>10</td><td>Business "Negotiating"</td><td>テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成</td><td>講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習</td></tr> <tr> <td>11</td><td>Art History "Modern Art"</td><td>テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成</td><td>講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習</td></tr> <tr> <td>12</td><td>Art History "Modern Art"</td><td>テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成</td><td>講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習</td></tr> <tr> <td>13</td><td>Engineering "Robots"</td><td>テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成</td><td>講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習</td></tr> <tr> <td>14</td><td>Engineering "Robots"</td><td>テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成</td><td>講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習</td></tr> <tr> <td>15</td><td>Flex Week</td><td>まとめのプレゼンテーション</td><td>総復習</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	Psychology "Happiness"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習	2	Psychology "Happiness"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習	3	Linguistics "CPH"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習	4	Linguistics "CPH"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習	5	Flex Week	進度調整とプレゼンテーション	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習	6	Public Health "Sleep"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習	7	Public Health "Sleep"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習	8	Flex Week	進度調整とプレゼンテーション	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習	9	Business "Negotiating"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習	10	Business "Negotiating"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習	11	Art History "Modern Art"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習	12	Art History "Modern Art"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習	13	Engineering "Robots"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習	14	Engineering "Robots"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習	15	Flex Week	まとめのプレゼンテーション	総復習
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	Psychology "Happiness"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習																																																																
2	Psychology "Happiness"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習																																																																
3	Linguistics "CPH"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習																																																																
4	Linguistics "CPH"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習																																																																
5	Flex Week	進度調整とプレゼンテーション	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習																																																																
6	Public Health "Sleep"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習																																																																
7	Public Health "Sleep"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習																																																																
8	Flex Week	進度調整とプレゼンテーション	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習																																																																
9	Business "Negotiating"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習																																																																
10	Business "Negotiating"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習																																																																
11	Art History "Modern Art"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習																																																																
12	Art History "Modern Art"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習																																																																
13	Engineering "Robots"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習																																																																
14	Engineering "Robots"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習																																																																
15	Flex Week	まとめのプレゼンテーション	総復習																																																																
関連科目	Comprehensive English a, English Writing Workshop a																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>Contemporary Topics Level 1 (4th Edition) Student Book with Essential Online Resource</td><td>Helen Solorzano and Laurie Frazier</td><td>Pearson</td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	Contemporary Topics Level 1 (4th Edition) Student Book with Essential Online Resource	Helen Solorzano and Laurie Frazier	Pearson	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	Contemporary Topics Level 1 (4th Edition) Student Book with Essential Online Resource	Helen Solorzano and Laurie Frazier	Pearson																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	共通課題 (プレゼンテーション) 15%, Class attitude 30% (enthusiasm, willingness to participate, willingness to take leadership in discussion, on time attendance, preparation before and reviewing after the classes), Quizzes 20%, Portfolio writing assignments 25%, Staying in the English Zone 10%																																																																		
学生へのメッセージ	The roots of education are bitter, but the fruit is sweet.																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 3 階 Herke 研究室																																																																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。																																																																		

科目名	English for Global Communication a	科目名 (英文)	English for Global Communication a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	B
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	アイビス ウイリアム
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3019b0		

授業概要・目的	留学で身につけた英語力を発展させ、英語コミュニケーション能力の総合的な向上を図る。
到達目標	CEFR-J[B1-1]を目標とし、主張したい点を順序良く提示しながら、自分に関連する事項・専門分野に関して、英語で流暢に紹介や説明ができるようになる。また、自分の経験したことについて、どのような感情を持ち、どのように反応したかということに触れながら詳細に説明できる。
授業方法と留意点	授業は原則として全て英語で行われる。アカデミックなテーマについての講義を読解・聴解する Comprehensive English a、テーマに沿った作文を行う English Writing Workshop a と連動し、この授業では同じテーマに沿った発展的・応用的なディスカッションを行う。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, TOEFL, 英検, IELTS

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Psychology “Happiness”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習（1時間）
2	Psychology “Happiness”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習（1時間）
3	Linguistics “CPH”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習（1時間）
4	Linguistics “CPH”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習（1時間）
5	Flex Week	進度調整とプレゼンテーション	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習（1時間）
6	Public Health “Sleep”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習（1時間）
7	Public Health “Sleep”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習（1時間）
8	Flex Week	進度調整とプレゼンテーション	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習（1時間）
9	Business “Negotiating”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習（1時間）
10	Business “Negotiating”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習（1時間）
11	Art History “Modern Art”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習（1時間）
12	Art History “Modern Art”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習（1時間）
13	Engineering “Robots”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習（1時間）
14	Engineering “Robots”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習（1時間）
15	Flex Week	まとめのプレゼンテーション	総復習（1時間）

関連科目	Comprehensive English a, English Writing Workshop a
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Contemporary Topics Level 1 (4th Edition) Student Book with Essential Online Resource	Helen Solorzano and Laurie Frazier	Pearson
	2			
	3			

参考書				
	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	共通課題(プレゼンテーション)15%, Class attitude 30% (enthusiasm, willingness to participate, willingness to take leadership in discussion, on time attendance, preparation before and reviewing after the classes), Quizzes 20%, Portfolio writing assignments 25%, Staying in the English Zone 10%
--------------	---

学生への メッセージ	The roots of education are bitter, but the fruit is sweet.
---------------	--

担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師室
--------------	--------------

研究員等	
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。

科目名	English for Global Communication a	科目名 (英文)	English for Global Communication a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	C
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	リチャード・タヴァース
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3019b0		

授業概要・目的	留学で身につけた英語力を発展させ、英語コミュニケーション能力の総合的な向上を図る。
到達目標	CEFR-J[B1-1]を目標とし、主張したい点を順序良く提示しながら、自分に関連する事項・専門分野に関して、英語で流暢に紹介や説明ができるようになる。また、自分の経験したことについて、どのような感情を持ち、どのように反応したかということに触れながら詳細に説明できる。
授業方法と留意点	授業はすべて英語で行われる。学内外で行われる各種英語コンテストへの出場を前提とした発話訓練を行う。必ず辞書を持参すること。
科目学習の 効果（資格）	TOEIC, TOEFL, 英検, IELTS

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Psychology “Happiness”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
2	Psychology “Happiness”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
3	Linguistics “CPH”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
4	Linguistics “CPH”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
5	Flex Week	進度調整とプレゼンテーション	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
6	Public Health “Sleep”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
7	Public Health “Sleep”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
8	Flex Week	進度調整とプレゼンテーション	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
9	Business “Negotiating”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
10	Business “Negotiating”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
11	Art History “Modern Art”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
12	Art History “Modern Art”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
13	Engineering “Robots”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
14	Engineering “Robots”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
15	Flex Week	まとめのプレゼンテーション	総復習

關連科目	Comprehensive English a, English Writing Workshop a
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Contemporary Topics Level 1 (4th Edition) Student Book with Essential Online Resource	Helen Solorzano and Laurie Frazier	Pearson
	2			
	3			

参考書				
	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	共通課題(プレゼンテーション)15%, Class attitude 30% (enthusiasm, willingness to participate, willingness to take leadership in discussion, on time attendance, preparation before and reviewing after the classes), Quizzes 20%, Portfolio writing assignments 25%, Staying in the English Zone 10%
--------------	---

学生への メッセージ	The roots of education are bitter, but the fruit is sweet.
---------------	--

担当者の 所属部署	7号館2階 非常勤講師室
--------------	--------------

研究室等	
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。

科目名	English for Global Communication a	科目名 (英文)	English for Global Communication a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	D
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	田浦 アマンド
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3019b0		

授業概要・目的	留学で身につけた英語力を発展させ、英語コミュニケーション能力の総合的な向上を図る。
到達目標	CEFR-J[B1-1]を目標とし、主張したい点を順序良く提示しながら、自分に関連する事項・専門分野に関して、英語で流暢に紹介や説明ができるようになる。また、自分の経験したことについて、どのような感情を持ち、どのように反応したかということに触れながら詳細に説明できる。
授業方法と留意点	授業はすべて英語で行われる。学内外で行われる各種英語コンテストへの出場を前提とした発語訓練を行う。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, TOEFL, 英検, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Psychology “Happiness”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	2	Psychology “Happiness”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	3	Linguistics “CPH”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	4	Linguistics “CPH”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	5	Flex Week	進捗調整とプレゼンテーション	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	6	Public Health “Sleep”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	7	Public Health “Sleep”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	8	Flex Week	進捗調整とプレゼンテーション	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	9	Business “Negotiating”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	10	Business “Negotiating”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	11	Art History “Modern Art”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	12	Art History “Modern Art”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	13	Engineering “Robots”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	14	Engineering “Robots”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
15	Flex Week	まとめのプレゼンテーション	総復習	

關連科目	Comprehensive English a, English Writing Workshop a
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Contemporary Topics Level 1 (4th Edition) Student Book with Essential Online Resource	Helen Solorzano and Laurie Frazier	Pearson
	2			
	3			

参考書				
	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

[illegible]

学生へのメッセージ	The function of education is to teach one to think intensively and critically.
-----------	--

担当者の 所属部署	7号館5階 田浦研究室
--------------	-------------

研究室等	
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。

科目名	English for Global Communication b	科目名 (英文)	English for Global Communication b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	A
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	マイケル ハーキー
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3020b0		

授業概要・目的	English for Global Communication(a)に引き続き、英語コミュニケーション能力の総合的な向上を図る。
到達目標	CEFR-J [B1-2]を目標とし、社会生活上の問題に直面した時にそれを説明することができるようになる。その結果、正しい処置やサービス等を実現できるようになる。また、関心のある社会状況について、自分の意見を言うことができる。
授業方法と留意点	授業はすべて英語で行われる。学内外で行われる各種英語コンテストへの出場を前提とした発話訓練を行う。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL, 英検, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Media Studies "Interactive Games"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	2	Media Studies "Interactive Games"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	3	Biology "Genetically Modified Food"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	4	Biology "Genetically Modified Food"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	5	Flex Week	進度調整とプレゼンテーション	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	6	Business "Design Thinking"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	7	Business "Design Thinking"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	8	Flex Week	進度調整とプレゼンテーション	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	9	History "Shackleton"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	10	History "Shackleton"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	11	Philosophy "Ethics"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	12	Philosophy "Ethics"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	13	Information Technology "Big Data"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	14	Information Technology "Big Data"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	15	Flex Week	まとめのプレゼンテーション	総復習

関連科目	Comprehensive English b, English Writing Workshop b
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Contemporary Topics Level 1 (4th Edition) Student Book with Essential Online Resource	Helen Solorzano and Laurie Frazier	Pearson
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	Final Discussion Presentation (共通課題) 15%, Class attitude 30% (enthusiasm, willingness to participate, willingness to take leadership in discussion, on time attendance, preparation before and reviewing after the classes), Quizzes 20%, Portfolio writing assignments 25%, Staying in the English Zone 10%
-----------	---

学生へのメッセージ	The roots of education are bitter, but the fruit is sweet.
-----------	--

担当者の研究室等	7 号館 3 階 Herke 研究室
----------	--------------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。
----	---

科目名	English for Global Communication b	科目名 (英文)	English for Global Communication b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	B
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	アイビス ウイリアム
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3020b0		

授業概要・目的	English for Global Communication(a)に引き続き、英語コミュニケーション能力の総合的な向上を図る。				
到達目標	CEFR-J [B1-2]を目標とし、社会生活上の問題に直面した時にそれを説明することができるようになる。その結果、正しい処置やサービス等を実現できるようになる。また、関心のある社会状況について、自分の意見を言うことができる。				
授業方法と留意点	授業は原則として全て英語で行われる。アカデミックなテーマについての講義を読解・聴解する Comprehensive English b、テーマに沿った作文を行う English Writing Workshop b と連動し、この授業では同じテーマに沿った発展的・応用的なディスカッションを行う。				
科目学習の効果（資格）	TOEIC, TOEFL, 英検, IELTS				
授業計画		回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
		1	Media Studies “Interactive Games”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習（1 時間）
		2	Media Studies “Interactive Games”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習（1 時間）
		3	Biology “Genetically Modified Food”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習（1 時間）
		4	Biology “Genetically Modified Food”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習（1 時間）
		5	Flex Week	進度調整とプレゼンテーション	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習（1 時間）
		6	Business “Design Thinking”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習（1 時間）
		7	Business “Design Thinking”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習（1 時間）
		8	Flex Week	進度調整とプレゼンテーション	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習（1 時間）
		9	History “Shackleton”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習（1 時間）
		10	History “Shackleton”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習（1 時間）
		11	Philosophy “Ethics”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習（1 時間）
		12	Philosophy “Ethics”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習（1 時間）
		13	Information Technology “Big Data”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習（1 時間）
		14	Information Technology “Big Data”	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習（1 時間）
		15	Flex Week	まとめのプレゼンテーション	総復習（1 時間）
関連科目	Comprehensive English b, English Writing Workshop b				
教科書		番号	書籍名	著者名	出版社名
		1	Contemporary Topics Level 1 (4th Edition) Student Book with Essential Online Resource	Helen Solorzano and Laurie Frazier	Pearson
		2			
		3			
参考書		番号	書籍名	著者名	出版社名
		1			
		2			
		3			
評価方法（基準）	Final Discussion Presentation（共通課題） 15%, Class attitude 30% (enthusiasm, willingness to participate, willingness to take leadership in discussion, on time attendance, preparation before and reviewing after the classes), Quizzes 20%, Portfolio writing assignments 25%, Staying in the English Zone 10%				
学生へのメッセージ	The roots of education are bitter, but the fruit is sweet.				
担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室				
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。				

科目名	English for Global Communication b	科目名 (英文)	English for Global Communication b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	C
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	リチャード・グアイアス
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3020b0		

授業概要・目的	English for Global Communication(a)に引き続き、英語コミュニケーション能力の総合的な向上を図る。
到達目標	CEFR-J [B1-2]を目標とし、社会生活上の問題に直面した時にそれを説明することができるようになる。その結果、正しい処置やサービス等を実現できるようになる。また、関心のある社会状況について、自分の意見を言うことができる。
授業方法と留意点	授業はすべて英語で行われる。学内外で行われる各種英語コンテストへの出場を前提とした発話訓練を行う。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL, 英検, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Media Studies "Interactive Games"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	2	Media Studies "Interactive Games"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	3	Biology "Genetically Modified Food"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	4	Biology "Genetically Modified Food"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	5	Flex Week	進度調整とプレゼンテーション	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	6	Business "Design Thinking"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	7	Business "Design Thinking"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	8	Flex Week	進度調整とプレゼンテーション	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	9	History "Shackleton"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	10	History "Shackleton"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	11	Philosophy "Ethics"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	12	Philosophy "Ethics"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	13	Information Technology "Big Data"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	14	Information Technology "Big Data"	テーマに基づいたディスカッションとプレゼンテーションの作成	講義とディスカッション映像を繰り返し視聴＋Common Vocabulary リストの予習・復習
	15	Flex Week	まとめのプレゼンテーション	総復習

関連科目	Comprehensive English b, English Writing Workshop b
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Contemporary Topics Level 1 (4th Edition) Student Book with Essential Online Resource	Helen Solorzano and Laurie Frazier	Pearson
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	Final Discussion Presentation (共通課題) 15%, Class attitude 30% (enthusiasm, willingness to participate, willingness to take leadership in discussion, on time attendance, preparation before and reviewing after the classes), Quizzes 20%, Portfolio writing assignments 25%, Staying in the English Zone 10%
-----------	---

学生へのメッセージ	Please bring a pen, pencil, paper and dictionary (or smart phone) to class. Please don't be shy to speak and make mistakes.
-----------	---

担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室
----------	-----------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。
----	---

科目名	English for TOEFL	科目名 (英文)	English for TOEFL
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	松田 早恵
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL2018c0		

授業概要・目的	TOEFL 受験に必要なボキャブラリー増強と、リスニング、リーディングのスキル向上をはかる。まず TOEFL の概要をつかみ、TOEFL に対応する幅広いトピックにふれると同時に、英語による正確な聞き取り・読み取り能力を身に付ける。
到達目標	TOEFL の問題形式や傾向を理解し、アカデミックな知識・関心を広げ、4 技能をバランスよく伸ばすことを目標にする。
授業方法と留意点	TOEFL の対策授業を行う。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEFL, TOEIC, 英検のスコア・アップ

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	イントロダクション Listening, Structure, Reading	授業内容と説明 導入 Understanding agreement and disagreement Verb tenses Understanding gist	Module 1 Lessons 1, 3, 5 予習・復習 (1 時間)
	2	Listening, Structure, Reading	Understanding agreement and disagreement Verb tenses Understanding gist	Module 1 Lessons 1, 3, 5 予習・復習 (1 時間)
	3	Listening, Structure, Reading	Understanding gist Verb tenses Understand purposes	Module 1 Lessons 2, 4, 6 予習・復習 (1 時間)
	4	Listening, Structure, Reading 理解度 Test 1	Understanding gist Verb tenses Understand purposes	Module 1 Lessons 2, 4, 6 予習・復習 (1 時間)
	5	Listening, Structure, Reading	Understanding negatives Articles Understanding specific information	Module 2 Lessons 1, 3, 5 予習・復習 (1 時間)
	6	Listening, Structure, Reading	Understanding negatives Articles Understanding specific information	Module 2 Lessons 1, 3, 5 予習・復習 (1 時間)
	7	Listening, Structure, Reading	Understanding specific information Comparatives and superlatives Understanding pronoun reference	Module 2 Lessons 2, 4, 6 予習・復習 (1 時間)
	8	Listening, Structure, Reading 理解度 Test 2	Understanding specific information Comparatives and superlatives Understanding pronoun reference	Module 2 Lessons 2, 4, 6 予習・復習 (1 時間)
	9	Listening, Structure, Reading	Understanding idiomatic expressions Participles Understanding unfamiliar words	Module 3 Lessons 1, 3, 5 予習・復習 (1 時間)
	10	Listening, Structure, Reading	Understanding idiomatic expressions Participles Understanding unfamiliar words	Module 3 Lessons 1, 3, 5 予習・復習 (1 時間)
	11	Listening, Structure, Reading	Understanding implication Prepositions Understanding implication	Module 3 Lessons 2, 4, 6 予習・復習 (1 時間)
	12	Listening, Structure, Reading 理解度 Test 3	Understanding implication Prepositions Understanding implication	Module 3 Lessons 2, 4, 6 予習・復習 (1 時間)
	13	Listening, Structure, Reading	Understanding wishes and the conditional Plurals Understanding attitude	Module 4 Lessons 1, 3, 5 予習・復習 (1 時間)
	14	Listening, Structure, Reading	Integrating listening skills Present modals Integrating reading skills	Module 4 Lessons 1, 3, 5 予習・復習 (1 時間)
	15	総復習 理解度 Test 4	全体を復習し、理解度をはかる	Modules 1-4 の総復習 (1 時間)

関連科目	Academic Reading, Academic Writing, Integrated Skills Training, Practical English Conversation
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Boost Your English 1	Makoto Shishido etc.	SEIBIDO
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	TOEFL-ITP (模擬テスト) 30% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題等 70%
学生への メッセージ	TOEFL の得点を上げるには、さまざまなアカデミック英語に慣れる必要があります。最初はわからなくてもあきらめず、少しずつ慣れていきましょう。また、様々な語彙や表現に慣れるためにも多読に励みましょう。
担当者の 研究室等	7 号館 5 階 松田研究室
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。

科目名	イングリッシュ プレゼンテーション I b	科目名 (英文)	English Presentation Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	ダニエル マリノズ
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	ハンドアウトなどの資料や ICT を用いて、英語でプレゼンテーションを行うためのスキルを修得する。プレゼンテーションを円滑に進めるスキル（身振り、姿勢、話し方など）や発表構成（導入・展開・結論）を修得する。
到達目標	CEFR-J[A1.1-3]を目標とし、前もって発表原稿を準備すれば、自分に関連する情報（自己紹介、趣味、関心事、学校、家族・友達に関すること）を簡単な語句や基本構文を用いて発表できるようになる。
授業方法と留意点	ハンドアウトや ICT を使って、1 人 5 分程度以上の英語プレゼンテーションを行う。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC、英検等

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	プレゼン中の姿勢について	授業の進め方など。時事的なトピックについて書かれた英語を読みながら、自らの意見を英語で述べてみる。	授業の進め方を確認するとともに、アイコンタクトについて予習する。(1 時間)
	2	アイコンタクト	アイコンタクトについて、理解を深める。	アイコンタクトに関する表現方法を勉強する。(1 時間)
	3	ジェスチャー	ジェスチャーについて、理解を深める。	ジェスチャーに関する表現方法を勉強する。(1 時間)
	4	ステージ上の立ち位置について	立ち位置について、理解を深める。	立ち位置に関する表現方法を勉強する。(1 時間)
	5	プレゼンの計画とパワーポイントのスキル	プレゼンの計画とパワーポイントのスキルについて、理解を深める。	プレゼンの計画とパワーポイントのスキルに関する表現方法を勉強する。(1 時間)
	6	プレゼンテーション (1)	プレゼンテーションを実施する。	プレゼンテーションに関する表現方法を勉強する。(1 時間)
	7	発声練習について	発声練習について、理解を深める。	発声練習に関する表現方法を勉強する。(1 時間)
	8	発声について	発声について、理解を深める。	発声に関する表現方法を勉強する。(1 時間)
	9	イントネーション	イントネーションについて、理解を深める。	イントネーションに関する表現方法を勉強する。(1 時間)
	10	言葉遣い、言い回しについて	ことば遣い、言い回しについて、理解を深める。	ことば遣い、言い回しに関する表現方法を勉強する。(1 時間)
	11	プレゼンの計画とパワーポイントのデザイン	プレゼンの計画とパワーポイントのデザインについて、理解を深める。	プレゼンの計画とパワーポイントのデザインに関する表現方法を勉強する。(1 時間)
	12	プレゼンテーション (2)	プレゼンテーションを実施する。	プレゼンテーションに関する表現方法を勉強する。(1 時間)
	13	インタラクティブ・プレゼンテーションの計画	インタラクティブ・プレゼンテーションの計画について、理解を深める。	インタラクティブ・プレゼンテーションの計画に関する表現方法を勉強する。(1 時間)
	14	質疑応答について	質疑応答について、理解を深める。	質疑応答に関する表現方法を勉強する。(1 時間)
	15	インタラクティブ・プレゼンテーション	これまで扱ったトピックについて総括し、英語の復習を行いながら、まとめの確認テストにて、理解度を測る。	これまでの授業で扱った内容や表現方法について総復習する。(1 時間)

関連科目	ドラマなど
------	-------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Successful Presentations: An Interactive Guide	Mark D. Stafford	Cengage
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法（基準）	プレゼンテーション 20% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 80%
----------	---

学生へのメッセージ	Giving a good presentation takes more than words. Voice, gesture, posture, movement, and visual aids can contribute to making a good presentation. I'm looking forward to helping you improve your presentation skills.
	In order to pass this course, you must attempt ALL assessment tasks. Absence is not an excuse for incomplete homework tasks. Ask a classmate or email the instructor for homework details.
	Any student who is absent for more than four classes (per semester) will fail the course. If you come to class more than 30 minutes late, it will count as one absence.

担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室
----------	-----------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。
----	---

科目名	English Writing Workshop a	科目名 (英文)	English Writing Workshop a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	A B
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	田浦 アマンダ
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3023b0		

授業概要・目的	読解した英文の内容について、基本的な文法構造を用いて要約したり、自分の意見を含めたレポートやエッセイを書く演習を行う。
到達目標	CEFR-J [B1-2] を目標とし、複数のパラグラフでエッセイを書くことができるようになる。また、英文の引用方法など、アカデミックなエッセイ、レポートの書式に慣れる。
授業方法と留意点	・ Comprehensive English a, English for Global Communication a と連動する。これらの授業で読解、議論しているテーマでレポートやエッセイを書く。 ・ 書式は、Setsunan Academic Essay Guideline に従う。 ・ 必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL, 英検, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Unit 1.1 Psychology Happiness	Academic Writing Guidelines	Review unit language structures & watch the lecture.
	2	Unit 1.2 Psychology Happiness	Unit 1 Writing Task p. 11	Review unit language structures & watch the lecture.
	3	Unit 2.1 Linguistics 'Critical Hypothesis' Period	Academic Writing Guidelines	Review unit language structures & watch the lecture.
	4	Unit 2.2 Linguistics 'Critical Hypothesis' Period	Unit 2 Writing Task p. 21	Review unit language structures & watch the lecture.
	5	Review, consolidation.	Review, consolidation.	Review unit language structures & watch the lecture.
	6	Unit 3.1 Public Health 'Sleep'	Academic Writing Guidelines	Review unit language structures & watch the lecture.
	7	Unit 3.1 Public Health 'Sleep'	Unit 3 Writing Task p. 31	Review unit language structures & watch the lecture.
	8	Assessment	Midterm Test	Review unit language structures & watch the lecture.
	9	Unit 4.1 Business 'Negotiating'	Academic Writing Guidelines	Review unit language structures & watch the lecture.
	10	Unit 4.2 Business 'Negotiating'	Unit 4 Unit Writing Task p. 41	Review unit language structures & watch the lecture.
	11	Unit 5.1 Art History 'Modern Art'	Academic Writing Guidelines	Review unit language structures & watch the lecture.
	12	Unit 5.2 Art History 'Modern Art'	Unit 5 Writing Task p. 51	Review unit language structures & watch the lecture.
	13	Unit 6.1 Engineering 'Robots'	Academic Writing Guidelines	Review unit language structures & watch the lecture.
	14	Unit 6.2 Engineering 'Robots'	Unit 6 Writing Task p. 61	Review unit language structures & watch the lecture.
	15	Assessment	Final Presentation	Review unit language structures & watch the lecture.

関連科目	Comprehensive English a, English for Global Communication a
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Contemporary Topics Level 1 (4th Edition) Student Book with Essential Online Resource	Helen Solorzano and Laurie Frazier	Pearson
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法	共通課題 (エッセイ課題) 20%
------	-------------------

(基準)	授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 80%
学生へのメッセージ	
担当者の研究室等	7号館5階 田浦研究室
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。

科目名	English Writing Workshop a	科目名 (英文)	English Writing Workshop a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	C D
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	マイケル ハーキー
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3023b0		

授業概要・目的	読解した英文の内容について、基本的な文法構造を用いて要約したり、自分の意見を含めたレポートやエッセイを書く演習を行う。
到達目標	CEFR-J [B1-2] を目標とし、複数のパラグラフでエッセイを書くことができるようになる。また、英文の引用方法など、アカデミックなエッセイ、レポートの書式に慣れる。
授業方法と留意点	・ Comprehensive English a, English for Global Communication a と連動する。これらの授業で読解、議論しているテーマでレポートやエッセイを書く。 ・ 書式は、Setsunan Academic Essay Guideline に従う。 ・ 必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL, 英検, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Unit 1.1 Psychology Happiness	Academic Writing Guidelines	Review unit language structures & watch the lecture.
	2	Unit 1.2 Psychology Happiness	Unit 1 Writing Task p. 11	Review unit language structures & watch the lecture.
	3	Unit 2.1 Linguistics 'Critical Hypothesis' Period	Academic Writing Guidelines	Review unit language structures & watch the lecture.
	4	Unit 2.2 Linguistics 'Critical Hypothesis' Period	Unit 2 Writing Task p. 21	Review unit language structures & watch the lecture.
	5	Review, consolidation.	Review, consolidation.	Review unit language structures & watch the lecture.
	6	Unit 3.1 Public Health 'Sleep'	Academic Writing Guidelines	Review unit language structures & watch the lecture.
	7	Unit 3.1 Public Health 'Sleep'	Unit 3 Writing Task p. 31	Review unit language structures & watch the lecture.
	8	Assessment	Midterm Test	Review unit language structures & watch the lecture.
	9	Unit 4.1 Business 'Negotiating'	Academic Writing Guidelines	Review unit language structures & watch the lecture.
	10	Unit 4.2 Business 'Negotiating'	Unit 4 Unit Writing Task p. 41	Review unit language structures & watch the lecture.
	11	Unit 5.1 Art History 'Modern Art'	Academic Writing Guidelines	Review unit language structures & watch the lecture.
	12	Unit 5.2 Art History 'Modern Art'	Unit 5 Writing Task p. 51	Review unit language structures & watch the lecture.
	13	Unit 6.1 Engineering 'Robots'	Academic Writing Guidelines	Review unit language structures & watch the lecture.
	14	Unit 6.2 Engineering 'Robots'	Unit 6 Writing Task p. 61	Review unit language structures & watch the lecture.
	15	Assessment	Final Presentation	Review unit language structures & watch the lecture.

関連科目	Comprehensive English a, English for Global Communication a
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Contemporary Topics Level 1 (4th Edition) Student Book with Essential Online Resource	Helen Solorzano and Laurie Frazier	Pearson
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法	共通課題 (エッセイ課題) 20%
------	-------------------

(基準)	授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 80%
学生へのメッセージ	Education is an admirable thing, but it is well to remember from time to time that nothing that is worth knowing can be taught. Oscar Wilde
担当者の研究室等	7 号館 3 階 Herke 研究室
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。

科目名	English Writing Workshop b	科目名 (英文)	English Writing Workshop b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	A B
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	田浦 アマンダ
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3024b0		

授業概要・目的	与えられたテーマと資料に基づき、ある程度の結束性のある英語エッセイや英語レポートを、幅広い語彙や文法構造を用いて書く演習を行う。
到達目標	CEFR-J [B2-1] を目標とし、読解した様々なトピックの情報とほかの情報源で得た情報を統合・整理し、それに対する自分の考えを根拠とともに示すことができるようになる。英文の引用方法など、アカデミックなエッセイ、レポートの書式に従った文書作成ができる。
授業方法と留意点	・Comprehensive English b, English for Global Communication b と連動する。これらの授業で読解、議論しているテーマでレポートやエッセイを書く。 ・書式は、Setsunan Academic Essay Guideline に従う。 ・必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL, 英検, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Unit 7.1 Media Studies 'Interactive Games'	Academic Writing Conventions & Guidelines Review your notes p. 70	Review unit language structures & watch the lecture.
	2	Unit 7.2 Media Studies 'Interactive Games'	Unit 7 Writing Task p. 71	Review unit language structures & watch the lecture.
	3	Unit 8.1 Biology 'Genetically Modified Food'	Academic Writing Conventions & Guidelines Review your notes p. 80	Review unit language structures & watch the lecture.
	4	Unit 8.2 Biology 'Genetically Modified Food'	Unit 8 Writing Task p. 81	Review unit language structures & watch the lecture.
	5	Review, consolidation.	Review, consolidation.	Review unit language structures & watch the lecture.
	6	Unit 9.1 Business 'Design Thinking'	Academic Writing Conventions & Guidelines Review your notes p. 90	Review unit language structures & watch the lecture.
	7	Unit 9.2 Business 'Design Thinking'	Unit 3 Writing Task p. 91	Review unit language structures & watch the lecture.
	8	Assessment	Midterm Test	Review unit language structures & watch the lecture.
	9	Unit 10.1 History 'Shackleton'	Academic Writing Conventions & Guidelines Review your notes p. 100	Review unit language structures & watch the lecture.
	10	Unit 10.2 History 'Shackleton'	Unit 10 Writing Task p. 101	Review unit language structures & watch the lecture.
	11	Unit 11.1 Philosophy 'Ethics'	Academic Writing Conventions & Guidelines Review your notes p. 110	Review unit language structures & watch the lecture.
	12	Unit 11.2 Philosophy 'Ethics'	Unit 11 Writing Task p. 111	Review unit language structures & watch the lecture.
	13	Unit 12.1 Information Technology 'Big Data'	Academic Writing Conventions & Guidelines Review your notes p. 120	Review unit language structures & watch the lecture.
	14	Unit 12.2 Information Technology 'Big Data'	Unit 6 Writing Task p. 121	Review unit language structures & watch the lecture.
	15	Assessment	Final Presentation	Review unit language structures & watch the lecture.

関連科目	Comprehensive English b, English for Global Communication b
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Contemporary Topics Level 1 (4th Edition) Student Book with Essential Online Resource	Helen Solorzano and Laurie Frazier	Pearson
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法	共通課題 (エッセイ課題) 20%
------	-------------------

(基準)	授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 80%
学生へのメッセージ	
担当者の研究室等	7号館5階 田浦研究室
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。

科目名	English Writing Workshop b	科目名 (英文)	English Writing Workshop b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	C D
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	マイケル ハーキー
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3024b0		

授業概要・目的	与えられたテーマと資料に基づき、ある程度の結束性のある英語エッセイや英語レポートを、幅広い語彙や文法構造を用いて書く演習を行う。
到達目標	CEFR-J [B2-1] を目標とし、読解した様々なトピックの情報とほかの情報源で得た情報を統合・整理し、それに対する自分の考えを根拠とともに示すことができるようになる。英文の引用方法など、アカデミックなエッセイ、レポートの書式に従った文書作成ができる。
授業方法と留意点	・Comprehensive English b, English for Global Communication b と連動する。これらの授業で読解、議論しているテーマでレポートやエッセイを書く。 ・書式は、Setsunan Academic Essay Guideline に従う。 ・必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL, 英検, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Unit 7.1 Media Studies 'Interactive Games'	Academic Writing Conventions & Guidelines Review your notes p. 70	Review unit language structures & watch the lecture.
	2	Unit 7.2 Media Studies 'Interactive Games'	Unit 7 Writing Task p. 71	Review unit language structures & watch the lecture.
	3	Unit 8.1 Biology 'Genetically Modified Food'	Academic Writing Conventions & Guidelines Review your notes p. 80	Review unit language structures & watch the lecture.
	4	Unit 8.2 Biology 'Genetically Modified Food'	Unit 8 Writing Task p. 81	Review unit language structures & watch the lecture.
	5	Review, consolidation.	Review, consolidation.	Review unit language structures & watch the lecture.
	6	Unit 9.1 Business 'Design Thinking'	Academic Writing Conventions & Guidelines Review your notes p. 90	Review unit language structures & watch the lecture.
	7	Unit 9.2 Business 'Design Thinking'	Unit 3 Writing Task p. 91	Review unit language structures & watch the lecture.
	8	Assessment	Midterm Test	Review unit language structures & watch the lecture.
	9	Unit 10.1 History 'Shackleton'	Academic Writing Conventions & Guidelines Review your notes p. 100	Review unit language structures & watch the lecture.
	10	Unit 10.2 History 'Shackleton'	Unit 10 Writing Task p. 101	Review unit language structures & watch the lecture.
	11	Unit 11.1 Philosophy 'Ethics'	Academic Writing Conventions & Guidelines Review your notes p. 110	Review unit language structures & watch the lecture.
	12	Unit 11.2 Philosophy 'Ethics'	Unit 11 Writing Task p. 111	Review unit language structures & watch the lecture.
	13	Unit 12.1 Information Technology 'Big Data'	Academic Writing Conventions & Guidelines Review your notes p. 120	Review unit language structures & watch the lecture.
	14	Unit 12.2 Information Technology 'Big Data'	Unit 6 Writing Task p. 121	Review unit language structures & watch the lecture.
	15	Assessment	Final Presentation	Review unit language structures & watch the lecture.

関連科目	Comprehensive English b, English for Global Communication b
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Contemporary Topics Level 1 (4th Edition) Student Book with Essential Online Resource	Helen Solorzano and Laurie Frazier	Pearson
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法	共通課題 (エッセイ課題) 20%
------	-------------------

(基準)	授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 80%
学生へのメッセージ	Education is an admirable thing, but it is well to remember from time to time that nothing that is worth knowing can be taught. Oscar Wilde
担当者の研究室等	7 号館 3 階 Herke 研究室
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。

科目名	English Lecture I a	科目名 (英文)	English Lecture I a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	A B
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	フーバー トッド
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL3025b0		

授業概要・目的	英語によるアカデミックな講義を聞いて理解し、参考文献を読み、講義や文献の内容を英語で要約し、自分の意見を付与したエッセイを書けるようになる。 CEFR-J[B1-1]の総合力を目標とする。各回の講義テーマはビジネス系のものを選定し、TOEIC スコアの向上も目指す。
到達目標	授業は原則として全て英語で行われる。講義を聞き、参考文献を読み、内容を英語で要約したり、自分の意見を付与しながら話す・書く活動、インプット・アウトプット連動型の訓練を行う。
授業方法と留意点	・授業はすべて英語で行われる。アカデミックレベルの内容の英文をインプットして、それを論理的にアウトプットする訓練を行う。 ・必ず辞書を持参すること。 ・作文 (レポート) 課題は Setsunan Academic Essay Guideline (SAEG) に従った書式で作成すること。 ・講義内容を学びながら、各自で TOEIC での高得点も目指すこと。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	人間関係論 (Human Relations) 序論、ノートの取り方について	ノートを取るスキルを学び実践します。	ノートを復習します。(4 時間)
	2	「個性」「価値観」「態度」とは何か	講義ノートを書き留める。グループディスカッションをする。	テキストを読む。ノートを復習します。(4 時間)
	3	「知覚」「自尊感情」「自信」とは何か	講義ノートを書き留める。グループディスカッションをする。	テキストを読む。ノートを復習します。(4 時間)
	4	「感情知性」(Emotional Intelligence) とは何か	講義ノートを書き留める。グループディスカッションをする。	テキストを読む。ノートを復習します。(4 時間)
	5	目標設定と時間管理	講義ノートを書き留める。グループディスカッションをする。	テキストを読む。ノートを復習します。(4 時間)
	6	復習テストと質疑応答	テストと復習します。	ノートを復習します。(4 時間)
	7	ストレスを特定する	講義ノートを書き留める。グループディスカッションをする。	テキストを読む。ノートを復習します。(4 時間)
	8	ストレスの原因と低減の方法	講義ノートを書き留める。グループディスカッションをする。	テキストを読む。ノートを復習します。(4 時間)
	9	職場におけるコミュニケーション	講義ノートを書き留める。グループディスカッションをする。	テキストを読む。ノートを復習します。(4 時間)
	10	コミュニケーションの様々なスタイル	講義ノートを書き留める。グループディスカッションをする。	テキストを読む。ノートを復習します。(4 時間)
	11	言葉によらないコミュニケーション	講義ノートを書き留める。グループディスカッションをする。	テキストを読む。ノートを復習します。(4 時間)
	12	レポート作成演習: トピックの選定と計画	レポートを書く。	レポートを書く。(4 時間)
	13	レポート作成演習: 初稿を改訂する (アイデアの流れと構成を中心に)	レポートを書く。	レポートを書く。(4 時間)
	14	レポート作成演習: 第二稿を改訂する (文章表現の確認)	レポートを書く。	レポートを書く。(4 時間)
	15	復習テストと質疑応答	テストを復習します。	ノートを復習します。(4 時間)

関連科目				
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Human Relations, (Open Textbook Library, ダウンロード版)	Laura Dias	https://open.umn.edu/opentextbooks/BookDetail.aspx?bookId=132
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Setsunan Academic Essay Guideline (摂南大学外国語学部編)		
	2			

	3			
評価方法 (基準)	レポート 20% TOEIC スコアによる評価 10% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 70%			
学生への メッセー ジ	The aim of this course is to provide the opportunity to participate in a North American style lecture class. The content of the lectures and the skills you will learn in this class will be useful for job hunting, study abroad, and business. Be prepared to challenge yourself!			
担当者の 研究室等	7号館3階 フーパー研究室			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 60 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時にテストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時にチューデントアワーにて対応する。			

科目名	English Lecture I a	科目名 (英文)	English Lecture I a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	C D
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	ジョセフ シウンシ
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL3025b0		

授業概要・目的	英語によるアカデミックな講義を聞いて理解し、参考文献を読み、講義や文献の内容を英語で要約し、自分の意見を付与したエッセイを書けるようになる。CEFR-J[B1-1]の総合力を目標とする。各回の講義テーマはビジネス系のものを選定し、TOEIC スコアの向上も目指す。
到達目標	授業は原則として全て英語で行われる。講義を聞き、参考文献を読み、内容を英語で要約したり、自分の意見を付与しながら話す・書く活動、インプット・アウトプット連動型の訓練を行う。
授業方法と留意点	・授業はすべて英語で行われる。アカデミックレベルの内容の英文をインプットして、それを論理的にアウトプットする訓練を行う。 ・必ず辞書を持参すること。 ・作文 (レポート) 課題は Setsunan Academic Essay Guideline (SAEG) に従った書式で作成すること。 ・講義内容を学びながら、各自で TOEIC での高得点も目指すこと。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	人間関係論 (Human Relations) 序論、ノートの取り方について	ノートを取るスキルを学び実践します。	ノートを復習します。(4 時間)
	2	「個性」「価値観」「態度」とは何か	講義ノートを書き留める。グループディスカッションをする。	テキストを読む。ノートを復習します。(4 時間)
	3	「知覚」「自尊感情」「自信」とは何か	講義ノートを書き留める。グループディスカッションをする。	テキストを読む。ノートを復習します。(4 時間)
	4	「感情知性」(Emotional Intelligence) とは何か	講義ノートを書き留める。グループディスカッションをする。	テキストを読む。ノートを復習します。(4 時間)
	5	目標設定と時間管理	講義ノートを書き留める。グループディスカッションをする。	テキストを読む。ノートを復習します。(4 時間)
	6	復習テストと質疑応答	テストと復習します。	ノートを復習します。(4 時間)
	7	ストレスを特定する	講義ノートを書き留める。グループディスカッションをする。	テキストを読む。ノートを復習します。(4 時間)
	8	ストレスの原因と低減の方法	講義ノートを書き留める。グループディスカッションをする。	テキストを読む。ノートを復習します。(4 時間)
	9	職場におけるコミュニケーション	講義ノートを書き留める。グループディスカッションをする。	テキストを読む。ノートを復習します。(4 時間)
	10	コミュニケーションの様々なスタイル	講義ノートを書き留める。グループディスカッションをする。	テキストを読む。ノートを復習します。(4 時間)
	11	言葉によらないコミュニケーション	講義ノートを書き留める。グループディスカッションをする。	テキストを読む。ノートを復習します。(4 時間)
	12	レポート作成演習: トピックの選定と計画	レポートを書く。	レポートを書く。(4 時間)
	13	レポート作成演習: 初稿を改訂する (アイデアの流れと構成を中心に)	レポートを書く。	レポートを書く。(4 時間)
	14	レポート作成演習: 第二稿を改訂する (文章表現の確認)	レポートを書く。	レポートを書く。(4 時間)
	15	復習テストと質疑応答	テストと復習します。	ノートを復習します。(4 時間)

関連科目				
教科書				
	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Human Relations, (Open Textbook Library, ダウンロード版)	Laura Dias	https://open.umn.edu/opentextbooks/BookDetail.aspx?bookId=132
	2			
	3			
参考書				
	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Setsunan Academic Essay Guideline (摂南大学外国語学部編)		
	2			

	3			
評価方法 (基準)	レポート 20% TOEIC スコアによる評価 10% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 70%			
学生への メッセー ジ	頑張ってください。質問があれば、いつでも来てください。 授業はマナーを守って受けてください。			
担当者の 研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 60 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。			

科目名	English Lecture I b	科目名 (英文)	English Lecture I b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	A B
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	ジョセフ シウンシ
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL3026b0		

授業概要・目的	英語によるアカデミックな講義を聞いて理解し、参考文献を読み、講義や文献の内容を英語で要約し、自分の意見を付与したエッセイを書けるようになる。CEFR-J[B1-1]の総合力を目標とする。各回の講義テーマはビジネス系のものを選定し、TOEIC スコアの向上も目指す。
到達目標	授業は原則として全て英語で行われる。講義を聞き、参考文献を読み、内容を英語で要約したり、自分の意見を付与しながら話す・書く活動、インプット・アウトプット連動型の訓練を行う。
授業方法と留意点	・授業はすべて英語で行われる。アカデミックレベルの内容の英文をインプットして、それを論理的にアウトプットする訓練を行う。 ・必ず辞書を持参すること。 ・作文 (レポート) 課題は Setsunan Academic Essay Guideline (SAEG) に従った書式で作成すること。 ・講義内容を学びながら、各自で TOEIC での高得点も目指すこと。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	導入、ノートの取り方について	ノートを取るスキルを学び実践する。	ノートを復習する。 (4 時間)
	2	職場における倫理	講義ノートを書き留める。グループディスカッションをする。	テキストを読む。 ノートを復習する。 (4 時間)
	3	倫理的な意思決定を行う	講義ノートを書き留める。グループディスカッションをする。	テキストを読む。 ノートを復習する。 (4 時間)
	4	モチベーション理論	講義ノートを書き留める。グループディスカッションをする。	テキストを読む。 ノートを復習する。 (4 時間)
	5	モチベーションを上げるには	講義ノートを書き留める。グループディスカッションをする。	テキストを読む。 ノートを復習する。 (4 時間)
	6	復習テストと質疑応答	テストと復習する。	ノートを復習する。 (4 時間)
	7	職場におけるグループ分け	講義ノートを書き留める。グループディスカッションをする。	テキストを読む。 ノートを復習する。 (4 時間)
	8	意思決定の過程を理解する	講義ノートを書き留める。グループディスカッションをする。	テキストを読む。 ノートを復習する。
	9	職場における争議を処理する	講義ノートを書き留める。グループディスカッションをする。	テキストを読む。 ノートを復習する。 (4 時間)
	10	リーダーシップと管理業務	講義ノートを書き留める。グループディスカッションをする。	テキストを読む。 ノートを復習する。 (4 時間)
	11	キャリアを管理する	講義ノートを書き留める。グループディスカッションをする。	テキストを読む。 ノートを復習する。 (4 時間)
	12	レポート作成演習：トピックの選定と計画	レポートを書く。	レポートを書く。 (4 時間)
	13	レポート作成演習：初稿を改訂する (アイデアの流れと構成を中心に)	レポートを書く。	レポートを書く。 (4 時間)
	14	レポート作成演習：第二稿を改訂する (文章表現の確認)	レポートを書く。	レポートを書く。 (4 時間)
	15	復習テストと質疑応答	テストと復習をする。	ノートを復習する。 (4 時間)

関連科目	
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Human Relations, (Open Textbook Library, ダウンロード版)	Laura Dias	https://open.umn.edu/opentextbooks/BookDetail.aspx?bookId=132
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Setsunan Academic Essay Guideline (摂南大学外国語学部編)		
	2			

	3			
評価方法 (基準)	レポート 20% TOEIC スコアによる評価 10% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 70%			
学生への メッセージ	頑張ってください。質問があれば、いつでも来てください。 授業はマナーを守って受けてください。			
担当者の 研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 60 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。			

科目名	English Lecture I b	科目名 (英文)	English Lecture I b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	C D
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	フーバー トッド
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL3026b0		

授業概要・目的	英語によるアカデミックな講義を聞いて理解し、参考文献を読み、講義や文献の内容を英語で要約し、自分の意見を付与したエッセイを書けるようになる。CEFR-J[B1-1]の総合力を目標とする。各回の講義テーマはビジネス系のものを選定し、TOEIC スコアの向上も目指す。
到達目標	授業は原則として全て英語で行われる。講義を聞き、参考文献を読み、内容を英語で要約したり、自分の意見を付与しながら話す・書く活動、インプット・アウトプット連動型の訓練を行う。
授業方法と留意点	・授業はすべて英語で行われる。アカデミックレベルの内容の英文をインプットして、それを論理的にアウトプットする訓練を行う。 ・必ず辞書を持参すること。 ・作文 (レポート) 課題は Setsunan Academic Essay Guideline (SAEG) に従った書式で作成すること。 ・講義内容を学びながら、各自で TOEIC での高得点も目指すこと。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	導入、ノートの取り方について	ノートを取るスキルを学び実践する。	ノートを復習する。 (4 時間)
	2	職場における倫理	講義ノートを書き留める。グループディスカッションをする。	テキストを読む。 ノートを復習する。 (4 時間)
	3	倫理的な意思決定を行う	講義ノートを書き留める。グループディスカッションをする。	テキストを読む。 ノートを復習する。 (4 時間)
	4	モチベーション理論	講義ノートを書き留める。グループディスカッションをする。	テキストを読む。 ノートを復習する。 (4 時間)
	5	モチベーションを上げるには	講義ノートを書き留める。グループディスカッションをする。	テキストを読む。 ノートを復習する。 (4 時間)
	6	復習テストと質疑応答	テストと復習する。	ノートを復習する。 (4 時間)
	7	職場におけるグループ分け	講義ノートを書き留める。グループディスカッションをする。	テキストを読む。 ノートを復習する。 (4 時間)
	8	意思決定の過程を理解する	講義ノートを書き留める。グループディスカッションをする。	テキストを読む。 ノートを復習する。
	9	職場における争議を処理する	講義ノートを書き留める。グループディスカッションをする。	テキストを読む。 ノートを復習する。 (4 時間)
	10	リーダーシップと管理業務	講義ノートを書き留める。グループディスカッションをする。	テキストを読む。 ノートを復習する。 (4 時間)
	11	キャリアを管理する	講義ノートを書き留める。グループディスカッションをする。	テキストを読む。 ノートを復習する。 (4 時間)
	12	レポート作成演習：トピックの選定と計画	レポートを書く。	レポートを書く。 (4 時間)
	13	レポート作成演習：初稿を改訂する (アイデアの流れと構成を中心に)	レポートを書く。	レポートを書く。 (4 時間)
	14	レポート作成演習：第二稿を改訂する (文章表現の確認)	レポートを書く。	レポートを書く。 (4 時間)
	15	復習テストと質疑応答	テストと復習をする。	ノートを復習する。 (4 時間)

関連科目				
教科書				
	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Human Relations, (Open Textbook Library, ダウンロード版)	Laura Dias	https://open.umn.edu/opentextbooks/BookDetail.aspx?bookId=132
	2			
	3			
参考書				
	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Setsunan Academic Essay Guideline (摂南大学外国語学部編)		
	2			

	3			
評価方法 (基準)	レポート 20% TOEIC スコアによる評価 10% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 70%			
学生への メッセージ	The aim of this course is to provide the opportunity to participate in a North American style lecture class. The content of the lectures and the skills you will learn in this class will be useful for job hunting, study abroad, and business. Be prepared to challenge yourself!			
担当者の 研究室等	7 号館 3 階 フーパー研究室			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 60 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時にテストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時にスチューデントアワーにて対応する。			

科目名	English Lecture II a	科目名 (英文)	English Lecture II a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	高橋 真理子
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL3027b0		

授業概要・目的	幅広い内容の講義を英語で理解し、自らの意見を英語で述べたり、クラスメイトと英語でディスカッションできるようになる。講義テーマは国際語としての英語である。
到達目標	あるトピックに関して自分の意見を交えながら、グループやクラスの前で発表したり、討論する。
授業方法と留意点	・授業はすべて英語で行われる。アカデミックレベルの内容の英文をインプットして、それを論理的にアウトプットする訓練を行う。 ・必ず辞書を持参すること。 ・作文 (レポート) 課題は Setsunan Academic Essay Guideline (SAEG) に従った書式で作成すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL, 英検, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation, What is a global language?	Review (4 時間)
	2	Why a global language? Why English?	Why do we need a global language? What are the dangers of a global language?	Preview/ review (4 時間)
	3	The historical context [1]	English varieties of the Inner Circle	Preview/ review (4 時間)
	4	The historical context [2]	English varieties of the Outer Circle	Preview/ review (4 時間)
	5	The historical context [3]	English varieties of the Expanding Circle	Preview/ review (4 時間)
	6	English in Japanese society	English in Japan	Preview/ review (4 時間)
	7	The cultural foundation	Political developments and access to knowledge	Preview/ review (4 時間)
	8	The cultural legacy [1]	International relations and the media	Preview/ review (4 時間)
	9	The cultural legacy [2]	International travel, international safety	Preview/ review (4 時間)
	10	Review week	Review and summary of what has been covered so far	Preview/ review (4 時間)
	11	Midterm test and feedback	In-class test and feedback	Preview/ review (4 時間)
	12	The future of global English [1]	Contrasting attitudes	Preview/ review (4 時間)
	13	The future of global English [2]	The linguistic character of new Englishes	Preview/ review (4 時間)
	14	The future of global English [3]	The future of English as a world language	Preview/ review (4 時間)
	15	Summary and feedback	Summary of the course, feedback	Preview/ review (4 時間)

関連科目	Comprehensive English, English for Global Communication, English Writing Workshop
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	English as a Global Language (Canto classics edition)	David Crystal	Cambridge University Press
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Global Englishes: A Resource Book for Students (3rd edition)	Jennifer Jenkins	Routledge
	2			
	3			

評価方法 (基準)	Participation 40% Midterm test 30% Final essay 30%
-----------	--

学生へのメッセージ	Let's learn and think about the reality of English as an international language.
-----------	--

担当者の研究室等	7 号館 4 階 高橋研究室
----------	----------------

備考	授業内容については、進度等により調整する場合がある。毎回の授業のための教科書の読み込み、担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 60 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。
----	--

科目名	English Lecture II b	科目名 (英文)	English Lecture II b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	田浦 アマンダ
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL3028b0		

授業概要・目的	幅広い内容の講義を英語で理解し、自らの意見を英語で述べたり、クラスメイトと英語でディスカッションできるようになる。 This is a content-based academic English course on an Australian drama show and the cultural themes discovered while watching the episodes. Australian English will also be examined and an attempt made to familiarise the students with everyday life in Australia and the implications.
到達目標	あるトピックに関して自分の意見を交えながら、グループやクラスの前で発表したり、討論する。 The course will focus on listening and speaking and listening skills and building up the vocabulary necessary to understand Australian culture.
授業方法と留意点	・授業はすべて英語で行われる。アカデミックレベルの内容の英文をインプットして、それを論理的にアウトプットする訓練を行う。 ・必ず辞書を持参すること。 ・作文 (レポート) 課題は Setsunan Academic Essay Guideline (SAEG) に従った書式で作成すること。 The topics will be introduced in visual form in the drama series, with background readings given for study at home in preparation and discussion will follow the episode clips. Writing assignments will be given based on current cultural topics.
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL, 英検, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Overview	Information about grading and requirements. This is an important class to attend if you wish to take this course. (4 時間)
	2	Notetaking, reading, and strategies for discussion. Final essay guidelines and topics.	The way to study to improve your Academic English skills.	Listening and speaking techniques. (4 時間)
	3	Episode 1	Background mini-lecture, watching the clip, review of the content	Academic readings on culture & Writing assignments (4 時間)
	4	Episode 1	Listening skills	Academic readings on culture & Writing assignments (4 時間)
	5	Episode 1	Discussion on the cultural issues in Australia.	Academic readings on culture & Writing assignments (4 時間)
	6	Episode 2	Background mini-lecture, watching the clip, review of the content	Academic readings on culture & Writing assignments (4 時間)
	7	Episode 2	Listening skills	Academic readings on culture & Writing assignments (4 時間)
	8	Episode 2	Discussion on the cultural issues in Australia.	Academic readings on (4 時間)
	9	Episode 3	Background mini-lecture, watching the clip, review of the content	Academic readings on culture & Writing assignments (4 時間)
	10	Episode 3	Listening skills	Academic readings on culture & Writing assignments (4 時間)
	11	Episode 3	Discussion on the cultural issues in Australia.	Academic readings on culture & Writing assignments (4 時間)
	12	Episode 4	Background mini-lecture, watching the clip, review of the content	Academic readings on culture & Writing assignments (4 時間)
	13	Episode 4	Listening skills	Final Essay (4 時間)
	14	Episode 4	Discussion on the cultural issues in Australia.	Final Essay due for assessment (4 時間)
	15	Final review	Evaluations	Verbal Presentations on final essay topics (4 時間)

関連科目	Comprehensive English, English for Global Communication, English Writing Workshop
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	Class attitude 30% (Prepared, Enthusiastic, On time, Willing to learn), Quizzes 20%, Writing Portfolio 20% (short weekly writing assignments), Final essay & Presentation 20%, English zone maintained 10%
学生への メッセージ	Use a dictionary in class, always take notes while studying in class and stay in the English-only zone
担当者の 研究室等	7号館5階 田浦研究室
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 60 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。

科目名	Integrated Skills Training	科目名 (英文)	Integrated Skills Training
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	A
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	天野 貴史
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL2013c0		

授業概要・目的	1 年時で学習した英語のスタディスキルをさらに向上させる。ICT 等を用いて、リスニング能力向上に主眼を置きながら、4 技能をバランスよく伸ばす。																																																																		
到達目標	CEFR-J[A2]を目標とし、自分に関連する内容（日常生活、学校生活など）の英文に関する基本的な情報を理解できるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	ICT 教材を用いて、海外生活を行うための実践的なリスニング能力を養う。授業時間外にも、ICT を用いた所定の e-learning 課題が課される。必ず辞書を持参すること。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL, 英検																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>Unit 1: The Perfect Person</td><td>Describing Personal Qualities</td><td>授業中に指示 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>2</td><td>Unit 2: Worldwide Bookstores</td><td>Making Suggestions</td><td>単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)</td></tr> <tr> <td>3</td><td>Unit 3: Loser Those Pounds</td><td>Discussing Health</td><td>単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)</td></tr> <tr> <td>4</td><td>Unit 4: Living Well on Credit</td><td>Describing Financial Situations</td><td>単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)</td></tr> <tr> <td>5</td><td>Unit 5: The Breakup</td><td>Expressing Surprise</td><td>単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)</td></tr> <tr> <td>6</td><td>Unit 6: The Road to Mexico</td><td>Making and Responding to Invitations</td><td>単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)</td></tr> <tr> <td>7</td><td>Unit 7: Who's to Blame?</td><td>Being Frank and Joking</td><td>単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)</td></tr> <tr> <td>8</td><td>Unit 8: Looking at Art</td><td>Talking about Natural Talents</td><td>単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)</td></tr> <tr> <td>9</td><td>Unit 9: What to Watch</td><td>Relaxing</td><td>単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)</td></tr> <tr> <td>10</td><td>Unit 10: Two Tickets to the Concert</td><td>Discussing Success</td><td>単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)</td></tr> <tr> <td>11</td><td>Unit 11: A Big Decision</td><td>Talking about Easy and Difficult Things</td><td>単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)</td></tr> <tr> <td>12</td><td>Unit 12: Making the Right Choice</td><td>Expressing Function</td><td>単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)</td></tr> <tr> <td>13</td><td>Unit 13: Caught on the Web</td><td>Sharing Information</td><td>単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)</td></tr> <tr> <td>14</td><td>Unit 14: The Job Fair</td><td>Giving Encouragement</td><td>単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)</td></tr> <tr> <td>15</td><td>Review</td><td>Review</td><td>単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	Unit 1: The Perfect Person	Describing Personal Qualities	授業中に指示 (1 時間)	2	Unit 2: Worldwide Bookstores	Making Suggestions	単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)	3	Unit 3: Loser Those Pounds	Discussing Health	単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)	4	Unit 4: Living Well on Credit	Describing Financial Situations	単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)	5	Unit 5: The Breakup	Expressing Surprise	単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)	6	Unit 6: The Road to Mexico	Making and Responding to Invitations	単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)	7	Unit 7: Who's to Blame?	Being Frank and Joking	単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)	8	Unit 8: Looking at Art	Talking about Natural Talents	単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)	9	Unit 9: What to Watch	Relaxing	単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)	10	Unit 10: Two Tickets to the Concert	Discussing Success	単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)	11	Unit 11: A Big Decision	Talking about Easy and Difficult Things	単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)	12	Unit 12: Making the Right Choice	Expressing Function	単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)	13	Unit 13: Caught on the Web	Sharing Information	単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)	14	Unit 14: The Job Fair	Giving Encouragement	単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)	15	Review	Review	単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	Unit 1: The Perfect Person	Describing Personal Qualities	授業中に指示 (1 時間)																																																																
2	Unit 2: Worldwide Bookstores	Making Suggestions	単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)																																																																
3	Unit 3: Loser Those Pounds	Discussing Health	単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)																																																																
4	Unit 4: Living Well on Credit	Describing Financial Situations	単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)																																																																
5	Unit 5: The Breakup	Expressing Surprise	単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)																																																																
6	Unit 6: The Road to Mexico	Making and Responding to Invitations	単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)																																																																
7	Unit 7: Who's to Blame?	Being Frank and Joking	単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)																																																																
8	Unit 8: Looking at Art	Talking about Natural Talents	単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)																																																																
9	Unit 9: What to Watch	Relaxing	単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)																																																																
10	Unit 10: Two Tickets to the Concert	Discussing Success	単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)																																																																
11	Unit 11: A Big Decision	Talking about Easy and Difficult Things	単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)																																																																
12	Unit 12: Making the Right Choice	Expressing Function	単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)																																																																
13	Unit 13: Caught on the Web	Sharing Information	単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)																																																																
14	Unit 14: The Job Fair	Giving Encouragement	単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)																																																																
15	Review	Review	単語学習。テキストの予習と復習。また、指定されたマルチメディア教材を学習する。(1 時間)																																																																
関連科目	Practical English Conversation, Academic Reading, Academic Writing																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>New Connection</td><td>角 山 照 彦, Andrey Dubinsky, David Edward Keane</td><td>成美堂</td></tr> <tr> <td>2</td><td>The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test</td><td>西谷 恒志</td><td>成美堂</td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	New Connection	角 山 照 彦, Andrey Dubinsky, David Edward Keane	成美堂	2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂	3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	New Connection	角 山 照 彦, Andrey Dubinsky, David Edward Keane	成美堂																																																																
2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂																																																																
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	ICT 教材課題 30% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 70%																																																																		
学生へのメッセージ	留学後にどれだけ英語力を伸ばせるかは、日本での学習準備にかかっています。一日一日を大切に、頑張ってください。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 3 階 天野研究室																																																																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。																																																																		

科目名	Integrated Skills Training	科目名 (英文)	Integrated Skills Training
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	B C
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	後藤 一章
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL2013c0		

授業概要・目的	1 年時で学習した英語のスタディスキルをさらに向上させる。ICT 等を用いて、リスニング能力向上に主眼を置きながら、4 技能をバランスよく伸ばす。		
到達目標	CEFR-J[A2]を目標とし、自分に関連する内容（日常生活、学校生活など）の英文に関する基本的な情報を理解できるようになる。		
授業方法と留意点	ICT 教材を用いて、海外生活を行うための実践的なリスニング能力を養う。授業時間外にも、ICT を用いた所定の e-learning 課題が課される。必ず辞書を持参すること。		
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL, 英検		
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等
	1	Unit 1	人やものが存在するという行き先や目的を述べる
	2	Unit 2	いつ～するのか言う いつ開始するか言う
	3	Unit 2	いつ完了するか言う 頻度を言う
	4	Unit 3	習慣・事実・未来 進行・状態・継続
	5	Unit 3	過去・完了 経験
	6	Unit 4	他人の行動を見聞きする
	7	Unit 4	他人の行動を強制・依頼・許可する
	8	Unit 5	説明される名詞が動詞の「目的語」 説明される名詞が「所有者」
	9	Unit 5	説明される部分が「義務・用途」
	10	Unit 6	確実に起きること・もう起きたこと 起きるかどうか分からないこと
	11	Unit 6	起こりそうもないこと 願望
	12	Unit 7	意見・感想を述べる 時制の一致
	13	Unit 7	意見・感想の尋ね方 予想との違い
	14	Unit 8	好き嫌いの表し方 可能の表し方
	15	Unit 8	移動の方向 やりもらいと貸し借り
関連科目	Practical English Conversation, Academic Reading, Academic Writing		
教科書	番号	書籍名	著者名
	1	Useful Hints and Examples on Basic English Writing	鈴木卓
	2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法 (基準)	ICT 教材課題 30% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 70%		
学生へのメッセージ	留学後にどれだけ英語力を伸ばせるかは、日本での学習準備にかかっています。一日一日を大切に、頑張ってください。		
担当者の研究室等	7 号館 5 階 後藤研究室		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。		

科目名	インドネシア・マレー語圏概論	科目名(英文)	A Survey of the Indonesian-Malay World
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	上田 達, 大坪 紀子
ディプロマポリシー(DP)	DP2◎		
科目ナンバリング	LDL1146a0		

授業概要・目的	インドネシア・マレー語圏の文化、社会、歴史、経済、政治についての基礎的な知識を習得する。インドネシアとマレーシアが話題の中心になるが、これらの国と結びつきの深いシンガポール、ブルネイ、東ティモールといった国々についても適宜言及する。あわせて他の東南アジア諸国についても基礎的な情報を紹介する。				
到達目標	インドネシア語とマレー語が話されている地域に関する基礎的な知識を得ること、インドネシア・マレー語圏の人々の生活を、われわれの日常と地続きのものとして理解すること、の二点を到達目標とする。				
授業方法と留意点	1. 前半は大坪が行い、後半は上田が行う。 2. 授業の進め方の詳細は初回の授業時に指示するので、必ず出席すること。 3. 授業内に質疑応答の時間も設ける。 4. 前半(大坪担当)は映像資料やプリントなどを使用した講義が中心であるが、随時、演習・発表・レポートも課す。				
科目学習の効果（資格）					
授業計画		回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
		1	イントロダクション	授業内容、授業の進め方、評価基準等について説明（上田、大坪担当）	関連する文献を紹介するので読むこと。
		2	インドネシア 1	インドネシアの人びとの毎日の暮らしを説明する。バリ出身の大学生の日々の暮らしを説明する。（大坪担当）	ノートを読み、まとめておくこと。 配布資料を読むこと。 紹介した文献を読むこと。
		3	インドネシア 2	インドネシアの人びとの毎日の暮らしを説明する。東ジャワ州出身、中部ジャワ州出身の女性の暮らしを説明する。（大坪担当）	ノートを読み、まとめておくこと。 配布資料を読むこと。 紹介した文献を読むこと。
		4	インドネシア 3	インドネシアの人びとの毎日の暮らしを説明する。ジャカルタの人びとの暮らしを説明する。 西ジャワ出身の女性の暮らしも説明する。（大坪担当）	ノートを読み、まとめておくこと。 配布資料を読むこと。 紹介した文献を読むこと。
		5	インドネシア 4	インドネシアの人びとの毎日の暮らしを説明する。スマトラ島と近辺に住む人びとの暮らしを説明する。（大坪担当）	ノートを読み、まとめておくこと。 配布資料を読むこと。 紹介した文献を読むこと。
		6	インドネシア 5	インドネシアの人びとの毎日の暮らしを説明する。カリマンタン島に住む人びと、スラウェシ島に住む人びとの暮らしを説明する。（大坪担当）	ノートを読み、まとめておくこと。 配布資料を読むこと。 紹介した文献を読むこと。
		7	インドネシア 6	インドネシアの人びとの毎日の暮らしを説明する。パプア州、西ティモール、フロレス、スンバワ島、ロンボク島に住む人びとの暮らしを説明する。（大坪担当）	各回のノートを読み、まとめておくこと。 各回の配布資料を読むこと。 紹介した文献を読むこと。 7 回までの授業で学んだ内容を整理しておくこと。
		8	前半まとめ	授業前半の総括と到達度の確認をはかるテストをおこなう。テスト終了後に講評をおこなう。（大坪担当）	各回で紹介した文献を読むこと。 授業で学んだ内容をノートに整理しておくこと。
		9	マレーシア 1	マレーシアに住む多様な民族集団について概説する。多民族社会という概念を説明する。（上田担当）	配布する資料や掲出するウェブサイトをよく読んでおくこと。
		10	マレーシア 2	マレーシアに住む多様な民族集団について説明する。マレー人の生活について映像資料を用いて説明する。（上田担当）	配布する資料や掲出するウェブサイトをよく読んでおくこと。
		11	マレーシア 3	マレーシアに住む多様な民族集団について説明する。中国系住民の生活について映像資料を用いて説明する。（上田担当）	配布する資料や掲出するウェブサイトをよく読んでおくこと。
		12	マレーシア 4	マレーシアに住む多様な民族集団について説明する。インド系住民やオランアスリ、サバやサラワクの人びとの生活について映像資料を用いて説明する。（上田担当）	配布する資料や掲出するウェブサイトをよく読んでおくこと。
		13	ブルネイ	ブルネイという国やブルネイに住む人びとについて概説する。（上田担当）	配布する資料や掲出するウェブサイトをよく読んでおくこと。
		14	シンガポール	シンガポールという国やシンガポールに住む人びとについて概説する。（上田担当）	配布する資料や掲出するウェブサイトをよく読んでおくこと。
		15	まとめ	授業の総括と到達度の確認をはかる課題を実施する。終了後は講評と授業の振り返りをおこなう。（上田担当）	ノートやプリントを使って、授業で学んだ内容を整理しておくこと。
関連科目	インドネシア・マレー語関係科目および東南アジア関係の講義科目				
教科書		番号	書籍名	著者名	出版社名
		1			
		2			
		3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	東南アジアを知る事典		平凡社
	2			
	3			
評価方法 (基準)	前半（大坪担当）と後半（上田担当）のそれぞれについて次のような観点から評価したものを総合する。 前半：提出物や課題等の取り組み（30%）と、最終課題（70%）から総合的に判断する。 後半：提出物や課題等の取り組み（30%）と、最終課題（70%）から総合的に判断する。			
学生への メッセージ	スポーツ・文芸・映像・音楽・動物・交通・ファッション・グルメなど自分の関心分野にあわせて、日常でもインドネシア、マレーシア、ブルネイ、シンガポールのニュースや情報を積極的に探してください。			
担当者の 研究室等	7号館2階（非常勤講師室）、7号館5階上田研究室			
備考	提出物は評価を付した上で、原則として翌週に返却する。			

科目名	インドネシア語Ⅱ a	科目名 (英文)	Indonesian Ila
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	山口 玲子
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	本授業は、インドネシア語における基礎的な会話能力の修得を目的とする。日常生活のさまざまな場面において役に立つ表現を学ぶ。			
到達目標	この授業では、基本的なインドネシア語運用能力の修得を目指し、インドネシアへ旅行に出かけたり、インドネシア人と話す機会において不自由のない実力をつけることができる。			
授業方法と留意点	配布するプリントを用いて基礎会話を中心とした学習を行う。声に出して繰り返し練習することを重視する。			
科目学習の効果（資格）	インドネシア語技能検定試験			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	授業の進め方 インドネシア語の特徴	授業で学んだことを復習しておくこと。
	2	文字と発音	アルファベットの読み方	インドネシア語のアルファベットをきちんと読めるようにしておくこと。
	3	発音	基本単語の発音練習	配布された「発音」のプリントに目を通しておくこと。 授業で習った基本単語を声に出して練習しておくこと。
	4	挨拶（１）	挨拶表現	配布された「挨拶（１）」のプリントに目を通しておくこと。 「挨拶（１）」のプリントの会話部分を復習すること。
	5	挨拶（２）	感謝、謝罪	配布された「挨拶（２）」のプリントに目を通しておくこと。 「挨拶（２）」のプリントの会話部分を復習すること。
	6	紹介（１）	自己紹介、人称代名詞について	配布された「紹介（１）」のプリントに目を通しておくこと。 「紹介（１）」のプリントの会話部分、人称代名詞について復習すること。
	7	紹介（２）	自己紹介、疑問詞を用いた表現	配布された「紹介（２）」のプリントに目を通しておくこと。 「紹介（２）」のプリントの会話部分、疑問詞について復習すること。
	8	紹介（３）	家族、友人を紹介、疑問詞を用いた表現	配布された「紹介（３）」のプリントに目を通しておくこと。 「紹介（３）」のプリントの会話部分を復習すること。
	9	8回までのまとめ	これまでに学んだことの復習 中間テストおよび解説	これまでに配布された全てのプリントで学んだことを復習しておくこと。 中間テストで間違えたところを再確認しておくこと。
	10	数詞（１）	数詞の仕組み	配布された「数詞（１）」のプリントに目を通しておくこと。 数詞の仕組みを復習しておくこと。
	11	数詞（２）	序数詞や分数	配布された「数詞（２）」のプリントに目を通しておくこと。 序数詞や分数について復習しておくこと。
	12	数詞（３）	電話番号と数詞の練習問題	配布された「数詞（３）」のプリントに目を通しておくこと。 電話番号の言い方と数詞の練習問題について復習しておくこと。
	13	数詞（４）	日付の言い表し方	配布された「数詞（４）」のプリントに目を通しておくこと。 日付の言い表し方について復習しておくこと。
	14	10回から13回までのまとめ	数詞を使った表現の復習	10回から13回までに配布された数詞のプリントを中心に復習しておくこと。 不明な点を明らかにしておくこと。
	15	総復習	これまでに学んだことの総復習 理解度確認テストおよび解説	理解度確認テストに臨むため、これまでに学んできたことを振り返っておくこと。 理解度確認テストで間違えたところを再度復習しておくこと。
関連科目	インドネシア語Ⅱ			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			

	2			
	3			
評価方法 (基準)	授業への積極的な参加度合 20%、中間テスト 40%、理解度確認テスト 40%			
学生への メッセージ	授業へは積極的に参加しましょう。			
担当者の 研究室等	7 号館 2 階（非常勤講師室）			
備考	予習・復習は「授業計画」の「事前・事後学習課題」に従い 60 時間以上行うこと。 授業時間外での質問等は非常勤講師室にてお昼休みに対応する。なお、中間テストおよび理解度確認テスト終了後には解説を行う。			

科目名	インドネシア語Ⅱb	科目名（英文）	Indonesian IIB
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	大坪 紀子
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	本授業は、インドネシア語における基礎的な会話能力の修得を目的とする。日常生活のさまざまな場面で役に立つ表現を学ぶ。																																																																		
到達目標	この授業では、前期の「インドネシア語Ⅰ」に引き続き、基本的なインドネシア語運用能力の修得を目指し、インドネシアへ旅行に出かけたり、インドネシア人と話す機会において不自由のない実力をつけることができる。 またインドネシアの人びとの日常的な習慣について理解を深めることもできる。																																																																		
授業方法と留意点	配布するプリントを用いて基礎会話を中心とした会話演習をおこなう。 声に出して繰り返し練習することを重視する。 授業内に質疑応答の時間も設ける。																																																																		
科目学習の効果（資格）	インドネシア語技能検定に役立つ。 旅行に役立つ。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>イントロダクションと復習</td><td>1. 授業のすすめ方について説明する。 2. 前期の「インドネシア語Ⅰ」で学んだことの復習をおこなう。</td><td>・前期の項目を復習してから授業に臨むこと(1 時間)。 ・学習項目の復習(1 時間)</td></tr> <tr> <td>2</td><td>曜日 (1)</td><td>曜日、月の言い表し方</td><td>・プリントの会話部分を練習して覚え、単語の綴りと意味を覚えること(2 時間)</td></tr> <tr> <td>3</td><td>曜日 (2)</td><td>季節の表現方法</td><td>・プリントの会話部分を練習して覚え、単語の綴りと意味を覚えること(2 時間)</td></tr> <tr> <td>4</td><td>時間 (1)</td><td>時間と時刻の言い表し方</td><td>・プリントの会話部分を練習して覚え、単語の綴りと意味を覚えること(2 時間)</td></tr> <tr> <td>5</td><td>時間 (2)</td><td>時間と時間を使った会話</td><td>・プリントの会話部分を練習して覚え、単語の綴りと意味を覚えること(2 時間)</td></tr> <tr> <td>6</td><td>色 (1)</td><td>色および形容詞</td><td>・プリントの会話部分を練習して覚え、単語の綴りと意味を覚えること(2 時間)</td></tr> <tr> <td>7</td><td>色 (2)</td><td>助数詞</td><td>・プリントの会話部分を練習して覚え、単語の綴りと意味を覚えること(2 時間)</td></tr> <tr> <td>8</td><td>復習</td><td>1. これまでに学んだことの理解を確認するために中間試験をおこなう。 2. 試験後に理解が足りないところについて説明をおこなう。</td><td>中間テストに向けてこれまでに学んだことの再確認(3 時間)</td></tr> <tr> <td>9</td><td>ショッピング (1)</td><td>値段の尋ね方</td><td>・プリントの会話部分を練習して覚え、単語の綴りと意味を覚えること(2 時間)</td></tr> <tr> <td>10</td><td>ショッピング (2)</td><td>店での会話</td><td>・プリントの会話部分を練習して覚え、単語の綴りと意味を覚えること(2 時間)</td></tr> <tr> <td>11</td><td>ショッピング (3)</td><td>その他役に立つ表現</td><td>・プリントの会話部分を練習して覚え、単語の綴りと意味を覚えること(2 時間)</td></tr> <tr> <td>12</td><td>位置 (1)</td><td>位置の表し方</td><td>・プリントの会話部分を練習して覚え、単語の綴りと意味を覚えること(2 時間)</td></tr> <tr> <td>13</td><td>位置 ②</td><td>道を尋ねる</td><td>・プリントの会話部分を練習して覚え、単語の綴りと意味を覚えること(2 時間)</td></tr> <tr> <td>14</td><td>9 回～13 回までのまとめ</td><td>ショッピングでの会話や位置に関する表現の復習</td><td>・9 回～13 回までに学んできたことの再確認(2 時間) ・いまままでに学んだ単語の綴りと意味を確認すること(2 時間)</td></tr> <tr> <td>15</td><td>総復習</td><td>1. これまでに学んだことの理解度を確認するための総復習試験をおこなう。 2. 試験後に理解が足りないところについて説明をおこなう。</td><td>これまでに学んだことの再確認(2 時間)</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	イントロダクションと復習	1. 授業のすすめ方について説明する。 2. 前期の「インドネシア語Ⅰ」で学んだことの復習をおこなう。	・前期の項目を復習してから授業に臨むこと(1 時間)。 ・学習項目の復習(1 時間)	2	曜日 (1)	曜日、月の言い表し方	・プリントの会話部分を練習して覚え、単語の綴りと意味を覚えること(2 時間)	3	曜日 (2)	季節の表現方法	・プリントの会話部分を練習して覚え、単語の綴りと意味を覚えること(2 時間)	4	時間 (1)	時間と時刻の言い表し方	・プリントの会話部分を練習して覚え、単語の綴りと意味を覚えること(2 時間)	5	時間 (2)	時間と時間を使った会話	・プリントの会話部分を練習して覚え、単語の綴りと意味を覚えること(2 時間)	6	色 (1)	色および形容詞	・プリントの会話部分を練習して覚え、単語の綴りと意味を覚えること(2 時間)	7	色 (2)	助数詞	・プリントの会話部分を練習して覚え、単語の綴りと意味を覚えること(2 時間)	8	復習	1. これまでに学んだことの理解を確認するために中間試験をおこなう。 2. 試験後に理解が足りないところについて説明をおこなう。	中間テストに向けてこれまでに学んだことの再確認(3 時間)	9	ショッピング (1)	値段の尋ね方	・プリントの会話部分を練習して覚え、単語の綴りと意味を覚えること(2 時間)	10	ショッピング (2)	店での会話	・プリントの会話部分を練習して覚え、単語の綴りと意味を覚えること(2 時間)	11	ショッピング (3)	その他役に立つ表現	・プリントの会話部分を練習して覚え、単語の綴りと意味を覚えること(2 時間)	12	位置 (1)	位置の表し方	・プリントの会話部分を練習して覚え、単語の綴りと意味を覚えること(2 時間)	13	位置 ②	道を尋ねる	・プリントの会話部分を練習して覚え、単語の綴りと意味を覚えること(2 時間)	14	9 回～13 回までのまとめ	ショッピングでの会話や位置に関する表現の復習	・9 回～13 回までに学んできたことの再確認(2 時間) ・いまままでに学んだ単語の綴りと意味を確認すること(2 時間)	15	総復習	1. これまでに学んだことの理解度を確認するための総復習試験をおこなう。 2. 試験後に理解が足りないところについて説明をおこなう。	これまでに学んだことの再確認(2 時間)
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	イントロダクションと復習	1. 授業のすすめ方について説明する。 2. 前期の「インドネシア語Ⅰ」で学んだことの復習をおこなう。	・前期の項目を復習してから授業に臨むこと(1 時間)。 ・学習項目の復習(1 時間)																																																																
2	曜日 (1)	曜日、月の言い表し方	・プリントの会話部分を練習して覚え、単語の綴りと意味を覚えること(2 時間)																																																																
3	曜日 (2)	季節の表現方法	・プリントの会話部分を練習して覚え、単語の綴りと意味を覚えること(2 時間)																																																																
4	時間 (1)	時間と時刻の言い表し方	・プリントの会話部分を練習して覚え、単語の綴りと意味を覚えること(2 時間)																																																																
5	時間 (2)	時間と時間を使った会話	・プリントの会話部分を練習して覚え、単語の綴りと意味を覚えること(2 時間)																																																																
6	色 (1)	色および形容詞	・プリントの会話部分を練習して覚え、単語の綴りと意味を覚えること(2 時間)																																																																
7	色 (2)	助数詞	・プリントの会話部分を練習して覚え、単語の綴りと意味を覚えること(2 時間)																																																																
8	復習	1. これまでに学んだことの理解を確認するために中間試験をおこなう。 2. 試験後に理解が足りないところについて説明をおこなう。	中間テストに向けてこれまでに学んだことの再確認(3 時間)																																																																
9	ショッピング (1)	値段の尋ね方	・プリントの会話部分を練習して覚え、単語の綴りと意味を覚えること(2 時間)																																																																
10	ショッピング (2)	店での会話	・プリントの会話部分を練習して覚え、単語の綴りと意味を覚えること(2 時間)																																																																
11	ショッピング (3)	その他役に立つ表現	・プリントの会話部分を練習して覚え、単語の綴りと意味を覚えること(2 時間)																																																																
12	位置 (1)	位置の表し方	・プリントの会話部分を練習して覚え、単語の綴りと意味を覚えること(2 時間)																																																																
13	位置 ②	道を尋ねる	・プリントの会話部分を練習して覚え、単語の綴りと意味を覚えること(2 時間)																																																																
14	9 回～13 回までのまとめ	ショッピングでの会話や位置に関する表現の復習	・9 回～13 回までに学んできたことの再確認(2 時間) ・いまままでに学んだ単語の綴りと意味を確認すること(2 時間)																																																																
15	総復習	1. これまでに学んだことの理解度を確認するための総復習試験をおこなう。 2. 試験後に理解が足りないところについて説明をおこなう。	これまでに学んだことの再確認(2 時間)																																																																
関連科目	インドネシア語Ⅰ																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	授業の会話演習で正確な表現ができる 20%、正確な綴りが書ける 20%、中間試験 30%、総復習試験 30%、等																																																																		
学生へのメッセージ	1. できるだけ大きな声で発音するようにしましょう。 2. 普段の生活でも積極的にインドネシア関連のニュースや音楽・映画などを探して接してください。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 2 階（非常勤講師室）																																																																		
備考	1 基本的に事前学習は必要ないが、事後学習は毎週少なくとも 2 時間以上はおこなうこと。 2. 授業時間以外での質問は非常勤講師室にて昼休みに対応する。 3. 中間試験と総復習試験終了後に教室で全問の解説をおこなう。また理解が足りないところの復習方法も説明する。																																																																		

科目名	インドネシア語Ⅲ a	科目名 (英文)	Indonesian IIIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	大坪 紀子
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	本授業はインドネシア語の中級レベルの運用能力を育成する。文法説明、講読練習、作文練習をおこなう。会話練習も随時おこなう。		
到達目標	短文を読み書きできるとともに会話能力も発揮できるよう、文法力・読解力・作文力・会話能力のバランスが取れたインドネシア語運用能力の育成をめざす。		
授業方法と留意点	1. テキストはプリントを配布する。 2. 毎回、短文の読解と作文から成る演習と発表を課す。 3. 随時、単語試験をおこなう。 4. 随時、宿題を課す。 5. 会話演習は繰り返し練習することを重視する。 6. 授業内に質疑応答の時間も設ける。		
科目学習の効果 (資格)	インドネシア語の能力向上とともに、インドネシア語技能検定試験に役立つ。旅行に役立つ。		
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等
	1	イントロダクション	授業の進め方の説明 インドネシア、インドネシア語の説明 綴りと発音の練習
	2	文法 1	名詞文「～です」「これは～です」の文型や文法、語順を説明する。
	3	文法 2	人称代名詞の復習と、名詞文や語順の復習をおこなう。 講読練習、作文練習、会話練習をおこなう。
	4	文法 3	基語動詞の用法を説明する。 講読練習、作文練習、会話練習をおこなう。
	5	文法 4	基語動詞と前置詞の用法を説明する。 講読練習、作文練習、会話練習をおこなう。
	6	文法 5	接頭辞 ber- の語形と用法を説明する。 講読練習、作文練習、会話練習をおこなう。
	7	文法 6	接頭辞 meN- の語形を説明する。 会話練習をおこなう。
	8	文法 7	接頭辞 meN- の用法を説明する。 講読練習、作文練習、会話練習をおこなう。
	9	いままでの復習 1	いままでに学んだ事項の理解度を確認するために中間試験をおこなう。 試験終了後に理解の足りない事項をとりあげて説明をする。
	10	文法 8	時制をあらわす助動詞の用法を説明する。 講読練習、作文練習、会話練習をおこなう。
	11	文法 9	日付、時刻、時間の表現を説明する。 講読練習、作文練習、会話練習をおこなう。
	12	文法 10	時制以外の助動詞の用法について説明する。講読練習、作文練習、会話練習をおこなう。
	13	文法 11	形容詞と副詞の用法を説明する。講読練習、作文練習、会話練習をおこなう。
	14	いままでの復習 2	いままでに既習した事項を含むやや複雑

			雑な文を用いて講読練習、作文練習、会話練習をおこなう。	
	15	総復習	いままでに学んだ事項の理解度を確認するために総復習試験をおこなう。試験終了後に理解の足りない事項をとりあげて説明する。	第14回までに学んだことの総復習。(合計2時間)
関連科目				
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	単語小試験 20%、宿題 20%、中間試験 30%、総復習試験 30%			
学生への メッセージ	1. 今後さらに発展が見込まれるインドネシアの国語であるインドネシア語能力を身につけると、必ず将来の役に立ちます。 2. 比較的学びやすいインドネシア語は、復習をすればするほど確実に身につきます。一緒にがんばりましょう。 3. 普段の生活でも積極的にインドネシア関連のニュースや音楽・映画などを探して接してください。			
担当者の 研究室等	7号館2階(非常勤講師室)			
備考	1. 授業時間以外での質問は非常勤講師室にて昼休みに対応する。 2. 随時課す単語小試験の模範解答は授業中に提示する。 3. 随時課す宿題の模範解答は授業中に提示する。また理解が足りないところも授業中に再度説明する。 4. 中間試験と総復習試験終了後は授業中に全問の模範解答と提示し、解説もおこなう。また理解が足りないところの復習方法も説明する。 5. 基本的に事前学習は必要ないが、事後学習には毎週少なくとも2時間以上を充てること。			

科目名	インドネシア語Ⅲb	科目名（英文）	Indonesian IIIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	大坪 紀子
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	本授業はインドネシア語の中級レベルの運用能力を育成する。やや複雑な文法の説明、講読練習、作文練習をおこなう。会話練習も随時おこなう。				
到達目標	. 中級レベルのインドネシア語運用能力をめざす。すなわち、 1. やや複雑な文章を理解できる。 2. やや複雑な文法を使った作文ができる。 3. やや複雑な文法を使った会話が理解できる。				
授業方法と留意点	1. テキストはプリントを配布する。 2. 毎回、短文の読解と作文から成る演習と発表を課す。 3. 随時、単語試験をおこなう。 4. 随時、宿題を課す。 5. 会話演習は繰り返し練習することを重視する。 6. 授業内に質疑応答の時間も設ける。				
科目学習の効果（資格）	1. インドネシア語能力の向上。 2. インドネシア語技能検定試験に役立つ。 3. 旅行に役立つ。				
授業計画		回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
		1	イントロダクション	1. 授業の進め方を説明する。 2. 既習事項の確認と復習。	既習事項を復習すること。
		2	文法 1	接尾辞-an、接頭辞 pe-を学習する。 短文読解、作文練習、会話練習をおこなう。	1. 新出単語を覚える。 2. 文法の徹底。 3. 練習問題の復習。 (合計 2 時間)
		3	文法 2	同等・比較・最上級の表現を学習する。 短文読解、作文練習、会話練習をおこなう。	1. 新出単語を覚える。 2. 文法の徹底。 3. 練習問題の復習。 4. 接頭辞 me-の復習。 (合計 3 時間)
		4	文法 3	接頭辞 di-を学習する。	1. 新出単語を覚える。 2. 文法の徹底。 3. 練習問題の復習。 (合計 2 時間)
		5	文法 4	接頭辞辞 ter-を学習する。 短文読解、作文練習、会話練習をおこなう。	1. 新出単語を覚える。 2. 文法の徹底。 3. 練習問題の復習。 4. 過去に学習した疑問詞を整理しておくこと。 (合計 2 時間)
		6	文法 5	疑問詞を学習する。短文読解、作文練習、会話練習をおこなう。	1. 新出単語を覚える。 2. 練習問題の復習。 (合計 2 時間) 第 7 回の予習として今までに学んだ事項の総復習。 (合計 3 時間以上)
		7	復習 1	第 6 回までに学んだ事項の理解度を確認するために中間試験をおこなう。試験後に理解の足りない事項の説明をおこなう。	第 6 回までに学んだ事項の総復習。(合計 3 時間以上)
		8	文法 6	共接辞 ber--an, per--an を学習する。 短文読解、作文練習、会話練習をおこなう。	1. 新出単語を覚える。 2. 文法の徹底。 3. 練習問題の復習。 (合計 2 時間)
		9	文法 7	共接辞 pe--an を学習する。短文読解、作文練習、会話練習をおこなう。	1. 新出単語を覚える。 2. 文法の徹底。 3. 練習問題の復習。 4. 第 10 回目への予習として、過去に学んだ接続詞を整理しておくこと。 (合計 2 時間)
		10	文法 8	接続詞を学習する。短文読解、作文練習、会話練習をおこなう。	1. 新出単語を覚える。 2. 文法の徹底。 3. 練習問題の復習。 (合計 2 時間)
		11	文法 9	共接辞 ke--an、接尾辞-nya を学習する。 短文読解、作文練習、会話練習をおこなう。	1. 新出単語を覚える。 2. 文法の徹底。 3. 練習問題の復習。 (合計 2 時間)
		12	文法 10	接尾辞-i, -kan を学習する。短文読解、作文練習、会話練習をおこなう。	1. 新出単語を覚える。 2. 文法の徹底。 3. 練習問題の復習。 (合計 2 時間)
		13	文法 11	接頭辞 memper-を学習する。短文読解、作文練習、会話練習をおこなう。	1. 新出単語を覚える。 2. 文法の徹底。 3. 練習問題の復習。 (合計 2 時間)

	14	1. 文法 12 2. 復習 2	1. 重複の形態と機能を学習する。短文読解、作文練習、会話練習をおこなう。 2. 第 14 回までに学んだ事項の復習	1. 新出単語を覚える。 2. 文法の徹底。 3. 練習問題の復習。 (合計 2 時間) 第 14 回までに学んだ事項の総復習。(合計 3 時間以上)
	15	総復習	第 14 回までに学んだ事項の理解度を確認するために総復習試験をおこなう。試験終了後に理解の足りない事項を説明する。	今までに学んだ事項の総復習と練習問題に取り組むこと。 総復習試験をもういちど解くこと。(合計 3 時間)
関連科目	インドネシア語、マレー語、東南アジア関係の授業すべて。			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	授業での発表 10%、単語小試験 10%、宿題 20%、中間試験 30%、総復習試験 30%			
学生への メッセージ	1. 比較的学びやすいインドネシア語は、復習をすればするほど確実に身につきます。一緒にがんばりましょう。 2. 自分の関心分野にあわせて、日常でも積極的にインドネシア関連のニュースや音楽・映画などを探して接してください。			
担当者の 研究室等	7 号館 2 階（非常勤講師室）			
備考	1. 随時課す単語小試験の模範解答は授業中に提示する。 2. 随時課す宿題の模範解答は授業中に提示する。また理解が足りないところも授業中に再度説明する。 3. 中間試験と総復習試験終了後は授業中に全問の模範解答と提示して講評をおこなう。 理解が足りないところの復習方法も説明する。 4. 授業時間以外での質問は非常勤講師室にて昼休みに対応する。			

科目名	インドネシア語コミュニケーションⅡ a	科目名（英文）	Indonesian Communication II a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	エニ レスタリ
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL2127e0		

授業概要・目的	1 年間のインドネシア語学習を通じて、単語力や文法の理解が深まったかと思われます。 インドネシアに旅でも長期滞在でコミュニケーション出来る。																																																																		
到達目標	相手の発言に対して自分が応えることも重要であるが、まずは過去 1 年間で得た単語力と文法理解力をもとに、自分が言いたいことや伝えたいことを即座に比較的短い文で発言できることを目標とする。																																																																		
授業方法と留意点	会話がテーマです。 毎回のテーマに応じて、どのような内容を伝えなければならないのか、もしくはどのような状況であるのかを事前にいくつか想像しておくこと。 積極的な発言と態度で臨んでください。リスニング、シャドーイングで聞き取り会話練習。																																																																		
科目学習の効果（資格）	インドネシア語技能検定																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>プロローグ</td><td>授業の進め方と、受講にあたっての留意点に関する説明を行なう。</td><td>授業の進め方に対する質問や要望を事前に考えておくこと。</td></tr> <tr> <td>2</td><td>インドネシアに上陸する (1)</td><td>到着ビザを取得する聞き取り会話練習</td><td>重要な表現や応用表現を覚えましょう。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>インドネシアに上陸する (2)</td><td>入管と聞き取り会話練習</td><td>重要な表現や応用表現を覚えましょう。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>インドネシアに上陸する (3)</td><td>スーツケース紛失の聞き取り会話練習</td><td>重要な表現や応用表現を覚えましょう。</td></tr> <tr> <td>5</td><td>インドネシアに上陸する (4)</td><td>税関についての聞き取り会話練習</td><td>重要な表現や応用表現を覚えましょう。</td></tr> <tr> <td>6</td><td>小試験および第 2 回から第 5 回までの復習</td><td>第 2 回から第 5 回までに学習した項目をもとに、あるシチュエーションを想定した会話を課す。</td><td>授業内容の復習</td></tr> <tr> <td>7</td><td>電話をかける。 (1)</td><td>会う約束をするための知人に電話をかける。聞き取り会話練習。</td><td>重要な表現や応用表現を覚えましょう。</td></tr> <tr> <td>8</td><td>電話をかける。 (2)</td><td>安い航空券を探す。聞き取り会話練習。</td><td>重要な表現や応用表現を覚えましょう。</td></tr> <tr> <td>9</td><td>電話をかける。 (3)</td><td>でんわで料理を注文する。聞き取り会話練習。</td><td>重要な表現や応用表現を覚えましょう。</td></tr> <tr> <td>10</td><td>電話をかける。 (4)</td><td>警察署に電話をかける。聞き取り会話練習。</td><td>重要な表現や応用表現を覚えましょう。</td></tr> <tr> <td>11</td><td>小試験および第 7 回から第 10 回までの復習</td><td>第 7 回から第 10 回までに学習した項目をもとに、あるシチュエーションを想定した会話を課す。</td><td>授業内容の復習</td></tr> <tr> <td>12</td><td>インドネシアでの生活の準備。(1)</td><td>住居を探す。聞き取り会話練習。</td><td>重要な表現や応用表現を覚えましょう。</td></tr> <tr> <td>13</td><td>インドネシアでの生活の準備。(2)</td><td>家具を買う。聞き取り会話練習。</td><td>重要な表現や応用表現を覚えましょう。</td></tr> <tr> <td>14</td><td>インドネシアでの生活の準備。(3)</td><td>乗り物を連タールする。聞き取り会話練習。</td><td>重要な表現や応用表現を覚えましょう。</td></tr> <tr> <td>15</td><td>総復習試験</td><td>これまでの復習を行い、全回で学習した項目をもとに、あるシチュエーションを想定した会話を課す。</td><td>全授業内容の復習。</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	プロローグ	授業の進め方と、受講にあたっての留意点に関する説明を行なう。	授業の進め方に対する質問や要望を事前に考えておくこと。	2	インドネシアに上陸する (1)	到着ビザを取得する聞き取り会話練習	重要な表現や応用表現を覚えましょう。	3	インドネシアに上陸する (2)	入管と聞き取り会話練習	重要な表現や応用表現を覚えましょう。	4	インドネシアに上陸する (3)	スーツケース紛失の聞き取り会話練習	重要な表現や応用表現を覚えましょう。	5	インドネシアに上陸する (4)	税関についての聞き取り会話練習	重要な表現や応用表現を覚えましょう。	6	小試験および第 2 回から第 5 回までの復習	第 2 回から第 5 回までに学習した項目をもとに、あるシチュエーションを想定した会話を課す。	授業内容の復習	7	電話をかける。 (1)	会う約束をするための知人に電話をかける。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。	8	電話をかける。 (2)	安い航空券を探す。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。	9	電話をかける。 (3)	でんわで料理を注文する。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。	10	電話をかける。 (4)	警察署に電話をかける。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。	11	小試験および第 7 回から第 10 回までの復習	第 7 回から第 10 回までに学習した項目をもとに、あるシチュエーションを想定した会話を課す。	授業内容の復習	12	インドネシアでの生活の準備。(1)	住居を探す。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。	13	インドネシアでの生活の準備。(2)	家具を買う。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。	14	インドネシアでの生活の準備。(3)	乗り物を連タールする。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。	15	総復習試験	これまでの復習を行い、全回で学習した項目をもとに、あるシチュエーションを想定した会話を課す。	全授業内容の復習。
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	プロローグ	授業の進め方と、受講にあたっての留意点に関する説明を行なう。	授業の進め方に対する質問や要望を事前に考えておくこと。																																																																
2	インドネシアに上陸する (1)	到着ビザを取得する聞き取り会話練習	重要な表現や応用表現を覚えましょう。																																																																
3	インドネシアに上陸する (2)	入管と聞き取り会話練習	重要な表現や応用表現を覚えましょう。																																																																
4	インドネシアに上陸する (3)	スーツケース紛失の聞き取り会話練習	重要な表現や応用表現を覚えましょう。																																																																
5	インドネシアに上陸する (4)	税関についての聞き取り会話練習	重要な表現や応用表現を覚えましょう。																																																																
6	小試験および第 2 回から第 5 回までの復習	第 2 回から第 5 回までに学習した項目をもとに、あるシチュエーションを想定した会話を課す。	授業内容の復習																																																																
7	電話をかける。 (1)	会う約束をするための知人に電話をかける。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。																																																																
8	電話をかける。 (2)	安い航空券を探す。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。																																																																
9	電話をかける。 (3)	でんわで料理を注文する。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。																																																																
10	電話をかける。 (4)	警察署に電話をかける。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。																																																																
11	小試験および第 7 回から第 10 回までの復習	第 7 回から第 10 回までに学習した項目をもとに、あるシチュエーションを想定した会話を課す。	授業内容の復習																																																																
12	インドネシアでの生活の準備。(1)	住居を探す。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。																																																																
13	インドネシアでの生活の準備。(2)	家具を買う。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。																																																																
14	インドネシアでの生活の準備。(3)	乗り物を連タールする。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。																																																																
15	総復習試験	これまでの復習を行い、全回で学習した項目をもとに、あるシチュエーションを想定した会話を課す。	全授業内容の復習。																																																																
関連科目	専攻言語インドネシア語科目のすべて																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>インドネシア語スピーキング</td><td>ホラス由美子</td><td>三修社</td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	インドネシア語スピーキング	ホラス由美子	三修社	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	インドネシア語スピーキング	ホラス由美子	三修社																																																																
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	クラス参加及び活動（聴き取り会話学習）50% 授業内中間及び期末筆記テスト 50%																																																																		
学生へのメッセージ	間違いを恐れずに、学んだ単語を自発的に使ってみましょう。 日々の地道な学習と努力は「気づき」と大きな成果を必ずもたらします。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 2 階(非常勤講師室)																																																																		
備考	授業時間外での質問や要望は、毎週水曜に 7 号館 2 階非常勤講師室にて受け付ける。 事前・事後学習の総時間数は、15 時間以上とする。																																																																		

科目名	インドネシア語コミュニケーションⅡ b	科目名（英文）	Indonesian Communication II b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	エニ レスタリ
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL2128e0		

授業概要・目的	一年間インドネシア語学習を通じて、単語や文法の理解が深まったため、インドネシアに旅行でも長期滞在で現地の人とコミュニケーション出来る。			
到達目標	相手の発言に対して自分も答えることも重要であるが、まずは前期までの得た単語や表現をもとに、自分が言いたいことや伝えたいことを即座に発言出来ることを目標とする。			
授業方法と留意点	会話がテーマです。毎回のテーマに応じてどのような内容伝えなければならないのか、もしくはどのような状況であるのかを事前に想像しておくこと。積極的発言と態度で臨んでください。リスニング、シャドーイングで聞き取り会話練習。			
科目学習の効果（資格）	インドネシアの生活習慣を含めて日常のコミュニケーションが出来るようになる。			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	インドネシアでの日常生活（1）	出会い。新しい友達と出会いの聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現や自己紹介をする際に役立つ表現を覚えましょう。
	2	インドネシアでの日常生活（2）	手紙を送る。郵便局にて聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。
	3	インドネシアでの日常生活（3）	博物館を訪問する。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。
	4	インドネシアでの日常生活（4）	映画館で映画を観る。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。
	5	インドネシアでの日常生活（5）	手工芸品を見る。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。
	6	小テスト及び第1回目～5回目までの復習。	第1回目～5回目までに学習した項目をもとに、あるシチュエーションを想定した会話を課す。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。
	7	日々の出来事。（1）	講義に遅刻する。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。
	8	日々の出来事。（2）	運転免許証をうっかり置き忘れる。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。
	9	日々の出来事。（3）	郊外で休暇を過ごす。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。
	10	日々の出来事。（4）	病気。病院にて聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。
	11	小テスト及び第7回目～10回目までの復習	第7回目～10回目までに学習した項目をもとにあるシチュエーションを想定した会話を課す。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。
	12	ホテルに泊まる。（1）	空港でホテルを予約する。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。
	13	ホテルに泊まる。（2）	ホテルに到着する。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。
	14	ホテルに泊まる。（3）	クリーニング、ルームサービスの聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。
	15	復習試験	全回で学習項目を基に、ある場面を想定した会話を課する。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。
関連科目	専攻言語インドネシア語科目すべて			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	インドネシア語スピーキング	ホラス由美子	三修社
	2			
	3			
評価方法（基準）	クラス参加及び活動（聞き取り会話学習）50% 授業内中間・期末会話・筆記テスト 50%			
学生へのメッセージ	様々な会話を学習したので出来る限り復習の為にクラス活動をインドネシア語でおこなう。			
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)			
備考	授業時間外での質問や要望は、毎週水曜に7号館2階非常勤講師室にて受け付ける。 事前・事後学習の総時間数は、15時間以上とする。			

科目名	インドネシア語コミュニケーション I a	科目名 (英文)	Indonesian Communication Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	エニ レスタリ
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1117e0		

授業概要・目的	インドネシア語の発音をはじめ基本文法を学習して、日常会話を話す事が出来る。																																																																		
到達目標	挨拶、自己紹介を始め、学んだ文法を使って様々な会話文の作成。																																																																		
授業方法と留意点	会話文を学習。基本会話を聞く・文法確認・会話練習。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	挨拶、自己紹介、依頼、許可表現などを基本的な日常会話ができる。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>アルファベット文字と発音</td><td>母音と子音の発音</td><td>二重母音と子音の発音を確認して練習する。</td></tr> <tr> <td>2</td><td>挨拶</td><td>日常に使われる挨拶</td><td>日常の挨拶練習。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>お礼とお詫び</td><td>お礼とお詫びの表現。</td><td>お礼と謝る場合の表現を練習する。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>自己紹介</td><td>人の名前・人称代名詞・職業の単語を学習し、その文を発言する練習。</td><td>授業内容を復習すること。</td></tr> <tr> <td>5</td><td>自己紹介</td><td>疑問詞”誰”・家族に関する単語を学習・家族に付いての自己紹介。</td><td>前回の授業の内容を使って会話の練習をする。</td></tr> <tr> <td>6</td><td>基本文・肯定文・否定文・疑問文</td><td>名詞・名詞の否定詞。動詞・形容詞とその単語の否定詞を学習し、聞き取り会話練習。</td><td>周りにあるものの名前を覚える。日常生活に使用されている動詞又は目に身近な形容詞を覚える。</td></tr> <tr> <td>7</td><td>2 週目～6 週目の復習。</td><td>小テスト</td><td>授業内容について復習。</td></tr> <tr> <td>8</td><td>呼びかけ</td><td>様々な人の呼びかけ方</td><td>授業内容復習する。</td></tr> <tr> <td>9</td><td>聞き直し</td><td>時間の言い方</td><td>授業内容を復習すること。</td></tr> <tr> <td>10</td><td>依頼</td><td>tolong～(～してください) を使って人に何かを頼んでみましょう。</td><td>授業内容を復習すること。</td></tr> <tr> <td>11</td><td>第 6 ～ 10 までの復習</td><td>小テスト。聞き取りテスト及び筆記テストを行う。</td><td>前回の授業で学んだ単語を文書を作成。</td></tr> <tr> <td>12</td><td>許可表現</td><td>boleh を使って相手に許可を求めてみましょう。</td><td>授業内容を復習すること。</td></tr> <tr> <td>13</td><td>確認</td><td>bukan を使って「～ですね」と確認しましょう。</td><td>授業内容の復習。</td></tr> <tr> <td>14</td><td>願望表現</td><td>～が欲しい、～したいの表現</td><td>全部の授業内容の復習。</td></tr> <tr> <td>15</td><td>第 11 ～ 14 までの復習</td><td>これまでの復習 小テスト。聞き取り会話及び筆記テストテスト。</td><td>学習した語彙・会話文テスト。</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	アルファベット文字と発音	母音と子音の発音	二重母音と子音の発音を確認して練習する。	2	挨拶	日常に使われる挨拶	日常の挨拶練習。	3	お礼とお詫び	お礼とお詫びの表現。	お礼と謝る場合の表現を練習する。	4	自己紹介	人の名前・人称代名詞・職業の単語を学習し、その文を発言する練習。	授業内容を復習すること。	5	自己紹介	疑問詞”誰”・家族に関する単語を学習・家族に付いての自己紹介。	前回の授業の内容を使って会話の練習をする。	6	基本文・肯定文・否定文・疑問文	名詞・名詞の否定詞。動詞・形容詞とその単語の否定詞を学習し、聞き取り会話練習。	周りにあるものの名前を覚える。日常生活に使用されている動詞又は目に身近な形容詞を覚える。	7	2 週目～6 週目の復習。	小テスト	授業内容について復習。	8	呼びかけ	様々な人の呼びかけ方	授業内容復習する。	9	聞き直し	時間の言い方	授業内容を復習すること。	10	依頼	tolong～(～してください) を使って人に何かを頼んでみましょう。	授業内容を復習すること。	11	第 6 ～ 10 までの復習	小テスト。聞き取りテスト及び筆記テストを行う。	前回の授業で学んだ単語を文書を作成。	12	許可表現	boleh を使って相手に許可を求めてみましょう。	授業内容を復習すること。	13	確認	bukan を使って「～ですね」と確認しましょう。	授業内容の復習。	14	願望表現	～が欲しい、～したいの表現	全部の授業内容の復習。	15	第 11 ～ 14 までの復習	これまでの復習 小テスト。聞き取り会話及び筆記テストテスト。	学習した語彙・会話文テスト。
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	アルファベット文字と発音	母音と子音の発音	二重母音と子音の発音を確認して練習する。																																																																
2	挨拶	日常に使われる挨拶	日常の挨拶練習。																																																																
3	お礼とお詫び	お礼とお詫びの表現。	お礼と謝る場合の表現を練習する。																																																																
4	自己紹介	人の名前・人称代名詞・職業の単語を学習し、その文を発言する練習。	授業内容を復習すること。																																																																
5	自己紹介	疑問詞”誰”・家族に関する単語を学習・家族に付いての自己紹介。	前回の授業の内容を使って会話の練習をする。																																																																
6	基本文・肯定文・否定文・疑問文	名詞・名詞の否定詞。動詞・形容詞とその単語の否定詞を学習し、聞き取り会話練習。	周りにあるものの名前を覚える。日常生活に使用されている動詞又は目に身近な形容詞を覚える。																																																																
7	2 週目～6 週目の復習。	小テスト	授業内容について復習。																																																																
8	呼びかけ	様々な人の呼びかけ方	授業内容復習する。																																																																
9	聞き直し	時間の言い方	授業内容を復習すること。																																																																
10	依頼	tolong～(～してください) を使って人に何かを頼んでみましょう。	授業内容を復習すること。																																																																
11	第 6 ～ 10 までの復習	小テスト。聞き取りテスト及び筆記テストを行う。	前回の授業で学んだ単語を文書を作成。																																																																
12	許可表現	boleh を使って相手に許可を求めてみましょう。	授業内容を復習すること。																																																																
13	確認	bukan を使って「～ですね」と確認しましょう。	授業内容の復習。																																																																
14	願望表現	～が欲しい、～したいの表現	全部の授業内容の復習。																																																																
15	第 11 ～ 14 までの復習	これまでの復習 小テスト。聞き取り会話及び筆記テストテスト。	学習した語彙・会話文テスト。																																																																
関連科目	専攻言語インドネシア語科目のすべて																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>今すぐ話せるインドネシア語</td><td>ファリーダイドリスノ・好光智子</td><td>株式会社ナガセ◎東進ブックス</td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	今すぐ話せるインドネシア語	ファリーダイドリスノ・好光智子	株式会社ナガセ◎東進ブックス	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	今すぐ話せるインドネシア語	ファリーダイドリスノ・好光智子	株式会社ナガセ◎東進ブックス																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	クラス参加及びクラス活動会話学習の取り込む 50% 聞き取り会話テスト及び筆記テスト 50%																																																																		
学生へのメッセージ	授業で学んだ語彙を覚える為には、毎日インドネシア語の挨拶から学習した会話文を使用する。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 2 階 (非常勤講師室)																																																																		
備考	授業時間外での質問や要望は、毎週水曜に 7 号館 2 階非常勤講師室にて受け付ける。 事前・事後学習の総時間数は、15 時間とする。																																																																		

科目名	インドネシア語コミュニケーション I b	科目名 (英文)	Indonesian Communication Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	エニ レスタリ
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1118e0		

授業概要・目的	前期に引きづきインドネシアへ行くテーマに現地の日常生活の中の場面での会話に使われる表現に関連する単語を学習する。																																																																		
到達目標	インドネシア語の日常会話につうじて、現地の生活習慣やマナーなど知る事。																																																																		
授業方法と留意点	会話を聞く・話す・覚える。毎回会話を練習して。復習確認テストを行う。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	インドネシアの生活習慣を含めて日常コミュニケーションが能力を付ける。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>前期の復習。</td><td>これまでに学んだことを思い出すために会話練習を行う。</td><td>前期の授業内容の事前に復習する。</td></tr> <tr> <td>2</td><td>機内にて</td><td>インドネシアへ向かう飛行機に乗ってすぐの、乗客と乗務員の会話です。聞き取り会話練習すること。</td><td>授業内容に関連単語を覚える。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>入国</td><td>入国管理窓口での会話。聞き取り会話練習すること。</td><td>授業内容に関連単語を覚える。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>タクシーに乗る</td><td>運転手との会話。聞き取り会話練習すること。</td><td>授業内容に関連単語を覚える。</td></tr> <tr> <td>5</td><td>ホテルにて</td><td>ホテル従業員との会話。聞き取り会話練習すること。</td><td>授業内容に関連単語を覚える。</td></tr> <tr> <td>6</td><td>第 1 回目～5 回目までの復習</td><td>日本語⇄インドネシア語翻訳や様々な場面の会話文を作成。</td><td>ペーパーテストを行う。</td></tr> <tr> <td>7</td><td>観光案内所にて。</td><td>観光案内所の職員との会話。聞き取り会話練習すること。</td><td>授業内容に関連単語を覚える。</td></tr> <tr> <td>8</td><td>鉄道に乗る</td><td>窓口の人との会話。聞き取り会話練習。</td><td>授業内容に関連単語を覚える。</td></tr> <tr> <td>9</td><td>レストランにて</td><td>ウェイターとの会話。聞き取り会話練習。</td><td>授業内容に関連単語を覚える。</td></tr> <tr> <td>10</td><td>買い物</td><td>店員さんとの会話。聞き取り会話練習。</td><td>授業内容に関連単語を覚える。</td></tr> <tr> <td>11</td><td>第 7 回目～10 回目の復習</td><td>日本語⇄インドネシア語翻訳や様々な場面の会話文を作成。</td><td>ペーパーテストを行う。</td></tr> <tr> <td>12</td><td>道を探す。</td><td>自分の行きたい場所までの道を尋ね、右や左といった単語や方向をマスターしましょう。聞き取り会話練習。</td><td>授業内容に関連単語を覚える。</td></tr> <tr> <td>13</td><td>薬局にて。</td><td>薬局の店員さんとの会話。聞き取り会話練習。</td><td>授業内容に関連単語を覚える。</td></tr> <tr> <td>14</td><td>電話をかける</td><td>インドネシアの友達に電話をかける。聞き取り会話練習。</td><td>授業内容に関連単語を覚える。</td></tr> <tr> <td>15</td><td>第 12 回目～14 回目の復習</td><td>日本語⇄インドネシア語翻訳や様々な場面の会話文を作成。</td><td>筆記テストを行う。</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	前期の復習。	これまでに学んだことを思い出すために会話練習を行う。	前期の授業内容の事前に復習する。	2	機内にて	インドネシアへ向かう飛行機に乗ってすぐの、乗客と乗務員の会話です。聞き取り会話練習すること。	授業内容に関連単語を覚える。	3	入国	入国管理窓口での会話。聞き取り会話練習すること。	授業内容に関連単語を覚える。	4	タクシーに乗る	運転手との会話。聞き取り会話練習すること。	授業内容に関連単語を覚える。	5	ホテルにて	ホテル従業員との会話。聞き取り会話練習すること。	授業内容に関連単語を覚える。	6	第 1 回目～5 回目までの復習	日本語⇄インドネシア語翻訳や様々な場面の会話文を作成。	ペーパーテストを行う。	7	観光案内所にて。	観光案内所の職員との会話。聞き取り会話練習すること。	授業内容に関連単語を覚える。	8	鉄道に乗る	窓口の人との会話。聞き取り会話練習。	授業内容に関連単語を覚える。	9	レストランにて	ウェイターとの会話。聞き取り会話練習。	授業内容に関連単語を覚える。	10	買い物	店員さんとの会話。聞き取り会話練習。	授業内容に関連単語を覚える。	11	第 7 回目～10 回目の復習	日本語⇄インドネシア語翻訳や様々な場面の会話文を作成。	ペーパーテストを行う。	12	道を探す。	自分の行きたい場所までの道を尋ね、右や左といった単語や方向をマスターしましょう。聞き取り会話練習。	授業内容に関連単語を覚える。	13	薬局にて。	薬局の店員さんとの会話。聞き取り会話練習。	授業内容に関連単語を覚える。	14	電話をかける	インドネシアの友達に電話をかける。聞き取り会話練習。	授業内容に関連単語を覚える。	15	第 12 回目～14 回目の復習	日本語⇄インドネシア語翻訳や様々な場面の会話文を作成。	筆記テストを行う。
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	前期の復習。	これまでに学んだことを思い出すために会話練習を行う。	前期の授業内容の事前に復習する。																																																																
2	機内にて	インドネシアへ向かう飛行機に乗ってすぐの、乗客と乗務員の会話です。聞き取り会話練習すること。	授業内容に関連単語を覚える。																																																																
3	入国	入国管理窓口での会話。聞き取り会話練習すること。	授業内容に関連単語を覚える。																																																																
4	タクシーに乗る	運転手との会話。聞き取り会話練習すること。	授業内容に関連単語を覚える。																																																																
5	ホテルにて	ホテル従業員との会話。聞き取り会話練習すること。	授業内容に関連単語を覚える。																																																																
6	第 1 回目～5 回目までの復習	日本語⇄インドネシア語翻訳や様々な場面の会話文を作成。	ペーパーテストを行う。																																																																
7	観光案内所にて。	観光案内所の職員との会話。聞き取り会話練習すること。	授業内容に関連単語を覚える。																																																																
8	鉄道に乗る	窓口の人との会話。聞き取り会話練習。	授業内容に関連単語を覚える。																																																																
9	レストランにて	ウェイターとの会話。聞き取り会話練習。	授業内容に関連単語を覚える。																																																																
10	買い物	店員さんとの会話。聞き取り会話練習。	授業内容に関連単語を覚える。																																																																
11	第 7 回目～10 回目の復習	日本語⇄インドネシア語翻訳や様々な場面の会話文を作成。	ペーパーテストを行う。																																																																
12	道を探す。	自分の行きたい場所までの道を尋ね、右や左といった単語や方向をマスターしましょう。聞き取り会話練習。	授業内容に関連単語を覚える。																																																																
13	薬局にて。	薬局の店員さんとの会話。聞き取り会話練習。	授業内容に関連単語を覚える。																																																																
14	電話をかける	インドネシアの友達に電話をかける。聞き取り会話練習。	授業内容に関連単語を覚える。																																																																
15	第 12 回目～14 回目の復習	日本語⇄インドネシア語翻訳や様々な場面の会話文を作成。	筆記テストを行う。																																																																
関連科目	専攻言語インドネシア語の科目のすべて																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>今すぐ話せるインドネシア語</td><td>ファリーダイドリスノ・好光智子</td><td>株式会社ナガセ◎東進ブックス</td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	今すぐ話せるインドネシア語	ファリーダイドリスノ・好光智子	株式会社ナガセ◎東進ブックス	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	今すぐ話せるインドネシア語	ファリーダイドリスノ・好光智子	株式会社ナガセ◎東進ブックス																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	クラス活動参加(会話練習の取り込む) 50% 聞き取り会話及び筆記テスト 50%																																																																		
学生へのメッセージ	会話文だけではなく、インドネシアの文化や生活習慣などを理解し、コミュニケーション能力を上達する。出来る限りクラスメートと先生との会話をインドネシア語でしましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 2 階(非常勤講師室)																																																																		
備考	授業時間外での質問や要望は、7 号館 2 階非常勤講師室にて受け付ける。 事前・事後学習の総時間数は、15 時間とする。																																																																		

科目名	インドネシア語コミュニケーションⅡa(1)	科目名(英文)	Indonesian Communication IIa(1)
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	エニ レスタリ
ディプロマポリシー(DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	1年間のインドネシア語学習を通じて、単語力や文法の理解が深まったかと思われます。 インドネシアに旅でも長期滞在でコミュニケーション出来る。																																																																		
到達目標	相手の発言に対して自分に応えることも重要であるが、まずは過去1年間で得た単語力と文法理解力をもとに、自分が言いたいことや伝えたいことを即座に比較的短い文で発言できることを目標とする。																																																																		
授業方法と留意点	会話がテーマです。 毎回のテーマに応じて、どのような内容を伝えなければならないのか、もしくはどのような状況であるのかを事前にいくつか想像しておくこと。 積極的な発言と態度で臨んでください。リスニング、シャドーイングで聞き取り会話練習。																																																																		
科目学習の効果(資格)	インドネシア語技能検定																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>プロローグ</td><td>授業の進め方と、受講にあたっての留意点に関する説明を行なう。</td><td>授業の進め方に対する質問や要望を事前に考えておくこと。</td></tr> <tr> <td>2</td><td>インドネシアに上陸する(1)</td><td>到着ビザを取得する聞き取り会話練習</td><td>重要な表現や応用表現を覚えましょう。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>インドネシアに上陸する(2)</td><td>入管と聞き取り会話練習</td><td>重要な表現や応用表現を覚えましょう。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>インドネシアに上陸する(3)</td><td>スーツケース紛失の聞き取り会話練習</td><td>重要な表現や応用表現を覚えましょう。</td></tr> <tr> <td>5</td><td>インドネシアに上陸する(4)</td><td>税関についての聞き取り会話練習</td><td>重要な表現や応用表現を覚えましょう。</td></tr> <tr> <td>6</td><td>小試験および第2回から第5回までの復習</td><td>第2回から第5回までに学習した項目をもとに、あるシチュエーションを想定した会話を課す。</td><td>授業内容の復習</td></tr> <tr> <td>7</td><td>電話をかける。(1)</td><td>会う約束をするための知人に電話をかける。聞き取り会話練習。</td><td>重要な表現や応用表現を覚えましょう。</td></tr> <tr> <td>8</td><td>電話をかける。(2)</td><td>安い航空券を探す。聞き取り会話練習。</td><td>重要な表現や応用表現を覚えましょう。</td></tr> <tr> <td>9</td><td>電話をかける。(3)</td><td>でんわで料理を注文する。聞き取り会話練習。</td><td>重要な表現や応用表現を覚えましょう。</td></tr> <tr> <td>10</td><td>電話をかける。(4)</td><td>警察署に電話をかける。聞き取り会話練習。</td><td>重要な表現や応用表現を覚えましょう。</td></tr> <tr> <td>11</td><td>小試験および第7回から第10回までの復習</td><td>第7回から第10回までに学習した項目をもとに、あるシチュエーションを想定した会話を課す。</td><td>授業内容の復習</td></tr> <tr> <td>12</td><td>インドネシアでの生活の準備。(1)</td><td>住居を探す。聞き取り会話練習。</td><td>重要な表現や応用表現を覚えましょう。</td></tr> <tr> <td>13</td><td>インドネシアでの生活の準備。(2)</td><td>家具を買う。聞き取り会話練習。</td><td>重要な表現や応用表現を覚えましょう。</td></tr> <tr> <td>14</td><td>インドネシアでの生活の準備。(3)</td><td>乗り物を連タールする。聞き取り会話練習。</td><td>重要な表現や応用表現を覚えましょう。</td></tr> <tr> <td>15</td><td>総復習試験</td><td>これまでの復習を行い、全回で学習した項目をもとに、あるシチュエーションを想定した会話を課す。</td><td>全授業内容の復習。</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	プロローグ	授業の進め方と、受講にあたっての留意点に関する説明を行なう。	授業の進め方に対する質問や要望を事前に考えておくこと。	2	インドネシアに上陸する(1)	到着ビザを取得する聞き取り会話練習	重要な表現や応用表現を覚えましょう。	3	インドネシアに上陸する(2)	入管と聞き取り会話練習	重要な表現や応用表現を覚えましょう。	4	インドネシアに上陸する(3)	スーツケース紛失の聞き取り会話練習	重要な表現や応用表現を覚えましょう。	5	インドネシアに上陸する(4)	税関についての聞き取り会話練習	重要な表現や応用表現を覚えましょう。	6	小試験および第2回から第5回までの復習	第2回から第5回までに学習した項目をもとに、あるシチュエーションを想定した会話を課す。	授業内容の復習	7	電話をかける。(1)	会う約束をするための知人に電話をかける。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。	8	電話をかける。(2)	安い航空券を探す。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。	9	電話をかける。(3)	でんわで料理を注文する。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。	10	電話をかける。(4)	警察署に電話をかける。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。	11	小試験および第7回から第10回までの復習	第7回から第10回までに学習した項目をもとに、あるシチュエーションを想定した会話を課す。	授業内容の復習	12	インドネシアでの生活の準備。(1)	住居を探す。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。	13	インドネシアでの生活の準備。(2)	家具を買う。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。	14	インドネシアでの生活の準備。(3)	乗り物を連タールする。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。	15	総復習試験	これまでの復習を行い、全回で学習した項目をもとに、あるシチュエーションを想定した会話を課す。	全授業内容の復習。
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																																
1	プロローグ	授業の進め方と、受講にあたっての留意点に関する説明を行なう。	授業の進め方に対する質問や要望を事前に考えておくこと。																																																																
2	インドネシアに上陸する(1)	到着ビザを取得する聞き取り会話練習	重要な表現や応用表現を覚えましょう。																																																																
3	インドネシアに上陸する(2)	入管と聞き取り会話練習	重要な表現や応用表現を覚えましょう。																																																																
4	インドネシアに上陸する(3)	スーツケース紛失の聞き取り会話練習	重要な表現や応用表現を覚えましょう。																																																																
5	インドネシアに上陸する(4)	税関についての聞き取り会話練習	重要な表現や応用表現を覚えましょう。																																																																
6	小試験および第2回から第5回までの復習	第2回から第5回までに学習した項目をもとに、あるシチュエーションを想定した会話を課す。	授業内容の復習																																																																
7	電話をかける。(1)	会う約束をするための知人に電話をかける。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。																																																																
8	電話をかける。(2)	安い航空券を探す。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。																																																																
9	電話をかける。(3)	でんわで料理を注文する。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。																																																																
10	電話をかける。(4)	警察署に電話をかける。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。																																																																
11	小試験および第7回から第10回までの復習	第7回から第10回までに学習した項目をもとに、あるシチュエーションを想定した会話を課す。	授業内容の復習																																																																
12	インドネシアでの生活の準備。(1)	住居を探す。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。																																																																
13	インドネシアでの生活の準備。(2)	家具を買う。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。																																																																
14	インドネシアでの生活の準備。(3)	乗り物を連タールする。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。																																																																
15	総復習試験	これまでの復習を行い、全回で学習した項目をもとに、あるシチュエーションを想定した会話を課す。	全授業内容の復習。																																																																
関連科目	専攻言語インドネシア語科目のすべて																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>インドネシア語スピーキング</td><td>ホラス由美子</td><td>三修社</td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	インドネシア語スピーキング	ホラス由美子	三修社	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	インドネシア語スピーキング	ホラス由美子	三修社																																																																
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	クラス参加及び活動(聴き取り会話学習) 50% 授業内中間及び期末筆記テスト 50%																																																																		
学生へのメッセージ	間違いを恐れずに、学んだ単語を自発的に使ってみましょう。 日々の地道な学習と努力は「気づき」と大きな成果を必ずもたらします。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)																																																																		
備考	授業時間外での質問や要望は、毎週水曜に7号館2階非常勤講師室にて受け付ける。 事前・事後学習の総時間数は、15時間以上とする。																																																																		

科目名	インドネシア語コミュニケーションⅡa(2)	科目名(英文)	Indonesian Communication IIa(2)
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	エニ レスタリ
ディプロマポリシー(DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	一年間インドネシア語学習を通じて、単語や文法の理解が深まったため、インドネシアに旅行でも長期滞在で現地の人とコミュニケーション出来る。			
到達目標	相手の発言に対して自分も答えることも重要であるが、まずは前期までの得た単語や表現をもとに、自分が言いたいことや伝えたいことを即座に発言出来ることを目標とする。			
授業方法と留意点	会話がテーマです。毎回のテーマに応じてどのような内容伝えなければならないのか、もしくはどのような状況であるのかを事前に想像しておくこと。積極的発言と態度で臨んでください。リスニング、シャドーイングで聞き取り会話練習。			
科目学習の効果（資格）	インドネシアの生活習慣を含めて日常のコミュニケーションが出来るようになる。			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	インドネシアでの日常生活（1）	出会い。新しい友達と出会いの聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現や自己紹介をする際に役立つ表現を覚えましょう。
	2	インドネシアでの日常生活（2）	手紙を送る。郵便局にて聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。
	3	インドネシアでの日常生活（3）	博物館を訪問する。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。
	4	インドネシアでの日常生活（4）	映画館で映画を観る。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。
	5	インドネシアでの日常生活（5）	手工芸品を見る。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。
	6	小テスト及び第1回目～5回目までの復習。	第1回目～5回目までに学習した項目をもとに、あるシチュエーションを想定した会話を課す。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。
	7	日々の出来事。（1）	講義に遅刻する。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。
	8	日々の出来事。（2）	運転免許証をうっかり置き忘れる。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。
	9	日々の出来事。（3）	郊外で休暇を過ごす。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。
	10	日々の出来事。（4）	病気。病院にて聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。
	11	小テスト及び第7回目～10回目までの復習	第7回目～10回目までに学習した項目をもとにあるシチュエーションを想定した会話を課す。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。
	12	ホテルに泊まる。（1）	空港でホテルを予約する。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。
	13	ホテルに泊まる。（2）	ホテルに到着する。聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。
	14	ホテルに泊まる。（3）	クリーニング、ルームサービスの聞き取り会話練習。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。
	15	復習試験	全回で学習項目を基に、ある場面を想定した会話を課する。	重要な表現や応用表現を覚えましょう。
関連科目	専攻言語インドネシア語科目すべて			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	インドネシア語スピーキング	ホラス由美子	三修社
	2			
	3			
評価方法（基準）	クラス参加及び活動（聞き取り会話学習）50％ 授業内中間・期末会話・筆記テスト50％			
学生へのメッセージ	様々な会話を学習したので出来る限り復習の為にクラス活動をインドネシア語でおこなう。			
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)			
備考	授業時間外での質問や要望は、毎週水曜に7号館2階非常勤講師室にて受け付ける。 事前・事後学習の総時間数は、15時間以上とする。			

科目名	インドネシア語コミュニケーションⅢa	科目名(英文)	Indonesian Communication IIIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	エニ レスタリ
ディプロマポリシー(DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3135d0		

授業概要・目的	この授業ではインドネシア⇄日本社会における話題や出来事について話や議論を出来る。																																																																		
到達目標	1. インドネシア語である程度の発表ができるようになること。 2. インドネシア語である程度の小レポートが書けるようになること。 3. プレゼンテーションインドネシア語にも役に立つ。																																																																		
授業方法と留意点	この授業では正確な作業を行う必要がある。そのため、授業に出席する前に十分な予習と準備をしておくこと。復習も欠かさないこと。インドネシアの新聞や雑誌、メディア、SNS等から受講者がニュースや記事を取りあげて概要と意見を発表し、ディスカッションをおこなう。																																																																		
科目学習の効果(資格)	インドネシア語検定。 実践的なインドネシア語能力の習得。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>オリエンテーション</td><td>授業の進め方や成績評価法、プレゼンテーションなど、留意点の説明を行なう。</td><td>・質問事項などを事前に考えておくこと。 ・予習</td></tr> <tr> <td>2</td><td>会話表現 1</td><td>会話で交わされる独特の単語を理解する。</td><td>準備と予習、復習の徹底</td></tr> <tr> <td>3</td><td>会話表現 2</td><td>会話で交わされる独特の単語を使って表現する。</td><td>準備と予習、復習の徹底</td></tr> <tr> <td>4</td><td>会話表現 3</td><td>会話で交わされる独特の単語をつかって、受講者たちで会話をおこなう。</td><td>準備と予習、復習の徹底</td></tr> <tr> <td>5</td><td>SNSにおける表現 1</td><td>SNSで使われる独特の単語を理解する。</td><td>準備と予習、復習の徹底</td></tr> <tr> <td>6</td><td>SNSにおける表現 2</td><td>SNSで使われる独特の表現を理解する。</td><td>準備と予習、復習の徹底</td></tr> <tr> <td>7</td><td>SNSにおける表現 3</td><td>SNSを想定し、模擬のやりとりをおこなう。</td><td>準備と予習、復習の徹底</td></tr> <tr> <td>8</td><td>新聞における表現 1</td><td>新聞のレイアウトや、読み方を知る。</td><td>準備と予習、復習の徹底</td></tr> <tr> <td>9</td><td>新聞における表現 2</td><td>長文の内容を把握して、概要をまとめる練習。</td><td>準備と予習、復習の徹底</td></tr> <tr> <td>10</td><td>新聞における表現 3</td><td>長文の内容を把握して、概要をまとめる練習。</td><td>準備と予習、復習の徹底</td></tr> <tr> <td>11</td><td>新聞における表現 4</td><td>新聞記事をもとにディスカッションをおこなう練習。</td><td>準備と予習、復習の徹底</td></tr> <tr> <td>12</td><td>インターネットで配信される記事の表現 1</td><td>配信される記事の前後関係を正確に把握する。</td><td>準備と予習、復習の徹底</td></tr> <tr> <td>13</td><td>インターネットで配信される記事の表現 2</td><td>続々と配信される記事から概要をつかむ練習。</td><td>準備と予習、復習の徹底</td></tr> <tr> <td>14</td><td>インターネットで配信される記事の表現 3</td><td>記事をもとにディスカッションをおこなう。</td><td>準備と予習、復習の徹底</td></tr> <tr> <td>15</td><td>総復習</td><td>陥りやすいミスと癖を改善するために、今後の学習の課題を見つける。</td><td>準備と予習、復習の徹底</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション	授業の進め方や成績評価法、プレゼンテーションなど、留意点の説明を行なう。	・質問事項などを事前に考えておくこと。 ・予習	2	会話表現 1	会話で交わされる独特の単語を理解する。	準備と予習、復習の徹底	3	会話表現 2	会話で交わされる独特の単語を使って表現する。	準備と予習、復習の徹底	4	会話表現 3	会話で交わされる独特の単語をつかって、受講者たちで会話をおこなう。	準備と予習、復習の徹底	5	SNSにおける表現 1	SNSで使われる独特の単語を理解する。	準備と予習、復習の徹底	6	SNSにおける表現 2	SNSで使われる独特の表現を理解する。	準備と予習、復習の徹底	7	SNSにおける表現 3	SNSを想定し、模擬のやりとりをおこなう。	準備と予習、復習の徹底	8	新聞における表現 1	新聞のレイアウトや、読み方を知る。	準備と予習、復習の徹底	9	新聞における表現 2	長文の内容を把握して、概要をまとめる練習。	準備と予習、復習の徹底	10	新聞における表現 3	長文の内容を把握して、概要をまとめる練習。	準備と予習、復習の徹底	11	新聞における表現 4	新聞記事をもとにディスカッションをおこなう練習。	準備と予習、復習の徹底	12	インターネットで配信される記事の表現 1	配信される記事の前後関係を正確に把握する。	準備と予習、復習の徹底	13	インターネットで配信される記事の表現 2	続々と配信される記事から概要をつかむ練習。	準備と予習、復習の徹底	14	インターネットで配信される記事の表現 3	記事をもとにディスカッションをおこなう。	準備と予習、復習の徹底	15	総復習	陥りやすいミスと癖を改善するために、今後の学習の課題を見つける。	準備と予習、復習の徹底
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション	授業の進め方や成績評価法、プレゼンテーションなど、留意点の説明を行なう。	・質問事項などを事前に考えておくこと。 ・予習																																																																
2	会話表現 1	会話で交わされる独特の単語を理解する。	準備と予習、復習の徹底																																																																
3	会話表現 2	会話で交わされる独特の単語を使って表現する。	準備と予習、復習の徹底																																																																
4	会話表現 3	会話で交わされる独特の単語をつかって、受講者たちで会話をおこなう。	準備と予習、復習の徹底																																																																
5	SNSにおける表現 1	SNSで使われる独特の単語を理解する。	準備と予習、復習の徹底																																																																
6	SNSにおける表現 2	SNSで使われる独特の表現を理解する。	準備と予習、復習の徹底																																																																
7	SNSにおける表現 3	SNSを想定し、模擬のやりとりをおこなう。	準備と予習、復習の徹底																																																																
8	新聞における表現 1	新聞のレイアウトや、読み方を知る。	準備と予習、復習の徹底																																																																
9	新聞における表現 2	長文の内容を把握して、概要をまとめる練習。	準備と予習、復習の徹底																																																																
10	新聞における表現 3	長文の内容を把握して、概要をまとめる練習。	準備と予習、復習の徹底																																																																
11	新聞における表現 4	新聞記事をもとにディスカッションをおこなう練習。	準備と予習、復習の徹底																																																																
12	インターネットで配信される記事の表現 1	配信される記事の前後関係を正確に把握する。	準備と予習、復習の徹底																																																																
13	インターネットで配信される記事の表現 2	続々と配信される記事から概要をつかむ練習。	準備と予習、復習の徹底																																																																
14	インターネットで配信される記事の表現 3	記事をもとにディスカッションをおこなう。	準備と予習、復習の徹底																																																																
15	総復習	陥りやすいミスと癖を改善するために、今後の学習の課題を見つける。	準備と予習、復習の徹底																																																																
関連科目	専攻言語インドネシア語科目のすべて																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>様々な新聞記事</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	様々な新聞記事			2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	様々な新聞記事																																																																		
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	1. 準備・予習・復習からなるホームワーク(50%) 2. 授業での発表とレポート(50%) 詳細は、第1回目の授業で伝える。																																																																		
学生へのメッセージ	1. 予習ならびに準備として、インドネシア語の記事をより理解するために自ら参考文献を調べて読んでおくこと。 2. 必ず復習をおこなうこと。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)																																																																		
備考	授業時間外での質問や要望は、7号館2階非常勤講師室にて受け付ける。 事前・事後学習の総時間数は、15時間以上とする。																																																																		

科目名	インドネシア語コミュニケーションⅢb	科目名(英文)	Indonesian Communication IIIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	エニ レスタリ
ディプロマポリシー(DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3136d0		

授業概要・目的	1. ニュースや新聞等の情報を読んだり聴いたりし、その内容を理解できることを目標します。 2. 受講者は毎回インドネシア語で概要と意見を発表し、ディスカッションをおこなう。 3. 随時、レポートを課す。 4. 随時、暗唱を課す。 5. 高度なインドネシア語運用能力を身につけることを目指す。 前期に引きつづきインドネシア語で詞・スピーチ・司会・パーソナリティなど原稿の作成から発表までふさわしい表現出来るようになる。
到達目標	1. 発表にふさわしいインドネシア語が運用できるようになること。 2. レポートにふさわしいインドネシア語の文章が書けるようになること。 1. ニュースや新聞等の情報を読んだり聴いたりし、その内容を理解できることを目標します。 2. 受講者は毎回インドネシア語で概要と意見を発表し、ディスカッションをおこなう。 3. 随時、レポートを課す。 4. 随時、暗唱を課す。 5. 高度なインドネシア語運用能力を身につけることを目指す。
授業方法と留意点	この授業では正確な作業を行う必要がある。そのため、授業に出席する前に十分な準備と予習をしておくこと。復習も欠かせないこと。扱う単語もやや難しいので、何度も繰り返し聞いてみましょう。
科目学習の効果(資格)	インドネシア語検定。 実践的なインドネシア語能力の習得。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	1. プロローグ	1. 授業の進め方や受講にあたっての留意点、準備・予習・復習の仕方、資料の探し方、発表の手順・発表資料の作成などについて説明を行なう。 2. シャドーイング	授業内容の復習
	2	インドネシア語の詞 ①	1. 読む、内容を理解する 2. 暗記・感情表現	授業内容の復習
	3	インドネシア語の詞 ②	1. 読む、内容を理解する 2. 暗記・感情表現	授業内容の復習
	4	インドネシアのラジオ①	1. 聞く・内容理解する。 2. 原稿の作成。	授業内容の復習
	5	インドネシアのラジオ ②	1. 原稿の作成。 2. 発表する。	授業内容の復習
	6	インドネシア語のスピーチ ①	スピーチ内容と原稿の作成	授業内容の復習
	7	インドネシア語のスピーチ ②	原稿の作成と発表。	授業内容の復習
	8	広告を作る①	1. 企画：テーマ 2. 原稿の作成	授業内容の復習
	9	広告を作る②	各原稿の発表・議論	授業内容の復習
	10	発表会	第2回目～9回目の中から受講者一人一人関心がある内容について詳しく発表する。	授業内容の復習
	11	短編小説を読む。	1. 長文の内容を把握する練習。2. 概要をその場で発表する練習。 3. 質疑応答の練習。	授業内容の復習
	12	短編小説を読む。	1. 長文の内容を把握する練習。2. 概要をその場で発表する練習。 3. 質疑応答の練習。	授業内容の復習
	13	短編小説を読む。	1. 長文の内容を把握する練習。2. 概要をその場で発表する練習。 3. 質疑応答の練習。	授業内容の復習
	14	短編小説を読む	1. 長文の内容を把握する練習。2. 概要をその場で発表する練習。 3. 質疑応答の練習。	授業内容の復習
	15	発表 ③	1. 第12回、第13回、第14回の授業から、受講者めいめいが関心を持ったことをできるだけ詳しく調べ、インドネシア語で発表する。	授業内容の復習

関連科目	専攻言語インドネシア語科目のすべて			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	1. 授業での発表とディスカッション(60%) 2. 暗唱と レポート(40%) 詳細は、第1回目の授業で伝える。
学生への メッセージ	前期の『インドネシア語コミュニケーションⅢa』でインドネシア語運用能力が高まったかと思います。 この授業ではいっそうの高みを目指しましょう。
担当者の 研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
備考	授業時間外での質問や要望は、毎週水曜に7号館2階非常勤講師室にて受け付ける。 事前・事後学習の総時間数は、15時間以上とする。

科目名	インドネシア語入門 a (1)	科目名 (英文)	Introduction to Indonesian a(1)
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	山口 玲子
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1113e0		

授業概要・目的	人口2億人以上を擁するインドネシア共和国の国語であるインドネシア語 (Bahasa Indonesia) の基礎的な運用能力の向上を目指す。本授業では、特に文法能力を高めることを目的としている。
到達目標	インドネシア語文法の基礎をマスターすることができる。
授業方法と留意点	本授業は、「インドネシア語入門 a (2)」と同じテキストを用い、リレー方式で行っていく。なお、定期試験についても「インドネシア語入門」統一試験を実施する。
科目学習の効果 (資格)	インドネシア語技能検定

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	第1課	ガイダンス インドネシア語の綴りと発音 1	各自インドネシア語について調べておくこと。 次回までに教科書 6～8 ページに目を通しておくこと。 インドネシア語の綴りと発音 1 の再確認をしておくこと。
	2	第2課	インドネシア語の綴りと発音 2	教科書の 12～13 ページに目を通しておくこと。 インドネシア語の綴りと発音 2 の再確認をしておくこと。
	3	第3課	名詞の文法説明、講読	教科書の 15～20 ページに目を通しておくこと。 名詞の文法説明、講読の再確認をしておくこと。
	4	第4課	形容詞の文法説明、講読	教科書の 23～27 ページに目を通しておくこと。 形容詞の文法説明、講読の再確認をしておくこと。
	5	第5課	動詞の文法説明、講読	教科書の 30～33 ページに目を通しておくこと。 動詞の文法説明、講読の再確認をしておくこと。
	6	第6課	数詞の説明、講読	教科書の 36～41 ページに目を通しておくこと。 数詞の説明、講読の再確認をしておくこと。
	7	第7課	時の表現の説明、講読	教科書の 44～50 ページに目を通しておくこと。 時の表現の説明、講読の再確認をしておくこと。
	8	第8課	その他の品詞 1 の説明、講読	教科書の 53～57 ページに目を通しておくこと。 その他の品詞 1 の説明、講読の再確認をしておくこと。
	9	第9課	その他の品詞 1 の説明、講読	教科書の 60～63 ページに目を通しておくこと。 その他の品詞 2 の説明、講読の再確認をしておくこと。
	10	第10課	語順 1 の文法説明、講読	教科書の 66～70 ページに目を通しておくこと。 語順 1 の文法説明、講読の再確認をしておくこと。
	11	第11課	語順 2 の文法説明、講読	教科書の 73～78 ページに目を通しておくこと。 語順 2 の文法説明、講読の再確認をしておくこと。
	12	第12課	接辞の説明	教科書の 81～83 ページに目を通しておくこと。 接辞の説明の再確認をしておくこと。
	13	第13課	接頭辞 ber- の文法説明、講読	教科書の 84～88 ページに目を通しておくこと。 接頭辞 ber- の文法説明、講読の再確認をしておくこと。
	14	第14課	接尾辞-an、人称接辞の文法説明、講読	教科書の 91～95 ページに目を通しておくこと。 接尾辞-an、人称接辞の文法説明、講読の再確認をしておくこと。
	15	総復習	第1課から第14課の復習	第14課までの復習をしておくこと。

関連科目	専攻言語インドネシア語の科目すべて
------	-------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	インドネシア語入門 (2,000 円程度)	浦野崇央、山口真佐夫	
	2	インドネシア語辞典ポケット版 (8,000 円＋税)	末永晃	大学書林
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	定期試験 (「インドネシア語入門」統一試験) 60%、中間テスト 20%、積極的な授業参加度合い 20% 詳細は、第1回目の授業で伝える。
-----------	--

学生へのメッセージ	1 年次の基本となる授業なので、欠席せずにしっかり出席すること。
-----------	----------------------------------

担当者の研究室等	7 号館 2 階 (非常勤講師室)
----------	-------------------

備考	復習は「授業計画」の「事前・事後学習課題」に従い、60 時間以上行うこと。授業時間外での質問等は非常勤講師室にてお昼休みに対応する。
----	--

科目名	インドネシア語入門 a (2)	科目名 (英文)	Introduction to Indonesian a(2)
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	山口 真佐夫
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1114e0		

授業概要・目的	人口 2 億人以上を擁するインドネシア共和国の国語であるインドネシア語 (Bahasa Indonesia) の基礎的な運用能力の向上を目指す。																																																																		
到達目標	基本的なインドネシア語運用能力を高めることができる。本授業では、特に「読む」、「書く」能力を高めることを目標とし、インドネシア語で表現する方法の基礎をマスターすることができる。																																																																		
授業方法と留意点	本授業は、「インドネシア語入門 a (1)」と同じテキストを用い、リレー方式で行なっていく。なお、定期試験についても「インドネシア語入門」統一試験を実施する。授業時には辞書を必ず携帯すること。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	インドネシア語技能検定																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>第 1 課</td><td>インドネシア語の綴りと発音 1</td><td>インドネシア語の綴りと発音 1 の再確認をしておくこと。</td></tr> <tr> <td>2</td><td>第 2 課</td><td>インドネシア語の綴りと発音 2</td><td>教科書の 12～14 ページに目を通しておくこと。 インドネシア語の綴りと発音 2 の再確認をしておくこと。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>第 3 課</td><td>名詞を使った文の講読・作文</td><td>教科書の 19～22 ページに目を通しておくこと。 名詞を使った文の講読・作文の再確認をしておくこと。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>第 4 課</td><td>形容詞を使った文の講読・作文</td><td>教科書の 26～29 ページに目を通しておくこと。 形容詞を使った文の講読・作文の再確認をしておくこと。</td></tr> <tr> <td>5</td><td>第 5 課</td><td>動詞を使った文の講読・作文</td><td>教科書の 32～35 ページに目を通しておくこと。 動詞を使った文の講読・作文の再確認をしておくこと。</td></tr> <tr> <td>6</td><td>第 6 課</td><td>数詞を使った文の講読・作文</td><td>教科書の 40～43 ページに目を通しておくこと。 数詞を使った文の講読・作文の再確認をしておくこと。</td></tr> <tr> <td>7</td><td>第 7 課</td><td>時の表現についての文の講読・作文</td><td>教科書の 49～52 ページに目を通しておくこと。 時の表現についての文の講読・作文の再確認をしておくこと。</td></tr> <tr> <td>8</td><td>第 8 課</td><td>その他の品詞を使った文の講読・作文 1</td><td>教科書の 56～59 ページに目を通しておくこと。 その他の品詞を使った文の講読・作文 1 の再確認をしておくこと。</td></tr> <tr> <td>9</td><td>第 9 課</td><td>その他の品詞を使った文の講読・作文 2</td><td>教科書の 62～65 ページに目を通しておくこと。 その他の品詞を使った文の講読・作文 2 の再確認をしておくこと。</td></tr> <tr> <td>10</td><td>第 10 課</td><td>語順 1</td><td>教科書の 69～72 ページに目を通しておくこと。 語順 1 の再確認をしておくこと。</td></tr> <tr> <td>11</td><td>第 11 課</td><td>語順 2</td><td>教科書の 77～80 ページに目を通しておくこと。 語順 2 の再確認。</td></tr> <tr> <td>12</td><td>中間テスト 復習</td><td>中間テスト これまでに学んだことの復習</td><td>第 11 課までの復習をしておくこと。</td></tr> <tr> <td>13</td><td>第 13 課</td><td>接頭辞 ber-を使った文の講読・作文</td><td>教科書の 87～90 ページに目を通しておくこと。 接頭辞 ber-を使った文の講読・作文の再確認をしておくこと。</td></tr> <tr> <td>14</td><td>第 14 課</td><td>接尾辞-an、人称接辞を使った文の講読・作文</td><td>教科書の 94～97 ページに目を通しておくこと。 接尾辞-an、人称接辞を使った文の講読・作文の再確認をしておくこと。</td></tr> <tr> <td>15</td><td>総復習</td><td>総復習・前期末試験対策講座</td><td>第 14 課までの復習をしておくこと。</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	第 1 課	インドネシア語の綴りと発音 1	インドネシア語の綴りと発音 1 の再確認をしておくこと。	2	第 2 課	インドネシア語の綴りと発音 2	教科書の 12～14 ページに目を通しておくこと。 インドネシア語の綴りと発音 2 の再確認をしておくこと。	3	第 3 課	名詞を使った文の講読・作文	教科書の 19～22 ページに目を通しておくこと。 名詞を使った文の講読・作文の再確認をしておくこと。	4	第 4 課	形容詞を使った文の講読・作文	教科書の 26～29 ページに目を通しておくこと。 形容詞を使った文の講読・作文の再確認をしておくこと。	5	第 5 課	動詞を使った文の講読・作文	教科書の 32～35 ページに目を通しておくこと。 動詞を使った文の講読・作文の再確認をしておくこと。	6	第 6 課	数詞を使った文の講読・作文	教科書の 40～43 ページに目を通しておくこと。 数詞を使った文の講読・作文の再確認をしておくこと。	7	第 7 課	時の表現についての文の講読・作文	教科書の 49～52 ページに目を通しておくこと。 時の表現についての文の講読・作文の再確認をしておくこと。	8	第 8 課	その他の品詞を使った文の講読・作文 1	教科書の 56～59 ページに目を通しておくこと。 その他の品詞を使った文の講読・作文 1 の再確認をしておくこと。	9	第 9 課	その他の品詞を使った文の講読・作文 2	教科書の 62～65 ページに目を通しておくこと。 その他の品詞を使った文の講読・作文 2 の再確認をしておくこと。	10	第 10 課	語順 1	教科書の 69～72 ページに目を通しておくこと。 語順 1 の再確認をしておくこと。	11	第 11 課	語順 2	教科書の 77～80 ページに目を通しておくこと。 語順 2 の再確認。	12	中間テスト 復習	中間テスト これまでに学んだことの復習	第 11 課までの復習をしておくこと。	13	第 13 課	接頭辞 ber-を使った文の講読・作文	教科書の 87～90 ページに目を通しておくこと。 接頭辞 ber-を使った文の講読・作文の再確認をしておくこと。	14	第 14 課	接尾辞-an、人称接辞を使った文の講読・作文	教科書の 94～97 ページに目を通しておくこと。 接尾辞-an、人称接辞を使った文の講読・作文の再確認をしておくこと。	15	総復習	総復習・前期末試験対策講座	第 14 課までの復習をしておくこと。
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	第 1 課	インドネシア語の綴りと発音 1	インドネシア語の綴りと発音 1 の再確認をしておくこと。																																																																
2	第 2 課	インドネシア語の綴りと発音 2	教科書の 12～14 ページに目を通しておくこと。 インドネシア語の綴りと発音 2 の再確認をしておくこと。																																																																
3	第 3 課	名詞を使った文の講読・作文	教科書の 19～22 ページに目を通しておくこと。 名詞を使った文の講読・作文の再確認をしておくこと。																																																																
4	第 4 課	形容詞を使った文の講読・作文	教科書の 26～29 ページに目を通しておくこと。 形容詞を使った文の講読・作文の再確認をしておくこと。																																																																
5	第 5 課	動詞を使った文の講読・作文	教科書の 32～35 ページに目を通しておくこと。 動詞を使った文の講読・作文の再確認をしておくこと。																																																																
6	第 6 課	数詞を使った文の講読・作文	教科書の 40～43 ページに目を通しておくこと。 数詞を使った文の講読・作文の再確認をしておくこと。																																																																
7	第 7 課	時の表現についての文の講読・作文	教科書の 49～52 ページに目を通しておくこと。 時の表現についての文の講読・作文の再確認をしておくこと。																																																																
8	第 8 課	その他の品詞を使った文の講読・作文 1	教科書の 56～59 ページに目を通しておくこと。 その他の品詞を使った文の講読・作文 1 の再確認をしておくこと。																																																																
9	第 9 課	その他の品詞を使った文の講読・作文 2	教科書の 62～65 ページに目を通しておくこと。 その他の品詞を使った文の講読・作文 2 の再確認をしておくこと。																																																																
10	第 10 課	語順 1	教科書の 69～72 ページに目を通しておくこと。 語順 1 の再確認をしておくこと。																																																																
11	第 11 課	語順 2	教科書の 77～80 ページに目を通しておくこと。 語順 2 の再確認。																																																																
12	中間テスト 復習	中間テスト これまでに学んだことの復習	第 11 課までの復習をしておくこと。																																																																
13	第 13 課	接頭辞 ber-を使った文の講読・作文	教科書の 87～90 ページに目を通しておくこと。 接頭辞 ber-を使った文の講読・作文の再確認をしておくこと。																																																																
14	第 14 課	接尾辞-an、人称接辞を使った文の講読・作文	教科書の 94～97 ページに目を通しておくこと。 接尾辞-an、人称接辞を使った文の講読・作文の再確認をしておくこと。																																																																
15	総復習	総復習・前期末試験対策講座	第 14 課までの復習をしておくこと。																																																																
関連科目	インドネシア語科目すべて (特に「インドネシア語入門 a(1)」)																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>インドネシア語入門 (第 4 版)</td><td>浦野崇央・山口真佐夫編</td><td>摂南大学外国語学部</td></tr> <tr> <td>2</td><td>インドネシア語辞典ポケット版</td><td>末永晃</td><td>大学書林</td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	インドネシア語入門 (第 4 版)	浦野崇央・山口真佐夫編	摂南大学外国語学部	2	インドネシア語辞典ポケット版	末永晃	大学書林	3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	インドネシア語入門 (第 4 版)	浦野崇央・山口真佐夫編	摂南大学外国語学部																																																																
2	インドネシア語辞典ポケット版	末永晃	大学書林																																																																
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	定期試験 (「インドネシア語入門」統一試験) 60%、中間テスト 20%、積極的な授業参加の度合い 20% 詳細は、第 1 回目の授業で伝える。																																																																		
学生へのメッセージ	1 年次の基本となる授業なので、欠席せずにしっかり出席すること。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 5 階 (山口室)																																																																		
備考	復習を 60 時間以上すること。																																																																		

科目名	インドネシア語入門 b (1)	科目名 (英文)	Introduction to Indonesian b(1)
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	山口 玲子
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1115e0		

授業概要・目的	人口2億人以上を擁するインドネシア共和国の国語であるインドネシア語 (Bahasa Indonesia) の基礎的な運用能力の向上を目指す。本授業では、特に文法能力を高めることを目的としている。
到達目標	インドネシア語文法の基礎をマスターすることができる。
授業方法と留意点	本授業は、「インドネシア語入門 b (2)」と同じテキストを用い、リレー方式で行っていく。なお、定期試験についても「インドネシア語入門」統一試験を実施する。
科目学習の効果 (資格)	インドネシア語技能検定

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	第 15 課	綴りの規則の説明、講読	教科書の 98～102 ページに目を通しておくこと。 綴りの規則の説明、講読の再確認をしておくこと。
	2	第 16 課	接頭辞 se-, 共接辞 se- -nya, ke- -an, 接尾辞 -nya の文法説明、講読	教科書の 105～109 ページに目を通しておくこと。 接頭辞 se-, 共接辞 se- -nya, ke- -an, 接尾辞 -nya の文法説明、講読の再確認をしておくこと。
	3	第 17 課	接頭辞 me- の文法説明、講読	教科書の 112～117 ページに目を通しておくこと。 接頭辞 me- の文法説明、講読の再確認をしておくこと。
	4	第 18 課	接頭辞 di- の文法説明、講読	教科書の 120～123 ページに目を通しておくこと。 接頭辞 di- の文法説明、講読の再確認をしておくこと。
	5	第 19 課	接頭辞 ter- の文法説明、講読	教科書の 126～129 ページに目を通しておくこと。 接頭辞 ter- の文法説明、講読の再確認をしておくこと。
	6	第 20 課	共接辞 ber- -an, per- -an の文法説明、講読	教科書の 132～134 ページに目を通しておくこと。 共接辞 ber- -an, per- -an の文法説明、講読の再確認をしておくこと。
	7	第 21 課	接頭辞 pe-, 共接辞 pe- -an の文法説明、講読	教科書の 137～140 ページに目を通しておくこと。 接頭辞 pe-, 共接辞 pe- -an の文法説明、講読の再確認をしておくこと。
	8	中間テスト対策講座	中間テストのための準備を行う	第 21 課までの復習をしておくこと。
	9	第 22 課	接尾辞 -i, -kan の文法説明、講読	教科書の 143～148 ページに目を通しておくこと。 接尾辞 -i, -kan の文法説明、講読の再確認をしておくこと。
	10	インドネシア語でスピーチしてみよう	インドネシア語の暗唱練習	指定されたインドネシア語の文章を練習すること。
	11	第 23 課	接頭辞 memper- の文法的説明、講読	教科書の 151～153 ページに目を通しておくこと。 接頭辞 memper- の文法説明、講読の再確認をしておくこと。
	12	第 24 課	能動文と受動文の文法説明、講読	教科書の 156～159 ページに目を通しておくこと。 能動文と受動文の文法説明、講読の再確認をしておくこと。
	13	第 25 課	重複の文法説明、講読	教科書の 162～168 ページに目を通しておくこと。 重複の文法説明、講読の再確認をしておくこと。
	14	第 26 課	接辞の例外的変化、不規則変化の文法説明、講読	教科書の 171～174 ページに目を通しておくこと。 接辞の例外的変化、不規則変化の文法説明、講読の再確認をしておくこと。
	15	第 27 課	接辞のまとめおよびその他の接辞	教科書の 176～177 ページに目を通しておくこと。 もう一度教科書全体を見ておくこと。

関連科目	専攻言語インドネシア語の科目すべて
------	-------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	インドネシア語入門 (前期に購入済み)	浦野崇央、山口真佐夫	
	2	インドネシア語辞典ポケット版 (前期に購入済み)	末永晃	大学書林
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	定期試験 (「インドネシア語入門」統一試験) 60%、中間テスト 20%、積極的な授業参加度の度合い 20% 詳細は、第 1 回目の授業で伝える。
-----------	--

学生へのメッセージ	1 年次の基本となる授業なので、欠席せずにしっかり出席すること
-----------	---------------------------------

担当者の研究室等	7 号館 2 階 (非常勤講師室)
----------	-------------------

備考	復習は「授業計画」の「事前・事後学習課題」に従い、60 時間以上行うこと。授業時間外での質問等は非常勤講師室にてお昼休みに対応する。
----	--

科目名	インドネシア語入門 b (2)	科目名 (英文)	Introduction to Indonesian b(2)
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	山口 真佐夫
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1116e0		

授業概要・目的	人口2億人以上を擁するインドネシア共和国の国語であるインドネシア語（Bahasa Indonesia）の基本的な運用能力の向上を目指す。				
到達目標	基本的なインドネシア語運用能力を高めることができる。 本授業では、特に「読む」、「書く」能力を高めることを目標とし、インドネシア語で表現する方法の基礎をマスターすることができる。				
授業方法と留意点	本授業は、「インドネシア語入門b(1)」と同じテキストを用い、リレー方式で行なっていく。なお、定期試験についても「インドネシア語入門」統一試験を実施する。 授業時は辞書を必ず携帯すること。				
科目学習の効果（資格）	インドネシア語技能検定				
授業計画		回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
		1	第15 課	綴りの規則に基づいた文の講読・作文	教科書の101～104 ページに目を通しておくこと。 綴りの規則に基づいた文の講読・作文の再確認をしておくこと。
		2	第16 課	接頭辞 se-、共接辞 se- -nya、ke- -an、接尾辞 -nya を使った文の講読・作文	教科書の108～111 ページに目を通しておくこと。 接頭辞 se-、共接辞 se- -nya、ke- -an、接尾辞 -nya を使った文の講読・作文の再確認をしておくこと。
		3	第17 課	接頭辞 me- を使った文の講読・作文	教科書の116～119 ページに目を通しておくこと。 接頭辞 me- を使った文の講読・作文の再確認をしておくこと。
		4	第18 課	接頭辞 di- を使った文の講読・作文	教科書の122～125 ページに目を通しておくこと。 接頭辞 di- を使った文の講読・作文の再確認をしておくこと。
		5	第19 課	接頭辞 ter- を使った文の講読・作文	教科書の128～131 ページに目を通しておくこと。 接頭辞 ter- を使った文の講読・作文の再確認をしておくこと。
		6	第20 課	共接辞 ber- -an、per- -an を使った文の講読・作文	教科書の133～136 ページに目を通しておくこと。 共接辞 ber- -an、per- -an を使った文の講読・作文の再確認をしておくこと。
		7	第21 課	接頭辞 pe-、共接辞 pe- -an を使った文の講読・作文	教科書の139～142 ページに目を通しておくこと。 接頭辞 pe-、共接辞 pe- -an を使った文の講読・作文の再確認をしておくこと。
		8	中間テスト 復習	中間テスト これまでに学んだことの復習	第21 課までの復習をしておくこと。
		9	第22 課	接尾辞 -i、-kan を使った文の講読・作文	教科書の147～150 ページに目を通しておくこと。 接尾辞 -i、-kan を使った文の講読・作文の再確認をしておくこと。
		10	インドネシア語暗唱 復習	インドネシア語暗唱コンテスト 中間テスト返却指導	中間試験で間違ったところを中心に復習すること。
		11	第23 課	接頭辞 memper- を使った文の講読・作文	教科書の152～155 ページに目を通しておくこと。 接頭辞 memper- を使った文の講読・作文の再確認をしておくこと。
		12	第24 課	能動文と受動文の使い分け練習と講読	教科書の158～161 ページに目を通しておくこと。 能動文と受動文の使い分け練習と講読の再確認をしておくこと。
		13	第25 課	重複の文の講読・作文	教科書の167～170 ページに目を通しておくこと。 重複の文の講読・作文の再確認をしておくこと。
		14	第26 課	接辞の例外的変化、不規則変化を使った文の講読・作文	教科書の174～175 ページに目を通しておくこと。 接辞の例外的変化、不規則変化を使った文の講読・作文の再確認をしておくこと。
		15	総復習(講読・作文実践練習)	これまでに学んだ構文の講読・作文練習	これまでに学んだことの再確認をしておくこと。
関連科目	インドネシア語科目すべて (特に、「インドネシア語入門b(1)」)				
教科書		番号	書籍名	著者名	出版社名
		1	インドネシア語入門第4版	浦野崇央・山口真佐夫編	摂南大学外国語学部
		2	インドネシア語辞典ポケット版	末永晃	大学書林
参考書		番号	書籍名	著者名	出版社名
		1			
		2			
評価方法（基準）	定期試験（「インドネシア語入門」統一試験）60%、中間テスト20%、積極的な授業参加の度合い20% 詳細は、第1回目の授業で伝える。				
学生へのメッセージ	1年次の基本となる授業なので、欠席せずしっかり出席すること。				
担当者の研究室等	7号館5階(山口室)				
備考	復習を60時間以上すること。				

科目名	インドネシア語表現法	科目名（英文）	Indonesian Expression
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	エニ レスタリ
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1121e0		

授業概要・目的	この授業では、インドネシア語の基本的な表現および単語を学び、基本的な表現力と理解力を身に付けることを目的とする。あわせて、文章や映像を通してインドネシア語の生きた表現を学び、人々の暮らしに対する理解を深める。
到達目標	インドネシア語の基本的な表現および単語を習得する。
授業方法と留意点	計3回の確認テストを行う。 課題を出すので、予習と復習をしっかりと行うこと。
科目学習の効果（資格）	インドネシア語の基本的な表現と単語が習得できる。 インドネシア語翻訳通訳に役に立つ。インドネシアの社会における様々なジャンルを学習し、知識を習得することが出来る。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	イントロダクション	講義概要と講義の進め方を説明する。	インドネシアとインドネシア語について、基本的な情報を調べておくこと。
	2	表現1：インドネシア基本情報	インドネシアという国家の基本情報をインドネシア語で学ぶ。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。
	3	表現2：生活	インドネシアにおける日常生活に関する表現を学ぶ。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。
	4	表現3：生活	インドネシアにおける日常生活に関する表現を学ぶ。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。
	5	復習1	既習事項を復習。 達成度を確認するためのテストを行う。	既習事項を復習すること。
	6	表現4：旅行	旅行に関する表現を学ぶ。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。
	7	表現5：旅行	旅行に関する表現を学ぶ。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。
	8	表現6：政治と社会	インドネシアの現在の政治と社会に関する表現を学ぶ。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。
	9	表現7：政治と社会	インドネシアの現在の政治と社会に関する表現を学ぶ。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。
	10	復習2	既習事項を復習。 達成度を確認するためのテストを行う。	既習事項を復習すること。
	11	表現8：信仰	イスラム教など信仰に関する表現を学ぶ。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。
	12	表現9：信仰	イスラム教など信仰に関する表現を学ぶ。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。
	13	表現10：市場	経済活動に関する表現を学ぶ。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。
	14	復習3	既習事項を復習。 達成度を確認するためのテストを行う。	既習事項を復習すること。
	15	総合復習	習得状況の確認とフォローアップを行う。	既習事項を復習すること。

関連科目	インドネシア、マレーシア、東南アジアに関する科目すべて。
------	------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法（基準）	計3回の確認テストを行う。 課題を出すので、予習と復習をしっかりと行うこと。 詳細は、第1回目の授業で伝える。
----------	---

学生へのメッセージ	日々の研鑽を怠らないようにしてください。 授業の復習以外にも、自分の関心に合わせて、インドネシア語の文章・映像・音声に積極的に触れ、辞書を使ってその内容を理解しようと心がけてください。自分で調べる作業を経ることで、新しい表現や単語が印象に残りやすくなり、そのぶんスムーズに学習を展開できるはずです。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	毎回の復習は時間をかけてしっかりと行い、学習内容を確実に習得し、語彙を着実に増やしていけるように努めてください。 事前・事後学習の総時間数は、15時間とする。 授業時間外での質問には非常勤講師室に応じますが、事前に連絡すること。
----	--

科目名	インドネシア語表現法 a	科目名 (英文)	Indonesian Expressions a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	エニ レスタリ
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	この授業では、インドネシア語の基本的な表現および単語を学び、基本的な表現力と理解力を身に付けることを目的とする。あわせて、文章や映像を通してインドネシア語の生きた表現を学び、人々の暮らしに対する理解を深める。
到達目標	インドネシア語の基本的な表現および単語を習得する。
授業方法と留意点	計 3 回の確認テストを行う。 課題を出すので、予習と復習をしっかりと行うこと。
科目学習の効果 (資格)	インドネシア語の基本的な表現と単語が習得できる。 インドネシア語翻訳通訳に役に立つ。インドネシアの社会における様々なジャンルを学習し、知識を習得することが出来る。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	イントロダクション	講義概要と講義の進め方を説明する。	インドネシアとインドネシア語について、基本的な情報を調べておくこと。
	2	表現 1 : インドネシア基本情報	インドネシアという国家の基本情報をインドネシア語で学ぶ。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。
	3	表現 2 : 生活	インドネシアにおける日常生活に関する表現を学ぶ。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。
	4	表現 3 : 生活	インドネシアにおける日常生活に関する表現を学ぶ。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。
	5	復習 1	既習事項を復習。 達成度を確認するためのテストを行う。	既習事項を復習すること。
	6	表現 4 : 旅行	旅行に関する表現を学ぶ。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。
	7	表現 5 : 旅行	旅行に関する表現を学ぶ。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。
	8	表現 6 : 政治と社会	インドネシアの現在の政治と社会に関する表現を学ぶ。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。
	9	表現 7 : 政治と社会	インドネシアの現在の政治と社会に関する表現を学ぶ。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。
	10	復習 2	既習事項を復習。 達成度を確認するためのテストを行う。	既習事項を復習すること。
	11	表現 8 : 信仰	イスラム教など信仰に関する表現を学ぶ。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。
	12	表現 9 : 信仰	イスラム教など信仰に関する表現を学ぶ。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。
	13	表現 10 : 市場	経済活動に関する表現を学ぶ。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。
	14	復習 3	既習事項を復習。 達成度を確認するためのテストを行う。	既習事項を復習すること。
	15	総合復習	習得状況の確認とフォローアップを行う。	既習事項を復習すること。

関連科目	インドネシア、マレーシア、東南アジアに関する科目すべて。
------	------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	計 3 回の確認テストを行う。 課題を出すので、予習と復習をしっかりと行うこと。 詳細は、第 1 回目の授業で伝える。
-----------	---

学生へのメッセージ	日々の研鑽を怠らないようにしてください。 授業の復習以外にも、自分の関心に合わせて、インドネシア語の文章・映像・音声に積極的に触れ、辞書を使ってその内容を理解しようと心がけてください。自分で調べる作業を経ることで、新しい表現や単語が印象に残りやすくなり、そのぶんスムーズに学習を展開できるはずです。
-----------	--

担当者の研究室等	7 号館 2 階 (非常勤講師室)
----------	-------------------

備考	毎回の復習は時間をかけてしっかりと行い、学習内容を確実に習得し、語彙を着実に増やしていけるように努めてください。 事前・事後学習の総時間数は、15 時間とする。 授業時間外での質問には非常勤講師室に応じますが、事前に連絡すること。
----	---

科目名	インドネシア語ボキャブラリー a	科目名 (英文)	Indonesian Vocabulary a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	山口 真佐夫
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1119e0		

授業概要・目的	語彙の強化をはかるとともに、日常生活に必要なインドネシア語の単語や表現を理解し、使えるようになることを目的とする。
到達目標	日常生活に必要な語彙を習得することができる。
授業方法と留意点	毎回、テーマに関連したプリントを配布する。授業で十分に練習を行って語彙の定着をはかる。必ず復習をすること。毎回、前週で学んだことの小テストを実施する。また、臨時テストも実施する。
科目学習の効果 (資格)	日常生活に欠かせない単語や表現が身に付く。 インドネシア語技能検定試験

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	導入、挨拶表現	授業の進め方の説明 インドネシア語の語彙の特徴と簡単な挨拶について	指示された復習項目には十分に時間をかけ、学習効果を上げるように努めること
	2	教室、道具	教室で使う基本的な表現と文房具の名称	指示された語彙の暗記と発音練習には十分に時間をかけ、学習効果を上げるように努めること
	3	基本的な親族名称、動物の名称	基本的な親族名称と身近な動物の名称	指示された語彙の暗記と発音練習には十分に時間をかけ、学習効果を上げるように努めること
	4	基本的な飲食物、味覚、色彩	基本的な飲食物の名称、調味料の名称、味覚表現・色彩表現について	指示された語彙の暗記と発音練習には十分に時間をかけ、学習効果を上げるように努めること
	5	基本的な形容詞	大きさ・広さ・重さ・高さ・長さなどを表す基本的な形容詞、数字の 0～10 まで	指示された語彙の暗記と発音練習には十分に時間をかけ、学習効果を上げるように努めること
	6	野菜、果物	野菜や果物の名称	指示された語彙の暗記と発音練習には十分に時間をかけ、学習効果を上げるように努めること
	7	基本的な基語動詞、場所 (1)	接辞を使わない動詞と身近な場所を表す名称	指示された語彙の暗記と発音練習には十分に時間をかけ、学習効果を上げるように努めること
	8	顔、数詞、助数詞	顔の部位、助数詞の使い方、数字の 10～1000000 まで	指示された語彙の暗記と発音練習には十分に時間をかけ、学習効果を上げるように努めること
	9	身体 (1)	身体の名詞、月・曜日・時の表し方	指示された語彙の暗記と発音練習には十分に時間をかけ、学習効果を上げるように努めること
	10	場所 (2)	施設の名称、前置詞や副詞の使い方	指示された語彙の暗記と発音練習には十分に時間をかけ、学習効果を上げるように努めること
	11	自然、助動詞	自然の名称、助動詞の使い方	指示された語彙の暗記と発音練習には十分に時間をかけ、学習効果を上げるように努めること
	12	乗り物、大陸・地域・国	乗り物の名称、陸・地域・国の名称	指示された語彙の暗記と発音練習には十分に時間をかけ、学習効果を上げるように努めること
	13	身体 (2)	内臓などの器官名称、装身具などの名称	指示された語彙の暗記と発音練習には十分に時間をかけ、学習効果を上げるように努めること
	14	身体 (3)、病気・けが	生理現象・病気・けがに関する基本的な表現	これまでに習得した語彙やその用法を再確認し、臨時テストに備えること
	15	総まとめ (2)	前期の授業をふりかえり、学習項目の確認、臨時テストおよび解説	臨時テストで間違えた項目を再度学習し直すこと

関連科目	専攻言語インドネシア語の科目すべて、東南アジア関係の講義科目、文化人類学
------	--------------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	毎週の小テスト 40%、積極的な授業の参加の度合い 20%、臨時テスト 40%
学生へのメッセージ	インドネシア語を使いこなすには、語彙を増やすことも欠かせません。どんどん単語を覚えて、使ってみましょう。
担当者の研究室等	7 号館 5 階 (山口室)
備考	予習・復習は「授業計画」の「事前・事後学習課題」に従い 60 時間以上行うこと。

科目名	インドネシア語ボキャブラリー b	科目名 (英文)	Indonesian Vocabulary b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	エニ レスタリ
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1120e0		

授業概要・目的	インドネシア語を習得するうえで、語彙力を高めることはきわめて重要である。この授業では、やや高度なインドネシア語の単語と表現を学び、インドネシア語の語彙数を増やし、よりいっそう豊かな表現力と理解力を身に付けることを目的とする。あわせて、インドネシア語の文章や映像を通して生きた表現を学び、人々の暮らしに対する理解を深める。																																																																		
到達目標	インドネシア語のやや高度な単語と表現を習得する。																																																																		
授業方法と留意点	計3回の確認テストを行う。 課題を出すので、予習と復習をしっかりと行うこと。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	インドネシア語のやや高度な単語と表現が習得できる。 インドネシア語技能検定試験のための準備を進めることができる。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>イントロダクション</td><td>講義概要と講義の進め方を説明する。 既習事項について復習する。</td><td>前期「ボキャブラリーa」の復習をしておくこと。</td></tr> <tr> <td>2</td><td>既習事項の確認</td><td>既習事項について復習する。</td><td>前期「ボキャブラリーa」の復習をしておくこと。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>語彙 1</td><td>人間・家族・仲間に関する単語を習得する。</td><td>既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>語彙 2</td><td>人間・家族・仲間に関する単語を習得する。</td><td>既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。</td></tr> <tr> <td>5</td><td>復習 1</td><td>既習事項を復習。 達成度を確認するためのテストを行う。</td><td>前回の復習</td></tr> <tr> <td>6</td><td>語彙 3</td><td>社会・生活に関する単語を習得する。</td><td>既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。</td></tr> <tr> <td>7</td><td>語彙 4</td><td>社会・生活に関する単語を習得する。</td><td>既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。</td></tr> <tr> <td>8</td><td>語彙 5</td><td>政治・経済に関する単語を習得する。</td><td>既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。</td></tr> <tr> <td>9</td><td>語彙 6</td><td>芸術・文化に関する単語を習得する。</td><td>既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。</td></tr> <tr> <td>10</td><td>復習 2</td><td>既習事項を復習。 達成度を確認するためのテストを行う。</td><td>既習事項を復習すること。</td></tr> <tr> <td>11</td><td>語彙 7</td><td>自然に関する単語を習得する。</td><td>既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。</td></tr> <tr> <td>12</td><td>語彙 8</td><td>住まい・道具・メディアに関する単語を習得する。</td><td>既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。</td></tr> <tr> <td>13</td><td>語彙 9</td><td>住まい・道具・メディアに関する単語を習得する。</td><td>既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。</td></tr> <tr> <td>14</td><td>復習 3</td><td>既習事項を復習。 達成度を確認するためのテストを行う。</td><td>既習事項を復習すること。</td></tr> <tr> <td>15</td><td>総合復習</td><td>単語習得状況の確認とフォローアップを行う。</td><td>既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	イントロダクション	講義概要と講義の進め方を説明する。 既習事項について復習する。	前期「ボキャブラリーa」の復習をしておくこと。	2	既習事項の確認	既習事項について復習する。	前期「ボキャブラリーa」の復習をしておくこと。	3	語彙 1	人間・家族・仲間に関する単語を習得する。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。	4	語彙 2	人間・家族・仲間に関する単語を習得する。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。	5	復習 1	既習事項を復習。 達成度を確認するためのテストを行う。	前回の復習	6	語彙 3	社会・生活に関する単語を習得する。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。	7	語彙 4	社会・生活に関する単語を習得する。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。	8	語彙 5	政治・経済に関する単語を習得する。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。	9	語彙 6	芸術・文化に関する単語を習得する。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。	10	復習 2	既習事項を復習。 達成度を確認するためのテストを行う。	既習事項を復習すること。	11	語彙 7	自然に関する単語を習得する。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。	12	語彙 8	住まい・道具・メディアに関する単語を習得する。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。	13	語彙 9	住まい・道具・メディアに関する単語を習得する。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。	14	復習 3	既習事項を復習。 達成度を確認するためのテストを行う。	既習事項を復習すること。	15	総合復習	単語習得状況の確認とフォローアップを行う。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	イントロダクション	講義概要と講義の進め方を説明する。 既習事項について復習する。	前期「ボキャブラリーa」の復習をしておくこと。																																																																
2	既習事項の確認	既習事項について復習する。	前期「ボキャブラリーa」の復習をしておくこと。																																																																
3	語彙 1	人間・家族・仲間に関する単語を習得する。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。																																																																
4	語彙 2	人間・家族・仲間に関する単語を習得する。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。																																																																
5	復習 1	既習事項を復習。 達成度を確認するためのテストを行う。	前回の復習																																																																
6	語彙 3	社会・生活に関する単語を習得する。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。																																																																
7	語彙 4	社会・生活に関する単語を習得する。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。																																																																
8	語彙 5	政治・経済に関する単語を習得する。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。																																																																
9	語彙 6	芸術・文化に関する単語を習得する。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。																																																																
10	復習 2	既習事項を復習。 達成度を確認するためのテストを行う。	既習事項を復習すること。																																																																
11	語彙 7	自然に関する単語を習得する。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。																																																																
12	語彙 8	住まい・道具・メディアに関する単語を習得する。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。																																																																
13	語彙 9	住まい・道具・メディアに関する単語を習得する。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。																																																																
14	復習 3	既習事項を復習。 達成度を確認するためのテストを行う。	既習事項を復習すること。																																																																
15	総合復習	単語習得状況の確認とフォローアップを行う。	既習事項の確認と練習問題に取り組むこと。																																																																
関連科目	インドネシア語、マレー語に関する科目すべて。																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	・計3回の確認テスト(70%) ・ボキャブラリーコンテスト(30%) ＊詳細は、第1回目の授業で伝える。																																																																		
学生へのメッセージ	日々の研鑽を怠らないようにしてください。 授業の復習以外にも、自分の関心に合わせて、インドネシア語の文章・映像・音声に積極的に触れ、辞書を使ってその内容を理解しようと心がけてください。新しい単語が印象に残りやすく、そのぶんスムーズに語彙を増やしていけるはずですよ。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)																																																																		
備考	毎回の復習は時間をかけてしっかりと行い、学習内容を確実に習得し、語彙を着実に増やしていけるように努めてください。 事前・事後学習の総時間数は、15時間とする。 授業時間外での質問には非常勤講師室で応じますが、事前に連絡すること。																																																																		

科目名	インドネシア・マレー語学研究	科目名 (英文)	Indonesian-Malay Linguistic Studies
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4 年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	山口 真佐夫
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL3142e0		

授業概要・目的	インドネシア語、マレー語についての専門的な知識習得を目的とする。
到達目標	インドネシア語、マレー語の歴史、音韻論、形態論、統語論、研究史、重要な文献に関する知識を得ることができる。
授業方法と留意点	本授業は、教員側から講義するだけではなく、受講生もテーマに合わせて作業を行う。テーマに応じてディスカッション、グループワーク等を行う。プリントを配布するが、テーマに応じて、図書館等での文献調査が必要。
科目学習の効果 (資格)	他のインドネシア語、マレー語に対して言語的な理解が深まる。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法の説明	これまで学んできたインドネシア語、マレー語の再確認 次回の予習
	2	インドネシア語、マレー語の音韻論と綴り 1	インドネシア語の音素を確認する	インドネシア語、マレー語の発音についての再確認
	3	インドネシア語、マレー語の音韻論と綴り 2	インドネシア語の音素と綴りの関係を調べる	インドネシア語、マレー語の綴りについての再確認 次回の予習
	4	インドネシア語、マレー語の形態論、統語論	インドネシア語の語形変化と文の関係を確認する	インドネシア語、マレー語の語形変化についての再確認
	5	インドネシア語、マレー語の研究史 1	おもにヨーロッパ人によるマレー語の研究 (20 世紀中葉まで)	今回の復習 次回の予習
	6	インドネシア語、マレー語の研究史 2	インドネシア人、マレーシア人等によるインドネシア語、マレー語の研究	今回の復習 次回の予習
	7	インドネシア語、マレー語の方言	インドネシア語、マレー語の地理的変種と社会的変種	今回の復習 次回の予習
	8	インドネシア語、マレー語の歴史 1	古代マレー語 碑文マレー語の研究	今回の復習 次回のテキストの予習
	9	インドネシア語、マレー語の歴史 2	古典マレー語 マレー古典文学の講読	今回の復習 次回のテキストの予習
	10	インドネシア語、マレー語の歴史 3	島嶼部近代マレー語 東インドネシアでのマレー語の講読	今回の復習 次回のテキストの予習
	11	インドネシア語、マレー語の歴史 4	半島部近代マレー語 半島部マレー語の講読	今回の復習 次回のテキストの予習
	12	インドネシア語、マレー語の歴史 5	現代インドネシア語、現代マレー語の総合的研究	今回の復習 次回の予習
	13	インドネシア語、マレー語の研究 1	各自の研究テーマを考える	各自の研究テーマを考えてくる 発表の準備
	14	インドネシア語、マレー語の研究 2	各自の研究テーマについての説明	各自の研究テーマについてまとめる 発表の準備
	15	成果発表	各自の研究テーマについての発表と質疑応答 講評	発表の準備

関連科目	主言語インドネシア語の科目すべて
------	------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	積極的な授業の参加の度合い 40%、15 回目の発表と質疑応答 60%
学生へのメッセージ	
担当者の研究室等	7 号館 5 階(山口室)
備考	予習・復習は「授業計画」の「事前・事後学習課題」に従い 15 時間以上行うこと。

科目名	エアラインビジネス論	科目名（英文）	Airline Business
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	塩崎 裕司
ディプロマポリシー (DP)	DP2◎		
科目ナンバリング	LDL2220a0		

授業概要・目的	日本の主要航空会社で空港接客部門、整備管理部門、グランドハンドリング会社や予約販売会社で長年にわたり、人事、総務、経営部門を担った実務経験者の教員が、社会インフラの一つである公共交通機関としての航空産業の役割を説明する。 航空産業の辿った歴史、現状を正確に理解し、その課題を把握することにより、将来展望について考察する。 また、航空機を運航するための多種多様な職種の役割や協力体制について、実務経験をととして講義することにより、航空企業での業務実態を説明する。				
到達目標	※この科目は、2015 年度以降の入学生を対象とした「観光ホスピタリティ」プログラム対応科目の一つです。 航空産業の企業活動を通し、企業の事業運営に貢献する意義を身につける。 また、企業の社会的貢献や責任、顧客満足、従業員満足について学習することを通し、将来の進路選択に際しての判断材料に資することを目標とする。 客室乗務員やグランドスタッフというイメージにはしがちな航空会社の業務を正確に理解するとともに、航空機を運航するための様々な職種の存在を認識し、進路選択の幅を広げる。 将来、航空産業を目指すための知識や意識を修得する。				
授業方法と留意点	主にパワーポイントを使用しての授業となる。 授業が理解できるように、授業内容に沿ったプリントを毎回配布する。 質問については随時受け付ける。また、毎回授業終了時に提出するレポートに質問を記載してもらい、次回授業時に解説する。プリントの空欄となってる要点について、パワーポイントから読み取り、次回講義までに自らの知識として復習しておくことが重要。 受講に当たっては、日ごろから航空業界に関する報道（新聞、TVニュース等）に関心を払う事。				
科目学習の効果（資格）	航空産業の様々な業種を知る事により、将来の進路の判断材料に資する（特に公的資格取得には直接繋がるものではない）。				
授業計画		回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
		1	オリエンテーション	講師紹介。授業方法の説明。授業概要、到達点の説明。成績評価、履修上の注意点などの説明。	特になし。
		2	航空の歴史	戦後の航空技術の発展、空の大衆化までの変遷を説明。また、戦後の我が国の民間航空の変遷、航空行政の規制緩和と、民間航空の歴史について説明する。	関連する新聞記事・ニュース報道に関心を払い、予備知識の習得に努める。授業で配布したプリントの要点について自らの知識として整理しておくこと（2 時間）
		3	航空自由化	米国に始まる自由化が欧州やその他の地域にどのような影響を及ぼしたのか、現在の航空事情を理解するために不可欠な OPEN SKY 政策について解説する。	関連する新聞記事・ニュース報道に関心を払い、予備知識の習得に努める。授業で配布したプリントの要点について自らの知識として整理しておくこと（2 時間）
		4	我が国の航空自由化	45・47 体制といわれた護送船団政策がもたらした日本の航空業界の脆弱さ、最近の米国との航空自由化の意味などについて説明する。	関連する新聞記事・ニュース報道に関心を払い、予備知識の習得に努める。授業で配布したプリントの要点について自らの知識として整理しておくこと（2 時間）
		5	格安航空の躍進	航空の自由化に伴い、現在航空業界で最も注目を集めている格安航空について、そのコスト削減戦略や実態、将来の展望までを解説する。	関連する新聞記事・ニュース報道に関心を払い、予備知識の習得に努める。授業で配布したプリントの要点について自らの知識として整理しておくこと（2 時間）
		6	ハブ&スポーク（自由化の産物）	格安航空の対極にあるフルサービスキャリア、その基本となるハブ&スポークについてメリット、デメリットをわかりやすく解説する。	関連する新聞記事・ニュース報道に関心を払い、予備知識の習得に努める。授業で配布したプリントの要点について自らの知識として整理しておくこと（2 時間）
		7	グローバル・アライアンス（自由化の副産物）	単独では生き残れない厳しい競争の中、アライアンスの意義は何か。成功例と失敗例を具体的に挙げてメリット・デメリットについて解説する。	関連する新聞記事・ニュース報道に関心を払い、予備知識の習得に努める。授業で配布したプリントの要点について自らの知識として整理しておくこと（2 時間）
		8	運賃と費用	運賃の自由化に伴い航空会社が実施している料金政策について解説。また、航空会社が如何にしてコスト削減に取り組んでいるのかを原油のヘッジや搭載重量の軽減化など具体的事例をあげながら説明する。	関連する新聞記事・ニュース報道に関心を払い、予備知識の習得に努める。授業で配布したプリントの要点について自らの知識として整理しておくこと（2 時間）
		9	顧客満足と企業の社会的責任	顧客満足 (CS) を満たすには、まず従業員満足 (ES) を満たす必要がある。CS と ES の重要性について解説。また、昨今企業の不祥事が続く中、企業の社会的責任の重要性について説明する。	関連する新聞記事・ニュース報道に関心を払い、予備知識の習得に努める。授業で配布したプリントの要点について自らの知識として整理しておくこと（2 時間）
		10	航空会社の仕事 営業・予約・販売	運賃設定と販売の流れ、第一印象が問われる予約案内業務、商品企画・販売方法について解説する。	関連する新聞記事・ニュース報道に関心を払い、予備知識の習得に努める。授業で配布したプリントの要点について自らの知識として整理しておくこと（2 時間）
		11	航空会社の仕事 旅客取扱業務	この次も選んでいただくために、顧客満足を追求するグランドスタッフの業務について説明する。	関連する新聞記事・ニュース報道に関心を払い、予備知識の習得に努める。授業で配布したプリントの要点について自らの知識として整理しておくこと（2 時間）
		12	航空会社の仕事 グランドハンドリング・航空機整備	飛行機が飛び立つまでの流れ、航空機整備のしくみについて説明する。	関連する新聞記事・ニュース報道に関心を払い、予備知識の習得に努める。授業で配布したプリントの要点について自らの知識として整理しておくこと（2 時間）
		13	航空会社の仕事	運航方式、管制、飛行ルートについて説	関連する新聞記事・ニュース報道に関心を払い、予

		コントロール・PILOT	明。飛行機が飛ぶ原理についても解説。また、運航乗務員の職業意識や具体的業務・訓練について説明する。	備知識の習得に努める。授業で配布したプリントの要点について自らの知識として整理しておくこと(2時間)
	14	航空会社の仕事 客室乗務員、機内サービス	客室乗務員が担う業務は多岐にわたる。一見華やかに映る客室乗務員の業務の実態と、お客様に快適に過ごしていただく機内サービスの努力と工夫について解説する。	関連する新聞記事・ニュース報道に関心を払い、予備知識の習得に努める。授業で配布したプリントの要点について自らの知識として整理しておくこと(2時間)
	15	航空会社の仕事 航空貨物	沖縄ハブ構想をはじめ、今注目を集めている航空貨物について解説する。	関連する新聞記事・ニュース報道に関心を払い、予備知識の習得に努める。授業で配布したプリントの要点について自らの知識として整理しておくこと(2時間)
関連科目	観光ホスピタリティプログラム科目			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	航空産業入門第2版	ANA 総合研究所	東洋経済新報社
	2	エアラインオペレーション入門	ANA 総合研究所	ぎょうせい
	3	数字で見る航空(2017)	国土交通省航空局	航空振興財団
評価方法 (基準)	最低10回以上の出席がない場合、評価の対象とならない。 定期試験60%、授業毎のレポート提出、講義参加姿勢40%。 (定期試験は幅広い出題範囲への対応が求められるので、各回授業で配布される資料のポイントを復習して自らの知識として整理しておくことが重要となる)。			
学生への メッセージ	航空産業に携わる人はパイロットとCAだけと思いませんか？実際には業務は多岐にわたり、パイロットやCAたちはほんの一部です。航空産業にはどのような仕事があってどのような人が向いているのかを実務者の観点から分かり易く解説します。航空産業に関心を持っている学生には興味深い講義です。さらに、航空産業を将来の進路と考えている学生諸君にとっては大変参考になるとと思います。			
担当者の 研究室等	7号館4階(塩崎・沖中研究室)			
備考	毎回の授業でレポートを提出してもらいます。そこに記載された質問については、次回授業でフィードバックします。			

科目名	エアラインビジネス論 I	科目名 (英文)	Airline Industry I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	塩崎 裕司
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	日本の主要航空会社で空港接客部門、整備管理部門、グランドハンドリング会社や予約販売会社で長年にわたり、人事、総務、経営部門を担った実務経験者の教員が、社会インフラの一つである公共交通機関としての航空産業の役割を説明する。 航空産業の辿った歴史、現状を正確に理解し、その課題を把握することにより、将来展望について考察する。 また、航空機を運航するための多種多様な職種の役割や協力体制について、実務経験をととして講義することにより、航空企業での業務実態を説明する。				
到達目標	※この科目は、2015 年度以降の入学生を対象とした「観光ホスピタリティ」プログラム対応科目の一つです。 航空産業の企業活動を通し、企業の事業運営に貢献する意義を身につける。 また、企業の社会的貢献や責任、顧客満足、従業員満足について学習することを通し、将来の進路選択に際しての判断材料に資することを目標とする。 客室乗務員やグランドスタッフというイメージにはしりがちな航空会社の業務を正確に理解するとともに、航空機を運航するための様々な職種の存在を認識し、進路選択の幅を広げる。 将来、航空産業を目指すための知識や意識を修得する。				
授業方法と留意点	主にパワーポイントを使用しての授業となる。 授業が理解できるように、授業内容に沿ったプリントを毎回配布する。 質問については随時受け付ける。また、毎回授業終了時に提出するレポートに質問を記載してもらい、次回授業時に解説する。プリントの空欄となってる要点について、パワーポイントから読み取り、次回講義までに自らの知識として復習しておくことが重要。 受講に当っては、日ごろから航空業界に関する報道（新聞、TVニュース等）に関心を払う事。				
科目学習の効果（資格）	航空産業の様々な業種を知る事により、将来の進路の判断材料に資する（特に公的資格取得には直接繋がるものではない）。				
授業計画		回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
		1	オリエンテーション	講師紹介。授業方法の説明。授業概要、到達点の説明。成績評価、履修上の注意点などの説明。	特になし。
		2	航空の歴史	戦後の航空技術の発展、空の大衆化までの変遷を説明。また、戦後の我が国の民間航空の変遷、航空行政の規制緩和と、民間航空の歴史について説明する。	関連する新聞記事・ニュース報道に関心を払い、予備知識の習得に努める。授業で配布したプリントの要点について自らの知識として整理しておくこと（2 時間）
		3	航空自由化	米国に始まる自由化が欧州やその他の地域にどのような影響を及ぼしたのか、現在の航空事情を理解するために不可欠な OPEN SKY 政策について解説する。	関連する新聞記事・ニュース報道に関心を払い、予備知識の習得に努める。授業で配布したプリントの要点について自らの知識として整理しておくこと（2 時間）
		4	我が国の航空自由化	45・47 体制といわれた護送船団政策がもたらした日本の航空業界の脆弱さ、最近の米国との航空自由化の意味などについて説明する。	関連する新聞記事・ニュース報道に関心を払い、予備知識の習得に努める。授業で配布したプリントの要点について自らの知識として整理しておくこと（2 時間）
		5	格安航空の躍進	航空の自由化に伴い、現在航空業界で最も注目を集めている格安航空について、そのコスト削減戦略や実態、将来の展望までを解説する。	関連する新聞記事・ニュース報道に関心を払い、予備知識の習得に努める。授業で配布したプリントの要点について自らの知識として整理しておくこと（2 時間）
		6	ハブ&スポーク（自由化の産物）	格安航空の対極にあるフルサービスキャリア、その基本となるハブ&スポークについてメリット、デメリットをわかりやすく解説する。	関連する新聞記事・ニュース報道に関心を払い、予備知識の習得に努める。授業で配布したプリントの要点について自らの知識として整理しておくこと（2 時間）
		7	グローバル・アライアンス（自由化の副産物）	単独では生き残れない厳しい競争の中、アライアンスの意義は何か。成功例と失敗例を具体的に挙げてメリット・デメリットについて解説する。	関連する新聞記事・ニュース報道に関心を払い、予備知識の習得に努める。授業で配布したプリントの要点について自らの知識として整理しておくこと（2 時間）
		8	運賃と費用	運賃の自由化に伴い航空会社が実施している料金政策について解説。また、航空会社が如何にしてコスト削減に取り組んでいるのかを原油のヘッジや搭載重量の軽減化など具体的事例をあげながら説明する。	関連する新聞記事・ニュース報道に関心を払い、予備知識の習得に努める。授業で配布したプリントの要点について自らの知識として整理しておくこと（2 時間）
		9	顧客満足と企業の社会的責任	顧客満足 (CS) を満たすには、まず従業員満足 (ES) を満たす必要がある。CS と ES の重要性について解説。また、昨今企業の不祥事が続く中、企業の社会的責任の重要性について説明する。	関連する新聞記事・ニュース報道に関心を払い、予備知識の習得に努める。授業で配布したプリントの要点について自らの知識として整理しておくこと（2 時間）
		10	航空会社の仕事 営業・予約・販売	運賃設定と販売の流れ、第一印象が問われる予約案内業務、商品企画・販売方法について解説する。	関連する新聞記事・ニュース報道に関心を払い、予備知識の習得に努める。授業で配布したプリントの要点について自らの知識として整理しておくこと（2 時間）
		11	航空会社の仕事 旅客取扱業務	この次も選んでいただくために、顧客満足を追求するグランドスタッフの業務について説明する。	関連する新聞記事・ニュース報道に関心を払い、予備知識の習得に努める。授業で配布したプリントの要点について自らの知識として整理しておくこと（2 時間）
		12	航空会社の仕事 グランドハンドリング・航空機整備	飛行機が飛び立つまでの流れ、航空機整備のしくみについて説明する。	関連する新聞記事・ニュース報道に関心を払い、予備知識の習得に努める。授業で配布したプリントの要点について自らの知識として整理しておくこと（2 時間）
		13	航空会社の仕事	運航方式、管制、飛行ルートについて説	関連する新聞記事・ニュース報道に関心を払い、予

		コントロール・PILOT	明。飛行機が飛ぶ原理についても解説。また、運航乗務員の職業意識や具体的業務・訓練について説明する。	備知識の習得に努める。授業で配布したプリントの要点について自らの知識として整理しておくこと(2時間)
	14	航空会社の仕事 客室乗務員、機内サービス	客室乗務員が担う業務は多岐にわたる。一見華やかに映る客室乗務員の業務の実態と、お客様に快適に過ごしていただく機内サービスの努力と工夫について解説する。	関連する新聞記事・ニュース報道に関心を払い、予備知識の習得に努める。授業で配布したプリントの要点について自らの知識として整理しておくこと(2時間)
	15	航空会社の仕事 航空貨物	沖縄ハブ構想をはじめ、今注目を集めている航空貨物について解説する。	関連する新聞記事・ニュース報道に関心を払い、予備知識の習得に努める。授業で配布したプリントの要点について自らの知識として整理しておくこと(2時間)
関連科目	観光ホスピタリティプログラム科目			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	航空産業入門第2版	ANA 総合研究所	東洋経済新報社
	2	エアラインオペレーション入門	ANA 総合研究所	ぎょうせい
	3	数字で見る航空(2017)	国土交通省航空局	航空振興財団
評価方法 (基準)	最低10回以上の出席がない場合、評価の対象とならない。 定期試験60%、授業毎のレポート提出、講義参加姿勢40%。 (定期試験は幅広い出題範囲への対応が求められるので、毎回授業で配布される資料のポイントを復習して自らの知識として整理しておくことが重要となる)。			
学生への メッセージ	航空産業に携わる人はパイロットとCAだけと思いませんか？実際には業務は多岐にわたり、パイロットやCAたちはほんの一部です。航空産業にはどのような仕事があってどのような人が向いているのかを実務者の観点から分かり易く解説します。航空産業に関心を持っている学生には興味深い講義です。さらに、航空産業を将来の進路と考えている学生諸君にとっては大変参考になると思います。			
担当者の 研究室等	7号館4階(塩崎・沖中研究室)			
備考	毎回の授業でレポートを提出してもらいます。そこに記載された質問については、次回授業でフィードバックします。			

科目名	映画のスペイン語 I	科目名 (英文)	Spanish through the Movies I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	オラシオ ゴメス
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL2096e0		

授業概要・目的	映画・ドラマを利用して、スペイン語のヒアリング力を高める。																																																																		
到達目標	ヒアリング力を高めつつ、スペイン語の基本語彙や表現を使いこなせるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	映画のいくつかの場面を見ながらディクテーションを行い、重要語彙や表現をチェックしながら書く場面の内容を理解する。その後、習った語彙や表現を用いて、見た映画の要約あるいは感想をスペイン語で述べる。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	スペイン語検定 4 級																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>Actividades con películas (1-1)</td><td>イントロダクション 作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション (1)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>2</td><td>Actividades con películas (1-2)</td><td>ヒヤリングとディクテーション (2)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>Actividades con películas (1-3)</td><td>ヒヤリングとディクテーション (3)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>Actividades con películas (1-4)</td><td>各場面の内容と語彙・表現の確認</td><td>映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。</td></tr> <tr> <td>5</td><td>Actividades con películas (2-1)</td><td>作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション (1)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>6</td><td>Actividades con películas (2-2)</td><td>ヒヤリングとディクテーション (2)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>7</td><td>Actividades con películas (2-3)</td><td>各場面の内容と語彙・表現の確認</td><td>映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。</td></tr> <tr> <td>8</td><td>学習内容の確認</td><td>語彙・表現の確認テスト 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。</td><td>第 7 回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。</td></tr> <tr> <td>9</td><td>Actividades con películas (3-1)</td><td>作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション (1)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>10</td><td>Actividades con películas (3-2)</td><td>ヒヤリングとディクテーション (2)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>11</td><td>Actividades con películas (3-3)</td><td>各場面の内容と語彙・表現の確認</td><td>映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。</td></tr> <tr> <td>12</td><td>Actividades con películas (4-1)</td><td>作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション (1)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>13</td><td>Actividades con películas (4-2)</td><td>ヒヤリングとディクテーション (1)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>14</td><td>Actividades con películas (4-3)</td><td>各場面の内容と語彙・表現の確認</td><td>映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。</td></tr> <tr> <td>15</td><td>学習内容の確認</td><td>語彙・表現の臨時試験 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。</td><td>第 15 回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	Actividades con películas (1-1)	イントロダクション 作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション (1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	2	Actividades con películas (1-2)	ヒヤリングとディクテーション (2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	3	Actividades con películas (1-3)	ヒヤリングとディクテーション (3)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	4	Actividades con películas (1-4)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。	5	Actividades con películas (2-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション (1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	6	Actividades con películas (2-2)	ヒヤリングとディクテーション (2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	7	Actividades con películas (2-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。	8	学習内容の確認	語彙・表現の確認テスト 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。	第 7 回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。	9	Actividades con películas (3-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション (1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	10	Actividades con películas (3-2)	ヒヤリングとディクテーション (2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	11	Actividades con películas (3-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。	12	Actividades con películas (4-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション (1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	13	Actividades con películas (4-2)	ヒヤリングとディクテーション (1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	14	Actividades con películas (4-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。	15	学習内容の確認	語彙・表現の臨時試験 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。	第 15 回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	Actividades con películas (1-1)	イントロダクション 作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション (1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
2	Actividades con películas (1-2)	ヒヤリングとディクテーション (2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
3	Actividades con películas (1-3)	ヒヤリングとディクテーション (3)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
4	Actividades con películas (1-4)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。																																																																
5	Actividades con películas (2-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション (1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
6	Actividades con películas (2-2)	ヒヤリングとディクテーション (2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
7	Actividades con películas (2-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。																																																																
8	学習内容の確認	語彙・表現の確認テスト 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。	第 7 回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。																																																																
9	Actividades con películas (3-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション (1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
10	Actividades con películas (3-2)	ヒヤリングとディクテーション (2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
11	Actividades con películas (3-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。																																																																
12	Actividades con películas (4-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション (1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
13	Actividades con películas (4-2)	ヒヤリングとディクテーション (1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
14	Actividades con películas (4-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。																																																																
15	学習内容の確認	語彙・表現の臨時試験 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。	第 15 回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。																																																																
関連科目	スペイン語関連科目																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	授業での発表、提出物 40% + 臨時試験の成績 60%																																																																		
学生へのメッセージ	語彙や表現の意味を覚えるだけでなく、どのような文脈で使えるのか辞書等で例文をチェックする習慣をつけましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 2 階 (非常勤講師室)																																																																		
備考	辞書は必携 事前・事後学習に要する総時間数は約 15 時間。 毎回授業の始めに、前回の学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。 授業で課した課題や宿題は、次週の授業で講評する。																																																																		

科目名	映画のスペイン語 I	科目名 (英文)	Spanish through the Movies I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	R
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	ディアス イバン
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL2096e0		

授業概要・目的	映画・ドラマを利用して、スペイン語のヒアリング力を高める。																																																																		
到達目標	ヒアリング力を高めつつ、スペイン語の基本語彙や表現を使いこなせるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	映画のいくつかの場面を見ながらディクテーションを行い、重要語彙や表現をチェックしながら書く場面の内容を理解する。その後、習った語彙や表現を用いて、見た映画の要約あるいは感想をスペイン語で述べる。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	スペイン語検定 4 級																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>Actividades con películas (1-1)</td><td>イントロダクション 作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション (1)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>2</td><td>Actividades con películas (1-2)</td><td>ヒヤリングとディクテーション (2)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>Actividades con películas (1-3)</td><td>ヒヤリングとディクテーション (3)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>Actividades con películas (1-4)</td><td>各場面の内容と語彙・表現の確認</td><td>映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。</td></tr> <tr> <td>5</td><td>Actividades con películas (2-1)</td><td>作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション (1)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>6</td><td>Actividades con películas (2-2)</td><td>ヒヤリングとディクテーション (2)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>7</td><td>Actividades con películas (2-3)</td><td>各場面の内容と語彙・表現の確認</td><td>映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。</td></tr> <tr> <td>8</td><td>学習内容の確認</td><td>語彙・表現の確認テスト 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。</td><td>第 7 回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。</td></tr> <tr> <td>9</td><td>Actividades con películas (3-1)</td><td>作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション (1)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>10</td><td>Actividades con películas (3-2)</td><td>ヒヤリングとディクテーション (2)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>11</td><td>Actividades con películas (3-3)</td><td>各場面の内容と語彙・表現の確認</td><td>映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。</td></tr> <tr> <td>12</td><td>Actividades con películas (4-1)</td><td>作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション (1)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>13</td><td>Actividades con películas (4-2)</td><td>ヒヤリングとディクテーション (1)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>14</td><td>Actividades con películas (4-3)</td><td>各場面の内容と語彙・表現の確認</td><td>映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。</td></tr> <tr> <td>15</td><td>学習内容の確認</td><td>語彙・表現の臨時試験 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。</td><td>第 15 回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	Actividades con películas (1-1)	イントロダクション 作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション (1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	2	Actividades con películas (1-2)	ヒヤリングとディクテーション (2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	3	Actividades con películas (1-3)	ヒヤリングとディクテーション (3)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	4	Actividades con películas (1-4)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。	5	Actividades con películas (2-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション (1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	6	Actividades con películas (2-2)	ヒヤリングとディクテーション (2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	7	Actividades con películas (2-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。	8	学習内容の確認	語彙・表現の確認テスト 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。	第 7 回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。	9	Actividades con películas (3-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション (1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	10	Actividades con películas (3-2)	ヒヤリングとディクテーション (2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	11	Actividades con películas (3-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。	12	Actividades con películas (4-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション (1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	13	Actividades con películas (4-2)	ヒヤリングとディクテーション (1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	14	Actividades con películas (4-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。	15	学習内容の確認	語彙・表現の臨時試験 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。	第 15 回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	Actividades con películas (1-1)	イントロダクション 作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション (1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
2	Actividades con películas (1-2)	ヒヤリングとディクテーション (2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
3	Actividades con películas (1-3)	ヒヤリングとディクテーション (3)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
4	Actividades con películas (1-4)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。																																																																
5	Actividades con películas (2-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション (1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
6	Actividades con películas (2-2)	ヒヤリングとディクテーション (2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
7	Actividades con películas (2-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。																																																																
8	学習内容の確認	語彙・表現の確認テスト 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。	第 7 回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。																																																																
9	Actividades con películas (3-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション (1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
10	Actividades con películas (3-2)	ヒヤリングとディクテーション (2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
11	Actividades con películas (3-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。																																																																
12	Actividades con películas (4-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション (1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
13	Actividades con películas (4-2)	ヒヤリングとディクテーション (1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
14	Actividades con películas (4-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。																																																																
15	学習内容の確認	語彙・表現の臨時試験 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。	第 15 回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。																																																																
関連科目	スペイン語関連科目																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	授業での発表、提出物 4 0 % + 臨時試験の成績 6 0 %																																																																		
学生へのメッセージ	語彙や表現の意味を覚えるだけでなく、どのような文脈で使えるのか辞書等で例文をチェックする習慣をつけましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 2 階 (非常勤講師室)																																																																		
備考	辞書は必携 事前・事後学習に要する総時間数は約 15 時間。 毎回授業の始めに、前回の学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。 授業で課した課題や宿題は、次週の授業で講評する。																																																																		

科目名	映画のスペイン語Ⅱ	科目名(英文)	Spanish through the Movies II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	オラシオ ゴメス
ディプロマポリシー(DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	映画・ドラマを利用して、スペイン語のヒアリング力を高める。																																																																		
到達目標	ヒアリング力を高めつつ、スペイン語の基本語彙や表現を使いこなせるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	映画のいくつかの場面を見ながらディクテーションを行い、重要語彙や表現をチェックしながら書く場面の内容を理解する。その後、習った語彙や表現を用いて、見た映画の要約あるいは感想をスペイン語で述べる。																																																																		
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定4級																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>Actividades con películas (1-1)</td><td>イントロダクション 作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>2</td><td>Actividades con películas (1-2)</td><td>ヒヤリングとディクテーション(2)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>Actividades con películas (1-3)</td><td>ヒヤリングとディクテーション(3)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>Actividades con películas (1-4)</td><td>各場面の内容と語彙・表現の確認</td><td>映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。</td></tr> <tr> <td>5</td><td>Actividades con películas (2-1)</td><td>作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>6</td><td>Actividades con películas (2-2)</td><td>ヒヤリングとディクテーション(2)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>7</td><td>Actividades con películas (2-3)</td><td>各場面の内容と語彙・表現の確認</td><td>映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。</td></tr> <tr> <td>8</td><td>学習内容の確認</td><td>語彙・表現の確認テスト 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。</td><td>第7回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。</td></tr> <tr> <td>9</td><td>Actividades con películas (3-1)</td><td>作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>10</td><td>Actividades con películas (3-2)</td><td>ヒヤリングとディクテーション(2)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>11</td><td>Actividades con películas (3-3)</td><td>各場面の内容と語彙・表現の確認</td><td>映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。</td></tr> <tr> <td>12</td><td>Actividades con películas (4-1)</td><td>作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>13</td><td>Actividades con películas (4-2)</td><td>ヒヤリングとディクテーション(1)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>14</td><td>Actividades con películas (4-3)</td><td>各場面の内容と語彙・表現の確認</td><td>映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。</td></tr> <tr> <td>15</td><td>学習内容の確認</td><td>語彙・表現の臨時試験 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。</td><td>第15回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	Actividades con películas (1-1)	イントロダクション 作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	2	Actividades con películas (1-2)	ヒヤリングとディクテーション(2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	3	Actividades con películas (1-3)	ヒヤリングとディクテーション(3)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	4	Actividades con películas (1-4)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。	5	Actividades con películas (2-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	6	Actividades con películas (2-2)	ヒヤリングとディクテーション(2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	7	Actividades con películas (2-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。	8	学習内容の確認	語彙・表現の確認テスト 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。	第7回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。	9	Actividades con películas (3-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	10	Actividades con películas (3-2)	ヒヤリングとディクテーション(2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	11	Actividades con películas (3-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。	12	Actividades con películas (4-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	13	Actividades con películas (4-2)	ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	14	Actividades con películas (4-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。	15	学習内容の確認	語彙・表現の臨時試験 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。	第15回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	Actividades con películas (1-1)	イントロダクション 作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
2	Actividades con películas (1-2)	ヒヤリングとディクテーション(2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
3	Actividades con películas (1-3)	ヒヤリングとディクテーション(3)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
4	Actividades con películas (1-4)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。																																																																
5	Actividades con películas (2-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
6	Actividades con películas (2-2)	ヒヤリングとディクテーション(2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
7	Actividades con películas (2-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。																																																																
8	学習内容の確認	語彙・表現の確認テスト 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。	第7回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。																																																																
9	Actividades con películas (3-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
10	Actividades con películas (3-2)	ヒヤリングとディクテーション(2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
11	Actividades con películas (3-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。																																																																
12	Actividades con películas (4-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
13	Actividades con películas (4-2)	ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
14	Actividades con películas (4-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。																																																																
15	学習内容の確認	語彙・表現の臨時試験 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。	第15回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。																																																																
関連科目	スペイン語関連科目																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	授業での発表、提出物40% + 臨時試験の成績60%																																																																		
学生へのメッセージ	語彙や表現の意味を覚えるだけでなく、どのような文脈で使えるのか辞書等で例文をチェックする習慣をつけましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)																																																																		
備考	辞書は必携 事前・事後学習に要する総時間数は約15時間。 毎回授業の始めに、前回の学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。 授業で課した課題や宿題は、次週の授業で講評する。																																																																		

科目名	映画のスペイン語Ⅱ	科目名（英文）	Spanish through the Movies II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	R
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	ディアス イバン
ディプロマポリシー（DP）			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	映画・ドラマを利用して、スペイン語のヒアリング力を高める。																																																																		
到達目標	ヒアリング力を高めつつ、スペイン語の基本語彙や表現を使いこなせるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	映画のいくつかの場面を見ながらディクテーションを行い、重要語彙や表現をチェックしながら書く場面の内容を理解する。その後、習った語彙や表現を用いて、見た映画の要約あるいは感想をスペイン語で述べる。																																																																		
科目学習の効果（資格）	スペイン語検定 4 級																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>Actividades con películas (1-1)</td><td>イントロダクション 作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>2</td><td>Actividades con películas (1-2)</td><td>ヒヤリングとディクテーション(2)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>Actividades con películas (1-3)</td><td>ヒヤリングとディクテーション(3)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>Actividades con películas (1-4)</td><td>各場面の内容と語彙・表現の確認</td><td>映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。</td></tr> <tr> <td>5</td><td>Actividades con películas (2-1)</td><td>作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>6</td><td>Actividades con películas (2-2)</td><td>ヒヤリングとディクテーション(2)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>7</td><td>Actividades con películas (2-3)</td><td>各場面の内容と語彙・表現の確認</td><td>映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。</td></tr> <tr> <td>8</td><td>学習内容の確認</td><td>語彙・表現の確認テスト 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。</td><td>第7回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。</td></tr> <tr> <td>9</td><td>Actividades con películas (3-1)</td><td>作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>10</td><td>Actividades con películas (3-2)</td><td>ヒヤリングとディクテーション(2)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>11</td><td>Actividades con películas (3-3)</td><td>各場面の内容と語彙・表現の確認</td><td>映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。</td></tr> <tr> <td>12</td><td>Actividades con películas (4-1)</td><td>作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>13</td><td>Actividades con películas (4-2)</td><td>ヒヤリングとディクテーション(1)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>14</td><td>Actividades con películas (4-3)</td><td>各場面の内容と語彙・表現の確認</td><td>映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。</td></tr> <tr> <td>15</td><td>学習内容の確認</td><td>語彙・表現の臨時試験 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。</td><td>第15回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	Actividades con películas (1-1)	イントロダクション 作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	2	Actividades con películas (1-2)	ヒヤリングとディクテーション(2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	3	Actividades con películas (1-3)	ヒヤリングとディクテーション(3)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	4	Actividades con películas (1-4)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。	5	Actividades con películas (2-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	6	Actividades con películas (2-2)	ヒヤリングとディクテーション(2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	7	Actividades con películas (2-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。	8	学習内容の確認	語彙・表現の確認テスト 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。	第7回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。	9	Actividades con películas (3-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	10	Actividades con películas (3-2)	ヒヤリングとディクテーション(2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	11	Actividades con películas (3-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。	12	Actividades con películas (4-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	13	Actividades con películas (4-2)	ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	14	Actividades con películas (4-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。	15	学習内容の確認	語彙・表現の臨時試験 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。	第15回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	Actividades con películas (1-1)	イントロダクション 作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
2	Actividades con películas (1-2)	ヒヤリングとディクテーション(2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
3	Actividades con películas (1-3)	ヒヤリングとディクテーション(3)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
4	Actividades con películas (1-4)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。																																																																
5	Actividades con películas (2-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
6	Actividades con películas (2-2)	ヒヤリングとディクテーション(2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
7	Actividades con películas (2-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。																																																																
8	学習内容の確認	語彙・表現の確認テスト 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。	第7回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。																																																																
9	Actividades con películas (3-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
10	Actividades con películas (3-2)	ヒヤリングとディクテーション(2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
11	Actividades con películas (3-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。																																																																
12	Actividades con películas (4-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
13	Actividades con películas (4-2)	ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
14	Actividades con películas (4-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。																																																																
15	学習内容の確認	語彙・表現の臨時試験 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。	第15回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。																																																																
関連科目	スペイン語関連科目																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	授業での発表、提出物 40% + 臨時試験の成績 60%																																																																		
学生へのメッセージ	語彙や表現の意味を覚えるだけでなく、どのような文脈で使えるのか辞書等で例文をチェックする習慣をつけましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 2 階（非常勤講師室）																																																																		
備考	辞書は必携 事前・事後学習に要する総時間数は約 15 時間。 毎回授業の始めに、前回の学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。 授業で課した課題や宿題は、次週の授業で講評する。																																																																		

科目名	映画のスペイン語Ⅱ	科目名(英文)	Spanish through the Movies II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	オラシオ ゴメス
ディプロマポリシー(DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL3109e0		

授業概要・目的	映画・ドラマを利用して、スペイン語のヒアリング力を高める。																																																																		
到達目標	ヒアリング力を高めつつ、スペイン語の基本語彙や表現を使いこなせるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	映画のいくつかの場面を見ながらディクテーションを行い、重要語彙や表現をチェックしながら書く場面の内容を理解する。その後、習った語彙や表現を用いて、見た映画の要約あるいは感想をスペイン語で述べる。																																																																		
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定4級																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>Actividades con películas (1-1)</td><td>イントロダクション 作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>2</td><td>Actividades con películas (1-2)</td><td>ヒヤリングとディクテーション(2)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>Actividades con películas (1-3)</td><td>ヒヤリングとディクテーション(3)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>Actividades con películas (1-4)</td><td>各場面の内容と語彙・表現の確認</td><td>映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。</td></tr> <tr> <td>5</td><td>Actividades con películas (2-1)</td><td>作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>6</td><td>Actividades con películas (2-2)</td><td>ヒヤリングとディクテーション(2)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>7</td><td>Actividades con películas (2-3)</td><td>各場面の内容と語彙・表現の確認</td><td>映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。</td></tr> <tr> <td>8</td><td>学習内容の確認</td><td>語彙・表現の確認テスト 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。</td><td>第7回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。</td></tr> <tr> <td>9</td><td>Actividades con películas (3-1)</td><td>作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>10</td><td>Actividades con películas (3-2)</td><td>ヒヤリングとディクテーション(2)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>11</td><td>Actividades con películas (3-3)</td><td>各場面の内容と語彙・表現の確認</td><td>映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。</td></tr> <tr> <td>12</td><td>Actividades con películas (4-1)</td><td>作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>13</td><td>Actividades con películas (4-2)</td><td>ヒヤリングとディクテーション(1)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>14</td><td>Actividades con películas (4-3)</td><td>各場面の内容と語彙・表現の確認</td><td>映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。</td></tr> <tr> <td>15</td><td>学習内容の確認</td><td>語彙・表現の臨時試験 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。</td><td>第15回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	Actividades con películas (1-1)	イントロダクション 作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	2	Actividades con películas (1-2)	ヒヤリングとディクテーション(2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	3	Actividades con películas (1-3)	ヒヤリングとディクテーション(3)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	4	Actividades con películas (1-4)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。	5	Actividades con películas (2-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	6	Actividades con películas (2-2)	ヒヤリングとディクテーション(2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	7	Actividades con películas (2-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。	8	学習内容の確認	語彙・表現の確認テスト 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。	第7回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。	9	Actividades con películas (3-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	10	Actividades con películas (3-2)	ヒヤリングとディクテーション(2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	11	Actividades con películas (3-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。	12	Actividades con películas (4-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	13	Actividades con películas (4-2)	ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	14	Actividades con películas (4-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。	15	学習内容の確認	語彙・表現の臨時試験 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。	第15回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	Actividades con películas (1-1)	イントロダクション 作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
2	Actividades con películas (1-2)	ヒヤリングとディクテーション(2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
3	Actividades con películas (1-3)	ヒヤリングとディクテーション(3)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
4	Actividades con películas (1-4)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。																																																																
5	Actividades con películas (2-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
6	Actividades con películas (2-2)	ヒヤリングとディクテーション(2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
7	Actividades con películas (2-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。																																																																
8	学習内容の確認	語彙・表現の確認テスト 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。	第7回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。																																																																
9	Actividades con películas (3-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
10	Actividades con películas (3-2)	ヒヤリングとディクテーション(2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
11	Actividades con películas (3-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。																																																																
12	Actividades con películas (4-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
13	Actividades con películas (4-2)	ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
14	Actividades con películas (4-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。																																																																
15	学習内容の確認	語彙・表現の臨時試験 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。	第15回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。																																																																
関連科目	スペイン語関連科目																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	授業での発表、提出物40% + 臨時試験の成績60%																																																																		
学生へのメッセージ	語彙や表現の意味を覚えるだけでなく、どのような文脈で使えるのか辞書等で例文をチェックする習慣をつけましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室																																																																		
備考	辞書は必携 事前・事後学習に要する総時間数は約15時間。 毎回の授業の始めに、前回の学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。 授業で課した課題や宿題は、次週の授業で講評する。																																																																		

科目名	映画のスペイン語Ⅱ	科目名(英文)	Spanish through the Movies II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	R
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	ディアス イバン
ディプロマポリシー(DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL3109e0		

授業概要・目的	映画・ドラマを利用して、スペイン語のヒアリング力を高める。																																																																		
到達目標	ヒアリング力を高めつつ、スペイン語の基本語彙や表現を使いこなせるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	映画のいくつかの場面を見ながらディクテーションを行い、重要語彙や表現をチェックしながら書く場面の内容を理解する。その後、習った語彙や表現を用いて、見た映画の要約あるいは感想をスペイン語で述べる。																																																																		
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定 4 級																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>Actividades con películas (1-1)</td><td>イントロダクション 作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>2</td><td>Actividades con películas (1-2)</td><td>ヒヤリングとディクテーション(2)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>Actividades con películas (1-3)</td><td>ヒヤリングとディクテーション(3)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>Actividades con películas (1-4)</td><td>各場面の内容と語彙・表現の確認</td><td>映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。</td></tr> <tr> <td>5</td><td>Actividades con películas (2-1)</td><td>作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>6</td><td>Actividades con películas (2-2)</td><td>ヒヤリングとディクテーション(2)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>7</td><td>Actividades con películas (2-3)</td><td>各場面の内容と語彙・表現の確認</td><td>映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。</td></tr> <tr> <td>8</td><td>学習内容の確認</td><td>語彙・表現の確認テスト 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。</td><td>第7回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。</td></tr> <tr> <td>9</td><td>Actividades con películas (3-1)</td><td>作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>10</td><td>Actividades con películas (3-2)</td><td>ヒヤリングとディクテーション(2)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>11</td><td>Actividades con películas (3-3)</td><td>各場面の内容と語彙・表現の確認</td><td>映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。</td></tr> <tr> <td>12</td><td>Actividades con películas (4-1)</td><td>作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>13</td><td>Actividades con películas (4-2)</td><td>ヒヤリングとディクテーション(1)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>14</td><td>Actividades con películas (4-3)</td><td>各場面の内容と語彙・表現の確認</td><td>映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。</td></tr> <tr> <td>15</td><td>学習内容の確認</td><td>語彙・表現の臨時試験と解説 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。</td><td>第15回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	Actividades con películas (1-1)	イントロダクション 作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	2	Actividades con películas (1-2)	ヒヤリングとディクテーション(2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	3	Actividades con películas (1-3)	ヒヤリングとディクテーション(3)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	4	Actividades con películas (1-4)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。	5	Actividades con películas (2-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	6	Actividades con películas (2-2)	ヒヤリングとディクテーション(2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	7	Actividades con películas (2-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。	8	学習内容の確認	語彙・表現の確認テスト 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。	第7回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。	9	Actividades con películas (3-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	10	Actividades con películas (3-2)	ヒヤリングとディクテーション(2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	11	Actividades con películas (3-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。	12	Actividades con películas (4-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	13	Actividades con películas (4-2)	ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	14	Actividades con películas (4-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。	15	学習内容の確認	語彙・表現の臨時試験と解説 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。	第15回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	Actividades con películas (1-1)	イントロダクション 作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
2	Actividades con películas (1-2)	ヒヤリングとディクテーション(2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
3	Actividades con películas (1-3)	ヒヤリングとディクテーション(3)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
4	Actividades con películas (1-4)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。																																																																
5	Actividades con películas (2-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
6	Actividades con películas (2-2)	ヒヤリングとディクテーション(2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
7	Actividades con películas (2-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。																																																																
8	学習内容の確認	語彙・表現の確認テスト 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。	第7回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。																																																																
9	Actividades con películas (3-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
10	Actividades con películas (3-2)	ヒヤリングとディクテーション(2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
11	Actividades con películas (3-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。																																																																
12	Actividades con películas (4-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
13	Actividades con películas (4-2)	ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
14	Actividades con películas (4-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。																																																																
15	学習内容の確認	語彙・表現の臨時試験と解説 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。	第15回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。																																																																
関連科目	スペイン語関連科目																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	授業での発表、提出物 40% + 臨時試験の成績 60%																																																																		
学生へのメッセージ	語彙や表現の意味を覚えるだけでなく、どのような文脈で使えるのか辞書等で例文をチェックする習慣をつけましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師控室																																																																		
備考	辞書は必携 事前・事後学習に要する総時間数は約 15 時間。 毎回の授業の始めに、前回の学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。 授業で課した課題や宿題は、次週の授業で講評する。																																																																		

科目名	映画のスペイン語Ⅲ	科目名（英文）	Spanish through the Movies III
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	Q
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	オラシオ ゴメス
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	映画・ドラマを利用して、スペイン語のヒアリング力を高める。																																																																		
到達目標	ヒアリング力を高めつつ、スペイン語の基本語彙や表現を使いこなせるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	映画のいくつかの場面を見ながらディクテーションを行い、重要語彙や表現をチェックしながら書く場面の内容を理解する。その後、習った語彙や表現を用いて、見た映画の要約あるいは感想をスペイン語で述べる。																																																																		
科目学習の効果（資格）	スペイン語検定 4 級																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>Actividades con películas (1-1)</td><td>イントロダクション 作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション (1)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>2</td><td>Actividades con películas (1-2)</td><td>ヒヤリングとディクテーション (2)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>Actividades con películas (1-3)</td><td>ヒヤリングとディクテーション (3)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>Actividades con películas (1-4)</td><td>各場面の内容と語彙・表現の確認</td><td>映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。</td></tr> <tr> <td>5</td><td>Actividades con películas (2-1)</td><td>作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション (1)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>6</td><td>Actividades con películas (2-2)</td><td>ヒヤリングとディクテーション (2)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>7</td><td>Actividades con películas (2-3)</td><td>各場面の内容と語彙・表現の確認</td><td>映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。</td></tr> <tr> <td>8</td><td>学習内容の確認</td><td>語彙・表現の確認テスト 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。</td><td>第 7 回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。</td></tr> <tr> <td>9</td><td>Actividades con películas (3-1)</td><td>作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション (1)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>10</td><td>Actividades con películas (3-2)</td><td>ヒヤリングとディクテーション (2)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>11</td><td>Actividades con películas (3-3)</td><td>各場面の内容と語彙・表現の確認</td><td>映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。</td></tr> <tr> <td>12</td><td>Actividades con películas (4-1)</td><td>作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション (1)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>13</td><td>Actividades con películas (4-2)</td><td>ヒヤリングとディクテーション (1)</td><td>授業後に新出単語および表現を覚えること。</td></tr> <tr> <td>14</td><td>Actividades con películas (4-3)</td><td>各場面の内容と語彙・表現の確認</td><td>映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。</td></tr> <tr> <td>15</td><td>学習内容の確認</td><td>語彙・表現の臨時試験 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。</td><td>第 15 回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	Actividades con películas (1-1)	イントロダクション 作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション (1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	2	Actividades con películas (1-2)	ヒヤリングとディクテーション (2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	3	Actividades con películas (1-3)	ヒヤリングとディクテーション (3)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	4	Actividades con películas (1-4)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。	5	Actividades con películas (2-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション (1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	6	Actividades con películas (2-2)	ヒヤリングとディクテーション (2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	7	Actividades con películas (2-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。	8	学習内容の確認	語彙・表現の確認テスト 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。	第 7 回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。	9	Actividades con películas (3-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション (1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	10	Actividades con películas (3-2)	ヒヤリングとディクテーション (2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	11	Actividades con películas (3-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。	12	Actividades con películas (4-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション (1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	13	Actividades con películas (4-2)	ヒヤリングとディクテーション (1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。	14	Actividades con películas (4-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。	15	学習内容の確認	語彙・表現の臨時試験 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。	第 15 回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	Actividades con películas (1-1)	イントロダクション 作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション (1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
2	Actividades con películas (1-2)	ヒヤリングとディクテーション (2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
3	Actividades con películas (1-3)	ヒヤリングとディクテーション (3)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
4	Actividades con películas (1-4)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。																																																																
5	Actividades con películas (2-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション (1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
6	Actividades con películas (2-2)	ヒヤリングとディクテーション (2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
7	Actividades con películas (2-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。																																																																
8	学習内容の確認	語彙・表現の確認テスト 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。	第 7 回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。																																																																
9	Actividades con películas (3-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション (1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
10	Actividades con películas (3-2)	ヒヤリングとディクテーション (2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
11	Actividades con películas (3-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。																																																																
12	Actividades con películas (4-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション (1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
13	Actividades con películas (4-2)	ヒヤリングとディクテーション (1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。																																																																
14	Actividades con películas (4-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。																																																																
15	学習内容の確認	語彙・表現の臨時試験 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。	第 15 回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。																																																																
関連科目	スペイン語関連科目																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	授業での発表、提出物 4 0 % + 臨時試験の成績 6 0 %																																																																		
学生へのメッセージ	語彙や表現の意味を覚えるだけでなく、どのような文脈で使えるのか辞書等で例文をチェックする習慣をつけましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室																																																																		
備考	辞書は必携 事前・事後学習に要する総時間数は約 15 時間。 毎回の授業の始めに、前回の学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。 授業で課した課題や宿題は、次週の授業で講評する。																																																																		

科目名	映画のスペイン語Ⅲ	科目名（英文）	Spanish through the Movies III
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	R
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	ディアス イバン
ディプロマポリシー（DP）			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	映画・ドラマを利用して、スペイン語のヒアリング力を高める。
到達目標	ヒアリング力を高めつつ、スペイン語の基本語彙や表現を使いこなせるようになる。
授業方法と留意点	映画のいくつかの場面を見ながらディクテーションを行い、重要語彙や表現をチェックしながら書く場面の内容を理解する。その後、習った語彙や表現を用いて、見た映画の要約あるいは感想をスペイン語で述べる。
科目学習の効果（資格）	スペイン語検定 4 級

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Actividades con películas (1-1)	イントロダクション 作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。
	2	Actividades con películas (1-2)	ヒヤリングとディクテーション(2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。
	3	Actividades con películas (1-3)	ヒヤリングとディクテーション(3)	授業後に新出単語および表現を覚えること。
	4	Actividades con películas (1-4)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。
	5	Actividades con películas (2-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。
	6	Actividades con películas (2-2)	ヒヤリングとディクテーション(2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。
	7	Actividades con películas (2-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。
	8	学習内容の確認	語彙・表現の確認テスト 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。	第 7 回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。
	9	Actividades con películas (3-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。
	10	Actividades con películas (3-2)	ヒヤリングとディクテーション(2)	授業後に新出単語および表現を覚えること。
	11	Actividades con películas (3-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。
	12	Actividades con películas (4-1)	作品の概要説明、ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。
	13	Actividades con películas (4-2)	ヒヤリングとディクテーション(1)	授業後に新出単語および表現を覚えること。
	14	Actividades con películas (4-3)	各場面の内容と語彙・表現の確認	映画の各場面についてスペイン語で簡単に説明したりコメントできるように、語彙や表現を整理し、メモしておくこと。
	15	学習内容の確認	語彙・表現の臨時試験と解説 授業で見た映画に関してスペイン語で要約およびコメントを書く。	第 15 回までに習った語彙・表現を覚え、それらを用いて作文ができるように、各自文法事項も見直しておくこと。

関連科目	スペイン語関連科目
------	-----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法（基準）	授業での発表、提出物 4 0 % + 臨時試験の成績 6 0 %
----------	----------------------------------

学生へのメッセージ	語彙や表現の意味を覚えるだけでなく、どのような文脈で使えるのか辞書等で例文をチェックする習慣をつけましょう。
-----------	--

担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師控室
----------	------------------

備考	辞書は必携 事前・事後学習に要する総時間数は約 15 時間。 毎回の授業の始めに、前回の学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。 授業で課した課題や宿題は、次週の授業で講評する。
----	--

科目名	英語意味論・語用論	科目名（英文）	English Semantics and Pragmatics
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	藤原 崇
ディプロマポリシー (DP)	DP1○, DP2△		
科目ナンバリング	LDL2159a0		

授業概要・目的	言語が「形式」「音声」「意味」という3つの側面から成り立っていると、「意味」は一番捉えにくく定式化が難しいものである。しかし、意味変化の規則性や個々の表現どうしの関連性、場面と文の意味の関係など、興味深い現象が多い。コミュニケーションが成立するためには、その土台となっているそれぞれの単語や表現がどのような意味を持ち、それが実際の場面でどのように使われ、どのような意図を伝えているかということを理解することが重要になってくる。英語の意味・用いられ方を眺めることで、言語についてのさまざまな不思議に興味を持ち、その不思議に対して「なぜか」という理由を探索する姿勢を涵養する。			
到達目標	1. 同意語、上位語・下位語といった語彙どうしの意味的关系を理解できるようになる。 2. 意味とコンテキストの関係を理解できるようになる。 3. 意味変化のメカニズムを理解できるようになる。 4. 場面に応じた言葉の使われ方や会話の成立について理解できるようになる。			
授業方法と留意点	この講義では、英語に焦点を当てながら、ことばの意味、場面との関係、意味の変化などについて学ぶ。英語が表す「意味」の側面に焦点をあてる意味論と、実際の場面でどのように使われ、どのような意味を伝えるのかといった「用い方」に焦点を当てる語用論を扱う。主に講義形式となるが、授業の最後にミニツペーパーにより理解度を測ったり、興味のある点について簡単な論述を課したりする。			
科目学習の効果（資格）	教員の免許状取得のための選択科目			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	授業の内容・進め方に関する説明。英語学のいくつかの分野を振り返りながら、日常に見られるさまざまな意味にかかわる現象を紹介し、意味への興味を喚起する。	英語学の諸分野について復習をしておく。（2時間）
	2	英語の歴史と語の意味	英語の歴史の中に見られる語彙の増加、語の意味の変化の事例を紹介しながら、意味が決して固定的なものではないことを考える。	英語における語の意味変化の事例を調べておく。（2時間）
	3	類義語と反意語	多義性、類義性、同音性、反義性といった意味にかかわる性質について学ぶ。	英語の多義語、反意語の例を調べておく。（2時間）
	4	意味と指示物	意味と指示物の関係を考えながら、誤用、比喩、うそ、皮肉といった言葉遣いにかかわるメカニズムを考える。	うそと誤用はどのように違うのか、考えておく。（2時間）
	5	意味と辞書	辞書に意味がどのように掲載されるかを考えながら、意味記述の難しさを考えていく。	多義語の get の意味分類がどのようにになっているのか、辞書で調べておく。（2時間）
	6	同音語と多義語	語彙の持つ関係性を考察しながら、意味の構成性や語彙の意味関係の多様性を考えていく。その過程で、意味をどのように形式化できるのか、またはできないのかについても考える。	「ゲシュタルト理論」について調べておく。（2時間）
	7	文法と意味	認知文法で提唱されている構文に意味があるのかということを、具体的事例をもとに考える	構文文法とはどのような考え方をいうのか、調べておく。（2時間）
	8	意味の変化①	意味の向上、意味の下落といった意味変化の規則性を考え、その要因を社会的、言語的に探っていく。	意味の向上の例が日本語にないか調査しておく。（2時間）
	9	意味の変化②	メトニミー、メタファーといった英語の多義性にかかわるメカニズムを考察する。	メトニミーによる意味拡張の例を調べておく。（2時間）
	10	コアイメージ	コアイメージによる意味の説明が、語の持つ多義性の説明に非常に有益であることを考えていく。	コアイメージとはどのようなことを指すのか、調べておく。（2時間）
	11	意味の修得	ことばの習得、主に意味にかかわる習得について考え、カテゴリ化、プロトタイプについて学ぶ。	幼児の言語習得がどのように進んでいくのかを調べておく。（2時間）
	12	意味の普遍性と相対性	色名や親族関係の用語などの例を見ながら、多言語間の単語の指示物の相違を考えて、意味が相対的であることを考える。	色名が他言語ではどのようにあらわされるのかを調べておく。（2時間）
	13	意味とコンテキスト	意味の成立が文脈や使用場面に依存していることを考える。また話の情報構造について考察し、旧情報、新情報といった談話を成立させる情報の価値について考察する。	話といった具体的なテキストを使って、新情報、旧情報がどのようにあらわされているのか、考えてみる。（2時間）
	14	会話の成立	会話を成り立たせるとされる「強調の原理」「会話の格率」（量（Quantity）、質（Quality）、関係（Relation）、様態（Manner））といった会話の含みの理論を学ぶ。	意味のある会話を成り立たせるにはどのようなことが必要かを考える。（2時間）
	15	発話行為	具体的な事例を使用して、発話の持つ意図を語用論的に分析していく。	語や表現がコンテキストの中で具体的に使用されるとまったく別の意味を表す事例を考えておく。（2時間）
関連科目	スピーキング・リスニング・オーラルコミュニケーション・イングリッシュ・プレゼンテーション			
教科書				

	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	英語の意味	池上嘉彦(編)	大修館書店
	2	(配布プリント)		
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	毎回の授業で提出するミニツペーパー (40%) 定期テスト (60%)			
学生への メッセージ	普段から使っている言葉の意味がどうやって生まれてくるのかを考えてみましょう。			
担当者の 研究室等	7号館4階 藤原研究室			
備考	配布資料の読み込みなど、事前・事後学習にかかる総時間数を60時間程度とします。 ミニツペーパー等に関するフィードバックは、その都度授業内で行います。			

科目名	英語学 I	科目名 (英文)	English Linguistics I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	杉浦 秀行
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	母語英語の歴史や諸特徴、世界で使用される様々な英語 (World Englishes)、英語と文化・社会、英語の会話構造、英文法・構文の理論、英語の音声特徴など、英語に係る様々な研究分野について、グループ学習・演習やディスカッションを織り交ぜながら、その考え方や研究の着眼点などについて、基本的な知識と方法を身に付ける。																																																																		
到達目標	・国際共通語としての英語の多様性について理解を深める ・英語学研究の様々な分野について、基本的な考え方や方法について理解する ・英語の文法、音声を含め、コミュニケーションにおける英語使用の様々な側面について、基本的な知識、考え方が身に付く																																																																		
授業方法と留意点	授業の中では、グループ学習や演習等も積極的に取り入れていきますので、授業への積極的な参加がとても重要です。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	教職課程 (英語) の必修科目																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>オリエンテーション、英語学は何を研究するか？</td><td>レクチャー、グループ学習、演習</td><td>教科書 pp. 1-13 (復習) 教科書 pp. 15-30 (予習) (2 時間)</td></tr> <tr> <td>2</td><td>世界で使われる英語</td><td>レクチャー、グループ学習、演習</td><td>授業内容の復習 教科書 pp. 31-61 (予習) (2 時間)</td></tr> <tr> <td>3</td><td>母語英語の歴史と特徴</td><td>レクチャー、グループ学習、演習</td><td>授業内容の復習 教科書 pp. 63-79 (予習) (2 時間)</td></tr> <tr> <td>4</td><td>英語と社会的属性について考える</td><td>レクチャー、グループ学習、演習</td><td>授業内容の復習 教科書 pp. 81-97 (予習) (2 時間)</td></tr> <tr> <td>5</td><td>発話行為論</td><td>レクチャー、グループ学習、演習</td><td>授業内容の復習 教科書 pp. 99-109 (予習) (2 時間)</td></tr> <tr> <td>6</td><td>ポライトネス理論</td><td>レクチャー、グループ学習、演習</td><td>授業内容の復習 教科書 pp. 107-117 (予習) (2 時間)</td></tr> <tr> <td>7</td><td>談話分析と会話分析</td><td>レクチャー、グループ学習、演習</td><td>授業内容の復習 (1 時間 30 分)</td></tr> <tr> <td>8</td><td>英語会話の構造</td><td>レクチャー、グループ学習、演習</td><td>授業内容の復習 教科書 pp. 119-134 (予習) (2 時間)</td></tr> <tr> <td>9</td><td>英語文化について考える</td><td>レクチャー、グループ学習、演習</td><td>授業内容の復習 教科書 pp. 135-153 (予習) (2 時間)</td></tr> <tr> <td>10</td><td>英語における非言語コミュニケーション</td><td>レクチャー、グループ学習、演習</td><td>授業内容の復習 教科書 pp. 155-162 (予習) (2 時間)</td></tr> <tr> <td>11</td><td>生成文法と認知言語学</td><td>レクチャー、グループ学習、演習</td><td>授業内容の復習 教科書 pp. 162-165 (予習) (2 時間)</td></tr> <tr> <td>12</td><td>メタファー理論</td><td>レクチャー、グループ学習、演習</td><td>授業内容の復習 教科書 pp. 171-182 (予習) (2 時間)</td></tr> <tr> <td>13</td><td>日英語文法比較</td><td>レクチャー、グループ学習、演習</td><td>授業内容の復習 教科書 pp. 182-188 (予習) (2 時間)</td></tr> <tr> <td>14</td><td>構文と事態把握</td><td>レクチャー、グループ学習、演習</td><td>授業内容の復習 教科書 pp. 189-204 (予習) (2 時間)</td></tr> <tr> <td>15</td><td>英語音声学と音韻論</td><td>レクチャー、グループ学習、演習</td><td>総復習 (3 時間)</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション、英語学は何を研究するか？	レクチャー、グループ学習、演習	教科書 pp. 1-13 (復習) 教科書 pp. 15-30 (予習) (2 時間)	2	世界で使われる英語	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 31-61 (予習) (2 時間)	3	母語英語の歴史と特徴	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 63-79 (予習) (2 時間)	4	英語と社会的属性について考える	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 81-97 (予習) (2 時間)	5	発話行為論	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 99-109 (予習) (2 時間)	6	ポライトネス理論	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 107-117 (予習) (2 時間)	7	談話分析と会話分析	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 (1 時間 30 分)	8	英語会話の構造	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 119-134 (予習) (2 時間)	9	英語文化について考える	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 135-153 (予習) (2 時間)	10	英語における非言語コミュニケーション	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 155-162 (予習) (2 時間)	11	生成文法と認知言語学	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 162-165 (予習) (2 時間)	12	メタファー理論	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 171-182 (予習) (2 時間)	13	日英語文法比較	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 182-188 (予習) (2 時間)	14	構文と事態把握	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 189-204 (予習) (2 時間)	15	英語音声学と音韻論	レクチャー、グループ学習、演習	総復習 (3 時間)
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション、英語学は何を研究するか？	レクチャー、グループ学習、演習	教科書 pp. 1-13 (復習) 教科書 pp. 15-30 (予習) (2 時間)																																																																
2	世界で使われる英語	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 31-61 (予習) (2 時間)																																																																
3	母語英語の歴史と特徴	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 63-79 (予習) (2 時間)																																																																
4	英語と社会的属性について考える	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 81-97 (予習) (2 時間)																																																																
5	発話行為論	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 99-109 (予習) (2 時間)																																																																
6	ポライトネス理論	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 107-117 (予習) (2 時間)																																																																
7	談話分析と会話分析	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 (1 時間 30 分)																																																																
8	英語会話の構造	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 119-134 (予習) (2 時間)																																																																
9	英語文化について考える	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 135-153 (予習) (2 時間)																																																																
10	英語における非言語コミュニケーション	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 155-162 (予習) (2 時間)																																																																
11	生成文法と認知言語学	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 162-165 (予習) (2 時間)																																																																
12	メタファー理論	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 171-182 (予習) (2 時間)																																																																
13	日英語文法比較	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 182-188 (予習) (2 時間)																																																																
14	構文と事態把握	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 189-204 (予習) (2 時間)																																																																
15	英語音声学と音韻論	レクチャー、グループ学習、演習	総復習 (3 時間)																																																																
関連科目																																																																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>ベーシック新しい英語学概論</td><td>平賀正子</td><td>ひつじ書房</td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	ベーシック新しい英語学概論	平賀正子	ひつじ書房	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	ベーシック新しい英語学概論	平賀正子	ひつじ書房																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>グローバルコミュニケーションのための英語学概論</td><td>井上逸平</td><td>慶應義塾大学出版会</td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	グローバルコミュニケーションのための英語学概論	井上逸平	慶應義塾大学出版会	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	グローバルコミュニケーションのための英語学概論	井上逸平	慶應義塾大学出版会																																																																
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	期末テスト： 40% リアクション・ペーパー： 30% 授業への参加： 30%																																																																		
学生へのメッセージ	英語学は英語という言葉の研究する学問ですが、英語学の中には、実に様々な研究分野や方法論があります。英語学の世界を知ってもらいたい機会になれば幸いです。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 5 階 杉浦研究室																																																																		
備考	リアクション・ペーパー等に関するフィードバックは、その都度授業内で行います。																																																																		

科目名	英語学Ⅱ	科目名（英文）	English Linguistics II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	藤原 崇
ディプロマポリシー（DP）			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	言語が「形式」「音声」「意味」という3つの側面から成り立っているとすると、「意味」は一番捉えにくく定式化が難しいものである。しかし、意味変化の規則性や個々の表現どうしの関連性、場面と文の意味の関係など、興味深い現象が多い。コミュニケーションが成立するためには、その土台となっているそれぞれの単語や表現がどのような意味を持ち、それが実際の場面でどのように使われ、どのような意図を伝えているかということを理解することが重要になってくる。英語の意味・用いられ方を眺めることで、言語についてのさまざまな不思議に興味を持ち、その不思議に対して「なぜか」という理由を探索する姿勢を涵養する。			
到達目標	1. 同意語、上位語・下位語といった語彙どうしの意味的关系を理解できるようになる。 2. 意味とコンテキストの関係を理解できるようになる。 3. 意味変化のメカニズムを理解できるようになる。 4. 場面に応じた言葉の使われ方や会話の成立について理解できるようになる。			
授業方法と留意点	この講義では、英語に焦点を当てながら、ことばの意味、場面との関係、意味の変化などについて学ぶ。英語が表す「意味」の側面に焦点をあてる意味論と、実際の場面でどのように使われ、どのような意味を伝えるのかといった「用い方」に焦点を当てる語用論を扱う。主に講義形式となるが、授業の最後にミニツペーパーにより理解度を測ったり、興味のある点について簡単な論述を課したりする。			
科目学習の効果（資格）	教員の免許状取得のための選択科目			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	授業の内容・進め方に関する説明。英語学のいくつかの分野を振り返りながら、日常に見られるさまざまな意味にかかわる現象を紹介し、意味への興味を喚起する。	英語学の諸分野について復習をしておく。（2時間）
	2	英語の歴史と語の意味	英語の歴史の中に見られる語彙の増加、語の意味の変化の事例を紹介しながら、意味が決して固定的なものではないことを考える。	英語における語の意味変化の事例を調べておく。（2時間）
	3	類義語と反意語	多義性、類義性、同音性、反義性といった意味にかかわる性質について学ぶ。	英語の多義語、反意語の例を調べておく。（2時間）
	4	意味と指示物	意味と指示物の関係を考えながら、誤用、比喻、うそ、皮肉といった言葉遣いにかかわるメカニズムを考える。	うそと誤用はどのように違うのか、考えておく。（2時間）
	5	意味と辞書	辞書に意味がどのように掲載されるかを考えながら、意味記述の難しさを考えていく。	多義語の get の意味分類がどのようになっているのか、辞書で調べておく。（2時間）
	6	同音語と多義語	語彙の持つ関係性を考察しながら、意味の構成性や語彙の意味関係の多様性を考えていく。その過程で、意味をどのように形式化できるのか、またはできないのかについても考える。	「ゲシュタルト理論」について調べておく。（2時間）
	7	文法と意味	認知文法で提唱されている構文に意味があるのかということ、具体的事例をもとに考える	構文文法とはどのような考え方をいうのか、調べておく。（2時間）
	8	意味の変化①	意味の向上、意味の下落といった意味変化の規則性を考え、その要因を社会的、言語的に探っていく。	意味の向上の例が日本語にないか調査しておく。（2時間）
	9	意味の変化②	メトニミー、メタファーといった英語の多義性にかかわるメカニズムを考察する。	メトニミーによる意味拡張の例を調べておく。（2時間）
	10	コアイメージ	コアイメージによる意味の説明が、語の持つ多義性の説明に非常に有益であることを考えていく。	コアイメージとはどのようなことを指すのか、調べておく。（2時間）
	11	意味の修得	ことばの習得、主に意味にかかわる習得について考え、カテゴリー化、プロトタイプについて学ぶ。	幼児の言語習得がどのように進んでいくのかを調べておく。（2時間）
	12	意味の普遍性と相対性	色名や親族関係の用語などの例を見ながら、多言語間の単語の指示物の相違を考えて、意味が相対的であることを考える。	色名が他言語ではどのようにあらわされるのかを調べておく。（2時間）
	13	意味とコンテキスト	意味の成立が文脈や使用場面に依存していることを考える。また話の情報構造について考察し、旧情報、新情報といった談話を成立させる情報の価値について考察する。	話といった具体的なテキストを使って、新情報、旧情報がどのようにあらわされているのか、考えてみる。（2時間）
	14	会話の成立	会話を成り立たせるとされる「強調の原理」「会話の格率」（量（Quantity）、質（Quality）、関係（Relation）、様態（Manner））といった会話の含みの理論を学ぶ。	意味のある会話を成り立たせるにはどのようなことが必要かを考える。（2時間）
	15	発話行為	具体的な事例を使用して、発話の持つ意図を語用論的に分析していく。	語や表現がコンテキストの中で具体的に使用されるとまったく別の意味を表す事例を考えておく。（2時間）
関連科目	スピーキング・リスニング・オーラルコミュニケーション・イングリッシュ・プレゼンテーション			
教科書				

	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	英語の意味	池上嘉彦(編)	大修館書店
	2	(配布プリント)		
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	毎回の授業で提出するミニツペーパー (40%) 定期テスト (60%)			
学生への メッセージ	普段から使っている言葉の意味がどうやって生まれてくるのかを考えてみましょう。			
担当者の 研究室等	7号館4階 藤原研究室			
備考	配布資料の読み込みなど、事前・事後学習にかかる総時間数を60時間程度とします。 ミニツペーパー等に関するフィードバックは、その都度授業内で行います。			

科目名	英語学Ⅲ	科目名（英文）	English Linguistics III
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	鈴木 大介
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	なぜこの表現を使うのか、他の表現ではいけないのか、他にどんな表現が使えるのか（どのような違いがあるのか）等、英語（の構造）についての素朴な疑問を大事にしながら、英語の構造を主にコミュニケーション（情報や伝達機能）の視点から考察する。
到達目標	英語の基礎知識や教養に加え、英語（構造）に関わる諸問題について理解を深めたい。特に、コミュニケーションとの関わりの中で英語の構造を理解できるようになることを目指す。同時に日本語との比較を行うことで、英語の構造について深い考察を試みる。
授業方法と留意点	・基本的にはプリントを配布し、講義形式で進めるが、ペアワークやグループでの討議の時間も設ける。 ・本講義は受講生として言語（とりわけ構造や意味）に興味がある学生を想定している。「英語学概論（英語学Ⅰ）」や「英語意味論・語用論（英語学Ⅱ）」を履修済みであることが望ましい。
科目学習の効果（資格）	・言語の構造・意味の理解 ・3 年次以降のゼミや大学院進学 ・教員の免許状取得のための選択科目

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	授業の進め方と評価方法の説明	授業の計画・内容の確認と、機能（言語学）的アプローチの予習（2 時間）
	2	機能（言語学）的アプローチ	機能（言語学）的アプローチについて理解を深め、グループで議論を行う。	機能（言語学）的アプローチの復習と、言い換え表現の予習（2 時間）
	3	言い換え表現（本当に言い換え可能か？）	言い換え表現について理解を深め、グループで議論を行う。	言い換え表現の復習と、トピック（とコメント）・主題（と題述）の予習（2 時間）
	4	トピック（とコメント）・主題（と題述）	トピック（とコメント）・主題（と題述）について理解を深め、グループで議論を行う。	トピック（とコメント）・主題（と題述）の復習と、旧情報と新情報（there 構文など）の予習（2 時間）
	5	旧情報と新情報（there 構文など）	旧情報と新情報（there 構文など）について理解を深め、グループで議論を行う。	旧情報と新情報（there 構文など）の復習と、焦点と強調（倒置表現など）の予習（2 時間）
	6	焦点と強調（倒置表現など）	焦点と強調（倒置表現など）について理解を深め、グループで議論を行う。	焦点と強調（倒置表現など）の復習と、照応と代用（代名詞など）の予習（2 時間）
	7	照応と代用（代名詞など）	照応と代用（代名詞など）について理解を深め、グループで議論を行う。	照応と代用（代名詞など）の復習と、中間のまとめ（テスト）の準備（2 時間）
	8	中間のまとめ（テストなど）	これまでの授業内容の総括を行い、理解をより一層深める。	これまでの授業内容の復習と、認知（言語学）的アプローチの予習（2 時間）
	9	認知（言語学）的アプローチ	認知（言語学）的アプローチについて理解を深め、グループで議論を行う。	認知（言語学）的アプローチの復習と、類像性（恣意性の有無）の予習（2 時間）
	10	類像性（恣意性の有無）	類像性（恣意性の有無）について理解を深め、グループで議論を行う。	類像性（恣意性の有無）の復習と、類義語（英語）の予習（2 時間）
	11	類義語①（英語）	類義語（英語）について理解を深め、グループで議論を行う。	類義語（英語）の復習と、類義語（日本語との比較）の予習（2 時間）
	12	類義語②（日本語との比較）	類義語（日本語との比較）について理解を深め、グループで議論を行う。	類義語（日本語との比較）の復習と、文法化と意味変化（英語）の予習（2 時間）
	13	文法化と意味変化①（英語）	文法化と意味変化（英語）について理解を深め、グループで議論を行う。	文法化と意味変化（英語）の復習と、文法化と意味変化（日本語との比較）の予習（2 時間）
	14	文法化と意味変化②（日本語との比較）	文法化と意味変化（日本語との比較）について理解を深め、グループで議論を行う。	文法化と意味変化（日本語との比較）の復習と、総まとめ（確認テスト）の準備（2 時間）
	15	まとめ（確認テスト）	これまでの授業で扱ったトピックについて総括し、まとめの確認テストにて、理解度を測る。	総まとめ（確認テスト）の準備と、授業後の振り返り（2 時間）

関連科目	英語学概論（英語学Ⅰ）、英語意味論・語用論（英語学Ⅱ）
------	-----------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	（プリントを配布する）		
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	ディスコース—談話の織りなす世界	橋内 武	くろしお出版
	2			
	3			

評価方法（基準）	授業中の発言・討論など（40%）、宿題と提出物（30%）、小テスト（30%）
----------	--

学生へのメッセージ	講義テーマの性質上、難解に思えるものを扱いますが、言語の構造について深く考えていきましょう。
-----------	--

担当者の研究室等	7 号館 5 階 鈴木研究室
----------	----------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、担当者からの課題、議論や小テストの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 60 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。
----	--

科目名	英語学概論	科目名（英文）	Introduction to English Linguistics
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	杉浦 秀行
ディプロマポリシー (DP)	DP1○, DP2△		
科目ナンバリング	LDL1156a0		

授業概要・目的	母語英語の歴史や諸特徴、世界で使用される様々な英語（World Englishes）、英語と文化・社会、英語の会話構造、英文法・構文の理論、英語の音声特徴など、英語に係る様々な研究分野について、グループ学習・演習やディスカッションを織り交ぜながら、その考え方や研究の着眼点などについて、基本的な知識と方法を身に付ける。																																																																		
到達目標	・国際共通語としての英語の多様性について理解を深める ・英語学研究の様々な分野について、基本的な考え方や方法について理解する ・英語の文法、音声を含め、コミュニケーションにおける英語使用の様々な側面について、基本的な知識、考え方が身に付く																																																																		
授業方法と留意点	授業の中では、グループ学習や演習等も積極的に取り入れていきますので、授業への積極的な参加がとても重要です。																																																																		
科目学習の効果（資格）	教職課程（英語）の必修科目																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>オリエンテーション、英語学は何を研究するか？</td><td>レクチャー、グループ学習、演習</td><td>教科書 pp. 1-13（復習） 教科書 pp. 15-30（予習）（2 時間）</td></tr> <tr> <td>2</td><td>世界で使われる英語</td><td>レクチャー、グループ学習、演習</td><td>授業内容の復習 教科書 pp. 31-61（予習）（2 時間）</td></tr> <tr> <td>3</td><td>母語英語の歴史と特徴</td><td>レクチャー、グループ学習、演習</td><td>授業内容の復習 教科書 pp. 63-79（予習）（2 時間）</td></tr> <tr> <td>4</td><td>英語と社会的属性について考える</td><td>レクチャー、グループ学習、演習</td><td>授業内容の復習 教科書 pp. 81-97（予習）（2 時間）</td></tr> <tr> <td>5</td><td>発話行為論</td><td>レクチャー、グループ学習、演習</td><td>授業内容の復習 教科書 pp. 99-109（予習）（2 時間）</td></tr> <tr> <td>6</td><td>ポライトネス理論</td><td>レクチャー、グループ学習、演習</td><td>授業内容の復習 教科書 pp. 107-117（予習）（2 時間）</td></tr> <tr> <td>7</td><td>談話分析と会話分析</td><td>レクチャー、グループ学習、演習</td><td>授業内容の復習（1 時間 30 分）</td></tr> <tr> <td>8</td><td>英語会話の構造</td><td>レクチャー、グループ学習、演習</td><td>授業内容の復習 教科書 pp. 119-134（予習）（2 時間）</td></tr> <tr> <td>9</td><td>英語文化について考える</td><td>レクチャー、グループ学習、演習</td><td>授業内容の復習 教科書 pp. 135-153（予習）（2 時間）</td></tr> <tr> <td>10</td><td>英語における非言語コミュニケーション</td><td>レクチャー、グループ学習、演習</td><td>授業内容の復習 教科書 pp. 155-162（予習）（2 時間）</td></tr> <tr> <td>11</td><td>生成文法と認知言語学</td><td>レクチャー、グループ学習、演習</td><td>授業内容の復習 教科書 pp. 162-165（予習）（2 時間）</td></tr> <tr> <td>12</td><td>メタファー理論</td><td>レクチャー、グループ学習、演習</td><td>授業内容の復習 教科書 pp. 171-182（予習）（2 時間）</td></tr> <tr> <td>13</td><td>日英語文法比較</td><td>レクチャー、グループ学習、演習</td><td>授業内容の復習 教科書 pp. 182-188（予習）（2 時間）</td></tr> <tr> <td>14</td><td>構文と事態把握</td><td>レクチャー、グループ学習、演習</td><td>授業内容の復習 教科書 pp. 189-204（予習）（2 時間）</td></tr> <tr> <td>15</td><td>英語音声学と音韻論</td><td>レクチャー、グループ学習、演習</td><td>総復習（3 時間）</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション、英語学は何を研究するか？	レクチャー、グループ学習、演習	教科書 pp. 1-13（復習） 教科書 pp. 15-30（予習）（2 時間）	2	世界で使われる英語	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 31-61（予習）（2 時間）	3	母語英語の歴史と特徴	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 63-79（予習）（2 時間）	4	英語と社会的属性について考える	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 81-97（予習）（2 時間）	5	発話行為論	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 99-109（予習）（2 時間）	6	ポライトネス理論	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 107-117（予習）（2 時間）	7	談話分析と会話分析	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習（1 時間 30 分）	8	英語会話の構造	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 119-134（予習）（2 時間）	9	英語文化について考える	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 135-153（予習）（2 時間）	10	英語における非言語コミュニケーション	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 155-162（予習）（2 時間）	11	生成文法と認知言語学	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 162-165（予習）（2 時間）	12	メタファー理論	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 171-182（予習）（2 時間）	13	日英語文法比較	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 182-188（予習）（2 時間）	14	構文と事態把握	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 189-204（予習）（2 時間）	15	英語音声学と音韻論	レクチャー、グループ学習、演習	総復習（3 時間）
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション、英語学は何を研究するか？	レクチャー、グループ学習、演習	教科書 pp. 1-13（復習） 教科書 pp. 15-30（予習）（2 時間）																																																																
2	世界で使われる英語	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 31-61（予習）（2 時間）																																																																
3	母語英語の歴史と特徴	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 63-79（予習）（2 時間）																																																																
4	英語と社会的属性について考える	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 81-97（予習）（2 時間）																																																																
5	発話行為論	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 99-109（予習）（2 時間）																																																																
6	ポライトネス理論	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 107-117（予習）（2 時間）																																																																
7	談話分析と会話分析	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習（1 時間 30 分）																																																																
8	英語会話の構造	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 119-134（予習）（2 時間）																																																																
9	英語文化について考える	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 135-153（予習）（2 時間）																																																																
10	英語における非言語コミュニケーション	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 155-162（予習）（2 時間）																																																																
11	生成文法と認知言語学	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 162-165（予習）（2 時間）																																																																
12	メタファー理論	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 171-182（予習）（2 時間）																																																																
13	日英語文法比較	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 182-188（予習）（2 時間）																																																																
14	構文と事態把握	レクチャー、グループ学習、演習	授業内容の復習 教科書 pp. 189-204（予習）（2 時間）																																																																
15	英語音声学と音韻論	レクチャー、グループ学習、演習	総復習（3 時間）																																																																
関連科目																																																																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>ベーシック新しい英語学概論</td><td>平賀正子</td><td>ひつじ書房</td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	ベーシック新しい英語学概論	平賀正子	ひつじ書房	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	ベーシック新しい英語学概論	平賀正子	ひつじ書房																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>グローバルコミュニケーションのための英語学概論</td><td>井上逸平</td><td>慶應義塾大学出版会</td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	グローバルコミュニケーションのための英語学概論	井上逸平	慶應義塾大学出版会	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	グローバルコミュニケーションのための英語学概論	井上逸平	慶應義塾大学出版会																																																																
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	期末テスト： 40% リアクション・ペーパー： 30% 授業への参加： 30%																																																																		
学生へのメッセージ	英語学は英語という言葉の研究する学問ですが、英語学の中には、実に様々な研究分野や方法論があります。英語学の世界を知ってもらう機会になれば幸いです。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 5 階 杉浦研究室																																																																		
備考	リアクション・ペーパー等に関するフィードバックは、その都度授業内で行います。																																																																		

科目名	英語圏概論（北米・ヨーロッパ）	科目名（英文）	Introduction to Cultures of the English-Speaking World
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	1
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	高橋 真理子
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	本授業では、世界に広がる英語と関連する文化について概観し、学ぶことが目的である。																																																																		
到達目標	英語が世界各地でどのような特徴をもち、どのように使われているかについて、各地の文化と合わせて理解を深める。																																																																		
授業方法と留意点	テーマに応じて、視聴覚教材も用いながら授業を進める。																																																																		
科目学習の効果（資格）	・教員養成 ・異文化理解 ・教養																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>イントロダクション</td><td>授業計画などの説明、世界の英語とは</td><td>授業計画と概要の確認（2時間）</td></tr> <tr> <td>2</td><td>イギリス英語とその方言</td><td>イギリスでの英語の発展、イギリスの英語と文化</td><td>イギリス英語とその方言の予習・復習（2時間）</td></tr> <tr> <td>3</td><td>ケルト語地域の英語</td><td>ウェールズ、スコットランド、アイルランドなどの英語と文化</td><td>ケルト語地域の英語の予習・復習（2時間）</td></tr> <tr> <td>4</td><td>アメリカ英語とカナダ英語</td><td>北米への英語の広まりとアメリカ、カナダの英語と文化</td><td>アメリカ英語とカナダ英語の予習・復習（2時間）</td></tr> <tr> <td>5</td><td>オーストラリア英語とニュージーランド英語</td><td>オセアニアへの英語の広まりとオーストラリア、ニュージーランドの英語と文化</td><td>オーストラリア英語とニュージーランド英語の予習・復習（2時間）</td></tr> <tr> <td>6</td><td>英語を第一言語とする、その他の地域</td><td>ジブラルタル、セントヘレナ島などについて</td><td>英語を第一言語とする、その他の地域の予習・復習（2時間）</td></tr> <tr> <td>7</td><td>インドとその周辺地域の英語</td><td>インドへの英語の広まり、インドの英語と文化</td><td>インドとその周辺地域の英語の予習・復習（2時間）</td></tr> <tr> <td>8</td><td>東南アジアの英語</td><td>東南アジアへの英語の広まり、シンガポール、マレーシア、フィリピンの英語と文化</td><td>東南アジアの英語の予習・復習（2時間）</td></tr> <tr> <td>9</td><td>中間テストと解説</td><td>8週目までの内容に関するテストと解説</td><td>中間テストの予習・復習（2時間）</td></tr> <tr> <td>10</td><td>アフリカの英語</td><td>アフリカへの英語の広まり、西アフリカ、東アフリカ、南部アフリカの英語の違いについて</td><td>アフリカの英語の予習・復習（2時間）</td></tr> <tr> <td>11</td><td>カリブ地域の英語</td><td>カリブ地域への英語の広まり、ジャマイカの英語と文化、期末プレゼンテーションの説明</td><td>カリブ地域の英語の予習・復習（2時間）</td></tr> <tr> <td>12</td><td>ヨーロッパの英語</td><td>イギリスを除くヨーロッパにおける英語の使用</td><td>ヨーロッパの英語の予習・復習（2時間）</td></tr> <tr> <td>13</td><td>中東における英語</td><td>中東における英語の使用</td><td>中東における英語の予習・復習（2時間）</td></tr> <tr> <td>14</td><td>東アジアの英語、まとめ</td><td>東アジアにおける英語の使用、まとめ</td><td>東アジアの英語とまとめの予習・復習（2時間）</td></tr> <tr> <td>15</td><td>期末プレゼンテーション</td><td>プレゼンテーションとフィードバック</td><td>期末プレゼンテーションの準備と、授業内容の総復習（2時間）</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	イントロダクション	授業計画などの説明、世界の英語とは	授業計画と概要の確認（2時間）	2	イギリス英語とその方言	イギリスでの英語の発展、イギリスの英語と文化	イギリス英語とその方言の予習・復習（2時間）	3	ケルト語地域の英語	ウェールズ、スコットランド、アイルランドなどの英語と文化	ケルト語地域の英語の予習・復習（2時間）	4	アメリカ英語とカナダ英語	北米への英語の広まりとアメリカ、カナダの英語と文化	アメリカ英語とカナダ英語の予習・復習（2時間）	5	オーストラリア英語とニュージーランド英語	オセアニアへの英語の広まりとオーストラリア、ニュージーランドの英語と文化	オーストラリア英語とニュージーランド英語の予習・復習（2時間）	6	英語を第一言語とする、その他の地域	ジブラルタル、セントヘレナ島などについて	英語を第一言語とする、その他の地域の予習・復習（2時間）	7	インドとその周辺地域の英語	インドへの英語の広まり、インドの英語と文化	インドとその周辺地域の英語の予習・復習（2時間）	8	東南アジアの英語	東南アジアへの英語の広まり、シンガポール、マレーシア、フィリピンの英語と文化	東南アジアの英語の予習・復習（2時間）	9	中間テストと解説	8週目までの内容に関するテストと解説	中間テストの予習・復習（2時間）	10	アフリカの英語	アフリカへの英語の広まり、西アフリカ、東アフリカ、南部アフリカの英語の違いについて	アフリカの英語の予習・復習（2時間）	11	カリブ地域の英語	カリブ地域への英語の広まり、ジャマイカの英語と文化、期末プレゼンテーションの説明	カリブ地域の英語の予習・復習（2時間）	12	ヨーロッパの英語	イギリスを除くヨーロッパにおける英語の使用	ヨーロッパの英語の予習・復習（2時間）	13	中東における英語	中東における英語の使用	中東における英語の予習・復習（2時間）	14	東アジアの英語、まとめ	東アジアにおける英語の使用、まとめ	東アジアの英語とまとめの予習・復習（2時間）	15	期末プレゼンテーション	プレゼンテーションとフィードバック	期末プレゼンテーションの準備と、授業内容の総復習（2時間）
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	イントロダクション	授業計画などの説明、世界の英語とは	授業計画と概要の確認（2時間）																																																																
2	イギリス英語とその方言	イギリスでの英語の発展、イギリスの英語と文化	イギリス英語とその方言の予習・復習（2時間）																																																																
3	ケルト語地域の英語	ウェールズ、スコットランド、アイルランドなどの英語と文化	ケルト語地域の英語の予習・復習（2時間）																																																																
4	アメリカ英語とカナダ英語	北米への英語の広まりとアメリカ、カナダの英語と文化	アメリカ英語とカナダ英語の予習・復習（2時間）																																																																
5	オーストラリア英語とニュージーランド英語	オセアニアへの英語の広まりとオーストラリア、ニュージーランドの英語と文化	オーストラリア英語とニュージーランド英語の予習・復習（2時間）																																																																
6	英語を第一言語とする、その他の地域	ジブラルタル、セントヘレナ島などについて	英語を第一言語とする、その他の地域の予習・復習（2時間）																																																																
7	インドとその周辺地域の英語	インドへの英語の広まり、インドの英語と文化	インドとその周辺地域の英語の予習・復習（2時間）																																																																
8	東南アジアの英語	東南アジアへの英語の広まり、シンガポール、マレーシア、フィリピンの英語と文化	東南アジアの英語の予習・復習（2時間）																																																																
9	中間テストと解説	8週目までの内容に関するテストと解説	中間テストの予習・復習（2時間）																																																																
10	アフリカの英語	アフリカへの英語の広まり、西アフリカ、東アフリカ、南部アフリカの英語の違いについて	アフリカの英語の予習・復習（2時間）																																																																
11	カリブ地域の英語	カリブ地域への英語の広まり、ジャマイカの英語と文化、期末プレゼンテーションの説明	カリブ地域の英語の予習・復習（2時間）																																																																
12	ヨーロッパの英語	イギリスを除くヨーロッパにおける英語の使用	ヨーロッパの英語の予習・復習（2時間）																																																																
13	中東における英語	中東における英語の使用	中東における英語の予習・復習（2時間）																																																																
14	東アジアの英語、まとめ	東アジアにおける英語の使用、まとめ	東アジアの英語とまとめの予習・復習（2時間）																																																																
15	期末プレゼンテーション	プレゼンテーションとフィードバック	期末プレゼンテーションの準備と、授業内容の総復習（2時間）																																																																
関連科目	エリアスタディーズなど																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>World Englishes 世界の英語への招待</td><td>田中春美・田中幸子 編</td><td>昭和堂</td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	World Englishes 世界の英語への招待	田中春美・田中幸子 編	昭和堂	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	World Englishes 世界の英語への招待	田中春美・田中幸子 編	昭和堂																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>世界の英語・私の英語</td><td>本名信行・竹下裕子 編著</td><td>桐原書店</td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	世界の英語・私の英語	本名信行・竹下裕子 編著	桐原書店	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	世界の英語・私の英語	本名信行・竹下裕子 編著	桐原書店																																																																
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	授業への積極的な参加 30% 中間テスト 40% 期末プレゼンテーション 30%																																																																		
学生へのメッセージ	英語は世界の様々な地域で使われています。世界に広がる英語の現状と特徴を学んでみましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7号館4階 高橋研究室																																																																		
備考	授業内容については、進度等により調整する場合がある。毎回の授業のための教科書の読み込み、担当者からの課題、発表の準備などに要する事前・事後学習総時間は60時間程度とする。テストやプレゼンテーションに関するフィードバックは随時、授業内で行う。その他の質問等はチューデントアワーにて対応する。																																																																		

科目名	英語圏概論（北米・ヨーロッパ）	科目名（英文）	Introduction to Cultures of the English-Speaking World
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	2
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	フーバー トッド
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	This is an introduction to the people and the culture of the United States. By learning about the culture of the United States, it will become easier to understand and communicate with Americans.																																																																		
到達目標	1. You will be able to listen to and understand lectures in English. 2. You will improve your note taking skills. 3. You will get experience with poster presentations.																																																																		
授業方法と留意点	You will listen to lectures in English and take notes. There will also be opportunities for discussions and presentations.																																																																		
科目学習の効果（資格）	TOEIC, TOEFL																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>Introduction to the United States</td><td>Go over syllabus; Lecture and discussion on the geography of the United States</td><td>Prepare materials for note taking (2 hours)</td></tr> <tr> <td>2</td><td>American Values and the American Dream</td><td>Lecture and discussion on American values</td><td>Quiz - American Values and the American Dream (2 hours)</td></tr> <tr> <td>3</td><td>Religion in America</td><td>Lecture and discussion on religion in America</td><td>Quiz - Religion in America (2 hours)</td></tr> <tr> <td>4</td><td>The Frontier Spirit</td><td>Lecture and discussion on the expansion of the United States</td><td>Quiz - The Frontier Spirit (2 hours)</td></tr> <tr> <td>5</td><td>Business and Consumerism</td><td>Lecture and discussion on American business practices</td><td>Quiz - Business and Consumerism (2 hours)</td></tr> <tr> <td>6</td><td>Poster Presentation Preparation</td><td>Create posters for next week's presentations</td><td>Review the lecture notes for week 2-5 (2 hours)</td></tr> <tr> <td>7</td><td>Poster Presentation 1</td><td>Give poster presentations to your classmates</td><td>Review the lecture notes for week 2-5 (2 hours)</td></tr> <tr> <td>8</td><td>Test 1</td><td>Take a test on the contents of weeks 2-5</td><td>Review the lecture notes for week 2-5 (2 hours)</td></tr> <tr> <td>9</td><td>Government and Politics</td><td>Lecture and discussion on America's political system</td><td>Quiz - Government and Politics (2 hours)</td></tr> <tr> <td>10</td><td>Ethnic and Racial Diversity</td><td>Lecture and discussion on America's multiethnic society</td><td>Quiz - Ethnic and Racial Diversity (2 hours)</td></tr> <tr> <td>11</td><td>Education in America</td><td>Lecture and discussion on America's education system</td><td>Quiz - Education in America (2 hours)</td></tr> <tr> <td>12</td><td>The American Family</td><td>Lecture and discussion on the family structure and home customs in America</td><td>Quiz - The American Family (2 hours)</td></tr> <tr> <td>13</td><td>Poster Presentation Preparation</td><td>Create posters for next week's presentations</td><td>Review the lecture notes for week 9-12 (2 hours)</td></tr> <tr> <td>14</td><td>Poster Presentation 2</td><td>Give poster presentations to your classmates</td><td>Review the lecture notes for week 9-12 (2 hours)</td></tr> <tr> <td>15</td><td>Group Presentations</td><td>Take a test on the contents of weeks 9-12</td><td>Review the lecture notes for week 9-12 (2 hours)</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	Introduction to the United States	Go over syllabus; Lecture and discussion on the geography of the United States	Prepare materials for note taking (2 hours)	2	American Values and the American Dream	Lecture and discussion on American values	Quiz - American Values and the American Dream (2 hours)	3	Religion in America	Lecture and discussion on religion in America	Quiz - Religion in America (2 hours)	4	The Frontier Spirit	Lecture and discussion on the expansion of the United States	Quiz - The Frontier Spirit (2 hours)	5	Business and Consumerism	Lecture and discussion on American business practices	Quiz - Business and Consumerism (2 hours)	6	Poster Presentation Preparation	Create posters for next week's presentations	Review the lecture notes for week 2-5 (2 hours)	7	Poster Presentation 1	Give poster presentations to your classmates	Review the lecture notes for week 2-5 (2 hours)	8	Test 1	Take a test on the contents of weeks 2-5	Review the lecture notes for week 2-5 (2 hours)	9	Government and Politics	Lecture and discussion on America's political system	Quiz - Government and Politics (2 hours)	10	Ethnic and Racial Diversity	Lecture and discussion on America's multiethnic society	Quiz - Ethnic and Racial Diversity (2 hours)	11	Education in America	Lecture and discussion on America's education system	Quiz - Education in America (2 hours)	12	The American Family	Lecture and discussion on the family structure and home customs in America	Quiz - The American Family (2 hours)	13	Poster Presentation Preparation	Create posters for next week's presentations	Review the lecture notes for week 9-12 (2 hours)	14	Poster Presentation 2	Give poster presentations to your classmates	Review the lecture notes for week 9-12 (2 hours)	15	Group Presentations	Take a test on the contents of weeks 9-12	Review the lecture notes for week 9-12 (2 hours)
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	Introduction to the United States	Go over syllabus; Lecture and discussion on the geography of the United States	Prepare materials for note taking (2 hours)																																																																
2	American Values and the American Dream	Lecture and discussion on American values	Quiz - American Values and the American Dream (2 hours)																																																																
3	Religion in America	Lecture and discussion on religion in America	Quiz - Religion in America (2 hours)																																																																
4	The Frontier Spirit	Lecture and discussion on the expansion of the United States	Quiz - The Frontier Spirit (2 hours)																																																																
5	Business and Consumerism	Lecture and discussion on American business practices	Quiz - Business and Consumerism (2 hours)																																																																
6	Poster Presentation Preparation	Create posters for next week's presentations	Review the lecture notes for week 2-5 (2 hours)																																																																
7	Poster Presentation 1	Give poster presentations to your classmates	Review the lecture notes for week 2-5 (2 hours)																																																																
8	Test 1	Take a test on the contents of weeks 2-5	Review the lecture notes for week 2-5 (2 hours)																																																																
9	Government and Politics	Lecture and discussion on America's political system	Quiz - Government and Politics (2 hours)																																																																
10	Ethnic and Racial Diversity	Lecture and discussion on America's multiethnic society	Quiz - Ethnic and Racial Diversity (2 hours)																																																																
11	Education in America	Lecture and discussion on America's education system	Quiz - Education in America (2 hours)																																																																
12	The American Family	Lecture and discussion on the family structure and home customs in America	Quiz - The American Family (2 hours)																																																																
13	Poster Presentation Preparation	Create posters for next week's presentations	Review the lecture notes for week 9-12 (2 hours)																																																																
14	Poster Presentation 2	Give poster presentations to your classmates	Review the lecture notes for week 9-12 (2 hours)																																																																
15	Group Presentations	Take a test on the contents of weeks 9-12	Review the lecture notes for week 9-12 (2 hours)																																																																
関連科目	エリアスタディーズなど																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	Test 1 20% Test 2 20% Poster Presentation 1 10% Poster Presentation 2 10% Short Writing 8% Reading Quizzes 16% Lecture Quizzes 16%																																																																		
学生へのメッセージ	Lectures will be in English, so it may be challenging for you, but don't worry. Time will be given during the lectures for you to check unfamiliar words in your dictionary, so please bring a dictionary to class. Also, please be prepared to take notes. Your success in this class will depend on your note taking skills.																																																																		
担当者の研究室等	7号館3階 フーバー研究室																																																																		
備考	毎回の授業の事前・事後学習総時間は 60 時間程度とする。テスト等に関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はチューデントアワーにて対応する。																																																																		

科目名	英語圏概論	科目名（英文）	Introduction to Cultures of the English-Speaking World
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	1
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	高橋 真理子
ディプロマポリシー (DP)	DP2◎		
科目ナンバリング	LDL1143c0		

授業概要・目的	本授業では、世界に広がる英語と関連する文化について概観し、学ぶことが目的である。																																																																		
到達目標	英語が世界各地でどのような特徴をもち、どのように使われているかについて、各地の文化と合わせて理解を深める。																																																																		
授業方法と留意点	テーマに応じて、視聴覚教材も用いながら授業を進める。																																																																		
科目学習の効果（資格）	・教員養成 ・異文化理解 ・教養																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>イントロダクション</td><td>授業計画などの説明、世界の英語とは</td><td>授業計画と概要の確認（2時間）</td></tr> <tr> <td>2</td><td>イギリス英語とその方言</td><td>イギリスでの英語の発展、イギリスの英語と文化</td><td>イギリス英語とその方言の予習・復習（2時間）</td></tr> <tr> <td>3</td><td>ケルト語地域の英語</td><td>ウェールズ、スコットランド、アイルランドなどの英語と文化</td><td>ケルト語地域の英語の予習・復習（2時間）</td></tr> <tr> <td>4</td><td>アメリカ英語とカナダ英語</td><td>北米への英語の広まりとアメリカ、カナダの英語と文化</td><td>アメリカ英語とカナダ英語の予習・復習（2時間）</td></tr> <tr> <td>5</td><td>オーストラリア英語とニュージーランド英語</td><td>オセアニアへの英語の広まりとオーストラリア、ニュージーランドの英語と文化</td><td>オーストラリア英語とニュージーランド英語の予習・復習（2時間）</td></tr> <tr> <td>6</td><td>英語を第一言語とする、その他の地域</td><td>ジブラルタル、セントヘレナ島などについて</td><td>英語を第一言語とする、その他の地域の予習・復習（2時間）</td></tr> <tr> <td>7</td><td>インドとその周辺地域の英語</td><td>インドへの英語の広まり、インドの英語と文化</td><td>インドとその周辺地域の英語の予習・復習（2時間）</td></tr> <tr> <td>8</td><td>東南アジアの英語</td><td>東南アジアへの英語の広まり、シンガポール、マレーシア、フィリピンの英語と文化</td><td>東南アジアの英語の予習・復習（2時間）</td></tr> <tr> <td>9</td><td>中間テストと解説</td><td>8週目までの内容に関するテストと解説</td><td>中間テストの予習・復習（2時間）</td></tr> <tr> <td>10</td><td>アフリカの英語</td><td>アフリカへの英語の広まり、西アフリカ、東アフリカ、南部アフリカの英語の違いについて</td><td>アフリカの英語の予習・復習（2時間）</td></tr> <tr> <td>11</td><td>カリブ地域の英語</td><td>カリブ地域への英語の広まり、ジャマイカの英語と文化、期末プレゼンテーションの説明</td><td>カリブ地域の英語の予習・復習（2時間）</td></tr> <tr> <td>12</td><td>ヨーロッパの英語</td><td>イギリスを除くヨーロッパにおける英語の使用</td><td>ヨーロッパの英語の予習・復習（2時間）</td></tr> <tr> <td>13</td><td>中東における英語</td><td>中東における英語の使用</td><td>中東における英語の予習・復習（2時間）</td></tr> <tr> <td>14</td><td>東アジアの英語、まとめ</td><td>東アジアにおける英語の使用、まとめ</td><td>東アジアの英語とまとめの予習・復習（2時間）</td></tr> <tr> <td>15</td><td>期末プレゼンテーション</td><td>プレゼンテーションとフィードバック</td><td>期末プレゼンテーションの準備と、授業内容の総復習（2時間）</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	イントロダクション	授業計画などの説明、世界の英語とは	授業計画と概要の確認（2時間）	2	イギリス英語とその方言	イギリスでの英語の発展、イギリスの英語と文化	イギリス英語とその方言の予習・復習（2時間）	3	ケルト語地域の英語	ウェールズ、スコットランド、アイルランドなどの英語と文化	ケルト語地域の英語の予習・復習（2時間）	4	アメリカ英語とカナダ英語	北米への英語の広まりとアメリカ、カナダの英語と文化	アメリカ英語とカナダ英語の予習・復習（2時間）	5	オーストラリア英語とニュージーランド英語	オセアニアへの英語の広まりとオーストラリア、ニュージーランドの英語と文化	オーストラリア英語とニュージーランド英語の予習・復習（2時間）	6	英語を第一言語とする、その他の地域	ジブラルタル、セントヘレナ島などについて	英語を第一言語とする、その他の地域の予習・復習（2時間）	7	インドとその周辺地域の英語	インドへの英語の広まり、インドの英語と文化	インドとその周辺地域の英語の予習・復習（2時間）	8	東南アジアの英語	東南アジアへの英語の広まり、シンガポール、マレーシア、フィリピンの英語と文化	東南アジアの英語の予習・復習（2時間）	9	中間テストと解説	8週目までの内容に関するテストと解説	中間テストの予習・復習（2時間）	10	アフリカの英語	アフリカへの英語の広まり、西アフリカ、東アフリカ、南部アフリカの英語の違いについて	アフリカの英語の予習・復習（2時間）	11	カリブ地域の英語	カリブ地域への英語の広まり、ジャマイカの英語と文化、期末プレゼンテーションの説明	カリブ地域の英語の予習・復習（2時間）	12	ヨーロッパの英語	イギリスを除くヨーロッパにおける英語の使用	ヨーロッパの英語の予習・復習（2時間）	13	中東における英語	中東における英語の使用	中東における英語の予習・復習（2時間）	14	東アジアの英語、まとめ	東アジアにおける英語の使用、まとめ	東アジアの英語とまとめの予習・復習（2時間）	15	期末プレゼンテーション	プレゼンテーションとフィードバック	期末プレゼンテーションの準備と、授業内容の総復習（2時間）
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	イントロダクション	授業計画などの説明、世界の英語とは	授業計画と概要の確認（2時間）																																																																
2	イギリス英語とその方言	イギリスでの英語の発展、イギリスの英語と文化	イギリス英語とその方言の予習・復習（2時間）																																																																
3	ケルト語地域の英語	ウェールズ、スコットランド、アイルランドなどの英語と文化	ケルト語地域の英語の予習・復習（2時間）																																																																
4	アメリカ英語とカナダ英語	北米への英語の広まりとアメリカ、カナダの英語と文化	アメリカ英語とカナダ英語の予習・復習（2時間）																																																																
5	オーストラリア英語とニュージーランド英語	オセアニアへの英語の広まりとオーストラリア、ニュージーランドの英語と文化	オーストラリア英語とニュージーランド英語の予習・復習（2時間）																																																																
6	英語を第一言語とする、その他の地域	ジブラルタル、セントヘレナ島などについて	英語を第一言語とする、その他の地域の予習・復習（2時間）																																																																
7	インドとその周辺地域の英語	インドへの英語の広まり、インドの英語と文化	インドとその周辺地域の英語の予習・復習（2時間）																																																																
8	東南アジアの英語	東南アジアへの英語の広まり、シンガポール、マレーシア、フィリピンの英語と文化	東南アジアの英語の予習・復習（2時間）																																																																
9	中間テストと解説	8週目までの内容に関するテストと解説	中間テストの予習・復習（2時間）																																																																
10	アフリカの英語	アフリカへの英語の広まり、西アフリカ、東アフリカ、南部アフリカの英語の違いについて	アフリカの英語の予習・復習（2時間）																																																																
11	カリブ地域の英語	カリブ地域への英語の広まり、ジャマイカの英語と文化、期末プレゼンテーションの説明	カリブ地域の英語の予習・復習（2時間）																																																																
12	ヨーロッパの英語	イギリスを除くヨーロッパにおける英語の使用	ヨーロッパの英語の予習・復習（2時間）																																																																
13	中東における英語	中東における英語の使用	中東における英語の予習・復習（2時間）																																																																
14	東アジアの英語、まとめ	東アジアにおける英語の使用、まとめ	東アジアの英語とまとめの予習・復習（2時間）																																																																
15	期末プレゼンテーション	プレゼンテーションとフィードバック	期末プレゼンテーションの準備と、授業内容の総復習（2時間）																																																																
関連科目	エリアスタディーズなど																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>World Englishes 世界の英語への招待</td><td>田中春美・田中幸子 編</td><td>昭和堂</td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	World Englishes 世界の英語への招待	田中春美・田中幸子 編	昭和堂	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	World Englishes 世界の英語への招待	田中春美・田中幸子 編	昭和堂																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>世界の英語・私の英語</td><td>本名信行・竹下裕子 編著</td><td>桐原書店</td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	世界の英語・私の英語	本名信行・竹下裕子 編著	桐原書店	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	世界の英語・私の英語	本名信行・竹下裕子 編著	桐原書店																																																																
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	授業への積極的な参加 30% 中間テスト 40% 期末プレゼンテーション 30%																																																																		
学生へのメッセージ	英語は世界の様々な地域で使われています。世界に広がる英語の現状と特徴を学んでみましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7号館4階 高橋研究室																																																																		
備考	授業内容については、進度等により調整する場合がある。毎回の授業のための教科書の読み込み、担当者からの課題、発表の準備などに要する事前・事後学習総時間は60時間程度とする。テストやプレゼンテーションに関するフィードバックは随時、授業内で行う。その他の質問等はチューデントアワーにて対応する。																																																																		

科目名	英語圏概論	科目名 (英文)	Introduction to Cultures of the English-Speaking World
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	2
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	フーバー トッド
ディプロマポリシー (DP)	DP2◎		
科目ナンバリング	LDL1143c0		

授業概要・目的	This is an introduction to the people and the culture of the United States. By learning about the culture of the United States, it will become easier to understand and communicate with Americans.																																																																		
到達目標	1. You will be able to listen to and understand lectures in English. 2. You will improve your note taking skills. 3. You will get experience with poster presentations.																																																																		
授業方法と留意点	You will listen to lectures in English and take notes. There will also be opportunities for discussions and presentations.																																																																		
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>Introduction to the United States</td><td>Go over syllabus; Lecture and discussion on the geography of the United States</td><td>Prepare materials for note taking (2 hours)</td></tr> <tr> <td>2</td><td>American Values and the American Dream</td><td>Lecture and discussion on American values</td><td>Quiz - American Values and the American Dream (2 hours)</td></tr> <tr> <td>3</td><td>Religion in America</td><td>Lecture and discussion on religion in America</td><td>Quiz - Religion in America (2 hours)</td></tr> <tr> <td>4</td><td>The Frontier Spirit</td><td>Lecture and discussion on the expansion of the United States</td><td>Quiz - The Frontier Spirit (2 hours)</td></tr> <tr> <td>5</td><td>Business and Consumerism</td><td>Lecture and discussion on American business practices</td><td>Quiz - Business and Consumerism (2 hours)</td></tr> <tr> <td>6</td><td>Poster Presentation Preparation</td><td>Create posters for next week's presentations</td><td>Review the lecture notes for week 2-5 (2 hours)</td></tr> <tr> <td>7</td><td>Poster Presentation 1</td><td>Give poster presentations to your classmates</td><td>Review the lecture notes for week 2-5 (2 hours)</td></tr> <tr> <td>8</td><td>Test 1</td><td>Take a test on the contents of weeks 2-5</td><td>Review the lecture notes for week 2-5 (2 hours)</td></tr> <tr> <td>9</td><td>Government and Politics</td><td>Lecture and discussion on America's political system</td><td>Quiz - Government and Politics (2 hours)</td></tr> <tr> <td>10</td><td>Ethnic and Racial Diversity</td><td>Lecture and discussion on America's multiethnic society</td><td>Quiz - Ethnic and Racial Diversity (2 hours)</td></tr> <tr> <td>11</td><td>Education in America</td><td>Lecture and discussion on America's education system</td><td>Quiz - Education in America (2 hours)</td></tr> <tr> <td>12</td><td>The American Family</td><td>Lecture and discussion on the family structure and home customs in America</td><td>Quiz - The American Family (2 hours)</td></tr> <tr> <td>13</td><td>Poster Presentation Preparation</td><td>Create posters for next week's presentations</td><td>Review the lecture notes for week 9-12 (2 hours)</td></tr> <tr> <td>14</td><td>Poster Presentation 2</td><td>Give poster presentations to your classmates</td><td>Review the lecture notes for week 9-12 (2 hours)</td></tr> <tr> <td>15</td><td>Group Presentations</td><td>Take a test on the contents of weeks 9-12</td><td>Review the lecture notes for week 9-12 (2 hours)</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	Introduction to the United States	Go over syllabus; Lecture and discussion on the geography of the United States	Prepare materials for note taking (2 hours)	2	American Values and the American Dream	Lecture and discussion on American values	Quiz - American Values and the American Dream (2 hours)	3	Religion in America	Lecture and discussion on religion in America	Quiz - Religion in America (2 hours)	4	The Frontier Spirit	Lecture and discussion on the expansion of the United States	Quiz - The Frontier Spirit (2 hours)	5	Business and Consumerism	Lecture and discussion on American business practices	Quiz - Business and Consumerism (2 hours)	6	Poster Presentation Preparation	Create posters for next week's presentations	Review the lecture notes for week 2-5 (2 hours)	7	Poster Presentation 1	Give poster presentations to your classmates	Review the lecture notes for week 2-5 (2 hours)	8	Test 1	Take a test on the contents of weeks 2-5	Review the lecture notes for week 2-5 (2 hours)	9	Government and Politics	Lecture and discussion on America's political system	Quiz - Government and Politics (2 hours)	10	Ethnic and Racial Diversity	Lecture and discussion on America's multiethnic society	Quiz - Ethnic and Racial Diversity (2 hours)	11	Education in America	Lecture and discussion on America's education system	Quiz - Education in America (2 hours)	12	The American Family	Lecture and discussion on the family structure and home customs in America	Quiz - The American Family (2 hours)	13	Poster Presentation Preparation	Create posters for next week's presentations	Review the lecture notes for week 9-12 (2 hours)	14	Poster Presentation 2	Give poster presentations to your classmates	Review the lecture notes for week 9-12 (2 hours)	15	Group Presentations	Take a test on the contents of weeks 9-12	Review the lecture notes for week 9-12 (2 hours)
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	Introduction to the United States	Go over syllabus; Lecture and discussion on the geography of the United States	Prepare materials for note taking (2 hours)																																																																
2	American Values and the American Dream	Lecture and discussion on American values	Quiz - American Values and the American Dream (2 hours)																																																																
3	Religion in America	Lecture and discussion on religion in America	Quiz - Religion in America (2 hours)																																																																
4	The Frontier Spirit	Lecture and discussion on the expansion of the United States	Quiz - The Frontier Spirit (2 hours)																																																																
5	Business and Consumerism	Lecture and discussion on American business practices	Quiz - Business and Consumerism (2 hours)																																																																
6	Poster Presentation Preparation	Create posters for next week's presentations	Review the lecture notes for week 2-5 (2 hours)																																																																
7	Poster Presentation 1	Give poster presentations to your classmates	Review the lecture notes for week 2-5 (2 hours)																																																																
8	Test 1	Take a test on the contents of weeks 2-5	Review the lecture notes for week 2-5 (2 hours)																																																																
9	Government and Politics	Lecture and discussion on America's political system	Quiz - Government and Politics (2 hours)																																																																
10	Ethnic and Racial Diversity	Lecture and discussion on America's multiethnic society	Quiz - Ethnic and Racial Diversity (2 hours)																																																																
11	Education in America	Lecture and discussion on America's education system	Quiz - Education in America (2 hours)																																																																
12	The American Family	Lecture and discussion on the family structure and home customs in America	Quiz - The American Family (2 hours)																																																																
13	Poster Presentation Preparation	Create posters for next week's presentations	Review the lecture notes for week 9-12 (2 hours)																																																																
14	Poster Presentation 2	Give poster presentations to your classmates	Review the lecture notes for week 9-12 (2 hours)																																																																
15	Group Presentations	Take a test on the contents of weeks 9-12	Review the lecture notes for week 9-12 (2 hours)																																																																
関連科目	エリアスタディーズなど																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	Test 1 20% Test 2 20% Poster Presentation 1 10% Poster Presentation 2 10% Short Writing 8% Reading Quizzes 16% Lecture Quizzes 16%																																																																		
学生へのメッセージ	Lectures will be in English, so it may be challenging for you, but don't worry. Time will be given during the lectures for you to check unfamiliar words in your dictionary, so please bring a dictionary to class. Also, please be prepared to take notes. Your success in this class will depend on your note taking skills.																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 3 階 フーバー研究室																																																																		
備考	毎回の授業の事前・事後学習総時間は 60 時間程度とする。テスト等に関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はチューデントアワーにて対応する。																																																																		

科目名	英語構造論	科目名（英文）	English Syntax
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	鈴木 大介
ディプロマポリシー (DP)	DP1○, DP2△		
科目ナンバリング	LDL2161a0		

授業概要・目的	なぜこの表現を使うのか、他の表現ではいけないのか、他にどんな表現が使えるのか（どのような違いがあるのか）等、英語（の構造）についての素朴な疑問を大事にしながら、英語の構造を主にコミュニケーション（情報や伝達機能）の視点から考察する。
到達目標	英語の基礎知識や教養に加え、英語（構造）に関わる諸問題について理解を深めたい。特に、コミュニケーションとの関わりの中で英語の構造を理解できるようになることを目指す。同時に日本語との比較を行うことで、英語の構造について深い考察を試みる。
授業方法と留意点	・基本的にはプリントを配布し、講義形式で進めるが、ペアワークやグループでの討議の時間も設ける。 ・本講義は受講生として言語（とりわけ構造や意味）に興味がある学生を想定している。「英語学概論（英語学Ⅰ）」や「英語意味論・語用論（英語学Ⅱ）」を履修済みであることが望ましい。
科目学習の効果（資格）	・言語の構造・意味の理解 ・3年次以降のゼミや大学院進学 ・教員の免許状取得のための選択科目

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	授業の進め方と評価方法の説明	授業の計画・内容の確認と、機能（言語学）的アプローチの予習（2時間）
	2	機能（言語学）的アプローチ	機能（言語学）的アプローチについて理解を深め、グループで議論を行う。	機能（言語学）的アプローチの復習と、言い換え表現の予習（2時間）
	3	言い換え表現（本当に言い換え可能か？）	言い換え表現について理解を深め、グループで議論を行う。	言い換え表現の復習と、トピック（とコメント）・主題（と題述）の予習（2時間）
	4	トピック（とコメント）・主題（と題述）	トピック（とコメント）・主題（と題述）について理解を深め、グループで議論を行う。	トピック（とコメント）・主題（と題述）の復習と、旧情報と新情報（there 構文など）の予習（2時間）
	5	旧情報と新情報（there 構文など）	旧情報と新情報（there 構文など）について理解を深め、グループで議論を行う。	旧情報と新情報（there 構文など）の復習と、焦点と強調（倒置表現など）の予習（2時間）
	6	焦点と強調（倒置表現など）	焦点と強調（倒置表現など）について理解を深め、グループで議論を行う。	焦点と強調（倒置表現など）の復習と、照応と代用（代名詞など）の予習（2時間）
	7	照応と代用（代名詞など）	照応と代用（代名詞など）について理解を深め、グループで議論を行う。	照応と代用（代名詞など）の復習と、中間のまとめ（テスト）の準備（2時間）
	8	中間のまとめ（テストなど）	これまでの授業内容の総括を行い、理解をより一層深める。	これまでの授業内容の復習と、認知（言語学）的アプローチの予習（2時間）
	9	認知（言語学）的アプローチ	認知（言語学）的アプローチについて理解を深め、グループで議論を行う。	認知（言語学）的アプローチの復習と、類像性（恣意性の有無）の予習（2時間）
	10	類像性（恣意性の有無）	類像性（恣意性の有無）について理解を深め、グループで議論を行う。	類像性（恣意性の有無）の復習と、類義語（英語）の予習（2時間）
	11	類義語①（英語）	類義語（英語）について理解を深め、グループで議論を行う。	類義語（英語）の復習と、類義語（日本語との比較）の予習（2時間）
	12	類義語②（日本語との比較）	類義語（日本語との比較）について理解を深め、グループで議論を行う。	類義語（日本語との比較）の復習と、文法化と意味変化（英語）の予習（2時間）
	13	文法化と意味変化①（英語）	文法化と意味変化（英語）について理解を深め、グループで議論を行う。	文法化と意味変化（英語）の復習と、文法化と意味変化（日本語との比較）の予習（2時間）
	14	文法化と意味変化②（日本語との比較）	文法化と意味変化（日本語との比較）について理解を深め、グループで議論を行う。	文法化と意味変化（日本語との比較）の復習と、総まとめ（確認テスト）の準備（2時間）
	15	まとめ（確認テスト）	これまでの授業で扱ったトピックについて総括し、まとめの確認テストにて、理解度を測る。	総まとめ（確認テスト）の準備と、授業後の振り返り（2時間）

関連科目	英語学概論（英語学Ⅰ）、英語意味論・語用論（英語学Ⅱ）
------	-----------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	（プリントを配布する）		
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	ディスコース—談話の織りなす世界	橋内 武	くろしお出版
	2			
	3			

評価方法（基準）	授業中の発言・討論など（40%）、宿題と提出物（30%）、小テスト（30%）
----------	--

学生へのメッセージ	講義テーマの性質上、難解に思えるものを扱いますが、言語の構造について深く考えていきましょう。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館5階 鈴木研究室
----------	-------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、担当者からの課題、議論や小テストの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ60時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。
----	--

科目名	映像中国語 a	科目名 (英文)	Film Chinese a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	中西 正樹
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL1063e0		

授業概要・目的	映像と音声を通じて、中国語を聞き取る能力を重点的に養成することを目的とする。授業ではパソコンやネットワーク、タッチパネルディスプレイなどを利用して、発音のチェックや他の学生との情報共有、シャドーイングなどの活動を行う。この課程は1年次の必修中国語各科目の内容と連動するもので、それらで学んだ事項を定着させることができる。
到達目標	中国語の音声を正確に判別し、既習の語彙やフレーズについて正しく発音したり漢字やピンインでディクテーションできることを目指す。中国語検定4級リスニング試験の形式やレベルの問題にも取り組み、同級合格レベルに到達できる。
授業方法と留意点	1. 必修の中国語各科目で学んだ発音・語彙・文法を復習し、しっかりと理解できるようにする。 2. さらにそれらを聞き取り理解できるようさまざまな訓練を行う。とくに1年次では発音の基礎と基本語彙の練習・運用に重点を置き、確実に聞き取れるように訓練する。学期中は事前および事後に合計60時間の学習時間を必要とする。
科目学習の効果 (資格)	中国語聞き取り能力が向上し、前期終了時には中国語検定試験準4級の受験が可能。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	中国語知識	中国語を学ぶにあたっての基礎知識としての地理・民族・人口など中国に関する基本情報。	中国語を学ぶのに必要な中国に関する高等学校程度の知識を確認する。授業で学んだ内容を1時間かけて復習する。
	2	第1課	四声と基本的な母音、子音 四択練習問題 四声と基本的な母音、子音 四択練習問題	事前に『中国語 I a』の該当部分を1時間かけて予習しておく。この授業で学んだことは事後に1時間かけて復習する。
	3	第2課	鼻母音と発音しにくい子音。 四択練習問題。	事前に『中国語 I a』の該当部分を1時間かけて予習しておく。この授業で学んだことは事後に1時間かけて復習する。
	4	第3課	声調パターンの反復練習。 練習問題。	事前に『中国語 I a』の該当部分を1時間かけて予習しておく。この授業で学んだことは事後に1時間かけて復習する。
	5	第4課	「是」構文 名前の言い方に関する置き換え練習。	事前に『中国語 I a』の該当部分を1時間かけて予習しておく。この授業で学んだことは事後に1時間かけて復習する。
	6	第5課	数量に関する表現と「有」構文に関する置き換え練習。	事前に『中国語 I a』の該当部分を1時間かけて予習しておく。この授業で学んだことは事後に1時間かけて復習する。
	7	第6課	動詞述語文と職業に関する表現の置き換え練習。	事前に『中国語 I a』の該当部分を1時間かけて予習しておく。この授業で学んだことは事後に1時間かけて復習する。
	8	単元テスト1 (第1課～第6課) 第7課	第1課～第6課で学習した事項の確認。 形容詞述語文と比較表現を使った置き換え練習。	事前に『中国語 I a』の該当部分を1時間かけて予習しておく。この授業で学んだことは事後に1時間かけて復習する。
	9	第8課	前置詞と方位詞を使った表現の置き換え練習。	事前に『中国語 I a』の該当部分を1時間かけて予習しておく。この授業で学んだことは事後に1時間かけて復習する。
	10	第9課	「了」と結果補語を使った置き換え練習。	事前に『中国語 I a』の該当部分を1時間かけて予習しておく。この授業で学んだことは事後に1時間かけて復習する。
	11	第10課	「了」と結果補語を使った置き換え練習。	事前に『中国語 I a』の該当部分を1時間かけて予習しておく。この授業で学んだことは事後に1時間かけて復習する。
	12	第11課	動作の進行、完了の表現に関する置き換え練習。	事前に『中国語 I a』の該当部分を1時間かけて予習しておく。この授業で学んだことは事後に1時間かけて復習する。
	13	第12課	「就」「才」を使った文および「在」のいくつかの用法。	事前に『中国語 I a』の該当部分を1時間かけて予習しておく。この授業で学んだことは事後に1時間かけて復習する。
	14	第13課	程度補語の使い方。	事前に『中国語 I a』の該当部分を1時間かけて予習しておく。この授業で学んだことは事後に1時間かけて復習する。
	15	単元テスト2 (第7課～第13課) まとめ	第1課～第6課で学習した事項の確認。 『中国語 I a』で学習したことのまとめ。	事前に『中国語 I a』の該当部分を1時間かけて予習しておく。この授業で学んだことは事後に1時間かけて復習する。

関連科目	必修中国語科目 (週4コマ) を必ず履修していること。
------	-----------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	中国語 I a	摂南大学外国語学部	摂南大学外国語学部
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法	授業への参加度と小テスト : 30%
------	--------------------

(基準)	単元テスト：70%
学生へのメッセージ	選択科目なので、目的意識をしっかりと持って授業に臨んでほしい。
担当者の研究室等	7号館3階(中西研究室)
備考	教科書は中国語必修科目用のものと共通。 授業時間外に質問したい場合、担当教員の授業曜日の休み時間などに研究室を訪ねること。 試験や課題に対して用紙上または次回授業で必ずフィードバックを行う。

科目名	映像中国語 b	科目名 (英文)	Film Chinese b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	中西 正樹
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL1064e0		

授業概要・目的	映像と音声を通じて、中国語を聞き取る能力を重点的に養成することを目的とする。授業ではパソコンやネットワーク、タッチパネルディスプレイなどを利用して、発音のチェックや他の学生との情報共有、シャドーイングなどの活動を行う。この課程は1年次の必修中国語各科目の内容と連動するもので、それらで学んだ事項を定着させることができる。
到達目標	11月下旬の中国語検定4級試験受験までに、そのリスニング試験問題で6割以上の正答率を達成することを目標とする。12月以降は4級試験の長文読解問題レベルの文章を教材とする。これにより正しくディクテーションしたりシャドーイングすることができる。
授業方法と留意点	1. 必修の中国語各科目で学んだ発音・語彙・文法を復習し、しっかりと理解できるようにする。 2. さらにそれらを聞き取り理解できるようさまざまな訓練を行う。とくに1年次では発音の基礎と基本語彙の練習・運用に重点を置き、確実に聞き取れるように訓練する。
科目学習の効果 (資格)	中国語聞き取り能力が向上し、11月に実施される中国語検定試験4級に合格することを可能とする。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	検定 4 級レベルリスニング問題	機器とソフトウェアの操作および授業進行についての説明。中国語検定試験の概要。	この授業で学んだことは事後に1時間かけて復習する。
	2	となりのトトロ (1/2) 検定 4 級レベル筆記問題	映像を使ってリスニング力を高める。中検過去問を CALL システムで回答し、理解度を確認しながら授業を進める。	事前に配布する授業資料を1時間かけて予習しておく。この授業で学んだことは事後に1時間かけて復習する。
	3	となりのトトロ (2/2) 検定 4 級レベルリスニング問題	映像を使ってリスニング力を高める。中検過去問を CALL システムで回答し、理解度を確認しながら授業を進める。	事前に配布する授業資料を1時間かけて予習しておく。この授業で学んだことは事後に1時間かけて復習する。
	4	魔法の宅急便 (1/3) 検定 4 級レベル筆記問題	映像を使ってリスニング力を高める。中検過去問を CALL システムで回答し、理解度を確認しながら授業を進める。	事前に配布する授業資料を1時間かけて予習しておく。この授業で学んだことは事後に1時間かけて復習する。
	5	魔法の宅急便 (2/3) 検定 4 級レベルリスニング問題	映像を使ってリスニング力を高める。中検過去問を CALL システムで回答し、理解度を確認しながら授業を進める。	事前に配布する授業資料を1時間かけて予習しておく。この授業で学んだことは事後に1時間かけて復習する。
	6	魔法の宅急便 (3/3) 中国語検定4級模擬テスト1 検定 4 級レベル筆記問題	映像を使ってリスニング力を高める。中検過去問を CALL システムで回答し、理解度を確認しながら授業を進める。	事前に配布する授業資料を1時間かけて予習しておく。この授業で学んだことは事後に1時間かけて復習する。
	7	ハウルの動く城 (1/3) 検定 4 級レベルリスニング問題	映像を使ってリスニング力を高める。中検過去問を CALL システムで回答し、理解度を確認しながら授業を進める。	事前に配布する授業資料を1時間かけて予習しておく。この授業で学んだことは事後に1時間かけて復習する。
	8	ハウルの動く城 (2/3) 検定 4 級レベル筆記問題	映像を使ってリスニング力を高める。中検過去問を CALL システムで回答し、理解度を確認しながら授業を進める。	事前に配布する授業資料を1時間かけて予習しておく。この授業で学んだことは事後に1時間かけて復習する。
	9	ハウルの動く城 (3/3) 検定 4 級レベルリスニング問題	映像を使ってリスニング力を高める。中検過去問を CALL システムで回答し、理解度を確認しながら授業を進める。	事前に配布する授業資料を1時間かけて予習しておく。この授業で学んだことは事後に1時間かけて復習する。
	10	風の谷のナウシカ (1/2) 中国語検定4級模擬テスト1 検定 4 級レベル筆記問題	映像を使ってリスニング力を高める。中検過去問を CALL システムで回答し、理解度を確認しながら授業を進める。	事前に配布する授業資料を1時間かけて予習しておく。この授業で学んだことは事後に1時間かけて復習する。
	11	風の谷のナウシカ (2/2) CALL システムを利用したタイピング訓練	映像を使ってリスニング力を高める。中検過去問を CALL システムで回答し、理解度を確認しながら授業を進める。	事前に配布する授業資料を1時間かけて予習しておく。この授業で学んだことは事後に1時間かけて復習する。
	12	猫の恩返し (1/2) CALL システムを利用したタイピング訓練	映像を使ってリスニング力を高める。中検過去問を CALL システムで回答し、理解度を確認しながら授業を進める。	事前に配布する授業資料を1時間かけて予習しておく。この授業で学んだことは事後に1時間かけて復習する。
	13	猫の恩返し (2/2) CALL システムを利用したタイピング訓練	映像を使ってリスニング力を高める。中検過去問を CALL システムで回答し、理解度を確認しながら授業を進める。	事前に配布する授業資料を1時間かけて予習しておく。この授業で学んだことは事後に1時間かけて復習する。
	14	紅の豚 (1/2) CALL システムを利用したタイピング訓練	映像を使ってリスニング力を高める。中検過去問を CALL システムで回答し、理解度を確認しながら授業を進める。	事前に配布する授業資料を1時間かけて予習しておく。この授業で学んだことは事後に1時間かけて復習する。
	15	紅の豚 (2/2) 中国語検定3級模擬テスト	映像を使ってリスニング力を高める。中検過去問を CALL システムで回答し、理解度を確認しながら授業を進める。	事前に配布する授業資料を1時間かけて予習しておく。この授業で学んだことは事後に1時間かけて復習する。

関連科目	必修中国語科目「中国語を読むb」「中国語を話すb」「中国語を聞くb」「中国語を書くb」を必ず履修していること。
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	中国語 I b	摂南大学外国語学部	摂南大学外国語学部
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法	授業への参加度と小テスト：30%
------	------------------

(基準)	単元テスト：70%
学生へのメッセージ	選択科目なので、目的意識をしっかりと持って授業に臨んでほしい。
担当者の研究室等	7号館3階(中西研究室)
備考	教科書は中国語必修科目用のものと共通。 授業時間外に質問したい場合、担当教員の授業曜日の休み時間などに研究室を訪ねること。 試験や課題に対して用紙上または次回授業で必ずフィードバックを行う。

科目名	英米文学	科目名 (英文)	English and American Literature
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	天野 貴史
ディプロマポリシー (DP)	DP2◎		
科目ナンバリング	LDL3178a0		

授業概要・目的	多様な文学作品を通して、英米の文学・文化について理解を深めることを目標とする。また、文学作品を英語で読むことを通して、描かれている国や地域の文化について理解し、さまざまな英語表現に親しむことを目指す。
到達目標	古典・文学賞・翻訳の観点から、英語で書かれた代表的な文学作品への理解を深める。
授業方法と留意点	授業中に原文を読むことがある。必ず辞書を持参すること。 授業では資料を配布するので、配布資料を自己管理し、前回分を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	教員の免許状取得のための選択科目

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	授業オリエンテーション・アメリカの「独立」	アメリカ独立革命時代における文学・手記を読み解き、植民地の地域的特長や、植民地で育まれたアメリカの古典的思想について理解する。	アメリカの「独立」に関する予習と復習 (2 時間)
	2	アメリカ古典文学 (1) —— ナサニエル・ホーソーン	アメリカ古典文学を代表するホーソーンの作品を読み解き、ニューイングランド地域の思想風土と、人間の心の明暗などのテーマについて理解する。 Nathaniel Hawthorne, The Blithedale Romance (1852)	ナサニエル・ホーソーンの予習と復習 (2 時間)
	3	アメリカ古典文学 (2) —— ハーマン・メルヴィル	アメリカ古典文学を代表するメルヴィルの作品を読み解き、体験手記の形式をとる作品の社会背景と、象徴表現や描写法などの文学表現について理解する。	ハーマン・メルヴィルの予習と復習 (2 時間)
	4	アメリカ古典文学 (3) —— エドガー・アラン・ポー	アメリカ古典文学を代表するポーの作品を読み解き、詩や小説における著者の美的な表現の追及と、フランス象徴派への影響などについて理解する。	エドガー・アラン・ポーの予習と復習 (2 時間)
	5	アメリカ古典文学を読むイギリス人——D.H. ロレンス	アメリカ古典文学の海外における受容の問題について考えるため、イギリス人作家ロレンスのアメリカ文学や文明についての批評を読み解く。	D.H. ロレンスの予習と復習 (2 時間)
	6	文学のジャンル：短編小説	ナサニエル・ホーソーンの短編小説 “Wakefield” (1835) を読み解き、その人物・舞台・プロット・テーマなどについて考える。	ナサニエル・ホーソーンの予習と復習 (2 時間)
	7	英米の文学賞 (1) —— ブッカー賞	世界で最も権威のある文学賞の一つであるイギリスのブッカー賞について学び、その傾向と受賞作品のいくつかを紹介する。	ブッカー賞と、その受賞作品の予習と復習 (2 時間)
	8	英米の文学賞 (2) —— ピューリッツァー賞	米国で最も権威のある文学賞であるピューリッツァー賞について学び、その傾向と受賞作品のいくつかを紹介する。	ピューリッツァー賞と、その受賞作品の予習と復習 (2 時間)
	9	英米の文学賞 (3) —— ノーベル賞	世界で最も権威のある文学賞の一つであるノーベル文学賞について学び、その傾向と受賞作品のいくつかを紹介する。	ノーベル文学賞と、その受賞作品の予習と復習 (2 時間)
	10	カズオ・イシグロ	ブッカー賞とノーベル文学賞を受賞した作家イシグロの “Nocturne” in Nocturnes: Five Stories of Music and Nightfall (2009) を読み解き、その内容と文学表現を学ぶ。	カズオ・イシグロの予習と復習 (2 時間)
	11	英米文学の翻訳 (1) —— 日本の英文学	明治以降の日本における英米文学研究の歴史をふりかえり、日本における英米文学の受容について理解を深める。	日本の英文学の予習と復習 (2 時間)
	12	英米文学の翻訳 (2) —— 柴田元幸	現代アメリカ文学の翻訳者・研究者として著名な柴田元幸の作品を読み解き、日本における英米文学の受容における諸問題と可能性について考える。	柴田元幸の予習と復習 (2 時間)
	13	英米文学の翻訳 (3) —— 村上春樹	アメリカ文学の影響を受け、翻訳も数多く手がけた村上春樹の作品を読み解き、日本における英米文学の受容における諸問題と可能性について考える。	村上春樹の予習と復習 (2 時間)
	14	F・スコット・フィッツジェラルド	日本の文学およびアメリカ文学研究に多大な影響を与えたフィッツジェラルドの The Great Gatsby (1925) を読み解き、翻訳の問題やその作品の意義について考える。	F・スコット・フィッツジェラルドの予習と復習 (2 時間)
	15	全体のまとめ	これまでの授業内容を振り返り、その要点について総括する。	これまでの授業内容の復習 (2 時間)
関連科目	リーディングⅡなど			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	プリントを配布する		

		2			
		3			
参考書					
	番号	書籍名	著者名	出版社名	
	1	イギリス文学史入門	川崎寿彦	研究社	
	2				
	3				
評価方法 (基準)	授業での取り組み（30％）、レポート等の課題（30％）、定期試験（40％）				
学生への メッセージ					
担当者の 研究室等	天野研究室（7号館3階）				
備考	配布資料の読み込みなどにかかる事前事後学習の総時間を60時間程度とする。 レポート等に関するフィードバックは、レポートを受理した後に行う。				

科目名	エコツーリズム論	科目名 (英文)	Ecotourism
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	手代木 功基
ディプロマポリシー (DP)	DP2◎		
科目ナンバリング	LDL2221a0		

授業概要・目的	エコツーリズムとは、地域の自然や文化、歴史などの魅力を活かしながら、それらの資源の持続的な利用を前提とする観光の形であり、今後の観光を考えていく上で重要な概念です。本講義では、エコツーリズムの背景や理念を学ぶとともに、国内外の様々な事例を通じて、エコツーリズムの現状と課題、今後の展望について考えます。 本授業では、自らエコツーリズムを企画するなど、能動的に授業に取り組むことを求めます。そして、受講者が持続可能な観光・地域のあり方について自ら考えることが出来るようになることを期待します。 なお、この科目は「観光ホスピタリティ」プログラム対応科目です。																																																																		
到達目標	1. エコツーリズムについて理解し、説明できる 2. 持続可能な観光・地域のあり方について自ら考えることが出来る																																																																		
授業方法と留意点	投影資料の利用による講義形式を基本とするが、エコツーリズムを企画するためのグループワーク、資料収集等の個人作業、プレゼンテーションなどを多く取り入れる。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	旅行業務取扱管理者等																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>イントロダクション</td><td>授業の進め方、テキスト、採点方法等について把握する</td><td>授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める (1 時間以上)</td></tr> <tr> <td>2</td><td>マスツーリズムとエコツーリズム 1</td><td>オルタナティブツーリズムの概念を理解する</td><td>授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める (1 時間以上)</td></tr> <tr> <td>3</td><td>マスツーリズムとエコツーリズム 2</td><td>オルタナティブツーリズムの概念を理解する</td><td>授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める (1 時間以上)</td></tr> <tr> <td>4</td><td>マスツーリズムとエコツーリズム 3</td><td>オルタナティブツーリズムの概念を理解する</td><td>授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める (1 時間以上)</td></tr> <tr> <td>5</td><td>地域の自然とエコツーリズム 1</td><td>地域の自然資源と観光の関係について知る</td><td>授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める (1 時間以上)</td></tr> <tr> <td>6</td><td>地域の自然とエコツーリズム 2</td><td>地域の自然資源と観光の関係について知る</td><td>授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める (1 時間以上)</td></tr> <tr> <td>7</td><td>地域の自然とエコツーリズム 3</td><td>地域の自然資源と観光の関係について知る</td><td>授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める (1 時間以上)</td></tr> <tr> <td>8</td><td>エコツーリズムのさまざまな展開 1</td><td>国内外の事例から、エコツーリズムと地域の自然資源のよりよい関係について考える</td><td>授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める (1 時間以上)</td></tr> <tr> <td>9</td><td>エコツーリズムのさまざまな展開 2</td><td>国内外の事例から、エコツーリズムと地域の自然資源のよりよい関係について考える</td><td>授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める。興味があるエコツーリズムの事例地域を決め、情報を集める (1 時間以上)</td></tr> <tr> <td>10</td><td>エコツーリズムのさまざまな展開 3</td><td>国内外の事例から、エコツーリズムと地域の自然資源のよりよい関係について考える</td><td>授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める。興味があるエコツーリズムの事例地域を決め、情報を集める (1 時間以上)</td></tr> <tr> <td>11</td><td>エコツーリズムのさまざまな展開 4</td><td>国内外の事例から、エコツーリズムと地域の自然資源のよりよい関係について考える</td><td>授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める。興味があるエコツーリズムの事例地域を決め、情報を集める (1 時間以上)</td></tr> <tr> <td>12</td><td>エコツーリズムを企画する 1</td><td>グループに別れて、実際に特定の地域でエコツーリズムを企画する</td><td>エコツーリズム企画の発表に関わる準備を行う (1 時間以上)</td></tr> <tr> <td>13</td><td>エコツーリズムを企画する 2</td><td>グループに別れて、実際に特定の地域でエコツーリズムを企画する</td><td>エコツーリズム企画の発表に関わる準備を行う (1 時間以上)</td></tr> <tr> <td>14</td><td>エコツーリズムを企画する 3</td><td>グループに別れて、実際に特定の地域でエコツーリズムを企画する</td><td>エコツーリズム企画の発表に関わる準備を行う (1 時間以上)</td></tr> <tr> <td>15</td><td>総括・企画の発表</td><td>企画案を発表し、ディスカッションを行う</td><td>エコツーリズム企画の発表について準備を行うとともに、ディスカッションをふまえて内容を修正する (1 時間以上)</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	イントロダクション	授業の進め方、テキスト、採点方法等について把握する	授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める (1 時間以上)	2	マスツーリズムとエコツーリズム 1	オルタナティブツーリズムの概念を理解する	授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める (1 時間以上)	3	マスツーリズムとエコツーリズム 2	オルタナティブツーリズムの概念を理解する	授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める (1 時間以上)	4	マスツーリズムとエコツーリズム 3	オルタナティブツーリズムの概念を理解する	授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める (1 時間以上)	5	地域の自然とエコツーリズム 1	地域の自然資源と観光の関係について知る	授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める (1 時間以上)	6	地域の自然とエコツーリズム 2	地域の自然資源と観光の関係について知る	授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める (1 時間以上)	7	地域の自然とエコツーリズム 3	地域の自然資源と観光の関係について知る	授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める (1 時間以上)	8	エコツーリズムのさまざまな展開 1	国内外の事例から、エコツーリズムと地域の自然資源のよりよい関係について考える	授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める (1 時間以上)	9	エコツーリズムのさまざまな展開 2	国内外の事例から、エコツーリズムと地域の自然資源のよりよい関係について考える	授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める。興味があるエコツーリズムの事例地域を決め、情報を集める (1 時間以上)	10	エコツーリズムのさまざまな展開 3	国内外の事例から、エコツーリズムと地域の自然資源のよりよい関係について考える	授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める。興味があるエコツーリズムの事例地域を決め、情報を集める (1 時間以上)	11	エコツーリズムのさまざまな展開 4	国内外の事例から、エコツーリズムと地域の自然資源のよりよい関係について考える	授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める。興味があるエコツーリズムの事例地域を決め、情報を集める (1 時間以上)	12	エコツーリズムを企画する 1	グループに別れて、実際に特定の地域でエコツーリズムを企画する	エコツーリズム企画の発表に関わる準備を行う (1 時間以上)	13	エコツーリズムを企画する 2	グループに別れて、実際に特定の地域でエコツーリズムを企画する	エコツーリズム企画の発表に関わる準備を行う (1 時間以上)	14	エコツーリズムを企画する 3	グループに別れて、実際に特定の地域でエコツーリズムを企画する	エコツーリズム企画の発表に関わる準備を行う (1 時間以上)	15	総括・企画の発表	企画案を発表し、ディスカッションを行う	エコツーリズム企画の発表について準備を行うとともに、ディスカッションをふまえて内容を修正する (1 時間以上)
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	イントロダクション	授業の進め方、テキスト、採点方法等について把握する	授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める (1 時間以上)																																																																
2	マスツーリズムとエコツーリズム 1	オルタナティブツーリズムの概念を理解する	授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める (1 時間以上)																																																																
3	マスツーリズムとエコツーリズム 2	オルタナティブツーリズムの概念を理解する	授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める (1 時間以上)																																																																
4	マスツーリズムとエコツーリズム 3	オルタナティブツーリズムの概念を理解する	授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める (1 時間以上)																																																																
5	地域の自然とエコツーリズム 1	地域の自然資源と観光の関係について知る	授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める (1 時間以上)																																																																
6	地域の自然とエコツーリズム 2	地域の自然資源と観光の関係について知る	授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める (1 時間以上)																																																																
7	地域の自然とエコツーリズム 3	地域の自然資源と観光の関係について知る	授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める (1 時間以上)																																																																
8	エコツーリズムのさまざまな展開 1	国内外の事例から、エコツーリズムと地域の自然資源のよりよい関係について考える	授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める (1 時間以上)																																																																
9	エコツーリズムのさまざまな展開 2	国内外の事例から、エコツーリズムと地域の自然資源のよりよい関係について考える	授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める。興味があるエコツーリズムの事例地域を決め、情報を集める (1 時間以上)																																																																
10	エコツーリズムのさまざまな展開 3	国内外の事例から、エコツーリズムと地域の自然資源のよりよい関係について考える	授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める。興味があるエコツーリズムの事例地域を決め、情報を集める (1 時間以上)																																																																
11	エコツーリズムのさまざまな展開 4	国内外の事例から、エコツーリズムと地域の自然資源のよりよい関係について考える	授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める。興味があるエコツーリズムの事例地域を決め、情報を集める (1 時間以上)																																																																
12	エコツーリズムを企画する 1	グループに別れて、実際に特定の地域でエコツーリズムを企画する	エコツーリズム企画の発表に関わる準備を行う (1 時間以上)																																																																
13	エコツーリズムを企画する 2	グループに別れて、実際に特定の地域でエコツーリズムを企画する	エコツーリズム企画の発表に関わる準備を行う (1 時間以上)																																																																
14	エコツーリズムを企画する 3	グループに別れて、実際に特定の地域でエコツーリズムを企画する	エコツーリズム企画の発表に関わる準備を行う (1 時間以上)																																																																
15	総括・企画の発表	企画案を発表し、ディスカッションを行う	エコツーリズム企画の発表について準備を行うとともに、ディスカッションをふまえて内容を修正する (1 時間以上)																																																																
関連科目	観光ホスピタリティプログラム関連科目 (ホスピタリティ論、アーバンツーリズム論等)																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	授業への取り組み (リアクションペーパーの内容、受講態度、プレゼンテーションの内容、議論やグループワークへの参加状況等) (60%) とレポート (40%) で評価します。																																																																		
学生へのメッセージ																																																																			
担当者の研究室等	7 号館 5 階 (手代木研究室)																																																																		
備考	事前・事後の学習は、全体で 60 時間を目安とします。 リアクションペーパーやレポート等の提出物に対してはコメントや質問回答といったフィードバックを行います。																																																																		

科目名	エリアスタディーズ（アフリカ）	科目名（英文）	Area Studies（Africa）
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択必修科目
学期	後期	授業担当者	早川 真悠
ディプロマポリシー（DP）	DP2◎		
科目ナンバリング	LDL1151a0		

授業概要・目的	アフリカについてまったく何も知らないという人はいないと思います。みなさんはそれぞれに、アフリカにかんして何らかのイメージや知識をもっています。それでは、みなさんがアフリカにかんして持っているイメージや知識とは、どのようなもののでしょうか。それらはどこでどのように得られたのでしょうか。 本講義では、アフリカのさまざまなトピック（政治、経済、文化、現代的問題）について、じっさいに現地へ人びとがどんな暮らしをしているのか、どんな問題に直面しているのか、具体的に学んでいきます。一般にわたしたちのよく知っているアフリカ（たとえば紛争や貧困、開発支援など）の問題を、より具体的に、現地の人たちの視点から見ていくと、わたしたちのあまり知らないアフリカ（伝統の変化、紛争の現実、仕事の仕方、助け合いの方法など）が見えてきます。 この講義では、アフリカの外からアフリカの問題を考えるのではなく、アフリカの中からアフリカの問題や世界の問題を考えることを目指します。																																																																		
到達目標	- 自分が知っているアフリカのイメージや知識について理解する。 - アフリカの人びとのじっさいの生活や現地の実態について理解する。 - 以上を踏まえたうえで、「アフリカとは何なのか」について考え、自分なりの答えを出す。 「アフリカから世界を見ると、どのような問題が見えてくるのか」考え、自分なりの答えを出す。																																																																		
授業方法と留意点	- 基本的には講義形式ですが、とくに受講者が少人数の場合は、ディスカッションやグループ・ワークを中心に進めます。 - 受講者に発表などの課題を課すことがあります。 - 授業前・授業後に、学習課題を課すことがあります。 - 履修者の人数、関心、理解度などに応じて、シラバスの内容を一部修正する場合があります。																																																																		
科目学習の効果（資格）	異文化理解に役立つ																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>イントロダクション</td><td>今後の授業内容の概要 履修者の興味関心の確認 講師の紹介</td><td>【事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。</td></tr> <tr> <td>2</td><td>アフリカのイメージ（1）</td><td>身の周りにあるアフリカの情報（ニュース、文化、モノなど）を紹介しながら、アフリカに対するイメージ、自分との距離などを考える。</td><td>【事前・事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>アフリカのイメージ（2）</td><td>身の周りにあるアフリカの情報（ニュース、文化、モノなど）を紹介しながら、アフリカに対するイメージ、自分との距離などを考える。</td><td>【事前・事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>「文化」（1）</td><td>アフリカの民族と伝統について</td><td>【事前・事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。</td></tr> <tr> <td>5</td><td>「文化」（2）</td><td>アフリカの民族と伝統について</td><td>【事前・事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。</td></tr> <tr> <td>6</td><td>「政治」（1）</td><td>アフリカの紛争・難民について</td><td>【事前・事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。</td></tr> <tr> <td>7</td><td>「政治」（2）</td><td>アフリカの紛争・難民について</td><td>【事前・事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。</td></tr> <tr> <td>8</td><td>「自然」（1）</td><td>アフリカにおける自然保護と地域住民について</td><td>【事前・事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。</td></tr> <tr> <td>9</td><td>「自然」（2）</td><td>アフリカにおける自然保護と地域住民について</td><td>【事前・事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。</td></tr> <tr> <td>10</td><td>「経済」（1）</td><td>アフリカにおける交換とお金の使い方について</td><td>【事前・事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。</td></tr> <tr> <td>11</td><td>「経済」（2）</td><td>アフリカにおける交換とお金の使い方について</td><td>【事前・事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。</td></tr> <tr> <td>12</td><td>「開発と経済発展」（1）</td><td>アフリカの開発と豊かさについて</td><td>【事前・事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。</td></tr> <tr> <td>13</td><td>「開発と経済発展」（2）</td><td>アフリカの開発と豊かさについて</td><td>【事前・事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。</td></tr> <tr> <td>14</td><td>総合ディスカッション</td><td>これまでの講義をふまえて受講者でディスカッションをおこなう。</td><td>【事前・事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。</td></tr> <tr> <td>15</td><td>まとめと学習の到達度を測る試験</td><td>これまでの講義のふりかえりとまとめをしたうえで、筆記試験を実施する</td><td>【事前】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	イントロダクション	今後の授業内容の概要 履修者の興味関心の確認 講師の紹介	【事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。	2	アフリカのイメージ（1）	身の周りにあるアフリカの情報（ニュース、文化、モノなど）を紹介しながら、アフリカに対するイメージ、自分との距離などを考える。	【事前・事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。	3	アフリカのイメージ（2）	身の周りにあるアフリカの情報（ニュース、文化、モノなど）を紹介しながら、アフリカに対するイメージ、自分との距離などを考える。	【事前・事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。	4	「文化」（1）	アフリカの民族と伝統について	【事前・事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。	5	「文化」（2）	アフリカの民族と伝統について	【事前・事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。	6	「政治」（1）	アフリカの紛争・難民について	【事前・事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。	7	「政治」（2）	アフリカの紛争・難民について	【事前・事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。	8	「自然」（1）	アフリカにおける自然保護と地域住民について	【事前・事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。	9	「自然」（2）	アフリカにおける自然保護と地域住民について	【事前・事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。	10	「経済」（1）	アフリカにおける交換とお金の使い方について	【事前・事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。	11	「経済」（2）	アフリカにおける交換とお金の使い方について	【事前・事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。	12	「開発と経済発展」（1）	アフリカの開発と豊かさについて	【事前・事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。	13	「開発と経済発展」（2）	アフリカの開発と豊かさについて	【事前・事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。	14	総合ディスカッション	これまでの講義をふまえて受講者でディスカッションをおこなう。	【事前・事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。	15	まとめと学習の到達度を測る試験	これまでの講義のふりかえりとまとめをしたうえで、筆記試験を実施する	【事前】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	イントロダクション	今後の授業内容の概要 履修者の興味関心の確認 講師の紹介	【事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。																																																																
2	アフリカのイメージ（1）	身の周りにあるアフリカの情報（ニュース、文化、モノなど）を紹介しながら、アフリカに対するイメージ、自分との距離などを考える。	【事前・事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。																																																																
3	アフリカのイメージ（2）	身の周りにあるアフリカの情報（ニュース、文化、モノなど）を紹介しながら、アフリカに対するイメージ、自分との距離などを考える。	【事前・事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。																																																																
4	「文化」（1）	アフリカの民族と伝統について	【事前・事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。																																																																
5	「文化」（2）	アフリカの民族と伝統について	【事前・事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。																																																																
6	「政治」（1）	アフリカの紛争・難民について	【事前・事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。																																																																
7	「政治」（2）	アフリカの紛争・難民について	【事前・事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。																																																																
8	「自然」（1）	アフリカにおける自然保護と地域住民について	【事前・事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。																																																																
9	「自然」（2）	アフリカにおける自然保護と地域住民について	【事前・事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。																																																																
10	「経済」（1）	アフリカにおける交換とお金の使い方について	【事前・事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。																																																																
11	「経済」（2）	アフリカにおける交換とお金の使い方について	【事前・事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。																																																																
12	「開発と経済発展」（1）	アフリカの開発と豊かさについて	【事前・事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。																																																																
13	「開発と経済発展」（2）	アフリカの開発と豊かさについて	【事前・事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。																																																																
14	総合ディスカッション	これまでの講義をふまえて受講者でディスカッションをおこなう。	【事前・事後】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。																																																																
15	まとめと学習の到達度を測る試験	これまでの講義のふりかえりとまとめをしたうえで、筆記試験を実施する	【事前】学習課題を課す場合があります。授業中に指示します。																																																																
関連科目																																																																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>アフリカ社会を学ぶ人のために</td><td>松田素二 編</td><td>世界思想社</td></tr> <tr> <td>2</td><td>文化人類学を学ぶ人のために</td><td>米山俊直・谷泰編</td><td>世界思想社</td></tr> <tr> <td>3</td><td>アフリカの都市的世界</td><td>嶋田義仁・松田素二・和崎春日</td><td>世界思想社</td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	アフリカ社会を学ぶ人のために	松田素二 編	世界思想社	2	文化人類学を学ぶ人のために	米山俊直・谷泰編	世界思想社	3	アフリカの都市的世界	嶋田義仁・松田素二・和崎春日	世界思想社																																																
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	アフリカ社会を学ぶ人のために	松田素二 編	世界思想社																																																																
2	文化人類学を学ぶ人のために	米山俊直・谷泰編	世界思想社																																																																
3	アフリカの都市的世界	嶋田義仁・松田素二・和崎春日	世界思想社																																																																
評価方法	①平常点（授業でのディスカッションやグループワークへの積極的な参加、提出物、事前・事後学習の成果など）・・・50%																																																																		

(基準)	②学習の到達度を測る試験（授業最終回に実施）の得点・・・50%
学生へのメッセージ	授業前後に参考文献に目を通し、講義内容の理解を深めるようにしてください
担当者の研究室等	7号館2階（非常勤講師室）
備考	参考文献は上記のほか、適宜授業中に紹介します。 授業時間外に質問等をする場合は、授業時間の前後に7号館2階（非常勤講師室）に来てください。 提出物（課題など）は返却し、フィードバックをします。散逸しないように保管してください。 事前事後の総学習時間の目安は60時間。

科目名	エリアスタディーズ（オセアニア）	科目名（英文）	Area Studies（Oceania）
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択必修科目
学期	後期	授業担当者	杉浦 秀行
ディプロマポリシー（DP）	DP2◎		
科目ナンバリング	LDL1154a0		

授業概要・目的	オセアニア地域の中でも、特にオーストラリアとニュージーランドについて、その歴史、文化、生活習慣、教育事情、先住民族、マイノリティ政策、多文化主義、移民政策など様々な観点から理解を深めることを目的とする
到達目標	・オセアニアという地域の特徴を把握できる ・オーストラリア、ニュージーランドについて幅広い知識を得る
授業方法と留意点	・この授業ではグループ活動（授業内容の下調べ、グループ・ディスカッション、グループ・プレゼンテーション）への積極的な参加が求められます ・自分の興味のある内容についてプロジェクトを企画し、その内容についての発表とレポート作成が求められます
科目学習の効果（資格）	・より発展的なオセアニア地域の研究につながる

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	授業の進め方についての説明	次回の授業内容についての下調べ（2 時間）
	2	オセアニアという地域	前回講義の質問・コメントのシェア、講義、発表、クイズ	次回の授業内容についての下調べ（2 時間）
	3	オセアニアの歴史と今	前回講義の質問・コメントのシェア、講義、発表、クイズ	次回の授業内容についての下調べ（2 時間） プロジェクトプランの準備（1 時間）
	4	オセアニアの歴史と今	前回講義の質問・コメントのシェア、講義、発表、クイズ	次回の授業内容についての下調べ（2 時間） プロジェクトプランの準備（1 時間）
	5	オーストラリア、ニュージーランドの文化、生活習慣	前回講義の質問・コメントのシェア、講義、発表、クイズ	次回の授業内容についての下調べ（2 時間） プロジェクトプランの準備（1 時間）
	6	オーストラリア、ニュージーランドの文化、生活習慣	前回講義の質問・コメントのシェア、講義、発表、クイズ	次回の授業内容についての下調べ（2 時間）
	7	オーストラリア英語とニュージーランド英語	前回講義の質問・コメントのシェア、講義、発表、クイズ	次回の授業内容についての下調べ（2 時間）
	8	オーストラリア、ニュージーランドの教育事情	前回講義の質問・コメントのシェア、講義、発表、クイズ	次回の授業内容についての下調べ（2 時間）
	9	オーストラリア、ニュージーランドの教育事情	前回講義の質問・コメントのシェア、講義、発表、クイズ	次回の授業内容についての下調べ（2 時間）
	10	オーストラリア、ニュージーランドの先住民族について	前回講義の質問・コメントのシェア、講義、発表、クイズ	次回の授業内容についての下調べ（2 時間）
	11	オーストラリア、ニュージーランドのマイノリティ政策	前回講義の質問・コメントのシェア、講義、発表、クイズ	次回の授業内容についての下調べ（2 時間）
	12	オーストラリア、ニュージーランドの多文化主義、移民政策について	前回講義の質問・コメントのシェア、講義、発表、クイズ	次回の授業内容についての下調べ（2 時間） プロジェクト発表会の準備（1 時間）
	13	オーストラリア、ニュージーランドの多文化主義、移民政策について	前回講義の質問・コメントのシェア、講義、発表、クイズ	次回の授業内容についての下調べ（2 時間） プロジェクト発表会の準備（1 時間）
	14	オセアニアと日本との係わり	前回講義の質問・コメントのシェア、講義、発表、クイズ	プロジェクト発表会の準備（3 時間）
	15	プロジェクト発表会	紙芝居式発表会、プロジェクト内容のシェア	レポートの準備（5 時間）

関連科目	英語圏概論など
------	---------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法（基準）	グループ活動（授業内容の下調べ、プレゼンテーション）：20%、グループ・プロジェクトの発表：30%、レポート：50%
----------	--

学生へのメッセージ	オセアニア、特に、オーストラリアとニュージーランドの魅力について、いっしょに学びましょう！きっと新しい発見がたくさんありますよ！
-----------	--

担当者の研究室等	7 号館 5 階 杉浦研究室
----------	----------------

備考	毎回の授業のための下調べ、グループ活動やレポートなどに要する事前・事後学習総時間は 60 時間程度を目安とする。レポートなどに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。
----	---

科目名	エリアスタディーズ（北アメリカ）	科目名（英文）	Area Studies（North America）
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択必修科目
学期	後期	授業担当者	鳥居 祐介
ディプロマポリシー（DP）	DP2◎		
科目ナンバリング	LDL1152a0		

授業概要・目的	アメリカの歴史はヨーロッパ人が入植してから 400 年ほどですが、ダイナミックな変化を経験してきました。この授業では、アメリカという国の社会・文化を、歴史、地理、民族、精神、生活、人間関係、日米関係など、さまざまな視点から考察し理解を深めていきます。各回のテーマに沿って、統計・写真・地図などの資料を参照しながら、講義を進めます。 外国語学部のディプロマ・ポリシーのうち、主として「国際社会の多様性を理解するとともに、世界と日本の関係について人文・社会学的研究を行うための専門知識を身につけている」の部分の基礎をつくる科目です。教職課程における「異文化理解」区分の選択科目でもあります。 毎回の講義には、指定された資料に目を通し予習をした上で臨んでもらいます。復習のための課題も随時出します。講義中は多くの情報を伝えるので、ポイントを自分の言葉でまとめることを心がけ、ノートテキングのスキルを身につけましょう。また、講義の内容を鵜のみにするのはなく、自ら問いかける姿勢を持って授業の課題（宿題、リスポンスペーパー等）にとり組んでください。
到達目標	1) アメリカ社会・文化を多角的な視点から理解する。 2) アメリカという国の理念とその実現の試みを批判的に理解する。 3) 日本人としてアメリカ社会・文化を学ぶ意義を説明できる。
授業方法と留意点	各回のテーマに沿って、Moodle または Webbox であらかじめ資料を配布して予習・復習課題を指示します。PC やスマホの学習への活用方法や、学内の情報ネットワークサービスの使い方に習熟することが必要です。教室では予習・復習テストを適宜行いながら、文書・統計・写真・地図などの資料を表示して講義を進めていきます。画面の文字を書き写すだけでなく、後で見返した時に要点がわかるように、自分の言葉でメモをとることがとても大切です。わからないこと、疑問に感じたことはそのままにせず教員に質問しましょう。 配布予定の資料や課題については、授業内でより詳細なシラバスを配布してアナウンスします。
科目学習の効果（資格）	海外での研修や留学に際して、また国内での異文化交流に際して必要となる一般常識、国際感覚。高度な英語力を身につけるための基盤となる英語圏についての基礎知識。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	イントロダクション	授業内容・方法説明	電子配布される資料を入手して目を通し、指定の予習・復習課題を次回授業までに済ませる。（3 時間程度）
	2	アメリカの歴史 1	植民地時代から独立まで	電子配布される資料を入手して目を通し、指定の予習・復習課題を次回授業までに済ませる。（3 時間程度）
	3	アメリカの歴史 2	領土拡張、奴隷制、南北戦争	電子配布される資料を入手して目を通し、指定の予習・復習課題を次回授業までに済ませる。（3 時間程度）
	4	アメリカの歴史 3	金びか時代から第二次大戦まで	電子配布される資料を入手して目を通し、指定の予習・復習課題を次回授業までに済ませる。（3 時間程度）
	5	アメリカの歴史 4	戦後のアメリカ、現在まで	電子配布される資料を入手して目を通し、指定の予習・復習課題を次回授業までに済ませる。（3 時間程度）
	6	アメリカの地理 1	北部・南部	電子配布される資料を入手して目を通し、指定の予習・復習課題を次回授業までに済ませる。（3 時間程度）
	7	アメリカの地理 2	中西部・西部	電子配布される資料を入手して目を通し、指定の予習・復習課題を次回授業までに済ませる。（3 時間程度）
	8	アメリカの民族 1	ヨーロッパ系	電子配布される資料を入手して目を通し、指定の予習・復習課題を次回授業までに済ませる。（3 時間程度）
	9	アメリカの民族 2	アジア系	電子配布される資料を入手して目を通し、指定の予習・復習課題を次回授業までに済ませる。（2 時間程度）
	10	アメリカの民族 3	ラティーノ／ネイティブほか	電子配布される資料を入手して目を通し、指定の予習・復習課題を次回授業までに済ませる。（3 時間程度）
	11	アメリカの精神	ピューリタニズム、フロンティア精神、個人主義ほか	電子配布される資料を入手して目を通し、指定の予習・復習課題を次回授業までに済ませる。（3 時間程度）
	12	アメリカ人の生活	衣食住、祝祭	電子配布される資料を入手して目を通し、指定の予習・復習課題を次回授業までに済ませる。（2 時間程度）
	13	人間関係	子供、家族、LGBT など	電子配布される資料を入手して目を通し、指定の予習・復習課題を次回授業までに済ませる。（3 時間程度）
	14	日米関係	中浜万次郎から現在まで	ここまでの全ての資料やノートにあらためて目を通し、確認テストの最終回に備える。（5 時間程度）
	15	まとめ	確認テストの最終回および総論＋質疑：日本人にとってのアメリカ	確認テストの結果と総論を踏まえ、質疑の時間が足りなければアポイントをとって研究室へ
関連科目	日米比較文化、日米文化交流史			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	プリント教材（電子配布）		
	2			
	3			
参考書				

	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	シンプルな英語で話すアメリカ史	ジェームス・バーダマン	ジャパンタイムズ
	2			
	3			
評価方法 (基準)	平常点 50% (リスポンスペーパー、小レポート等の提出物および質疑への参加による評価の合計) 確認テスト 50% (講義内容の理解度を測る小テストの合計)			
学生への メッセージ	外国語学部に来たのにアメリカの面白さを知らずに過ごしてしまう学生を一人でも減らしたいと思っています。決して「楽」な授業にはしませんが、アメリカのことを知りたい学生には「楽しい」授業にしたいです。一緒にがんばりましょう。			
担当者の 研究室等	7号館3階鳥居研究室			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 60 時間程度とする。予習、復習、宿題、レポート等に関する質問やフィードバックはスチューデントアワーまたはアポイントにより研究室にて対応する。アポイントは電子メール torii@ilc.setsunan.ac.jp まで。			

科目名	エリアスタディーズ（東南アジア）	科目名（英文）	Area Studies (Southeast Asia)
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択必修科目
学期	後期	授業担当者	上田 達・山本 文子
ディプロマポリシー (DP)	DP2◎		
科目ナンバリング	LDL1149a0		

授業概要・目的	東南アジアを大陸部と島嶼部に大別して、それぞれの地域における各国の文化、社会、歴史、経済、政治についての基礎的な知識を習得し、そのうえで各地域における人びとの生活の多様性と共通性について考える。大陸部を山本、島嶼部を上田が担当する。																																																																		
到達目標	*東南アジアについての基礎的な知識を習得する。 *東南アジアに関する報道に対して、地理的・歴史的な背景を踏まえたうえでの深い考察ができるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	*講義形式で行う。授業の理解を助けるために映像資料を使用する。 *受講者にはペーパーで毎回コメントや質問を求める。重要なものについては、次回授業冒頭で取り上げて解説する。 *話をただ聞きながらではなく、自分で考えながらノートをとること。																																																																		
科目学習の効果（資格）																																																																			
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>イントロダクション</td><td>講義の目的、内容、進め方について説明する。（上田・山本）</td><td>紹介する資料を参照すること。</td></tr> <tr> <td>2</td><td>東南アジア（大陸部）の国々</td><td>自然環境、民族、宗教</td><td>紹介する資料を参照すること。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>東南アジア（大陸部）の宗教</td><td>仏教の広がりとその受容・発展</td><td>紹介する資料を参照すること。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>東南アジア（大陸部）の歴史</td><td>植民地支配と独立</td><td>紹介する資料を参照すること。</td></tr> <tr> <td>5</td><td>東南アジア（大陸部）の国々——ベトナム</td><td>ベトナムの政治と社会</td><td>紹介する資料を参照すること。</td></tr> <tr> <td>6</td><td>東南アジア（大陸部）の国々——タイ</td><td>タイの政治と社会</td><td>紹介する資料を参照すること。</td></tr> <tr> <td>7</td><td>東南アジア（大陸部）の国々——ミャンマー</td><td>ミャンマーの政治と社会</td><td>紹介する資料を参照すること。</td></tr> <tr> <td>8</td><td>東南アジア（大陸部）のまとめ</td><td>前半部の学習到達度を確認する課題に取り組む。</td><td>紹介する資料を参照すること。</td></tr> <tr> <td>9</td><td>東南アジア（島嶼部）の国々</td><td>自然環境、民族、宗教</td><td>紹介する資料を参照すること。</td></tr> <tr> <td>10</td><td>東南アジア（島嶼部）の宗教</td><td>イスラームとキリスト教の広がり</td><td>紹介する資料を参照すること。</td></tr> <tr> <td>11</td><td>東南アジア（島嶼部）の歴史</td><td>植民地支配と独立</td><td>紹介する資料を参照すること。</td></tr> <tr> <td>12</td><td>東南アジア（島嶼部）の国々——マレーシア</td><td>マレーシア 宗教、多民族、</td><td>紹介する資料を参照すること。</td></tr> <tr> <td>13</td><td>東南アジア（島嶼部）の国々——インドネシア</td><td>インドネシア 宗教、多民族</td><td>紹介する資料を参照すること。</td></tr> <tr> <td>14</td><td>東南アジア（島嶼部）の国々——東ティモール</td><td>東ティモール</td><td>紹介する資料を参照すること。</td></tr> <tr> <td>15</td><td>東南アジア（島嶼部）のまとめ</td><td>後半部の学習到達度を確認する課題に取り組む。</td><td>紹介する資料を参照すること。</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	イントロダクション	講義の目的、内容、進め方について説明する。（上田・山本）	紹介する資料を参照すること。	2	東南アジア（大陸部）の国々	自然環境、民族、宗教	紹介する資料を参照すること。	3	東南アジア（大陸部）の宗教	仏教の広がりとその受容・発展	紹介する資料を参照すること。	4	東南アジア（大陸部）の歴史	植民地支配と独立	紹介する資料を参照すること。	5	東南アジア（大陸部）の国々——ベトナム	ベトナムの政治と社会	紹介する資料を参照すること。	6	東南アジア（大陸部）の国々——タイ	タイの政治と社会	紹介する資料を参照すること。	7	東南アジア（大陸部）の国々——ミャンマー	ミャンマーの政治と社会	紹介する資料を参照すること。	8	東南アジア（大陸部）のまとめ	前半部の学習到達度を確認する課題に取り組む。	紹介する資料を参照すること。	9	東南アジア（島嶼部）の国々	自然環境、民族、宗教	紹介する資料を参照すること。	10	東南アジア（島嶼部）の宗教	イスラームとキリスト教の広がり	紹介する資料を参照すること。	11	東南アジア（島嶼部）の歴史	植民地支配と独立	紹介する資料を参照すること。	12	東南アジア（島嶼部）の国々——マレーシア	マレーシア 宗教、多民族、	紹介する資料を参照すること。	13	東南アジア（島嶼部）の国々——インドネシア	インドネシア 宗教、多民族	紹介する資料を参照すること。	14	東南アジア（島嶼部）の国々——東ティモール	東ティモール	紹介する資料を参照すること。	15	東南アジア（島嶼部）のまとめ	後半部の学習到達度を確認する課題に取り組む。	紹介する資料を参照すること。
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	イントロダクション	講義の目的、内容、進め方について説明する。（上田・山本）	紹介する資料を参照すること。																																																																
2	東南アジア（大陸部）の国々	自然環境、民族、宗教	紹介する資料を参照すること。																																																																
3	東南アジア（大陸部）の宗教	仏教の広がりとその受容・発展	紹介する資料を参照すること。																																																																
4	東南アジア（大陸部）の歴史	植民地支配と独立	紹介する資料を参照すること。																																																																
5	東南アジア（大陸部）の国々——ベトナム	ベトナムの政治と社会	紹介する資料を参照すること。																																																																
6	東南アジア（大陸部）の国々——タイ	タイの政治と社会	紹介する資料を参照すること。																																																																
7	東南アジア（大陸部）の国々——ミャンマー	ミャンマーの政治と社会	紹介する資料を参照すること。																																																																
8	東南アジア（大陸部）のまとめ	前半部の学習到達度を確認する課題に取り組む。	紹介する資料を参照すること。																																																																
9	東南アジア（島嶼部）の国々	自然環境、民族、宗教	紹介する資料を参照すること。																																																																
10	東南アジア（島嶼部）の宗教	イスラームとキリスト教の広がり	紹介する資料を参照すること。																																																																
11	東南アジア（島嶼部）の歴史	植民地支配と独立	紹介する資料を参照すること。																																																																
12	東南アジア（島嶼部）の国々——マレーシア	マレーシア 宗教、多民族、	紹介する資料を参照すること。																																																																
13	東南アジア（島嶼部）の国々——インドネシア	インドネシア 宗教、多民族	紹介する資料を参照すること。																																																																
14	東南アジア（島嶼部）の国々——東ティモール	東ティモール	紹介する資料を参照すること。																																																																
15	東南アジア（島嶼部）のまとめ	後半部の学習到達度を確認する課題に取り組む。	紹介する資料を参照すること。																																																																
関連科目	東南アジアに関連するすべての講義科目																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>東南アジアを知る事典</td><td></td><td>平凡社</td></tr> <tr> <td>2</td><td>入門 東南アジア近現代史</td><td>岩崎育夫</td><td>講談社</td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	東南アジアを知る事典		平凡社	2	入門 東南アジア近現代史	岩崎育夫	講談社	3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	東南アジアを知る事典		平凡社																																																																
2	入門 東南アジア近現代史	岩崎育夫	講談社																																																																
3																																																																			
評価方法（基準）	前半と後半のそれぞれについて、次の観点から評価する。 *平常点 40% （授業への参加・貢献度を、コメント・感想などから総合的に判断する） *到達度の確認を問う課題 60% （授業期間中に行う）																																																																		
学生へのメッセージ																																																																			
担当者の研究室等	7号館5階上田研究室 7号館2階（非常勤講師室）																																																																		
備考	*受講者数によって、評価方法等を変更することがある。初回授業時に指示するので必ず出席すること。 *質問は原則として授業中に受け付けるほか、適宜、上記の担当者の研究室等でも応対する。 *事前事後学習時間は、60時間以上とする。																																																																		

科目名	エリアスタディーズ（日本）	科目名（英文）	Area Studies（Japan）
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択必修科目
学期	後期	授業担当者	赤澤 春彦
ディプロマポリシー（DP）	DP2◎		
科目ナンバリング	LDL1147a0		

授業概要・目的	本講義では日本の文化について理解を深めることを目的とします。取り上げるテーマは宮崎駿監督の映画『もののけ姫』と『和食』です。『もののけ姫』にえがかれる「日本」を題材に日本文化の相対化を行います。また、身近な「食」から、日本の生活史、また現代日本の問題についても考えます。また「宗教」も取り上げます。宗教は一見、距離がありそうに思えますが、私たちの日常生活や年中行事の至る所に見られます。本講義を通して日本の文化に対する理解を深め世界の国々と比較するさいに役立ててください。																																																																		
到達目標	日本の歴史や文化の特質を理解し、他の国々との違いを比較しながら、自らの言葉で解説できる能力を習得できます。																																																																		
授業方法と留意点	基本的に板書で講義を進めますが、プリント・スライドなどの資料も使用します。																																																																		
科目学習の効果（資格）	異文化コミュニケーションの場では自分の国の文化を披露することがあるでしょう。そのさい、日本の文化の特徴について伝えることができます。また、他の国の文化に触れるときにも深く理解することができるでしょう。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>オリエンテーション</td><td>講義の目的や進め方について説明します。歴史学とはどのような学問か解説します。</td><td>もののけ姫について web や書籍で調べておく</td></tr> <tr> <td>2</td><td>日本の周縁社会 ～『もののけ姫』とエミシの世界～</td><td>単一民族国家ではない「日本」の領域と周縁について考えます。</td><td>蝦夷について調べておく</td></tr> <tr> <td>3</td><td>日本中世の村と町 ～『もののけ姫』の中の「日本」～</td><td>中世における村と町の成立と実態について解説します。</td><td>講義で説明した町と村の特質についてまとめておく</td></tr> <tr> <td>4</td><td>製鉄と身分社会 ～『もののけ姫』におけるタタラ場の世界～</td><td>製鉄を通して、日本中世の生業、身分について考えます。</td><td>タタラ製鉄について web や書籍で調べておく</td></tr> <tr> <td>5</td><td>日本における自然界と神の世界 ～『もののけ姫』におけるシンガミの世界～</td><td>日本の地理的環境や日本人の信仰について考えます。</td><td>web を用いて日本の神社で祀られる獣神の事例をまとめる</td></tr> <tr> <td>6</td><td>『もののけ姫』の語る「日本」1</td><td>『もののけ姫』を通して見える「日本」について受講者がそれぞれ考え、議論します。</td><td>もののけ姫を題材に日本についての考えを整理しておく</td></tr> <tr> <td>7</td><td>『もののけ姫』の語る「日本」2</td><td>『もののけ姫』と日本文化について総括します。</td><td>他の受講生の意見を踏まえて自分の考えを整理する</td></tr> <tr> <td>8</td><td>和食の源流</td><td>和食に対するイメージや考えをみなで考え、整理します。和食の歴史のうち、神饌と直会など古代日本の食について考えます。</td><td>自分が住む地域の氏神、祭礼について調べておく</td></tr> <tr> <td>9</td><td>日本における食肉文化</td><td>日本における食肉の歴史と、日本人に与えた影響について考えます。</td><td>授業で紹介した食肉に関する法令を整理しておく</td></tr> <tr> <td>10</td><td>米・小麦と日本</td><td>日本人の主食である米と稲作文化、また小麦の栽培と粉物文化の成立について考えます。</td><td>食が体に与えた影響について授業で解説したことをもとに整理する</td></tr> <tr> <td>11</td><td>和食の展開 ～精進料理と本膳料理～</td><td>中世以降の精進料理、本膳料理が和食の成立に与えた影響について考えます。</td><td>精進料理、本膳料理についてしっかり復習しておく</td></tr> <tr> <td>12</td><td>麹と和食</td><td>麹菌と調味料の歴史について考えます。</td><td>漫画『もやしもん』を読んでおく</td></tr> <tr> <td>13</td><td>和食の広がり ～2つの「かいせきりょうり」～</td><td>和食が社会に展開する過程について解説します。</td><td>日本における喫茶文化と江戸時代の町人文化について調べておく</td></tr> <tr> <td>14</td><td>世界に広がる和食</td><td>現代における和食の実態や問題点について考えます。</td><td>和食の世界遺産登録について調べておく</td></tr> <tr> <td>15</td><td>まとめ</td><td>論述試験を行います（持ち込み可） 講義の総括を行います</td><td>今までのノートをまとめておく</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション	講義の目的や進め方について説明します。歴史学とはどのような学問か解説します。	もののけ姫について web や書籍で調べておく	2	日本の周縁社会 ～『もののけ姫』とエミシの世界～	単一民族国家ではない「日本」の領域と周縁について考えます。	蝦夷について調べておく	3	日本中世の村と町 ～『もののけ姫』の中の「日本」～	中世における村と町の成立と実態について解説します。	講義で説明した町と村の特質についてまとめておく	4	製鉄と身分社会 ～『もののけ姫』におけるタタラ場の世界～	製鉄を通して、日本中世の生業、身分について考えます。	タタラ製鉄について web や書籍で調べておく	5	日本における自然界と神の世界 ～『もののけ姫』におけるシンガミの世界～	日本の地理的環境や日本人の信仰について考えます。	web を用いて日本の神社で祀られる獣神の事例をまとめる	6	『もののけ姫』の語る「日本」1	『もののけ姫』を通して見える「日本」について受講者がそれぞれ考え、議論します。	もののけ姫を題材に日本についての考えを整理しておく	7	『もののけ姫』の語る「日本」2	『もののけ姫』と日本文化について総括します。	他の受講生の意見を踏まえて自分の考えを整理する	8	和食の源流	和食に対するイメージや考えをみなで考え、整理します。和食の歴史のうち、神饌と直会など古代日本の食について考えます。	自分が住む地域の氏神、祭礼について調べておく	9	日本における食肉文化	日本における食肉の歴史と、日本人に与えた影響について考えます。	授業で紹介した食肉に関する法令を整理しておく	10	米・小麦と日本	日本人の主食である米と稲作文化、また小麦の栽培と粉物文化の成立について考えます。	食が体に与えた影響について授業で解説したことをもとに整理する	11	和食の展開 ～精進料理と本膳料理～	中世以降の精進料理、本膳料理が和食の成立に与えた影響について考えます。	精進料理、本膳料理についてしっかり復習しておく	12	麹と和食	麹菌と調味料の歴史について考えます。	漫画『もやしもん』を読んでおく	13	和食の広がり ～2つの「かいせきりょうり」～	和食が社会に展開する過程について解説します。	日本における喫茶文化と江戸時代の町人文化について調べておく	14	世界に広がる和食	現代における和食の実態や問題点について考えます。	和食の世界遺産登録について調べておく	15	まとめ	論述試験を行います（持ち込み可） 講義の総括を行います	今までのノートをまとめておく
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション	講義の目的や進め方について説明します。歴史学とはどのような学問か解説します。	もののけ姫について web や書籍で調べておく																																																																
2	日本の周縁社会 ～『もののけ姫』とエミシの世界～	単一民族国家ではない「日本」の領域と周縁について考えます。	蝦夷について調べておく																																																																
3	日本中世の村と町 ～『もののけ姫』の中の「日本」～	中世における村と町の成立と実態について解説します。	講義で説明した町と村の特質についてまとめておく																																																																
4	製鉄と身分社会 ～『もののけ姫』におけるタタラ場の世界～	製鉄を通して、日本中世の生業、身分について考えます。	タタラ製鉄について web や書籍で調べておく																																																																
5	日本における自然界と神の世界 ～『もののけ姫』におけるシンガミの世界～	日本の地理的環境や日本人の信仰について考えます。	web を用いて日本の神社で祀られる獣神の事例をまとめる																																																																
6	『もののけ姫』の語る「日本」1	『もののけ姫』を通して見える「日本」について受講者がそれぞれ考え、議論します。	もののけ姫を題材に日本についての考えを整理しておく																																																																
7	『もののけ姫』の語る「日本」2	『もののけ姫』と日本文化について総括します。	他の受講生の意見を踏まえて自分の考えを整理する																																																																
8	和食の源流	和食に対するイメージや考えをみなで考え、整理します。和食の歴史のうち、神饌と直会など古代日本の食について考えます。	自分が住む地域の氏神、祭礼について調べておく																																																																
9	日本における食肉文化	日本における食肉の歴史と、日本人に与えた影響について考えます。	授業で紹介した食肉に関する法令を整理しておく																																																																
10	米・小麦と日本	日本人の主食である米と稲作文化、また小麦の栽培と粉物文化の成立について考えます。	食が体に与えた影響について授業で解説したことをもとに整理する																																																																
11	和食の展開 ～精進料理と本膳料理～	中世以降の精進料理、本膳料理が和食の成立に与えた影響について考えます。	精進料理、本膳料理についてしっかり復習しておく																																																																
12	麹と和食	麹菌と調味料の歴史について考えます。	漫画『もやしもん』を読んでおく																																																																
13	和食の広がり ～2つの「かいせきりょうり」～	和食が社会に展開する過程について解説します。	日本における喫茶文化と江戸時代の町人文化について調べておく																																																																
14	世界に広がる和食	現代における和食の実態や問題点について考えます。	和食の世界遺産登録について調べておく																																																																
15	まとめ	論述試験を行います（持ち込み可） 講義の総括を行います	今までのノートをまとめておく																																																																
関連科目																																																																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	講義最終日に行う論述試験（持ち込み可）、講義中に課す小レポート、小テストなどによって評価します。論述試験を70%、課題などを30%とする。																																																																		
学生へのメッセージ	本講義で日本の文化や歴史がすべてわかるわけではありません。講義を通じて興味を持ったことがありましたら、Web や図書などで積極的に調べるとよいでしょう。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 4 階（赤澤研究室）																																																																		
備考	事前・事後学習は総時間 60 時間を目安とする。 授業で課した課題については、整理して講義で紹介、講評する。																																																																		

科目名	エリアスタディーズ（東アジア）	科目名（英文）	Area Studies (East Asia)
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択必修科目
学期	後期	授業担当者	小都 晶子・田中 悟
ディプロマポリシー (DP)	DP2◎		
科目ナンバリング	LDL1148a0		

授業概要・目的	中国と韓国の社会と文化の概要を学び、東アジア地域への理解を深める。																																																																		
到達目標	中国と韓国を中心とした東アジアの歴史・文化の概要を理解する。																																																																		
授業方法と留意点	第 1～9 回は中国、第 11～15 回は韓国を対象とします。講義形式を中心とし、レジュメ・資料を適宜配布します。また、映像資料も用います。																																																																		
科目学習の効果（資格）	日本を含む東アジア地域に対する理解が深まる。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>導入：中国とは？（小都）</td><td>中国の民族・人口、地理・食、言語について、地図を使って学ぶ。</td><td>配布資料の復習（事後）（1 時間）</td></tr> <tr> <td>2</td><td>華北（小都）</td><td>北京を取り上げて、華北地域の社会と文化を学ぶ。また中国政治の特徴について考える。</td><td>配布資料の予習・復習（事前および事後）（各 1 時間）</td></tr> <tr> <td>3</td><td>華東（小都）</td><td>上海を取り上げて、華東地域の社会と文化を学ぶ。また中国社会の特徴について考える。</td><td>配布資料の予習・復習（事前および事後）（各 1 時間）</td></tr> <tr> <td>4</td><td>華中（小都）</td><td>中原の歴史や中華思想について学び、漢民族社会の特徴について考える。</td><td>配布資料の予習・復習（事前および事後）（各 1 時間）</td></tr> <tr> <td>5</td><td>西南・西北（小都）</td><td>中国の少数民族地域の社会と文化について学び、その特徴について考える。</td><td>配布資料の予習・復習（事前および事後）（各 1 時間）</td></tr> <tr> <td>6</td><td>華南（小都）</td><td>広州を取り上げて、華南地域の社会と文化を学ぶ。また香港・マカオの社会と文化を学び、一国二制度について考える。</td><td>配布資料の予習・復習（事前および事後）（各 1 時間）</td></tr> <tr> <td>7</td><td>台湾（小都）</td><td>台湾の社会と文化を学び、中国・台湾と日本の関係を考える。</td><td>配布資料の予習・復習（事前および事後）（各 1 時間）</td></tr> <tr> <td>8</td><td>華僑・華人（小都）</td><td>世界と日本の華僑・華人について学ぶ。</td><td>配布資料の予習・復習（事前および事後）（各 1 時間）</td></tr> <tr> <td>9</td><td>授業の中間まとめと確認テスト（小都）</td><td>これまでの内容のまとめと確認テスト</td><td>これまでの内容を復習して、確認テストに備える（事前）（5 時間）</td></tr> <tr> <td>10</td><td>韓国新聞についての基礎知識（田中）</td><td>韓国マスメディアの日本語版サイトを紹介し、実際にアクセスしてみる。</td><td>関連諸サイトにアクセスし、内容に目を通しておく。（事後）（1 時間）</td></tr> <tr> <td>11</td><td>韓国の新聞記事に基づいて読み解く韓国社会（1）（田中）</td><td>記事の輪読と解説：現代社会の諸相</td><td>関連諸サイトにアクセスし、内容に目を通しておく。（事前および事後）（各 1 時間）</td></tr> <tr> <td>12</td><td>韓国の新聞記事に基づいて読み解く韓国社会（2）（田中）</td><td>記事の輪読と解説：政治経済・国際関係</td><td>関連諸サイトにアクセスし、内容に目を通しておく。（事前および事後）（各 1 時間）</td></tr> <tr> <td>13</td><td>韓国の新聞記事に基づいて読み解く韓国社会（3）（田中）</td><td>記事の輪読と解説：社会問題</td><td>関連諸サイトにアクセスし、内容に目を通しておく。（事前および事後）（各 1 時間）</td></tr> <tr> <td>14</td><td>韓国社会を読み解くための補助線（1）（田中）</td><td>映像作品の鑑賞と解説</td><td>関連諸サイトにアクセスし、内容に目を通しておく。（事前および事後）（各 1 時間）</td></tr> <tr> <td>15</td><td>韓国社会を読み解くための補助線（2）（田中）</td><td>映像作品の鑑賞と解説</td><td>関連諸サイトにアクセスし、内容に目を通しておく。（事前および事後）（各 1 時間）</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	導入：中国とは？（小都）	中国の民族・人口、地理・食、言語について、地図を使って学ぶ。	配布資料の復習（事後）（1 時間）	2	華北（小都）	北京を取り上げて、華北地域の社会と文化を学ぶ。また中国政治の特徴について考える。	配布資料の予習・復習（事前および事後）（各 1 時間）	3	華東（小都）	上海を取り上げて、華東地域の社会と文化を学ぶ。また中国社会の特徴について考える。	配布資料の予習・復習（事前および事後）（各 1 時間）	4	華中（小都）	中原の歴史や中華思想について学び、漢民族社会の特徴について考える。	配布資料の予習・復習（事前および事後）（各 1 時間）	5	西南・西北（小都）	中国の少数民族地域の社会と文化について学び、その特徴について考える。	配布資料の予習・復習（事前および事後）（各 1 時間）	6	華南（小都）	広州を取り上げて、華南地域の社会と文化を学ぶ。また香港・マカオの社会と文化を学び、一国二制度について考える。	配布資料の予習・復習（事前および事後）（各 1 時間）	7	台湾（小都）	台湾の社会と文化を学び、中国・台湾と日本の関係を考える。	配布資料の予習・復習（事前および事後）（各 1 時間）	8	華僑・華人（小都）	世界と日本の華僑・華人について学ぶ。	配布資料の予習・復習（事前および事後）（各 1 時間）	9	授業の中間まとめと確認テスト（小都）	これまでの内容のまとめと確認テスト	これまでの内容を復習して、確認テストに備える（事前）（5 時間）	10	韓国新聞についての基礎知識（田中）	韓国マスメディアの日本語版サイトを紹介し、実際にアクセスしてみる。	関連諸サイトにアクセスし、内容に目を通しておく。（事後）（1 時間）	11	韓国の新聞記事に基づいて読み解く韓国社会（1）（田中）	記事の輪読と解説：現代社会の諸相	関連諸サイトにアクセスし、内容に目を通しておく。（事前および事後）（各 1 時間）	12	韓国の新聞記事に基づいて読み解く韓国社会（2）（田中）	記事の輪読と解説：政治経済・国際関係	関連諸サイトにアクセスし、内容に目を通しておく。（事前および事後）（各 1 時間）	13	韓国の新聞記事に基づいて読み解く韓国社会（3）（田中）	記事の輪読と解説：社会問題	関連諸サイトにアクセスし、内容に目を通しておく。（事前および事後）（各 1 時間）	14	韓国社会を読み解くための補助線（1）（田中）	映像作品の鑑賞と解説	関連諸サイトにアクセスし、内容に目を通しておく。（事前および事後）（各 1 時間）	15	韓国社会を読み解くための補助線（2）（田中）	映像作品の鑑賞と解説	関連諸サイトにアクセスし、内容に目を通しておく。（事前および事後）（各 1 時間）
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	導入：中国とは？（小都）	中国の民族・人口、地理・食、言語について、地図を使って学ぶ。	配布資料の復習（事後）（1 時間）																																																																
2	華北（小都）	北京を取り上げて、華北地域の社会と文化を学ぶ。また中国政治の特徴について考える。	配布資料の予習・復習（事前および事後）（各 1 時間）																																																																
3	華東（小都）	上海を取り上げて、華東地域の社会と文化を学ぶ。また中国社会の特徴について考える。	配布資料の予習・復習（事前および事後）（各 1 時間）																																																																
4	華中（小都）	中原の歴史や中華思想について学び、漢民族社会の特徴について考える。	配布資料の予習・復習（事前および事後）（各 1 時間）																																																																
5	西南・西北（小都）	中国の少数民族地域の社会と文化について学び、その特徴について考える。	配布資料の予習・復習（事前および事後）（各 1 時間）																																																																
6	華南（小都）	広州を取り上げて、華南地域の社会と文化を学ぶ。また香港・マカオの社会と文化を学び、一国二制度について考える。	配布資料の予習・復習（事前および事後）（各 1 時間）																																																																
7	台湾（小都）	台湾の社会と文化を学び、中国・台湾と日本の関係を考える。	配布資料の予習・復習（事前および事後）（各 1 時間）																																																																
8	華僑・華人（小都）	世界と日本の華僑・華人について学ぶ。	配布資料の予習・復習（事前および事後）（各 1 時間）																																																																
9	授業の中間まとめと確認テスト（小都）	これまでの内容のまとめと確認テスト	これまでの内容を復習して、確認テストに備える（事前）（5 時間）																																																																
10	韓国新聞についての基礎知識（田中）	韓国マスメディアの日本語版サイトを紹介し、実際にアクセスしてみる。	関連諸サイトにアクセスし、内容に目を通しておく。（事後）（1 時間）																																																																
11	韓国の新聞記事に基づいて読み解く韓国社会（1）（田中）	記事の輪読と解説：現代社会の諸相	関連諸サイトにアクセスし、内容に目を通しておく。（事前および事後）（各 1 時間）																																																																
12	韓国の新聞記事に基づいて読み解く韓国社会（2）（田中）	記事の輪読と解説：政治経済・国際関係	関連諸サイトにアクセスし、内容に目を通しておく。（事前および事後）（各 1 時間）																																																																
13	韓国の新聞記事に基づいて読み解く韓国社会（3）（田中）	記事の輪読と解説：社会問題	関連諸サイトにアクセスし、内容に目を通しておく。（事前および事後）（各 1 時間）																																																																
14	韓国社会を読み解くための補助線（1）（田中）	映像作品の鑑賞と解説	関連諸サイトにアクセスし、内容に目を通しておく。（事前および事後）（各 1 時間）																																																																
15	韓国社会を読み解くための補助線（2）（田中）	映像作品の鑑賞と解説	関連諸サイトにアクセスし、内容に目を通しておく。（事前および事後）（各 1 時間）																																																																
関連科目																																																																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	第 1～9 回（60%）、第 10～15 回（40%）を合算して評価します。 第 1～9 回については、授業内に実施する課題および確認テストによって評価します。 第 10～15 回については、授業内で指示する課題への取り組み（提出状況および内容）に基づいて評価します。																																																																		
学生へのメッセージ	東アジアに関する基礎的な知識を身につけ、自分が暮らす世界への理解を広げてください。																																																																		
担当者の研究室等	小都研究室（7 号館 3 階）・田中研究室（7 号館 4 階）																																																																		
備考	授業の進行スケジュールについては、出席者の状況に応じて調整する可能性があります。 課題やテストに対する評価は次回の授業に書面または口頭でフィードバックする。																																																																		

科目名	エリアスタディーズ（ヨーロッパ）	科目名（英文）	Area Studies（Europe）
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択必修科目
学期	後期	授業担当者	林田 敏子
ディプロマポリシー（DP）	DP2◎		
科目ナンバリング	LDL1150a0		

授業概要・目的	20 世紀末以来、ヨーロッパは、EU を中心に経済のみならず政治や文化の面でも結びつきを強化してきた。「国民国家の枠をこえ、一つのヨーロッパをつくる」というその目標は達成されたかに見えるが、移民や難民の流入とこれに対する排斥運動、域内の経済格差や失業問題、地域ナショナリズムの高揚など、ヨーロッパ諸国が抱える問題はいずれも深刻なものである。国境をこえ「ヨーロッパ」の再生・創造をめざす EU がわれわれに投げかける問題を、多文化、多民族の共生という観点から考える。																																																																		
到達目標	EU（European Union）の歩みに関する基本的知識を習得し、現代の「ヨーロッパ」が抱えている問題の本質を理解する。																																																																		
授業方法と留意点	パワーポイントをもちいて授業をすすめる。																																																																		
科目学習の効果（資格）	EU の拡大と深化が社会に与えた影響を考察することで、現代の「ヨーロッパ」に対する多面的な理解が可能になる。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>「ヨーロッパ」の境界はどこか</td><td>・地理的ヨーロッパ ・言語的ヨーロッパ ・宗教的ヨーロッパ ・民族的ヨーロッパ ・文化的ヨーロッパ</td><td>「ヨーロッパ世界」に含まれると思う国々を列挙し、その根拠を示す。</td></tr> <tr> <td>2</td><td>EU のあゆみ</td><td>・EU 誕生までの歴史 ・イギリスの EU 離脱がもたらした波紋</td><td>第二次世界大戦の終了から EU 誕生までの歴史を年表化する。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>EU の成り立ち</td><td>・従来の超国家連合との違い ・欧州議会が抱える問題</td><td>EU の行政機構とその役割について調べてくる。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>EU に入らない国・入れない国</td><td>・永世中立国スイスと EU ・トルコの加盟問題 ～非ヨーロッパ世界との防波堤～</td><td>トルコの加盟問題を、トルコ側、EU 側双方から考察する。</td></tr> <tr> <td>5</td><td>「ヨーロッパの創造」</td><td>・欧州市民権の付与 ・国境をこえるヒト・モノ・カネ</td><td>欧州市民権の付与をめぐる問題を授業の内容に即してまとめる。</td></tr> <tr> <td>6</td><td>欧州共通教科書をめぐる問題</td><td>共通の「神話」？「記憶」？ ～「ヨーロッパ人」はいかにして創られるか～</td><td>EU 加盟国間で歴史解釈が異なる例の一つ挙げ、「欧州共通教科書」がそれにどう対処したのかじっさいの記述をもとにまとめる。</td></tr> <tr> <td>7</td><td>「国境なきヨーロッパ」の虚実</td><td>制度上の壁 ～国籍取得と選挙権の付与～</td><td>国籍取得法を大きく二つに分類し、それぞれの特性を整理する。</td></tr> <tr> <td>8</td><td>「一つのヨーロッパ」が抱える問題</td><td>・排外主義の台頭 ～極右勢力と EU～ ・中間テストの実施</td><td>・これまでの授業内容をふりかえる。 ・極右勢力の台頭に注目しながら、EU 加盟国の政治状況を調べてくる。</td></tr> <tr> <td>9</td><td>新たな衝突 ～定住移民をめぐる問題①～</td><td>・「外国人労働者」という名の定住移民 ～ドイツにおけるトルコ人移民問題～ ・中間テストの解説</td><td>EU 加盟国が抱える移民問題の全体像を調べてくる。</td></tr> <tr> <td>10</td><td>新たな衝突 ～定住移民をめぐる問題②～</td><td>フランスにおける移民問題 ～移民 2 世の社会統合をめぐる～</td><td>フランスにおける移民問題の特徴（他の国と違う点）についてまとめる。</td></tr> <tr> <td>11</td><td>映画『憎しみ』にみる移民問題</td><td>移民社会と暴力</td><td>映画の解釈をレポートとしてまとめる。</td></tr> <tr> <td>12</td><td>EU と「地域」 ～国家の周辺地域から EU の中心地域へ～</td><td>・アルザスの可能性 ・スコットランド独立の「失敗」</td><td>スコットランド独立騒動の経緯について調べ、「独立失敗」の原因について考えてくる。</td></tr> <tr> <td>13</td><td>国境をこえるさまざまな試み</td><td>・EU と脱ナショナル化 ・留学と言語教育の可能性</td><td>EU の言語教育、留学制度について調べてくる。</td></tr> <tr> <td>14</td><td>ボーダレス社会の到来</td><td>広域経済圏・多国籍企業・NGO</td><td>国を越えた経済的、政治的、文化的パートナーシップのありかたについて自分の考えをまとめる。</td></tr> <tr> <td>15</td><td>まとめ</td><td>小テストの実施と解説</td><td>これまでの授業内容を復習しておく。</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	「ヨーロッパ」の境界はどこか	・地理的ヨーロッパ ・言語的ヨーロッパ ・宗教的ヨーロッパ ・民族的ヨーロッパ ・文化的ヨーロッパ	「ヨーロッパ世界」に含まれると思う国々を列挙し、その根拠を示す。	2	EU のあゆみ	・EU 誕生までの歴史 ・イギリスの EU 離脱がもたらした波紋	第二次世界大戦の終了から EU 誕生までの歴史を年表化する。	3	EU の成り立ち	・従来の超国家連合との違い ・欧州議会が抱える問題	EU の行政機構とその役割について調べてくる。	4	EU に入らない国・入れない国	・永世中立国スイスと EU ・トルコの加盟問題 ～非ヨーロッパ世界との防波堤～	トルコの加盟問題を、トルコ側、EU 側双方から考察する。	5	「ヨーロッパの創造」	・欧州市民権の付与 ・国境をこえるヒト・モノ・カネ	欧州市民権の付与をめぐる問題を授業の内容に即してまとめる。	6	欧州共通教科書をめぐる問題	共通の「神話」？「記憶」？ ～「ヨーロッパ人」はいかにして創られるか～	EU 加盟国間で歴史解釈が異なる例の一つ挙げ、「欧州共通教科書」がそれにどう対処したのかじっさいの記述をもとにまとめる。	7	「国境なきヨーロッパ」の虚実	制度上の壁 ～国籍取得と選挙権の付与～	国籍取得法を大きく二つに分類し、それぞれの特性を整理する。	8	「一つのヨーロッパ」が抱える問題	・排外主義の台頭 ～極右勢力と EU～ ・中間テストの実施	・これまでの授業内容をふりかえる。 ・極右勢力の台頭に注目しながら、EU 加盟国の政治状況を調べてくる。	9	新たな衝突 ～定住移民をめぐる問題①～	・「外国人労働者」という名の定住移民 ～ドイツにおけるトルコ人移民問題～ ・中間テストの解説	EU 加盟国が抱える移民問題の全体像を調べてくる。	10	新たな衝突 ～定住移民をめぐる問題②～	フランスにおける移民問題 ～移民 2 世の社会統合をめぐる～	フランスにおける移民問題の特徴（他の国と違う点）についてまとめる。	11	映画『憎しみ』にみる移民問題	移民社会と暴力	映画の解釈をレポートとしてまとめる。	12	EU と「地域」 ～国家の周辺地域から EU の中心地域へ～	・アルザスの可能性 ・スコットランド独立の「失敗」	スコットランド独立騒動の経緯について調べ、「独立失敗」の原因について考えてくる。	13	国境をこえるさまざまな試み	・EU と脱ナショナル化 ・留学と言語教育の可能性	EU の言語教育、留学制度について調べてくる。	14	ボーダレス社会の到来	広域経済圏・多国籍企業・NGO	国を越えた経済的、政治的、文化的パートナーシップのありかたについて自分の考えをまとめる。	15	まとめ	小テストの実施と解説	これまでの授業内容を復習しておく。
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	「ヨーロッパ」の境界はどこか	・地理的ヨーロッパ ・言語的ヨーロッパ ・宗教的ヨーロッパ ・民族的ヨーロッパ ・文化的ヨーロッパ	「ヨーロッパ世界」に含まれると思う国々を列挙し、その根拠を示す。																																																																
2	EU のあゆみ	・EU 誕生までの歴史 ・イギリスの EU 離脱がもたらした波紋	第二次世界大戦の終了から EU 誕生までの歴史を年表化する。																																																																
3	EU の成り立ち	・従来の超国家連合との違い ・欧州議会が抱える問題	EU の行政機構とその役割について調べてくる。																																																																
4	EU に入らない国・入れない国	・永世中立国スイスと EU ・トルコの加盟問題 ～非ヨーロッパ世界との防波堤～	トルコの加盟問題を、トルコ側、EU 側双方から考察する。																																																																
5	「ヨーロッパの創造」	・欧州市民権の付与 ・国境をこえるヒト・モノ・カネ	欧州市民権の付与をめぐる問題を授業の内容に即してまとめる。																																																																
6	欧州共通教科書をめぐる問題	共通の「神話」？「記憶」？ ～「ヨーロッパ人」はいかにして創られるか～	EU 加盟国間で歴史解釈が異なる例の一つ挙げ、「欧州共通教科書」がそれにどう対処したのかじっさいの記述をもとにまとめる。																																																																
7	「国境なきヨーロッパ」の虚実	制度上の壁 ～国籍取得と選挙権の付与～	国籍取得法を大きく二つに分類し、それぞれの特性を整理する。																																																																
8	「一つのヨーロッパ」が抱える問題	・排外主義の台頭 ～極右勢力と EU～ ・中間テストの実施	・これまでの授業内容をふりかえる。 ・極右勢力の台頭に注目しながら、EU 加盟国の政治状況を調べてくる。																																																																
9	新たな衝突 ～定住移民をめぐる問題①～	・「外国人労働者」という名の定住移民 ～ドイツにおけるトルコ人移民問題～ ・中間テストの解説	EU 加盟国が抱える移民問題の全体像を調べてくる。																																																																
10	新たな衝突 ～定住移民をめぐる問題②～	フランスにおける移民問題 ～移民 2 世の社会統合をめぐる～	フランスにおける移民問題の特徴（他の国と違う点）についてまとめる。																																																																
11	映画『憎しみ』にみる移民問題	移民社会と暴力	映画の解釈をレポートとしてまとめる。																																																																
12	EU と「地域」 ～国家の周辺地域から EU の中心地域へ～	・アルザスの可能性 ・スコットランド独立の「失敗」	スコットランド独立騒動の経緯について調べ、「独立失敗」の原因について考えてくる。																																																																
13	国境をこえるさまざまな試み	・EU と脱ナショナル化 ・留学と言語教育の可能性	EU の言語教育、留学制度について調べてくる。																																																																
14	ボーダレス社会の到来	広域経済圏・多国籍企業・NGO	国を越えた経済的、政治的、文化的パートナーシップのありかたについて自分の考えをまとめる。																																																																
15	まとめ	小テストの実施と解説	これまでの授業内容を復習しておく。																																																																
関連科目																																																																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	第 15 回目を実施する小テスト（80%）、中間テスト（10%）、提出物（10%）の結果を総合的に評価する。																																																																		
学生へのメッセージ	歴史学とは過去に起こった事件の年号や偉人の名前を暗記する学問ではありません。過去の出来事を通して、現代社会や未来についての思考力を養うためのものです。積極的に関連文献を読み、講義内容を批判的に摂取するよう心がけてください。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 4 階 林田研究室																																																																		
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約 60 時間。 中間テストに関するフィードバックは第 9 回目、小テストに関するフィードバックは第 15 回目のなかで実施する。																																																																		

科目名	エリアスタディーズ（ラテンアメリカ）	科目名（英文）	Area Studies（Latin America）
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択必修科目
学期	後期	授業担当者	北條 ゆかり
ディプロマポリシー（DP）	DP2◎		
科目ナンバリング	LDL1153a0		

授業概要・目的	ラテンアメリカは、古来先住民の文化的伝統を有しながらも、15 世紀末以降のヨーロッパによる征服と植民地支配を 3 世紀以上にわたって経験した地域です。その後 19 世紀初頭にアジアやアフリカ諸国に比べて 150 年ほど早く植民地支配からの独立を遂げました。この地域がたった歴史的独自性を知るだけではなく、隣接する北米のアングロアメリカとの歴史的関係と今後の共存のゆくえや日本とのより深い関係構築について展望できるようになることをめざします。同時に、6 つのサブ・リージョンに分け、視聴覚教材を適宜用いることで具体像を持てるよう、各回の授業テーマの中に織り込みます。 地理的に日本からは遠隔地に位置していますが、ラテンアメリカ諸国と日本との関係はますます緊密化しています。親日的な国々と人々のことを知ることで世界観を広げてください。ラテンアメリカで最も広く使われている言語はスペイン語です。																																																																		
到達目標	広大なラテンアメリカという地域は、北米大陸から南米大陸にかけて、カリブ海地域を含めた 33 ヶ国から構成されています。この地域を多角的な視野から学際的かつ総合的に学ぶことで、異文化理解を深める一助となります。																																																																		
授業方法と留意点	教材は授業で配布します。 毎回、質問票を提出してもらい、次の授業で解説を行います。																																																																		
科目学習の効果（資格）	日本ではあまり知られていないラテンアメリカという地域の持つ固有の文化に親しむことで、グローバル社会の中で複眼的思考のできる観点を養う。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>ラテンアメリカの地理（1）</td><td>地域名称の由来 域内諸国の名称と位置の学習</td><td>地域を構成する 33 ヶ国・13 非独立領を地図上で確認する</td></tr> <tr> <td>2</td><td>ラテンアメリカの地理（2）</td><td>地域の歴史的概要 産業と特産品</td><td>基礎統計資料一覧を読み解く ラテンアメリカ原産作物と資源について調べる</td></tr> <tr> <td>3</td><td>ラテンアメリカの地理（3）</td><td>世界文化遺産を通して見る多民族・多文化社会</td><td>ラテンアメリカの世界遺産について調べる</td></tr> <tr> <td>4</td><td>ラテンアメリカの歴史（1）</td><td>先住民古代文明</td><td>マヤ、アステカ、インカ文明のいずれかについて調べる</td></tr> <tr> <td>5</td><td>ラテンアメリカの歴史（2）</td><td>征服と植民地支配</td><td>前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。</td></tr> <tr> <td>6</td><td>ラテンアメリカの歴史（3）</td><td>独立とその後の近代化と従属化</td><td>前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。</td></tr> <tr> <td>7</td><td>ラテンアメリカの歴史（4）</td><td>20 世紀の革命と民主化過程</td><td>前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。</td></tr> <tr> <td>8</td><td>ラテンアメリカの文化（1）</td><td>美術・音楽</td><td>前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。</td></tr> <tr> <td>9</td><td>ラテンアメリカの文化（2）</td><td>文学・映画</td><td>前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。</td></tr> <tr> <td>10</td><td>ラテンアメリカの文化（3）</td><td>食文化</td><td>前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。</td></tr> <tr> <td>11</td><td>ラテンアメリカの社会</td><td>階層社会の構造、民族文化と国民社会</td><td>前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。</td></tr> <tr> <td>12</td><td>ラテンアメリカの政治経済</td><td>政治体制の変遷 ラテンアメリカ経済の歴史的変容、現状と課題、地域統合</td><td>前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。</td></tr> <tr> <td>13</td><td>現代世界の中のラテンアメリカ</td><td>国際政治・経済の中のラテンアメリカの位置づけ ラテンアメリカ域内の地域統合と対米関係</td><td>前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。</td></tr> <tr> <td>14</td><td>ラテンアメリカと日本の関係</td><td>移住と日系社会、政治・外交関係におけるラテンアメリカと日本</td><td>前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。</td></tr> <tr> <td>15</td><td>総括</td><td>臨時試験の後、アメリカ合衆国への移民および「ラティノス」がもたらす影響についての解説</td><td>広く西半球（米州）の相互関係に対して目を向ける。</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	ラテンアメリカの地理（1）	地域名称の由来 域内諸国の名称と位置の学習	地域を構成する 33 ヶ国・13 非独立領を地図上で確認する	2	ラテンアメリカの地理（2）	地域の歴史的概要 産業と特産品	基礎統計資料一覧を読み解く ラテンアメリカ原産作物と資源について調べる	3	ラテンアメリカの地理（3）	世界文化遺産を通して見る多民族・多文化社会	ラテンアメリカの世界遺産について調べる	4	ラテンアメリカの歴史（1）	先住民古代文明	マヤ、アステカ、インカ文明のいずれかについて調べる	5	ラテンアメリカの歴史（2）	征服と植民地支配	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。	6	ラテンアメリカの歴史（3）	独立とその後の近代化と従属化	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。	7	ラテンアメリカの歴史（4）	20 世紀の革命と民主化過程	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。	8	ラテンアメリカの文化（1）	美術・音楽	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。	9	ラテンアメリカの文化（2）	文学・映画	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。	10	ラテンアメリカの文化（3）	食文化	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。	11	ラテンアメリカの社会	階層社会の構造、民族文化と国民社会	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。	12	ラテンアメリカの政治経済	政治体制の変遷 ラテンアメリカ経済の歴史的変容、現状と課題、地域統合	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。	13	現代世界の中のラテンアメリカ	国際政治・経済の中のラテンアメリカの位置づけ ラテンアメリカ域内の地域統合と対米関係	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。	14	ラテンアメリカと日本の関係	移住と日系社会、政治・外交関係におけるラテンアメリカと日本	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。	15	総括	臨時試験の後、アメリカ合衆国への移民および「ラティノス」がもたらす影響についての解説	広く西半球（米州）の相互関係に対して目を向ける。
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	ラテンアメリカの地理（1）	地域名称の由来 域内諸国の名称と位置の学習	地域を構成する 33 ヶ国・13 非独立領を地図上で確認する																																																																
2	ラテンアメリカの地理（2）	地域の歴史的概要 産業と特産品	基礎統計資料一覧を読み解く ラテンアメリカ原産作物と資源について調べる																																																																
3	ラテンアメリカの地理（3）	世界文化遺産を通して見る多民族・多文化社会	ラテンアメリカの世界遺産について調べる																																																																
4	ラテンアメリカの歴史（1）	先住民古代文明	マヤ、アステカ、インカ文明のいずれかについて調べる																																																																
5	ラテンアメリカの歴史（2）	征服と植民地支配	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。																																																																
6	ラテンアメリカの歴史（3）	独立とその後の近代化と従属化	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。																																																																
7	ラテンアメリカの歴史（4）	20 世紀の革命と民主化過程	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。																																																																
8	ラテンアメリカの文化（1）	美術・音楽	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。																																																																
9	ラテンアメリカの文化（2）	文学・映画	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。																																																																
10	ラテンアメリカの文化（3）	食文化	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。																																																																
11	ラテンアメリカの社会	階層社会の構造、民族文化と国民社会	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。																																																																
12	ラテンアメリカの政治経済	政治体制の変遷 ラテンアメリカ経済の歴史的変容、現状と課題、地域統合	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。																																																																
13	現代世界の中のラテンアメリカ	国際政治・経済の中のラテンアメリカの位置づけ ラテンアメリカ域内の地域統合と対米関係	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。																																																																
14	ラテンアメリカと日本の関係	移住と日系社会、政治・外交関係におけるラテンアメリカと日本	前回の配布資料を読み直し、講義後は知識を整理し、疑問点を探る。																																																																
15	総括	臨時試験の後、アメリカ合衆国への移民および「ラティノス」がもたらす影響についての解説	広く西半球（米州）の相互関係に対して目を向ける。																																																																
関連科目	スペイン語圏概論																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	授業内容に関する質問票、小レポート等 60%、臨時試験 40%により総合的に評価する。																																																																		
学生へのメッセージ	日本から遠く離れた地域ですが、不思議な魅力にあふれる混沌とした世界です。そこへと分け入ることで、自分自身のこれまでのものの見方を相対化するきっかけとなるでしょう。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 5 階 北條研究室																																																																		
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約 60 時間。 臨時試験に関するフィードバックは 15 回目のなかで実施する。																																																																		

科目名	Oral Communication a	科目名 (英文)	Oral Communication a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	ダンカン ホワイト
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3031b0		

授業概要・目的	英語プロフェッショナルコースの4年次生を対象とする。ディスカッション、プレゼンテーション演習を通じて、英語オーラル・コミュニケーション能力の総合的な向上を図る。			
到達目標	CEFR-J [B2-1]以上のレベルを目標とする。アカデミックな話題、知的、抽象的な話題について理解し、自分の意見を述べ、ディスカッションをし、プレゼンテーションができるようになる。			
授業方法と留意点	授業は原則として全て英語で行われる。与えられた話題についての予習を前提としたディスカッション、および個人またはグループによるプレゼンテーション演習によって授業を進める。十分な準備をして毎回の授業に臨み、積極的に発言をすること。			
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検等			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Natural lists	Textbook, self-expression, discussion,	Announced weekly in class (4 時間)
	2	Adding more information	Textbook, self-expression, discussion,	Announced weekly in class (4 時間)
	3	Order and priority	Textbook, self-expression, discussion,	Announced weekly in class (4 時間)
	4	Habits and routines	Textbook, self-expression, discussion,	Announced weekly in class (4 時間)
	5	Advice	Textbook, self-expression, discussion,	Announced weekly in class (4 時間)
	6	Future - probability and speculation	Textbook, self-expression, discussion,	Announced weekly in class (4 時間)
	7	Conditional imagination	Textbook, self-expression, discussion,	Announced weekly in class (4 時間)
	8	Instructions and process	Textbook, self-expression, discussion,	Announced weekly in class (4 時間)
	9	Creative instructions	Textbook, self-expression, discussion,	Announced weekly in class (4 時間)
	10	Relative location	Textbook, self-expression, discussion,	Announced weekly in class (4 時間)
	11	Giving directions	Textbook, self-expression, discussion,	Announced weekly in class (4 時間)
	12	Daily diaries	Textbook, self-expression, discussion,	Announced weekly in class (4 時間)
	13	Simple stories	Textbook, self-expression, discussion,	Announced weekly in class (4 時間)
	14	Description	Textbook, self-expression, discussion,	Announced weekly in class (4 時間)
	15	Conversation and reported speech	Textbook, self-expression, discussion,	Announced weekly in class (4 時間)
関連科目	English for Global Communication a, b			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	SCD Revised ISBN 978-4-9905671-1-8	Richard Rowat	Weissman Press
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法（基準）	プレゼンテーション 20% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 80%			
学生へのメッセージ	“Boys, be ambitious! Be ambitious not for money or for selfish aggrandizement, not for that evanescent thing which men call fame. Be ambitious for the attainment of all that a man ought to be.”			
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ60時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。			

科目名	Oral Communication b	科目名 (英文)	Oral Communication b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	ダンカン ホワイト
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3032b0		

授業概要・目的	英語プロフェッショナルコースの4年次生を対象とする。ディスカッション、プレゼンテーション演習を通じて、英語オーラル・コミュニケーション能力の総合的な向上を図る。		
到達目標	CEFR-J [B2-1]以上のレベルを目標とする。アカデミックな話題、知的、抽象的な話題について理解し、自分の意見を述べ、ディスカッションをし、プレゼンテーションができるようになる。		
授業方法と留意点	授業は原則として全て英語で行われる。与えられた話題についての予習を前提としたディスカッション、および個人またはグループによるプレゼンテーション演習によって授業を進める。十分な準備をして毎回の授業に臨み、積極的に発言をすること。		
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検等		
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等
	1	Making Comparisons	Textbook, research, discussion, self-expression
	2	Creating inventions	Textbook, research, discussion, self-expression
	3	Opinions 1 - What is best	Textbook, research, discussion, self-expression
	4	Opinions 2 - Good or bad	Textbook, research, discussion, self-expression
	5	Opinions 3 - True or false	Textbook, research, discussion, self-expression
	6	Explanations	Textbook, research, discussion, self-expression
	7	Tall tales & exaggeration	Textbook, research, discussion, self-expression
	8	Advertising	Textbook, research, discussion, self-expression
	9	Interpreting the news	Textbook, research, discussion, self-expression
	10	Evaluation & review	Textbook, research, discussion, self-expression
	11	All kinds of research	Textbook, research, discussion, self-expression
	12	Rethinking history	Textbook, research, discussion, self-expression
	13	Envisioning the future	Textbook, research, discussion, self-expression
	14	Review	Discussion
	15	Review and evaluation	Discussion, presentation
事前・事後学習課題	Announced weekly in class (4 時間)		
関連科目	English for Global Communication a, b		
教科書	番号	書籍名	著者名
	1	SCD Revised ISBN 978-4-9905671-1-8	Richard Rowat
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
出版社名	Weissman Press		
評価方法 (基準)	プレゼンテーション 20% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 80%		
学生へのメッセージ	"Boys, be ambitious! Be ambitious not for money or for selfish aggrandizement, not for that evanescent thing which men call fame. Be ambitious for the attainment of all that a man ought to be."		
担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 60 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。		

科目名	オーラル コミュニケーション I a	科目名 (英文)	Oral Communication Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	中道 英美子
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	アカデミック・スピーキングとアカデミック・ライティングの基本的な技法について学び、実践的なトレーニングを行う。スピーキングと、手書きまたはタイピングによるライティングをバランス良くトレーニングする。
到達目標	CEFR-J[A2.2] レベルを想定し、複数の英文を連続して発話できるスピーキング力、複数の英文を組み合わせてパラグラフを構成できるライティング力を身につける。身の回りのことや仕事などについて、理由を伴いつつ自分の意見を英語で話したり、書いたりできるようになる。
授業方法と留意点	1 年次・2 年次に、実践的な英文の暗唱とその応用練習という学習技法に十分に習熟していることが前提となる。同じ学習技法を基礎としながら、単文にとどまらず複数の文を用いたトレーニングにステップアップする。口頭による発話と、手書きまたはタイピングによる作文をバランス良くトレーニングする。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL, 英検, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習 (1 時間)
	2	英語のパラグラフの組織	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	3	トピック・センテンスを理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	4	トピック・センテンスを作ってみる	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	5	サポーティング・センテンスを理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	6	サポーティング・センテンスを作ってみる	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	7	コンクルーディング・センテンスを理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	8	コンクルーディング・センテンスを作ってみる	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	9	パラグラフ・ライティングのプロセス	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	10	パラグラフのフォーマット	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	11	英語のプレゼンテーションの組織	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された課題の遂行、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	12	英語のプレゼンテーションのためのアウトライン作成	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された課題の遂行、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	13	英語のプレゼンテーションに向けた準備	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された課題の遂行、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	14	英語のプレゼンテーション (発表会)	発表	発表の振り返り (1 時間)
	15	英語のプレゼンテーション (発表会) の振り返り	ペアワーク、グループワーク、ライティング	授業全体の振り返り (1 時間)

関連科目	スピーキング&ライティング IIa, IIb
------	------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Writing to Communicate	Cynthia A. Boardman	Pearson Education Inc.
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	平常点 (授業態度、宿題、発話活動等) 85 % 共通課題 (プレゼンテーション) 15 %
学生へのメッセージ	ライティングとスピーキング (プレゼンテーション) は少しのコツと練習で上達できるスキルです。一緒に楽しんでそれらのスキルを学びましょう。
担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。

科目名	オーラル コミュニケーション I b	科目名 (英文)	Oral Communication Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	中道 英美子
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	アカデミック・スピーキングとアカデミック・ライティングの基本的な技法について学び、実践的なトレーニングを行う。スピーキングと、手書きまたはタイピングによるライティングをバランス良くトレーニングする。
到達目標	CEFR-J[A2.2] レベルを想定し、複数の英文を連続して発話できるスピーキング力、複数の英文を組み合わせてパラグラフを構成できるライティング力を身につける。身の回りのことや仕事などについて、理由を伴いつつ自分の意見を英語で話したり、書いたりできるようになる。
授業方法と留意点	1 年次・2 年次に、実践的な英文の暗唱とその応用練習という学習技法に十分に習熟していることが前提となる。同じ学習技法を基礎としながら、単文にとどまらず複数の文を用いたトレーニングにステップアップする。口頭による発話と、手書きまたはタイピングによる作文をバランス良くトレーニングする。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL, 英検, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習 (1 時間)
	2	人や物について書く・話すスキルについて理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	3	人や物について書く・話すスキルを身に付けるための実践演習	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	4	出来事の時間の順序に従って書く・話すスキルについて理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	5	出来事の時間の順序に従って書く・話すスキルを身に付けるための実践演習	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	6	論理的順序に従って書く・話すスキルについて理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	7	論理的順序に従って書く・話すスキルを身に付けるための実践演習	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	8	これまで学んだスキルについて復習する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	9	統一性 (Unity) について理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	10	一貫性について理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	11	結束性について理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	12	英語のアカデミック・プレゼンテーションのためのアウトライン作成	ペアワーク、グループワーク、ライティング	学習した英語表現の復習 (1 時間)
	13	英語のアカデミック・プレゼンテーションに向けた準備	ペアワーク、グループワーク、ライティング	学習した英語表現の復習 (1 時間)
	14	英語のプレゼンテーション (発表会)	発表	発表の振り返り (1 時間)
	15	英語のプレゼンテーション (発表会) の振り返り	ペアワーク、グループワーク、ライティング	授業全体の振り返り (1 時間)

関連科目	スピーキング&ライティング IIa, IIb
------	------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Writing to Communicate	Cynthia A. Boardman	Pearson Education Inc.
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	平常点 (授業態度、宿題、発話活動等) 85 % 共通課題 (プレゼンテーション) 15 %
-----------	---

学生へのメッセージ	ライティングとスピーキング (プレゼンテーション) は少しのコツと練習で上達できるスキルです。一緒に楽しんでそれらのスキルを学びましょう。
-----------	---

担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室
----------	-----------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。
----	---

科目名	オーラル コミュニケーションⅡ a	科目名 (英文)	Oral Communication IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	曾我 直隆
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	英語の「聞く」、「話す」力を伸ばすために、個人・ペア・グループワークなど様々な訓練を行う。
到達目標	① 複雑な内容でも、簡単な表現を組み合わせで表現できるようになる。 ② 自分とは異なる他者の話を聞き、自分の考えを深め、それを主張できるようになる。
授業方法と留意点	① ペア／グループワークや簡単なゲームを通して、複雑な内容を短く簡単な語句の組み合わせで表現する工夫の仕方を身につける。 ② 短いプレゼンテーションを行い、互いに講評しあう。
科目学習の効果 (資格)	① 直訳思考から脱し、「言いたいこと」をおおまかに伝えられる力が身につく。 ② 論理的なプレゼンテーションを構成できるようになる。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	授業の内容や方法について説明する。 個人・ペア・グループワークなど	自由作文： 自己紹介 Unit 1 Exercise 1 (2 時間)
	2	Unit 1 All about the "real" me 個人の興味・嗜好に関する表現	個人の興味・嗜好に関する表現の個人・ペア・グループワークなど	自由作文： 語の定義 (2 時間)
	3	Unit 1 All about the "real" me 個人の興味・嗜好に関する表現	個人の興味・嗜好に関する表現の個人・ペア・グループワークなど	Unit 2 Exercise 1 (2 時間)
	4	Unit 2 Friends forever 交友・経験に関する表現	交友・経験に関する表現の個人・ペア・グループワークなど	自由作文： 語の定義 (2 時間)
	5	Unit 2 Friends forever 交友・経験に関する表現	交友・経験に関する表現の個人・ペア・グループワークなど	Unit 3 Exercise 1 (2 時間)
	6	Unit 3 Finding a "special" friend 親密な交際に関する表現	親密な交際に関する表現の個人・ペア・グループワークなど	自由作文： 語の定義 (2 時間)
	7	Unit 3 Finding a "special" friend 親密な交際に関する表現	親密な交際に関する表現の個人・ペア・グループワークなど	自由作文： 語の定義 (2 時間)
	8	時事問題ディスカッション	時事問題に関する個人・ペア・グループワークなど	Unit 4 Exercise 1 (2 時間)
	9	Unit 4 Shopping for bargains 買物に関する表現	買物に関する表現の個人・ペア・グループワークなど	自由作文： 語の定義 (2 時間)
	10	Unit 4 Shopping for bargains 買物に関する表現	買物に関する表現の個人・ペア・グループワークなど	Unit 5 Exercise 1 (2 時間)
	11	Unit 5 Dreaming about summer 休暇・旅行に関する表現	休暇・旅行に関する表現の個人・ペア・グループワークなど	自由作文： 語の定義 (2 時間)
	12	Unit 5 Dreaming about summer 休暇・旅行に関する表現	休暇・旅行に関する表現の個人・ペア・グループワークなど	Unit 6 Exercise 1 (2 時間)
	13	Unit 6 I'd better get a job 職業に関する表現	職業に関する表現の個人・ペア・グループワークなど	自由作文： 語の定義 (2 時間)
	14	Unit 6 I'd better get a job 職業に関する表現	職業に関する表現の個人・ペア・グループワークなど	自由作文： 語の定義 (2 時間)
	15	総まとめ+実力チェック	個人・ペア・グループワークなど	これまで学んだ内容の総復習 (2 時間)

関連科目	アカデミック スタディーズなど
------	-----------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Face to Face	Fuller, D. & Fuller, C.	Macmillan Language House

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			

評価方法 (基準)	授業内外での課題 (宿題) 50% 実力チェック 50%
-----------	---------------------------------

学生へのメッセージ	皆さんには、在学中にひとりで外国を旅していただくことを勧めます。旅行会社のツアーではなく、すべて自分で計画して手配する個人旅行です。若者の旅行者が集まる安宿が、どここの国にもあります。そこに泊まって、いろいろな国の人と話をしてみましょう。今のあなたの英語力でも大丈夫。インド英語、中国英語、ヒスパニック英語… いろいろな英語に触れれば、自分のジャパニーズ イングリッシュでも臆せず使えるようになります。 海外一人旅は、自分のことや日本のことを見つめ直す機会にもなるでしょう。帰国する頃には、ひとまわり大きくなった自分に気づくかもしれません。 時間と体力と柔軟な心のある学生時代こそ、旅をする絶好のチャンスです。お金もそんなに要りません。アルバイトで十分貯められます。自分の英語が通じるか心配？ 大丈夫、なんとかなります。この授業をぜひ役立ててください。
-----------	--

担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室
----------	-----------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 60 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。
----	---

科目名	オーラル コミュニケーションⅡb	科目名(英文)	Oral Communication IIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	曾我 直隆
ディプロマポリシー(DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	英語の「聞く」、「話す」力を伸ばすため、個人・ペア・グループワークなど様々な訓練を行う。																																																																		
到達目標	① 複雑な内容でも、簡単な表現を組み合わせで表現できるようになる。 ② 自分とは異なる他者の話を聞き、自分の考えを深め、それを主張できるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	① ペア／グループワークや簡単なゲームを通して、複雑な内容を短く簡単な語句の組み合わせで表現する工夫の仕方を身につける。 ② 短いプレゼンテーションを行い、互いに講評しあう。																																																																		
科目学習の効果(資格)	① 直訳思考から脱し、「言いたいこと」をおおまかに伝えられる力が身につく。 ② 論理的なプレゼンテーションを構成できるようになる。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>オリエンテーション</td><td>授業の内容・方法を説明する。 個人・ペア・グループワークなど</td><td>Unit 7 Exercise 1 の予習 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>2</td><td>Unit 7 What do you think? 意見交換に関する表現</td><td>意見交換に関する表現の個人・ペア・グループワークなど</td><td>自由作文： 語の定義 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>3</td><td>Unit 7 What do you think? 意見交換に関する表現</td><td>意見交換に関する表現の個人・ペア・グループワークなど</td><td>Unit 8 Exercise 1 の予習 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>4</td><td>Unit 8 Rap, rock, and reggae 音楽に関する表現</td><td>音楽に関する表現の個人・ペア・グループワークなど</td><td>自由作文： 語の定義 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>5</td><td>Unit 8 Rap, rock, and reggae 音楽に関する表現</td><td>音楽に関する表現の個人・ペア・グループワークなど</td><td>Unit 9 Exercise 1 の予習 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>6</td><td>Unit 9 What a character! 性格に関する表現</td><td>性格に関する表現の個人・ペア・グループワークなど</td><td>自由作文： 語の定義 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>7</td><td>Unit 9 What a character! 性格に関する表現</td><td>個性に関する表現の個人・ペア・グループワークなど</td><td>自由作文： 語の定義 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>8</td><td>時事問題のディスカッション</td><td>時事問題に関する個人・ペア・グループワークなど</td><td>Unit 10 Exercise 1 の予習 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>9</td><td>Unit 10 Money matters おカネに関する表現</td><td>おカネに関する表現の個人・ペア・グループワークなど</td><td>自由作文： 語の定義 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>10</td><td>Unit 10 Money matters おカネに関する表現</td><td>おカネに関する表現の個人・ペア・グループワークなど</td><td>Unit 11 Exercise 1 の予習 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>11</td><td>Unit 11 Situations in life 過去の経験に関する表現</td><td>過去の経験に関する表現の個人・ペア・グループワークなど</td><td>自由作文： 語の定義 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>12</td><td>Unit 11 Situations in life 過去の経験に関する表現</td><td>過去の経験に関する表現の個人・ペア・グループワークなど</td><td>Unit 12 Exercise 1 の予習 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>13</td><td>Unit 12 Facing the future 将来の展望に関する表現</td><td>将来の展望に関する表現の個人・ペア・グループワークなど</td><td>自由作文： 語の定義 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>14</td><td>Unit 12 Facing the future 将来の展望に関する表現</td><td>将来の展望に関する表現の個人・ペア・グループワークなど</td><td>自由作文： 語の定義 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>15</td><td>総まとめ+実力チェック</td><td>これまで学んだ内容の個人・ペア・グループワークなど</td><td>これまで学んだ内容の総復習 (2 時間)</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション	授業の内容・方法を説明する。 個人・ペア・グループワークなど	Unit 7 Exercise 1 の予習 (2 時間)	2	Unit 7 What do you think? 意見交換に関する表現	意見交換に関する表現の個人・ペア・グループワークなど	自由作文： 語の定義 (2 時間)	3	Unit 7 What do you think? 意見交換に関する表現	意見交換に関する表現の個人・ペア・グループワークなど	Unit 8 Exercise 1 の予習 (2 時間)	4	Unit 8 Rap, rock, and reggae 音楽に関する表現	音楽に関する表現の個人・ペア・グループワークなど	自由作文： 語の定義 (2 時間)	5	Unit 8 Rap, rock, and reggae 音楽に関する表現	音楽に関する表現の個人・ペア・グループワークなど	Unit 9 Exercise 1 の予習 (2 時間)	6	Unit 9 What a character! 性格に関する表現	性格に関する表現の個人・ペア・グループワークなど	自由作文： 語の定義 (2 時間)	7	Unit 9 What a character! 性格に関する表現	個性に関する表現の個人・ペア・グループワークなど	自由作文： 語の定義 (2 時間)	8	時事問題のディスカッション	時事問題に関する個人・ペア・グループワークなど	Unit 10 Exercise 1 の予習 (2 時間)	9	Unit 10 Money matters おカネに関する表現	おカネに関する表現の個人・ペア・グループワークなど	自由作文： 語の定義 (2 時間)	10	Unit 10 Money matters おカネに関する表現	おカネに関する表現の個人・ペア・グループワークなど	Unit 11 Exercise 1 の予習 (2 時間)	11	Unit 11 Situations in life 過去の経験に関する表現	過去の経験に関する表現の個人・ペア・グループワークなど	自由作文： 語の定義 (2 時間)	12	Unit 11 Situations in life 過去の経験に関する表現	過去の経験に関する表現の個人・ペア・グループワークなど	Unit 12 Exercise 1 の予習 (2 時間)	13	Unit 12 Facing the future 将来の展望に関する表現	将来の展望に関する表現の個人・ペア・グループワークなど	自由作文： 語の定義 (2 時間)	14	Unit 12 Facing the future 将来の展望に関する表現	将来の展望に関する表現の個人・ペア・グループワークなど	自由作文： 語の定義 (2 時間)	15	総まとめ+実力チェック	これまで学んだ内容の個人・ペア・グループワークなど	これまで学んだ内容の総復習 (2 時間)
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション	授業の内容・方法を説明する。 個人・ペア・グループワークなど	Unit 7 Exercise 1 の予習 (2 時間)																																																																
2	Unit 7 What do you think? 意見交換に関する表現	意見交換に関する表現の個人・ペア・グループワークなど	自由作文： 語の定義 (2 時間)																																																																
3	Unit 7 What do you think? 意見交換に関する表現	意見交換に関する表現の個人・ペア・グループワークなど	Unit 8 Exercise 1 の予習 (2 時間)																																																																
4	Unit 8 Rap, rock, and reggae 音楽に関する表現	音楽に関する表現の個人・ペア・グループワークなど	自由作文： 語の定義 (2 時間)																																																																
5	Unit 8 Rap, rock, and reggae 音楽に関する表現	音楽に関する表現の個人・ペア・グループワークなど	Unit 9 Exercise 1 の予習 (2 時間)																																																																
6	Unit 9 What a character! 性格に関する表現	性格に関する表現の個人・ペア・グループワークなど	自由作文： 語の定義 (2 時間)																																																																
7	Unit 9 What a character! 性格に関する表現	個性に関する表現の個人・ペア・グループワークなど	自由作文： 語の定義 (2 時間)																																																																
8	時事問題のディスカッション	時事問題に関する個人・ペア・グループワークなど	Unit 10 Exercise 1 の予習 (2 時間)																																																																
9	Unit 10 Money matters おカネに関する表現	おカネに関する表現の個人・ペア・グループワークなど	自由作文： 語の定義 (2 時間)																																																																
10	Unit 10 Money matters おカネに関する表現	おカネに関する表現の個人・ペア・グループワークなど	Unit 11 Exercise 1 の予習 (2 時間)																																																																
11	Unit 11 Situations in life 過去の経験に関する表現	過去の経験に関する表現の個人・ペア・グループワークなど	自由作文： 語の定義 (2 時間)																																																																
12	Unit 11 Situations in life 過去の経験に関する表現	過去の経験に関する表現の個人・ペア・グループワークなど	Unit 12 Exercise 1 の予習 (2 時間)																																																																
13	Unit 12 Facing the future 将来の展望に関する表現	将来の展望に関する表現の個人・ペア・グループワークなど	自由作文： 語の定義 (2 時間)																																																																
14	Unit 12 Facing the future 将来の展望に関する表現	将来の展望に関する表現の個人・ペア・グループワークなど	自由作文： 語の定義 (2 時間)																																																																
15	総まとめ+実力チェック	これまで学んだ内容の個人・ペア・グループワークなど	これまで学んだ内容の総復習 (2 時間)																																																																
関連科目	アカデミック スタディーズなど																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>Face to Face</td><td>Fuller, D. & Fuller, C.</td><td>Macmillan Language House</td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	Face to Face	Fuller, D. & Fuller, C.	Macmillan Language House	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	Face to Face	Fuller, D. & Fuller, C.	Macmillan Language House																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	授業内外での課題(宿題) 50% 実力チェック 50%																																																																		
学生へのメッセージ	皆さんには、在学中にひとりで外国を旅して頂くことを勧めます。旅行会社のツアーではなく、すべて自分で計画して手配する個人旅行です。若者の旅行者が集まる安宿が、どこの国にもあります。そこに泊まって、いろいろな国の人と話をしてみましょう。今のあなたの英語力でも大丈夫。インド英語、中国英語、ヒスパニック英語… いろいろな英語に触れれば、自分のジャパニーズ イングリッシュでも臆せず使えるようになります。 海外一人旅は、自分のことや日本のことを見つめ直す機会にもなるでしょう。帰国する頃には、ひとまわり大きくなった自分に気づくかもしれません。 時間と体力と柔軟な心のある学生時代こそ、旅をする絶好のチャンスです。お金もそんなに要りません。アルバイトで十分貯められます。自分の英語が通じるか心配？ 大丈夫、なんとかなります。この授業をぜひ役立ててください。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室																																																																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 60 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。																																																																		

科目名	音声学	科目名 (英文)	Phonetics
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	中島 直嗣
ディプロマポリシー (DP)	DP1○, DP2△		
科目ナンバリング	LDL1155a0		

授業概要・目的	英語の音韻体系に基づいた調音音声学を中心とし、日本語や他の言語とも比較しながら、次のような内容について演習も交えて理解を深めていく。 ①母音や子音の発音記号とその音声的特徴、②音連続における連結・脱落・同化現象および強勢やイントネーション、③語順、品詞、分詞と動名詞などの文法と音声の関連性、④中英語から現代英語へ至る音韻の歴史の変遷、⑤英国から北米・オセアニア・アジアにも広がる国際共通語としての英語の変種、などについて具体例とともに学ぶ。
到達目標	この科目は、主として1年次の学生を対象とし、言語の音声の特徴について、英語を軸にし、必要に応じて日本語や他の言語とも比較しながら学んでいく。英語の音声の仕組み、英語の文法と音声の関連性、英語の歴史の変遷、国際共通語としての英語の実態などについて理解することを目指す。目標およびテーマとする。
授業方法と留意点	・講義と演習（グループワーク）を織り交ぜながら行います。 ・（電子）辞書を必ず持参すること。
科目学習の効果（資格）	語学検定試験のリスニング対策など。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション (調音) 音声学について	(調音) 音声学とは何かについて、英語と日本語の例を比較しながら、その概要を理解する。	・授業時に示された課題（グループワーク）の下調べをしておくこと（2時間）。 ・授業内容の要点整理をし、重要な音声現象や用語についてさらに調べてみる（2時間）。
	2	母音について（1）一英語の母音を中心に	英語の単母音について、日本語やその他の言語と比較しながら、その特徴を理解する。	・授業時に示された課題（グループワーク）の下調べをしておくこと（2時間）。 ・授業内容の要点整理をし、重要な音声現象や用語についてさらに調べてみる（2時間）。
	3	母音について（2）一英語の二重母音を中心に	英語の二重母音について、日本語やその他の言語と比較しながら、その特徴を理解する。	・授業時に示された課題（グループワーク）の下調べをしておくこと（2時間）。 ・授業内容の要点整理をし、重要な音声現象や用語についてさらに調べてみる（2時間）。
	4	母音からみた英語の変種（方言）について	母音からみた英国・北米・オセアニア・アジアなどの英語の変種について理解する。	・授業時に示された課題（グループワーク）の下調べをしておくこと（2時間）。 ・授業内容の要点整理をし、重要な音声現象や用語についてさらに調べてみる（2時間）。
	5	子音について（1）一英語の閉鎖音や摩擦音を中心に	英語の閉鎖音や摩擦音などの子音について、日本語と比較しながら、その特徴を理解する。	・授業時に示された課題（グループワーク）の下調べをしておくこと（2時間）。 ・授業内容の要点整理をし、重要な音声現象や用語についてさらに調べてみる（2時間）。
	6	子音について（2）一英語の鼻音や破擦音を中心に	英語の鼻音や破擦音などの子音について、日本語と比較しながら、その特徴を理解する。	・授業時に示された課題（グループワーク）の下調べをしておくこと（2時間）。 ・授業内容の要点整理をし、重要な音声現象や用語についてさらに調べてみる（2時間）。
	7	子音と半母音（接近音）について	子音と半母音（接近音）について、日英語を比較しながら、その特徴を理解する。	・授業時に示された課題（グループワーク）の下調べをしておくこと（2時間）。 ・授業内容の要点整理をし、重要な音声現象や用語についてさらに調べてみる（2時間）。
	8	音（音韻）の単位について一分節音と異音、音節とモーラなど	分節音と異音、音節とモーラなどの概念について、音韻構造の観点から理解する。	・授業時に示された課題（グループワーク）の下調べをしておくこと（2時間）。 ・授業内容の要点整理をし、重要な音声現象や用語についてさらに調べてみる（2時間）。
	9	音韻論と形態論の接点について	音韻論と形態論のインターフェイスの観点から、日英語の現象について考察する。	・授業時に示された課題（グループワーク）の下調べをしておくこと（2時間）。 ・授業内容の要点整理をし、重要な音声現象や用語についてさらに調べてみる（2時間）。
	10	音の変化について一連結・脱落・同化など	音連続における連結・脱落・同化などの現象について、具体例とともに理解する。	・授業時に示された課題（グループワーク）の下調べをしておくこと（2時間）。 ・授業内容の要点整理をし、重要な音声現象や用語についてさらに調べてみる（2時間）。
	11	強勢（アクセント）について	英語の強勢（アクセント）の特徴について、体系的に理解する。	・授業時に示された課題（グループワーク）の下調べをしておくこと（2時間）。 ・授業内容の要点整理をし、重要な音声現象や用語についてさらに調べてみる（2時間）。
	12	文法と音声の関連性について	英語の語順、品詞、分詞と動名詞などの文法と音声の関連性について理解する。	・授業時に示された課題（グループワーク）の下調べをしておくこと（2時間）。 ・授業内容の要点整理をし、重要な音声現象や用語についてさらに調べてみる（2時間）。
	13	リズムとイントネーションについて	英語のリズムやイントネーションについて、体系的に理解する。	・授業時に示された課題（グループワーク）の下調べをしておくこと（2時間）。 ・授業内容の要点整理をし、重要な音声現象や用語についてさらに調べてみる（2時間）。
	14	音韻の歴史の変遷について	中英語から現代英語へ至る音韻の歴史の変遷について理解する。	・授業時に示された課題（グループワーク）の下調べをしておくこと（2時間）。 ・授業内容の要点整理をし、重要な音声現象や用語についてさらに調べてみる（2時間）。
	15	まとめ	これまでの学習内容を総括する。	・授業時に示された課題（グループワーク）の下調べをしておくこと（2時間）。 ・授業内容の要点整理をし、重要な音声現象や用語についてさらに調べてみる（2時間）。

関連科目	他の語学科目など。																
教科書	<table><tr><td>番号</td><td>書籍名</td><td>著者名</td><td>出版社名</td></tr><tr><td>1</td><td>ルミナス英和辞典一つづり字と発音解説</td><td>竹林 滋・斎藤 弘子</td><td>研究社</td></tr><tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	ルミナス英和辞典一つづり字と発音解説	竹林 滋・斎藤 弘子	研究社	2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1	ルミナス英和辞典一つづり字と発音解説	竹林 滋・斎藤 弘子	研究社														
2																	
3																	
参考書	<table><tr><td>番号</td><td>書籍名</td><td>著者名</td><td>出版社名</td></tr><tr><td>1</td><td>大人の英語発音講座（生活人新書）</td><td>英語音声学研究会</td><td>NHK 出版</td></tr><tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	大人の英語発音講座（生活人新書）	英語音声学研究会	NHK 出版	2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1	大人の英語発音講座（生活人新書）	英語音声学研究会	NHK 出版														
2																	
3																	
評価方法 (基準)	定期試験 70%、 授業中のグループワーク 30%																
学生への メッセージ	・難易度の高い科目ですので、しっかりと取り組む姿勢が不可欠です。 ・知的好奇心を持った学生の受講を期待しています。																
担当者の 研究室等	7号館4階 中島研究室																
備考	授業のためのテキストの読解、担当教員から示された課題（グループワーク）の準備、授業内容の要点整理とさらなる調査などに要する事前・事後学習総時間を60時間程度とする。課題（グループワーク）に関するフィードバックは各回の授業内で行う。																

科目名	海外インターンシップ	科目名 (英文)	Overseas Internship
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択必修科目
学期	通年集中	授業担当者	中島 直嗣
ディプロマポリシー (DP)	DP2◎, DP5△		
科目ナンバリング	LDL3236c0		

授業概要・目的	外国語学部では、国際的な仕事で活躍できる人材の育成を目指しているが、この海外インターンシップは、将来、語学力を生かして、主に旅行・観光業界のビジネスに携わることを目標とする学生に向いている。具体的には、海外企業の現場を視察したり、実際に就業体験することによって、ビジネスの現場の言葉遣いやマナーを学ぶとともに、そこで働く人たちの現状や意識を正しく認識することを目的としている。また、日本と相手国の生活や文化の違いを正しく理解し、それらを尊重できる態度を身に付けるとともに、自分の考えを明確に表現し、コミュニケーション能力を向上させることも目的の一つである。 ※なお、この科目は、パッケージプログラム実習・演習科目の一つである。																		
到達目標	(1) 海外インターンシップの体験を通して、海外で働くためにはどのような能力や知識が必要なのかを理解する。 (2) 日本と相手国の生活や文化の違いを正しく理解し、それを仕事に応用できるような力を身につける。 (3) 仕事の現場で必要とされる語学力を用いて、自分の考えを明確に表現し、他者とコミュニケーションできる基礎が身につく。 (4) インターンシップの現場で体験したことを自らの言葉で人に語れるようになる。 (5) 仕事に対する興味・関心が高まる。																		
授業方法と留意点	・海外インターンシップは、本学内での事前・事後授業、実習先での研修、事後報告会から構成されている。 ・実習・演習科目であるため、すべてに必ず出席すること。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	海外インターンシップは、日本国内と海外グアムの2カ所において、旅行業界の就業体験を中心に実施する。近畿日本ツーリストグアム事務所またはホテルでのインターンシップのいずれかを選択して参加する。特に、旅行・観光業界に関心のある学生にとっては、有意義な体験ができるであろう。 <グアム・インターンシップ・プログラム> 日程 (予定) : 2020 年 3 月上旬の約 1 週間、グアムの近畿日本ツーリスト支店またはホテルにてインターンシップ *上記の他に事前授業、近畿日本ツーリスト国内支店でのインターンシップ、事後報告会が含まれる。 なお、2019 年度の日程や参加費用などの詳細については、後日説明会にて伝える。 ・事前学習課題 : 旅行・観光業界に関する記事やニュースを事前にチェックし、その概要や動向を把握しておくこと。 ・事後学習課題 : 就業体験に基づいて、レポートを作成するとともに、事後報告を行う。																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	事前・事後授業、研修の取り組み : 50% レポート : 50%																		
学生へのメッセージ	観光ホスピタリティや旅行業界に関心のある学生には、海外と国内の2つのインターンシップを一度で体験できる魅力的なプログラムです。また、就業体験を通じて、働くことに対する価値観や考え方を自分自身に問いかける良い機会になることでしょう。																		
担当者の研究室等	7 号館 4 階 中島研究室																		
備考	・レポートのフィードバックについては、受理した約 1 週間後に、コメントを添えて返却する。 ・参加希望者は、事前説明会に出席すること。																		

科目名	海外実習	科目名（英文）	Overseas Studies Programs
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択必修科目
学期	通年集中	授業担当者	田浦 アマダ
ディプロマポリシー (DP)	DP2○, DP5△, DP7○, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3238e0		

授業概要・目的	外国語学部では、世界の中の日本を理解し、国際的な立場で活躍する人材の育成という教育理念を実行に移す最も有効な手段の一つとして、海外実習を実施している。実習先大学において独自のプログラム授業を受けるとともに、現地での体験を通して、生活に密着した言語表現を学び、語学力に磨きかけることを目的としている。																		
到達目標	日本と実習先の国の生活や文化の違いを正しく理解し、自分と異なる考え方や生き方をする人々の存在を認め、それらを尊重できる態度を身に付ける。同時に、自分の考えを明確に表現し、意思疎通の図れるコミュニケーション能力を育成する。																		
授業方法と留意点	・本学内での事前授業と、実習先での研修（約3週間）によって構成される（※スペイン語コースは、春季（2月初旬～3月初旬で4週間余りとなる）の実施となる予定）。 ・事前指導には必ず出席すること。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	（1）事前授業 本学内での事前授業は7回程度行う。渡航に必要な手続きや所持品、安全面を中心とした注意事項（リスクマネジメント）や実習先の国・地域の社会の予備知識などをテーマに説明すると同時に、コミュニケーションに不可欠な会話能力を高めるため、毎回いくつかの課題に取り組んでいく。 （2）海外実習 実用会話を中心に学習する。教室での授業の他に、さまざまな課外アクティビティがある。また、中国語コース以外のコースはホームステイするので、ホストファミリーとの交流もその国の文化・生活習慣を学ぶ上で貴重な機会となる。 【実習先と実習時期（予定）】 ・英語コース（オーストラリア・サザンクロス大学[コフスハーバー校]）（8月中旬～9月初旬） ・中国語コース（中国・上海外国語大学）（8月上旬～8月下旬） ・スペイン語コース（スペイン・バレンシア州立アリカンテ大学）（2月初旬～3月初旬） ・インドネシア語コース（ストモ博士大学）（8月中旬～9月初旬）																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	事前授業、研修での現地講師による授業評価、全体の受講態度に基づき、担当教員が総合的に評価を行う。また、事前授業に欠席した者、受講態度・マナーの悪い者には、実習への参加および単位を認めないことがあるので、真剣に取り組むこと。 ※2015年度以降入学学生については、専門科目・パッケージプログラム科目の中の実習・演習科目として認定する。 ※2012～2014年度入学学生については、主言語科目と同一のコースに参加する場合は主言語科目として、共通言語科目のコースに参加する場合は専門科目として認定する。																		
学生へのメッセージ	オーストラリアでかけがえのない体験をしましょう！																		
担当者の研究室等	7号館3階 兪研究室（中国語コース）、 7号館4階 浦野研究室（インドネシア語コース） 7号館5階 北條研究室（スペイン語コース）、7号館5階 田浦研究室（英語コース）																		
備考	（1）参加人数が少ない場合は実施を取り止めたり、引率者をつけずに実施することがある。必ず授業担当者の指示に従うとともに、より一層、学生本人の主体性と危機管理意識が求められる。 （2）単位認定が成績に反映されるのは、実習実施の半期後になります。したがって、4年次後期参加者は卒業時まで成績登録されません。 ※スペイン語圏への短期研修として、夏期休業中にメキシコ・グアナフアト大学研修があり、これは国際交流センターが主催しています。																		

科目名	海外実習	科目名（英文）	Overseas Studies Programs
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択必修科目
学期	通年集中	授業担当者	俞 鳴蒙
ディプロマポリシー (DP)	DP2○, DP5△, DP7○, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3238e0		

授業概要・目的	外国語学部では、世界の中の日本を理解し、国際的な立場で活躍する人材の育成という教育理念を実行に移す最も有効な手段の一つとして、海外実習を実施している。実習先大学において独自のプログラム授業を受けるとともに、現地での体験を通して、生活に密着した言語表現を学び、語学力に磨きをかけることを目的としている。																		
到達目標	日本と実習先の国の生活や文化の違いを正しく理解し、自分と異なる考え方や生き方をする人々の存在を認め、それらを尊重できる態度を身に付ける。同時に、自分の考えを明確に表現し、意思疎通の図れるコミュニケーション能力を育成する。																		
授業方法と留意点	・本学内での事前授業と、実習先での研修（約3週間）によって構成される（※スペイン語コースは、春季（2月初旬～3月初旬で4週間余りとなる）の実施となる予定）。 ・事前指導には必ず出席すること。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	（1）事前授業 本学内での事前授業は7回程度行う。渡航に必要な手続きや所持品、安全面を中心とした注意事項（リスクマネジメント）や実習先の国・地域の社会の予備知識などをテーマに説明すると同時に、コミュニケーションに不可欠な会話能力を高めるため、毎回いくつかの課題に取り組んでいく。帰国後も学習の成果を確認する報告会を設ける。 （2）海外実習 他の国や他大学から集まった受講生と一緒に実用会話を中心に学習する。教室での授業の他に、さまざまな課外アクティビティがある。それも中国の文化・生活習慣を学ぶ上で貴重な機会となる。 【実習先と実習時期（予定）】 ・中国語コース（中国・上海外国語大学）（8月上旬～8月下旬）																		
関連科目	履修可能年次の専門言語科目と文化・社会科目																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	事前授業、研修での現地講師による授業評価、全体の受講態度に基づき、担当教員が総合的に評価を行う。また、事前授業に欠席した者、受講態度・マナーの悪い者には、実習への参加および単位を認めないことがあるので、真剣に取り組むこと。 ※2015年度以降入学学生については、専門科目・パッケージプログラム科目の中の実習・演習科目として認定する。 ※2012～2014年度入学学生については、主言語科目と同一のコースに参加する場合は主言語科目として、共通言語科目のコースに参加する場合は専門科目として認定する。																		
学生へのメッセージ	慣れない海外で実習をこなすのは色々不安がありますが、しかし、それ以上に得る物が多いと思います。																		
担当者の研究室等	7号館3階 俞研究室																		
備考	単位認定が成績に反映されるのは、実習実施の半期後になる。																		

科目名	海外実習	科目名（英文）	Overseas Studies Programs
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択必修科目
学期	通年集中	授業担当者	安達 直樹
ディプロマポリシー（DP）	DP2○, DP5△, DP7○, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3238e0		

授業概要・目的	外国語学部では、世界の中の日本を理解し、国際的な立場で活躍する人材の育成という教育理念を実行に移す最も有効な手段の一つとして、海外実習を実施している。実習先大学において独自のプログラム授業を受けるとともに、現地での体験を通して、生活に密着した言語表現を学び、語学力に磨きをかけることを目的としている。																			
到達目標	日本と実習先の国の生活や文化の違いを正しく理解し、自分と異なる考え方や生き方をする人々の存在を認め、それらを尊重できる態度を身に付ける。同時に、自分の考えを明確に表現し、意思疎通の図れるコミュニケーション能力を育成する。																			
授業方法と留意点	・本学内での事前授業と、実習先での研修（約3週間）によって構成される（※スペイン語コースは、春季（2月初旬～3月初旬で4週間余りとなる）の実施となる予定）。 ・履修条件として、対象となる言語について半年以上の学習歴を有することとする ・事前指導には必ず出席すること。 ・単位認定が成績に反映されるのは、実習実施の半期後になる（8・9月実施であれば後期、2・3月実施であれば前期）																			
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	（1）事前授業 本学内での事前授業は7回程度行う。渡航に必要な手続きや所持品、安全面を中心とした注意事項（リスクマネジメント）や実習先の国・地域の社会の予備知識などをテーマに説明すると同時に、コミュニケーションに不可欠な会話能力を高めるため、毎回いくつかの課題に取り組んでいく。 （2）海外実習 実用会話を中心に学習する。教室での授業の他に、さまざまな課外アクティビティがある。また、中国語コース以外のコースはホームステイするので、ホストファミリーとの交流もその国の文化・生活習慣を学ぶ上で貴重な機会となる。 【実習先と実習時期（予定）】 ・英語コース（オーストラリア・サザンクロス大学[コフスハーバー校]）（8月中旬～9月初旬） ・中国語コース（中国・上海外国語大学）（8月上旬～8月下旬） ・スペイン語コース（スペイン・バレンシア州立アリカンテ大学）（2月初旬～3月初旬） ・インドネシア語コース（ストモ博士大学）（8月中旬～9月初旬）																			
関連科目																				
教科書	<table><tr><td>番号</td><td>書籍名</td><td>著者名</td><td>出版社名</td></tr><tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3						
番号	書籍名	著者名	出版社名																	
1																				
2																				
3																				
参考書	<table><tr><td>番号</td><td>書籍名</td><td>著者名</td><td>出版社名</td></tr><tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3						
番号	書籍名	著者名	出版社名																	
1																				
2																				
3																				
評価方法（基準）	事前授業、研修での現地講師による授業評価、全体の受講態度に基づき、担当教員が総合的に評価を行う。また、事前授業に欠席した者、受講態度・マナーの悪い者には、実習への参加および単位を認めないことがあるので、真剣に取り組むこと。 ※2015年度以降入学学生については、専門科目・パッケージプログラム科目の中の実習・演習科目として認定する。 ※2012～2014年度入学学生については、主言語科目と同一のコースに参加する場合は主言語科目として、共通言語科目のコースに参加する場合は専門科目として認定する。																			
学生へのメッセージ																				
担当者の研究室等	7号館3階 兪研究室（中国語コース）、吉村研究室（英語コース） 7号館4階 浦野研究室（インドネシア語コース） 7号館5階 安達研究室（スペイン語コース）																			
備考	参加人数が少ない場合は実施を取り止めたり、引率者をつけずに実施することがある。必ず授業担当者の指示に従うとともに、より一層、学生本人の主体性と危機管理意識が求められる。 ※スペイン語圏への短期研修として、夏期休業中にメキシコ・グアナフアト大学研修があり、これは国際交流センターが主催しています。																			

科目名	海外実習	科目名（英文）	Overseas Studies Programs
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択必修科目
学期	通年集中	授業担当者	上田 達
ディプロマポリシー (DP)	DP2○, DP5△, DP7○, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3238e0		

授業概要・目的	外国語学部では、世界の中の日本を理解し、国際的な立場で活躍する人材の育成という教育理念を実行に移す最も有効な手段の一つとして、海外実習を実施している。実習先大学において独自のプログラム授業を受けるとともに、現地での体験を通して、生活に密着した言語表現を学び、語学力に磨きをかけることを目的としている。																		
到達目標	日本と実習先の国の生活や文化の違いを正しく理解し、自分と異なる考え方や生き方をする人々の存在を認め、それらを尊重できる態度を身に付ける。同時に、自分の考えを明確に表現し、意思疎通の図れるコミュニケーション能力を育成する。 ・履修条件として、対象となる言語について半年以上の学習歴を有することとする																		
授業方法と留意点	・本学内での事前授業と、実習先での研修（約3週間）によって構成される。 ・事前指導には必ず出席すること。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	（1）事前・事後授業 本学内での事前・事後授業は6回程度行う。スケジュールは受講者確定後に周知する。 渡航に必要な手続きや所持品、安全面を中心とした注意事項（リスクマネジメント）や実習先の国・地域の社会の予備知識などをテーマに説明すると同時に、コミュニケーションに不可欠な会話能力を高めるため、毎回いくつかの課題に取り組んでいく。帰国後も学習の成果を確認するための機会を設ける。 具体的には次のような項目について指導する。 ・事前準備と諸手続について（航空券、予防接種、etc.） ・マナーについて（誤解と理解） ・留学先事情①（マレーシアでの生活にかんする情報） ・留学先事情②（パハンやパハン大学について知る） ・ホームを離れる事（各種トラブルへの対応について） （2）海外実習 実用会話を中心に学習する。教室での授業の他に、さまざまな課外アクティビティがある。 【実習先と実習時期（予定）】 ・パハン大学（Universiti Malaysia Pahang）（8月中旬～9月初旬）																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	事前授業、研修での現地講師による授業評価、全体の受講態度に基づき、担当教員が総合的に評価を行う。また、事前授業に欠席した者、受講態度・マナーの悪い者には、実習への参加および単位を認めないことがあるので、真剣に取り組むこと。 ※2015年度以降入学学生については、専門科目・パッケージプログラム科目の中の実習・演習科目として認定する。 ※2012～2014年度入学学生については、主言語科目と同一のコースに参加する場合は主言語科目として、共通言語科目のコースに参加する場合は専門科目として認定する。																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7号館5階 上田研究室																		
備考	単位認定が成績に反映されるのは、実習実施の半期後（後期）になります。したがって、4年次後期参加者は卒業時まで成績登録されません。																		

科目名	海外留学事前演習	科目名 (英文)	Seminar for Study Abroad Program
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期集中	授業担当者	杉浦 秀行
ディプロマポリシー (DP)	DP1△, DP2△, DP5○, DP6○, DP7△, DP8△		
科目ナンバリング	LDL1241a0		

授業概要・目的	オセアニア（オーストラリア・ニュージーランド）留学に向けて、学生個々人の留学目的やプランニングを明確にし、充実した留学生活が送れるように導く。また、この授業では、グループ活動を通じて、オセアニアの文化や生活習慣、海外生活における危機管理、異文化適応などについて理解を深めたり、海外生活に必要な英語についても学んでいく。																		
到達目標	・留学アクション・プランを策定すること ・海外で生活する上での危機管理について十分な知識を得ること ・渡航先の国の国民性や文化、生活習慣について知識を得ること ・渡航先で出会う人々に日本の文化について英語で説明するための基礎的な表現力を修得する																		
授業方法と留意点	・授業では、グループ活動（グループで授業内容の下調べ、グループ・ディスカッション、グループ・プレゼンテーション）への積極的な参加が多く求められます。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	1. 留学手続き① 2. 留学手続き② 3. 自己紹介、留学アクション・プランについて考える 4. 情報収集①、英文メールの書き方、サバイバル英語 5. 情報収集②、サバイバル英語 6. オーストラリア、ニュージーランドの文化 7. 情報収集③ 8. 情報収集④ 9. 英語で自分や日本について紹介する② 10. 留学手続き③ 11. 危機管理について① 12. 留学アクション・プラン発表会 13. 危機管理について② 14、15. 渡航直前オリエンテーション 授業方法：講義＋グループ活動（グループ・ディスカッション） 事前、事後学習課題：次の回の授業内容について、下調べを徹底する（毎回各 2 時間）。また、12 回目の留学アクション・プランの発表に向けて、下調べや発表の準備をする（3 時間）																		
関連科目	エリアスタディーズ（オセアニア）																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業貢献度（グループ・ワーク、発表等）：40% 留学アクション・プランの内容：60%																		
学生へのメッセージ	素晴らしい留学生活が実現できるように、みんなでいっしょに準備しましょう！																		
担当者の研究室等	7 号館 5 階 杉浦研究室																		
備考	グループ・ワーク、発表等に関するフィードバックはその都度授業内で行います。																		

科目名	海外留学事前演習	科目名（英文）	Seminar for Study Abroad Program
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期集中	授業担当者	中島 直嗣
ディプロマポリシー (DP)	DP1△, DP2△, DP5○, DP6○, DP7△, DP8△		
科目ナンバリング	LDL1241a0		

授業概要・目的	北米（アメリカ合衆国・カナダ）の大学への留学に向けて、各自の留学目的や計画を明確にし、充実した留学生活が送れるように導くとともに、留学に関する様々な手続きを行っていく。また、発表（プレゼン）やグループ活動を通じて、留学先の文化や生活習慣、海外生活における危機管理、異文化適応などについて理解を深め、海外生活に必要な英語表現についても学んでいく。																		
到達目標	現地での勉学や生活を円滑に行うことができる素養と知識を身につけることを目標とする。																		
授業方法と留意点	授業では、留学手続きも並行して進めていく。よって、提出すべき書類を必ず期日までに提出すること（留学先[大学]ごとに、まとめて手続きを進めていくので、1 人の遅れがメンバー全員に迷惑をかけることになるため）。 ※8月上旬に、留学許可書やホームステイ先などの重要書類を配布する「出発直前説明会」を開催する予定であり、参加を義務づける。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<内容> 大きなテーマとして以下の4つが設定され、それぞれ数回の授業を割り当てる。 1. 留学手続きに関すること：旅行代理業者を交えて、留学手続きを進めていく。願書の作成、ビザの取得、保険の加入など、様々な手続きを行う。 2. 留学に関する事項を理解すること：留学先の情報、留学に際しての危機管理などを理解する。また、留学帰国者（先輩たち）の報告会を行い、これから出発する当科目受講者に必要な情報を提供する。 3. 留学に関係する英語表現を習得すること：留学先（現地）での勉学や生活を円滑に行うことができるように、必要な英語表現を学ぶ。 4. 日本の社会や文化について理解し、異文化交流ができるようになること：日本の事情について英語で説明できるようにする。 <方法> 講義、グループ・ディスカッション、プレゼンテーションなど <事前、事後学習課題> 1. 留学の手続きに必要なことを主体的に調べ、進めていく。 2. 次の回の授業内容について、グループで下調べをし、発表の準備をする。 ※事前・事後学習総時間は60時間程度を目安とする。																		
関連科目	エリアスタディーズ（北アメリカ）など																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>必要に応じて指示する</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	必要に応じて指示する			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	必要に応じて指示する																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	・授業に対する取り組み姿勢・態度、グループ・ディスカッション、プレゼンテーションなど：60% ・留学に関する書類を含めた提出物や課題：40% ※当科目の単位取得（＝海外留学許可）のためには、原則として全授業への出席を必須とする。																		
学生へのメッセージ	留学は、出発するまでの諸手続きにこそ重要な意味があり、将来の仕事にも必要な国際社会のルールや決まり事を学ぶことができる良い機会であることを忘れずに。																		
担当者の研究室等	7号館4階 中島研究室																		
備考	グループ・ディスカッション、プレゼンテーション、提出物、課題等に関するフィードバックはその都度（授業内で）行う。																		

科目名	海外留学事前演習	科目名 (英文)	Seminar for Study Abroad Program
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期集中	授業担当者	鈴木 大介
ディプロマポリシー (DP)	DP1△, DP2△, DP5○, DP6○, DP7△, DP8△		
科目ナンバリング	LDL1241a0		

授業概要・目的	海外留学は、提携大学での授業を受けるとともに、海外での暮らしを通して、語学力や人間力に磨きをかけることを目的とします。日本と相手国の生活や文化の違いを正しく理解し、自分と異なる考え方や生き方をする人々の存在を認め、それらを尊重できる態度を身に付けることが重要です。渡航までのスケジュール確認や留学提出書類の作成を進めると同時に、海外生活を送る上で必要不可欠な知識やスキルを身につけていきます。														
到達目標	(現地の人々と意思疎通を図る) コミュニケーション能力を育成しつつ、留学の準備を万全に整えます。														
授業方法と留意点	必ず毎回の授業に出席すること。														
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	1. ガイダンス:本講義の目的や方針などの確認 (Orientation and introduction) ・留学準備の重要性について ・日本語メールの基本的な書き方指導 ・英語で自己紹介 (日本の授業における自己紹介ではなく、海外で自己紹介する場面を想定) 2. 経費・送金・換金方法 (How to make a remittance to overseas countries/Exchange rates) 3～4. 入学手続きなど、各種提出書類 (How to fill in English application forms) 5. 出入国・渡航手続き (Student's visa, airport and flight information) 6. 英文メールの書き方 (How to write an email in English) ・英文メールの構成 ・海外大学担当者あてに英文メールを作成 7. サバイバル・イングリッシュ (Survival English) 配布資料を参考に、空港や機内、寮の仲間との顔合わせ、寮の友人とのトラブル、病院、危機的状況などの場面を想定して、最低限必要な英語表現を指導 9～10. 研修先事情:医療・衣食・交通・余暇 (Medical system, clothes and food, traffic system, and leisure) ・文化の差異 ・マナーなど 11. 日本の社会・文化の理解と伝え方 (How to explain the Japanese society and culture) 学生による下調べ、口頭発表 (物や写真を用いて説明) ・自分について (家族や自分の経験、自分の出身地の特徴など) ・日本社会・文化について 12. 帰国者報告会・出発予定者との質疑応答 (Questions and Answer: Talk with returnees) ・留学先で受ける可能性のあるテストについて ・英語の様々なテストの種類について 13. 安全対策 (Measures of safety) ・保険会社からの説明 ・危機管理 14～15. 最終確認と総括 (Summing up final check before departure) 留学先での目標、目標達成のための計画、その他やってみたいこと等														
関連科目	エリアスタディーズなど														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2			
番号	書籍名	著者名	出版社名												
1															
2															
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2			
番号	書籍名	著者名	出版社名												
1															
2															
評価方法 (基準)	発表や授業への取り組み (50%)、提出物等 (50%)														
学生へのメッセージ	安全で充実した留学生活を送るために、しっかりと事前演習を受けてください。														
担当者の研究室等	7 号館 5 階 鈴木研究室														
備考	発表や提出物等に関するフィードバックはその都度授業内で行います。														

科目名	海外留学事前演習	科目名 (英文)	Seminar for Study Abroad Program
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期集中	授業担当者	鈴木 大介
ディプロマポリシー (DP)	DP1△, DP2△, DP5○, DP6○, DP7△, DP8△		
科目ナンバリング	LDL1241a0		

授業概要・目的	海外留学は、提携大学での授業を受けるとともに、海外での暮らしを通して、語学力や人間力に磨きをかけることを目的とします。日本と相手国の生活や文化の違いを正しく理解し、自分と異なる考え方や生き方をする人々の存在を認め、それらを尊重できる態度を身に付けることが重要です。渡航までのスケジュール確認や留学提出書類の作成を進めると同時に、海外生活を送る上で必要不可欠な知識やスキルを身につけていきます。														
到達目標	(現地の人々と意思疎通を図る) コミュニケーション能力を育成しつつ、留学の準備を万全に整えます。														
授業方法と留意点	必ず毎回の授業に出席すること。														
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	1. ガイダンス:本講義の目的や方針などの確認 (Orientation and introduction) ・留学準備の重要性について ・日本語メールの基本的な書き方指導 ・英語で自己紹介 (日本の授業における自己紹介ではなく、海外で自己紹介する場面を想定) 2. 経費・送金・換金方法 (How to make a remittance to overseas countries/Exchange rates) 3～4. 入学手続きなど、各種提出書類 (How to fill in English application forms) 5. 出入国・渡航手続き (Student's visa, airport and flight information) 6. 英文メールの書き方 (How to write an email in English) ・英文メールの構成 ・海外大学担当者あてに英文メールを作成 7. サバイバル・イングリッシュ (Survival English) 配布資料を参考に、空港や機内、寮の仲間との顔合わせ、寮の友人とのトラブル、病院、危機的状況などの場面を想定して、最低限必要な英語表現を指導 9～10. 研修先事情:医療・衣食・交通・余暇 (Medical system, clothes and food, traffic system, and leisure) ・文化の差異 ・マナーなど 11. 日本の社会・文化の理解と伝え方 (How to explain the Japanese society and culture) 学生による下調べ、口頭発表 (物や写真を用いて説明) ・自分について (家族や自分の経験、自分の出身地の特徴など) ・日本社会・文化について 12. 帰国者報告会・出発予定者との質疑応答 (Questions and Answer: Talk with returnees) ・留学先で受ける可能性のあるテストについて ・英語の様々なテストの種類について 13. 安全対策 (Measures of safety) ・保険会社からの説明 ・危機管理 14～15. 最終確認と総括 (Summing up final check before departure) 留学先での目標、目標達成のための計画、その他やってみたいこと等														
関連科目	エリアスタディーズなど														
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2			
番号	書籍名	著者名	出版社名												
1															
2															
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2			
番号	書籍名	著者名	出版社名												
1															
2															
評価方法 (基準)	発表や授業への取り組み (50%)、提出物等 (50%)														
学生へのメッセージ	安全で充実した留学生活を送るために、しっかりと事前演習を受けてください。														
担当者の研究室等	7 号館 5 階 鈴木研究室														
備考	発表や提出物等に関するフィードバックはその都度授業内で行います。														

科目名	海外留学事前演習	科目名（英文）	Seminar for Study Abroad Program
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期集中	授業担当者	倉 鳴蒙
ディプロマポリシー（DP）	DP1△, DP2△, DP5○, DP6○, DP7△, DP8△		
科目ナンバリング	LDL1241a0		

授業概要・目的	海外語学留学は、提携大学の独自のプログラム授業を受けるとともに、現地での体験を通して、生活に密着した言葉づかいを学び、語学力に磨きかけることを目的とし、日本と相手国の生活や文化の違いを正しく理解し、自分と異なる考え方や生き方をする人々の存在を認め、それらを尊重できる態度を身に付ける同時に、自分の考えを明確に表現し、意思疎通の図れるコミュニケーション能力を育成する。 中国（北京あるいは上海）での留学はスムーズに行われ、実りあるものになるように、提携校の概要と環境、中国での生活上知っておくべきこと、日中文化の相違などを紹介しながら、渡航までのスケジュールの確認、大学提出書類作成など、留学のための万全な準備をしておくのを徹底して指導する。																		
到達目標	万全な留学準備を整える。																		
授業方法と留意点	メモを取るのが肝心であり、毎回要点を確認してもらう。 それぞれの授業では1時間の事前学習と1時間の事後学習を必要とする。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	1 回目：授業の目的を理解し、留学の意義を考える、提携校の概要と環境の紹介。 2 回目：留学手続きに関する留意点、留学願書の書類作成指導。 3 回目：留学願書の作成状況を確認、単位読み替えの仕組みの説明、履修上の注意事項、授業料、宿泊料、食費などの算出（日本円）、支払上の注意事項。 4 回目：ビザ申請の流れと海外旅行保険について説明。 5 回目：日中文化の相違について。 6 回目：留学先の歴史と最近の情勢について。 7 回目：留学先での生活上知っておくべきこと。 8 回目：留学経験者からのアドバイスを参考に、語学力向上やそれ以外の留学課題を考える。 9 回目：自己紹介のプレゼン、留学先での現金引き出しに使う銀行カードの入手方法。 10 回目：安全対策（外務省の事例集） 11 回目：医療関連の用語の中国語指導。 12 回目：志願大学からの中国語版の入学通知書、入学手引きを読解し、注意事項を整理。 13 回目：大使館へのビザ取得について指導、航空券の入手方法と留意点について。 14 回目：渡航に持っていくべきもの、用意しておくべきもの。 15 回目：日本文化についてのプレゼン、出発前の諸注意、諸準備の確認。																		
関連科目	履修可能年次の専門言語科目と文化・社会科目																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	提出物 70%、プレゼン 30%。																		
学生へのメッセージ	中国事情や中国文化の知識をたくさん知っておきましょう。																		
担当者の研究室等	7 号館 3 階（倉研究室）																		
備考																			

科目名	海外留学事前演習	科目名（英文）	Seminar for Study Abroad Program
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期集中	授業担当者	倉 鳴蒙
ディプロマポリシー（DP）	DP1△, DP2△, DP5○, DP6○, DP7△, DP8△		
科目ナンバリング	LDL1241a0		

授業概要・目的	海外語学留学は、提携大学の独自のプログラム授業を受けるとともに、現地での体験を通して、生活に密着した言葉づかいを学び、語学力に磨きかけることを目的とし、日本と相手国の生活や文化の違いを正しく理解し、自分と異なる考え方や生き方をする人々の存在を認め、それらを尊重できる態度を身に付ける同時に、自分の考えを明確に表現し、意思疎通の図れるコミュニケーション能力を育成する。 中国（北京あるいは上海）での留学はスムーズに行われ、実りあるものになるように、提携校の概要と環境、中国での生活上知っておくべきこと、日中文化の相違などを紹介しながら、渡航までのスケジュールの確認、大学提出書類作成など、留学のための万全な準備をしておくのを徹底して指導する。																		
到達目標	万全な留学準備を整える。																		
授業方法と留意点	メモを取るのが肝心であり、毎回要点を確認してもらう。 それぞれの授業では1時間の事前学習と1時間の事後学習を必要とする。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	1 回目：授業の目的を理解し、留学の意義を考える、提携校の概要と環境の紹介。 2 回目：留学手続きに関する留意点、留学願書の書類作成指導。 3 回目：留学願書の作成状況を確認、単位読み替えの仕組みの説明、履修上の注意事項、授業料、宿泊料、食費などの算出（日本円）、支払上の注意事項。 4 回目：ビザ申請の流れと海外旅行保険について説明。 5 回目：日中文化の相違について。 6 回目：留学先の歴史と最近の情勢について。 7 回目：留学先での生活上知っておくべきこと。 8 回目：留学経験者からのアドバイスを参考に、語学力向上やそれ以外の留学課題を考える。 9 回目：自己紹介のプレゼン、留学先での現金引き出しに使う銀行カードの入手方法。 10 回目：安全対策（外務省の事例集） 11 回目：医療関連の用語の中国語指導。 12 回目：志願大学からの中国語版の入学通知書、入学手引きを読解し、注意事項を整理。 13 回目：大使館へのビザ取得について指導、航空券の入手方法と留意点について。 14 回目：渡航に持っていくべきもの、用意しておくべきもの。 15 回目：日本文化についてのプレゼン、出発前の諸注意、諸準備の確認。																		
関連科目	履修可能年次の専門言語科目と文化・社会科目																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	提出物 70%、プレゼン 30%。																		
学生へのメッセージ	中国事情や中国文化の知識をたくさん知っておきましょう。																		
担当者の研究室等	7 号館 3 階（倉研究室）																		
備考	プレゼンや提出物に対して、口頭または文書でフィードバックを行う。																		

科目名	海外留学事前演習	科目名（英文）	Seminar for Study Abroad Program
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期集中	授業担当者	中西 正樹
ディプロマポリシー（DP）	DP1△, DP2△, DP5○, DP6○, DP7△, DP8△		
科目ナンバリング	LDL1241a0		

授業概要・目的	台湾での留学が有意義なものになるよう、留学の目的を明確するとともに留学によって達成すべき目標を設定します。また、同じ中国語圏でも台湾と中国の間では政治制度や経済、文化が違うことを学ぶとともに、留学提携校がある台北市および新北市の地理概況や交通について理解を深めます。中でも日本で中国語を学ぶさいに使われる漢字と台湾で使われる漢字が違うことに慣れることに重点をおいて学びます。																		
到達目標	・留学アクション・プランを策定します。 ・海外で生活する上での危機管理について十分な知識を得る。 ・渡航先の国の国民性や文化、生活習慣について知識を得る。 ・渡航先で出会う人々に日本の文化について中国語で説明するための基礎的な表現力を修得する。																		
授業方法と留意点	・授業では、グループ活動（グループで授業内容の下調べ、グループ・ディスカッション、グループ・プレゼンテーション）への積極的な参加が多く求められます。 各回の授業につき1時間の事前学習と1時間の事後学習が必要です。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<内容> 大きなテーマとして以下の4つが設定され、それぞれ数回の授業を割り当てます。 1. 留学手続きに関すること 留学先に留学を申請する → 留学許可書を取得する → ビザを取得する → 保険に加入する、といった大まかな流れを理解し、実際に授業の時間を利用して書類やWebへの記入を行います。 2. 留学に関する事項を理解すること 留学先の情報、留学に際しての危機管理などを理解します。同じ中国語圏でも中国と台湾とは違う点が多いうえ、台湾の中でも受け入れ校の間で違う点があります。台湾についての基本的な情報を学ぶほか、台湾に留学したことのある先輩から経験を聞きながら留学先の事情を把握します。 3. 留学に関係する中国語を理解すること 標準中国語は中国と台湾の間でほとんど違いませんが、台湾は繁体字を使う点で、簡体字を使う中国と違いがあります。この授業では、現地での学習にスムーズに馴染めるよう繁体字に慣れることに力を入れます。また、台湾の中国語に特徴的な発音や単語についても学びます。 4. 日本について中国語で発信できるようになること プレゼンなどを通じて日本の文化や時事問題について中国語で紹介できるよう準備します。 <方法> 講義＋グループ活動（グループ・ディスカッション、グループ・プレゼンテーション）など 留学アクション・プランを策定し提出します。 <事前、事後学習課題> 1. 留学の手続きを主体的に進めていく。申請に必要なことを調べます（1時間） 2. 次の回の授業内容について、個人またはグループで下調べをし、発表の準備をします（1時間）。																		
関連科目	エリアスタディーズ（東アジア）																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業貢献度（グループ・ワーク、発表等）：40％ 留学アクション・プランの内容：60％																		
学生へのメッセージ	素晴らしい留学生活が実現できるように、みんなでいっしょに準備しましょう！プレゼンや提出物に対して、口頭または文書でフィードバックを行います。																		
担当者の研究室等	中西研究室（7号館3階）																		
備考																			

科目名	海外留学事前演習	科目名（英文）	Seminar for Study Abroad Program
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期集中	授業担当者	中島 直嗣
ディプロマポリシー (DP)	DP1△, DP2△, DP5○, DP6○, DP7△, DP8△		
科目ナンバリング	LDL1241a0		

授業概要・目的	北米（アメリカ合衆国・カナダ）およびオセアニア（オーストラリア・ニュージーランド）の大学への留学に向けて、各自の留学目的や計画を明確にし、充実した留学生活が送れるように導くとともに、留学に関する様々な手続きを行っていく。また、発表（プレゼン）やグループ活動を通じて、留学先の文化や生活習慣、海外生活における危機管理、異文化適応などについて理解を深め、海外生活に必要な英語表現についても学んでいく。																		
到達目標	現地での勉学や生活を円滑に行うことができる素養と知識を身につけることを目標とする。																		
授業方法と留意点	授業では、留学手続きも並行して進めていく。よって、提出すべき書類を必ず期日までに提出すること（留学先[大学]ごとに、まとめて手続きを進めていくので、1 人の遅れがメンバー全員に迷惑をかけることになるため）。 ※2月上旬に、留学許可書やホームステイ先などの重要書類を配布する「出発直前説明会」を開催する予定であり、参加を義務づける。																		
授業テーマ・内容・方法・事前、事後学習課題	<内容> 大きなテーマとして以下の4つが設定され、それぞれ数回の授業を割り当てる。 1. 留学手続きに関すること：旅行代理業者を交えて、留学手続きを進めていく。願書の作成、ビザの取得、保険の加入など、様々な手続きを行う。 2. 留学に関する事項を理解すること：留学先の情報、留学に際しての危機管理などを理解する。また、留学帰国者（先輩たち）の報告会を行い、これから出発する当科目受講者に必要な情報を提供する。 3. 留学に関係する英語表現を習得すること：留学先（現地）での勉学や生活を円滑に行うことができるように、必要な英語表現を学ぶ。 4. 日本の社会や文化について理解し、異文化交流ができるようになること：日本の事情について英語で説明できるようにする。 <方法> 講義、グループ・ディスカッション、プレゼンテーションなど <事前、事後学習課題> 1. 留学の手続きに必要なことを主体的に調べ、進めていく。 2. 次の回の授業内容について、グループで下調べをし、発表の準備をする。 ※事前・事後学習総時間は60時間程度を目安とする。																		
関連科目	エリアスタディーズ（北アメリカ、オセアニア）など																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>必要に応じて指示する</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	必要に応じて指示する			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	必要に応じて指示する																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	・授業に対する取り組み姿勢・態度、グループ・ディスカッション、プレゼンテーションなど：60% ・留学に関する書類を含めた提出物や課題：40% ※当科目の単位取得（＝海外留学許可）のためには、原則として全授業への出席を必須とする。																		
学生へのメッセージ	留学は、出発するまでの諸手続きにこそ重要な意味があり、将来の仕事にも必要な国際社会のルールや決まり事を学ぶことができる良い機会であることを忘れずに。																		
担当者の研究室等	7号館4階 中島研究室																		
備考	グループ・ディスカッション、プレゼンテーション、提出物、課題等に関するフィードバックはその都度（授業内で）行う。																		

科目名	海外留学事前演習	科目名（英文）	Seminar for Study Abroad Program
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期集中	授業担当者	北條 ゆかり
ディプロマポリシー (DP)	DP1△, DP2△, DP5○, DP6○, DP7△, DP8△		
科目ナンバリング	LDL1241a0		

授業概要・目的	スペイン・サラゴサ大学への留学予定者を対象に、摂南大学外国語学部留学制度の適用を受けるに値する責任と義務を明確にし、受講可能なコース、入学手続き、学生ビザ申請方法等を詳しく解説する。ビザ申請、海外旅行保険加入、航空券入手等を自分自身で行えるよう導く。その他、出発前に必要な情報や、留学先スペインの歴史、文化、現代社会と政治情勢などに関する基礎知識を教授する。																		
到達目標	安全に責任感を持って有意義な留学生活を送れるよう、目的意識を明確化し、メキシコについての知識と理解を深める。同時に、日本の社会と文化についての知識を補い、スペイン語で説明できるよう準備する。																		
授業方法と留意点	皆出席し、遅延なくビザ申請に必要な書類の取得に当たること。与えられた課題に主体的に取り組むこと。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	以下の点について講義する。 ・ガイダンス ・事前準備と諸手続きについての解説（受講可能な授業の説明、入学申請手続き、学生ビザ申請手続き） ・生活習慣や守るべきマナーについて ・留学先事情（スペイン現代事情、アラゴン州サラゴサの歴史・地理、サラゴサ大学について） ・ホスト・ファミリーへのメール連絡、スペイン語による自己紹介 ・スペインの通史、地理、世界遺産、現代政治・経済、食文化、主な祝祭、日本との関係 ・留学帰国者を招いての質疑応答 ・日本の社会・文化についての知識と伝え方 ・スペイン語による勉学と日常生活に必要な語彙・表現 ・帰国後に果たすべき責任（留学報告会、出発予定者への助言、スペイン語科目の最大限受講を通じた継続学修、スペイン語技能検定 3 級合格、スピーチコンテスト参加等） 授業時間外の課題として、配布された文献を読みこなし、情報収集を行い、プレゼンの準備をすること。各種手続きに必要な書類の記入や取得はスケジュールを厳守すること。																		
関連科目	全スペイン語科目。スペイン語圏概論とエリア・スタディーズ（ラテンアメリカ）を履修すること。																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	演習に欠席・遅刻することなく、ビザ申請までの準備を指示通り遅延なく行えたか（40%）、留学先国、大学所在都市の歴史と現況について主体的・積極的に学ぼうとしたか、日本文化の諸相についてスペイン語で説明ができるまでの準備ができたか（60%）によって評価する。取り組み方によっては留学資格を失うこともありうる。																		
学生へのメッセージ	徒に現地での生活を恐れることはありません。 自ら率先して文献、雑誌、インターネット等を通じてスペインの情報入手し、知識を得る努力を怠らないこと。 留学中の先輩や同級生と Skype 等で直接連絡を取ることを勧めます。																		
担当者の研究室等	7 号館 5 階 北條研究室																		
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約 15 時間。 毎回の授業の始めに、前回の学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。																		

科目名	海外留学事前演習	科目名（英文）	Seminar for Study Abroad Program
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期集中	授業担当者	北條 ゆかり
ディプロマポリシー (DP)	DP1△, DP2△, DP5○, DP6○, DP7△, DP8△		
科目ナンバリング	LDL1241a0		

授業概要・目的	スペイン・サラゴサ大学への留学予定者を対象に、摂南大学外国語学部留学制度の適用を受けるに際する責任と義務を明確にし、受講可能なコース、入学手続き、学生ビザ申請方法等を詳しく解説する。ビザ申請、海外旅行保険加入、航空券入手等を自分自身で行えるよう導く。その他、出発前に必要な情報や、留学先スペインの歴史、文化、現代社会と政治情勢などに関する基礎知識を教授する。																		
到達目標	安全に責任感を持って有意義な留学生活を送れるよう、目的意識を明確化し、スペインについての知識と理解を深める。同時に、日本の社会と文化についての知識を補い、スペイン語で説明できるよう準備する。																		
授業方法と留意点	皆出席し、遅延なくビザ申請に必要な書類の取得に当たること。与えられた課題に主体的に取り組むこと。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	以下の点について講義する。 ・ガイダンス ・事前準備と諸手続きについての解説（受講可能な授業の説明、入学申請手続き、学生ビザ申請手続き） ・生活習慣や守るべきマナーについて ・留学先事情（スペイン現代事情、アラゴン州サラゴサの歴史・地理、サラゴサ大学について） ・ホスト・ファミリーへのメール連絡、スペイン語による自己紹介 ・スペインの通史、地理、世界遺産、現代政治・経済、食文化、主な祝祭、日本との関係 ・留学帰国者を招いての質疑応答 ・日本の社会・文化についての知識と伝え方 ・スペイン語による勉学と日常生活に必要な語彙・表現 ・帰国後に果たすべき責任（留学報告会、出発予定者への助言、スペイン語科目の最大限受講、スペイン語技能検定 3 級以上合格、スピーチコンテスト参加等） 授業時間外の課題として、配布された文献を読みこなし、情報収集を行い、プレゼンの準備をすること。各種手続きに必要な書類の記入や取得はスケジュールを厳守すること。																		
関連科目	全スペイン語科目。スペイン語圏概論とエリア・スタディーズ（ラテンアメリカ）をできるだけ履修すること。																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	演習に欠席・遅刻することなく、ビザ申請までの準備を指示通り遅延なく行えたか（40%）、留学先国、大学所在都市の歴史と現況について主体的・積極的に学ぼうとしたか、日本文化の諸相についてスペイン語で説明ができるまでの準備ができたか（60%）によって評価する。取り組み方によっては留学資格を失うこともありうる。																		
学生へのメッセージ	徒に現地での留学生活に恐れをなすことはありません。自ら率先して文献、雑誌、インターネット等を通じてスペインの情報入手し、知識を得る努力を怠らないこと。留学中の先輩や同級生と Skype 等で直接連絡を取ることを勧めます。																		
担当者の研究室等	7 号館 5 階 北條研究室																		
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約 15 時間。毎回の授業の始めに、前回の学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。																		

科目名	海外留学事前演習	科目名（英文）	Seminar for Study Abroad Program
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期集中	授業担当者	安達 直樹
ディプロマポリシー (DP)	DP1△, DP2△, DP5○, DP6○, DP7△, DP8△		
科目ナンバリング	LDL1241a0		

授業概要・目的	スペインアリカンテ大学への留学予定者が、摂南大学外国語学部留学制度の適用を受けるに際する責任と義務を明確にし記憶する。各自、受講するコース、入学手続き、学生ビザ申請方法等を自分で確認する。ビザ申請、海外旅行保険加入、航空券入手等を自分自身で行う。																		
到達目標	安全に責任感を持って有意義な留学生活を送れるよう、目的意識を明確化し、スペインについての知識と理解を深める。同時に、日本の社会と文化についての知識を補い、スペイン語で説明できるよう準備しておく。 自律心と規範意識の涵養。																		
授業方法と留意点	毎回出席し、遅延なくビザ申請に必要な書類の取得に備えること。与えられた課題に主体的に取り組むこと。注意されことを次の行動に反映させること。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	以下の点を扱う。 ・ガイダンス（学部合同のものもある） ・動機の確認、主体性について ・事前準備と諸手続きについて（受講可能な授業の説明、入学申請手続き、学生ビザ申請手続き） ・生活習慣や守るべきマナーについて ・留学先事情（アリカンテの歴史・地理、両大学について） ・ホスト・ファミリーへのメール連絡、スペイン語による自己紹介 ・スペインの通史、地理、世界遺産、現代政治・経済、食文化、主な祝祭、日本との関係 ・留学帰国者を招いての質疑応答 ・日本の社会・文化についての知識と伝え方 ・スペイン語による勉学と日常生活に必要な語彙・表現 ・帰国後に果たすべき責任（留学報告会、出発予定者への助言、スペイン語科目の受講継続、スペイン語技能検定 3 級以上合格、スピーチコンテスト参加等） 授業時間外の課題として、配布された文献を読みこなし、自ら情報収集を行い、プレゼンの準備をすること。各種手続きに必要な書類の記入や取得はスケジュールを厳守すること。																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	欠席・遅刻なしに、各自が自分自身のこととして、自覚的に主体的に積極的に取り組めたかどうかによって評価する（留学のための準備・手続きに対する取り組み・姿勢、発表、提出物＝100%） この出来によっては留学許可を取り消すこともある。																		
学生へのメッセージ	自分で考える、調べる、行動することが求められる。日本で自己管理（勉学においても）ができない者は、海外では生活ができない。甘えや思考のない言動は、許容されない。決して他人事のように丸投げにしたり、指示を待っているだけ、ということのないように。 個人の軽率な言動が、学部・大学といったレベルで、あるいは後輩の留学に対し、負の影響を及ぼすことについて、心に銘記すること。																		
担当者の研究室等	7 号館 5 階 安達研究室																		
備考	留学希望者各自の自律と規範を前提とし、手取り足取り面倒をみたりはしない。 留学中に羽目を外したり授業をさぼったり、問題を起こす者については、帰国後の単位認定を一部ないし全部行わない。 個々人の留学のために多くの人が関与・支援していることを忘れないこと。 事前・事後学習に要する総時間数は約 15 時間。 毎回の授業の始めに、前回の学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。																		

科目名	海外留学事前演習	科目名（英文）	Seminar for Study Abroad Program
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期集中	授業担当者	藤井 嘉祥
ディプロマポリシー (DP)	DP1△, DP2△, DP5○, DP6○, DP7△, DP8△		
科目ナンバリング	LDL1241a0		

授業概要・目的	メキシコ・グアナフアト大学への留学予定者を対象に、摂南大学外国語学部留学制度の適用を受けるに際する責任と義務を明確にし、受講可能なコース、入学手続き、学生ビザ申請方法を詳しく解説する。ビザ申請、海外旅行保険加入、航空券入手等を自分自身で行えるよう導く。その他、メキシコの歴史、文化、メキシコ特有のスペイン語等の留学中の勉強において必要となる基礎的な知識を得る。																		
到達目標	安全に責任感を持って有意義な留学生活を送れるよう、目的意識を明確化し、メキシコについての知識と理解を深める。同時に、日本の社会と文化についての知識を補い、スペイン語で説明できるよう準備する。																		
授業方法と留意点	すべて出席し、遅延なくビザ申請に必要な書類の取得に当たること。加えて、与えられた課題に主体的に取り組み、最後まで遂行すること。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	以下の点について講義する。 ・ガイダンス ・事前準備と諸手続きについての解説（受講可能な授業の説明、入学申請手続き、学生ビザ申請手続き） ・生活習慣や守るべきマナーについて ・留学先事情（メキシコ現代事情、グアナフアトの歴史・地理、グアナフアト大学について） ・ホスト・ファミリーへのメール連絡、スペイン語による自己紹介 ・メキシコの通史、地理、世界遺産、現代政治・経済、食文化、主な祝祭、日本との関係 ・留学帰国者を招いての質疑応答 ・日本の社会・文化についての知識と伝え方 ・スペイン語による勉学と日常生活に必要な語彙・表現 ・帰国後に果たすべき責任（留学報告会、出発予定者への助言、スペイン語科目の最大限受講を通じた継続学修、スペイン語技能検定 3 級以上合格、スピーチコンテスト参加等） 授業時間外の課題として、配布された文献を読みこなし、情報収集を行い、プレゼンの準備をすること。各種手続きに必要な書類の記入や取得はスケジュールを厳守すること。																		
関連科目	全スペイン語科目。スペイン語圏概論とエリア・スタディーズ（ラテンアメリカ）をできるだけ 1 年次で履修すること。																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	演習に欠席・遅刻することなく、ビザ申請までの準備を指示通り遅延なく行えたか（50%）、留学先国、大学所在都市の歴史と現況について主体的・積極的に学び、日本文化についてスペイン語で説明ができるまでの準備ができたか（50%）によって評価する。取り組み方によっては留学資格を失うこともありうる。																		
学生へのメッセージ	現地での生活を恐れることはありません。 自ら率先して書籍、雑誌、インターネットを通じてメキシコの情報にアクセスし、知識を得る意識を持ってください。 留学中の先輩や同級生と Skype 等で直接連絡を取ることを勧めます。																		
担当者の研究室等	7 号館 5 階 藤井研究室																		
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約 15 時間。 毎回の授業の始めに、前回の学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。																		

科目名	海外留学事前演習	科目名（英文）	Seminar for Study Abroad Program
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期集中	授業担当者	安達 直樹
ディプロマポリシー (DP)	DP1△, DP2△, DP5○, DP6○, DP7△, DP8△		
科目ナンバリング	LDL1241a0		

授業概要・目的	スペインアリカンテ大学への留学予定者が、摂南大学外国語学部留学制度の適用を受けるに際する責任と義務を明確にし記憶する。各自、受講するコース、入学手続き、学生ビザ申請方法等を自分で確認する。ビザ申請、海外旅行保険加入、航空券入手等を自分自身で行う。																		
到達目標	安全に責任感を持って有意義な留学生活を送れるよう、目的意識を明確化し、スペインについての知識と理解を深める。同時に、日本の社会と文化についての知識を補い、スペイン語で説明できるよう準備しておく。自律心と規範意識の涵養。																		
授業方法と留意点	毎回出席し、遅延なくビザ申請に必要な書類の取得に備えること。与えられた課題に主体的に取り組むこと。注意されことを次の行動に反映させること。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	以下の点を扱う。 ・ガイダンス（学部合同のものもある） ・動機の確認、主体性について ・事前準備と諸手続きについて（受講可能な授業の説明、入学申請手続き、学生ビザ申請手続き） ・生活習慣や守るべきマナーについて ・留学先事情（アリカンテの歴史・地理、大学について） ・ホスト・ファミリーへのメール連絡、スペイン語による自己紹介 ・スペインの通史、地理、世界遺産、現代政治・経済、食文化、主な祝祭、日本との関係 ・留学帰国者を招いての質疑応答 ・日本の社会・文化についての知識と伝え方 ・スペイン語による勉学と日常生活に必要な語彙・表現 ・帰国後に果たすべき責任（留学報告会、出発予定者への助言、スペイン語科目の受講継続、スペイン語技能検定 3 級以上合格、スピーチコンテスト参加等） 授業時間外の課題として、配布された文献を読みこなし、自ら情報収集を行い、プレゼンの準備をすること。各種手続きに必要な書類の記入や取得はスケジュールを厳守すること。																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	欠席・遅刻なしに、各自が自分自身のこととして、自覚的に主体的に積極的に取り組めたかどうかによって評価する（留学のための準備・手続きに対する取り組み・姿勢、発表、提出物＝100%） この出来によっては留学許可を取り消すこともある。																		
学生へのメッセージ	自分で考える、調べる、行動することが求められる。日本で自己管理（勉学においても）ができない者は、海外では生活ができない。甘えや思考のない言動は、許容されない。決して他人事のように丸投げにしたり、指示を待っているだけ、ということのないように。個人の軽率な言動が、学部・大学といったレベルで、あるいは後輩の留学に対し、負の影響を及ぼすことについて、心に銘記すること。																		
担当者の研究室等	7 号館 5 階 安達研究室																		
備考	留学希望者各自の自律と規範を前提とし、手取り足取り面倒をみたりはしない。 留学中に羽目を外したり授業をさぼったり、問題を起こす者については、帰国後の単位認定を一部ないし全部行わない。 個々人の留学のために多くの人が関与・支援していることを忘れないこと。																		

科目名	海外留学事前演習	科目名（英文）	Seminar for Study Abroad Program
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期集中	授業担当者	山口 真佐夫
ディプロマポリシー（DP）	DP1△, DP2△, DP5○, DP6○, DP7△, DP8△		
科目ナンバリング	LDL1241a0		

授業概要・目的	海外留学は、提携大学の独自のプログラム授業を受けるとともに、現地での体験を通して、生活に密着した言葉づかいを学び、語学力に磨きをかけることを目的とし、日本と相手国の生活や文化の違いを正しく理解し、自分と異なる考え方や生き方をする人々の存在を認め、それらを尊重できる態度を身に付ける同時に、自分の考えを明確に表現し、意思疎通の図れるコミュニケーション能力を育成する。 本授業は、インドネシア（ストモ博士大学）へ留学するに際して必要とされる知識、すなわち、同大学の概要と学習環境、インドネシアでの生活上知っておくべきこと、日本とインドネシアの文化の相違などを把握し、留学生活がより充実したものとなるよう展開される。また、渡航までのスケジュールの確認、大学提出書類作成など、留学のための万全なる準備を整え、留学出発へ備える。																		
到達目標	留学生活をより充実させるよう、万全な留学準備を整える。																		
授業方法と留意点	毎週、何らかの課題を出すので、それらすべてをそつなくこなすことが望まれる。また、言うまでもなく、出席は必須であり、1回でも欠席する、あるいは、こなすべき課題をしてこなかった場合など、準備が不十分であるとみなされた場合、留学許可が取り消されることになるので、十分に留意のこと。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	各回の授業内容は基本的には以下の通りであるが、ビザ手続きの進捗状況如何によっては、一部内容が変更される場合がある。 第1回目：本授業の目的・意義を理解し、今後のスケジュールを確認する。 第2回目：ビザ手続きおよび留学に際して折衝が必要となる行政機関の概要を確認する。 第3回目：ビザ手続き書類の再確認を行う。 第4回目：「留学報告会」に参加し、留学で得られるものを確認する。 第5回目：留学先大学（ストモ博士大学）の概要を把握する。 第6回目：インドネシア語で自己紹介ができるようにすると同時に、留学先大学へ提出する個人データを作成する。 第7回目：インドネシア語運用能力の確認を行う。 第8回目：異文化理解を通じて獲得できる知見とは何なのか、について留学経験者を交えて討論する。 第9回目：留学地での生活について、特に費用面にかんする確認を行う。 第10回目：現代世界の趨勢についての理解（例えばイスラム主義に関する理解）を深める。 第11回目：留学先において「日本」を紹介できるようにする。 第12回目：危機管理ガイダンスを行う。 第13回目：留学先での生活（医療・衣食住・保険・交通・金銭管理など）について、再確認する。 第14回目：在大阪総領事館へ提出する書類の内容および留意点を再確認する。 第15回目：留学出発に際する最終確認を行う。																		
関連科目	インドネシア語科目およびインドネシアに関する講義科目（インドネシア・マレー語圏概論等）すべて																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	毎週の課題をこなすなどの積極的な学習姿勢 100%																		
学生へのメッセージ	留学生生活を有意義なものとするために、本授業を前向きにしっかりと受講してください。																		
担当者の研究室等	山口室（7号館5階）																		
備考	予習・復習を15時間以上すること。																		

科目名	海外留学事前演習	科目名（英文）	Seminar for Study Abroad Program
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期集中	授業担当者	山口 真佐夫
ディプロマポリシー（DP）	DP1△, DP2△, DP5○, DP6○, DP7△, DP8△		
科目ナンバリング	LDL1241a0		

授業概要・目的	海外留学は、提携大学の独自のプログラム授業を受けるとともに、現地での体験を通して、生活に密着した言葉づかいを学び、語学力に磨きをかけることを目的とし、日本と相手国の生活や文化の違いを正しく理解し、自分と異なる考え方や生き方をする人々の存在を認め、それらを尊重できる態度を身に付ける同時に、自分の考えを明確に表現し、意思疎通の図れるコミュニケーション能力を育成する。 本授業は、インドネシア（ストモ博士大学）へ留学するに際して必要とされる知識、すなわち、同大学の概要と学習環境、インドネシアでの生活上知っておくべきこと、日本とインドネシアの文化の相違などを把握し、留学生活がより充実したものとなるよう展開される。また、渡航までのスケジュールの確認、大学提出書類作成など、留学のための万全なる準備を整え、留学出発へ備える。																		
到達目標	留学生活をより充実させるよう、万全な留学準備を整える。																		
授業方法と留意点	毎週、何らかの課題を出すので、それらすべてをそつなくこなすことが望まれる。また、言うまでもなく、出席は必須であり、1回でも欠席する、あるいは、こなすべき課題をしてこなかった場合など、準備が不十分であるとみなされた場合、留学許可が取り消されることになるので、十分に留意のこと。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	各回の授業内容は基本的には以下の通りであるが、ビザ手続きの進捗状況如何によっては、一部内容が変更される場合がある。 第1回目：本授業の目的・意義を理解し、今後のスケジュールを確認する。 第2回目：ビザ手続きおよび留学に際して折衝が必要となる行政機関の概要を確認する。 第3回目：ビザ手続き書類の再確認を行う。 第4回目：「留学報告会」に参加し、留学で得られるものを確認する。 第5回目：留学先大学（ストモ博士大学）の概要を把握する。 第6回目：インドネシア語で自己紹介ができるようにすると同時に、留学先大学へ提出する個人データを作成する。 第7回目：インドネシア語運用能力の確認を行う。 第8回目：異文化理解を通じて獲得できる知見とは何なのか、について留学経験者を交えて討論する。 第9回目：留学地での生活について、特に費用面にかんする確認を行う。 第10回目：現代世界の趨勢についての理解（例えばイスラム主義に関する理解）を深める。 第11回目：留学先において「日本」を紹介できるようにする。 第12回目：危機管理ガイダンスを行う。 第13回目：留学先での生活（医療・衣食住・保険・交通・金銭管理など）について、再確認する。 第14回目：在大阪総領事館へ提出する書類の内容および留意点を再確認する。 第15回目：留学出発に際する最終確認を行う。																		
関連科目	インドネシア語科目およびインドネシアに関する講義科目（インドネシア・マレー語圏概論等）すべて																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	毎週の課題をこなすなどの積極的な学習姿勢 100%																		
学生へのメッセージ	留学生活を有意義なものとするために、本授業を前向きにしっかりと受講してください。																		
担当者の研究室等	山口室（7号館5階）																		
備考	予習・復習を15時間以上すること。																		

科目名	海外留学事前演習	科目名（英文）	Seminar for Study Abroad Program
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期集中	授業担当者	上田 達
ディプロマポリシー (DP)	DP1△, DP2△, DP5○, DP6○, DP7△, DP8△		
科目ナンバリング	LDL1241a0		

授業概要・目的	マレーシア国民大学への留学予定者を対象に、ビザ取得や入学手続など、出発前に必要な情報や知識を教授する。																		
到達目標	「留学準備という機会を通じて、マレーシア社会について理解を深めること」と「マレーシア留学をケーススタディとして異文化に暮らすことの意味について考えること」を目指す。																		
授業方法と留意点	適宜課題を出すので、主体的に取り組むこと。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	受講者の持っている知識や情報、渡航経験の有無を考慮しつつ、以下の各点について講義する。 ・ガイダンス ・事前準備と諸手続について（ATMA での授業内容、航空券・予防接種・ビザのスケジューリング etc.） ・マナーについて（誤解と理解） ・マレーシアを知る（マレーシア社会について解説した日本語、マレー語、英語で書かれた文章を読む） ・留学先事情①（マレーシアでの生活にかんする情報） ・留学先事情②（マレーシア国民大学について知る） ・マレー語の単語・表現について ・ホームを離れる事（各種トラブルへの対応について） 授業時間外の課題として、課題文献の講読や既習事項の復習、図書館やネット上での情報収集、各種手続のための書類記入や各種書類の準備などを予定している。																		
関連科目	「基礎マレー語」																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業への取り組み状況（100%）から判断する。																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 5 階上田研究室																		
備考																			

科目名	海外留学事前演習	科目名（英文）	Seminar for Study Abroad Program
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期集中	授業担当者	上田 達
ディプロマポリシー (DP)	DP1△, DP2△, DP5○, DP6○, DP7△, DP8△		
科目ナンバリング	LDL1241a0		

授業概要・目的	マレーシア国民大学への留学予定者を対象に、ビザ取得や入学手続など、出発前に必要な情報や知識を教授する。																		
到達目標	「留学準備という機会を通じて、マレーシア社会について理解を深めること」と「マレーシア留学をケーススタディとして異文化に暮らすことの意味について考えること」を目指す。																		
授業方法と留意点	適宜課題を出すので、主体的に取り組むこと。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	受講者の持っている知識や情報、渡航経験の有無を考慮しつつ、以下の各点について講義する。 ・ガイダンス ・事前準備と諸手続について（ATMA での授業内容、航空券・予防接種・ビザのスケジューリング etc.） ・マナーについて（誤解と理解） ・マレーシアを知る（マレーシア社会について解説した日本語、マレー語、英語で書かれた文章を読む） ・留学先事情①（マレーシアでの生活にかんする情報） ・留学先事情②（マレーシア国民大学について知る） ・マレー語の単語・表現について ・ホームを離れる事（各種トラブルへの対応について） 授業時間外の課題として、課題文献の講読や既習事項の復習、図書館やネット上での情報収集、各種手続きのための書類記入や各種書類の準備などを予定している。																		
関連科目	「基礎マレー語」																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業への取り組み状況（100%）から判断する。																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 5 階上田研究室																		
備考																			

科目名	海外留学事前演習	科目名（英文）	Seminar for Study Abroad Program
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期集中	授業担当者	中西 正樹
ディプロマポリシー (DP)	DP1△, DP2△, DP5○, DP6○, DP7△, DP8△		
科目ナンバリング	LDL1241a0		

授業概要・目的	台湾での留学が有意義なものになるよう、留学の目的を明確するとともに留学によって達成すべき目標を設定します。また、同じ中国語圏でも台湾と中国の間では政治制度や経済、文化が違うことを学ぶとともに、留学提携校がある台北市および新北市の地理概況や交通について理解を深めます。中でも日本で中国語を学ぶさいに使われる漢字と台湾で使われる漢字が違うことに慣れることに重点をおいて学びます。																		
到達目標	・留学アクション・プランを策定します。 ・海外で生活する上での危機管理について十分な知識を得る。 ・渡航先の国の国民性や文化、生活習慣について知識を得る。 ・渡航先で出会う人々に日本の文化について中国語で説明するための基礎的な表現力を修得する。																		
授業方法と留意点	・授業では、グループ活動（グループで授業内容の下調べ、グループ・ディスカッション、グループ・プレゼンテーション）への積極的な参加が多く求められます。 各回の授業につき 1 時間の事前学習と 1 時間の事後学習が必要です。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<内容> 大きなテーマとして以下の 4 つが設定され、それぞれ数回の授業を割り当てます。 1. 留学手続きに関すること 留学先に留学を申請する → 留学許可書を取得する → ビザを取得する → 保険に加入する、といった大まかな流れを理解し、実際に授業の時間を利用して書類や Web への記入を行います。 2. 留学に関する事項を理解すること 留学先の情報、留学に際しての危機管理などを理解します。同じ中国語圏でも中国と台湾とは違う点が多いうえ、台湾の中でも受け入れ校の間で違う点があります。台湾についての基本的な情報を学ぶほか、台湾に留学したことのある先輩から経験を聞きながら留学先の事情を把握します。 3. 留学に関係する中国語を理解すること 標準中国語は中国と台湾の間でほとんど違いませんが、台湾は繁体字を使う点で、簡体字を使う中国と違いがあります。この授業では、現地での学習にスムーズに馴染めるよう繁体字に慣れることに力を入れます。また、台湾の中国語に特徴的な発音や単語についても学びます。 4. 日本について中国語で発信できるようになること プレゼンなどを通じて日本の文化や時事問題について中国語で紹介できるよう準備します。 <方法> 講義＋グループ活動（グループ・ディスカッション、グループ・プレゼンテーション）など 留学アクション・プランを策定し提出します。 <事前、事後学習課題> 1. 留学の手続きを主体的に進めていく。申請に必要なことを調べます（1 時間） 2. 次の回の授業内容について、個人またはグループで下調べをし、発表の準備をします（1 時間）。																		
関連科目	エリアスタディーズ（東アジア）																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業貢献度（グループ・ワーク、発表等）：40％ 留学アクション・プランの内容：60％																		
学生へのメッセージ	素晴らしい留学生活が実現できるように、みんなでいっしょに準備しましょう！																		
担当者の研究室等	中西研究室（7 号館 3 階）																		
備考	プレゼンや提出物に対して、口頭または文書でフィードバックを行います。																		

科目名	海外留学事前演習	科目名（英文）	Seminar for Study Abroad Program
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期集中	授業担当者	藤井 嘉祥
ディプロマポリシー (DP)	DP1△, DP2△, DP5○, DP6○, DP7△, DP8△		
科目ナンバリング	LDL1241a0		

授業概要・目的	メキシコ・グアナフアト大学への留学予定者を対象に、摂南大学外国語学部留学制度の適用を受けるに際する責任と義務を明確にし、受講可能なコース、入学手続き、学生ビザ申請方法を詳しく解説する。ビザ申請、海外旅行保険加入、航空券入手等を自分自身で行えるよう導く。その他、メキシコの歴史、文化、メキシコ特有のスペイン語等の留学中の勉強において必要となる基礎的な知識を得る。																		
到達目標	安全に責任感を持って有意義な留学生活を送れるよう、目的意識を明確化し、メキシコについての知識と理解を深める。同時に、日本の社会と文化についての知識を補い、スペイン語で説明できるよう準備する。																		
授業方法と留意点	すべて出席し、遅延なくビザ申請に必要な書類の取得に当たること。加えて、与えられた課題に主体的に取り組み、最後まで遂行すること。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	以下の点について講義する。 ・ガイダンス ・事前準備と諸手続きについての解説（受講可能な授業の説明、入学申請手続き、学生ビザ申請手続き） ・生活習慣や守るべきマナーについて ・留学先事情（メキシコ現代事情、グアナフアトの歴史・地理、グアナフアト大学について） ・ホスト・ファミリーへのメール連絡、スペイン語による自己紹介 ・メキシコの通史、地理、世界遺産、現代政治・経済、食文化、主な祝祭、日本との関係 ・留学帰国者を招いての質疑応答 ・日本の社会・文化についての知識と伝え方 ・スペイン語による勉強と日常生活に必要な語彙・表現 ・帰国後に果たすべき責任（留学報告会、出発予定者への助言、スペイン語科目の最大限受講を通じた継続学修、スペイン語技能検定 3 級以上合格、スピーチコンテスト参加等） 授業時間外の課題として、配布された文献を読みこなし、情報収集を行い、プレゼンの準備をすること。各種手続きに必要な書類の記入や取得はスケジュールを厳守すること。																		
関連科目	全スペイン語科目。スペイン語圏概論とエリア・スタディーズ（ラテンアメリカ）をできるだけ 1 年次で履修すること。																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	演習に欠席・遅刻することなく、ビザ申請までの準備を指示通り遅延なく行えたか（50%）、留学先国、大学所在都市の歴史と現況について主体的・積極的に学び、日本文化についてスペイン語で説明ができるまでの準備ができたか（50%）によって評価する。取り組み方によっては留学資格を失うこともありうる。																		
学生へのメッセージ	現地での生活を恐れることはありません。留学中の先輩や同級生と Skype 等で直接連絡を取ることを勧めます。																		
担当者の研究室等	7 号館 5 階 藤井研究室																		
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約 15 時間。 毎回の授業の始めに、前回の学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。																		

科目名	海外ワークキャンプ	科目名 (英文)	Overseas Work Experience
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択必修科目
学期	通年集中	授業担当者	浅野 英一
ディプロマポリシー (DP)	DP2◎, DP5△		
科目ナンバリング	LDL3237c0		

授業概要・目的	参加メンバー（履修生）との共同活動を通じ、開発途上国への理解を深め、実習先での経験との共通点、相違点を確認する。現地の人々との出会いの中から、見つけた新たな課題と、今後の関わり方について考える。 なお、この科目は、パッケージプログラム実習・演習科目の一つである。																		
到達目標	①使える語学力（英語）や、異文化コミュニケーション能力を身につける。 ②異なる社会・文化のなかで暮らし、働くための総合力を身につける。 ③フィールドでの実体験を通じて、国際知識を養い、多文化環境のもとプロジェクトを動かすスキルを修得する。 ④ボランティア、自立支援など、国内外の団体で活動ができる。																		
授業方法と留意点	履修登録学生は、オリエンテーションを行うので、必ず参加のこと。日時と教室は、ポータルにて連絡。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	事前教育 4 回程度（生活環境・語学・習慣・ハートアクティビティプログラム*の習得） 現地活動 2020 年 2 月中旬～3 月上旬の 2 週間を予定している。 *ハートアクティビティ (Human Relation Training) プログラム：いろいろなゲームを通して、緊張をほぐし、お互いに尊重することを学び、コミュニケーションや協力関係、豊かな人間関係を築いていくためのプログラム。 履修登録時の注意事項： 履修希望者は、説明会に参加し、担当教員から、十分な説明を受けた上で履修申請を行うことが望ましい。説明を受けないで、履修申請した場合、履修を取り消すことがある。																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	事前活動・現地活動状況・帰国後レポートを合わせて (100%) 評価する。																		
学生へのメッセージ	後期に説明会を行う。ポータルにて一斉に周知する。																		
担当者の研究室等	7 号館 5 階（浅野研究室・上田研究室）																		
備考	この授業の担当教員は、国際協力機構（JICA）の国際協力専門家として、アフリカ・ケニアにおいて 10 年間の勤務経験があり、摂南大学の現役学生を 33 名、JICA ボランティア（青年海外協力隊）に合格させた実績がある。現役学生の合格者数は、日本国内の大学でトップクラスとなっている。																		

科目名	外国語通訳法	科目名（英文）	Methods and Techniques for Interpretation
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	湊 由妃子
ディプロマポリシー (DP)	DP1○, DP2△		
科目ナンバリング	LDL3217e0		

授業概要・目的	この科目は外国語専門職プログラム対応科目である。 今までにつちかった英文法や語彙などの英語の知識があることと、その知識を使い、実際のコミュニケーションができることは異なるものである。 この授業では、翻訳とオーラルコミュニケーションを含む実務的な英語能力を養成することを目的とする。
到達目標	翻訳や通訳に関する基礎的な訓練を行うことにより、英語のコミュニケーション能力が向上する。 また、日本語らしい日本語訳の訓練、日本語から英語、英語から日本語への変換の訓練を通して、英語能力の向上はもとより、外国語専門職につくためのモチベーションがあがる。
授業方法と留意点	教科書は身近なトピックを扱い、英語から日本語、日本語から英語の多様な練習問題がある。予習を前提として、教科書の課題をこなしていく。 教科書以外にも翻訳、通訳に関する様々な問題に取り組む。 翻訳、通訳のための学習訓練では、積極的に授業に関わることが重要である。
科目学習の効果（資格）	外国語専門職に関連する資格試験

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Intoroduction	授業の進め方と評価方法の説明 翻訳訓練入門	来週の予習
	2	Unit 7: 日本の文化	英語から日本語 日本語から英語	予習と復習
	3	Unit 7: 日本の文化	日本語から英語 複数文通訳	予習と復習
	4	Unit 8: 海外の文化	英語から日本語 日本語から英語	予習と復習
	5	Unit 8: 海外の文化	日本語から英語 複数文通訳	予習と復習
	6	Unit 9: 社会事情 1	英語から日本語 日本語から英語	予習と復習
	7	Unit 9: 社会事情 1	日本語から英語 複数文通訳	予習と復習
	8	進度調整とテキスト以外の教材	実践的な学習訓練	予習と復習
	9	Unit 10: 社会事情 2	英語から日本語 日本から英語	予習と復習
	10	Unit 10: 社会事情 2	日本語から英語 複数文通訳	予習と復習
	11	Unit 11: 観光	英語から日本語 日本語から英語	予習と復習
	12	Unit 11: 観光	日本語から英語 複数文通訳	予習と復習
	13	Unit 12: コミュニケーション	英語から日本語 日本語から英語	予習と復習
	14	Unit 12: コミュニケーション	日本語から英語 複数文通訳	復習とテスト準備
	15	後期まとめ	後期の学習習熟度をみるためのまとめのテスト	事前のテスト準備

関連科目				
教科書				
	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Developing Interpreting Skills for Communication	齋藤 彩子/皆川 治恵/Richard G. Potter	南雲堂
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法（基準）	授業中の小テスト・発言・予習・提出等 60% まとめのテスト 40% 実務的な英語能力向上を目指す授業であるので、授業内での積極的な参加や課題提出は評価に大きく影響する。 詳しくは第1回目の授業で説明する。
学生へのメッセージ	集中力をもって、積極的に授業に参加すること
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
備考	毎回の授業のためにテキストや課題を読み、授業前にしっかり準備することが必要である。課題や予習に要する事前・事後の学習総時間は約3時間とする。 また、課題の提出期限は厳守すること。 随時、教科書以外の教材を使うため授業計画が変更されることがある。 質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。

科目名	外国語通訳法	科目名（英文）	Methods and Techniques for Interpretation
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	段 飛虹
ディプロマポリシー (DP)	DP1○, DP2△		
科目ナンバリング	LDL3217e0		

授業概要・目的	日本の地理と文化を中国語で表現するのに必要な語彙、表現、文法の知識とともに、観光文化に関する情報、通訳する技術を学ぶ。さらにそれを発表することによってプレゼンのスキルを身につける。																																																																		
到達目標	この科目は「外国語専門職」「観光ホスピタリティ」プログラム対応科目です。																																																																		
授業方法と留意点	日本の観光文化の基本知識を翻訳し、プレゼンの練習によって、通訳の能力を高める。																																																																		
科目学習の効果（資格）	通訳案内士 中国語検定 2 級																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>日本の自然・気候・風土①</td><td>日本の国土、人口、地形的な特徴、気候の特徴の中からよく知っていることについて、中国語で表現することを学ぶ。</td><td>資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。</td></tr> <tr> <td>2</td><td>日本の自然・気候・風土②</td><td>なぜ日本は地震と温泉が多いか、について、中国語で表現することを学ぶ。</td><td>資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンを行う。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>日本の自然・気候・風土③</td><td>櫻と桜の名所について、よく知っていることについて、中国語で表現することを学ぶ。</td><td>資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>観光名所①</td><td>金閣寺と清水寺など、よく知っていることについて、中国語で表現することを学ぶ。</td><td>資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。</td></tr> <tr> <td>5</td><td>観光名所②</td><td>銀座と渋谷など、よく知っているところについて、中国語で表現することを学ぶ。</td><td>資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。</td></tr> <tr> <td>6</td><td>観光名所③</td><td>北海道と箱根など、よく知っていることについて、中国語で表現することを学ぶ。</td><td>資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。</td></tr> <tr> <td>7</td><td>観光名所④</td><td>有名な城、人気なテーマパークなど、よく知っていることについて、中国語で表現することを学ぶ。</td><td>資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。</td></tr> <tr> <td>8</td><td>日本事情①</td><td>日本の国旗と国歌など、よく知っていることについて、中国語で表現することを学ぶ。</td><td>資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。</td></tr> <tr> <td>9</td><td>日本事情②</td><td>寺と神社はどんな時に行くか、について、中国語で表現することを学ぶ。</td><td>資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。</td></tr> <tr> <td>10</td><td>日本事情③</td><td>日本庭園の特徴について、中国語で表現することを学ぶ。</td><td>資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。</td></tr> <tr> <td>11</td><td>日本事情④</td><td>日本の芸者について、中国語で表現することを学ぶ。</td><td>資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。</td></tr> <tr> <td>12</td><td>日本事情⑤</td><td>お正月について、中国語で表現することを学ぶ。</td><td>資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。</td></tr> <tr> <td>13</td><td>日本事情⑥</td><td>神の使者カラスなどについて、よく知っていることについて、中国語で表現することを学ぶ。</td><td>資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。</td></tr> <tr> <td>14</td><td>日本事情⑦</td><td>日本人なぜ風呂が好きなのか、について、中国語で表現することを学ぶ。</td><td>資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。</td></tr> <tr> <td>15</td><td>日本事情⑧</td><td>日本人はどんな時に着物を着るか、について、中国語で表現することを学ぶ。</td><td>資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	日本の自然・気候・風土①	日本の国土、人口、地形的な特徴、気候の特徴の中からよく知っていることについて、中国語で表現することを学ぶ。	資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。	2	日本の自然・気候・風土②	なぜ日本は地震と温泉が多いか、について、中国語で表現することを学ぶ。	資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンを行う。	3	日本の自然・気候・風土③	櫻と桜の名所について、よく知っていることについて、中国語で表現することを学ぶ。	資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。	4	観光名所①	金閣寺と清水寺など、よく知っていることについて、中国語で表現することを学ぶ。	資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。	5	観光名所②	銀座と渋谷など、よく知っているところについて、中国語で表現することを学ぶ。	資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。	6	観光名所③	北海道と箱根など、よく知っていることについて、中国語で表現することを学ぶ。	資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。	7	観光名所④	有名な城、人気なテーマパークなど、よく知っていることについて、中国語で表現することを学ぶ。	資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。	8	日本事情①	日本の国旗と国歌など、よく知っていることについて、中国語で表現することを学ぶ。	資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。	9	日本事情②	寺と神社はどんな時に行くか、について、中国語で表現することを学ぶ。	資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。	10	日本事情③	日本庭園の特徴について、中国語で表現することを学ぶ。	資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。	11	日本事情④	日本の芸者について、中国語で表現することを学ぶ。	資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。	12	日本事情⑤	お正月について、中国語で表現することを学ぶ。	資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。	13	日本事情⑥	神の使者カラスなどについて、よく知っていることについて、中国語で表現することを学ぶ。	資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。	14	日本事情⑦	日本人なぜ風呂が好きなのか、について、中国語で表現することを学ぶ。	資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。	15	日本事情⑧	日本人はどんな時に着物を着るか、について、中国語で表現することを学ぶ。	資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	日本の自然・気候・風土①	日本の国土、人口、地形的な特徴、気候の特徴の中からよく知っていることについて、中国語で表現することを学ぶ。	資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。																																																																
2	日本の自然・気候・風土②	なぜ日本は地震と温泉が多いか、について、中国語で表現することを学ぶ。	資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンを行う。																																																																
3	日本の自然・気候・風土③	櫻と桜の名所について、よく知っていることについて、中国語で表現することを学ぶ。	資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。																																																																
4	観光名所①	金閣寺と清水寺など、よく知っていることについて、中国語で表現することを学ぶ。	資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。																																																																
5	観光名所②	銀座と渋谷など、よく知っているところについて、中国語で表現することを学ぶ。	資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。																																																																
6	観光名所③	北海道と箱根など、よく知っていることについて、中国語で表現することを学ぶ。	資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。																																																																
7	観光名所④	有名な城、人気なテーマパークなど、よく知っていることについて、中国語で表現することを学ぶ。	資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。																																																																
8	日本事情①	日本の国旗と国歌など、よく知っていることについて、中国語で表現することを学ぶ。	資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。																																																																
9	日本事情②	寺と神社はどんな時に行くか、について、中国語で表現することを学ぶ。	資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。																																																																
10	日本事情③	日本庭園の特徴について、中国語で表現することを学ぶ。	資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。																																																																
11	日本事情④	日本の芸者について、中国語で表現することを学ぶ。	資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。																																																																
12	日本事情⑤	お正月について、中国語で表現することを学ぶ。	資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。																																																																
13	日本事情⑥	神の使者カラスなどについて、よく知っていることについて、中国語で表現することを学ぶ。	資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。																																																																
14	日本事情⑦	日本人なぜ風呂が好きなのか、について、中国語で表現することを学ぶ。	資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。																																																																
15	日本事情⑧	日本人はどんな時に着物を着るか、について、中国語で表現することを学ぶ。	資料を調査し、中国語に翻訳して、そして?プレゼンの準備をする。																																																																
関連科目	中国語主言語または共通言語 2 年生対象科目を修了していること。																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>時事中国語の教科書（2019 年度版）</td><td>三瀧正道、陳祖？、古屋順子</td><td>朝日出版社</td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	時事中国語の教科書（2019 年度版）	三瀧正道、陳祖？、古屋順子	朝日出版社	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	時事中国語の教科書（2019 年度版）	三瀧正道、陳祖？、古屋順子	朝日出版社																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>中国語で日本のことを話してみる</td><td>秦燕・芳沢ひろ子</td><td>中経出版社</td></tr> <tr> <td>2</td><td>中国語で旅する 日本列島大縦断</td><td></td><td>㈱日中通信社</td></tr> <tr> <td>3</td><td>日中辞典</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	中国語で日本のことを話してみる	秦燕・芳沢ひろ子	中経出版社	2	中国語で旅する 日本列島大縦断		㈱日中通信社	3	日中辞典																																																		
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	中国語で日本のことを話してみる	秦燕・芳沢ひろ子	中経出版社																																																																
2	中国語で旅する 日本列島大縦断		㈱日中通信社																																																																
3	日中辞典																																																																		
評価方法（基準）	授業への参加度と提出物：50% 期末発表：50%																																																																		
学生へのメッセージ	事前 60 分以上の学習が必要です。教科書は使用していないが、参考となる書籍を適宜紹介するので、実際に手に取って読むことを強く進める																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 2 階非常勤講師室																																																																		
備考	授業時間外に質問したい場合、担当教員の授業曜日に非常勤講師室で問い合わせること。不在の場合は、専任教員（中西、愈、小都）を通じて問い合わせることもできる。																																																																		

科目名	外国語通訳法	科目名（英文）	Methods and Techniques for Interpretation
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	北條 ゆかり
ディプロマポリシー (DP)	DP1○, DP2△		
科目ナンバリング	LDL3217e0		

授業概要・目的	本授業は、国際キャリアコースの6つのパッケージプログラムのうち、「外国語専門職」プログラムに対応する科目です。通訳という専門的職業とはなにかを理解するために、その歴史、種類、求められる資質や能力、そのプロセス、翻訳との比較などの観点から、通訳という異言語間コミュニケーションの本質に迫る。その後、通訳トレーニングの紹介を通じて、言語コミュニケーションの本質を考える材料を提供し、導入的実践を行うことで、履修者は外国語学習の新しい方法を体験する。																																																																		
到達目標	通訳という職業を理論的に理解するとともに、実践的トレーニングを通じて異言語間コミュニケーションの方法論を学ぶ。																																																																		
授業方法と留意点	講義形式と実習の両方の要素があり、どちらにも積極的に参加し、チャレンジしてください。																																																																		
科目学習の効果（資格）	語学力を証明できる唯一の国家資格である通訳案内士の資格取得をめざす動機付けとなる。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>通訳とはなにか</td><td>通訳の歴史</td><td>シラバスを読む</td></tr> <tr> <td>2</td><td>通訳とはなにか</td><td>通訳の種類（技術上の分類；分野別の分類）</td><td>参考文献を読む</td></tr> <tr> <td>3</td><td>通訳とはなにか</td><td>通訳者に求められるもの</td><td>参考文献を読む</td></tr> <tr> <td>4</td><td>通訳とはなにか</td><td>コミュニケーション・スペシャリストに必要な要素</td><td>参考文献を読む</td></tr> <tr> <td>5</td><td>通訳のプロセス</td><td>言語学、心理学の最新理論</td><td>参考文献を読む</td></tr> <tr> <td>6</td><td>通訳のプロセス</td><td>翻訳との比較</td><td>参考文献を読む</td></tr> <tr> <td>7</td><td>中間試験とこれまでのまとめ</td><td>通訳という職業の本質について</td><td>通訳理論について学んだことを復習し、次回からの実践トレーニングで用いる教材を読む。</td></tr> <tr> <td>8</td><td>通訳トレーニング</td><td>シャドウイング</td><td>参考文献を読む</td></tr> <tr> <td>9</td><td>通訳トレーニング</td><td>スラッシュ・リーディング</td><td>参考文献を読む</td></tr> <tr> <td>10</td><td>通訳トレーニング</td><td>サイト・トランスレーション</td><td>参考文献を読む</td></tr> <tr> <td>11</td><td>通訳トレーニング</td><td>同時通訳と逐次通訳</td><td>参考文献を読む</td></tr> <tr> <td>12</td><td>実践編</td><td>スペイン語による通訳実践の試み（1）</td><td>参考文献を読む</td></tr> <tr> <td>13</td><td>実践編</td><td>スペイン語による通訳実践の試み（2）</td><td>参考文献を読む</td></tr> <tr> <td>14</td><td>プロの通訳を迎えて（または授業担当者による通訳業の具体例紹介）</td><td>体験談を聴く</td><td>参考文献を読む</td></tr> <tr> <td>15</td><td>臨時試験と総まとめ</td><td>国家資格「通訳案内士」についての説明</td><td>資格取得に向けて、勉強を開始する</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	通訳とはなにか	通訳の歴史	シラバスを読む	2	通訳とはなにか	通訳の種類（技術上の分類；分野別の分類）	参考文献を読む	3	通訳とはなにか	通訳者に求められるもの	参考文献を読む	4	通訳とはなにか	コミュニケーション・スペシャリストに必要な要素	参考文献を読む	5	通訳のプロセス	言語学、心理学の最新理論	参考文献を読む	6	通訳のプロセス	翻訳との比較	参考文献を読む	7	中間試験とこれまでのまとめ	通訳という職業の本質について	通訳理論について学んだことを復習し、次回からの実践トレーニングで用いる教材を読む。	8	通訳トレーニング	シャドウイング	参考文献を読む	9	通訳トレーニング	スラッシュ・リーディング	参考文献を読む	10	通訳トレーニング	サイト・トランスレーション	参考文献を読む	11	通訳トレーニング	同時通訳と逐次通訳	参考文献を読む	12	実践編	スペイン語による通訳実践の試み（1）	参考文献を読む	13	実践編	スペイン語による通訳実践の試み（2）	参考文献を読む	14	プロの通訳を迎えて（または授業担当者による通訳業の具体例紹介）	体験談を聴く	参考文献を読む	15	臨時試験と総まとめ	国家資格「通訳案内士」についての説明	資格取得に向けて、勉強を開始する
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	通訳とはなにか	通訳の歴史	シラバスを読む																																																																
2	通訳とはなにか	通訳の種類（技術上の分類；分野別の分類）	参考文献を読む																																																																
3	通訳とはなにか	通訳者に求められるもの	参考文献を読む																																																																
4	通訳とはなにか	コミュニケーション・スペシャリストに必要な要素	参考文献を読む																																																																
5	通訳のプロセス	言語学、心理学の最新理論	参考文献を読む																																																																
6	通訳のプロセス	翻訳との比較	参考文献を読む																																																																
7	中間試験とこれまでのまとめ	通訳という職業の本質について	通訳理論について学んだことを復習し、次回からの実践トレーニングで用いる教材を読む。																																																																
8	通訳トレーニング	シャドウイング	参考文献を読む																																																																
9	通訳トレーニング	スラッシュ・リーディング	参考文献を読む																																																																
10	通訳トレーニング	サイト・トランスレーション	参考文献を読む																																																																
11	通訳トレーニング	同時通訳と逐次通訳	参考文献を読む																																																																
12	実践編	スペイン語による通訳実践の試み（1）	参考文献を読む																																																																
13	実践編	スペイン語による通訳実践の試み（2）	参考文献を読む																																																																
14	プロの通訳を迎えて（または授業担当者による通訳業の具体例紹介）	体験談を聴く	参考文献を読む																																																																
15	臨時試験と総まとめ	国家資格「通訳案内士」についての説明	資格取得に向けて、勉強を開始する																																																																
関連科目	外国語翻訳法																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>不実な美女か貞淑な醜女か</td><td>米原万里</td><td>新潮文庫</td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	不実な美女か貞淑な醜女か	米原万里	新潮文庫	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	不実な美女か貞淑な醜女か	米原万里	新潮文庫																																																																
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	講義内容に対する質問や提案、実習への積極的参加等 80%、学期中の小テスト、臨時試験 20%																																																																		
学生へのメッセージ	通訳案内士や会議通訳として活躍する人物をお招きする機会をできれば設けます（時期は14回目とは限りません）。紹介する参考文献をどんどん読み進めてください。																																																																		
担当者の研究室等	7号館5階 北條研究室																																																																		
備考	毎回の授業内容について質問やコメントを求め、次回の授業中にそれに対する説明などのフィードバックを行う。事前・事後学習に要する総時間数は約60時間を目安とする。																																																																		

科目名	外国語通訳法	科目名（英文）	Methods and Techniques for Interpretation
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	エニ レスタリ
ディプロマポリシー (DP)	DP1○, DP2△		
科目ナンバリング	LDL3217e0		

授業概要・目的	インドネシア語における専門的知識と能力を持った人材になるための授業を行う。需要が多いが、使える人が少ないインドネシア語の専門的人材になるための通訳の技術を養う。この授業を通してインドネシア語能力の充実を目指す。																																																																		
到達目標	インドネシア語⇄日本語の通訳を専門的に行うことができる能力の習得。																																																																		
授業方法と留意点	すでに2年間インドネシア語を学んできた上で、さらなる能力の向上を目指すのであれば、各受講生は自分で十分準備をしてから授業に望んでほしい。様々な場面や内容によるインドネシア語⇄日本語の通訳を練習する。																																																																		
科目学習の効果（資格）	通訳の知識を取得し、通訳者人材になることが出来る。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>オリエンテーション</td><td>授業の進め方、評価についての説明。</td><td>シラバスを読んでおくこと。</td></tr> <tr> <td>2</td><td>通訳・翻訳①</td><td>通訳・翻訳に関する基本的な知識の説明。</td><td>通訳に必要なものは何か、考えておくこと。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>日本語⇄インドネシア語の案内文 ①交通機関</td><td>通訳の練習 1 インドネシア語から日本語への通訳練習。</td><td>通訳内容の予習をしておくこと。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>日本語⇄インドネシア語案内文 病院・役所関係</td><td>通訳の練習 2 日本語語からインドネシア語への翻訳練習 2。</td><td>通訳内容の予習をしておくこと。</td></tr> <tr> <td>5</td><td>日本語⇄インドネシア語の観光案内①</td><td>通訳の練習 3 インドネシア語から日本語への通訳練習 3。</td><td>通訳内容の予習をしておくこと。</td></tr> <tr> <td>6</td><td>日本語⇄インドネシア語の観光案内 ②</td><td>通訳の練習 4 日本語からインドネシア語への通訳練習 4</td><td>通訳内容の予習をしておくこと。</td></tr> <tr> <td>7</td><td>日本語⇄インドネシア語の観光案内 ③</td><td>通訳の練習 5 日本語からインドネシア語への通訳練習 5。</td><td>通訳内容の予習をしておくこと。</td></tr> <tr> <td>8</td><td>通訳 7</td><td>通訳の練習 6 日本語からインドネシア語への通訳練習 6。</td><td>通訳内容の予習をしておくこと。</td></tr> <tr> <td>9</td><td>ナレーションの通訳 ①</td><td>インドネシア語から日本語。</td><td>通訳内容の予習をしておくこと。</td></tr> <tr> <td>10</td><td>ナレーション通訳 ②</td><td>日本語からインドネシア語。</td><td>通訳内容の予習をしておくこと。</td></tr> <tr> <td>11</td><td>9 回～10 回までのまとめ</td><td>これまでに学んだことの復習と通訳テスト。</td><td>この授業に関する質問を用意しておくこと。</td></tr> <tr> <td>12</td><td>実践的な会話場面の通訳</td><td>インドネシア語から日本語。</td><td>通訳内容の予習をしておくこと。</td></tr> <tr> <td>13</td><td>ニュースの通訳①</td><td>インドネシア語から日本語。</td><td>通訳内容の予習をしておくこと。</td></tr> <tr> <td>14</td><td>ニュースの通訳</td><td>日本語からインドネシア語</td><td>第 9 回から第 13 回の復習をしておくこと。</td></tr> <tr> <td>15</td><td>12 回～14 回までのまとめ</td><td>これまでに学んだことの復習と理解度テスト。</td><td>この授業に関する質問を用意しておくこと。</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション	授業の進め方、評価についての説明。	シラバスを読んでおくこと。	2	通訳・翻訳①	通訳・翻訳に関する基本的な知識の説明。	通訳に必要なものは何か、考えておくこと。	3	日本語⇄インドネシア語の案内文 ①交通機関	通訳の練習 1 インドネシア語から日本語への通訳練習。	通訳内容の予習をしておくこと。	4	日本語⇄インドネシア語案内文 病院・役所関係	通訳の練習 2 日本語語からインドネシア語への翻訳練習 2。	通訳内容の予習をしておくこと。	5	日本語⇄インドネシア語の観光案内①	通訳の練習 3 インドネシア語から日本語への通訳練習 3。	通訳内容の予習をしておくこと。	6	日本語⇄インドネシア語の観光案内 ②	通訳の練習 4 日本語からインドネシア語への通訳練習 4	通訳内容の予習をしておくこと。	7	日本語⇄インドネシア語の観光案内 ③	通訳の練習 5 日本語からインドネシア語への通訳練習 5。	通訳内容の予習をしておくこと。	8	通訳 7	通訳の練習 6 日本語からインドネシア語への通訳練習 6。	通訳内容の予習をしておくこと。	9	ナレーションの通訳 ①	インドネシア語から日本語。	通訳内容の予習をしておくこと。	10	ナレーション通訳 ②	日本語からインドネシア語。	通訳内容の予習をしておくこと。	11	9 回～10 回までのまとめ	これまでに学んだことの復習と通訳テスト。	この授業に関する質問を用意しておくこと。	12	実践的な会話場面の通訳	インドネシア語から日本語。	通訳内容の予習をしておくこと。	13	ニュースの通訳①	インドネシア語から日本語。	通訳内容の予習をしておくこと。	14	ニュースの通訳	日本語からインドネシア語	第 9 回から第 13 回の復習をしておくこと。	15	12 回～14 回までのまとめ	これまでに学んだことの復習と理解度テスト。	この授業に関する質問を用意しておくこと。
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション	授業の進め方、評価についての説明。	シラバスを読んでおくこと。																																																																
2	通訳・翻訳①	通訳・翻訳に関する基本的な知識の説明。	通訳に必要なものは何か、考えておくこと。																																																																
3	日本語⇄インドネシア語の案内文 ①交通機関	通訳の練習 1 インドネシア語から日本語への通訳練習。	通訳内容の予習をしておくこと。																																																																
4	日本語⇄インドネシア語案内文 病院・役所関係	通訳の練習 2 日本語語からインドネシア語への翻訳練習 2。	通訳内容の予習をしておくこと。																																																																
5	日本語⇄インドネシア語の観光案内①	通訳の練習 3 インドネシア語から日本語への通訳練習 3。	通訳内容の予習をしておくこと。																																																																
6	日本語⇄インドネシア語の観光案内 ②	通訳の練習 4 日本語からインドネシア語への通訳練習 4	通訳内容の予習をしておくこと。																																																																
7	日本語⇄インドネシア語の観光案内 ③	通訳の練習 5 日本語からインドネシア語への通訳練習 5。	通訳内容の予習をしておくこと。																																																																
8	通訳 7	通訳の練習 6 日本語からインドネシア語への通訳練習 6。	通訳内容の予習をしておくこと。																																																																
9	ナレーションの通訳 ①	インドネシア語から日本語。	通訳内容の予習をしておくこと。																																																																
10	ナレーション通訳 ②	日本語からインドネシア語。	通訳内容の予習をしておくこと。																																																																
11	9 回～10 回までのまとめ	これまでに学んだことの復習と通訳テスト。	この授業に関する質問を用意しておくこと。																																																																
12	実践的な会話場面の通訳	インドネシア語から日本語。	通訳内容の予習をしておくこと。																																																																
13	ニュースの通訳①	インドネシア語から日本語。	通訳内容の予習をしておくこと。																																																																
14	ニュースの通訳	日本語からインドネシア語	第 9 回から第 13 回の復習をしておくこと。																																																																
15	12 回～14 回までのまとめ	これまでに学んだことの復習と理解度テスト。	この授業に関する質問を用意しておくこと。																																																																
関連科目	専攻言語インドネシア語の科目すべて																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	毎回提出する翻訳文、後半に行われる理解度テストおよび平常点と積極的な授業参加度の度合いなどを総合的に判断する。																																																																		
学生へのメッセージ	4 年間のインドネシア語学習の完成を目指して、努力をしてほしい。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 2 階 （非常勤講師室）																																																																		
備考	指示された予習・復習には充分時間をかけ、学習効果を上げるようにすること。 事前・事後学習の総時間数は、60 時間以上とする。																																																																		

科目名	外国語翻訳法	科目名（英文）	Methods and Techniques for Translation
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	湊 由妃子
ディプロマポリシー (DP)	DP1○, DP2△		
科目ナンバリング	LDL3216e0		

授業概要・目的	この科目は外国語専門職プログラム対応科目である。 今までにつちかった英文法や語彙などの英語の知識があることと、その知識を使い、実際のコミュニケーションができることは異なるものである。 この授業では、翻訳とオーラルコミュニケーションを含む実務的な英語能力を養成することを目的とする。
到達目標	翻訳や通訳に関する基礎的な訓練を行うことにより、英語のコミュニケーション能力が向上する。 また、日本語らしい日本語訳の訓練、日本語から英語、英語から日本語への変換の訓練を通して、英語能力の向上はもとより、外国語専門職につくためのモチベーションがあがる。
授業方法と留意点	教科書は身近なトピックを扱い、英語から日本語、日本語から英語の多様な練習問題がある。予習を前提として、教科書の課題をこなしていく。 教科書以外にも翻訳、通訳に関する様々な問題に取り組む。 翻訳、通訳のための学習訓練では、積極的に授業に関わることが重要である。
科目学習の効果（資格）	外国語専門職に関連する資格試験

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	授業の進め方と評価方法の説明 翻訳訓練入門	来週の予習
	2	Unit 1: 家族	英語から日本語 日本語から英語	予習と復習
	3	Unit 1: 家族	日本語から英語 複数文通訳	予習と復習
	4	Unit 2: 大学生活	英語から日本語 日本語から英語	予習と復習
	5	Unit 2: 大学生活	日本語から英語 複数文通訳	予習と復習
	6	Unit 3: 趣味 1	英語から日本語 日本語から英語	予習と復習
	7	Unit 3: 趣味 1	日本語から英語 複数文通訳	予習と復習
	8	進度調整とテキスト以外の教材	実践的な学習訓練	予習と復習
	9	Unit 4: 趣味 2	英語から日本語 日本から英語	予習と復習
	10	Unit 4: 趣味 2	日本語から英語 複数文通訳	予習と復習
	11	Unit 5: 国際交流 実践演習 1	英語から日本語 日本語から英語	予習と復習
	12	Unit 5: 国際交流 実践演習 1	日本語から英語 複数文通訳	予習と復習
	13	Unit 6: 国際交流 実践演習 2	英語から日本語 日本語から英語	予習と復習
	14	Unit 6: 国際交流 実践演習 2	日本語から英語 複数文通訳	復習とテスト準備
	15	前期まとめ	前期の学習習熟度をみるためのまとめのテスト	事前のテスト準備

関連科目				
教科書				
	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Developing Interpreting Skills for Communication	齋藤 彩子/皆川 治恵/Richard G. Potter	南雲堂
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法（基準）	授業中の小テスト・発言・予習・提出等 60% まとめのテスト 40% 実務的な英語能力向上を目指す授業であるので、授業内での積極的な参加や課題提出は評価に大きく影響する。
----------	---

学生へのメッセージ	集中力をもって、積極的に授業に参加すること
-----------	-----------------------

担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室
----------	-----------------

備考	毎回の授業のためにテキストや課題を読み、授業前にしっかり準備することが必要である。課題や予習に要する事前・事後の学習総時間は約 3 時間とする。 また、課題の提出期限は厳守すること。 随時、教科書以外の教材を使うため、授業計画の変更がある。 質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。
----	---

科目名	外国語翻訳法	科目名（英文）	Methods and Techniques for Translation
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	安達 直樹
ディプロマポリシー (DP)	DP1○, DP2△		
科目ナンバリング	LDL3216e0		

授業概要・目的	この科目は外国語専門職プログラム対応科目である。 スペイン語の文章を日本語にする練習。 翻訳とは、単純な語句の置き換えではなく、解釈と表現の両面で熟考を要する作業である。 まず、スペイン語の文章を文法的・論理的に正しくとらえること、次に、それを機械翻訳のような逐語的な訳ではなく日本語らしく表現することを心がける。																																																																		
到達目標	スペイン語の様々なジャンル・スタイルの文章を、正確に読み解く力を養うこと。 新聞記事やエッセイ、小説や評論など、ジャンルや書き手による文体の相違（存在）に気づくこと。 日本語とスペイン語の違いを、文法や表現法のレベルで認識すること。 日本語について考えること（文法や言い回し、日本人の言語文化）。 言語が文化そのものであるという認識をもとに、文法的にも文化的にも適当な翻訳ができるようになること。																																																																		
授業方法と留意点	予習・復習に相当の時間をかけること。 毎回、様々な文章を題材として与える。文脈や時系列、論理の筋、話の展開を意識して読む。																																																																		
科目学習の効果（資格）	言語能力（文法および論理と表現の面）を鍛えること。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>オリエンテーション</td><td>どのように授業を行うか。 翻訳とはどういうものか。 辞書や参考書、アプリやツールについての説明。</td><td>シラバスを読む 課題に取り組む</td></tr> <tr> <td>2</td><td>読み物</td><td>教材になった文章を読む。 内容は、社会・文化について。</td><td>読みと訳に取り組む。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>読み物</td><td>教材になった文章を読む。 内容は、社会・文化について。</td><td>読みと訳に取り組む。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>読み物</td><td>教材になった文章を読む。 内容は、社会・文化について。</td><td>読みと訳に取り組む。</td></tr> <tr> <td>5</td><td>読み物</td><td>新聞記事や評論の文章を読む。</td><td>読みと訳に取り組む。</td></tr> <tr> <td>6</td><td>読み物</td><td>新聞記事や評論の文章を読む。</td><td>読みと訳に取り組む。</td></tr> <tr> <td>7</td><td>読み物</td><td>新聞記事や評論の文章を読む。</td><td>読みと訳に取り組む。</td></tr> <tr> <td>8</td><td>試験</td><td>前半の学習内容について問う。</td><td>まとめ。</td></tr> <tr> <td>9</td><td>読み物</td><td>エッセイや小説の文章を読む。</td><td>読みと訳に取り組む。</td></tr> <tr> <td>10</td><td>読み物</td><td>エッセイや小説の文章を読む。</td><td>読みと訳に取り組む。</td></tr> <tr> <td>11</td><td>読み物</td><td>エッセイや小説の文章を読む。</td><td>読みと訳に取り組む。</td></tr> <tr> <td>12</td><td>読み物</td><td>日本の文学作品のスペイン語訳を読む。</td><td>読みと訳に取り組む。</td></tr> <tr> <td>13</td><td>読み物</td><td>日本の文学作品のスペイン語訳を読む。</td><td>読みと訳に取り組む。</td></tr> <tr> <td>14</td><td>試験</td><td>学習内容のすべて。</td><td>試験に準備して臨む。</td></tr> <tr> <td>15</td><td>読み物</td><td>試験の返却・解説。今期の総括。</td><td>まとめ。</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション	どのように授業を行うか。 翻訳とはどういうものか。 辞書や参考書、アプリやツールについての説明。	シラバスを読む 課題に取り組む	2	読み物	教材になった文章を読む。 内容は、社会・文化について。	読みと訳に取り組む。	3	読み物	教材になった文章を読む。 内容は、社会・文化について。	読みと訳に取り組む。	4	読み物	教材になった文章を読む。 内容は、社会・文化について。	読みと訳に取り組む。	5	読み物	新聞記事や評論の文章を読む。	読みと訳に取り組む。	6	読み物	新聞記事や評論の文章を読む。	読みと訳に取り組む。	7	読み物	新聞記事や評論の文章を読む。	読みと訳に取り組む。	8	試験	前半の学習内容について問う。	まとめ。	9	読み物	エッセイや小説の文章を読む。	読みと訳に取り組む。	10	読み物	エッセイや小説の文章を読む。	読みと訳に取り組む。	11	読み物	エッセイや小説の文章を読む。	読みと訳に取り組む。	12	読み物	日本の文学作品のスペイン語訳を読む。	読みと訳に取り組む。	13	読み物	日本の文学作品のスペイン語訳を読む。	読みと訳に取り組む。	14	試験	学習内容のすべて。	試験に準備して臨む。	15	読み物	試験の返却・解説。今期の総括。	まとめ。
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション	どのように授業を行うか。 翻訳とはどういうものか。 辞書や参考書、アプリやツールについての説明。	シラバスを読む 課題に取り組む																																																																
2	読み物	教材になった文章を読む。 内容は、社会・文化について。	読みと訳に取り組む。																																																																
3	読み物	教材になった文章を読む。 内容は、社会・文化について。	読みと訳に取り組む。																																																																
4	読み物	教材になった文章を読む。 内容は、社会・文化について。	読みと訳に取り組む。																																																																
5	読み物	新聞記事や評論の文章を読む。	読みと訳に取り組む。																																																																
6	読み物	新聞記事や評論の文章を読む。	読みと訳に取り組む。																																																																
7	読み物	新聞記事や評論の文章を読む。	読みと訳に取り組む。																																																																
8	試験	前半の学習内容について問う。	まとめ。																																																																
9	読み物	エッセイや小説の文章を読む。	読みと訳に取り組む。																																																																
10	読み物	エッセイや小説の文章を読む。	読みと訳に取り組む。																																																																
11	読み物	エッセイや小説の文章を読む。	読みと訳に取り組む。																																																																
12	読み物	日本の文学作品のスペイン語訳を読む。	読みと訳に取り組む。																																																																
13	読み物	日本の文学作品のスペイン語訳を読む。	読みと訳に取り組む。																																																																
14	試験	学習内容のすべて。	試験に準備して臨む。																																																																
15	読み物	試験の返却・解説。今期の総括。	まとめ。																																																																
関連科目	スペイン語通訳ガイド、外国語通訳法、その他スペイン語のすべての科目。 日本語に関する科目。																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	中間および期末の試験 50%と平常の受講態度（予習や質問、応答、確認の小テスト等も含む）50%、で評価する。																																																																		
学生へのメッセージ	自分の普段の言語活動についてよく考えよう。いつどこでも誰に対しても同じような話し方・書き方をするだろうか。どんな時にどのような言い方を工夫するだろう。この科目はスペイン語の科目であっても、ほとんど、問題は日本語にあることに気づくだろう。 日ごろから、とにかく、文字（書かれた言語）に触れること、本を読むこと。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 5 階 安達研究室																																																																		
備考	3 分の 1 以上の欠席は、最終評価が 0 点となる。遅刻は原則、欠席とカウントする。																																																																		

科目名	外国語翻訳法	科目名（英文）	Methods and Techniques for Translation
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	段 飛虹
ディプロマポリシー (DP)	DP1○, DP2△		
科目ナンバリング	LDL3216e0		

授業概要・目的	この科目は、外国語専門職プログラム対応科目です。日本文化を中国語で紹介するのに必要な語彙、表現、文法の知識と共に翻訳の技術を学ぶ。また、中国の最新の時事問題に関する教材を用いて、中国語文章を正確に読解する力を身につけます。				
到達目標	日本文化に関して、中国語を使った簡単なガイドができることを目指す。				
授業方法と留意点	翻訳の基礎知識を学ぶ。期末に、観光か、食文化か、日本の習慣をテーマに中国語で発表する（画像データの利用も可能）。				
科目学習の効果（資格）	通訳案内士 中国語検定 2 級				
授業計画		回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
		1	食文化①	「梅干し」「駅弁」「お好み焼き」の中からよく知っている食べ物について、中国語で表現する練習を行う。	与えられた課題に関係する内容（日本語）を調べ、中国語で話してみる。
		2	食文化②	「稲荷寿司」「親子丼」「懷石料理」「回転寿司」の中からよく知っている食べ物について、中国語で表現する練習を行う。	与えられた課題に関係する内容（日本語）を調べ、中国語で話してみる。
		3	食文化③	「かき氷」「駄菓子」「鯉節」「蒲焼き」の中からよく知っている食べ物について、中国語で表現する練習を行う。	与えられた課題に関係する内容（日本語）を調べ、中国語で話してみる。
		4	生活文化①	「正座」「座布団」「布団」「押入れ」の中からよく知っていることについて、中国語で表現する練習を行う。	与えられた課題に関係する内容（日本語）を調べ、中国語で話してみる。
		5	生活文化②	「炬燵（こたつ）」「団扇」「風鈴」「囲炉裏」の中からよく知っていることについて、中国語で表現する練習を行う。	与えられた課題に関係する内容（日本語）を調べ、中国語で話してみる。
		6	生活文化③	「銭湯」「民宿」「簾」「暖簾」生徒がよく知っている日常生活について、中国語で表現する練習を行う。	与えられた課題に関係する内容（日本語）を調べ、中国語で話してみる。
		7	衣服文化	「着物」「振袖」「浴衣」「下駄」の中からよく知っていることについて、中国語で表現する練習を行う。	与えられた課題に関係する内容（日本語）を調べ、中国語で話してみる。
		8	年中行事①	「初詣」「年賀状」「お年玉」「初夢」の中よく知っていることについて、中国語で表現する練習を行う。	与えられた課題に関係する内容（日本語）を調べ、中国語で話してみる。
		9	年中行事②	「ひな祭り」「花見」「鯉のぼり」「七夕」の中からよく知っていることについて、中国語で表現する練習を行う。	与えられた課題に関係する内容（日本語）を調べ、中国語で話してみる。
		10	年中行事③	「紅白歌合戦」「忘年会」「お歳暮」「大晦日」の中からよく知っていることについて、中国語で表現する練習を行う。	与えられた課題に関係する内容（日本語）を調べ、中国語で話してみる。
		11	趣味	「書道」「茶道」「生け花」「香道」の中からよく知っていることについて、中国語で表現する練習を行う。	与えられた課題に関係する内容（日本語）を調べ、中国語で話してみる。
		12	信仰・宗教	「七福神」「地藏」「座禅」「おみくじ」の中からよく知っていることについて、中国語で表現する練習を行う。	与えられた課題に関係する内容（日本語）を調べ、中国語で話してみる。
		13	スポーツ	「プロ野球」「相撲」「空手」「駅伝」の中からよく知っているスポーツについて、中国語で表現する練習を行う。	資料を探し、中国語で発表する準備をする。
		14	プレゼンテーション①	自らテーマを探し、先ず日本語文を書き、次中国語に翻訳して発表する。	資料を探し、中国語で発表する準備をする。
		15	プレゼンテーション②	自らテーマを探し、先ず日本語文を書き、次中国語に翻訳して発表する。	資料を探し、中国語で発表する準備をする。
関連科目	中国語主言語または共通言語 2 年生対象科目を修了していること。				
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名	
	1	時事中国語の教科書（2019 年度版）	三瀧正道、陳祖？、古屋順子	朝日出版社	
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名	
	1	中国語で日本のことを話してみる	秦燕・芳沢ひろ子	中経出版	
	2	中国語で紹介する日本	林怡州・後藤香代子		
	3	日中辞典			
評価方法（基準）	授業への参加度と提出物：50％ 期末発表：50％				
学生へのメッセージ	事前 60 分以上の学習が必要です。教科書は使用していないが、参考となる書籍を適宜紹介するので、実際に手に取って読むことを強く進める				
担当者の研究室等	7 号館 2 階（非常勤講師室）				
備考	授業時間外に質問したい場合、担当教員の授業曜日に非常勤講師室で問い合わせること。不在の場合は、専任教員（中西、兪、小都）を通じて問い合わせることもできる。				

科目名	カレント イングリッシュ a	科目名 (英文)	Current English a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	あ
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	ニール カー
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL3049c0		

授業概要・目的	現代の出来事や考え方を扱った、ある程度長くてまとまりのある教材を用い、精読や速読を行う。政治や科学といった分野を含めて、メディアやウェブをにぎわす最新のトピックを学習しながら読む、聞くだけでなく、自分の意見を英語で発信できる力を身につける。
到達目標	1. 現代社会に必要な教養を身につける。 2. ひとつのトピックをさまざまな視点から考えられるようになる。 3. 英字新聞の要点を的確に把握できるようになる。 4. 最新のトピックについて、英語で意見を述べたり、書いたりできるようになる。
授業方法と留意点	英字新聞やインターネット記事を英語で読解し、現在世界で起こっている出来事について理解を深める。新聞英語の特徴に慣れ、まとまりのある英語の記事の要点を的確に理解し、自らの意見を英語で述べたり、書いたりする。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検 等

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	授業の進め方など。時事的なトピックについて書かれた英語を読みながら、自らの意見を英語で述べてみる。	授業の進め方を確認するとともに、最新技術に関する英語表現を予習する。(1 時間)
	2	最新技術に関する話題 (1)	AI やロボットといった最新の技術についてあつかった英字新聞を読み、理解を深める。	AI といった技術に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
	3	最新技術に関する話題 (2)	第 2 回の授業で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
	4	福祉に関する話題 (1)	福祉に関する話題 (1) 世界各国の福祉の現状をあつかった英字新聞を読み、理解を深める。	ベーシックインカムなど福祉に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
	5	福祉に関する話題 (2)	第 4 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
	6	経済に関する話題 (1)	世界に見られる格差などを扱った英字新聞を読み、理解を深める。	経済に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
	7	経済に関する話題 (2)	第 6 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
	8	健康に関する話題 (1)	健康に関する内容を扱った英字新聞を読み、理解を深める。	健康に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
	9	健康に関する話題 (2)	第 8 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
	10	歴史に関する話題 (1)	歴史を扱った英字新聞を読み、理解を深める。	歴史に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
	11	歴史に関する話題 (2)	第 10 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
	12	科学に関する話題 (1)	最新科学を扱った英字新聞をよみ、理解を深める。	科学に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
	13	科学に関する話題 (2)	第 12 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
	14	政治に関する話題	各国の政治関連の記事を扱った英字新聞を読み、理解を深める。	政治に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
	15	総括 (まとめ)	これまで扱ったトピックについて総括し、英語の復習を行いながら、まとめの確認テストにて、理解度を測る。	これまでの授業で扱った内容について総復習する。(1 時間)

関連科目	メディアイングリッシュ a, b
------	------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Meet the World: English through Newspapers 2018	若有 保彦	成美堂

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	辞書		

評価方法 (基準)	作文課題 20% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 80%
-----------	--

学生へのメッセージ	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course. Students who engage wholeheartedly in classroom activities, who read up on lessons and do their homework, will achieve the most.
-----------	---

担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室.
----------	------------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。
----	---

科目名	カレント イングリッシュ a	科目名 (英文)	Current English a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	いう
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	三宅 一平
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL3049c0		

授業概要・目的	現代の出来事や考え方を扱った、ある程度長くてまとまりのある教材を用い、精読や速読を行う。政治や科学といった分野を含めて、メディアやウェブをにぎわす最新のトピックを学習しながら読む、聞くだけでなく、自分の意見を英語で発信できる力を身につける。
到達目標	1. 現代社会に必要な教養を身につける。 2. ひとつのトピックをさまざまな視点から考えられるようになる。 3. 英字新聞の要点を的確に把握できるようになる。 4. 最新のトピックについて、英語で意見を述べたり、書いたりできるようになる。
授業方法と留意点	英字新聞やインターネット記事を英語で読解し、現在世界で起こっている出来事について理解を深める。新聞英語の特徴に慣れ、まとまりのある英語の記事の要点を的確に理解し、自らの意見を英語で述べたり、書いたりする。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検 等

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	授業の進め方など。時事的なトピックについて書かれた英語を読みながら、自らの意見を英語で述べてみる。	授業の進め方を確認するとともに、最新技術に関する英語表現を予習する。(1 時間)
	2	最新技術に関する話題 (1)	AI やロボットといった最新の技術についてあつかった英字新聞を読み、理解を深める。	AI といった技術に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
	3	最新技術に関する話題 (2)	第 2 回の授業で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
	4	福祉に関する話題 (1)	福祉に関する話題 (1) 世界各国の福祉の現状をあつかった英字新聞を読み、理解を深める。	ベーシックインカムなど福祉に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
	5	福祉に関する話題 (2)	第 4 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
	6	経済に関する話題 (1)	世界に見られる格差などを扱った英字新聞を読み、理解を深める。	経済に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
	7	経済に関する話題 (2)	第 6 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
	8	健康に関する話題 (1)	健康に関する内容を扱った英字新聞を読み、理解を深める。	健康に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
	9	健康に関する話題 (2)	第 8 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
	10	歴史に関する話題 (1)	歴史を扱った英字新聞を読み、理解を深める。	歴史に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
	11	歴史に関する話題 (2)	第 10 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
	12	科学に関する話題 (1)	最新科学を扱った英字新聞をよみ、理解を深める。	科学に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
	13	科学に関する話題 (2)	第 12 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
	14	政治に関する話題	各国の政治関連の記事を扱った英字新聞を読み、理解を深める。	政治に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
	15	総括 (まとめ)	これまで扱ったトピックについて総括し、英語の復習を行いながら、まとめの確認テストにて、理解度を測る。	これまでの授業で扱った内容について総復習する。(1 時間)

関連科目	リーディングⅢなど
------	-----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Meet the World: English through Newspapers 2018	若有 保彦	成美堂

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			

評価方法 (基準)	作文課題 20% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 80%
-----------	--

学生へのメッセージ	今、世界では何が起きているのか、それはみなさんにどう関わってくるのか。英語を学ぶだけではなく、この授業を、世の中の様々なことに目を向け、深く考える契機としてもらえればと思います。
-----------	---

担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室。
----------	------------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。
----	---

科目名	カレント イングリッシュ a	科目名 (英文)	Current English a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	えお
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	藤原 崇
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL3049c0		

授業概要・目的	現代の出来事や考え方を扱った、ある程度長くてまとまりのある教材を用い、精読や速読を行う。政治や科学といった分野を含めて、メディアやウェブをにぎわす最新のトピックを学習しながら読む、聞くだけでなく、自分の意見を英語で発信できる力を身につける。
到達目標	1. 現代社会に必要な教養を身につける。 2. ひとつのトピックをさまざまな視点から考えられるようになる。 3. 英字新聞の要点を的確に把握できるようになる。 4. 最新のトピックについて、英語で意見を述べたり、書いたりできるようになる。
授業方法と留意点	英字新聞やインターネット記事を英語で読解し、現在世界で起こっている出来事について理解を深める。新聞英語の特徴に慣れ、まとまりのある英語の記事の要点を的確に理解し、自らの意見を英語で述べたり、書いたりする。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検 等

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	授業の進め方など。時事的なトピックについて書かれた英語を読みながら、自らの意見を英語で述べてみる。	授業の進め方を確認するとともに、最新技術に関する英語表現を予習する。(1 時間)
	2	最新技術に関する話題 (1)	AI やロボットといった最新の技術についてあつかった英字新聞を読み、理解を深める。	AI といった技術に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
	3	最新技術に関する話題 (2)	第 2 回の授業で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
	4	福祉に関する話題 (1)	福祉に関する話題 (1) 世界各国の福祉の現状をあつかった英字新聞を読み、理解を深める。	ベーシックインカムなど福祉に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
	5	福祉に関する話題 (2)	第 4 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
	6	経済に関する話題 (1)	世界に見られる格差などを扱った英字新聞を読み、理解を深める。	経済に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
	7	経済に関する話題 (2)	第 6 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
	8	健康に関する話題 (1)	健康に関する内容を扱った英字新聞を読み、理解を深める。	健康に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
	9	健康に関する話題 (2)	第 8 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
	10	歴史に関する話題 (1)	歴史を扱った英字新聞を読み、理解を深める。	歴史に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
	11	歴史に関する話題 (2)	第 10 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
	12	科学に関する話題 (1)	最新科学を扱った英字新聞をよみ、理解を深める。	科学に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
	13	科学に関する話題 (2)	第 12 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
	14	政治に関する話題	各国の政治関連の記事を扱った英字新聞を読み、理解を深める。	政治に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
	15	総括	これまで扱ったトピックについて総括し、英語の復習を行いながら、まとめの確認テストにて、理解度を測る。	これまでの授業で扱った内容について総復習する。(1 時間)

関連科目	メディアイングリッシュ a, b
------	------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Meet the World: English through Newspapers 2019	若有 保彦	成美堂

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	辞書		

評価方法 (基準)	作文課題 20% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 80%
-----------	--

学生へのメッセージ	学んだことを実際に使ってみるという意識をもって取り組んでいきましょう。
-----------	-------------------------------------

担当者の研究室等	7 号館 4 階 藤原研究室
----------	----------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。
----	---

科目名	カレント イングリッシュ a	科目名 (英文)	Current English a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	かき
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	廣野 允紀
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL3049c0		

授業概要・目的	現代の出来事や考え方を扱った、ある程度長くてまとまりのある教材を用い、精読や速読を行う。政治や科学といった分野を含めて、メディアやウェブをにぎわす最新のトピックを学習しながら読む、聞くだけでなく、自分の意見を英語で発信できる力を身につける。
到達目標	1. 現代社会に必要な教養を身につける。 2. ひとつのトピックをさまざまな視点から考えられるようになる。 3. 英字新聞の要点を的確に把握できるようになる。 4. 最新のトピックについて、英語で意見を述べたり、書いたりできるようになる。
授業方法と留意点	英字新聞やインターネット記事を英語で読解し、現在世界で起こっている出来事について理解を深める。新聞英語の特徴に慣れ、まとまりのある英語の記事の要点を的確に理解し、自らの意見を英語で述べたり、書いたりする。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検 等

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	授業の進め方など。時事的なトピックについて書かれた英語を読みながら、自らの意見を英語で述べてみる。	授業の進め方を確認するとともに、文化に関する英語表現を予習する。(1 時間)
	2	最新技術に関する話題 (1)	AI やロボットといった最新の技術についてあつかった英字新聞を読み、理解を深める。	AI といった技術に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
	3	最新技術に関する話題 (2)	第 2 回の授業で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
	4	福祉に関する話題 (1)	福祉に関する話題 (1) 世界各国の福祉の現状をあつかった英字新聞を読み、理解を深める。	ベーシックインカムなど福祉に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
	5	福祉に関する話題 (2)	第 4 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
	6	経済に関する話題 (1)	世界に見られる格差などを扱った英字新聞を読み、理解を深める。	経済に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
	7	経済に関する話題 (2)	第 6 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
	8	健康に関する話題 (1)	健康に関する内容を扱った英字新聞を読み、理解を深める。	健康に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
	9	健康に関する話題 (2)	第 8 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
	10	歴史に関する話題 (1)	歴史を扱った英字新聞を読み、理解を深める。	歴史に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
	11	歴史に関する話題 (2)	第 10 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
	12	科学に関する話題 (1)	最新科学を扱った英字新聞をよみ、理解を深める。	科学に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
	13	科学に関する話題 (2)	第 12 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
	14	政治に関する話題	各国の政治関連の記事を扱った英字新聞を読み、理解を深める。	政治に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
	15	総括	これまで扱ったトピックについて総括し、英語の復習を行いながら、まとめの確認テストにて、理解度を測る。	これまでの授業で扱った内容について総復習する。(1 時間)

関連科目	メディアイングリッシュ a, b			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Meet the World: English through Newspapers 2018	若有 保彦	成美堂
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
評価方法 (基準)	作文課題 20% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 80%			
学生への メッセージ	“Every man takes the limits of his own fields of vision for the limits of the world.” – Arthur Schopenhauer, Psychological Observation. 「誰もが自分の視野の限界を世界の視野の限界だと思っている。」 アルトゥル・ショーペンハウアー 『心理学的観察』 外国語学習はコミュニケーションの手段を得ることに留まらず、あなたの「視野」を拡張し違う世界を見せてくれるでしょう。一緒に楽しみながら学びましょう。			
担当者の 研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。			

科目名	カレント イングリッシュ b	科目名 (英文)	Current English b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	あ
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	ニール カー
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL3050c0		

授業概要・目的	現代の出来事や考え方を扱った、ある程度長くてまとまりのある教材を用い、精読や速読を行う。政治や科学といった分野を含めて、メディアやウェブをにぎわす最新のトピックを学習しながら読む、聞くだけでなく、自分の意見を英語で発信できる力を身につける。				
到達目標	1. 現代社会に必要な教養を身につける。 2. ひとつのトピックをさまざまな視点から考えられるようになる。 3. 英字新聞の要点を的確に把握できるようになる。 4. 最新のトピックについて、英語で意見を述べたり、書いたりできるようになる。				
授業方法と留意点	英字新聞やインターネット記事を英語で読解し、現在世界で起こっている出来事について理解を深める。新聞英語の特徴に慣れ、まとまりのある英語の記事の要点を的確に理解し、自らの意見を英語で述べたり、書いたりする。				
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検 等				
授業計画		回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
		1	オリエンテーション	授業の進め方など。時事的なトピックについて書かれた英語を読みながら、自らの意見を英語で述べてみる。	授業の進め方を確認するとともに、文化に関する英語表現を予習する。(1 時間)
		2	文化に関する話題（1）	日本文化の海外への広まりについてあつかった英字新聞を読み、理解を深める。	文化に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
		3	文化に関する話題（2）	第 2 回の授業で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
		4	歴史に関する話題（1）	歴史の話題をあつかった英字新聞を読み、理解を深める。	歴史に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
		5	歴史に関する話題（2）	第 4 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
		6	経済に関する話題（1）	世界に見られる格差などを扱った英字新聞を読み、理解を深める。	経済に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
		7	経済に関する話題（2）	第 6 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
		8	政治に関する話題（1）	政治に関する内容を扱った英字新聞を読み、理解を深める。	政治に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
		9	政治に関する話題（2）	第 8 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
		10	言語に関する話題（1）	言語を扱った英字新聞を読み、理解を深める。	言語に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
		11	言語に関する話題（2）	第 10 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
		12	保険に関する話題（1）	保険を扱った英字新聞をよみ、理解を深める。	保険に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
		13	保険に関する話題（2）	第 12 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
		14	科学に関する話題	科学的内容を扱った英字新聞を読み、理解を深める。	科学に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
		15	総括	これまで扱ったトピックについて総括し、英語の復習を行いながら、まとめの確認テストにて、理解度を測る。	これまでの授業で扱った内容について総復習する。(1 時間)
関連科目	メディアイングリッシュ a, b				
教科書		番号	書籍名	著者名	出版社名
		1	Meet the World: English through Newspapers 2018	若有 保彦	成美堂
		2			
参考書		番号	書籍名	著者名	出版社名
		1			
		2			
評価方法（基準）	作文課題 20% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 80%				
学生へのメッセージ	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course. Students who engage wholeheartedly in classroom activities, who read up on lessons and do their homework, will achieve the most.				
担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室				
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。				

科目名	カレント イングリッシュ b	科目名 (英文)	Current English b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	いう
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	三宅 一平
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL3050c0		

授業概要・目的	現代の出来事や考え方を扱った、ある程度長くてもまとまりのある教材を用い、精読や速読を行う。政治や科学といった分野を含めて、メディアやウェブをにぎわす最新のトピックを学習しながら読む、聞くだけでなく、自分の意見を英語で発信できる力を身につける。				
到達目標	1. 現代社会に必要な教養を身につける。 2. ひとつのトピックをさまざまな視点から考えられるようになる。 3. 英字新聞の要点を的確に把握できるようになる。 4. 最新のトピックについて、英語で意見を述べたり、書いたりできるようになる。				
授業方法と留意点	英字新聞やインターネット記事を英語で読解し、現在世界で起こっている出来事について理解を深める。新聞英語の特徴に慣れ、まとまりのある英語の記事の要点を的確に理解し、自らの意見を英語で述べたり、書いたりする。				
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検 等				
授業計画		回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
		1	オリエンテーション	授業の進め方など。時事的なトピックについて書かれた英語を読みながら、自らの意見を英語で述べてみる。	(1 時間)
		2	文化に関する話題（1）	日本文化の海外への広まりについてあつかった英字新聞を読み、理解を深める。	文化に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
		3	文化に関する話題（2）	第2回の授業で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
		4	歴史に関する話題（1）	歴史の話題をあつかった英字新聞を読み、理解を深める。	歴史に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
		5	歴史に関する話題（2）	第4回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
		6	経済に関する話題（1）	世界に見られる格差などを扱った英字新聞を読み、理解を深める。	経済に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
		7	経済に関する話題（2）	第6回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
		8	政治に関する話題（1）	政治に関する内容を扱った英字新聞を読み、理解を深める。	政治に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
		9	政治に関する話題（2）	第8回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
		10	言語に関する話題（1）	言語を扱った英字新聞を読み、理解を深める。	言語に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
		11	言語に関する話題（2）	第10回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
		12	保険に関する話題（1）	保険を扱った英字新聞をよみ、理解を深める。	保険に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
		13	保険に関する話題（2）	第12回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
		14	科学に関する話題	科学的内容を扱った英字新聞を読み、理解を深める。	科学に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
		15	総括	これまで扱ったトピックについて総括し、英語の復習を行いながら、まとめの確認テストにて、理解度を測る。	科学に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
関連科目	メディアイングリッシュ a, b				
教科書		番号	書籍名	著者名	出版社名
		1	Meet the World: English through Newspapers 2018	若有 保彦	成美堂
		2			
参考書		番号	書籍名	著者名	出版社名
		1			
		2			
評価方法（基準）	作文課題 20% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 80%				
学生へのメッセージ	今、世界では何が起こっているのか、それはみなさんにどう関わってくるのか。 英語を学ぶだけではなく、この授業を、世の中の様々なことに目を向け、深く考える契機としてもらえればと思います。				
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室				
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。				

科目名	カレント イングリッシュ b	科目名 (英文)	Current English b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	えお
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	藤原 崇
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL3050c0		

授業概要・目的	現代の出来事や考え方を扱った、ある程度長くてまとまりのある教材を用い、精読や速読を行う。政治や科学といった分野を含めて、メディアやウェブをにぎわす最新のトピックを学習しながら読む、聞くだけでなく、自分の意見を英語で発信できる力を身につける。																																																																		
到達目標	1. 現代社会に必要な教養を身につける。 2. ひとつのトピックをさまざまな視点から考えられるようになる。 3. 英字新聞の要点を的確に把握できるようになる。 4. 最新のトピックについて、英語で意見を述べたり、書いたりできるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	英字新聞やインターネット記事を英語で読解し、現在世界で起こっている出来事について理解を深める。新聞英語の特徴に慣れ、まとまりのある英語の記事の要点を的確に理解し、自らの意見を英語で述べたり、書いたりする。																																																																		
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検 等																																																																		
授業計画		<table><tr><th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr><tr><td>1</td><td>オリエンテーション</td><td>授業の進め方など。時事的なトピックについて書かれた英語を読みながら、自らの意見を英語で述べてみる。</td><td>授業の進め方を確認するとともに、文化に関する英語表現を予習する。(1 時間)</td></tr><tr><td>2</td><td>文化に関する話題（1）</td><td>日本文化の海外への広まりについてあつかった英字新聞を読み、理解を深める。</td><td>文化に関する英語表現を勉強する。(1 時間)</td></tr><tr><td>3</td><td>文化に関する話題（2）</td><td>第 2 回の授業で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。</td><td>作文の課題を完成させる。(1 時間)</td></tr><tr><td>4</td><td>歴史に関する話題（1）</td><td>歴史の話題をあつかった英字新聞を読み、理解を深める。</td><td>歴史に関する英語表現を勉強する。(1 時間)</td></tr><tr><td>5</td><td>歴史に関する話題（2）</td><td>第 4 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。</td><td>作文の課題を完成させる。(1 時間)</td></tr><tr><td>6</td><td>経済に関する話題（1）</td><td>世界に見られる格差などを扱った英字新聞を読み、理解を深める。</td><td>経済に関する英語表現を勉強する。(1 時間)</td></tr><tr><td>7</td><td>経済に関する話題（2）</td><td>第 6 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。</td><td>作文の課題を完成させる。(1 時間)</td></tr><tr><td>8</td><td>政治に関する話題（1）</td><td>政治に関する内容を扱った英字新聞を読み、理解を深める。</td><td>政治に関する英語表現を勉強する。(1 時間)</td></tr><tr><td>9</td><td>政治に関する話題（2）</td><td>第 8 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。</td><td>作文の課題を完成させる。(1 時間)</td></tr><tr><td>10</td><td>言語に関する話題（1）</td><td>言語を扱った英字新聞を読み、理解を深める。</td><td>言語に関する英語表現を勉強する。(1 時間)</td></tr><tr><td>11</td><td>言語に関する話題（2）</td><td>第 10 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。</td><td>作文の課題を完成させる。(1 時間)</td></tr><tr><td>12</td><td>保険に関する話題（1）</td><td>保険を扱った英字新聞をよみ、理解を深める。</td><td>保険に関する英語表現を勉強する。(1 時間)</td></tr><tr><td>13</td><td>保険に関する話題（2）</td><td>第 12 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。</td><td>作文の課題を完成させる。(1 時間)</td></tr><tr><td>14</td><td>科学に関する話題</td><td>科学的内容を扱った英字新聞を読み、理解を深める。</td><td>科学に関する英語表現を勉強する。(1 時間)</td></tr><tr><td>15</td><td>総括</td><td>これまで扱ったトピックについて総括し、英語の復習を行いながら、まとめの確認テストにて、理解度を測る。</td><td>科学に関する英語表現を勉強する。(1 時間)</td></tr></table>	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション	授業の進め方など。時事的なトピックについて書かれた英語を読みながら、自らの意見を英語で述べてみる。	授業の進め方を確認するとともに、文化に関する英語表現を予習する。(1 時間)	2	文化に関する話題（1）	日本文化の海外への広まりについてあつかった英字新聞を読み、理解を深める。	文化に関する英語表現を勉強する。(1 時間)	3	文化に関する話題（2）	第 2 回の授業で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)	4	歴史に関する話題（1）	歴史の話題をあつかった英字新聞を読み、理解を深める。	歴史に関する英語表現を勉強する。(1 時間)	5	歴史に関する話題（2）	第 4 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)	6	経済に関する話題（1）	世界に見られる格差などを扱った英字新聞を読み、理解を深める。	経済に関する英語表現を勉強する。(1 時間)	7	経済に関する話題（2）	第 6 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)	8	政治に関する話題（1）	政治に関する内容を扱った英字新聞を読み、理解を深める。	政治に関する英語表現を勉強する。(1 時間)	9	政治に関する話題（2）	第 8 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)	10	言語に関する話題（1）	言語を扱った英字新聞を読み、理解を深める。	言語に関する英語表現を勉強する。(1 時間)	11	言語に関する話題（2）	第 10 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)	12	保険に関する話題（1）	保険を扱った英字新聞をよみ、理解を深める。	保険に関する英語表現を勉強する。(1 時間)	13	保険に関する話題（2）	第 12 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)	14	科学に関する話題	科学的内容を扱った英字新聞を読み、理解を深める。	科学に関する英語表現を勉強する。(1 時間)	15	総括	これまで扱ったトピックについて総括し、英語の復習を行いながら、まとめの確認テストにて、理解度を測る。	科学に関する英語表現を勉強する。(1 時間)	
	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																															
	1	オリエンテーション	授業の進め方など。時事的なトピックについて書かれた英語を読みながら、自らの意見を英語で述べてみる。	授業の進め方を確認するとともに、文化に関する英語表現を予習する。(1 時間)																																																															
	2	文化に関する話題（1）	日本文化の海外への広まりについてあつかった英字新聞を読み、理解を深める。	文化に関する英語表現を勉強する。(1 時間)																																																															
	3	文化に関する話題（2）	第 2 回の授業で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)																																																															
	4	歴史に関する話題（1）	歴史の話題をあつかった英字新聞を読み、理解を深める。	歴史に関する英語表現を勉強する。(1 時間)																																																															
	5	歴史に関する話題（2）	第 4 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)																																																															
	6	経済に関する話題（1）	世界に見られる格差などを扱った英字新聞を読み、理解を深める。	経済に関する英語表現を勉強する。(1 時間)																																																															
	7	経済に関する話題（2）	第 6 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)																																																															
	8	政治に関する話題（1）	政治に関する内容を扱った英字新聞を読み、理解を深める。	政治に関する英語表現を勉強する。(1 時間)																																																															
	9	政治に関する話題（2）	第 8 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)																																																															
	10	言語に関する話題（1）	言語を扱った英字新聞を読み、理解を深める。	言語に関する英語表現を勉強する。(1 時間)																																																															
	11	言語に関する話題（2）	第 10 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)																																																															
	12	保険に関する話題（1）	保険を扱った英字新聞をよみ、理解を深める。	保険に関する英語表現を勉強する。(1 時間)																																																															
	13	保険に関する話題（2）	第 12 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)																																																															
	14	科学に関する話題	科学的内容を扱った英字新聞を読み、理解を深める。	科学に関する英語表現を勉強する。(1 時間)																																																															
15	総括	これまで扱ったトピックについて総括し、英語の復習を行いながら、まとめの確認テストにて、理解度を測る。	科学に関する英語表現を勉強する。(1 時間)																																																																
関連科目	メディアイングリッシュ a, b																																																																		
教科書		<table><tr><th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr><tr><td>1</td><td>Meet the World: English through Newspapers 2019</td><td>若有 保彦</td><td>成美堂</td></tr><tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	Meet the World: English through Newspapers 2019	若有 保彦	成美堂	2																																																								
	番号	書籍名	著者名	出版社名																																																															
	1	Meet the World: English through Newspapers 2019	若有 保彦	成美堂																																																															
2																																																																			
参考書		<table><tr><th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr><tr><td>1</td><td>辞書</td><td></td><td></td></tr><tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	辞書			2																																																								
	番号	書籍名	著者名	出版社名																																																															
	1	辞書																																																																	
2																																																																			
評価方法（基準）	作文課題 20% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 80%																																																																		
学生へのメッセージ	学んだことを実際に使ってみる意識をもって取り組みましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 4 階 藤原研究室																																																																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。																																																																		

科目名	カレント イングリッシュ b	科目名 (英文)	Current English b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	かき
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	平野 惟
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL3050c0		

授業概要・目的	現代の出来事や考え方を扱った、ある程度長くてまとまりのある教材を用い、精読や速読を行う。政治や科学といった分野を含めて、メディアやウェブをにぎわす最新のトピックを学習しながら読む、聞くだけでなく、自分の意見を英語で発信できる力を身につける。
到達目標	1. 現代社会に必要な教養を身につける。 2. ひとつのトピックをさまざまな視点から考えられるようになる。 3. 英字新聞の要点を的確に把握できるようになる。 4. 最新のトピックについて、英語で意見を述べたり、書いたりできるようになる。
授業方法と留意点	英字新聞やインターネット記事を英語で読解し、現在世界で起こっている出来事について理解を深める。新聞英語の特徴に慣れ、まとまりのある英語の記事の要点を的確に理解し、自らの意見を英語で述べたり、書いたりする。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検 等

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	授業の進め方などを説明する。時事的なトピックについて書かれた英語を読みながら、自らの意見を英語で述べてみる。	授業の進め方などを確認するとともに、文化に関する英語表現を予習する。(1 時間)
	2	文化に関する話題 (1)	日本文化の海外への広まりについてあつかった英字新聞を読み、理解を深める。	文化に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
	3	文化に関する話題 (2)	第 2 回の授業で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
	4	歴史に関する話題 (1)	歴史の話題をあつかった英字新聞を読み、理解を深める。	歴史に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
	5	歴史に関する話題 (2)	第 4 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
	6	経済に関する話題 (1)	世界に見られる格差などを扱った英字新聞を読み、理解を深める。	経済に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
	7	経済に関する話題 (2)	第 6 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
	8	政治に関する話題 (1)	政治に関する内容を扱った英字新聞を読み、理解を深める。	政治に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
	9	政治に関する話題 (2)	第 8 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
	10	言語に関する話題 (1)	言語を扱った英字新聞を読み、理解を深める。	言語に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
	11	言語に関する話題 (2)	第 10 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
	12	保険に関する話題 (1)	保険を扱った英字新聞をよみ、理解を深める。	保険に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
	13	保険に関する話題 (2)	第 12 回で読み解いた英字新聞の内容について、自らの意見を英語でまとめ、発表する。	作文の課題を完成させる。(1 時間)
	14	科学に関する話題	科学的内容を扱った英字新聞を読み、理解を深める。	科学に関する英語表現を勉強する。(1 時間)
	15	総括 (まとめ)	これまで扱ったトピックについて総括し、英語の復習を行いながら、まとめの確認テストにて、理解度を測る。	科学に関する英語表現を勉強する。(1 時間)

関連科目	メディアイングリッシュ a, b			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Meet the World: English through Newspapers 2018	若谷 保彦	成美堂
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
評価方法 (基準)	作文課題 20% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 80%			
学生への メッセージ	“Every man takes the limits of his own fields of vision for the limits of the world.” – Arthur Schopenhauer, Psychological Observation. 「誰もが自分の視野の限界を世界の視野の限界だと思っている。」 アルトゥル・ショーペンハウアー 『心理学的観察』 外国語学習はコミュニケーションの手段を得ることに留まらず、あなたの「視野」を拡張し違う世界を見せてくれるでしょう。一緒に楽しみながら学びましょう。			
担当者の 研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。			

科目名	観光中国語 a	科目名 (英文)	Tourism Chinese a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	孫 輝
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL2075e0		

授業概要・目的	最近、中国人観光客の増加により、日本観光市場が新しい段階を迎えようとしている。東京だけではなく、関西でも中国人観光客が増え、空港や商店などで中国語を話す声があちこちから聞こえて来る。乗務員や空港スタッフ、旅行案内、ホテルや商店の店員など、いま日本は中国語の話せる人材を大いに必要としている。観光やビジネスで中国語が話せたら、世界はもっと広がる。本講義は、中国一番の大都市―上海をスポットとして、空港、地下鉄に乗る、ショッピング、道を尋ねるなどでよく使われている最新の観光中国語会話を学んでいくことを主眼にしている。また、中国の世界遺産も詳しく紹介する。																																																																		
到達目標	観光中国語の会話能力を身に付ける。																																																																		
授業方法と留意点	授業時に、積極的にペア練習と発表を行う。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	中国人の観光客を案内する能力を身に付ける。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>授業内容、履修方法、評価方法の紹介、復習課</td><td>LOVE! 上海 1 の復習課</td><td>授業内容を復習、次の内容を予習する。</td></tr> <tr> <td>2</td><td>第 1 課 虹橋空港にて</td><td>単語、本文、文法、練習</td><td>授業内容を復習、次の内容を予習する。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>第 2 課 地下鉄に乗って</td><td>単語、本文、文法、練習</td><td>授業内容を復習、次の内容を予習する。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>第 3 課 上海の交通は便利です</td><td>単語、本文、文法、練習</td><td>授業内容を復習、次の内容を予習する。</td></tr> <tr> <td>5</td><td>第 4 課 2 週間上海にいます</td><td>単語、本文、文法、練習</td><td>授業内容を復習、次の内容を予習する。</td></tr> <tr> <td>6</td><td>第 5 課 豫園でショッピング</td><td>単語、本文、文法、練習</td><td>授業内容を復習、次の内容を予習する。</td></tr> <tr> <td>7</td><td>復習 1、総合練習、小テスト</td><td>第 5 課までの内容を復習する</td><td>第 5 課までの内容を復習、次の内容を予習する。</td></tr> <tr> <td>8</td><td>第 6 課 道を尋ねる</td><td>単語、本文、文法、練習</td><td>授業内容を復習、次の内容を予習する。</td></tr> <tr> <td>9</td><td>第 7 課 オールドジャズバンド</td><td>単語、本文、文法、練習</td><td>授業内容を復習、次の内容を予習する。</td></tr> <tr> <td>10</td><td>第 8 課 ジャズバーで飲みながら</td><td>単語、本文、文法、練習</td><td>授業内容を復習、次の内容を予習する。</td></tr> <tr> <td>11</td><td>第 9 課 上海人の友達の家で</td><td>単語、本文、文法、練習</td><td>授業内容を復習、次の内容を予習する。</td></tr> <tr> <td>12</td><td>第 10 課 朝食後は何をしますか？</td><td>単語、本文、文法、練習</td><td>授業内容を復習、次の内容を予習する。</td></tr> <tr> <td>13</td><td>第 11 課 市場にて</td><td>単語、本文、文法、練習</td><td>授業内容を復習、次の内容を予習する。</td></tr> <tr> <td>14</td><td>復習 2、総合練習、小テスト</td><td>第 6 課から第 11 課までの内容を復習する</td><td>第 6 課から第 11 課までの内容を復習、発表の内容を準備する。</td></tr> <tr> <td>15</td><td>発表会</td><td>発表の内容をチェックする</td><td>発表の内容を暗唱する</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	授業内容、履修方法、評価方法の紹介、復習課	LOVE! 上海 1 の復習課	授業内容を復習、次の内容を予習する。	2	第 1 課 虹橋空港にて	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。	3	第 2 課 地下鉄に乗って	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。	4	第 3 課 上海の交通は便利です	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。	5	第 4 課 2 週間上海にいます	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。	6	第 5 課 豫園でショッピング	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。	7	復習 1、総合練習、小テスト	第 5 課までの内容を復習する	第 5 課までの内容を復習、次の内容を予習する。	8	第 6 課 道を尋ねる	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。	9	第 7 課 オールドジャズバンド	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。	10	第 8 課 ジャズバーで飲みながら	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。	11	第 9 課 上海人の友達の家で	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。	12	第 10 課 朝食後は何をしますか？	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。	13	第 11 課 市場にて	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。	14	復習 2、総合練習、小テスト	第 6 課から第 11 課までの内容を復習する	第 6 課から第 11 課までの内容を復習、発表の内容を準備する。	15	発表会	発表の内容をチェックする	発表の内容を暗唱する
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	授業内容、履修方法、評価方法の紹介、復習課	LOVE! 上海 1 の復習課	授業内容を復習、次の内容を予習する。																																																																
2	第 1 課 虹橋空港にて	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。																																																																
3	第 2 課 地下鉄に乗って	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。																																																																
4	第 3 課 上海の交通は便利です	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。																																																																
5	第 4 課 2 週間上海にいます	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。																																																																
6	第 5 課 豫園でショッピング	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。																																																																
7	復習 1、総合練習、小テスト	第 5 課までの内容を復習する	第 5 課までの内容を復習、次の内容を予習する。																																																																
8	第 6 課 道を尋ねる	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。																																																																
9	第 7 課 オールドジャズバンド	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。																																																																
10	第 8 課 ジャズバーで飲みながら	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。																																																																
11	第 9 課 上海人の友達の家で	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。																																																																
12	第 10 課 朝食後は何をしますか？	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。																																																																
13	第 11 課 市場にて	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。																																																																
14	復習 2、総合練習、小テスト	第 6 課から第 11 課までの内容を復習する	第 6 課から第 11 課までの内容を復習、発表の内容を準備する。																																																																
15	発表会	発表の内容をチェックする	発表の内容を暗唱する																																																																
関連科目																																																																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>LOVE! 上海 2 初級～中級編</td><td>楊凱榮・張麗群</td><td>朝日出版社</td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	LOVE! 上海 2 初級～中級編	楊凱榮・張麗群	朝日出版社	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	LOVE! 上海 2 初級～中級編	楊凱榮・張麗群	朝日出版社																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	小テスト、発表、授業に取り組む姿勢などを総合して評価する。 授業への参加度と発表：30% 単元テスト：70%																																																																		
学生へのメッセージ	最近中国からの観光客が増えています、この授業で身に付ける観光中国語がいつかどこかで役に立つはずですよ。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 2 階非常勤講師室																																																																		
備考	事前・事後に各 60 分の学修を要する。 授業時間外に質問したい場合、担当教員の授業曜日に非常勤講師室で問い合わせること。不在の場合は、専任教員（中西、兪、小都）を通じて問い合わせることもできる。試験や課題に対して用紙上または次回授業で必ずフィードバックを行う。																																																																		

科目名	観光中国語 b	科目名 (英文)	Tourism Chinese b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	孫 輝
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL2076e0		

授業概要・目的	最近、中国人観光客の増加により、日本観光市場が新しい段階を迎えようとしている。東京だけではなく、関西でも中国人観光客が増え、空港や商店などで中国語を話す声があちこちから聞こえて来る。乗務員や空港スタッフ、旅行案内、ホテルや商店の店員など、いま日本は中国語の話せる人材を大いに必要としている。観光やビジネスで中国語が話せたら、世界はもっと広がろう。本講義は、中国一番の大都市―上海をスポットとして、空港、地下鉄に乗る、ショッピング、道を尋ねるなどでよく使われている最新の観光中国語会話を学んでいくことを主眼にしている。また、中国の世界遺産も詳しく紹介する。																																																																		
到達目標	観光中国語の会話能力を身に付ける。																																																																		
授業方法と留意点	授業時に、積極的にペア練習と発表を行う。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	中国人の観光客を案内する能力を身に付ける。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>授業内容、履修方法、評価方法の紹介、第 12 課 上海人も好きです</td><td>単語、本文、文法、練習</td><td>授業内容を復習、次の内容を予習する。</td></tr> <tr> <td>2</td><td>第 13 課 日本料理を食べてみたい</td><td>単語、本文、文法、練習</td><td>授業内容を復習、次の内容を予習する。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>第 14 課 お寺に興味はありますか</td><td>単語、本文、文法、練習</td><td>授業内容を復習、次の内容を予習する。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>第 15 課 日本料理を食べて</td><td>単語、本文、文法、練習</td><td>授業内容を復習、次の内容を予習する。</td></tr> <tr> <td>5</td><td>復習 3、総合練習、小テスト</td><td>第 12 課から第 15 課までの内容を復習する</td><td>授業内容を復習、次の内容を予習する。</td></tr> <tr> <td>6</td><td>第 16 課 散歩から帰って</td><td>単語、本文、文法、練習</td><td>授業内容を復習、次の内容を予習する。</td></tr> <tr> <td>7</td><td>第 17 課 列車のチケット</td><td>単語、本文、文法、練習</td><td>第 5 課までの内容を復習、次の内容を予習する。</td></tr> <tr> <td>8</td><td>第 18 課 周庄は遠いですか</td><td>単語、本文、文法、練習</td><td>授業内容を復習、次の内容を予習する。</td></tr> <tr> <td>9</td><td>第 19 課 帰国前のひととき</td><td>単語、本文、文法、練習</td><td>授業内容を復習、次の内容を予習する。</td></tr> <tr> <td>10</td><td>復習 4、総合練習、小テスト</td><td>第 16 課から第 19 課までの内容を復習する</td><td>授業内容を復習、次の内容を予習する。</td></tr> <tr> <td>11</td><td>第 20 課 留学したいですか</td><td>単語、本文、文法、練習</td><td>授業内容を復習、次の内容を予習する。</td></tr> <tr> <td>12</td><td>第 21 課 何時に出発しますか</td><td>単語、本文、文法、練習</td><td>授業内容を復習、次の内容を予習する。</td></tr> <tr> <td>13</td><td>第 22 課 また来てください</td><td>単語、本文、文法、練習</td><td>授業内容を復習、次の内容を予習する。</td></tr> <tr> <td>14</td><td>復習 5、総合練習、小テスト</td><td>第 20 課から第 22 課までの内容を復習する</td><td>発表の内容を準備する。</td></tr> <tr> <td>15</td><td>発表会</td><td>発表の内容をチェックする</td><td>発表の内容を暗唱する</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	授業内容、履修方法、評価方法の紹介、第 12 課 上海人も好きです	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。	2	第 13 課 日本料理を食べてみたい	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。	3	第 14 課 お寺に興味はありますか	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。	4	第 15 課 日本料理を食べて	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。	5	復習 3、総合練習、小テスト	第 12 課から第 15 課までの内容を復習する	授業内容を復習、次の内容を予習する。	6	第 16 課 散歩から帰って	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。	7	第 17 課 列車のチケット	単語、本文、文法、練習	第 5 課までの内容を復習、次の内容を予習する。	8	第 18 課 周庄は遠いですか	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。	9	第 19 課 帰国前のひととき	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。	10	復習 4、総合練習、小テスト	第 16 課から第 19 課までの内容を復習する	授業内容を復習、次の内容を予習する。	11	第 20 課 留学したいですか	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。	12	第 21 課 何時に出発しますか	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。	13	第 22 課 また来てください	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。	14	復習 5、総合練習、小テスト	第 20 課から第 22 課までの内容を復習する	発表の内容を準備する。	15	発表会	発表の内容をチェックする	発表の内容を暗唱する
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	授業内容、履修方法、評価方法の紹介、第 12 課 上海人も好きです	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。																																																																
2	第 13 課 日本料理を食べてみたい	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。																																																																
3	第 14 課 お寺に興味はありますか	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。																																																																
4	第 15 課 日本料理を食べて	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。																																																																
5	復習 3、総合練習、小テスト	第 12 課から第 15 課までの内容を復習する	授業内容を復習、次の内容を予習する。																																																																
6	第 16 課 散歩から帰って	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。																																																																
7	第 17 課 列車のチケット	単語、本文、文法、練習	第 5 課までの内容を復習、次の内容を予習する。																																																																
8	第 18 課 周庄は遠いですか	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。																																																																
9	第 19 課 帰国前のひととき	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。																																																																
10	復習 4、総合練習、小テスト	第 16 課から第 19 課までの内容を復習する	授業内容を復習、次の内容を予習する。																																																																
11	第 20 課 留学したいですか	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。																																																																
12	第 21 課 何時に出発しますか	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。																																																																
13	第 22 課 また来てください	単語、本文、文法、練習	授業内容を復習、次の内容を予習する。																																																																
14	復習 5、総合練習、小テスト	第 20 課から第 22 課までの内容を復習する	発表の内容を準備する。																																																																
15	発表会	発表の内容をチェックする	発表の内容を暗唱する																																																																
関連科目																																																																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>LOVE! 上海 2 初級～中級編</td><td>楊凱榮・張麗群</td><td>朝日出版社</td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	LOVE! 上海 2 初級～中級編	楊凱榮・張麗群	朝日出版社	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	LOVE! 上海 2 初級～中級編	楊凱榮・張麗群	朝日出版社																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	小テスト、発表、授業に取り組む姿勢などを総合して評価する。 授業への参加度と発表：40% 単元テスト：60%																																																																		
学生へのメッセージ	最近中国からの観光客が増えています、この授業で身に付ける観光中国語がいつかどこかで役に立つはずです。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 2 階非常勤講師室																																																																		
備考	学期中は事前および事後に合計 60 時間の学習時間を必要とする。 授業時間外に質問したい場合、担当教員の授業曜日に非常勤講師室で問い合わせること。不在の場合は、専任教員（中西、兪、小都）を通じて問い合わせることもできる。 試験や課題に対して用紙上または次回授業で必ずフィードバックを行う。																																																																		

科目名	韓国語Ⅱ a	科目名 (英文)	Korean IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	1
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	北島 由紀子
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	この授業では初めて韓国語を学ぶ人を対象とし、まずは文字やその読み方から始めていく。読み書きを反復練習することを通じて文字や読み方が定着した後は、発音ルールを学び、単語、文章なども読めるように練習する。その後は基礎的な文法の能力も養っていく。																																																																		
到達目標	韓国語の文字、発音と基礎的な文法事項を習得する																																																																		
授業方法と留意点	初めて習う文字を定着させるために反復練習を実施する。最初は毎回授業の始めに小テスト形式で既習事項を確認する作業を予定しており、文字定着までは繰り返し復習を必要とする。 学期中は事前および事後に合計 60 時間の学習時間を必要とする。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	韓国語を通して、韓国の社会や文化への理解を深める。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>韓国語とは</td><td>文字の構成</td><td>テキスト 1 課</td></tr> <tr><td>2</td><td>ハングル文字について</td><td>基本母音</td><td>テキスト 2 課</td></tr> <tr><td>3</td><td>ハングル文字について</td><td>基本母音の確認テスト、子音 (平音)</td><td>テキスト 3 課</td></tr> <tr><td>4</td><td>ハングル文字について</td><td>基本母音、子音 (平音) の確認テスト、子音 (濃音、激音)</td><td>テキスト 3 課</td></tr> <tr><td>5</td><td>ハングル文字について</td><td>基本母音、子音 (平音、激音、濃音) の確認テスト、複合母音</td><td>テキスト 4 課</td></tr> <tr><td>6</td><td>ハングル文字について</td><td>反切表</td><td>反切表</td></tr> <tr><td>7</td><td>ハングル文字について</td><td>文字のまとめと復習</td><td>プリント配布</td></tr> <tr><td>8</td><td>まとめ</td><td>前半のまとめと確認テスト</td><td>プリント配布</td></tr> <tr><td>9</td><td>パッチム</td><td>パッチムの種類と発音</td><td>テキスト 5 課</td></tr> <tr><td>10</td><td>発音ルール</td><td>有声音化、連音化、鼻音化</td><td>テキスト 6 課</td></tr> <tr><td>11</td><td>発音ルール</td><td>h 音の発音ルール</td><td>テキスト 6 課</td></tr> <tr><td>12</td><td>基本のあいさつ</td><td>あいさつ文</td><td>テキスト 7 課</td></tr> <tr><td>13</td><td>自己紹介文</td><td>ある程度まとまった文の読み書き</td><td>プリント配布</td></tr> <tr><td>14</td><td>前期のまとめ</td><td>後半のまとめと確認テスト</td><td>プリントの配布</td></tr> <tr><td>15</td><td>韓国ドラマの鑑賞</td><td>韓国ドラマの鑑賞、簡単なセリフの理解</td><td>プリント配布</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	韓国語とは	文字の構成	テキスト 1 課	2	ハングル文字について	基本母音	テキスト 2 課	3	ハングル文字について	基本母音の確認テスト、子音 (平音)	テキスト 3 課	4	ハングル文字について	基本母音、子音 (平音) の確認テスト、子音 (濃音、激音)	テキスト 3 課	5	ハングル文字について	基本母音、子音 (平音、激音、濃音) の確認テスト、複合母音	テキスト 4 課	6	ハングル文字について	反切表	反切表	7	ハングル文字について	文字のまとめと復習	プリント配布	8	まとめ	前半のまとめと確認テスト	プリント配布	9	パッチム	パッチムの種類と発音	テキスト 5 課	10	発音ルール	有声音化、連音化、鼻音化	テキスト 6 課	11	発音ルール	h 音の発音ルール	テキスト 6 課	12	基本のあいさつ	あいさつ文	テキスト 7 課	13	自己紹介文	ある程度まとまった文の読み書き	プリント配布	14	前期のまとめ	後半のまとめと確認テスト	プリントの配布	15	韓国ドラマの鑑賞	韓国ドラマの鑑賞、簡単なセリフの理解	プリント配布
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	韓国語とは	文字の構成	テキスト 1 課																																																																
2	ハングル文字について	基本母音	テキスト 2 課																																																																
3	ハングル文字について	基本母音の確認テスト、子音 (平音)	テキスト 3 課																																																																
4	ハングル文字について	基本母音、子音 (平音) の確認テスト、子音 (濃音、激音)	テキスト 3 課																																																																
5	ハングル文字について	基本母音、子音 (平音、激音、濃音) の確認テスト、複合母音	テキスト 4 課																																																																
6	ハングル文字について	反切表	反切表																																																																
7	ハングル文字について	文字のまとめと復習	プリント配布																																																																
8	まとめ	前半のまとめと確認テスト	プリント配布																																																																
9	パッチム	パッチムの種類と発音	テキスト 5 課																																																																
10	発音ルール	有声音化、連音化、鼻音化	テキスト 6 課																																																																
11	発音ルール	h 音の発音ルール	テキスト 6 課																																																																
12	基本のあいさつ	あいさつ文	テキスト 7 課																																																																
13	自己紹介文	ある程度まとまった文の読み書き	プリント配布																																																																
14	前期のまとめ	後半のまとめと確認テスト	プリントの配布																																																																
15	韓国ドラマの鑑賞	韓国ドラマの鑑賞、簡単なセリフの理解	プリント配布																																																																
関連科目	韓国語初級																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>基礎から学ぶ韓国語講座 初級 改訂版</td><td>木内明</td><td>国書刊行会</td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	基礎から学ぶ韓国語講座 初級 改訂版	木内明	国書刊行会	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	基礎から学ぶ韓国語講座 初級 改訂版	木内明	国書刊行会																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	講義時の対応 (2 割)、課題の提出 (1 割)、授業内に実施する小、中規模テストの成績等 (7 割) を総合的に評価する。 授業中に小、中規模のテストが複数回あるため、その得点率を重視する。定期試験は行わず、授業中の態度、課題、中間テスト等といった中規模のテスト、複数回の小テストといった平常点で評価する。出席回数が基準に満たない場合は不合格とする。																																																																		
学生へのメッセージ	きちんと努力して学べば、これまで全く知らなかった言語を読めるようになります。隣国であり近年特に文化的にも交流のある韓国について言語を通して学んでいきましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 2 階 (非常勤講師室)																																																																		
備考	必要事項は授業中に指示する。 授業時間外に質問したい場合、担当教員の授業曜日に非常勤講師室で問い合わせること。 試験や課題に対して用紙上または次回授業で必ずフィードバックを行う。																																																																		

科目名	韓国語Ⅱ a	科目名 (英文)	Korean IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	2
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	沈 明姫
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	不慣れな姿のハングルを知り韓国語を学ぶことで、日本語と韓国語のもつ類似点、そして同じ漢字文化圏なので、様々な言葉や表現の共通点を見ることが出来る。隣の国、韓国を真の意味で近い国として実感し、韓国の歴史や文化に興味を深めることと、両国がより近い関係に回復できるきっかけとなつてほしいと望みます。外国語である日本語を習得する過程から得られた私の経験を踏まえ、初めて韓国語を学習する人でも楽しくやさしく学ぶことが出来るように心掛けます。
到達目標	1. 韓国語の文字であるハングルの読み、書きが出来るようになる。 2. ハングルで自分の名前を覚える。 3. 簡単な挨拶や自己紹介が出来るようになる。
授業方法と留意点	教科書とプリントを配布して授業を行う。必要に応じてビデオ・CD も活用しながら、k-pop や韓国映画、ドラマも紹介する。学期中は事前および事後に合計 60 時間の学習時間を必要とする。
科目学習の効果 (資格)	韓国語の勉強はもとより、韓国社会と文化への理解を深める良い機会になる。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	韓国語とハングル文字について理解する。	韓国語の歴史、文字構成を説明。 授業の進め方についてのガイダンス及び、 受講生の希望を伺うなど、韓国語をめぐる受講生とのコミュニケーション。	特になし
	2	ハングル 1	基本子音 5 つ、基本母音 6 つを組み合わせる 30 文字を読み書きする。そして 30 文字でできる単語を学ぶ。	復習：テキスト p 16－19 (1 時間) 予習：p 25 (0.5 時間)
	3	ハングル 2	p 18 単語テスト (発音記号、意味) 重母音 4 つ、基本子音 5 つを学ぶ。これまで学んだ母音 10 と子音 10 を組み合わせて 100 文字を読み書きの練習 100 文字を使った韓国語の単語を学ぶ。	復習：テキスト p 20－27 (1 時間) 予習：p 28 (0.5 時間)
	4	ハングル 3	p 25 単語テスト (発音記号、意味) 二重母音 5 つ、激音子音 4 つ、濃音子音 5 つを学び、単語を勉強する。	復習：テキスト p 35 (1 時間) 予習：p 30、p 36 (0.5 時間)
	5	ハングル 4	p 35 単語テスト (発音記号、意味) 複雑な二重母音 6 つ、濃音について学ぶ。 自分の名前と家族や友達の名 3 をハングルで書いてみる	復習：テキスト p 29 (1 時間) 予習：ひらがな表の発音をハングルに置き換えるプリントを完成する (0.5 時間)
	6	子音 19、母音 15 を覚えよう 1	p 29 単語テスト (発音記号、意味) 韓国で使っている外来語を読んで意味を推測してみる。 ハングルを使ってラインをする。	復習：テキスト p 36 (1 時間) 予習：スマートフォンでハングルの打ち方を練習する (0.5 時間)
	7	子音 19、母音 15 を覚えよう 2	p 36 単語テスト (発音記号、意味) ハングルで出来たアンケート用紙を完成しながら、ラインを行う。	復習：テキスト p 30 (1 時間) 予習：スマートフォンでハングルの打ち方を練習する (0.5 時間)
	8	ハングル 5 パッチム パッチムの仕組みを勉強する。	p 30 単語テスト (発音記号、意味) 日本語では使うことの無かった発音を、細かく分析、観察、理解し徹底して練習する。	復習：テキスト p 43 (0.5 時間) 予習：p 44 (0.5 時間)
	9	ハングル 5 パッチム パッチムの仕組みを勉強する。	p 43 単語テスト (発音記号、意味) パッチムの難しい外来語を読みながら意味を調べる	復習：テキスト p 44 (0.5 時間) 予習：p 47、p 48 (0.5 時間)
	10	ハングル文字の総まとめ	p 44 単語テスト (発音記号、意味) これまで文字を勉強する際に出てきた全ての単語をまとめる。 特に難しい発音の二重母音の単語のプリントを読みながら練習する	復習：p18、p25、p29、p 30、p 35、p 36、 43、p 44 (2 時間) 予習：p 49 (0.5 時間)
	11	韓国の映画を見て、耳から聞こえる韓国語を感じる	ハングル総合単語テスト 「カンナさん大成功です！」 p 49、p 50 単語を辞書で調べる	復習：p 49、p 50 単語を覚える (1 時間)
	12	韓国の映画を見て、耳から聞こえる韓国語を感じる	「カンナさん大成功です！」 音読テスト用の文書を配布	予習：音読テスト用の文書を読む練習 (1 時間)
	13	第 6 課 こんにちは。	文字を勉強する際に覚えた単語を使って、短い作文をしながら、助詞を勉強する。	復習：テキスト p 55－59 (1 時間) 予習：7 種類の助詞表を書く (0.5 時間)
	14	前期総合まとめ	基本的な挨拶と簡単な自己紹介。 こんにちは。 お名前は？ 職業は何ですか？ 日本人です。 学生です。 お会い出来て嬉しいです。 前期定期試験の準備	復習：テキスト p 16－59 前期授業の中で出てきた単語全てを整理して覚える 自己紹介の会話 音読テストの準備 (3 時間)
	15	まとめ	前期定期試験	

関連科目	韓国語基礎会話			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	美しい韓国語 1－1 初級 教科書	韓国語教育開発研究院	EKO ランゲージセンター
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	授業参加状況、講義時の対応、小テスト 50% 総合試験 50%			
学生への メッセージ	楽しく韓国語を習いましょう。積み重ねが大切ですので遅刻・欠席しないでください。安価で韓国へ渡航して、授業で学んだ韓国語を直接体験したり、確認したりすれば、大学生活の最高の思い出になるでしょう！			
担当者の 研究室等	7 号館 2 階(非常勤講師室)			
備考	課題やテストに対する評価は次回の授業に書面または口頭でフィードバックする。 myounghee2018@gmail.com			

科目名	韓国語Ⅱb	科目名(英文)	Korean IIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	1
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	北島 由紀子
ディプロマポリシー(DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	本授業では前期に学んだ文字や読み方などを基礎として、まずは自己紹介などができるように日常会話に必要な基本的な文法事項を習得していく。基本的な文法事項の習得とそれを使った作文練習などが主になる。																																																																		
到達目標	韓国語の基礎的な文法を習得しつつ、初歩的な言語能力を育成する。																																																																		
授業方法と留意点	知識を毎回積み重ねていきながら、最終的により幅広い表現を韓国語で言えるように練習していく。欠席しないことが望ましい。学期中は事前および事後に合計60時間の学習時間を必要とする。																																																																		
科目学習の効果(資格)	韓国語だけではなく、韓国の社会や文化への理解を深める																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>前期の復習1</td><td>文字の復習</td><td>プリントを配布</td></tr> <tr><td>2</td><td>前期の復習2</td><td>パッチム、発音ルールの復習</td><td>プリントを配布</td></tr> <tr><td>3</td><td>数詞</td><td>漢数詞と固有数詞</td><td>プリントを配布(テキスト 文法9課、10課)</td></tr> <tr><td>4</td><td>私は～です</td><td>数詞の確認の小テスト、体言文(平叙文)</td><td>テキスト 文法1課</td></tr> <tr><td>5</td><td>～ですか?</td><td>体言文(疑問文)</td><td>テキスト 文法2課</td></tr> <tr><td>6</td><td>～ではありません</td><td>体言文(否定文)</td><td>テキスト 文法3課</td></tr> <tr><td>7</td><td>まとめ</td><td>前半のまとめと確認テスト</td><td>プリント配布</td></tr> <tr><td>8</td><td>用言文のです・ます形</td><td>公的で固い表現のです・ます形</td><td>プリント配布</td></tr> <tr><td>9</td><td>あります・ありません</td><td>存在を表す用言文</td><td>テキスト 文法4課</td></tr> <tr><td>10</td><td>～をします</td><td>動詞「する」のです・ます形</td><td>テキスト 文法5課</td></tr> <tr><td>11</td><td>用言のです・ます形を使った作文</td><td>さまざまな用言のです・ます形</td><td>テキスト文法7課</td></tr> <tr><td>12</td><td>用言のです・ます形</td><td>日常使いのやわらかい表現のです・ます形(1)</td><td>テキスト 文法6課</td></tr> <tr><td>13</td><td>用言のです・ます形</td><td>日常使いのやわらかい表現のです・ます形(2)</td><td>テキスト 文法8課</td></tr> <tr><td>14</td><td>後半のまとめ</td><td>後半のまとめと確認テスト</td><td>プリントを配布</td></tr> <tr><td>15</td><td>前期・後期のまとめ</td><td>韓国ドラマの鑑賞、簡単なセリフの理解</td><td>プリントを配布</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	前期の復習1	文字の復習	プリントを配布	2	前期の復習2	パッチム、発音ルールの復習	プリントを配布	3	数詞	漢数詞と固有数詞	プリントを配布(テキスト 文法9課、10課)	4	私は～です	数詞の確認の小テスト、体言文(平叙文)	テキスト 文法1課	5	～ですか?	体言文(疑問文)	テキスト 文法2課	6	～ではありません	体言文(否定文)	テキスト 文法3課	7	まとめ	前半のまとめと確認テスト	プリント配布	8	用言文のです・ます形	公的で固い表現のです・ます形	プリント配布	9	あります・ありません	存在を表す用言文	テキスト 文法4課	10	～をします	動詞「する」のです・ます形	テキスト 文法5課	11	用言のです・ます形を使った作文	さまざまな用言のです・ます形	テキスト文法7課	12	用言のです・ます形	日常使いのやわらかい表現のです・ます形(1)	テキスト 文法6課	13	用言のです・ます形	日常使いのやわらかい表現のです・ます形(2)	テキスト 文法8課	14	後半のまとめ	後半のまとめと確認テスト	プリントを配布	15	前期・後期のまとめ	韓国ドラマの鑑賞、簡単なセリフの理解	プリントを配布
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	前期の復習1	文字の復習	プリントを配布																																																																
2	前期の復習2	パッチム、発音ルールの復習	プリントを配布																																																																
3	数詞	漢数詞と固有数詞	プリントを配布(テキスト 文法9課、10課)																																																																
4	私は～です	数詞の確認の小テスト、体言文(平叙文)	テキスト 文法1課																																																																
5	～ですか?	体言文(疑問文)	テキスト 文法2課																																																																
6	～ではありません	体言文(否定文)	テキスト 文法3課																																																																
7	まとめ	前半のまとめと確認テスト	プリント配布																																																																
8	用言文のです・ます形	公的で固い表現のです・ます形	プリント配布																																																																
9	あります・ありません	存在を表す用言文	テキスト 文法4課																																																																
10	～をします	動詞「する」のです・ます形	テキスト 文法5課																																																																
11	用言のです・ます形を使った作文	さまざまな用言のです・ます形	テキスト文法7課																																																																
12	用言のです・ます形	日常使いのやわらかい表現のです・ます形(1)	テキスト 文法6課																																																																
13	用言のです・ます形	日常使いのやわらかい表現のです・ます形(2)	テキスト 文法8課																																																																
14	後半のまとめ	後半のまとめと確認テスト	プリントを配布																																																																
15	前期・後期のまとめ	韓国ドラマの鑑賞、簡単なセリフの理解	プリントを配布																																																																
関連科目	韓国語初級																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>基礎から学ぶ韓国語講座 初級 改訂版</td><td>木内明</td><td>国書刊行会</td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	基礎から学ぶ韓国語講座 初級 改訂版	木内明	国書刊行会	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	基礎から学ぶ韓国語講座 初級 改訂版	木内明	国書刊行会																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	講義時の対応(2割)、課題の提出(1割)、授業内に実施する小、中規模テストの成績等(7割)を総合的に評価する。授業中に小、中規模のテストが複数回あるため、その得点率を重視する。定期試験は行わず、授業中の態度、課題、中間テスト等といった中規模のテスト、複数回の小テストといった平常点で評価する。出席回数が基準に満たない場合は不合格とする。																																																																		
学生へのメッセージ	基本的な文法事項を習得していき、その知識を使って基本的な会話や、簡単な作文などもできるように、頑張って学んでいきましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)																																																																		
備考	必要事項は授業中に指示する。 授業時間外に質問したい場合、担当教員の授業曜日に非常勤講師室で問い合わせること。 試験や課題に対して用紙上または次回授業で必ずフィードバックを行う。																																																																		

科目名	韓国語Ⅱb	科目名(英文)	Korean IIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	2
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	沈 明姫
ディプロマポリシー(DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	ハングル入門Ⅰを終了した程度の実力を持つ人を対象とします。ハングルの読み、書きが出来る能力を身につけたうえ、特に現代韓国社会で広く使われている表現や慣用句を、現代の韓流文化を交えて基本的な日常会話を導入し、即席で応用を広げ、ネイティブ講師ならではの長所を生かす実用的な韓国語の習得を心がけます。 一年間を通して基本的な韓国語を読んで、聞いて、話せるようになり、ハングル入門Ⅰ・Ⅱを履修後もさらに韓国語を続けたいという意欲を掻き立てることが出来ればと思います。
到達目標	1. 韓国語の初級文法を理解し、旅行に役立つ程度の会話が出来ようになる。 2. 200文字以上の自己紹介の作文が出来ようになる。
授業方法と留意点	教科書とプリントを配布して授業を行う。必要に応じてビデオ・CDも活用しながら、k-popや韓国映画、ドラマも紹介する。 学期中は事前および事後に合計60時間の学習時間を必要とする。
科目学習の効果(資格)	韓国語の勉強はもとより、韓国社会と文化への理解を深める良い機会になる。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	第7課 はじめまして。	国の名前、言語について学び、読み書きが出来ようになる。	復習：テキストp58、p62-64 (0.5時間) 予習：p65、単語の意味を調べる (0.5時間)
	2	第7課 はじめまして。	どの国の人ですか？ 一ではありません。 助詞 ―は、―がについて練習。	復習：テキストp65-67 (1時間) 予習：p70 (0.5時間)
	3	第7課 はじめまして。	前回の授業で新しく学んだ単語の小テスト。 初対面の人に挨拶と自己紹介する。 人を紹介する時の言い方を学ぶ。 7課ワークプリント	復習：第7課の単語テスト勉強 (1時間) 予習：p70 (0.5時間)
	4	第8課 これは何ですか？	第7課の単語テスト。 これ、それ、あれの指示代名詞について学ぶ。 疑問詞を勉強する。 家族構成員について学ぶ。	復習：テキスト p70-72 家計図を覚える (1時間) 予習：p74単語の意味を調べる (0.5時間)
	5	第8課 これは何ですか？	p72家族構成員の単語小テスト。 日常で使う頻度の高い物を用意し、これは何ですか？の会話を練習する。 所有格助詞―のについて学ぶ。	復習：p74-76 (0.5時間) 予習：p79読む (0.5時間)
	6	第8課 これは何ですか？	テキストp76会話練習をもう一度する。 「私の家族」の作文を読解し、問題に答える。 テキストの内容を参考に「自分の家族」について韓国語で作文をし、提出する。 8課ワークプリント	復習：8課の単語を全て覚えてくる。(1時間) 予習：テキスト p82読んでくる (0.5時間)
	7	第9課 週末に何をしますか？	第8課の単語テスト 動詞、形容詞の終止形を勉強する。 助詞～を、～にを使って作文をする。 日常でよく使う動詞、形容詞25個の終止形活用について学ぶ。	復習：動詞の活用の練習プリント (1時間) 予習：p83 (0.5時間)
	8	第9課 週末に何をしますか？	動詞の活用の練習プリントの小テスト p82-85 “一と一緒に”という言い方を練習する。	復習：p82-85 (0.5時間) 予習：p86, 87読む (0.5時間)
	9	第9課 週末に何をしますか？	動詞、形容詞の終止形を使った作文をする。 時を表す単語を覚える。 9課ワークプリント	復習：9課全体 (1時間) 予習：p95 数字 (0.5時間)
	10	第10課 ビエールさんの事務室は3階にあります。	9課単語テスト 5桁の数字の読み書きが出来るように練習する。 位置関係の言葉覚える。	復習：p96単語を覚える (0.5時間) 予習：p94読む (0.5時間)
	11	第10課 ビエールさんの事務室は3階にあります。	位置関係の言葉小テスト 5桁の漢数字を練習する。 p94-p96	復習：p94-96 (0.5時間) 予習：p97、p98読む (0.5時間)
	12	第10課 ビエールさんの事務室は3階にあります。	前回の授業で新しく学んだ5桁の数字の小テスト。 位置関係の言葉を練習。 ここはどこですか？どこに何がありますか？	復習：p94-96 (0.5時間) 予習：p97、p98読む (0.5時間)
	13	第10課 ビエールさんの事務室は3階にあります。	5桁の数字の練習 p98-101 10課全体単語テスト	復習：10課全体単語テスト勉強 (1時間) 予習「自己紹介」200文字作文 (1時間)
	14	第11課 電話番号は何番ですか？ 後期総合まとめ	助詞―は、―も、―のみの使い方を練習する。 200文字の自己紹介をチェック 後期授業の内容整理し、復習をする。 後期定期試験の対策。	復習：7課～11課まで 5桁の漢数字 200文字の自己紹介 (3時間)

	15	まとめ	後期末試験	
関連科目	韓国語基礎会話			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	美しい韓国語 1－1 初級 教科書	韓国語教育開発研究院	EKO ランゲージセンター
	2			
	3			
評価方法 (基準)	授業参加状況、講義時の対応、小テスト 50% 総合試験 50%			
学生への メッセージ	楽しく韓国語を学びましょう。語学がまじめに積み重ねる他方法がありませんので、遅刻・欠席しない用に頑張りましょう。 韓国旅行や韓国のテレビ番組などを通して、授業で学んだ韓国語が役立つという実感があれば、もしくは将来的に就職活動にまで生かすことが出来れば、最高でしょう！			
担当者の 研究室等	7 号館 2 階(非常勤講師室)			
備考	課題やテストに対する評価は次回の授業に書面または口頭でフィードバックする。 myounghee2018@gmail.com			

科目名	韓国語Ⅲ a	科目名 (英文)	Korean IIIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	李 知垠
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	韓国語Ⅰ・Ⅱで習得した基礎的能力をベースに、日常生活における様々な場面において、基本的なコミュニケーションが取れるように、総合的学習(読み・書き・話し・聞き)を行います。 *授業内容は学習理解度・習得度により変更可能です。																																																																		
到達目標	①韓国語の尊敬語が使える。 ②理由の表現ができる。 ③自分の経験についての表現ができる。																																																																		
授業方法と留意点	<授業方法> 授業形式は、教科書を中心に文法練習プリントを配り、ペア・グループ活動で会話練習を行う。 授業内容により、ゲーム・歌・ドラマを取り入れる。 <留意点> ペア・グループ活動に積極的に参加し、事前に文法の復習と語彙を予習することが望まれる。 学期中は事前および事後に合計 60 時間の学習時間を必要とする。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	韓国語を通じて韓国文化を理解し、日本文化との比較ができる。 韓国語能力試験(TOPIK)1 級、ハングル検定 4・5 級を目指すことができる。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>基礎の復習</td><td>現在形、過去形、存在形 ('へヨ体')</td><td>文法項目の復習 現在形、過去形 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>2</td><td>1 課 '明日、旅行にいくつもりです。'</td><td>文法 ①未来形 ②可能形</td><td>教科書 1 課 文法の復習 (30 分)、 p 18～19 単語の予習 (30 分)</td></tr> <tr> <td>3</td><td>1 課 '明日、旅行にいくつもりです。'</td><td>文法 ③形容詞 対話</td><td>教科書 1 課 文法の復習 (30 分)、 p 20～24 単語の予習 (30 分)</td></tr> <tr> <td>4</td><td>1 課 '明日、旅行にいくつもりです。'</td><td>読解・聴解・作文</td><td>教科書 1 課 文法の復習 (30 分)、 p 28～32 単語の予習 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>5</td><td>2 課 'この服を着てみてください。'</td><td>文法 ①形容詞の連体形 ②否定</td><td>教科書 2 課 文法の復習 (30 分) p 21 単語の復習 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>6</td><td>2 課 'この服を着てみてください。'</td><td>文法 ③勧誘 対話</td><td>教科書 2 課 文法の復習 (30 分) 動詞単語の予習 ((30 分) p 39～41 単語の予習 (30 分)</td></tr> <tr> <td>7</td><td>2 課 'この服を着てみてください。'</td><td>読解・聴解・作文</td><td>教科書 2 課 文法の復習 (30 分) p 43～50 単語の予習 (30 分)</td></tr> <tr> <td>8</td><td>3 課 '最近、どのように過ごされますか。'</td><td>文法 ①尊敬語の現在形 ②尊敬語の過去形</td><td>教科書 3 課 文法の復習 (30 分) p 54～55 単語の予習 (30 分)</td></tr> <tr> <td>9</td><td>3 課 '最近、どのように過ごされますか。'</td><td>対話・読解</td><td>教科書 3 課 文法の復習 (30 分) p 56～63 単語の予習 (30 分)</td></tr> <tr> <td>10</td><td>3 課 '最近、どのように過ごされますか。'</td><td>聴解・作文</td><td>教科書 3 課 文法の復習 (30 分) p 64～66 単語の予習 (30 分)</td></tr> <tr> <td>11</td><td>4 課 '水泳ができます。'</td><td>文法 ①やり方・方法の可能・不可能形 ②義務表現</td><td>教科書 4 課 文法の復習 (30 分) p 70～72 単語の予習 (30 分)</td></tr> <tr> <td>12</td><td>4 課 '水泳ができます。'</td><td>文法 ③選択表現 対話</td><td>教科書 4 課 文法の復習 (30 分) p 73～76 単語の予習 (30 分)</td></tr> <tr> <td>13</td><td>4 課 '水泳ができます。'</td><td>読解・聴解・作文</td><td>教科書 4 課 文法の復習 (30 分) p 78～84 単語の予習 (30 分)</td></tr> <tr> <td>14</td><td>総合確認</td><td>習得内容のまとめ</td><td>文法・単語の復習 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>15</td><td>韓国文化</td><td>視聴覚授業</td><td></td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	基礎の復習	現在形、過去形、存在形 ('へヨ体')	文法項目の復習 現在形、過去形 (2 時間)	2	1 課 '明日、旅行にいくつもりです。'	文法 ①未来形 ②可能形	教科書 1 課 文法の復習 (30 分)、 p 18～19 単語の予習 (30 分)	3	1 課 '明日、旅行にいくつもりです。'	文法 ③形容詞 対話	教科書 1 課 文法の復習 (30 分)、 p 20～24 単語の予習 (30 分)	4	1 課 '明日、旅行にいくつもりです。'	読解・聴解・作文	教科書 1 課 文法の復習 (30 分)、 p 28～32 単語の予習 (1 時間)	5	2 課 'この服を着てみてください。'	文法 ①形容詞の連体形 ②否定	教科書 2 課 文法の復習 (30 分) p 21 単語の復習 (1 時間)	6	2 課 'この服を着てみてください。'	文法 ③勧誘 対話	教科書 2 課 文法の復習 (30 分) 動詞単語の予習 ((30 分) p 39～41 単語の予習 (30 分)	7	2 課 'この服を着てみてください。'	読解・聴解・作文	教科書 2 課 文法の復習 (30 分) p 43～50 単語の予習 (30 分)	8	3 課 '最近、どのように過ごされますか。'	文法 ①尊敬語の現在形 ②尊敬語の過去形	教科書 3 課 文法の復習 (30 分) p 54～55 単語の予習 (30 分)	9	3 課 '最近、どのように過ごされますか。'	対話・読解	教科書 3 課 文法の復習 (30 分) p 56～63 単語の予習 (30 分)	10	3 課 '最近、どのように過ごされますか。'	聴解・作文	教科書 3 課 文法の復習 (30 分) p 64～66 単語の予習 (30 分)	11	4 課 '水泳ができます。'	文法 ①やり方・方法の可能・不可能形 ②義務表現	教科書 4 課 文法の復習 (30 分) p 70～72 単語の予習 (30 分)	12	4 課 '水泳ができます。'	文法 ③選択表現 対話	教科書 4 課 文法の復習 (30 分) p 73～76 単語の予習 (30 分)	13	4 課 '水泳ができます。'	読解・聴解・作文	教科書 4 課 文法の復習 (30 分) p 78～84 単語の予習 (30 分)	14	総合確認	習得内容のまとめ	文法・単語の復習 (2 時間)	15	韓国文化	視聴覚授業	
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	基礎の復習	現在形、過去形、存在形 ('へヨ体')	文法項目の復習 現在形、過去形 (2 時間)																																																																
2	1 課 '明日、旅行にいくつもりです。'	文法 ①未来形 ②可能形	教科書 1 課 文法の復習 (30 分)、 p 18～19 単語の予習 (30 分)																																																																
3	1 課 '明日、旅行にいくつもりです。'	文法 ③形容詞 対話	教科書 1 課 文法の復習 (30 分)、 p 20～24 単語の予習 (30 分)																																																																
4	1 課 '明日、旅行にいくつもりです。'	読解・聴解・作文	教科書 1 課 文法の復習 (30 分)、 p 28～32 単語の予習 (1 時間)																																																																
5	2 課 'この服を着てみてください。'	文法 ①形容詞の連体形 ②否定	教科書 2 課 文法の復習 (30 分) p 21 単語の復習 (1 時間)																																																																
6	2 課 'この服を着てみてください。'	文法 ③勧誘 対話	教科書 2 課 文法の復習 (30 分) 動詞単語の予習 ((30 分) p 39～41 単語の予習 (30 分)																																																																
7	2 課 'この服を着てみてください。'	読解・聴解・作文	教科書 2 課 文法の復習 (30 分) p 43～50 単語の予習 (30 分)																																																																
8	3 課 '最近、どのように過ごされますか。'	文法 ①尊敬語の現在形 ②尊敬語の過去形	教科書 3 課 文法の復習 (30 分) p 54～55 単語の予習 (30 分)																																																																
9	3 課 '最近、どのように過ごされますか。'	対話・読解	教科書 3 課 文法の復習 (30 分) p 56～63 単語の予習 (30 分)																																																																
10	3 課 '最近、どのように過ごされますか。'	聴解・作文	教科書 3 課 文法の復習 (30 分) p 64～66 単語の予習 (30 分)																																																																
11	4 課 '水泳ができます。'	文法 ①やり方・方法の可能・不可能形 ②義務表現	教科書 4 課 文法の復習 (30 分) p 70～72 単語の予習 (30 分)																																																																
12	4 課 '水泳ができます。'	文法 ③選択表現 対話	教科書 4 課 文法の復習 (30 分) p 73～76 単語の予習 (30 分)																																																																
13	4 課 '水泳ができます。'	読解・聴解・作文	教科書 4 課 文法の復習 (30 分) p 78～84 単語の予習 (30 分)																																																																
14	総合確認	習得内容のまとめ	文法・単語の復習 (2 時間)																																																																
15	韓国文化	視聴覚授業																																																																	
関連科目	韓国語関連科目																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>New 西江韓国語 1B</td><td>西江大学校 韓国語教育院</td><td>西江大学校 国際文化教育院</td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	New 西江韓国語 1B	西江大学校 韓国語教育院	西江大学校 国際文化教育院	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	New 西江韓国語 1B	西江大学校 韓国語教育院	西江大学校 国際文化教育院																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>西江韓国語 1B 翻訳・文法解説</td><td>西江大学校 韓国語教育院</td><td>西江大学校 国際文化教育院</td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	西江韓国語 1B 翻訳・文法解説	西江大学校 韓国語教育院	西江大学校 国際文化教育院	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	西江韓国語 1B 翻訳・文法解説	西江大学校 韓国語教育院	西江大学校 国際文化教育院																																																																
2																																																																			
3																																																																			

評価方法 (基準)	平常点 (授業態度、協同力、提出物) 20%、小テスト 30%、期末テスト 30% で評価
学生への メッセージ	この授業は、韓国語Ⅰ・Ⅱを履修し、'ヘヨ体' で現在形・過去形が出来る人を対象とします。 授業で学んだ内容を生かし、ネイティブとの会話や韓国旅行で使ってみましょう。 韓国語を通じて異文化を体験し、世界を見る視野を広げることが、成長した自分に出会えるきっかけになると思います。
担当者の 研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
備考	授業の内容は習得様子により変更する可能性があります。 試験や課題に対して用紙上または次回授業で必ずフィードバックを行う。 hangeul.nara1443@gmail.com

科目名	韓国語Ⅲb	科目名(英文)	Korean IIIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	李 知垠
ディプロマポリシー(DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	韓国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを履修した人、及びそれに応じる文法能力ができる人を対象にします。 韓国語Ⅲに引き続き、学んだ内容を実践的に会話で運用できるよう、総合的学習(読み・書き・話し・聞き)を行います。 授業内容は学習理解度・習得度により変更可能です。
到達目標	日常生活における様々な場面において、韓国人と基本的なコミュニケーションが取れるようになることを目標とします。
授業方法と留意点	授業形式は、教科書を中心に文法練習プリントを配り、ペア・グループ活動で会話練習を行う。 授業内容により、ゲーム・歌・ドラマを取り入れる。 ペア・グループ活動に積極的に参加し、事前に文法の復習と語彙を予習することが望まれる。 学期中は事前および事後に合計60時間の学習時間を必要とする。
科目学習の効果(資格)	韓国語を通じて韓国文化を理解し、日本文化との比較ができる。 韓国語能力試験(TOPIK)1級・ハングル検定4・5級を目指すことができる。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	5課 ‘一緒に映画をみましょうか’	文法 ①提案表現 ②羅列接続(名詞)表現	教科書5課 文法の復習(30分)、 p 88～89単語の予習(30分)
	2	5課 ‘一緒に映画をみましょうか’	文法 ③羅列接続(動詞)表現 対話	教科書5課 文法の復習(30分)、 p 90～94単語の予習(1時間)
	3	5課 ‘一緒に映画をみましょうか’	読解・作文	教科書5課 文法の復習(30分)、 p 97～99単語の予習(30分)
	4	5課 ‘一緒に映画をみましょうか’	聴解・作文	教科書5課 文法の復習(30分)、 p 101～102単語の予習(30分)
	5	6課 ‘具合が悪かったので、行けませんでした。’	文法 ①不可能表現 ②理由表現	教科書6課 文法の復習(30分)、 p 106～107単語の予習(30分)
	6	6課 ‘具合が悪かったので、行けませんでした。’	文法 ③意図表現 対話	教科書6課 文法の復習(30分)、 p 108～111単語の予習(1時間)
	7	6課 ‘具合が悪かったので、行けませんでした。’	読解・作文	教科書6課 文法の復習(30分)、 p 115～117単語の予習(1時間)
	8	6課 ‘具合が悪かったので、行けませんでした。’	聴解・作文	教科書6課 文法の復習(30分)、 p 119～120単語の予習(1時間)
	9	7課 ‘韓国料理を食べてみました。’	文法 ①経験表現 ②依頼表現	教科書7課 文法の復習(30分)、 p 124～125単語の予習(30分)
	10	7課 ‘韓国料理を食べてみました。’	対話・読解	教科書7課 文法の復習(30分) p 126～133単語の予習(1時間)
	11	7課 ‘韓国料理を食べてみました。’	聴解・作文	教科書7課 文法の復習(30分) p 135～136単語の予習(30分)
	12	8課 ‘会話授業が一番楽しかったです。’	文法 ①比較表現 ②最上級表現	教科書8課 文法の復習(30分) p 140～141単語の予習(30分)
	13	8課 ‘会話授業が一番楽しかったです。’	対話・読解	教科書8課 文法の復習(30分) p 142～149単語の予習(1時間)
	14	8課 ‘会話授業が一番楽しかったです。’	聴解・作文	教科書8課 文法の復習(30分) p 151～152単語の予(30分)習
	15	総合復習	習得内容のまとめ	文法・単語の復習(2時間)

関連科目	韓国語関連科目			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	New 西江韓国語 1B	西江大学校 韓国語教育院	西江大学校 国際文化教育院
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	西江韓国語 1B 翻訳・文法解説	西江大学校 韓国語教育院	西江大学校 国際文化教育院
評価方法(基準)	平常点(授業態度、協同力、提出物)20%、小テスト30%で、期末テスト50%			
学生へのメッセージ	授業で学んだ内容を生かし、ネイティブとの会話や韓国旅行で使ってみましょう。 韓国語を通じて異文化を体験し、世界を見る視野を広げることが、成長した自分に出会えるきっかけになると思います。			
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)			
備考	授業内容は、習得状況により変更可能です。 試験や課題に対して用紙上または次回授業で必ずフィードバックを行う。 hangeul.nara1443@gmail.com			

科目名	基礎演習 I	科目名 (英文)	Second Year Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	皆本 智美
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL2274c0		

授業概要・目的	「基礎演習」では、外国語学部で取り組む研究について知る。特に「基礎演習 I」では、様々な研究の方法について知る。研究とはどのようなものであるのかを知り、またその面白さを実感する。																		
到達目標	人文的・社会的な研究を行う上での必要な研究方法の基礎について、説明することができる。またそれらの手法に基づいて、基本的な作業ができる。																		
授業方法と留意点	1 クラス当たり 10 数名の編成とし、数クラスが合同でいくつかの研究方法について、アクティブラーニング形式で学んでいく。																		
授業テーマ・内容・方法・事前・事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第 1 回 クラスごとのガイダンス 第 2～4、5～7、8～10、11～13 回 3 回ずつに分けて、次の研究方法を学ぶ。 ・図書館や web を使用した文献収集の方法 ・web 上の多様なデータベースや情報を活用した研究の方法 ・多様な非文字資料（地図・絵画など）を用いた研究の方法 ・アンケートやインタビューなど人を対象に調査する研究の方法 第 14・15 回 クラスごとの総括、成果発表 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	授業および課題への取り組み (100%)																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3～5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎演習 I	科目名 (英文)	Second Year Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	後藤 一章
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL2274c0		

授業概要・目的	「基礎演習」では、外国語学部で取り組む研究について知る。特に「基礎演習 I」では、様々な研究の方法について知る。研究とはどのようなものであるのかを知り、またその面白さを実感する。																		
到達目標	人文学的・社会的な研究を行う上での必要な研究方法の基礎について、説明することができる。またそれらの手法に基づいて、基本的な作業ができる。																		
授業方法と留意点	1 クラス当たり 10 数名の編成とし、数クラスが合同でいくつかの研究方法について、アクティブラーニング形式で学んでいく。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第 1 回 クラスごとのガイダンス 第 2～4、5～7、8～10、11～13 回 3 回ずつに分けて、次の研究方法を学ぶ。 ・図書館や web を使用した文献収集の方法 ・web 上の多様なデータベースや情報を活用した研究の方法 ・多様な非文字資料（地図・絵画など）を用いた研究の方法 ・アンケートやインタビューなど人を対象に調査する研究の方法 第 14・15 回 クラスごとの総括、成果発表 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	授業および課題への取り組み (100%)																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3～5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎演習 I	科目名 (英文)	Second Year Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	林田 敏子
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL2274c0		

授業概要・目的	「基礎演習」では、外国語学部で取り組む研究について知る。特に「基礎演習 I」では、様々な研究の方法について知る。研究とはどのようなものであるのかを知り、またその面白さを実感する。																		
到達目標	人文学的・社会的な研究を行う上での必要な研究方法の基礎について、説明することができる。またそれらの手法に基づいて、基本的な作業ができる。																		
授業方法と留意点	1 クラス当たり 10 数名の編成とし、数クラスが合同でいくつかの研究方法について、アクティブラーニング形式で学んでいく。																		
授業テーマ・内容・方法・事前・事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第 1 回 クラスごとのガイダンス 第 2～4、5～7、8～10、11～13 回 3 回ずつに分けて、次の研究方法を学ぶ。 ・図書館や web を使用した文献収集の方法 ・web 上の多様なデータベースや情報を活用した研究の方法 ・多様な非文字資料（地図・絵画など）を用いた研究の方法 ・アンケートやインタビューなど人を対象に調査する研究の方法 第 14・15 回 クラスごとの総括、成果発表 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	授業および課題への取り組み (100%)																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3～5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎演習 I	科目名 (英文)	Second Year Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	橋本 正俊
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL2274c0		

授業概要・目的	「基礎演習」では、外国語学部で取り組む研究について知る。特に「基礎演習 I」では、様々な研究の方法について知る。研究とはどのようなものであるのかを知り、またその面白さを実感する。																		
到達目標	人文学的・社会的な研究を行う上での必要な研究方法の基礎について、説明することができる。またそれらの手法に基づいて、基本的な作業ができる。																		
授業方法と留意点	1 クラス当たり 10 数名の編成とし、数クラスが合同でいくつかの研究方法について、アクティブラーニング形式で学んでいく。																		
授業テーマ・内容・方法・事前・事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第 1 回 クラスごとのガイダンス 第 2～4、5～7、8～10、11～13 回 3 回ずつに分けて、次の研究方法を学ぶ。 ・図書館や web を使用した文献収集の方法 ・web 上の多様なデータベースや情報を活用した研究の方法 ・多様な非文字資料（地図・絵画など）を用いた研究の方法 ・アンケートやインタビューなど人を対象に調査する研究の方法 第 14・15 回 クラスごとの総括、成果発表 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	授業および課題への取り組み (100%)																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3～5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎演習 I	科目名 (英文)	Second Year Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	赤澤 春彦
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL2274c0		

授業概要・目的	「基礎演習」では、外国語学部で取り組む研究について知る。特に「基礎演習 I」では、様々な研究の方法について知る。研究とはどういうものであるのかを知り、またその面白さを実感する。																		
到達目標	人文学的・社会的な研究を行う上での必要な研究方法の基礎について、説明することができる。またそれらの手法に基づいて、基本的な作業ができる。																		
授業方法と留意点	1 クラス当たり 10 数名の編成とし、数クラスが合同でいくつかの研究方法について、アクティブラーニング形式で学んでいく。																		
授業テーマ・内容・方法・事前・事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第 1 回 クラスごとのガイダンス 第 2～4、5～7、8～10、11～13 回 3 回ずつに分けて、次の研究方法を学ぶ。 ・図書館や web を使用した文献収集の方法 ・web 上の多様なデータベースや情報を活用した研究の方法 ・多様な非文字資料（地図・絵画など）を用いた研究の方法 ・アンケートやインタビューなど人を対象に調査する研究の方法 第 14・15 回 クラスごとの総括、成果発表 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	授業および課題への取り組み (100%)																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3～5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎演習 I	科目名 (英文)	Second Year Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	浅野 英一
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL2274c0		

授業概要・目的	「基礎演習」では、外国語学部で取り組む研究について知る。特に「基礎演習 I」では、様々な研究の方法について知る。研究とはどういうものであるのかを知り、またその面白さを実感する。																		
到達目標	人文学的・社会的な研究を行う上での必要な研究方法の基礎について、説明することができる。またそれらの手法に基づいて、基本的な作業ができる。																		
授業方法と留意点	1 クラス当たり 10 数名の編成とし、数クラスが合同でいくつかの研究方法について、アクティブラーニング形式で学んでいく。																		
授業テーマ・内容・方法・事前・事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第 1 回 クラスごとのガイダンス 第 2～4、5～7、8～10、11～13 回 3 回ずつに分けて、次の研究方法を学ぶ。 ・図書館や web を使用した文献収集の方法 ・web 上の多様なデータベースや情報を活用した研究の方法 ・多様な非文字資料（地図・絵画など）を用いた研究の方法 ・アンケートやインタビューなど人を対象に調査する研究の方法 第 14・15 回 クラスごとの総括、成果発表 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	授業および課題への取り組み (100%)																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3～5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎演習 I	科目名 (英文)	Second Year Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	有馬 善一
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL2274c0		

授業概要・目的	「基礎演習」では、外国語学部で取り組む研究について知る。特に「基礎演習 I」では、様々な研究の方法について知る。研究とはどのようなものであるのかを知り、またその面白さを実感する。																		
到達目標	人文学的・社会的な研究を行う上での必要な研究方法の基礎について、説明することができる。またそれらの手法に基づいて、基本的な作業ができる。																		
授業方法と留意点	1 クラス当たり 10 数名の編成とし、数クラスが合同でいくつかの研究方法について、アクティブラーニング形式で学んでいく。																		
授業テーマ・内容・方法・事前・事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第 1 回 クラスごとのガイダンス 第 2～4、5～7、8～10、11～13 回 3 回ずつに分けて、次の研究方法を学ぶ。 ・図書館や web を使用した文献収集の方法 ・web 上の多様なデータベースや情報を活用した研究の方法 ・多様な非文字資料（地図・絵画など）を用いた研究の方法 ・アンケートやインタビューなど人を対象に調査する研究の方法 第 14・15 回 クラスごとの総括、成果発表 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	授業および課題への取り組み (100%)																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3～5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎演習 I	科目名 (英文)	Second Year Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	藤原 崇
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL2274c0		

授業概要・目的	「基礎演習」では、外国語学部で取り組む研究について知る。特に「基礎演習 I」では、様々な研究の方法について知る。研究とはどのようなものであるのかを知り、またその面白さを実感する。																		
到達目標	人文学的・社会的な研究を行う上での必要な研究方法の基礎について、説明することができる。またそれらの手法に基づいて、基本的な作業ができる。																		
授業方法と留意点	1 クラス当たり 10 数名の編成とし、数クラスが合同でいくつかの研究方法について、アクティブラーニング形式で学んでいく。																		
授業テーマ・内容・方法・事前・事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第 1 回 クラスごとのガイダンス 第 2～4、5～7、8～10、11～13 回 3 回ずつに分けて、次の研究方法を学ぶ。 ・図書館や web を使用した文献収集の方法 ・web 上の多様なデータベースや情報を活用した研究の方法 ・多様な非文字資料（地図・絵画など）を用いた研究の方法 ・アンケートやインタビューなど人を対象に調査する研究の方法 第 14・15 回 クラスごとの総括、成果発表 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	授業および課題への取り組み (100%)																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3～5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎演習 I	科目名 (英文)	Second Year Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	杉浦 秀行
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL2274c0		

授業概要・目的	「基礎演習」では、外国語学部で取り組む研究について知る。特に「基礎演習 I」では、様々な研究の方法について知る。研究とはどのようなものであるのかを知り、またその面白さを実感する。																		
到達目標	人文学的・社会的な研究を行う上での必要な研究方法の基礎について、説明することができる。またそれらの手法に基づいて、基本的な作業ができる。																		
授業方法と留意点	1 クラス当たり 10 数名の編成とし、数クラスが合同でいくつかの研究方法について、アクティブラーニング形式で学んでいく。																		
授業テーマ・内容・方法・事前・事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第 1 回 クラスごとのガイダンス 第 2～4、5～7、8～10、11～13 回 3 回ずつに分けて、次の研究方法を学ぶ。 ・図書館や web を使用した文献収集の方法 ・web 上の多様なデータベースや情報を活用した研究の方法 ・多様な非文字資料（地図・絵画など）を用いた研究の方法 ・アンケートやインタビューなど人を対象に調査する研究の方法 第 14・15 回 クラスごとの総括、成果発表 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	授業および課題への取り組み (100%)																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3～5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎演習 I	科目名 (英文)	Second Year Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	手代木 功基
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL2274c0		

授業概要・目的	「基礎演習」では、外国語学部で取り組む研究について知る。特に「基礎演習 I」では、様々な研究の方法について知る。研究とはどのようなものであるのかを知り、またその面白さを実感する。																		
到達目標	人文学的・社会的な研究を行う上での必要な研究方法の基礎について、説明することができる。またそれらの手法に基づいて、基本的な作業ができる。																		
授業方法と留意点	1 クラス当たり 10 数名の編成とし、数クラスが合同でいくつかの研究方法について、アクティブラーニング形式で学んでいく。																		
授業テーマ・内容・方法・事前・事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第 1 回 クラスごとのガイダンス 第 2～4、5～7、8～10、11～13 回 3 回ずつに分けて、次の研究方法を学ぶ。 ・図書館や web を使用した文献収集の方法 ・web 上の多様なデータベースや情報を活用した研究の方法 ・多様な非文字資料（地図・絵画など）を用いた研究の方法 ・アンケートやインタビューなど人を対象に調査する研究の方法 第 14・15 回 クラスごとの総括、成果発表 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	授業および課題への取り組み (100%)																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3～5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎演習 I	科目名 (英文)	Second Year Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	鈴木 大介
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL2274c0		

授業概要・目的	「基礎演習」では、外国語学部で取り組む研究について知る。特に「基礎演習 I」では、様々な研究の方法について知る。研究とはどのようなものであるのかを知り、またその面白さを実感する。																		
到達目標	人文学的・社会的な研究を行う上での必要な研究方法の基礎について、説明することができる。またそれらの手法に基づいて、基本的な作業ができる。																		
授業方法と留意点	1 クラス当たり 10 数名の編成とし、数クラスが合同でいくつかの研究方法について、アクティブラーニング形式で学んでいく。																		
授業テーマ・内容・方法・事前・事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第 1 回 クラスごとのガイダンス 第 2～4、5～7、8～10、11～13 回 3 回ずつに分けて、次の研究方法を学ぶ。 ・図書館や web を使用した文献収集の方法 ・web 上の多様なデータベースや情報を活用した研究の方法 ・多様な非文字資料（地図・絵画など）を用いた研究の方法 ・アンケートやインタビューなど人を対象に調査する研究の方法 第 14・15 回 クラスごとの総括、成果発表 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	授業および課題への取り組み (100%)																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3～5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎演習 I	科目名 (英文)	Second Year Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	田中 悟
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL2274c0		

授業概要・目的	「基礎演習」では、外国語学部で取り組む研究について知る。特に「基礎演習 I」では、様々な研究の方法について知る。研究とはどのようなものであるのかを知り、またその面白さを実感する。																		
到達目標	人文学的・社会的な研究を行う上での必要な研究方法の基礎について、説明することができる。またそれらの手法に基づいて、基本的な作業ができる。																		
授業方法と留意点	1 クラス当たり 10 数名の編成とし、数クラスが合同でいくつかの研究方法について、アクティブラーニング形式で学んでいく。																		
授業テーマ・内容・方法・事前・事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第 1 回 クラスごとのガイダンス 第 2～4、5～7、8～10、11～13 回 3 回ずつに分けて、次の研究方法を学ぶ。 ・図書館や web を使用した文献収集の方法 ・web 上の多様なデータベースや情報を活用した研究の方法 ・多様な非文字資料（地図・絵画など）を用いた研究の方法 ・アンケートやインタビューなど人を対象に調査する研究の方法 第 14・15 回 クラスごとの総括、成果発表 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	授業および課題への取り組み (100%)																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3～5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎演習 I	科目名 (英文)	Second Year Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	門脇 薫
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL2274c0		

授業概要・目的	「基礎演習」では、外国語学部で取り組む研究について知る。特に「基礎演習 I」では、様々な研究の方法について知る。研究とはどういうものであるのかを知り、またその面白さを実感する。																		
到達目標	人文学的・社会的な研究を行う上での必要な研究方法の基礎について、説明することができる。またそれらの手法に基づいて、基本的な作業ができる。																		
授業方法と留意点	1 クラス当たり 10 数名の編成とし、数クラスが合同でいくつかの研究方法について、アクティブラーニング形式で学んでいく。																		
授業テーマ・内容・方法・事前・事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第 1 回 クラスごとのガイダンス 第 2～4、5～7、8～10、11～13 回 3 回ずつに分けて、次の研究方法を学ぶ。 ・図書館や web を使用した文献収集の方法 ・web 上の多様なデータベースや情報を活用した研究の方法 ・多様な非文字資料（地図・絵画など）を用いた研究の方法 ・アンケートやインタビューなど人を対象に調査する研究の方法 第 14・15 回 クラスごとの総括、成果発表 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	授業および課題への取り組み (100%)																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3～5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎演習 I	科目名 (英文)	Second Year Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	杉山 博昭
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL2274c0		

授業概要・目的	「基礎演習」では、外国語学部で取り組む研究について知る。特に「基礎演習 I」では、様々な研究の方法について知る。研究とはどういうものであるのかを知り、またその面白さを実感する。																		
到達目標	人文学的・社会的な研究を行う上での必要な研究方法の基礎について、説明することができる。またそれらの手法に基づいて、基本的な作業ができる。																		
授業方法と留意点	1 クラス当たり 10 数名の編成とし、数クラスが合同でいくつかの研究方法について、アクティブラーニング形式で学んでいく。																		
授業テーマ・内容・方法・事前・事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第 1 回 クラスごとのガイダンス 第 2～4、5～7、8～10、11～13 回 3 回ずつに分けて、次の研究方法を学ぶ。 ・図書館や web を使用した文献収集の方法 ・web 上の多様なデータベースや情報を活用した研究の方法 ・多様な非文字資料（地図・絵画など）を用いた研究の方法 ・アンケートやインタビューなど人を対象に調査する研究の方法 第 14・15 回 クラスごとの総括、成果発表 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	授業および課題への取り組み (100%)																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3～5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎演習 I	科目名 (英文)	Second Year Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	古矢 篤史
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL2274c0		

授業概要・目的	「基礎演習」では、外国語学部で取り組む研究について知る。特に「基礎演習 I」では、様々な研究の方法について知る。研究とはどのようなものであるのかを知り、またその面白さを実感する。																		
到達目標	人文学的・社会的な研究を行う上での必要な研究方法の基礎について、説明することができる。またそれらの手法に基づいて、基本的な作業ができる。																		
授業方法と留意点	1 クラス当たり 10 数名の編成とし、数クラスが合同でいくつかの研究方法について、アクティブラーニング形式で学んでいく。																		
授業テーマ・内容・方法・事前・事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第 1 回 クラスごとのガイダンス 第 2～4、5～7、8～10、11～13 回 3 回ずつに分けて、次の研究方法を学ぶ。 ・図書館や web を使用した文献収集の方法 ・web 上の多様なデータベースや情報を活用した研究の方法 ・多様な非文字資料（地図・絵画など）を用いた研究の方法 ・アンケートやインタビューなど人を対象に調査する研究の方法 第 14・15 回 クラスごとの総括、成果発表 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	授業および課題への取り組み (100%)																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3～5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎演習 I	科目名 (英文)	Second Year Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	上田 達
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL2274c0		

授業概要・目的	「基礎演習」では、外国語学部で取り組む研究について知る。特に「基礎演習 I」では、様々な研究の方法について知る。研究とはどういうものであるのかを知り、またその面白さを実感する。																		
到達目標	人文学的・社会的な研究を行う上での必要な研究方法の基礎について、説明することができる。またそれらの手法に基づいて、基本的な作業ができる。																		
授業方法と留意点	1 クラス当たり 10 数名の編成とし、数クラスが合同でいくつかの研究方法について、アクティブラーニング形式で学んでいく。																		
授業テーマ・内容・方法・事前・事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第 1 回 クラスごとのガイダンス 第 2～4、5～7、8～10、11～13 回 3 回ずつに分けて、次の研究方法を学ぶ。 ・図書館や web を使用した文献収集の方法 ・web 上の多様なデータベースや情報を活用した研究の方法 ・多様な非文字資料（地図・絵画など）を用いた研究の方法 ・アンケートやインタビューなど人を対象に調査する研究の方法 第 14・15 回 クラスごとの総括、成果発表 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	授業および課題への取り組み (100%)																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3～5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎演習Ⅱ	科目名（英文）	Second Year Seminar Ⅱ
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	山口 真佐夫, 上田 達
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL2275c0		

授業概要・目的	「基礎演習」では、外国語学部で取り組む研究について知る。 特に「基礎演習Ⅱ」では、専攻言語地域の言語・文化について、基本的な文献の扱い方や、考え方を身につける。研究とはどういうものであるのかを知り、またその面白さを実感する。																		
到達目標	専攻言語地域の言語や文化について、調べ、考えることができる。																		
授業方法と留意点	専攻言語別にクラスを分け、1 クラス当たり 10 数名の編成とする。アクティブラーニング形式で学んでいく。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 複数の教員が交替で担当し、専攻言語地域の言語や文化について、発表や実践を中心に進める。 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1 ～ 4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業および課題への取り組み（100%）																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3 ～ 5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎演習Ⅱ	科目名（英文）	Second Year Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	中西 正樹, 小都 晶子, 龔 鳴蒙
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL2275c0		

授業概要・目的	「基礎演習」では、外国語学部で取り組む研究について知る。 特に「基礎演習Ⅱ」では、専攻言語地域の言語・文化について、基本的な文献の扱い方や、考え方を身につける。研究とはどういうものであるのかを知り、またその面白さを実感する。																		
到達目標	専攻言語地域の言語や文化について、調べ、考えることができる。																		
授業方法と留意点	専攻言語別にクラスを分け、1 クラス当たり 10 数名の編成とする。アクティブラーニング形式で学んでいく。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 複数の教員が交替で担当し、専攻言語地域の言語や文化について、発表や実践を中心に進める。 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1 ～ 4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業および課題への取り組み（100%）																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3 ～ 5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎演習Ⅱ	科目名（英文）	Second Year Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	小都 晶子, 中西 正樹, 兪 鳴蒙
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL2275c0		

授業概要・目的	「基礎演習」では、外国語学部で取り組む研究について知る。 特に「基礎演習Ⅱ」では、専攻言語地域の言語・文化について、基本的な文献の扱い方や、考え方を身につける。研究とはどういうものであるのかを知り、またその面白さを実感する。																		
到達目標	専攻言語地域の言語や文化について、調べ、考えることができる。																		
授業方法と留意点	専攻言語別にクラスを分け、1 クラス当たり 10 数名の編成とする。アクティブラーニング形式で学んでいく。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 複数の教員が交替で担当し、専攻言語地域の言語や文化について、発表や実践を中心に進める。 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1 ～ 4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業および課題への取り組み（100%）																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3 ～ 5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎演習Ⅱ	科目名（英文）	Second Year Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	安達 直樹, 藤井 嘉祥, 北條 ゆかり
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL2275c0		

授業概要・目的	「基礎演習」では、外国語学部で取り組む研究について知る。 特に「基礎演習Ⅱ」では、専攻言語地域の言語・文化について、基本的な文献の扱い方や、考え方を身につける。研究とはどういうものであるのかを知り、またその面白さを実感する。																		
到達目標	専攻言語地域の言語や文化について、調べ、考えることができる。																		
授業方法と留意点	専攻言語別にクラスを分け、1 クラス当たり 10 数名の編成とする。アクティブラーニング形式で学んでいく。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 複数の教員が交替で担当し、専攻言語地域の言語や文化について、発表や実践を中心に進める。 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1 ～ 4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業および課題への取り組み（100%）																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3 ～ 5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎演習Ⅱ	科目名（英文）	Second Year Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	北條 ゆかり, 安達 直樹, 藤井 嘉祥
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL2275c0		

授業概要・目的	「基礎演習」では、外国語学部で取り組む研究について知る。 特に「基礎演習Ⅱ」では、専攻言語地域の言語・文化について、基本的な文献の扱い方や、考え方を身につける。研究とはどういうものであるのかを知り、またその面白さを実感する。																		
到達目標	専攻言語地域の言語や文化について、調べ、考えることができる。																		
授業方法と留意点	専攻言語別にクラスを分け、1 クラス当たり 10 数名の編成とする。アクティブラーニング形式で学んでいく。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 複数の教員が交替で担当し、専攻言語地域の言語や文化について、発表や実践を中心に進める。 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1 ～ 4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業および課題への取り組み（100%）																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3 ～ 5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎演習Ⅱ	科目名（英文）	Second Year Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	フーパー トッド, 田浦 アマンダ, マイケル ハーキー
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL2275c0		

授業概要・目的	「基礎演習」では、外国語学部で取り組む研究について知る。 特に「基礎演習Ⅱ」では、専攻言語地域の言語・文化について、基本的な文献の扱い方や、考え方を身につける。研究とはどういうものであるのかを知り、またその面白さを実感する。																		
到達目標	専攻言語地域の言語や文化について、調べ、考えることができる。																		
授業方法と留意点	専攻言語別にクラスを分け、1 クラス当たり 10 数名の編成とする。アクティブラーニング形式で学んでいく。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 複数の教員が交替で担当し、専攻言語地域の言語や文化について、発表や実践を中心に進める。 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1 ～ 4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業および課題への取り組み（100%）																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3 ～ 5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎演習Ⅱ	科目名（英文）	Second Year Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	田浦 アマンダ, 齋藤 安以子, 高橋 真理子
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL2275c0		

授業概要・目的	「基礎演習」では、外国語学部で取り組む研究について知る。 特に「基礎演習Ⅱ」では、専攻言語地域の言語・文化について、基本的な文献の扱い方や、考え方を身につける。研究とはどういうものであるのかを知り、またその面白さを実感する。																		
到達目標	専攻言語地域の言語や文化について、調べ、考えることができる。																		
授業方法と留意点	専攻言語別にクラスを分け、1 クラス当たり 10 数名の編成とする。アクティブラーニング形式で学んでいく。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 複数の教員が交替で担当し、専攻言語地域の言語や文化について、発表や実践を中心に進める。 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1 ～ 4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業および課題への取り組み（100%）																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3 ～ 5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎演習Ⅱ	科目名（英文）	Second Year Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	マイケル ハーキー, 齋藤 安以子, 田浦 アマンド
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL2275c0		

授業概要・目的	「基礎演習」では、外国語学部で取り組む研究について知る。 特に「基礎演習Ⅱ」では、専攻言語地域の言語・文化について、基本的な文献の扱い方や、考え方を身につける。研究とはどういうものであるのかを知り、またその面白さを実感する。																		
到達目標	専攻言語地域の言語や文化について、調べ、考えることができる。																		
授業方法と留意点	専攻言語別にクラスを分け、1 クラス当たり 10 数名の編成とする。アクティブラーニング形式で学んでいく。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 複数の教員が交替で担当し、専攻言語地域の言語や文化について、発表や実践を中心に進める。 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1 ～ 4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業および課題への取り組み（100%）																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3 ～ 5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎演習Ⅱ	科目名（英文）	Second Year Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	天野 貴史, 藤原 崇, 吉村 征洋
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL2275c0		

授業概要・目的	「基礎演習」では、外国語学部で取り組む研究について知る。 特に「基礎演習Ⅱ」では、専攻言語地域の言語・文化について、基本的な文献の扱い方や、考え方を身につける。研究とはどういうものであるのかを知り、またその面白さを実感する。																		
到達目標	専攻言語地域の言語や文化について、調べ、考えることができる。																		
授業方法と留意点	専攻言語別にクラスを分け、1 クラス当たり 10 数名の編成とする。アクティブラーニング形式で学んでいく。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 複数の教員が交替で担当し、専攻言語地域の言語や文化について、発表や実践を中心に進める。 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1 ～ 4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業および課題への取り組み（100%）																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3 ～ 5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎演習Ⅱ	科目名（英文）	Second Year Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	齋藤 安以子, 天野 貴史, 高橋 真理子
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL2275c0		

授業概要・目的	「基礎演習」では、外国語学部で取り組む研究について知る。 特に「基礎演習Ⅱ」では、専攻言語地域の言語・文化について、基本的な文献の扱い方や、考え方を身につける。研究とはどういうものであるのかを知り、またその面白さを実感する。																		
到達目標	専攻言語地域の言語や文化について、調べ、考えることができる。																		
授業方法と留意点	専攻言語別にクラスを分け、1 クラス当たり 10 数名の編成とする。アクティブラーニング形式で学んでいく。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 複数の教員が交替で担当し、専攻言語地域の言語や文化について、発表や実践を中心に進める。 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1 ～ 4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業および課題への取り組み（100%）																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3 ～ 5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎演習Ⅱ	科目名（英文）	Second Year Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	鳥居 祐介, フーバー トッド, マイケル ハーキー
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL2275c0		

授業概要・目的	「基礎演習」では、外国語学部で取り組む研究について知る。 特に「基礎演習Ⅱ」では、専攻言語地域の言語・文化について、基本的な文献の扱い方や、考え方を身につける。研究とはどういうものであるのかを知り、またその面白さを実感する。																		
到達目標	専攻言語地域の言語や文化について、調べ、考えることができる。																		
授業方法と留意点	専攻言語別にクラスを分け、1 クラス当たり 10 数名の編成とする。アクティブラーニング形式で学んでいく。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 複数の教員が交替で担当し、専攻言語地域の言語や文化について、発表や実践を中心に進める。 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1 ～ 4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業および課題への取り組み（100%）																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3 ～ 5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎演習Ⅱ	科目名（英文）	Second Year Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	吉村 征洋, 中島 直嗣, 西川 眞由美
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL2275c0		

授業概要・目的	「基礎演習」では、外国語学部で取り組む研究について知る。 特に「基礎演習Ⅱ」では、専攻言語地域の言語・文化について、基本的な文献の扱い方や、考え方を身につける。研究とはどういうものであるのかを知り、またその面白さを実感する。																		
到達目標	専攻言語地域の言語や文化について、調べ、考えることができる。																		
授業方法と留意点	専攻言語別にクラスを分け、1 クラス当たり 10 数名の編成とする。アクティブラーニング形式で学んでいく。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 複数の教員が交替で担当し、専攻言語地域の言語や文化について、発表や実践を中心に進める。 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1 ～ 4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業および課題への取り組み（100%）																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3 ～ 5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎演習Ⅱ	科目名（英文）	Second Year Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	中島 直嗣, 鳥居 祐介, フーバー トッド
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL2275c0		

授業概要・目的	「基礎演習」では、外国語学部で取り組む研究について知る。 特に「基礎演習Ⅱ」では、専攻言語地域の言語・文化について、基本的な文献の扱い方や、考え方を身につける。研究とはどういうものであるのかを知り、またその面白さを実感する。																		
到達目標	専攻言語地域の言語や文化について、調べ、考えることができる。																		
授業方法と留意点	専攻言語別にクラスを分け、1 クラス当たり 10 数名の編成とする。アクティブラーニング形式で学んでいく。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 複数の教員が交替で担当し、専攻言語地域の言語や文化について、発表や実践を中心に進める。 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1 ～ 4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業および課題への取り組み（100%）																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3 ～ 5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎演習Ⅱ	科目名（英文）	Second Year Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	高橋 真理子・天野 貴史・藤原 崇
ディプロマポリシー（DP）	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL2275c0		

授業概要・目的	「基礎演習」では、外国語学部で取り組む研究について知る。 特に「基礎演習Ⅱ」では、専攻言語地域の言語・文化について、基本的な文献の扱い方や、考え方を身につける。研究とはどういうものであるのかを知り、またその面白さを実感する。																		
到達目標	専攻言語地域の言語や文化について、調べ、考えることができる。																		
授業方法と留意点	専攻言語別にクラスを分け、1 クラス当たり 10 数名の編成とする。アクティブラーニング形式で学んでいく。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 複数の教員が交替で担当し、専攻言語地域の言語や文化について、発表や実践を中心に進める。 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業および課題への取り組み（100%）																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3～5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎ゼミナール	科目名（英文）	Basic Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	浅野 英一
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL1273a0		

授業概要・目的	【概要】 大学生として、また社会人になるために必要な能力を身につける。 【目的】 日本語の「読む」「書く」能力の向上に加えて、「話す」「聴く」能力を向上させる。すなわち、「テーマに沿って調べ」「わかりやすく発表し」「意見交換をする」ことができるようにする。また、社会への関心を高める。																		
到達目標	・他者と話し合うことができる。 ・必要な情報を調べ、整理することができる。 ・わかりやすく発表することができる。																		
授業方法と留意点	【授業方法】 1 クラス当たり 10 数名の編成で、発表や意見交換も交えて進めていく。個人またグループでテーマを設定し、成果を発表する。「時事問題テスト」（プリントを配布）などを実施し、世界情勢や社会問題に関心を持つようにする。 【留意点】 この科目の単位を取得していなければ、2 年次に進級できない。																		
授業テーマ・内容・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第1回：授業の目的、自己紹介 第2回以降： ・本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点について再確認する ・取り組むテーマを決める ・必要な資料を集める ・資料を作成する ・発表する ・発表内容をもとにレポートをまとめる ・環境マネジメントについて学ぶ 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・時事問題テストの予習・復習をする。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業および課題への取り組み（100%）																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3～5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎ゼミナール	科目名（英文）	Basic Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	鈴木 大介
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL1273a0		

授業概要・目的	【概要】 大学生として、また社会人になるために必要な能力を身につける。 【目的】 日本語の「読む」「書く」能力の向上に加えて、「話す」「聴く」能力を向上させる。すなわち、「テーマに沿って調べ」「わかりやすく発表し」「意見交換をする」ことができるようにする。また、社会への関心を高める。																		
到達目標	・他者と話し合うことができる。 ・必要な情報を調べ、整理することができる。 ・わかりやすく発表することができる。																		
授業方法と留意点	【授業方法】 1 クラス当たり 10 数名の編成で、発表や意見交換も交えて進めていく。個人またグループでテーマを設定し、成果を発表する。「時事問題テスト」（プリントを配布）などを実施し、世界情勢や社会問題に関心を持つようにする。 【留意点】 この科目の単位を取得していなければ、2 年次に進級できない。																		
授業テーマ・内容・方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第1回：授業の目的、自己紹介 第2回以降： ・本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点について再確認する ・取り組むテーマを決める ・必要な資料を集める ・資料を作成する ・発表する ・発表内容をもとにレポートをまとめる ・環境マネジメントについて学ぶ 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・時事問題テストの予習・復習をする。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業および課題への取り組み（100%）																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3～5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎ゼミナール	科目名（英文）	Basic Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	天野 貴史
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL1273a0		

授業概要・目的	【概要】 大学生として、また社会人になるために必要な能力を身につける。 【目的】 日本語の「読む」「書く」能力の向上に加えて、「話す」「聴く」能力を向上させる。すなわち、「テーマに沿って調べ」「わかりやすく発表し」「意見交換をする」ことができるようにする。また、社会への関心を高める。																		
到達目標	・他者と話し合うことができる。 ・必要な情報を調べ、整理することができる。 ・わかりやすく発表することができる。																		
授業方法と留意点	【授業方法】 1 クラス当たり 10 数名の編成で、発表や意見交換も交えて進めていく。個人またグループでテーマを設定し、成果を発表する。「時事問題テスト」（プリントを配布）などを実施し、世界情勢や社会問題に関心を持つようにする。 【留意点】 この科目の単位を取得していなければ、2 年次に進級できない。																		
授業テーマ・内容・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第1回：授業の目的、自己紹介 第2回以降： ・本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点について再確認する ・取り組むテーマを決める ・必要な資料を集める ・資料を作成する ・発表する ・発表内容をもとにレポートをまとめる ・環境マネジメントについて学ぶ 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・時事問題テストの予習・復習をする。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業および課題への取り組み（100%）																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3～5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎ゼミナール	科目名（英文）	Basic Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	有馬 善一
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL1273a0		

授業概要・目的	【概要】 大学生として、また社会人になるために必要な能力を身につける。 【目的】 日本語の「読む」「書く」能力の向上に加えて、「話す」「聴く」能力を向上させる。すなわち、「テーマに沿って調べ」「わかりやすく発表し」「意見交換をする」ことができるようにする。また、社会への関心を高める。																		
到達目標	・他者と話し合うことができる。 ・必要な情報を調べ、整理することができる。 ・わかりやすく発表することができる。																		
授業方法と留意点	【授業方法】 1 クラス当たり 10 数名の編成で、発表や意見交換も交えて進めていく。個人またグループでテーマを設定し、成果を発表する。「時事問題テスト」（プリントを配布）などを実施し、世界情勢や社会問題に関心を持つようにする。 【留意点】 この科目の単位を取得していなければ、2 年次に進級できない。																		
授業テーマ・内容・方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第1回：授業の目的、自己紹介 第2回以降： ・本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点について再確認する ・取り組むテーマを決める ・必要な資料を集める ・資料を作成する ・発表する ・発表内容をもとにレポートをまとめる ・環境マネジメントについて学ぶ 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・時事問題テストの予習・復習をする。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業および課題への取り組み（100%）																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3～5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎ゼミナール	科目名（英文）	Basic Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	赤澤 春彦
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL1273a0		

授業概要・目的	【概要】 大学生として、また社会人になるために必要な能力を身につける。 【目的】 日本語の「読む」「書く」能力の向上に加えて、「話す」「聴く」能力を向上させる。すなわち、「テーマに沿って調べ」「わかりやすく発表し」「意見交換をする」ことができるようにする。また、社会への関心を高める。																		
到達目標	・他者と話し合うことができる。 ・必要な情報を調べ、整理することができる。 ・わかりやすく発表することができる。																		
授業方法と留意点	【授業方法】 1 クラス当たり 10 数名の編成で、発表や意見交換も交えて進めていく。個人またグループでテーマを設定し、成果を発表する。「時事問題テスト」（プリントを配布）などを実施し、世界情勢や社会問題に関心を持つようにする。 【留意点】 この科目の単位を取得していなければ、2 年次に進級できない。																		
授業テーマ・内容・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第1回：授業の目的、自己紹介 第2回以降： ・本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点について再確認する ・取り組むテーマを決める ・必要な資料を集める ・資料を作成する ・発表する ・発表内容をもとにレポートをまとめる ・環境マネジメントについて学ぶ 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・時事問題テストの予習・復習をする。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業および課題への取り組み（100%）																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3～5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎ゼミナール	科目名 (英文)	Basic Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	橋本 正俊
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL1273a0		

授業概要・目的	【概要】 大学生として、また社会人になるために必要な能力を身につける。 【目的】 日本語の「読む」「書く」能力の向上に加えて、「話す」「聴く」能力を向上させる。すなわち、「テーマに沿って調べ」「わかりやすく発表し」「意見交換をする」ことができるようにする。また、社会への関心を高める。																		
到達目標	・他者と話し合うことができる。 ・必要な情報を調べ、整理することができる。 ・わかりやすく発表することができる。																		
授業方法と留意点	【授業方法】 1 クラス当たり 10 数名の編成で、発表や意見交換も交えて進めていく。個人またグループでテーマを設定し、成果を発表する。「時事問題テスト」(プリントを配布) などを実施し、世界情勢や社会問題に関心を持つようにする。 【留意点】 この科目の単位を取得していなければ、2 年次に進級できない。																		
授業テーマ・内容・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第1回：授業の目的、自己紹介 第2回以降： ・本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点について再確認する ・取り組むテーマを決める ・必要な資料を集める ・資料を作成する ・発表する ・発表内容をもとにレポートをまとめる ・環境マネジメントについて学ぶ 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・時事問題テストの予習・復習をする。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	授業および課題への取り組み (100%)																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3～5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎ゼミナール	科目名（英文）	Basic Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	田中 悟
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL1273a0		

授業概要・目的	【概要】 大学生として、また社会人になるために必要な能力を身につける。 【目的】 日本語の「読む」「書く」能力の向上に加えて、「話す」「聴く」能力を向上させる。すなわち、「テーマに沿って調べ」「わかりやすく発表し」「意見交換をする」ことができるようにする。また、社会への関心を高める。																		
到達目標	・他者と話し合うことができる。 ・必要な情報を調べ、整理することができる。 ・わかりやすく発表することができる。																		
授業方法と留意点	【授業方法】 1 クラス当たり 10 数名の編成で、発表や意見交換も交えて進めていく。個人またグループでテーマを設定し、成果を発表する。「時事問題テスト」（プリントを配布）などを実施し、世界情勢や社会問題に関心を持つようにする。 【留意点】 この科目の単位を取得していなければ、2 年次に進級できない。																		
授業テーマ・内容・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第1回：授業の目的、自己紹介 第2回以降： ・本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点について再確認する ・取り組むテーマを決める ・必要な資料を集める ・資料を作成する ・発表する ・発表内容をもとにレポートをまとめる ・環境マネジメントについて学ぶ 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・時事問題テストの予習・復習をする。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業および課題への取り組み（100%）																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3～5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎ゼミナール	科目名 (英文)	Basic Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	古矢 篤史
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL1273a0		

授業概要・目的	【概要】 大学生として、また社会人になるために必要な能力を身につける。 【目的】 日本語の「読む」「書く」能力の向上に加えて、「話す」「聴く」能力を向上させる。すなわち、「テーマに沿って調べ」「わかりやすく発表し」「意見交換をする」ことができるようにする。また、社会への関心を高める。																		
到達目標	・他者と話し合うことができる。 ・必要な情報を調べ、整理することができる。 ・わかりやすく発表することができる。																		
授業方法と留意点	【授業方法】 1 クラス当たり 10 数名の編成で、発表や意見交換も交えて進めていく。個人またグループでテーマを設定し、成果を発表する。「時事問題テスト」(プリントを配布) などを実施し、世界情勢や社会問題に関心を持つようにする。 【留意点】 この科目の単位を取得していなければ、2 年次に進級できない。																		
授業テーマ・内容・方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第1回：授業の目的、自己紹介 第2回以降： ・本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点について再確認する ・取り組むテーマを決める ・必要な資料を集める ・資料を作成する ・発表する ・発表内容をもとにレポートをまとめる ・環境マネジメントについて学ぶ 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・時事問題テストの予習・復習をする。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	授業および課題への取り組み (100%)																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3～5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎ゼミナール	科目名（英文）	Basic Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	後藤 一章
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL1273a0		

授業概要・目的	【概要】 大学生として、また社会人になるために必要な能力を身につける。 【目的】 日本語の「読む」「書く」能力の向上に加えて、「話す」「聴く」能力を向上させる。すなわち、「テーマに沿って調べ」「わかりやすく発表し」「意見交換をする」ことができるようにする。また、社会への関心を高める。																		
到達目標	・他者と話し合うことができる。 ・必要な情報を調べ、整理することができる。 ・わかりやすく発表することができる。																		
授業方法と留意点	【授業方法】 1 クラス当たり 10 数名の編成で、発表や意見交換も交えて進めていく。個人またグループでテーマを設定し、成果を発表する。「時事問題テスト」（プリントを配布）などを実施し、世界情勢や社会問題に関心を持つようにする。 【留意点】 この科目の単位を取得していなければ、2 年次に進級できない。																		
授業テーマ・内容・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第1回：授業の目的、自己紹介 第2回以降： ・本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点について再確認する ・取り組むテーマを決める ・必要な資料を集める ・資料を作成する ・発表する ・発表内容をもとにレポートをまとめる ・環境マネジメントについて学ぶ 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・時事問題テストの予習・復習をする。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業および課題への取り組み（100%）																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3～5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎ゼミナール	科目名（英文）	Basic Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	門脇 薫
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL1273a0		

授業概要・目的	【概要】 大学生として、また社会人になるために必要な能力を身につける。 【目的】 日本語の「読む」「書く」能力の向上に加えて、「話す」「聴く」能力を向上させる。すなわち、「テーマに沿って調べ」「わかりやすく発表し」「意見交換をする」ことができるようにする。また、社会への関心を高める。																		
到達目標	・他者と話し合うことができる。 ・必要な情報を調べ、整理することができる。 ・わかりやすく発表することができる。																		
授業方法と留意点	【授業方法】 1 クラス当たり 10 数名の編成で、発表や意見交換も交えて進めていく。個人またグループでテーマを設定し、成果を発表する。「時事問題テスト」（プリントを配布）などを実施し、世界情勢や社会問題に関心を持つようにする。 【留意点】 この科目の単位を取得していなければ、2 年次に進級できない。																		
授業テーマ・内容・方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第1回： 授業の目的、自己紹介 第2回以降： ・本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点について再確認する ・取り組むテーマを決める ・必要な資料を集める ・資料を作成する ・発表する ・発表内容をもとにレポートをまとめる ・環境マネジメントについて学ぶ 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・時事問題テストの予習・復習をする。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1 ～ 4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業および課題への取り組み（100%）																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3 ～ 5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎ゼミナール	科目名（英文）	Basic Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	手代木 功基
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL1273a0		

授業概要・目的	【概要】 大学生として、また社会人になるために必要な能力を身につける。 【目的】 日本語の「読む」「書く」能力の向上に加えて、「話す」「聴く」能力を向上させる。すなわち、「テーマに沿って調べ」「わかりやすく発表し」「意見交換をする」ことができるようにする。また、社会への関心を高める。																		
到達目標	・他者と話し合うことができる。 ・必要な情報を調べ、整理することができる。 ・わかりやすく発表することができる。																		
授業方法と留意点	【授業方法】 1 クラス当たり 10 数名の編成で、発表や意見交換も交えて進めていく。個人またグループでテーマを設定し、成果を発表する。「時事問題テスト」（プリントを配布）などを実施し、世界情勢や社会問題に関心を持つようにする。 【留意点】 この科目の単位を取得していなければ、2 年次に進級できない。																		
授業テーマ・内容・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第1回：授業の目的、自己紹介 第2回以降： ・本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点について再確認する ・取り組むテーマを決める ・必要な資料を集める ・資料を作成する ・発表する ・発表内容をもとにレポートをまとめる ・環境マネジメントについて学ぶ 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・時事問題テストの予習・復習をする。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業および課題への取り組み（100%）																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3～5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎ゼミナール	科目名 (英文)	Basic Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	藤原 崇
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL1273a0		

授業概要・目的	【概要】 大学生として、また社会人になるために必要な能力を身につける。 【目的】 日本語の「読む」「書く」能力の向上に加えて、「話す」「聴く」能力を向上させる。すなわち、「テーマに沿って調べ」「わかりやすく発表し」「意見交換をする」ことができるようにする。また、社会への関心を高める。																		
到達目標	・他者と話し合うことができる。 ・必要な情報を調べ、整理することができる。 ・わかりやすく発表することができる。																		
授業方法と留意点	【授業方法】 1 クラス当たり 10 数名の編成で、発表や意見交換も交えて進めていく。個人またグループでテーマを設定し、成果を発表する。「時事問題テスト」(プリントを配布) などを実施し、世界情勢や社会問題に関心を持つようにする。 【留意点】 この科目の単位を取得していなければ、2 年次に進級できない。																		
授業テーマ・内容・方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第1回：授業の目的、自己紹介 第2回以降： ・本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点について再確認する ・取り組むテーマを決める ・必要な資料を集める ・資料を作成する ・発表する ・発表内容をもとにレポートをまとめる ・環境マネジメントについて学ぶ 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・時事問題テストの予習・復習をする。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	授業および課題への取り組み (100%)																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3～5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎ゼミナール	科目名（英文）	Basic Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	林田 敏子
ディプロマポリシー（DP）	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL1273a0		

授業概要・目的	【概要】 大学生として、また社会人になるために必要な能力を身につける。 【目的】 日本語の「読む」「書く」能力の向上に加えて、「話す」「聴く」能力を向上させる。すなわち、「テーマに沿って調べ」「わかりやすく発表し」「意見交換をする」ことができるようにする。また、社会への関心を高める。																		
到達目標	・他者と話し合うことができる。 ・必要な情報を調べ、整理することができる。 ・わかりやすく発表することができる。																		
授業方法と留意点	【授業方法】 1 クラス当たり 10 数名の編成で、発表や意見交換も交えて進めていく。個人またグループでテーマを設定し、成果を発表する。「時事問題テスト」（プリントを配布）などを実施し、世界情勢や社会問題に関心を持つようにする。 【留意点】 この科目の単位を取得していなければ、2 年次に進級できない。																		
授業テーマ・内容・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第1回：授業の目的、自己紹介 第2回以降： ・本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点について再確認する ・取り組むテーマを決める ・必要な資料を集める ・資料を作成する ・発表する ・発表内容をもとにレポートをまとめる ・環境マネジメントについて学ぶ 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・時事問題テストの予習・復習をする。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業および課題への取り組み（100%）																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3～5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎ゼミナール	科目名 (英文)	Basic Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	杉浦 秀行
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL1273a0		

授業概要・目的	【概要】 大学生として、また社会人になるために必要な能力を身につける。 【目的】 日本語の「読む」「書く」能力の向上に加えて、「話す」「聴く」能力を向上させる。すなわち、「テーマに沿って調べ」「わかりやすく発表し」「意見交換をする」ことができるようにする。また、社会への関心を高める。																		
到達目標	・他者と話し合うことができる。 ・必要な情報を調べ、整理することができる。 ・わかりやすく発表することができる。																		
授業方法と留意点	【授業方法】 1 クラス当たり 10 数名の編成で、発表や意見交換も交えて進めていく。個人またグループでテーマを設定し、成果を発表する。「時事問題テスト」(プリントを配布) などを実施し、世界情勢や社会問題に関心を持つようにする。 【留意点】 この科目の単位を取得していなければ、2 年次に進級できない。																		
授業テーマ・内容・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第1回：授業の目的、自己紹介 第2回以降： ・本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点について再確認する ・取り組むテーマを決める ・必要な資料を集める ・資料を作成する ・発表する ・発表内容をもとにレポートをまとめる ・環境マネジメントについて学ぶ 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・時事問題テストの予習・復習をする。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	授業および課題への取り組み (100%)																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3～5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎ゼミナール	科目名（英文）	Basic Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	皆本 智美
ディプロマポリシー（DP）	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL1273a0		

授業概要・目的	【概要】 大学生として、また社会人になるために必要な能力を身につける。 【目的】 日本語の「読む」「書く」能力の向上に加えて、「話す」「聴く」能力を向上させる。すなわち、「テーマに沿って調べ」「わかりやすく発表し」「意見交換をする」ことができるようにする。また、社会への関心を高める。																		
到達目標	・他者と話し合うことができる。 ・必要な情報を調べ、整理することができる。 ・わかりやすく発表することができる。																		
授業方法と留意点	【授業方法】 1 クラス当たり 10 数名の編成で、発表や意見交換も交えて進めていく。個人またグループでテーマを設定し、成果を発表する。「時事問題テスト」（プリントを配布）などを実施し、世界情勢や社会問題に関心を持つようにする。 【留意点】 この科目の単位を取得していなければ、2 年次に進級できない。																		
授業テーマ・内容・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第1回：授業の目的、自己紹介 第2回以降： ・本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点について再確認する ・取り組むテーマを決める ・必要な資料を集める ・資料を作成する ・発表する ・発表内容をもとにレポートをまとめる ・環境マネジメントについて学ぶ 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・時事問題テストの予習・復習をする。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業および課題への取り組み（100%）																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3～5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎ゼミナール	科目名 (英文)	Basic Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	杉山 博昭
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL1273a0		

授業概要・目的	【概要】 大学生として、また社会人になるために必要な能力を身につける。 【目的】 日本語の「読む」「書く」能力の向上に加えて、「話す」「聴く」能力を向上させる。すなわち、「テーマに沿って調べ」「わかりやすく発表し」「意見交換をする」ことができるようにする。また、社会への関心を高める。																		
到達目標	・他者と話し合うことができる。 ・必要な情報を調べ、整理することができる。 ・わかりやすく発表することができる。																		
授業方法と留意点	【授業方法】 1 クラス当たり 10 数名の編成で、発表や意見交換も交えて進めていく。個人またグループでテーマを設定し、成果を発表する。「時事問題テスト」(プリントを配布) などを実施し、世界情勢や社会問題に関心を持つようにする。 【留意点】 この科目の単位を取得していなければ、2 年次に進級できない。																		
授業テーマ・内容・方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 第1回：授業の目的、自己紹介 第2回以降： ・本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点について再確認する ・取り組むテーマを決める ・必要な資料を集める ・資料を作成する ・発表する ・発表内容をもとにレポートをまとめる ・環境マネジメントについて学ぶ 【事前・事後学習課題】 ・毎回与えられた課題に取り組む。 ・時事問題テストの予習・復習をする。 ・発表のための資料作成・準備をする。																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	授業および課題への取り組み (100%)																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3～5 階 各研究室																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	基礎マレー語 a	科目名 (英文)	Basic Malay a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	上田 達
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL2130e0		

授業概要・目的	本講義はマレーシアなどで話されるマレー語（Bahasa Melayu）の基礎的な運用能力の習得を目指す。インドネシア語との相違に適宜言及しつつ、実際にマレー語に触れる機会を多く持つことで、マレー語学習の礎を築くことを目指す。読む・書く・聞く・話す力のバランスに考慮しながら講義を進める。			
到達目標	マレー語の運用能力の基礎を得る。			
授業方法と留意点	確認テストの他にも課題を出すので、予習と復習をしっかりと行うこと。			
科目学習の効果（資格）				
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	イントロダクション	講義概要および講義の進め方について説明する。マレー語がどのような国で話され、どのような歴史的背景をもつ言語であるのかを概説する。	練習問題に取り組むこと。
	2	あいさつ、呼びかけ	マレー語の挨拶について学習する。	該当箇所の予習と、既習事項の練習問題
	3	単語、綴り、発音 1	語彙と発音に注目しながら、マレー語の特徴を概説する。	該当箇所の予習と、既習事項の練習問題
	4	単語、綴り、発音 2	語彙と発音に注目しながら、マレー語の特徴を概説する。	該当箇所の予習と、既習事項の練習問題
	5	表現	マレー語独特の言い回しについて解説する。	該当箇所の予習と、既習事項の練習問題
	6	文法 1	マレー語の名詞について解説する。	該当箇所の予習と、既習事項の練習問題
	7	文法 2	マレー語の形容詞について解説する。	該当箇所の予習と、既習事項の練習問題
	8	復習 1	既習事項（表現、語彙）について復習するとともに、理解力を問うための確認テストを行う。	既習事項の確認
	9	文法 3	マレー語の動詞について解説する。	該当箇所の予習と、既習事項の練習問題
	10	文法 4	マレー語の動詞について解説する。	該当箇所の予習と、既習事項の練習問題
	11	文法 5	マレー語の動詞について解説する。	該当箇所の予習と、既習事項の練習問題
	12	演習 1	既習事項をふまえてマレー語で自己紹介文を作成する。	該当箇所の予習と、既習事項の練習問題
	13	演習 2	マレーシアの小学生程度を読者に想定した簡単なマレー語文を講読する。	該当箇所の予習と、既習事項の練習問題
	14	復習 2	既習事項（発音、文法、表現、語彙）について復習する。	既習事項の確認
	15	総合復習	とともに、理解力を問うための確認テストを行う。確認テストに対する講評と、既習事項についてのフォローアップを行う。	確認テストのための復習に取り組むこと。
関連科目	基礎マレー語 b			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	マレーシア語辞典ポケット版	小野沢純、本田智津絵	大学書林
	2	基礎マレー語	上田達	
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法（基準）	二回実施する確認テスト（70%）と提出物や課題等の授業への取り組み（30%）から評価する。詳細は一回目の授業時に指示する。			
学生へのメッセージ	わからないことがあれば、いつでも質問に来てください。			
担当者の研究室等	7 号館 5 階（上田研究室）			
備考	拙著の教科書は第一回目の授業時に頒布する。辞書は一回目の授業から使用するので購入しておくこと。 確認テストは時間内に講評するとともに、翌週に採点のうえ返却する。最終回のテストは授業時間終了後、採点のうえ一週間以内に返却する。 事前・事後学習の総時間数は、15 時間以上とする。			

科目名	基礎マレー語 b	科目名 (英文)	Basic Malay b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	上田 達
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL2131e0		

授業概要・目的	本講義はマレーシアなどで話されるマレー語 (Bahasa Melayu) の基礎的な運用能力の習得を目指す。実際にマレー語に触れる機会を多く持つことで、マレー語学習の礎を築くことを目指す。読む・書く・聞く・話す力のバランスに考慮しながら講義を進める。																																																																		
到達目標	マレー語の基礎的な運用能力を獲得する。																																																																		
授業方法と留意点	確認テストの他にも課題を出すので、予習と復習をしっかりと行うこと。																																																																		
科目学習の効果 (資格)																																																																			
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>イントロダクション</td><td>講義概要および講義の進め方について説明するとともに、前期習得した事項について問題を課し、学習状況を把握する。</td><td>既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。</td></tr> <tr> <td>2</td><td>文法 1</td><td>マレー語の kata bantu について解説する。</td><td>既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>文法 2</td><td>マレー語の前置詞について解説する。</td><td>既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>文法 3</td><td>マレー語の前置詞と kata arah について解説する。</td><td>既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。</td></tr> <tr> <td>5</td><td>文法 4</td><td>マレー語の接続詞について解説する。</td><td>既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。</td></tr> <tr> <td>6</td><td>文法 5</td><td>マレー語の接続詞について解説する。</td><td>既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。</td></tr> <tr> <td>7</td><td>表現 1</td><td>簡単な地図をもとに、位置関係などを説明する文章を作成する。</td><td>既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。</td></tr> <tr> <td>8</td><td>復習 1</td><td>既習事項 (文法、語彙) について復習するとともに、理解力を問うための確認テストを行う。</td><td>既習事項の復習に努めること。</td></tr> <tr> <td>9</td><td>表現 2</td><td>グラフや表を説明する文章を作成する。</td><td>既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。</td></tr> <tr> <td>10</td><td>演習 1</td><td>マレーシアの小学生向けの小説を読む。</td><td>既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。</td></tr> <tr> <td>11</td><td>演習 2</td><td>マレーシアで実施されている中学生向けのマレー語試験に挑戦する。</td><td>既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。</td></tr> <tr> <td>12</td><td>基礎講読 1</td><td>新聞の投書など短い文章を講読する。</td><td>既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。</td></tr> <tr> <td>13</td><td>基礎講読 2</td><td>新聞の投書など短い文章を講読する。</td><td>既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。</td></tr> <tr> <td>14</td><td>復習 2</td><td>既習事項 (文法、表現) について復習する。</td><td>既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。</td></tr> <tr> <td>15</td><td>総合復習</td><td>理解力を問うための確認テストを行う。確認テストについての講評と既習事項のフォローアップを行う。</td><td>既習事項の復習に努めること。</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	イントロダクション	講義概要および講義の進め方について説明するとともに、前期習得した事項について問題を課し、学習状況を把握する。	既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。	2	文法 1	マレー語の kata bantu について解説する。	既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。	3	文法 2	マレー語の前置詞について解説する。	既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。	4	文法 3	マレー語の前置詞と kata arah について解説する。	既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。	5	文法 4	マレー語の接続詞について解説する。	既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。	6	文法 5	マレー語の接続詞について解説する。	既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。	7	表現 1	簡単な地図をもとに、位置関係などを説明する文章を作成する。	既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。	8	復習 1	既習事項 (文法、語彙) について復習するとともに、理解力を問うための確認テストを行う。	既習事項の復習に努めること。	9	表現 2	グラフや表を説明する文章を作成する。	既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。	10	演習 1	マレーシアの小学生向けの小説を読む。	既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。	11	演習 2	マレーシアで実施されている中学生向けのマレー語試験に挑戦する。	既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。	12	基礎講読 1	新聞の投書など短い文章を講読する。	既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。	13	基礎講読 2	新聞の投書など短い文章を講読する。	既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。	14	復習 2	既習事項 (文法、表現) について復習する。	既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。	15	総合復習	理解力を問うための確認テストを行う。確認テストについての講評と既習事項のフォローアップを行う。	既習事項の復習に努めること。
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	イントロダクション	講義概要および講義の進め方について説明するとともに、前期習得した事項について問題を課し、学習状況を把握する。	既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。																																																																
2	文法 1	マレー語の kata bantu について解説する。	既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。																																																																
3	文法 2	マレー語の前置詞について解説する。	既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。																																																																
4	文法 3	マレー語の前置詞と kata arah について解説する。	既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。																																																																
5	文法 4	マレー語の接続詞について解説する。	既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。																																																																
6	文法 5	マレー語の接続詞について解説する。	既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。																																																																
7	表現 1	簡単な地図をもとに、位置関係などを説明する文章を作成する。	既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。																																																																
8	復習 1	既習事項 (文法、語彙) について復習するとともに、理解力を問うための確認テストを行う。	既習事項の復習に努めること。																																																																
9	表現 2	グラフや表を説明する文章を作成する。	既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。																																																																
10	演習 1	マレーシアの小学生向けの小説を読む。	既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。																																																																
11	演習 2	マレーシアで実施されている中学生向けのマレー語試験に挑戦する。	既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。																																																																
12	基礎講読 1	新聞の投書など短い文章を講読する。	既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。																																																																
13	基礎講読 2	新聞の投書など短い文章を講読する。	既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。																																																																
14	復習 2	既習事項 (文法、表現) について復習する。	既習事項の確認と練習問題にとりくむこと。																																																																
15	総合復習	理解力を問うための確認テストを行う。確認テストについての講評と既習事項のフォローアップを行う。	既習事項の復習に努めること。																																																																
関連科目	基礎マレー語 a																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>マレーシア語辞典ポケット版</td><td>小野沢純、本田智津絵</td><td>大学書林</td></tr> <tr> <td>2</td><td>基礎マレー語</td><td>上田達</td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	マレーシア語辞典ポケット版	小野沢純、本田智津絵	大学書林	2	基礎マレー語	上田達		3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	マレーシア語辞典ポケット版	小野沢純、本田智津絵	大学書林																																																																
2	基礎マレー語	上田達																																																																	
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	二回実施する確認テスト (70%) と課題や提出物等の授業への取り組み (30%) から総合的に判断する。																																																																		
学生へのメッセージ	わからないことがあれば、いつでも質問に来てください。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 5 階 (上田研究室)																																																																		
備考	拙著の教科書は前期開講の「基礎マレー語」のものを継続して使用する。辞書は一回目の授業から使用するので持参すること。確認テストは時間内に講評するとともに、翌週に採点のうえ返却する。最終回の確認テストは授業時間終了後、採点のうへ一週間以内に返却する。事前・事後学習の総時間数は、15 時間以上とする。																																																																		

科目名	共同体論	科目名（英文）	Theory of Community
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	林田 敏子
ディプロマポリシー (DP)	DP2◎		
科目ナンバリング	LDL3232a0		

授業概要・目的	エスニック・マイノリティとセクシュアル・マイノリティに対するイギリスのコミュニティ・ケアの実践を通して、共同体（コミュニティ）と国家・地域・家族・個人との関係性について考えていく。焦点をあてるのは、エスニック・マイノリティとしての移民と、セクシュアル・マイノリティとしての LGBT（レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダー）である。彼らは、1970 年代以降、独自のコミュニティや文化を形成してきたが、それはマジョリティの「コミュニティ」とは一線を画すものであった。本講義では、法制度の整備を中心とする政府主導の改革だけでなく、民間の取り組みやマイノリティ側からの権利要求にも注目しながら、マイノリティ集団を社会統合していくうえでの諸問題を、グローバルイゼーションと多文化主義をキーワードに考察する。 ※この科目は、「国際教養」プログラム対応科目である。																																																																		
到達目標	共同体（コミュニティ）を、国家・地域・家族・個人とのかかわりのなかで多層的にとらえる視点を身に着ける。																																																																		
授業方法と留意点	パワーポイントとプリントを用いる。イギリスの事例研究をもとに、日本の社会問題についても討論する機会をもうける。																																																																		
科目学習の効果（資格）	グローバル社会のなかで共同体（コミュニティ）がもつ可能性について広く学ぶことができる。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>共同体（コミュニティ）論の今</td><td>授業の概要説明をおこなった後、多文化主義の観点から「共同体がもつ可能性」について考える。</td><td>「共同体」という言葉から連想する事柄を列挙してくる。</td></tr> <tr> <td>2</td><td>社会的マイノリティの共同体</td><td>マイノリティ集団が作り出す独自の共同体について考察する。</td><td>代表的なマイノリティ問題を整理し、イギリスと日本の具体例を調べてくる。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>セクシュアル・マイノリティの歩み</td><td>LGBT という言葉が誕生するまでのセクシュアル・マイノリティの歩みを概観する。</td><td>LGBT という言葉が生まれた背景を調べてくる。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>同性婚というゴール</td><td>セクシュアル・マイノリティによる権利要求運動について考える。</td><td>同性婚をめぐる世界の動きについて調べてくる。</td></tr> <tr> <td>5</td><td>LGBT コミュニティの形成と多数派社会との軋轢</td><td>LGBT 独自のコミュニティ形成と、多数派社会との衝突について考察する。</td><td>LGBT コミュニティの特徴を、日本とイギリスとで比較検討する。</td></tr> <tr> <td>6</td><td>LGBT の社会統合</td><td>多様な性のあり方を認める社会の実現に向けた取り組みについて考える。</td><td>LGBT を社会統合していく上での問題点をまとめる。</td></tr> <tr> <td>7</td><td>映画『ぼくのバラ色の人生』を読む</td><td>性同一性障碍と子どもの L G B T について考える。</td><td>「親」の立場から子どもの L G B T について考えてくる。</td></tr> <tr> <td>8</td><td>中間テストと解説</td><td>中間テスト（論述問題）を実施し、その解説を通して、前半の授業を振り返る。</td><td>前半の授業内容のポイントを整理する。</td></tr> <tr> <td>9</td><td>Brexit の衝撃</td><td>イギリスの EU 離脱（Brexit）が移民問題といかなるかわりをもっているかについて考える。</td><td>Brexit がもたらした影響についてまとめる。</td></tr> <tr> <td>10</td><td>イギリスにおける移民の歴史</td><td>1960 年代から現代に至るまでの移民の歴史をたどり、移民問題の概要をおさえる。</td><td>イギリスにおける移民の歴史を年表の形で整理する。</td></tr> <tr> <td>11</td><td>多文化主義の実践</td><td>学校や共同体レベルで取り組まれている多文化主義の実践例について学ぶ。</td><td>各共同体の特徴に応じた対策例を表にまとめる。</td></tr> <tr> <td>12</td><td>移民コミュニティとイギリス社会</td><td>移民コミュニティが抱える問題を、イギリス全体の社会問題とリンクさせる。</td><td>当事者、共同体、国家、という複数の観点からエスニック・マイノリティをめぐる問題を整理する。</td></tr> <tr> <td>13</td><td>映画『ベッカムに恋して』を読む</td><td>エスニック・マイノリティのなかのジェンダー問題、世代格差の問題について考える。</td><td>授業中に配布される「あらすじ」を読み、結末を予想してくる。</td></tr> <tr> <td>14</td><td>ポスト多文化主義社会の構築に向けて</td><td>多文化主義が抱える諸問題を克服するために必要なことは何か考える。</td><td>多文化主義を乗り越えるための具体策を考えてくる。</td></tr> <tr> <td>15</td><td>小テストと総括</td><td>・小テストの実施と解説 ・まとめ</td><td>これまでの授業を振り返り、論点をまとめる。</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	共同体（コミュニティ）論の今	授業の概要説明をおこなった後、多文化主義の観点から「共同体がもつ可能性」について考える。	「共同体」という言葉から連想する事柄を列挙してくる。	2	社会的マイノリティの共同体	マイノリティ集団が作り出す独自の共同体について考察する。	代表的なマイノリティ問題を整理し、イギリスと日本の具体例を調べてくる。	3	セクシュアル・マイノリティの歩み	LGBT という言葉が誕生するまでのセクシュアル・マイノリティの歩みを概観する。	LGBT という言葉が生まれた背景を調べてくる。	4	同性婚というゴール	セクシュアル・マイノリティによる権利要求運動について考える。	同性婚をめぐる世界の動きについて調べてくる。	5	LGBT コミュニティの形成と多数派社会との軋轢	LGBT 独自のコミュニティ形成と、多数派社会との衝突について考察する。	LGBT コミュニティの特徴を、日本とイギリスとで比較検討する。	6	LGBT の社会統合	多様な性のあり方を認める社会の実現に向けた取り組みについて考える。	LGBT を社会統合していく上での問題点をまとめる。	7	映画『ぼくのバラ色の人生』を読む	性同一性障碍と子どもの L G B T について考える。	「親」の立場から子どもの L G B T について考えてくる。	8	中間テストと解説	中間テスト（論述問題）を実施し、その解説を通して、前半の授業を振り返る。	前半の授業内容のポイントを整理する。	9	Brexit の衝撃	イギリスの EU 離脱（Brexit）が移民問題といかなるかわりをもっているかについて考える。	Brexit がもたらした影響についてまとめる。	10	イギリスにおける移民の歴史	1960 年代から現代に至るまでの移民の歴史をたどり、移民問題の概要をおさえる。	イギリスにおける移民の歴史を年表の形で整理する。	11	多文化主義の実践	学校や共同体レベルで取り組まれている多文化主義の実践例について学ぶ。	各共同体の特徴に応じた対策例を表にまとめる。	12	移民コミュニティとイギリス社会	移民コミュニティが抱える問題を、イギリス全体の社会問題とリンクさせる。	当事者、共同体、国家、という複数の観点からエスニック・マイノリティをめぐる問題を整理する。	13	映画『ベッカムに恋して』を読む	エスニック・マイノリティのなかのジェンダー問題、世代格差の問題について考える。	授業中に配布される「あらすじ」を読み、結末を予想してくる。	14	ポスト多文化主義社会の構築に向けて	多文化主義が抱える諸問題を克服するために必要なことは何か考える。	多文化主義を乗り越えるための具体策を考えてくる。	15	小テストと総括	・小テストの実施と解説 ・まとめ	これまでの授業を振り返り、論点をまとめる。
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	共同体（コミュニティ）論の今	授業の概要説明をおこなった後、多文化主義の観点から「共同体がもつ可能性」について考える。	「共同体」という言葉から連想する事柄を列挙してくる。																																																																
2	社会的マイノリティの共同体	マイノリティ集団が作り出す独自の共同体について考察する。	代表的なマイノリティ問題を整理し、イギリスと日本の具体例を調べてくる。																																																																
3	セクシュアル・マイノリティの歩み	LGBT という言葉が誕生するまでのセクシュアル・マイノリティの歩みを概観する。	LGBT という言葉が生まれた背景を調べてくる。																																																																
4	同性婚というゴール	セクシュアル・マイノリティによる権利要求運動について考える。	同性婚をめぐる世界の動きについて調べてくる。																																																																
5	LGBT コミュニティの形成と多数派社会との軋轢	LGBT 独自のコミュニティ形成と、多数派社会との衝突について考察する。	LGBT コミュニティの特徴を、日本とイギリスとで比較検討する。																																																																
6	LGBT の社会統合	多様な性のあり方を認める社会の実現に向けた取り組みについて考える。	LGBT を社会統合していく上での問題点をまとめる。																																																																
7	映画『ぼくのバラ色の人生』を読む	性同一性障碍と子どもの L G B T について考える。	「親」の立場から子どもの L G B T について考えてくる。																																																																
8	中間テストと解説	中間テスト（論述問題）を実施し、その解説を通して、前半の授業を振り返る。	前半の授業内容のポイントを整理する。																																																																
9	Brexit の衝撃	イギリスの EU 離脱（Brexit）が移民問題といかなるかわりをもっているかについて考える。	Brexit がもたらした影響についてまとめる。																																																																
10	イギリスにおける移民の歴史	1960 年代から現代に至るまでの移民の歴史をたどり、移民問題の概要をおさえる。	イギリスにおける移民の歴史を年表の形で整理する。																																																																
11	多文化主義の実践	学校や共同体レベルで取り組まれている多文化主義の実践例について学ぶ。	各共同体の特徴に応じた対策例を表にまとめる。																																																																
12	移民コミュニティとイギリス社会	移民コミュニティが抱える問題を、イギリス全体の社会問題とリンクさせる。	当事者、共同体、国家、という複数の観点からエスニック・マイノリティをめぐる問題を整理する。																																																																
13	映画『ベッカムに恋して』を読む	エスニック・マイノリティのなかのジェンダー問題、世代格差の問題について考える。	授業中に配布される「あらすじ」を読み、結末を予想してくる。																																																																
14	ポスト多文化主義社会の構築に向けて	多文化主義が抱える諸問題を克服するために必要なことは何か考える。	多文化主義を乗り越えるための具体策を考えてくる。																																																																
15	小テストと総括	・小テストの実施と解説 ・まとめ	これまでの授業を振り返り、論点をまとめる。																																																																
関連科目	多文化共生論、グローバル社会と日本																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	授業への取り組み（20%）、中間テスト（20 点）、小テスト（80 点）で評価する。																																																																		
学生へのメッセージ	現在、われわれが直面している深刻な社会問題を扱います。世界の動きにアンテナを張りながら、高い問題関心をもって授業にのぞんでください。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 4 階（林田研究室）																																																																		
備考	事前・事後学習の総時間数は 60 時間。 中間テストに関するフィードバックは第 9 回目の授業で、小テストに関するフィードバックは第 15 回目の授業のなかで実施する。																																																																		

科目名	暮らしの中の文化	科目名（英文）	Cultures in Daily Life
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	杉山 博昭
ディプロマポリシー (DP)	DP2◎		
科目ナンバリング	LDL2230a0		

授業概要・目的	【生活と芸術の連関】[「国際教養」プログラム対応科目]		
到達目標	西洋における「暮らしと文化」もしくは「生活と芸術」の関係に注目する。ルネサンスの芸術というと、「高級」で「難解」な絵画や彫刻という印象が強いかもしれない。しかし実際には、市井の人びとが日々生活していく時間に寄り添い、ときには人びとを厳しくしつけ、またあるときは人びとを癒やすような表現も数多く存在する。芸術作品と文字資料の対比から浮き彫りになる暮らしと文化の接点は、現代を生きるわたしたちが抱える困難といかに向き合う方法について、貴重な示唆を与えてくれることだろう。		
授業方法と留意点	以下の3点について、自分の言葉で説明できるようになること。		
科目学習の効果（資格）	1. 子ども時代に触れる視覚イメージがいかに本人の成長と結びつくのか。 2. 親子関係を表わす視覚イメージがいかに家族のかたちを整えていくのか。 3. 結婚や出産に関わる視覚イメージがいかに社会の制度を変えていくのか。		
授業計画	授業は全編スライドをもちいた講義形式で、スライド内の文字情報はハンドアウトとしてあらかじめ共有する。 各回の最初に、10 分ほど前回の質問に対するフィードバックを実施する時間を取り、各回の最後に、10 分ほど質問を入力する時間を取る。		
西洋文化を通底する精神性の理解 [学芸員資格]	回数	授業テーマ	内容・方法 等
	1	前提#1	「芸術作品」 反復と更新について
	2	前提#2	「家族関係」 老いた父と若い母について
	3	前提#3	「対象関係」 自分と他人について
	4	乳児	「聖母子」 乳母と聖母について
	5	男児	「洗礼者ヨハネ」 おとぎ話と英雄について
	6	女児	「聖女たち」 尊敬と欲望について
	7	親子	「アブラハム」 服従と葛藤について
	8	結婚	「マリアとヨゼフ」 憧憬と嫉妬について
	9	新婚	「サビーニの女」 権力と願望について
	10	両家	「グリセルダ」 舅と夫について
	11	愛妻	「肖像画」 愛情と財産について
	12	夫婦	「シバの女王」 贈与と返礼について
	13	出産	「ヘラクレス」 逆転と儀礼について
	14	老年	「スザンナ」 情欲と恐怖について
	15	総括	「確認」 暮らしと文化について
事前・事後学習課題	事前: 教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する (30 分)。 事後: 自分の質問に自分で応答を試みる (60 分)。		
関連科目	芸術文化論／芸術論		
教科書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名

	1	もうひとつのルネサンス	岡田温司	平凡社ライブラリー
	2	家族論	レオン・パッティスタ・アルベル ティ	講談社
	3	ルネサンスの聖史劇	杉山博昭	中央公論新社
評価方法 (基準)	毎回の質問 80%、小テスト 20%			
学生への メッセージ	毎回授業の終わりに質問をひとつ入力してもらおう。その質問の内容で評価をつけていく。評価の基準は「知識の豊富さ」ではなく「自分できちんと考えられるかどうか」である。この基準については、毎回のフィードバックをとおして具体的に認識していくことができるだろう。 体調不良だと考えることも難しくなるので、ぜひ、体調は整えて出席してもらいたい。			
担当者の 研究室等	7 号館 5 階 杉山研究室			
備考	質問に対する応答は「Q&A シート」を作成し、次回の授業にてフィードバックする。			

科目名	グラマー	科目名（英文）	Grammar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	西川 眞由美
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100』のうち、指定された範囲の例文に関連する文法事項を取り上げる。中・高で学んだ英文法を網羅的に復習するのではなく、英語を実用的に使用するために必要な基礎文法項目を反復練習し、文法事項、および4技能（読む・書く・聞く・話すこと）への応用力を養う。録音されたネイティブスピーカーの発音チェック、構文研究、類例として様々な話題や場面・状況における表現等も含めて統合的に学習する。それらについては平常の小テスト・提出物等の他、英作文テストによって最終的な習熟度を測る。一方、英語の語彙については、オンライン教材付きの共通テキストを使用し、学生の自発的かつ計画的な学習への取り組みを促し、平常の小テスト等でのチェックの他、語彙力テストによって最終的な習熟度を測る。																																																																		
到達目標	英文法の体系的な理解と、英語の語彙の習得を軸としながら、英語を聞く、読む、話す、書くという4つの領域を統合した言語活動を行うことができるようになることを目標とする。																																																																		
授業方法と留意点	『暗唱英文 100』の文法事項を学習し、定着を図るために和文英訳を反復練習する。また応用力をつけるために、授業時に小テスト等を行う。学期の終盤に『暗唱英文 100』に基づいた「100SS 筆記テスト」、指定単語集に基づいた「TOEIC 基本語彙テスト」を実施する。必ず辞書を持参すること。																																																																		
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検等																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>導入</td><td>本科目の目標・テーマや授業内容などについて説明する。</td><td>例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）</td></tr> <tr> <td>2</td><td>数量詞の用法と語彙について</td><td>例文・サンプル会話・類例の応用演習</td><td>例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）</td></tr> <tr> <td>3</td><td>時間を表す前置詞の用法と語彙について</td><td>例文・サンプル会話・類例の応用演習</td><td>例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）</td></tr> <tr> <td>4</td><td>空間を表す前置詞の用法と語彙について</td><td>例文・サンプル会話・類例の応用演習</td><td>例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）</td></tr> <tr> <td>5</td><td>手段を表す前置詞の用法と語彙について</td><td>例文・サンプル会話・類例の応用演習</td><td>例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）</td></tr> <tr> <td>6</td><td>分詞・不定詞の用法と語彙について</td><td>例文・サンプル会話・類例の応用演習</td><td>例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）</td></tr> <tr> <td>7</td><td>比較の構文と語彙について</td><td>例文・サンプル会話・類例の応用演習</td><td>例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）</td></tr> <tr> <td>8</td><td>完了形の用法と語彙について</td><td>例文・サンプル会話・類例の応用演習</td><td>例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）</td></tr> <tr> <td>9</td><td>受動態の構文と語彙について</td><td>例文・サンプル会話・類例の応用演習</td><td>例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）</td></tr> <tr> <td>10</td><td>知覚・使役動詞の構文と語彙について</td><td>例文・サンプル会話・類例の応用演習</td><td>例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）</td></tr> <tr> <td>11</td><td>関係詞の用法と語彙について</td><td>例文・サンプル会話・類例の応用演習</td><td>例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）</td></tr> <tr> <td>12</td><td>仮定法の構文と語彙について</td><td>例文・サンプル会話・類例の応用演習</td><td>例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）</td></tr> <tr> <td>13</td><td>英作文（筆記）テスト</td><td>テストの実施、終了後には同テストのポイント解説と今後の学習のアドバイス</td><td>例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）</td></tr> <tr> <td>14</td><td>語彙力テストの実施</td><td>テストの実施、終了後には同テストのポイント解説と今後の学習のアドバイス</td><td>例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）</td></tr> <tr> <td>15</td><td>総括</td><td>これまでの学習内容を総括する</td><td>総復習（1時間）</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	導入	本科目の目標・テーマや授業内容などについて説明する。	例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）	2	数量詞の用法と語彙について	例文・サンプル会話・類例の応用演習	例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）	3	時間を表す前置詞の用法と語彙について	例文・サンプル会話・類例の応用演習	例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）	4	空間を表す前置詞の用法と語彙について	例文・サンプル会話・類例の応用演習	例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）	5	手段を表す前置詞の用法と語彙について	例文・サンプル会話・類例の応用演習	例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）	6	分詞・不定詞の用法と語彙について	例文・サンプル会話・類例の応用演習	例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）	7	比較の構文と語彙について	例文・サンプル会話・類例の応用演習	例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）	8	完了形の用法と語彙について	例文・サンプル会話・類例の応用演習	例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）	9	受動態の構文と語彙について	例文・サンプル会話・類例の応用演習	例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）	10	知覚・使役動詞の構文と語彙について	例文・サンプル会話・類例の応用演習	例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）	11	関係詞の用法と語彙について	例文・サンプル会話・類例の応用演習	例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）	12	仮定法の構文と語彙について	例文・サンプル会話・類例の応用演習	例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）	13	英作文（筆記）テスト	テストの実施、終了後には同テストのポイント解説と今後の学習のアドバイス	例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）	14	語彙力テストの実施	テストの実施、終了後には同テストのポイント解説と今後の学習のアドバイス	例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）	15	総括	これまでの学習内容を総括する	総復習（1時間）
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	導入	本科目の目標・テーマや授業内容などについて説明する。	例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）																																																																
2	数量詞の用法と語彙について	例文・サンプル会話・類例の応用演習	例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）																																																																
3	時間を表す前置詞の用法と語彙について	例文・サンプル会話・類例の応用演習	例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）																																																																
4	空間を表す前置詞の用法と語彙について	例文・サンプル会話・類例の応用演習	例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）																																																																
5	手段を表す前置詞の用法と語彙について	例文・サンプル会話・類例の応用演習	例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）																																																																
6	分詞・不定詞の用法と語彙について	例文・サンプル会話・類例の応用演習	例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）																																																																
7	比較の構文と語彙について	例文・サンプル会話・類例の応用演習	例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）																																																																
8	完了形の用法と語彙について	例文・サンプル会話・類例の応用演習	例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）																																																																
9	受動態の構文と語彙について	例文・サンプル会話・類例の応用演習	例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）																																																																
10	知覚・使役動詞の構文と語彙について	例文・サンプル会話・類例の応用演習	例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）																																																																
11	関係詞の用法と語彙について	例文・サンプル会話・類例の応用演習	例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）																																																																
12	仮定法の構文と語彙について	例文・サンプル会話・類例の応用演習	例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）																																																																
13	英作文（筆記）テスト	テストの実施、終了後には同テストのポイント解説と今後の学習のアドバイス	例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）																																																																
14	語彙力テストの実施	テストの実施、終了後には同テストのポイント解説と今後の学習のアドバイス	例文・サンプル会話・類例の暗記と暗唱練習、単語集の指示範囲より単語と例文の学習（1時間）																																																																
15	総括	これまでの学習内容を総括する	総復習（1時間）																																																																
関連科目	スキルズトレーニング b、スピーキング&ライティング Ib																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>暗唱英文 100</td><td>摂南大学外国語学部</td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td>The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test 【単語集】</td><td>西谷 恒志</td><td>成美堂</td></tr> <tr> <td>3</td><td>Grammar Workouts!</td><td>Masao Yasumaru, Akiko Watanabe</td><td>金星堂</td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部		2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test 【単語集】	西谷 恒志	成美堂	3	Grammar Workouts!	Masao Yasumaru, Akiko Watanabe	金星堂																																																
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部																																																																	
2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test 【単語集】	西谷 恒志	成美堂																																																																
3	Grammar Workouts!	Masao Yasumaru, Akiko Watanabe	金星堂																																																																
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	TOEIC 基本語彙テスト 30% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 70%																																																																		
学生へのメッセージ	語彙力・文法力は英語力の基本です。この授業を通して、しっかり力をつけていきましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7号館4階 西川研究室																																																																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ30時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。																																																																		

科目名	クリエイティブビジネス論	科目名（英文）	Creative Business
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	針尾 大嗣
ディプロマポリシー (DP)	DP2◎		
科目ナンバリング	LDL2227a0		

授業概要・目的	本講義では、ICT の急速な発展と普及により、めまぐるしく変貌する現代のコンテンツ（クリエイティブ）業界（放送、映画、出版、音楽、ゲーム）の産業構造とビジネスモデル、およびメディア・コンテンツを自社のマーケティング政策に組み込む製造・サービス業界（飲料・飲料、コスメ、外食等）の企業による取り組み事例について、経営学及び産業論の観点から解説する。本講義の目的は、情報通信ネットワーク技術とコンテンツ技術の発展が、業界構造やビジネスのあり方に与える影響と変化を理解することである。 なお、この科目は「メディアビジネス」プログラムの対応科目である。																																																		
到達目標	- 各コンテンツ（クリエイティブ）産業の市場規模、産業構造について説明ができる。 - 各コンテンツ（クリエイティブ）産業のビジネスモデルについて説明ができる。																																																		
授業方法と留意点	- 教材は配布プリントを使用する。指定の共有フォルダで配布するので受講生は各自印刷し、ファイルを作成しておくこと。 - 授業は概ね以下のように進める。 開始?10 分：復習および課題解答 10?50 分：前半解説 50?60 分：ディスカッション（前半解説内容からディスカッションテーマを与えます。） 60?85 分：後半解説 85?90 分：課題																																																		
科目学習の効果（資格）																																																			
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>イントロダクション</td><td>主に以下について解説する。 ・コンテンツビジネスとは ・本講義で取り上げるコンテンツ（クリエイティブ）産業について</td><td>予習：事前に配布した資料の空欄箇所について調べ穴埋めしておくこと。 復習：講義終了時に科した課題について、講義内容を踏まえてまとめておくこと。次回、指名回答させる。</td></tr> <tr> <td>2</td><td>放送業界（1）</td><td>主に以下について解説する。 ・放送業界の市場と産業構造 ・放送業界のビジネスモデル ・放送番組の制作過程 ・放送法ほか</td><td>予習：事前に配布した資料の空欄箇所について調べ穴埋めしておくこと。 復習：講義終了時に科した課題について、講義内容を踏まえてまとめておくこと。次回、指名回答させる。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>放送業界（2）</td><td>主に以下について解説する。 ・放送のデジタル化 ・ネット配信事業者（Amazon、Hulu など） ・放送業界の現状と今後ほか</td><td>予習：事前に配布した資料の空欄箇所について調べ穴埋めしておくこと。 復習：講義終了時に科した課題について、講義内容を踏まえてまとめておくこと。次回、指名回答させる。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>映画業界（1）</td><td>主に以下について解説する。 ・映画業界の市場と産業構造 ・映画業界のビジネスモデル ・映画作品の制作過程 ・資金調達ほか</td><td>予習：事前に配布した資料の空欄箇所について調べ穴埋めしておくこと。 復習：講義終了時に科した課題について、講義内容を踏まえてまとめておくこと。次回、指名回答させる。</td></tr> <tr> <td>5</td><td>映画業界（2）</td><td>主に以下について解説する。 ・米国の映画産業 ・映画のデジタル配信 ・映画業界の現状と今後ほか</td><td>予習：事前に配布した資料の空欄箇所について調べ穴埋めしておくこと。 復習：講義終了時に科した課題について、講義内容を踏まえてまとめておくこと。次回、指名回答させる。</td></tr> <tr> <td>6</td><td>グループディスカッション</td><td>主に以下について解説する。 ・日米の映画コンテンツ比較</td><td>予習：事前課題（世界と日本のコンテンツ比較について）について作成しておくこと。 復習：グループディスカッションの内容をまとめたレポートを作成しておくこと。</td></tr> <tr> <td>7</td><td>広告業界</td><td>主に以下について解説する。 ・広告業界の市場と産業構造 ・ICT 広告の市場と動向 ・最新広告技術 ・広告業界の現状と今後ほか</td><td>予習：事前に配布した資料の空欄箇所について調べ穴埋めしておくこと。 復習：講義終了時に科した課題について、講義内容を踏まえてまとめておくこと。次回、指名回答させる。</td></tr> <tr> <td>8</td><td>出版業界</td><td>主に以下について解説する。 ・出版業界の市場と産業構造 ・出版業界のビジネスモデル ・再販売価格維持制度 ・出版業界の現状と今後ほか</td><td>予習：事前に配布した資料の空欄箇所について調べ穴埋めしておくこと。 復習：講義終了時に科した課題について、講義内容を踏まえてまとめておくこと。次回、指名回答させる。</td></tr> <tr> <td>9</td><td>音楽業界</td><td>主に以下について解説する。 ・音楽業界の市場と産業構造 ・音楽業界のビジネスモデル ・著作権（原盤権、著作隣接権等） ・音楽業界の現状と今後ほか</td><td>予習：事前に配布した資料の空欄箇所について調べ穴埋めしておくこと。 復習：講義終了時に科した課題について、講義内容を踏まえてまとめておくこと。次回、指名回答させる。</td></tr> <tr> <td>10</td><td>ゲーム業界</td><td>主に以下について解説する。 ・ゲーム業界の市場と産業構造 ・ゲーム業界のビジネスモデル ・ゲーム業界の現状と今後ほか</td><td>予習：事前に配布した資料の空欄箇所について調べ穴埋めしておくこと。 復習：講義終了時に科した課題について、講義内容を踏まえてまとめておくこと。次回、指名回答させる。</td></tr> <tr> <td>11</td><td>時計業界の取り組み</td><td>主に以下について解説する。 ・時計（時計計測器）の歴史 ・スマートウォッチ ・時計業界の現状と今後ほか</td><td>予習：事前に配布した資料の空欄箇所について調べ穴埋めしておくこと。 復習：講義終了時に科した課題について、講義内容を踏まえてまとめておくこと。次回、指名回答させる。</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	イントロダクション	主に以下について解説する。 ・コンテンツビジネスとは ・本講義で取り上げるコンテンツ（クリエイティブ）産業について	予習：事前に配布した資料の空欄箇所について調べ穴埋めしておくこと。 復習：講義終了時に科した課題について、講義内容を踏まえてまとめておくこと。次回、指名回答させる。	2	放送業界（1）	主に以下について解説する。 ・放送業界の市場と産業構造 ・放送業界のビジネスモデル ・放送番組の制作過程 ・放送法ほか	予習：事前に配布した資料の空欄箇所について調べ穴埋めしておくこと。 復習：講義終了時に科した課題について、講義内容を踏まえてまとめておくこと。次回、指名回答させる。	3	放送業界（2）	主に以下について解説する。 ・放送のデジタル化 ・ネット配信事業者（Amazon、Hulu など） ・放送業界の現状と今後ほか	予習：事前に配布した資料の空欄箇所について調べ穴埋めしておくこと。 復習：講義終了時に科した課題について、講義内容を踏まえてまとめておくこと。次回、指名回答させる。	4	映画業界（1）	主に以下について解説する。 ・映画業界の市場と産業構造 ・映画業界のビジネスモデル ・映画作品の制作過程 ・資金調達ほか	予習：事前に配布した資料の空欄箇所について調べ穴埋めしておくこと。 復習：講義終了時に科した課題について、講義内容を踏まえてまとめておくこと。次回、指名回答させる。	5	映画業界（2）	主に以下について解説する。 ・米国の映画産業 ・映画のデジタル配信 ・映画業界の現状と今後ほか	予習：事前に配布した資料の空欄箇所について調べ穴埋めしておくこと。 復習：講義終了時に科した課題について、講義内容を踏まえてまとめておくこと。次回、指名回答させる。	6	グループディスカッション	主に以下について解説する。 ・日米の映画コンテンツ比較	予習：事前課題（世界と日本のコンテンツ比較について）について作成しておくこと。 復習：グループディスカッションの内容をまとめたレポートを作成しておくこと。	7	広告業界	主に以下について解説する。 ・広告業界の市場と産業構造 ・ICT 広告の市場と動向 ・最新広告技術 ・広告業界の現状と今後ほか	予習：事前に配布した資料の空欄箇所について調べ穴埋めしておくこと。 復習：講義終了時に科した課題について、講義内容を踏まえてまとめておくこと。次回、指名回答させる。	8	出版業界	主に以下について解説する。 ・出版業界の市場と産業構造 ・出版業界のビジネスモデル ・再販売価格維持制度 ・出版業界の現状と今後ほか	予習：事前に配布した資料の空欄箇所について調べ穴埋めしておくこと。 復習：講義終了時に科した課題について、講義内容を踏まえてまとめておくこと。次回、指名回答させる。	9	音楽業界	主に以下について解説する。 ・音楽業界の市場と産業構造 ・音楽業界のビジネスモデル ・著作権（原盤権、著作隣接権等） ・音楽業界の現状と今後ほか	予習：事前に配布した資料の空欄箇所について調べ穴埋めしておくこと。 復習：講義終了時に科した課題について、講義内容を踏まえてまとめておくこと。次回、指名回答させる。	10	ゲーム業界	主に以下について解説する。 ・ゲーム業界の市場と産業構造 ・ゲーム業界のビジネスモデル ・ゲーム業界の現状と今後ほか	予習：事前に配布した資料の空欄箇所について調べ穴埋めしておくこと。 復習：講義終了時に科した課題について、講義内容を踏まえてまとめておくこと。次回、指名回答させる。	11	時計業界の取り組み	主に以下について解説する。 ・時計（時計計測器）の歴史 ・スマートウォッチ ・時計業界の現状と今後ほか	予習：事前に配布した資料の空欄箇所について調べ穴埋めしておくこと。 復習：講義終了時に科した課題について、講義内容を踏まえてまとめておくこと。次回、指名回答させる。
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																
1	イントロダクション	主に以下について解説する。 ・コンテンツビジネスとは ・本講義で取り上げるコンテンツ（クリエイティブ）産業について	予習：事前に配布した資料の空欄箇所について調べ穴埋めしておくこと。 復習：講義終了時に科した課題について、講義内容を踏まえてまとめておくこと。次回、指名回答させる。																																																
2	放送業界（1）	主に以下について解説する。 ・放送業界の市場と産業構造 ・放送業界のビジネスモデル ・放送番組の制作過程 ・放送法ほか	予習：事前に配布した資料の空欄箇所について調べ穴埋めしておくこと。 復習：講義終了時に科した課題について、講義内容を踏まえてまとめておくこと。次回、指名回答させる。																																																
3	放送業界（2）	主に以下について解説する。 ・放送のデジタル化 ・ネット配信事業者（Amazon、Hulu など） ・放送業界の現状と今後ほか	予習：事前に配布した資料の空欄箇所について調べ穴埋めしておくこと。 復習：講義終了時に科した課題について、講義内容を踏まえてまとめておくこと。次回、指名回答させる。																																																
4	映画業界（1）	主に以下について解説する。 ・映画業界の市場と産業構造 ・映画業界のビジネスモデル ・映画作品の制作過程 ・資金調達ほか	予習：事前に配布した資料の空欄箇所について調べ穴埋めしておくこと。 復習：講義終了時に科した課題について、講義内容を踏まえてまとめておくこと。次回、指名回答させる。																																																
5	映画業界（2）	主に以下について解説する。 ・米国の映画産業 ・映画のデジタル配信 ・映画業界の現状と今後ほか	予習：事前に配布した資料の空欄箇所について調べ穴埋めしておくこと。 復習：講義終了時に科した課題について、講義内容を踏まえてまとめておくこと。次回、指名回答させる。																																																
6	グループディスカッション	主に以下について解説する。 ・日米の映画コンテンツ比較	予習：事前課題（世界と日本のコンテンツ比較について）について作成しておくこと。 復習：グループディスカッションの内容をまとめたレポートを作成しておくこと。																																																
7	広告業界	主に以下について解説する。 ・広告業界の市場と産業構造 ・ICT 広告の市場と動向 ・最新広告技術 ・広告業界の現状と今後ほか	予習：事前に配布した資料の空欄箇所について調べ穴埋めしておくこと。 復習：講義終了時に科した課題について、講義内容を踏まえてまとめておくこと。次回、指名回答させる。																																																
8	出版業界	主に以下について解説する。 ・出版業界の市場と産業構造 ・出版業界のビジネスモデル ・再販売価格維持制度 ・出版業界の現状と今後ほか	予習：事前に配布した資料の空欄箇所について調べ穴埋めしておくこと。 復習：講義終了時に科した課題について、講義内容を踏まえてまとめておくこと。次回、指名回答させる。																																																
9	音楽業界	主に以下について解説する。 ・音楽業界の市場と産業構造 ・音楽業界のビジネスモデル ・著作権（原盤権、著作隣接権等） ・音楽業界の現状と今後ほか	予習：事前に配布した資料の空欄箇所について調べ穴埋めしておくこと。 復習：講義終了時に科した課題について、講義内容を踏まえてまとめておくこと。次回、指名回答させる。																																																
10	ゲーム業界	主に以下について解説する。 ・ゲーム業界の市場と産業構造 ・ゲーム業界のビジネスモデル ・ゲーム業界の現状と今後ほか	予習：事前に配布した資料の空欄箇所について調べ穴埋めしておくこと。 復習：講義終了時に科した課題について、講義内容を踏まえてまとめておくこと。次回、指名回答させる。																																																
11	時計業界の取り組み	主に以下について解説する。 ・時計（時計計測器）の歴史 ・スマートウォッチ ・時計業界の現状と今後ほか	予習：事前に配布した資料の空欄箇所について調べ穴埋めしておくこと。 復習：講義終了時に科した課題について、講義内容を踏まえてまとめておくこと。次回、指名回答させる。																																																

	12	金融業界の取り組み	主に以下について解説する。 ・金融業界の現状 ・電子決済 ・決済アプリ ・クラウドファンディングほか	予習：事前に配布した資料の空欄箇所について調べ穴埋めしておくこと。 復習：講義終了時に科した課題について、講義内容を踏まえてまとめておくこと。次回、指名回答させる。
	13	自動車業界の取り組み	主に以下について解説する。 ・自動車業界の現状 ・自動運転と ICT ・自動車ビジネスへの新規参入企業 ・テスラ、トヨタ等の取り組みほか	予習：事前に配布した資料の空欄箇所について調べ穴埋めしておくこと。 復習：講義終了時に科した課題について、講義内容を踏まえてまとめておくこと。次回、指名回答させる。
	14	コンテンツビジネスの課題	主に以下について解説する。 ・知的財産権等関連法 ・著作権管理技術 ・人材育成など	予習：事前に配布した資料の空欄箇所について調べ穴埋めしておくこと。 復習：講義終了時に科した課題について、講義内容を踏まえてまとめておくこと。次回、指名回答させる。
	15	まとめ	主に以下について取り上げる ・本講義のまとめ	予習：事前に配布した資料の空欄箇所について調べ穴埋めしておくこと。 復習：講義終了時に科した課題について、講義内容を踏まえてまとめておくこと。
関連科目	経営学部実施科目（ICT 概論、メディア戦略論）			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	デジタルコンテンツ白書 2018	一般財団法人デジタルコンテンツ協会、経済産業省商務情報政策局	一般財団法人デジタルコンテンツ協会
	2			
	3			
評価方法 （基準）	期末テスト（80%）、小テスト・レポート（20%）で評価する。 私語、携帯の使用、遅刻など講義の進行を妨げる者については厳しく評価するので注意すること。			
学生への メッセージ	外国語学部の学生が関心を持つであろう産業・業界・企業を取り上げ、それぞれの産業構造、ビジネスモデル、最新動向について解説する。就職活動に向けた業界研究を行うつもりで受講するとよいでしょう。			
担当者の 研究室等	11 号館 7 階（針尾准教授室）			
備考	講義で取り扱う業界とその内容については、受講生の関心や情勢にあわせて変更する場合があります。 事前・事後学習にかかる総時間は 60 時間です。			

科目名	Global Issues	科目名 (英文)	Global Issues
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	吉村 征洋
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL2017c0		

授業概要・目的	国際社会についての情報を英語で入手できるようになる。		
到達目標	CEFR-J[B1-1]を目標とし、入手した情報の要点や結論を理解し、必要な事実や情報を取捨選択できるようになる。		
授業方法と留意点	リスニングを中心としたタスクをこなしながら、国際社会での出来事や教養を学んでいく。耳から入る英語の情報を漠然と聞き流すのではなく、集中して聞くタスクをこなしていくことで、グローバル化していく社会で起こる様々な出来事を整理して理解できるようにする。また日ごろから、日本語によるニュースや時事問題に習熟しておくことが必要になる。授業はペアワークを中心とした active learning 形式で実施する。		
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL, 英検, IELTS		
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等
	1	オリエンテーション	授業の進め方など。Global Issues に関わるトピックについての英語講義を聞きながら、自らの意見を英語で述べてみる。
	2	年代記 (1) ナポレオンについて	ナポレオンについてあつかった英語講義を聞き、理解を深める。
	3	年代記 (2) ボンベイについて	ボンベイについてあつかった英英語講義を聞き、理解を深める。
	4	インターネットについて	インターネットについてあつかった英語講義を聞き、理解を深める。
	5	言語習得について	言語習得についてあつかった英語講義を聞き、理解を深める。
	6	振り返り、およびまとめテスト (1)	これまでの振り返り学習を行う。またまとめテストを行う。
	7	津波について	津波についてあつかった英語講義を聞き、理解を深める。
	8	言語使用について (フォーマル・インフォーマルの違い)	言語使用についてあつかった英語講義を聞き、理解を深める。
	9	類似性と差異について	類似性と差異についてあつかった英語講義を聞き、理解を深める。
	10	振り返り、およびまとめテスト (2)	これまでの振り返り学習を行う。またまとめテストを行う。
	11	リンカーンとケネディについて	リンカーンとケネディについてあつかった英語講義を聞き、理解を深める。
	12	絶滅動物について	絶滅動物についてあつかった英語講義を聞き、理解を深める。
	13	アメリカ独立戦争について	アメリカ独立戦争についてあつかった英語講義を聞き、理解を深める。
	14	振り返り、およびまとめテスト (3)	これまでの振り返り学習を行う。またまとめテストを行う。
	15	総括する	これまでの内容の総括を行う。
関連科目	Academic Reading, Academic Writing		
教科書	番号	書籍名	著者名
	1	Dynamic Listening Comprehension	Patricia A. Dunkel and Phyllis L. Lim
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法 (基準)	まとめテスト 30% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 70%		
学生へのメッセージ	英語の上達に近道はありません。この授業でたくさん英語を聞いて、英語力を高めていきましょう！		
担当者の研究室等	7 号館 3 階 吉村 征洋 研究室		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。		

科目名	グローバル企業研究	科目名 (英文)	Studies on Multinational Corporations
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	中島 直嗣
ディプロマポリシー (DP)	DP2◎		
科目ナンバリング	LDL3203a0		

授業概要・目的	本授業は、国際キャリアコースの6つのパッケージプログラムのうち、「国際ビジネス」プログラムに対応する科目です。 まずは、世界規模で事業展開している「グローバル企業」にはどのような会社があるのか、知ることから始めます。次に、海外と日本の「グローバル企業」のビジネスを比較しながら、国際社会や経済の動向なども交えて考察します。さらに、「仮想の投資」という観点から、グループごとにテーマを定め、選択した「グローバル企業」のレポート（ポートフォリオ）を作成し、プレゼンテーションを行うことで、その理解を深めることを授業目的の一つとします。				
到達目標	グローバル企業の事業展開の実例とともに、その戦略や今後のビジネス展開について考察し、議論できるようになることを目標とします。				
授業方法と留意点	・ディスカッションやプレゼンテーションといった「グループワーク」を中心に行います。よって、メンバー間のコミュニケーションや協調性が大切になるでしょう。 ・グループによるレポートとプレゼンテーションでは、日本のグローバル企業（特に海外売上高比率が30%以上の東証一部上場）に注目し、仮想の投資という観点から、調査や分析に基づくポートフォリオを作成する。				
科目学習の効果（資格）	文化演習（3ゼミ）や卒業研究（4ゼミ）などの研究にも活かせるでしょう。				
授業計画		回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
		1	オリエンテーション	・授業の進め方などを確認する。 ・映像・資料からビジネスの現場を知る。	・教科書をざっと一読し、大まかな内容を確認する（2時間）。 ・次の授業で扱う「株」に関する記事（新聞やビジネス誌）を調べてみる（2時間）。
		2	株式とその市場の基本について	・前半（講義）：株とは何か、株式市場の役割や影響について、その基本を学ぶ。 ・後半（グループ・ディスカッション）：最近株価が変動している東証1部上場企業に注目し、その原因について議論する。	・今回の授業で扱った「株式（市場）」について、さらに文献等で詳しく調べてみる（2時間）。 ・次の授業で扱う「食品・飲料業界」について、教科書や記事などで下調べしておく（2時間）。
		3	グローバル企業の動向について（1）：食品・飲料業界	・前半（講義）：食品・飲料業界のグローバル企業（ネスレ、コカ・コーラ、ユニリーバなど）に注目し、その事業展開について考察する。 ・後半（グループ・ディスカッション）：同業界の日本のグローバル企業（味の素、キッコーマン、ヤクルトなど）に注目し、その事業展開について議論する。	・今回の授業で扱った「食品・飲料業界」について、さらに文献等で詳しく調べてみる（2時間）。 ・次の授業の準備として、プレゼンテーションのテーマについて下調べし、候補を考えておくこと（2時間）。
		4	・プレゼンテーションの計画を立てる。 ・プレゼンテーションのスキルを学ぶ。	・プレゼンテーションのグループメンバー、テーマ、発表日等を決定する。 ・プレゼンテーションのスキルについて、企業で行われている具体例などとともに大切な点を学ぶ。	・決定したグループメンバーと、今後の活動計画について話し合う（2時間）。 ・次の授業で扱う「化粧品・トイレタリー業界」について、教科書や記事などで下調べしておく（2時間）。
		5	グローバル企業の動向について（2）：化粧品・トイレタリー業界	・前半（講義）：化粧品・トイレタリー業界のグローバル企業（ロレアル、P&G、ユニリーバなど）に注目し、その事業展開について考察する。 ・後半（グループ・ディスカッション）：同業界の日本のグローバル企業（資生堂、花王、ユニチャームなど）に注目し、その事業展開について議論する。	・今回の授業で扱った「化粧品・トイレタリー業界」について、さらに文献等で詳しく調べてみる（2時間）。 ・次の授業で扱う「アパレル・小売り業界」について、教科書や記事などで下調べしておく（2時間）。
		6	グローバル企業の動向について（3）：アパレル・小売り業界	・前半（講義）：アパレル・小売り業界のグローバル企業（インディテックス[ZARA]、H&M、GAP など）に注目し、その事業展開について考察する。 ・後半（グループ・ディスカッション）：同業界の日本のグローバル企業（ファーストリテイリング[ユニクロ、GU]、良品計画[MUJI]、セブン&アイ HD など）に注目し、その事業展開について議論する。	・今回の授業で扱った「アパレル・小売り業界」について、さらに文献等で詳しく調べてみる（2時間）。 ・次の授業で扱う「エレクトロニクス機器関連企業」について、教科書や記事などで下調べしておく（2時間）。
		7	グローバル企業の動向について（4）：エレクトロニクス機器関連企業	・前半（講義）：電池、電子部品、医療機器などのグローバル企業（LG、ジョンソン&ジョンソン、シーメンスなど）の事業展開について考察する。 ・後半（グループ・ディスカッション）：同業界の日本のグローバル企業（パナソニック、村田製作所、京セラ、オリンパスなど）に注目し、その事業展開について議論する。	・今回の授業で扱った「エレクトロニクス機器関連企業」について、さらに文献等で詳しく調べてみる（2時間）。 ・次の授業で扱う「訪日外国人観光客・東京五輪関連企業」について、教科書や記事などで下調べしておく（2時間）。
		8	グローバル企業の動向について（5）：訪日外国人観光客・東京五輪関連企業	・前半（講義）：訪日外国人観光客や東京五輪に関連する業界・企業にはどのようなものがあるか、考察する。 ・後半（グループ・ディスカッション）：同業界・企業の具体例な事業展開について議論する。	・今回の授業で扱った「訪日外国人観光客や東京五輪に関連する業界・企業」について、さらに文献等で詳しく調べてみる（2時間）。 ・グループごとにレポート（ポートフォリオ）の準備を進めていく（2時間）。
		9	レポート（ポートフォリオ）の完成と提出	各グループの設定した投資テーマに関するレポート（ポートフォリオ）を完成させ、提出する。	・グループごとにレポート（ポートフォリオ）を完成させる（2時間）。 ・グループごとにプレゼンテーションの準備を進め

	10	投資テーマに関するグループ・プレゼンテーション（１）	担当の２つのグループが設定した投資テーマについて説明し、ポートフォリオを公開する。また、その基となった調査と分析についてプレゼンテーションを行うとともに、フロアや教員との質疑応答により考察を深めていく。	・今回の授業（プレゼンテーション）で扱ったテーマについて、さらに文献等で詳しく調べてみる（２時間）。 ・グループごとにプレゼンテーションの準備を進めていく。また、プレゼンが終了したグループは事後報告書を作成する（２時間）。																
	11	投資テーマに関するグループ・プレゼンテーション（２）	担当の２つのグループが設定した投資テーマについて説明し、ポートフォリオを公開する。また、その基となった調査と分析についてプレゼンテーションを行うとともに、フロアや教員との質疑応答により考察を深めていく。	・今回の授業（プレゼンテーション）で扱ったテーマについて、さらに文献等で詳しく調べてみる（２時間）。 ・グループごとにプレゼンテーションの準備を進めていく。また、プレゼンが終了したグループは事後報告書を作成する（２時間）。																
	12	投資テーマに関するグループ・プレゼンテーション（３）	担当の２つのグループが設定した投資テーマについて説明し、ポートフォリオを公開する。また、その基となった調査と分析についてプレゼンテーションを行うとともに、フロアや教員との質疑応答により考察を深めていく。	・今回の授業（プレゼンテーション）で扱ったテーマについて、さらに文献等で詳しく調べてみる（２時間）。 ・グループごとにプレゼンテーションの準備を進めていく。また、プレゼンが終了したグループは事後報告書を作成する（２時間）。																
	13	投資テーマに関するグループ・プレゼンテーション（４）	担当の２つのグループが設定した投資テーマについて説明し、ポートフォリオを公開する。また、その基となった調査と分析についてプレゼンテーションを行うとともに、フロアや教員との質疑応答により考察を深めていく。	・今回の授業（プレゼンテーション）で扱ったテーマについて、さらに文献等で詳しく調べてみる（２時間）。 ・グループごとにプレゼンテーションの準備を進めていく。また、プレゼンが終了したグループは事後報告書を作成する（２時間）。																
	14	投資テーマに関するグループ・プレゼンテーション（５）	担当の２つのグループが設定した投資テーマについて説明し、ポートフォリオを公開する。また、その基となった調査と分析についてプレゼンテーションを行うとともに、フロアや教員との質疑応答により考察を深めていく。	・今回の授業（プレゼンテーション）で扱ったテーマについて、さらに文献等で詳しく調べてみる（２時間）。 ・グループごとにプレゼンテーションの準備を進めていく。また、プレゼンが終了したグループは事後報告書を作成する（２時間）。																
	15	総括（まとめ）	・グローバル企業や国際社会の動向に注目してきた授業の内容を総括し、要点を整理する。 ・これまでのプレゼンテーションの内容・展開やスキルについて振り返り、講評する。	・これまでの授業やプレゼンテーションで扱ったテーマについて、さらに文献等で詳しく調べてみる（２時間）。 ・自分たちのプレゼンテーションについて振り返り、改善すべき点などを明らかにし、今後に活かせるようにする（２時間）。																
	関連科目		「グローバルマーケティング論」やその他の国際ビジネスプログラム科目など。																	
教科書	<table><tr><td>番号</td><td>書籍名</td><td>著者名</td><td>出版社名</td></tr><tr><td>1</td><td>会社四季報 業界地図 2019 年版</td><td>東洋経済新報社[編]</td><td>東洋経済新報社</td></tr><tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				番号	書籍名	著者名	出版社名	1	会社四季報 業界地図 2019 年版	東洋経済新報社[編]	東洋経済新報社	2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																	
1	会社四季報 業界地図 2019 年版	東洋経済新報社[編]	東洋経済新報社																	
2																				
3																				
参考書	<table><tr><td>番号</td><td>書籍名</td><td>著者名</td><td>出版社名</td></tr><tr><td>1</td><td>会社四季報 2019 年 2 集 春号</td><td>東洋経済新報社[編]</td><td>東洋経済新報社</td></tr><tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				番号	書籍名	著者名	出版社名	1	会社四季報 2019 年 2 集 春号	東洋経済新報社[編]	東洋経済新報社	2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																	
1	会社四季報 2019 年 2 集 春号	東洋経済新報社[編]	東洋経済新報社																	
2																				
3																				
評価方法（基準）	プレゼンテーション：３０％、 レポート３０％、 グループ・ディスカッション：３０％、 授業に取り組む姿勢・貢献度など：１０％ ※ただし、原則として、出席率８０％（出席１２回）以上を単位取得のための要件とします。																			
学生へのメッセージ	・社会人の仕事でもチームワークが重要です。この授業でも協調的な姿勢を大切にしてほしいと思います。 ・また、この授業で学んだことは、就職活動における企業・業界研究にも大いに役立つことでしょう。																			
担当者の研究室等	7 号館 4 階 中島研究室																			
備考	毎回の授業のための教科書の読解、グループ・ディスカッションの下調べ、レポートやプレゼンテーションの準備などに要する事前・事後学習総時間は、６０時間程度を目安とします。グループ・ディスカッションやプレゼンテーションに関するフィードバックはその都度（授業内）で行うとともに、レポートについては講評を添えて第１５回の授業で返却します。																			

科目名	グローバル経済論	科目名（英文）	Global Economy
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	野口 義直
ディプロマポリシー (DP)	DP2◎		
科目ナンバリング	LDL2200a0		

授業概要・目的	この科目は国際ビジネスプログラム及び国際貢献プログラム対象科目である。 経済のグローバル化は、日本経済および地域経済に様々な影響をもたらしている。円高が進むもとで、日本の輸出製造業の大企業が海外へと生産拠点を展開して多国籍化をすすめ、経済の空洞化が危惧されている。高度な技術力で日本のものづくりを支え、地域経済の担い手となってきた中小企業は、大企業の多国籍化のもとで、再編と淘汰を余儀なくされている。国際競争力の強化を求める日本企業は、賃金コストの圧縮のため、非正規雇用の拡大を進めたが、労働者の収入の低下をもたらして国内消費を制限し、日本経済の成長を制約する要因となっている。国内消費が停滞し、デフレが長期化するもとで、国内流通業の再編が進行し、大手小売業への集約化が進行する一方で、各地の駅前商店街が衰退した。日米間の農産物貿易の自由化交渉は TPP 交渉に引き継がれ、零細農家の淘汰と農村地域経済の衰弱をもたらしている。経済のグローバル化が進行するもとで、これからの日本の国民経済と地域経済をどう立て直すのか。このような問題意識のもとに、この授業では経済のグローバル化とその日本社会への影響について、多様な側面から講義する。																																																																		
到達目標	経済グローバル化と日本経済の関わりについて、歴史的・具体的に分析する方法について学ぶ。																																																																		
授業方法と留意点	教科書にしたがった講義形式で行う。																																																																		
科目学習の効果（資格）																																																																			
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>講義ガイダンス</td><td>講義概要、教科書紹介</td><td>—</td></tr> <tr> <td>2</td><td>日本の大企業のグローバル化と中小企業</td><td>教科書 第1章</td><td>事前・教科書予習</td></tr> <tr> <td>3</td><td>自動車産業のグローバル化とトヨタ生産システム</td><td>教科書 第2章</td><td>事前・教科書予習</td></tr> <tr> <td>4</td><td>アメリカ IT 企業のサービス化と国際分業体制</td><td>教科書 第3章</td><td>事前・教科書予習</td></tr> <tr> <td>5</td><td>アメリカ企業・政府によるグローバル化</td><td>教科書 第4章</td><td>事前・教科書予習</td></tr> <tr> <td>6</td><td>日本の流通の再編と寡占化</td><td>教科書 第5章</td><td>事前・教科書予習</td></tr> <tr> <td>7</td><td>地球環境問題</td><td>教科書 第7章</td><td>事前・教科書予習</td></tr> <tr> <td>8</td><td>グローバル化のもとでの日本の労働者の状態</td><td>教科書 第8章</td><td>事前・教科書予習</td></tr> <tr> <td>9</td><td>日本における外国人労働者</td><td>教科書 第9章</td><td>事前・教科書予習</td></tr> <tr> <td>10</td><td>労使関係の日本—スウェーデン比較</td><td>教科書 第13章</td><td>事前・教科書予習</td></tr> <tr> <td>11</td><td>不安定化する世界農産物市場と日本の農業・食料</td><td>教科書 第10章</td><td>事前・教科書予習</td></tr> <tr> <td>12</td><td>地域間格差の拡大と日本財政</td><td>教科書 第11章</td><td>事前・教科書予習</td></tr> <tr> <td>13</td><td>グローバル化と税制改革</td><td>教科書 第12章</td><td>事前・教科書予習</td></tr> <tr> <td>14</td><td>現代資本主義の特徴と日本社会</td><td>教科書 序章</td><td>事前・教科書予習</td></tr> <tr> <td>15</td><td>まとめ</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	講義ガイダンス	講義概要、教科書紹介	—	2	日本の大企業のグローバル化と中小企業	教科書 第1章	事前・教科書予習	3	自動車産業のグローバル化とトヨタ生産システム	教科書 第2章	事前・教科書予習	4	アメリカ IT 企業のサービス化と国際分業体制	教科書 第3章	事前・教科書予習	5	アメリカ企業・政府によるグローバル化	教科書 第4章	事前・教科書予習	6	日本の流通の再編と寡占化	教科書 第5章	事前・教科書予習	7	地球環境問題	教科書 第7章	事前・教科書予習	8	グローバル化のもとでの日本の労働者の状態	教科書 第8章	事前・教科書予習	9	日本における外国人労働者	教科書 第9章	事前・教科書予習	10	労使関係の日本—スウェーデン比較	教科書 第13章	事前・教科書予習	11	不安定化する世界農産物市場と日本の農業・食料	教科書 第10章	事前・教科書予習	12	地域間格差の拡大と日本財政	教科書 第11章	事前・教科書予習	13	グローバル化と税制改革	教科書 第12章	事前・教科書予習	14	現代資本主義の特徴と日本社会	教科書 序章	事前・教科書予習	15	まとめ		
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	講義ガイダンス	講義概要、教科書紹介	—																																																																
2	日本の大企業のグローバル化と中小企業	教科書 第1章	事前・教科書予習																																																																
3	自動車産業のグローバル化とトヨタ生産システム	教科書 第2章	事前・教科書予習																																																																
4	アメリカ IT 企業のサービス化と国際分業体制	教科書 第3章	事前・教科書予習																																																																
5	アメリカ企業・政府によるグローバル化	教科書 第4章	事前・教科書予習																																																																
6	日本の流通の再編と寡占化	教科書 第5章	事前・教科書予習																																																																
7	地球環境問題	教科書 第7章	事前・教科書予習																																																																
8	グローバル化のもとでの日本の労働者の状態	教科書 第8章	事前・教科書予習																																																																
9	日本における外国人労働者	教科書 第9章	事前・教科書予習																																																																
10	労使関係の日本—スウェーデン比較	教科書 第13章	事前・教科書予習																																																																
11	不安定化する世界農産物市場と日本の農業・食料	教科書 第10章	事前・教科書予習																																																																
12	地域間格差の拡大と日本財政	教科書 第11章	事前・教科書予習																																																																
13	グローバル化と税制改革	教科書 第12章	事前・教科書予習																																																																
14	現代資本主義の特徴と日本社会	教科書 序章	事前・教科書予習																																																																
15	まとめ																																																																		
関連科目	国際ビジネスプログラム科目、国際貢献プログラム科目																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>資本主義の現在—資本蓄積の変容とその社会的影響</td><td>豊福裕二編</td><td>文理閣</td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	資本主義の現在—資本蓄積の変容とその社会的影響	豊福裕二編	文理閣	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	資本主義の現在—資本蓄積の変容とその社会的影響	豊福裕二編	文理閣																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	期末レポート（100％）で評価する。																																																																		
学生へのメッセージ	普段から新聞やテレビなどで、現実の経済の動きについて関心を持ってください。積極的に質問をしてください。																																																																		
担当者の研究室等	1 号館 7 階 野口准教授室（経済学部）																																																																		
備考	事前・事後学習にかかる総時間数は 60 時間です。																																																																		

科目名	グローバル社会と日本	科目名（英文）	Japan and Globalization
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	村上 司樹
ディプロマポリシー (DP)	DP2◎		
科目ナンバリング	LDL3231a0		

授業概要・目的	この科目は国際教養プログラム対応科目であり、グローバル社会と日本のつながりを歴史的に考えることを目的とする。具体的には 16 世紀の、鉄砲伝来とキリスト教伝来に象徴されるヨーロッパとの出会いを検討する。日本と欧米、両文化のファーストコンタクトを学ぶことは、中国やイスラーム圏も含めたさらに広い世界の認識にもつながる。先行きの見えない現在だからこそ、グローバル化の原点にさかのぼって日本と世界の出会いを理解することが意味をもつ。																																																																		
到達目標	学んだことを、結論・理由・具体例に分けて簡潔に説明できるようにする。																																																																		
授業方法と留意点	暗記は必要ない。教科書も必要ない。こちらでプリントを用意し、参考書は各単元ごとに紹介する。また図や表を多く使って説明する。だから受講生の側でも、以下 3 点のことをしてほしい。①授業前には、プリントにあらかじめ目を通して置くこと。②授業後には、プリントを読み返すこと。③プリントを読む際は、線を引くなり印をつけるなり、必ず手を動かすこと。なぜなら授業は教員と受講生のキャッチボールであり、どちらか一方の努力だけでは内容理解につながらないからである。																																																																		
科目学習の効果（資格）	世界との出会いを知ると同時に、日本についての理解も深まる。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>歴史を学ぶにあたって (1)</td><td>授業のルール、すべては表裏一体、現代中心主義から脱け出す</td><td>必ず出席するよう予定を調整する。</td></tr> <tr> <td>2</td><td>歴史を学ぶにあたって (2)</td><td>成績評価の基準、具体的に書く必要と方法、単純な善悪二元論は捨てよう</td><td>授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>歴史を学ぶにあたって (3)</td><td>論理的に書く必要と方法、学ぶことの意義、「進んだ西洋」は思い込み</td><td>授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>それは 16 世紀に (1)</td><td>グローバル化が本格的に始まった時代</td><td>授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。</td></tr> <tr> <td>5</td><td>それは 16 世紀に (2)</td><td>日本とヨーロッパは似ていた</td><td>授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。</td></tr> <tr> <td>6</td><td>それは 16 世紀に (3)</td><td>接点は戦争と宗教</td><td>授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。</td></tr> <tr> <td>7</td><td>戦争と出会い (1)</td><td>「西洋は進んでいて東洋は遅れている」という思い込み</td><td>同上の課題に加えて「レポートの手引き」を熟読する。</td></tr> <tr> <td>8</td><td>戦争と出会い (2)</td><td>鉄砲に日本史を変えるほどの力はなかった</td><td>同上の課題に加えて「レポートの手引き」を熟読する。</td></tr> <tr> <td>9</td><td>戦争と出会い (3)</td><td>飛び道具を憎んだ西洋騎士、飛び道具を愛した日本武士</td><td>同上の課題に加えて小レポート。</td></tr> <tr> <td>10</td><td>戦争と出会い (4)</td><td>鉄砲の起源は東洋</td><td>最授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。</td></tr> <tr> <td>11</td><td>宗教と出会い (1)</td><td>キリスト教伝来の交流史</td><td>最授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。</td></tr> <tr> <td>12</td><td>宗教と出会い (2)</td><td>ザビエルをアシストした日本人</td><td>最授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。</td></tr> <tr> <td>13</td><td>宗教と出会い (3)</td><td>西洋的教育機関に留学した最初の日本人</td><td>最授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。</td></tr> <tr> <td>14</td><td>宗教と出会い (4)</td><td>ザビエルを日本に運んだのは中国の船</td><td>最授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。</td></tr> <tr> <td>15</td><td>宗教と出会い (5)</td><td>布教は慈善事業やファッションとも結びついていた</td><td>最授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	歴史を学ぶにあたって (1)	授業のルール、すべては表裏一体、現代中心主義から脱け出す	必ず出席するよう予定を調整する。	2	歴史を学ぶにあたって (2)	成績評価の基準、具体的に書く必要と方法、単純な善悪二元論は捨てよう	授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。	3	歴史を学ぶにあたって (3)	論理的に書く必要と方法、学ぶことの意義、「進んだ西洋」は思い込み	授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。	4	それは 16 世紀に (1)	グローバル化が本格的に始まった時代	授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。	5	それは 16 世紀に (2)	日本とヨーロッパは似ていた	授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。	6	それは 16 世紀に (3)	接点は戦争と宗教	授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。	7	戦争と出会い (1)	「西洋は進んでいて東洋は遅れている」という思い込み	同上の課題に加えて「レポートの手引き」を熟読する。	8	戦争と出会い (2)	鉄砲に日本史を変えるほどの力はなかった	同上の課題に加えて「レポートの手引き」を熟読する。	9	戦争と出会い (3)	飛び道具を憎んだ西洋騎士、飛び道具を愛した日本武士	同上の課題に加えて小レポート。	10	戦争と出会い (4)	鉄砲の起源は東洋	最授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。	11	宗教と出会い (1)	キリスト教伝来の交流史	最授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。	12	宗教と出会い (2)	ザビエルをアシストした日本人	最授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。	13	宗教と出会い (3)	西洋的教育機関に留学した最初の日本人	最授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。	14	宗教と出会い (4)	ザビエルを日本に運んだのは中国の船	最授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。	15	宗教と出会い (5)	布教は慈善事業やファッションとも結びついていた	最授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	歴史を学ぶにあたって (1)	授業のルール、すべては表裏一体、現代中心主義から脱け出す	必ず出席するよう予定を調整する。																																																																
2	歴史を学ぶにあたって (2)	成績評価の基準、具体的に書く必要と方法、単純な善悪二元論は捨てよう	授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。																																																																
3	歴史を学ぶにあたって (3)	論理的に書く必要と方法、学ぶことの意義、「進んだ西洋」は思い込み	授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。																																																																
4	それは 16 世紀に (1)	グローバル化が本格的に始まった時代	授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。																																																																
5	それは 16 世紀に (2)	日本とヨーロッパは似ていた	授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。																																																																
6	それは 16 世紀に (3)	接点は戦争と宗教	授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。																																																																
7	戦争と出会い (1)	「西洋は進んでいて東洋は遅れている」という思い込み	同上の課題に加えて「レポートの手引き」を熟読する。																																																																
8	戦争と出会い (2)	鉄砲に日本史を変えるほどの力はなかった	同上の課題に加えて「レポートの手引き」を熟読する。																																																																
9	戦争と出会い (3)	飛び道具を憎んだ西洋騎士、飛び道具を愛した日本武士	同上の課題に加えて小レポート。																																																																
10	戦争と出会い (4)	鉄砲の起源は東洋	最授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。																																																																
11	宗教と出会い (1)	キリスト教伝来の交流史	最授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。																																																																
12	宗教と出会い (2)	ザビエルをアシストした日本人	最授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。																																																																
13	宗教と出会い (3)	西洋的教育機関に留学した最初の日本人	最授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。																																																																
14	宗教と出会い (4)	ザビエルを日本に運んだのは中国の船	最授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。																																																																
15	宗教と出会い (5)	布教は慈善事業やファッションとも結びついていた	最授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。																																																																
関連科目	世界の宗教																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2																																																							
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2																																																							
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
評価方法（基準）	ポイントは以下 3 点。第 1 に暗記は必要ない。テストも論述 1 題で持ち込み可であり、この他にレポートとレスポンス・ペーパーで採点するから。第 2 に消極的姿勢でプラス評価になることはないが、積極的に受講してマイナス評価されることも絶対ない。例えば、出席点はない。しかし誤字や脱字のために減点、ということもない。つまり減点主義ではなく加点主義。また配点は、①テスト (40 点)、②レポート (30 点)、③レスポンスペーパー (30 点+α)。第 3 に 60 点に達するなら、①②③すべてを提出する必要はない。その点では、各自のスタイルに合わせて受講してほしい。																																																																		
学生へのメッセージ	日本と世界の出会いを歴史的に読み解いていくと、「すべては表裏一体」ということに気づきます。実は、このことは授業そのものにも当てはまります。テストにレポート、レスポンス・ペーパーと、3 つの論述課題がありますが、「やることが多い」とのみ考えるのは一面的。裏返せば「単位取得のチャンスが多い」とも言えるからです。またみなさんが「何かを分かっている」かどうかを判定するには、結局「それが何なのかを説明できる」かどうかを見る以外にありません。しかし、このように説明し、伝える力は、文系・理系に関係なく学問研究すべてに欠かせないだけでなく、大学卒業後の長い人生でも、あらゆる場面で必要とされる力です。テスト終了と同時に忘れてしまうような、「暗記科目としての歴史」を教えるつもりはありません。この授業で学ぶのは「具体的・論理的に考える歴史」であり、みなさんには、それを通して「単位以上のもの」を得てほしいと思います。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 2 階（非常勤講師室）																																																																		
備考	コミュニケーションは基本的に毎回授業のレスポンス・ペーパーで行います。緊急の場合は非常勤講師控室（7 号館 2 階）を訪ねてください。																																																																		

科目名	グローバルマーケティング論	科目名（英文）	Global Marketing
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	武居 奈緒子
ディプロマポリシー (DP)	DP2◎		
科目ナンバリング	LDL3202a0		

授業概要・目的	この科目は、国際ビジネスプログラムおよびメディアビジネスプログラムの対象科目である。				
到達目標	マーケティング初心者対象ということで、まずマーケティングの基本的概念を説明した後に、グローバルマーケティングについて説明する。				
授業方法と留意点	講義形式を基本としますが、企業の具体的な事例についても言及します。				
科目学習の効果（資格）					
授業計画		回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
		1	イントロダクション	グローバルマーケティングの全体像を示します。	あらかじめ授業の下調べをしておきましょう。文献や新聞で、グローバル・マーケティングに関連する内容を読みましよう。
		2	マーケティング志向	マーケティングの原点であるマーケティング志向について説明します。	あらかじめ授業の下調べをしておきましょう。文献や新聞で、マーケティング志向に関連する内容を読みましよう。
		3	マーケティングの4P	製品、販売、流通、価格の基本的な知識について説明します。	あらかじめ授業の下調べをしておきましょう。文献や新聞で、マーケティングの4Pに関連する内容を読みましよう。
		4	マーケティングのSTP	セグメンテーションやターゲティングについて説明します。	あらかじめ授業の下調べをしておきましょう。文献や新聞で、マーケティングのSTPに関連する内容を読みましよう。
		5	競争戦略	企業の競争関係について説明します。	あらかじめ授業の下調べをしておきましょう。文献や新聞で、競争戦略に関連する内容を読みましよう。
		6	マーケティングとグローバル化	グローバルな市場創造について説明します。	あらかじめ授業の下調べをしておきましょう。文献や新聞で、マーケティングとグローバル化に関連する内容を読みましよう。
		7	グローバル・マーケティングリサーチ	マーケティングリサーチのプロセスについて、説明します。	あらかじめ授業の下調べをしておきましょう。文献や新聞で、グローバル・マーケティングリサーチに関連する内容を読みましよう。
		8	グローバル市場参入戦略	市場参入戦略について、説明します。	あらかじめ授業の下調べをしておきましょう。文献や新聞で、グローバル市場参入戦略に関連する内容を読みましよう。
		9	グローバル製品戦略	グローバルな製品の基本的な知識について説明します。	あらかじめ授業の下調べをしておきましょう。文献や新聞で、グローバル製品戦略に関連する内容を読みましよう。
		10	グローバル価格戦略	グローバルな価格の基本的な知識について説明します。	あらかじめ授業の下調べをしておきましょう。文献や新聞で、グローバル価格戦略に関連する内容を読みましよう。
		11	グローバル広告戦略	グローバルな販売促進の基本的な知識について説明します。	あらかじめ授業の下調べをしておきましょう。文献や新聞で、グローバル広告戦略に関連する内容を読みましよう。
		12	グローバル・ロジスティクス戦略	グローバルなロジスティクスの基本的な知識について説明します。	あらかじめ授業の下調べをしておきましょう。文献や新聞で、グローバル・ロジスティクスに関連する内容を読みましよう。
		13	グローバルマーケティングの組織	グローバルな組織構築について説明します。	あらかじめ授業の下調べをしておきましょう。文献や新聞で、グローバル・マーケティング組織に関連する内容を読みましよう。
		14	グローバルマーケティングの調整と統制	グローバルに展開する時の調整と統制について説明します。	あらかじめ授業の下調べをしておきましょう。文献や新聞で、グローバル・マーケティングの調整と統制に関連する内容を読みましよう。
		15	まとめ	全体のまとめをします。	あらかじめ授業の下調べをしておきましょう。文献や新聞で、グローバル・マーケティング全般に関連する内容を読みましよう。
関連科目	国際ビジネスプログラム科目、メディアビジネスプログラム科目				
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名	
	1	グローバル・マーケティング	諸上茂登、藤沢武史	中央経済社	
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名	
	1				
評価方法（基準）	期末テストの成績 70%、授業内課題 30%				
学生へのメッセージ	授業で提示される問題・課題に真摯に取り組みましよう。				
担当者の研究室等	11号館8階 武居教授室				
備考	事前・事後学習にかかる総時間数は、60時間です。 授業で提示する問題・課題は、授業内に講評します。				

科目名	芸術と文化	科目名（英文）	Performing Arts and Culture
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	杉山 博昭
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	【祝祭と美術の交点】 西洋における「芸術と文化」もしくは「祝祭と美術」の関係に注目する。中世・ルネサンス期最大の祝祭であるフィレンツェ聖史劇のなかから室内劇を取り上げ、舞台演出とルネサンス絵画の比較をとおして、芸術と文化がいかに交差したのかを検討する。さらに当時、実際に祝祭を見物したり美術を観賞した市井の人びとの眼差しを再構成し、それがかならずしも「知的」で「高貴」な特徴を帯びるわけではなかったことを検討する。15 世紀イタリアの芸術と文化を追体験することは、現代を生きるわたしたちの眼差しや認識が、いかに形成され、どのように更新されているのかを発見する驚きをもたらすだろう。																																																																		
到達目標	以下の 3 点について、自分の言葉で説明できるようになること。 1. 祝祭が呼び起こす振れ幅の大きな感情 2. 祝祭が揺り動かす時間と空間の結び目 3. 祝祭が更新する人びとの生																																																																		
授業方法と留意点	授業は全編スライドをもちいた講義形式で、スライド内の文字情報はハンドアウトとしてあらかじめ共有する。 各回の最初に、10 分ほど前回の質問に対するフィードバックを実施する時間を取り、各回の最後に、10 分ほど質問を入力する時間を取る。																																																																		
科目学習の効果（資格）	西洋文化を通底する精神性の理解〔学芸員資格〕																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>方法#1</td><td>「起点」 図像学と源泉について</td><td>事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。</td></tr> <tr> <td>2</td><td>方法#2</td><td>「伝承」 図像学と記憶について</td><td>事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>方法#3</td><td>「認識」 系譜学と慣習について</td><td>事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>方法#4</td><td>「経験」 系譜学と眼差しについて</td><td>事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。</td></tr> <tr> <td>5</td><td>社会</td><td>「生活」 ルネサンスとフィレンツェについて</td><td>事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。</td></tr> <tr> <td>6</td><td>祝祭</td><td>「制作」 聖史劇と兄弟会について</td><td>事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。</td></tr> <tr> <td>7</td><td>物語</td><td>「受難」 キリストと福音書について</td><td>事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。</td></tr> <tr> <td>8</td><td>道具</td><td>「山」 階段と布地について</td><td>事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。</td></tr> <tr> <td>9</td><td>浮揚</td><td>「救世主」 雲と鉄について</td><td>事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。</td></tr> <tr> <td>10</td><td>飛翔</td><td>「大天使」 翼と滑車について</td><td>事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。</td></tr> <tr> <td>11</td><td>扮装</td><td>「聖母」 信仰と性愛について</td><td>事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。</td></tr> <tr> <td>12</td><td>回転</td><td>「父」 天動説と幾何学について</td><td>事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。</td></tr> <tr> <td>13</td><td>燃焼</td><td>「聖霊」 恩寵と火薬について</td><td>事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。</td></tr> <tr> <td>14</td><td>焼失</td><td>「火災」 力と罰について</td><td>事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。</td></tr> <tr> <td>15</td><td>総括</td><td>「確認」 芸術とイメージについて</td><td>事前：これまでのハンドアウトとノートを整理する（60 分）。 事後：間違えたところを確認する（30 分）。</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	方法#1	「起点」 図像学と源泉について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。	2	方法#2	「伝承」 図像学と記憶について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。	3	方法#3	「認識」 系譜学と慣習について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。	4	方法#4	「経験」 系譜学と眼差しについて	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。	5	社会	「生活」 ルネサンスとフィレンツェについて	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。	6	祝祭	「制作」 聖史劇と兄弟会について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。	7	物語	「受難」 キリストと福音書について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。	8	道具	「山」 階段と布地について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。	9	浮揚	「救世主」 雲と鉄について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。	10	飛翔	「大天使」 翼と滑車について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。	11	扮装	「聖母」 信仰と性愛について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。	12	回転	「父」 天動説と幾何学について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。	13	燃焼	「聖霊」 恩寵と火薬について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。	14	焼失	「火災」 力と罰について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。	15	総括	「確認」 芸術とイメージについて	事前：これまでのハンドアウトとノートを整理する（60 分）。 事後：間違えたところを確認する（30 分）。
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	方法#1	「起点」 図像学と源泉について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。																																																																
2	方法#2	「伝承」 図像学と記憶について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。																																																																
3	方法#3	「認識」 系譜学と慣習について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。																																																																
4	方法#4	「経験」 系譜学と眼差しについて	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。																																																																
5	社会	「生活」 ルネサンスとフィレンツェについて	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。																																																																
6	祝祭	「制作」 聖史劇と兄弟会について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。																																																																
7	物語	「受難」 キリストと福音書について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。																																																																
8	道具	「山」 階段と布地について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。																																																																
9	浮揚	「救世主」 雲と鉄について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。																																																																
10	飛翔	「大天使」 翼と滑車について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。																																																																
11	扮装	「聖母」 信仰と性愛について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。																																																																
12	回転	「父」 天動説と幾何学について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。																																																																
13	燃焼	「聖霊」 恩寵と火薬について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。																																																																
14	焼失	「火災」 力と罰について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。																																																																
15	総括	「確認」 芸術とイメージについて	事前：これまでのハンドアウトとノートを整理する（60 分）。 事後：間違えたところを確認する（30 分）。																																																																
関連科目	暮らしの中の文化／芸術論																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書																																																																			

	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	ルネサンスの聖史劇	杉山博昭	中央公論新社
	2	ヨーロッパのキリスト教美術（上）（下）	エミール・マール	岩波文庫
	3	ルネサンス絵画の社会史	マイケル・バクサンドール	平凡社
評価方法 （基準）	毎回の質問 80%、小テスト 20%			
学生への メッセージ	毎回授業の終わりに質問をひとつ入力してもらおう。その質問の内容で評価をつけていく。評価の基準は「知識の豊富さ」ではなく「自分できちんと考えられるかどうか」である。この基準については、毎回のフィードバックをとおして具体的に認識していくことができるだろう。 体調不良だと考えることも難しくなるので、ぜひ、体調を整えて出席してもらいたい。			
担当者の 研究室等	7 号館 5 階 杉山研究室			
備考	質問に対する応答は「Q&A シート」を作成し、次回の授業にてフィードバックする。			

科目名	芸能文化論	科目名（英文）	Studies in Performing Arts
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	杉山 博昭
ディプロマポリシー (DP)	DP2◎		
科目ナンバリング	LDL2177a0		

授業概要・目的	【祝祭と美術の交点】 西洋における「芸能と文化」もしくは「祝祭と美術」の関係に注目する。中世・ルネサンス期最大の祝祭であるフィレンツェ聖史劇のなかから室内劇を取り上げ、舞台演出とルネサンス絵画の比較をとおり、芸能と文化がいかに交差したのかを検討する。さらに当時、実際に祝祭を見物したり美術を観賞した市井の人びとの眼差しを再構成し、それがかならずしも「知的」で「高貴」な特徴を帯びるわけではなかったことを検討する。15 世紀イタリアの芸能と文化を追体験することは、現代を生きるわたしたちの眼差しや認識が、いかに形成され、どのように更新されているのかを発見する驚きをもたらすだろう。																																																																		
到達目標	以下の 3 点について、自分の言葉で説明できるようになること。 1. 祝祭が呼び起こす振れ幅の大きな感情 2. 祝祭が揺り動かす時間と空間の結び目 3. 祝祭が更新する人びとの生																																																																		
授業方法と留意点	授業は全編スライドをもちいた講義形式で、スライド内の文字情報はハンドアウトとしてあらかじめ共有する。 各回の最初に、10 分ほど前回の質問に対するフィードバックを実施する時間を取り、各回の最後に、10 分ほど質問を入力する時間を取る。																																																																		
科目学習の効果（資格）	西洋文化を通底する精神性の理解〔学芸員資格〕																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>方法#1</td><td>「起点」 図像学と源泉について</td><td>事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。</td></tr> <tr> <td>2</td><td>方法#2</td><td>「伝承」 図像学と記憶について</td><td>事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>方法#3</td><td>「認識」 系譜学と慣習について</td><td>事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>方法#4</td><td>「経験」 系譜学と眼差しについて</td><td>事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。</td></tr> <tr> <td>5</td><td>社会</td><td>「生活」 ルネサンスとフィレンツェについて</td><td>事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。</td></tr> <tr> <td>6</td><td>祝祭</td><td>「制作」 聖史劇と兄弟会について</td><td>事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。</td></tr> <tr> <td>7</td><td>物語</td><td>「受難」 キリストと福音書について</td><td>事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。</td></tr> <tr> <td>8</td><td>道具</td><td>「山」 階段と布地について</td><td>事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。</td></tr> <tr> <td>9</td><td>浮揚</td><td>「救世主」 雲と鉄について</td><td>事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。</td></tr> <tr> <td>10</td><td>飛翔</td><td>「大天使」 翼と滑車について</td><td>事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。</td></tr> <tr> <td>11</td><td>扮装</td><td>「聖母」 信仰と性愛について</td><td>事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。</td></tr> <tr> <td>12</td><td>回転</td><td>「父」 天動説と幾何学について</td><td>事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。</td></tr> <tr> <td>13</td><td>燃焼</td><td>「聖霊」 恩寵と火薬について</td><td>事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。</td></tr> <tr> <td>14</td><td>焼失</td><td>「火災」 力と罰について</td><td>事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。</td></tr> <tr> <td>15</td><td>総括</td><td>「確認」 芸能とイメージについて</td><td>事前：これまでのハンドアウトとノートを整理する（60 分）。 事後：間違えたところを確認する（30 分）。</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	方法#1	「起点」 図像学と源泉について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。	2	方法#2	「伝承」 図像学と記憶について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。	3	方法#3	「認識」 系譜学と慣習について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。	4	方法#4	「経験」 系譜学と眼差しについて	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。	5	社会	「生活」 ルネサンスとフィレンツェについて	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。	6	祝祭	「制作」 聖史劇と兄弟会について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。	7	物語	「受難」 キリストと福音書について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。	8	道具	「山」 階段と布地について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。	9	浮揚	「救世主」 雲と鉄について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。	10	飛翔	「大天使」 翼と滑車について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。	11	扮装	「聖母」 信仰と性愛について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。	12	回転	「父」 天動説と幾何学について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。	13	燃焼	「聖霊」 恩寵と火薬について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。	14	焼失	「火災」 力と罰について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。	15	総括	「確認」 芸能とイメージについて	事前：これまでのハンドアウトとノートを整理する（60 分）。 事後：間違えたところを確認する（30 分）。
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	方法#1	「起点」 図像学と源泉について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。																																																																
2	方法#2	「伝承」 図像学と記憶について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。																																																																
3	方法#3	「認識」 系譜学と慣習について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。																																																																
4	方法#4	「経験」 系譜学と眼差しについて	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。																																																																
5	社会	「生活」 ルネサンスとフィレンツェについて	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。																																																																
6	祝祭	「制作」 聖史劇と兄弟会について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。																																																																
7	物語	「受難」 キリストと福音書について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。																																																																
8	道具	「山」 階段と布地について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。																																																																
9	浮揚	「救世主」 雲と鉄について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。																																																																
10	飛翔	「大天使」 翼と滑車について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。																																																																
11	扮装	「聖母」 信仰と性愛について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。																																																																
12	回転	「父」 天動説と幾何学について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。																																																																
13	燃焼	「聖霊」 恩寵と火薬について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。																																																																
14	焼失	「火災」 力と罰について	事前：教材フォルダからハンドアウトをダウンロードし、絵画作品を検索して確認する（30 分）。 事後：自分の質問に自分で応答を試みる（60 分）。																																																																
15	総括	「確認」 芸能とイメージについて	事前：これまでのハンドアウトとノートを整理する（60 分）。 事後：間違えたところを確認する（30 分）。																																																																
関連科目	暮らしの中の文化／芸術論																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書																																																																			

	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	ルネサンスの聖史劇	杉山博昭	中央公論新社
	2	ヨーロッパのキリスト教美術（上）（下）	エミール・マール	岩波文庫
	3	ルネサンス絵画の社会史	マイケル・バクサンドール	平凡社
評価方法 （基準）	毎回の質問 80%、小テスト 20%			
学生への メッセージ	毎回授業の終わりに質問をひとつ入力してもらおう。その質問の内容で評価をつけていく。評価の基準は「知識の豊富さ」ではなく「自分できちんと考えられるかどうか」である。この基準については、毎回のフィードバックをとおして具体的に認識していくことができるだろう。 体調不良だと考えることも難しくなるので、ぜひ、体調は整えて出席してもらいたい。			
担当者の 研究室等	7 号館 5 階 杉山研究室			
備考	質問に対する応答は「Q&A シート」を作成し、次回の授業にてフィードバックする。			

科目名	言語学	科目名（英文）	Linguistics
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	山口 真佐夫
ディプロマポリシー (DP)	DP1○, DP2△		
科目ナンバリング	LDL1157a0		

授業概要・目的	この授業の目的は「言語」とは何かを理解し、また「言語」に対する知識を深めることにある。より深く言語を理解し、言語の多様性と共通性を理解することは、外国語学習のためにも必要な知識である。
到達目標	「言語学」という学問分野を理解し、外国語学習に役立てることができる。
授業方法と留意点	授業は講義形式で行われるが、受講生ができるだけ参加できるようにする。 必要に応じてプリントを配布する。
科目学習の効果（資格）	言語の多様しくみを深く知ることができる。音声学と合わせて 3・4 年次のゼミや教職関連や大学院進学にも役立つ。また、現在学んでいる主言語、共通言語に対する学習効果の向上も期待できる。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	本授業の目的、授業の進め方等について説明する。	充分時間をかけ、事前にシラバスを読んでくること。
	2	言語と言語学	言語とは何か。どのような役割を持っているのか理解する。また、「言語学」と「言語」についても説明する。	授業内容について充分復習すること。次週の内容について予習をすること。
	3	日本語と外国語	なぜ外国語を学ぶのか。 日本語の中の借用語（語源）	授業内容について充分復習すること。次週の内容について予習をすること。
	4	世界の言語 1	世界にはいくつくらい言語が存在するのか、そして自分たちが学んでいる言語はどのような位置づけにあるのかを理解する。	授業内容について充分復習すること。次週までに各自が学んでいる言語について系統を確認しておくこと。
	5	世界の言語 2（比較言語学）	言語の系統と分類について理解する。	授業内容について充分復習すること。次週の内容について予習をすること。
	6	言語と国、社会とのかかわり（社会言語学）	国語、公用語の社会における言語の役割を考える。（社会言語学）	授業内容について充分復習すること。次週の内容について予習をすること。
	7	言語の構造	言語はどのような構造を持っているのかを理解する。	授業内容について充分復習すること。次週までに各自が学んでいる言語の発音について確認しておくこと。
	8	音素（音韻論）	外国語を学ぶための「発音」とは何かを理解する。様々な言語における音素を理解する。どのような要素がどのような役割を持っているのか学ぶ。	授業内容について充分復習すること。次週の内容について予習をすること。
	9	アクセント、声調、呼吸段落	アクセント、声調、呼吸段落等の役割を説明する。	授業内容について充分復習すること。次週の内容について予習をすること。
	10	文字 1	文字の歴史、系統について、例を挙げ説明する。	授業内容について充分復習すること。次週の内容について予習をすること。
	11	文字 2	世界で現在使われている文字について説明する。	授業内容について充分復習すること。次週の内容について予習をすること。
	12	形態素 1（形態論）	単語はどのように出来上がっているのか。	授業内容について充分復習すること。次週の内容について予習をすること。次週までに各自が学んでいる言語の語形変化について確認しておくこと。
	13	形態素 2（形態論）	単語はどのように変化するのか。	授業内容について充分復習すること。次週の内容について予習をすること。
	14	語彙、単語の意味（意味論）	外国語の意味をどうとらえるか。	授業内容について充分復習すること。次週の内容について予習をすること。
	15	総復習	臨時試験 臨時試験の内容の確認。	これまでに学んだことの総復習をしておくこと。

関連科目	音声学・各言語科目等。
------	-------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法（基準）	平常点と臨時試験によって評価する。 参加度（発言等）40%、臨時試験 60%
----------	---

学生へのメッセージ	この授業は、外国語学部で外国語を学ぶための基礎知識を身につけるための授業です。そして、「言語学」という学問分野についての入門もできます。
-----------	--

担当者の研究室等	7 号館 5 階 山口研究室
----------	----------------

備考	予習・復習は「授業計画」の「事前・事後学習課題」に従い 60 時間以上行うこと。
----	--

科目名	現代学術論	科目名（英文）	Contemporary Scientific Thought
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	有馬 善一
ディプロマポリシー (DP)	DP2◎		
科目ナンバリング	LDL3183a0		

授業概要・目的	現代のさまざまな文化（サブカルチャー）を取り上げて、それがメインカルチャーであるいわゆる「学術」（専門的な学問と芸術）に対してどのようなインパクトを与え、それがどのような仕方現代におけるメインカルチャー自体の変貌へとつながっているのかを明らかにする。
到達目標	サブカルチャーの意義と限界を見極めることで、文化に対する柔軟な批評精神を獲得するとともに、現代日本の文化の発展を俯瞰する歴史的な目を養う。
授業方法と留意点	教科書を用いないノートでの講義が中心となるが、適宜学生による発表の機会を設ける。
科目学習の効果（資格）	資格試験のベースとなる、教養・語彙力・文章読解力・思考力の養成。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	イントロダクション	文化とは何か 文明と文化、文化と教養、文化と未開、高級文化と大衆文化 日本における西洋近代の受容における文明と文化	講義内容の再確認と疑問点の整理
	2	サブカルチャーについて (1)	芸術と遊び（ホイジンガ、カイヨワ） 限界芸術論（鶴見俊輔） 民俗学と民芸運動（柳田國男、柳宗悦）	・キーワードについての事前リサーチ ・講義内容の再確認と疑問点の整理
	3	サブカルチャーについて (2)	大衆文化と労働者の文化 文化産業と消費文化 グローバル化とクリエイティブ産業 日本におけるサブカルチャーの勃興	・キーワードについての事前リサーチ ・講義内容の再確認と疑問点の整理
	4	映画について (1)	写真と映画の誕生と発展 複製文化の時代（ベンヤミン）	・キーワードについての事前リサーチ ・講義内容の再確認と疑問点の整理
	5	映画について (2)	産業としての映画 ハリウッド映画の支配 日本映画の黄金期と凋落	・キーワードについての事前リサーチ ・講義内容の再確認と疑問点の整理
	6	マンガ・アニメについて (1)	漫画の歴史 日本のマンガの誕生と発展	・キーワードについての事前リサーチ ・講義内容の再確認と疑問点の整理
	7	マンガ・アニメについて (2)	日本のマンガの現在 マンガの「表現」とマンガの「見方」	・キーワードについての事前リサーチ ・講義内容の再確認と疑問点の整理
	8	マンガ・アニメについて (3)	ディズニーとアニメ 日本のアニメーションの誕生と発展	・キーワードについての事前リサーチ ・講義内容の再確認と疑問点の整理
	9	メディアとサブカルチャー (1)	テレビと広告 芸能界とテレビ	・キーワードについての事前リサーチ ・講義内容の再確認と疑問点の整理
	10	メディアとサブカルチャー (2)	ネットワーク社会と政治 テレビ・新聞とインターネット ポスト・トゥルースとフェイクニュース	・キーワードについての事前リサーチ ・講義内容の再確認と疑問点の整理
	11	カワイイ革命とオタクの台頭	伝統文化としての「かわいらしさ」 キャラクターイメージの氾濫 「おたく」から「オタク」へ 二次元文化とオタクイメージの氾濫	・キーワードについての事前リサーチ ・講義内容の再確認と疑問点の整理
	12	オカルトとスピリチュアル	錬金術とオカルト 疑似科学の蔓延 カルト宗教の問題	・キーワードについての事前リサーチ ・講義内容の再確認と疑問点の整理
	13	巡礼と観光	江戸時代の巡礼 疑似イベントとしての観光 観光産業と世界遺産	・キーワードについての事前リサーチ ・講義内容の再確認と疑問点の整理
	14	パフォーマンスとしての文化・スポーツ	カラオケ ストリート・ファッションとストリート・ダンス 「する」スポーツ	・キーワードについての事前リサーチ ・講義内容の再確認と疑問点の整理
	15	授業のまとめ		ノートの総整理と講義内容の要点整理

関連科目	文化科目全般。
------	---------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	カルチュラル・スタディーズ入門	上野俊哉、毛利嘉孝	ちくま新書
	2	現代文化論	吉見俊哉	有斐閣アルマ

評価方法（基準）	授業内小レポート、発表（35%）、レポート課題（65%） 受講者の人数によっては、発表を中間テストに換える場合がある。
----------	--

学生へのメッセージ	
-----------	--

担当者の研究室等	7 号館 4 階（有馬研究室）
----------	-----------------

備考	事前・事後学習は、総時間 60 時間を目安とする。 レポートは Moodle を通じて提出してもらい、これにフィードバックをする。
----	--

科目名	現代社会論	科目名（英文）	Modern Society
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	有馬 善一
ディプロマポリシー (DP)	DP2◎		
科目ナンバリング	LDL2180a0		

授業概要・目的	いわゆる日本の高度成長期には「消費は美德」という言葉が流行した。「大量生産／大量消費社会」を賛美したものである。しかし、現在ではこれはもはや死語である。代わって、時代をリードしているのは「Mottainai」（もったいない）であるが、現代社会は本当にエコロジーを主軸に転換することに成功しているだろうか。この講義では、20 世紀の半ば以降、今日に至るまで社会を動かしている経済のシステムを理解した上で、それを変革するための道を探る。
到達目標	資本主義の精神的基盤について理解する。 古典的資本主義の限界と現代資本主義の特徴を理解する。 現代資本主義の限界、特に「外部問題」について理解する。 「成長の限界」において何が問われているのかを理解する。 資本主義に代わる社会のあり方について、自分なりの考えをまとめる。
授業方法と留意点	テキストを用いない「ノート講義」方式。適宜プリントを配布する。
科目学習の効果（資格）	現代社会の根幹をなす資本主義の本質を理解することによって、自分たちが混沌の時代に生きていること、また、これにどう対処すべきかのヒントが得られるはず。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	授業への導入	・現代＝近代の特徴とは何か ・〈熱い〉社会と〈冷たい〉社会（レヴィ＝ストロース） ・資本主義と成長の「神話」	現代社会の特徴と問題点を自分なりに考えてみる。
	2	資本主義社会の成立（1）	・冒険商人と資本家 ・「倫理」としての資本主義（マックス・ウェーバー）	配付資料について自分なりの考えをまとめる。
	3	資本主義社会の成立（2）	・恋愛と贅沢と資本主義（ゾンバルト） ・禁欲的生産と享楽的消費の関係	ウェーバーとゾンバルトの着眼点の違いを整理して、現代の商品開発に当てはめてみる。
	4	古典的資本主義の限界と現代資本主義	・資本主義の帰結としての恐慌と帝国主義 ・現代資本主義の登場（フォードと GM の経営戦略）	『現代社会の理論』の該当箇所を読んでおく。
	5	現代資本主義社会の特徴	・大量生産／大量消費社会 ・情報化／消費化社会におけるゆたかさ	『現代社会の理論』の該当箇所を読んでおく。
	6	産業の文明論的進化と情報化社会	・梅棹忠夫の「情報産業論」 ・情報化と脱工業化 ・情報化と消費化	『情報の文明学』の該当箇所を読んでおく。
	7	情報化と人間社会	・インターネットの発達とコミュニケーションの変質 ・ネット社会の光と影	ネット社会の問題点を自分なりに考えてくる。
	8	大衆社会と消費文化	・社会の大衆化と文化としての消費 ・情報の消費としてのマス・コミュニケーション ・消費と消尽（バタイユ）	社会の大衆化によって形成されてきた消費文化の事例を考えてみる。
	9	現代社会の「外部問題」（1）	・経済システムと物理システム ・資源・エネルギーと環境の経済的「価値」	『現代社会の理論』の該当箇所を読んでおく。
	10	現代社会の「外部問題」（2）	・貨幣の謎とエントロピー ・エコロジー経済学の可能性	エントロピー概念についての資料を理解する。
	11	現代社会の「外部問題」（3）	・社会システムの限界としての「共有地の悲劇」 ・外部問題としての南北問題 ・途上国の人口爆発と先進国の少子高齢化	「共有地の悲劇」について調べてくる。
	12	「成長の限界」をめぐる（1）	・『成長の限界』の予測とそれに対する様々な評価 ・エネルギー・資源の限界と「2050 年問題」	「算術級数的増加」と「幾何級数的増加」の意味について調べてくる。
	13	「成長の限界」をめぐる（2）	・成長神話からの脱却 ・江戸時代における循環型社会 ・循環型社会の構築のための条件	フローとストックについて調べてくる。
	14	グローバル化と自由主義	・グローバル化の様々な局面 ・市場主義と経済的自由 ・リバタリアンとコミュニタリアン	グローバル化の事例について調べてみる。
	15	まとめ	・講義全体のまとめ	これまでの講義ノートをまとめておく。

関連科目				
教科書				
	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	現代社会の理論	見田宗介	岩波新書
	2			
	3			
参考書				
	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	プロテスタンティズムの倫理と資本主義の〈精神〉	M・ウェーバー	岩波文庫
	2	情報の文明学	梅棹忠夫	中公文庫

	3			
評価方法 (基準)	授業内のレポート・平常点 (15%)、授業後のレポート (45%)、中間・期末試験 (40%)			
学生への メッセージ	現代社会を動かす原動力が何であるかを知ることなしには、21 世紀の人類の将来ありません。			
担当者の 研究室等	7 号館 4 階 (有馬研究室)			
備考	事前事後学習に全部で 60 時間程度必要。 レポートは Moodle を通じて提出してもらい、これにフィードバックをする。			

科目名	現代中国論	科目名（英文）	Contemporary China
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	大西 紀
ディプロマポリシー (DP)	DP2◎		
科目ナンバリング	LDL3184a0		

授業概要・目的	今日地球レベルで国際化、情報化、開放化が進んでいる。この流れの中で世界最大の発展途上国の中国も凄まじい発展を遂げながら、さまざまな問題を抱えている。いまの中国のもつ魅力と問題点を歴史的、総合的な視点から明らかにしていくことが本授業の目標である。具体的には現代中国社会に関して、政治、経済、教育、文化、人口問題などを中心に議論をしながら、中国の全体像を正しく捉えてその社会の理解を深めたい。																																																																		
到達目標	現代中国についての自分なりの見方を獲得できる。																																																																		
授業方法と留意点	授業にはプリントを使用し、現代中国に関わる幾つかのトピックについて講義を行う。単方向的な授業となりがちなので、受講生からの質問は随時受け付ける。																																																																		
科目学習の効果（資格）	常識力の向上。就職、面接試験に有効。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>ユニットⅠ 現代中国の概況</td><td>国土、自然、地域区分、人口</td><td>次回用のプリント・地図等配布。学習課題：人口分布の不均衡、地域差</td></tr> <tr> <td>2</td><td>ユニットⅠ 現代中国の概況</td><td>民族、宗教、行政</td><td>学習課題：多民族、与野党、地方自治</td></tr> <tr> <td>3</td><td>ユニットⅠ 現代中国の概況</td><td>インバウンドにみる日本と中国の関係</td><td>学習課題：インバウンドが日本にもたらすものを考察してみる。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>ユニットⅠ 現代中国の概況</td><td>中国経済の今</td><td>学習課題：世界経済における中国の立ち位置を考察してくる。</td></tr> <tr> <td>5</td><td>復習</td><td>☆ 単元テスト 第1回</td><td>学習課題：現代中国についての基本知識を復習しておく。</td></tr> <tr> <td>6</td><td>ユニットⅡ 中国近現代史（1）</td><td>清末から中華民国へ</td><td>学習課題：清末から中華民国への移行過程を復習する。</td></tr> <tr> <td>7</td><td>ユニットⅡ 中国近現代史（2）</td><td>中華民国期の国民党と共産党との関係</td><td>学習課題：国民党と共産党の対立。</td></tr> <tr> <td>8</td><td>ユニットⅡ 中国近現代史（3）</td><td>日中戦争</td><td>学習課題：日中戦争の起きた時代背景を知る。</td></tr> <tr> <td>9</td><td>ユニットⅡ 中国近現代史（4）</td><td>国共内戦と中華人民共和国建国</td><td>学習課題：中華人民共和国の成立過程を考察する。</td></tr> <tr> <td>10</td><td>復習 清末から中華人民共和国まで</td><td>☆ 単元テスト 第2回</td><td>学習課題：中華人民共和国ができる過程を復習する。</td></tr> <tr> <td>11</td><td>ユニットⅡ 中国近現代史（5）</td><td>中華人民共和国建国から朝鮮戦争、1950年代の中国</td><td>学習課題：建国以降の中国の歩みを知る。</td></tr> <tr> <td>12</td><td>ユニットⅡ 中国近現代史（6）</td><td>文化大革命</td><td>学習課題：文化大革命の過程を整理する。</td></tr> <tr> <td>13</td><td>ユニットⅡ 中国近現代史（7）</td><td>文化大革命の終結と改革開放路線</td><td>学習問題：文化大革命以降の中国の歩みを知る。</td></tr> <tr> <td>14</td><td>ユニットⅣ 中国近現代史（8）</td><td>2000年代の中国</td><td>学習課題：2000年代に中国では何が起こって来たか考察する。</td></tr> <tr> <td>15</td><td>復習 中華人民共和国建国以降現在まで</td><td>☆ 単元テスト 第3回</td><td>学習課題：中国近現代の歩みを自分の言葉で話せるようにしておく。</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	ユニットⅠ 現代中国の概況	国土、自然、地域区分、人口	次回用のプリント・地図等配布。学習課題：人口分布の不均衡、地域差	2	ユニットⅠ 現代中国の概況	民族、宗教、行政	学習課題：多民族、与野党、地方自治	3	ユニットⅠ 現代中国の概況	インバウンドにみる日本と中国の関係	学習課題：インバウンドが日本にもたらすものを考察してみる。	4	ユニットⅠ 現代中国の概況	中国経済の今	学習課題：世界経済における中国の立ち位置を考察してくる。	5	復習	☆ 単元テスト 第1回	学習課題：現代中国についての基本知識を復習しておく。	6	ユニットⅡ 中国近現代史（1）	清末から中華民国へ	学習課題：清末から中華民国への移行過程を復習する。	7	ユニットⅡ 中国近現代史（2）	中華民国期の国民党と共産党との関係	学習課題：国民党と共産党の対立。	8	ユニットⅡ 中国近現代史（3）	日中戦争	学習課題：日中戦争の起きた時代背景を知る。	9	ユニットⅡ 中国近現代史（4）	国共内戦と中華人民共和国建国	学習課題：中華人民共和国の成立過程を考察する。	10	復習 清末から中華人民共和国まで	☆ 単元テスト 第2回	学習課題：中華人民共和国ができる過程を復習する。	11	ユニットⅡ 中国近現代史（5）	中華人民共和国建国から朝鮮戦争、1950年代の中国	学習課題：建国以降の中国の歩みを知る。	12	ユニットⅡ 中国近現代史（6）	文化大革命	学習課題：文化大革命の過程を整理する。	13	ユニットⅡ 中国近現代史（7）	文化大革命の終結と改革開放路線	学習問題：文化大革命以降の中国の歩みを知る。	14	ユニットⅣ 中国近現代史（8）	2000年代の中国	学習課題：2000年代に中国では何が起こって来たか考察する。	15	復習 中華人民共和国建国以降現在まで	☆ 単元テスト 第3回	学習課題：中国近現代の歩みを自分の言葉で話せるようにしておく。
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	ユニットⅠ 現代中国の概況	国土、自然、地域区分、人口	次回用のプリント・地図等配布。学習課題：人口分布の不均衡、地域差																																																																
2	ユニットⅠ 現代中国の概況	民族、宗教、行政	学習課題：多民族、与野党、地方自治																																																																
3	ユニットⅠ 現代中国の概況	インバウンドにみる日本と中国の関係	学習課題：インバウンドが日本にもたらすものを考察してみる。																																																																
4	ユニットⅠ 現代中国の概況	中国経済の今	学習課題：世界経済における中国の立ち位置を考察してくる。																																																																
5	復習	☆ 単元テスト 第1回	学習課題：現代中国についての基本知識を復習しておく。																																																																
6	ユニットⅡ 中国近現代史（1）	清末から中華民国へ	学習課題：清末から中華民国への移行過程を復習する。																																																																
7	ユニットⅡ 中国近現代史（2）	中華民国期の国民党と共産党との関係	学習課題：国民党と共産党の対立。																																																																
8	ユニットⅡ 中国近現代史（3）	日中戦争	学習課題：日中戦争の起きた時代背景を知る。																																																																
9	ユニットⅡ 中国近現代史（4）	国共内戦と中華人民共和国建国	学習課題：中華人民共和国の成立過程を考察する。																																																																
10	復習 清末から中華人民共和国まで	☆ 単元テスト 第2回	学習課題：中華人民共和国ができる過程を復習する。																																																																
11	ユニットⅡ 中国近現代史（5）	中華人民共和国建国から朝鮮戦争、1950年代の中国	学習課題：建国以降の中国の歩みを知る。																																																																
12	ユニットⅡ 中国近現代史（6）	文化大革命	学習課題：文化大革命の過程を整理する。																																																																
13	ユニットⅡ 中国近現代史（7）	文化大革命の終結と改革開放路線	学習問題：文化大革命以降の中国の歩みを知る。																																																																
14	ユニットⅣ 中国近現代史（8）	2000年代の中国	学習課題：2000年代に中国では何が起こって来たか考察する。																																																																
15	復習 中華人民共和国建国以降現在まで	☆ 単元テスト 第3回	学習課題：中国近現代の歩みを自分の言葉で話せるようにしておく。																																																																
関連科目																																																																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	定期試験は実施しない。 授業期間中随時行う復習チェックテスト、レポート（授業最後の時間を利用）、授業に臨む積極性等により総合的に評価する。 評価基準 チェックテスト 60% レポート、課題 平常評価 40%																																																																		
学生へのメッセージ	授業中の私語は他の受講生の迷惑となるので慎んでほしい。随時チェックテストを行い知識の定着を図るので、授業後も復習を心がけること。事前・事後に各 60 分の学修を要する。 チェックテストの平均点が六割に満たない者、出席率が三分の二を越えないものは、如何なる理由があれ、単位は認定できません。履修の際はこの点をふまえて慎重に履修するようにしてください。 新聞を読むことを勧める。特に現代中国にかかわる記事には注目すること。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 2 階非常勤講師控室																																																																		
備考	授業外で連絡の必要場合は水曜昼休みに講師控室までお越しください。 課題やテストに対する評価は次回の授業に書面または口頭でフィードバックする。																																																																		

科目名	語学教育学	科目名（英文）	Technology in Language Teaching
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	後藤 一章
ディプロマポリシー (DP)	DP1○, DP2△		
科目ナンバリング	LDL3215a0		

授業概要・目的	語学教育を行う上で有用となる ICT スキルの養成を目指す。 また、グループ課題を通して、協調性やコミュニケーション力を身につける。 なお、この科目は「外国語専門職プログラム」対応科目である。																																																																		
到達目標	自分の関心のあるテーマについて ICT スキルを用いて取り組み、 その成果を効果的に発表することができるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	グループでデジタル教材などの作成を目指す。 様々なコンピュータ操作が必須となるため、ファイルやフォルダ、拡張子などの概念は最低限理解しておいてほしい。																																																																		
科目学習の効果（資格）	IT パスポート試験																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>オリエンテーション</td><td>授業の詳細と評価方法の具体的な説明。</td><td>授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）</td></tr> <tr> <td>2</td><td>デジタル教材の現状</td><td>デジタル教材の種類やその利用方法について理解する。</td><td>授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）</td></tr> <tr> <td>3</td><td>デジタル教材作成のための ICT 技術</td><td>画像、音声、動画ファイルの構造について理解する。</td><td>授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）</td></tr> <tr> <td>4</td><td>デジタル教材作成のための ICT 技術</td><td>画像、音声、動画ファイルの編集方法について理解する。</td><td>授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）</td></tr> <tr> <td>5</td><td>文書作成（1） 課題作成</td><td>教育現場で利用可能な文書作成ソフトの利用方法について学ぶ。</td><td>授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）</td></tr> <tr> <td>6</td><td>文書作成（2） 課題作成</td><td>教育現場で利用可能な文書作成ソフトの利用方法について学ぶ。</td><td>授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）</td></tr> <tr> <td>7</td><td>文書作成（3） 課題作成</td><td>教育現場で利用可能な文書作成ソフトの利用方法について学ぶ。</td><td>授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）</td></tr> <tr> <td>8</td><td>表計算（1） 課題作成</td><td>教育現場で利用可能な表計算ソフトの利用方法について学ぶ。</td><td>授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）</td></tr> <tr> <td>9</td><td>表計算（2） 課題作成</td><td>教育現場で利用可能な表計算ソフトの利用方法について学ぶ。</td><td>授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）</td></tr> <tr> <td>10</td><td>表計算（3） 課題作成</td><td>教育現場で利用可能な表計算ソフトの利用方法について学ぶ。</td><td>授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）</td></tr> <tr> <td>11</td><td>プログラミング実習（1） 課題作成</td><td>教育現場で利用可能な簡単なプログラミング言語について学ぶ。</td><td>授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）</td></tr> <tr> <td>12</td><td>プログラミング実習（2） 課題作成</td><td>教育現場で利用可能な簡単なプログラミング言語について学ぶ。</td><td>授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）</td></tr> <tr> <td>13</td><td>プレゼンテーション作成（1） 課題作成</td><td>教育現場で利用可能なプレゼンテーションソフトの利用方法について学ぶ。</td><td>授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）</td></tr> <tr> <td>14</td><td>プレゼンテーション作成（2） 課題作成</td><td>教育現場で利用可能なプレゼンテーションソフトの利用方法について学ぶ。</td><td>授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）</td></tr> <tr> <td>15</td><td>授業の総括 プレゼンテーション</td><td>授業で学んだ内容の復習と、作成した課題の発表・評価を行う</td><td>授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション	授業の詳細と評価方法の具体的な説明。	授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）	2	デジタル教材の現状	デジタル教材の種類やその利用方法について理解する。	授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）	3	デジタル教材作成のための ICT 技術	画像、音声、動画ファイルの構造について理解する。	授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）	4	デジタル教材作成のための ICT 技術	画像、音声、動画ファイルの編集方法について理解する。	授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）	5	文書作成（1） 課題作成	教育現場で利用可能な文書作成ソフトの利用方法について学ぶ。	授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）	6	文書作成（2） 課題作成	教育現場で利用可能な文書作成ソフトの利用方法について学ぶ。	授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）	7	文書作成（3） 課題作成	教育現場で利用可能な文書作成ソフトの利用方法について学ぶ。	授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）	8	表計算（1） 課題作成	教育現場で利用可能な表計算ソフトの利用方法について学ぶ。	授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）	9	表計算（2） 課題作成	教育現場で利用可能な表計算ソフトの利用方法について学ぶ。	授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）	10	表計算（3） 課題作成	教育現場で利用可能な表計算ソフトの利用方法について学ぶ。	授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）	11	プログラミング実習（1） 課題作成	教育現場で利用可能な簡単なプログラミング言語について学ぶ。	授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）	12	プログラミング実習（2） 課題作成	教育現場で利用可能な簡単なプログラミング言語について学ぶ。	授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）	13	プレゼンテーション作成（1） 課題作成	教育現場で利用可能なプレゼンテーションソフトの利用方法について学ぶ。	授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）	14	プレゼンテーション作成（2） 課題作成	教育現場で利用可能なプレゼンテーションソフトの利用方法について学ぶ。	授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）	15	授業の総括 プレゼンテーション	授業で学んだ内容の復習と、作成した課題の発表・評価を行う	授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション	授業の詳細と評価方法の具体的な説明。	授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）																																																																
2	デジタル教材の現状	デジタル教材の種類やその利用方法について理解する。	授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）																																																																
3	デジタル教材作成のための ICT 技術	画像、音声、動画ファイルの構造について理解する。	授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）																																																																
4	デジタル教材作成のための ICT 技術	画像、音声、動画ファイルの編集方法について理解する。	授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）																																																																
5	文書作成（1） 課題作成	教育現場で利用可能な文書作成ソフトの利用方法について学ぶ。	授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）																																																																
6	文書作成（2） 課題作成	教育現場で利用可能な文書作成ソフトの利用方法について学ぶ。	授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）																																																																
7	文書作成（3） 課題作成	教育現場で利用可能な文書作成ソフトの利用方法について学ぶ。	授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）																																																																
8	表計算（1） 課題作成	教育現場で利用可能な表計算ソフトの利用方法について学ぶ。	授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）																																																																
9	表計算（2） 課題作成	教育現場で利用可能な表計算ソフトの利用方法について学ぶ。	授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）																																																																
10	表計算（3） 課題作成	教育現場で利用可能な表計算ソフトの利用方法について学ぶ。	授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）																																																																
11	プログラミング実習（1） 課題作成	教育現場で利用可能な簡単なプログラミング言語について学ぶ。	授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）																																																																
12	プログラミング実習（2） 課題作成	教育現場で利用可能な簡単なプログラミング言語について学ぶ。	授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）																																																																
13	プレゼンテーション作成（1） 課題作成	教育現場で利用可能なプレゼンテーションソフトの利用方法について学ぶ。	授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）																																																																
14	プレゼンテーション作成（2） 課題作成	教育現場で利用可能なプレゼンテーションソフトの利用方法について学ぶ。	授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）																																																																
15	授業の総括 プレゼンテーション	授業で学んだ内容の復習と、作成した課題の発表・評価を行う	授業内で指示された演習課題に取り組む（1 時間）																																																																
関連科目	外国語専門職プログラム対応科目など																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	授業への積極性・貢献度 30% 課題の達成度 50% ICT スキルの習熟度 20%																																																																		
学生へのメッセージ	受身の姿勢で受講するのではなく、語学教育にこのように ICT を活用してはどうか、という皆さんからの積極的な提案を期待しています。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 5 階（後藤研究室）																																																																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 60 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。																																																																		

科目名	国際関係の基礎理解	科目名（英文）	Introduction to International Relations
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	田中 悟
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	この科目は、パッケージプログラム（国際貢献および国際教養）の対応科目である。 本講義は、国際政治経済学の基礎的な概念や議論に触れるとともに、グローバル化した現代世界における経済（市場主義）と政治（国民国家）との間の相互作用に注目するものである。				
到達目標	国際政治経済学の基礎的な概念や議論に親しむことで、それらの観点から「現代社会の国際関係」に関する諸議論の意味するところを理解した上で、自らの思考を組み立てることができるようになること。 本講義を、自らが暮らす現代社会の諸問題を政治や経済の視点から受講者自身が考えていくための一つのきっかけ、手がかりとすることが目指される。				
授業方法と留意点	原則として講義形式をとり、教科書の内容に即したレジュメを配布する。 教科書の章立てに沿って各回1章完結方式で進めていく予定であるが、進行状況等によって多少の調整がありうる。				
科目学習の効果（資格）	現代社会をめぐる社会科学的な議論についての基礎的な理解力				
授業計画		回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
		1	オリエンテーション	序章 「経済」の論理と「政治」の論理	テキストについて指示するので、次回講義までに入手しておくこと
		2	国際政治経済学の理論的枠組み	第1章 国際政治経済の見方	〔事前学習〕テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60分） 〔事後学習〕配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60分）
		3	国際経済体制の歴史（1）	第2章 力の構造と国際経済体制 ブレトンウッズ体制の成立までの経緯を概観する。	〔事前学習〕テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60分） 〔事後学習〕配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60分）
		4	国際経済体制の歴史（2）	第3章 冷戦とブレトンウッズ体制 冷戦期におけるブレトンウッズ体制の変容について概観する。	〔事前学習〕テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60分） 〔事後学習〕配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60分）
		5	国際政治経済体制の動態（1）	第4章 安全保障と経済 「経済安全保障」とは何か。	〔事前学習〕テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60分） 〔事後学習〕配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60分）
		6	国際政治経済体制の動態（2）	第5章 保護貿易をめぐる政治と経済 保護貿易と自由貿易との関係について考えていく。	〔事前学習〕テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60分） 〔事後学習〕配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60分）
		7	国際政治経済体制の動態（3）	第6章 金融グローバル化の構図 金融のグローバル化は、ブレトンウッズ体制崩壊後の世界に何をもたらしたか。市場と国家との関係に注目しつつ考えていく。	〔事前学習〕テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60分） 〔事後学習〕配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60分）
		8	国際政治経済体制の動態（4）	第7章 科学技術と現代国際関係 テクノロジーの発展と政治・経済との関係について考える。	〔事前学習〕テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60分） 〔事後学習〕配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60分）
		9	国際政治経済体制の動態（5）	第8章 移民をめぐる政治と経済 グローバル化するヒトの移動は、国家に何をもたらすのか。	〔事前学習〕テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60分） 〔事後学習〕配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60分）
		10	国際政治経済体制の動態（6）	第9章 経済発展と人権・民主化 経済発展と政治体制との関係について、人権保障や民主化・人間の安全保障といった観点から考える。	〔事前学習〕テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60分） 〔事後学習〕配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60分）
		11	国際政治経済体制の動態（7）	第10章 地球環境をめぐる政治経済 国際政治の争点としての地球環境問題は、何故に困難な問題であるのか。	〔事前学習〕テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60分） 〔事後学習〕配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60分）
		12	国際政治経済秩序の模索（1）	第11章 グローバルレベルの国際秩序の模索 通貨金融秩序・貿易秩序をめぐる新しい国際政治経済秩序の模索について論じる。	〔事前学習〕テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60分） 〔事後学習〕配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60分）
		13	国際政治経済秩序の模索（2）	第12章 リージョナルレベルの国際秩序の模索 地域統合・地域協力のための枠組みについて、具体的なケースを通じて概観する。	〔事前学習〕テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60分） 〔事後学習〕配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60分）
		14	国際政治経済秩序の模索（3）	第13章 ナショナルレベルからの国際秩序の模索 貿易問題を通して、国際秩序をめぐる国家の役割について考える。	〔事前学習〕テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60分） 〔事後学習〕配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60分）
		15	まとめと補遺	終章 国際政治経済学の未来像 「グローバル」と、それに対する「ローカル」「ナショナル」「反グローバル」と	〔事前学習〕テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60分） 〔事後学習〕配布レジュメを参照しながら、テキス

			の関係について、私たちは今度どのように考え、何を指すべきか。	トを読み返しておくこと（目安時間：60分）
関連科目	パッケージプログラム（国際貢献および国際教養）の各科目			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	国際政治経済学・入門 第3版	野林健ほか	有斐閣
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 （基準）	■定期試験 100%			
学生への メッセージ	教科書は定期試験でも使用する。受講者は必ず購入すること。			
担当者の 研究室等	7号館4階 田中研究室			
備考	授業のスケジュールについては、出席者の状況に応じて調整される可能性があります。 なお、本授業に関するフィードバックは、必要に応じて授業内で行なうこととします。 この科目は外国語学部パッケージプログラム（国際貢献および国際教養）の対応科目ですが、他のプログラムや英語プロフェッショナルコースの学生も受講可能です。			

科目名	国際関係論	科目名（英文）	International Relations
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	田中 悟
ディプロマポリシー (DP)	DP2◎		
科目ナンバリング	LDL2206a0		

授業概要・目的	この科目は、パッケージプログラム（国際貢献および国際教養）の対応科目である。本講義は、国際政治経済学の基礎的な概念や議論に触れるとともに、グローバル化した現代世界における経済（市場主義）と政治（国民国家）との間の相互作用に注目するものである。
到達目標	国際政治経済学の基礎的な概念や議論に親しむことで、それらの観点から「現代社会の国際関係」に関する諸議論の意味するところを理解した上で、自らの思考を組み立てることができるようになること。 本講義を、自らが暮らす現代社会の諸問題を政治や経済の視点から受講者自身が考えていくための一つのきっかけ、手がかりとすることが目指される。
授業方法と留意点	原則として講義形式をとり、教科書の内容に即したレジュメを配布する。 教科書の章立てに沿って各回1章完結方式で進めていく予定であるが、進行状況等によって多少の調整がありうる。
科目学習の効果（資格）	現代社会をめぐる社会科学的な議論についての基礎的な理解力

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	序章 「経済」の論理と「政治」の論理	テキストについて指示するので、次回講義までに入手しておくこと
	2	国際政治経済学の理論的枠組み	第1章 国際政治経済の見方	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60分） 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60分）
	3	国際経済体制の歴史（1）	第2章 力の構造と国際経済体制 ブレトンウッズ体制の成立までの経緯を概観する。	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60分） 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60分）
	4	国際経済体制の歴史（2）	第3章 冷戦とブレトンウッズ体制 冷戦期におけるブレトンウッズ体制の変容について概観する。	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60分） 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60分）
	5	国際政治経済体制の動態（1）	第4章 安全保障と経済 「経済安全保障」とは何か。	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60分） 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60分）
	6	国際政治経済体制の動態（2）	第5章 保護貿易をめぐる政治と経済 保護貿易と自由貿易との関係について考えていく。	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60分） 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60分）
	7	国際政治経済体制の動態（3）	第6章 金融グローバル化の構図 金融のグローバル化は、ブレトンウッズ体制崩壊後の世界に何をもたらしたか。市場と国家との関係に注目しつつ考えていく。	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60分） 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60分）
	8	国際政治経済体制の動態（4）	第7章 科学技術と現代国際関係 テクノロジーの発展と政治・経済との関係について考える。	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60分） 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60分）
	9	国際政治経済体制の動態（5）	第8章 移民をめぐる政治と経済 グローバル化するヒトの移動は、国家に何をもたらすのか。	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60分） 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60分）
	10	国際政治経済体制の動態（6）	第9章 経済発展と人権・民主化 経済発展と政治体制との関係について、人権保障や民主化・人間の安全保障といった観点から考える。	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60分） 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60分）
	11	国際政治経済体制の動態（7）	第10章 地球環境をめぐる政治経済 国際政治の争点としての地球環境問題は、何故に困難な問題であるのか。	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60分） 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60分）
	12	国際政治経済秩序の模索（1）	第11章 グローバルレベルの国際秩序の模索 通貨金融秩序・貿易秩序をめぐる新しい国際政治経済秩序の模索について論じる。	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60分） 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60分）
	13	国際政治経済秩序の模索（2）	第12章 リージョナルレベルの国際秩序の模索 地域統合・地域協力のための枠組みについて、具体的なケースを通じて概観する。	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60分） 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60分）
	14	国際政治経済秩序の模索（3）	第13章 ナショナルレベルからの国際秩序の模索 貿易問題を通して、国際秩序をめぐる国家の役割について考える。	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60分） 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60分）
	15	まとめと補遺	終章 国際政治経済学の未来像 「グローバル」と、それに対する「ローカル」「ナショナル」「反グローバル」と	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60分） 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキス

			の関係について、私たちは今度どのような考え、何を指すべきか。	トを読み返しておくこと（目安時間：60分）
関連科目	パッケージプログラム（国際貢献および国際教養）の各科目			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	国際政治経済学・入門 第3版	野林健ほか	有斐閣
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 （基準）	■定期試験 100%			
学生への メッセージ	教科書は定期試験でも使用する。受講者は必ず購入すること。			
担当者の 研究室等	7号館4階 田中研究室			
備考	授業のスケジュールについては、出席者の状況に応じて調整される可能性があります。 なお、本授業に関するフィードバックは、必要に応じて授業内で行なうこととします。 この科目は外国語学部パッケージプログラム（国際貢献および国際教養）の対応科目ですが、他のプログラムや英語プロフェッショナルコースの学生も受講可能です。			

科目名	国際機構論	科目名（英文）	International Organizations
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	浅野 英一
ディプロマポリシー (DP)	DP2◎		
科目ナンバリング	LDL3209a0		

授業概要・目的	国連機関は一体どんな働きをしているのだろうか。この講義は、国際機関の基礎的知識を学ぶことを目的としている。																																																																		
到達目標	この科目は「国際貢献」プログラム対応科目です。																																																																		
授業方法と留意点	国際機構との関わりにおいて、過去の歴史から見た国際関係と現在について原理・概念がもつ重要性や課題を理解する。																																																																		
科目学習の効果（資格）	各講義は、起承転結で構成する。起：テーマのイントロダクション、承：デオ・スライドを多用してビジュアルに国際機関の現状を知る、転：テーマ内容を深く掘り下げる、結：まとめ。各講義の最後 20～30 分間は、質疑応答の時間とする。																																																																		
事前・事後学習は総時間 60 時間を目安とする。																																																																			
科目学習の効果（資格）	国際機関で働くために知っておくべき基礎的な教養																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>イントロダクションと授業内容概要</td><td>国際機構論ではどんなことを、どのように学ぶのか</td><td>_____</td></tr> <tr> <td>2</td><td>国際機構とは何か</td><td>国際機構の働きについて</td><td>前回の復習と、次回への展開</td></tr> <tr> <td>3</td><td>日本と国際機構との関係</td><td>日本が行ってきた国際機構との協力関係について</td><td>前回の復習と、次回への展開</td></tr> <tr> <td>4</td><td>国際機関で働くには</td><td>国際機関でグローバルに生きる方法</td><td>前回の復習と、次回への展開</td></tr> <tr> <td>5</td><td>国際援助</td><td>国際機構が行う国際援助について</td><td>前回の復習と、次回への展開</td></tr> <tr> <td>6</td><td>国際法</td><td>国際機関と国際法との関係</td><td>前回の復習と、次回への展開</td></tr> <tr> <td>7</td><td>地域紛争</td><td>国際機関と地域紛争や危機管理との関係について</td><td>前回の復習と、次回への展開</td></tr> <tr> <td>8</td><td>核の不拡散と輸出管理</td><td>大量破壊兵器と国際機関との関係について</td><td>前回の復習と、次回への展開</td></tr> <tr> <td>9</td><td>テロリズム</td><td>9・11 事件以降のテロリズム対策について</td><td>前回の復習と、次回への展開</td></tr> <tr> <td>10</td><td>国際難民</td><td>国際的に拡大する難民問題と国際機構との関係について</td><td>前回の復習と、次回への展開</td></tr> <tr> <td>11</td><td>人・物・金</td><td>国際協力にまつわるキーワード</td><td>前回の復習と、次回への展開</td></tr> <tr> <td>12</td><td>貧困問題</td><td>開発途上国が持つ大きな問題が、貧困でありこの問題に国際機構がどう対応するかについて</td><td>前回の復習と、次回への展開</td></tr> <tr> <td>13</td><td>持続可能な発展</td><td>「持続可能な発展」とは何か、どうして必要なのかを紐解く</td><td>前回の復習と、次回への展開</td></tr> <tr> <td>14</td><td>国際機構の課題</td><td>今後、国際機構はどうあるべきかを考える</td><td>前回の復習と、次回への展開</td></tr> <tr> <td>15</td><td>記述式総括確認（必ず出席すること）</td><td>これまでに学んできたことについて記述式の総合的判断を行う</td><td>_____</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	イントロダクションと授業内容概要	国際機構論ではどんなことを、どのように学ぶのか	_____	2	国際機構とは何か	国際機構の働きについて	前回の復習と、次回への展開	3	日本と国際機構との関係	日本が行ってきた国際機構との協力関係について	前回の復習と、次回への展開	4	国際機関で働くには	国際機関でグローバルに生きる方法	前回の復習と、次回への展開	5	国際援助	国際機構が行う国際援助について	前回の復習と、次回への展開	6	国際法	国際機関と国際法との関係	前回の復習と、次回への展開	7	地域紛争	国際機関と地域紛争や危機管理との関係について	前回の復習と、次回への展開	8	核の不拡散と輸出管理	大量破壊兵器と国際機関との関係について	前回の復習と、次回への展開	9	テロリズム	9・11 事件以降のテロリズム対策について	前回の復習と、次回への展開	10	国際難民	国際的に拡大する難民問題と国際機構との関係について	前回の復習と、次回への展開	11	人・物・金	国際協力にまつわるキーワード	前回の復習と、次回への展開	12	貧困問題	開発途上国が持つ大きな問題が、貧困でありこの問題に国際機構がどう対応するかについて	前回の復習と、次回への展開	13	持続可能な発展	「持続可能な発展」とは何か、どうして必要なのかを紐解く	前回の復習と、次回への展開	14	国際機構の課題	今後、国際機構はどうあるべきかを考える	前回の復習と、次回への展開	15	記述式総括確認（必ず出席すること）	これまでに学んできたことについて記述式の総合的判断を行う	_____
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	イントロダクションと授業内容概要	国際機構論ではどんなことを、どのように学ぶのか	_____																																																																
2	国際機構とは何か	国際機構の働きについて	前回の復習と、次回への展開																																																																
3	日本と国際機構との関係	日本が行ってきた国際機構との協力関係について	前回の復習と、次回への展開																																																																
4	国際機関で働くには	国際機関でグローバルに生きる方法	前回の復習と、次回への展開																																																																
5	国際援助	国際機構が行う国際援助について	前回の復習と、次回への展開																																																																
6	国際法	国際機関と国際法との関係	前回の復習と、次回への展開																																																																
7	地域紛争	国際機関と地域紛争や危機管理との関係について	前回の復習と、次回への展開																																																																
8	核の不拡散と輸出管理	大量破壊兵器と国際機関との関係について	前回の復習と、次回への展開																																																																
9	テロリズム	9・11 事件以降のテロリズム対策について	前回の復習と、次回への展開																																																																
10	国際難民	国際的に拡大する難民問題と国際機構との関係について	前回の復習と、次回への展開																																																																
11	人・物・金	国際協力にまつわるキーワード	前回の復習と、次回への展開																																																																
12	貧困問題	開発途上国が持つ大きな問題が、貧困でありこの問題に国際機構がどう対応するかについて	前回の復習と、次回への展開																																																																
13	持続可能な発展	「持続可能な発展」とは何か、どうして必要なのかを紐解く	前回の復習と、次回への展開																																																																
14	国際機構の課題	今後、国際機構はどうあるべきかを考える	前回の復習と、次回への展開																																																																
15	記述式総括確認（必ず出席すること）	これまでに学んできたことについて記述式の総合的判断を行う	_____																																																																
関連科目																																																																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	記述式小テストや記述式小レポートを合わせて (100%) 評価する。																																																																		
学生へのメッセージ	国際協力機関・国際ボランティア・青年海外協力隊など、将来この方面に進みたい学生には入門講座的として役割を果たします。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 5 階(浅野研究室)																																																																		
備考	この授業の担当教員は、国際協力機構 (JICA) の国際協力専門家として、アフリカ・ケニアにおいて 10 年間の勤務経験があり、摂南大学の現役学生を 33 名、JICA ボランティア (青年海外協力隊) に合格させた実績がある。現役学生の合格者数は、日本国内の大学でトップクラスとなっている。																																																																		

科目名	国際協力論	科目名（英文）	International Cooperation
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	浅野 英一
ディプロマポリシー (DP)	DP2◎		
科目ナンバリング	LDL2205a0		

授業概要・目的	国際協力は、開発途上国に対する援助供与という観点で捉えられがちだが、開発途上国、開発援助国を問わず、互いが抱える問題にパートナーとして協力していくことが国際協力の本来のあり方である。本講座では国際協力や国際援助の歴史、意義、効果と限界、南北問題、日本外交と対外援助、日本のODAやNGOの現状と課題について、開発援助国と開発途上国との間で起こった事実を踏まえて学ぶ。																																																																		
	この科目は「国際貢献」プログラム対応科目です。																																																																		
到達目標	国際協力の必要性・重要性、開発途上国の実情・現状や課題について理解を深め、国際協力のありかたについて自らの考えを持つ。																																																																		
授業方法と留意点	ビデオ・スライドを多様してビジュアルに国際協力の現状を知る。各講義の最後 15～20 分間は、質疑応答の時間とする。 事前・事後学習は総時間 60 時間を目安とする。																																																																		
科目学習の効果（資格）	将来的に、国際分野に進むために学んでおかなければならない国際協力の基礎																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>イントロダクションと授業内容概要</td><td>国際協力論ではどんなことを、どのように学ぶのか</td><td>—————</td></tr> <tr> <td>2</td><td>国際協力とは何か</td><td>国際協力の意味</td><td>国際協力がなぜ必要なのかを考える</td></tr> <tr> <td>3</td><td>日本の国際協力</td><td>日本が行ってきた国際協力について</td><td>国際協力の意味とな何だったのか、これからどうなるのかを考える</td></tr> <tr> <td>4</td><td>非政府組織（NGO）</td><td>NGO の得意な分野と苦手な分野</td><td>民間でできる国際協力はあるのかを探る</td></tr> <tr> <td>5</td><td>草の根組織・地方自治体</td><td>普通の人が出来た国際協力</td><td>様々な民間団体が補助金を利用していることを調べる</td></tr> <tr> <td>6</td><td>国際連合</td><td>様々な組織とその役割</td><td>国際機関の活動について調べる</td></tr> <tr> <td>7</td><td>国際協力を受ける国々（1）</td><td>開発途上国（アジア）について（過去・現在・将来）</td><td>世界でアジア地域の問題とは何かを考える</td></tr> <tr> <td>8</td><td>国際協力を受ける国々（2）</td><td>開発途上国（アフリカ）について（過去・現在・将来）</td><td>世界でアフリカ地域の問題とは何かを考える</td></tr> <tr> <td>9</td><td>国際協力を受ける国々（3）</td><td>開発途上国（アジア・アフリカ以外の国）について（過去・現在・将来）</td><td>アジア・アフリカ以外での問題は、何かを考える</td></tr> <tr> <td>10</td><td>国際協力の仕組み</td><td>国際協力の仕組みを説明する</td><td>誰が・誰に・何を・どうするのか理解する</td></tr> <tr> <td>11</td><td>人・物・金</td><td>国際協力にまつわるキーワード</td><td>先進国にあって、開発途上国にないものを考察する</td></tr> <tr> <td>12</td><td>国際協力の課題</td><td>主要援助国が抱える国際協力問題について</td><td>いつの時代にも貧困が根本にあることを理解する</td></tr> <tr> <td>13</td><td>開発教育</td><td>開発教育とはなにか、どうして必要なのかを紐解く</td><td>貧困を解く鍵は「教育」であることを理解する</td></tr> <tr> <td>14</td><td>国際協力の課題</td><td>今後、国際協力はどうあるべきかを考える</td><td>人類が将来的に向き合わなければならないこととは何かを考える</td></tr> <tr> <td>15</td><td>総括的確認（必ず出席すること）</td><td>これまでに学んできたことについて総合的判断を行う</td><td>世界中の人々が平等に平和に過ごすための条件を考える</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	イントロダクションと授業内容概要	国際協力論ではどんなことを、どのように学ぶのか	—————	2	国際協力とは何か	国際協力の意味	国際協力がなぜ必要なのかを考える	3	日本の国際協力	日本が行ってきた国際協力について	国際協力の意味とな何だったのか、これからどうなるのかを考える	4	非政府組織（NGO）	NGO の得意な分野と苦手な分野	民間でできる国際協力はあるのかを探る	5	草の根組織・地方自治体	普通の人が出来た国際協力	様々な民間団体が補助金を利用していることを調べる	6	国際連合	様々な組織とその役割	国際機関の活動について調べる	7	国際協力を受ける国々（1）	開発途上国（アジア）について（過去・現在・将来）	世界でアジア地域の問題とは何かを考える	8	国際協力を受ける国々（2）	開発途上国（アフリカ）について（過去・現在・将来）	世界でアフリカ地域の問題とは何かを考える	9	国際協力を受ける国々（3）	開発途上国（アジア・アフリカ以外の国）について（過去・現在・将来）	アジア・アフリカ以外での問題は、何かを考える	10	国際協力の仕組み	国際協力の仕組みを説明する	誰が・誰に・何を・どうするのか理解する	11	人・物・金	国際協力にまつわるキーワード	先進国にあって、開発途上国にないものを考察する	12	国際協力の課題	主要援助国が抱える国際協力問題について	いつの時代にも貧困が根本にあることを理解する	13	開発教育	開発教育とはなにか、どうして必要なのかを紐解く	貧困を解く鍵は「教育」であることを理解する	14	国際協力の課題	今後、国際協力はどうあるべきかを考える	人類が将来的に向き合わなければならないこととは何かを考える	15	総括的確認（必ず出席すること）	これまでに学んできたことについて総合的判断を行う	世界中の人々が平等に平和に過ごすための条件を考える
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	イントロダクションと授業内容概要	国際協力論ではどんなことを、どのように学ぶのか	—————																																																																
2	国際協力とは何か	国際協力の意味	国際協力がなぜ必要なのかを考える																																																																
3	日本の国際協力	日本が行ってきた国際協力について	国際協力の意味とな何だったのか、これからどうなるのかを考える																																																																
4	非政府組織（NGO）	NGO の得意な分野と苦手な分野	民間でできる国際協力はあるのかを探る																																																																
5	草の根組織・地方自治体	普通の人が出来た国際協力	様々な民間団体が補助金を利用していることを調べる																																																																
6	国際連合	様々な組織とその役割	国際機関の活動について調べる																																																																
7	国際協力を受ける国々（1）	開発途上国（アジア）について（過去・現在・将来）	世界でアジア地域の問題とは何かを考える																																																																
8	国際協力を受ける国々（2）	開発途上国（アフリカ）について（過去・現在・将来）	世界でアフリカ地域の問題とは何かを考える																																																																
9	国際協力を受ける国々（3）	開発途上国（アジア・アフリカ以外の国）について（過去・現在・将来）	アジア・アフリカ以外での問題は、何かを考える																																																																
10	国際協力の仕組み	国際協力の仕組みを説明する	誰が・誰に・何を・どうするのか理解する																																																																
11	人・物・金	国際協力にまつわるキーワード	先進国にあって、開発途上国にないものを考察する																																																																
12	国際協力の課題	主要援助国が抱える国際協力問題について	いつの時代にも貧困が根本にあることを理解する																																																																
13	開発教育	開発教育とはなにか、どうして必要なのかを紐解く	貧困を解く鍵は「教育」であることを理解する																																																																
14	国際協力の課題	今後、国際協力はどうあるべきかを考える	人類が将来的に向き合わなければならないこととは何かを考える																																																																
15	総括的確認（必ず出席すること）	これまでに学んできたことについて総合的判断を行う	世界中の人々が平等に平和に過ごすための条件を考える																																																																
関連科目																																																																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	記述式小テストの総計(100%)により評価する。記述式小テストは、3 週間に一度程度行います。これは、学期末に詰め込み式で理解するのではなく、ある程度まとまった形で、「理解し考える」ことを目的としています。																																																																		
学生へのメッセージ	国際協力機関・国際ボランティア・青年海外協力隊など、将来この方面に進みたい学生には入門講座的として役割を果たします。この講義を受けて国際協力に興味を持った摂南大学の現役学生が青年海外協力隊員として、世界の国際協力現場の最前線で活躍しています。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 5 階(浅野研究室)																																																																		
備考	この授業の担当教員は、国際協力機構（JICA）の国際協力専門家として、アフリカ・ケニアにおいて 10 年間の勤務経験があり、摂南大学の現役学生を 33 名、JICA ボランティア（青年海外協力隊）に合格させた実績がある。現役学生の合格者数は、日本国内の大学でトップクラスとなっている。																																																																		

科目名	国際貢献実習演習	科目名（英文）	International Service Practicum
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	通年集中	授業担当者	浅野 英一
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	参加メンバー（履修生）との共同活動を通じ、開発途上国への理解を深め、実習先での経験との共通点、相違点を確認する。現地の人々との出会いの中から、見つけた新たな課題と、今後の関わり方について考える。 なお、この科目は、パッケージプログラム実習・演習科目の一つである。																		
到達目標	①使える語学力（英語）や、異文化コミュニケーション能力を身につける。 ②異なる社会・文化のなかで暮らし、働くための総合力を身につける。 ③フィールドでの実体験を通じて、国際知識を養い、多文化環境のもとプロジェクトを動かすスキルを修得する。 ④ボランティア、自立支援など、国内外の団体に活動ができる。																		
授業方法と留意点	履修登録学生は、オリエンテーションを行うので、必ず参加のこと。日時と教室は、ポータルにて連絡。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	事前教育 4 回程度（生活環境・語学・習慣・ハートアクティビティプログラム*の習得） 現地活動 2020 年 2 月中旬～3 月上旬の 2 週間を予定している。 *ハートアクティビティ (Human Relation Training) プログラム：いろいろなゲームを通して、緊張をほぐし、お互いに尊重することを学び、コミュニケーションや協力関係、豊かな人間関係を築いていくためのプログラム。 履修登録時の注意事項： 履修希望者は、説明会に参加し、担当教員から、十分な説明を受けた上で履修申請を行うことが望ましい。説明を受けないで、履修申請した場合、履修を取り消すことがある。																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	事前活動・現地活動状況・帰国後レポートを合わせて (100%) 評価する。																		
学生へのメッセージ	後期に説明会を行う。ポータルにて一斉に周知する。																		
担当者の研究室等	7 号館 5 階（浅野研究室・上田研究室）																		
備考	この授業の担当教員は、国際協力機構（JICA）の国際協力専門家として、アフリカ・ケニアにおいて 10 年間の勤務経験があり、摂南大学の現役学生を 33 名、JICA ボランティア（青年海外協力隊）に合格させた実績がある。現役学生の合格者数は、日本国内の大学でトップクラスとなっている。																		

科目名	国際社会論	科目名（英文）	International Sociology
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	田中 悟
ディプロマポリシー (DP)	DP2◎		
科目ナンバリング	LDL2181a0		

授業概要・目的	国際社会を構成する基本的な単位であるにもかかわらず、「国家」は必ずしも身近に感じられるものではない。本講義は、「そのような国家とはどのような集団であり、なぜ存在し、どのような活動をおこなってきたのか」また「国家はこれからどこに向かおうとしているのか」といった問いに対して答えようとするテキストを通じて、現代の国際社会について理解を深めることを目的とする。
到達目標	国家の統治と私たちの社会生活との関係についての分析的な考察に触れ、現代社会に対する理解を深めることができる。
授業方法と留意点	原則として講義形式をとり、教科書の内容に即したレジュメを配布する。 教科書の章立てに沿って各回完結方式で進めていく予定であるが、進行状況等によって多少の調整がありうる。
科目学習の効果（資格）	現代社会における「国家」をめぐる諸問題についての基礎的な理解を深めることが期待される。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	イントロダクション 「国家」について考えるための枠組み	はじめに 第1章 国家とは何か	テキストについて指示するので、次回講義までに入手しておくこと
	2	国家についての各論考察 (1)	第2章 国家と暴力	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと (目安時間：60 分) 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと (目安時間：60 分)
	3	国家についての各論考察 (2)	第3章 国家と官僚制	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと (目安時間：60 分) 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと (目安時間：60 分)
	4	国家についての各論考察 (3)	第4章 国家と戦争	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと (目安時間：60 分) 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと (目安時間：60 分)
	5	国家についての各論考察 (4)	第5章 国家と正当性	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと (目安時間：60 分) 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと (目安時間：60 分)
	6	国家についての各論考察 (5)	第6章 国家と社会	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと (目安時間：60 分) 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと (目安時間：60 分)
	7	国家についての各論考察 (6)	第7章 国家と統計 (学)	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと (目安時間：60 分) 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと (目安時間：60 分)
	8	国家についての各論考察 (7)	第8章 国家とナショナリズム	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと (目安時間：60 分) 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと (目安時間：60 分)
	9	国家についての各論考察 (8)	第9章 国家と資本主義経済	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと (目安時間：60 分) 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと (目安時間：60 分)
	10	国家についての各論考察 (9)	第10章 国家と民主主義	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと (目安時間：60 分) 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと (目安時間：60 分)
	11	国家についての各論考察 (10)	第11章 国家と社会福祉	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと (目安時間：60 分) 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと (目安時間：60 分)
	12	国家とグローバル化 (1)	第12章 国家のグローバル化	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと (目安時間：60 分) 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと (目安時間：60 分)
	13	国家とグローバル化 (2)	第13章 脱植民地化と「崩壊国家」	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと (目安時間：60 分) 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと (目安時間：60 分)
	14	国家とグローバル化 (3)	第14章 グローバル化のなかの国家	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと (目安時間：60 分) 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと (目安時間：60 分)
	15	まとめと補遺	第15章 国家の現在、国家の将来 おわりに	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと (目安時間：60 分) 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと (目安時間：60 分)
関連科目				
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名

	1	国家の社会学	佐藤成基	青弓社
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	■定期試験 100%			
学生への メッセージ	教科書は定期試験でも使用する。受講者は必ず購入すること。			
担当者の 研究室等	7 号館 4 階 田中研究室			
備考	授業のスケジュールについては、出席者の状況に応じて調整される可能性がある。			

科目名	国際文化概論 I	科目名 (英文)	Introduction to Foreign Cultures I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	田中 悟
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	国際社会を構成する基本的な単位であるにもかかわらず、「国家」は必ずしも身近に感じられるものではない。本講義は、「そのような国家とはどのような集団であり、なぜ存在し、どのような活動をおこなってきたのか」また「国家はこれからどこに向かおうとしているのか」といった問いに対して答えようとするテキストを通じて、現代の国際社会について理解を深めることを目的とする。
到達目標	国家の統治と私たちの社会生活との関係についての分析的な考察に触れ、現代社会に対する理解を深めることができる。
授業方法と留意点	原則として講義形式をとり、教科書の内容に即したレジュメを配布する。 教科書の章立てに沿って各回完結方式で進めていく予定であるが、進行状況等によって多少の調整がありうる。
科目学習の効果 (資格)	現代社会における「国家」をめぐる諸問題についての基礎的な理解を深めることが期待される。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	イントロダクション 「国家」について考えるための枠組み	はじめに 第 1 章 国家とは何か	テキストについて指示するので、次回講義までに入手しておくこと
	2	国家についての各論考察 (1)	第 2 章 国家と暴力	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと (目安時間: 60 分) 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと (目安時間: 60 分)
	3	国家についての各論考察 (2)	第 3 章 国家と官僚制	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと (目安時間: 60 分) 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと (目安時間: 60 分)
	4	国家についての各論考察 (3)	第 4 章 国家と戦争	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと (目安時間: 60 分) 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと (目安時間: 60 分)
	5	国家についての各論考察 (4)	第 5 章 国家と正当性	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと (目安時間: 60 分) 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと (目安時間: 60 分)
	6	国家についての各論考察 (5)	第 6 章 国家と社会	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと (目安時間: 60 分) 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと (目安時間: 60 分)
	7	国家についての各論考察 (6)	第 7 章 国家と統計 (学)	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと (目安時間: 60 分) 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと (目安時間: 60 分)
	8	国家についての各論考察 (7)	第 8 章 国家とナショナリズム	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと (目安時間: 60 分) 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと (目安時間: 60 分)
	9	国家についての各論考察 (8)	第 9 章 国家と資本主義経済	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと (目安時間: 60 分) 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと (目安時間: 60 分)
	10	国家についての各論考察 (9)	第 10 章 国家と民主主義	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと (目安時間: 60 分) 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと (目安時間: 60 分)
	11	国家についての各論考察 (10)	第 11 章 国家と社会福祉	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと (目安時間: 60 分) 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと (目安時間: 60 分)
	12	国家とグローバル化 (1)	第 12 章 国家のグローバル化	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと (目安時間: 60 分) 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと (目安時間: 60 分)
	13	国家とグローバル化 (2)	第 13 章 脱植民地化と「崩壊国家」	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと (目安時間: 60 分) 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと (目安時間: 60 分)
	14	国家とグローバル化 (3)	第 14 章 グローバル化のなかの国家	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと (目安時間: 60 分) 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと (目安時間: 60 分)
	15	まとめと補遺	第 15 章 国家の現在、国家の将来 おわりに	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと (目安時間: 60 分) 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと (目安時間: 60 分)
関連科目				
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名

	1	国家の社会学	佐藤成基	青弓社
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	■定期試験 100%			
学生への メッセージ	教科書は定期試験でも使用する。受講者は必ず購入すること。			
担当者の 研究室等	7号館4階 田中研究室			
備考	授業のスケジュールについては、出席者の状況に応じて調整される可能性がある。			

科目名	国際文化概論Ⅱ	科目名（英文）	Introduction to Foreign Cultures II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	赤澤 春彦
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	本講義では日本の文化について理解を深めることを目的とします。取り上げるテーマは宮崎駿監督の映画『もののけ姫』と『和食』です。『もののけ姫』にえがかれる「日本」を題材に日本文化の相対化を行います。また、身近な「食」から、日本の生活史、また現代日本の問題についても考えます。また「宗教」も取り上げます。宗教は一見、距離がありそうに思えますが、私たちの日常生活や年中行事の至る所に見られます。本講義を通して日本の文化に対する理解を深め世界の国々と比較するさいに役立ててください。																																																																		
到達目標	日本の歴史や文化の特質を理解し、他の国々との違いを比較しながら、自らの言葉で解説できる能力を習得できます。																																																																		
授業方法と留意点	基本的に板書で講義を進めますが、プリント・スライドなどの資料も使用します。																																																																		
科目学習の効果（資格）	異文化コミュニケーションの場では自分の国の文化を披露することがあるでしょう。そのさい、日本の文化の特徴について伝えることができます。また、他の国の文化に触れるときにも深く理解することができるでしょう。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>オリエンテーション</td><td>講義の目的や進め方について説明します。歴史学とはどのような学問か解説します。</td><td>もののけ姫について web や書籍で調べておく</td></tr> <tr> <td>2</td><td>日本の周縁社会 ～『もののけ姫』とエミシの世界～</td><td>単一民族国家ではない「日本」の領域と周縁について考えます。</td><td>蝦夷について調べておく</td></tr> <tr> <td>3</td><td>日本中世の村と町 ～『もののけ姫』の中の「日本」～</td><td>中世における村と町の成立と実態について解説します。</td><td>講義で説明した町と村の特質についてまとめておく</td></tr> <tr> <td>4</td><td>製鉄と身分社会 ～『もののけ姫』におけるタタラ場の世界～</td><td>製鉄を通して、日本中世の生業、身分について考えます。</td><td>タタラ製鉄について web や書籍で調べておく</td></tr> <tr> <td>5</td><td>日本における自然界と神の世界 ～『もののけ姫』におけるシンガミの世界～</td><td>日本の地理的環境や日本人の信仰について考えます。</td><td>web を用いて日本の神社で祀られる獣神の事例をまとめる</td></tr> <tr> <td>6</td><td>『もののけ姫』の語る「日本」1</td><td>『もののけ姫』を通して見える「日本」について受講者がそれぞれ考え、議論します。</td><td>もののけ姫を題材に日本についての考えを整理しておく</td></tr> <tr> <td>7</td><td>『もののけ姫』の語る「日本」2</td><td>『もののけ姫』と日本文化について総括します。</td><td>他の受講生の意見を踏まえて自分の考えを整理する</td></tr> <tr> <td>8</td><td>和食の源流</td><td>和食に対するイメージや考えをみなで考え、整理します。和食の歴史のうち、神饌と直会など古代日本の食について考えます。</td><td>自分が住む地域の氏神、祭礼について調べておく</td></tr> <tr> <td>9</td><td>日本における食肉文化</td><td>日本における食肉の歴史と、日本人に与えた影響について考えます。</td><td>授業で紹介した食肉に関する法令を整理しておく</td></tr> <tr> <td>10</td><td>米・小麦と日本</td><td>日本人の主食である米と稲作文化、また小麦の栽培と粉物文化の成立について考えます。</td><td>食が体に与えた影響について授業で解説したことをもとに整理する</td></tr> <tr> <td>11</td><td>和食の展開 ～精進料理と本膳料理～</td><td>中世以降の精進料理、本膳料理が和食の成立に与えた影響について考えます。</td><td>精進料理、本膳料理についてしっかり復習しておく</td></tr> <tr> <td>12</td><td>麴と和食</td><td>麴菌と調味料の歴史について考えます。</td><td>漫画『もやしもん』を読んでおく</td></tr> <tr> <td>13</td><td>和食の広がり ～2つの「かいせきりょうり」～</td><td>和食が社会に展開する過程について解説します。</td><td>日本における喫茶文化と江戸時代の町人文化について調べておく</td></tr> <tr> <td>14</td><td>世界に広がる和食</td><td>現代における和食の実態や問題点について考えます。</td><td>和食の世界遺産登録について調べておく</td></tr> <tr> <td>15</td><td>まとめ</td><td>論述試験を行います（持ち込み可） 講義の総括を行います</td><td>今までのノートをまとめておく</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション	講義の目的や進め方について説明します。歴史学とはどのような学問か解説します。	もののけ姫について web や書籍で調べておく	2	日本の周縁社会 ～『もののけ姫』とエミシの世界～	単一民族国家ではない「日本」の領域と周縁について考えます。	蝦夷について調べておく	3	日本中世の村と町 ～『もののけ姫』の中の「日本」～	中世における村と町の成立と実態について解説します。	講義で説明した町と村の特質についてまとめておく	4	製鉄と身分社会 ～『もののけ姫』におけるタタラ場の世界～	製鉄を通して、日本中世の生業、身分について考えます。	タタラ製鉄について web や書籍で調べておく	5	日本における自然界と神の世界 ～『もののけ姫』におけるシンガミの世界～	日本の地理的環境や日本人の信仰について考えます。	web を用いて日本の神社で祀られる獣神の事例をまとめる	6	『もののけ姫』の語る「日本」1	『もののけ姫』を通して見える「日本」について受講者がそれぞれ考え、議論します。	もののけ姫を題材に日本についての考えを整理しておく	7	『もののけ姫』の語る「日本」2	『もののけ姫』と日本文化について総括します。	他の受講生の意見を踏まえて自分の考えを整理する	8	和食の源流	和食に対するイメージや考えをみなで考え、整理します。和食の歴史のうち、神饌と直会など古代日本の食について考えます。	自分が住む地域の氏神、祭礼について調べておく	9	日本における食肉文化	日本における食肉の歴史と、日本人に与えた影響について考えます。	授業で紹介した食肉に関する法令を整理しておく	10	米・小麦と日本	日本人の主食である米と稲作文化、また小麦の栽培と粉物文化の成立について考えます。	食が体に与えた影響について授業で解説したことをもとに整理する	11	和食の展開 ～精進料理と本膳料理～	中世以降の精進料理、本膳料理が和食の成立に与えた影響について考えます。	精進料理、本膳料理についてしっかり復習しておく	12	麴と和食	麴菌と調味料の歴史について考えます。	漫画『もやしもん』を読んでおく	13	和食の広がり ～2つの「かいせきりょうり」～	和食が社会に展開する過程について解説します。	日本における喫茶文化と江戸時代の町人文化について調べておく	14	世界に広がる和食	現代における和食の実態や問題点について考えます。	和食の世界遺産登録について調べておく	15	まとめ	論述試験を行います（持ち込み可） 講義の総括を行います	今までのノートをまとめておく
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション	講義の目的や進め方について説明します。歴史学とはどのような学問か解説します。	もののけ姫について web や書籍で調べておく																																																																
2	日本の周縁社会 ～『もののけ姫』とエミシの世界～	単一民族国家ではない「日本」の領域と周縁について考えます。	蝦夷について調べておく																																																																
3	日本中世の村と町 ～『もののけ姫』の中の「日本」～	中世における村と町の成立と実態について解説します。	講義で説明した町と村の特質についてまとめておく																																																																
4	製鉄と身分社会 ～『もののけ姫』におけるタタラ場の世界～	製鉄を通して、日本中世の生業、身分について考えます。	タタラ製鉄について web や書籍で調べておく																																																																
5	日本における自然界と神の世界 ～『もののけ姫』におけるシンガミの世界～	日本の地理的環境や日本人の信仰について考えます。	web を用いて日本の神社で祀られる獣神の事例をまとめる																																																																
6	『もののけ姫』の語る「日本」1	『もののけ姫』を通して見える「日本」について受講者がそれぞれ考え、議論します。	もののけ姫を題材に日本についての考えを整理しておく																																																																
7	『もののけ姫』の語る「日本」2	『もののけ姫』と日本文化について総括します。	他の受講生の意見を踏まえて自分の考えを整理する																																																																
8	和食の源流	和食に対するイメージや考えをみなで考え、整理します。和食の歴史のうち、神饌と直会など古代日本の食について考えます。	自分が住む地域の氏神、祭礼について調べておく																																																																
9	日本における食肉文化	日本における食肉の歴史と、日本人に与えた影響について考えます。	授業で紹介した食肉に関する法令を整理しておく																																																																
10	米・小麦と日本	日本人の主食である米と稲作文化、また小麦の栽培と粉物文化の成立について考えます。	食が体に与えた影響について授業で解説したことをもとに整理する																																																																
11	和食の展開 ～精進料理と本膳料理～	中世以降の精進料理、本膳料理が和食の成立に与えた影響について考えます。	精進料理、本膳料理についてしっかり復習しておく																																																																
12	麴と和食	麴菌と調味料の歴史について考えます。	漫画『もやしもん』を読んでおく																																																																
13	和食の広がり ～2つの「かいせきりょうり」～	和食が社会に展開する過程について解説します。	日本における喫茶文化と江戸時代の町人文化について調べておく																																																																
14	世界に広がる和食	現代における和食の実態や問題点について考えます。	和食の世界遺産登録について調べておく																																																																
15	まとめ	論述試験を行います（持ち込み可） 講義の総括を行います	今までのノートをまとめておく																																																																
関連科目																																																																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	講義最終日に行う論述試験（持ち込み可）、講義中に課す小レポート、小テストなどによって評価します。論述試験を70%、課題などを30%とする。																																																																		
学生へのメッセージ	本講義で日本の文化や歴史がすべてわかるわけではありません。講義を通じて興味を持ったことがありましたら、Web や図書などで積極的に調べるとよいでしょう。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 4 階（赤澤研究室）																																																																		
備考	事前・事後学習は総時間 60 時間を目安とする。 授業で課した課題については、整理して講義で紹介、講評する。																																																																		

科目名	国際平和論	科目名（英文）	International Peace Studies
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	田中 悟
ディプロマポリシー（DP）	DP2◎		
科目ナンバリング	LDL3208a0		

授業概要・目的	この科目は、パッケージプログラム（国際貢献）の対応科目である。 本講義は、「国際平和」をめぐる現代世界の諸問題について、基本的には国際政治学の立場からアプローチし、問題の包括的な理解を通じて、その現実的な解決策を模索していくことを目指すものである。
到達目標	「国際平和」をめぐる取り上げられる様々な問題や議論に触れ、現代社会に対する理解を深める。
授業方法と留意点	原則として講義形式をとり、教科書の内容に即したレジュメを配布する。 教科書の章立てに沿って各回 1 章完結方式で進めていく予定であるが、進行状況等によって多少の調整がありうる。
科目学習の効果（資格）	現代社会における「国際平和」をめぐる諸問題についての基礎的な理解を深めることが期待される。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	イントロダクション	講義内容およびテキストについて導入を行なう。	テキストについて指示するので、次回講義までに入手しておくこと
	2	現代社会の前身—国際社会の誕生	第 1 章 国際社会の誕生とナショナリズム	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60 分） 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60 分）
	3	国際社会の分析視角（1）	第 2 章 覇権と国際政治	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60 分） 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60 分）
	4	国際社会の分析視角（2）	第 3 章 理想と国際政治	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60 分） 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60 分）
	5	国際社会の分析視角（3）	第 4 章 規範と国際政治	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60 分） 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60 分）
	6	国際社会の分析視角（4）	第 5 章 構造と国際政治	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60 分） 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60 分）
	7	冷戦の終結とは何だったのか	第 6 章 ソヴィエト崩壊と歴史の終わり	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60 分） 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60 分）
	8	現代の紛争（1）	第 7 章 紛争と宗教・文化	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60 分） 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60 分）
	9	現代の紛争（2）	第 8 章 紛争と民族・領土	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60 分） 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60 分）
	10	現代の紛争（3）	第 9 章 紛争と資源	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60 分） 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60 分）
	11	破綻国家への介入と紛争後の秩序構築（1）	第 10 章 軍事介入と国際連合	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60 分） 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60 分）
	12	破綻国家への介入と紛争後の秩序構築（2）	第 11 章 軍事介入の論理	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60 分） 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60 分）
	13	破綻国家への介入と紛争後の秩序構築（3）	第 12 章 平和構築と権力分有	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60 分） 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60 分）
	14	人間の安全保障とは何か	第 13 章 人間の安全保障	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60 分） 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60 分）
	15	まとめと補遺—地球社会の課題	第 14 章 Gゼロ世界と地球社会の課題	【事前学習】テキストの該当部分を読んでおくこと（目安時間：60 分） 【事後学習】配布レジュメを参照しながら、テキストを読み返しておくこと（目安時間：60 分）
関連科目	パッケージプログラム（国際貢献）の各科目			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	国際平和論	福富満久	岩波書店

	<table><tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				2				3											
2																				
3																				
参考書	<table><tr><td>番号</td><td>書籍名</td><td>著者名</td><td>出版社名</td></tr><tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																	
1																				
2																				
3																				
評価方法 (基準)	■定期試験 100%																			
学生への メッセージ	教科書は定期試験でも使用する。受講者は必ず購入すること。																			
担当者の 研究室等	7号館4階 田中研究室																			
備考	授業のスケジュールについては、出席者の状況に応じて調整される可能性があります。 なお、本授業に関するフィードバックは、必要に応じて授業内で行なうこととします。 この科目は外国語学部パッケージプログラム（国際貢献）の対応科目ですが、他のプログラムや英語プロフェッショナルコースの学生も受講可能です。																			

科目名	国際ボランティア論	科目名（英文）	International Volunteerism
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	浅野 英一
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	本講義ではボランティアを、一過性のイベントとしてとらえるのではなく、自分自身を見つけるチャンスとし、それを将来的に活用する。国内ボランティア、NGO、NPO、JICA ボランティア、民間ボランティア等の現場を素材にケーススタディを行い、国内外の社会常識と知識を深める。 この科目は「国際貢献」プログラム対応科目です。																																																																		
到達目標	ボランティアの定義・理念、ボランティア活動に関する基礎的知識を習得する。																																																																		
授業方法と留意点	ビデオ・スライドを多様してビジュアルに国際ボランティアの現状を知る。各講義の最後 15～20 分間は、質疑応答の時間とする。事前・事後学習は総時間 60 時間を目安とする。																																																																		
科目学習の効果（資格）	日本の立場を国際的な視野から見る。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>イントロダクションと授業内容概要</td><td>授業の目的や方針を確認し、全体の流れ（起承転結）を知る</td><td>ボランティア・社会奉仕・社会貢献についての概略</td></tr> <tr> <td>2</td><td>（起-1）ボランティアの基礎①</td><td>ボランティアとは何か、活動の内容とボランティアとしての自覚を学ぶ</td><td>答えのない世界とは何かを考える</td></tr> <tr> <td>3</td><td>（起-2）ボランティアの基礎②</td><td>貧困・災害とは何かを学ぶ</td><td>どこでなにが起きるかわからないということを理解する</td></tr> <tr> <td>4</td><td>（起-3）社会貢献</td><td>社会貢献やCSRとは何かを知る</td><td>個人・団体・企業など様々な取り組みを考える</td></tr> <tr> <td>5</td><td>（承-1）企業の社会的貢献</td><td>企業の社会的貢献の現状を知る</td><td>慈善なのか、企業倫理なのかを考える</td></tr> <tr> <td>6</td><td>（承-2）国際協力の現状把握</td><td>どういった国際協力が行われてきたのか、現在、何が行われているのかを知る</td><td>偽善とは何なのかを考える</td></tr> <tr> <td>7</td><td>（転-1）国際ボランティア・NGO ボランティア</td><td>国際ボランティア・NGO ボランティアとは何かを知る</td><td>目的別のボランティアを考える</td></tr> <tr> <td>8</td><td>（転-2）国際ボランティア（青年海外協力隊）</td><td>国際ボランティア（青年海外協力隊）になるにはどうしたら良いのかを知る</td><td>チャレンジとは、何かを知る</td></tr> <tr> <td>9</td><td>（転-3）国際ボランティア（国連ボランティア）</td><td>国際ボランティア（国連ボランティア）になるにはどうしたら良いのかを知る</td><td>ステップアップする方法を考える①</td></tr> <tr> <td>10</td><td>（転-4）国際ボランティア（NGO ボランティア）</td><td>国際ボランティア（NGO ボランティア）になるにはどうしたら良いのかを知る</td><td>ステップアップする方法を考える②</td></tr> <tr> <td>11</td><td>（結-1）国際ボランティアの活動にあたって</td><td>国際ボランティアとしての自覚と次へのステップ</td><td>自覚と義務とのギャップを巻がる</td></tr> <tr> <td>12</td><td>（結-2）自分に何ができるのか</td><td>ボランティア活動をするために、自分ができる事を明確にする</td><td>他人事でボランティアをしない方法はあるのかを考える</td></tr> <tr> <td>13</td><td>（結-3）更なる発展に向けて</td><td>ボランティア活動を一過性のイベントとして終わらせない</td><td>ボランティアを受ける側の事情を考察する</td></tr> <tr> <td>14</td><td>今後の課題</td><td>ボランティア活動の諸問題と克服について知る</td><td>ボランティア活動10ヶ条を考える</td></tr> <tr> <td>15</td><td>総括的確認（必ず出席すること）</td><td>これまでに学んできたことについて総合的判断を行う</td><td>ボランティア活動を人生に生かす方法を考える</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	イントロダクションと授業内容概要	授業の目的や方針を確認し、全体の流れ（起承転結）を知る	ボランティア・社会奉仕・社会貢献についての概略	2	（起-1）ボランティアの基礎①	ボランティアとは何か、活動の内容とボランティアとしての自覚を学ぶ	答えのない世界とは何かを考える	3	（起-2）ボランティアの基礎②	貧困・災害とは何かを学ぶ	どこでなにが起きるかわからないということを理解する	4	（起-3）社会貢献	社会貢献やCSRとは何かを知る	個人・団体・企業など様々な取り組みを考える	5	（承-1）企業の社会的貢献	企業の社会的貢献の現状を知る	慈善なのか、企業倫理なのかを考える	6	（承-2）国際協力の現状把握	どういった国際協力が行われてきたのか、現在、何が行われているのかを知る	偽善とは何なのかを考える	7	（転-1）国際ボランティア・NGO ボランティア	国際ボランティア・NGO ボランティアとは何かを知る	目的別のボランティアを考える	8	（転-2）国際ボランティア（青年海外協力隊）	国際ボランティア（青年海外協力隊）になるにはどうしたら良いのかを知る	チャレンジとは、何かを知る	9	（転-3）国際ボランティア（国連ボランティア）	国際ボランティア（国連ボランティア）になるにはどうしたら良いのかを知る	ステップアップする方法を考える①	10	（転-4）国際ボランティア（NGO ボランティア）	国際ボランティア（NGO ボランティア）になるにはどうしたら良いのかを知る	ステップアップする方法を考える②	11	（結-1）国際ボランティアの活動にあたって	国際ボランティアとしての自覚と次へのステップ	自覚と義務とのギャップを巻がる	12	（結-2）自分に何ができるのか	ボランティア活動をするために、自分ができる事を明確にする	他人事でボランティアをしない方法はあるのかを考える	13	（結-3）更なる発展に向けて	ボランティア活動を一過性のイベントとして終わらせない	ボランティアを受ける側の事情を考察する	14	今後の課題	ボランティア活動の諸問題と克服について知る	ボランティア活動10ヶ条を考える	15	総括的確認（必ず出席すること）	これまでに学んできたことについて総合的判断を行う	ボランティア活動を人生に生かす方法を考える
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	イントロダクションと授業内容概要	授業の目的や方針を確認し、全体の流れ（起承転結）を知る	ボランティア・社会奉仕・社会貢献についての概略																																																																
2	（起-1）ボランティアの基礎①	ボランティアとは何か、活動の内容とボランティアとしての自覚を学ぶ	答えのない世界とは何かを考える																																																																
3	（起-2）ボランティアの基礎②	貧困・災害とは何かを学ぶ	どこでなにが起きるかわからないということを理解する																																																																
4	（起-3）社会貢献	社会貢献やCSRとは何かを知る	個人・団体・企業など様々な取り組みを考える																																																																
5	（承-1）企業の社会的貢献	企業の社会的貢献の現状を知る	慈善なのか、企業倫理なのかを考える																																																																
6	（承-2）国際協力の現状把握	どういった国際協力が行われてきたのか、現在、何が行われているのかを知る	偽善とは何なのかを考える																																																																
7	（転-1）国際ボランティア・NGO ボランティア	国際ボランティア・NGO ボランティアとは何かを知る	目的別のボランティアを考える																																																																
8	（転-2）国際ボランティア（青年海外協力隊）	国際ボランティア（青年海外協力隊）になるにはどうしたら良いのかを知る	チャレンジとは、何かを知る																																																																
9	（転-3）国際ボランティア（国連ボランティア）	国際ボランティア（国連ボランティア）になるにはどうしたら良いのかを知る	ステップアップする方法を考える①																																																																
10	（転-4）国際ボランティア（NGO ボランティア）	国際ボランティア（NGO ボランティア）になるにはどうしたら良いのかを知る	ステップアップする方法を考える②																																																																
11	（結-1）国際ボランティアの活動にあたって	国際ボランティアとしての自覚と次へのステップ	自覚と義務とのギャップを巻がる																																																																
12	（結-2）自分に何ができるのか	ボランティア活動をするために、自分ができる事を明確にする	他人事でボランティアをしない方法はあるのかを考える																																																																
13	（結-3）更なる発展に向けて	ボランティア活動を一過性のイベントとして終わらせない	ボランティアを受ける側の事情を考察する																																																																
14	今後の課題	ボランティア活動の諸問題と克服について知る	ボランティア活動10ヶ条を考える																																																																
15	総括的確認（必ず出席すること）	これまでに学んできたことについて総合的判断を行う	ボランティア活動を人生に生かす方法を考える																																																																
関連科目																																																																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	記述式小テストの総計(100%)により評価する。記述式小テストは、3 週間に一度程度行います。これは、学期末に詰め込み式で理解するのではなく、ある程度まとまった形で、「理解し考える」ことを目的としています。																																																																		
学生へのメッセージ																																																																			
担当者の研究室等	7 号館 5 階（浅野研究室）																																																																		
備考	この授業の担当教員は、国際協力機構（JICA）の国際協力専門家として、アフリカ・ケニアにおいて 10 年間の勤務経験があり、摂南大学の現役学生を 33 名、JICA ボランティア（青年海外協力隊）に合格させた実績がある。現役学生の合格者数は、日本国内の大学でトップクラスとなっている。																																																																		

科目名	ことばと意味	科目名（英文）	Languages and Meanings
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	西川 眞由美
ディプロマポリシー (DP)	DP1○, DP2△		
科目ナンバリング	LDL2211a0		

授業概要・目的	この科目は、「外国語専門職」プログラムに対応する科目です。 ことばが持つ意味というのは、突き詰めていけば非常に難しく、その分興味深いテーマです。ことばの意味について知るということは、私たちがどのようにことばで伝達を行っているかについて知ることであります。そして、何気なく使っている日本語や英語に対する考え方がさらに広がり深まることでしょう。 本授業は、ことばの「意味」について、体系的かつ総合的に学習し、ことばが持つ意味の複雑さや素晴らしさ、それらを理解して使っている人の賢さや優しさを改めて考えることを目指します。																																																																		
到達目標	言語学の様々な理論、音韻論、形態論、統語論、意味論、語用論、社会的アプローチ、認知言語学、などを通して、ことばが持つ「意味」とは、どのようなものか、人はそれをどのように理解するのかについて学ぶことを目標とします。																																																																		
授業方法と留意点	毎回様々な言葉の意味のテーマを取り上げながら、講義を聞き、理解し、その内容を基に学生同士で議論しながら、自ら能動的に参加しながら授業を進めていきます。 配布資料と辞書は忘れないで持参してください。																																																																		
科目学習の効果（資格）	教職課程科目																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>ガイダンス</td><td>授業の進め方</td><td>復習</td></tr> <tr> <td>2</td><td>「ことば」とは</td><td>音韻論、形態論、統語論、意味論、語用論、など</td><td>復習</td></tr> <tr> <td>3</td><td>音と意味</td><td>オノマトペ、自然的意味と恣意的意味</td><td>復習</td></tr> <tr> <td>4</td><td>文字と意味</td><td>表意文字と表音文字、テキストメッセージとボイスメッセージ、漢字とひらかな</td><td>復習</td></tr> <tr> <td>5</td><td>形態素と意味</td><td>接尾語と接頭語</td><td>復習</td></tr> <tr> <td>6</td><td>語と意味</td><td>単語について 外延の意味と内包の意味</td><td>復習</td></tr> <tr> <td>7</td><td>文法と意味</td><td>時制・相</td><td>復習</td></tr> <tr> <td>8</td><td>文脈と意味</td><td>「どうも」「すみません」、「OK」、「Chao」</td><td>復習</td></tr> <tr> <td>9</td><td>役割語</td><td>役割を明示することば</td><td>復習</td></tr> <tr> <td>10</td><td>結合語</td><td>日本語と英語の結合語</td><td>復習</td></tr> <tr> <td>11</td><td>メタファー</td><td>メタファーの解釈</td><td>復習</td></tr> <tr> <td>12</td><td>メトニミー</td><td>メトニミーの解釈</td><td>復習</td></tr> <tr> <td>13</td><td>アイロニー</td><td>アイロニーの解釈</td><td>復習</td></tr> <tr> <td>14</td><td>含意</td><td>含意の解釈、ボライトネス</td><td>復習</td></tr> <tr> <td>15</td><td>まとめのテスト</td><td>授業の復習</td><td></td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	ガイダンス	授業の進め方	復習	2	「ことば」とは	音韻論、形態論、統語論、意味論、語用論、など	復習	3	音と意味	オノマトペ、自然的意味と恣意的意味	復習	4	文字と意味	表意文字と表音文字、テキストメッセージとボイスメッセージ、漢字とひらかな	復習	5	形態素と意味	接尾語と接頭語	復習	6	語と意味	単語について 外延の意味と内包の意味	復習	7	文法と意味	時制・相	復習	8	文脈と意味	「どうも」「すみません」、「OK」、「Chao」	復習	9	役割語	役割を明示することば	復習	10	結合語	日本語と英語の結合語	復習	11	メタファー	メタファーの解釈	復習	12	メトニミー	メトニミーの解釈	復習	13	アイロニー	アイロニーの解釈	復習	14	含意	含意の解釈、ボライトネス	復習	15	まとめのテスト	授業の復習	
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	ガイダンス	授業の進め方	復習																																																																
2	「ことば」とは	音韻論、形態論、統語論、意味論、語用論、など	復習																																																																
3	音と意味	オノマトペ、自然的意味と恣意的意味	復習																																																																
4	文字と意味	表意文字と表音文字、テキストメッセージとボイスメッセージ、漢字とひらかな	復習																																																																
5	形態素と意味	接尾語と接頭語	復習																																																																
6	語と意味	単語について 外延の意味と内包の意味	復習																																																																
7	文法と意味	時制・相	復習																																																																
8	文脈と意味	「どうも」「すみません」、「OK」、「Chao」	復習																																																																
9	役割語	役割を明示することば	復習																																																																
10	結合語	日本語と英語の結合語	復習																																																																
11	メタファー	メタファーの解釈	復習																																																																
12	メトニミー	メトニミーの解釈	復習																																																																
13	アイロニー	アイロニーの解釈	復習																																																																
14	含意	含意の解釈、ボライトネス	復習																																																																
15	まとめのテスト	授業の復習																																																																	
関連科目	その他の外国語専門職プログラム科目など																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	授業態度 30%、小テスト 30%、まとめのテスト 40%																																																																		
学生へのメッセージ	普段何気なく使っていることばが持っている意味について、興味を持って授業に参加してほしいと思います。																																																																		
担当者の研究室等	7号館4階 西川研究室																																																																		
備考	事前事後学習：60 時間 小テストは次の授業時間に返却し、ポイントなどの説明を行う。 授業時間以外で質問などがある場合は、研究室にて対応する。																																																																		

科目名	Comprehensive English a	科目名 (英文)	Comprehensive English a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	A B
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	鳥居 祐介
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3021b0		

授業概要・目的	海外留学経験を活かして高度な英語 4 技能を身につける英語プロフェッショナルコースの英語カリキュラムにおいて、3 年次の英語学習を統括する位置づけにある科目である。アカデミックな内容を含む多様な分野の英文の読解と聴解の演習を行う。
到達目標	CEFR-J [B1-2] レベルの英語 4 技能を身につける。英語によるアカデミックな講義の読解、聴解ができ、内容について自分の意見を述べながら討議ができる。インターネットや図書から、関連する情報を自ら入手し、要約し、報告し、応用できる。
授業方法と留意点	授業は原則として全て英語で行われる。English for Global Communication a および English Writing Workshop a と連動した授業となる。この授業で理解した内容について English for Global Communication a で討議し、English Writing Workshop a で自分の意見などを盛り込んで作文を行う。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL, 英検, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	心理学の講義: 読解および聴解演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 1 テキストの予習+Unit 1 の映像視聴+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習 (1 時間)
	2	心理学の講義: 応用演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 1 辞書を使ってスクリプトを読解+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習+Unit 2 の映像視聴 (1 時間)
	3	言語学の講義: 読解および聴解演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 2 テキストの予習+Unit 1 の映像視聴+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習 (1 時間)
	4	言語学の講義: 応用演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 2 辞書を使ってスクリプトを読解+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習+Unit 3 の映像視聴 (1 時間)
	5	まとめテストと進捗調整、討論による復習	進捗調整	Units 1-2 の復習 Unit Test Proficiency Assessment など (1 時間)
	6	公衆衛生の講義: 読解と聴解	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 3 テキストの予習+Unit 1 の映像視聴+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習 (1 時間)
	7	公衆衛生の講義: 応用演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 3 辞書を使ってスクリプトを読解+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習 (1 時間)
	8	まとめテストと進捗調整、討論による復習	進捗調整	Unit 3 の復習 Unit Test Proficiency Assessment など (1 時間)
	9	ビジネスの講義: 読解および聴解演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 4 テキストの予習+Unit 1 の映像視聴+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習 (1 時間)
	10	ビジネスの講義: 応用演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 4 辞書を使ってスクリプトを読解+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習+Unit 5 の映像視聴 (1 時間)
	11	芸術史の講義: 読解および聴解演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 5 テキストの予習+Unit 1 の映像視聴+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習 (1 時間)
	12	芸術史の講義: 応用演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 5 辞書を使ってスクリプトを読解+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習+Unit 6 の映像視聴 (1 時間)
	13	工学の講義: 読解および聴解演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 6 テキストの予習+Unit 1 の映像視聴+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習 (1 時間)
	14	工学の講義: 応用演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 16 辞書を使ってスクリプトを読解+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習+Units 1-6 総復習 (1 時間)
	15	まとめテストと進捗調整、討論による復習	まとめ+オンラインテストの実施を予定	総復習 オンラインテストの振り返り 今後の学習計画作成 (1 時間)

関連科目	English for Global Communication a, English Writing Workshop a
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Contemporary Topics Level 1 (4th Edition) Student Book with Essential Online Resource	Helen Solorzano and Laurie Frazier	Pearson
	2	Progress <Level 35-50> 3-in-1 test package (プログレステスト 35-50 レベル 3 回分)		Pearson
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			

	3			
評価方法 (基準)	共通課題(オンラインテスト) 20% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 80%			
学生への メッセージ	初日からすぐ授業に入りますので、テキストを買って持参してください。			
担当者の 研究室等	7号館3階 鳥居研究室			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時や研究室で対応する。			

科目名	Comprehensive English a	科目名 (英文)	Comprehensive English a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	C D
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	松田 早恵
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3021b0		

授業概要・目的	海外留学経験を活かして高度な英語 4 技能を身につける英語プロフェッショナルコースの英語カリキュラムにおいて、3 年次の英語学習を統括する位置づけにある科目である。アカデミックな内容を含む多様な分野の英文の読解と聴解の演習を行う。
到達目標	CEFR-J [B1-2] レベルの英語 4 技能を身につける。英語によるアカデミックな講義の読解、聴解ができ、内容について自分の意見を述べながら討議ができる。インターネットや図書から、関連する情報を自ら入手し、要約し、報告し、応用できる。
授業方法と留意点	授業は原則として全て英語で行われる。English for Global Communication a および English Writing Workshop a と連動した授業となる。この授業で理解した内容について English for Global Communication a で討議し、English Writing Workshop a で自分の意見などを盛り込んで作文を行う。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL, 英検, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	心理学の講義: 読解および聴解演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 1 テキストの予習+Unit 1 の映像視聴+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習 (1 時間)
	2	心理学の講義: 応用演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 1 辞書を使ってスクリプトを読解+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習+Unit 2 の映像視聴 (1 時間)
	3	言語学の講義: 読解および聴解演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 2 テキストの予習+Unit 1 の映像視聴+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習 (1 時間)
	4	言語学の講義: 応用演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 2 辞書を使ってスクリプトを読解+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習+Unit 3 の映像視聴 (1 時間)
	5	まとめテストと進捗調整、討論による復習	進捗調整	Units 1-2 の復習 Unit Test Proficiency Assessment など (1 時間)
	6	公衆衛生の講義: 読解と聴解	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 3 テキストの予習+Unit 1 の映像視聴+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習 (1 時間)
	7	公衆衛生の講義: 応用演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 3 辞書を使ってスクリプトを読解+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リスト (1 時間)
	8	まとめテストと進捗調整、討論による復習	進捗調整	Unit 3 の復習 Unit Test Proficiency Assessment など (1 時間)
	9	ビジネスの講義: 読解および聴解演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 4 テキストの予習+Unit 1 の映像視聴+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習 (1 時間)
	10	ビジネスの講義: 応用演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 4 辞書を使ってスクリプトを読解+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習+Unit 5 の映像視聴 (1 時間)
	11	芸術史の講義: 読解および聴解演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 5 テキストの予習+Unit 1 の映像視聴+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習 (1 時間)
	12	芸術史の講義: 応用演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 5 辞書を使ってスクリプトを読解+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習+Unit 6 の映像視聴 (1 時間)
	13	工学の講義: 読解および聴解演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 6 テキストの予習+Unit 1 の映像視聴+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習 (1 時間)
	14	工学の講義: 応用演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 16 辞書を使ってスクリプトを読解+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習+Units 1-6 総復習 (1 時間)
	15	まとめテストと進捗調整、討論による復習	まとめ+オンラインテストの実施を予定	総復習 オンラインテストの振り返り 今後の学習計画作成 (1 時間)

関連科目	English for Global Communication a, English Writing Workshop a
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Contemporary Topics Level 1 (4th Edition) Student Book with Essential Online Resource	Helen Solorzano and Laurie Frazier	Pearson
	2	Progress <Level 35-50> 3-in-1 test package (プログレステスト 35-50 レベル 3 回分)		Pearson
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			

	3			
評価方法 (基準)	共通課題(オンラインテスト) 20% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 80%			
学生への メッセージ	初日からすぐ授業に入りますので、テキストを買って持参してください。			
担当者の 研究室等	7号館5階 松田研究室			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ30時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時や研究室で対応する。			

科目名	Comprehensive English b	科目名 (英文)	Comprehensive English b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	A B
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	鳥居 祐介
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3022b0		

授業概要・目的	海外留学経験を活かして高度な英語 4 技能を身につける英語プロフェッショナルコースの英語カリキュラムにおいて、3 年次の英語学習を統括する位置づけにある科目である。アカデミックな内容を含む多様な分野の英文の読解と聴解の演習を行う。
到達目標	CEFR-J [B1-2] レベルの英語 4 技能を身につける。英語によるアカデミックな講義の読解、聴解ができ、内容について自分の意見を述べながら討議ができる。インターネットや図書から、関連する情報を自ら入手し、要約し、報告し、応用できる。現代の問題など一般的関心の高いトピックを扱った文章を読み、相違点や共通点を比較しながら読むことができるようになる。また、自分の専門分野の論文や資料を読んで理解することができるようになる。
授業方法と留意点	授業は原則として全て英語で行われる。English for Global Communication b および English Writing Workshop b と連動した授業となる。この授業で理解した内容について English for Global Communication b で討議し、English Writing Workshop b で自分の意見などを盛り込んで作文を行う。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL, 英検, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	メディア研究の講義: 読解および聴解演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 7 テキストの予習+Unit 7 の映像視聴+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習 (1 時間)
	2	メディア研究の講義: 応用演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 7 辞書を使ってスクリプトを読解+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習+Unit 8 の映像視聴 (1 時間)
	3	生物学の講義: 読解および聴解演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 8 テキストの予習+Unit 8 の映像視聴+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習 (1 時間)
	4	生物学の講義: 応用演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 8 辞書を使ってスクリプトを読解+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習+Unit 9 の映像視聴 (1 時間)
	5	まとめテストと進度調整、討論による復習	進度調整	Units 7-8 の復習 Unit Test Proficiency Assessment など (1 時間)
	6	ビジネス研究の講義: 読解および聴解演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 9 テキストの予習+Unit 9 の映像視聴+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習 (1 時間)
	7	ビジネス研究の講義: 応用演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 9 辞書を使ってスクリプトを読解+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習+Unit 10 の映像視聴 (1 時間)
	8	まとめテストと進度調整、討論による復習	進度調整	Units 9 の復習 Unit Test Proficiency Assessment など (1 時間)
	9	歴史学の講義: 読解および聴解演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 10 テキストの予習+Unit 10 の映像視聴+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習 (1 時間)
	10	歴史学の講義: 応用演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 10 辞書を使ってスクリプトを読解+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習+Unit 11 の映像視聴 (1 時間)
	11	哲学の講義: 読解および聴解演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 11 テキストの予習+Unit 11 の映像視聴+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習 (1 時間)
	12	哲学の講義: 応用演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 11 辞書を使ってスクリプトを読解+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習+Unit 12 の映像視聴 (1 時間)
	13	情報技術の講義: 読解および聴解演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 12 テキストの予習+Unit 12 の映像視聴+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習 (1 時間)
	14	情報技術の講義: 応用演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 12 辞書を使ってスクリプトを読解+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習+Unit 7-12 の総復習 (1 時間)
	15	まとめテストと進度調整、討論による復習	まとめ+オンラインテストを予定	総復習 オンラインテストの振り返り 今後の学習計画作成 (1 時間)

関連科目	English for Global Communication b, English Writing Workshop b
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Contemporary Topics Level 1 (4th Edition) Student Book with Essential Online Resource	Helen Solorzano and Laurie Frazier	Pearson
	2	Progress <Level 35-50> 3-in-1 test package (ブ ログレステスト 35-50 レベル 3 回分)		Pearson
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			

	3			
評価方法 (基準)	共通課題(オンラインテスト) 20% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 80%			
学生への メッセージ	教養ある英語の使い手になるために、日ごろから情報のアンテナを張ってインプットを増やし、アウトプットのスキルも磨きましょう。			
担当者の 研究室等	7号館3階 鳥居研究室			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。			

科目名	Comprehensive English b	科目名 (英文)	Comprehensive English b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	C D
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	松田 早恵
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3022b0		

授業概要・目的	海外留学経験を活かして高度な英語 4 技能を身につける英語プロフェッショナルコースの英語カリキュラムにおいて、3 年次の英語学習を統括する位置づけにある科目である。アカデミックな内容を含む多様な分野の英文の読解と聴解の演習を行う。
到達目標	CEFR-J [B1-2] レベルの英語 4 技能を身につける。英語によるアカデミックな講義の読解、聴解ができ、内容について自分の意見を述べながら討議ができる。インターネットや図書から、関連する情報を自ら入手し、要約し、報告し、応用できる。現代の問題など一般的関心の高いトピックを扱った文章を読み、相違点や共通点を比較しながら読むことができるようになる。また、自分の専門分野の論文や資料を読んで理解することができるようになる。
授業方法と留意点	授業は原則として全て英語で行われる。English for Global Communication b および English Writing Workshop b と連動した授業となる。この授業で理解した内容について English for Global Communication b で討議し、English Writing Workshop b で自分の意見などを盛り込んで作文を行う。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL, 英検, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	メディア研究の講義: 読解および聴解演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 7 テキストの予習+Unit 7 の映像視聴+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習 (1 時間)
	2	メディア研究の講義: 応用演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 7 辞書を使ってスクリプトを読解+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習+Unit 8 の映像視聴 (1 時間)
	3	生物学の講義: 読解および聴解演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 8 テキストの予習+Unit 8 の映像視聴+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習 (1 時間)
	4	生物学の講義: 応用演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 8 辞書を使ってスクリプトを読解+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習+Unit 9 の映像視聴 (1 時間)
	5	まとめテストと進度調整、討論による復習	進度調整	Units 7-8 の復習 Unit Test Proficiency Assessment など (1 時間)
	6	ビジネス研究の講義: 読解および聴解演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 9 テキストの予習+Unit 9 の映像視聴+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習 (1 時間)
	7	ビジネス研究の講義: 応用演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 9 辞書を使ってスクリプトを読解+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習+Unit 10 の映像視聴 (1 時間)
	8	まとめテストと進度調整、討論による復習	進度調整	Units 9 の復習 Unit Test Proficiency Assessment など (1 時間)
	9	歴史学の講義: 読解および聴解演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 10 テキストの予習+Unit 10 の映像視聴+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習 (1 時間)
	10	歴史学の講義: 応用演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 10 辞書を使ってスクリプトを読解+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習+Unit 11 の映像視聴 (1 時間)
	11	哲学の講義: 読解および聴解演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 11 テキストの予習+Unit 11 の映像視聴+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習 (1 時間)
	12	哲学の講義: 応用演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 11 辞書を使ってスクリプトを読解+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習+Unit 12 の映像視聴 (1 時間)
	13	情報技術の講義: 読解および聴解演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 12 テキストの予習+Unit 12 の映像視聴+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習 (1 時間)
	14	情報技術の講義: 応用演習	事前に予習した講義映像を視聴しノートテイキング演習+教員による解説+問題演習+質疑応答	Unit 12 辞書を使ってスクリプトを読解+疑問点をウェブ検索等で調査+Common Vocabulary リストの予習・復習+Unit 7-12 の総復習 (1 時間)
	15	まとめテストと進度調整、討論による復習	まとめ+オンラインテストを予定	総復習 オンラインテストの振り返り 今後の学習計画作成 (1 時間)

関連科目	English for Global Communication b, English Writing Workshop b
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Contemporary Topics Level 1 (4th Edition) Student Book with Essential Online Resource	Helen Solorzano and Laurie Frazier	Pearson
	2	Progress <Level 35-50> 3-in-1 test package (プログレステスト 35-50 レベル 3 回分)		Pearson
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			

	3			
評価方法 (基準)	共通課題(オンラインテスト) 20% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 80%			
学生への メッセージ	教養ある英語の使い手になるために、日ごろから情報のアンテナを張ってインプットを増やし、アウトプットのスキルも磨きましょう。			
担当者の 研究室等	7号館5階 松田研究室			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。			

科目名	時事インドネシア・マレー語	科目名 (英文)	Media Indonesian-Malay
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	上田 達
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL3137e0		

授業概要・目的	新聞に掲載されたマレー語で書かれた時事問題に関する文に触れて、マレー語の実践的な運用能力の向上を目指す。あわせて、マレーシア・ブルネイ・シンガポールといった国々における政治・経済・社会・文化・芸能などのニュースに触れることを通じて、当該地域の社会情勢についての知識を得る。				
到達目標	マレー語能力の向上。マレー語が話される国々に関する理解の深化。				
授業方法と留意点	マレー語で書かれた新聞記事等の講読と、記事が書かれた背景について解説を行う。映像資料を用いて理解の一助とする。適宜課題を出すので、受講者には積極的な姿勢が望まれる。				
科目学習の効果（資格）					
授業計画		回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
		1	イントロダクション	マレー語圏の国々について既習事項の確認を行う。	既習事項の確認と練習問題への取り組み
		2	表現	新聞の見出しや記事で使われる表現について学習する。	既習事項の確認と練習問題への取り組み
		3	政治①	マレーシアの政治に関する新聞記事を講読するとともに、記事の背景となっているマレーシアの政治情勢について解説する。	既習事項の確認と練習問題への取り組み
		4	政治②	マレーシアの政治に関する新聞記事を講読するとともに、記事の背景となっているマレーシアの政治情勢について解説する。	既習事項の確認と練習問題への取り組み
		5	政治③	ブルネイとシンガポールの政治に関する新聞記事を講読するとともに、記事の背景となっているブルネイとシンガポールにおける政治情勢について解説する。	既習事項の確認と練習問題への取り組み
		6	確認テスト	既習の文法的な事柄と政治情勢に関して小括するとともに、達成度を確認するためのテストを行う。	確認テストのための事前準備
		7	経済①	マレーシアの経済に関する新聞記事を講読するとともに、記事の背景となっているマレーシア経済情勢について解説する。	既習事項の確認と練習問題への取り組み
		8	経済②	ブルネイとシンガポールの経済に関する新聞記事を講読するとともに、記事の背景となっているブルネイとシンガポールにおける経済情勢について解説する	既習事項の確認と練習問題への取り組み
		9	社会①	マレーシアの社会問題に関する新聞記事を講読するとともに、記事の背景となっているマレーシアの社会情勢について解説する。	既習事項の確認と練習問題への取り組み
		10	社会②	ブルネイとシンガポールの社会問題に関する新聞記事を講読するとともに、記事の背景となっているブルネイとシンガポールにおける社会情勢について解説する	既習事項の確認と練習問題への取り組み
		11	確認テスト	既習の文法的な事柄と経済・社会情勢に関して小括するとともに、達成度を確認するためのテストを行う。	確認テストのための事前準備
		12	文化①	マレーシアにおけるマレー語やマレー文化について書かれた新聞記事を講読するとともに、記事の背景について解説する。	既習事項の確認と練習問題への取り組み
		13	文化②	ブルネイやシンガポールにおけるマレー語やマレー文化に関わる新聞記事を講読するとともに、記事の背景について解説する。	既習事項の確認と練習問題への取り組み
		14	確認テスト	既習の文法的な事柄とマレー語が話されている地域の文化に関して小括するとともに、達成度を確認するためのテストを行う。	既習事項の確認と練習問題への取り組み
		15	総合演習	確認テストについて講評を行うとともに、受講者それぞれが新聞記事を選んできて内容について報告する。	興味・関心を持った領域についての新聞記事を探して講読する。内容に関する文法的な理解と社会的な背景についての理解を深めて、発表の準備を行う。
関連科目	基礎マレー語				
教科書	番号	書籍名		著者名	出版社名
	1				
	2				
	3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Kamus Dewan		Dewan Bahasa dan Pustaka
	2			
	3			
評価方法 (基準)	確認テスト（70%）、発表や提出物等の授業への取り組み（30%）から総合的に評価する。詳細は第一回目の授業で指示する。			
学生への メッセージ	日本や他国の時事問題にも関心を持つようにしてください。			
担当者の 研究室等	7 号館 5 階(上田研究室)			
備考	提出物は原則として翌週に返却する。最終回の課題は授業期間終了後一週間以内に評価を記して返却する。『マレーシア語辞典ポケット版』で調べてもわからない単語や表現は、参考書に指定したマレー語の辞典（本学図書館所蔵）で調べること。 事前・事後学習の総時間数は、15 時間以上とする。			

科目名	時事インドネシア・マレー語 a	科目名 (英文)	Media Indonesian-Malay a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	上田 達
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	新聞に掲載されたマレー語で書かれた時事問題に関する文に触れて、マレー語の実践的な運用能力の向上を目指す。あわせて、マレーシア・ブルネイ・シンガポールといった国々における政治・経済・社会・文化・芸能などのニュースに触れることを通じて、当該地域の社会情勢についての知識を得る。			
到達目標	マレー語能力の向上。マレー語が話される国々に関する理解の深化。			
授業方法と留意点	マレー語で書かれた新聞記事等の講読と、記事が書かれた背景について解説を行う。映像資料を用いて理解の一助とする。適宜課題を出すので、受講者には積極的な姿勢が望まれる。			
科目学習の効果 (資格)				
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	イントロダクション	マレー語圏の国々について既習事項の確認を行う。	既習事項の確認と練習問題への取り組み
	2	表現	新聞の見出しや記事で使われる表現について学習する。	既習事項の確認と練習問題への取り組み
	3	政治①	マレーシアの政治に関する新聞記事を講読するとともに、記事の背景となっているマレーシアの政治情勢について解説する。	既習事項の確認と練習問題への取り組み
	4	政治②	マレーシアの政治に関する新聞記事を講読するとともに、記事の背景となっているマレーシアの政治情勢について解説する。	既習事項の確認と練習問題への取り組み
	5	政治③	ブルネイとシンガポールの政治に関する新聞記事を講読するとともに、記事の背景となっているブルネイとシンガポールにおける政治情勢について解説する。	既習事項の確認と練習問題への取り組み
	6	確認テスト	既習の文法的な事柄と政治情勢に関して小括するとともに、達成度を確認するためのテストを行う。	確認テストのための事前準備
	7	経済①	マレーシアの経済に関する新聞記事を講読するとともに、記事の背景となっているマレーシア経済情勢について解説する。	既習事項の確認と練習問題への取り組み
	8	経済②	ブルネイとシンガポールの経済に関する新聞記事を講読するとともに、記事の背景となっているブルネイとシンガポールにおける経済情勢について解説する。	既習事項の確認と練習問題への取り組み
	9	社会①	マレーシアの社会問題に関する新聞記事を講読するとともに、記事の背景となっているマレーシアの社会情勢について解説する。	既習事項の確認と練習問題への取り組み
	10	社会②	ブルネイとシンガポールの社会問題に関する新聞記事を講読するとともに、記事の背景となっているブルネイとシンガポールにおける社会情勢について解説する。	既習事項の確認と練習問題への取り組み
	11	確認テスト	既習の文法的な事柄と経済・社会情勢に関して小括するとともに、達成度を確認するためのテストを行う。	確認テストのための事前準備
	12	文化①	マレーシアにおけるマレー語やマレー文化について書かれた新聞記事を講読するとともに、記事の背景について解説する。	既習事項の確認と練習問題への取り組み
	13	文化②	ブルネイやシンガポールにおけるマレー語やマレー文化に関わる新聞記事を講読するとともに、記事の背景について解説する。	既習事項の確認と練習問題への取り組み
	14	確認テスト	既習の文法的な事柄とマレー語が話されている地域の文化に関して小括するとともに、達成度を確認するためのテストを行う。	既習事項の確認と練習問題への取り組み
	15	総合演習	確認テストについて講評を行うとともに、受講者それぞれが新聞記事を選んできて内容について報告する。	興味・関心を持った領域についての新聞記事を探して講読する。内容に関する文法的な理解と社会的な背景についての理解を深めて、発表の準備を行う。
関連科目	基礎マレー語			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Kamus Dewan		Dewan Bahasa dan Pustaka
	2			
	3			
評価方法 (基準)	確認テスト（70%）、発表や提出物等の授業への取り組み（30%）から総合的に評価する。詳細は第一回目の授業で指示する。			
学生への メッセージ	日本や他国の時事問題にも関心を持つようにしてください。			
担当者の 研究室等	7 号館 5 階(上田研究室)			
備考	提出物は原則として翌週に返却する。最終回の課題は授業期間終了後一週間以内に評価を記して返却する。『マレーシア語辞典ポケット版』で調べてもわからない単語や表現は、参考書に指定したマレー語の辞典（本学図書館所蔵）で調べること。 事前・事後学習の総時間数は、15 時間以上とする。			

科目名	思想と文化	科目名 (英文)	Ideas and Cultures
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	橋本 正俊
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	太古のときより人類が生みだしてきた神話というジャンルを入りに、現代社会・文化の諸問題について考える方法を身につける。神話は古代のものという見方は誤りである。神話は文化・文明の精髓 (エッセンス) である。その証拠に、小説・映画・アニメといった大衆文化から、生活習慣、さらには政治のなかにも、神話モチーフは存在している。神話とは何か、なぜ神話が生き続けるのか、日本と世界各地の神話にどのような違いがあるのかなど、さまざまな角度から神話に光をあて、マクロな視点から考察を深める。																																																																		
到達目標	・神話というジャンルについて豊富な知識を獲得する。 ・現代文化にどのようなかたちで神話が生きているかについて認識する。 ・日本や世界の文化と思想の流れについて、基礎的な知識を身につけ、その全体像を的確に把握できる。																																																																		
授業方法と留意点	講義が中心となる。必ず一回はプレゼンテーションも行う。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	広い教養の獲得と思考力・記述力の深化。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>なぜ神話を学ぶのか</td><td>講義内容全体への導入。神話とは何か、なぜ神話を学ぶのか、入門的に解説する。</td><td>神話とはどのようなものを指すのか調べる (2 時間)</td></tr> <tr> <td>2</td><td>第 1 部「世界の神話と構造」世界の創成、人類の誕生</td><td>われわれの存在理由を語る、この世界と人間の誕生について考察する。</td><td>授業で取り上げた神話の類例を調べる (2 時間)</td></tr> <tr> <td>3</td><td>英雄神話の誕生</td><td>英雄神話を具体的にとりあげ、その人類史的意義について考察する。</td><td>授業で取り上げた神話の類例を調べる (2 時間)</td></tr> <tr> <td>4</td><td>オイディプス神話とは何か</td><td>ギリシア神話のなかからオイディプスをとりあげ、その内容と意義について考察する。</td><td>授業で取り上げた神話の類例を調べる (2 時間)</td></tr> <tr> <td>5</td><td>シンデレラの謎</td><td>世界中にひろがるシンデレラをめぐる伝承をとりあげ、そこに潜む人類史的な謎をめぐって考察する。</td><td>授業で取り上げた神話の類例を調べる (2 時間)</td></tr> <tr> <td>6</td><td>自然と人間</td><td>巨木神話、洪水神話など、自然と人間の関わりについて考察する。</td><td>授業で取り上げた神話の類例を調べる (2 時間)</td></tr> <tr> <td>7</td><td>第 1 部プレゼンテーション</td><td>各自の調査結果を発表し、全体で質疑応答を行う。</td><td>プレゼンテーションの準備 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>8</td><td>第 1 部プレゼンテーション</td><td>各自の調査結果を発表し、全体で質疑応答を行う。</td><td>プレゼンテーションの準備 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>9</td><td>第 2 部「日本の神話と思想」日本の創成イザナギ・イザナミ アマテラス</td><td>日本開闢神話から、その背景となる思想を探究する。</td><td>授業で取り上げた神話の類例を調べる (2 時間)</td></tr> <tr> <td>10</td><td>ヤマタノオロチとスサノオ</td><td>古代国家出雲と八岐大蛇伝説を探究する。</td><td>授業で取り上げた神話の類例を調べる (2 時間)</td></tr> <tr> <td>11</td><td>浦島太郎と異界</td><td>浦島太郎伝説をもとに、神婚と異界について考える。</td><td>授業で取り上げた神話の類例を調べる (2 時間)</td></tr> <tr> <td>12</td><td>昔話と神話</td><td>昔話を神話の一面として捉え、そこに見られる日本の思想について考える。</td><td>授業で取り上げた神話の類例を調べる (2 時間)</td></tr> <tr> <td>13</td><td>縁起 由来を語ること</td><td>ものごとの発生、由来を語ることと、その意義について考える。</td><td>授業で取り上げた神話の類例を調べる (2 時間)</td></tr> <tr> <td>14</td><td>第 2 部プレゼンテーション</td><td>各自の調査結果を発表し、全体で質疑応答を行う。</td><td>プレゼンテーションの準備 (2 時間)</td></tr> <tr> <td>15</td><td>第 2 部プレゼンテーション</td><td>各自の調査結果を発表し、全体で質疑応答を行う。</td><td>プレゼンテーションの準備 (2 時間)</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	なぜ神話を学ぶのか	講義内容全体への導入。神話とは何か、なぜ神話を学ぶのか、入門的に解説する。	神話とはどのようなものを指すのか調べる (2 時間)	2	第 1 部「世界の神話と構造」世界の創成、人類の誕生	われわれの存在理由を語る、この世界と人間の誕生について考察する。	授業で取り上げた神話の類例を調べる (2 時間)	3	英雄神話の誕生	英雄神話を具体的にとりあげ、その人類史的意義について考察する。	授業で取り上げた神話の類例を調べる (2 時間)	4	オイディプス神話とは何か	ギリシア神話のなかからオイディプスをとりあげ、その内容と意義について考察する。	授業で取り上げた神話の類例を調べる (2 時間)	5	シンデレラの謎	世界中にひろがるシンデレラをめぐる伝承をとりあげ、そこに潜む人類史的な謎をめぐって考察する。	授業で取り上げた神話の類例を調べる (2 時間)	6	自然と人間	巨木神話、洪水神話など、自然と人間の関わりについて考察する。	授業で取り上げた神話の類例を調べる (2 時間)	7	第 1 部プレゼンテーション	各自の調査結果を発表し、全体で質疑応答を行う。	プレゼンテーションの準備 (2 時間)	8	第 1 部プレゼンテーション	各自の調査結果を発表し、全体で質疑応答を行う。	プレゼンテーションの準備 (2 時間)	9	第 2 部「日本の神話と思想」日本の創成イザナギ・イザナミ アマテラス	日本開闢神話から、その背景となる思想を探究する。	授業で取り上げた神話の類例を調べる (2 時間)	10	ヤマタノオロチとスサノオ	古代国家出雲と八岐大蛇伝説を探究する。	授業で取り上げた神話の類例を調べる (2 時間)	11	浦島太郎と異界	浦島太郎伝説をもとに、神婚と異界について考える。	授業で取り上げた神話の類例を調べる (2 時間)	12	昔話と神話	昔話を神話の一面として捉え、そこに見られる日本の思想について考える。	授業で取り上げた神話の類例を調べる (2 時間)	13	縁起 由来を語ること	ものごとの発生、由来を語ることと、その意義について考える。	授業で取り上げた神話の類例を調べる (2 時間)	14	第 2 部プレゼンテーション	各自の調査結果を発表し、全体で質疑応答を行う。	プレゼンテーションの準備 (2 時間)	15	第 2 部プレゼンテーション	各自の調査結果を発表し、全体で質疑応答を行う。	プレゼンテーションの準備 (2 時間)
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	なぜ神話を学ぶのか	講義内容全体への導入。神話とは何か、なぜ神話を学ぶのか、入門的に解説する。	神話とはどのようなものを指すのか調べる (2 時間)																																																																
2	第 1 部「世界の神話と構造」世界の創成、人類の誕生	われわれの存在理由を語る、この世界と人間の誕生について考察する。	授業で取り上げた神話の類例を調べる (2 時間)																																																																
3	英雄神話の誕生	英雄神話を具体的にとりあげ、その人類史的意義について考察する。	授業で取り上げた神話の類例を調べる (2 時間)																																																																
4	オイディプス神話とは何か	ギリシア神話のなかからオイディプスをとりあげ、その内容と意義について考察する。	授業で取り上げた神話の類例を調べる (2 時間)																																																																
5	シンデレラの謎	世界中にひろがるシンデレラをめぐる伝承をとりあげ、そこに潜む人類史的な謎をめぐって考察する。	授業で取り上げた神話の類例を調べる (2 時間)																																																																
6	自然と人間	巨木神話、洪水神話など、自然と人間の関わりについて考察する。	授業で取り上げた神話の類例を調べる (2 時間)																																																																
7	第 1 部プレゼンテーション	各自の調査結果を発表し、全体で質疑応答を行う。	プレゼンテーションの準備 (2 時間)																																																																
8	第 1 部プレゼンテーション	各自の調査結果を発表し、全体で質疑応答を行う。	プレゼンテーションの準備 (2 時間)																																																																
9	第 2 部「日本の神話と思想」日本の創成イザナギ・イザナミ アマテラス	日本開闢神話から、その背景となる思想を探究する。	授業で取り上げた神話の類例を調べる (2 時間)																																																																
10	ヤマタノオロチとスサノオ	古代国家出雲と八岐大蛇伝説を探究する。	授業で取り上げた神話の類例を調べる (2 時間)																																																																
11	浦島太郎と異界	浦島太郎伝説をもとに、神婚と異界について考える。	授業で取り上げた神話の類例を調べる (2 時間)																																																																
12	昔話と神話	昔話を神話の一面として捉え、そこに見られる日本の思想について考える。	授業で取り上げた神話の類例を調べる (2 時間)																																																																
13	縁起 由来を語ること	ものごとの発生、由来を語ることと、その意義について考える。	授業で取り上げた神話の類例を調べる (2 時間)																																																																
14	第 2 部プレゼンテーション	各自の調査結果を発表し、全体で質疑応答を行う。	プレゼンテーションの準備 (2 時間)																																																																
15	第 2 部プレゼンテーション	各自の調査結果を発表し、全体で質疑応答を行う。	プレゼンテーションの準備 (2 時間)																																																																
関連科目	文化科目全般																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	レポート 40%、プレゼンテーション 40%、授業参加度 (コメントペーパー等) 20% で評価する。																																																																		
学生へのメッセージ																																																																			
担当者の研究室等	7 号館 4 階 (橋本研究室)																																																																		
備考	事前事後の学習時間は、上記にレポート作成を加えた 60 時間を目安とする。コメントペーパーについては翌週、プレゼンテーションについてはその場でフィードバックする。																																																																		

科目名	実践インドネシア・マレー語 a	科目名 (英文)	Practical Indonesian-Malay a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	山口 真佐夫
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3133e0		

授業概要・目的	この授業はインドネシア語、マレー語の中級以上の能力を養うことを目的とする。色々な分野のインドネシア語、マレー語の文献を読む。			
到達目標	様々なインドネシア語、マレー語の文献を読む能力を習得することができる。			
授業方法と留意点	この授業は多読、速読を目指している。指示に従って予習を行うこと。また新聞を読む場合はインターネットで、専門書を読む場合には図書館で、下調べをする必要もある。授業で用いるプリントは教員が用意する。			
科目学習の効果（資格）	インドネシア語検定			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	授業の進め方、基本的な知識の説明	新聞、専門書を読むために必要な辞書の説明、予備知識の必要性を説明する。	授業で得た知識を再確認しておくこと。次週の予習を行う。
	2	新聞記事の講読についての説明	インドネシア語、マレー語の新聞を読むための基礎知識を説明する。	授業で得た知識を再確認しておくこと。次週の予習・下調べを行う。
	3	新聞記事の講読 1	インドネシア語、マレー語の新聞を読む。	授業で得た知識を再確認しておくこと。次週の予習・下調べを行う。
	4	新聞記事の講読 2	インドネシア語、マレー語の新聞を読む。	授業で得た知識を再確認しておくこと。次週の予習・下調べを行う。
	5	新聞記事の講読 3	インドネシア語、マレー語の新聞を読む。	授業で得た知識を再確認しておくこと。次週の予習・下調べを行う。
	6	学術雑誌の講読についての説明	インドネシア語、マレー語の学術雑誌を読むための基礎知識を説明する。	授業で得た知識を再確認しておくこと。次週の予習を行う。
	7	学術雑誌の講読 1	インドネシア語、マレー語の学術雑誌を読む。	授業で得た知識を再確認しておくこと。次週の予習・下調べを行う。
	8	学術雑誌の講読 2	インドネシア語、マレー語の学術雑誌を読む。	授業で得た知識を再確認しておくこと。次週の予習・下調べを行う。
	9	学術雑誌の講読 3	インドネシア語、マレー語の学術雑誌を読む。	授業で得た知識を再確認しておくこと。次週の予習・下調べを行う。
	10	専門書の講読	インドネシア語、マレー語の専門書の講読を読むための基礎知識を説明する。	授業で得た知識を再確認しておくこと。次週の予習を行う。
	11	専門書の講読 1	インドネシア語、マレー語の専門書を読む。	授業で得た知識を再確認しておくこと。次週の予習・下調べを行う。
	12	専門書の講読 2	インドネシア語、マレー語の専門書を読む。	授業で得た知識を再確認しておくこと。次週の予習・下調べを行う。
	13	専門書の講読 3	インドネシア語、マレー語の専門書を読む。	授業で得た知識を再確認しておくこと。次週の予習・下調べを行う。 次回の提出物の準備。
	14	専門書の講読 4	インドネシア語、マレー語の専門書を読む。 授業で得た知識を再確認しておくこと。 の提出	他の受講生の提出物を読んでおく。
	15	翻訳	各自が行った翻訳を受講生同士で批評する。	各自が行った翻訳を他の受講生に説明する準備。 授業で得た知識を再確認しておくこと。
関連科目	インドネシア語の科目すべて			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法（基準）	授業での発表（20%）、下調べと予習（20%）、各自が選んで行った翻訳（60%）			
学生へのメッセージ	文献を読む際にどのように下調べを行い、どのような辞書を選び、最終的に内容を理解するかのプロセスを学んで下さい。			
担当者の研究室等	7号館5階（山口室）			
備考	予習・復習は「授業計画」の「事前・事後学習課題」に従い60時間以上行うこと。			

科目名	実践インドネシア・マレー語 b	科目名 (英文)	Practical Indonesian-Malay b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	大坪 紀子
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3134e0		

授業概要・目的	1 今期はインドネシア語をテーマとする。 2. 前半は比較的短い報道文を、中半以降は長文のエッセイをとりあげる。 3. 随時、レポートを課す。 4. 高度なインドネシア語文章を正確な内容で日本語文章へ翻訳することをめざす。
到達目標	1. 特定の専門的な分野のインドネシア語文章が正確に講読できるようになること。 2. 特定の専門的な分野の知識を養うこと。 3. 正確な内容で日本語文章へ翻訳すること。
授業方法と留意点	1. テーマに応じたプリントを配布する。 2. 「読む」「書く」「話す」の能力を高めるために、授業での演習と発表を課す。 3. この授業では正確で精密な作業をおこなう必要がある。授業に出席する前に十分な準備と予習をしておくこと。 4. ほぼ毎回、レポートと発表が課される。 5. 授業内で質疑応答の時間も設ける。 6. 辞書を必ず携帯すること。
科目学習の効果 (資格)	インドネシア語技能検定。 実践的かつ専門的なインドネシア語能力の習得。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	1. イントロダクション 2. 新聞記事の購読 1	1. 授業の進め方や受講にあたっての留意点の説明をおこなう。 2. 新聞記事の文体に慣れる。	・学んだことの再確認 (2 時間) ・次週の課題の下調べ (2 時間)
	2	新聞記事の購読 2	1. 概要をその場でまとめて発表する練習。 2. 新聞記事中に現れる略語や専門用語の調べ方。	・学んだことの再確認 (2 時間) ・次週の課題の下調べ (2 時間)
	3	新聞記事の購読 3	1. 概要をその場でまとめて発表する練習。 2. 記事中の略語や専門用語に対応する日本語専門用語の調べ方。	・学んだことの再確認 (2 時間) ・次週の課題の下調べ (3 時間)
	4	新聞記事の購読 4	1. 長文を読解する。 2. 正確な翻訳をおこなう。	・学んだことの再確認 (2 時間) ・次週の課題の下調べ (3 時間)
	5	新聞記事の購読 5	1. 長文を読解する。 2. 正確な翻訳をおこなう。	・学んだことの再確認 (2 時間) ・次週の課題の下調べ (3 時間)
	6	学術論文の購読 1	1. 学術論文の文体に慣れる。 2. 学術論文を正確に読む。	・学んだことの再確認 (2 時間) ・次週の課題の下調べ (3 時間)
	7	学術論文の購読 2	1. 学術論文を正確に読む。 2. 文章の前後関係を正確に把握する。 3. 正確な翻訳をおこなう。	・学んだことの再確認 (2 時間) ・次週の課題の下調べ (3 時間)
	8	学術論文の購読 3	1. 学術論文を正確に読む。 2. 文章の前後関係を正確に把握する。 3. 正確な翻訳をおこなう。	・学んだことの再確認 (2 時間) ・次週の課題の下調べ (3 時間)
	9	学術論文の購読 4	1. 学術論文を正確に読む。 2. 文章の前後関係を正確に把握する。 3. 正確な翻訳をおこなう。	・学んだことの再確認 (2 時間) ・次週の課題の下調べ (3 時間)
	10	学術論文の購読 5	1. 学術論文を正確に読む。 2. 文章の前後関係を正確に把握する。 3. 正確な翻訳をおこなう。	・学んだことの再確認 (2 時間) ・次週の課題の下調べ (3 時間)
	11	週刊誌記事の購読 1	1. 週刊誌記事の文体に慣れる。 2. 週刊誌記事を正確に読む。	・学んだことの再確認 (2 時間) ・次週の課題の下調べ (3 時間)
	12	週刊誌記事の購読 2	1. 週刊誌記事を正確に読む。 2. 文章の前後関係を正確に把握する。 3. 正確な翻訳をおこなう。	・学んだことの再確認 (2 時間) ・次週の課題の下調べ (3 時間)
	13	週刊誌記事の購読 3	1. 週刊誌記事を正確に読む。 2. 文章の前後関係を正確に把握する。 3. 正確な翻訳をおこなう。	・学んだことの再確認 (2 時間) ・次週の課題の下調べ (3 時間)
	14	エッセイの購読 1	1. エッセイの文体に慣れる。 2. エッセイを正確に読む。 3. 正確な翻訳をおこなう。	・学んだことの再確認 (2 時間) ・次週の課題の下調べ (3 時間)
	15	エッセイの購読 2	1. エッセイの文体に慣れる。 2. エッセイを正確に読む。 3. 正確な翻訳をおこなう。	第 1 4 回までの授業内容の総復習 (10 時間)
関連科目	主言語インドネシア語の科目すべて、東南アジアに関係する科目すべて			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			

	3			
評価方法 (基準)	授業での発表(30%)、毎回の提出物(30%)、第5回・第10回・第13回・第15回終了後に課すレポート(40%)			
学生への メッセージ	翻訳にはじょうぶな知識が求められます。 文中の専門用語だけではなく、時には記述の背景や経緯を調べる作業も必要です。 いっそうの高みを目指して、根気強くがんばりましょう。			
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師室			
備考	1. 授業内容を確実に理解するためにも、予習・復習には十分な時間をかけること。 事前・事後学習内の表記時間は最低目安時間にすぎない。 2. 授業内で課した課題や宿題は、次週の授業で講評する。 3. 授業時間以外での質問は非常勤講師室にて受け付ける。			

科目名	社会開発論	科目名 (英文)	Social Development
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	手代木 功基
ディプロマポリシー (DP)	DP2◎		
科目ナンバリング	LDL3210a0		

授業概要・目的	この科目は、国際貢献プログラム対応科目となっています。 経済のグローバル化が進み、途上国への企業進出も盛んになる現代においては、それぞれの国や地域社会に対する理解力や思考力が重要です。特に、グローバルに展開される国際協力の場合においては、開発援助の持つ理念やインパクト（メリット・デメリット）を理解することが必要になります。 本講義では、近年の経済成長により注目されているアジア・アフリカ諸国に関する基礎知識を学ぶとともに、開発の現代性や必要性、外部者の役割について検討していきます。また、社会開発のプロジェクトにおいて対象社会を理解するためのひとつの手段として、社会調査（フィールドワーク）を取り上げ、その方法論についても解説します。																																																																		
到達目標	1. 開発援助の対象であるアジア・アフリカ地域の歴史と現状を理解し、ステレオタイプのな見方を変える 2. 開発に関わる諸概念・方法論の変遷と現状を理解し、社会開発の位置づけを説明することができる。 3. 社会開発の可能性と限界、対象社会に与える影響、対象社会の主体的な営み、を認識した上で、私たちに何ができるのか、どのように関わっていくべきなのかについて主体的・論理的に考えることができる。																																																																		
授業方法と留意点	プリントの配布および投影資料を利用した講義形式を基本とするが、講義中にグループワークやディスカッション、簡単な作業などを通して受講者の意見を求める機会を多数設ける。																																																																		
科目学習の効果（資格）																																																																			
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>イントロダクション</td><td>授業の進め方、テキスト、採点方法等について把握する</td><td>アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）</td></tr> <tr> <td>2</td><td>アフリカを知る 1</td><td>開発援助の対象であるアフリカ地域の歴史と現状を学ぶ</td><td>アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）</td></tr> <tr> <td>3</td><td>アフリカを知る 2</td><td>開発援助の対象であるアフリカ地域の歴史と現状を学ぶ</td><td>アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）</td></tr> <tr> <td>4</td><td>アフリカを知る 3</td><td>開発援助の対象であるアフリカ地域の歴史と現状を学ぶ</td><td>アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）</td></tr> <tr> <td>5</td><td>アジアを知る 1</td><td>開発援助の対象であるアジア地域の歴史と現状を学ぶ</td><td>アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）</td></tr> <tr> <td>6</td><td>アジアを知る 2</td><td>開発援助の対象であるアジア地域の歴史と現状を学ぶ</td><td>アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）</td></tr> <tr> <td>7</td><td>開発政策と地域社会</td><td>国家や先住民といったキーワードをもとに開発政策と地域社会への影響を検討</td><td>アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）</td></tr> <tr> <td>8</td><td>開発と文化・価値・エンパワメント</td><td>文化やエンパワメントといった観点から開発を考える</td><td>アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）</td></tr> <tr> <td>9</td><td>社会開発の現状と課題 1：教育</td><td>教育に関わる社会開発の現状と課題を知る</td><td>アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）</td></tr> <tr> <td>10</td><td>社会開発の現状と課題 2：農村開発</td><td>農村開発に関わる社会開発の現状と課題を知る</td><td>アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）</td></tr> <tr> <td>11</td><td>社会開発の現状と課題 3：環境問題</td><td>環境問題に関わる社会開発の現状と課題を知る</td><td>アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）</td></tr> <tr> <td>12</td><td>社会開発と社会調査：対象社会を理解するための視点と方法 1</td><td>社会調査の方法論について理解する</td><td>アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）</td></tr> <tr> <td>13</td><td>社会開発と社会調査：対象社会を理解するための視点と方法 2</td><td>社会調査の方法論について理解する</td><td>アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）</td></tr> <tr> <td>14</td><td>開発における外部者の役割</td><td>地域の人びとと関わり合う難しさを知るとともに、外部者の役割を考える</td><td>アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）</td></tr> <tr> <td>15</td><td>総括</td><td>全体のまとめ</td><td>アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	イントロダクション	授業の進め方、テキスト、採点方法等について把握する	アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）	2	アフリカを知る 1	開発援助の対象であるアフリカ地域の歴史と現状を学ぶ	アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）	3	アフリカを知る 2	開発援助の対象であるアフリカ地域の歴史と現状を学ぶ	アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）	4	アフリカを知る 3	開発援助の対象であるアフリカ地域の歴史と現状を学ぶ	アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）	5	アジアを知る 1	開発援助の対象であるアジア地域の歴史と現状を学ぶ	アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）	6	アジアを知る 2	開発援助の対象であるアジア地域の歴史と現状を学ぶ	アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）	7	開発政策と地域社会	国家や先住民といったキーワードをもとに開発政策と地域社会への影響を検討	アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）	8	開発と文化・価値・エンパワメント	文化やエンパワメントといった観点から開発を考える	アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）	9	社会開発の現状と課題 1：教育	教育に関わる社会開発の現状と課題を知る	アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）	10	社会開発の現状と課題 2：農村開発	農村開発に関わる社会開発の現状と課題を知る	アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）	11	社会開発の現状と課題 3：環境問題	環境問題に関わる社会開発の現状と課題を知る	アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）	12	社会開発と社会調査：対象社会を理解するための視点と方法 1	社会調査の方法論について理解する	アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）	13	社会開発と社会調査：対象社会を理解するための視点と方法 2	社会調査の方法論について理解する	アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）	14	開発における外部者の役割	地域の人びとと関わり合う難しさを知るとともに、外部者の役割を考える	アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）	15	総括	全体のまとめ	アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	イントロダクション	授業の進め方、テキスト、採点方法等について把握する	アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）																																																																
2	アフリカを知る 1	開発援助の対象であるアフリカ地域の歴史と現状を学ぶ	アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）																																																																
3	アフリカを知る 2	開発援助の対象であるアフリカ地域の歴史と現状を学ぶ	アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）																																																																
4	アフリカを知る 3	開発援助の対象であるアフリカ地域の歴史と現状を学ぶ	アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）																																																																
5	アジアを知る 1	開発援助の対象であるアジア地域の歴史と現状を学ぶ	アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）																																																																
6	アジアを知る 2	開発援助の対象であるアジア地域の歴史と現状を学ぶ	アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）																																																																
7	開発政策と地域社会	国家や先住民といったキーワードをもとに開発政策と地域社会への影響を検討	アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）																																																																
8	開発と文化・価値・エンパワメント	文化やエンパワメントといった観点から開発を考える	アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）																																																																
9	社会開発の現状と課題 1：教育	教育に関わる社会開発の現状と課題を知る	アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）																																																																
10	社会開発の現状と課題 2：農村開発	農村開発に関わる社会開発の現状と課題を知る	アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）																																																																
11	社会開発の現状と課題 3：環境問題	環境問題に関わる社会開発の現状と課題を知る	アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）																																																																
12	社会開発と社会調査：対象社会を理解するための視点と方法 1	社会調査の方法論について理解する	アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）																																																																
13	社会開発と社会調査：対象社会を理解するための視点と方法 2	社会調査の方法論について理解する	アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）																																																																
14	開発における外部者の役割	地域の人びとと関わり合う難しさを知るとともに、外部者の役割を考える	アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）																																																																
15	総括	全体のまとめ	アジア・アフリカのニュースに関心をもち、それに対する自分の意見を考える。授業で紹介した参考文献などを読み、理解を深める（1時間以上）																																																																
関連科目	国際貢献プログラム関連科目（国際協力論、国際関係論、国際平和論、国際機構論等）																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書																																																																			

	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	授業への取り組み（リアクションペーパーの内容、受講態度、議論やグループワークへの参加状況等）（60％）とレポート（40％）で評価します。			
学生への メッセージ				
担当者の 研究室等	7号館5階（手代木研究室）			
備考	事前・事後の学習は、全体で60時間を目安とします。 リアクションペーパーやレポート等の提出物に対してはコメントや質問回答といったフィードバックを行います。			

科目名	社会文化史	科目名（英文）	History of Society and Cultures
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	林田 敏子
ディプロマポリシー (DP)	DP2◎		
科目ナンバリング	LDL3171a0		

授業概要・目的	イギリスの歴史と文化を、現代社会とのつながりを重視しながら概観する。「サッカー発祥の地」、「紅茶とアンティークの国」など、われわれがイギリスに対して抱いているイメージには、歴史的根拠が存在する。「イギリス料理はなぜまずいのか」、「イギリス人はなぜ傘をささないのか」といった身近な問いを出発点にしながら、政治・経済・文化、あらゆる角度からイギリス社会を読み解いていく。																																																																		
到達目標	ヨーロッパ、大英帝国など、複数の次元でイギリスをとらえたときの特徴を理解する。一国の歴史にとどまらない、広がりのある歴史解釈をするにはどうすればよいか、その方法論を身につける。																																																																		
授業方法と留意点	毎回プリントを配布し、図像史料を活用しながら、板書をまじえて授業をすすめる。																																																																		
科目学習の効果（資格）	歴史学に関する基本的知識を身につけるとともに、「過去」を通して「現代」を見つめる視座を獲得する。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>イギリスとは何か</td><td>国のなりたちと地理</td><td>「イギリス」の正式名称を調べてくる。</td></tr> <tr> <td>2</td><td>イギリス人のナショナル・アイデンティティ</td><td>連合王国、帝国としてのイギリス</td><td>ユニオン・ジャックの由来について調べてくる。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>「イギリス」の歴史的形成過程</td><td>古代から現代までの領土の変遷</td><td>年表づくりをおこなう。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>イギリス古代の歴史 ～ストーンヘンジの謎にせまる～</td><td>ケルト時代・ローマ時代・ゲルマン人の到来</td><td>異民族侵入の歴史を地図にまとめる。</td></tr> <tr> <td>5</td><td>バイユのタペストリの世界</td><td>七王国時代からノルマン朝時代まで</td><td>史料としての「バイユのタペストリ」から読み取れることをまとめる。</td></tr> <tr> <td>6</td><td>ウェールズの歴史（１）</td><td>イングランドとウェールズの関係史</td><td>プリンス・オブ・ウェールズという称号の意味について調べてくる。</td></tr> <tr> <td>7</td><td>ウェールズの歴史（２）</td><td>ウェールズ語復興運動</td><td>ウェールズ語話者数の推移を調べてくる。</td></tr> <tr> <td>8</td><td>ウェールズの歴史（３）</td><td>映画『ウェールズの山』に見る重層的アイデンティティ（中間テストの実施）</td><td>これまでの授業内容をまとめてくる。</td></tr> <tr> <td>9</td><td>サッカーの歴史</td><td>スポーツに見るイギリスのナショナル・アイデンティティ（中間テスト解説）</td><td>FIFA 誕生の歴史的経緯を調べてくる。</td></tr> <tr> <td>10</td><td>スコットランドの歴史（１）</td><td>スコットランド王権の特徴</td><td>スコットランドの王位継承の特徴をイングランドと比較しながら整理する。</td></tr> <tr> <td>11</td><td>スコットランドの歴史（２）</td><td>スコットランドとイングランドとの関係史</td><td>フランスの存在に注目しつつ、スコットランドとイングランドの関係史をまとめてくる。</td></tr> <tr> <td>12</td><td>スコットランドの歴史（３）</td><td>「帝国」「EU」のなかのスコットランド</td><td>国家だけでなく、帝国やEUといった枠のなかでスコットランドがもつ可能性について考えてくる。</td></tr> <tr> <td>13</td><td>紅茶文化はいかにして生まれたか？</td><td>食文化からみたイギリスの歴史</td><td>「食」と大英帝国についてまとめる。</td></tr> <tr> <td>14</td><td>イギリス人はなぜ傘をささないのか？</td><td>ステイタス・シンボルとしての傘</td><td>傘以外のステイタス・シンボルについて調べる。</td></tr> <tr> <td>15</td><td>総括</td><td>小テストの実施と解説</td><td>全授業内容を復習してくる。</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	イギリスとは何か	国のなりたちと地理	「イギリス」の正式名称を調べてくる。	2	イギリス人のナショナル・アイデンティティ	連合王国、帝国としてのイギリス	ユニオン・ジャックの由来について調べてくる。	3	「イギリス」の歴史的形成過程	古代から現代までの領土の変遷	年表づくりをおこなう。	4	イギリス古代の歴史 ～ストーンヘンジの謎にせまる～	ケルト時代・ローマ時代・ゲルマン人の到来	異民族侵入の歴史を地図にまとめる。	5	バイユのタペストリの世界	七王国時代からノルマン朝時代まで	史料としての「バイユのタペストリ」から読み取れることをまとめる。	6	ウェールズの歴史（１）	イングランドとウェールズの関係史	プリンス・オブ・ウェールズという称号の意味について調べてくる。	7	ウェールズの歴史（２）	ウェールズ語復興運動	ウェールズ語話者数の推移を調べてくる。	8	ウェールズの歴史（３）	映画『ウェールズの山』に見る重層的アイデンティティ（中間テストの実施）	これまでの授業内容をまとめてくる。	9	サッカーの歴史	スポーツに見るイギリスのナショナル・アイデンティティ（中間テスト解説）	FIFA 誕生の歴史的経緯を調べてくる。	10	スコットランドの歴史（１）	スコットランド王権の特徴	スコットランドの王位継承の特徴をイングランドと比較しながら整理する。	11	スコットランドの歴史（２）	スコットランドとイングランドとの関係史	フランスの存在に注目しつつ、スコットランドとイングランドの関係史をまとめてくる。	12	スコットランドの歴史（３）	「帝国」「EU」のなかのスコットランド	国家だけでなく、帝国やEUといった枠のなかでスコットランドがもつ可能性について考えてくる。	13	紅茶文化はいかにして生まれたか？	食文化からみたイギリスの歴史	「食」と大英帝国についてまとめる。	14	イギリス人はなぜ傘をささないのか？	ステイタス・シンボルとしての傘	傘以外のステイタス・シンボルについて調べる。	15	総括	小テストの実施と解説	全授業内容を復習してくる。
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	イギリスとは何か	国のなりたちと地理	「イギリス」の正式名称を調べてくる。																																																																
2	イギリス人のナショナル・アイデンティティ	連合王国、帝国としてのイギリス	ユニオン・ジャックの由来について調べてくる。																																																																
3	「イギリス」の歴史的形成過程	古代から現代までの領土の変遷	年表づくりをおこなう。																																																																
4	イギリス古代の歴史 ～ストーンヘンジの謎にせまる～	ケルト時代・ローマ時代・ゲルマン人の到来	異民族侵入の歴史を地図にまとめる。																																																																
5	バイユのタペストリの世界	七王国時代からノルマン朝時代まで	史料としての「バイユのタペストリ」から読み取れることをまとめる。																																																																
6	ウェールズの歴史（１）	イングランドとウェールズの関係史	プリンス・オブ・ウェールズという称号の意味について調べてくる。																																																																
7	ウェールズの歴史（２）	ウェールズ語復興運動	ウェールズ語話者数の推移を調べてくる。																																																																
8	ウェールズの歴史（３）	映画『ウェールズの山』に見る重層的アイデンティティ（中間テストの実施）	これまでの授業内容をまとめてくる。																																																																
9	サッカーの歴史	スポーツに見るイギリスのナショナル・アイデンティティ（中間テスト解説）	FIFA 誕生の歴史的経緯を調べてくる。																																																																
10	スコットランドの歴史（１）	スコットランド王権の特徴	スコットランドの王位継承の特徴をイングランドと比較しながら整理する。																																																																
11	スコットランドの歴史（２）	スコットランドとイングランドとの関係史	フランスの存在に注目しつつ、スコットランドとイングランドの関係史をまとめてくる。																																																																
12	スコットランドの歴史（３）	「帝国」「EU」のなかのスコットランド	国家だけでなく、帝国やEUといった枠のなかでスコットランドがもつ可能性について考えてくる。																																																																
13	紅茶文化はいかにして生まれたか？	食文化からみたイギリスの歴史	「食」と大英帝国についてまとめる。																																																																
14	イギリス人はなぜ傘をささないのか？	ステイタス・シンボルとしての傘	傘以外のステイタス・シンボルについて調べる。																																																																
15	総括	小テストの実施と解説	全授業内容を復習してくる。																																																																
関連科目	ヨーロッパ史学																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	第 15 回目に実施する小テスト（80%）、中間テストおよび提出物（20%）を総合的に評価する。																																																																		
学生へのメッセージ	歴史学とは過去に起こった事件の年号や偉人の名前を暗記する学問ではありません。過去の出来事を通して、現代社会や未来についての思考力を養うためのものです。積極的に関連文献を読み、講義内容を批判的に摂取するよう心がけてください。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 4 階（林田研究室）																																																																		
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約 60 時間。 中間テストに関するフィードバックは第 9 回目、小テストに関するフィードバックは第 15 回目の授業のなかでおこなう。																																																																		

科目名	生涯学習概論	科目名（英文）	Lifelong Learning
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	橋本 孝成
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	高齢化社会の現代日本では、生涯にわたる学習の必要性が指摘され続けています。ここでは「生涯学習」の基本的な理論とその実践例を紹介し、これからの「生涯学習」のあり方を考えていきます。特に担当教官の専門とする歴史学習を取り上げ、市民への文化の提供の方法やその効果、問題を挙げていき、学芸員や各自治体の生涯学習担当としての知識と意識を身につけることを目的とします。また、各個人が「学ぶ」ことの意味を考えていくことも併せて講義します。
到達目標	生涯学習に関する基礎的な知識と意識を身につけることができます。また、受講生自身も生涯学習の心構えを持ち、常に疑問を持つことを意識づけます。
授業方法と留意点	配布プリントと板書による講義中心で授業を行います。一回は展示施設の見学を行う予定です。
科目学習の効果（資格）	学芸員資格などの必要単位となっていますが、自治体など市民に接する職業に就いた場合に対応の心構えの助けになるでしょう。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	生涯学習論とはなにか	本講義のねらいとその位置づけなど、講義を受けるための姿勢についてお話しします。	事前は必要ありませんが、事後に各自の「趣味」についてじっくり考えて下さい。
	2	社会教育と生涯学習の歴史 ①	現在の生涯学習の前提となる、社会教育の歴史と、生涯学習論の登場についてお話しします。	事前は必要ありませんが、事後に関連する歴史の見直しを。
	3	社会教育と生涯学習の歴史 ②	社会教育の歴史と、生涯学習論の登場について現状に繋げてお話しします。	事前に前回の授業の見直し、事後に近代日本歴史の復習。
	4	日本の生涯学習と方法、内容	日本の生涯学習とその形態、内容と問題点の現状についてお話しします。	事前に身の周りの「生涯学習」を考え、事後、近隣自治体などで実状を見ること。
	5	生涯学習と行政の仕組み	生涯学習における社会教育行政の役割とあり方についてお話しします。	事前に近隣自治体の生涯学習を確認し、事後、授業内容を踏まえて新聞やネットで行政の対応の確認。
	6	生涯各期の学習課題	人の各年代による学習・教育の特徴と課題についてお話しします。	事前に家族の生涯学習を顧みて、事後、自身やご両親、周囲の人の生涯学習状況を改めて考える。
	7	生涯学習と社会教育施設・公民館と図書館	社会教育施設の実態、特に公民館と図書館について概要をお話しします。	事前に周辺の社会教育施設を確認し、事後、その運営や実態をみる。
	8	なんのために学ぶのか	緒方洪庵と適塾を通じて「学ぶこと」の意味を考えます。（この講義は見学の日程の直前に行われます）	事前学習は必要ありませんが、直後に適塾の見学を予定していますので、事後の復習を。
	9	学外見学	重要文化財・適塾の見学。日程については授業の中で決定します。	事前に前回の授業の復習を、事後に見学先の建物と先人について考えること。
	10	生涯学習と社会教育施設・博物館	博物館の役割と組織、問題点とその実態についてお話しします。	事前にこれまで訪れた博物館のことを思い出し、事後に近隣の博物館の見学。
	11	生涯学習と文化財事業	生涯学習における歴史学習の実状と問題点、位置づけについてお話しします。	事前に新聞の文化財報道などを読んでおき、事後には周辺の自治体主催事業について再確認。
	12	人と「歴史」の関係	身近な「歴史」に関わることの効果とその特徴についてお話しします。	事前に自身の歴史を振り返り、事後、周囲の歴史についてもう一度考え直す。
	13	それぞれの「生涯学習」	「学ぶ」ことの意味や「知」との向き合い方をお話しします。	事前に自身の趣味についてもう一度考え、事後、各自の趣味に沿った活動を行う。
	14	反・反知性主義	ネットを中心に蔓延する「反知性主義」がいかに生涯学習にとってマイナスになるのかをお話しします。	事前に各自がネットで行う SNS について振り返り、事後、社会にある意見について見直す。
	15	これからの生涯学習と地域	講義内容を振り返りながら、生涯学習のあり方とその支えについてお話しし、受講生各自にとっての生涯学習を考えます。	事前に、これまでの授業内容を大枠で復習し、事後は試験に向けて課題を行う。

関連科目	教育系科目群			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	生涯学習概論	佐藤晴雄	学陽書房
	2	司書・学芸員をめざす人への生涯学習概論	大堀哲監修	樹村房
	3	ことば・ロジック・デザイン	妻木宣嗣	清文堂
評価方法 (基準)	定期試験 100% 配布プリントと自筆のノートの持ち込み可です。ただし、配布プリントのコピーは許可します。 また、授業ごとに質問カードを配布します。提出は必須ではありませんが、次回授業の回答に採用された場合は平常点（1点ないし2点）を付与します。			
学生への メッセージ	「生涯学習論」ですが、これは学習を与えるだけの意味ではなく、相互に「学習」していくことも意味します。すべての人が生涯、なにを「学習」するのか、「学習」の意味は何か、を少しでも考えて知っていただくことを願います。また、試験は論述が中心となります。担当者にもわかるように論述してください。相手になにかを伝えるという訓練にもなります。			
担当者の 研究室等	7号館2階非常勤講師室			
備考	事前事後学習の総時間の目安は60時間です。これには授業中に推奨する各自の映画鑑賞や音楽鑑賞、読書、課題の新書書評の時間も含まれます。質問などは原則授業時間前後です。非常勤講師室か教室で受け付けます。			

科目名	生涯学習論	科目名（英文）	Lifelong Learning
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	橋本 孝成
ディプロマポリシー (DP)	DP2◎		
科目ナンバリング	LDL2189a0		

授業概要・目的	高齢化社会の現代日本では、生涯にわたる学習の必要性が指摘され続けています。ここでは「生涯学習」の基本的な理論とその実践例を紹介し、これからの「生涯学習」のあり方を考えていきます。特に担当教官の専門とする歴史学習を取り上げ、市民への文化の提供の方法やその効果、問題を挙げていき、学芸員や各自治体の生涯学習担当としての知識と意識を身につけることを目的とします。また、各個人が「学ぶ」ことの意味を考えていくことも併せて講義します。
到達目標	生涯学習に関する基礎的な知識と意識を身につけることができます。また、受講生自身も生涯学習の心構えを持ち、常に疑問を持つことを意識づけます。
授業方法と留意点	配布プリントと板書による講義中心で授業を行います。一回は展示施設の見学を行う予定です。
科目学習の効果（資格）	学芸員資格などの必要単位となっていますが、自治体など市民に接する職業に就いた場合に対応の心構えの助けになるでしょう。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	生涯学習論とはなにか	本講義のねらいとその位置づけなど、講義を受けるための姿勢についてお話しします。	事前は必要ありませんが、事後に各自の「趣味」についてじっくり考えて下さい。
2	社会教育と生涯学習の歴史 ①	現在の生涯学習の前提となる、社会教育の歴史と、生涯学習論の登場についてお話しします。	事前は必要ありませんが、事後に関連する歴史の見直しを。
3	社会教育と生涯学習の歴史 ②	社会教育の歴史と、生涯学習論の登場について現状に繋げてお話しします。	事前に前回の授業の見直し、事後に近代日本歴史の復習。
4	日本の生涯学習と方法、内容	日本の生涯学習とその形態、内容と問題点の現状についてお話しします。	事前に身の周りの「生涯学習」を考え、事後、近隣自治体などで実状を見ること。
5	生涯学習と行政の仕組み	生涯学習における社会教育行政の役割とあり方についてお話しします。	事前に近隣自治体の生涯学習を確認し、事後、授業内容を踏まえて新聞やネットで行政の対応の確認。
6	生涯各期の学習課題	人の各年代による学習・教育の特徴と課題についてお話しします。	事前に家族の生涯学習を顧みて、事後、自身やご両親、周囲の人の生涯学習状況を改めて考える。
7	生涯学習と社会教育施設・公民館と図書館	社会教育施設の実態、特に公民館と図書館について概要をお話しします。	事前に周辺の社会教育施設を確認し、事後、その運営や実態をみる。
8	なんのために学ぶのか	緒方洪庵と適塾を通じて「学ぶこと」の意味を考えます。（この講義は見学の日程の直前に行われます）	事前学習は必要ありませんが、直後に適塾の見学を予定していますので、事後の復習を。
9	学外見学	重要文化財・適塾の見学。日程については授業の中で決定します。	事前に前回の授業の復習を、事後に見学先の建物と先人について考えること。
10	生涯学習と社会教育施設・博物館	博物館の役割と組織、問題点とその実態についてお話しします。	事前にこれまで訪れた博物館のことを思い出し、事後に近隣の博物館の見学。
11	生涯学習と文化財事業	生涯学習における歴史学習の実状と問題点、位置づけについてお話しします。	事前に新聞の文化財報道などを読んでおき、事後には周辺の自治体主催事業について再確認。
12	人と「歴史」の関係	身近な「歴史」に関わることの効果とその特徴についてお話しします。	事前に自身の歴史を振り返り、事後、周囲の歴史についてもう一度考え直す。
13	それぞれの「生涯学習」	「学ぶ」ことの意味や「知」との向き合い方をお話しします。	事前に自身の趣味についてもう一度考え、事後、各自の趣味に沿った活動を行う。
14	反・反知性主義	ネットを中心に蔓延する「反知性主義」がいかに生涯学習にとってマイナスになるのかをお話しします。	事前に各自がネットで行う SNS について振り返り、事後、社会にある意見について見直す。
15	これからの生涯学習と地域	講義内容を振り返りながら、生涯学習のあり方とその支えについてお話しし、受講生各自にとっての生涯学習を考えます。	事前に、これまでの授業内容を大枠で復習し、事後は試験に向けて課題を行う。

関連科目	教育系科目群			
教科書				
	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
参考書				
	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	生涯学習概論	佐藤晴雄	学陽書房
	2	司書・学芸員をめざす人への生涯学習概論	大堀哲監修	樹村房
	3	ことば・ロジック・デザイン	妻木宣嗣	清文堂
評価方法 (基準)	定期試験 100% 配布プリントと自筆のノートの持ち込み可です。ただし、配布プリントのコピーは許可します。 また、授業ごとに質問カードを配布します。提出は必須ではありませんが、次回授業の回答に採用された場合は平常点（1点ないし2点）を付与します。			
学生への メッセージ	「生涯学習論」ですが、これは学習を与えるだけの意味ではなく、相互に「学習」していくことも意味します。すべての人が生涯、なにを「学習」するのか、「学習」の意味は何か、を少しでも考えて知っていただくことを願います。また、試験は論述が中心となります。担当者にもわかるように論述してください。相手になにかを伝えるという訓練にもなります。			
担当者の 研究室等	7号館2階非常勤講師室			
備考	事前事後学習の総時間の目安は60時間です。これには授業中に推奨する各自の映画鑑賞や音楽鑑賞、読書、課題の新書書評の時間も含まれます。 質問などは原則授業時間前後です。非常勤講師室か教室で受け付けます。			

科目名	上級検定インドネシア語	科目名 (英文)	Practice for Advanced Test for Indonesian Proficiency
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	山口 玲子
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3139e0		

授業概要・目的	インドネシア語技能検定試験 C 級の過去問題に取り組み、C 級レベルの語彙や文法を学習する。			
到達目標	インドネシア語技能検定試験 C 級レベルの語彙や文法事項の知識を得ることができる。			
授業方法と留意点	本授業では、これまでに行われてきたインドネシア語技能検定試験の過去問題を中心に、特に語彙と文法に重点をおき、授業を進める。また、適宜小テストを行う。辞書は必ず携帯すること。			
科目学習の効果（資格）	インドネシア語技能検定試験			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	練習問題（1）	過去問を解く	過去問で間違えた部分を直すこと。
	2	練習問題（1）の続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明	新出単語を確認しておくこと。 新出単語の定着をはかること。
	3	練習問題（1）の続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明	新出単語を確認しておくこと。 新出単語の定着をはかること。
	4	練習問題（2）	過去問を解く	練習問題（1）を復習しておくこと。 過去問で間違えた部分を直すこと。
	5	練習問題（2）の続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明	新出単語を確認しておくこと。 新出単語の定着をはかること。
	6	練習問題（2）の続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明	新出単語を確認しておくこと。 新出単語の定着をはかること。
	7	練習問題（3）	過去問を解く	練習問題（2）を復習しておくこと。 過去問で間違えた部分を直すこと。
	8	練習問題（3）の続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明	新出単語を確認しておくこと。 新出単語の定着をはかること。
	9	練習問題（3）の続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明	新出単語を確認しておくこと。 新出単語の定着をはかること。
	10	練習問題（4）	過去問を解く	練習問題（3）を復習しておくこと。 過去問で間違えた部分を直すこと。
	11	練習問題（4）の続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明	新出単語を確認しておくこと。 新出単語の定着をはかること。
	12	練習問題（4）の続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明	新出単語を確認しておくこと。 新出単語の定着をはかること。
	13	練習問題（5）	過去問を解く	練習問題（4）を復習しておくこと。 過去問で間違えた部分を直すこと。
	14	練習問題（5）の続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明	新出単語を確認しておくこと。 新出単語の定着をはかること。
	15	練習問題（5）の続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明	新出単語を確認しておくこと。 新出単語の定着をはかること。
関連科目	専攻言語インドネシア語科目のすべて			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法（基準）	授業への積極的参加度合 30%、小テスト 50%、インドネシア語技能検定試験の結果 20%			
学生へのメッセージ	検定試験合格を目指して、授業には積極的に参加しましょう。			
担当者の研究室等	7 号館 2 階（非常勤講師室）			
備考	予習・復習は「授業計画」の「事前・事後学習課題」に従い 15 時間以上行うこと。 授業時間外での質問等は非常勤講師室にてお昼休みに対応する。なお、適宜行う小テスト終了後には解説を行う。			

科目名	初級検定インドネシア語	科目名 (英文)	Practice for Elementary Test for Indonesian Proficiency
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	山口 真佐夫
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1122e0		

授業概要・目的	インドネシア語技能検定試験 E 級の過去問題に取り組み、E 級レベルの語彙や文法を学習する。																																																																		
到達目標	インドネシア語技能検定試験 E 級レベルの語彙や文法事項の知識を得ることができる。																																																																		
授業方法と留意点	本授業では、これまでに行われてきたインドネシア語技能検定試験の過去問題を中心に、特に語彙と文法に重点をおき、授業を進める。また、適宜小テストを行う。辞書は必ず携帯すること。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	インドネシア語技能検定試験																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>練習問題 (1)</td><td>過去問を解く</td><td>過去問で間違えた部分を直す</td></tr> <tr> <td>2</td><td>問題中の語彙の学習</td><td>内容の把握、語彙についての補足説明</td><td>次週の予習および新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること</td></tr> <tr> <td>3</td><td>問題中の文法、作文の学習</td><td>内容の把握、文法、作文についての補足説明</td><td>次週の予習および新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること</td></tr> <tr> <td>4</td><td>練習問題 (2)</td><td>過去問を解く</td><td>過去問で間違えた部分を直し、次週の予習および新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること</td></tr> <tr> <td>5</td><td>問題中の語彙の学習</td><td>内容の把握、語彙についての補足説明</td><td>次週の予習および新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること</td></tr> <tr> <td>6</td><td>問題中の文法、作文の学習</td><td>内容の把握、文法、作文についての補足説明</td><td>次週の予習および新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること</td></tr> <tr> <td>7</td><td>練習問題 (3)</td><td>過去問を解く</td><td>過去問で間違えた部分を直し、次週の予習および新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること</td></tr> <tr> <td>8</td><td>問題中の語彙の学習</td><td>内容の把握、語彙についての補足説明</td><td>次週の予習および新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること</td></tr> <tr> <td>9</td><td>問題中の文法、作文の学習</td><td>内容の把握、文法、作文についての補足説明</td><td>次週の予習および新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること</td></tr> <tr> <td>10</td><td>練習問題 (4)</td><td>過去問を解く</td><td>過去問で間違えた部分を直し、次週の予習および新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること</td></tr> <tr> <td>11</td><td>問題中の語彙の学習</td><td>内容の把握、語彙についての補足説明</td><td>次週の予習および新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること</td></tr> <tr> <td>12</td><td>問題中の文法、作文の学習</td><td>内容の把握、文法、作文についての補足説明</td><td>次週の予習および新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること</td></tr> <tr> <td>13</td><td>練習問題 (5)</td><td>過去問を解く</td><td>過去問で間違えた部分を直し、次週の予習および新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること</td></tr> <tr> <td>14</td><td>問題中の語彙の学習</td><td>内容の把握、語彙についての補足説明</td><td>次週の予習および新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること</td></tr> <tr> <td>15</td><td>問題中の文法、作文の学習</td><td>内容の把握、文法、作文についての補足説明</td><td>新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	練習問題 (1)	過去問を解く	過去問で間違えた部分を直す	2	問題中の語彙の学習	内容の把握、語彙についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること	3	問題中の文法、作文の学習	内容の把握、文法、作文についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること	4	練習問題 (2)	過去問を解く	過去問で間違えた部分を直し、次週の予習および新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること	5	問題中の語彙の学習	内容の把握、語彙についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること	6	問題中の文法、作文の学習	内容の把握、文法、作文についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること	7	練習問題 (3)	過去問を解く	過去問で間違えた部分を直し、次週の予習および新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること	8	問題中の語彙の学習	内容の把握、語彙についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること	9	問題中の文法、作文の学習	内容の把握、文法、作文についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること	10	練習問題 (4)	過去問を解く	過去問で間違えた部分を直し、次週の予習および新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること	11	問題中の語彙の学習	内容の把握、語彙についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること	12	問題中の文法、作文の学習	内容の把握、文法、作文についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること	13	練習問題 (5)	過去問を解く	過去問で間違えた部分を直し、次週の予習および新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること	14	問題中の語彙の学習	内容の把握、語彙についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること	15	問題中の文法、作文の学習	内容の把握、文法、作文についての補足説明	新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	練習問題 (1)	過去問を解く	過去問で間違えた部分を直す																																																																
2	問題中の語彙の学習	内容の把握、語彙についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること																																																																
3	問題中の文法、作文の学習	内容の把握、文法、作文についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること																																																																
4	練習問題 (2)	過去問を解く	過去問で間違えた部分を直し、次週の予習および新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること																																																																
5	問題中の語彙の学習	内容の把握、語彙についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること																																																																
6	問題中の文法、作文の学習	内容の把握、文法、作文についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること																																																																
7	練習問題 (3)	過去問を解く	過去問で間違えた部分を直し、次週の予習および新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること																																																																
8	問題中の語彙の学習	内容の把握、語彙についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること																																																																
9	問題中の文法、作文の学習	内容の把握、文法、作文についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること																																																																
10	練習問題 (4)	過去問を解く	過去問で間違えた部分を直し、次週の予習および新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること																																																																
11	問題中の語彙の学習	内容の把握、語彙についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること																																																																
12	問題中の文法、作文の学習	内容の把握、文法、作文についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること																																																																
13	練習問題 (5)	過去問を解く	過去問で間違えた部分を直し、次週の予習および新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること																																																																
14	問題中の語彙の学習	内容の把握、語彙についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること																																																																
15	問題中の文法、作文の学習	内容の把握、文法、作文についての補足説明	新出単語の復習には十分時間をかけ、学習効果を上げるように努めること																																																																
関連科目	専攻言語インドネシア語科目のすべて																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	授業への積極的参加度合 30%、小テスト 50%、インドネシア語技能検定試験の結果 20%																																																																		
学生へのメッセージ	検定試験合格を目指して、授業には積極的に参加しましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 5 階 (山口室)																																																																		
備考	予習・復習は「授業計画」の「事前・事後学習課題」に従い 15 時間以上行うこと。																																																																		

科目名	初年次ゼミナール	科目名 (英文)	First Year Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	浅野 英一
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL1272a0		

授業概要・目的	【概要】大学で学ぶための基本的な能力を身につける。 【目的】①大学を知る、②ゼミの仲間を互いに理解し合い、コミュニケーション能力を高める、③日本語の「読む」「書く」能力を向上させる、④社会に関心をもつ。																		
到達目標	摂南大学で学ぶ意味を理解する。大学生が守るルールを知る。論理的な文章を読み、書くことができる。最近のニュースについて話ができる。																		
授業方法と留意点	【授業方法】1 クラスあたり 10 数名の編成で、教材に沿って、発表や意見交換を交えて進める。 また、「漢字テスト」および「時事問題テスト」(プリントを配布する)を通して、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。 【留意点】この授業を単位取得していなければ、2 年次に進級できない。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容】 第1回目：授業の目的、自己紹介 第2回目：履修登録・単位取得・GPAについて、試験について、シラバスについて 第3回目以降：内容は前後することがある。 大学生活・大学生の守るべきルールについて 摂南大学を知る（沿革、教育の特色、さまざまな施設） 3つのポリシーについて知る SmartSPI ノートの取り方 図書館の活用 メディア・リテラシー（本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点など） レポートの書き方（パソコンによる文章作成） 環境マネジメントについて知る 大学生活の目標 海外プログラムの説明 その他 【事前・事後学習課題】 出された課題に取り組む 漢字・時事問題テストの予習・復習をする レポートを作成する																		
関連科目	1～4年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>First Year Study Guide</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	First Year Study Guide			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	First Year Study Guide																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業および課題への取り組み（100%）																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	各研究室（7号館3～5階）																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	初年次ゼミナール	科目名（英文）	First Year Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	天野 貴史
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL1272a0		

授業概要・目的	【概要】大学で学ぶための基本的な能力を身につける。 【目的】①大学を知る、②ゼミの仲間を互いに理解し合い、コミュニケーション能力を高める、③日本語の「読む」「書く」能力を向上させる、④社会に関心をもつ。																		
到達目標	摂南大学で学ぶ意味を理解する。大学生が守るルールを知る。論理的な文章を読み、書くことができる。最近のニュースについて話ができる。																		
授業方法と留意点	【授業方法】1 クラスあたり 10 数名の編成で、教材に沿って、発表や意見交換を交えて進める。 また、「漢字テスト」および「時事問題テスト」（プリントを配布する）を通して、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。 【留意点】この授業を単位取得していなければ、2 年次に進級できない。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容】 第1回目：授業の目的、自己紹介 第2回目：履修登録・単位取得・GPA について、試験について、シラバスについて 第3回目以降：内容は前後することがある。 大学生活・大学生の守るべきルールについて 摂南大学を知る（沿革、教育の特色、さまざまな施設） 3 つのポリシーについて知る SmartSPI ノートの取り方 図書館の活用 メディア・リテラシー（本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点など） レポートの書き方（パソコンによる文章作成） 環境マネジメントについて知る 大学生活の目標 海外プログラムの説明 その他 【事前・事後学習課題】 出された課題に取り組む 漢字・時事問題テストの予習・復習をする レポートを作成する																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>First Year Study Guide</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	First Year Study Guide			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	First Year Study Guide																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業および課題への取り組み（100%）																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	各研究室（7 号館 3～5 階）																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	初年次ゼミナール	科目名（英文）	First Year Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	有馬 善一
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL1272a0		

授業概要・目的	【概要】大学で学ぶための基本的な能力を身につける。 【目的】①大学を知る、②ゼミの仲間を互いに理解し合い、コミュニケーション能力を高める、③日本語の「読む」「書く」能力を向上させる、④社会に関心をもつ。																		
到達目標	摂南大学で学ぶ意味を理解する。大学生が守るルールを知る。論理的な文章を読み、書くことができる。最近のニュースについて話ができる。																		
授業方法と留意点	【授業方法】1 クラスあたり 10 数名の編成で、教材に沿って、発表や意見交換を交えて進める。 また、「漢字テスト」および「時事問題テスト」（プリントを配布する）を通して、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。 【留意点】この授業を単位取得していなければ、2 年次に進級できない。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容】 第1回目：授業の目的、自己紹介 第2回目：履修登録・単位取得・GPA について、試験について、シラバスについて 第3回目以降：内容は前後することがある。 大学生活・大学生の守るべきルールについて 摂南大学を知る（沿革、教育の特色、さまざまな施設） 3 つのポリシーについて知る SmartSPI ノートの取り方 図書館の活用 メディア・リテラシー（本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点など） レポートの書き方（パソコンによる文章作成） 環境マネジメントについて知る 大学生活の目標 海外プログラムの説明 その他 【事前・事後学習課題】 出された課題に取り組む 漢字・時事問題テストの予習・復習をする レポートを作成する																		
関連科目	1 ～ 4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>First Year Study Guide</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	First Year Study Guide			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	First Year Study Guide																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業および課題への取り組み（100%）																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	各研究室（7 号館 3 ～ 5 階）																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	初年次ゼミナール	科目名（英文）	First Year Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	安達 直樹
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL1272a0		

授業概要・目的	【概要】大学で学ぶための基本的な能力を身につける。 【目的】①大学を知る、②ゼミの仲間を互いに理解し合い、コミュニケーション能力を高める、③日本語の「読む」「書く」能力を向上させる、④社会に関心をもつ。																		
到達目標	摂南大学で学ぶ意味を理解する。大学生が守るルールを知る。論理的な文章を読み、書くことができる。最近のニュースについて話ができる。																		
授業方法と留意点	【授業方法】1 クラスあたり 10 数名の編成で、教材に沿って、発表や意見交換を交えて進める。 また、「漢字テスト」および「時事問題テスト」（プリントを配布する）を通して、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。 【留意点】この授業を単位取得していなければ、2 年次に進級できない。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容】 第1回目：授業の目的、自己紹介 第2回目：履修登録・単位取得・GPA について、試験について、シラバスについて 第3回目以降：内容は前後することがある。 大学生活・大学生の守るべきルールについて 摂南大学を知る（沿革、教育の特色、さまざまな施設） 3 つのポリシーについて知る SmartSPI ノートの取り方 図書館の活用 メディア・リテラシー（本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点など） レポートの書き方（パソコンによる文章作成） 環境マネジメントについて知る 大学生活の目標 海外プログラムの説明 その他 【事前・事後学習課題】 出された課題に取り組む 漢字・時事問題テストの予習・復習をする レポートを作成する																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>First Year Study Guide</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	First Year Study Guide			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	First Year Study Guide																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業および課題への取り組み（100%）																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	各研究室（7 号館 3～5 階）																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	初年次ゼミナール	科目名（英文）	First Year Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	皆本 智美
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL1272a0		

授業概要・目的	【概要】大学で学ぶための基本的な能力を身につける。 【目的】①大学を知る、②ゼミの仲間を互いに理解し合い、コミュニケーション能力を高める、③日本語の「読む」「書く」能力を向上させる、④社会に関心をもつ。																		
到達目標	摂南大学で学ぶ意味を理解する。大学生が守るルールを知る。論理的な文章を読み、書くことができる。最近のニュースについて話ができる。																		
授業方法と留意点	【授業方法】1 クラスあたり 10 数名の編成で、教材に沿って、発表や意見交換を交えて進める。 また、「漢字テスト」および「時事問題テスト」（プリントを配布する）を通して、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。 【留意点】この授業を単位取得していなければ、2 年次に進級できない。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容】 第1回目：授業の目的、自己紹介 第2回目：履修登録・単位取得・GPA について、試験について、シラバスについて 第3回目以降：内容は前後することがある。 大学生活・大学生の守るべきルールについて 摂南大学を知る（沿革、教育の特色、さまざまな施設） 3 つのポリシーについて知る SmartSPI ノートの取り方 図書館の活用 メディア・リテラシー（本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点など） レポートの書き方（パソコンによる文章作成） 環境マネジメントについて知る 大学生活の目標 海外プログラムの説明 その他 【事前・事後学習課題】 出された課題に取り組む 漢字・時事問題テストの予習・復習をする レポートを作成する																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>First Year Study Guide</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	First Year Study Guide			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	First Year Study Guide																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業および課題への取り組み（100%）																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	各研究室（7 号館 3～5 階）																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	初年次ゼミナール	科目名（英文）	First Year Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	中島 直嗣
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL1272a0		

授業概要・目的	【概要】大学で学ぶための基本的な能力を身につける。 【目的】①大学を知る、②ゼミの仲間を互いに理解し合い、コミュニケーション能力を高める、③日本語の「読む」「書く」能力を向上させる、④社会に関心をもつ。																		
到達目標	摂南大学で学ぶ意味を理解する。大学生が守るルールを知る。論理的な文章を読み、書くことができる。最近のニュースについて話ができる。																		
授業方法と留意点	【授業方法】1 クラスあたり 10 数名の編成で、教材に沿って、発表や意見交換を交えて進める。 また、「漢字テスト」および「時事問題テスト」（プリントを配布する）を通して、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。 【留意点】この授業を単位取得していなければ、2 年次に進級できない。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容】 第1回目：授業の目的、自己紹介 第2回目：履修登録・単位取得・GPA について、試験について、シラバスについて 第3回目以降：内容は前後することがある。 大学生活・大学生の守るべきルールについて 摂南大学を知る（沿革、教育の特色、さまざまな施設） 3 つのポリシーについて知る SmartSPI ノートの取り方 図書館の活用 メディア・リテラシー（本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点など） レポートの書き方（パソコンによる文章作成） 環境マネジメントについて知る 大学生活の目標 海外プログラムの説明 その他 【事前・事後学習課題】 出された課題に取り組む 漢字・時事問題テストの予習・復習をする レポートを作成する																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>First Year Study Guide</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	First Year Study Guide			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	First Year Study Guide																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業および課題への取り組み（100%）																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	各研究室（7 号館 3～5 階）																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	初年次ゼミナール	科目名（英文）	First Year Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	杉山 博昭
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL1272a0		

授業概要・目的	【概要】大学で学ぶための基本的な能力を身につける。 【目的】①大学を知る、②ゼミの仲間を互いに理解し合い、コミュニケーション能力を高める、③日本語の「読む」「書く」能力を向上させる、④社会に関心をもつ。																		
到達目標	摂南大学で学ぶ意味を理解する。大学生が守るルールを知る。論理的な文章を読み、書くことができる。最近のニュースについて話ができる。																		
授業方法と留意点	【授業方法】1 クラスあたり 10 数名の編成で、教材に沿って、発表や意見交換を交えて進める。 また、「漢字テスト」および「時事問題テスト」（プリントを配布する）を通して、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。 【留意点】この授業を単位取得していなければ、2 年次に進級できない。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容】 第1回目：授業の目的、自己紹介 第2回目：履修登録・単位取得・GPA について、試験について、シラバスについて 第3回目以降：内容は前後することがある。 大学生活・大学生の守るべきルールについて 摂南大学を知る（沿革、教育の特色、さまざまな施設） 3 つのポリシーについて知る SmartSPI ノートの取り方 図書館の活用 メディア・リテラシー（本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点など） レポートの書き方（パソコンによる文章作成） 環境マネジメントについて知る 大学生活の目標 海外プログラムの説明 その他 【事前・事後学習課題】 出された課題に取り組む 漢字・時事問題テストの予習・復習をする レポートを作成する																		
関連科目	1 ～ 4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>First Year Study Guide</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	First Year Study Guide			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	First Year Study Guide																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業および課題への取り組み（100%）																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	各研究室（7 号館 3 ～ 5 階）																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	初年次ゼミナール	科目名（英文）	First Year Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	藤井 嘉祥
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL1272a0		

授業概要・目的	【概要】大学で学ぶための基本的な能力を身につける。 【目的】①大学を知る、②ゼミの仲間を互いに理解し合い、コミュニケーション能力を高める、③日本語の「読む」「書く」能力を向上させる、④社会に関心をもつ。																		
到達目標	摂南大学で学ぶ意味を理解する。大学生が守るルールを知る。論理的な文章を読み、書くことができる。最近のニュースについて話ができる。																		
授業方法と留意点	【授業方法】1 クラスあたり 10 数名の編成で、教材に沿って、発表や意見交換を交えて進める。 また、「漢字テスト」および「時事問題テスト」（プリントを配布する）を通して、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。 【留意点】この授業を単位取得していなければ、2 年次に進級できない。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容】 第1回目：授業の目的、自己紹介 第2回目：履修登録・単位取得・GPA について、試験について、シラバスについて 第3回目以降：内容は前後することがある。 大学生活・大学生の守るべきルールについて 摂南大学を知る（沿革、教育の特色、さまざまな施設） 3 つのポリシーについて知る SmartSPI ノートの取り方 図書館の活用 メディア・リテラシー（本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点など） レポートの書き方（パソコンによる文章作成） 環境マネジメントについて知る 大学生活の目標 海外プログラムの説明 その他 【事前・事後学習課題】 出された課題に取り組む 漢字・時事問題テストの予習・復習をする レポートを作成する																		
関連科目	1 ～ 4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>First Year Study Guide</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	First Year Study Guide			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	First Year Study Guide																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業および課題への取り組み（100%）																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	各研究室（7 号館 3 ～ 5 階）																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	初年次ゼミナール	科目名 (英文)	First Year Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	西川 真由美
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL1272a0		

授業概要・目的	【概要】大学で学ぶための基本的な能力を身につける。 【目的】①大学を知る、②ゼミの仲間を互いに理解し合い、コミュニケーション能力を高める、③日本語の「読む」「書く」能力を向上させる、④社会に関心をもつ。																		
到達目標	摂南大学で学ぶ意味を理解する。大学生が守るルールを知る。論理的な文章を読み、書くことができる。最近のニュースについて話ができる。																		
授業方法と留意点	【授業方法】1 クラスあたり 10 数名の編成で、教材に沿って、発表や意見交換を交えて進める。 また、「漢字テスト」および「時事問題テスト」(プリントを配布する)を通して、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。 【留意点】この授業を単位取得していなければ、2 年次に進級できない。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容】 第1回目：授業の目的、自己紹介 第2回目：履修登録・単位取得・GPA について、試験について、シラバスについて 第3回目以降：内容は前後することがある。 大学生活・大学生の守るべきルールについて 摂南大学を知る (沿革、教育の特色、さまざまな施設) 3 つのポリシーについて知る SmartSPI ノートの取り方 図書館の活用 メディア・リテラシー (本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点など) レポートの書き方 (パソコンによる文章作成) 環境マネジメントについて知る 大学生活の目標 海外プログラムの説明 その他 【事前・事後学習課題】 出された課題に取り組む 漢字・時事問題テストの予習・復習をする レポートを作成する																		
関連科目	1 ～ 4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>First Year Study Guide</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	First Year Study Guide			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	First Year Study Guide																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	授業および課題への取り組み (100%)																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	各研究室 (7 号館 3 ～ 5 階)																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	初年次ゼミナール	科目名（英文）	First Year Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	吉村 征洋
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL1272a0		

授業概要・目的	【概要】大学で学ぶための基本的な能力を身につける。 【目的】①大学を知る、②ゼミの仲間を互いに理解し合い、コミュニケーション能力を高める、③日本語の「読む」「書く」能力を向上させる、④社会に関心をもつ。																		
到達目標	摂南大学で学ぶ意味を理解する。大学生が守るルールを知る。論理的な文章を読み、書くことができる。最近のニュースについて話ができる。																		
授業方法と留意点	【授業方法】1 クラスあたり 10 数名の編成で、教材に沿って、発表や意見交換を交えて進める。 また、「漢字テスト」および「時事問題テスト」（プリントを配布する）を通して、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。 【留意点】この授業を単位取得していなければ、2 年次に進級できない。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容】 第1回目：授業の目的、自己紹介 第2回目：履修登録・単位取得・GPA について、試験について、シラバスについて 第3回目以降：内容は前後することがある。 大学生活・大学生の守るべきルールについて 摂南大学を知る（沿革、教育の特色、さまざまな施設） 3 つのポリシーについて知る SmartSPI ノートの取り方 図書館の活用 メディア・リテラシー（本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点など） レポートの書き方（パソコンによる文章作成） 環境マネジメントについて知る 大学生活の目標 海外プログラムの説明 その他 【事前・事後学習課題】 出された課題に取り組む 漢字・時事問題テストの予習・復習をする レポートを作成する																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>First Year Study Guide</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	First Year Study Guide			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	First Year Study Guide																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業および課題への取り組み（100%）																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	各研究室（7 号館 3～5 階）																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	初年次ゼミナール	科目名 (英文)	First Year Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	小都 晶子
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL1272a0		

授業概要・目的	【概要】大学で学ぶための基本的な能力を身につける。 【目的】①大学を知る、②ゼミの仲間を互いに理解し合い、コミュニケーション能力を高める、③日本語の「読む」「書く」能力を向上させる、④社会に関心をもつ。																		
到達目標	摂南大学で学ぶ意味を理解する。大学生が守るルールを知る。論理的な文章を読み、書くことができる。最近のニュースについて話ができる。																		
授業方法と留意点	【授業方法】1 クラスあたり 10 数名の編成で、教材に沿って、発表や意見交換を交えて進める。 また、「漢字テスト」および「時事問題テスト」(プリントを配布する)を通して、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。 【留意点】この授業を単位取得していなければ、2 年次に進級できない。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容】 第1回目：授業の目的、自己紹介 第2回目：履修登録・単位取得・GPAについて、試験について、シラバスについて 第3回目以降：内容は前後することがある。 大学生活・大学生の守るべきルールについて 摂南大学を知る（沿革、教育の特色、さまざまな施設） 3 つのポリシーについて知る SmartSPI ノートの取り方 図書館の活用 メディア・リテラシー（本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点など） レポートの書き方（パソコンによる文章作成） 環境マネジメントについて知る 大学生活の目標 海外プログラムの説明 その他 【事前・事後学習課題】 出された課題に取り組む 漢字・時事問題テストの予習・復習をする レポートを作成する																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>First Year Study Guide</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	First Year Study Guide			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	First Year Study Guide																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	授業および課題への取り組み (100%)																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	各研究室 (7 号館 3～5 階)																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	初年次ゼミナール	科目名（英文）	First Year Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	藤原 崇
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL1272a0		

授業概要・目的	【概要】大学で学ぶための基本的な能力を身につける。 【目的】①大学を知る、②ゼミの仲間を互いに理解し合い、コミュニケーション能力を高める、③日本語の「読む」「書く」能力を向上させる、④社会に関心をもつ。																		
到達目標	摂南大学で学ぶ意味を理解する。大学生が守るルールを知る。論理的な文章を読み、書くことができる。最近のニュースについて話ができる。																		
授業方法と留意点	【授業方法】1 クラスあたり 10 数名の編成で、教材に沿って、発表や意見交換を交えて進める。 また、「漢字テスト」および「時事問題テスト」（プリントを配布する）を通して、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。 【留意点】この授業を単位取得していなければ、2 年次に進級できない。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容】 第1回目：授業の目的、自己紹介 第2回目：履修登録・単位取得・GPA について、試験について、シラバスについて 第3回目以降：内容は前後することがある。 大学生活・大学生の守るべきルールについて 摂南大学を知る（沿革、教育の特色、さまざまな施設） 3 つのポリシーについて知る SmartSPI ノートの取り方 図書館の活用 メディア・リテラシー（本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点など） レポートの書き方（パソコンによる文章作成） 環境マネジメントについて知る 大学生活の目標 海外プログラムの説明 その他 【事前・事後学習課題】 出された課題に取り組む 漢字・時事問題テストの予習・復習をする レポートを作成する																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>First Year Study Guide</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	First Year Study Guide			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	First Year Study Guide																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業および課題への取り組み（100%）																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	各研究室（7 号館 3～5 階）																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	初年次ゼミナール	科目名（英文）	First Year Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	高橋 真理子
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL1272a0		

授業概要・目的	【概要】大学で学ぶための基本的な能力を身につける。 【目的】①大学を知る、②ゼミの仲間を互いに理解し合い、コミュニケーション能力を高める、③日本語の「読む」「書く」能力を向上させる、④社会に関心をもつ。																		
到達目標	摂南大学で学ぶ意味を理解する。大学生が守るルールを知る。論理的な文章を読み、書くことができる。最近のニュースについて話ができる。																		
授業方法と留意点	【授業方法】1 クラスあたり 10 数名の編成で、教材に沿って、発表や意見交換を交えて進める。 また、「漢字テスト」および「時事問題テスト」（プリントを配布する）を通して、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。 【留意点】この授業を単位取得していなければ、2 年次に進級できない。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容】 第1回目：授業の目的、自己紹介 第2回目：履修登録・単位取得・GPA について、試験について、シラバスについて 第3回目以降：内容は前後することがある。 大学生活・大学生の守るべきルールについて 摂南大学を知る（沿革、教育の特色、さまざまな施設） 3 つのポリシーについて知る SmartSPI ノートの取り方 図書館の活用 メディア・リテラシー（本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点など） レポートの書き方（パソコンによる文章作成） 環境マネジメントについて知る 大学生活の目標 海外プログラムの説明 その他 【事前・事後学習課題】 出された課題に取り組む 漢字・時事問題テストの予習・復習をする レポートを作成する																		
関連科目	1 ～ 4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>First Year Study Guide</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	First Year Study Guide			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	First Year Study Guide																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業および課題への取り組み（100%）																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	各研究室（7 号館 3 ～ 5 階）																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	初年次ゼミナール	科目名 (英文)	First Year Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	中西 正樹
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL1272a0		

授業概要・目的	【概要】大学で学ぶための基本的な能力を身につける。 【目的】①大学を知る、②ゼミの仲間を互いに理解し合い、コミュニケーション能力を高める、③日本語の「読む」「書く」能力を向上させる、④社会に関心をもつ。																		
到達目標	摂南大学で学ぶ意味を理解する。大学生が守るルールを知る。論理的な文章を読み、書くことができる。最近のニュースについて話ができる。																		
授業方法と留意点	【授業方法】1 クラスあたり 10 数名の編成で、教材に沿って、発表や意見交換を交えて進める。 また、「漢字テスト」および「時事問題テスト」（プリントを配布する）を通して、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。 【留意点】この授業を単位取得していなければ、2 年次に進級できない。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容】 第1回目：授業の目的、自己紹介 第2回目：履修登録・単位取得・GPA について、試験について、シラバスについて 第3回目以降：内容は前後することがある。 大学生活・大学生の守るべきルールについて 摂南大学を知る（沿革、教育の特色、さまざまな施設） 3 つのポリシーについて知る SmartSPI ノートの取り方 図書館の活用 メディア・リテラシー（本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点など） レポートの書き方（パソコンによる文章作成） 環境マネジメントについて知る 大学生活の目標 海外プログラムの説明 その他 【事前・事後学習課題】 出された課題に取り組む 漢字・時事問題テストの予習・復習をする レポートを作成する																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>First Year Study Guide</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	First Year Study Guide			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	First Year Study Guide																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業および課題への取り組み（100%）																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	各研究室（7 号館 3～5 階）																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	初年次ゼミナール	科目名（英文）	First Year Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	古矢 篤史
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL1272a0		

授業概要・目的	【概要】大学で学ぶための基本的な能力を身につける。 【目的】①大学を知る、②ゼミの仲間を互いに理解し合い、コミュニケーション能力を高める、③日本語の「読む」「書く」能力を向上させる、④社会に関心をもつ。																		
到達目標	摂南大学で学ぶ意味を理解する。大学生が守るルールを知る。論理的な文章を読み、書くことができる。最近のニュースについて話ができる。																		
授業方法と留意点	【授業方法】1 クラスあたり 10 数名の編成で、教材に沿って、発表や意見交換を交えて進める。 また、「漢字テスト」および「時事問題テスト」（プリントを配布する）を通して、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。 【留意点】この授業を単位取得していなければ、2 年次に進級できない。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容】 第1回目：授業の目的、自己紹介 第2回目：履修登録・単位取得・GPA について、試験について、シラバスについて 第3回目以降：内容は前後することがある。 大学生活・大学生の守るべきルールについて 摂南大学を知る（沿革、教育の特色、さまざまな施設） 3 つのポリシーについて知る SmartSPI ノートの取り方 図書館の活用 メディア・リテラシー（本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点など） レポートの書き方（パソコンによる文章作成） 環境マネジメントについて知る 大学生活の目標 海外プログラムの説明 その他 【事前・事後学習課題】 出された課題に取り組む 漢字・時事問題テストの予習・復習をする レポートを作成する																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>First Year Study Guide</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	First Year Study Guide			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	First Year Study Guide																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業および課題への取り組み（100%）																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	各研究室（7 号館 3～5 階）																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	初年次ゼミナール	科目名（英文）	First Year Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	山口 真佐夫
ディプロマポリシー (DP)	DP3◎, DP4◎, DP5◎, DP6◎		
科目ナンバリング	LDL1272a0		

授業概要・目的	【概要】大学で学ぶための基本的な能力を身につける。 【目的】①大学を知る、②ゼミの仲間を互いに理解し合い、コミュニケーション能力を高める、③日本語の「読む」「書く」能力を向上させる、④社会に関心をもつ。																		
到達目標	摂南大学で学ぶ意味を理解する。大学生が守るルールを知る。論理的な文章を読み、書くことができる。最近のニュースについて話ができる。																		
授業方法と留意点	【授業方法】1 クラスあたり 10 数名の編成で、教材に沿って、発表や意見交換を交えて進める。 また、「漢字テスト」および「時事問題テスト」（プリントを配布する）を通して、日本語の読み書きの能力を高め、社会問題に関心を持つようにする。 【留意点】この授業を単位取得していなければ、2 年次に進級できない。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容】 第1回目：授業の目的、自己紹介 第2回目：履修登録・単位取得・GPA について、試験について、シラバスについて 第3回目以降：内容は前後することがある。 大学生活・大学生の守るべきルールについて 摂南大学を知る（沿革、教育の特色、さまざまな施設） 3 つのポリシーについて知る SmartSPI ノートの取り方 図書館の活用 メディア・リテラシー（本やインターネットを使う際の注意点・不正防止のための注意点など） レポートの書き方（パソコンによる文章作成） 環境マネジメントについて知る 大学生活の目標 海外プログラムの説明 その他 【事前・事後学習課題】 出された課題に取り組む 漢字・時事問題テストの予習・復習をする レポートを作成する																		
関連科目	1～4 年次の各ゼミ																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>First Year Study Guide</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	First Year Study Guide			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	First Year Study Guide																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	授業および課題への取り組み（100%）																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	各研究室（7 号館 3～5 階）																		
備考	総学習時間の目安は 60 時間。 提出課題や発表に対しては、授業中にフィードバックを行います。																		

科目名	神話論	科目名（英文）	Mythology
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	橋本 正俊
ディプロマポリシー (DP)	DP2◎		
科目ナンバリング	LDL3179a0		

授業概要・目的	太古のときより人類が生みだしてきた神話というジャンルを入りに、現代社会・文化の諸問題について考える方法を身につける。神話は古代のものという見方は誤りである。神話は文化・文明の精髓（エッセンス）である。その証拠に、小説・映画・アニメといった大衆文化から、生活習慣、さらには政治のなかにも、神話モチーフは存在している。神話とは何か、なぜ神話が生き続けるのか、日本と世界各地の神話にどのような違いがあるのかなど、さまざまな角度から神話に光をあて、マクロな視点から考察を深める。																																																																		
到達目標	・神話というジャンルについて豊富な知識を獲得する。 ・現代文化にどのようなかたちで神話が生きているかについて認識する。 ・日本や世界の文化と思想の流れについて、基礎的な知識を身につけ、その全体像を的確に把握できる。																																																																		
授業方法と留意点	講義が中心となる。 必ず一回はプレゼンテーションも行う。																																																																		
科目学習の効果（資格）	広い教養の獲得と思考力・記述力の深化。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>なぜ神話を学ぶのか</td><td>講義内容全体への導入。 神話とは何か、なぜ神話を学ぶのか、入門的に解説する。</td><td>神話とはどのようなものを指すのか調べる（2 時間）</td></tr> <tr> <td>2</td><td>第 1 部「世界の神話と構造」 世界の創成、人類の誕生</td><td>われわれの存在理由を語る、この世界と人間の誕生について考察する。</td><td>授業で取り上げた神話の類例を調べる（2 時間）</td></tr> <tr> <td>3</td><td>英雄神話の誕生</td><td>英雄神話を具体的にとりあげ、その人類史的意義について考察する。</td><td>授業で取り上げた神話の類例を調べる（2 時間）</td></tr> <tr> <td>4</td><td>オイディプス神話とは何か</td><td>ギリシア神話のなかからオイディプスをとりあげ、その内容と意義について考察する。</td><td>授業で取り上げた神話の類例を調べる（2 時間）</td></tr> <tr> <td>5</td><td>シンデレラの謎</td><td>世界中にひろがるシンデレラをめぐる伝承をとりあげ、そこに潜む人類史的な謎をめぐって考察する。</td><td>授業で取り上げた神話の類例を調べる（2 時間）</td></tr> <tr> <td>6</td><td>自然と人間</td><td>巨木神話、洪水神話など、自然と人間の関わりについて考察する。</td><td>授業で取り上げた神話の類例を調べる（2 時間）</td></tr> <tr> <td>7</td><td>第 1 部プレゼンテーション</td><td>各自の調査結果を発表し、全体で質疑応答を行う。</td><td>プレゼンテーションの準備（2 時間）</td></tr> <tr> <td>8</td><td>第 1 部プレゼンテーション</td><td>各自の調査結果を発表し、全体で質疑応答を行う。</td><td>プレゼンテーションの準備（2 時間）</td></tr> <tr> <td>9</td><td>第 2 部「日本の神話と思想」 日本の創成 イザナギ・イザナミ アマテラス</td><td>日本開闢神話から、その背景となる思想を探究する。</td><td>授業で取り上げた神話の類例を調べる（2 時間）</td></tr> <tr> <td>10</td><td>ヤマタノオロチとスサノオ</td><td>古代国家出雲と八岐大蛇伝説を探究する。</td><td>授業で取り上げた神話の類例を調べる（2 時間）</td></tr> <tr> <td>11</td><td>浦島太郎と異界</td><td>浦島太郎伝説をもとに、神婚と異界について考える。</td><td>授業で取り上げた神話の類例を調べる（2 時間）</td></tr> <tr> <td>12</td><td>昔話と神話</td><td>昔話を神話の一面として捉え、そこに見られる日本の思想について考える。</td><td>授業で取り上げた神話の類例を調べる（2 時間）</td></tr> <tr> <td>13</td><td>縁起 由来を語ること</td><td>ものごとの発生、由来を語ることと、その意義について考える。</td><td>授業で取り上げた神話の類例を調べる（2 時間）</td></tr> <tr> <td>14</td><td>第 2 部プレゼンテーション</td><td>各自の調査結果を発表し、全体で質疑応答を行う。</td><td>プレゼンテーションの準備（2 時間）</td></tr> <tr> <td>15</td><td>第 2 部プレゼンテーション</td><td>各自の調査結果を発表し、全体で質疑応答を行う。</td><td>プレゼンテーションの準備（2 時間）</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	なぜ神話を学ぶのか	講義内容全体への導入。 神話とは何か、なぜ神話を学ぶのか、入門的に解説する。	神話とはどのようなものを指すのか調べる（2 時間）	2	第 1 部「世界の神話と構造」 世界の創成、人類の誕生	われわれの存在理由を語る、この世界と人間の誕生について考察する。	授業で取り上げた神話の類例を調べる（2 時間）	3	英雄神話の誕生	英雄神話を具体的にとりあげ、その人類史的意義について考察する。	授業で取り上げた神話の類例を調べる（2 時間）	4	オイディプス神話とは何か	ギリシア神話のなかからオイディプスをとりあげ、その内容と意義について考察する。	授業で取り上げた神話の類例を調べる（2 時間）	5	シンデレラの謎	世界中にひろがるシンデレラをめぐる伝承をとりあげ、そこに潜む人類史的な謎をめぐって考察する。	授業で取り上げた神話の類例を調べる（2 時間）	6	自然と人間	巨木神話、洪水神話など、自然と人間の関わりについて考察する。	授業で取り上げた神話の類例を調べる（2 時間）	7	第 1 部プレゼンテーション	各自の調査結果を発表し、全体で質疑応答を行う。	プレゼンテーションの準備（2 時間）	8	第 1 部プレゼンテーション	各自の調査結果を発表し、全体で質疑応答を行う。	プレゼンテーションの準備（2 時間）	9	第 2 部「日本の神話と思想」 日本の創成 イザナギ・イザナミ アマテラス	日本開闢神話から、その背景となる思想を探究する。	授業で取り上げた神話の類例を調べる（2 時間）	10	ヤマタノオロチとスサノオ	古代国家出雲と八岐大蛇伝説を探究する。	授業で取り上げた神話の類例を調べる（2 時間）	11	浦島太郎と異界	浦島太郎伝説をもとに、神婚と異界について考える。	授業で取り上げた神話の類例を調べる（2 時間）	12	昔話と神話	昔話を神話の一面として捉え、そこに見られる日本の思想について考える。	授業で取り上げた神話の類例を調べる（2 時間）	13	縁起 由来を語ること	ものごとの発生、由来を語ることと、その意義について考える。	授業で取り上げた神話の類例を調べる（2 時間）	14	第 2 部プレゼンテーション	各自の調査結果を発表し、全体で質疑応答を行う。	プレゼンテーションの準備（2 時間）	15	第 2 部プレゼンテーション	各自の調査結果を発表し、全体で質疑応答を行う。	プレゼンテーションの準備（2 時間）
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	なぜ神話を学ぶのか	講義内容全体への導入。 神話とは何か、なぜ神話を学ぶのか、入門的に解説する。	神話とはどのようなものを指すのか調べる（2 時間）																																																																
2	第 1 部「世界の神話と構造」 世界の創成、人類の誕生	われわれの存在理由を語る、この世界と人間の誕生について考察する。	授業で取り上げた神話の類例を調べる（2 時間）																																																																
3	英雄神話の誕生	英雄神話を具体的にとりあげ、その人類史的意義について考察する。	授業で取り上げた神話の類例を調べる（2 時間）																																																																
4	オイディプス神話とは何か	ギリシア神話のなかからオイディプスをとりあげ、その内容と意義について考察する。	授業で取り上げた神話の類例を調べる（2 時間）																																																																
5	シンデレラの謎	世界中にひろがるシンデレラをめぐる伝承をとりあげ、そこに潜む人類史的な謎をめぐって考察する。	授業で取り上げた神話の類例を調べる（2 時間）																																																																
6	自然と人間	巨木神話、洪水神話など、自然と人間の関わりについて考察する。	授業で取り上げた神話の類例を調べる（2 時間）																																																																
7	第 1 部プレゼンテーション	各自の調査結果を発表し、全体で質疑応答を行う。	プレゼンテーションの準備（2 時間）																																																																
8	第 1 部プレゼンテーション	各自の調査結果を発表し、全体で質疑応答を行う。	プレゼンテーションの準備（2 時間）																																																																
9	第 2 部「日本の神話と思想」 日本の創成 イザナギ・イザナミ アマテラス	日本開闢神話から、その背景となる思想を探究する。	授業で取り上げた神話の類例を調べる（2 時間）																																																																
10	ヤマタノオロチとスサノオ	古代国家出雲と八岐大蛇伝説を探究する。	授業で取り上げた神話の類例を調べる（2 時間）																																																																
11	浦島太郎と異界	浦島太郎伝説をもとに、神婚と異界について考える。	授業で取り上げた神話の類例を調べる（2 時間）																																																																
12	昔話と神話	昔話を神話の一面として捉え、そこに見られる日本の思想について考える。	授業で取り上げた神話の類例を調べる（2 時間）																																																																
13	縁起 由来を語ること	ものごとの発生、由来を語ることと、その意義について考える。	授業で取り上げた神話の類例を調べる（2 時間）																																																																
14	第 2 部プレゼンテーション	各自の調査結果を発表し、全体で質疑応答を行う。	プレゼンテーションの準備（2 時間）																																																																
15	第 2 部プレゼンテーション	各自の調査結果を発表し、全体で質疑応答を行う。	プレゼンテーションの準備（2 時間）																																																																
関連科目	文化科目全般																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	レポート 40%、プレゼンテーション 40%、授業参加度（コメントペーパー等）20%で評価する。																																																																		
学生へのメッセージ																																																																			
担当者の研究室等	7 号館 4 階（橋本研究室）																																																																		
備考	事前事後の学習時間は、上記にレポート作成を加えた 60 時間を目安とする。 コメントペーパーについては翌週、プレゼンテーションについてはその場でフィードバックする。																																																																		

科目名	スキルズ トレーニング I a	科目名 (英文)	Skills Training Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	皆本 智美
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	英語専攻の1年次の学生を対象とし、辞書の使用法、発音・発話（音読・ディクテーション等）方法、ICT を用いた英語学習法など、英語力を効率的・効果的に習得するための英語学習法を身につける。
到達目標	大学での高度な英語学習に対応していくための基盤となる英語力を育成することを目的とする。
授業方法と留意点	・共通教材『暗唱英文 100』のうち、指定範囲の例文暗唱を行い、「100SS 暗唱テスト」を実施する。 ・学期末に4技能オンラインテストを行い、結果を振り返ることで今後の自己学習計画を定める。 ・必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検等

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	導入	本科目の目標・テーマや授業内容などについて	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	2	辞書と発音記号	英和・和英・英英辞書の使用法の基礎を学ぶ、英語の発音記号について学ぶ	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	3	音読とディクテーション	英語の発音練習、音読・ディクテーションの方法を学ぶ	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	4	ICT	ICT 教材を用いた英語学習方法を学ぶ、ICT 教材を用いた読解練習、及び作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	5	第1～第5文型	第1～第5文型を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	6	5w1h	5w1h 疑問文を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	7	there 構文	there 構文を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	8	時制	現在・過去時制を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	9	態	能動態・受動態を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	10	進行相	進行相を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	11	完了相	完了相を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	12	関係詞	関係代名詞(e.g. which, that)を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	13	few/little	few/little を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	14	many/much	many/much を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	15	まとめテストと復習	4技能オンラインテストおよびテスト結果に基づく自己分析	総復習（1時間）

関連科目	ボキャブラリー&文法 a、スピーキング&ライティング Ia
------	-------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部	
	2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test 【単語集】	西谷 恒志	成美堂
	3	5分間 TOEIC テスト・サブプリメント 文法・語法 A Shorter Course in TOEIC Test Grammar	小池直己	南雲堂

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			

評価方法（基準）	授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 80% 100SS 暗唱テスト 20%
----------	---

学生へのメッセージ	
-----------	--

担当者の研究室等	7号館4階 皆本研究室
----------	-------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ30時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。
----	---

科目名	スキルズ トレーニング I b	科目名 (英文)	Skills Training Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	天野 貴史
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	英語専攻の1年次の学生を対象とし、辞書の使用法、発音・発話（音読・ディクテーション等）方法、ICTを用いた英語学習法など、英語力を効率的・効果的に習得するための英語学習法を身につける。
到達目標	大学での高度な英語学習に対応していくための基盤となる英語力を育成することを目的とする。
授業方法と留意点	・共通教材『暗唱英文 100』のうち、指定範囲の例文暗唱を行い、「100SS 暗唱テスト」を実施する。 ・学期末に4技能オンラインテストを行い、結果を振り返ることで今後の自己学習計画を定める。 ・必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC、英検等

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	導入	本科目の目標・テーマや授業内容などについて	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	2	基礎的学習スキルの確認	スキルズトレーニング a で学んだ辞書の用法、発音記号、発音練習、ICT教材の使い方などの復習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	3	比較級	比較級を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	4	最上級	最上級を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	5	知覚動詞	知覚動詞(e.g. see, hear)を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	6	使役動詞	使役動詞(e.g. have, get)を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	7	不定詞	不定詞を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	8	関係副詞	関係副詞(e.g. when, where)を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	9	仮定法過去	仮定法過去を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	10	仮定法過去完了	仮定法過去完了を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	11	時間を表す前置詞	時間を表す前置詞(e.g. until, for)を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	12	空間を表す前置詞	空間を表す前置詞(e.g. in, on)を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	13	手段を表す前置詞	手段を表す前置詞(e.g. with, by)を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	14	分詞構文	分詞構文を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	15	まとめテストと復習	4技能オンラインテストおよびテスト結果に基づく自己分析	総復習（1時間）

関連科目	ボキャブラリー&文法 b、スピーキング&ライティング Ib
------	-------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部	
	2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test 【単語集】	西谷 恒志	成美堂

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			

評価方法（基準）	授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 80% 100SS 暗唱テスト 20%
----------	---

学生へのメッセージ	
-----------	--

担当者の研究室等	天野研究室（7号館3階）
----------	--------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。
----	---

科目名	スキルズ トレーニング a	科目名 (英文)	Skills Training a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	イ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	皆本 智美
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1007c0		

授業概要・目的	英語専攻の1年次の学生を対象とし、辞書の使用法、発音・発話（音読・ディクテーション等）方法、ICTを用いた英語学習法など、英語力を効率的・効果的に習得するための英語学習法を身につける。			
到達目標	大学での高度な英語学習に対応していくための基盤となる英語力を育成することを目的とする。			
授業方法と留意点	・ 共通教材『暗唱英文 100』のうち、指定範囲の例文暗唱を行い、「100SS 暗唱テスト」を実施する。 ・ 学期末に4技能オンラインテストを行い、結果を振り返ることで今後の自己学習計画を定める。 ・ 必ず辞書を持参すること。			
科目学習の効果（資格）	TOEIC、英検等			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	導入	本科目の目標・テーマや授業内容などについて	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	2	辞書と発音記号	英和・和英・英英辞書の使用法の基礎を学ぶ、英語の発音記号について学ぶ	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	3	音読とディクテーション	英語の発音練習、音読・ディクテーションの方法を学ぶ	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	4	ICT	ICT 教材を用いた英語学習方法を学ぶ、ICT 教材を用いた読解練習、及び作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	5	第1～第5文型	第1～第5文型を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	6	5w1h	5w1h 疑問文を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	7	there 構文	there 構文を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	8	時制	現在・過去時制を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	9	態	能動態・受動態を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	10	進行相	進行相を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	11	完了相	完了相を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	12	関係詞	関係代名詞(e.g. which, that)を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	13	few/little	few/little を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	14	many/much	many/much を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	15	まとめテストと復習	4技能オンラインテストおよびテスト結果に基づく自己分析	総復習（1時間）
関連科目	ボキャブラリー&グラマー a、スピーキング&ライティング 1a			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部	
	2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test 【単語集】	西谷 恒志	成美堂
	3	5分間 TOEIC テスト・サブリメント 文法・語法 A Shorter Course in TOEIC Test Grammar	小池直己	南雲堂
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
評価方法（基準）	授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 80% 100SS 暗唱テスト 20% ※100SS 暗唱テストが合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。			
学生へのメッセージ	基本をしっかり身につけましょう。			
担当者の研究室等	7号館4階 皆本研究室			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。			

科目名	スキルズ トレーニング a	科目名 (英文)	Skills Training a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	ロハ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	杉浦 秀行
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1007c0		

授業概要・目的	英語専攻の1年次の学生を対象とし、辞書の使用法、発音・発話（音読・ディクテーション等）方法、ICT を用いた英語学習法など、英語力を効率的・効果的に習得するための英語学習法を身につける。
到達目標	大学での高度な英語学習に対応していくための基盤となる英語力を育成することを目的とする。
授業方法と留意点	・共通教材『暗唱英文 100』のうち、指定範囲の例文暗唱を行い、「100SS 暗唱テスト」を実施する。 ・学期末に4技能オンラインテストを行い、結果を振り返ることで今後の自己学習計画を定める。 ・必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検等

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	導入	本科目の目標・テーマや授業内容などについて	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	2	辞書と発音記号	英和・和英・英英辞書の使用法の基礎を学ぶ、英語の発音記号について学ぶ	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	3	音読とディクテーション	英語の発音練習、音読・ディクテーションの方法を学ぶ	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	4	ICT	ICT 教材を用いた英語学習方法を学ぶ、ICT 教材を用いた読解練習、及び作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	5	第1～第5文型	第1～第5文型を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	6	5w1h	5w1h 疑問文を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	7	there 構文	there 構文を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	8	時制	現在・過去時制を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	9	態	能動態・受動態を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	10	進行相	進行相を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	11	完了相	完了相を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	12	関係詞	関係代名詞(e.g. which, that)を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	13	few/little	few/little を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	14	many/much	many/much を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	15	まとめテストと復習	4技能オンラインテストおよびテスト結果に基づく自己分析	総復習（1時間）

関連科目	ボキャブラリー&グラマー a、スピーキング&ライティング 1a
------	---------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部	
	2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test 【単語集】	西谷 恒志	成美堂
	3	Simply 500: Acing the TOEIC Listening & Reading Test	Terry O'Brien 他	南雲堂

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			

評価方法（基準）	授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 80% 100SS 暗唱テスト 20% ※100SS 暗唱テストが合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。
学生へのメッセージ	現在は、世界諸英語（World Englishes）の時代です！英語の規範（ネイティブの文法の正しさ）に束縛されずに、相手を理解し、相手に伝えられる英語の力を向上させていきましょう！
担当者の研究室等	杉浦研究室(7号館5階)
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。

科目名	スキルズ トレーニング a	科目名 (英文)	Skills Training a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	ニホ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	後藤 一章
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1007c0		

授業概要・目的	英語専攻の1年次の学生を対象とし、辞書の使用法、発音・発話（音読・ディクテーション等）方法、ICT を用いた英語学習法など、英語力を効率的・効果的に習得するための英語学習法を身につける。
到達目標	大学での高度な英語学習に対応していくための基盤となる英語力を育成することを目的とする。
授業方法と留意点	・共通教材『暗唱英文 100』のうち、指定範囲の例文暗唱を行い、「100SS 暗唱テスト」を実施する。 ・学期末に4技能オンラインテストを行い、結果を振り返ることで今後の自己学習計画を定める。 ・必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検等

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	導入	本科目の目標・テーマや授業内容などについて	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）
	2	辞書と発音記号	英和・和英・英英辞書の使用法の基礎を学ぶ、英語の発音記号について学ぶ	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）
	3	音読とディクテーション	英語の発音練習、音読・ディクテーションの方法を学ぶ	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）
	4	ICT	ICT 教材を用いた英語学習方法を学ぶ、ICT 教材を用いた読解練習、及び作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）
	5	第1～第5文型	第1～第5文型を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）
	6	5w1h	5w1h 疑問文を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）
	7	there 構文	there 構文を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）
	8	時制	現在・過去時制を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）
	9	態	能動態・受動態を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）
	10	進行相	進行相を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）
	11	完了相	完了相を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）
	12	関係詞	関係代名詞(e.g. which, that)を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）
	13	few/little	few/little を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）
	14	many/much	many/much を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）
	15	まとめテストと復習	4技能オンラインテストおよびテスト結果に基づく自己分析	総復習（1 時間）

関連科目	ボキャブラリー&文法 a、スピーキング&ライティング Ia
------	-------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部	
	2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test 【単語集】	西谷 恒志	成美堂
	3	Bottom Up Listening for the TOEIC Test	湯舟 英一/Bill Benfield	成美堂

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			

評価方法（基準）	授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 80% 100SS 暗唱テスト 20% ※100SS 暗唱テストが合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。
----------	---

学生へのメッセージ	英語学習には日ごろからの自主的な学習が必要不可欠です。努力を惜しまず、頑張ってください。
-----------	--

担当者の研究室等	後藤研究室（7号館5階）
----------	--------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はチューデントアワーにて対応する。
----	--

科目名	スキルズ トレーニング a	科目名 (英文)	Skills Training a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	ヘト
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	鈴木 大介
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1007c0		

授業概要・目的	英語専攻の1年次の学生を対象とし、辞書の使用法、発音・発話（音読・ディクテーション等）方法、ICT を用いた英語学習法など、英語力を効率的・効果的に習得するための英語学習法を身につける。
到達目標	大学での高度な英語学習に対応していくための基盤となる英語力を育成することを目的とする。
授業方法と留意点	・共通教材『暗唱英文 100』のうち、指定範囲の例文暗唱を行い、「100SS 暗唱テスト」を実施する。 ・学期末に4技能オンラインテストを行い、結果を振り返ることで今後の自己学習計画を定める。 ・必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検等

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	導入	本科目の目標・テーマや授業内容などについて	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	2	辞書と発音記号	英和・和英・英英辞書の使用法の基礎を学ぶ、英語の発音記号について学ぶ	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	3	音読とディクテーション	英語の発音練習、音読・ディクテーションの方法を学ぶ	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	4	ICT	ICT 教材を用いた英語学習方法を学ぶ、ICT 教材を用いた読解練習、及び作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	5	第1～第5文型	第1～第5文型を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	6	5w1h	5w1h 疑問文を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	7	there 構文	there 構文を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	8	時制	現在・過去時制を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	9	態	能動態・受動態を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	10	進行相	進行相を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	11	完了相	完了相を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	12	関係詞	関係代名詞(e.g. which, that)を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	13	few/little	few/little を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	14	many/much	many/much を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	15	まとめテストと復習	4技能オンラインテストおよびテスト結果に基づく自己分析	総復習（1時間）

関連科目	ボキャブラリー&文法 a、スピーキング&ライティング Ia
------	-------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部	
	2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test 【単語集】	西谷 恒志	成美堂
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			

評価方法（基準）	授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 80% 100SS 暗唱テスト 20% ※100SS 暗唱テストが合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。
----------	---

学生へのメッセージ	語彙・文法は英語力の基本です。毎日、継続することで、しっかり力をつけていきましょう。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館5階 鈴木研究室
----------	-------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ30時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はチューデントアワーにて対応する。
----	--

科目名	スキルズ トレーニング a	科目名 (英文)	Skills Training a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	チリ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	鳥居 祐介
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1007c0		

授業概要・目的	英語専攻の1年次の学生を対象とし、辞書の使用法、発音・発話（音読・ディクテーション等）方法、ICT を用いた英語学習法など、英語力を効率的・効果的に習得するための英語学習法を身につける。
到達目標	大学での高度な英語学習に対応していくための基盤となる英語力を育成することを目的とする。
授業方法と留意点	・共通教材『暗唱英文 100』のうち、指定範囲の例文暗唱を行い、「100SS 暗唱テスト」を実施する。 ・学期末に4技能オンラインテストを行い、結果を振り返ることで今後の自己学習計画を定める。 ・必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検等

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	導入	本科目の目標・テーマや授業内容などについて	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	2	辞書と発音記号	英和・和英・英英辞書の使用法の基礎を学ぶ、英語の発音記号について学ぶ	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	3	音読とディクテーション	英語の発音練習、音読・ディクテーションの方法を学ぶ	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	4	ICT	ICT 教材を用いた英語学習方法を学ぶ、ICT 教材を用いた読解練習、及び作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	5	第1～第5文型	第1～第5文型を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	6	5w1h	5w1h 疑問文を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	7	there 構文	there 構文を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	8	時制	現在・過去時制を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	9	態	能動態・受動態を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	10	進行相	進行相を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	11	完了相	完了相を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	12	関係詞	関係代名詞(e.g. which, that)を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	13	few/little	few/little を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	14	many/much	many/much を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	15	まとめテストと復習	4技能オンラインテストおよびテスト結果に基づく自己分析	総復習（1時間）

関連科目	ボキャブラリー&グラマー a、スピーキング&ライティング Ia
------	---------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部	
	2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test 【単語集】	西谷 恒志	成美堂
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			

評価方法（基準）	授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 80% 100SS 暗唱テスト 20% ※100SS 暗唱テストが合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。
----------	---

学生へのメッセージ	
-----------	--

担当者の研究室等	7 号館 3 階 鳥居研究室
----------	----------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。
----	---

科目名	スキルズ トレーニング a	科目名 (英文)	Skills Training a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	再
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	皆本 智美
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1007c0		

授業概要・目的	英語専攻の1年次の学生を対象とし、辞書の使用法、発音・発話（音読・ディクテーション等）方法、ICT を用いた英語学習法など、英語力を効率的・効果的に習得するための英語学習法を身につける。
到達目標	大学での高度な英語学習に対応していくための基盤となる英語力を育成することを目的とする。
授業方法と留意点	・共通教材『暗唱英文 100』のうち、指定範囲の例文暗唱を行い、「100SS 暗唱テスト」を実施する。 ・学期末に4技能オンラインテストを行い、結果を振り返ることで今後の自己学習計画を定める。 ・必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検等

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	導入	本科目の目標・テーマや授業内容などについて	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	2	辞書と発音記号	英和・和英・英英辞書の使用法の基礎を学ぶ、英語の発音記号について学ぶ	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	3	音読とディクテーション	英語の発音練習、音読・ディクテーションの方法を学ぶ	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	4	ICT	ICT 教材を用いた英語学習方法を学ぶ、ICT 教材を用いた読解練習、及び作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	5	第1～第5文型	第1～第5文型を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	6	5w1h	5w1h 疑問文を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	7	there 構文	there 構文を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	8	時制	現在・過去時制を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	9	態	能動態・受動態を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	10	進行相	進行相を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	11	完了相	完了相を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	12	関係詞	関係代名詞(e.g. which, that)を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	13	few/little	few/little を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	14	many/much	many/much を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	15	まとめテストと復習	4技能オンラインテストおよびテスト結果に基づく自己分析	総復習（1時間）

関連科目	ボキャブラリー&文法 a、スピーキング&ライティング Ia
------	-------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部	
	2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test 【単語集】	西谷 恒志	成美堂
	3	5分間 TOEIC テスト・サブプリメント 文法・語法 A Shorter Course in TOEIC Test Grammar	小池直己	南雲堂

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			

評価方法（基準）	授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 80% 100SS 暗唱テスト 20%
----------	---

学生へのメッセージ	
-----------	--

担当者の研究室等	7号館4階 皆本研究室
----------	-------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ30時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。
----	---

科目名	スキルズ トレーニング b	科目名 (英文)	Skills Training b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	イ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	鳥居 祐介
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1008c0		

授業概要・目的	英語専攻の1年次の学生を対象とし、辞書の使用法、発音・発話（音読・ディクテーション等）方法、ICT を用いた英語学習法など、英語力を効率的・効果的に習得するための英語学習法を身につける。
到達目標	大学での高度な英語学習に対応していくための基盤となる英語力を育成することを目的とする。
授業方法と留意点	・共通教材『暗唱英文 100』のうち、指定範囲の例文暗唱を行い、「100SS 暗唱テスト」を実施する。 ・学期末に4技能オンラインテストを行い、結果を振り返ることで今後の自己学習計画を定める。 ・必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC、英検等

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	導入	本科目の目標・テーマや授業内容などについて	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	2	基礎的学習スキルの確認	スキルズトレーニング a で学んだ辞書の用法、発音記号、発音練習、ICT 教材の使い方などの復習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	3	比較級	比較級を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	4	最上級	最上級を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	5	知覚動詞	知覚動詞(e.g. see, hear)を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	6	使役動詞	使役動詞(e.g. have, get)を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	7	不定詞	不定詞を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	8	関係副詞	関係副詞(e.g. when, where)を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	9	仮定法過去	仮定法過去を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	10	仮定法過去完了	仮定法過去完了を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	11	時間を表す前置詞	時間を表す前置詞(e.g. until, for)を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	12	空間を表す前置詞	空間を表す前置詞(e.g. in, on)を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	13	手段を表す前置詞	手段を表す前置詞(e.g. with, by)を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	14	分詞構文	分詞構文を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	15	まとめテストと復習	4技能オンラインテストおよびテスト結果に基づく自己分析	総復習（1時間）

関連科目	ボキャブラリー&グラマー b、スピーキング&ライティング Ib
------	---------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部	
	2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test 【単語集】	西谷 恒志	成美堂

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			

評価方法（基準）	授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 80% 100SS 暗唱テスト 20% ※100SS 暗唱テストが合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。
----------	---

学生へのメッセージ	
-----------	--

担当者の研究室等	7号館3階 鳥居研究室
----------	-------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ30時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。
----	---

科目名	スキルズ トレーニング b	科目名 (英文)	Skills Training b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	ロハ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	後藤 一章
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1008c0		

授業概要・目的	英語専攻の1年次の学生を対象とし、辞書の使用法、発音・発話（音読・ディクテーション等）方法、ICTを用いた英語学習法など、英語力を効率的・効果的に習得するための英語学習法を身につける。
到達目標	大学での高度な英語学習に対応していくための基盤となる英語力を育成することを目的とする。
授業方法と留意点	・共通教材『暗唱英文 100』のうち、指定範囲の例文暗唱を行い、「100SS 暗唱テスト」を実施する。 ・学期末に4技能オンラインテストを行い、結果を振り返ることで今後の自己学習計画を定める。 ・必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC、英検等

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	導入	本科目の目標・テーマや授業内容などについて	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	2	基礎的学習スキルの確認	スキルズトレーニング a で学んだ辞書の用法、発音記号、発音練習、ICT教材の使い方などの復習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	3	比較級	比較級を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	4	最上級	最上級を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	5	知覚動詞	知覚動詞(e.g. see, hear)を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	6	使役動詞	使役動詞(e.g. have, get)を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	7	不定詞	不定詞を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	8	関係副詞	関係副詞(e.g. when, where)を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	9	仮定法過去	仮定法過去を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	10	仮定法過去完了	仮定法過去完了を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	11	時間を表す前置詞	時間を表す前置詞(e.g. until, for)を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	12	空間を表す前置詞	空間を表す前置詞(e.g. in, on)を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	13	手段を表す前置詞	手段を表す前置詞(e.g. with, by)を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	14	分詞構文	分詞構文を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	15	まとめテストと復習	4技能オンラインテストおよびテスト結果に基づく自己分析	総復習（1時間）

関連科目	ボキャブラリー&文法 b、スピーキング&ライティング Ib
------	-------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部	
	2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test 【単語集】	西谷 恒志	成美堂
	3	STRIKE UP THE TOEIC TEST LISTENING	塚田 幸光	金星堂

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法（基準）	授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 80% 100SS 暗唱テスト 20% ※100SS 暗唱テストが合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。
学生への	英語学習には日ごろからの自主的な学習が必要不可欠です。努力を惜しまず、頑張ってください。

メッセージ	
担当者の 研究室等	後藤研究室（7号館5階）
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ30時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。

科目名	スキルズ トレーニング b	科目名 (英文)	Skills Training b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	ニホ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	高橋 真理子
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1008c0		

授業概要・目的	英語専攻の1年次の学生を対象とし、辞書の使用法、発音・発話（音読・ディクテーション等）方法、ICTを用いた英語学習法など、英語力を効率的・効果的に習得するための英語学習法を身につける。				
到達目標	大学での高度な英語学習に対応していくための基盤となる英語力を育成することを目的とする。				
授業方法と留意点	・共通教材『暗唱英文 100』のうち、指定範囲の例文暗唱を行い、「100SS 暗唱テスト」を実施する。 ・学期末に4技能オンラインテストを行い、結果を振り返ることで今後の自己学習計画を定める。 ・必ず辞書を持参すること。				
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検等				
授業計画		回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
		1	導入	本科目の目標・テーマや授業内容などについて	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
		2	基礎的学習スキルの確認	スキルズトレーニング a で学んだ辞書の用法、発音記号、発音練習、ICT教材の使い方などの復習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
		3	比較級	比較級を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
		4	最上級	最上級を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
		5	知覚動詞	知覚動詞(e.g. see, hear)を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
		6	使役動詞	使役動詞(e.g. have, get)を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
		7	不定詞	不定詞を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
		8	関係副詞	関係副詞(e.g. when, where)を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
		9	仮定法過去	仮定法過去を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
		10	仮定法過去完了	仮定法過去完了を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
		11	時間を表す前置詞	時間を表す前置詞(e.g. until, for)を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
		12	空間を表す前置詞	空間を表す前置詞(e.g. in, on)を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
		13	手段を表す前置詞	手段を表す前置詞(e.g. with, by)を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
		14	分詞構文	分詞構文を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
		15	まとめテストと復習	4技能オンラインテストおよびテスト結果に基づく自己分析	総復習（1時間）
関連科目	ボキャブラリー&グラマー b、スピーキング&ライティング Ib				
教科書		番号	書籍名	著者名	出版社名
		1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部	
		2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test 【単語集】	西谷 恒志	成美堂
参考書		番号	書籍名	著者名	出版社名
		1			
評価方法（基準）	授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 80% 100SS 暗唱テスト 20% ※100SS 暗唱テストが合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。				
学生へのメッセージ					
担当者の研究室等	7号館4階 高橋研究室				
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。				

科目名	スキルズ トレーニング b	科目名 (英文)	Skills Training b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	ヘト
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	松田 早恵
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1008c0		

授業概要・目的	英語専攻の1年次の学生を対象とし、辞書の使用法、発音・発話（音読・ディクテーション等）方法、ICT を用いた英語学習法など、英語力を効率的・効果的に習得するための英語学習法を身につける。
到達目標	大学での高度な英語学習に対応していくための基盤となる英語力を育成することを目的とする。
授業方法と留意点	・共通教材『暗唱英文 100』のうち、指定範囲の例文暗唱を行い、「100SS 暗唱テスト」を実施する。 ・学期末に4技能オンラインテストを行い、結果を振り返ることで今後の自己学習計画を定める。 ・必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検等

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	導入	本科目の目標・テーマや授業内容などについて	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	2	基礎的学習スキルの確認	スキルズトレーニング a で学んだ辞書の用法、発音記号、発音練習、ICT 教材の使い方などの復習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	3	比較級	比較級を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	4	最上級	最上級を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	5	知覚動詞	知覚動詞(e.g. see, hear)を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	6	使役動詞	使役動詞(e.g. have, get)を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	7	不定詞	不定詞を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	8	関係副詞	関係副詞(e.g. when, where)を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	9	仮定法過去	仮定法過去を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	10	仮定法過去完了	仮定法過去完了を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	11	時間を表す前置詞	時間を表す前置詞(e.g. until, for)を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	12	空間を表す前置詞	空間を表す前置詞(e.g. in, on)を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	13	手段を表す前置詞	手段を表す前置詞(e.g. with, by)を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	14	分詞構文	分詞構文を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	15	まとめテストと復習	4技能オンラインテストおよびテスト結果に基づく自己分析	総復習（1時間）

関連科目	ボキャブラリー&グラマー b、スピーキング&ライティング Ib
------	---------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部	
	2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test 【単語集】	西谷 恒志	成美堂

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			

評価方法（基準）	授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 80% 100SS 暗唱テスト 20% ※100SS 暗唱テストが合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。
----------	---

学生へのメッセージ	
-----------	--

担当者の研究室等	松田研究室（7号館5階）
----------	--------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。
----	---

科目名	スキルズ トレーニング b	科目名 (英文)	Skills Training b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	チリ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	吉村 征洋
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1008c0		

授業概要・目的	英語専攻の1年次の学生を対象とし、辞書の使用法、発音・発話（音読・ディクテーション等）方法、ICT を用いた英語学習法など、英語力を効率的・効果的に習得するための英語学習法を身につける。
到達目標	大学での高度な英語学習に対応していくための基盤となる英語力を育成することを目的とする。
授業方法と留意点	・共通教材『暗唱英文 100』のうち、指定範囲の例文暗唱を行い、「100SS 暗唱テスト」を実施する。 ・学期末に4技能オンラインテストを行い、結果を振り返ることで今後の自己学習計画を定める。 ・必ず辞書を持参すること。 ・授業は active learning 形式で実施する。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検等

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	導入	本科目の目標・テーマや授業内容などについて	No. 1-5 の例文の暗記と暗唱、および授業の下調べをすること（2時間）
	2	基礎的学習スキルの確認	スキルズトレーニング a で学んだ辞書の用法、発音記号、発音練習、ICT 教材の使い方などの復習	No. 1-5 の例文の暗記と暗唱、および授業の下調べをすること（2時間）
	3	比較級	比較級を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	No. 6-10 の例文の暗記と暗唱、および授業の下調べをすること（2時間）
	4	最上級	最上級を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	No. 6-10 の例文の暗記と暗唱、および授業の下調べをすること（2時間）
	5	知覚動詞	知覚動詞 (e.g. see, hear) を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	No. 11-15 の例文の暗記と暗唱、および授業の下調べをすること（2時間）
	6	使役動詞	使役動詞 (e.g. have, get) を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	No. 16-20 の例文の暗記と暗唱、および授業の下調べをすること（2時間）
	7	不定詞	不定詞を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	No. 21-25 の例文の暗記と暗唱、および授業の下調べをすること（2時間）
	8	関係副詞	関係副詞 (e.g. when, where) を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	No. 21-25 の例文の暗記と暗唱、および授業の下調べをすること（2時間）
	9	仮定法過去	仮定法過去を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	No. 26-30 の例文の暗記と暗唱、および授業の下調べをすること（2時間）
	10	仮定法過去完了	仮定法過去完了を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	No. 31-35 の例文の暗記と暗唱、および授業の下調べをすること（2時間）
	11	時間を表す前置詞	時間を表す前置詞 (e.g. until, for) を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	No. 31-35 の例文の暗記と暗唱、および授業の下調べをすること（2時間）
	12	空間を表す前置詞	空間を表す前置詞 (e.g. in, on) を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	No. 36-40 の例文の暗記と暗唱、および授業の下調べをすること（2時間）
	13	手段を表す前置詞	手段を表す前置詞 (e.g. with, by) を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	No. 41-45 の例文の暗記と暗唱、および授業の下調べをすること（2時間）
	14	分詞構文	分詞構文を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT 教材を用いた読解・作文練習	No. 46-50 の例文の暗記と暗唱、および授業の下調べをすること（2時間）
	15	まとめテストと復習	4技能オンラインテストおよびテスト結果に基づく自己分析	総復習を行うこと（2時間）。

関連科目	ボキャブラリー&グラマー b、スピーキング&ライティング Ib
------	---------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部	
	2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test 【単語集】	西谷 恒志	成美堂
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法（基準）	授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 80% 100SS 暗唱テスト 20% ※100SS 暗唱テストが合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。
----------	---

学生への メッセージ	英語上達に近道はありません。コツコツ学習していきましょう。
担当者の 研究室等	7号館3階 吉村研究室
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ30時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。

科目名	スキルズ トレーニング b	科目名 (英文)	Skills Training b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	再
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	天野 貴史
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1008c0		

授業概要・目的	英語専攻の1年次の学生を対象とし、辞書の使用法、発音・発話（音読・ディクテーション等）方法、ICTを用いた英語学習法など、英語力を効率的・効果的に習得するための英語学習法を身につける。
到達目標	大学での高度な英語学習に対応していくための基盤となる英語力を育成することを目的とする。
授業方法と留意点	・共通教材『暗唱英文 100』のうち、指定範囲の例文暗唱を行い、「100SS 暗唱テスト」を実施する。 ・学期末に4技能オンラインテストを行い、結果を振り返ることで今後の自己学習計画を定める。 ・必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC、英検等

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	導入	本科目の目標・テーマや授業内容などについて	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	2	基礎的学習スキルの確認	スキルズトレーニング a で学んだ辞書の用法、発音記号、発音練習、ICT教材の使い方などの復習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	3	比較級	比較級を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	4	最上級	最上級を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	5	知覚動詞	知覚動詞(e.g. see, hear)を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	6	使役動詞	使役動詞(e.g. have, get)を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	7	不定詞	不定詞を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	8	関係副詞	関係副詞(e.g. when, where)を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	9	仮定法過去	仮定法過去を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	10	仮定法過去完了	仮定法過去完了を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	11	時間を表す前置詞	時間を表す前置詞(e.g. until, for)を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	12	空間を表す前置詞	空間を表す前置詞(e.g. in, on)を含む英文の音読練習やディクテーション、『暗唱英文 100』暗唱テスト	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	13	手段を表す前置詞	手段を表す前置詞(e.g. with, by)を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	14	分詞構文	分詞構文を含む英文の音読練習やディクテーション、ICT教材を用いた読解・作文練習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1時間）
	15	まとめテストと復習	4技能オンラインテストおよびテスト結果に基づく自己分析	総復習（1時間）

関連科目	ボキャブラリー&文法 b、スピーキング&ライティング Ib
------	-------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部	
	2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test 【単語集】	西谷 恒志	成美堂

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			

評価方法（基準）	授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 80% 100SS 暗唱テスト 20%
----------	---

学生へのメッセージ	
-----------	--

担当者の研究室等	天野研究室（7号館3階）
----------	--------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。
----	---

科目名	スピーキング I a	科目名 (英文)	Speaking Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	ジューン ボーメント
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。																																																																		
到達目標	CEFR-J[A1.1-A1.2]を目標とし、よく使われる日常的表現（自分の住んでいるところ、自己紹介、挨拶など）や基本的な言い回しを用いて、単純なやりとりができ、短い文章やメモなどが書けるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 程度の英文が書けるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	『暗唱英文 100』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする「100SS 発音テスト」を行う。また、50words 程度の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること。																																																																		
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検等																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>オリエンテーション、コメントするための表現</td><td>本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>2</td><td>コメントすることの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>3</td><td>関連質問をするための表現</td><td>例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>4</td><td>関連質問をすることの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>5</td><td>詳細に説明するための表現</td><td>例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>6</td><td>詳細に説明するための実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>7</td><td>学習事項の確認と振り返り活動</td><td>ペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>8</td><td>確認（繰り返し）を要求するための表現</td><td>例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>9</td><td>確認（繰り返し）を要求することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>10</td><td>説明を求めるための表現</td><td>例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>11</td><td>説明を求めることの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>12</td><td>会話の開始と終結のための表現</td><td>例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>13</td><td>会話の開始と終結することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>14</td><td>学習内容の確認と総合的活動</td><td>ペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>15</td><td>まとめ／夏休みについて語る</td><td>プレゼンテーション演習</td><td>総復習（1 時間）</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション、コメントするための表現	本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	2	コメントすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	3	関連質問をするための表現	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	4	関連質問をすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	5	詳細に説明するための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	6	詳細に説明するための実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	7	学習事項の確認と振り返り活動	ペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	8	確認（繰り返し）を要求するための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	9	確認（繰り返し）を要求することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	10	説明を求めるための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	11	説明を求めることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	12	会話の開始と終結のための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	13	会話の開始と終結することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	14	学習内容の確認と総合的活動	ペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	15	まとめ／夏休みについて語る	プレゼンテーション演習	総復習（1 時間）
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション、コメントするための表現	本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
2	コメントすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
3	関連質問をするための表現	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
4	関連質問をすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
5	詳細に説明するための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
6	詳細に説明するための実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
7	学習事項の確認と振り返り活動	ペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
8	確認（繰り返し）を要求するための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
9	確認（繰り返し）を要求することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
10	説明を求めるための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
11	説明を求めることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
12	会話の開始と終結のための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
13	会話の開始と終結することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
14	学習内容の確認と総合的活動	ペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
15	まとめ／夏休みについて語る	プレゼンテーション演習	総復習（1 時間）																																																																
関連科目	ボキャブラリー&文法 a、スピーキング&ライティング Ia																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>暗唱英文 100</td><td>摂南大学外国語学部</td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td>Setsunan Speaking and Writing Ia (無料電子配布教材)</td><td>摂南大学外国語学部</td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部		2	Setsunan Speaking and Writing Ia (無料電子配布教材)	摂南大学外国語学部		3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部																																																																	
2	Setsunan Speaking and Writing Ia (無料電子配布教材)	摂南大学外国語学部																																																																	
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	暗唱英文 100 発音テスト 10% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 90%																																																																		
学生へのメッセージ	This course will help you with useful English phrases and improve your pronunciation and communication skills.																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室																																																																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表 やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。																																																																		

科目名	スピーキング I b	科目名 (英文)	Speaking Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	ジェーン・バーンター
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。
到達目標	CEFR-J [A1.3] を目標とし、自分に関連する情報 (個人情報・家族情報)、買い物、地理、学校・仕事に関する基本的な日常の事柄について、単純な情報発信や情報交換ができ、趣味や好き嫌いについて、複数の文を用いて表現できるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 以上の英文が書けるようになる。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする「100SS 発音テスト」を行う。また、50words 程度の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検等

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション、日常のルーティンを説明するための表現	本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	2	日常のルーティンを説明することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	3	意見を表明するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	4	意見を表明することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	5	相手の意見に賛成・反対するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	6	相手の意見に賛成・反対することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	7	学習事項の確認と振り返り活動	ペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	8	説明を一般化するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	9	説明を一般化することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	10	提案するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	11	提案することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	12	推測にかかわる表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	13	推測する表現の実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	14	学習内容の確認と総合的活動	ペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	15	まとめ/次年度の抱負について語る	プレゼンテーション演習	総復習 (1 時間)

関連科目	ボキャブラリー&文法 a、スピーキング&ライティング Ia
------	-------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部	
	2	Setsunan Speaking and Writing Ib (無料電子配布教材)	摂南大学外国語学部	
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	暗唱英文 100 発音テスト 10% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 90%
-----------	--

学生へのメッセージ	This course will help you with useful English phrases and improve your pronunciation and communication skills.
-----------	--

担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室
----------	-----------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時にチューデントアワーにて対応する。
----	--

科目名	スピーキングⅡ a	科目名 (英文)	Speaking IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	アイビス ウイリアム
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	1 年次に習得した『暗唱英文 100』を応用して英文を組み立て、事前準備なしでも複数の英文を使った発話ができたり、会話を継続させたりできるようにする。
到達目標	CEFR-J[A2.1] を目標とし、海外研修、留学、ホームステイ、観光、あるいは海外からの訪問客への対応など、日本の大学生が英語を使用する現実的かつ具体的な場面と相手を想定しながら、複数の英文を連続して発話できるスピーキング力、複数の英文を組み合わせるパラグラフを構成できるライティング力を身につける。
授業方法と留意点	1 年次に、実践的な英文の暗唱とその応用練習という学習技法に十分に習熟していることが前提となる。同じ学習技法を基礎としながら、単文にとどまらず複数の文を用いたトレーニングにステップアップする。口頭による発話と、手書きまたはタイピングによる作文をバランス良くトレーニングする。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	自己紹介と概要説明	テキスト全体に目を通しておく (1 時間)
	2	人について語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	3	ニュースを議論するための基礎	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	4	ニュースを議論する実践演習	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	5	家族の生活について語る	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	6	高校生活について小グループでのディスカッション	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	7	映像を見ていろいろと質問をすること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	8	学習内容の確認と振り返り活動	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	9	言われたことを確認する方法	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	10	言われたことをより詳細に聞く方法	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	11	ストレスへの対処法について議論すること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	12	生まれ育った地域について説明すること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	13	意見を表明するための基礎	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	14	意見を表明するための実践演習	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	15	グループ協働パフォーマンスと振り返り活動	グループ・パフォーマンスとディスカッション	総復習を行う (1 時間)

関連科目	リーディングⅡa, English for Specific Purposes a, メディアイングリッシュ a
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Speaking & Writing IIa (大学オリジナルテキスト)	English Department	Setsunan
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	共通課題 15% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 85%
-----------	--

学生へのメッセージ	毎回の授業に必ず必要な物・教科書、出席率そして積極的な授業参加発言、態度等を重要視する
-----------	---

担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室
----------	-----------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。
----	---

科目名	スピーキングⅡb	科目名(英文)	Speaking IIB
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	アイビス ウイリアム
ディプロマポリシー(DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	1年次に習得した『暗唱英文100』を応用して英文を組み立て、事前準備なしでも複数の英文を使った発話ができたり、会話を継続させたりできるようにする。																																																																		
到達目標	CEFR-J[A2.2]を目標とし、「スピーキング&ライティングⅡa」に引き続き、日本の大学生が英語を使用する現実的かつ具体的な場面と相手を想定しながら、複数の英文を連続して発話できるスピーキング力、複数の英文を組み合わせてパラグラフを構成できるライティング力を身につける。より長く、論理的な構成を持った英文を発信できるゆおになることを目指す。																																																																		
授業方法と留意点	写真や絵を見て、制限時間内にその内容を口頭または作文で表現するなどの応用トレーニングを取り入れる。口頭による発話と、手書きまたはタイピングによる作文をバランスよくトレーニングする。																																																																		
科目学習の効果(資格)	TOEIC, 英検																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>オリエンテーション</td><td>自己紹介と概要説明</td><td>テキスト全体に目を通しておく (1時間)</td></tr> <tr> <td>2</td><td>レストランのレビューについて語る</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>3</td><td>映画や音楽について語る</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>4</td><td>理想的な仕事について語る</td><td>グループ・ディスカッション</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>5</td><td>相手の理解をチェックする</td><td>グループ・ディスカッション</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>6</td><td>不平、不満の表明</td><td>グループ・ディスカッション</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する」 (1時間)</td></tr> <tr> <td>7</td><td>助言や提案をする</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>8</td><td>学習内容の確認と振り返り活動</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>9</td><td>義務の表明</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>10</td><td>報告したり尋ねたりすることの基礎</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>11</td><td>報告したり質問したりすることの実践演習</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>12</td><td>説得することと主張すること</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>13</td><td>可能性について述べること</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>14</td><td>個人的な問題について助言や提案をすること</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>15</td><td>グループ協働パフォーマンスと振り返り活動</td><td>グループ・パフォーマンスとディスカッション</td><td>総復習を行う (1時間)</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション	自己紹介と概要説明	テキスト全体に目を通しておく (1時間)	2	レストランのレビューについて語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	3	映画や音楽について語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	4	理想的な仕事について語る	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	5	相手の理解をチェックする	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	6	不平、不満の表明	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する」 (1時間)	7	助言や提案をする	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	8	学習内容の確認と振り返り活動	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	9	義務の表明	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	10	報告したり尋ねたりすることの基礎	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	11	報告したり質問したりすることの実践演習	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	12	説得することと主張すること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	13	可能性について述べること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	14	個人的な問題について助言や提案をすること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	15	グループ協働パフォーマンスと振り返り活動	グループ・パフォーマンスとディスカッション	総復習を行う (1時間)
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション	自己紹介と概要説明	テキスト全体に目を通しておく (1時間)																																																																
2	レストランのレビューについて語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
3	映画や音楽について語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
4	理想的な仕事について語る	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
5	相手の理解をチェックする	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
6	不平、不満の表明	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する」 (1時間)																																																																
7	助言や提案をする	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
8	学習内容の確認と振り返り活動	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
9	義務の表明	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
10	報告したり尋ねたりすることの基礎	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
11	報告したり質問したりすることの実践演習	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
12	説得することと主張すること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
13	可能性について述べること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
14	個人的な問題について助言や提案をすること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
15	グループ協働パフォーマンスと振り返り活動	グループ・パフォーマンスとディスカッション	総復習を行う (1時間)																																																																
関連科目	リーディングⅡb, English for Specific Purposes b, メディアイングリッシュb																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>Speaking & Writing IIA (大学オリジナル教材)</td><td>English Department</td><td>Setsunan</td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	Speaking & Writing IIA (大学オリジナル教材)	English Department	Setsunan	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	Speaking & Writing IIA (大学オリジナル教材)	English Department	Setsunan																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	共通課題 15% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 85%																																																																		
学生へのメッセージ	毎回の授業に必ず必要な物・教科書、出席率そして積極的な授業参加発言、態度等を重要視する																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室																																																																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ30時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。																																																																		

科目名	スピーキング&ライティング I a	科目名 (英文)	Speaking and Writing I a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	イ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	フーバー トッド
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1003b0		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。																																																																		
到達目標	CEFR-J[A1.1-A1.2]を目標とし、よく使われる日常的表現（自分の住んでいるところ、自己紹介、挨拶など）や基本的な言い回しを用いて、単純なやりとりができ、短い文章やメモなどが書けるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 程度の英文が書けるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	『暗唱英文 100』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする「100SS 発音テスト」を行う。また、50words 程度の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検等																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>オリエンテーション、コメントするための表現</td><td>本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>2</td><td>コメントすることの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>3</td><td>関連質問をするための表現</td><td>例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>4</td><td>関連質問をすることの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>5</td><td>詳細に説明するための表現</td><td>例文のインプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>6</td><td>詳細に説明するための実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>7</td><td>学習事項の確認と振り返り活動</td><td>ペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>8</td><td>確認(繰返し)を要求するための表現</td><td>例文のインプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>9</td><td>確認(繰返し)を要求することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>10</td><td>説明を求めるための表現</td><td>例文のインプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>11</td><td>説明を求めることの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>12</td><td>会話の開始と終結のための表現</td><td>例文のインプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>13</td><td>会話の開始と終結することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>14</td><td>学習内容の確認と総合的活動</td><td>ペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>15</td><td>まとめ/夏休みについて語る</td><td>プレゼンテーション演習</td><td>総復習 (1 時間)</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション、コメントするための表現	本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	2	コメントすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	3	関連質問をするための表現	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	4	関連質問をすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	5	詳細に説明するための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	6	詳細に説明するための実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	7	学習事項の確認と振り返り活動	ペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	8	確認(繰返し)を要求するための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	9	確認(繰返し)を要求することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	10	説明を求めるための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	11	説明を求めることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	12	会話の開始と終結のための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	13	会話の開始と終結することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	14	学習内容の確認と総合的活動	ペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	15	まとめ/夏休みについて語る	プレゼンテーション演習	総復習 (1 時間)
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション、コメントするための表現	本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
2	コメントすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
3	関連質問をするための表現	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
4	関連質問をすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
5	詳細に説明するための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
6	詳細に説明するための実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
7	学習事項の確認と振り返り活動	ペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
8	確認(繰返し)を要求するための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
9	確認(繰返し)を要求することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
10	説明を求めるための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
11	説明を求めることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
12	会話の開始と終結のための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
13	会話の開始と終結することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
14	学習内容の確認と総合的活動	ペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
15	まとめ/夏休みについて語る	プレゼンテーション演習	総復習 (1 時間)																																																																
関連科目	ボキャブラリー&文法 a、スピーキング&ライティング Ia																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>暗唱英文 100</td><td>摂南大学外国語学部</td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td>Setsunan Speaking and Writing Ia (無料電子配布教材)</td><td>摂南大学外国語学部</td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部		2	Setsunan Speaking and Writing Ia (無料電子配布教材)	摂南大学外国語学部		3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部																																																																	
2	Setsunan Speaking and Writing Ia (無料電子配布教材)	摂南大学外国語学部																																																																	
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	暗唱英文 100 発音テスト 10% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 90%																																																																		
学生へのメッセージ	I'm looking forward to having class with you. Be prepared to speak a lot in this class.																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 3 階 フーバー研究室																																																																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時にチューデントアワーにて対応する。																																																																		

科目名	スピーキング&ライティング I a	科目名 (英文)	Speaking and Writing I a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	ロ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	グランド パーシハム
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1003b0		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。																																																																		
到達目標	CEFR-J[A1.1-A1.2]を目標とし、よく使われる日常的表現（自分の住んでいるところ、自己紹介、挨拶など）や基本的な言い回しを用いて、単純なやりとりができ、短い文章やメモなどが書けるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 程度の英文が書けるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	『暗唱英文 100』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする「100SS 発音テスト」を行う。また、50words 程度の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること。																																																																		
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検等																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>オリエンテーション、コメントするための表現</td><td>本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>2</td><td>コメントすることの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>3</td><td>関連質問をするための表現</td><td>例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>4</td><td>関連質問をすることの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>5</td><td>詳細に説明するための表現</td><td>例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>6</td><td>詳細に説明するための実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>7</td><td>学習事項の確認と振り返り活動</td><td>ペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>8</td><td>確認（繰返し）を要求するための表現</td><td>例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>9</td><td>確認（繰返し）を要求することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>10</td><td>説明を求めるための表現</td><td>例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>11</td><td>説明を求めることの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>12</td><td>会話の開始と終結のための表現</td><td>例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>13</td><td>会話の開始と終結することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>14</td><td>学習内容の確認と総合的活動</td><td>ペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>15</td><td>まとめ／夏休みについて語る</td><td>プレゼンテーション演習</td><td>総復習（1 時間）</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション、コメントするための表現	本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	2	コメントすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	3	関連質問をするための表現	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	4	関連質問をすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	5	詳細に説明するための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	6	詳細に説明するための実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	7	学習事項の確認と振り返り活動	ペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	8	確認（繰返し）を要求するための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	9	確認（繰返し）を要求することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	10	説明を求めるための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	11	説明を求めることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	12	会話の開始と終結のための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	13	会話の開始と終結することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	14	学習内容の確認と総合的活動	ペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	15	まとめ／夏休みについて語る	プレゼンテーション演習	総復習（1 時間）
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション、コメントするための表現	本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
2	コメントすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
3	関連質問をするための表現	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
4	関連質問をすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
5	詳細に説明するための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
6	詳細に説明するための実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
7	学習事項の確認と振り返り活動	ペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
8	確認（繰返し）を要求するための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
9	確認（繰返し）を要求することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
10	説明を求めるための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
11	説明を求めることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
12	会話の開始と終結のための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
13	会話の開始と終結することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
14	学習内容の確認と総合的活動	ペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
15	まとめ／夏休みについて語る	プレゼンテーション演習	総復習（1 時間）																																																																
関連科目	ボキャブラリー&文法 a、スピーキング&ライティング Ia																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>暗唱英文 100</td><td>摂南大学外国語学部</td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td>Setsunan Speaking and Writing Ia（無料電子配布教材）</td><td>摂南大学外国語学部</td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部		2	Setsunan Speaking and Writing Ia（無料電子配布教材）	摂南大学外国語学部		3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部																																																																	
2	Setsunan Speaking and Writing Ia（無料電子配布教材）	摂南大学外国語学部																																																																	
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	暗唱英文 100 発音テスト 10% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 90%																																																																		
学生へのメッセージ	I'm looking forward to having class with you. Be prepared to speak a lot in this class N.B.: Absence is not an excuse for incomplete homework tasks.																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 2 階非常勤講師室																																																																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表 やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。																																																																		

科目名	スピーキング&ライティング I a	科目名 (英文)	Speaking and Writing I a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	ハ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	ダニエル マリノズ
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1003b0		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。																																																																		
到達目標	CEFR-J[A1.1-A1.2]を目標とし、よく使われる日常的表現（自分の住んでいるところ、自己紹介、挨拶など）や基本的な言い回しを用いて、単純なやりとりができ、短い文章やメモなどが書けるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 程度の英文が書けるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	『暗唱英文 100』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする「100SS 発音テスト」を行う。また、50words 程度の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること。																																																																		
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検等																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>オリエンテーション、コメントするための表現</td><td>本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>2</td><td>コメントすることの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>3</td><td>関連質問をするための表現</td><td>例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>4</td><td>関連質問をすることの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>5</td><td>詳細に説明するための表現</td><td>例文のインプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>6</td><td>詳細に説明するための実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>7</td><td>学習事項の確認と振り返り活動</td><td>ペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>8</td><td>確認（繰り返し）を要求するための表現</td><td>例文のインプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>9</td><td>確認（繰り返し）を要求することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>10</td><td>説明を求めるための表現</td><td>例文のインプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>11</td><td>説明を求めることの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>12</td><td>会話の開始と終結のための表現</td><td>例文のインプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>13</td><td>会話の開始と終結することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>14</td><td>学習内容の確認と総合的活動</td><td>ペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>15</td><td>まとめ／夏休みについて語る</td><td>プレゼンテーション演習</td><td>総復習（1 時間）</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション、コメントするための表現	本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	2	コメントすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	3	関連質問をするための表現	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	4	関連質問をすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	5	詳細に説明するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	6	詳細に説明するための実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	7	学習事項の確認と振り返り活動	ペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	8	確認（繰り返し）を要求するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	9	確認（繰り返し）を要求することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	10	説明を求めるための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	11	説明を求めることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	12	会話の開始と終結のための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	13	会話の開始と終結することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	14	学習内容の確認と総合的活動	ペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	15	まとめ／夏休みについて語る	プレゼンテーション演習	総復習（1 時間）
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション、コメントするための表現	本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
2	コメントすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
3	関連質問をするための表現	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
4	関連質問をすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
5	詳細に説明するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
6	詳細に説明するための実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
7	学習事項の確認と振り返り活動	ペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
8	確認（繰り返し）を要求するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
9	確認（繰り返し）を要求することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
10	説明を求めるための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
11	説明を求めることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
12	会話の開始と終結のための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
13	会話の開始と終結することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
14	学習内容の確認と総合的活動	ペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
15	まとめ／夏休みについて語る	プレゼンテーション演習	総復習（1 時間）																																																																
関連科目	ボキャブラリー&文法 a、スピーキング&ライティング Ia																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>暗唱英文 100</td><td>摂南大学外国語学部</td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td>Setsunan Speaking and Writing Ia（無料電子配布教材）</td><td>摂南大学外国語学部</td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部		2	Setsunan Speaking and Writing Ia（無料電子配布教材）	摂南大学外国語学部		3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部																																																																	
2	Setsunan Speaking and Writing Ia（無料電子配布教材）	摂南大学外国語学部																																																																	
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	暗唱英文 100 発音テスト 10% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 90%																																																																		
学生へのメッセージ	In addition to the syllabus content explained above, you will practice writing and speaking about your daily life and asking follow up questions. In order to pass this course, you must attempt ALL assessment tasks. Absence is not an excuse for incomplete homework tasks. Ask a classmate or email the instructor for homework details. Any student who is absent for more than four classes (per semester) will fail the course. If you come to class more than 30 minutes late, it will count as one absence.																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 2 階非常勤講師室																																																																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表 やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。																																																																		

科目名	スピーキング&ライティング I a	科目名 (英文)	Speaking and Writing I a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	ニ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	久田 歩
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1003b0		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。																																																																		
到達目標	CEFR-J[A1.1-A1.2]を目標とし、よく使われる日常的表現（自分の住んでいるところ、自己紹介、挨拶など）や基本的な言い回しを用いて、単純なやりとりができ、短い文章やメモなどが書けるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 程度の英文が書けるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	『暗唱英文 100』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする「100SS 発音テスト」を行う。また、50words 程度の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること。																																																																		
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検等																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>オリエンテーション、コメントするための表現</td><td>本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>2</td><td>コメントすることの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>3</td><td>関連質問をするための表現</td><td>例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>4</td><td>関連質問をすることの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>5</td><td>詳細に説明するための表現</td><td>例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>6</td><td>詳細に説明するための実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>7</td><td>学習事項の確認と振り返り活動</td><td>ペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>8</td><td>確認（繰り返し）を要求するための表現</td><td>例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>9</td><td>確認（繰り返し）を要求することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>10</td><td>説明を求めるための表現</td><td>例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>11</td><td>説明を求めることの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>12</td><td>会話の開始と終結のための表現</td><td>例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>13</td><td>会話の開始と終結することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>14</td><td>学習内容の確認と総合的活動</td><td>ペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>15</td><td>まとめ／夏休みについて語る</td><td>プレゼンテーション演習</td><td>総復習（1 時間）</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション、コメントするための表現	本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	2	コメントすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	3	関連質問をするための表現	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	4	関連質問をすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	5	詳細に説明するための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	6	詳細に説明するための実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	7	学習事項の確認と振り返り活動	ペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	8	確認（繰り返し）を要求するための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	9	確認（繰り返し）を要求することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	10	説明を求めるための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	11	説明を求めることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	12	会話の開始と終結のための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	13	会話の開始と終結することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	14	学習内容の確認と総合的活動	ペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	15	まとめ／夏休みについて語る	プレゼンテーション演習	総復習（1 時間）
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション、コメントするための表現	本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
2	コメントすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
3	関連質問をするための表現	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
4	関連質問をすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
5	詳細に説明するための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
6	詳細に説明するための実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
7	学習事項の確認と振り返り活動	ペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
8	確認（繰り返し）を要求するための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
9	確認（繰り返し）を要求することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
10	説明を求めるための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
11	説明を求めることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
12	会話の開始と終結のための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
13	会話の開始と終結することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
14	学習内容の確認と総合的活動	ペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
15	まとめ／夏休みについて語る	プレゼンテーション演習	総復習（1 時間）																																																																
関連科目	ボキャブラリー&文法 a、スピーキング&ライティング Ia																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>暗唱英文 100</td><td>摂南大学外国語学部</td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td>Setsunan Speaking and Writing Ia（無料電子配布教材）</td><td>摂南大学外国語学部</td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部		2	Setsunan Speaking and Writing Ia（無料電子配布教材）	摂南大学外国語学部		3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部																																																																	
2	Setsunan Speaking and Writing Ia（無料電子配布教材）	摂南大学外国語学部																																																																	
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	暗唱英文 100 発音テスト 10% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 90%																																																																		
学生へのメッセージ	質問はいつでも授業中にしてください。 みんなの為になります。 積極的に話す練習をしましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 2 階非常勤講師室木曜午前中																																																																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表 やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。																																																																		

科目名	スピーキング&ライティング I a	科目名 (英文)	Speaking and Writing I a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	ホ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	スコット ライリー
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1003b0		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。																																																																		
到達目標	CEFR-J[A1.1-A1.2]を目標とし、よく使われる日常的表現（自分の住んでいるところ、自己紹介、挨拶など）や基本的な言い回しを用いて、単純なやりとりができ、短い文章やメモなどが書けるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 程度の英文が書けるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	『暗唱英文 100』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする「100SS 発音テスト」を行う。また、50words 程度の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検等																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>オリエンテーション、コメントするための表現</td><td>本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>2</td><td>コメントすることの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>3</td><td>関連質問をするための表現</td><td>例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>4</td><td>関連質問をすることの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>5</td><td>詳細に説明するための表現</td><td>例文のインプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>6</td><td>詳細に説明するための実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>7</td><td>学習事項の確認と振り返り活動</td><td>ペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>8</td><td>確認(繰返し)を要求するための表現</td><td>例文のインプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>9</td><td>確認(繰返し)を要求することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>10</td><td>説明を求めるための表現</td><td>例文のインプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>11</td><td>説明を求めることの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>12</td><td>会話の開始と終結のための表現</td><td>例文のインプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>13</td><td>会話の開始と終結することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>14</td><td>学習内容の確認と総合的活動</td><td>ペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>15</td><td>まとめ/夏休みについて語る</td><td>プレゼンテーション演習</td><td>総復習 (1 時間)</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション、コメントするための表現	本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	2	コメントすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	3	関連質問をするための表現	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	4	関連質問をすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	5	詳細に説明するための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	6	詳細に説明するための実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	7	学習事項の確認と振り返り活動	ペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	8	確認(繰返し)を要求するための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	9	確認(繰返し)を要求することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	10	説明を求めるための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	11	説明を求めることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	12	会話の開始と終結のための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	13	会話の開始と終結することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	14	学習内容の確認と総合的活動	ペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	15	まとめ/夏休みについて語る	プレゼンテーション演習	総復習 (1 時間)
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション、コメントするための表現	本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
2	コメントすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
3	関連質問をするための表現	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
4	関連質問をすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
5	詳細に説明するための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
6	詳細に説明するための実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
7	学習事項の確認と振り返り活動	ペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
8	確認(繰返し)を要求するための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
9	確認(繰返し)を要求することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
10	説明を求めるための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
11	説明を求めることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
12	会話の開始と終結のための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
13	会話の開始と終結することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
14	学習内容の確認と総合的活動	ペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
15	まとめ/夏休みについて語る	プレゼンテーション演習	総復習 (1 時間)																																																																
関連科目	ボキャブラリー&文法 a、スピーキング&ライティング Ia																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>暗唱英文 100</td><td>摂南大学外国語学部</td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td>Setsunan Speaking and Writing Ia (無料電子配布教材)</td><td>摂南大学外国語学部</td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部		2	Setsunan Speaking and Writing Ia (無料電子配布教材)	摂南大学外国語学部		3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部																																																																	
2	Setsunan Speaking and Writing Ia (無料電子配布教材)	摂南大学外国語学部																																																																	
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	暗唱英文 100 発音テスト 10% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 90%																																																																		
学生へのメッセージ	This course focuses on improving your speaking and writing skills. The more you speak and write in class each week, the more you will improve. So come to class each week prepared to try your best.																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 2 階非常勤講師室																																																																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表 やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。																																																																		

科目名	スピーキング&ライティング I a	科目名 (英文)	Speaking and Writing I a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	へ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	ニール カー
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1003b0		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。																																																																		
到達目標	CEFR-J[A1.1-A1.2]を目標とし、よく使われる日常的表現（自分の住んでいるところ、自己紹介、挨拶など）や基本的な言い回しを用いて、単純なやりとりができ、短い文章やメモなどが書けるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 程度の英文が書けるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	『暗唱英文 100』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする「100SS 発音テスト」を行う。また、50words 程度の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること。																																																																		
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検等																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>オリエンテーション、コメントするための表現</td><td>本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>2</td><td>コメントすることの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>3</td><td>関連質問をするための表現</td><td>例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>4</td><td>関連質問をすることの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>5</td><td>詳細に説明するための表現</td><td>例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>6</td><td>詳細に説明するための実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>7</td><td>学習事項の確認と振り返り活動</td><td>ペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>8</td><td>確認（繰り返し）を要求するための表現</td><td>例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>9</td><td>確認（繰り返し）を要求することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>10</td><td>説明を求めるための表現</td><td>例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>11</td><td>説明を求めることの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>12</td><td>会話の開始と終結のための表現</td><td>例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>13</td><td>会話の開始と終結することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>14</td><td>学習内容の確認と総合的活動</td><td>ペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>15</td><td>まとめ／夏休みについて語る</td><td>プレゼンテーション演習</td><td>総復習（1 時間）</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション、コメントするための表現	本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	2	コメントすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	3	関連質問をするための表現	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	4	関連質問をすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	5	詳細に説明するための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	6	詳細に説明するための実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	7	学習事項の確認と振り返り活動	ペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	8	確認（繰り返し）を要求するための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	9	確認（繰り返し）を要求することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	10	説明を求めるための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	11	説明を求めることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	12	会話の開始と終結のための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	13	会話の開始と終結することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	14	学習内容の確認と総合的活動	ペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	15	まとめ／夏休みについて語る	プレゼンテーション演習	総復習（1 時間）
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション、コメントするための表現	本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
2	コメントすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
3	関連質問をするための表現	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
4	関連質問をすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
5	詳細に説明するための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
6	詳細に説明するための実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
7	学習事項の確認と振り返り活動	ペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
8	確認（繰り返し）を要求するための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
9	確認（繰り返し）を要求することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
10	説明を求めるための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
11	説明を求めることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
12	会話の開始と終結のための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
13	会話の開始と終結することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
14	学習内容の確認と総合的活動	ペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
15	まとめ／夏休みについて語る	プレゼンテーション演習	総復習（1 時間）																																																																
関連科目	ボキャブラリー&文法 a、スピーキング&ライティング Ia																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>暗唱英文 100</td><td>摂南大学外国語学部</td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td>Setsunan Speaking and Writing Ia（無料電子配布教材）</td><td>摂南大学外国語学部</td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部		2	Setsunan Speaking and Writing Ia（無料電子配布教材）	摂南大学外国語学部		3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部																																																																	
2	Setsunan Speaking and Writing Ia（無料電子配布教材）	摂南大学外国語学部																																																																	
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	暗唱英文 100 発音テスト 10% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 90%																																																																		
学生へのメッセージ	Please complete the online homework units as we complete the corresponding units in class. Absence is not an excuse for incomplete homework tasks. Ask a classmate or email the instructor for homework details. Do not be absent for more than four lessons or you will risk failing the course.																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室																																																																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に対応する。																																																																		

科目名	スピーキング&ライティング I a	科目名 (英文)	Speaking and Writing I a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	ト
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	リチャード・グアイアス
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1003b0		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。																																																																		
到達目標	CEFR-J[A1.1-A1.2]を目標とし、よく使われる日常的表現（自分の住んでいるところ、自己紹介、挨拶など）や基本的な言い回しを用いて、単純なやりとりができ、短い文章やメモなどが書けるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 程度の英文が書けるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	『暗唱英文 100』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする「100SS 発音テスト」を行う。また、50words 程度の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検等																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>オリエンテーション、コメントするための表現</td><td>本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>2</td><td>コメントすることの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>3</td><td>関連質問をするための表現</td><td>例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>4</td><td>関連質問をすることの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>5</td><td>詳細に説明するための表現</td><td>例文のインプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>6</td><td>詳細に説明するための実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>7</td><td>学習事項の確認と振り返り活動</td><td>ペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>8</td><td>確認(繰返し)を要求するための表現</td><td>例文のインプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>9</td><td>確認(繰返し)を要求することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>10</td><td>説明を求めるための表現</td><td>例文のインプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>11</td><td>説明を求めることの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>12</td><td>会話の開始と終結のための表現</td><td>例文のインプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>13</td><td>会話の開始と終結することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>14</td><td>学習内容の確認と総合的活動</td><td>ペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>15</td><td>まとめ/夏休みについて語る</td><td>プレゼンテーション演習</td><td>総復習 (1 時間)</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション、コメントするための表現	本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	2	コメントすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	3	関連質問をするための表現	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	4	関連質問をすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	5	詳細に説明するための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	6	詳細に説明するための実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	7	学習事項の確認と振り返り活動	ペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	8	確認(繰返し)を要求するための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	9	確認(繰返し)を要求することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	10	説明を求めるための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	11	説明を求めることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	12	会話の開始と終結のための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	13	会話の開始と終結することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	14	学習内容の確認と総合的活動	ペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	15	まとめ/夏休みについて語る	プレゼンテーション演習	総復習 (1 時間)
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション、コメントするための表現	本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
2	コメントすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
3	関連質問をするための表現	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
4	関連質問をすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
5	詳細に説明するための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
6	詳細に説明するための実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
7	学習事項の確認と振り返り活動	ペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
8	確認(繰返し)を要求するための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
9	確認(繰返し)を要求することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
10	説明を求めるための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
11	説明を求めることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
12	会話の開始と終結のための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
13	会話の開始と終結することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
14	学習内容の確認と総合的活動	ペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
15	まとめ/夏休みについて語る	プレゼンテーション演習	総復習 (1 時間)																																																																
関連科目	ボキャブラリー&文法 a、スピーキング&ライティング Ia																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>暗唱英文 100</td><td>摂南大学外国語学部</td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td>Setsunan Speaking and Writing Ia (無料電子配布教材)</td><td>摂南大学外国語学部</td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部		2	Setsunan Speaking and Writing Ia (無料電子配布教材)	摂南大学外国語学部		3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部																																																																	
2	Setsunan Speaking and Writing Ia (無料電子配布教材)	摂南大学外国語学部																																																																	
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	暗唱英文 100 発音テスト 10% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 90%																																																																		
学生へのメッセージ	I'm looking forward to having class with you. Be prepared to speak a lot in this class.																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室																																																																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表 やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。																																																																		

科目名	スピーキング&ライティング I a	科目名 (英文)	Speaking and Writing I a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	チ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	ジェフリー ベル
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1003b0		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。																																																																		
到達目標	CEFR-J[A1.1-A1.2]を目標とし、よく使われる日常的表現（自分の住んでいるところ、自己紹介、挨拶など）や基本的な言い回しを用いて、単純なやりとりができ、短い文章やメモなどが書けるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 程度の英文が書けるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	『暗唱英文 100』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする「100SS 発音テスト」を行う。また、50words 程度の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検等																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>オリエンテーション、コメントするための表現</td><td>本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>2</td><td>コメントすることの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>3</td><td>関連質問をするための表現</td><td>例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>4</td><td>関連質問をすることの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>5</td><td>詳細に説明するための表現</td><td>例文のインプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>6</td><td>詳細に説明するための実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>7</td><td>学習事項の確認と振り返り活動</td><td>ペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>8</td><td>確認(繰返し)を要求するための表現</td><td>例文のインプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>9</td><td>確認(繰返し)を要求することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>10</td><td>説明を求めるための表現</td><td>例文のインプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>11</td><td>説明を求めることの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>12</td><td>会話の開始と終結のための表現</td><td>例文のインプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>13</td><td>会話の開始と終結することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>14</td><td>学習内容の確認と総合的活動</td><td>ペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>15</td><td>まとめ/夏休みについて語る</td><td>プレゼンテーション演習</td><td>総復習 (1 時間)</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション、コメントするための表現	本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	2	コメントすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	3	関連質問をするための表現	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	4	関連質問をすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	5	詳細に説明するための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	6	詳細に説明するための実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	7	学習事項の確認と振り返り活動	ペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	8	確認(繰返し)を要求するための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	9	確認(繰返し)を要求することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	10	説明を求めるための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	11	説明を求めることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	12	会話の開始と終結のための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	13	会話の開始と終結することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	14	学習内容の確認と総合的活動	ペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	15	まとめ/夏休みについて語る	プレゼンテーション演習	総復習 (1 時間)
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション、コメントするための表現	本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
2	コメントすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
3	関連質問をするための表現	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
4	関連質問をすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
5	詳細に説明するための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
6	詳細に説明するための実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
7	学習事項の確認と振り返り活動	ペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
8	確認(繰返し)を要求するための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
9	確認(繰返し)を要求することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
10	説明を求めるための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
11	説明を求めることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
12	会話の開始と終結のための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
13	会話の開始と終結することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
14	学習内容の確認と総合的活動	ペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
15	まとめ/夏休みについて語る	プレゼンテーション演習	総復習 (1 時間)																																																																
関連科目	ボキャブラリー&文法 a、スピーキング&ライティング Ia																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>暗唱英文 100</td><td>摂南大学外国語学部</td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td>Setsunan Speaking and Writing Ia (無料電子配布教材)</td><td>摂南大学外国語学部</td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部		2	Setsunan Speaking and Writing Ia (無料電子配布教材)	摂南大学外国語学部		3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部																																																																	
2	Setsunan Speaking and Writing Ia (無料電子配布教材)	摂南大学外国語学部																																																																	
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	暗唱英文 100 発音テスト 10% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 90%																																																																		
学生へのメッセージ	Welcome to Speaking and Writing Ia. We will focus on building speaking and writing skills plus confidence! Please read the text materials before the lesson and be ready to participate. Please don't be afraid to speak and most importantly relax and have fun!																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室																																																																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表 やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。																																																																		

科目名	スピーキング&ライティング I a	科目名 (英文)	Speaking and Writing I a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	リ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	マーティン オイクル
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1003b0		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。																																																																		
到達目標	CEFR-J[A1.1-A1.2]を目標とし、よく使われる日常的表現（自分の住んでいるところ、自己紹介、挨拶など）や基本的な言い回しを用いて、単純なやりとりができ、短い文章やメモなどが書けるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 程度の英文が書けるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	『暗唱英文 100』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする「100SS 発音テスト」を行う。また、50words 程度の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること。																																																																		
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検等																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>オリエンテーション、コメントするための表現</td><td>本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>2</td><td>コメントすることの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>3</td><td>関連質問をするための表現</td><td>例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>4</td><td>関連質問をすることの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>5</td><td>詳細に説明するための表現</td><td>例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>6</td><td>詳細に説明するための実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>7</td><td>学習事項の確認と振り返り活動</td><td>ペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>8</td><td>確認（繰り返し）を要求するための表現</td><td>例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>9</td><td>確認（繰り返し）を要求することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>10</td><td>説明を求めるための表現</td><td>例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>11</td><td>説明を求めることの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>12</td><td>会話の開始と終結のための表現</td><td>例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>13</td><td>会話の開始と終結することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>14</td><td>学習内容の確認と総合的活動</td><td>ペア＆グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr> <tr> <td>15</td><td>まとめ／夏休みについて語る</td><td>プレゼンテーション演習</td><td>総復習（1 時間）</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション、コメントするための表現	本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	2	コメントすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	3	関連質問をするための表現	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	4	関連質問をすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	5	詳細に説明するための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	6	詳細に説明するための実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	7	学習事項の確認と振り返り活動	ペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	8	確認（繰り返し）を要求するための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	9	確認（繰り返し）を要求することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	10	説明を求めるための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	11	説明を求めることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	12	会話の開始と終結のための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	13	会話の開始と終結することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	14	学習内容の確認と総合的活動	ペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	15	まとめ／夏休みについて語る	プレゼンテーション演習	総復習（1 時間）
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション、コメントするための表現	本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
2	コメントすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
3	関連質問をするための表現	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
4	関連質問をすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
5	詳細に説明するための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
6	詳細に説明するための実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
7	学習事項の確認と振り返り活動	ペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
8	確認（繰り返し）を要求するための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
9	確認（繰り返し）を要求することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
10	説明を求めるための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
11	説明を求めることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
12	会話の開始と終結のための表現	例文のインプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
13	会話の開始と終結することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
14	学習内容の確認と総合的活動	ペア＆グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
15	まとめ／夏休みについて語る	プレゼンテーション演習	総復習（1 時間）																																																																
関連科目	ボキャブラリー&文法 a、スピーキング&ライティング Ia																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>暗唱英文 100</td><td>摂南大学外国語学部</td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td>Setsunan Speaking and Writing Ia（無料電子配布教材）</td><td>摂南大学外国語学部</td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部		2	Setsunan Speaking and Writing Ia（無料電子配布教材）	摂南大学外国語学部		3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部																																																																	
2	Setsunan Speaking and Writing Ia（無料電子配布教材）	摂南大学外国語学部																																																																	
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	暗唱英文 100 発音テスト 10% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 90%																																																																		
学生へのメッセージ	良い成績を取るためには、参加することと良い授業態度が大切です。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室																																																																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表 やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。																																																																		

科目名	スピーキング&ライティング I a	科目名 (英文)	Speaking and Writing I a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	再
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	ジューン ボーメンター
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1003b0		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。																																																																		
到達目標	CEFR-J[A1.1-A1.2]を目標とし、よく使われる日常的表現（自分の住んでいるところ、自己紹介、挨拶など）や基本的な言い回しを用いて、単純なやりとりができ、短い文章やメモなどが書けるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 程度の英文が書けるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	『暗唱英文 100』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする「100SS 発音テスト」を行う。また、50words 程度の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検等																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>オリエンテーション、コメントするための表現</td><td>本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>2</td><td>コメントすることの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>3</td><td>関連質問をするための表現</td><td>例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>4</td><td>関連質問をすることの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>5</td><td>詳細に説明するための表現</td><td>例文のインプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>6</td><td>詳細に説明するための実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>7</td><td>学習事項の確認と振り返り活動</td><td>ペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>8</td><td>確認(繰返し)を要求するための表現</td><td>例文のインプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>9</td><td>確認(繰返し)を要求することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>10</td><td>説明を求めるための表現</td><td>例文のインプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>11</td><td>説明を求めることの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>12</td><td>会話の開始と終結のための表現</td><td>例文のインプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>13</td><td>会話の開始と終結することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>14</td><td>学習内容の確認と総合的活動</td><td>ペア & グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>15</td><td>まとめ/夏休みについて語る</td><td>プレゼンテーション演習</td><td>総復習 (1 時間)</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション、コメントするための表現	本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	2	コメントすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	3	関連質問をするための表現	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	4	関連質問をすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	5	詳細に説明するための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	6	詳細に説明するための実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	7	学習事項の確認と振り返り活動	ペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	8	確認(繰返し)を要求するための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	9	確認(繰返し)を要求することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	10	説明を求めるための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	11	説明を求めることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	12	会話の開始と終結のための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	13	会話の開始と終結することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	14	学習内容の確認と総合的活動	ペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	15	まとめ/夏休みについて語る	プレゼンテーション演習	総復習 (1 時間)
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション、コメントするための表現	本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
2	コメントすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
3	関連質問をするための表現	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
4	関連質問をすることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
5	詳細に説明するための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
6	詳細に説明するための実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
7	学習事項の確認と振り返り活動	ペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
8	確認(繰返し)を要求するための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
9	確認(繰返し)を要求することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
10	説明を求めるための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
11	説明を求めることの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
12	会話の開始と終結のための表現	例文のインプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
13	会話の開始と終結することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
14	学習内容の確認と総合的活動	ペア & グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
15	まとめ/夏休みについて語る	プレゼンテーション演習	総復習 (1 時間)																																																																
関連科目	ボキャブラリー&文法 a、スピーキング&ライティング Ia																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>暗唱英文 100</td><td>摂南大学外国語学部</td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td>Setsunan Speaking and Writing Ia (無料電子配布教材)</td><td>摂南大学外国語学部</td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部		2	Setsunan Speaking and Writing Ia (無料電子配布教材)	摂南大学外国語学部		3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部																																																																	
2	Setsunan Speaking and Writing Ia (無料電子配布教材)	摂南大学外国語学部																																																																	
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	暗唱英文 100 発音テスト 10% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 90%																																																																		
学生へのメッセージ	This course will help you with useful English phrases and improve your pronunciation and communication skills.																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室																																																																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表 やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。																																																																		

科目名	スピーキング&ライティング I b	科目名 (英文)	Speaking and Writing I b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	イ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	フーバー トッド
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1004b0		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。																																																																		
到達目標	CEFR-J [A1.3] を目標とし、自分に関連する情報（個人情報・家族情報）、買い物、地理、学校・仕事に関する基本的な日常の事柄について、単純な情報発信や情報交換ができ、趣味や好き嫌いについて、複数の文を用いて表現できるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 以上の英文が書けるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	『暗唱英文 100』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする「100SS 発音テスト」を行う。また、50words 程度の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること																																																																		
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検等																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>オリエンテーション、日常のルーティンを説明するための表現</td><td>本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>2</td><td>日常のルーティンを説明することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>3</td><td>意見を表明するための表現</td><td>例文のインプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>4</td><td>意見を表明することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>5</td><td>相手の意見に賛成・反対するための表現</td><td>例文のインプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>6</td><td>相手の意見に賛成・反対することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>7</td><td>学習事項の確認と振り返り活動</td><td>ペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>8</td><td>説明を一般化するための表現</td><td>例文のインプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>9</td><td>説明を一般化することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>10</td><td>提案するための表現</td><td>例文のインプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>11</td><td>提案することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>12</td><td>推測にかかわる表現</td><td>例文のインプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>13</td><td>推測する表現の実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>14</td><td>学習内容の確認と総合的活動</td><td>ペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>15</td><td>まとめ/次年度の抱負について語る</td><td>プレゼンテーション演習</td><td>総復習 (1 時間)</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション、日常のルーティンを説明するための表現	本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	2	日常のルーティンを説明することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	3	意見を表明するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	4	意見を表明することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	5	相手の意見に賛成・反対するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	6	相手の意見に賛成・反対することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	7	学習事項の確認と振り返り活動	ペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	8	説明を一般化するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	9	説明を一般化することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	10	提案するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	11	提案することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	12	推測にかかわる表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	13	推測する表現の実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	14	学習内容の確認と総合的活動	ペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	15	まとめ/次年度の抱負について語る	プレゼンテーション演習	総復習 (1 時間)
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション、日常のルーティンを説明するための表現	本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
2	日常のルーティンを説明することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
3	意見を表明するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
4	意見を表明することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
5	相手の意見に賛成・反対するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
6	相手の意見に賛成・反対することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
7	学習事項の確認と振り返り活動	ペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
8	説明を一般化するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
9	説明を一般化することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
10	提案するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
11	提案することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
12	推測にかかわる表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
13	推測する表現の実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
14	学習内容の確認と総合的活動	ペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
15	まとめ/次年度の抱負について語る	プレゼンテーション演習	総復習 (1 時間)																																																																
関連科目	ボキャブラリー&文法 a、スピーキング&ライティング Ia																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>暗唱英文 100</td><td>摂南大学外国語学部</td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td>Setsunan Speaking and Writing Ib (無料電子配布教材)</td><td>摂南大学外国語学部</td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部		2	Setsunan Speaking and Writing Ib (無料電子配布教材)	摂南大学外国語学部		3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部																																																																	
2	Setsunan Speaking and Writing Ib (無料電子配布教材)	摂南大学外国語学部																																																																	
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	暗唱英文 100 発音テスト 10% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 90%																																																																		
学生へのメッセージ	Don't be shy! I'm looking forward to hearing and reading your ideas in class. You will improve your speaking and writing stamina in this class.																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 3 階 フーバー研究室																																																																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時にチューデントアワーにて対応する。																																																																		

科目名	スピーキング&ライティング I b	科目名 (英文)	Speaking and Writing I b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	ロ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	グランド パーシム
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1004b0		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。				
到達目標	CEFR-J [A1.3] を目標とし、自分に関連する情報（個人情報・家族情報）、買い物、地理、学校・仕事に関する基本的な日常の事柄について、単純な情報発信や情報交換ができ、趣味や好き嫌いについて、複数の文を用いて表現できるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 以上の英文が書けるようになる。				
授業方法と留意点	『暗唱英文 100』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする「100SS 発音テスト」を行う。また、50words 程度の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること。				
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検等				
授業計画		回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
		1	オリエンテーション、日常のルーティンを説明するための表現	本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）
		2	日常のルーティンを説明することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）
		3	意見を表明するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）
		4	意見を表明することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）
		5	相手の意見に賛成・反対するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）
		6	相手の意見に賛成・反対することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）
		7	学習事項の確認と振り返り活動	ペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）
		8	説明を一般化するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）
		9	説明を一般化することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）
		10	提案するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）
		11	提案することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）
		12	推測にかかわる表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）
		13	推測する表現の実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）
		14	学習内容の確認と総合的活動	ペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）
		15	まとめ／次年度の抱負について語る	プレゼンテーション演習	総復習（1 時間）
関連科目	ボキャブラリー&文法ー a、スピーキング&ライティング Ia				
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名	
	1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部		
	2	Setsunan Speaking and Writing Ib（無料電子配布教材）	摂南大学外国語学部		
	3				
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名	
	1				
	2				
	3				
評価方法（基準）	暗唱英文 100 発音テスト 10% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 90%				
学生へのメッセージ	I'm looking forward to having class with you. Be prepared to speak a lot in this class. N.B.: Absence is not an excuse for incomplete homework tasks.				
担当者の研究室等	7 号館 2 階非常勤講師室				
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表 やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。				

科目名	スピーキング&ライティング I b	科目名 (英文)	Speaking and Writing I b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	ハ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	ダニエル マリノズ
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1004b0		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。
到達目標	CEFR-J [A1.3] を目標とし、自分に関連する情報（個人情報・家族情報）、買い物、地理、学校・仕事に関する基本的な日常の事柄について、単純な情報発信や情報交換ができ、趣味や好き嫌いについて、複数の文を用いて表現できるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 以上の英文が書けるようになる。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする「100SS 発音テスト」を行う。また、50words 程度の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検等

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション、日常のルーティンを説明するための表現	本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	2	日常のルーティンを説明することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	3	意見を表明するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	4	意見を表明することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	5	相手の意見に賛成・反対するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	6	相手の意見に賛成・反対することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	7	学習事項の確認と振り返り活動	ペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	8	説明を一般化するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	9	説明を一般化することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	10	提案するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	11	提案することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	12	推測にかかわる表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	13	推測する表現の実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	14	学習内容の確認と総合的活動	ペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	15	まとめ/次年度の抱負について語る	プレゼンテーション演習	総復習 (1 時間)

関連科目	ボキャブラリー&文法 a、スピーキング&ライティング Ia
------	-------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部	
	2	Setsunan Speaking and Writing Ib (無料電子配布教材)	摂南大学外国語学部	

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			

評価方法 (基準)	暗唱英文 100 発音テスト 10% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 90%
-----------	--

学生へのメッセージ	In addition to the syllabus content written above, you will practice writing and speaking about your daily life and asking follow up questions. In order to pass this course, you must attempt ALL assessment tasks. Absence is not an excuse for incomplete homework tasks. Ask a classmate or email the instructor for homework details. Any student who is absent for more than four classes (per semester) will fail the course. If you come to class more than 30 minutes late, it will count as one absence.
-----------	--

担当者の研究室等	7 号館 2 階非常勤講師室
----------	----------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表 やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。
----	--

科目名	スピーキング&ライティング I b	科目名 (英文)	Speaking and Writing I b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	ニ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	久田 歩
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1004b0		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。
到達目標	CEFR-J [A1.3] を目標とし、自分に関連する情報 (個人情報・家族情報)、買い物、地理、学校・仕事に関する基本的な日常の事柄について、単純な情報発信や情報交換ができ、趣味や好き嫌いについて、複数の文を用いて表現できるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 以上の英文が書けるようになる。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする「100SS 発音テスト」を行う。また、50words 程度の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検等

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション、日常のルーティンを説明するための表現	本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	2	日常のルーティンを説明することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	3	意見を表明するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	4	意見を表明することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	5	相手の意見に賛成・反対するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	6	相手の意見に賛成・反対することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	7	学習事項の確認と振り返り活動	ペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	8	説明を一般化するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	9	説明を一般化することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	10	提案するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	11	提案することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	12	推測にかかわる表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	13	推測する表現の実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	14	学習内容の確認と総合的活動	ペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	15	まとめ/次年度の抱負について語る	プレゼンテーション演習	総復習 (1 時間)

関連科目	ボキャブラリー&文法 a、スピーキング&ライティング Ia
------	-------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部	
	2	Setsunan Speaking and Writing Ib (無料電子配布教材)	摂南大学外国語学部	
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	暗唱英文 100 発音テスト 10% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 90%
-----------	--

学生へのメッセージ	後期になっても気を緩めることなく毎週コツコツと頑張ってください。
-----------	----------------------------------

担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室
----------	-----------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。
----	---

科目名	スピーキング&ライティング I b	科目名 (英文)	Speaking and Writing I b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	ホ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	スコット ライリー
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1004b0		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。																																																																			
到達目標	CEFR-J [A1.3] を目標とし、自分に関連する情報（個人情報・家族情報）、買い物、地理、学校・仕事に関する基本的な日常の事柄について、単純な情報発信や情報交換ができ、趣味や好き嫌いについて、複数の文を用いて表現できるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 以上の英文が書けるようになる。																																																																			
授業方法と留意点	『暗唱英文 100』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする「100SS 発音テスト」を行う。また、50words 程度の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること																																																																			
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検等																																																																			
授業計画	<table><tr><th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr><tr><td>1</td><td>オリエンテーション、日常のルーティンを説明するための表現</td><td>本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr><tr><td>2</td><td>日常のルーティンを説明することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr><tr><td>3</td><td>意見を表明するための表現</td><td>例文のインプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr><tr><td>4</td><td>意見を表明することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr><tr><td>5</td><td>相手の意見に賛成・反対するための表現</td><td>例文のインプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr><tr><td>6</td><td>相手の意見に賛成・反対することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr><tr><td>7</td><td>学習事項の確認と振り返り活動</td><td>ペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr><tr><td>8</td><td>説明を一般化するための表現</td><td>例文のインプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr><tr><td>9</td><td>説明を一般化することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr><tr><td>10</td><td>提案するための表現</td><td>例文のインプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr><tr><td>11</td><td>提案することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr><tr><td>12</td><td>推測にかかわる表現</td><td>例文のインプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr><tr><td>13</td><td>推測する表現の実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr><tr><td>14</td><td>学習内容の確認と総合的活動</td><td>ペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr><tr><td>15</td><td>まとめ／次年度の抱負について語る</td><td>プレゼンテーション演習</td><td>総復習（1 時間）</td></tr></table>	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション、日常のルーティンを説明するための表現	本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	2	日常のルーティンを説明することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	3	意見を表明するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	4	意見を表明することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	5	相手の意見に賛成・反対するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	6	相手の意見に賛成・反対することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	7	学習事項の確認と振り返り活動	ペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	8	説明を一般化するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	9	説明を一般化することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	10	提案するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	11	提案することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	12	推測にかかわる表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	13	推測する表現の実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	14	学習内容の確認と総合的活動	ペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	15	まとめ／次年度の抱負について語る	プレゼンテーション演習	総復習（1 時間）			
	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
	1	オリエンテーション、日常のルーティンを説明するための表現	本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
	2	日常のルーティンを説明することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
	3	意見を表明するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
	4	意見を表明することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
	5	相手の意見に賛成・反対するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
	6	相手の意見に賛成・反対することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
	7	学習事項の確認と振り返り活動	ペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
	8	説明を一般化するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
	9	説明を一般化することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
	10	提案するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
	11	提案することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
	12	推測にかかわる表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
	13	推測する表現の実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
	14	学習内容の確認と総合的活動	ペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																																
15	まとめ／次年度の抱負について語る	プレゼンテーション演習	総復習（1 時間）																																																																	
関連科目	ボキャブラリー&文法ー a、スピーキング&ライティング Ia																																																																			
教科書	<table><tr><th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr><tr><td>1</td><td>暗唱英文 100</td><td>摂南大学外国語学部</td><td></td></tr><tr><td>2</td><td>Setsunan Speaking and Writing Ib（無料電子配布教材）</td><td>摂南大学外国語学部</td><td></td></tr><tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部		2	Setsunan Speaking and Writing Ib（無料電子配布教材）	摂南大学外国語学部		3																																																						
	番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
	1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部																																																																	
	2	Setsunan Speaking and Writing Ib（無料電子配布教材）	摂南大学外国語学部																																																																	
3																																																																				
参考書	<table><tr><th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr><tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																						
	番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
	1																																																																			
	2																																																																			
3																																																																				
評価方法（基準）	暗唱英文 100 発音テスト 10% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 90%																																																																			
学生へのメッセージ	This course focuses on improving your speaking and writing skills. The more you speak and write in class each week, the more you will improve. So come to class each week prepared to try your best.																																																																			
担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室																																																																			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時にチューデントアワーにて対応する。																																																																			

科目名	スピーキング&ライティング I b	科目名 (英文)	Speaking and Writing I b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	へ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	ニール カー
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1004b0		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。
到達目標	CEFR-J [A1.3] を目標とし、自分に関連する情報（個人情報・家族情報）、買い物、地理、学校・仕事に関する基本的な日常の事柄について、単純な情報発信や情報交換ができ、趣味や好き嫌いについて、複数の文を用いて表現できるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 以上の英文が書けるようになる。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする「100SS 発音テスト」を行う。また、50words 程度の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検等

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション、日常のルーティンを説明するための表現	本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	2	日常のルーティンを説明することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	3	意見を表明するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	4	意見を表明することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	5	相手の意見に賛成・反対するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	6	相手の意見に賛成・反対することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	7	学習事項の確認と振り返り活動	ペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	8	説明を一般化するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	9	説明を一般化することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	10	提案するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	11	提案することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	12	推測にかかわる表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	13	推測する表現の実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	14	学習内容の確認と総合的活動	ペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	15	まとめ/次年度の抱負について語る	プレゼンテーション演習	総復習 (1 時間)

関連科目	ボキャブラリー&文法 a、スピーキング&ライティング Ia
------	-------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部	
	2	Setsunan Speaking and Writing Ib (無料電子配布教材)	摂南大学外国語学部	
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	暗唱英文 100 発音テスト 10% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 90%
-----------	--

学生へのメッセージ	Please complete the online homework units as we complete the corresponding units in class. Absence is not an excuse for incomplete homework tasks. Ask a classmate or email the instructor for homework details. Do not be absent for more than four lessons or you will risk failing the course.
-----------	---

担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室
----------	-----------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時にチューデントアワーにて対応する。
----	--

科目名	スピーキング&ライティング I b	科目名 (英文)	Speaking and Writing I b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	ト
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	リチャード・グアイアス
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1004b0		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。																																																																		
到達目標	CEFR-J [A1.3] を目標とし、自分に関連する情報（個人情報・家族情報）、買い物、地理、学校・仕事に関する基本的な日常の事柄について、単純な情報発信や情報交換ができ、趣味や好き嫌いについて、複数の文を用いて表現できるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 以上の英文が書けるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	『暗唱英文 100』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする「100SS 発音テスト」を行う。また、50words 程度の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること																																																																		
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検等																																																																		
授業計画		<table><tr><th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr><tr><td>1</td><td>オリエンテーション、日常のルーティンを説明するための表現</td><td>本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr><tr><td>2</td><td>日常のルーティンを説明することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr><tr><td>3</td><td>意見を表明するための表現</td><td>例文のインプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr><tr><td>4</td><td>意見を表明することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr><tr><td>5</td><td>相手の意見に賛成・反対するための表現</td><td>例文のインプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr><tr><td>6</td><td>相手の意見に賛成・反対することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr><tr><td>7</td><td>学習事項の確認と振り返り活動</td><td>ペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr><tr><td>8</td><td>説明を一般化するための表現</td><td>例文のインプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr><tr><td>9</td><td>説明を一般化することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr><tr><td>10</td><td>提案するための表現</td><td>例文のインプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr><tr><td>11</td><td>提案することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr><tr><td>12</td><td>推測にかかわる表現</td><td>例文のインプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr><tr><td>13</td><td>推測する表現の実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr><tr><td>14</td><td>学習内容の確認と総合的活動</td><td>ペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）</td></tr><tr><td>15</td><td>まとめ／次年度の抱負について語る</td><td>プレゼンテーション演習</td><td>総復習（1 時間）</td></tr></table>	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション、日常のルーティンを説明するための表現	本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	2	日常のルーティンを説明することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	3	意見を表明するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	4	意見を表明することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	5	相手の意見に賛成・反対するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	6	相手の意見に賛成・反対することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	7	学習事項の確認と振り返り活動	ペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	8	説明を一般化するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	9	説明を一般化することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	10	提案するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	11	提案することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	12	推測にかかわる表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	13	推測する表現の実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	14	学習内容の確認と総合的活動	ペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）	15	まとめ／次年度の抱負について語る	プレゼンテーション演習	総復習（1 時間）	
	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																															
	1	オリエンテーション、日常のルーティンを説明するための表現	本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																															
	2	日常のルーティンを説明することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																															
	3	意見を表明するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																															
	4	意見を表明することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																															
	5	相手の意見に賛成・反対するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																															
	6	相手の意見に賛成・反対することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																															
	7	学習事項の確認と振り返り活動	ペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																															
	8	説明を一般化するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																															
	9	説明を一般化することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																															
	10	提案するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																															
	11	提案することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																															
	12	推測にかかわる表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																															
	13	推測する表現の実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																															
	14	学習内容の確認と総合的活動	ペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱（1 時間）																																																															
15	まとめ／次年度の抱負について語る	プレゼンテーション演習	総復習（1 時間）																																																																
関連科目	ボキャブラリー&文法 a、スピーキング&ライティング Ia																																																																		
教科書		<table><tr><th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr><tr><td>1</td><td>暗唱英文 100</td><td>摂南大学外国語学部</td><td></td></tr><tr><td>2</td><td>Setsunan Speaking and Writing Ib（無料電子配布教材）</td><td>摂南大学外国語学部</td><td></td></tr><tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部		2	Setsunan Speaking and Writing Ib（無料電子配布教材）	摂南大学外国語学部		3																																																				
	番号	書籍名	著者名	出版社名																																																															
	1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部																																																																
	2	Setsunan Speaking and Writing Ib（無料電子配布教材）	摂南大学外国語学部																																																																
3																																																																			
参考書		<table><tr><th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr><tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																				
	番号	書籍名	著者名	出版社名																																																															
	1																																																																		
	2																																																																		
3																																																																			
評価方法（基準）	暗唱英文 100 発音テスト 10% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 90%																																																																		
学生へのメッセージ	Don't be shy! I'm looking forward to hearing and reading your ideas in class. You will improve your speaking and writing stamina in this class.																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室																																																																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表 やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。																																																																		

科目名	スピーキング&ライティング I b	科目名 (英文)	Speaking and Writing I b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	チ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	ジェフリー ベル
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1004b0		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。
到達目標	CEFR-J [A1.3] を目標とし、自分に関連する情報（個人情報・家族情報）、買い物、地理、学校・仕事に関する基本的な日常の事柄について、単純な情報発信や情報交換ができ、趣味や好き嫌いについて、複数の文を用いて表現できるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 以上の英文が書けるようになる。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする「100SS 発音テスト」を行う。また、50words 程度の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検等

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション、日常のルーティンを説明するための表現	本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	2	日常のルーティンを説明することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	3	意見を表明するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	4	意見を表明することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	5	相手の意見に賛成・反対するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	6	相手の意見に賛成・反対することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	7	学習事項の確認と振り返り活動	ペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	8	説明を一般化するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	9	説明を一般化することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	10	提案するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	11	提案することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	12	推測にかかわる表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	13	推測する表現の実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	14	学習内容の確認と総合的活動	ペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	15	まとめ/次年度の抱負について語る	プレゼンテーション演習	総復習 (1 時間)

関連科目	ボキャブラリー&文法 a、スピーキング&ライティング Ia
------	-------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部	
	2	Setsunan Speaking and Writing Ib (無料電子配布教材)	摂南大学外国語学部	
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	暗唱英文 100 発音テスト 10% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 90%
-----------	--

学生へのメッセージ	Welcome back for Speaking & Writing Ib. Now it's time to build upon the skills you learned last semester. Once again, always come to class prepared and ready to participate in all activities to get the most out of this course.
-----------	---

担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室
----------	-----------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時にチューデントアワーにて対応する。
----	--

科目名	スピーキング&ライティング I b	科目名 (英文)	Speaking and Writing I b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	リ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	マーティン オイクル
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1004b0		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。																																																																		
到達目標	CEFR-J [A1.3] を目標とし、自分に関連する情報（個人情報・家族情報）、買い物、地理、学校・仕事に関する基本的な日常の事柄について、単純な情報発信や情報交換ができ、趣味や好き嫌いについて、複数の文を用いて表現できるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 以上の英文が書けるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	『暗唱英文 100』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする「100SS 発音テスト」を行う。また、50words 程度の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること																																																																		
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検等																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>オリエンテーション、日常のルーティンを説明するための表現</td><td>本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>2</td><td>日常のルーティンを説明することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>3</td><td>意見を表明するための表現</td><td>例文のインプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>4</td><td>意見を表明することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>5</td><td>相手の意見に賛成・反対するための表現</td><td>例文のインプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>6</td><td>相手の意見に賛成・反対することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>7</td><td>学習事項の確認と振り返り活動</td><td>ペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>8</td><td>説明を一般化するための表現</td><td>例文のインプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>9</td><td>説明を一般化することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>10</td><td>提案するための表現</td><td>例文のインプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>11</td><td>提案することの実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>12</td><td>推測にかかわる表現</td><td>例文のインプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>13</td><td>推測する表現の実践練習</td><td>例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>14</td><td>学習内容の確認と総合的活動</td><td>ペア&グループワーク演習</td><td>指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)</td></tr> <tr> <td>15</td><td>まとめ/次年度の抱負について語る</td><td>プレゼンテーション演習</td><td>総復習 (1 時間)</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション、日常のルーティンを説明するための表現	本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	2	日常のルーティンを説明することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	3	意見を表明するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	4	意見を表明することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	5	相手の意見に賛成・反対するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	6	相手の意見に賛成・反対することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	7	学習事項の確認と振り返り活動	ペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	8	説明を一般化するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	9	説明を一般化することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	10	提案するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	11	提案することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	12	推測にかかわる表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	13	推測する表現の実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	14	学習内容の確認と総合的活動	ペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)	15	まとめ/次年度の抱負について語る	プレゼンテーション演習	総復習 (1 時間)
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション、日常のルーティンを説明するための表現	本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
2	日常のルーティンを説明することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
3	意見を表明するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
4	意見を表明することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
5	相手の意見に賛成・反対するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
6	相手の意見に賛成・反対することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
7	学習事項の確認と振り返り活動	ペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
8	説明を一般化するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
9	説明を一般化することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
10	提案するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
11	提案することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
12	推測にかかわる表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
13	推測する表現の実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
14	学習内容の確認と総合的活動	ペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)																																																																
15	まとめ/次年度の抱負について語る	プレゼンテーション演習	総復習 (1 時間)																																																																
関連科目	ボキャブラリー&文法 a、スピーキング&ライティング Ia																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>暗唱英文 100</td><td>摂南大学外国語学部</td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td>Setsunan Speaking and Writing Ib (無料電子配布教材)</td><td>摂南大学外国語学部</td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部		2	Setsunan Speaking and Writing Ib (無料電子配布教材)	摂南大学外国語学部		3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部																																																																	
2	Setsunan Speaking and Writing Ib (無料電子配布教材)	摂南大学外国語学部																																																																	
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	暗唱英文 100 発音テスト 10% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 90%																																																																		
学生へのメッセージ	良い成績を取るためには、参加することと良い授業態度が大切です。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室																																																																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時にチューデントアワーにて対応する。																																																																		

科目名	スピーキング&ライティング I b	科目名 (英文)	Speaking and Writing I b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	再
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	ジェーン・バーンター
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1004b0		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100』のうち、指定範囲の例文、および関連する例文を復唱し、英語で発信するための基礎作りをする。
到達目標	CEFR-J [A1.3] を目標とし、自分に関連する情報（個人情報・家族情報）、買い物、地理、学校・仕事に関する基本的な日常の事柄について、単純な情報発信や情報交換ができ、趣味や好き嫌いについて、複数の文を用いて表現できるようになる。絵や写真等を見て、与えられた時間内に 50words 以上の英文が書けるようになる。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100』の例文、および関連する例文を暗唱するために、反復練習をする。毎回の授業で、受講者が「十分な声量で、明瞭な発音によって例文を暗唱しているか」を担当教員がチェックする「100SS 発音テスト」を行う。また、50words 程度の英文ライティングを行い、担当教員から添削を受ける。必ず辞書を持参すること
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検等

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション、日常のルーティンを説明するための表現	本科目の目標・テーマや授業内容などについて。例文のインプット演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	2	日常のルーティンを説明することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	3	意見を表明するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	4	意見を表明することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	5	相手の意見に賛成・反対するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	6	相手の意見に賛成・反対することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	7	学習事項の確認と振り返り活動	ペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	8	説明を一般化するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	9	説明を一般化することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	10	提案するための表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	11	提案することの実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	12	推測にかかわる表現	例文のインプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	13	推測する表現の実践練習	例文のアウトプットのためのペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	14	学習内容の確認と総合的活動	ペア&グループワーク演習	指定範囲の例文の暗記と暗唱 (1 時間)
	15	まとめ/次年度の抱負について語る	プレゼンテーション演習	総復習 (1 時間)

関連科目	ボキャブラリー&文法 a、スピーキング&ライティング Ia
------	-------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部	
	2	Setsunan Speaking and Writing Ib (無料電子配布教材)	摂南大学外国語学部	
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	暗唱英文 100 発音テスト 10% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 90%
-----------	--

学生へのメッセージ	This course will help you with useful English phrases and improve your pronunciation and communication skills.
-----------	--

担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室
----------	-----------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時にチューデントアワーにて対応する。
----	--

科目名	スピーキング&ライティングⅡ a	科目名 (英文)	Speaking and Writing II a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	あ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	ダニエル マリノズ
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL2035b0		

授業概要・目的	1 年次に習得した『暗唱英文 100』を応用して英文を組み立て、事前準備なしでも複数の英文を使った発話ができたり、会話を継続させたりできるようにする。
到達目標	CEFR-J[A2.1] を目標とし、海外研修、留学、ホームステイ、観光、あるいは海外からの訪問客への対応など、日本の大学生が英語を使用する現実的かつ具体的な場面と相手を想定しながら、複数の英文を連続して発話できるスピーキング力、複数の英文を組み合わせるパラグラフを構成できるライティング力を身につける。
授業方法と留意点	1 年次に、実践的な英文の暗唱とその応用練習という学習技法に十分に習熟していることが前提となる。同じ学習技法を基礎としながら、単文にとどまらず複数の文を用いたトレーニングにステップアップする。口頭による発話と、手書きまたはタイピングによる作文をバランス良くトレーニングする。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	自己紹介と概要説明	テキスト全体に目を通しておく (1 時間)
	2	人について語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	3	ニュースを議論するための基礎	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	4	ニュースを議論する実践演習	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	5	家族の生活について語ること	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	6	高校生活について小グループでのディスカッション	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	7	映像を見ていろいろと質問をすること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	8	学習内容の確認と振り返り活動	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	9	言われたことを確認する方法	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	10	言われたことをより詳細に聞く方法	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	11	ストレスへの対処法について議論すること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	12	生まれ育った地域について説明すること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	13	意見を表明するための基礎	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	14	意見を表明するための実践演習	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	15	グループ協働パフォーマンスと振り返り活動	グループ・パフォーマンスとディスカッション	総復習を行う (1 時間)

関連科目	リーディングⅡa, English for Specific Purposes a, メディアイングリッシュ a
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Speaking & Writing IIa (大学オリジナルテキスト)	English Department	Setsunan
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	共通課題 15% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 85%
-----------	--

学生へのメッセージ	I'm looking forward to seeing you every week in class! Be prepared to speak lots of English in each and every class. In order to pass this course, you must attempt ALL assessment tasks. Absence is not an excuse for incomplete homework tasks. Ask a classmate or email the instructor for homework details. Any student who is absent for more than four classes (per semester) will fail the course. If you come to class more than 30 minutes late, it will count as one absence.
-----------	---

担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室
----------	-----------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。
----	---

科目名	スピーキング&ライティングⅡ a	科目名 (英文)	Speaking and Writing II a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	い
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	スコット ライリー
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL2035b0		

授業概要・目的	1 年次に習得した『暗唱英文 100』を応用して英文を組み立て、事前準備なしでも複数の英文を使った発話ができたり、会話を継続させたりできるようにする。
到達目標	CEFR-J[A2.1]を目標とし、海外研修、留学、ホームステイ、観光、あるいは海外からの訪問客への対応など、日本の大学生が英語を使用する現実的かつ具体的な場面と相手を想定しながら、複数の英文を連続して発話できるスピーキング力、複数の英文を組み合わせてパラグラフを構成できるライティング力を身につける。
授業方法と留意点	1 年次に、実践的な英文の暗唱とその応用練習という学習技法に十分に習熟していることが前提となる。同じ学習技法を基礎としながら、単文にとどまらず複数の文を用いたトレーニングにステップアップする。口頭による発話と、手書きまたはタイピングによる作文をバランス良くトレーニングする。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	自己紹介と概要説明	テキスト全体に目を通しておく (1 時間)
	2	人について語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	3	ニュースを議論するための基礎	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	4	ニュースを議論する実践演習	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	5	家族の生活について語ること	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	6	高校生活について小グループでのディスカッション	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	7	映像を見ていろいろと質問をすること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	8	学習内容の確認と振り返り活動	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	9	言われたことを確認する方法	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	10	言われたことをより詳細に聞く方法	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	11	ストレスへの対処法について議論すること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	12	生まれ育った地域について説明すること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	13	意見を表明するための基礎	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	14	意見を表明するための実践演習	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	15	グループ協働パフォーマンスと振り返り活動	グループ・パフォーマンスとディスカッション	総復習を行う (1 時間)

関連科目	リーディングⅡa, English for Specific Purposes a, メディアイングリッシュ a
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Speaking & Writing IIa	English Department	Setsunan
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	共通課題 15% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 85%
学生へのメッセージ	Coming to class regularly and actively participating in all classroom activities will benefit students greatly to improve their speaking and writing skills.
担当者の研究室等	7 号館 2 階非常勤講師室
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。

科目名	スピーキング&ライティングⅡ a	科目名 (英文)	Speaking and Writing II a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	う
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	マイケル ハーキー
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL2035b0		

授業概要・目的	1 年次に習得した『暗唱英文 100』を応用して英文を組み立て、事前準備なしでも複数の英文を使った発話ができたり、会話を継続させたりできるようにする。
到達目標	CEFR-J[A2.1]を目標とし、海外研修、留学、ホームステイ、観光、あるいは海外からの訪問客への対応など、日本の大学生が英語を使用する現実的かつ具体的な場面と相手を想定しながら、複数の英文を連続して発話できるスピーキング力、複数の英文を組み合わせるパラグラフを構成できるライティング力を身につける。
授業方法と留意点	1 年次に、実践的な英文の暗唱とその応用練習という学習技法に十分に習熟していることが前提となる。同じ学習技法を基礎としながら、単文にとどまらず複数の文を用いたトレーニングにステップアップする。口頭による発話と、手書きまたはタイピングによる作文をバランス良くトレーニングする。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	自己紹介と概要説明	テキスト全体に目を通しておく (1 時間)
	2	人について語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	3	ニュースを議論するための基礎	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	4	ニュースを議論する実践演習	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	5	家族の生活について語る	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	6	高校生活について小グループでのディスカッション	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	7	映像を見ていろいろと質問をすること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	8	学習内容の確認と振り返り活動	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	9	言われたことを確認する方法	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	10	言われたことをより詳細に聞く方法	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	11	ストレスへの対処法について議論すること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	12	生まれ育った地域について説明すること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	13	意見を表明するための基礎	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	14	意見を表明するための実践演習	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	15	グループ協働パフォーマンスと振り返り活動	グループ・パフォーマンスとディスカッション	総復習を行う (1 時間)

関連科目	リーディングⅡa, English for Specific Purposes a, メディアイングリッシュ a
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Speaking & Writing IIa (大学オリジナルテキスト)	English Department	Setsunan
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	共通課題 15% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 85%
-----------	--

学生へのメッセージ	Students who consistently approach the classroom activities and homework with focus and enthusiasm will be able to speak and write English much better.
-----------	---

担当者の研究室等	7 号館 3 階 Herke 研究室
----------	--------------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。
----	---

科目名	スピーキング&ライティングⅡ a	科目名 (英文)	Speaking and Writing II a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	え
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	グランド パーシム
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL2035b0		

授業概要・目的	1 年次に習得した『暗唱英文 100』を応用して英文を組み立て、事前準備なしでも複数の英文を使った発話ができたり、会話を継続させたりできるようにする。
到達目標	CEFR-J[A2.1]を目標とし、海外研修、留学、ホームステイ、観光、あるいは海外からの訪問客への対応など、日本の大学生が英語を使用する現実的かつ具体的な場面と相手を想定しながら、複数の英文を連続して発話できるスピーキング力、複数の英文を組み合わせでパラグラフを構成できるライティング力を身につける。
授業方法と留意点	1 年次に、実践的な英文の暗唱とその応用練習という学習技法に十分に習熟していることが前提となる。同じ学習技法を基礎としながら、単文にとどまらず複数の文を用いたトレーニングにステップアップする。口頭による発話と、手書きまたはタイピングによる作文をバランス良くトレーニングする。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	自己紹介と概要説明	テキスト全体に目を通しておく (1 時間)
	2	人について語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	3	ニュースを議論するための基礎	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	4	ニュースを議論する実践演習	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	5	家族の生活について語ること	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	6	高校生活について小グループでのディスカッション	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	7	映像を見ていろいろと質問をすること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	8	学習内容の確認と振り返り活動	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	9	言われたことを確認する方法	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	10	言われたことをより詳細に聞く方法	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	11	ストレスへの対処法について議論すること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	12	生まれ育った地域について説明すること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	13	意見を表明するための基礎	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	14	意見を表明するための実践演習	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	15	グループ協働パフォーマンスと振り返り活動	グループ・パフォーマンスとディスカッション	総復習を行う (1 時間)

関連科目	リーディングⅡa, English for Specific Purposes a, メディアイングリッシュ a
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Speaking & Writing IIa (大学オリジナルテキスト)	English Department	Setsunan
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100	摂南大学外国語学部	
	2			
	3			

評価方法 (基準)	共通課題 15% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 85%
学生へのメッセージ	I'm looking forward to having class with you. Be prepared to speak a lot in this class N.B.: Absence is not an excuse for incomplete homework tasks.
担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。

科目名	スピーキング&ライティングⅡ a	科目名 (英文)	Speaking and Writing II a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	お
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	ジョン カール
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL2035b0		

授業概要・目的	1 年次に習得した『暗唱英文 100』を応用して英文を組み立て、事前準備なしでも複数の英文を使った発話ができたり、会話を継続させたりできるようにする。
到達目標	CEFR-J[A2.1]を目標とし、海外研修、留学、ホームステイ、観光、あるいは海外からの訪問客への対応など、日本の大学生が英語を使用する現実的かつ具体的な場面と相手を想定しながら、複数の英文を連続して発話できるスピーキング力、複数の英文を組み合わせるパラグラフを構成できるライティング力を身につける。
授業方法と留意点	1 年次に、実践的な英文の暗唱とその応用練習という学習技法に十分に習熟していることが前提となる。同じ学習技法を基礎としながら、単文にとどまらず複数の文を用いたトレーニングにステップアップする。口頭による発話と、手書きまたはタイピングによる作文をバランス良くトレーニングする。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	自己紹介と概要説明	テキスト全体に目を通しておく (1 時間)
	2	人について語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	3	ニュースを議論するための基礎	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	4	ニュースを議論する実践演習	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	5	家族の生活について語ること	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	6	高校生活について小グループでのディスカッション	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	7	映像を見ていろいろと質問をすること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	8	学習内容の確認と振り返り活動	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	9	言われたことを確認する方法	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	10	言われたことをより詳細に聞く方法	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	11	ストレスへの対処法について議論すること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	12	生まれ育った地域について説明すること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	13	意見を表明するための基礎	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	14	意見を表明するための実践演習	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	15	グループ協働パフォーマンスと振り返り活動	グループ・パフォーマンスとディスカッション	総復習を行う (1 時間)

関連科目	リーディングⅡa, English for Specific Purposes a, メディアイングリッシュ a
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Speaking & Writing IIa (大学オリジナルテキスト)	English Department	Setsunan
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	共通課題 15% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 85%
-----------	--

学生へのメッセージ	毎回の授業に必ず必要な物・教科書、出席率そして積極的な授業参加発言、態度等を重要視する
-----------	---

担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室
----------	-----------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。
----	---

科目名	スピーキング&ライティングⅡ a	科目名 (英文)	Speaking and Writing II a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	か
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	グライソン スレーター
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL2035b0		

授業概要・目的	1 年次に習得した『暗唱英文 100』を応用して英文を組み立て、事前準備なしでも複数の英文を使った発話ができたり、会話を継続させたりできるようにする。
到達目標	CEFR-J[A2.1]を目標とし、海外研修、留学、ホームステイ、観光、あるいは海外からの訪問客への対応など、日本の大学生が英語を使用する現実的かつ具体的な場面と相手を想定しながら、複数の英文を連続して発話できるスピーキング力、複数の英文を組み合わせるパラグラフを構成できるライティング力を身につける。
授業方法と留意点	1 年次に、実践的な英文の暗唱とその応用練習という学習技法に十分に習熟していることが前提となる。同じ学習技法を基礎としながら、単文にとどまらず複数の文を用いたトレーニングにステップアップする。口頭による発話と、手書きまたはタイピングによる作文をバランスよくトレーニングする。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	自己紹介と概要説明	テキスト全体に目を通しておく (1 時間)
	2	人について語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	3	ニュースを議論するための基礎	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	4	ニュースを議論する実践演習	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	5	家族の生活について語ること	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	6	高校生活について小グループでのディスカッション	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	7	映像を見ていろいろと質問をすること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	8	学習内容の確認と振り返り活動	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	9	言われたことを確認する方法	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	10	言われたことをより詳細に聞く方法	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	11	ストレスへの対処法について議論すること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	12	生まれ育った地域について説明すること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	13	意見を表明するための基礎	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	14	意見を表明するための実践演習	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	15	グループ協働パフォーマンスと振り返り活動	グループ・パフォーマンスとディスカッション	総復習を行う (1 時間)

関連科目	リーディングⅡa, English for Specific Purposes a, メディアイングリッシュ a
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Speaking & Writing IIa (大学オリジナルテキスト)	English Department	Setsunan
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	共通課題 15% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 85%
-----------	--

学生へのメッセージ	Plan for your future and study English today.
-----------	---

担当者の研究室等	7 号館 2 階非常勤講師室
----------	----------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。
----	---

科目名	スピーキング&ライティングⅡ a	科目名 (英文)	Speaking and Writing II a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	き
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	ブルース ライリー
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL2035b0		

授業概要・目的	1 年次に習得した『暗唱英文 100』を応用して英文を組み立て、事前準備なしでも複数の英文を使った発話ができたり、会話を継続させたりできるようにする。
到達目標	CEFR-J[A2.1]を目標とし、海外研修、留学、ホームステイ、観光、あるいは海外からの訪問客への対応など、日本の大学生が英語を使用する現実的かつ具体的な場面と相手を想定しながら、複数の英文を連続して発話できるスピーキング力、複数の英文を組み合わせでパラグラフを構成できるライティング力を身につける。
授業方法と留意点	1 年次に、実践的な英文の暗唱とその応用練習という学習技法に十分に習熟していることが前提となる。同じ学習技法を基礎としながら、単文にとどまらず複数の文を用いたトレーニングにステップアップする。口頭による発話と、手書きまたはタイピングによる作文をバランス良くトレーニングする。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	自己紹介と概要説明	テキスト全体に目を通しておく (1 時間)
	2	人について語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	3	ニュースを議論するための基礎	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	4	ニュースを議論する実践演習	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	5	家族の生活について語ること	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	6	高校生活について小グループでのディスカッション	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	7	映像を見ていろいろと質問をすること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	8	学習内容の確認と振り返り活動	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	9	言われたことを確認する方法	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	10	言われたことをより詳細に聞く方法	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	11	ストレスへの対処法について議論すること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	12	生まれ育った地域について説明すること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	13	意見を表明するための基礎	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	14	意見を表明するための実践演習	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	15	グループ協働パフォーマンスと振り返り活動	グループ・パフォーマンスとディスカッション	総復習を行う (1 時間)

関連科目	リーディングⅡa, English for Specific Purposes a, メディアイングリッシュ a
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Speaking & Writing IIa (大学オリジナルテキスト)	English Department	Setsunan
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	共通課題 15% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 85%
-----------	--

学生へのメッセージ	Prepare for your future and study and speak English today.
-----------	--

担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室
----------	-----------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。
----	---

科目名	スピーキング&ライティングⅡ a	科目名 (英文)	Speaking and Writing II a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	再
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	アイビス ウイリアム
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL2035b0		

授業概要・目的	1 年次に習得した『暗唱英文 100』を応用して英文を組み立て、事前準備なしでも複数の英文を使った発話ができたり、会話を継続させたりできるようにする。
到達目標	CEFR-J[A2.1]を目標とし、海外研修、留学、ホームステイ、観光、あるいは海外からの訪問客への対応など、日本の大学生が英語を使用する現実的かつ具体的な場面と相手を想定しながら、複数の英文を連続して発話できるスピーキング力、複数の英文を組み合わせるパラグラフを構成できるライティング力を身につける。
授業方法と留意点	1 年次に、実践的な英文の暗唱とその応用練習という学習技法に十分に習熟していることが前提となる。同じ学習技法を基礎としながら、単文にとどまらず複数の文を用いたトレーニングにステップアップする。口頭による発話と、手書きまたはタイピングによる作文をバランス良くトレーニングする。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	自己紹介と概要説明	テキスト全体に目を通しておく (1 時間)
	2	人について語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	3	ニュースを議論するための基礎	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	4	ニュースを議論する実践演習	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	5	家族の生活について語る	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	6	高校生活について小グループでのディスカッション	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	7	映像を見ていろいろと質問をすること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	8	学習内容の確認と振り返り活動	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	9	言われたことを確認する方法	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	10	言われたことをより詳細に聞く方法	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	11	ストレスへの対処法について議論すること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	12	生まれ育った地域について説明すること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	13	意見を表明するための基礎	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	14	意見を表明するための実践演習	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1 時間)
	15	グループ協働パフォーマンスと振り返り活動	グループ・パフォーマンスとディスカッション	総復習を行う (1 時間)

関連科目	リーディングⅡa, English for Specific Purposes a, メディアイングリッシュ a
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Speaking & Writing IIa (大学オリジナルテキスト)	English Department	Setsunan
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	共通課題 15% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 85%
-----------	--

学生へのメッセージ	毎回の授業に必ず必要な物・教科書、出席率そして積極的な授業参加発言、態度等を重要視する
-----------	---

担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室
----------	-----------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。
----	---

科目名	スピーキング&ライティングⅡb	科目名(英文)	Speaking and Writing II b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	あ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	ダニエル マリノズ
ディプロマポリシー(DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL2036b0		

授業概要・目的	1年次に習得した『暗唱英文100』を応用して英文を組み立て、事前準備なしでも複数の英文を使った発話ができたり、会話を継続させたりできるようにする。																																																																		
到達目標	CEFR-J[A2.2]を目標とし、「スピーキング&ライティングⅡa」に引き続き、日本の大学生が英語を使用する現実的かつ具体的な場面と相手を想定しながら、複数の英文を連続して発話できるスピーキング力、複数の英文を組み合わせてパラグラフを構成できるライティング力を身につける。より長く、論理的な構成を持った英文を発信できるゆおになることを目指す。																																																																		
授業方法と留意点	写真や絵を見て、制限時間内にその内容を口頭または作文で表現するなどの応用トレーニングを取り入れる。口頭による発話と、手書きまたはタイピングによる作文をバランスよくトレーニングする。																																																																		
科目学習の効果(資格)	TOEIC, 英検																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>オリエンテーション</td><td>自己紹介と概要説明</td><td>テキスト全体に目を通しておく (1時間)</td></tr> <tr> <td>2</td><td>レストランのレビューについて語る</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>3</td><td>映画や音楽について語る</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>4</td><td>理想的な仕事について語る</td><td>グループ・ディスカッション</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>5</td><td>相手の理解をチェックする</td><td>グループ・ディスカッション</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>6</td><td>不平、不満の表明</td><td>グループ・ディスカッション</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>7</td><td>助言や提案をする</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>8</td><td>学習内容の確認と振り返り活動</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>9</td><td>義務の表明</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>10</td><td>報告したり尋ねたりすることの基礎</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>11</td><td>報告したり質問したりすることの実践演習</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>12</td><td>説得することと主張すること</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>13</td><td>可能性について述べること</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>14</td><td>個人的な問題について助言や提案をすること</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>15</td><td>グループ協働パフォーマンスと振り返り活動</td><td>グループ・パフォーマンスとディスカッション</td><td>総復習を行う (1時間)</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション	自己紹介と概要説明	テキスト全体に目を通しておく (1時間)	2	レストランのレビューについて語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	3	映画や音楽について語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	4	理想的な仕事について語る	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	5	相手の理解をチェックする	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	6	不平、不満の表明	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	7	助言や提案をする	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	8	学習内容の確認と振り返り活動	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	9	義務の表明	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	10	報告したり尋ねたりすることの基礎	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	11	報告したり質問したりすることの実践演習	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	12	説得することと主張すること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	13	可能性について述べること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	14	個人的な問題について助言や提案をすること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	15	グループ協働パフォーマンスと振り返り活動	グループ・パフォーマンスとディスカッション	総復習を行う (1時間)
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション	自己紹介と概要説明	テキスト全体に目を通しておく (1時間)																																																																
2	レストランのレビューについて語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
3	映画や音楽について語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
4	理想的な仕事について語る	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
5	相手の理解をチェックする	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
6	不平、不満の表明	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
7	助言や提案をする	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
8	学習内容の確認と振り返り活動	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
9	義務の表明	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
10	報告したり尋ねたりすることの基礎	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
11	報告したり質問したりすることの実践演習	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
12	説得することと主張すること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
13	可能性について述べること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
14	個人的な問題について助言や提案をすること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
15	グループ協働パフォーマンスと振り返り活動	グループ・パフォーマンスとディスカッション	総復習を行う (1時間)																																																																
関連科目	リーディングⅡb, English for Specific Purposes b, メディアイングリッシュb																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>Speaking & Writing IIa (大学オリジナル教材)</td><td>English Department</td><td>Setsunan</td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	Speaking & Writing IIa (大学オリジナル教材)	English Department	Setsunan	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	Speaking & Writing IIa (大学オリジナル教材)	English Department	Setsunan																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	共通課題 15% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 85%																																																																		
学生へのメッセージ	I'm looking forward to seeing you in class every week. Be sure to come to class every week prepared to speak lots of English. Remember, "practice makes perfect"! In order to pass this course, you must attempt ALL assessment tasks. Absence is not an excuse for incomplete homework tasks. Ask a classmate or email the instructor for homework details. Any student who is absent for more than four classes (per semester) will fail the course. If you come to class more than 30 minutes late, it will count as one absence.																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室																																																																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ30時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。																																																																		

科目名	スピーキング&ライティングⅡb	科目名(英文)	Speaking and Writing II b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	い
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	スコット ライリー
ディプロマポリシー(DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL2036b0		

授業概要・目的	1年次に習得した『暗唱英文100』を応用して英文を組み立て、事前準備なしでも複数の英文を使った発話ができたり、会話を継続させたりできるようにする。																																																																		
到達目標	CEFR-J[A2.2]を目標とし、「スピーキング&ライティングⅡa」に引き続き、日本の大学生が英語を使用する現実的かつ具体的な場面と相手を想定しながら、複数の英文を連続して発話できるスピーキング力、複数の英文を組み合わせてパラグラフを構成できるライティング力を身につける。より長く、論理的な構成を持った英文を発信できるゆおになることを目指す。																																																																		
授業方法と留意点	写真や絵を見て、制限時間内にその内容を口頭または作文で表現するなどの応用トレーニングを取り入れる。口頭による発話と、手書きまたはタイピングによる作文をバランスよくトレーニングする。																																																																		
科目学習の効果(資格)	TOEIC, 英検																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>オリエンテーション</td><td>自己紹介と概要説明</td><td>テキスト全体に目を通しておく (1時間)</td></tr> <tr> <td>2</td><td>レストランのレビューについて語る</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>3</td><td>映画や音楽について語る</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>4</td><td>理想的な仕事について語る</td><td>グループ・ディスカッション</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>5</td><td>相手の理解をチェックする</td><td>グループ・ディスカッション</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>6</td><td>不平、不満の表明</td><td>グループ・ディスカッション</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>7</td><td>助言や提案をする</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>8</td><td>学習内容の確認と振り返り活動</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>9</td><td>義務の表明</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>10</td><td>報告したり尋ねたりすることの基礎</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>11</td><td>報告したり質問したりすることの実践演習</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>12</td><td>説得することと主張すること</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>13</td><td>可能性について述べること</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>14</td><td>個人的な問題について助言や提案をすること</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>15</td><td>グループ協働パフォーマンスと振り返り活動</td><td>グループ・パフォーマンスとディスカッション</td><td>総復習を行う (1時間)</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション	自己紹介と概要説明	テキスト全体に目を通しておく (1時間)	2	レストランのレビューについて語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	3	映画や音楽について語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	4	理想的な仕事について語る	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	5	相手の理解をチェックする	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	6	不平、不満の表明	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	7	助言や提案をする	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	8	学習内容の確認と振り返り活動	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	9	義務の表明	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	10	報告したり尋ねたりすることの基礎	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	11	報告したり質問したりすることの実践演習	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	12	説得することと主張すること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	13	可能性について述べること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	14	個人的な問題について助言や提案をすること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	15	グループ協働パフォーマンスと振り返り活動	グループ・パフォーマンスとディスカッション	総復習を行う (1時間)
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション	自己紹介と概要説明	テキスト全体に目を通しておく (1時間)																																																																
2	レストランのレビューについて語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
3	映画や音楽について語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
4	理想的な仕事について語る	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
5	相手の理解をチェックする	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
6	不平、不満の表明	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
7	助言や提案をする	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
8	学習内容の確認と振り返り活動	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
9	義務の表明	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
10	報告したり尋ねたりすることの基礎	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
11	報告したり質問したりすることの実践演習	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
12	説得することと主張すること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
13	可能性について述べること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
14	個人的な問題について助言や提案をすること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
15	グループ協働パフォーマンスと振り返り活動	グループ・パフォーマンスとディスカッション	総復習を行う (1時間)																																																																
関連科目	リーディングⅡb, English for Specific Purposes b, メディアイングリッシュb																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>Speaking & Writing IIa</td><td>English Department</td><td>Setsunan</td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	Speaking & Writing IIa	English Department	Setsunan	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	Speaking & Writing IIa	English Department	Setsunan																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	共通課題 15% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 85%																																																																		
学生へのメッセージ	Coming to class regularly and actively participating in all classroom activities will greatly help students to improve their speaking and writing skills.																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室																																																																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ30時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。																																																																		

科目名	スピーキング&ライティングⅡb	科目名(英文)	Speaking and Writing II b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	う
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	マイケル ハーキー
ディプロマポリシー(DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL2036b0		

授業概要・目的	1年次に習得した『暗唱英文100』を応用して英文を組み立て、事前準備なしでも複数の英文を使った発話ができたり、会話を継続させたりできるようにする。																																																																		
到達目標	CEFR-J[A2.2]を目標とし、「スピーキング&ライティングⅡa」に引き続き、日本の大学生が英語を使用する現実的かつ具体的な場面と相手を想定しながら、複数の英文を連続して発話できるスピーキング力、複数の英文を組み合わせてパラグラフを構成できるライティング力を身につける。より長く、論理的な構成を持った英文を発信できるゆおになることを目指す。																																																																		
授業方法と留意点	写真や絵を見て、制限時間内にその内容を口頭または作文で表現するなどの応用トレーニングを取り入れる。口頭による発話と、手書きまたはタイピングによる作文をバランスよくトレーニングする。																																																																		
科目学習の効果(資格)	TOEIC, 英検																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>オリエンテーション</td><td>自己紹介と概要説明</td><td>テキスト全体に目を通しておく (1時間)</td></tr> <tr> <td>2</td><td>レストランのレビューについて語る</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>3</td><td>映画や音楽について語る</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>4</td><td>理想的な仕事について語る</td><td>グループ・ディスカッション</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>5</td><td>相手の理解をチェックする</td><td>グループ・ディスカッション</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>6</td><td>不平、不満の表明</td><td>グループ・ディスカッション</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>7</td><td>助言や提案をする</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>8</td><td>学習内容の確認と振り返り活動</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>9</td><td>義務の表明</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>10</td><td>報告したり尋ねたりすることの基礎</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>11</td><td>報告したり質問したりすることの実践演習</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>12</td><td>説得することと主張すること</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>13</td><td>可能性について述べること</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>14</td><td>個人的な問題について助言や提案をすること</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>15</td><td>グループ協働パフォーマンスと振り返り活動</td><td>グループ・パフォーマンスとディスカッション</td><td>総復習を行う (1時間)</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション	自己紹介と概要説明	テキスト全体に目を通しておく (1時間)	2	レストランのレビューについて語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	3	映画や音楽について語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	4	理想的な仕事について語る	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	5	相手の理解をチェックする	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	6	不平、不満の表明	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	7	助言や提案をする	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	8	学習内容の確認と振り返り活動	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	9	義務の表明	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	10	報告したり尋ねたりすることの基礎	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	11	報告したり質問したりすることの実践演習	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	12	説得することと主張すること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	13	可能性について述べること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	14	個人的な問題について助言や提案をすること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	15	グループ協働パフォーマンスと振り返り活動	グループ・パフォーマンスとディスカッション	総復習を行う (1時間)
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション	自己紹介と概要説明	テキスト全体に目を通しておく (1時間)																																																																
2	レストランのレビューについて語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
3	映画や音楽について語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
4	理想的な仕事について語る	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
5	相手の理解をチェックする	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
6	不平、不満の表明	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
7	助言や提案をする	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
8	学習内容の確認と振り返り活動	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
9	義務の表明	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
10	報告したり尋ねたりすることの基礎	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
11	報告したり質問したりすることの実践演習	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
12	説得することと主張すること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
13	可能性について述べること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
14	個人的な問題について助言や提案をすること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
15	グループ協働パフォーマンスと振り返り活動	グループ・パフォーマンスとディスカッション	総復習を行う (1時間)																																																																
関連科目	リーディングⅡb, English for Specific Purposes b, メディアイングリッシュb																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>Speaking & Writing IIa (大学オリジナル教材)</td><td>English Department</td><td>Setsunan</td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	Speaking & Writing IIa (大学オリジナル教材)	English Department	Setsunan	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	Speaking & Writing IIa (大学オリジナル教材)	English Department	Setsunan																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	共通課題 15% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 85%																																																																		
学生へのメッセージ	Students who consistently approach the classroom activities and homework with focus and enthusiasm will be able to speak and write English much better.																																																																		
担当者の研究室等	7号館3階 Herke 研修室																																																																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ30時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。																																																																		

科目名	スピーキング&ライティングⅡb	科目名(英文)	Speaking and Writing II b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	え
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	グランド パーシム
ディプロマポリシー(DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL2036b0		

授業概要・目的	1年次に習得した『暗唱英文100』を応用して英文を組み立て、事前準備なしでも複数の英文を使った発話ができたり、会話を継続させたりできるようにする。
到達目標	CEFR-J[A2.2]を目標とし、「スピーキング&ライティングⅡa」に引き続き、日本の大学生が英語を使用する現実的かつ具体的な場面と相手を想定しながら、複数の英文を連続して発話できるスピーキング力、複数の英文を組み合わせてパラグラフを構成できるライティング力を身につける。より長く、論理的な構成を持った英文を発信できるゆおになることを目指す。
授業方法と留意点	写真や絵を見て、制限時間内にその内容を口頭または作文で表現するなどの応用トレーニングを取り入れる。口頭による発話と、手書きまたはタイプングによる作文をバランスよくトレーニングする。
科目学習の効果(資格)	TOEIC, 英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	自己紹介と概要説明	テキスト全体に目を通しておく (1時間)
	2	レストランのレビューについて語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)
	3	映画や音楽について語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)
	4	理想的な仕事について語る	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)
	5	相手の理解をチェックする	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)
	6	不平、不満の表明	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する」 (1時間)
	7	助言や提案をする	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)
	8	学習内容の確認と振り返り活動	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)
	9	義務の表明	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)
	10	報告したり尋ねたりすることの基礎	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)
	11	報告したり質問したりすることの実践演習	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)
	12	説得することと主張すること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)
	13	可能性について述べること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)
	14	個人的な問題について助言や提案をすること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)
	15	グループ協働パフォーマンスと振り返り活動	グループ・パフォーマンスとディスカッション	総復習を行う (1時間)

関連科目	リーディングⅡb, English for Specific Purposes b, メディアイングリッシュb
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Speaking & Writing IIa (大学オリジナル教材)	English Department	Setsunan
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	共通課題 15% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 85%
学生へのメッセージ	I'm looking forward to having class with you. Be prepared to speak a lot in this class N.B.: Absence is not an excuse for incomplete homework tasks.
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ30時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。

科目名	スピーキング&ライティングⅡb	科目名(英文)	Speaking and Writing II b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	お
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	ジョン カール
ディプロマポリシー(DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL2036b0		

授業概要・目的	1年次に習得した『暗唱英文100』を応用して英文を組み立て、事前準備なしでも複数の英文を使った発話ができたり、会話を継続させたりできるようにする。																																																																		
到達目標	CEFR-J[A2.2]を目標とし、「スピーキング&ライティングⅡa」に引き続き、日本の大学生が英語を使用する現実的かつ具体的な場面と相手を想定しながら、複数の英文を連続して発話できるスピーキング力、複数の英文を組み合わせてパラグラフを構成できるライティング力を身につける。より長く、論理的な構成を持った英文を発信できるゆおになることを目指す。																																																																		
授業方法と留意点	写真や絵を見て、制限時間内にその内容を口頭または作文で表現するなどの応用トレーニングを取り入れる。口頭による発話と、手書きまたはタイピングによる作文をバランスよくトレーニングする。																																																																		
科目学習の効果(資格)	TOEIC, 英検																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>オリエンテーション</td><td>自己紹介と概要説明</td><td>テキスト全体に目を通しておく (1時間)</td></tr> <tr> <td>2</td><td>レストランのレビューについて語る</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>3</td><td>映画や音楽について語る</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>4</td><td>理想的な仕事について語る</td><td>グループ・ディスカッション</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>5</td><td>相手の理解をチェックする</td><td>グループ・ディスカッション</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>6</td><td>不平、不満の表明</td><td>グループ・ディスカッション</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>7</td><td>助言や提案をする</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>8</td><td>学習内容の確認と振り返り活動</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>9</td><td>義務の表明</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>10</td><td>報告したり尋ねたりすることの基礎</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>11</td><td>報告したり質問したりすることの実践演習</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>12</td><td>説得することと主張すること</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>13</td><td>可能性について述べること</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>14</td><td>個人的な問題について助言や提案をすること</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>15</td><td>グループ協働パフォーマンスと振り返り活動</td><td>グループ・パフォーマンスとディスカッション</td><td>総復習を行う (1時間)</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション	自己紹介と概要説明	テキスト全体に目を通しておく (1時間)	2	レストランのレビューについて語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	3	映画や音楽について語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	4	理想的な仕事について語る	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	5	相手の理解をチェックする	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	6	不平、不満の表明	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	7	助言や提案をする	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	8	学習内容の確認と振り返り活動	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	9	義務の表明	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	10	報告したり尋ねたりすることの基礎	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	11	報告したり質問したりすることの実践演習	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	12	説得することと主張すること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	13	可能性について述べること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	14	個人的な問題について助言や提案をすること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	15	グループ協働パフォーマンスと振り返り活動	グループ・パフォーマンスとディスカッション	総復習を行う (1時間)
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション	自己紹介と概要説明	テキスト全体に目を通しておく (1時間)																																																																
2	レストランのレビューについて語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
3	映画や音楽について語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
4	理想的な仕事について語る	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
5	相手の理解をチェックする	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
6	不平、不満の表明	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
7	助言や提案をする	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
8	学習内容の確認と振り返り活動	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
9	義務の表明	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
10	報告したり尋ねたりすることの基礎	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
11	報告したり質問したりすることの実践演習	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
12	説得することと主張すること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
13	可能性について述べること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
14	個人的な問題について助言や提案をすること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
15	グループ協働パフォーマンスと振り返り活動	グループ・パフォーマンスとディスカッション	総復習を行う (1時間)																																																																
関連科目	リーディングⅡb, English for Specific Purposes b, メディアイングリッシュb																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>Speaking & Writing IIa (大学オリジナル教材)</td><td>English Department</td><td>Setsunan</td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	Speaking & Writing IIa (大学オリジナル教材)	English Department	Setsunan	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	Speaking & Writing IIa (大学オリジナル教材)	English Department	Setsunan																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	共通課題 15% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 85%																																																																		
学生へのメッセージ	毎回の授業に必ず必要な物・教科書、出席率そして積極的な授業参加発言、態度等を重要視する																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室																																																																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ30時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。																																																																		

科目名	スピーキング&ライティングⅡb	科目名(英文)	Speaking and Writing II b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	か
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	ブライアン スレーター
ディプロマポリシー(DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL2036b0		

授業概要・目的	1年次に習得した『暗唱英文 100』を応用して英文を組み立て、事前準備なしでも複数の英文を使った発話ができたり、会話を継続させたりできるようにする。				
到達目標	CEFR-J[A2.2]を目標とし、「スピーキング&ライティング IIa」に引き続き、日本の大学生が英語を使用する現実的かつ具体的な場面と相手を想定しながら、複数の英文を連続して発話できるスピーキング力、複数の英文を組み合わせてパラグラフを構成できるライティング力を身につける。より長く、論理的な構成を持った英文を発信できるゆおになることを目指す。				
授業方法と留意点	写真や絵を見て、制限時間内にその内容を口頭または作文で表現するなどの応用トレーニングを取り入れる。口頭による発話と、手書きまたはタイプイングによる作文をバランスよくトレーニングする。				
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検				
授業計画		回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
		1	オリエンテーション	自己紹介と概要説明	テキスト全体に目を通しておく （1時間）
		2	レストランのレビューについて語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する （1時間）
		3	映画や音楽について語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する （1時間）
		4	理想的な仕事について語る	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する （1時間）
		5	相手の理解をチェックする	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する （1時間）
		6	不平、不満の表明	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する」 （1時間）
		7	助言や提案をする	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する （1時間）
		8	学習内容の確認と振り返り活動	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する （1時間）
		9	義務の表明	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する （1時間）
		10	報告したり尋ねたりすることの基礎	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する （1時間）
		11	報告したり質問したりすることの実践演習	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する （1時間）
		12	説得することと主張すること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する （1時間）
		13	可能性について述べること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する （1時間）
		14	個人的な問題について助言や提案をすること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する （1時間）
		15	グループ協働パフォーマンスと振り返り活動	グループ・パフォーマンスとディスカッション	総復習を行う （1時間）
関連科目	リーディング II b, English for Specific Purposes b, メディアイングリッシュ b				
教科書	番号	書籍名		著者名	出版社名
	1	Speaking & Writing IIa (大学オリジナル教材)		English Department	Setsunan
	2				
	3				
参考書	番号	書籍名		著者名	出版社名
	1				
	2				
	3				
評価方法（基準）	共通課題 15% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 85%				
学生へのメッセージ	Plan for your future and study English today.				
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室				
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。				

科目名	スピーキング&ライティングⅡb	科目名(英文)	Speaking and Writing II b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	き
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	ブルース ライリー
ディプロマポリシー(DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL2036b0		

授業概要・目的	1年次に習得した『暗唱英文100』を応用して英文を組み立て、事前準備なしでも複数の英文を使った発話ができたり、会話を継続させたりできるようにする。																																																																		
到達目標	CEFR-J[A2.2]を目標とし、「スピーキング&ライティングⅡa」に引き続き、日本の大学生が英語を使用する現実的かつ具体的な場面と相手を想定しながら、複数の英文を連続して発話できるスピーキング力、複数の英文を組み合わせてパラグラフを構成できるライティング力を身につける。より長く、論理的な構成を持った英文を発信できるゆおになることを目指す。																																																																		
授業方法と留意点	写真や絵を見て、制限時間内にその内容を口頭または作文で表現するなどの応用トレーニングを取り入れる。口頭による発話と、手書きまたはタイプングによる作文をバランスよくトレーニングする。																																																																		
科目学習の効果(資格)	TOEIC, 英検																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>オリエンテーション</td><td>自己紹介と概要説明</td><td>テキスト全体に目を通しておく (1時間)</td></tr> <tr> <td>2</td><td>レストランのレビューについて語る</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>3</td><td>映画や音楽について語る</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>4</td><td>理想的な仕事について語る</td><td>グループ・ディスカッション</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>5</td><td>相手の理解をチェックする</td><td>グループ・ディスカッション</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>6</td><td>不平、不満の表明</td><td>グループ・ディスカッション</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>7</td><td>助言や提案をする</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>8</td><td>学習内容の確認と振り返り活動</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>9</td><td>義務の表明</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>10</td><td>報告したり尋ねたりすることの基礎</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>11</td><td>報告したり質問したりすることの実践演習</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>12</td><td>説得することと主張すること</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>13</td><td>可能性について述べること</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>14</td><td>個人的な問題について助言や提案をすること</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>15</td><td>グループ協働パフォーマンスと振り返り活動</td><td>グループ・パフォーマンスとディスカッション</td><td>総復習を行う (1時間)</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション	自己紹介と概要説明	テキスト全体に目を通しておく (1時間)	2	レストランのレビューについて語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	3	映画や音楽について語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	4	理想的な仕事について語る	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	5	相手の理解をチェックする	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	6	不平、不満の表明	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	7	助言や提案をする	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	8	学習内容の確認と振り返り活動	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	9	義務の表明	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	10	報告したり尋ねたりすることの基礎	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	11	報告したり質問したりすることの実践演習	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	12	説得することと主張すること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	13	可能性について述べること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	14	個人的な問題について助言や提案をすること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	15	グループ協働パフォーマンスと振り返り活動	グループ・パフォーマンスとディスカッション	総復習を行う (1時間)
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション	自己紹介と概要説明	テキスト全体に目を通しておく (1時間)																																																																
2	レストランのレビューについて語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
3	映画や音楽について語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
4	理想的な仕事について語る	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
5	相手の理解をチェックする	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
6	不平、不満の表明	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
7	助言や提案をする	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
8	学習内容の確認と振り返り活動	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
9	義務の表明	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
10	報告したり尋ねたりすることの基礎	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
11	報告したり質問したりすることの実践演習	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
12	説得することと主張すること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
13	可能性について述べること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
14	個人的な問題について助言や提案をすること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
15	グループ協働パフォーマンスと振り返り活動	グループ・パフォーマンスとディスカッション	総復習を行う (1時間)																																																																
関連科目	リーディングⅡb, English for Specific Purposes b, メディアイングリッシュb																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>Speaking & Writing IIa (大学オリジナル教材)</td><td>English Department</td><td>Setsunan</td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	Speaking & Writing IIa (大学オリジナル教材)	English Department	Setsunan	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	Speaking & Writing IIa (大学オリジナル教材)	English Department	Setsunan																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	共通課題 15% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 85%																																																																		
学生へのメッセージ	Prepare for your future and study and speak English today.																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室																																																																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ30時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。																																																																		

科目名	スピーキング&ライティングⅡb	科目名(英文)	Speaking and Writing II b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	再
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	アイビス ウイリアム
ディプロマポリシー(DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL2036b0		

授業概要・目的	1年次に習得した『暗唱英文100』を応用して英文を組み立て、事前準備なしでも複数の英文を使った発話ができたり、会話を継続させたりできるようにする。																																																																		
到達目標	CEFR-J[A2.2]を目標とし、「スピーキング&ライティングⅡa」に引き続き、日本の大学生が英語を使用する現実的かつ具体的な場面と相手を想定しながら、複数の英文を連続して発話できるスピーキング力、複数の英文を組み合わせてパラグラフを構成できるライティング力を身につける。より長く、論理的な構成を持った英文を発信できるゆおになることを目指す。																																																																		
授業方法と留意点	写真や絵を見て、制限時間内にその内容を口頭または作文で表現するなどの応用トレーニングを取り入れる。口頭による発話と、手書きまたはタイプングによる作文をバランスよくトレーニングする。																																																																		
科目学習の効果(資格)	TOEIC, 英検																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>オリエンテーション</td><td>自己紹介と概要説明</td><td>テキスト全体に目を通しておく (1時間)</td></tr> <tr> <td>2</td><td>レストランのレビューについて語る</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>3</td><td>映画や音楽について語る</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>4</td><td>理想的な仕事について語る</td><td>グループ・ディスカッション</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>5</td><td>相手の理解をチェックする</td><td>グループ・ディスカッション</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>6</td><td>不平、不満の表明</td><td>グループ・ディスカッション</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>7</td><td>助言や提案をする</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>8</td><td>学習内容の確認と振り返り活動</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>9</td><td>義務の表明</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>10</td><td>報告したり尋ねたりすることの基礎</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>11</td><td>報告したり質問したりすることの実践演習</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>12</td><td>説得することと主張すること</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>13</td><td>可能性について述べること</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>14</td><td>個人的な問題について助言や提案をすること</td><td>ペアワークとグループワーク</td><td>今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)</td></tr> <tr> <td>15</td><td>グループ協働パフォーマンスと振り返り活動</td><td>グループ・パフォーマンスとディスカッション</td><td>総復習を行う (1時間)</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション	自己紹介と概要説明	テキスト全体に目を通しておく (1時間)	2	レストランのレビューについて語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	3	映画や音楽について語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	4	理想的な仕事について語る	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	5	相手の理解をチェックする	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	6	不平、不満の表明	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	7	助言や提案をする	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	8	学習内容の確認と振り返り活動	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	9	義務の表明	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	10	報告したり尋ねたりすることの基礎	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	11	報告したり質問したりすることの実践演習	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	12	説得することと主張すること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	13	可能性について述べること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	14	個人的な問題について助言や提案をすること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)	15	グループ協働パフォーマンスと振り返り活動	グループ・パフォーマンスとディスカッション	総復習を行う (1時間)
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション	自己紹介と概要説明	テキスト全体に目を通しておく (1時間)																																																																
2	レストランのレビューについて語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
3	映画や音楽について語る	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
4	理想的な仕事について語る	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
5	相手の理解をチェックする	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
6	不平、不満の表明	グループ・ディスカッション	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
7	助言や提案をする	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
8	学習内容の確認と振り返り活動	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
9	義務の表明	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
10	報告したり尋ねたりすることの基礎	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
11	報告したり質問したりすることの実践演習	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
12	説得することと主張すること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
13	可能性について述べること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
14	個人的な問題について助言や提案をすること	ペアワークとグループワーク	今回の語彙と文法事項を確認し、例文を暗唱する (1時間)																																																																
15	グループ協働パフォーマンスと振り返り活動	グループ・パフォーマンスとディスカッション	総復習を行う (1時間)																																																																
関連科目	リーディングⅡb, English for Specific Purposes b, メディアイングリッシュb																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>Speaking & Writing IIa (大学オリジナル教材)</td><td>English Department</td><td>Setsunan</td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	Speaking & Writing IIa (大学オリジナル教材)	English Department	Setsunan	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	Speaking & Writing IIa (大学オリジナル教材)	English Department	Setsunan																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	共通課題 15% 授業中の小テスト・発言・討論、宿題、提出物等 85%																																																																		
学生へのメッセージ	毎回の授業に必ず必要な物・教科書、出席率そして積極的な授業参加発言、態度等を重要視する																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室																																																																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ30時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。																																																																		

科目名	スピーキング&ライティングⅢ a	科目名（英文）	Speaking and Writing III a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	あ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	ジェン ボーマン
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3045b0		

授業概要・目的	アカデミック・スピーキングとアカデミック・ライティングの基本的な技法について学び、実践的なトレーニングを行う。スピーキングと、手書きまたはタイピングによるライティングをバランス良くトレーニングする。
到達目標	CEFR-J[A2. 2] レベルを想定し、複数の英文を連続して発話できるスピーキング力、複数の英文を組み合わせてパラグラフを構成できるライティング力を身につける。身の回りのことや仕事などについて、理由を伴いつつ自分の意見を英語で話したり、書いたりできるようになる。
授業方法と留意点	1 年次・2 年次に、実践的な英文の暗唱とその応用練習という学習技法に十分に習熟していることが前提となる。同じ学習技法を基礎としながら、単文にとどまらず複数の文を用いたトレーニングにステップアップする。口頭による発話と、手書きまたはタイピングによる作文をバランス良くトレーニングする。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, TOEFL, 英検, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習（1 時間）
	2	英語のパラグラフの組織	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	3	トピック・センテンスを理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	4	トピック・センテンスを作ってみる	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	5	サポーティング・センテンスを理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	6	サポーティング・センテンスを作ってみる	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	7	コンクルーディング・センテンスを理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	8	コンクルーディング・センテンスを作ってみる	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	9	パラグラフ・ライティングのプロセス	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	10	パラグラフのフォーマット	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	11	英語のプレゼンテーションの組織	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された課題の遂行、学習した英語表現の復習（1 時間）
	12	英語のプレゼンテーションのためのアウトライン作成	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された課題の遂行、学習した英語表現の復習（1 時間）
	13	英語のプレゼンテーションに向けた準備	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された課題の遂行、学習した英語表現の復習（1 時間）
	14	英語のプレゼンテーション（発表会）	発表	発表の振り返り（1 時間）
	15	英語のプレゼンテーション（発表会）の振り返り	ペアワーク、グループワーク、ライティング	授業全体の振り返り（1 時間）

関連科目	スピーキング&ライティング IIa, IIb
------	------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Writing to Communicate	Cynthia A. Boardman	Pearson Education Inc.
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法（基準）	平常点（授業態度、宿題、発話活動等） 8 5 % 共通課題（プレゼンテーション） 1 5 %
学生へのメッセージ	You will need to bring the textbook to every class along with a notebook, writing materials, and a highlighting marker. If you have any questions, come see me anytime.
担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。

科目名	スピーキング&ライティングⅢ a	科目名（英文）	Speaking and Writing III a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	い
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	アサー リンクス
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3045b0		

授業概要・目的	アカデミック・スピーキングとアカデミック・ライティングの基本的な技法について学び、実践的なトレーニングを行う。スピーキングと、手書きまたはタイピングによるライティングをバランス良くトレーニングする。
到達目標	CEFR-J[A2.2] レベルを想定し、複数の英文を連続して発話できるスピーキング力、複数の英文を組み合わせてパラグラフを構成できるライティング力を身につける。身の回りのことや仕事などについて、理由を伴いつつ自分の意見を英語で話したり、書いたりできるようになる。
授業方法と留意点	1 年次・2 年次に、実践的な英文の暗唱とその応用練習という学習技法に十分に習熟していることが前提となる。同じ学習技法を基礎としながら、単文にとどまらず複数の文を用いたトレーニングにステップアップする。口頭による発話と、手書きまたはタイピングによる作文をバランス良くトレーニングする。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, TOEFL, 英検, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習（1 時間）
	2	英語のパラグラフの組織	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	3	トピック・センテンスを理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	4	トピック・センテンスを作ってみる	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	5	サポーティング・センテンスを理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	6	サポーティング・センテンスを作ってみる	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	7	コンクルーディング・センテンスを理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	8	コンクルーディング・センテンスを作ってみる	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	9	パラグラフ・ライティングのプロセス	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	10	パラグラフのフォーマット	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	11	英語のプレゼンテーションの組織	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された課題の遂行、学習した英語表現の復習（1 時間）
	12	英語のプレゼンテーションのためのアウトライン作成	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された課題の遂行、学習した英語表現の復習（1 時間）
	13	英語のプレゼンテーションに向けた準備	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された課題の遂行、学習した英語表現の復習（1 時間）
	14	英語のプレゼンテーション（発表会）	発表	発表の振り返り（1 時間）
	15	英語のプレゼンテーション（発表会）の振り返り	ペアワーク、グループワーク、ライティング	授業全体の振り返り（1 時間）

関連科目	スピーキング&ライティング IIa, IIb
------	------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Writing to Communicate.	Cynthia A. Boardman	Pearson Education Inc.
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	辞書		
	2			
	3			

評価方法（基準）	平常点（授業態度、宿題、発話活動等） 8 5 % 共通課題（プレゼンテーション） 1 5 %
----------	---

学生へのメッセージ	毎回の授業に必ず必要な物・・・教科書、辞書です。出席率そして積極的な授業参加発言、態度等を重要視する。 Attitude, participation and attendance are considered important in this class for getting a good grade. Please bring your textbook and a dictionary to each class. If you forget your text one day, please make a copy before the class.
-----------	---

担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室。
----------	------------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。
----	---

科目名	スピーキング&ライティングⅢ a	科目名（英文）	Speaking and Writing III a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	う
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	ジョセフ シウンシ
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3045b0		

授業概要・目的	アカデミック・スピーキングとアカデミック・ライティングの基本的な技法について学び、実践的なトレーニングを行う。スピーキングと、手書きまたはタイピングによるライティングをバランス良くトレーニングする。																																																																		
到達目標	CEFR-J[A2.2] レベルを想定し、複数の英文を連続して発話できるスピーキング力、複数の英文を組み合わせてパラグラフを構成できるライティング力を身につける。身の回りのことや仕事などについて、理由を伴いつつ自分の意見を英語で話したり、書いたりできるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	1 年次・2 年次に、実践的な英文の暗唱とその応用練習という学習技法に十分に習熟していることが前提となる。同じ学習技法を基礎としながら、単文にとどまらず複数の文を用いたトレーニングにステップアップする。口頭による発話と、手書きまたはタイピングによる作文をバランス良くトレーニングする。必ず辞書を持参すること。																																																																		
科目学習の効果（資格）	TOEIC, TOEFL, 英検, IELTS																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>オリエンテーション</td><td>ペアワーク、グループワーク、ライティング</td><td>指定された範囲の教科書の予習（1 時間）</td></tr> <tr> <td>2</td><td>英語のパラグラフの組織</td><td>ペアワーク、グループワーク、ライティング</td><td>指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）</td></tr> <tr> <td>3</td><td>トピック・センテンスを理解する</td><td>ペアワーク、グループワーク、ライティング</td><td>指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）</td></tr> <tr> <td>4</td><td>トピック・センテンスを作ってみる</td><td>ペアワーク、グループワーク、ライティング</td><td>指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）</td></tr> <tr> <td>5</td><td>サポーティング・センテンスを理解する</td><td>ペアワーク、グループワーク、ライティング</td><td>指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）</td></tr> <tr> <td>6</td><td>サポーティング・センテンスを作ってみる</td><td>ペアワーク、グループワーク、ライティング</td><td>指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）</td></tr> <tr> <td>7</td><td>コンクルーディング・センテンスを理解する</td><td>ペアワーク、グループワーク、ライティング</td><td>指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）</td></tr> <tr> <td>8</td><td>コンクルーディング・センテンスを作ってみる</td><td>ペアワーク、グループワーク、ライティング</td><td>指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）</td></tr> <tr> <td>9</td><td>パラグラフ・ライティングのプロセス</td><td>ペアワーク、グループワーク、ライティング</td><td>指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）</td></tr> <tr> <td>10</td><td>パラグラフのフォーマット</td><td>ペアワーク、グループワーク、ライティング</td><td>指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）</td></tr> <tr> <td>11</td><td>英語のプレゼンテーションの組織</td><td>ペアワーク、グループワーク、ライティング</td><td>指定された課題の遂行、学習した英語表現の復習（1 時間）</td></tr> <tr> <td>12</td><td>英語のプレゼンテーションのためのアウトライン作成</td><td>ペアワーク、グループワーク、ライティング</td><td>指定された課題の遂行、学習した英語表現の復習（1 時間）</td></tr> <tr> <td>13</td><td>英語のプレゼンテーションに向けた準備</td><td>ペアワーク、グループワーク、ライティング</td><td>指定された課題の遂行、学習した英語表現の復習（1 時間）</td></tr> <tr> <td>14</td><td>英語のプレゼンテーション（発表会）</td><td>発表</td><td>発表の振り返り（1 時間）</td></tr> <tr> <td>15</td><td>英語のプレゼンテーション（発表会）の振り返り</td><td>ペアワーク、グループワーク、ライティング</td><td>授業全体の振り返り（1 時間）</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習（1 時間）	2	英語のパラグラフの組織	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）	3	トピック・センテンスを理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）	4	トピック・センテンスを作ってみる	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）	5	サポーティング・センテンスを理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）	6	サポーティング・センテンスを作ってみる	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）	7	コンクルーディング・センテンスを理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）	8	コンクルーディング・センテンスを作ってみる	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）	9	パラグラフ・ライティングのプロセス	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）	10	パラグラフのフォーマット	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）	11	英語のプレゼンテーションの組織	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された課題の遂行、学習した英語表現の復習（1 時間）	12	英語のプレゼンテーションのためのアウトライン作成	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された課題の遂行、学習した英語表現の復習（1 時間）	13	英語のプレゼンテーションに向けた準備	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された課題の遂行、学習した英語表現の復習（1 時間）	14	英語のプレゼンテーション（発表会）	発表	発表の振り返り（1 時間）	15	英語のプレゼンテーション（発表会）の振り返り	ペアワーク、グループワーク、ライティング	授業全体の振り返り（1 時間）
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習（1 時間）																																																																
2	英語のパラグラフの組織	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）																																																																
3	トピック・センテンスを理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）																																																																
4	トピック・センテンスを作ってみる	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）																																																																
5	サポーティング・センテンスを理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）																																																																
6	サポーティング・センテンスを作ってみる	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）																																																																
7	コンクルーディング・センテンスを理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）																																																																
8	コンクルーディング・センテンスを作ってみる	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）																																																																
9	パラグラフ・ライティングのプロセス	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）																																																																
10	パラグラフのフォーマット	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）																																																																
11	英語のプレゼンテーションの組織	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された課題の遂行、学習した英語表現の復習（1 時間）																																																																
12	英語のプレゼンテーションのためのアウトライン作成	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された課題の遂行、学習した英語表現の復習（1 時間）																																																																
13	英語のプレゼンテーションに向けた準備	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された課題の遂行、学習した英語表現の復習（1 時間）																																																																
14	英語のプレゼンテーション（発表会）	発表	発表の振り返り（1 時間）																																																																
15	英語のプレゼンテーション（発表会）の振り返り	ペアワーク、グループワーク、ライティング	授業全体の振り返り（1 時間）																																																																
関連科目	スピーキング&ライティング IIa, IIb																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>Writing to Communicate</td><td>Cynthia A. Boardman</td><td>Pearson Education Inc.</td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	Writing to Communicate	Cynthia A. Boardman	Pearson Education Inc.	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	Writing to Communicate	Cynthia A. Boardman	Pearson Education Inc.																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	平常点（授業態度、宿題、発話活動等） 8 5 % 共通課題（プレゼンテーション） 1 5 %																																																																		
学生へのメッセージ	You will need to bring the textbook to every class along with a notebook, writing materials, and a highlighting marker. If you have any questions, come see me anytime.																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室																																																																		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。																																																																		

科目名	スピーキング&ライティングⅢ a	科目名（英文）	Speaking and Writing III a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	え
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	中村 信之
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3045b0		

授業概要・目的	アカデミック・スピーキングとアカデミック・ライティングの基本的な技法について学び、実践的なトレーニングを行う。スピーキングと、手書きまたはタイピングによるライティングをバランス良くトレーニングする。
到達目標	CEFR-J[A2. 2] レベルを想定し、複数の英文を連続して発話できるスピーキング力、複数の英文を組み合わせてパラグラフを構成できるライティング力を身につける。身の回りのことや仕事などについて、理由を伴いつつ自分の意見を英語で話したり、書いたりできるようになる。
授業方法と留意点	1 年次・2 年次に、実践的な英文の暗唱とその応用練習という学習技法に十分に習熟していることが前提となる。同じ学習技法を基礎としながら、単文にとどまらず複数の文を用いたトレーニングにステップアップする。口頭による発話と、手書きまたはタイピングによる作文をバランス良くトレーニングする。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, TOEFL, 英検, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習（1 時間）
	2	英語のパラグラフの組織	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	3	トピック・センテンスを理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	4	トピック・センテンスを作ってみる	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	5	サポーティング・センテンスを理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	6	サポーティング・センテンスを作ってみる	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	7	コンクルーディング・センテンスを理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	8	コンクルーディング・センテンスを作ってみる	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	9	パラグラフ・ライティングのプロセス	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	10	パラグラフのフォーマット	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	11	英語のプレゼンテーションの組織	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された課題の遂行、学習した英語表現の復習（1 時間）
	12	英語のプレゼンテーションのためのアウトライン作成	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された課題の遂行、学習した英語表現の復習（1 時間）
	13	英語のプレゼンテーションに向けた準備	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された課題の遂行、学習した英語表現の復習（1 時間）
	14	英語のプレゼンテーション（発表会）	発表	発表の振り返り（1 時間）
	15	英語のプレゼンテーション（発表会）の振り返り	ペアワーク、グループワーク、ライティング	授業全体の振り返り（1 時間）

関連科目	スピーキング&ライティング IIa, IIb
------	------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Writing to Communicate	Cynthia A. Boardman	Pearson Education Inc.
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法（基準）	平常点（授業態度、宿題、発話活動等） 8 5 % 共通課題（プレゼンテーション） 1 5 %
学生へのメッセージ	英語の発音は読む回数に比例して上達していきます。自分の音読した英語を聞くことはリスニングの強化にもなるので、毎日英語を最低 1 度は読む習慣をつけて下さい。
担当者の研究室等	7 号館 2 階非常勤控室
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。

科目名	スピーキング&ライティングⅢ a	科目名（英文）	Speaking and Writing III a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	お
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	松井 夏津紀
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3045b0		

授業概要・目的	アカデミック・スピーキングとアカデミック・ライティングの基本的な技法について学び、実践的なトレーニングを行う。スピーキングと、手書きまたはタイピングによるライティングをバランス良くトレーニングする。
到達目標	CEFR-J[A2. 2] レベルを想定し、複数の英文を連続して発話できるスピーキング力、複数の英文を組み合わせてパラグラフを構成できるライティング力を身につける。身の回りのことや仕事などについて、理由を伴いつつ自分の意見を英語で話したり、書いたりできるようになる。
授業方法と留意点	1 年次・2 年次に、実践的な英文の暗唱とその応用練習という学習技法に十分に習熟していることが前提となる。同じ学習技法を基礎としながら、単文にとどまらず複数の文を用いたトレーニングにステップアップする。口頭による発話と、手書きまたはタイピングによる作文をバランス良くトレーニングする。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, TOEFL, 英検, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習（1 時間）
	2	英語のパラグラフの組織	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	3	トピック・センテンスを理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	4	トピック・センテンスを作ってみる	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	5	サポーティング・センテンスを理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	6	サポーティング・センテンスを作ってみる	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	7	コンクルーディング・センテンスを理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	8	コンクルーディング・センテンスを作ってみる	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	9	パラグラフ・ライティングのプロセス	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	10	パラグラフのフォーマット	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	11	英語のプレゼンテーションの組織	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された課題の遂行、学習した英語表現の復習（1 時間）
	12	英語のプレゼンテーションのためのアウトライン作成	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された課題の遂行、学習した英語表現の復習（1 時間）
	13	英語のプレゼンテーションに向けた準備	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された課題の遂行、学習した英語表現の復習（1 時間）
	14	英語のプレゼンテーション（発表会）	発表	発表の振り返り（1 時間）
	15	英語のプレゼンテーション（発表会）の振り返り	ペアワーク、グループワーク、ライティング	授業全体の振り返り（1 時間）

関連科目	スピーキング&ライティング IIa, IIb
------	------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Writing to Communicate.	Cynthia A. Boardman	Pearson Education Inc.
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法（基準）	平常点（授業態度、宿題、発話活動等） 8 5 % 共通課題（プレゼンテーション） 1 5 %
学生へのメッセージ	積極的な授業参加を期待します。 授業中の携帯の使用は認めません。辞書を持参するようにしてください。
担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師控室
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。

科目名	スピーキング&ライティングⅢ a	科目名（英文）	Speaking and Writing III a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	か
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	杉浦 秀行
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3045b0		

授業概要・目的	アカデミック・スピーキングとアカデミック・ライティングの基本的な技法について学び、実践的なトレーニングを行う。スピーキングと、手書きまたはタイピングによるライティングをバランス良くトレーニングする。
到達目標	CEFR-J[A2.2] レベルを想定し、複数の英文を連続して発話できるスピーキング力、複数の英文を組み合わせてパラグラフを構成できるライティング力を身につける。身の回りのことや仕事などについて、理由を伴いつつ自分の意見を英語で話したり、書いたりできるようになる。
授業方法と留意点	1 年次・2 年次に、実践的な英文の暗唱とその応用練習という学習技法に十分に習熟していることが前提となる。同じ学習技法を基礎としながら、単文にとどまらず複数の文を用いたトレーニングにステップアップする。口頭による発話と、手書きまたはタイピングによる作文をバランス良くトレーニングする。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, TOEFL, 英検, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習（1 時間）
	2	英語のパラグラフの組織	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	3	トピック・センテンスを理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	4	トピック・センテンスを作ってみる	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	5	サポーティング・センテンスを理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	6	サポーティング・センテンスを作ってみる	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	7	コンクルーディング・センテンスを理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	8	コンクルーディング・センテンスを作ってみる	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	9	パラグラフ・ライティングのプロセス	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	10	パラグラフのフォーマット	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	11	英語のプレゼンテーションの組織	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された課題の遂行、学習した英語表現の復習（1 時間）
	12	英語のプレゼンテーションのためのアウトライン作成	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された課題の遂行、学習した英語表現の復習（1 時間）
	13	英語のプレゼンテーションに向けた準備	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された課題の遂行、学習した英語表現の復習（1 時間）
	14	英語のプレゼンテーション（発表会）	発表	発表の振り返り（1 時間）
	15	英語のプレゼンテーション（発表会）の振り返り	ペアワーク、グループワーク、ライティング	授業全体の振り返り（1 時間）

関連科目	スピーキング&ライティング IIa, IIb
------	------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Writing to Communicate.	Cynthia A. Boardman	Pearson Education Inc.
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法（基準）	平常点（授業態度、宿題、発話活動等） 8 5 % 共通課題（プレゼンテーション） 1 5 %
学生へのメッセージ	使える英語を意識して、一緒に楽しく学習していきましょう！
担当者の研究室等	7 号館 5 階 杉浦研究室
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。

科目名	スピーキング&ライティングⅢ a	科目名（英文）	Speaking and Writing III a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	き
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	中道 英美子
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3045b0		

授業概要・目的	アカデミック・スピーキングとアカデミック・ライティングの基本的な技法について学び、実践的なトレーニングを行う。スピーキングと、手書きまたはタイピングによるライティングをバランス良くトレーニングする。
到達目標	CEFR-J[A2.2] レベルを想定し、複数の英文を連続して発話できるスピーキング力、複数の英文を組み合わせてパラグラフを構成できるライティング力を身につける。身の回りのことや仕事などについて、理由を伴いつつ自分の意見を英語で話したり、書いたりできるようになる。
授業方法と留意点	1 年次・2 年次に、実践的な英文の暗唱とその応用練習という学習技法に十分に習熟していることが前提となる。同じ学習技法を基礎としながら、単文にとどまらず複数の文を用いたトレーニングにステップアップする。口頭による発話と、手書きまたはタイピングによる作文をバランス良くトレーニングする。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, TOEFL, 英検, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習（1 時間）
	2	英語のパラグラフの組織	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	3	トピック・センテンスを理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	4	トピック・センテンスを作ってみる	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	5	サポーティング・センテンスを理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	6	サポーティング・センテンスを作ってみる	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	7	コンクルーディング・センテンスを理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	8	コンクルーディング・センテンスを作ってみる	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	9	パラグラフ・ライティングのプロセス	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	10	パラグラフのフォーマット	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の復習・予習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	11	英語のプレゼンテーションの組織	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された課題の遂行、学習した英語表現の復習（1 時間）
	12	英語のプレゼンテーションのためのアウトライン作成	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された課題の遂行、学習した英語表現の復習（1 時間）
	13	英語のプレゼンテーションに向けた準備	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された課題の遂行、学習した英語表現の復習（1 時間）
	14	英語のプレゼンテーション（発表会）	発表	発表の振り返り（1 時間）
	15	英語のプレゼンテーション（発表会）の振り返り	ペアワーク、グループワーク、ライティング	授業全体の振り返り（1 時間）

関連科目	スピーキング&ライティング IIa, IIb
------	------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Writing to Communicate	Cynthia A. Boardman	Pearson Education Inc.
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法（基準）	平常点（授業態度、宿題、発話活動等） 8 5 % 共通課題（プレゼンテーション） 1 5 %
学生へのメッセージ	ライティングとスピーキング（プレゼンテーション）は少しのコツと練習で上達できるスキルです。一緒に楽しんでそれらのスキルを学びましょう。
担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。

科目名	スピーキング&ライティングⅢ b	科目名（英文）	Speaking and Writing III b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	あ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	ジェーン ボーメンター
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3046b0		

授業概要・目的	アカデミック・スピーキングとアカデミック・ライティングの基本的な技法について学び、実践的なトレーニングを行う。スピーキングと、手書きまたはタイピングによるライティングをバランス良くトレーニングする。
到達目標	CEFR-J[A2.2] レベルを想定し、複数の英文を連続して発話できるスピーキング力、複数の英文を組み合わせてパラグラフを構成できるライティング力を身につける。身の回りのことや仕事などについて、理由を伴いつつ自分の意見を英語で話したり、書いたりできるようになる。
授業方法と留意点	1 年次・2 年次に、実践的な英文の暗唱とその応用練習という学習技法に十分に習熟していることが前提となる。同じ学習技法を基礎としながら、単文にとどまらず複数の文を用いたトレーニングにステップアップする。口頭による発話と、手書きまたはタイピングによる作文をバランス良くトレーニングする。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, TOEFL, 英検, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習（1 時間）
	2	人や物について書く・話すスキルについて理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	3	人や物について書く・話すスキルを身につけるための実践演習	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	4	出来事の時間の順序に従って書く・話すスキルについて理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	5	出来事の時間の順序に従って書く・話すスキルを身につけるための実践演習	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	6	論理的順序に従って書く・話すスキルについて理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	7	論理的順序に従って書く・話すスキルを身につけるための実践演習	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	8	これまで学んだスキルについて復習する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	9	統一性 (Unity) について理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	10	一貫性について理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	11	結束性について理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	12	英語のアカデミック・プレゼンテーションのためのアウトライン作成	ペアワーク、グループワーク、ライティング	学習した英語表現の復習（1 時間）
	13	英語のアカデミック・プレゼンテーションに向けた準備	ペアワーク、グループワーク、ライティング	学習した英語表現の復習（1 時間）
	14	英語のプレゼンテーション（発表会）	発表	発表の振り返り（1 時間）
	15	英語のプレゼンテーション（発表会）の振り返り	ペアワーク、グループワーク、ライティング	授業全体の振り返り（1 時間）

関連科目	スピーキング&ライティング IIa, IIb
------	------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Writing to Communicate	Cynthia A. Boardman	Pearson Education Inc.
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法（基準）	平常点（授業態度、宿題、発話活動等）85% 共通課題（プレゼンテーション）15%
----------	---

学生へのメッセージ	You will need to bring the textbook to every class along with a notebook, writing materials, and a highlighting marker. If you have any questions, come see me anytime.
-----------	---

担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室
----------	-----------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。
----	---

科目名	スピーキング&ライティングⅢ b	科目名 (英文)	Speaking and Writing III b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	い
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	アサー ロングス
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3046b0		

授業概要・目的	アカデミック・スピーキングとアカデミック・ライティングの基本的な技法について学び、実践的なトレーニングを行う。スピーキングと、手書きまたはタイピングによるライティングをバランスよくトレーニングする。
到達目標	CEFR-J[A2.2]レベルを想定し、複数の英文を連続して発話できるスピーキング力、複数の英文を組み合わせてパラグラフを構成できるライティング力を身につける。身の回りのことや仕事などについて、理由を伴いつつ自分の意見を英語で話したり、書いたりできるようになる。
授業方法と留意点	1 年次・2 年次に、実践的な英文の暗唱とその応用練習という学習技法に十分に習熟していることが前提となる。同じ学習技法を基礎としながら、単文にとどまらず複数の文を用いたトレーニングにステップアップする。口頭による発話と、手書きまたはタイピングによる作文をバランスよくトレーニングする。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL, 英検, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習 (1 時間)
	2	人や物について書く・話すスキルについて理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	3	人や物について書く・話すスキルを身につけるための実践演習	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	4	出来事の時間の順序に従って書く・話すスキルについて理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	5	出来事の時間の順序に従って書く・話すスキルを身につけるための実践演習	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	6	論理的順序に従って書く・話すスキルについて理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	7	論理的順序に従って書く・話すスキルを身につけるための実践演習	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	8	これまで学んだスキルについて復習する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	9	統一性 (Unity) について理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	10	一貫性について理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	11	結束性について理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	12	英語のアカデミック・プレゼンテーションのためのアウトライン作成	ペアワーク、グループワーク、ライティング	学習した英語表現の復習 (1 時間)
	13	英語のアカデミック・プレゼンテーションに向けた準備	ペアワーク、グループワーク、ライティング	学習した英語表現の復習 (1 時間)
	14	英語のプレゼンテーション (発表会)	発表	発表の振り返り (1 時間)
	15	英語のプレゼンテーション (発表会) の振り返り	ペアワーク、グループワーク、ライティング	授業全体の振り返り (1 時間)

関連科目	スピーキング&ライティング IIa, IIb
------	------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Writing to Communicate.	Cynthia A. Boardman	Pearson Education Inc.
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	辞書		
	2			
	3			

評価方法 (基準)	平常点 (授業態度、宿題、発話活動等) 85 % 共通課題 (プレゼンテーション) 15 %
-----------	---

学生へのメッセージ	毎回の授業に必ず必要な物・教科書、辞書です。出席率そして積極的な授業参加発言、態度等を重要視する。 Attitude, participation and attendance are considered important in this class for getting a good grade. Please bring your textbook and a dictionary to each class. If you forget your text one day, please make a copy before the class.
-----------	---

担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室
----------	-----------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。
----	---

科目名	スピーキング&ライティングⅢ b	科目名（英文）	Speaking and Writing III b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	う
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	ジョセフ シウンシ
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3046b0		

授業概要・目的	アカデミック・スピーキングとアカデミック・ライティングの基本的な技法について学び、実践的なトレーニングを行う。スピーキングと、手書きまたはタイピングによるライティングをバランス良くトレーニングする。
到達目標	CEFR-J[A2.2] レベルを想定し、複数の英文を連続して発話できるスピーキング力、複数の英文を組み合わせてパラグラフを構成できるライティング力を身につける。身の回りのことや仕事などについて、理由を伴いつつ自分の意見を英語で話したり、書いたりできるようになる。
授業方法と留意点	1 年次・2 年次に、実践的な英文の暗唱とその応用練習という学習技法に十分に習熟していることが前提となる。同じ学習技法を基礎としながら、単文にとどまらず複数の文を用いたトレーニングにステップアップする。口頭による発話と、手書きまたはタイピングによる作文をバランス良くトレーニングする。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, TOEFL, 英検, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習（1 時間）
	2	人や物について書く・話すスキルについて理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	3	人や物について書く・話すスキルを身につけるための実践演習	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	4	出来事の時間の順序に従って書く・話すスキルについて理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	5	出来事の時間の順序に従って書く・話すスキルを身につけるための実践演習	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	6	論理的順序に従って書く・話すスキルについて理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	7	論理的順序に従って書く・話すスキルを身につけるための実践演習	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	8	これまで学んだスキルについて復習する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	9	統一性 (Unity) について理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	10	一貫性について理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	11	結束性について理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	12	英語のアカデミック・プレゼンテーションのためのアウトライン作成	ペアワーク、グループワーク、ライティング	学習した英語表現の復習（1 時間）
	13	英語のアカデミック・プレゼンテーションに向けた準備	ペアワーク、グループワーク、ライティング	学習した英語表現の復習（1 時間）
	14	英語のプレゼンテーション（発表会）	発表	発表の振り返り（1 時間）
	15	英語のプレゼンテーション（発表会）の振り返り	ペアワーク、グループワーク、ライティング	授業全体の振り返り（1 時間）

関連科目	スピーキング&ライティング IIa, IIb
------	------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Writing to Communicate	Cynthia A. Boardman	Pearson Education Inc.
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法（基準）	平常点（授業態度、宿題、発話活動等）85% 共通課題（プレゼンテーション）15%
----------	---

学生へのメッセージ	You will need to bring the textbook to every class along with a notebook, writing materials, and a highlighting marker. If you have any questions, come see me anytime.
-----------	---

担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室
----------	-----------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。
----	---

科目名	スピーキング&ライティングⅢ b	科目名 (英文)	Speaking and Writing III b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	え
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	中村 信之
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3046b0		

授業概要・目的	アカデミック・スピーキングとアカデミック・ライティングの基本的な技法について学び、実践的なトレーニングを行う。スピーキングと、手書きまたはタイピングによるライティングをバランス良くトレーニングする。
到達目標	CEFR-J[A2.2] レベルを想定し、複数の英文を連続して発話できるスピーキング力、複数の英文を組み合わせてパラグラフを構成できるライティング力を身につける。身の回りのことや仕事などについて、理由を伴いつつ自分の意見を英語で話したり、書いたりできるようになる。
授業方法と留意点	1 年次・2 年次に、実践的な英文の暗唱とその応用練習という学習技法に十分に習熟していることが前提となる。同じ学習技法を基礎としながら、単文にとどまらず複数の文を用いたトレーニングにステップアップする。口頭による発話と、手書きまたはタイピングによる作文をバランス良くトレーニングする。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL, 英検, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習 (1 時間)
	2	人や物について書く・話すスキルについて理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	3	人や物について書く・話すスキルを身につけるための実践演習	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	4	出来事の時間の順序に従って書く・話すスキルについて理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	5	出来事の時間の順序に従って書く・話すスキルを身につけるための実践演習	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	6	論理的順序に従って書く・話すスキルについて理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	7	論理的順序に従って書く・話すスキルを身につけるための実践演習	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	8	これまで学んだスキルについて復習する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	9	統一性 (Unity) について理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	10	一貫性について理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	11	結束性について理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	12	英語のアカデミック・プレゼンテーションのためのアウトライン作成	ペアワーク、グループワーク、ライティング	学習した英語表現の復習 (1 時間)
	13	英語のアカデミック・プレゼンテーションに向けた準備	ペアワーク、グループワーク、ライティング	学習した英語表現の復習 (1 時間)
	14	英語のプレゼンテーション (発表会)	発表	発表の振り返り (1 時間)
	15	英語のプレゼンテーション (発表会) の振り返り	ペアワーク、グループワーク、ライティング	授業全体の振り返り (1 時間)

関連科目	スピーキング&ライティング IIa, IIb
------	------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Writing to Communicate	Cynthia A. Boardman	Pearson Education Inc.
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	平常点 (授業態度、宿題、発話活動等) 85 % 共通課題 (プレゼンテーション) 15 %
-----------	---

学生へのメッセージ	ライティングやプレゼンテーションでは、自分が相手に何を伝えたいのかを考えるとところから始まります。相手に伝えたいと思う内容を自分の中で育てていけるよう、興味のあることについて複数のメディアや書籍から情報を収集したり、色々な人の話を聞いたり、そして時には体験から学ぶ姿勢を大切にしてください。授業では相手に言いたいことが効果的に伝えられるよう、文章の論理的な構成など、その方法について学んでいきます。
-----------	---

担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室
----------	-----------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。
----	---

科目名	スピーキング&ライティングⅢ b	科目名 (英文)	Speaking and Writing III b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	お
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	松井 夏津紀
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3046b0		

授業概要・目的	アカデミック・スピーキングとアカデミック・ライティングの基本的な技法について学び、実践的なトレーニングを行う。スピーキングと、手書きまたはタイピングによるライティングをバランス良くトレーニングする。
到達目標	CEFR-J[A2.2] レベルを想定し、複数の英文を連続して発話できるスピーキング力、複数の英文を組み合わせてパラグラフを構成できるライティング力を身につける。身の回りのことや仕事などについて、理由を伴いつつ自分の意見を英語で話したり、書いたりできるようになる。
授業方法と留意点	1 年次・2 年次に、実践的な英文の暗唱とその応用練習という学習技法に十分に習熟していることが前提となる。同じ学習技法を基礎としながら、単文にとどまらず複数の文を用いたトレーニングにステップアップする。口頭による発話と、手書きまたはタイピングによる作文をバランス良くトレーニングする。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL, 英検, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習 (1 時間)
	2	人や物について書く・話すスキルについて理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	3	人や物について書く・話すスキルを身につけるための実践演習	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	4	出来事の時間の順序に従って書く・話すスキルについて理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	5	出来事の時間の順序に従って書く・話すスキルを身につけるための実践演習	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	6	論理的順序に従って書く・話すスキルについて理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	7	論理的順序に従って書く・話すスキルを身につけるための実践演習	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	8	これまで学んだスキルについて復習する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	9	統一性 (Unity) について理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	10	一貫性について理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	11	結束性について理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	12	英語のアカデミック・プレゼンテーションのためのアウトライン作成	ペアワーク、グループワーク、ライティング	学習した英語表現の復習 (1 時間)
	13	英語のアカデミック・プレゼンテーションに向けた準備	ペアワーク、グループワーク、ライティング	学習した英語表現の復習 (1 時間)
	14	英語のプレゼンテーション (発表会)	発表	発表の振り返り (1 時間)
	15	英語のプレゼンテーション (発表会) の振り返り	ペアワーク、グループワーク、ライティング	授業全体の振り返り (1 時間)

関連科目	スピーキング&ライティング IIa, IIb
------	------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Writing to Communicate	Cynthia A. Boardman	Pearson Education Inc.
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	平常点 (授業態度、宿題、発話活動等) 85 % 共通課題 (プレゼンテーション) 15 %
-----------	---

学生へのメッセージ	積極的な授業参加を期待します。 授業中の携帯の使用は認めません。辞書を持参するようにしてください。
-----------	--

担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室
----------	-----------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。
----	---

科目名	スピーキング&ライティングⅢ b	科目名 (英文)	Speaking and Writing III b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	か
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	杉浦 秀行
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3046b0		

授業概要・目的	アカデミック・スピーキングとアカデミック・ライティングの基本的な技法について学び、実践的なトレーニングを行う。スピーキングと、手書きまたはタイピングによるライティングをバランス良くトレーニングする。
到達目標	CEFR-J[A2.2]レベルを想定し、複数の英文を連続して発話できるスピーキング力、複数の英文を組み合わせてパラグラフを構成できるライティング力を身につける。身の回りのことや仕事などについて、理由を伴いつつ自分の意見を英語で話したり、書いたりできるようになる。
授業方法と留意点	1 年次・2 年次に、実践的な英文の暗唱とその応用練習という学習技法に十分に習熟していることが前提となる。同じ学習技法を基礎としながら、単文にとどまらず複数の文を用いたトレーニングにステップアップする。口頭による発話と、手書きまたはタイピングによる作文をバランス良くトレーニングする。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL, 英検, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習 (1 時間)
	2	人や物について書く・話すスキルについて理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	3	人や物について書く・話すスキルを身につけるための実践演習	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	4	出来事の時間の順序に従って書く・話すスキルについて理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	5	出来事の時間の順序に従って書く・話すスキルを身につけるための実践演習	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	6	論理的順序に従って書く・話すスキルについて理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	7	論理的順序に従って書く・話すスキルを身につけるための実践演習	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	8	これまで学んだスキルについて復習する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	9	統一性 (Unity) について理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	10	一貫性について理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	11	結束性について理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習 (1 時間)
	12	英語のアカデミック・プレゼンテーションのためのアウトライン作成	ペアワーク、グループワーク、ライティング	学習した英語表現の復習 (1 時間)
	13	英語のアカデミック・プレゼンテーションに向けた準備	ペアワーク、グループワーク、ライティング	学習した英語表現の復習 (1 時間)
	14	英語のプレゼンテーション (発表会)	発表	発表の振り返り (1 時間)
	15	英語のプレゼンテーション (発表会) の振り返り	ペアワーク、グループワーク、ライティング	授業全体の振り返り (1 時間)

関連科目	スピーキング&ライティング IIa, IIb
------	------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Writing to Communicate	Cynthia A. Boardman	Pearson Education Inc.
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	平常点 (授業態度、宿題、発話活動等) 85 % 共通課題 (プレゼンテーション) 15 %
-----------	---

学生へのメッセージ	使える英語を意識して、一緒に楽しく学習していきましょう！
-----------	------------------------------

担当者の研究室等	7 号館 5 階 杉浦研究室
----------	----------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等はスチューデントアワーにて対応する。
----	---

科目名	スピーキング&ライティングⅢ b	科目名（英文）	Speaking and Writing III b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	き
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	中道 英美子
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3046b0		

授業概要・目的	アカデミック・スピーキングとアカデミック・ライティングの基本的な技法について学び、実践的なトレーニングを行う。スピーキングと、手書きまたはタイピングによるライティングをバランス良くトレーニングする。
到達目標	CEFR-J[A2. 2] レベルを想定し、複数の英文を連続して発話できるスピーキング力、複数の英文を組み合わせてパラグラフを構成できるライティング力を身につける。身の回りのことや仕事などについて、理由を伴いつつ自分の意見を英語で話したり、書いたりできるようになる。
授業方法と留意点	1 年次・2 年次に、実践的な英文の暗唱とその応用練習という学習技法に十分に習熟していることが前提となる。同じ学習技法を基礎としながら、単文にとどまらず複数の文を用いたトレーニングにステップアップする。口頭による発話と、手書きまたはタイピングによる作文をバランス良くトレーニングする。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, TOEFL, 英検, IELTS

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習（1 時間）
	2	人や物について書く・話すスキルについて理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	3	人や物について書く・話すスキルを身に付けるための実践演習	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	4	出来事の時間の順序に従って書く・話すスキルについて理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	5	出来事の時間の順序に従って書く・話すスキルを身に付けるための実践演習	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	6	論理的順序に従って書く・話すスキルについて理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	7	論理的順序に従って書く・話すスキルを身に付けるための実践演習	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	8	これまで学んだスキルについて復習する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	9	統一性（Unity）について理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	10	一貫性について理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	11	結束性について理解する	ペアワーク、グループワーク、ライティング	指定された範囲の教科書の予習・復習、学習した英語表現の復習（1 時間）
	12	英語のアカデミック・プレゼンテーションのためのアウトライン作成	ペアワーク、グループワーク、ライティング	学習した英語表現の復習（1 時間）
	13	英語のアカデミック・プレゼンテーションに向けた準備	ペアワーク、グループワーク、ライティング	学習した英語表現の復習（1 時間）
	14	英語のプレゼンテーション（発表会）	発表	発表の振り返り（1 時間）
	15	英語のプレゼンテーション（発表会）の振り返り	ペアワーク、グループワーク、ライティング	授業全体の振り返り（1 時間）

関連科目	スピーキング&ライティング IIa, IIb
------	------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Writing to Communicate	Cynthia A. Boardman	Pearson Education Inc.
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法（基準）	平常点（授業態度、宿題、発話活動等）85% 共通課題（プレゼンテーション）15%
----------	---

学生へのメッセージ	ライティングとスピーキング（プレゼンテーション）は少しのコツと練習で上達できるスキルです。一緒に楽しんでそれらのスキルを学びましょう。
-----------	---

担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室
----------	-----------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 30 時間程度とする。テストやレポートに関するフィードバックは翌週以降の授業内で行う。その他の質問等は出講時に非常勤講師室にて対応する。
----	---

科目名	スペイン語Ⅱ a	科目名 (英文)	Spanish IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	北條 ゆかり
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	この授業ではスペイン語の文法の基礎を学び、基本的な単語を覚え、聴く・話すことに重点をおいて授業を進めます。				
到達目標	スペイン語で日常の簡単な会話ができるようになる。 広域なスペイン語圏に関心を持ち、その文化に親しむ。				
授業方法と留意点	前期ではアルファベットと発音から始め、第5課まで学習する予定。 受講にあたっては教科書、西和辞典、配布されたプリント等を持参すること。 ただし、以下の授業計画は目安であり、受講生の理解度により進度を調整することがある。				
科目学習の効果（資格）	スペイン語検定6級				
授業計画		回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
		1	オリエンテーション	授業の進め方 スペイン語とスペイン語圏についての概要の説明。	挨拶表現を練習する。
		2	第1課	アルファベットと発音の解説。	授業後、スペイン語の発音の法則を確認し、声に出して練習する。 基数1～10を覚える。
		3	前回の復習 第1課	アルファベットと発音の徹底。 音節分けとアクセント	単語の読みだけでなく、短い文を読む練習をし、イントネーションを身につける。
		4	前回の復習 第2課	名詞の性と数	授業後、名詞の性・数の法則を確認して覚える。 会話文を声に出して繰り返し練習する。
		5	前回の復習 第2課	冠詞（不定冠詞と定冠詞）	会話文を声に出して繰り返し練習する。基数11～20を覚える。
		6	理解度確認テスト（1） 第3課	発音、アクセント、名詞に関する確認テスト 動詞 ser の活用	会話文を声に出して繰り返し練習する。
		7	理解度確認テスト（1）の見直し 第3課	これまでの復習 動詞 ser の用法 形容詞の性と数	授業後、動詞 ser の使い方を確認する。 会話文を声に出して繰り返し練習する。
		8	前回の復習 第4課	動詞 estar の活用と用法	授業後、動詞 estar の活用を確認する。
		9	前回の復習 第4課	動詞 hay の用法 ser と estar の区別 estar と hay の区別	会話文を声に出して繰り返し練習する。
		10	理解度確認テスト（2） スペイン語文読解にチャレンジ	動詞 ser, estar, hay の活用と用法に関する確認テスト 各課の後ろにある Lectura の文章を読み、文法事項を復習	辞書の使い方に慣れる
		11	理解度確認テスト（2）の見直し スペイン語文読解にチャレンジ	これまでの復習 各課の後ろにある Lectura の文章を読み、文法事項を復習	基本単語を覚える
		12	前回の復習 第5課	-ar 動詞の規則活用と用法	動詞活用の練習
		13	前回の復習 第5課	疑問詞の使い方	作文練習
		14	これまでの復習	積み残しの総整理	基数の確認 会話文を声に出して読んでみる。
		15	学習内容の確認	前期に学習した文法および語彙・基本表現の臨時試験。	授業前に前期に学習した文法や語彙・表現を総確認しておく。
関連科目	スペイン語圏概論				
教科書	番号	書籍名		著者名	出版社名
	1	ブラサ・マヨール I		E・アルマラス他	朝日出版
	2				
参考書	番号	書籍名		著者名	出版社名
	1	ポケット・プログレッシブ西和・和西辞典		高垣ほか	小学館
	2				
評価方法（基準）	一定程度進んだ段階で理解度確認テスト（30%） 最終週に既習範囲を対象とする臨時試験（50%） しばしば行う単語テスト（20%）				
学生へのメッセージ	初めて学ぶ外国語は覚えるべきことが多いですが、スペイン語は母音が日本語と同じなので発音はとても簡単です。文法をマスターし語彙を増やすことで、スペイン語で発信することができるようになります。				
担当者の研究室等	7号館5階 北條研究室				
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約15時間。 理解度確認テストに関するフィードバックはその次週、確認試験に関するフィードバックは当日、解答例を配布し解説し、後日、北條研究室で答案を返却する。				

科目名	スペイン語Ⅱb	科目名（英文）	Spanish IIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	篠原 愛人
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	この授業ではスペイン語の文法の基礎を学び、基本的な単語を覚え、聴く・話すことに重点をおいて授業を進めます。
到達目標	スペイン語で日常の簡単な会話ができるようになる。 スペイン語圏の文化に親しむ。
授業方法と留意点	後期では第6課から第9課まで学習する予定です。 受講にあたっては教科書、西和辞典、配布されたプリント等を持参すること。 ただし、以下の授業計画は目安であり、受講生の理解度により進度を調整することがあります。
科目学習の効果（資格）	スペイン語検定6級

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	前期の学習内容の確認	前期で学習したことの確認（動詞の活用を中心に）	授業前に前期で学習したことを総復習しておくこと。 授業後は動詞の活用の確認。
	2	第6課	-er 動詞、-ir 動詞の規則活用	授業後、月名・曜日・日付に関する語彙を覚えること。 会話を声に出して繰り返し練習する。
	3	前回の復習 第6課	動詞の活用 所有格の総まとめ	授業後、会話を声に出して繰り返し練習する。
	4	前回の復習 第6課	基本的な動詞の用法	会話を声に出して繰り返し練習する。
	5	理解度確認テスト（1） 第7課	-ar、-er、-ir 動詞の活用と用法に関するテスト 目的格人称代名詞	授業後、会話を声に出して繰り返し練習する。
	6	理解度確認テスト（1）の見直し 第7課	動詞の活用と用法に関する確認テストの見直し gustar 型動詞	授業後、規則動詞の確認をすること。 会話を声に出して繰り返し練習する。
	7	前回の復習 第8課	語幹母音変化動詞	授業後、動詞の活用を確認すること。 会話を声に出して繰り返し練習する。
	8	前回の復習 第8課	語幹母音変化動詞（2） querer と poder の用法	語幹母音変化動詞の活用をしっかりと練習すること
	9	理解度確認テスト（2） 第9課	語幹母音変化動詞の活用と gustar 型動詞の用法に関するテスト 1 人称単数形が不規則な動詞	授業後、動詞の活用と用法を確認すること。 会話を声に出して繰り返し練習する。
	10	理解度確認テスト（2）の見直し 第9課	テストの見直しをして理解できていない箇所を復習 hacer の使い方	試験前に既習事項（特に動詞の活用）を復習しておくこと。 会話を声に出して繰り返し練習する。
	11	前回の復習 第9課	その他の不規則動詞の活用と用法	授業後、受身表現を確認すること。 会話を声に出して繰り返し練習する。
	12	理解度確認テスト（3）	不規則変化動詞の活用と用法に関するテスト	授業後、形容詞・副詞の最上級を確認すること。 会話を声に出して繰り返し練習する。
	13	理解度確認テスト（3）の見直し スペイン語文読解にチャレンジ	テストの復習 各課の終わりにある Lectura を読み、文法事項を確認する	授業後、不規則変化動詞の活用と用法を復習する 会話を声に出して繰り返し練習する。
	14	これまでの復習 スペイン語文読解にチャレンジ	弱点の克服	会話を声に出して繰り返し練習する。
	15	学習内容の確認	後期に学習した文法および語彙・基本表現の臨時試験と総復習	授業前に後期に学習した文法や語彙・表現を総確認しておくこと。

関連科目	エリア・スタディーズ（ラテンアメリカ）
------	---------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	ブラサ・マヨール	E・アルマラス	朝日出版
	2			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	ポケット・プログレッシブ西和・和西辞典	高垣ほか	小学館
	2			

評価方法（基準）	一定程度進んだ段階で行う、理解度確認テスト（30%） 最終週に行う、既習範囲を対象とする到達度確認テスト（50%）、 ときどき行う単語テスト（20%）と合わせて総合的に評価する。
学生へのメッセージ	今学期では、前期で学習したことをさらに進めて多くの表現ができるようになります。間違いを怖れず積極的に会話をしましょう。
担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師控室
備考	事前・事後学修に各 1 時間を要する。 毎回の授業の始めに、前回の学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。

科目名	スペイン語Ⅲ a	科目名 (英文)	Spanish IIIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	西村 初美
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	この授業では文法の基礎を学び、基本的な単語を覚え、聴くこと話すことに重点をおき会話力をつける。				
到達目標	使用するテキスト『El tesoro de España（スペインの宝）』は、主人公である日本人がスペインを旅するストーリー性のある内容となっている。空港やホテル、各地での観光やお祭・食べ物等のエピソードを通して実際に現地で使えるスペイン語を学習する。				
授業方法と留意点	受講に当たっては、教科書に加えて授業中に配布されたプリント等も持参すること。 必要に応じて小テストを実施する。 以下に記す授業計画は目安であり、受講生の理解度によって進度を調整することがある。				
科目学習の効果（資格）	スペイン語検定 6 級または 5 級				
授業計画		回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
		1	これまでの学習内容の確認 (1)	スペイン語Ⅰ、Ⅱで習った文法事項や表現を復習する。 自己紹介の会話。	授業後、学習した語句・表現を繰り返し練習し覚えること。
		2	これまでの学習内容の確認 (2) テキスト第 1 課:マドリード (1)	スペイン語Ⅰ、Ⅱで習った文法事項や表現を復習する。 空港での会話。	授業後、学習した語句・表現を繰り返し練習し覚えること。
		3	テキスト第 2・3 課 マドリード(2)・(3)	動詞 ser 「…である」、estar 「…の状態である；…にいる」の用法を学ぶ。 ホテルでチェックインの会話。 健康をたずねる会話。	授業後、学習した語句・表現を繰り返し練習し覚えること。
		4	テキスト第 4 課 マドリード(4)	動詞 ir 「行く」、venir 「来る」の用法を学ぶ。 プラド美術館の概要を解説。	授業後、学習した語句・表現を繰り返し練習し覚えること。
		5	テキスト第 5・6 課 セビリア (1)・(2)	動詞 tener 「持つ」、hablar 「話す」の用法を学ぶ。 タクシーに乗る時の会話。 スペインの新幹線 AVE の概要を解説。	授業後、学習した語句・表現を繰り返し練習し覚えること。
		6	テキスト第 7 課 セビリア (3)	動詞 comer 「食べる」の用法を学ぶ。 飲食についての語句を知る。 居酒屋での会話。	授業後、学習した語句・表現を繰り返し練習し覚えること。
		7	テキスト第 8 課 セビリア (4)	動詞 vivir 「生きる・住む」の用法を学ぶ。 都市名を知る。	授業後、学習した語句・表現を繰り返し練習し覚えること。
		8	臨時試験と解説	前半の学習内容の理解度確認と解説	ここまで学習した文法・語彙・表現を総確認しておくこと。
		9	テキスト第 9 課 バルセロナ (1)	動詞 querer 「…欲する」の用法を学ぶ。 交通に関する語句を知る。 カタルーニャの概要の説明。	授業後、学習した語句・表現を繰り返し練習し覚えること。
		10	テキスト第 10 課 バルセロナ (2)	動詞 poder 「…できる」の用法を学ぶ。 バルセロナ観光での会話。 バルセロナについての概要を説明。	授業後、学習した語句・表現を繰り返し練習し覚えること。
		11	テキスト第 11 課 バルセロナ (3)	動詞 salir 「去る」、llegar 「着く」の用法を学ぶ。 買い物での会話。 建物の名称を知る。	授業後、学習した語句・表現を繰り返し練習し覚えること。
		12	テキスト第 12 課 バルセロナ (4)	動詞 gustar 「好かれる」、decir 「言う」、dar 「与える」の用法を学ぶ。 バルセロナ観光での会話。	授業後、学習した語句・表現を繰り返し練習し覚えること。
		13	テキスト第 13 課 パンブローナ (1)	動詞 levantarse 「起きる」との用法を学ぶ。 衣服に関する語句を知る。 パンブローナの概要を説明。	授業後、学習した語句・表現を繰り返し練習し覚えること。
		14	テキスト第 14 課 パンブローナ (2)	再帰動詞を学ぶ。	授業後、学習した語句・表現を繰り返し練習し覚えること。
		15	臨時試験と解説	前期の学習内容の理解度確認と総復習。	前期で学習した文法・語彙・表現を総確認しておくこと。
関連科目	スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅳ				
教科書					

	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	El tesoro de Espana (スペインの宝)	福嶋 教隆	同学社
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	ポケット・プログレッシブ西和・和西辞典	高垣敏博ほか	小学館
	2			
	3			
評価方法 (基準)	会話(50%)、臨時試験(50%)			
学生への メッセージ	週一回の授業ですが、できるだけ声に出してスペイン語で話すことを心がけて下さい。そして、スペインの文化や習慣に触れながらスペイン語圏への興味を広げましょう。			
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師控室			
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約15時間。 毎回の授業の始めに、前回の学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。 臨時試験の解説はその時間内に行う。			

科目名	スペイン語Ⅲ b	科目名 (英文)	Spanish IIIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	西村 初美
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	スペイン語 III に引き続きテキスト『El tesoro de España?a（スペインの宝）』を用いて授業を進める。 テキストは主人公である日本人がスペインを旅するストーリー性のある内容となっており、様々なエピソードを通して実際に現地で使えるスペイン語を学習する。				
到達目標	なお、受講にあたっては、スペイン語 III の履修経験者がのぞましい。 語彙を増やし、多くの表現法を学ぶことで会話力をつける。 スペイン語圏の知識と興味をさらに深める。				
授業方法と留意点	受講に当たっては、教科書に加えて授業中に配布されたプリント等も持参すること。 授業では会話に重点をおき、必要に応じて小テストを実施する。 以下に記す授業計画は目安であり、受講生の理解度によって進度を調整することがある。				
科目学習の効果（資格）	. スペイン語検定 6 級・5 級				
授業計画		回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
		1	前期の学習内容の確認 (1)	前期で習った文法事項や表現を復習する（第 1 課から第 5 課）	予習として、第 1 課から第 5 課までの確認をしておくこと。 授業後、学習した語句・表現を繰り返し練習し覚えること。
		2	前期の学習内容の確認 (2)	前期で習った文法事項や表現を復習する（第 6 課から第 10 課）	予習として、第 6 課から 10 課までの確認をしておくこと。 授業後、学習した語句・表現を繰り返し練習し覚えること。
		3	前期の学習内容の確認 (3)	前期で習った文法事項や表現を復習する（第 11 課から第 14 課）	予習として、第 11 課から 14 課までの確認をしておくこと。 授業後、学習した語句・表現を繰り返し練習し覚えること。
		4	テキスト第 15 課 パンブローナ (3)	動詞 hacer「作る；する」の用法を学ぶ。 天体・四季・動植物に関する語句を知る。 天候の会話。 サン・フェルミン祭の概要の解説。	授業後、学習した語句・表現を繰り返し練習し覚えること。
		5	テキスト第 16 課 パンブローナ (4)	過去分詞・現在完了形を学ぶ。 否定語・不定語を使う会話。 牛追い祭の概要を解説。	授業後、学習した語句・表現を繰り返し練習し覚えること。
		6	テキスト第 17 課 サン・セバスチャン (1)	現在分詞、比較級・最上級の用法を学ぶ。 パソコン用語を知る。 パソコンを使いながらの会話。	授業後、学習した語句・表現を繰り返し練習し覚えること。
		7	テキスト第 18 課 サン・セバスチャン (2)	点過去形の用法 (1) を学ぶ。 親族に関する語句を知る。 バスク地方とバスク語の概要を解説。	授業後、学習した語句・表現を繰り返し練習し覚えること。
		8	理解度確認テスト	第 15 課から第 18 課まで学習した内容の理解度を確認する。	テスト範囲の内容の確認と総復習をしておくこと。
		9	テキスト第 19 課 サン・セバスチャン (3)	点過去形の用法 (2) を学ぶ。 点過去形を使った会話。 かけ声に関する語句を知る。 バスク料理の概要を解説。	授業後、学習した語句・表現を繰り返し練習し覚えること。
		10	テキスト第 20 課 サン・セバスチャン (4)	線過去形の用法を学ぶ。 線過去形を使った会話。 擬声語の語句を知る。	授業後、学習した語句・表現を繰り返し練習し覚えること。
		11	テキスト第 21 課 ラ・コルーニャ (1)	未来形の用法を学ぶ。 未来形を使った会話。 サンチアゴ・デ・コンポステーラの概要を解説。	授業後、学習した語句・表現を繰り返し練習し覚えること。
		12	テキスト第 22 課 ラ・コルーニャ (2)	接続法の用法 (1) を学ぶ。 感嘆・慣用句を知る。 ガリシアとガリシア語の概要を解説。	授業後、学習した語句・表現を繰り返し練習し覚えること。
		13	テキスト第 23 課 ラ・コルーニャ (3)	接続法で願望・不確定・感情を表現する。 ラ・コルーニャの概要を解説。	授業後、学習した語句・表現を繰り返し練習し覚えること。
		14	テキスト第 24 課 ラ・コルーニャ (4)	接続法のまとめ。 動詞の時制のまとめ。	後期授業で学習した内容の確認と総復習をしておくこと。
		15	臨時試験と総復習	今学期で学習した内容についての理解度を確認する。	これまでの総復習をしておくこと。
関連科目					

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	El tesoro de Espana (スペインの宝)	福嶋 教隆	同学社
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	ポケット・プログレッシブ西和・和西辞典	高垣敏博ほか	小学館
	2			
	3			
評価方法 (基準)	筆記試験 (50%)、会話 (50%) で評価する。			
学生への メッセージ	新しい語彙や表現が増えてきますが、授業は繰り返しゆっくり進めます。 声に出して話しましょう。			
担当者の 研究室等	7 号館 2 階 講師控室			
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約 15 時間。 毎回の授業の始めに、前回の学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。 授業で課した課題や宿題は、次週の授業で講評する。			

科目名	スペイン語応用 I	科目名 (英文)	Applied Spanish I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	安達 直樹
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1091e0		

授業概要・目的	初めて習う外国語は覚えることが多く、暗記と理解に時間をかけてもなかなか定着しにくい。この授業では、「スペイン語入門 A、B、C」で学んだ文法知識を確認し、スペイン語文読解と練習問題をこなすことで理解を深め、記憶に定着させることを目指す。
到達目標	「スペイン語入門 A、B、C」で学んだばかりの内容に対応する練習問題に取り組むことで、文法の基礎を着実に習得する。対話文やまとまった量のテキストの読みを通して、語彙、表現、文構造の理解を高める。
授業方法と留意点	正答（することだけ）にこだわらず、なぜそうなるのかをつねに意識して、原理原則の理解に努めること。 疑問を持ち、考え、質問すること。 授業計画はあくまで目安であり、レベルと進捗状況に応じて多少の修正を加え得る。
科目学習の効果（資格）	文法項目の確認とアウトプットの練習。 歴史文化（世界遺産）についても触れる。 スペイン語検定 6 級

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	科目説明	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	2	文字と発音	アルファベット 発音	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	3	第 1 課	名詞の性と数 冠詞 形容詞 「これは何ですか」	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	4	第 2 課	主語人称代名詞 Ser/estar 指示詞 前置詞	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	5	第 1, 2 課まとめ	第 1, 2 課の内容	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	6	中間的試験	第 1, 2 課の内容	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	7	第 3 課	規則動詞直説法現在 国・言語・国民の言い方 都市・住宅に関する語彙 文の種類	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	8	第 4 課	動詞 tener, ir, venir querer, poder 型動詞（現在） 不規則動詞（現在） 食事・あいさつの表現	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	9	第 3, 4 課まとめ	第 3, 4 課の内容	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	10	中間的試験	第 3, 4 課の内容	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	11	第 5 課	基数詞 時刻表現 比較級・最上級 家族知人に関する語彙	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	12	第 6 課	目的語の代名詞「～に」「～を」 Gustar 型動詞 身体部位に関する語彙 hay 「～がある」	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	13	第 7 課	再帰動詞 天候の表現 季節、月、曜日の表現 所有詞（前置形）	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	14	第 5, 6, 7 課まとめ	第 5, 6, 7 課の内容	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	15	臨時試験と解説	第 5, 6, 7 課の内容についての理解度確認と解説	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
関連科目	スペイン語入門 A、B、C			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	世界遺産で学ぶスペイン語	福島教隆、フアン・ロメロ・ディアス	朝日出版
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	中規模の試験を複数回(2課につき1度の計3回を予定)実施する。 試験90%+受講姿勢(発表など)10%			
学生への メッセージ	初めての外国語の勉強は大変だが、毎日継続的に勉強しよう。予習・復習と自習は不可欠。 文法項目が応用で初めて(入門より先に)出てくこともあるが、両科目ともスペイン語の初級文法を扱っているため、混乱する必要はない(そうならないために、予習復習をきちんとすることと諸科目をリンクする意識をもつこと)。			
担当者の 研究室等	7号館5階 安達研究室			
備考	事前・事後学習に要する総学習時間は約15時間。 毎回の授業の始めに、前回の学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。 試験の解説は次の週および最終回に行う。 文法の「入門・基礎ABC」と内容が前後して進むことがあるが、応用が先行しようとも、それぞれの科目を予習していれば問題ない。			

科目名	スペイン語応用 I	科目名 (英文)	Applied Spanish I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	R
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	磯野 吉美
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1091e0		

授業概要・目的	初めて習う外国語は覚えることが多く、暗記と理解に時間をかけてもなかなか定着しにくい。この授業では、「スペイン語入門 A、B、C」で学んだ文法知識を確認し、スペイン語文読解と練習問題をこなすことで理解を深め、記憶に定着させることを目指す。
到達目標	「スペイン語入門 A、B、C」で学んだばかりの内容に対応する練習問題に取り組むことで、文法の基礎を着実に習得する。対話文やまとまった量のテキストの読みを通して、語彙、表現、文構造の理解を高める。
授業方法と留意点	正答（することだけ）にこだわらず、なぜそうなるのかをつねに意識して、原理原則の理解に努めること。 疑問を持ち、考え、質問すること。 授業計画はあくまで目安であり、レベルと進捗状況に応じて多少の修正を加え得る。
科目学習の効果（資格）	文法項目の確認とアウトプットの練習。 歴史文化（世界遺産）についても触れる。 スペイン語検定 6 級

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	科目説明	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	2	文字と発音	アルファベット 発音	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	3	第 1 課	名詞の性と数 冠詞 形容詞 「これは何ですか」	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	4	第 2 課	主語人称代名詞 Ser/estar 指示詞 前置詞	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	5	第 1, 2 課まとめ	第 1, 2 課の内容	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	6	中間的試験	第 1, 2 課の内容	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	7	第 3 課	規則動詞直説法現在 国・言語・国民の言い方 都市・住宅に関する語彙 文の種類	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	8	第 4 課	動詞 tener, ir, venir querer, poder 型動詞（現在） 不規則動詞（現在） 食事・あいさつの表現	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	9	第 3, 4 課まとめ	第 3, 4 課の内容	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	10	中間的試験	第 3, 4 課の内容	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	11	第 5 課	基数詞 時刻表現 比較級・最上級 家族知人に関する語彙	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	12	第 6 課	目的語の代名詞「～に」「～を」 Gustar 型動詞 身体部位に関する語彙 hay 「～がある」	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	13	第 7 課	再帰動詞 天候の表現 季節、月、曜日の表現 所有詞（前置形）	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	14	第 5, 6, 7 課まとめ	第 5, 6, 7 課の内容	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	15	臨時試験と総括	第 5, 6, 7 課の内容	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
関連科目	スペイン語入門 A、B、C			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	世界遺産で学ぶスペイン語	福島教隆、フアン・ロメロ・ディアス	朝日出版
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	中規模の試験を複数回(2課につき1度の計3回を予定)実施する。 試験90%+受講姿勢(発表など)10%			
学生への メッセージ	初めての外国語の勉強は大変だが、毎日継続的に勉強しよう。予習・復習と自習は不可欠。 文法項目が応用で初めて(入門より先に)出てくこともあるが、両科目ともスペイン語の初級文法を扱っているため、混乱する必要はない(そうならないために、予習復習をきちんとすることと諸科目をリンクする意識をもつこと)。			
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師控室			
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約15時間。 文法の「入門・基礎ABC」と内容が前後して進むことがあるが、応用が先行しようとも、それぞれの科目を予習していれば問題ない。 毎回の授業の始めに、前回の学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。 授業内で行う試験は返却時に答えの確認を行う。			

科目名	スペイン語応用Ⅱ	科目名（英文）	Applied Spanish II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	磯野 吉美
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1092e0		

授業概要・目的	初めて習う外国語は覚えることが多く、暗記と理解に時間をかけてもなかなか定着しにくい。この授業では、「スペイン語基礎 A、B、C」で学んだ文法知識を確認し、スペイン語文読解と練習問題をこなすことで理解を深め、記憶に定着させることを目指す。
到達目標	「スペイン語基礎A、B、C」で学んだばかりの内容に対応する練習問題に取り組むことで、文法の基礎を着実に習得する。対話文やまとまった量のテキストの読みを通して、語彙、表現、文構造の理解を高める。
授業方法と留意点	正答（することだけ）にこだわらず、なぜそうなるのかをつねに意識して、原理原則の理解に努めること。 疑問を持ち、考え、質問すること。 授業計画はあくまで目安であり、レベルと進捗状況に応じて多少の修正を加え得る。
科目学習の効果（資格）	文法項目の確認とアウトプットの練習。 歴史文化（世界遺産）についても触れる。 スペイン語検定 5 級

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	復習	前期の学習内容	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	2	復習	前期の学習内容	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	3	第 8 課	点過去形（規則動詞と不規則動詞） 点過去形のはたらき 副詞	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	4	第 9 課	線過去形（規則動詞と不規則動詞） 線過去形のはたらき	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	5	第 8, 9 課まとめ	第 8, 9 課の内容	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	6	中間的試験	第 8, 9 課の内容	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	7	第 10 課	未来形と過去未来形（規則動詞と不規則動詞） 未来形と過去未来形のはたらき	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	8	第 11 課	現在分詞と過去分詞 現在完了形 不定語と否定語 不定詞	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	9	第 10, 11 課まとめ	第 10, 11 課の内容	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	10	中間的試験	第 10, 11 課の内容	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	11	第 12 課	能動文と受動文 2つの受動文 序数詞 疑問詞	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	12	第 13 課	関係詞 複文 縮小辞と増大辞	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	13	第 12, 13 課まとめ	第 12, 13 課の内容	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	14	試験	第 12, 13 課の内容	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	15	総復習	後期の内容	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習

関連科目	スペイン語基礎A、B、C
------	--------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	世界遺産で学ぶスペイン語	福嶋教隆、フアン・ロメロ・ディアス	朝日出版
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			

	3			
評価方法 (基準)	中規模の試験を複数回 (2 課につき 1 度の計 3 回を予定) 実施する。 試験 90% + 受講姿勢 (発表など) 10%			
学生への メッセージ	初めての外国語の勉強は大変だが、毎日継続的に勉強しよう。予習・復習と自習は不可欠。 文法項目が応用で初めて (基礎より先に) 出てくこともあるが、両科目ともスペイン語の初級文法を扱っているため、混乱する必要はない (そうならないために、予習復習をきちんとすることと諸科目をリンクする意識をもつこと)。			
担当者の 研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師控室			
備考	事前・事後に各 1 時間の学習時間を要する。 次回の授業中にコメントや質問回答などのフィードバックを行う。また、授業時間以外での質問は非常勤講師控室にて受け付ける。 文法の「基礎 ABC」と内容が前後して進むことがあるが、応用が先行しようとも、それぞれの科目を予習していれば問題ない。			

科目名	スペイン語応用Ⅱ	科目名（英文）	Applied Spanish II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	R
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	林 安紀子
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1092e0		

授業概要・目的	初めて習う外国語は覚えることが多く、暗記と理解に時間をかけてもなかなか定着しにくい。この授業では、「スペイン語基礎 A、B、C」で学んだ文法知識を確認し、スペイン語文読解と練習問題をこなすことで理解を深め、記憶に定着させることを目指す。
到達目標	「スペイン語基礎A、B、C」で学んだばかりの内容に対応する練習問題に取り組むことで、文法の基礎を着実に習得する。対話文やまとまった量のテキストの読みを通して、語彙、表現、文構造の理解を高める。
授業方法と留意点	正答（することだけ）にこだわらず、なぜそうなるのかをつねに意識して、原理原則の理解に努めること。 疑問を持ち、考え、質問すること。 授業計画はあくまで目安であり、レベルと進捗状況に応じて多少の修正を加え得る。
科目学習の効果（資格）	文法項目の確認とアウトプットの練習。 歴史文化（世界遺産）についても触れる。 スペイン語検定 5 級

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	復習	前期の学習内容	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	2	復習	前期の学習内容	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	3	第 8 課	点過去形（規則動詞と不規則動詞） 点過去形のはたらき 副詞	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	4	第 9 課	線過去形（規則動詞と不規則動詞） 線過去形のはたらき	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	5	第 8, 9 課まとめ	第 8, 9 課の内容	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	6	中間的試験	第 8, 9 課の内容	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	7	第 10 課	未来形と過去未来形（規則動詞と不規則動詞） 未来形と過去未来形のはたらき	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	8	第 11 課	現在分詞と過去分詞 現在完了形 不定語と否定語 不定詞	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	9	第 10, 11 課まとめ	第 10, 11 課の内容	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	10	中間的試験	第 10, 11 課の内容	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	11	第 12 課	能動文と受動文 2つの受動文 序数詞 疑問詞	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	12	第 13 課	関係詞 複文 縮小辞と増大辞	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	13	第 12, 13 課まとめ	第 12, 13 課の内容	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	14	試験	第 12, 13 課の内容	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習
	15	総復習	後期の内容	予習と復習 新出語彙を覚える 発音練習

関連科目	スペイン語基礎A、B、C
------	--------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	世界遺産で学ぶスペイン語	福嶋教隆、フアン・ロメロ・ディアス	朝日出版
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			

	3			
評価方法 (基準)	中規模の試験を複数回(2課につき1度の計3回を予定)実施する。 試験90%+受講姿勢(発表など)10%			
学生への メッセージ	初めての外国語の勉強は大変だが、毎日継続的に勉強しよう。予習・復習と自習は不可欠。 文法項目が応用で初めて(基礎より先に)出てくこともあるが、両科目ともスペイン語の初級文法を扱っているため、混乱する必要はない(そうならないために、予習復習をきちんとすることと諸科目をリンクする意識をもつこと)。			
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師控室			
備考	事前・事後に各1時間の学習時間を要する。 次回の授業中にコメントや質問回答などのフィードバックを行う。また、授業時間以外での質問は非常勤講師控室にて受け付ける。 文法の「基礎ABC」と内容が前後して進むことがあるが、応用が先行しようとも、それぞれの科目を予習していれば問題ない。			

科目名	スペイン語オラルⅡA	科目名（英文）	Spanish Conversation IIA
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	アラセリ コラール
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	スペイン語は、大西洋の両岸に位置する広域かつ多様な一大文化圏の公用語であり、かつ米国における話者が飛躍的に増加していることでも知られている。「スペイン語入門」で学んだばかりの文法の知識を活かしながら、時には「入門」より先回りすることもあるが、それは日常的によく使う表現をまずは身につけるためである。スペイン語を聞きとり、自分から積極的に話しかけることを楽しく感じてもらいたい。
到達目標	スペイン語独特のリズムに慣れ、基本的な動詞を適切に活用させて簡単な応答ができるようになることをめざす。 語彙力を着実に高めることが重要である。
授業方法と留意点	2グループに分けていずれもネイティブ教員が少人数指導を行う。 オラルⅠで使用した教科書を継続使用する。復習を交えながら2～3回で1課というペースで進めるが、受講生の理解度に応じ、授業計画の進度より前後することもある。 各課は導入、文法、練習、最終課題、自己評価からなっている。教員からの補足説明をもとに、スペイン語圏への関心を高めよう。
科目学習の効果（資格）	スペイン語検定5級 秋の暗唱大会に向けた詩の朗詠練習

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	スペイン語オラルⅠで学習したことの復習	既修の語彙と表現を用いた復習	スペイン語オラルⅠでの学習事項を総復習しておく。
	2	Unidad 7 色々な習慣	再帰動詞の用法(現在)	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	3	Unidad 7 色々な習慣	再帰動詞の用法(現在完了)	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	4	Unidad 7 色々な習慣	スペイン語圏と他言語圏の習慣を比較する。	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	5	Unidad 8 買い物に行く	形容詞の比較級	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	6	Unidad 8 買い物に行く	動詞 gustar を用いた表現 2 桁以上、大きな数字	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	7	Unidad 8 買い物に行く	店舗や品物の語彙、色や品質形容詞	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	8	理解度確認中間テスト 詩の朗詠練習	これまでの要点復習 詩の朗詠	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	9	Unidad 9 家族と友人	家族関係を表す語彙 動詞 tener を用いた年齢表現	これまでに学習した事項や表現の復習 事前に配布された詩に目を通しておく。
	10	Unidad 9 家族と友人	自分の家族を紹介する。	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	11	Unidad 9 家族と友人	動詞 ser, estar の使い分け Unidad	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	12	10 行事・お祭りとおたし	日本の年中行事 日本の若者と fiesta	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	13	Unidad 10 行事・お祭りとおたし	スペイン語諸国の祝祭	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	14	Unidad 10 行事・お祭りとおたし	自分が体験したい、人に見せたい祝祭について紹介しよう。	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	15	まとめ 目標達成度確認テスト	臨時試験と総復習	これまでに学習した事項や表現の復習

関連科目	スペイン語基礎、スペイン語応用Ⅱ
------	------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	El español y yo. 『スペイン語とわたしー日本とスペイン語圏、くらべてコミュニケーション！ー』	Concha Moreno, Juan Carlos Moyano, Josefa Vivencos y Yoshimi Hiroyasu	朝日出版社
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法	授業への参加状況（30％）、課題や小テスト、暗唱大会への参加度（30％）、臨時試験（40％）などから評価する。
------	---

(基準)	
学生への メッセージ	辞書をつねに携帯すること。授業は予習を欠かさず出席し、まちがいを懼れず積極的にコミュニケーションに取り組むこと。秋の暗唱大会へ参加するために詩の暗唱と朗詠を行う。 La participaci?n constante y din?mica en clase es la prioridad para evaluar a cada alumno. Para que la clase sea m?s interesante y agradable se espera que los alumnos asistan a clase ya preparados con el vocabulario nuevo de cada lecci?n.
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師室
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約15時間。 毎回の授業の始めに、前回の学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。 臨時試験の後、解説を行う。

科目名	スペイン語オラルⅡA	科目名（英文）	Spanish Conversation IIA
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	R
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	モンセラート ロイデ、モンセラート ロイデ
ディプロマポリシー（DP）			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	スペイン語は、大西洋の両岸に位置する広域かつ多様な一大文化圏の公用語であり、かつ米国における話者が飛躍的に増加していることでも知られている。「スペイン語入門」で学んだばかりの文法の知識を活かしながら、時には「入門」より先回りすることもあるが、それは日常的によく使う表現をまずは身につけるためである。スペイン語を聞きとり、自分から積極的に話しかけることを楽しく感じてもらいたい。
到達目標	スペイン語独特のリズムに慣れ、基本的な動詞を適切に活用させて簡単な応答ができるようになることをめざす。 語彙力を着実に高めることが重要である。
授業方法と留意点	2グループに分けていずれもネイティブ教員が少人数指導を行う。 オラルⅠで使用した教科書を継続使用する。復習を交えながら2～3回で1課というペースで進めるが、受講生の理解度に応じ、授業計画の進度より前後することもある。 各課は導入、文法、練習、最終課題、自己評価からなっている。教員からの補足説明をもとに、スペイン語圏への関心を高めよう。
科目学習の効果（資格）	スペイン語検定5級 秋の暗唱大会に向けた詩の朗詠練習

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	スペイン語オラルⅠで学習したことの復習	既修の語彙と表現を用いた復習	スペイン語オラルⅠでの学習事項を総復習しておく。
	2	Unidad 7 色々な習慣	再帰動詞の用法(現在)	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	3	Unidad 7 色々な習慣	再帰動詞の用法(現在完了)	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	4	Unidad 7 色々な習慣	スペイン語圏と他言語圏の習慣を比較する。	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	5	Unidad 8 買い物に行く	形容詞の比較級	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	6	Unidad 8 買い物に行く	動詞 gustar を用いた表現 2 桁以上、大きな数字	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	7	Unidad 8 買い物に行く	店舗や品物の語彙、色や品質形容詞	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	8	理解度確認中間テスト 詩の朗詠練習	これまでの要点復習 詩の朗詠	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	9	Unidad 9 家族と友人	家族関係を表す語彙 動詞 tener を用いた年齢表現	これまでに学習した事項や表現の復習 事前に配布された詩に目を通しておく。
	10	Unidad 9 家族と友人	自分の家族を紹介する。	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	11	Unidad 9 家族と友人	動詞 ser, estar の使い分け	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	12	Unidad 10 行事・お祭りとおたし	日本の年中行事 日本の若者と fiesta	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	13	Unidad 10 行事・お祭りとおたし	スペイン語諸国の祝祭	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	14	Unidad 10 行事・お祭りとおたし	自分が体験したい、人に見せたい祝祭について紹介しよう。	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	15	自分が体験したい、人に見せたい祝祭について紹介しよう。	臨時試験と総復習	これまでに学習した事項や表現の復習

関連科目	スペイン語基礎、スペイン語応用Ⅱ
------	------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	El español y yo. 『スペイン語とわたしー日本とスペイン語圏、くらべてコミュニケーション！ー』	Concha Moreno, Juan Carlos Moyano, Josefa Vivencos y Yoshimi Hiroyasu	朝日出版社
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	授業への参加状況 (30%)、課題や小テスト、暗唱大会への参加度 (30%)、臨時試験 (40%) などから評価する。
学生への メッセージ	辞書をつねに携帯すること。授業は欠かさず出席し、まちがいを懼れず積極的にコミュニケーションに取り組むこと。秋の暗唱大会へ参加するために詩の暗唱と朗詠を行う。 La participaci?n constante y din?mica en clase es la prioridad para evaluar a cada alumno. Para que la clase sea m?s interesante y agradable se espera que los alumnos asistan a clase ya preparados con el vocabulario nuevo de cada lecci?n.
担当者の 研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約 15 時間。 授業の始めに、前回の学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。 授業で課した課題や宿題は、次週の授業で講評する。

科目名	スペイン語オラルⅠ	科目名（英文）	Spanish ConversationⅠ
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	モンセラート ロイデ、モンセラート ロイデ
ディプロマポリシー（DP）	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1089e0		

授業概要・目的	スペイン語は、大西洋の両岸に位置する広域かつ多様な一大文化圏の公用語であり、かつ米国における話者が飛躍的に増加していることでも知られている。「スペイン語入門」で学んだばかりの文法の知識を活かしながら、時には「入門」より先回りすることもあるが、それは日常的によく使う表現をまずは身につけるためである。スペイン語を聞きとり、自分から積極的に話しかけることを楽しく感じてもらいたい。
到達目標	スペイン語独特のリズムに慣れ、基本的な動詞を適切に活用させて簡単な応答ができるようになることをめざす。
授業方法と留意点	2グループに分けていずれもネイティブ教員が少人数指導を行う。 教科書は各課6ページから成り、2回で1課というペースで進めるが、受講生の理解度に応じ、授業計画の進度より前後することもある。 各課は、導入、文法、練習、最終課題、自己評価からなっている。教員からの補足説明をもとに、スペイン語圏への関心を高めよう。
科目学習の効果（資格）	スペイン語検定6級

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Unidad preliminar すでに知っているスペイン語のことば	授業の進め方についての説明 あいさつ表現 アルファベットと文字の発音 単語の発音練習	スペイン語のアルファベットや発音について、入門の教科書でその説明部分を読んでおく。
	2	Unidad preliminar スペイン語圏諸国の名前と位置、スペイン語圏に属する場所（遺跡や都市）の確認	アクセント 教室で使うことば 級友とあいさつを交わす。	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	3	Unidad 1 スポーツとわたし	名詞の性と数	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	4	Unidad 1 スポーツとわたし	不定冠詞と定冠詞	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	5	Unidad 2 食べ物とわたし	動詞 ser と主語代名詞	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	6	Unidad 2 食べ物とわたし	形容詞の性と数 疑問文、肯定文、否定文	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	7	Unidad 3 旅行とわたし	直説法現在規則動詞	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	8	Unidad 3 旅行とわたし 理解度確認中間テスト	曜日、頻度表現 前半の復習 理解度確認中間テスト	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。 これまでに学習した事項や表現の復習
	9	Unidad 4 音楽とわたし	動詞 estar と hay	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	10	Unidad 4 音楽とわたし	Muy と mucho 指示詞、場所を表す副詞 位置表現	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	11	Unidad 5 趣味対仕事	動詞 tener	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	12	Unidad 5 趣味対仕事	所有詞前置形 感嘆文 数字 20～100	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	13	Unidad 6 映画・演劇等とわたし	直説法現在不規則動詞Ⅰ	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	14	Unidad 6 映画・演劇等とわたし	直説法現在不規則動詞Ⅱ 時間を表す表現	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	15	Repaso 2 これまでの総復習と目標達成度確認	臨時試験と総復習	これまでに学習した事項や表現の復習

関連科目	スペイン語入門、スペイン語応用Ⅰ			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	El español y yo. 『スペイン語とわたし-日本とスペイン語圏、くらべてコミュニケーション!-』	Concha Moreno, Juan Carlos Moyano, Josefa Vivencos y Yoshimi Hiroyasu	朝日出版社
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			

	3			
評価方法 (基準)	授業への参加状況（３０％）、課題や小テスト（３０％）、臨時試験（４０％）などから評価する。			
学生への メッセージ	辞書をつねに携帯すること。授業は欠かさず予習をして出席し、まちがいを懼れず積極的にコミュニケーションに取り組むこと。La participaci?n constante y din?mica en clase es la prioridad para evaluar a cada alumno. Para que la clase sea m?s interesante y agradable se espera que los alumnos asistan a clase ya preparados con el vocabulario nuevo de cada lecci?n.			
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師室			
備考	授業の前に1時間、後に1時間の学習時間を要する。 毎回の授業の始めに、前回の学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。 試験の後、時間中に開設を行う。			

科目名	スペイン語オラル I	科目名 (英文)	Spanish Conversation I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	R
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	アラセリ コラール
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1089e0		

授業概要・目的	スペイン語は、大西洋の両岸に位置する広域かつ多様な一大文化圏の公用語であり、かつ米国における話者が飛躍的に増加していることでも知られている。「スペイン語入門」で学んだばかりの文法の知識を活かしながら、時には「入門」より先回りすることもあるが、それは日常的によく使う表現をまずは身につけるためである。スペイン語を聞きとり、自分から積極的に話しかけることを楽しく感じてもらいたい。
到達目標	スペイン語独特のリズムに慣れ、基本的な動詞を適切に活用させて簡単な応答ができるようになることをめざす。
授業方法と留意点	2グループに分けていずれもネイティブ教員が少人数指導を行う。 教科書は各課6ページから成り、2回で1課というペースで進めるが、受講生の理解度に応じ、授業計画の進度より前後することもある。 各課は、導入、文法、練習、最終課題、自己評価からなっている。教員からの補足説明をもとに、スペイン語圏への関心を高めよう。
科目学習の効果 (資格)	スペイン語検定 6 級

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Unidad preliminar すでに知っているスペイン語のことば	授業の進め方についての説明 あいさつ表現 アルファベットと文字の発音 単語の発音練習	スペイン語のアルファベットや発音について、入門の教科書でその説明部分を読んでおく。
	2	Unidad preliminar スペイン語圏諸国の名前と位置、スペイン語圏に属する場所 (遺跡や都市) の確認	アクセント 教室で使うことば 級友とあいさつを交わす。	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	3	Unidad 1 スポーツとわたし	主語代名詞 国名と国籍に関する語彙 その語尾変化に慣れる	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	4	Unidad 1 スポーツとわたし	つながりの動詞 estar, ser の活用 名前や出身地を互いに紹介しあう。職業に関する語彙	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	5	Unidad 2 食べ物とわたし	食事に関する規則動詞と現在形の活用 (-ar, -er, -ir) 定冠詞と不定冠詞 時刻の表現 食べ物についての語彙	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	6	Unidad 2 食べ物とわたし	レストラン、バル、カフェでのやりとりを練習する。 料理について説明する。	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	7	Unidad 3 旅行とわたし	動詞 tener を用いて、日本の大学の学事日程、休暇の過ごし方、アルバイトについて説明する。日本の名所旧跡がどこにあるか解説する。	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	8	Unidad 3 旅行とわたし 理解度確認中間テスト	頻用する重要動詞 haber, ir の不規則変化を覚える。 季節、方角を表す語彙	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。 これまでに学習した事項や表現の復習
	9	Unidad 4 音楽とわたし	動詞 gustar を用いて好きな音楽について語る。 様々な疑問詞を用いて尋ねる。	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	10	Unidad 4 音楽とわたし	実際にスペイン語圏の音楽を聴き、説明を受ける。	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	11	Unidad 5 趣味対仕事	職業を表す語彙、頻度を表す表現 スペイン語圏と日本の生活習慣の比較	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	12	Unidad 5 趣味対仕事	趣味について語り合う。	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	13	Unidad 6 映画・演劇等とわたし	現在完了の時制を用いて、作品の鑑賞経験について尋ねたり答えたりする。	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	14	Unidad 6 映画・演劇等とわたし	演劇や映画作品の一部を鑑賞する。	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	15	これまでの総復習と目標達成度確認	臨時試験と解説	これまでに学習した事項や表現の復習

関連科目	スペイン語入門、スペイン語応用 I
------	-------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	El español y yo. 『スペイン語とわたしー日本とスペイン語圏、くらべてコミュニケーション!ー』	Concha Moreno, Juan Carlos Moyano, Josefa Vivencos y Yoshimi Hiroyasu	朝日出版社
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
-----	----	-----	-----	------

	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	授業への参加状況（３０％）、課題や小テスト（３０％）、理解度確認テスト（４０％）などから評価する。			
学生への メッセージ	辞書をつねに携帯すること。授業は欠かさず出席し、まちがいを懼れず積極的にコミュニケーションに取り組むこと。 La participaci?n constante y din?mica en clase es la prioridad para evaluar a cada alumno. Para que la clase sea m?s interesante y agradable se espera que los alumnos asistan a clase ya preparados con el vocabulario nuevo de cada lecci?n.			
担当者の 研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室			
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約 15 時間。 毎回の授業の始めに、前回の学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。 試験の解説は次の週および最終回に行う。			

科目名	スペイン語オラルⅡ	科目名（英文）	Spanish Conversation II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	アラセリ コラール
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1090e0		

授業概要・目的	スペイン語は、大西洋の両岸に位置する広域かつ多様な一大文化圏の公用語であり、かつ米国における話者が飛躍的に増加していることでも知られている。「スペイン語入門」で学んだばかりの文法の知識を活かしながら、時には「入門」より先回りすることもあるが、それは日常的によく使う表現をまずは身につけるためである。スペイン語を聞きとり、自分から積極的に話しかけることを楽しく感じてもらいたい。
到達目標	スペイン語独特のリズムに慣れ、基本的な動詞を適切に活用させて簡単な応答ができるようになることをめざす。 語彙力を着実に高めることが重要である。
授業方法と留意点	2グループに分けていずれもネイティブ教員が少人数指導を行う。 オラルⅠで使用した教科書を継続使用する。復習を交えながら2～3回で1課というペースで進めるが、受講生の理解度に応じ、授業計画の進度より前後することもある。 各課は導入、文法、練習、最終課題、自己評価からなっている。教員からの補足説明をもとに、スペイン語圏への関心を高めよう。
科目学習の効果（資格）	スペイン語検定5級 秋の暗唱大会に向けた詩の朗詠練習

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	スペイン語オラルⅠで学習したことの復習	既修の語彙と表現を用いた復習	スペイン語オラルⅠでの学習事項を総復習しておく。
	2	Unidad 7 色々な習慣	再帰動詞の用法(現在)	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	3	Unidad 7 色々な習慣	再帰動詞の用法(現在完了)	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	4	Unidad 7 色々な習慣	スペイン語圏と他言語圏の習慣を比較する。	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	5	Unidad 8 買い物に行く	形容詞の比較級	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	6	Unidad 8 買い物に行く	動詞 gustar を用いた表現 2 桁以上、大きな数字	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	7	Unidad 8 買い物に行く	店舗や品物の語彙、色や品質形容詞	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	8	理解度確認中間テスト 詩の朗詠練習	これまでの要点復習 詩の朗詠	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	9	Unidad 9 家族と友人	家族関係を表す語彙 動詞 tener を用いた年齢表現	これまでに学習した事項や表現の復習 事前に配布された詩に目を通しておく。
	10	Unidad 9 家族と友人	自分の家族を紹介する。	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	11	Unidad 9 家族と友人	動詞 ser, estar の使い分け Unidad	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	12	10 行事・お祭りとおたし	日本の年中行事 日本の若者と fiesta	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	13	Unidad 10 行事・お祭りとおたし	スペイン語諸国の祝祭	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	14	Unidad 10 行事・お祭りとおたし	自分が体験したい、人に見せたい祝祭について紹介しよう。	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	15	まとめ 目標達成度確認テスト	臨時試験と総復習	これまでに学習した事項や表現の復習

関連科目	スペイン語基礎、スペイン語応用Ⅱ
------	------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	El español y yo. 『スペイン語とわたしー日本とスペイン語圏、くらべてコミュニケーション！ー』	Concha Moreno, Juan Carlos Moyano, Josefa Vivencos y Yoshimi Hiroyasu	朝日出版社
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法	授業への参加状況（30％）、課題や小テスト、暗唱大会への参加度（30％）、臨時試験（40％）などから評価する。
------	---

(基準)	
学生への メッセージ	辞書をつねに携帯すること。授業は予習を欠かさず出席し、まちがいを懼れず積極的にコミュニケーションに取り組むこと。秋の暗唱大会へ参加するために詩の暗唱と朗詠を行う。 La participaci?n constante y din?mica en clase es la prioridad para evaluar a cada alumno. Para que la clase sea m?s interesante y agradable se espera que los alumnos asistan a clase ya preparados con el vocabulario nuevo de cada lecci?n.
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師室
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約15時間。 毎回の授業の始めに、前回の学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。 臨時試験の後、解説を行う。

科目名	スペイン語オラルⅡ	科目名（英文）	Spanish Conversation II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	R
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	モンセラート ロイデ、モンセラート ロイデ
ディプロマポリシー（DP）	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1090e0		

授業概要・目的	スペイン語は、大西洋の両岸に位置する広域かつ多様な一大文化圏の公用語であり、かつ米国における話者が飛躍的に増加していることでも知られている。「スペイン語入門」で学んだばかりの文法の知識を活かしながら、時には「入門」より先回りすることもあるが、それは日常的によく使う表現をまずは身につけるためである。スペイン語を聞きとり、自分から積極的に話しかけることを楽しく感じてもらいたい。
到達目標	スペイン語独特のリズムに慣れ、基本的な動詞を適切に活用させて簡単な応答ができるようになることをめざす。 語彙力を着実に高めることが重要である。
授業方法と留意点	2グループに分けていずれもネイティブ教員が少人数指導を行う。 オラルⅠで使用した教科書を継続使用する。復習を交えながら2～3回で1課というペースで進めるが、受講生の理解度に応じ、授業計画の進度より前後することもある。 各課は導入、文法、練習、最終課題、自己評価からなっている。教員からの補足説明をもとに、スペイン語圏への関心を高めよう。
科目学習の効果（資格）	スペイン語検定5級 秋の暗唱大会に向けた詩の朗読練習

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	スペイン語オラルⅠで学習したことの復習	既修の語彙と表現を用いた復習	スペイン語オラルⅠでの学習事項を総復習しておく。
	2	Unidad 7 色々な習慣	再帰動詞の用法(現在)	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	3	Unidad 7 色々な習慣	再帰動詞の用法(現在完了)	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	4	Unidad 7 色々な習慣	スペイン語圏と他言語圏の習慣を比較する。	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	5	Unidad 8 買い物に行く	形容詞の比較級	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	6	Unidad 8 買い物に行く	動詞 gustar を用いた表現 2 桁以上、大きな数字	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	7	Unidad 8 買い物に行く	店舗や品物の語彙、色や品質 形容詞	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	8	理解度確認中間テスト 詩の朗読練習	これまでの要点復習 詩の朗読	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	9	Unidad 9 家族と友人	家族関係を表す語彙 動詞 tener を用いた年齢表現	これまでに学習した事項や表現の復習 事前に配布された詩に目を通して置く。
	10	Unidad 9 家族と友人	自分の家族を紹介する。	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	11	Unidad 9 家族と友人	動詞 ser, estar の使い分け	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	12	Unidad 10 行事・お祭りとおたし	日本の年中行事 日本の若者と fiesta	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	13	Unidad 10 行事・お祭りとおたし	スペイン語諸国の祝祭	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	14	Unidad 10 行事・お祭りとおたし	自分が体験したい、人に見せたい祝祭について紹介しよう。	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	15	自分が体験したい、人に見せたい祝祭について紹介しよう。	臨時試験と総復習	これまでに学習した事項や表現の復習

関連科目	スペイン語基礎、スペイン語応用Ⅱ
------	------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	El español y yo. 『スペイン語とわたしー日本とスペイン語圏、くらべてコミュニケーション！ー』	Concha Moreno, Juan Carlos Moyano, Josefa Vivencos y Yoshimi Hiroyasu	朝日出版社
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	授業への参加状況 (30%)、課題や小テスト、暗唱大会への参加度 (30%)、臨時試験 (40%) などから評価する。
学生への メッセージ	辞書をつねに携帯すること。授業は欠かさず出席し、まちがいを懼れず積極的にコミュニケーションに取り組むこと。秋の暗唱大会へ参加するために詩の暗唱と朗詠を行う。 La participaci?n constante y din?mica en clase es la prioridad para evaluar a cada alumno. Para que la clase sea m?s interesante y agradable se espera que los alumnos asistan a clase ya preparados con el vocabulario nuevo de cada lecci?n.
担当者の 研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約 15 時間。 授業の始めに、前回の学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。 授業で課した課題や宿題は、次週の授業で講評する。

科目名	スペイン語オラルⅢ	科目名（英文）	Spanish Conversation III
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	オラシオ ゴメス
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL2097e0		

授業概要・目的	この授業で用いる教科書は、実践的会話力を養うための場面設定、言語運用能力を培うためのまとまりのある語彙と文法説明、文化社会的知識を深めるために読ませる文章という３つの局面から各課が構成されている。その都度、何を目的に学んでいるのか認識しながら学習を進めると効果的である。				
到達目標	１年次に習得したスペイン語の基礎をもとに、いっそう複雑な会話表現ができるだけ正確にできるようにする。				
授業方法と留意点	なお、受講生の理解度に応じ、授業計画の進度より早まったり、遅くなることもありうる。				
科目学習の効果（資格）					
授業計画		回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
		1	オリエンテーション Nos gusta 2 の Unidad Preliminar 復習しましょう	授業の進め方について 復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		2	Nos gusta 2 の Unidad 1 開けたかったけど、開けられなかった	直接法点過去 規則活用。 完結した出来事を表す、連続して起こったことを表す。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		3	Nos gusta 2 の Unidad 1 開けたかったけど、開けられなかった	直接法点過去 規則活用。 時を表す前置詞を使った表現、伝記を書く際に用いる語彙。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		4	Nos gusta 2 の Unidad 2 曾祖母は男装して...	直接法点過去 不規則活用。 所有詞後置形、所有詞の用法。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		5	Nos gusta 2 の Unidad 2 曾祖母は男装して...	直接法点過去 不規則活用。 お話やエピソードを語る。 過去の出来事に関する語彙。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		6	Nos gusta 2 の Unidad 3 美人で顔がよくて面白かった	直接法線過去 規則活用と不規則活用。 過去の習慣を表す、過去の人物について話す。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		7	Nos gusta 2 の Unidad 3 美人で顔がよくて面白かった	直接法線過去 規則活用と不規則活用。 時を表す表現、日常の活動を表す動詞、人や物を描写する形容詞。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		8	復習と確認	これまで習った範囲の復習テスト	復習
		9	Nos gusta 2 の Unidad 4 とても疲れていたの、眠ってしまった	線過去と点過去。 再帰構文の相互用法。 事前の状況を説明しながらお話やエピソードを語る。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		10	Nos gusta 2 の Unidad 4 とても疲れていたの、眠ってしまった	線過去と点過去。 理由、結果、時間を表す筋をつなぐ語句。 驚き、興味、残念な気持ちを表す表現。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		11	Nos gusta 2 の Unidad 5 どうしたの？	動詞 doler と parecer, ser+形容詞/副詞 友達同士で、また病院で体調や感情を表す。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		12	Nos gusta 2 の Unidad 5 どうしたの？	動詞 doler と parecer, ser+形容詞/副詞 体の部位、健康に関する語彙。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		13	Nos gusta 2 の Unidad 6 何をしているの？	進行形。最上級。関係詞 que と donde。 発話時に起こっている出来事を表す。 断る際の理由付けをする。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		14	Nos gusta 2 の Unidad 6 何をしているの？	進行形。最上級。関係詞 que と donde。 日常の活動を表す動詞。 文化的事象の紹介に関する語彙。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		15	総復習	臨時試験と解説	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
関連科目	スペイン語の全科目				
教科書		番号	書籍名	著者名	出版社名
		1	Nos gusta 2	Pilar Lago, Concha Moreno, Sae Ochiai, Hiroko Omori	朝日出版社
参考書		番号	書籍名	著者名	出版社名
		1			
評価方法（基準）	授業への参加状況、課題や小テスト 70％、臨時試験の成績 30％から評価する。				
学生へのメッセージ	辞書をつねに携帯すること。授業に欠かさず出席し、まちがいを懼れず積極的に臨むこと。				
担当者の研究室等	7号館２階 非常勤講師室				
備考	・事前・事後学習に要する総時間数は約 15 時間。 毎回の授業の始めに、前回の学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。 授業で課した課題や宿題は、次週の授業で講評する。				

科目名	スペイン語オラルⅢ	科目名（英文）	Spanish Conversation III
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	R
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	ディアス イバン
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL2097e0		

授業概要・目的	この授業で用いる教科書は、実践的会話力を養うための場面設定、言語運用能力を培うためのまとまりのある語彙と文法説明、文化社会的知識を深めるために読ませる文章という 3 つの局面から各課が構成されている。その都度、何を目的に学んでいるのか認識しながら学習を進めると効果的である。				
到達目標	1 年次に習得したスペイン語の基礎をもとに、いっそう複雑な会話表現ができるだけ正確にできるようにする。				
授業方法と留意点	なお、受講生の理解度に応じ、授業計画の進度より早まったり、遅くなることもありうる。				
科目学習の効果（資格）					
授業計画		回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
		1	オリエンテーション Nos gusta 2 の Unidad Preliminar 復習しましょう	授業の進め方について 復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		2	Nos gusta 2 の Unidad 1 開けたかったけど、開けられなかった	直接法点過去 規則活用。 完結した出来事を表す、連続して起こったことを表す。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		3	Nos gusta 2 の Unidad 1 開けたかったけど、開けられなかった	直接法点過去 規則活用。 時を表す前置詞を使った表現、伝記を書く際に用いる語彙。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		4	Nos gusta 2 の Unidad 2 曾祖母は男装して...	直接法点過去 不規則活用。 所有詞後置形、所有詞の用法。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		5	Nos gusta 2 の Unidad 2 曾祖母は男装して...	直接法点過去 不規則活用。 お話やエピソードを語る。 過去の出来事に関する語彙。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		6	Nos gusta 2 の Unidad 3 美人で顔がよくて面白かった	直接法線過去 規則活用と不規則活用。 過去の習慣を表す、過去の人物について話す。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		7	Nos gusta 2 の Unidad 3 美人で顔がよくて面白かった	直接法線過去 規則活用と不規則活用。 時を表す表現、日常の活動を表す動詞、人や物を描写する形容詞。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		8	復習と確認	これまで習った範囲の復習テスト	復習
		9	Nos gusta 2 の Unidad 4 とても疲れていたの、眠ってしまった	線過去と点過去。 再帰構文の相互用法。 事前の状況を説明しながらお話やエピソードを語る。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		10	Nos gusta 2 の Unidad 4 とても疲れていたの、眠ってしまった	線過去と点過去。 理由、結果、時間を表す筋をつなぐ語句。 驚き、興味、残念な気持ちを表す表現。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		11	Nos gusta 2 の Unidad 5 どうしたの？	動詞 doler と parecer, ser+形容詞/副詞 友達同士で、また病院で体調や感情を表す。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		12	Nos gusta 2 の Unidad 5 どうしたの？	動詞 doler と parecer, ser+形容詞/副詞 体の部位、健康に関する語彙。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		13	Nos gusta 2 の Unidad 6 何をしているの？	進行形。最上級。関係詞 que と donde。 発話時に起こっている出来事を表す。 断る際の理由付けをする。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		14	Nos gusta 2 の Unidad 6 何をしているの？	進行形。最上級。関係詞 que と donde。 日常の活動を表す動詞。 文化的事象の紹介に関する語彙。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		15	総復習	臨時試験と解説	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
関連科目	スペイン語の全科目				
教科書		番号	書籍名	著者名	出版社名
		1	Nos gusta 2	Pilar Lago, Concha Moreno, Sae Ochiai, Hiroko Omori	朝日出版社
参考書		番号	書籍名	著者名	出版社名
		1			
評価方法（基準）	授業への参加状況、課題や小テスト 70 %、臨時試験の成績 30 %から評価する。				
学生へのメッセージ	辞書をつねに携帯すること。授業に欠かさず出席し、まちがいを懼れず積極的に臨むこと。				
担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室				
備考	. 事前・事後学習に要する総時間数は約 15 時間。 毎回の授業の始めに、前回の学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。 試験の後には解説を行う。				

科目名	スペイン語オラルⅣ	科目名（英文）	Spanish Conversation Ⅳ
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	ディアス イバン
ディプロマポリシー（DP）	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL2098e0		

授業概要・目的	この授業で用いる教科書は、実践的会話力を養うための場面設定、言語運用能力を培うためのまとまりのある語彙と文法説明、文化社会的知識を深めるために読ませる文章という3つの局面から各課が構成されている。その都度、何を目的に学んでいるのか認識しながら学習を進めると効果的である。				
到達目標	1年次に習得したスペイン語の基礎をもとに、いっそう複雑な会話表現ができるだけ正確にできるようにする。				
授業方法と留意点	なお、受講生の理解度に応じ、授業計画の進度より早まったり、遅くなることもありうる。				
科目学習の効果（資格）					
授業計画		回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
		1	前期の復習しましょう Nos gusta 2 の Repaso 2	復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		2	Nos gusta 2 の Unidad 7 気球に乗ったことある？	直接法現在完了の活用。 過去分詞の規則形と不規則形。 現在完了の用法。 不定語と否定語。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		3	Nos gusta 2 の Unidad 7 気球に乗ったことある？	経験を表す。 現在とつながりを持つ過去の出来事を表す。 日常の活動を表す動詞。 余暇活動と旅行に関する語彙。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		4	Nos gusta 2 の Unidad 8 アサリの漁師風ってどうやって作るの？	不定主語文。 指示を与える。情報を求める。苦情を言う。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		5	Nos gusta 2 の Unidad 8 アサリの漁師風ってどうやって作るの？	序数。料理や食生活に関する語彙。 旅行に関する語彙。 日常生活で使われる道具、機会に関する語彙。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		6	Nos gusta 2 の Unidad 9 いつか君と旅行しよう	直接法未来 規則活用と不規則活用。 -mente で終わる副詞。 未来の出来事を表す。現在に関わる推量を表す。依頼や忠告をする。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		7	Nos gusta 2 の Unidad 9 いつか君と旅行しよう	依頼と忠告を表す表現。 日常の出来事を表す動詞。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		8	復習と確認	これまで習った範囲の復習テスト	復習
		9	Nos gusta 2 の Unidad 10 これから少しずつお元気で	接続法現在 規則活用。 願望を表す。何かを申し出る。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		10	Nos gusta 2 の Unidad 10 これから少しずつお元気で	日常の活動を表す動詞。 学習に関する語彙。 他の人や自分のための願望を表す表現。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		11	Nos gusta 2 の Unidad 11 気に入ってくれて嬉しいですよ	接続法現在 不規則活用。 好きなこと、嫌なこと、驚いたことを表す。 意見を述べる。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		12	Nos gusta 2 の Unidad 11 気に入ってくれて嬉しいですよ	日常の活動を表す動詞。 好きなこと、嫌なこと、驚いたことを表す動詞。 意見を述べる動詞。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		13	Nos gusta 2 の Unidad 12 お一つどうぞ、とても美味しいですよ	肯定命令。否定命令。 命令形と人称代名詞。 命令、指示、忠告をする。 依頼したり申し出たりする。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		14	Nos gusta 2 の Unidad 12 お一つどうぞ、とても美味しいですよ	日常の活動を表す動詞。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		15	総復習	臨時試験とまとめ	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
関連科目	スペイン語の全科目				
教科書		番号	書籍名	著者名	出版社名
		1	Nos gusta 2	Pilar Lago, Concha Moreno, Sae Ochiai, Hiroko Omori	朝日出版社
		2			
		3			
参考書		番号	書籍名	著者名	出版社名
		1			
		2			
		3			
評価方法	授業への参加状況、課題や小テスト 70％、臨時試験の成績 30％から評価する。				

(基準)	
学生への メッセージ	辞書をつねに携帯すること。授業に欠かさず出席し、まちがいを懼れず積極的に臨むこと。
担当者の 研究室等	7号館2階（非常勤講師室）
備考	. 事前・事後学習に要する総時間数は15時間を目安とする。 授業の始めに、前回の学習内容に関するコメントや質問を受け付けフィードバックを行う。 授業で課した課題や宿題は、次週の授業で講評する。

科目名	スペイン語オラルⅣ	科目名（英文）	Spanish Conversation Ⅳ
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	R
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	オラシオ ゴメス
ディプロマポリシー（DP）	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL2098e0		

授業概要・目的	この授業で用いる教科書は、実践的会話力を養うための場面設定、言語運用能力を培うためのまとまりのある語彙と文法説明、文化社会的知識を深めるために読ませる文章という3つの局面から各課が構成されている。その都度、何を目的に学んでいるのか認識しながら学習を進めると効果的である。				
到達目標	1年次に習得したスペイン語の基礎をもとに、いっそう複雑な会話表現ができるだけ正確にできるようにする。				
授業方法と留意点	なお、受講生の理解度に応じ、授業計画の進度より早まったり、遅くなることもありうる。				
科目学習の効果（資格）					
授業計画		回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
		1	前期の復習しましょう Nos gusta 2 の Repaso 2	復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		2	Nos gusta 2 の Unidad 7 気球に乗ったことある？	直接法現在完了の活用。 過去分詞の規則形と不規則形。 現在完了の用法。 不定語と否定語。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		3	Nos gusta 2 の Unidad 7 気球に乗ったことある？	経験を表す。 現在とつながりを持つ過去の出来事を表す。 日常の活動を表す動詞。 余暇活動と旅行に関する語彙。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		4	Nos gusta 2 の Unidad 8 アサリの漁師風ってどうやって作るの？	不定主語文。 指示を与える。情報を求める。苦情を言う。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		5	Nos gusta 2 の Unidad 8 アサリの漁師風ってどうやって作るの？	序数。料理や食生活に関する語彙。 旅行に関する語彙。 日常生活で使われる道具、機会に関する語彙。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		6	Nos gusta 2 の Unidad 9 いつか君と旅行しよう	直接法未来 規則活用と不規則活用。 -mente で終わる副詞。 未来の出来事を表す。現在に関わる推量を表す。依頼や忠告をする。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		7	Nos gusta 2 の Unidad 9 いつか君と旅行しよう	依頼と忠告を表す表現。 日常の出来事を表す動詞。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		8	復習と確認	これまで習った範囲の復習テスト	復習
		9	Nos gusta 2 の Unidad 10 これから少しずつとお元気で	接続法現在 規則活用。 願望を表す。何かを申し出る。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		10	Nos gusta 2 の Unidad 10 これから少しずつとお元気で	日常の活動を表す動詞。 学習に関する語彙。 他の人や自分のための願望を表す表現。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		11	Nos gusta 2 の Unidad 11 気に入ってくれて嬉しいですよ	接続法現在 不規則活用。 好きなこと、嫌なこと、驚いたことを表す。 意見を述べる。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		12	Nos gusta 2 の Unidad 11 気に入ってくれて嬉しいですよ	日常の活動を表す動詞。 好きなこと、嫌なこと、驚いたことを表す動詞。 意見を述べる動詞。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		13	Nos gusta 2 の Unidad 12 お一つどうぞ、とても美味しいですよ	肯定命令。否定命令。 命令形と人称代名詞。 命令、指示、忠告をする。 依頼したり申し出たりする。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		14	Nos gusta 2 の Unidad 12 お一つどうぞ、とても美味しいですよ	日常の活動を表す動詞。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		15	総復習	臨時試験とスペイン語での発表	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
関連科目	スペイン語の全科目				
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名	
	1	Nos gusta 2	Pilar Lago, Concha Moreno, Sae Ochiai, Hiroko Omori	朝日出版社	
	2				
	3				
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名	
	1				
	2				
	3				
評価方法	授業への参加状況、課題や小テスト 70％、臨時試験の成績 30％から評価する。				

(基準)	
学生への メッセージ	辞書をつねに携帯すること。授業に欠かさず出席し、まちがいを懼れず積極的に臨むこと。
担当者の 研究室等	7号館2階（非常勤講師室）
備考	. 事前・事後学習に要する総時間数は15時間を目安とする。 授業の始めに、前回の学習内容に関するコメントや質問を受け付けフィードバックを行う。 授業で課した課題や宿題は、次週の授業で講評する。

科目名	スペイン語オラル I A	科目名 (英文)	Spanish Conversation IA
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	モンセラート ロイデ、モンセラート ロイデ
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	スペイン語は、大西洋の両岸に位置する広域かつ多様な一大文化圏の公用語であり、かつ米国における話者が飛躍的に増加していることでも知られている。「スペイン語入門」で学んだばかりの文法の知識を活かしながら、時には「入門」より先回りすることもあるが、それは日常的によく使う表現をまずは身につけるためである。スペイン語を聞きとり、自分から積極的に話しかけることを楽しく感じてもらいたい。
到達目標	スペイン語独特のリズムに慣れ、基本的な動詞を適切に活用させて簡単な応答ができるようになることをめざす。
授業方法と留意点	2グループに分けていずれもネイティブ教員が少人数指導を行う。 教科書は各課6ページから成り、2回で1課というペースで進めるが、受講生の理解度に応じ、授業計画の進度より前後することもある。 各課は、導入、文法、練習、最終課題、自己評価からなっている。教員からの補足説明をもとに、スペイン語圏への関心を高めよう。
科目学習の効果 (資格)	スペイン語検定6級

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Unidad preliminar すでに知っているスペイン語のことば	授業の進め方についての説明 あいさつ表現 アルファベットと文字の発音 単語の発音練習	スペイン語のアルファベットや発音について、入門の教科書でその説明部分を読んでおく。
	2	Unidad preliminar スペイン語圏諸国の名前と位置、スペイン語圏に属する場所(遺跡や都市)の確認	アクセント 教室で使うことば 級友とあいさつを交わす。	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	3	Unidad 1 スポーツとわたし	名詞の性と数	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	4	Unidad 1 スポーツとわたし	不定冠詞と定冠詞	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	5	Unidad 2 食べ物とわたし	動詞 ser と主語代名詞	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	6	Unidad 2 食べ物とわたし	形容詞の性と数 疑問文、肯定文、否定文	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	7	Unidad 3 旅行とわたし	直説法現在規則動詞	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	8	Unidad 3 旅行とわたし 理解度確認中間テスト	曜日、頻度表現 前半の復習 理解度確認中間テスト	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。 これまでに学習した事項や表現の復習
	9	Unidad 4 音楽とわたし	動詞 estar と hay	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	10	Unidad 4 音楽とわたし	Muy と mucho 指示詞、場所を表す副詞 位置表現	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	11	Unidad 5 趣味対仕事	動詞 tener	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	12	Unidad 5 趣味対仕事	所有詞前置形 感嘆文 数字 20~100	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	13	Unidad 6 映画・演劇等とわたし	直説法現在不規則動詞 I	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	14	Unidad 6 映画・演劇等とわたし	直説法現在不規則動詞 II 時間を表す表現	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	15	Repaso 2 これまでの総復習と目標達成度確認	臨時試験と総復習	これまでに学習した事項や表現の復習

関連科目	スペイン語入門、スペイン語応用 I			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	El español y yo. 『スペイン語とわたし-日本とスペイン語圏、くらべてコミュニケーション!-』	Concha Moreno, Juan Carlos Moyano, Josefa Vivencos y Yoshimi Hiroyasu	朝日出版社
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			

	3			
評価方法 (基準)	授業への参加状況 (30%)、課題や小テスト (30%)、臨時試験 (40%) などから評価する。			
学生への メッセージ	辞書をつねに携帯すること。授業は欠かさず予習をして出席し、まちがいを懼れず積極的にコミュニケーションに取り組むこと。La participaci?n constante y din?mica en clase es la prioridad para evaluar a cada alumno. Para que la clase sea m?s interesante y agradable se espera que los alumnos asistan a clase ya preparados con el vocabulario nuevo de cada lecci?n.			
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師室			
備考	授業の前に1時間、後に1時間の学習時間を要する。 毎回の授業の始めに、前回の学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。 試験の後、時間中に開設を行う。			

科目名	スペイン語オラル I A	科目名 (英文)	Spanish Conversation IA
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	R
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	アラセリ コラール
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	スペイン語は、大西洋の両岸に位置する広域かつ多様な一大文化圏の公用語であり、かつ米国における話者が飛躍的に増加していることでも知られている。「スペイン語入門」で学んだばかりの文法の知識を活かしながら、時には「入門」より先回りすることもあるが、それは日常的によく使う表現をまずは身につけるためである。スペイン語を聞きとり、自分から積極的に話しかけることを楽しく感じてもらいたい。
到達目標	スペイン語独特のリズムに慣れ、基本的な動詞を適切に活用させて簡単な応答ができるようになることをめざす。
授業方法と留意点	2グループに分けていずれもネイティブ教員が少人数指導を行う。 教科書は各課6ページから成り、2回で1課というペースで進めるが、受講生の理解度に応じ、授業計画の進度より前後することもある。 各課は、導入、文法、練習、最終課題、自己評価からなっている。教員からの補足説明をもとに、スペイン語圏への関心を高めよう。
科目学習の効果 (資格)	スペイン語検定6級

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Unidad preliminar すでに知っているスペイン語のことば	授業の進め方についての説明 あいさつ表現 アルファベットと文字の発音 単語の発音練習	スペイン語のアルファベットや発音について、入門の教科書でその説明部分を読んでおく。
	2	Unidad preliminar スペイン語圏諸国の名前と位置、スペイン語圏に属する場所(遺跡や都市)の確認	アクセント 教室で使うことば 級友とあいさつを交わす。	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	3	Unidad 1 スポーツとわたし	主語代名詞 国名と国籍に関する語彙 その語尾変化に慣れる	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	4	Unidad 1 スポーツとわたし	つながりの動詞 estar, ser の活用 名前や出身地を互いに紹介しあう。職業に関する語彙	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	5	Unidad 2 食べ物とわたし	食事に関する規則動詞と現在形の活用 (-ar, -er, -ir) 定冠詞と不定冠詞 時刻の表現 食べ物についての語彙	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	6	Unidad 2 食べ物とわたし	レストラン、バル、カフェでのやりとりを練習する。 料理について説明する。	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	7	Unidad 3 旅行とわたし	動詞 tener を用いて、日本の大学の学事日程、休暇の過ごし方、アルバイトについて説明する。日本の名所旧跡がどこにあるか解説する。	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	8	Unidad 3 旅行とわたし 理解度確認中間テスト	頻用する重要動詞 haber, ir の不規則変化を覚える。 季節、方角を表す語彙	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。 これまでに学習した事項や表現の復習
	9	Unidad 4 音楽とわたし	動詞 gustar を用いて好きな音楽について語る。 様々な疑問詞を用いて尋ねる。	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	10	Unidad 4 音楽とわたし	実際にスペイン語圏の音楽を聴き、説明を受ける。	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	11	Unidad 5 趣味対仕事	職業を表す語彙、頻度を表す表現 スペイン語圏と日本の生活習慣の比較	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	12	Unidad 5 趣味対仕事	趣味について語り合う。	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	13	Unidad 6 映画・演劇等とわたし	現在完了の時制を用いて、作品の鑑賞経験について尋ねたり答えたりする。	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	14	Unidad 6 映画・演劇等とわたし	演劇や映画作品の一部を鑑賞する。	学習する部分3ページに目を通し、初出の単語の意味を調べて授業に臨み、学習したことを声に出して反復練習する。表現を暗記するとおよい。
	15	これまでの総復習と目標達成度確認	臨時試験と解説	これまでに学習した事項や表現の復習

関連科目	スペイン語入門、スペイン語応用 I
------	-------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	El español y yo. 『スペイン語とわたしー日本とスペイン語圏、くらべてコミュニケーション!ー』	Concha Moreno, Juan Carlos Moyano, Josefa Vivencos y Yoshimi Hiroyasu	朝日出版社
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
-----	----	-----	-----	------

	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	授業への参加状況（３０％）、課題や小テスト（３０％）、理解度確認テスト（４０％）などから評価する。			
学生への メッセージ	辞書をつねに携帯すること。授業は欠かさず出席し、まちがいを懼れず積極的にコミュニケーションに取り組むこと。 La participaci?n constante y din?mica en clase es la prioridad para evaluar a cada alumno. Para que la clase sea m?s interesante y agradable se espera que los alumnos asistan a clase ya preparados con el vocabulario nuevo de cada lecci?n.			
担当者の 研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室			
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約 15 時間。 毎回の授業の始めに、前回の学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。 試験の解説は次の週および最終回に行う。			

科目名	スペイン語オラルⅢA	科目名（英文）	Spanish Conversation IIIA
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	オラシオ ゴメス
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	この授業で用いる教科書は、実践的会話力を養うための場面設定、言語運用能力を培うためのまとまりのある語彙と文法説明、文化社会的知識を深めるために読ませる文章という３つの局面から各課が構成されている。その都度、何を目的に学んでいるのか認識しながら学習を進めると効果的である。				
到達目標	１年次に習得したスペイン語の基礎をもとに、いっそう複雑な会話表現ができるだけ正確にできるようにする。				
授業方法と留意点	なお、受講生の理解度に応じ、授業計画の進度より早まったり、遅くなることもありうる。				
科目学習の効果（資格）					
授業計画		回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
		1	オリエンテーション Nos gusta 2 の Unidad Preliminar 復習しましょう	授業の進め方について 復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		2	Nos gusta 2 の Unidad 1 開けたかったけど、開けられなかった	直接法点過去 規則活用。 完結した出来事を表す、連続して起こったことを表す。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		3	Nos gusta 2 の Unidad 1 開けたかったけど、開けられなかった	直接法点過去 規則活用。 時を表す前置詞を使った表現、伝記を書く際に用いる語彙。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		4	Nos gusta 2 の Unidad 2 曾祖母は男装して...	直接法点過去 不規則活用。 所有詞後置形、所有詞の用法。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		5	Nos gusta 2 の Unidad 2 曾祖母は男装して...	直接法点過去 不規則活用。 お話やエピソードを語る。 過去の出来事に関する語彙。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		6	Nos gusta 2 の Unidad 3 美人で顔がよくて面白かった	直接法線過去 規則活用と不規則活用。 過去の習慣を表す、過去の人物について話す。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		7	Nos gusta 2 の Unidad 3 美人で顔がよくて面白かった	直接法線過去 規則活用と不規則活用。 時を表す表現、日常の活動を表す動詞、人や物を描写する形容詞。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		8	復習と確認	これまで習った範囲の復習テスト	復習
		9	Nos gusta 2 の Unidad 4 とても疲れていたの、眠ってしまった	線過去と点過去。 再帰構文の相互用法。 事前の状況を説明しながらお話やエピソードを語る。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		10	Nos gusta 2 の Unidad 4 とても疲れていたの、眠ってしまった	線過去と点過去。 理由、結果、時間を表す筋をつなぐ語句。 驚き、興味、残念な気持ちを表す表現。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		11	Nos gusta 2 の Unidad 5 どうしたの？	動詞 doler と parecer, ser+形容詞/副詞 友達同士で、また病院で体調や感情を表す。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		12	Nos gusta 2 の Unidad 5 どうしたの？	動詞 doler と parecer, ser+形容詞/副詞 体の部位、健康に関する語彙。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		13	Nos gusta 2 の Unidad 6 何をしているの？	進行形。最上級。関係詞 que と donde。 発話時に起こっている出来事を表す。 断る際の理由付けをする。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		14	Nos gusta 2 の Unidad 6 何をしているの？	進行形。最上級。関係詞 que と donde。 日常の活動を表す動詞。 文化的事象の紹介に関する語彙。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		15	総復習	臨時試験と解説	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
関連科目	スペイン語の全科目				
教科書		番号	書籍名	著者名	出版社名
		1	Nos gusta 2	Pilar Lago, Concha Moreno, Sae Ochiai, Hiroko Omori	朝日出版社
参考書		番号	書籍名	著者名	出版社名
		1			
評価方法（基準）	授業への参加状況、課題や小テスト 70％、臨時試験の成績 30％から評価する。				
学生へのメッセージ	辞書をつねに携帯すること。授業に欠かさず出席し、まちがいを懼れず積極的に臨むこと。				
担当者の研究室等	7号館２階 非常勤講師室				
備考	・事前・事後学習に要する総時間数は約 15 時間。 毎回の授業の始めに、前回の学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。 授業で課した課題や宿題は、次週の授業で講評する。				

科目名	スペイン語オラルⅢA	科目名（英文）	Spanish Conversation IIIA
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	R
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	ディアス イバン
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	この授業で用いる教科書は、実践的会話力を養うための場面設定、言語運用能力を培うためのまとまりのある語彙と文法説明、文化社会的知識を深めるために読ませる文章という 3 つの局面から各課が構成されている。その都度、何を目的に学んでいるのか認識しながら学習を進めると効果的である。				
到達目標	1 年次に習得したスペイン語の基礎をもとに、いっそう複雑な会話表現ができるだけ正確にできるようにする。				
授業方法と留意点	なお、受講生の理解度に応じ、授業計画の進度より早まったり、遅くなることもありうる。				
科目学習の効果（資格）					
授業計画		回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
		1	オリエンテーション Nos gusta 2 の Unidad Preliminar 復習しましょう	授業の進め方について 復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		2	Nos gusta 2 の Unidad 1 開けたかったけど、開けられなかった	直接法点過去 規則活用。 完結した出来事を表す、連続して起こったことを表す。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		3	Nos gusta 2 の Unidad 1 開けたかったけど、開けられなかった	直接法点過去 規則活用。 時を表す前置詞を使った表現、伝記を書く際に用いる語彙。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		4	Nos gusta 2 の Unidad 2 曾祖母は男装して...	直接法点過去 不規則活用。 所有詞後置形、所有詞の用法。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		5	Nos gusta 2 の Unidad 2 曾祖母は男装して...	直接法点過去 不規則活用。 お話やエピソードを語る。 過去の出来事に関する語彙。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		6	Nos gusta 2 の Unidad 3 美人で顔がよくて面白かった	直接法線過去 規則活用と不規則活用。 過去の習慣を表す、過去の人物について話す。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		7	Nos gusta 2 の Unidad 3 美人で顔がよくて面白かった	直接法線過去 規則活用と不規則活用。 時を表す表現、日常の活動を表す動詞、人や物を描写する形容詞。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		8	復習と確認	これまで習った範囲の復習テスト	復習
		9	Nos gusta 2 の Unidad 4 とても疲れていたの、眠ってしまった	線過去と点過去。 再帰構文の相互用法。 事前の状況を説明しながらお話やエピソードを語る。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		10	Nos gusta 2 の Unidad 4 とても疲れていたの、眠ってしまった	線過去と点過去。 理由、結果、時間を表す筋をつなぐ語句。 驚き、興味、残念な気持ちを表す表現。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		11	Nos gusta 2 の Unidad 5 どうしたの？	動詞 doler と parecer, ser+形容詞/副詞 友達同士で、また病院で体調や感情を表す。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		12	Nos gusta 2 の Unidad 5 どうしたの？	動詞 doler と parecer, ser+形容詞/副詞 体の部位、健康に関する語彙。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		13	Nos gusta 2 の Unidad 6 何をしているの？	進行形。最上級。関係詞 que と donde。 発話時に起こっている出来事を表す。 断る際の理由付けをする。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		14	Nos gusta 2 の Unidad 6 何をしているの？	進行形。最上級。関係詞 que と donde。 日常の活動を表す動詞。 文化的事象の紹介に関する語彙。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		15	総復習	臨時試験と解説	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
関連科目	スペイン語の全科目				
教科書		番号	書籍名	著者名	出版社名
		1	Nos gusta 2	Pilar Lago, Concha Moreno, Sae Ochiai, Hiroko Omori	朝日出版社
参考書		番号	書籍名	著者名	出版社名
		1			
評価方法（基準）	授業への参加状況、課題や小テスト 70 %、臨時試験の成績 30 %から評価する。				
学生へのメッセージ	辞書をつねに携帯すること。授業に欠かさず出席し、まちがいを懼れず積極的に臨むこと。				
担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室				
備考	. 事前・事後学習に要する総時間数は約 15 時間。 毎回の授業の始めに、前回の学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。 試験の後には解説を行う。				

科目名	スペイン語オラルⅣA	科目名（英文）	Spanish Conversation IVA
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	ディアス イバン
ディプロマポリシー（DP）			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	この授業で用いる教科書は、実践的会話力を養うための場面設定、言語運用能力を培うためのまとまりのある語彙と文法説明、文化社会的知識を深めるために読ませる文章という3つの局面から各課が構成されている。その都度、何を目的に学んでいるのか認識しながら学習を進めると効果的である。				
到達目標	1年次に習得したスペイン語の基礎をもとに、いっそう複雑な会話表現ができるだけ正確にできるようにする。				
授業方法と留意点	なお、受講生の理解度に応じ、授業計画の進度より早まったり、遅くなることもありうる。				
科目学習の効果（資格）					
授業計画		回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
		1	前期の復習しましょう Nos gusta 2 の Repaso 2	復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		2	Nos gusta 2 の Unidad 7 気球に乗ったことある？	直接法現在完了の活用。 過去分詞の規則形と不規則形。 現在完了の用法。 不定語と否定語。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		3	Nos gusta 2 の Unidad 7 気球に乗ったことある？	経験を表す。 現在とつながりを持つ過去の出来事を表す。 日常の活動を表す動詞。 余暇活動と旅行に関する語彙。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		4	Nos gusta 2 の Unidad 8 アサリの漁師風ってどうやって作るの？	不定主語文。 指示を与える。情報を求める。苦情を言う。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		5	Nos gusta 2 の Unidad 8 アサリの漁師風ってどうやって作るの？	序数。料理や食生活に関する語彙。 旅行に関する語彙。 日常生活で使われる道具、機会に関する語彙。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		6	Nos gusta 2 の Unidad 9 いつか君と旅行しよう	直接法未来 規則活用と不規則活用。 -mente で終わる副詞。 未来の出来事を表す。現在に関わる推量を表す。依頼や忠告をする。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		7	Nos gusta 2 の Unidad 9 いつか君と旅行しよう	依頼と忠告を表す表現。 日常の出来事を表す動詞。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		8	復習と確認	これまで習った範囲の復習テスト	復習
		9	Nos gusta 2 の Unidad 10 これからずっとお元気で	接続法現在 規則活用。 願望を表す。何かを申し出る。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		10	Nos gusta 2 の Unidad 10 これからずっとお元気で	日常の活動を表す動詞。 学習に関する語彙。 他の人や自分のための願望を表す表現。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		11	Nos gusta 2 の Unidad 11 気に入ってくれて嬉しいですよ	接続法現在 不規則活用。 好きなこと、嫌なこと、驚いたことを表す。 意見を述べる。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		12	Nos gusta 2 の Unidad 11 気に入ってくれて嬉しいですよ	日常の活動を表す動詞。 好きなこと、嫌なこと、驚いたことを表す動詞。 意見を述べる動詞。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		13	Nos gusta 2 の Unidad 12 お一つどうぞ、とても美味しいですよ	肯定命令。否定命令。 命令形と人称代名詞。 命令、指示、忠告をする。 依頼したり申し出たりする。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		14	Nos gusta 2 の Unidad 12 お一つどうぞ、とても美味しいですよ	日常の活動を表す動詞。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		15	総復習	臨時試験とまとめ	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
関連科目	スペイン語の全科目				
教科書		番号	書籍名	著者名	出版社名
		1	Nos gusta 2	Pilar Lago, Concha Moreno, Sae Ochiai, Hiroko Omori	朝日出版社
		2			
		3			
参考書		番号	書籍名	著者名	出版社名
		1			
		2			
		3			
評価方法	授業への参加状況、課題や小テスト 70％、臨時試験の成績 30％から評価する。				

(基準)	
学生への メッセージ	辞書をつねに携帯すること。授業に欠かさず出席し、まちがいを懼れず積極的に臨むこと。
担当者の 研究室等	7号館2階（非常勤講師室）
備考	. 事前・事後学習に要する総時間数は15時間を目安とする。 授業の始めに、前回の学習内容に関するコメントや質問を受け付けフィードバックを行う。 授業で課した課題や宿題は、次週の授業で講評する。

科目名	スペイン語オラルⅣA	科目名（英文）	Spanish Conversation IVA
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	R
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	オラシオ ゴメス
ディプロマポリシー（DP）			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	この授業で用いる教科書は、実践的会話力を養うための場面設定、言語運用能力を培うためのまとまりのある語彙と文法説明、文化社会的知識を深めるために読ませる文章という3つの局面から各課が構成されている。その都度、何を目的に学んでいるのか認識しながら学習を進めると効果的である。				
到達目標	1年次に習得したスペイン語の基礎をもとに、いっそう複雑な会話表現ができるだけ正確にできるようにする。				
授業方法と留意点	なお、受講生の理解度に応じ、授業計画の進度より早まったり、遅くなることもありうる。				
科目学習の効果（資格）					
授業計画		回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
		1	前期の復習しましょう Nos gusta 2 の Repaso 2	復習	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		2	Nos gusta 2 の Unidad 7 気球に乗ったことある？	直接法現在完了の活用。 過去分詞の規則形と不規則形。 現在完了の用法。 不定語と否定語。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		3	Nos gusta 2 の Unidad 7 気球に乗ったことある？	経験を表す。 現在とつながりを持つ過去の出来事を表す。 日常の活動を表す動詞。 余暇活動と旅行に関する語彙。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		4	Nos gusta 2 の Unidad 8 アサリの漁師風ってどうやって作るの？	不定主語文。 指示を与える。情報を求める。苦情を言う。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		5	Nos gusta 2 の Unidad 8 アサリの漁師風ってどうやって作るの？	序数。料理や食生活に関する語彙。 旅行に関する語彙。 日常生活で使われる道具、機会に関する語彙。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		6	Nos gusta 2 の Unidad 9 いつか君と旅行しよう	直接法未来 規則活用と不規則活用。 -mente で終わる副詞。 未来の出来事を表す。現在に関わる推量を表す。依頼や忠告をする。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		7	Nos gusta 2 の Unidad 9 いつか君と旅行しよう	依頼と忠告を表す表現。 日常の出来事を表す動詞。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		8	復習と確認	これまで習った範囲の復習テスト	復習
		9	Nos gusta 2 の Unidad 10 これからずっとお元気で	接続法現在 規則活用。 願望を表す。何かを申し出る。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		10	Nos gusta 2 の Unidad 10 これからずっとお元気で	日常の活動を表す動詞。 学習に関する語彙。 他の人や自分のための願望を表す表現。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		11	Nos gusta 2 の Unidad 11 気に入ってくれて嬉しいですよ	接続法現在 不規則活用。 好きなこと、嫌なこと、驚いたことを表す。 意見を述べる。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		12	Nos gusta 2 の Unidad 11 気に入ってくれて嬉しいですよ	日常の活動を表す動詞。 好きなこと、嫌なこと、驚いたことを表す動詞。 意見を述べる動詞。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		13	Nos gusta 2 の Unidad 12 お一つどうぞ、とても美味しいですよ	肯定命令。否定命令。 命令形と人称代名詞。 命令、指示、忠告をする。 依頼したり申し出たりする。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		14	Nos gusta 2 の Unidad 12 お一つどうぞ、とても美味しいですよ	日常の活動を表す動詞。	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
		15	総復習	臨時試験とスペイン語での発表	教科書を事前に学習し、講義後は復習する。
関連科目	スペイン語の全科目				
教科書		番号	書籍名	著者名	出版社名
		1	Nos gusta 2	Pilar Lago, Concha Moreno, Sae Ochiai, Hiroko Omori	朝日出版社
		2			
		3			
参考書		番号	書籍名	著者名	出版社名
		1			
		2			
		3			
評価方法	授業への参加状況、課題や小テスト 70％、臨時試験の成績 30％から評価する。				

(基準)	
学生への メッセージ	辞書をつねに携帯すること。授業に欠かさず出席し、まちがいを懼れず積極的に臨むこと。
担当者の 研究室等	7号館2階（非常勤講師室）
備考	. 事前・事後学習に要する総時間数は15時間を目安とする。 授業の始めに、前回の学習内容に関するコメントや質問を受け付けフィードバックを行う。 授業で課した課題や宿題は、次週の授業で講評する。

科目名	スペイン語オラルⅤ	科目名（英文）	Spanish Conversation Ⅴ
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	モンセラート ロイデ、モンセラート ロイデ
ディプロマポリシー（DP）	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3103d0		

授業概要・目的	2 年次までに習得したスペイン語力を基礎として、意思疎通はもちろんのこと、多様な視点から基本的知識を養い、議論ができる会話能力を身につけることをめざす。スペイン語圏以外で用いられているスペイン語について知り、外国語としてのスペイン語教育の現状、世界におけるスペイン語の現状と展望について理解を深める。接続法の理解と正確な運用をも目標とする。																																																																		
到達目標	日常会話よりも深い内容の対話ができるようになる。そのために、テーマについて予め調べ、新しい知識についてスペイン語で説明したり、質問したりすることをめざす。																																																																		
授業方法と留意点	積極的な授業参加、発言を期待する。教科書は用いず、教材を配布する。 扱うテーマは学生の興味関心に応じて変更することもあり得る。																																																																		
科目学習の効果（資格）	スペイン語での詩の暗誦やスピーチを滑らかに行えること。 スペイン語検定 4 級																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>Aprender un idioma</td><td>Debate y opini?n a partir de una infograf?a.</td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td>?Qu? te sugiere esta imagen?</td><td>Describir una fotograf?a.</td><td>Hacer una historia a partir de una fotograf?a.</td></tr> <tr> <td>3</td><td>La moda</td><td>Tema de conversaci?n y valoraci?n de opiniones.</td><td>Buscar y comparar la moda de antes y despu?s.</td></tr> <tr> <td>4</td><td>El turista</td><td>Describir lugares como tema de conversaci?n sobre el turismo.</td><td>Buscar y comparar sobre el turismo en la actualidad.</td></tr> <tr> <td>5</td><td>Libros y lecturas 1</td><td>Presentaci?n con citas de lectura.</td><td>Elegir lecturas para exponer en clase.</td></tr> <tr> <td>6</td><td>Libros y lecturas 2</td><td>Presentaci?n con citas de lectura.</td><td>Elegir lecturas para exponer en clase.</td></tr> <tr> <td>7</td><td>La Unesco en el mundo hispano 1</td><td>Patrimonio de la humanidad.</td><td>Elegir lugares y presentar.</td></tr> <tr> <td>8</td><td>La Unesco en el mundo hispano 2</td><td>Patrimonio de la humanidad.</td><td>Elegir lugares y presentar.</td></tr> <tr> <td>9</td><td>Pel?culas y/o cortometrajes para aprender espa?ol real 1</td><td>Escuchar y practicar espa?ol real.</td><td>Elegir pel?culas en espa?ol.</td></tr> <tr> <td>10</td><td>Pel?culas y/o cortometrajes para aprender espa?ol real 2</td><td>Escuchar y practicar espa?ol real.</td><td>Pel?culas en espa?ol para comentar.</td></tr> <tr> <td>11</td><td>Biograf?a sobre un personaje que admires 1</td><td>Comentar por qu? se admira a ese personaje muerto o vivo.</td><td>Buscar personaje y para presentar.</td></tr> <tr> <td>12</td><td>Biograf?a sobre un personaje que admires 2</td><td>Comentar por qu? se admira a ese personaje muerto o vivo.</td><td>Buscar personaje y para presentar.</td></tr> <tr> <td>13</td><td>Mi trabajo ideal.</td><td>Describir en qu? les gustar?a trabajar usando el espa?ol.</td><td>Buscar sobre un trabajo ideal.</td></tr> <tr> <td>14</td><td>Mi vida en 30 o 50 a?os.</td><td>Imaginarse qu? estar?n haciendo en 30 o 50 a?os, qu? tipo de personas ser?an.</td><td>Presentar opiniones.</td></tr> <tr> <td>15</td><td>Presentaci?n como examen.</td><td>Imaginarse qu? estar?n haciendo en 30 o 50 a?os, qu? tipo de personas ser?an.</td><td>Preparar el tema.</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	Aprender un idioma	Debate y opini?n a partir de una infograf?a.		2	?Qu? te sugiere esta imagen?	Describir una fotograf?a.	Hacer una historia a partir de una fotograf?a.	3	La moda	Tema de conversaci?n y valoraci?n de opiniones.	Buscar y comparar la moda de antes y despu?s.	4	El turista	Describir lugares como tema de conversaci?n sobre el turismo.	Buscar y comparar sobre el turismo en la actualidad.	5	Libros y lecturas 1	Presentaci?n con citas de lectura.	Elegir lecturas para exponer en clase.	6	Libros y lecturas 2	Presentaci?n con citas de lectura.	Elegir lecturas para exponer en clase.	7	La Unesco en el mundo hispano 1	Patrimonio de la humanidad.	Elegir lugares y presentar.	8	La Unesco en el mundo hispano 2	Patrimonio de la humanidad.	Elegir lugares y presentar.	9	Pel?culas y/o cortometrajes para aprender espa?ol real 1	Escuchar y practicar espa?ol real.	Elegir pel?culas en espa?ol.	10	Pel?culas y/o cortometrajes para aprender espa?ol real 2	Escuchar y practicar espa?ol real.	Pel?culas en espa?ol para comentar.	11	Biograf?a sobre un personaje que admires 1	Comentar por qu? se admira a ese personaje muerto o vivo.	Buscar personaje y para presentar.	12	Biograf?a sobre un personaje que admires 2	Comentar por qu? se admira a ese personaje muerto o vivo.	Buscar personaje y para presentar.	13	Mi trabajo ideal.	Describir en qu? les gustar?a trabajar usando el espa?ol.	Buscar sobre un trabajo ideal.	14	Mi vida en 30 o 50 a?os.	Imaginarse qu? estar?n haciendo en 30 o 50 a?os, qu? tipo de personas ser?an.	Presentar opiniones.	15	Presentaci?n como examen.	Imaginarse qu? estar?n haciendo en 30 o 50 a?os, qu? tipo de personas ser?an.	Preparar el tema.
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	Aprender un idioma	Debate y opini?n a partir de una infograf?a.																																																																	
2	?Qu? te sugiere esta imagen?	Describir una fotograf?a.	Hacer una historia a partir de una fotograf?a.																																																																
3	La moda	Tema de conversaci?n y valoraci?n de opiniones.	Buscar y comparar la moda de antes y despu?s.																																																																
4	El turista	Describir lugares como tema de conversaci?n sobre el turismo.	Buscar y comparar sobre el turismo en la actualidad.																																																																
5	Libros y lecturas 1	Presentaci?n con citas de lectura.	Elegir lecturas para exponer en clase.																																																																
6	Libros y lecturas 2	Presentaci?n con citas de lectura.	Elegir lecturas para exponer en clase.																																																																
7	La Unesco en el mundo hispano 1	Patrimonio de la humanidad.	Elegir lugares y presentar.																																																																
8	La Unesco en el mundo hispano 2	Patrimonio de la humanidad.	Elegir lugares y presentar.																																																																
9	Pel?culas y/o cortometrajes para aprender espa?ol real 1	Escuchar y practicar espa?ol real.	Elegir pel?culas en espa?ol.																																																																
10	Pel?culas y/o cortometrajes para aprender espa?ol real 2	Escuchar y practicar espa?ol real.	Pel?culas en espa?ol para comentar.																																																																
11	Biograf?a sobre un personaje que admires 1	Comentar por qu? se admira a ese personaje muerto o vivo.	Buscar personaje y para presentar.																																																																
12	Biograf?a sobre un personaje que admires 2	Comentar por qu? se admira a ese personaje muerto o vivo.	Buscar personaje y para presentar.																																																																
13	Mi trabajo ideal.	Describir en qu? les gustar?a trabajar usando el espa?ol.	Buscar sobre un trabajo ideal.																																																																
14	Mi vida en 30 o 50 a?os.	Imaginarse qu? estar?n haciendo en 30 o 50 a?os, qu? tipo de personas ser?an.	Presentar opiniones.																																																																
15	Presentaci?n como examen.	Imaginarse qu? estar?n haciendo en 30 o 50 a?os, qu? tipo de personas ser?an.	Preparar el tema.																																																																
関連科目	スペイン語の全科目																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	授業における参加状況・課題（50%）や理解度確認テストの成績（50%）から総合的に評価する。																																																																		
学生へのメッセージ	資料を必ず読みこなし、基本的語彙を調べた上で授業に臨むこと。事前・事後学習に各1時間を要する。 La din?mica de la participaci?n constante ser? considerada para evaluaci?n. 授業への積極的な参加と発言を高く評価する。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室																																																																		
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約 15 時間。 授業の始めに、前回の学習内容に関するコメントや質問を受け付けフィードバックを行う。 授業で課した課題や宿題は、次週の授業で講評する。																																																																		

科目名	スペイン語オラルⅤ	科目名（英文）	Spanish Conversation Ⅴ
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	R
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	アラセリ コラール
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3103d0		

授業概要・目的	2 年次までに習得したスペイン語力を基礎として、意思疎通はもちろんのこと、多様な視点から基本的知識を養い、議論ができる会話能力を身につけることをめざす。スペイン語圏以外で用いられているスペイン語について知り、外国語としてのスペイン語教育の現状、世界におけるスペイン語の現状と展望について理解を深める。接続法の理解と正確な運用をも目標とする。
到達目標	日常会話よりも深い内容の対話ができるようになる。そのために、テーマについて予め調べ、新しい知識についてスペイン語で説明したり、質問したりすることをめざす。
授業方法と留意点	積極的な授業参加、発言を期待する。教科書は用いず、教材を配布する。 扱うテーマは学生の興味関心に応じて変更することもあり得る。
科目学習の効果（資格）	スペイン語での詩の暗誦やスピーチを滑らかに行えること。 スペイン語検定 4 級

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Aprender un idioma	Debate y opini?n a partir de una infograf?a.	
	2	?Qu? te sugiere esta imagen?	Describir una fotograf?a.	Hacer una historia a partir de una fotograf?a.
	3	La moda	Tema de conversaci?n y valoraci?n de opiniones.	Buscar y comparar la moda de antes y despu?s.
	4	El turista	Describir lugares como tema de conversaci?n sobre el turismo.	Buscar y comparar sobre el turismo en la actualidad.
	5	Libros y lecturas 1	Presentaci?n con citas de lectura.	Elegir lecturas para exponer en clase.
	6	Libros y lecturas 2	Presentaci?n con citas de lectura.	Elegir lecturas para exponer en clase.
	7	La Unesco en el mundo hispano 1	Patrimonio de la humanidad.	Elegir lugares y presentar.
	8	La Unesco en el mundo hispano 2	Patrimonio de la humanidad.	Elegir lugares y presentar.
	9	Pel?culas y/o cortometrajes para aprender espa?ol real 1	Escuchar y practicar espa?ol real.	Elegir pel?culas en espa?ol.
	10	Pel?culas y/o cortometrajes para aprender espa?ol real 2	Escuchar y practicar espa?ol real.	Pel?culas en espa?ol para comentar.
	11	Biograf?a sobre un personaje que admires 1	Comentar por qu? se admira a ese personaje muerto o vivo.	Buscar personaje y para presentar.
	12	Biograf?a sobre un personaje que admires 2	Comentar por qu? se admira a ese personaje muerto o vivo.	Buscar personaje y para presentar.
	13	Mi trabajo ideal.	Describir en qu? les gustar?a trabajar usando el espa?ol.	Buscar sobre un trabajo ideal.
	14	Mi vida en 30 o 50 a?os.	Imaginarse qu? estar?n haciendo en 30 o 50 a?os, qu? tipo de personas ser?an.	Presentar opiniones.
	15	Presentaci?n como examen.	Presentaci?n de tema abierto.	Preparar el tema.

関連科目	スペイン語の全科目
------	-----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法（基準）	授業における参加状況・課題（50%）や理解度確認テストの成績（50%）から総合的に評価する。
学生へのメッセージ	資料を必ず読みこなし、基本的語彙を調べた上で授業に臨むこと。事前・事後学習に各1時間を要する。 La din?mica de la participaci?n constante ser? considerada para evaluaci?n. 授業への積極的な参加と発言を高く評価する。
担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約 15 時間。 授業の始めに、前回の学習内容に関するコメントや質問を受け付けフィードバックを行う。 授業で課した課題や宿題は、次週の授業で講評する。

科目名	スペイン語オラルVI	科目名（英文）	Spanish Conversation VI
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	アラセリ コラール
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3104d0		

授業概要・目的	スペイン語圏以外で用いられているスペイン語について知り、外国語としてのスペイン語教育の現状、世界におけるスペイン語の現状と展望について理解を深める。接続法の理解と正確な運用をも目標とする。
到達目標	2 年次までに習得したスペイン語力を基礎として、意思疎通はもちろんのこと、多様な視点から基本的知識を養い、議論ができる会話能力を身につけることをめざす。
授業方法と留意点	積極的な授業参加、発言を期待する。教科書は用いず、教材を配布する。 扱うテーマは学生の興味関心に応じて変更することもあり得る。
科目学習の効果（資格）	スペイン語での詩の暗誦やスピーチを滑らかにこなせること。 スペイン語検定 3 級（とりわけ留学帰国者）

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Aprender un idioma	Debate y opini?n a partir de una infograf?a.	_____
	2	?Qu? te sugiere esta imagen?	Describir una fotograf?a.	Hacer una historia a partir de una fotograf?a.
	3	La moda	Tema de conversaci?n y valoraci?n de opiniones.	Buscar y comparar la moda de antes y despu?s.
	4	El turista	Describir lugares como tema de conversaci?n sobre el turismo.	Buscar y comparar sobre el turismo en la actualidad.
	5	Libros y lecturas 1	Presentaci?n con citas de lectura.	Elegir lecturas para exponer en clase.
	6	Libros y lecturas 2	Presentaci?n con citas de lectura.	Elegir lecturas para exponer en clase.
	7	La Unesco en el mundo hispano 1	Patrimonio de la humanidad.	Elegir lugares y presentar.
	8	La Unesco en el mundo hispanohablante 2	Patrimonio de la humanidad.	Elegir lugares y presentar.
	9	Pel?culas y/o cortometrajes para aprender espa?ol real 1	Escuchar y practicar espa?ol real.	Elegir pel?culas en espa?ol.
	10	Pel?culas y/o cortometrajes para aprender espa?ol real 2	Escuchar y practicar espa?ol real.	Pel?culas en espa?ol para comentar.
	11	Biograf?a sobre un personaje que admires 1	Comentar por qu? se admira a ese personaje muerto o vivo.	Buscar personaje y para presentar.
	12	Biograf?a sobre un personaje que admires 2	Comentar por qu? se admira a ese personaje muerto o vivo.	Buscar personaje y para presentar.
	13	Mi trabajo ideal.	Describir en qu? les gustar?a trabajar usando el espa?ol.	Buscar sobre un trabajo ideal.
	14	Mi vida en 30 o 50 a?os.	Imaginarse qu? estar?n haciendo en 30 o 50 a?os, qu? tipo de personas ser?an.	Presentar opiniones.
	15	Presentaci?n como examen.	Presentaci?n de tema abierto.	Preparar el tema.

関連科目	スペイン語の全科目
------	-----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法（基準）	授業における参加状況・課題（50%）や理解度確認テストの成績（50%）から総合的に評価する。
----------	--

学生へのメッセージ	資料を必ず読みこなし、基本的語彙を調べた上で授業に臨むこと。 La din?mica de la participaci?n constante ser? considerada para evaluaci?n. 授業への背局的参加と発言を高く評価する。
-----------	--

担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室
----------	-----------------

備考	事前・事後学修に要する総時間数は約 15 時間。 授業の始めに、前回の学習内容に関するコメントや質問を受け付けフィードバックを行う。 授業で課した課題や宿題は、次週の授業で講評する。
----	---

科目名	スペイン語オラルVI	科目名（英文）	Spanish Conversation VI
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	R
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	モンセラート ロイデ、モンセラート ロイデ
ディプロマポリシー（DP）	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3104d0		

授業概要・目的	スペイン語圏以外で用いられているスペイン語について知り、外国語としてのスペイン語教育の現状、世界におけるスペイン語の現状と展望について理解を深める。接続法の理解と正確な運用をも目標とする。
到達目標	2 年次までに習得したスペイン語力を基礎として、意思疎通はもちろんのこと、多様な視点から基本的知識を養い、議論ができる会話能力を身につけることをめざす。
授業方法と留意点	積極的な授業参加、発言を期待する。 教科書は用いず、プリント教材を配布する。 扱うテーマは学生の興味関心に応じて変更することもあり得る。
科目学習の効果（資格）	スペイン語での詩の暗誦やスピーチを滑らかに行えること。 スペイン語検定 3 級（とりわけ留学帰国者）

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Aprender un idioma	Debate y opini?n a partir de una infograf?a.	_____
	2	?Qu? te sugiere esta imagen?	Describir una fotograf?a.	Hacer una historia a partir de una fotograf?a.
	3	La moda	Tema de conversaci?n y valoraci?n de opiniones.	Buscar y comparar la moda de antes y despu?s.
	4	El turista	Describir lugares como tema de conversaci?n sobre el turismo.	Buscar y comparar sobre el turismo en la actualidad.
	5	Libros y lecturas 1	Presentaci?n con citas de lectura.	Elegir lecturas para exponer en clase.
	6	Libros y lecturas 2	Presentaci?n con citas de lectura.	Elegir lecturas para exponer en clase.
	7	La Unesco en el mundo hispano 1	Patrimonio de la humanidad	Elegir lugares y presentar.
	8	La Unesco en el mundo hispano 2	Patrimonio de la humanidad	Elegir lugares y presentar.
	9	Pel?culas y/o cortometrajes para aprender espa?ol real 1	Escuchar y practicar espa?ol real.	Elegir pel?culas en espa?ol.
	10	Pel?culas y/o cortometrajes para aprender espa?ol real 2	Escuchar y practicar espa?ol real.	Elegir pel?culas en espa?ol.
	11	Biograf?a sobre un personaje que admires 1	Comentar por qu? se admira a ese personaje muerto o vivo.	Buscar personaje y para presentar.
	12	Biograf?a sobre un personaje que admires 2	Comentar por qu? se admira a ese personaje muerto o vivo.	Buscar personaje y para presentar.
	13	Mi trabajo ideal.	Describir en qu? les gustar?a trabajar usando el espa?ol.	Buscar sobre un trabajo ideal.
	14	Mi vida en 30 o 50 a?os.	maginarse qu? estar?n haciendo en 30 o 50 a?os, qu? tipo de personas ser?an.	Presentar opiniones.
	15	Presentaci?n como examen.	Presentaci?n de tema abierto.	Preparar el tema.

関連科目	スペイン語通訳Ⅱ、スペイン語文章構成Ⅳほかスペイン語の全科目
------	--------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法（基準）	授業における参加状況・課題（50%）や最終回での発表（50%）から総合的に評価する。
学生へのメッセージ	資料を必ず読みこなし、基本的語彙を調べた上で授業に臨むこと。 La din?mica de la participaci?n constante ser? considerada para evaluaci?n. 授業への積極的な参加と発言が高く評価される。
担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室
備考	事前・事後学修に要する総時間数は約 15 時間。 毎回の授業の始めに、前回の学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。

科目名	スペイン語オラルⅦ	科目名（英文）	Spanish Conversation VII
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	オラシオ ゴメス
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	3 年次までに習得したスペイン語の基礎文法を素地として、比較文化の多様な観点からテーマを選定し、その意図や背景を解説し、役立表現や語彙・キーワードを教授します。それらをもとにスペイン語でスピーチを行う心構えで、毎回短いプレゼンテーションを発表することで、言語とテーマが何であっても聞き手にとって明瞭でわかりやすく論理的なコミュニケーションが行えるように導きます。プレゼンの内容を予め作文することの繰り返しによって、スペイン語で正しく文章表現ができる力を補います。プレゼン後に提出する作文は添削します。																																																																		
到達目標	スペイン語で意思疎通を抵抗なく図れるようになるとともに、スペイン語圏はもちろん、異文化についての関心を深め、日本の歴史や文化についてもスペイン語で説明できるようになる。正確なスペイン語表現を行うための基礎となる書く力を養う。																																																																		
授業方法と留意点	予め、プレゼンテーションのテーマ、慣用表現、語彙について解説します。教員による 3 分間スピーチを一例として示します。履修者はその次の週までに個別・具体的内容のプレゼンテーションの準備を行います。互いの発表に対する質問や意見交換を重んじます。テーマは履修者の積極的な提案に応じて変更することもあり得ます。																																																																		
科目学習の効果（資格）	スペイン語での詩の暗誦やスピーチを滑らかに行えるようになる。 スペイン語検定 3 級（とりわけ留学帰国者）																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>オリエンテーション</td><td>授業の進め方 自己紹介に必要な表現と語彙の解説</td><td>発表の準備</td></tr> <tr> <td>2</td><td>自己紹介</td><td>発表 誕生日を迎えるにあたって将来の目標を語るための表現と語彙の解説</td><td>発表の準備</td></tr> <tr> <td>3</td><td>将来の目標</td><td>発表 死生観と「死者の日」についての解説</td><td>発表の準備</td></tr> <tr> <td>4</td><td>「死者の日」</td><td>発表 「お盆」との比較</td><td>発表の準備</td></tr> <tr> <td>5</td><td>「お盆」と「死者の日」の比較</td><td>発表 日本文化の独自性(例:世界初の小説『源氏物語』)の紹介</td><td>発表の準備 過去時制の復習</td></tr> <tr> <td>6</td><td>私が誇りに思う日本文化</td><td>発表 中国文化の一端について知る</td><td>発表の準備 過去時制の復習</td></tr> <tr> <td>7</td><td>私が魅かれる中国文化</td><td>発表 スペイン語圏文化の一端について知る</td><td>発表の準備 過去時制の復習</td></tr> <tr> <td>8</td><td>この目で見てみたいスペイン語圏文化</td><td>発表 米国文化の一端について知る</td><td>発表の準備 過去時制の復習</td></tr> <tr> <td>9</td><td>私が影響を受けた米国文化</td><td>発表 料理についての慣用表現・語彙の解説</td><td>発表の準備 命令文の復習</td></tr> <tr> <td>10</td><td>得意料理の作り方</td><td>発表 旅行についての慣用表現・語彙の解説</td><td>発表の準備 過去未来の復習</td></tr> <tr> <td>11</td><td>旅行するとしたら</td><td>発表 買物の場面で必要な表現と語彙（気候、色、衣類、食べ物、飲み物等）</td><td>発表の準備</td></tr> <tr> <td>12</td><td>買物の場で</td><td>発表</td><td>発表の準備</td></tr> <tr> <td>13</td><td>買物の場で</td><td>発表</td><td>発表の準備</td></tr> <tr> <td>14</td><td>訪日観光客を案内して</td><td>発表 固有の社寺を説明するための語彙</td><td>発表の準備</td></tr> <tr> <td>15</td><td>訪日観光客を案内して</td><td>発表 料理文化についての語彙</td><td>発表の成果を振り返る</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション	授業の進め方 自己紹介に必要な表現と語彙の解説	発表の準備	2	自己紹介	発表 誕生日を迎えるにあたって将来の目標を語るための表現と語彙の解説	発表の準備	3	将来の目標	発表 死生観と「死者の日」についての解説	発表の準備	4	「死者の日」	発表 「お盆」との比較	発表の準備	5	「お盆」と「死者の日」の比較	発表 日本文化の独自性(例:世界初の小説『源氏物語』)の紹介	発表の準備 過去時制の復習	6	私が誇りに思う日本文化	発表 中国文化の一端について知る	発表の準備 過去時制の復習	7	私が魅かれる中国文化	発表 スペイン語圏文化の一端について知る	発表の準備 過去時制の復習	8	この目で見てみたいスペイン語圏文化	発表 米国文化の一端について知る	発表の準備 過去時制の復習	9	私が影響を受けた米国文化	発表 料理についての慣用表現・語彙の解説	発表の準備 命令文の復習	10	得意料理の作り方	発表 旅行についての慣用表現・語彙の解説	発表の準備 過去未来の復習	11	旅行するとしたら	発表 買物の場面で必要な表現と語彙（気候、色、衣類、食べ物、飲み物等）	発表の準備	12	買物の場で	発表	発表の準備	13	買物の場で	発表	発表の準備	14	訪日観光客を案内して	発表 固有の社寺を説明するための語彙	発表の準備	15	訪日観光客を案内して	発表 料理文化についての語彙	発表の成果を振り返る
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション	授業の進め方 自己紹介に必要な表現と語彙の解説	発表の準備																																																																
2	自己紹介	発表 誕生日を迎えるにあたって将来の目標を語るための表現と語彙の解説	発表の準備																																																																
3	将来の目標	発表 死生観と「死者の日」についての解説	発表の準備																																																																
4	「死者の日」	発表 「お盆」との比較	発表の準備																																																																
5	「お盆」と「死者の日」の比較	発表 日本文化の独自性(例:世界初の小説『源氏物語』)の紹介	発表の準備 過去時制の復習																																																																
6	私が誇りに思う日本文化	発表 中国文化の一端について知る	発表の準備 過去時制の復習																																																																
7	私が魅かれる中国文化	発表 スペイン語圏文化の一端について知る	発表の準備 過去時制の復習																																																																
8	この目で見てみたいスペイン語圏文化	発表 米国文化の一端について知る	発表の準備 過去時制の復習																																																																
9	私が影響を受けた米国文化	発表 料理についての慣用表現・語彙の解説	発表の準備 命令文の復習																																																																
10	得意料理の作り方	発表 旅行についての慣用表現・語彙の解説	発表の準備 過去未来の復習																																																																
11	旅行するとしたら	発表 買物の場面で必要な表現と語彙（気候、色、衣類、食べ物、飲み物等）	発表の準備																																																																
12	買物の場で	発表	発表の準備																																																																
13	買物の場で	発表	発表の準備																																																																
14	訪日観光客を案内して	発表 固有の社寺を説明するための語彙	発表の準備																																																																
15	訪日観光客を案内して	発表 料理文化についての語彙	発表の成果を振り返る																																																																
関連科目	スペイン語通訳ガイド（留学期間中に 3 年生で受講できなかった者は 4 年生の前・後期に受講することを推奨）																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	授業における参加状況・発表 60%と課題提出 40%をもとに総合的に評価する。																																																																		
学生へのメッセージ	扱うテーマには履修者の提案も取り入れます。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室																																																																		
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約 15 時間。 受講生は毎回テーマに沿った発表を準備し、時間内に講評を受ける。 毎回の授業の始めに、前回の次学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。																																																																		

科目名	スペイン語オラルⅧ	科目名（英文）	Spanish Conversation VIII
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	オラシオ ゴメス
ディプロマポリシー（DP）			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	スペイン語とその文化がいかに様々な異言語・異文化の影響を取り込んできたかを理解できるよう、テーマを選定します。その意図や背景を解説し、役立つ表現や語彙・キーワードを教授します。それらをもとにスペイン語でスピーチを行う心構えで、毎回短いプレゼンテーションを発表することで、言語とテーマが何であっていても聞き手にとって明瞭でわかりやすく論理的なコミュニケーションが行えるように導きます。プレゼンの内容を予め作文することの繰り返しによって、スペイン語で正しく文章表現ができる力を補います。プレゼン後に提出する作文は添削します。
到達目標	スペイン語とその文化が内蔵する異文化要素を理解し、それについての説明ができるようになる。正確なスペイン語表現を行うための基礎となる書く力を養う。
授業方法と留意点	予め、プレゼンテーションのテーマ、慣用表現、語彙について解説します。教員による3分間スピーチを一例として示します。履修者はその次の週までに個別・具体的内容のプレゼンテーションの準備を行います。互いの発表に対する質問や意見交換を重んじます。テーマは履修者の積極的な提案に応じて変更することもあり得ます。
科目学習の効果（資格）	スペイン語での詩の暗誦やスピーチを滑らかに行えるようになる。 スペイン語検定3級（とりわけ留学帰国者）

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	日本語の中に定着したスペイン語	授業の進め方の再確認 次回のプレゼンテーションに必要な表現と語彙の解説	発表の準備
	2	スペイン語・文化が日本に与えた影響	発表 次回のプレゼンテーションに必要な表現と語彙の解説	発表の準備
	3	スペイン語・文化がギリシア語・文化から受け継いだもの	発表 次回のプレゼンテーションに必要な表現と語彙の解説	発表の準備
	4	ラテン語・文化から受け継いだもの	発表 次回のプレゼンテーションに必要な表現と語彙の解説	発表の準備
	5	アラビア語・文化から受け継いだもの	発表 次回のプレゼンテーションに必要な表現と語彙の解説	発表の準備
	6	スペイン語圏の歴史(1)	発表 次回のプレゼンテーションに必要な表現と語彙の解説	発表の準備
	7	スペイン語圏の歴史(2)	発表 次回のプレゼンテーションに必要な表現と語彙の解説	発表の準備
	8	スペイン語圏の歴史(3)	発表 次回のプレゼンテーションに必要な表現と語彙の解説	発表の準備
	9	スペイン語圏の政治(1)	発表 次回のプレゼンテーションに必要な表現と語彙の解説	発表の準備
	10	スペイン語圏の政治(2)	発表 次回のプレゼンテーションに必要な表現と語彙の解説	発表の準備
	11	スペイン語圏の経済	発表 次回のプレゼンテーションに必要な表現と語彙の解説	発表の準備
	12	スペイン語圏の貿易	発表 次回のプレゼンテーションに必要な表現と語彙の解説	発表の準備
	13	通訳としての仕事	発表 次回のプレゼンテーションに必要な表現と語彙の解説	発表の準備
	14	通訳としての実践	発表 次回のプレゼンテーションに必要な表現と語彙の解説	発表の準備
	15	各自最良の発表を行う	発表 次回のプレゼンテーションに必要な表現と語彙の解説	発表の成果を振り返る

関連科目	スペイン語通訳ガイド（留学期間中に3年生で受講できなかった者は4年生の前・後期に受講することを推奨）
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	授業における参加状況・発表 60%と課題提出 40%をもとに総合的に評価する。
学生への メッセージ	扱うテーマには履修者の提案も取り入れます。
担当者の 研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約 15 時間。 授業の始めに、前回の発表・学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。 授業で課した課題や宿題は、次週の授業で講評する。

科目名	スペイン語基礎A	科目名（英文）	Basic Spanish A
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	北條 ゆかり
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1086e0		

授業概要・目的	・「スペイン語基礎 ABC」は同じ教科書を使い、リレー形式でスペイン語の文法を学ぶ。必ず「基礎 ABC」を合わせて受講すること。 ・「スペイン語入門」で修得した基本的な文章構造の知識を、多様な時制で運用できるようになることを目的とする。過去分詞と現在分詞の用法、過去時制、未来時制、接続法現在の活用を中心に、基本的な文の構造を理解する。 ・初習言語のマスターには語彙力の増強も不可欠であるため、毎週単語テストを課す。11 月にボキャブラリ・コンテストを実施する。
到達目標	・スペイン語の文法事項のうち、過去時制、未来時制、接続法現在の動詞の活用をスムーズに言える。 ・過去時制と未来時制の用法を正確に理解し、適切に肯定文、否定文、疑問文を作ることができる。 ・過去分詞と現在分詞の用法を理解し、完了形と進行形の文を作ることができる。
授業方法と留意点	・「基礎 ABC」は 3 人の教員のリレーで行う。教科書に基づいて文法解説を行い、練習問題を多くこなす。外国語の修得には継続的な予復習は必須である。必ず宿題と予習をして不明なところを把握し、練習問題を自力で解いておき、授業で不明点を解決すること。 ・語彙力強化のために毎週単語テストを行い、3 課ごとに中間テストを行う。
科目学習の効果（資格）	・スペイン語の文法、語彙、発音の基礎を修得し、基本的な運用能力が身につく。 ・辞書の使用を含めて外国語の学習方法が身につく。 ・スペイン語検定 5 級を取得できる。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	復習	直説法現在の活用、目的格人称代名詞、ser, estar, hay, gustar 型動詞	既習の動詞の活用と文法事項を復習し、理解度を深めておく。および『単語帳』pp. 2-9 の語彙を覚える。(2 時間)
	2	10 課 命令法、不定詞、現在分詞、過去分詞	t?に対する命令、不定詞の用法、現在分詞と過去分詞の用法	教科書 10 課を見直し、命令形、過去分詞、現在分詞を作れるようにする。および『単語帳』pp. 10-14 の語彙を覚える。(2 時間)
	3	11 課 直説法現在完了、受動文、直説法点過去規則活用	現在完了および受動文の作り方、点過去規則活用	教科書 11 課を見直し、点過去規則活用を暗記する。および『単語帳』pp. 15-20 の語彙を覚える。(2 時間)
	4	12 課 直説法点過去不規則活用	点過去不規則活用、点過去と現在完了の違い	教科書 12 課を見直し、点過去不規則活用を暗記する。および『単語帳』pp. 21-23 の語彙を覚える。(2 時間)
	5	12 課 知覚・使役・命令・許可の動詞、不定語と否定語	知覚・使役・命令・許可の文の作り方、不定語と否定語の用法	教科書 12 課を見直し、知覚・使役等の動詞を正しく使えるにする。10~12 課を総復習しテストに備える。(2 時間)
	6	10 課~12 課の確認テストと復習	現在完了と点過去の用法、受動文、使役・知覚等の文の作り方の理解度確認と復習	テストの見直し、『単語帳』pp. 24-27 の語彙を覚える。(2 時間)
	7	13 課 直説法線過去の用法、線過去と点過去の違い	線過去の活用と用法、点過去との使い分け	教科書 13 課を見直し、線過去と点過去の使い分けができるようにする。および『単語帳』pp. 28-32 の語彙を覚える。(2 時間)
	8	13 課 直説法過去完了、間接疑問文、因果関係を表わす接続表現	過去完了の用法、間接疑問文の作り方、porque, por eso 等の因果関係の表現	教科書 13 課を見直し、直説法過去完了の用法と接続詞の用法を理解する。および『単語帳』pp. 33-36 の語彙を覚える。(2 時間)
	9	14 課 直説法未来、直説法未来完了	直説法未来の活用、未来完了の用法	教科書 14 課を見直し、直説法未来の活用を暗記し、未来完了を作れるようにする。および『単語帳』pp. 37-39 の語彙を覚える。(2 時間)
	10	14 課 関係詞	関係代名詞 que, quien 等、関係副詞 donde 等、関係形容詞 cuyo	教科書 14 課を見直し、関係詞を使った文を作れるようにする。および『単語帳』pp. 45-46 の語彙を覚える。(2 時間)
	11	15 課 比較級と最上級	比較級と最上級の作り方	教科書 15 課を見直し、比較・最上級の文を作れるようにする。13~15 課を総復習し、テストに備える。(2 時間)
	12	13 課~15 課の確認テストと復習	点過去と線過去の使い分け、未来・未来完了、関係詞、比較級・最上級の理解度確認と復習	テストの見直し、『単語帳』pp. 47-49 の語彙を覚える。(2 時間)
	13	16 課 直説法過去未来、直説法過去未来完了、関係詞の独立用法	過去未来の活用と用法、過去未来完了の用法および関係詞の独立用法の使い方を理解する。	教科書 16 課を見直し、過去未来の活用を暗記し、過去未来完了を作れるようにする。10 課から総復習しテストに備える。(2 時間)
	14	17 課 接続法現在	接続法現在の規則活用と不規則活用を覚える。	教科書 17 課を見直し、接続法現在の活用を暗記する。10~17 課を総復習しテストに備える。(2 時間)
	15	臨時試験と復習	学期を通じた理解度の確認と要点の復習	試験範囲（教科書 pp. 56-99）までの総復習およびテストの見直し (2 時間)

関連科目	スペイン語基礎B、C スペイン語応用Ⅱ スペイン語オラルⅡ
------	-------------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	初級スペイン語文法	和佐敦子	朝日出版社
	2	書き込み式 スペイン語単語帳	藤井嘉祥ほか	朝日出版社
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	西和中辞典	高垣敏博ほか	小学館
	2			
	3			

評価方法 (基準)	スペイン語基礎 ABC は総合的に評価するため、それぞれ同じ成績がつく。 3 課ごとの中間テスト 40%、臨時試験 40%、単語テスト 20%（ボキャブラリ・コンテストを含む）で評価する。 欠席や遅刻は減点となる。 欠席が多い場合は学期末の臨時試験を受けられない。
学生への メッセージ	・最初から間違えずにできる人はいません。何度もつまづき失敗から学ぶ姿勢が大切です。単語ひとつ、活用ひとつを大切に地道に修得していきましょう。 ・予習、復習、自習（教科書や授業以外での取り組み）が大事なので、自己管理をしっかりして、学習ペースを作るように心掛けてください。 ・「覚える」ということに中高生の時以上に時間と労力を費やしてください。
担当者の 研究室等	7 号館 5 階 北條研究室
備考	・事前・事後学習に要する総時間数は約 30 時間を目安とする。 ・授業内で行うテストは返却時に答えの確認を行う。臨時試験の返却と見直しは研究室で行う。 ・プリント等の配布は一度しか配布しない。欠席や遅刻による不利益を被ることのないよう、学習の当事者としての意識をもって取り組むこと。

科目名	スペイン語基礎A	科目名（英文）	Basic Spanish A
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	R
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	西村 初美
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1086e0		

授業概要・目的	・「スペイン語基礎ABC」は同じ教科書を使い、リレー形式でスペイン語の文法を学ぶ。必ず「基礎ABC」を合わせて受講すること。 ・「スペイン語入門」で修得した基本的な文章構造の知識を、多様な時制で運用できるようになることを目的とする。過去分詞と現在分詞の用法、過去時制、未来時制、接続法現在の活用を中心に、基本的な文の構造を理解する。 ・初習言語のマスターには語彙力の増強も不可欠であるため、毎週単語テストを課す。11月にボキャブラリ・コンテストを実施する。
到達目標	・スペイン語の文法事項のうち、過去時制、未来時制、接続法現在の動詞の活用をスムーズに言える。 ・過去時制と未来時制の用法を正確に理解し、適切に肯定文、否定文、疑問文を作ることができる。 ・過去分詞と現在分詞の用法を理解し、完了形と進行形の文を作ることができる。
授業方法と留意点	・「基礎ABC」は3人の教員のリレーで行う。教科書に基づいて文法解説を行い、練習問題を多くこなす。外国語の修得には継続的な予復習は必須である。必ず宿題と予習をして不明なところを把握し、練習問題を自力で解いておき、授業で不明点を解決すること。 ・語彙力強化のために毎週単語テストを行い、3課ごとに中間テストを行う。
科目学習の効果（資格）	・スペイン語の文法、語彙、発音の基礎を修得し、基本的な運用能力が身につく。 ・辞書の使用を含めて外国語の学習方法が身につく。 ・スペイン語検定5級を取得できる。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	復習	直説法現在の活用、目的格人称代名詞、ser, estar, hay, gustar 型動詞	既習の動詞の活用と文法事項を復習し、理解度を深めておく。および『単語帳』pp. 2-9の語彙を覚える。(2時間)
	2	10 課 命令法、不定詞、現在分詞、過去分詞	t?に対する命令、不定詞の用法、現在分詞と過去分詞の用法	教科書 10 課を見直し、命令形、過去分詞、現在分詞を作れるようにする。および『単語帳』pp. 10-14の語彙を覚える。(2時間)
	3	11 課 直説法現在完了、受動文、直説法点過去規則活用	現在完了および受動文の作り方、点過去規則活用	教科書 11 課を見直し、点過去規則活用を暗記する。および『単語帳』pp. 15-20の語彙を覚える。(2時間)
	4	12 課 直説法点過去不規則活用	点過去不規則活用、点過去と現在完了の違い	教科書 12 課を見直し、点過去不規則活用を暗記する。および『単語帳』pp. 21-23の語彙を覚える。(2時間)
	5	12 課 知覚・使役・命令・許可の動詞、不定語と否定語	知覚・使役・命令・許可の文の作り方、不定語と否定語の用法	教科書 12 課を見直し、知覚・使役等の動詞を正しく使えるにする。10~12 課を総復習しテストに備える。(2時間)
	6	10 課~12 課の確認テストと復習	現在完了と点過去の用法、受動文、使役・知覚等の文の作り方の理解度確認と復習	テストの見直し、『単語帳』pp. 24-27の語彙を覚える。(2時間)
	7	13 課 直説法線過去の用法、線過去と点過去の違い	線過去の活用と用法、点過去との使い分け	教科書 13 課を見直し、線過去と点過去の使い分けができるようにする。および『単語帳』pp. 28-32の語彙を覚える。(2時間)
	8	13 課 直説法過去完了、間接疑問文、因果関係を表わす接続表現	過去完了の用法、間接疑問文の作り方、porque, por eso 等の因果関係の表現	教科書 13 課を見直し、直説法過去完了の用法と接続詞の用法を理解する。および『単語帳』pp. 33-36の語彙を覚える。(2時間)
	9	14 課 直説法未来、直説法未来完了	直説法未来の活用、未来完了の用法	教科書 14 課を見直し、直説法未来の活用を暗記し、未来完了を作れるようにする。および『単語帳』pp. 37-39の語彙を覚える。(2時間)
	10	14 課 関係詞	関係代名詞 que, quien 等、関係副詞 donde 等、関係形容詞 cuyo	教科書 14 課を見直し、関係詞を使った文を作れるようにする。および『単語帳』pp. 45-46の語彙を覚える。(2時間)
	11	15 課 比較級と最上級	比較級と最上級の作り方	教科書 15 課を見直し、比較・最上級の文を作れるようにする。13~15 課を総復習し、テストに備える。(2時間)
	12	13 課~15 課の確認テストと復習	点過去と線過去の使い分け、未来・未来完了、関係詞、比較級・最上級の理解度確認と復習	テストの見直し、『単語帳』pp. 47-49の語彙を覚える。(2時間)
	13	16 課 直説法過去未来、直説法過去未来完了、関係詞の独立用法	過去未来の活用と用法、過去未来完了の用法および関係詞の独立用法の使い方を理解する。	教科書 16 課を見直し、過去未来の活用を暗記し、過去未来完了を作れるようにする。10 課から総復習しテストに備える。(2時間)
	14	17 課 接続法現在	接続法現在の規則活用と不規則活用を覚える。	教科書 17 課を見直し、接続法現在の活用を暗記する。10~17 課を総復習しテストに備える。(2時間)
	15	臨時試験と復習	学期を通じた理解度の確認と要点の復習	試験範囲（教科書 pp. 56-99）までの総復習およびテストの見直し（2時間）

関連科目	スペイン語基礎B、C スペイン語応用Ⅱ スペイン語オラルⅡ
------	-------------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	初級スペイン語文法	和佐敦子	朝日出版社
	2	書き込み式 スペイン語単語帳	藤井嘉祥ほか	朝日出版社
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	西和中辞典	高垣敏博ほか	小学館
	2			
	3			

評価方法 (基準)	スペイン語基礎 ABC は総合的に評価するため、それぞれ同じ成績がつく。 3 課ごとの中間テスト 40%、臨時試験 40%、単語テスト 20%（ボキャブラリ・コンテストを含む）で評価する。 欠席や遅刻は減点となる。 欠席が多い場合は学期末の臨時試験を受けられない。
学生への メッセージ	・最初から間違えずにできる人はいません。何度もつまづき失敗から学ぶ姿勢が大切です。単語ひとつ、活用ひとつを大切に地道に修得していきましょう。 ・予習、復習、自習（教科書や授業以外での取り組み）が大事なので、自己管理をしっかりして、学習ペースを作るように心掛けてください。 ・「覚える」ということに中高生の時以上に時間と労力を費やしてください。
担当者の 研究室等	7 号館 2 階 講師室
備考	・事前・事後学習に要する総時間数は約 30 時間を目安とする。 ・授業内で行うテストは返却時に答えの確認を行う。臨時試験の返却と見直しは研究室で行う。 ・プリント等の配布は一度しか配布しない。欠席や遅刻による不利益を被ることのないよう、学習の当事者としての意識をもって取り組むこと。

科目名	スペイン語基礎B	科目名（英文）	Basic Spanish B
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	三浦 知佐子
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1087e0		

授業概要・目的	・「スペイン語基礎 ABC」は同じ教科書を使い、リレー形式でスペイン語の文法を学ぶ。必ず「基礎 ABC」を合わせて受講すること。 ・「スペイン語入門」で修得した基本的な文章構造の知識を、多様な時制で運用できるようになることを目的とする。過去分詞と現在分詞の用法、過去時制、未来時制、接続法現在の活用を中心に、基本的な文の構造を理解する。 ・初習言語のマスターには語彙力の増強も不可欠であるため、毎週単語テストを課す。11 月にボキャブラリ・コンテストを実施する。
到達目標	・スペイン語の文法事項のうち、過去時制、未来時制、接続法現在の動詞の活用をスムーズに言える。 ・過去時制と未来時制の用法を正確に理解し、適切に肯定文、否定文、疑問文を作ることができる。 ・過去分詞と現在分詞の用法を理解し、完了形と進行形の文を作ることができる。
授業方法と留意点	・「基礎 ABC」は 3 人の教員のリレーで行う。教科書に基づいて文法解説を行い、練習問題を多くこなす。外国語の修得には継続的な予復習は必須である。必ず宿題と予習をして不明なところを把握し、練習問題を自力で解いておき、授業で不明点を解決すること。 ・語彙力強化のために毎週単語テストを行い、3 課ごとに中間テストを行う。
科目学習の効果（資格）	・スペイン語の文法、語彙、発音の基礎を修得し、基本的な運用能力が身につく。 ・辞書の使用を含めて外国語の学習方法が身につく。 ・スペイン語検定 5 級を取得できる。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	復習	直説法現在の活用、目的格人称代名詞、ser, estar, hay, gustar 型動詞	既習の動詞の活用と文法事項を復習し、理解度を深めておく。および『単語帳』pp. 2-9 の語彙を覚える。(2 時間)
	2	10 課 命令法、不定詞、現在分詞、過去分詞	t?に対する命令、不定詞の用法、現在分詞と過去分詞の用法	教科書 10 課を見直し、命令形、過去分詞、現在分詞を作れるようにする。および『単語帳』pp. 10-14 の語彙を覚える。(2 時間)
	3	11 課 直説法現在完了、受動文、直説法点過去規則活用	現在完了および受動文の作り方、点過去規則活用	教科書 11 課を見直し、点過去規則活用を暗記する。および『単語帳』pp. 15-20 の語彙を覚える。(2 時間)
	4	12 課 直説法点過去不規則活用	点過去不規則活用、点過去と現在完了の違い	教科書 12 課を見直し、点過去不規則活用を暗記する。および『単語帳』pp. 21-23 の語彙を覚える。(2 時間)
	5	12 課 知覚・使役・命令・許可の動詞、不定語と否定語	知覚・使役・命令・許可の文の作り方、不定語と否定語の用法	教科書 12 課を見直し、知覚・使役等の動詞を正しく使えるにする。10~12 課を総復習しテストに備える。(2 時間)
	6	10 課~12 課の確認テストと復習	現在完了と点過去の用法、受動文、使役・知覚等の文の作り方の理解度確認と復習	テストの見直し、『単語帳』pp. 24-27 の語彙を覚える。(2 時間)
	7	13 課 直説法線過去の用法、線過去と点過去の違い	線過去の活用と用法、点過去との使い分け	教科書 13 課を見直し、線過去と点過去の使い分けができるようにする。および『単語帳』pp. 28-32 の語彙を覚える。(2 時間)
	8	13 課 直説法過去完了、間接疑問文、因果関係を表わす接続表現	過去完了の用法、間接疑問文の作り方、porque, por eso 等の因果関係の表現	教科書 13 課を見直し、直説法過去完了の用法と接続詞の用法を理解する。および『単語帳』pp. 33-36 の語彙を覚える。(2 時間)
	9	14 課 直説法未来、直説法未来完了	直説法未来の活用、未来完了の用法	教科書 14 課を見直し、直説法未来の活用を暗記し、未来完了を作れるようにする。および『単語帳』pp. 37-39 の語彙を覚える。(2 時間)
	10	14 課 関係詞	関係代名詞 que, quien 等、関係副詞 donde 等、関係形容詞 cuyo	教科書 14 課を見直し、関係詞を使った文を作れるようにする。および『単語帳』pp. 45-46 の語彙を覚える。(2 時間)
	11	15 課 比較級と最上級	比較級と最上級の作り方	教科書 15 課を見直し、比較・最上級の文を作れるようにする。13~15 課を総復習し、テストに備える。(2 時間)
	12	13 課~15 課の確認テストと復習	点過去と線過去の使い分け、未来・未来完了、関係詞、比較級・最上級の理解度確認と復習	テストの見直し、『単語帳』pp. 47-49 の語彙を覚える。(2 時間)
	13	16 課 直説法過去未来、直説法過去未来完了、関係詞の独立用法	過去未来の活用と用法、過去未来完了の用法および関係詞の独立用法の使い方を理解する。	教科書 16 課を見直し、過去未来の活用を暗記し、過去未来完了を作れるようにする。10 課から総復習しテストに備える。(2 時間)
	14	17 課 接続法現在	接続法現在の規則活用と不規則活用を覚える。	教科書 17 課を見直し、接続法現在の活用を暗記する。10~17 課を総復習しテストに備える。(2 時間)
	15	臨時試験と復習	学期を通じた理解度の確認と要点の復習	試験範囲（教科書 pp. 56-99）までの総復習およびテストの見直し (2 時間)

関連科目	スペイン語基礎A、C スペイン語応用Ⅱ スペイン語オラルⅡ
------	-------------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	初級スペイン語文法	和佐敦子	朝日出版社
	2	書き込み式 スペイン語単語帳	藤井嘉祥ほか	朝日出版社
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	西和中辞典	高垣敏博ほか	小学館
	2			
	3			

評価方法 (基準)	スペイン語基礎 ABC は総合的に評価するため、それぞれ同じ成績がつく。 3 課ごとの中間テスト 40%、臨時試験 40%、単語テスト 20%（ボキャブラリ・コンテストを含む）で評価する。 欠席や遅刻は減点となる。 欠席が多い場合は学期末の臨時試験を受けられない。
学生への メッセージ	・最初から間違えずにできる人はいません。何度もつまづき失敗から学ぶ姿勢が大切です。単語ひとつ、活用ひとつを大切に地道に修得していきましょう。 ・予習、復習、自習（教科書や授業以外での取り組み）が大事なので、自己管理をしっかりして、学習ペースを作るように心掛けてください。 ・「覚える」ということに中高生の時以上に時間と労力を費やしてください。
担当者の 研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師控室
備考	・事前・事後学習に要する総時間数は約 30 時間を目安とする。 ・授業内で行うテストは返却時に答えの確認を行う。臨時試験の返却と見直しは研究室で行う。 ・プリント等の配布は一度しか配布しない。欠席や遅刻による不利益を被ることのないよう、学習の当事者としての意識をもって取り組むこと。

科目名	スペイン語基礎B	科目名（英文）	Basic Spanish B
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	R
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	藤井 嘉祥
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1087e0		

授業概要・目的	・「スペイン語基礎 ABC」は同じ教科書を使い、リレー形式でスペイン語の文法を学ぶ。必ず「基礎 ABC」を合わせて受講すること。 ・「スペイン語入門」で修得した基本的な文章構造の知識を、多様な時制で運用できるようになることを目的とする。過去分詞と現在分詞の用法、過去時制、未来時制、接続法現在の活用を中心に、基本的な文の構造を理解する。 ・初習言語のマスターには語彙力の増強も不可欠であるため、毎週単語テストを課す。11 月にボキャブラリ・コンテストを実施する。
到達目標	・スペイン語の文法事項のうち、過去時制、未来時制、接続法現在の動詞の活用をスムーズに言える。 ・過去時制と未来時制の用法を正確に理解し、適切に肯定文、否定文、疑問文を作ることができる。 ・過去分詞と現在分詞の用法を理解し、完了形と進行形の文を作ることができる。
授業方法と留意点	・「基礎 ABC」は 3 人の教員のリレーで行う。教科書に基づいて文法解説を行い、練習問題を多くこなす。外国語の修得には継続的な予復習は必須である。必ず宿題と予習をして不明なところを把握し、練習問題を自力で解いておき、授業で不明点を解決すること。 ・語彙力強化のために毎週単語テストを行い、3 課ごとに中間テストを行う。
科目学習の効果（資格）	・スペイン語の文法、語彙、発音の基礎を修得し、基本的な運用能力が身につく。 ・辞書の使用を含めて外国語の学習方法が身につく。 ・スペイン語検定 5 級を取得できる。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	復習	直説法現在の活用、目的格人称代名詞、ser, estar, hay, gustar 型動詞	既習の動詞の活用と文法事項を復習し、理解度を深めておく。および『単語帳』pp. 2-9 の語彙を覚える。(2 時間)
	2	10 課 命令法、不定詞、現在分詞、過去分詞	t?に対する命令、不定詞の用法、現在分詞と過去分詞の用法	教科書 10 課を見直し、命令形、過去分詞、現在分詞を作れるようにする。および『単語帳』pp. 10-14 の語彙を覚える。(2 時間)
	3	11 課 直説法現在完了、受動文、直説法点過去規則活用	現在完了および受動文の作り方、点過去規則活用	教科書 11 課を見直し、点過去規則活用を暗記する。および『単語帳』pp. 15-20 の語彙を覚える。(2 時間)
	4	12 課 直説法点過去不規則活用	点過去不規則活用、点過去と現在完了の違い	教科書 12 課を見直し、点過去不規則活用を暗記する。および『単語帳』pp. 21-23 の語彙を覚える。(2 時間)
	5	12 課 知覚・使役・命令・許可の動詞、不定語と否定語	知覚・使役・命令・許可の文の作り方、不定語と否定語の用法	教科書 12 課を見直し、知覚・使役等の動詞を正しく使えるにする。10~12 課を総復習しテストに備える。(2 時間)
	6	10 課~12 課の確認テストと復習	現在完了と点過去の用法、受動文、使役・知覚等の文の作り方の理解度確認と復習	テストの見直し、『単語帳』pp. 24-27 の語彙を覚える。(2 時間)
	7	13 課 直説法線過去の用法、線過去と点過去の違い	線過去の活用と用法、点過去との使い分け	教科書 13 課を見直し、線過去と点過去の使い分けができるようにする。および『単語帳』pp. 28-32 の語彙を覚える。(2 時間)
	8	13 課 直説法過去完了、間接疑問文、因果関係を表わす接続表現	過去完了の用法、間接疑問文の作り方、porque, por eso 等の因果関係の表現	教科書 13 課を見直し、直説法過去完了の用法と接続詞の用法を理解する。および『単語帳』pp. 33-36 の語彙を覚える。(2 時間)
	9	14 課 直説法未来、直説法未来完了	直説法未来の活用、未来完了の用法	教科書 14 課を見直し、直説法未来の活用を暗記し、未来完了を作れるようにする。および『単語帳』pp. 37-39 の語彙を覚える。(2 時間)
	10	14 課 関係詞	関係代名詞 que, quien 等、関係副詞 donde 等、関係形容詞 cuyo	教科書 14 課を見直し、関係詞を使った文を作れるようにする。および『単語帳』pp. 45-46 の語彙を覚える。(2 時間)
	11	15 課 比較級と最上級	比較級と最上級の作り方	教科書 15 課を見直し、比較・最上級の文を作れるようにする。13~15 課を総復習し、テストに備える。(2 時間)
	12	13 課~15 課の確認テストと復習	点過去と線過去の使い分け、未来・未来完了、関係詞、比較級・最上級の理解度確認と復習	テストの見直し、『単語帳』pp. 47-49 の語彙を覚える。(2 時間)
	13	16 課 直説法過去未来、直説法過去未来完了、関係詞の独立用法	過去未来の活用と用法、過去未来完了の用法および関係詞の独立用法の使い方を理解する。	教科書 16 課を見直し、過去未来の活用を暗記し、過去未来完了を作れるようにする。10 課から総復習しテストに備える。(2 時間)
	14	17 課 接続法現在	接続法現在の規則活用と不規則活用を覚える。	教科書 17 課を見直し、接続法現在の活用を暗記する。10~17 課を総復習しテストに備える。(2 時間)
	15	臨時試験と復習	学期を通じた理解度の確認と要点の復習	試験範囲（教科書 pp. 56-99）までの総復習およびテストの見直し (2 時間)

関連科目	スペイン語基礎A、C スペイン語応用Ⅱ スペイン語オラルⅡ
------	-------------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	初級スペイン語文法	和佐敦子	朝日出版社
	2	書き込み式 スペイン語単語帳	藤井嘉祥ほか	朝日出版社
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	西和中辞典	高垣敏博ほか	小学館
	2			
	3			

評価方法 (基準)	スペイン語基礎 ABC は総合的に評価するため、それぞれ同じ成績がつく。 3 課ごとの中間テスト 40%、臨時試験 40%、単語テスト 20%（ボキャブラリ・コンテストを含む）で評価する。 欠席や遅刻は減点となる。 欠席が多い場合は学期末の臨時試験を受けられない。
学生への メッセージ	・最初から間違えずにできる人はいません。何度もつまづき失敗から学ぶ姿勢が大切です。単語ひとつ、活用ひとつを大切に地道に修得していきましょう。 ・予習、復習、自習（教科書や授業以外での取り組み）が大事なので、自己管理をしっかりして、学習ペースを作るように心掛けてください。 ・「覚える」ということに中高生の時以上に時間と労力を費やしてください。
担当者の 研究室等	7 号館 5 階 藤井研究室
備考	・事前・事後学習に要する総時間数は約 30 時間を目安とする。 ・授業内で行うテストは返却時に答えの確認を行う。臨時試験の返却と見直しは研究室で行う。 ・プリント等の配布は一度しか配布しない。欠席や遅刻による不利益を被ることのないよう、学習の当事者としての意識をもって取り組むこと。

科目名	スペイン語基礎C	科目名（英文）	Basic Spanish C
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	篠原 愛人
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1088e0		

授業概要・目的	・「スペイン語基礎 ABC」は同じ教科書を使い、リレー形式でスペイン語の文法を学ぶ。必ず「基礎 ABC」を合わせて受講すること。 ・「スペイン語入門」で修得した基本的な文章構造の知識を、多様な時制で運用できるようになることを目的とする。過去分詞と現在分詞の用法、過去時制、未来時制、接続法現在の活用を中心に、基本的な文の構造を理解する。 ・初習言語のマスターには語彙力の増強も不可欠であるため、毎週単語テストを課す。11 月にボキャブラリ・コンテストを実施する。
到達目標	・スペイン語の文法事項のうち、過去時制、未来時制、接続法現在の動詞の活用をスムーズに言える。 ・過去時制と未来時制の用法を正確に理解し、適切に肯定文、否定文、疑問文を作ることができる。 ・過去分詞と現在分詞の用法を理解し、完了形と進行形の文を作ることができる。
授業方法と留意点	・「基礎 ABC」は 3 人の教員のリレーで行う。教科書に基づいて文法解説を行い、練習問題を多くこなす。外国語の修得には継続的な予復習は必須である。必ず宿題と予習をして不明なところを把握し、練習問題を自力で解いておき、授業で不明点を解決すること。 ・語彙力強化のために毎週単語テストを行い、3 課ごとに中間テストを行う。
科目学習の効果（資格）	・スペイン語の文法、語彙、発音の基礎を修得し、基本的な運用能力が身につく。 ・辞書の使用を含めて外国語の学習方法が身につく。 ・スペイン語検定 5 級を取得できる。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	復習	直説法現在の活用、目的格人称代名詞、ser, estar, hay, gustar 型動詞	既習の動詞の活用と文法事項を復習し、理解度を深めておく。および『単語帳』pp. 2-9 の語彙を覚える。(2 時間)
	2	10 課 命令法、不定詞、現在分詞、過去分詞	t?に対する命令、不定詞の用法、現在分詞と過去分詞の用法	教科書 10 課を見直し、命令形、過去分詞、現在分詞を作れるようにする。および『単語帳』pp. 10-14 の語彙を覚える。(2 時間)
	3	11 課 直説法現在完了、受動文、直説法点過去規則活用	現在完了および受動文の作り方、点過去規則活用	教科書 11 課を見直し、点過去規則活用を暗記する。および『単語帳』pp. 15-20 の語彙を覚える。(2 時間)
	4	12 課 直説法点過去不規則活用	点過去不規則活用、点過去と現在完了の違い	教科書 12 課を見直し、点過去不規則活用を暗記する。および『単語帳』pp. 21-23 の語彙を覚える。(2 時間)
	5	12 課 知覚・使役・命令・許可の動詞、不定語と否定語	知覚・使役・命令・許可の文の作り方、不定語と否定語の用法	教科書 12 課を見直し、知覚・使役等の動詞を正しく使えるにする。10~12 課を総復習しテストに備える。(2 時間)
	6	10 課~12 課の確認テストと復習	現在完了と点過去の用法、受動文、使役・知覚等の文の作り方の理解度確認と復習	テストの見直し、『単語帳』pp. 24-27 の語彙を覚える。(2 時間)
	7	13 課 直説法線過去の用法、線過去と点過去の違い	線過去の活用と用法、点過去との使い分け	教科書 13 課を見直し、線過去と点過去の使い分けができるようにする。および『単語帳』pp. 28-32 の語彙を覚える。(2 時間)
	8	13 課 直説法過去完了、間接疑問文、因果関係を表わす接続表現	過去完了の用法、間接疑問文の作り方、porque, por eso 等の因果関係の表現	教科書 13 課を見直し、直説法過去完了の用法と接続詞の用法を理解する。および『単語帳』pp. 33-36 の語彙を覚える。(2 時間)
	9	14 課 直説法未来、直説法未来完了	直説法未来の活用、未来完了の用法	教科書 14 課を見直し、直説法未来の活用を暗記し、未来完了を作れるようにする。および『単語帳』pp. 37-39 の語彙を覚える。(2 時間)
	10	14 課 関係詞	関係代名詞 que, quien 等、関係副詞 donde 等、関係形容詞 cuyo	教科書 14 課を見直し、関係詞を使った文を作れるようにする。および『単語帳』pp. 45-46 の語彙を覚える。(2 時間)
	11	15 課 比較級と最上級	比較級と最上級の作り方	教科書 15 課を見直し、比較・最上級の文を作れるようにする。13~15 課を総復習し、テストに備える。(2 時間)
	12	13 課~15 課の確認テストと復習	点過去と線過去の使い分け、未来・未来完了、関係詞、比較級・最上級の理解度確認と復習	テストの見直し、『単語帳』pp. 47-49 の語彙を覚える。(2 時間)
	13	16 課 直説法過去未来、直説法過去未来完了、関係詞の独立用法	過去未来の活用と用法、過去未来完了の用法および関係詞の独立用法の使い方を理解する。	教科書 16 課を見直し、過去未来の活用を暗記し、過去未来完了を作れるようにする。10 課から総復習しテストに備える。(2 時間)
	14	17 課 接続法現在	接続法現在の規則活用と不規則活用を覚える。	教科書 17 課を見直し、接続法現在の活用を暗記する。10~17 課を総復習しテストに備える。(2 時間)
	15	臨時試験と復習	学期を通じた理解度の確認と要点の復習	試験範囲（教科書 pp. 56-99）までの総復習およびテストの見直し (2 時間)

関連科目	スペイン語基礎 A、B スペイン語応用Ⅱ スペイン語オラルⅡ
------	--------------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	初級スペイン語文法	和佐敦子	朝日出版社
	2	書き込み式 スペイン語単語帳	藤井嘉祥ほか	朝日出版社
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	西和中辞典	高垣敏博ほか	小学館
	2			
	3			

評価方法 (基準)	スペイン語基礎 ABC は総合的に評価するため、それぞれ同じ成績がつく。 3 課ごとの中間テスト 40%、臨時試験 40%、単語テスト 20%（ボキャブラリ・コンテストを含む）で評価する。 欠席や遅刻は減点となる。 欠席が多い場合は学期末の臨時試験を受けられない。
学生への メッセージ	・最初から間違えずにできる人はいません。何度もつまづき失敗から学ぶ姿勢が大切です。単語ひとつ、活用ひとつを大切に地道に修得していきましょう。 ・予習、復習、自習（教科書や授業以外での取り組み）が大事なので、自己管理をしっかりして、学習ペースを作るように心掛けてください。 ・「覚える」ということに中高生の時以上に時間と労力を費やしてください。
担当者の 研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室
備考	・事前・事後学習に要する総時間数は約 30 時間を目安とする。 ・授業内で行うテストは返却時に答えの確認を行う。臨時試験の返却と見直しは研究室で行う。 ・プリント等の配布は一度しか配布しない。欠席や遅刻による不利益を被ることのないよう、学習の当事者としての意識をもって取り組むこと。

科目名	スペイン語基礎C	科目名（英文）	Basic Spanish C
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	R
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	安達 直樹
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1088e0		

授業概要・目的	・「スペイン語基礎 ABC」は同じ教科書を使い、リレー形式でスペイン語の文法を学ぶ。必ず「基礎 ABC」を合わせて受講すること。 ・「スペイン語入門」で修得した基本的な文章構造の知識を、多様な時制で運用できるようになることを目的とする。過去分詞と現在分詞の用法、過去時制、未来時制、接続法現在の活用を中心に、基本的な文の構造を理解する。 ・初習言語のマスターには語彙力の増強も不可欠であるため、毎週単語テストを課す。11 月にボキャブラリ・コンテストを実施する。
到達目標	・スペイン語の文法事項のうち、過去時制、未来時制、接続法現在の動詞の活用をスムーズに言える。 ・過去時制と未来時制の用法を正確に理解し、適切に肯定文、否定文、疑問文を作ることができる。 ・過去分詞と現在分詞の用法を理解し、完了形と進行形の文を作ることができる。
授業方法と留意点	・「基礎 ABC」は 3 人の教員のリレーで行う。教科書に基づいて文法解説を行い、練習問題を多くこなす。外国語の修得には継続的な予復習は必須である。必ず宿題と予習をして不明なところを把握し、練習問題を自力で解いておき、授業で不明点を解決すること。 ・語彙力強化のために毎週単語テストを行い、3 課ごとに中間テストを行う。
科目学習の効果（資格）	・スペイン語の文法、語彙、発音の基礎を修得し、基本的な運用能力が身につく。 ・辞書の使用を含めて外国語の学習方法が身につく。 ・スペイン語検定 5 級を取得できる。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	復習	直説法現在の活用、目的格人称代名詞、ser, estar, hay, gustar 型動詞	既習の動詞の活用と文法事項を復習し、理解度を深めておく。および『単語帳』pp. 2-9 の語彙を覚える。(2 時間)
	2	10 課 命令法、不定詞、現在分詞、過去分詞	t?に対する命令、不定詞の用法、現在分詞と過去分詞の用法	教科書 10 課を見直し、命令形、過去分詞、現在分詞を作れるようにする。および『単語帳』pp. 10-14 の語彙を覚える。(2 時間)
	3	11 課 直説法現在完了、受動文、直説法点過去規則活用	現在完了および受動文の作り方、点過去規則活用	教科書 11 課を見直し、点過去規則活用を暗記する。および『単語帳』pp. 15-20 の語彙を覚える。(2 時間)
	4	12 課 直説法点過去不規則活用	点過去不規則活用、点過去と現在完了の違い	教科書 12 課を見直し、点過去不規則活用を暗記する。および『単語帳』pp. 21-23 の語彙を覚える。(2 時間)
	5	12 課 知覚・使役・命令・許可の動詞、不定語と否定語	知覚・使役・命令・許可の文の作り方、不定語と否定語の用法	教科書 12 課を見直し、知覚・使役等の動詞を正しく使えるにする。10~12 課を総復習しテストに備える。(2 時間)
	6	10 課~12 課の確認テストと復習	現在完了と点過去の用法、受動文、使役・知覚等の文の作り方の理解度確認と復習	テストの見直し、『単語帳』pp. 24-27 の語彙を覚える。(2 時間)
	7	13 課 直説法線過去の用法、線過去と点過去の違い	線過去の活用と用法、点過去との使い分け	教科書 13 課を見直し、線過去と点過去の使い分けができるようにする。および『単語帳』pp. 28-32 の語彙を覚える。(2 時間)
	8	13 課 直説法過去完了、間接疑問文、因果関係を表わす接続表現	過去完了の用法、間接疑問文の作り方、porque, por eso 等の因果関係の表現	教科書 13 課を見直し、直説法過去完了の用法と接続詞の用法を理解する。および『単語帳』pp. 33-36 の語彙を覚える。(2 時間)
	9	14 課 直説法未来、直説法未来完了	直説法未来の活用、未来完了の用法	教科書 14 課を見直し、直説法未来の活用を暗記し、未来完了を作れるようにする。および『単語帳』pp. 37-39 の語彙を覚える。(2 時間)
	10	14 課 関係詞	関係代名詞 que, quien 等、関係副詞 donde 等、関係形容詞 cuyo	教科書 14 課を見直し、関係詞を使った文を作れるようにする。および『単語帳』pp. 45-46 の語彙を覚える。(2 時間)
	11	15 課 比較級と最上級	比較級と最上級の作り方	教科書 15 課を見直し、比較・最上級の文を作れるようにする。13~15 課を総復習し、テストに備える。(2 時間)
	12	13 課~15 課の確認テストと復習	点過去と線過去の使い分け、未来・未来完了、関係詞、比較級・最上級の理解度確認と復習	テストの見直し、『単語帳』pp. 47-49 の語彙を覚える。(2 時間)
	13	16 課 直説法過去未来、直説法過去未来完了、関係詞の独立用法	過去未来の活用と用法、過去未来完了の用法および関係詞の独立用法の使い方を理解する。	教科書 16 課を見直し、過去未来の活用を暗記し、過去未来完了を作れるようにする。10 課から総復習しテストに備える。(2 時間)
	14	17 課 接続法現在	接続法現在の規則活用と不規則活用を覚える。	教科書 17 課を見直し、接続法現在の活用を暗記する。10~17 課を総復習しテストに備える。(2 時間)
	15	臨時試験と復習	学期を通じた理解度の確認と要点の復習	試験範囲（教科書 pp. 56-99）までの総復習およびテストの見直し (2 時間)

関連科目	スペイン語基礎 A, B スペイン語応用 II スペイン語オラル II
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	初級スペイン語文法	和佐敦子	朝日出版社
	2	書き込み式 スペイン語単語帳	藤井嘉祥ほか	朝日出版社
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	西和中辞典	高垣敏博ほか	小学館
	2			
	3			

評価方法 (基準)	スペイン語基礎 ABC は総合的に評価するため、それぞれ同じ成績がつく。 3 課ごとの中間テスト 40%、臨時試験 40%、単語テスト 20%（ボキャブラリ・コンテストを含む）で評価する。 欠席や遅刻は減点となる。 欠席が多い場合は学期末の臨時試験を受けられない。
学生への メッセージ	・最初から間違えずにできる人はいません。何度もつまづき失敗から学ぶ姿勢が大切です。単語ひとつ、活用ひとつを大切に地道に修得していきましょう。 ・予習、復習、自習（教科書や授業以外での取り組み）が大事なので、自己管理をしっかりして、学習ペースを作るように心掛けてください。 ・「覚える」ということに中高生の時以上に時間と労力を費やしてください。
担当者の 研究室等	7 号館 5 階 安達研究室
備考	・事前・事後学習に要する総時間数は約 30 時間を目安とする。 ・授業内で行うテストは返却時に答えの確認を行う。臨時試験の返却と見直しは研究室で行う。 ・プリント等の配布は一度しか配布しない。欠席や遅刻による不利益を被ることのないよう、学習の当事者としての意識をもって取り組むこと。

科目名	スペイン語圏概論	科目名（英文）	Introduction to Spanish-speaking Area Studies
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	安達 直樹
ディプロマポリシー (DP)	DP2◎		
科目ナンバリング	LDL1145a0		

授業概要・目的	広大なスペイン語圏の国々（ヨーロッパのスペインとラテンアメリカ）に関する基礎知識をもち、関心を高めることを目的とする。ただし、ラテンアメリカに関しては1年後期のエリア・スタディーズで学習するので、この授業では主にスペインを対象とする。																																																																		
到達目標	スペイン語圏の国や地域について地理、歴史、文化に関する基本的知識を身につける。 座学、すなわち講義を聞きおもに話し（口述）の内容を要約しながら書き留める作業になれること。																																																																		
授業方法と留意点	講義形式だが、視聴覚教材も適宜、利用する。教科書は用いず、プリントを配布するので（欠席等による再配布はしない）、ファイルを用意すること。 板書はあえて最小限にする。それは、聴覚情報を正確にとらえ、まとめ、自分の言葉で書き留める訓練のためである。 集団授業であることを認識し、私語はもちろん、自分勝手なタイミングでの質問（重複）等は慎むこと。																																																																		
科目学習の効果（資格）	集中して話を聞くこと、話の内容を要約すること、それを書き出してまとめること。 座学の訓練。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>オリエンテーション スペイン語圏とは</td><td>この授業の進め方 スペイン語とスペイン語圏</td><td>スペイン語の特徴 スペイン語圏の広がり</td></tr> <tr> <td>2</td><td>スペインの地理（1）</td><td>スペインの地形・地勢・気候 スペインの自然遺産</td><td>配布プリント・ノートの整理 地図に親しむ スペインの地方</td></tr> <tr> <td>3</td><td>スペインの地理（2）</td><td>スペインの地理・経済</td><td>地形、気候と産物</td></tr> <tr> <td>4</td><td>スペインの地理（3）</td><td>スペインは一つの国か？ 自治州について</td><td>スペインの地域区分 17の自治州</td></tr> <tr> <td>5</td><td>スペインの地理（4）</td><td>スペインは一つの国か？ 自治州について</td><td>スペインの主要都市</td></tr> <tr> <td>6</td><td>中間テスト（1）</td><td>スペインの地理に関する確認テスト</td><td></td></tr> <tr> <td>7</td><td>スペインの歴史（1）</td><td>文化遺産（古代）</td><td>配布プリント・ノートの整理</td></tr> <tr> <td>8</td><td>スペインの歴史（2）</td><td>文化遺産（中世）</td><td>配布プリント・ノートの整理</td></tr> <tr> <td>9</td><td>スペインの歴史（3）</td><td>文化遺産（中世）</td><td>配布プリント・ノートの整理</td></tr> <tr> <td>10</td><td>スペインの歴史（4）</td><td>文化遺産（近代・現代）</td><td>配布プリント・ノートの整理</td></tr> <tr> <td>11</td><td>スペインの歴史（5）</td><td>文化遺産（近代・現代）</td><td>それぞれの遺産の歴史的意味、場所の確認</td></tr> <tr> <td>12</td><td>中間テスト（2）</td><td>スペインの歴史と文化遺産に関する確認テスト</td><td></td></tr> <tr> <td>13</td><td>スペインの芸術（1）</td><td>19世紀まで</td><td>配布プリント・ノートの整理</td></tr> <tr> <td>14</td><td>スペインの芸術（2）</td><td>20世紀</td><td>配布プリント・ノートの整理</td></tr> <tr> <td>15</td><td>総括</td><td>これまでの総まとめ</td><td>配布プリント・ノートの整理</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション スペイン語圏とは	この授業の進め方 スペイン語とスペイン語圏	スペイン語の特徴 スペイン語圏の広がり	2	スペインの地理（1）	スペインの地形・地勢・気候 スペインの自然遺産	配布プリント・ノートの整理 地図に親しむ スペインの地方	3	スペインの地理（2）	スペインの地理・経済	地形、気候と産物	4	スペインの地理（3）	スペインは一つの国か？ 自治州について	スペインの地域区分 17の自治州	5	スペインの地理（4）	スペインは一つの国か？ 自治州について	スペインの主要都市	6	中間テスト（1）	スペインの地理に関する確認テスト		7	スペインの歴史（1）	文化遺産（古代）	配布プリント・ノートの整理	8	スペインの歴史（2）	文化遺産（中世）	配布プリント・ノートの整理	9	スペインの歴史（3）	文化遺産（中世）	配布プリント・ノートの整理	10	スペインの歴史（4）	文化遺産（近代・現代）	配布プリント・ノートの整理	11	スペインの歴史（5）	文化遺産（近代・現代）	それぞれの遺産の歴史的意味、場所の確認	12	中間テスト（2）	スペインの歴史と文化遺産に関する確認テスト		13	スペインの芸術（1）	19世紀まで	配布プリント・ノートの整理	14	スペインの芸術（2）	20世紀	配布プリント・ノートの整理	15	総括	これまでの総まとめ	配布プリント・ノートの整理
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション スペイン語圏とは	この授業の進め方 スペイン語とスペイン語圏	スペイン語の特徴 スペイン語圏の広がり																																																																
2	スペインの地理（1）	スペインの地形・地勢・気候 スペインの自然遺産	配布プリント・ノートの整理 地図に親しむ スペインの地方																																																																
3	スペインの地理（2）	スペインの地理・経済	地形、気候と産物																																																																
4	スペインの地理（3）	スペインは一つの国か？ 自治州について	スペインの地域区分 17の自治州																																																																
5	スペインの地理（4）	スペインは一つの国か？ 自治州について	スペインの主要都市																																																																
6	中間テスト（1）	スペインの地理に関する確認テスト																																																																	
7	スペインの歴史（1）	文化遺産（古代）	配布プリント・ノートの整理																																																																
8	スペインの歴史（2）	文化遺産（中世）	配布プリント・ノートの整理																																																																
9	スペインの歴史（3）	文化遺産（中世）	配布プリント・ノートの整理																																																																
10	スペインの歴史（4）	文化遺産（近代・現代）	配布プリント・ノートの整理																																																																
11	スペインの歴史（5）	文化遺産（近代・現代）	それぞれの遺産の歴史的意味、場所の確認																																																																
12	中間テスト（2）	スペインの歴史と文化遺産に関する確認テスト																																																																	
13	スペインの芸術（1）	19世紀まで	配布プリント・ノートの整理																																																																
14	スペインの芸術（2）	20世紀	配布プリント・ノートの整理																																																																
15	総括	これまでの総まとめ	配布プリント・ノートの整理																																																																
関連科目	「エリア・スタディーズ（ラテンアメリカ）」「同（ヨーロッパ）」 「スペイン語トピックス」「メディアのスペイン語」など。																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	受講態度・提出物（レポートなど）20%＋中間テスト40%＋定期試験40%																																																																		
学生へのメッセージ	日ごろから本や新聞記事を読み、ニュースを見聞きし、日本と世界の出来事、歴史を知ろうと努めること。 「興味がない」と簡単にいう者がいいいや受講していることなどは、講義（をする者）の前提にはそもそもない。 授業計画はあくまで目安であり集団のレベル、規模や進捗等を見極めながら、随時変更、修正する。																																																																		
担当者の研究室等	7号館5階（安達研究室）																																																																		
備考	大学での講義のノートの取り方、まとめ方を学びましょう。事前・事後学修に各1時間を要する。 興味や関心は、知識や情報から芽生えるものです。予備知識（世界史等）が必要なものとにかく読書する習慣をつけよう。 プリントなどは一度しか配布しない。欠席により不利益を被らないよう意識的に努めること。 試験の答案は実施後次の授業内で返却し解説する。																																																																		

科目名	スペイン語圏トピックスⅣ	科目名（英文）	Topics in the Spanish-speaking World IV
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	安達 直樹
ディプロマポリシー（DP）			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	スペイン語圏の歴史や文化などに関する文章の読解を通して、スペイン語の実践的な語彙や表現を習得する。			
到達目標	スペイン語の読解力を養う。スペイン語圏についての理解を深める。日本の社会や文化との比較の視点を持つこと。			
授業方法と留意点	授業計画はあくまで目安であり、履修生の読解力と関心に応じて、取り組むテーマおよび速度を変更することがある。小テストを行い、資料等も随時配布するが、欠席（妥当な理由を欠く）による再試験・再配布はしない。学習の当事者として自己管理を徹底するように。			
科目学習の効果（資格）				
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	イントロダクション	授業の進め方や評価基準について	-----
	2	チリ イースター島のモアイ像	読解	講読の予習 文法事項の確認、復習
	3	チリ イースター島のモアイ像 アルゼンチン 九千年前の「手の洞窟」	読解	講読の予習 文法事項の確認、復習
	4	アルゼンチン 九千年前の「手の洞窟」	読解	講読の予習 文法事項の確認、復習
	5	2 課の調整 まとめ（小テスト含む）	読解	講読の予習 文法事項の確認、復習
	6	ジブラルタル スペインの中のイギリス領	読解	講読の予習 文法事項の確認、復習
	7	ジブラルタル スペインの中のイギリス領 イビサ島 フェニキア人の到来	読解	講読の予習 文法事項の確認、復習
	8	イビサ島 フェニキア人の到来	読解	講読の予習 文法事項の確認、復習
	9	2 課の調整 まとめ（小テスト含む）	読解	講読の予習 文法事項の確認、復習
	10	ウユニ湖 空を映す巨大な鏡	読解	-----
	11	ウユニ湖 空を映す巨大な鏡 イサベルの恋 スペイン王国の誕生	読解	講読の予習 文法事項の確認、復習
	12	イサベルの恋 スペイン王国の誕生	読解	講読の予習 文法事項の確認、復習
	13	2 回の調整 まとめ（小テスト含む）	読解	講読の予習 文法事項の確認、復習
	14	今期の臨時試験	読解	文法事項の確認、復習
	15	まとめ	今期の総復習 テスト解説	文法事項の確認、復習
関連科目	スペイン語の全科目			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	基礎から学ぼう！ スペイン語 中級	西川 喬	朝日出版社
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法（基準）	受講態度・レポート・発表など 20%、試験（中間・臨時試験） 80%			
学生へのメッセージ	授業への積極的・主体的な参加を望む。 事前に教科書やプリントを必ず熟読し、授業に臨むこと。 日ごろから読書（言語を問わず、文脈のある文章）を習慣づけること。			
担当者の研究室等	7号館5階 安達研究室			
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約 15 時間。 プリント類は一度しか配布しない（他の受講生に頼んでコピーさせてもらうなどすること）。欠席などによる不利益を回避するよう努力を。 授業内で行う中間・臨時試験は、答案の返却時に答えの確認を行う。			

科目名	スペイン語講読Ⅰ	科目名（英文）	Spanish ReadingⅠ
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	藤井 嘉祥
ディプロマポリシー（DP）			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	直説法過去未来までの文法事項を再確認しつつ、その知識を駆使してスペイン語の長文読解の力を身につけ、同時に語彙力をさらに高めることを目指す。読解を通してスペイン語圏の知識もあわせて深める。																																																																		
到達目標	・スペイン語の文法知識が深まり、直説法に限定した長文の内容を正確に読み解くことができる。 ・中級程度の語彙を修得し、最小限の辞書の使用で比較的平易な新聞記事の内容が理解できる。																																																																		
授業方法と留意点	・予習として文法・語彙の練習問題、リスニング、ニュース記事の本文写しと和訳を指示に従ってやってくる。辞書を徹底的に使い、自力で訳すこと。 ・予習で作成した本文写しと和訳は毎回提出すること。 ・授業では文の構造と文と文のつながりを詳しく学ぶ。指示詞、代名詞、動詞の時制などの文法事項は質問するので、予習の段階でよく確認すること。 ・和訳の確認をグループワーク形式で行うこともある。 ・語彙力の強化のために、定期的に単語テストを行う。また6月にはボキャブラリ・コンテストを実施する。																																																																		
科目学習の効果（資格）	スペイン語検定5級～4級（4級合格には接続法の理解が必要です。）																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>イントロダクション</td><td>授業の概要説明と読解のための文の構造についての説明</td><td>教科書1課の文法問題、語彙の意味調べ、リスニングの穴埋めおよび『単語帳』pp.56-61の語彙を覚える（2時間）</td></tr> <tr> <td>2</td><td>1課 SNSと余暇（1）</td><td>文法（直説法現在と再帰動詞）および語彙の確認と発音練習</td><td>教科書1課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳および『単語帳』pp.56-61の語彙を覚える（2時間）</td></tr> <tr> <td>3</td><td>1課 SNSと余暇（2）</td><td>西文和訳</td><td>教科書1課の和訳の再確認、2課の文法問題、語彙の意味調べ、リスニングの穴埋めおよび『単語帳』pp.56-61の語彙を覚える（2時間）</td></tr> <tr> <td>4</td><td>2課 スペインテニス選手（1）</td><td>文法（gustarと不定詞）、語彙の確認、発音練習、単語テスト</td><td>教科書2課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳および『単語帳』pp.62-65の語彙を覚える（2時間）</td></tr> <tr> <td>5</td><td>2課 スペインテニス選手（2）</td><td>西文和訳</td><td>教科書2課の和訳の再確認、3課の文法問題、語彙の意味調べ、リスニングの穴埋めおよび『単語帳』pp.62-65の語彙を覚える（2時間）</td></tr> <tr> <td>6</td><td>3課 世界でもっとも古いレストラン（1）</td><td>文法（現在完了と点過去）および語彙の確認と発音練習、単語テスト</td><td>教科書3課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳および『単語帳』pp.66-71の語彙を覚える（2時間）</td></tr> <tr> <td>7</td><td>3課 世界でもっとも古いレストラン（2）</td><td>西文和訳</td><td>教科書3課の和訳の再確認および1～3課を総復習してテストに備える。（2時間）</td></tr> <tr> <td>8</td><td>1課～3課の中間テストおよび既習範囲の復習</td><td>既習の文法事項、語彙力、長文読解力の確認テストおよびテストの解説</td><td>テストの見直しおよび教科書4課の文法問題、語彙の意味調べ、リスニングの穴埋めおよび『単語帳』pp.66-71の語彙を覚える（2時間）</td></tr> <tr> <td>9</td><td>4課 ファッション（1）</td><td>文法（点過去と線過去）および語彙の確認と発音練習、単語テスト</td><td>教科書4課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳および『単語帳』pp.72-77の語彙を覚える（2時間）</td></tr> <tr> <td>10</td><td>4課 ファッション（2）</td><td>西文和訳</td><td>教科書4課の和訳の再確認、5課の文法問題、語彙の意味調べ、リスニングの穴埋めおよび『単語帳』pp.72-77の語彙を覚える（2時間）</td></tr> <tr> <td>11</td><td>5課 養子縁組（1）</td><td>文法（過去時制の使い分け）および語彙の確認と発音練習、単語テスト</td><td>教科書5課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳および『単語帳』pp.78-82の語彙を覚える（2時間）</td></tr> <tr> <td>12</td><td>5課 養子縁組（2）</td><td>西文和訳</td><td>教科書5課の和訳の再確認、6課の文法問題、語彙の意味調べ、リスニングの穴埋めおよび『単語帳』pp.78-82の語彙を覚える（2時間）</td></tr> <tr> <td>13</td><td>6課 風力発電（1）</td><td>文法（未来と過去未来）および語彙の確認と発音練習、単語テスト</td><td>教科書6課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2時間）</td></tr> <tr> <td>14</td><td>6課 風力発電（2）</td><td>西文和訳</td><td>教科書6課の和訳の再確認および4～6課を総復習してテストに備える。（2時間）</td></tr> <tr> <td>15</td><td>臨時試験および既習範囲の復習</td><td>既習の文法事項、語彙力、長文読解力の確認テストおよびテストの解説</td><td>テストの見直し、学習事項の理解度の自己点検（2時間）</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	イントロダクション	授業の概要説明と読解のための文の構造についての説明	教科書1課の文法問題、語彙の意味調べ、リスニングの穴埋めおよび『単語帳』pp.56-61の語彙を覚える（2時間）	2	1課 SNSと余暇（1）	文法（直説法現在と再帰動詞）および語彙の確認と発音練習	教科書1課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳および『単語帳』pp.56-61の語彙を覚える（2時間）	3	1課 SNSと余暇（2）	西文和訳	教科書1課の和訳の再確認、2課の文法問題、語彙の意味調べ、リスニングの穴埋めおよび『単語帳』pp.56-61の語彙を覚える（2時間）	4	2課 スペインテニス選手（1）	文法（gustarと不定詞）、語彙の確認、発音練習、単語テスト	教科書2課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳および『単語帳』pp.62-65の語彙を覚える（2時間）	5	2課 スペインテニス選手（2）	西文和訳	教科書2課の和訳の再確認、3課の文法問題、語彙の意味調べ、リスニングの穴埋めおよび『単語帳』pp.62-65の語彙を覚える（2時間）	6	3課 世界でもっとも古いレストラン（1）	文法（現在完了と点過去）および語彙の確認と発音練習、単語テスト	教科書3課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳および『単語帳』pp.66-71の語彙を覚える（2時間）	7	3課 世界でもっとも古いレストラン（2）	西文和訳	教科書3課の和訳の再確認および1～3課を総復習してテストに備える。（2時間）	8	1課～3課の中間テストおよび既習範囲の復習	既習の文法事項、語彙力、長文読解力の確認テストおよびテストの解説	テストの見直しおよび教科書4課の文法問題、語彙の意味調べ、リスニングの穴埋めおよび『単語帳』pp.66-71の語彙を覚える（2時間）	9	4課 ファッション（1）	文法（点過去と線過去）および語彙の確認と発音練習、単語テスト	教科書4課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳および『単語帳』pp.72-77の語彙を覚える（2時間）	10	4課 ファッション（2）	西文和訳	教科書4課の和訳の再確認、5課の文法問題、語彙の意味調べ、リスニングの穴埋めおよび『単語帳』pp.72-77の語彙を覚える（2時間）	11	5課 養子縁組（1）	文法（過去時制の使い分け）および語彙の確認と発音練習、単語テスト	教科書5課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳および『単語帳』pp.78-82の語彙を覚える（2時間）	12	5課 養子縁組（2）	西文和訳	教科書5課の和訳の再確認、6課の文法問題、語彙の意味調べ、リスニングの穴埋めおよび『単語帳』pp.78-82の語彙を覚える（2時間）	13	6課 風力発電（1）	文法（未来と過去未来）および語彙の確認と発音練習、単語テスト	教科書6課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2時間）	14	6課 風力発電（2）	西文和訳	教科書6課の和訳の再確認および4～6課を総復習してテストに備える。（2時間）	15	臨時試験および既習範囲の復習	既習の文法事項、語彙力、長文読解力の確認テストおよびテストの解説	テストの見直し、学習事項の理解度の自己点検（2時間）
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	イントロダクション	授業の概要説明と読解のための文の構造についての説明	教科書1課の文法問題、語彙の意味調べ、リスニングの穴埋めおよび『単語帳』pp.56-61の語彙を覚える（2時間）																																																																
2	1課 SNSと余暇（1）	文法（直説法現在と再帰動詞）および語彙の確認と発音練習	教科書1課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳および『単語帳』pp.56-61の語彙を覚える（2時間）																																																																
3	1課 SNSと余暇（2）	西文和訳	教科書1課の和訳の再確認、2課の文法問題、語彙の意味調べ、リスニングの穴埋めおよび『単語帳』pp.56-61の語彙を覚える（2時間）																																																																
4	2課 スペインテニス選手（1）	文法（gustarと不定詞）、語彙の確認、発音練習、単語テスト	教科書2課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳および『単語帳』pp.62-65の語彙を覚える（2時間）																																																																
5	2課 スペインテニス選手（2）	西文和訳	教科書2課の和訳の再確認、3課の文法問題、語彙の意味調べ、リスニングの穴埋めおよび『単語帳』pp.62-65の語彙を覚える（2時間）																																																																
6	3課 世界でもっとも古いレストラン（1）	文法（現在完了と点過去）および語彙の確認と発音練習、単語テスト	教科書3課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳および『単語帳』pp.66-71の語彙を覚える（2時間）																																																																
7	3課 世界でもっとも古いレストラン（2）	西文和訳	教科書3課の和訳の再確認および1～3課を総復習してテストに備える。（2時間）																																																																
8	1課～3課の中間テストおよび既習範囲の復習	既習の文法事項、語彙力、長文読解力の確認テストおよびテストの解説	テストの見直しおよび教科書4課の文法問題、語彙の意味調べ、リスニングの穴埋めおよび『単語帳』pp.66-71の語彙を覚える（2時間）																																																																
9	4課 ファッション（1）	文法（点過去と線過去）および語彙の確認と発音練習、単語テスト	教科書4課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳および『単語帳』pp.72-77の語彙を覚える（2時間）																																																																
10	4課 ファッション（2）	西文和訳	教科書4課の和訳の再確認、5課の文法問題、語彙の意味調べ、リスニングの穴埋めおよび『単語帳』pp.72-77の語彙を覚える（2時間）																																																																
11	5課 養子縁組（1）	文法（過去時制の使い分け）および語彙の確認と発音練習、単語テスト	教科書5課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳および『単語帳』pp.78-82の語彙を覚える（2時間）																																																																
12	5課 養子縁組（2）	西文和訳	教科書5課の和訳の再確認、6課の文法問題、語彙の意味調べ、リスニングの穴埋めおよび『単語帳』pp.78-82の語彙を覚える（2時間）																																																																
13	6課 風力発電（1）	文法（未来と過去未来）および語彙の確認と発音練習、単語テスト	教科書6課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2時間）																																																																
14	6課 風力発電（2）	西文和訳	教科書6課の和訳の再確認および4～6課を総復習してテストに備える。（2時間）																																																																
15	臨時試験および既習範囲の復習	既習の文法事項、語彙力、長文読解力の確認テストおよびテストの解説	テストの見直し、学習事項の理解度の自己点検（2時間）																																																																
関連科目	スペイン語オラルⅢ、スペイン語総合A・B、スペイン語文章構成Ⅰ																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>ニュースで学ぶ中級スペイン語（La noticia de hoy）</td><td>中島聡子ほか</td><td>三修社</td></tr> <tr> <td>2</td><td>書き込み式 スペイン語単語帳</td><td>藤井嘉祥ほか</td><td>朝日出版社</td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	ニュースで学ぶ中級スペイン語（La noticia de hoy）	中島聡子ほか	三修社	2	書き込み式 スペイン語単語帳	藤井嘉祥ほか	朝日出版社																																																				
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	ニュースで学ぶ中級スペイン語（La noticia de hoy）	中島聡子ほか	三修社																																																																
2	書き込み式 スペイン語単語帳	藤井嘉祥ほか	朝日出版社																																																																
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>西和中辞典</td><td>高垣敏博ほか</td><td>小学館</td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	西和中辞典	高垣敏博ほか	小学館																																																								
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	西和中辞典	高垣敏博ほか	小学館																																																																
評価方法（基準）	課題や提出物の状況10%、単語テスト20%（ボキャブラリ・コンテストを含む）、中間テスト30%、臨時試験40% 欠席や遅刻は減点となるので注意すること。 欠席が多い場合は学期末の臨時試験は受けられない。																																																																		
学生へのメッセージ	・授業には辞書を持参すること。既習の文法事項を見直ししながら、とにかく辞書を徹底的に使って自力で訳してください。 ・語彙の暗記も意識的に取り組んでください。根気よく継続すれば必ず内容の理解度と読むスピードは上がります。																																																																		
担当者の研究室等	7号館5階 藤井研究室																																																																		
備考	各回の事前・事後学習に要する総時間数は15時間を目安とする。 テストは返却時に解答の見直しを行う。臨時試験の返却と見直しは藤井研究室で行う。 ボキャブラリ・コンテスト（日程は未定）により授業進度が変更になる場合がある。																																																																		

科目名	スペイン語講読Ⅰ	科目名（英文）	Spanish ReadingⅠ
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	R
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	三浦 知佐子
ディプロマポリシー(DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	直説法過去未来までの文法事項を再確認しつつ、その知識を駆使してスペイン語の長文読解の力を身につけ、同時に語彙力をさらに高めることを目指す。読解を通してスペイン語圏の知識もあわせて深める。																																																																		
到達目標	・スペイン語の文法知識が深まり、直説法に限定した長文の内容を正確に読み解くことができる。 ・中級程度の語彙を修得し、最小限の辞書の使用で比較的平易な新聞記事の内容が理解できる。																																																																		
授業方法と留意点	・予習として文法・語彙の練習問題、リスニング、ニュース記事の本文写しと和訳を指示に従ってやってくる。辞書を徹底的に使い、自力で訳すこと。 ・予習で作成した本文写しと和訳は毎回提出すること。 ・授業では文の構造と文と文のつながりを詳しく学ぶ。指示詞、代名詞、動詞の時制などの文法事項は質問するので、予習の段階でよく確認すること。 ・和訳の確認をグループワーク形式で行うこともある。 ・語彙力の強化のために、定期的に単語テストを行う。また6月にはボキャブラリ・コンテストを実施する。																																																																		
科目学習の効果（資格）	スペイン語検定5級～4級（4級合格には接続法の理解が必要です。）																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>イントロダクション</td><td>授業の概要説明と読解のための文の構造についての説明</td><td>教科書1課の文法問題、語彙の意味調べ、リスニングの穴埋めおよび『単語帳』pp.56-61の語彙を覚える（2時間）</td></tr> <tr> <td>2</td><td>1課 SNSと余暇（1）</td><td>文法（直説法現在と再帰動詞）および語彙の確認と発音練習</td><td>教科書1課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳および『単語帳』pp.56-61の語彙を覚える（2時間）</td></tr> <tr> <td>3</td><td>1課 SNSと余暇（2）</td><td>西文和訳</td><td>教科書1課の和訳の再確認、2課の文法問題、語彙の意味調べ、リスニングの穴埋めおよび『単語帳』pp.56-61の語彙を覚える（2時間）</td></tr> <tr> <td>4</td><td>2課 スペインテニス選手（1）</td><td>文法（gustarと不定詞）、語彙の確認、発音練習、単語テスト</td><td>教科書2課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳および『単語帳』pp.62-65の語彙を覚える（2時間）</td></tr> <tr> <td>5</td><td>2課 スペインテニス選手（2）</td><td>西文和訳</td><td>教科書2課の和訳の再確認、3課の文法問題、語彙の意味調べ、リスニングの穴埋めおよび『単語帳』pp.62-65の語彙を覚える（2時間）</td></tr> <tr> <td>6</td><td>3課 世界でもっとも古いレストラン（1）</td><td>文法（現在完了と点過去）および語彙の確認と発音練習、単語テスト</td><td>教科書3課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳および『単語帳』pp.66-71の語彙を覚える（2時間）</td></tr> <tr> <td>7</td><td>3課 世界でもっとも古いレストラン（2）</td><td>西文和訳</td><td>教科書3課の和訳の再確認および1～3課を総復習してテストに備える。（2時間）</td></tr> <tr> <td>8</td><td>1課～3課の中間テストおよび既習範囲の復習</td><td>既習の文法事項、語彙力、長文読解力の確認テストおよびテストの解説</td><td>テストの見直しおよび教科書4課の文法問題、語彙の意味調べ、リスニングの穴埋めおよび『単語帳』pp.66-71の語彙を覚える（2時間）</td></tr> <tr> <td>9</td><td>4課 ファッション（1）</td><td>文法（点過去と線過去）および語彙の確認と発音練習、単語テスト</td><td>教科書4課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳および『単語帳』pp.72-77の語彙を覚える（2時間）</td></tr> <tr> <td>10</td><td>4課 ファッション（2）</td><td>西文和訳</td><td>教科書4課の和訳の再確認、5課の文法問題、語彙の意味調べ、リスニングの穴埋めおよび『単語帳』pp.72-77の語彙を覚える（2時間）</td></tr> <tr> <td>11</td><td>5課 養子縁組（1）</td><td>文法（過去時制の使い分け）および語彙の確認と発音練習、単語テスト</td><td>教科書5課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳および『単語帳』pp.78-82の語彙を覚える（2時間）</td></tr> <tr> <td>12</td><td>5課 養子縁組（2）</td><td>西文和訳</td><td>教科書5課の和訳の再確認、6課の文法問題、語彙の意味調べ、リスニングの穴埋めおよび『単語帳』pp.78-82の語彙を覚える（2時間）</td></tr> <tr> <td>13</td><td>6課 風力発電（1）</td><td>文法（未来と過去未来）および語彙の確認と発音練習、単語テスト</td><td>教科書6課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2時間）</td></tr> <tr> <td>14</td><td>6課 風力発電（2）</td><td>西文和訳</td><td>教科書6課の和訳の再確認および4～6課を総復習してテストに備える。（2時間）</td></tr> <tr> <td>15</td><td>臨時試験および既習範囲の復習</td><td>既習の文法事項、語彙力、長文読解力の確認テストおよびテストの解説</td><td>テストの見直し、学習事項の理解度の自己点検（2時間）</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	イントロダクション	授業の概要説明と読解のための文の構造についての説明	教科書1課の文法問題、語彙の意味調べ、リスニングの穴埋めおよび『単語帳』pp.56-61の語彙を覚える（2時間）	2	1課 SNSと余暇（1）	文法（直説法現在と再帰動詞）および語彙の確認と発音練習	教科書1課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳および『単語帳』pp.56-61の語彙を覚える（2時間）	3	1課 SNSと余暇（2）	西文和訳	教科書1課の和訳の再確認、2課の文法問題、語彙の意味調べ、リスニングの穴埋めおよび『単語帳』pp.56-61の語彙を覚える（2時間）	4	2課 スペインテニス選手（1）	文法（gustarと不定詞）、語彙の確認、発音練習、単語テスト	教科書2課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳および『単語帳』pp.62-65の語彙を覚える（2時間）	5	2課 スペインテニス選手（2）	西文和訳	教科書2課の和訳の再確認、3課の文法問題、語彙の意味調べ、リスニングの穴埋めおよび『単語帳』pp.62-65の語彙を覚える（2時間）	6	3課 世界でもっとも古いレストラン（1）	文法（現在完了と点過去）および語彙の確認と発音練習、単語テスト	教科書3課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳および『単語帳』pp.66-71の語彙を覚える（2時間）	7	3課 世界でもっとも古いレストラン（2）	西文和訳	教科書3課の和訳の再確認および1～3課を総復習してテストに備える。（2時間）	8	1課～3課の中間テストおよび既習範囲の復習	既習の文法事項、語彙力、長文読解力の確認テストおよびテストの解説	テストの見直しおよび教科書4課の文法問題、語彙の意味調べ、リスニングの穴埋めおよび『単語帳』pp.66-71の語彙を覚える（2時間）	9	4課 ファッション（1）	文法（点過去と線過去）および語彙の確認と発音練習、単語テスト	教科書4課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳および『単語帳』pp.72-77の語彙を覚える（2時間）	10	4課 ファッション（2）	西文和訳	教科書4課の和訳の再確認、5課の文法問題、語彙の意味調べ、リスニングの穴埋めおよび『単語帳』pp.72-77の語彙を覚える（2時間）	11	5課 養子縁組（1）	文法（過去時制の使い分け）および語彙の確認と発音練習、単語テスト	教科書5課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳および『単語帳』pp.78-82の語彙を覚える（2時間）	12	5課 養子縁組（2）	西文和訳	教科書5課の和訳の再確認、6課の文法問題、語彙の意味調べ、リスニングの穴埋めおよび『単語帳』pp.78-82の語彙を覚える（2時間）	13	6課 風力発電（1）	文法（未来と過去未来）および語彙の確認と発音練習、単語テスト	教科書6課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2時間）	14	6課 風力発電（2）	西文和訳	教科書6課の和訳の再確認および4～6課を総復習してテストに備える。（2時間）	15	臨時試験および既習範囲の復習	既習の文法事項、語彙力、長文読解力の確認テストおよびテストの解説	テストの見直し、学習事項の理解度の自己点検（2時間）
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	イントロダクション	授業の概要説明と読解のための文の構造についての説明	教科書1課の文法問題、語彙の意味調べ、リスニングの穴埋めおよび『単語帳』pp.56-61の語彙を覚える（2時間）																																																																
2	1課 SNSと余暇（1）	文法（直説法現在と再帰動詞）および語彙の確認と発音練習	教科書1課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳および『単語帳』pp.56-61の語彙を覚える（2時間）																																																																
3	1課 SNSと余暇（2）	西文和訳	教科書1課の和訳の再確認、2課の文法問題、語彙の意味調べ、リスニングの穴埋めおよび『単語帳』pp.56-61の語彙を覚える（2時間）																																																																
4	2課 スペインテニス選手（1）	文法（gustarと不定詞）、語彙の確認、発音練習、単語テスト	教科書2課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳および『単語帳』pp.62-65の語彙を覚える（2時間）																																																																
5	2課 スペインテニス選手（2）	西文和訳	教科書2課の和訳の再確認、3課の文法問題、語彙の意味調べ、リスニングの穴埋めおよび『単語帳』pp.62-65の語彙を覚える（2時間）																																																																
6	3課 世界でもっとも古いレストラン（1）	文法（現在完了と点過去）および語彙の確認と発音練習、単語テスト	教科書3課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳および『単語帳』pp.66-71の語彙を覚える（2時間）																																																																
7	3課 世界でもっとも古いレストラン（2）	西文和訳	教科書3課の和訳の再確認および1～3課を総復習してテストに備える。（2時間）																																																																
8	1課～3課の中間テストおよび既習範囲の復習	既習の文法事項、語彙力、長文読解力の確認テストおよびテストの解説	テストの見直しおよび教科書4課の文法問題、語彙の意味調べ、リスニングの穴埋めおよび『単語帳』pp.66-71の語彙を覚える（2時間）																																																																
9	4課 ファッション（1）	文法（点過去と線過去）および語彙の確認と発音練習、単語テスト	教科書4課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳および『単語帳』pp.72-77の語彙を覚える（2時間）																																																																
10	4課 ファッション（2）	西文和訳	教科書4課の和訳の再確認、5課の文法問題、語彙の意味調べ、リスニングの穴埋めおよび『単語帳』pp.72-77の語彙を覚える（2時間）																																																																
11	5課 養子縁組（1）	文法（過去時制の使い分け）および語彙の確認と発音練習、単語テスト	教科書5課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳および『単語帳』pp.78-82の語彙を覚える（2時間）																																																																
12	5課 養子縁組（2）	西文和訳	教科書5課の和訳の再確認、6課の文法問題、語彙の意味調べ、リスニングの穴埋めおよび『単語帳』pp.78-82の語彙を覚える（2時間）																																																																
13	6課 風力発電（1）	文法（未来と過去未来）および語彙の確認と発音練習、単語テスト	教科書6課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2時間）																																																																
14	6課 風力発電（2）	西文和訳	教科書6課の和訳の再確認および4～6課を総復習してテストに備える。（2時間）																																																																
15	臨時試験および既習範囲の復習	既習の文法事項、語彙力、長文読解力の確認テストおよびテストの解説	テストの見直し、学習事項の理解度の自己点検（2時間）																																																																
関連科目	スペイン語オラルⅢ、スペイン語総合A・B、スペイン語文章構成Ⅰ																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>ニュースで学ぶ中級スペイン語（La noticia de hoy）</td><td>中島聡子ほか</td><td>三修社</td></tr> <tr> <td>2</td><td>書き込み式 スペイン語単語帳</td><td>藤井嘉祥ほか</td><td>朝日出版社</td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	ニュースで学ぶ中級スペイン語（La noticia de hoy）	中島聡子ほか	三修社	2	書き込み式 スペイン語単語帳	藤井嘉祥ほか	朝日出版社																																																				
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	ニュースで学ぶ中級スペイン語（La noticia de hoy）	中島聡子ほか	三修社																																																																
2	書き込み式 スペイン語単語帳	藤井嘉祥ほか	朝日出版社																																																																
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>西和中辞典</td><td>高垣敏博ほか</td><td>小学館</td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	西和中辞典	高垣敏博ほか	小学館																																																								
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	西和中辞典	高垣敏博ほか	小学館																																																																
評価方法（基準）	課題や提出物の状況10%、単語テスト20%（ボキャブラリ・コンテストを含む）、中間テスト30%、臨時試験40% 欠席や遅刻は減点となるので注意すること。 欠席が多い場合は学期末の臨時試験は受けられない。																																																																		
学生へのメッセージ	・授業には辞書を持参すること。既習の文法事項を見直ししながら、とにかく辞書を徹底的に使って自力で訳してください。 ・語彙の暗記も意識的に取り組んでください。根気よく継続すれば必ず内容の理解度と読むスピードは上がります。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師控室																																																																		
備考	各回の事前・事後学習に要する総時間数は約30時間を目安とする。 テストは返却時に解答の見直しを行う。臨時試験の返却と見直しは藤井研究室で行う。 ボキャブラリ・コンテスト（日程は未定）により授業進度が変更になる場合がある。																																																																		

科目名	スペイン語講読Ⅱ	科目名（英文）	Spanish Reading II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	三浦 知佐子
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	接続法を中心に文法事項を再確認しつつ、その知識を駆使してスペイン語の長文読解の力を身につけ、同時に語彙力をさらに高めることを目指す。読解を通してスペイン語圏の知識もあわせて深める。																																																																		
到達目標	・スペイン語の文法知識が深まり、接続法を含む長文の内容を正確に読み解くことができる。 ・中級程度から一部の専門的な語彙を修得し、最小限の辞書の使用で難易度の高い新聞記事の内容が理解できる。																																																																		
授業方法と留意点	・予習として文法・語彙の練習問題、リスニング、ニュース記事の本文写しと和訳を指示に従ってやってくる。辞書を徹底的に使い、自力で訳すこと。 ・予習で作成した本文写しと和訳は毎回提出すること。 ・授業では文の構造と文と文のつながりを詳しく学ぶ。指示詞、代名詞、動詞の時制などの文法事項は質問するので、予習の段階でよく確認すること。 ・和訳の確認をグループワーク形式で行うこともある。 ・語彙力の強化のために、定期的に単語テストを行う。																																																																		
科目学習の効果（資格）	スペイン語検定 4 級～3 級（3 級の語彙は難易度が高いが挑戦して欲しい。）																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>8 課 エラスムス留学制度 (1)</td><td>文法（比較級）と語彙の確認と発音練習</td><td>教科書 8 課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2 時間）</td></tr> <tr> <td>2</td><td>8 課 エラスムス留学制度 (2)</td><td>西文和訳</td><td>教科書 8 課の和訳の確認、9 課の文法問題、語彙の意味調べ（2 時間）</td></tr> <tr> <td>3</td><td>9 課 ホンジュラスの交番 (1)</td><td>文法（名詞節・副詞節での接続法）と語彙の確認と発音練習</td><td>教科書 9 課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2 時間）</td></tr> <tr> <td>4</td><td>9 課 ホンジュラスの交番 (2)</td><td>西文和訳</td><td>教科書 9 課の和訳の確認、10 課の文法問題、語彙の意味調べおよび 8～9 課の語彙の暗記（2 時間）</td></tr> <tr> <td>5</td><td>10 課 スペインの観光政策 (1)</td><td>文法（形容詞節での接続法）と語彙の確認と発音練習、単語テスト</td><td>教科書 10 課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2 時間）</td></tr> <tr> <td>6</td><td>10 課 スペインの観光政策 (2)</td><td>西文和訳</td><td>教科書 10 課の和訳の確認、8～10 課を総復習しテストに備える（2 時間）</td></tr> <tr> <td>7</td><td>8 課～10 課の中間および既習範囲の復習</td><td>既習の文法事項、語彙力、長文読解力の確認テストおよび読解の要点の解説</td><td>テストの見直し、11 課の文法問題、語彙の意味調べ（2 時間）</td></tr> <tr> <td>8</td><td>11 課 移民 (1)</td><td>文法（名詞節・副詞節での接続法）と語彙の確認と発音練習</td><td>教科書 11 課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2 時間）</td></tr> <tr> <td>9</td><td>11 課 移民 (2)</td><td>西文和訳</td><td>教科書 11 課の和訳の確認、12 課の文法問題、語彙の意味調べおよび 10～11 課の語彙の暗記（2 時間）</td></tr> <tr> <td>10</td><td>12 課 闘牛反対運動 (1)</td><td>文法（接続法現在全般）と語彙の確認と発音練習、単語テスト</td><td>教科書 12 課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2 時間）</td></tr> <tr> <td>11</td><td>12 課 闘牛反対運動 (2)</td><td>西文和訳</td><td>教科書 12 課の和訳の確認、13 課の文法問題、語彙の意味調べ（2 時間）</td></tr> <tr> <td>12</td><td>13 課 バレンシアの祭り (1)</td><td>文法（接続法過去）と語彙の確認と発音練習</td><td>教科書 13 課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2 時間）</td></tr> <tr> <td>13</td><td>13 課 バレンシアの祭り (2)</td><td>西文和訳</td><td>教科書 13 課の和訳の確認と 14 課の記事の本文写しと和訳および 13～14 課の語彙の暗記（2 時間）</td></tr> <tr> <td>14</td><td>14 課 アカデミア辞書の改訂</td><td>文法（条件文）と西文和訳、単語テスト</td><td>14 課の和訳の確認および 11 課～14 課を総復習し臨時試験に備える。（2 時間）</td></tr> <tr> <td>15</td><td>臨時試験および既習範囲の復習</td><td>既習の文法事項、語彙力、長文読解力の確認および読解の要点の解説</td><td>テストの見直し、学習事項の理解度の点検（2 時間）</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	8 課 エラスムス留学制度 (1)	文法（比較級）と語彙の確認と発音練習	教科書 8 課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2 時間）	2	8 課 エラスムス留学制度 (2)	西文和訳	教科書 8 課の和訳の確認、9 課の文法問題、語彙の意味調べ（2 時間）	3	9 課 ホンジュラスの交番 (1)	文法（名詞節・副詞節での接続法）と語彙の確認と発音練習	教科書 9 課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2 時間）	4	9 課 ホンジュラスの交番 (2)	西文和訳	教科書 9 課の和訳の確認、10 課の文法問題、語彙の意味調べおよび 8～9 課の語彙の暗記（2 時間）	5	10 課 スペインの観光政策 (1)	文法（形容詞節での接続法）と語彙の確認と発音練習、単語テスト	教科書 10 課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2 時間）	6	10 課 スペインの観光政策 (2)	西文和訳	教科書 10 課の和訳の確認、8～10 課を総復習しテストに備える（2 時間）	7	8 課～10 課の中間および既習範囲の復習	既習の文法事項、語彙力、長文読解力の確認テストおよび読解の要点の解説	テストの見直し、11 課の文法問題、語彙の意味調べ（2 時間）	8	11 課 移民 (1)	文法（名詞節・副詞節での接続法）と語彙の確認と発音練習	教科書 11 課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2 時間）	9	11 課 移民 (2)	西文和訳	教科書 11 課の和訳の確認、12 課の文法問題、語彙の意味調べおよび 10～11 課の語彙の暗記（2 時間）	10	12 課 闘牛反対運動 (1)	文法（接続法現在全般）と語彙の確認と発音練習、単語テスト	教科書 12 課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2 時間）	11	12 課 闘牛反対運動 (2)	西文和訳	教科書 12 課の和訳の確認、13 課の文法問題、語彙の意味調べ（2 時間）	12	13 課 バレンシアの祭り (1)	文法（接続法過去）と語彙の確認と発音練習	教科書 13 課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2 時間）	13	13 課 バレンシアの祭り (2)	西文和訳	教科書 13 課の和訳の確認と 14 課の記事の本文写しと和訳および 13～14 課の語彙の暗記（2 時間）	14	14 課 アカデミア辞書の改訂	文法（条件文）と西文和訳、単語テスト	14 課の和訳の確認および 11 課～14 課を総復習し臨時試験に備える。（2 時間）	15	臨時試験および既習範囲の復習	既習の文法事項、語彙力、長文読解力の確認および読解の要点の解説	テストの見直し、学習事項の理解度の点検（2 時間）
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	8 課 エラスムス留学制度 (1)	文法（比較級）と語彙の確認と発音練習	教科書 8 課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2 時間）																																																																
2	8 課 エラスムス留学制度 (2)	西文和訳	教科書 8 課の和訳の確認、9 課の文法問題、語彙の意味調べ（2 時間）																																																																
3	9 課 ホンジュラスの交番 (1)	文法（名詞節・副詞節での接続法）と語彙の確認と発音練習	教科書 9 課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2 時間）																																																																
4	9 課 ホンジュラスの交番 (2)	西文和訳	教科書 9 課の和訳の確認、10 課の文法問題、語彙の意味調べおよび 8～9 課の語彙の暗記（2 時間）																																																																
5	10 課 スペインの観光政策 (1)	文法（形容詞節での接続法）と語彙の確認と発音練習、単語テスト	教科書 10 課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2 時間）																																																																
6	10 課 スペインの観光政策 (2)	西文和訳	教科書 10 課の和訳の確認、8～10 課を総復習しテストに備える（2 時間）																																																																
7	8 課～10 課の中間および既習範囲の復習	既習の文法事項、語彙力、長文読解力の確認テストおよび読解の要点の解説	テストの見直し、11 課の文法問題、語彙の意味調べ（2 時間）																																																																
8	11 課 移民 (1)	文法（名詞節・副詞節での接続法）と語彙の確認と発音練習	教科書 11 課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2 時間）																																																																
9	11 課 移民 (2)	西文和訳	教科書 11 課の和訳の確認、12 課の文法問題、語彙の意味調べおよび 10～11 課の語彙の暗記（2 時間）																																																																
10	12 課 闘牛反対運動 (1)	文法（接続法現在全般）と語彙の確認と発音練習、単語テスト	教科書 12 課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2 時間）																																																																
11	12 課 闘牛反対運動 (2)	西文和訳	教科書 12 課の和訳の確認、13 課の文法問題、語彙の意味調べ（2 時間）																																																																
12	13 課 バレンシアの祭り (1)	文法（接続法過去）と語彙の確認と発音練習	教科書 13 課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2 時間）																																																																
13	13 課 バレンシアの祭り (2)	西文和訳	教科書 13 課の和訳の確認と 14 課の記事の本文写しと和訳および 13～14 課の語彙の暗記（2 時間）																																																																
14	14 課 アカデミア辞書の改訂	文法（条件文）と西文和訳、単語テスト	14 課の和訳の確認および 11 課～14 課を総復習し臨時試験に備える。（2 時間）																																																																
15	臨時試験および既習範囲の復習	既習の文法事項、語彙力、長文読解力の確認および読解の要点の解説	テストの見直し、学習事項の理解度の点検（2 時間）																																																																
関連科目	スペイン語オラルⅣ、スペイン語文章構成Ⅱ、スペイン語トピックス、映画のスペイン語Ⅰ																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>ニュースで学ぶ中級スペイン語（La noticia de hoy）</td><td>中島聡子ほか</td><td>三修社</td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	ニュースで学ぶ中級スペイン語（La noticia de hoy）	中島聡子ほか	三修社	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	ニュースで学ぶ中級スペイン語（La noticia de hoy）	中島聡子ほか	三修社																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>西和中辞典</td><td>高垣敏博ほか</td><td>小学館</td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	西和中辞典	高垣敏博ほか	小学館	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	西和中辞典	高垣敏博ほか	小学館																																																																
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	課題や提出物の状況 10%、単語テスト 20%、中間テスト 30%、臨時試験 40% 欠席や遅刻は減点となる。 欠席が多い場合は学期末の臨時試験を受けられない。																																																																		
学生へのメッセージ	・授業には辞書を持参すること。既習の文法事項を見直ししながら、とにかく辞書を徹底的に使って自力で訳してください。 ・語彙の暗記も意識的に取り組んでください。根気よく継続すれば必ず内容の理解度と読むスピードは上がります。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師控室																																																																		
備考	・各回とも事前・事後学習に要する総時間数は約 15 時間。 ・テストは返却時に解答の見直しを行う。臨時試験の返却と見直しは藤井研究室で行う。 ・スペイン語検定 4 級対策のために授業進度が変更になる場合がある。 ・毎回の授業の始めに、前回の学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。																																																																		

科目名	スペイン語講読Ⅱ	科目名（英文）	Spanish Reading II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	R
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	藤井 嘉祥
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	接続法を中心に文法事項を再確認しつつ、その知識を駆使してスペイン語の長文読解の力を身につけ、同時に語彙力をさらに高めることを目指す。読解を通してスペイン語圏の知識もあわせて深める。																																																																		
到達目標	・スペイン語の文法知識が深まり、接続法を含む長文の内容を正確に読み解くことができる。 ・中級程度から一部の専門的な語彙を修得し、最小限の辞書の使用で難易度の高い新聞記事の内容が理解できる。																																																																		
授業方法と留意点	・予習として文法・語彙の練習問題、リスニング、ニュース記事の本文写しと和訳を指示に従ってやってくる。辞書を徹底的に使い、自力で訳すこと。 ・予習で作成した本文写しと和訳は毎回提出すること。 ・授業では文の構造と文と文のつながりを詳しく学ぶ。指示詞、代名詞、動詞の時制などの文法事項は質問するので、予習の段階でよく確認すること。 ・和訳の確認をグループワーク形式で行うこともある。 ・語彙力の強化のために、定期的に単語テストを行う。																																																																		
科目学習の効果（資格）	スペイン語検定 4 級～3 級（3 級の語彙は難易度が高いが挑戦して欲しい。）																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>8 課 エラスムス留学制度 (1)</td><td>文法（比較級）と語彙の確認と発音練習</td><td>教科書 8 課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2 時間）</td></tr> <tr> <td>2</td><td>8 課 エラスムス留学制度 (2)</td><td>西文和訳</td><td>教科書 8 課の和訳の確認、9 課の文法問題、語彙の意味調べ（2 時間）</td></tr> <tr> <td>3</td><td>9 課 ホンジュラスの交番 (1)</td><td>文法（名詞節・副詞節での接続法）と語彙の確認と発音練習</td><td>教科書 9 課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2 時間）</td></tr> <tr> <td>4</td><td>9 課 ホンジュラスの交番 (2)</td><td>西文和訳</td><td>教科書 9 課の和訳の確認、10 課の文法問題、語彙の意味調べおよび 8～9 課の語彙の暗記（2 時間）</td></tr> <tr> <td>5</td><td>10 課 スペインの観光政策 (1)</td><td>文法（形容詞節での接続法）と語彙の確認と発音練習、単語テスト</td><td>教科書 10 課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2 時間）</td></tr> <tr> <td>6</td><td>10 課 スペインの観光政策 (2)</td><td>西文和訳</td><td>教科書 10 課の和訳の確認、8～10 課を総復習しテストに備える（2 時間）</td></tr> <tr> <td>7</td><td>8 課～10 課の中間および既習範囲の復習</td><td>既習の文法事項、語彙力、長文読解力の確認テストおよび読解の要点の解説</td><td>テストの見直し、11 課の文法問題、語彙の意味調べ（2 時間）</td></tr> <tr> <td>8</td><td>11 課 移民 (1)</td><td>文法（名詞節・副詞節での接続法）と語彙の確認と発音練習</td><td>教科書 11 課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2 時間）</td></tr> <tr> <td>9</td><td>11 課 移民 (2)</td><td>西文和訳</td><td>教科書 11 課の和訳の確認、12 課の文法問題、語彙の意味調べおよび 10～11 課の語彙の暗記（2 時間）</td></tr> <tr> <td>10</td><td>12 課 闘牛反対運動 (1)</td><td>文法（接続法現在全般）と語彙の確認と発音練習、単語テスト</td><td>教科書 12 課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2 時間）</td></tr> <tr> <td>11</td><td>12 課 闘牛反対運動 (2)</td><td>西文和訳</td><td>教科書 12 課の和訳の確認、13 課の文法問題、語彙の意味調べ（2 時間）</td></tr> <tr> <td>12</td><td>13 課 バレンシアの祭り (1)</td><td>文法（接続法過去）と語彙の確認と発音練習</td><td>教科書 13 課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2 時間）</td></tr> <tr> <td>13</td><td>13 課 バレンシアの祭り (2)</td><td>西文和訳</td><td>教科書 13 課の和訳の確認と 14 課の記事の本文写しと和訳および 13～14 課の語彙の暗記（2 時間）</td></tr> <tr> <td>14</td><td>14 課 アカデミア辞書の改訂</td><td>文法（条件文）と西文和訳、単語テスト</td><td>14 課の和訳の確認および 11 課～14 課を総復習し臨時試験に備える。（2 時間）</td></tr> <tr> <td>15</td><td>臨時試験および既習範囲の復習</td><td>既習の文法事項、語彙力、長文読解力の臨時試験および読解の要点の解説</td><td>テストの見直し、学習事項の理解度の点検（2 時間）</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	8 課 エラスムス留学制度 (1)	文法（比較級）と語彙の確認と発音練習	教科書 8 課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2 時間）	2	8 課 エラスムス留学制度 (2)	西文和訳	教科書 8 課の和訳の確認、9 課の文法問題、語彙の意味調べ（2 時間）	3	9 課 ホンジュラスの交番 (1)	文法（名詞節・副詞節での接続法）と語彙の確認と発音練習	教科書 9 課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2 時間）	4	9 課 ホンジュラスの交番 (2)	西文和訳	教科書 9 課の和訳の確認、10 課の文法問題、語彙の意味調べおよび 8～9 課の語彙の暗記（2 時間）	5	10 課 スペインの観光政策 (1)	文法（形容詞節での接続法）と語彙の確認と発音練習、単語テスト	教科書 10 課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2 時間）	6	10 課 スペインの観光政策 (2)	西文和訳	教科書 10 課の和訳の確認、8～10 課を総復習しテストに備える（2 時間）	7	8 課～10 課の中間および既習範囲の復習	既習の文法事項、語彙力、長文読解力の確認テストおよび読解の要点の解説	テストの見直し、11 課の文法問題、語彙の意味調べ（2 時間）	8	11 課 移民 (1)	文法（名詞節・副詞節での接続法）と語彙の確認と発音練習	教科書 11 課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2 時間）	9	11 課 移民 (2)	西文和訳	教科書 11 課の和訳の確認、12 課の文法問題、語彙の意味調べおよび 10～11 課の語彙の暗記（2 時間）	10	12 課 闘牛反対運動 (1)	文法（接続法現在全般）と語彙の確認と発音練習、単語テスト	教科書 12 課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2 時間）	11	12 課 闘牛反対運動 (2)	西文和訳	教科書 12 課の和訳の確認、13 課の文法問題、語彙の意味調べ（2 時間）	12	13 課 バレンシアの祭り (1)	文法（接続法過去）と語彙の確認と発音練習	教科書 13 課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2 時間）	13	13 課 バレンシアの祭り (2)	西文和訳	教科書 13 課の和訳の確認と 14 課の記事の本文写しと和訳および 13～14 課の語彙の暗記（2 時間）	14	14 課 アカデミア辞書の改訂	文法（条件文）と西文和訳、単語テスト	14 課の和訳の確認および 11 課～14 課を総復習し臨時試験に備える。（2 時間）	15	臨時試験および既習範囲の復習	既習の文法事項、語彙力、長文読解力の臨時試験および読解の要点の解説	テストの見直し、学習事項の理解度の点検（2 時間）
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	8 課 エラスムス留学制度 (1)	文法（比較級）と語彙の確認と発音練習	教科書 8 課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2 時間）																																																																
2	8 課 エラスムス留学制度 (2)	西文和訳	教科書 8 課の和訳の確認、9 課の文法問題、語彙の意味調べ（2 時間）																																																																
3	9 課 ホンジュラスの交番 (1)	文法（名詞節・副詞節での接続法）と語彙の確認と発音練習	教科書 9 課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2 時間）																																																																
4	9 課 ホンジュラスの交番 (2)	西文和訳	教科書 9 課の和訳の確認、10 課の文法問題、語彙の意味調べおよび 8～9 課の語彙の暗記（2 時間）																																																																
5	10 課 スペインの観光政策 (1)	文法（形容詞節での接続法）と語彙の確認と発音練習、単語テスト	教科書 10 課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2 時間）																																																																
6	10 課 スペインの観光政策 (2)	西文和訳	教科書 10 課の和訳の確認、8～10 課を総復習しテストに備える（2 時間）																																																																
7	8 課～10 課の中間および既習範囲の復習	既習の文法事項、語彙力、長文読解力の確認テストおよび読解の要点の解説	テストの見直し、11 課の文法問題、語彙の意味調べ（2 時間）																																																																
8	11 課 移民 (1)	文法（名詞節・副詞節での接続法）と語彙の確認と発音練習	教科書 11 課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2 時間）																																																																
9	11 課 移民 (2)	西文和訳	教科書 11 課の和訳の確認、12 課の文法問題、語彙の意味調べおよび 10～11 課の語彙の暗記（2 時間）																																																																
10	12 課 闘牛反対運動 (1)	文法（接続法現在全般）と語彙の確認と発音練習、単語テスト	教科書 12 課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2 時間）																																																																
11	12 課 闘牛反対運動 (2)	西文和訳	教科書 12 課の和訳の確認、13 課の文法問題、語彙の意味調べ（2 時間）																																																																
12	13 課 バレンシアの祭り (1)	文法（接続法過去）と語彙の確認と発音練習	教科書 13 課の語彙の暗記、記事の本文写しと和訳（2 時間）																																																																
13	13 課 バレンシアの祭り (2)	西文和訳	教科書 13 課の和訳の確認と 14 課の記事の本文写しと和訳および 13～14 課の語彙の暗記（2 時間）																																																																
14	14 課 アカデミア辞書の改訂	文法（条件文）と西文和訳、単語テスト	14 課の和訳の確認および 11 課～14 課を総復習し臨時試験に備える。（2 時間）																																																																
15	臨時試験および既習範囲の復習	既習の文法事項、語彙力、長文読解力の臨時試験および読解の要点の解説	テストの見直し、学習事項の理解度の点検（2 時間）																																																																
関連科目	スペイン語オラルⅣ、スペイン語文章構成Ⅱ、スペイン語トピックス、映画のスペイン語Ⅰ																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>ニュースで学ぶ中級スペイン語（La noticia de hoy）</td><td>中島聡子ほか</td><td>三修社</td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	ニュースで学ぶ中級スペイン語（La noticia de hoy）	中島聡子ほか	三修社	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	ニュースで学ぶ中級スペイン語（La noticia de hoy）	中島聡子ほか	三修社																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>西和中辞典</td><td>高垣敏博ほか</td><td>小学館</td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	西和中辞典	高垣敏博ほか	小学館	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	西和中辞典	高垣敏博ほか	小学館																																																																
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	課題や提出物の状況 10%、単語テスト 20%、中間テスト 30%、臨時試験 40% 欠席や遅刻は減点となる。 欠席が多い場合は学期末の臨時試験を受けられない。																																																																		
学生へのメッセージ	・授業には辞書を持参すること。既習の文法事項を見直ししながら、とにかく辞書を徹底的に使って自力で訳してください。 ・語彙の暗記も意識的に取り組んでください。根気よく継続すれば必ず内容の理解度と読むスピードは上がります。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 5 階 藤井研究室																																																																		
備考	・各回とも事前・事後学習に要する総時間数は約 15 時間。 ・テストは返却時に解答の見直しを行う。臨時試験の返却と見直しは藤井研究室で行う。 ・スペイン語検定 4 級対策のために授業進度が変更になる場合がある。																																																																		

科目名	スペイン語総合A	科目名（英文）	Integrated Spanish Skills A
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	北條 ゆかり
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL2093e0		

授業概要・目的	・1年次の「スペイン語入門・基礎」の続編。1年次に学んだ文法項目を再確認しつつ、接続法の活用と用法を修得することによって、スペイン語文法をひととおり理解する。 ・「総合A」と「総合B」はリレー形式で進めていくので、必ず両方を履修すること。 ・随時、語句テストおよび中間試験を実施する。
到達目標	基礎的な文法事項の反復練習を行い定着を図る。命令形と接続法を中心とする文法事項を修得する。
授業方法と留意点	文法解説の後、様々な練習問題をこなし、知識の定着を目指す。総合AとBはリレー形式で進むので、必ずどちらとも履修すること。 ボキャブラリーコンテストを授業内で実施する予定。予習復習を前提に講義は進行する（配布物の管理をきちんと行うこと）。 授業計画、予定はあくまで目安であり、習熟度により変更し得る。
科目学習の効果（資格）	スペイン語検定 5級～4級

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	1 年次での学修内容の復習（1） 第 1～2 課	直説法現在の活用、人称代名詞、直説法点過去・線過去、現在分詞・過去分詞、直説法現在完了	教科書 2-8 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 13 課までを参照するとよい。
	2	1 年次での学修内容の復習（2） 第 2～3 課	直説法現在完了、点過去、線過去の練習問題、直説法未来の活用と用法	教科書 9-13 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 10 課から 15 課を参照するとよい。
	3	接続法現在の活用と用法 第 4 課	接続法現在規則活用、不規則活用 (a)、名詞節の中の接続法 (a: 願望)	教科書 14-17 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 17 課を参照するとよい。
	4	接続法現在の活用と用法 第 5 課	接続法現在不規則活用 (b)、名詞節の中の接続法 (b: 命令・要求)、形容詞節の中の接続法	教科書 18-21 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 17・18 課を参照するとよい。
	5	接続法現在の活用と用法 第 6 課	接続法現在不規則活用 (c)、副詞節の中の接続法 (a)、同 (b)	教科書 22-25 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 17・18 課を参照するとよい。
	6	中間試験 1 命令法 第 7 課	接続法現在の活用と用法に関する理解度確認 命令形: 肯定命令	教科書 26-28 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 19 課を参照するとよい。
	7	命令法 第 7 課、第 8 課	命令形: 否定命令、	教科書 29-33 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 19 課を参照するとよい。
	8	ボキャブラリー・コンテスト 接続法過去の活用と用法 第 8 課	中級程度の語彙力を判定 接続法過去の活用と用法	語彙力試験の出題範囲を身に着けておく。 教科書 14-17 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 18 課を参照するとよい。
	9	命令文の小テスト 直説法過去未来 第 9 課	肯定・否定命令の理解度確認 直説法過去未来の活用と用法 (現在の事実に対する仮定文)	教科書 34-37 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 16・20 課を参照するとよい。
	10	直説法未来完了と接続法現在完了 第 10 課	直説法未来完了の活用と用法、接続法現在完了の活用と用法	教科書 38-41 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 15・20 課を参照するとよい。
	11	直説法点過去・線過去と接続法過去 第 11 課	直説法点過去・線過去の再確認、como si + 接続法過去の用法	教科書 42-45 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 11～13・18 課を参照するとよい。
	12	中間試験 2 直説法過去完了 第 12 課	接続法過去、現在完了の理解度確認、直説法過去完了の再確認	教科書 46-49 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 13 課を参照するとよい。
	13	直説法過去未来完了と接続法過去完了 第 13 課	直説法過去未来完了の活用と用法の再確認、接続法過去完了の活用と用法 (過去の事実に対する仮定文)	教科書 50-53 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 16・20 課を参照するとよい。
	14	直説法過去未来完了と接続法過去完了 第 14 課	直説法過去未来完了の用法 (過去完了の推量)、接続法過去完了の用法 (時制の一致)、願望文で用いる接続法過去	教科書 54-57 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 16・20 課を参照するとよい。
	15	臨時試験 接続法の総括	接続法の各時制を直説法のそれと正しく使い分けられるか、理解度を確認する。	教科書の全範囲を読み直し、疑問点をつぶさに挙げる。
関連科目	スペイン語の全科目			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	スペインへのパスポート	木村琢也	同学社
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	中間試験＋語句テスト＋ボキャブラリコンテスト（以上 50%）、臨時試験（50%）により総合的に評価する。
学生への メッセージ	毎回予習復習をしたうえで授業に出席すること。 欠席した場合は、ほかの受講生に配布物をコピーさせてもらうなどして自分自身で不足を補うこと（予習に必要）。
担当者の 研究室等	7 号館 5 階 北條研究室
備考	ボキャコンの日程は前後することがある。事前・事後学習に要する総時間数は 15 時間。 1 年次の教科書を引き続き併用し、その後はドリル、練習問題、読解用のテキストなどプリントを配布することもある。配布物は欠席するともらえない（その都度一度しか配布しない）ため、自分の不利益、手間につながることを肝に銘じること。 すべての試験の答案は実施後次回の授業内で解説し返却する。

科目名	スペイン語総合A	科目名（英文）	Integrated Spanish Skills A
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	R
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	西村 初美
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL2093e0		

授業概要・目的	・1年次の「スペイン語入門・基礎」の続編。1年次に学んだ文法項目を再確認しつつ、接続法の活用と用法を修得することによって、スペイン語文法をひととおり理解する。 ・「総合A」と「総合B」はリレー形式で進めていくので、必ず両方を履修すること。 ・随時、語句テストおよび中間試験を実施する。
到達目標	基礎的な文法事項の反復練習を行い定着を図る。命令形と接続法を中心とする文法事項を修得する。
授業方法と留意点	文法解説の後、様々な練習問題をこなし、知識の定着を目指す。総合AとBはリレー形式で進むので、必ずどちらとも履修すること。 ボキャブラリーコンテストを授業内で実施する予定。予習復習を前提に講義は進行する（配布物の管理をきちんと行うこと）。 授業計画、予定はあくまで目安であり、習熟度により変更し得る。
科目学習の効果（資格）	スペイン語検定 5級～4級

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	1 年次での学修内容の復習（1） 第 1～2 課	直説法現在の活用、人称代名詞、直説法点過去・線過去、現在分詞・過去分詞、直説法現在完了	教科書 2-8 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 13 課までを参照するとよい。
	2	1 年次での学修内容の復習（2） 第 2～3 課	直説法現在完了、点過去、線過去の練習問題、直説法未来の活用と用法	教科書 9-13 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 10 課から 15 課を参照するとよい。
	3	接続法現在の活用と用法 第 4 課	接続法現在規則活用、不規則活用 (a)、名詞節の中の接続法 (a: 願望)	教科書 14-17 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 17 課を参照するとよい。
	4	接続法現在の活用と用法 第 5 課	接続法現在不規則活用 (b)、名詞節の中の接続法 (b: 命令・要求)、形容詞節の中の接続法	教科書 18-21 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 17・18 課を参照するとよい。
	5	接続法現在の活用と用法 第 6 課	接続法現在不規則活用 (c)、副詞節の中の接続法 (a)、同 (b)	教科書 22-25 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 17・18 課を参照するとよい。
	6	中間試験 1 命令法 第 7 課	接続法現在の活用と用法に関する理解度確認 命令形: 肯定命令	教科書 26-28 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 19 課を参照するとよい。
	7	命令法 第 7 課、第 8 課	命令形: 否定命令、	教科書 29-33 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 19 課を参照するとよい。
	8	ボキャブラリー・コンテスト 接続法過去の活用と用法 第 8 課	中級程度の語彙力を判定 接続法過去の活用と用法	語彙力試験の出題範囲を身に着けておく。 教科書 14-17 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 18 課を参照するとよい。
	9	命令文の小テスト 直説法過去未来 第 9 課	肯定・否定命令の理解度確認 直説法過去未来の活用と用法 (現在の事実反する仮定文)	教科書 34-37 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 16・20 課を参照するとよい。
	10	直説法未来完了と接続法現在完了 第 10 課	直説法未来完了の活用と用法、接続法現在完了の活用と用法	教科書 38-41 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 15・20 課を参照するとよい。
	11	直説法点過去・線過去と接続法過去 第 11 課	直説法点過去・線過去の再確認、como si + 接続法過去の用法	教科書 42-45 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 11～13・18 課を参照するとよい。
	12	中間試験 2 直説法過去完了 第 12 課	接続法過去、現在完了の理解度確認、直説法過去完了の再確認	教科書 46-49 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 13 課を参照するとよい。
	13	直説法過去未来完了と接続法過去完了 第 13 課	直説法過去未来完了の活用と用法の再確認、接続法過去完了の活用と用法 (過去の事実反する仮定文)	教科書 50-53 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 16・20 課を参照するとよい。
	14	直説法過去未来完了と接続法過去完了 第 14 課	直説法過去未来完了の用法 (過去完了の推量)、接続法過去完了の用法 (時制の一致)、願望文で用いる接続法過去	教科書 54-57 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 16・20 課を参照するとよい。
	15	臨時試験 接続法の総括	接続法の各時制を直説法のそれと正しく使い分けられるか、理解度を確認する。	教科書の全範囲を読み直し、疑問点をつぶさに挙げる。
関連科目	スペイン語の全科目			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	スペインへのパスポート	木村琢也	同学社
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	中間試験＋語句テスト＋ボキャブラリコンテスト（以上 50%）、臨時試験（50%）により総合的に評価する。
学生への メッセージ	毎回予習復習をしたうえで授業に出席すること。 欠席した場合は、ほかの受講生に配布物をコピーさせてもらうなどして自分自身で不足を補うこと（予習に必要）。
担当者の 研究室等	7 号館 2 階 講師室
備考	ボキャコンの日程は前後することがある。事前・事後学習に 1 時間を要する。 1 年次の教科書を引き続き併用し、その後はドリル、練習問題、読解用のテキストなどプリントを配布することもある。配布物は欠席するともらえない（その都度一度しか配布しない）ため、自分の不利益、手間につながることを肝に銘じること。 小テストの答案は実施後次の授業内で返却し解説する。臨時試験の返却と見直しは研究室で行う。

科目名	スペイン語総合B	科目名（英文）	Integrated Spanish Skills B
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	三浦 知佐子
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL2094e0		

授業概要・目的	・1年次の「スペイン語入門・基礎」の続編。1年次に学んだ文法項目を再確認しつつ、接続法の活用と用法を修得することによって、スペイン語文法をひととおり理解する。 ・「総合A」と「総合B」はリレー形式で進めていくので、必ず両方を履修すること。 ・随時、語句テストおよび中間試験を実施する。
到達目標	基礎的な文法事項の反復練習を行い定着を図る。命令形と接続法を中心とする文法事項を修得する。
授業方法と留意点	文法解説の後、様々な練習問題をこなし、知識の定着を目指す。総合AとBはリレー形式で進むので、必ずどちらとも履修すること。 ボキャブラリーコンテストを授業内で実施する予定。予習復習を前提に講義は進行する（配布物の管理をきちんと行うこと）。 授業計画、予定はあくまで目安であり、習熟度により変更し得る。
科目学習の効果（資格）	スペイン語検定 5級～4級

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	1 年次での学修内容の復習（1） 第 1～2 課	直説法現在の活用、人称代名詞、直説法点過去・線過去、現在分詞・過去分詞、直説法現在完了	教科書 2-8 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 13 課までを参照するとよい。
	2	1 年次での学修内容の復習（2） 第 2～3 課	直説法現在完了、点過去、線過去の練習問題、直説法未来の活用と用法	教科書 9-13 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 10 課から 15 課を参照するとよい。
	3	接続法現在の活用と用法 第 4 課	接続法現在規則活用、不規則活用 (a)、名詞節の中の接続法 (a: 願望)	教科書 14-17 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 17 課を参照するとよい。
	4	接続法現在の活用と用法 第 5 課	接続法現在不規則活用 (b)、名詞節の中の接続法 (b: 命令・要求)、形容詞節の中の接続法	教科書 18-21 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 17・18 課を参照するとよい。
	5	接続法現在の活用と用法 第 6 課	接続法現在不規則活用 (c)、副詞節の中の接続法 (a)、同 (b)	教科書 22-25 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 17・18 課を参照するとよい。
	6	中間試験 1 命令法 第 7 課	接続法現在の活用と用法に関する理解度確認 命令形: 肯定命令	教科書 26-28 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 19 課を参照するとよい。
	7	命令法 第 7 課、第 8 課	命令形: 否定命令、	教科書 29-33 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 19 課を参照するとよい。
	8	ボキャブラリー・コンテスト 接続法過去の活用と用法 第 8 課	中級程度の語彙力を判定 接続法過去の活用と用法	語彙力試験の出題範囲を身に着けておく。 教科書 14-17 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 18 課を参照するとよい。
	9	命令文の小テスト 直説法過去未来 第 9 課	肯定・否定命令の理解度確認 直説法過去未来の活用と用法 (現在の事実に対する仮定文)	教科書 34-37 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 16・20 課を参照するとよい。
	10	直説法未来完了と接続法現在完了 第 10 課	直説法未来完了の活用と用法、接続法現在完了の活用と用法	教科書 38-41 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 15・20 課を参照するとよい。
	11	直説法点過去・線過去と接続法過去 第 11 課	直説法点過去・線過去の再確認、como si + 接続法過去の用法	教科書 42-45 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 11～13・18 課を参照するとよい。
	12	中間試験 2 直説法過去完了 第 12 課	接続法過去、現在完了の理解度確認、直説法過去完了の再確認	教科書 46-49 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 13 課を参照するとよい。
	13	直説法過去未来完了と接続法過去完了 第 13 課	直説法過去未来完了の活用と用法の再確認、接続法過去完了の活用と用法 (過去の事実に対する仮定文)	教科書 50-53 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 16・20 課を参照するとよい。
	14	直説法過去未来完了と接続法過去完了 第 14 課	直説法過去未来完了の用法 (過去完了の推量)、接続法過去完了の用法 (時制の一致)、願望文で用いる接続法過去	教科書 54-57 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 16・20 課を参照するとよい。
	15	臨時試験 接続法の総括	接続法の各時制を直説法のそれと正しく使い分けられるか、理解度を確認する。	教科書の全範囲を読み直し、疑問点をつぶさに挙げる。
関連科目	スペイン語の全科目			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	スペインへのパスポート	木村琢也	同学社
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	中間試験＋語句テスト＋ボキャブラリコンテスト（以上 50%）、臨時試験（50%）により総合的に評価する。
学生への メッセージ	毎回予習復習をしたうえで授業に出席すること。 欠席した場合は、ほかの受講生に配布物をコピーさせてもらうなどして自分自身で不足を補うこと（予習に必要）。
担当者の 研究室等	7 号館 2 階 講師控室
備考	ボキャコンの日程は前後することがある。事前・事後学習に 1 時間を要する。 1 年次の教科書を引き続き併用し、その後はドリル、練習問題、読解用のテキストなどプリントを配布することもある。配布物は欠席するともらえない（その都度一度しか配布しない）ため、自分の不利益、手間につながることを肝に銘じること。 すべての試験の答えは実施後次回の授業内で解説し返却する（臨時試験は研究室で）。

科目名	スペイン語総合B	科目名（英文）	Integrated Spanish Skills B
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	R
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	藤井 嘉祥
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL2094e0		

授業概要・目的	・1 年次の「スペイン語入門・基礎」の続編。1 年次に学んだ文法項目を再確認しつつ、接続法の活用と用法を修得することによって、スペイン語文法をひととおり理解する。 ・「総合A」と「総合B」はリレー形式で進めていくので、必ず両方を履修すること。 ・随時、語句テストおよび中間試験を実施する。
到達目標	基礎的な文法事項の反復練習を行い定着を図る。命令形と接続法を中心とする文法事項を修得する。
授業方法と留意点	文法解説の後、様々な練習問題をこなし、知識の定着を目指す。総合AとBはリレー形式で進むので、必ずどちらとも履修すること。 ボキャブラリーコンテストを授業内で実施する予定。予習復習を前提に講義は進行する（配布物の管理をきちんと行うこと）。 授業計画、予定はあくまで目安であり、習熟度により変更し得る。
科目学習の効果（資格）	スペイン語検定 5 級～4 級

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	1 年次での学修内容の復習（1） 第 1～2 課	直説法現在の活用、人称代名詞、直説法点過去・線過去、現在分詞・過去分詞、直説法現在完了	教科書 2-8 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 13 課までを参照するとよい。
	2	1 年次での学修内容の復習（2） 第 2～3 課	直説法現在完了、点過去、線過去の練習問題、直説法未来の活用と用法	教科書 9-13 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 10 課から 15 課を参照するとよい。
	3	接続法現在の活用と用法 第 4 課	接続法現在規則活用、不規則活用（a）、名詞節の中の接続法（a：願望）	教科書 14-17 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 17 課を参照するとよい。
	4	接続法現在の活用と用法 第 5 課	接続法現在不規則活用（b）、名詞節の中の接続法（b：命令・要求）、形容詞節の中の接続法	教科書 18-21 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 17・18 課を参照するとよい。
	5	接続法現在の活用と用法 第 6 課	接続法現在不規則活用（c）、副詞節の中の接続法（a）、同（b）	教科書 22-25 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 17・18 課を参照するとよい。
	6	中間試験 1 命令法 第 7 課	接続法現在の活用と用法に関する理解度確認 命令形：肯定命令	教科書 26-28 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 19 課を参照するとよい。
	7	命令法 第 7 課、第 8 課	命令形：否定命令、	教科書 29-33 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 19 課を参照するとよい。
	8	ボキャブラリー・コンテスト 接続法過去の活用と用法 第 8 課	中級程度の語彙力を判定 接続法過去の活用と用法	語彙力試験の出題範囲を身に着けておく。 教科書 14-17 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 18 課を参照するとよい。
	9	命令文の小テスト 直説法過去未来 第 9 課	肯定・否定命令の理解度確認 直説法過去未来の活用と用法（現在の事実に反する仮定文）	教科書 34-37 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 16・20 課を参照するとよい。
	10	直説法未来完了と接続法現在完了 第 10 課	直説法未来完了の活用と用法、接続法現在完了の活用と用法	教科書 38-41 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 15・20 課を参照するとよい。
	11	直説法点過去・線過去と接続法過去 第 11 課	直説法点過去・線過去の再確認、como si + 接続法過去の用法	教科書 42-45 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 11～13・18 課を参照するとよい。
	12	中間試験 2 直説法過去完了 第 12 課	接続法過去、現在完了の理解度確認、直説法過去完了の再確認	教科書 46-49 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 13 課を参照するとよい。
	13	直説法過去未来完了と接続法過去完了 第 13 課	直説法過去未来完了の活用と用法の再確認、接続法過去完了の活用と用法（過去の事実反する仮定文）	教科書 50-53 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 16・20 課を参照するとよい。
	14	直説法過去未来完了と接続法過去完了 第 14 課	直説法過去未来完了の用法（過去完了の推量）、接続法過去完了の用法（時制の一致）、願望文で用いる接続法過去	教科書 54-57 ページの予習・復習 「入門」・「基礎」の教科書で第 16・20 課を参照するとよい。
	15	臨時試験 接続法の総括	接続法の各時制を直説法のそれと正しく使い分けられるか、理解度を確認する。	教科書の全範囲を読み直し、疑問点をつぶさに挙げる。
関連科目	スペイン語の全科目			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	スペインへのパスポート	木村琢也	同学社
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	中間試験＋語句テスト＋ボキャブラリコンテスト（以上 50%）、臨時試験（50%）により総合的に評価する。
学生への メッセージ	毎回予習復習をしたうえで授業に出席すること。 欠席した場合は、ほかの受講生に配布物をコピーさせてもらうなどして自分自身で不足を補うこと（予習に必要）。
担当者の 研究室等	7 号館 5 階 藤井研究室
備考	ボキャコンの日程は前後することがある。事前・事後学習に 1 時間を要する。 1 年次の教科書を引き続き併用し、その後はドリル、練習問題、読解用のテキストなどプリントを配布することもある。配布物は欠席するともらえない（その都度一度しか配布しない）ため、自分の不利益、手間につながることを肝に銘じること。 小テストの答案は実施後次の授業内で解説し返却する。臨時試験の返却と見直しは研究室で行う。

科目名	スペイン語通訳Ⅰ	科目名（英文）	Spanish for Interpreters and Tour GuidesⅠ
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	北條 ゆかり
ディプロマポリシー（DP）	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3107e0		

授業概要・目的	日本の習慣・文化・歴史・地理などをスペイン語で説明できることを目指す。 外国語に上達するには「外国語で考えろ」とよく言われる。確かにその通りだが、では「外国語で考えるにはどうすればよいのか」について種明かしている本も人もあまりいないように思う。バイリンガル、マルチリンガルではない環境で、その術を身につける方法（取り立てて言うほど新しい方法ではない）もこの授業で実践していく。																																																																		
到達目標	自分の身の回りのことをスペイン語で説明できるようになることを目指す。我々日本人にとっては当たり前に、日本人同士では説明する必要のないようなことも、異文化圏の人からは説明を求められることが多い。日常生活の中で質問に出くわす事柄をスペイン語で臨機応変に説明できるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	スムーズにスペイン語が出てくることを目指すため、日本語をスペイン語にスイッチする練習を中心に行う。 ほぼ毎回、和 → 西の単語テストをする。語彙レベルはごく基本的なものに止めるが、短時間で答えられるようにする。授業では短い和文西訳を量的にこなす。教材はプリントで配布する。																																																																		
科目学習の効果（資格）	スペイン語検定3級、通訳案内士（ガイド）資格取得の一助となる。 オリンピック・パラリンピック（2020）、万博（2025）などで、日本を訪れる外国からの観光客やビジネスマンと接する機会もますます増える。そうした際にこの授業で得たことを活かすことができる。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>イントロダクション:授業の進め方</td><td>「通訳案内士」(ガイド) 試験とは?</td><td>通訳案内士の国家試験について調べ、単語を覚える努力をする。</td></tr> <tr> <td>2</td><td>メニューを説明する (1)</td><td>料理の種類を説明する</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>メニューを説明する (2)</td><td>食材の説明</td><td>食べ物関係の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>メニューを説明する (3)</td><td>レシピの説明</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>5</td><td>食べ方を説明する</td><td>お箸の持ち方、使い方</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>6</td><td>食事のマナーを説明する</td><td>種類の食べ方</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>7</td><td>理解度確認テスト (1)</td><td>これまでの授業で習った語句や表現を中心としたテスト</td><td>既習事項の見直し</td></tr> <tr> <td>8</td><td>理解度確認テスト (1) の見直し</td><td>自分ができなかった箇所の復習</td><td>既習事項の見直し</td></tr> <tr> <td>9</td><td>道案内をする (1)</td><td>街中での案内</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>10</td><td>道案内をする (2)</td><td>交通機関の利用法</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>11</td><td>道案内をする (3)</td><td>お薦めスポット</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>12</td><td>買物の手伝い (1)</td><td>衣服</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>13</td><td>買物の手伝い (2)</td><td>食べ物</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>14</td><td>買物の手伝い (3)</td><td>日本のお土産</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>15</td><td>臨時試験</td><td>これまでに学習したことの確認</td><td>既習事項の見直し</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	イントロダクション:授業の進め方	「通訳案内士」(ガイド) 試験とは?	通訳案内士の国家試験について調べ、単語を覚える努力をする。	2	メニューを説明する (1)	料理の種類を説明する	自分の単語帳を作る。	3	メニューを説明する (2)	食材の説明	食べ物関係の単語帳を作る。	4	メニューを説明する (3)	レシピの説明	自分の単語帳を作る。	5	食べ方を説明する	お箸の持ち方、使い方	自分の単語帳を作る。	6	食事のマナーを説明する	種類の食べ方	自分の単語帳を作る。	7	理解度確認テスト (1)	これまでの授業で習った語句や表現を中心としたテスト	既習事項の見直し	8	理解度確認テスト (1) の見直し	自分ができなかった箇所の復習	既習事項の見直し	9	道案内をする (1)	街中での案内	自分の単語帳を作る。	10	道案内をする (2)	交通機関の利用法	自分の単語帳を作る。	11	道案内をする (3)	お薦めスポット	自分の単語帳を作る。	12	買物の手伝い (1)	衣服	自分の単語帳を作る。	13	買物の手伝い (2)	食べ物	自分の単語帳を作る。	14	買物の手伝い (3)	日本のお土産	自分の単語帳を作る。	15	臨時試験	これまでに学習したことの確認	既習事項の見直し
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	イントロダクション:授業の進め方	「通訳案内士」(ガイド) 試験とは?	通訳案内士の国家試験について調べ、単語を覚える努力をする。																																																																
2	メニューを説明する (1)	料理の種類を説明する	自分の単語帳を作る。																																																																
3	メニューを説明する (2)	食材の説明	食べ物関係の単語帳を作る。																																																																
4	メニューを説明する (3)	レシピの説明	自分の単語帳を作る。																																																																
5	食べ方を説明する	お箸の持ち方、使い方	自分の単語帳を作る。																																																																
6	食事のマナーを説明する	種類の食べ方	自分の単語帳を作る。																																																																
7	理解度確認テスト (1)	これまでの授業で習った語句や表現を中心としたテスト	既習事項の見直し																																																																
8	理解度確認テスト (1) の見直し	自分ができなかった箇所の復習	既習事項の見直し																																																																
9	道案内をする (1)	街中での案内	自分の単語帳を作る。																																																																
10	道案内をする (2)	交通機関の利用法	自分の単語帳を作る。																																																																
11	道案内をする (3)	お薦めスポット	自分の単語帳を作る。																																																																
12	買物の手伝い (1)	衣服	自分の単語帳を作る。																																																																
13	買物の手伝い (2)	食べ物	自分の単語帳を作る。																																																																
14	買物の手伝い (3)	日本のお土産	自分の単語帳を作る。																																																																
15	臨時試験	これまでに学習したことの確認	既習事項の見直し																																																																
関連科目	スペイン語の語学系科目（オラル、文章構成など）全般および日本の歴史・文化に関する科目																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	しばしば行う単語テスト（基本語彙を和 → 西）30% 中間的に行う理解度確認テスト 30% 最終的な臨時試験 40%																																																																		
学生へのメッセージ	オリンピック、万博など大きなイベントだけでなく、来日外国人観光客は急増しています。接触機会が増えると、日本のことを意外と説明できないことに気づくでしょう。ごく当たり前のことでどう説明するか、日頃から考え、必要な語彙を補っておきましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7号館5階 北條研究室																																																																		
備考	事前・事後学習に要する総時間は約15時間。 授業の始めに、前回の学習内容に関するコメントや質問を受け付けフィードバックを行う。 授業で課した課題や宿題や次週の授業で発表させ講評を行う。																																																																		

科目名	スペイン語通訳Ⅰ	科目名（英文）	Spanish for Interpreters and Tour GuidesⅠ
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	R
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	篠原 愛人
ディプロマポリシー（DP）	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3107e0		

授業概要・目的	日本の習慣・文化・歴史・地理などをスペイン語で説明できることを目指す。 外国語に上達するには「外国語で考えろ」とよく言われる。確かにその通りだが、では「外国語で考えるにはどうすればよいのか」について種明かししている本も人もあまりいないように思う。バイリンガル、マルチリンガルではない環境で、その術を身につける方法（取り立てて言うほど新しい方法ではない）もこの授業で実践していく。																																																																		
到達目標	自分の身の回りのことをスペイン語で説明できるようになることを目指す。我々日本人にとっては当たり前すぎて、日本人同士では説明する必要のないようなことも、異文化圏の人からは説明を求められることが多い。日常生活の中で質問に出くわす事柄をスペイン語で臨機応変に説明できるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	スムーズにスペイン語が出てくることを目指すため、日本語をスペイン語にスイッチする練習を中心に行う。 ほぼ毎回、和 → 西の単語テストをする。語彙レベルはごく基本的なものに止めるが、短時間で答えられるようにする。授業では短い和文西訳を量的にこなす。教材はプリントで配布する。																																																																		
科目学習の効果（資格）	スペイン語検定3級、通訳案内士（ガイド）資格取得の一助となる。 オリンピック・パラリンピック（2020）、万博（2025）などで、日本を訪れる外国からの観光客やビジネスマンと接する機会もますます増える。そうした際にこの授業で得たことを活かすことができる。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>イントロダクション: この授業の進め方</td><td>通訳案内士（ガイド）試験とは？</td><td>単語を覚える努力をする。</td></tr> <tr> <td>2</td><td>メニューを説明する（1）</td><td>料理の種類を説明する</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>メニューを説明する（2）</td><td>食材の説明</td><td>食べ物関係の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>メニューを説明する（3）</td><td>レシビの説明</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>5</td><td>食べ方を説明する</td><td>お箸の持ち方</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>6</td><td>食事のマナーを説明する</td><td>麺類の食べ方</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>7</td><td>理解度確認テスト（1）</td><td>これまでの授業で習った語句や表現を中心としたテスト</td><td>既習事項の見直し</td></tr> <tr> <td>8</td><td>理解度確認テスト（1）の見直し</td><td>自分ができなかった箇所の復習</td><td>既習事項の見直し</td></tr> <tr> <td>9</td><td>道案内をする（1）</td><td>街中での案内</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>10</td><td>道案内をする（2）</td><td>交通機関を利用</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>11</td><td>道案内をする（3）</td><td>お薦めスポット</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>12</td><td>買い物の手伝い（1）</td><td>衣服</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>13</td><td>買い物の手伝い（2）</td><td>食べ物</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>14</td><td>買い物の手伝い（3）</td><td>日本のお土産</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>15</td><td>臨時試験</td><td>これまでに習ったことの確認</td><td>既習事項の見直し</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	イントロダクション: この授業の進め方	通訳案内士（ガイド）試験とは？	単語を覚える努力をする。	2	メニューを説明する（1）	料理の種類を説明する	自分の単語帳を作る。	3	メニューを説明する（2）	食材の説明	食べ物関係の単語帳を作る。	4	メニューを説明する（3）	レシビの説明	自分の単語帳を作る。	5	食べ方を説明する	お箸の持ち方	自分の単語帳を作る。	6	食事のマナーを説明する	麺類の食べ方	自分の単語帳を作る。	7	理解度確認テスト（1）	これまでの授業で習った語句や表現を中心としたテスト	既習事項の見直し	8	理解度確認テスト（1）の見直し	自分ができなかった箇所の復習	既習事項の見直し	9	道案内をする（1）	街中での案内	自分の単語帳を作る。	10	道案内をする（2）	交通機関を利用	自分の単語帳を作る。	11	道案内をする（3）	お薦めスポット	自分の単語帳を作る。	12	買い物の手伝い（1）	衣服	自分の単語帳を作る。	13	買い物の手伝い（2）	食べ物	自分の単語帳を作る。	14	買い物の手伝い（3）	日本のお土産	自分の単語帳を作る。	15	臨時試験	これまでに習ったことの確認	既習事項の見直し
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	イントロダクション: この授業の進め方	通訳案内士（ガイド）試験とは？	単語を覚える努力をする。																																																																
2	メニューを説明する（1）	料理の種類を説明する	自分の単語帳を作る。																																																																
3	メニューを説明する（2）	食材の説明	食べ物関係の単語帳を作る。																																																																
4	メニューを説明する（3）	レシビの説明	自分の単語帳を作る。																																																																
5	食べ方を説明する	お箸の持ち方	自分の単語帳を作る。																																																																
6	食事のマナーを説明する	麺類の食べ方	自分の単語帳を作る。																																																																
7	理解度確認テスト（1）	これまでの授業で習った語句や表現を中心としたテスト	既習事項の見直し																																																																
8	理解度確認テスト（1）の見直し	自分ができなかった箇所の復習	既習事項の見直し																																																																
9	道案内をする（1）	街中での案内	自分の単語帳を作る。																																																																
10	道案内をする（2）	交通機関を利用	自分の単語帳を作る。																																																																
11	道案内をする（3）	お薦めスポット	自分の単語帳を作る。																																																																
12	買い物の手伝い（1）	衣服	自分の単語帳を作る。																																																																
13	買い物の手伝い（2）	食べ物	自分の単語帳を作る。																																																																
14	買い物の手伝い（3）	日本のお土産	自分の単語帳を作る。																																																																
15	臨時試験	これまでに習ったことの確認	既習事項の見直し																																																																
関連科目	スペイン語の語学系科目（オラル、文章構成など）全般および日本の歴史・文化に関する科目																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	しばしば行う単語テスト（基本単語を和 → 西）が30% 中間的に行う理解度確認試験が30% 最終的な臨時試験が40%																																																																		
学生へのメッセージ	オリンピック、万博など大きなイベントだけでなく、日本に来る外国人観光客は急増しています。接触機会が増えると、日本のことを意外と説明できないことに気づくでしょう。ごく当たり前のことでもどう説明するか、日頃から考え、必要な語彙を補っておきましょう。																																																																		
担当者の研究室等	非常勤講師室（7号館2階）																																																																		
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約15時間。 授業の始めに、前回の学習内容に関するコメントや質問を受け付けフィードバックを行う。 授業で課した課題や宿題は次週の授業で発表し講評を受ける。																																																																		

科目名	スペイン語通訳Ⅱ	科目名（英文）	Spanish for Interpreters and Tour Guides II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	篠原 愛人
ディプロマポリシー（DP）	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3108e0		

授業概要・目的	日本の地理、歴史、文化、風習に関する基礎知識を深め、スペイン語で説明・紹介するために必要な語彙力と表現力の向上を目指す。																																																																		
到達目標	日本の風習や文化についてスペイン語で説明できることを目指す。 おもに京阪神の名所についてガイドできる知識とスペイン語力を身につける。 世界無形文化遺産である「和食」、日本人の生活習慣等、異文化圏の人に対して客観的にスペイン語で説明できるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	日本の歴史文化を理解し、現代社会の特質をスペイン語で説明できるよう基礎知識を習得し、スペイン語での質問に口頭で応答する実践を行う。 希望者には通訳案内士の資格試験に対応できる指導も行う。 毎回、単語テストを行う。教材はプリントで配布する。																																																																		
科目学習の効果（資格）	スペイン語検定3級、通訳案内士（ガイド）資格取得の一助となる。 オリンピック・パラリンピック（2020）、万博（2025）などで、日本を訪れる外国からの観光客やビジネスマンと接する機会もますます増える。 そうした際にこの授業で得たことを活かすことができる。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>前期の内容の復習</td><td>もう一度、単語テスト</td><td>語彙の確認</td></tr> <tr><td>2</td><td>日本の自然（1）</td><td>地理、気候</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>3</td><td>日本の自然（2）</td><td>自然遺産を中心に</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>4</td><td>日本の風習（1）</td><td>色々な年中行事（正月～夏）</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>5</td><td>日本の風習（2）</td><td>色々な年中行事（秋、冬）</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>6</td><td>理解度確認テスト</td><td>これまでの総括</td><td>語彙力の再点検</td></tr> <tr><td>7</td><td>日本人の通過儀礼</td><td>お宮参り、七五三など</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>8</td><td>日本の文化（1）</td><td>仏教と神道</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>9</td><td>日本の文化（2）</td><td>お寺と神社</td><td>語彙力の重要性を再認識</td></tr> <tr><td>10</td><td>近畿地方の観光スポット（1）</td><td>大阪の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。（1）</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>11</td><td>近畿地方の観光スポット（2）</td><td>大阪の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。（2）</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>12</td><td>近畿地方の観光スポット（3）</td><td>京都の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。（1）</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>13</td><td>近畿地方の観光スポット（4）</td><td>京都の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。（2）</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>14</td><td>近畿地方の観光スポット（5）</td><td>奈良の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>15</td><td>臨時試験</td><td>これまでの知識で何をどこまで、ただし説明できるか</td><td>これまでの学習のまとめ</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	前期の内容の復習	もう一度、単語テスト	語彙の確認	2	日本の自然（1）	地理、気候	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	3	日本の自然（2）	自然遺産を中心に	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	4	日本の風習（1）	色々な年中行事（正月～夏）	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	5	日本の風習（2）	色々な年中行事（秋、冬）	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	6	理解度確認テスト	これまでの総括	語彙力の再点検	7	日本人の通過儀礼	お宮参り、七五三など	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	8	日本の文化（1）	仏教と神道	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	9	日本の文化（2）	お寺と神社	語彙力の重要性を再認識	10	近畿地方の観光スポット（1）	大阪の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。（1）	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	11	近畿地方の観光スポット（2）	大阪の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。（2）	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	12	近畿地方の観光スポット（3）	京都の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。（1）	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	13	近畿地方の観光スポット（4）	京都の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。（2）	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	14	近畿地方の観光スポット（5）	奈良の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	15	臨時試験	これまでの知識で何をどこまで、ただし説明できるか	これまでの学習のまとめ
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	前期の内容の復習	もう一度、単語テスト	語彙の確認																																																																
2	日本の自然（1）	地理、気候	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
3	日本の自然（2）	自然遺産を中心に	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
4	日本の風習（1）	色々な年中行事（正月～夏）	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
5	日本の風習（2）	色々な年中行事（秋、冬）	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
6	理解度確認テスト	これまでの総括	語彙力の再点検																																																																
7	日本人の通過儀礼	お宮参り、七五三など	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
8	日本の文化（1）	仏教と神道	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
9	日本の文化（2）	お寺と神社	語彙力の重要性を再認識																																																																
10	近畿地方の観光スポット（1）	大阪の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。（1）	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
11	近畿地方の観光スポット（2）	大阪の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。（2）	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
12	近畿地方の観光スポット（3）	京都の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。（1）	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
13	近畿地方の観光スポット（4）	京都の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。（2）	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
14	近畿地方の観光スポット（5）	奈良の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
15	臨時試験	これまでの知識で何をどこまで、ただし説明できるか	これまでの学習のまとめ																																																																
関連科目	スペイン語の語学系科目（オラル、文章構成など）全般および日本の歴史・文化に関する科目																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	単語テスト（30%）、理解度確認テスト（30%）、臨時試験（40%）を総合的に評価する。																																																																		
学生へのメッセージ	目標は高く掲げ、それに向かって地道に学習を積み重ねましょう。 配布物が多いので、それらをこの科目のための固有のファイルに綴じて活用してください。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室																																																																		
備考	事前・事後学修に要する総時間は約15時間。 授業の始めに、前回の学習内容に関するコメントや質問を受け付けフィードバックを行う。 授業で課した課題や宿題は次週の授業で発表、講評を行う。 臨時試験の答案と解答例は北條研究室において返却する。																																																																		

科目名	スペイン語通訳Ⅱ	科目名(英文)	Spanish for Interpreters and Tour Guides II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	R
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	北條 ゆかり
ディプロマポリシー(DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3108e0		

授業概要・目的	日本の地理、歴史、文化、風習に関する基礎知識を深め、スペイン語で説明・紹介するために必要な語彙力と表現力の向上を目指す。																																																																		
到達目標	日本の風習や文化についてスペイン語で説明できることを目指す。 おもに京阪神の名所についてガイドできる知識とスペイン語力を身につける。 世界無形文化遺産である「和食」、日本人の生活習慣等、異文化圏の人に対して客観的にスペイン語で説明できるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	日本の歴史文化を理解し、現代社会の特質をスペイン語で説明できるよう基礎知識を習得し、スペイン語での質問に口頭で応答する実践を行う。 希望者には通訳案内士の資格試験に対応できる指導も行う。 毎回、単語テストを行う。教材はプリントで配布する。																																																																		
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定3級、通訳案内士(ガイド)資格取得の一助となる。 オリンピック・パラリンピック(2020)、万博(2025)などで、日本を訪れる外国からの環境客やビジネスマンと接する機会もますます増える。 そうした際にこの授業で得たことを活かすことができる。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>前期の内容の復習</td><td>もう一度、単語テスト</td><td>語彙の確認</td></tr> <tr><td>2</td><td>日本の自然(1)</td><td>地理、気候</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>3</td><td>日本の自然(2)</td><td>自然遺産を中心に</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>4</td><td>日本の風習(1)</td><td>色々な年中行事(正月～夏)</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>5</td><td>日本の風習(2)</td><td>色々な年中行事(秋、冬)</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>6</td><td>理解度確認テスト</td><td>これまでの総括</td><td>語彙力の再点検</td></tr> <tr><td>7</td><td>日本人の通過儀礼</td><td>お宮参り、七五三など</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>8</td><td>日本の文化(1)</td><td>仏教と神道</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>9</td><td>日本の文化(2)</td><td>お寺と神社</td><td>語彙力の重要性を再認識</td></tr> <tr><td>10</td><td>近畿地方の観光スポット(1)</td><td>大阪の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。(1)</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>11</td><td>近畿地方の観光スポット(2)</td><td>大阪の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。(2)</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>12</td><td>近畿地方の観光スポット(3)</td><td>京都の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。(1)</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>13</td><td>近畿地方の観光スポット(4)</td><td>京都の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。(2)</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>14</td><td>近畿地方の観光スポット(5)</td><td>奈良の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>15</td><td>到達度確認テスト</td><td>これまでの知識で何をどこまで、ただし説明できるか</td><td></td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	前期の内容の復習	もう一度、単語テスト	語彙の確認	2	日本の自然(1)	地理、気候	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	3	日本の自然(2)	自然遺産を中心に	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	4	日本の風習(1)	色々な年中行事(正月～夏)	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	5	日本の風習(2)	色々な年中行事(秋、冬)	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	6	理解度確認テスト	これまでの総括	語彙力の再点検	7	日本人の通過儀礼	お宮参り、七五三など	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	8	日本の文化(1)	仏教と神道	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	9	日本の文化(2)	お寺と神社	語彙力の重要性を再認識	10	近畿地方の観光スポット(1)	大阪の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。(1)	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	11	近畿地方の観光スポット(2)	大阪の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。(2)	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	12	近畿地方の観光スポット(3)	京都の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。(1)	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	13	近畿地方の観光スポット(4)	京都の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。(2)	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	14	近畿地方の観光スポット(5)	奈良の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	15	到達度確認テスト	これまでの知識で何をどこまで、ただし説明できるか	
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	前期の内容の復習	もう一度、単語テスト	語彙の確認																																																																
2	日本の自然(1)	地理、気候	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
3	日本の自然(2)	自然遺産を中心に	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
4	日本の風習(1)	色々な年中行事(正月～夏)	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
5	日本の風習(2)	色々な年中行事(秋、冬)	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
6	理解度確認テスト	これまでの総括	語彙力の再点検																																																																
7	日本人の通過儀礼	お宮参り、七五三など	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
8	日本の文化(1)	仏教と神道	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
9	日本の文化(2)	お寺と神社	語彙力の重要性を再認識																																																																
10	近畿地方の観光スポット(1)	大阪の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。(1)	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
11	近畿地方の観光スポット(2)	大阪の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。(2)	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
12	近畿地方の観光スポット(3)	京都の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。(1)	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
13	近畿地方の観光スポット(4)	京都の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。(2)	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
14	近畿地方の観光スポット(5)	奈良の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
15	到達度確認テスト	これまでの知識で何をどこまで、ただし説明できるか																																																																	
関連科目	スペイン語の語学系科目(オラル、文章構成など)全般および日本の歴史・文化に関する科目																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>プリント</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	プリント			2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	プリント																																																																		
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	単語テスト(30%)、理解度確認テスト(30%)、臨時試験(40%)を総合的に評価する。																																																																		
学生へのメッセージ	目標は高く掲げ、それに向かって地道に学習を積み重ねましょう。 配布物が多いので、それらをこの科目のための固有のファイルに綴じて活用してください。																																																																		
担当者の研究室等	7号館5階 北條研究室																																																																		
備考	事前・事後学習に要する総時間は約15時間。 授業の始めに、前回の学習内容に関するコメントや質問を受け付けフィードバックを行う。 授業で課した課題や宿題は次週の授業で発表、講評を行う。 臨時試験の答案と解答例は北條研究室において返却する。																																																																		

科目名	スペイン語通訳ガイドⅠ	科目名（英文）	Tour Guiding in Spanish I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	Q
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	北條 ゆかり
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	日本の習慣・文化・歴史・地理などをスペイン語で説明できることを目指す。 外国語に上達するには「外国語で考えろ」とよく言われる。確かにその通りだが、では「外国語で考えるにはどうすればよいのか」について種明かしている本も人もあまりいないように思う。バイリンガル、マルチリンガルではない環境で、その術を身につける方法（取り立てて言うほど新しい方法ではない）もこの授業で実践していく。																																																																		
到達目標	自分の身の回りのことをスペイン語で説明できるようになることを目指す。我々日本人にとっては当たり前すぎて、日本人同士では説明する必要のないようなことも、異文化圏の人からは説明を求められることが多い。日常生活の中で質問に出くわす事柄をスペイン語で臨機応変に説明できるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	スムーズにスペイン語が出てくることを目指すため、日本語をスペイン語にスイッチする練習を中心に行う。 ほぼ毎回、和 → 西の単語テストをする。語彙レベルはごく基本的なものに止めるが、短時間で答えられるようにする。授業では短い和文西訳を量的にこなす。教材はプリントで配布する。																																																																		
科目学習の効果（資格）	スペイン語検定 3 級、通訳案内士（ガイド）資格取得の一助となる。 オリンピック・パラリンピック（2020）、万博（2025）などで、日本を訪れる外国からの観光客やビジネスマンと接する機会もますます増える。そうした際にこの授業で得たことを活かすことができる。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>イントロダクション:授業の進め方</td><td>「通訳案内士」(ガイド) 試験とは?</td><td>通訳案内士の国家試験について調べ、単語を覚える努力をする。</td></tr> <tr> <td>2</td><td>メニューを説明する (1)</td><td>料理の種類を説明する</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>メニューを説明する (2)</td><td>食材の説明</td><td>食べ物関係の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>メニューを説明する (3)</td><td>レシピの説明</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>5</td><td>食べ方を説明する</td><td>お箸の持ち方、使い方</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>6</td><td>食事のマナーを説明する</td><td>種類の食べ方</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>7</td><td>理解度確認テスト (1)</td><td>これまでの授業で習った語句や表現を中心としたテスト</td><td>既習事項の見直し</td></tr> <tr> <td>8</td><td>理解度確認テスト (1) の見直し</td><td>自分ができなかった箇所の復習</td><td>既習事項の見直し</td></tr> <tr> <td>9</td><td>道案内をする (1)</td><td>街中での案内</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>10</td><td>道案内をする (2)</td><td>交通機関の利用法</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>11</td><td>道案内をする (3)</td><td>お薦めスポット</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>12</td><td>買物の手伝い (1)</td><td>衣服</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>13</td><td>買物の手伝い (2)</td><td>食べ物</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>14</td><td>買物の手伝い (3)</td><td>日本のお土産</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>15</td><td>臨時試験</td><td>これまでに学習したことの確認</td><td>既習事項の見直し</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	イントロダクション:授業の進め方	「通訳案内士」(ガイド) 試験とは?	通訳案内士の国家試験について調べ、単語を覚える努力をする。	2	メニューを説明する (1)	料理の種類を説明する	自分の単語帳を作る。	3	メニューを説明する (2)	食材の説明	食べ物関係の単語帳を作る。	4	メニューを説明する (3)	レシピの説明	自分の単語帳を作る。	5	食べ方を説明する	お箸の持ち方、使い方	自分の単語帳を作る。	6	食事のマナーを説明する	種類の食べ方	自分の単語帳を作る。	7	理解度確認テスト (1)	これまでの授業で習った語句や表現を中心としたテスト	既習事項の見直し	8	理解度確認テスト (1) の見直し	自分ができなかった箇所の復習	既習事項の見直し	9	道案内をする (1)	街中での案内	自分の単語帳を作る。	10	道案内をする (2)	交通機関の利用法	自分の単語帳を作る。	11	道案内をする (3)	お薦めスポット	自分の単語帳を作る。	12	買物の手伝い (1)	衣服	自分の単語帳を作る。	13	買物の手伝い (2)	食べ物	自分の単語帳を作る。	14	買物の手伝い (3)	日本のお土産	自分の単語帳を作る。	15	臨時試験	これまでに学習したことの確認	既習事項の見直し
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	イントロダクション:授業の進め方	「通訳案内士」(ガイド) 試験とは?	通訳案内士の国家試験について調べ、単語を覚える努力をする。																																																																
2	メニューを説明する (1)	料理の種類を説明する	自分の単語帳を作る。																																																																
3	メニューを説明する (2)	食材の説明	食べ物関係の単語帳を作る。																																																																
4	メニューを説明する (3)	レシピの説明	自分の単語帳を作る。																																																																
5	食べ方を説明する	お箸の持ち方、使い方	自分の単語帳を作る。																																																																
6	食事のマナーを説明する	種類の食べ方	自分の単語帳を作る。																																																																
7	理解度確認テスト (1)	これまでの授業で習った語句や表現を中心としたテスト	既習事項の見直し																																																																
8	理解度確認テスト (1) の見直し	自分ができなかった箇所の復習	既習事項の見直し																																																																
9	道案内をする (1)	街中での案内	自分の単語帳を作る。																																																																
10	道案内をする (2)	交通機関の利用法	自分の単語帳を作る。																																																																
11	道案内をする (3)	お薦めスポット	自分の単語帳を作る。																																																																
12	買物の手伝い (1)	衣服	自分の単語帳を作る。																																																																
13	買物の手伝い (2)	食べ物	自分の単語帳を作る。																																																																
14	買物の手伝い (3)	日本のお土産	自分の単語帳を作る。																																																																
15	臨時試験	これまでに学習したことの確認	既習事項の見直し																																																																
関連科目	スペイン語の語学系科目（オラル、文章構成など）全般および日本の歴史・文化に関する科目																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	しばしば行う単語テスト（基本語彙を和 → 西）30% 中間的に行う理解度確認テスト 30% 最終的な臨時試験 40%																																																																		
学生へのメッセージ	オリンピック、万博など大きなイベントだけでなく、来日外国人観光客は急増しています。接触機会が増えると、日本のことを意外と説明できないことに気づくでしょう。ごく当たり前のことでもどう説明するか、日頃から考え、必要な語彙を補っておきましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 5 階 北條研究室																																																																		
備考	事前・事後学習に要する総時間は約 15 時間。 授業の始めに、前回の学習内容に関するコメントや質問を受け付けフィードバックを行う。 授業で課した課題や宿題や次週の授業で発表させ講評を行う。																																																																		

科目名	スペイン語通訳ガイドⅠ	科目名（英文）	Tour Guiding in Spanish I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	R
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	篠原 愛人
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	日本の習慣・文化・歴史・地理などをスペイン語で説明できることを目指す。 外国語に上達するには「外国語で考えろ」とよく言われる。確かにその通りだが、では「外国語で考えるにはどうすればよいのか」について種明かししている本も人もあまりいないように思う。バイリンガル、マルチリンガルではない環境で、その術を身につける方法（取り立てて言うほど新しい方法ではない）もこの授業で実践していく。																																																																		
到達目標	自分の身の回りのことをスペイン語で説明できるようになることを目指す。我々日本人にとっては当たり前すぎて、日本人同士では説明する必要のないようなことも、異文化圏の人からは説明を求められることが多い。日常生活の中で質問に出くわす事柄をスペイン語で臨機応変に説明できるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	スムーズにスペイン語が出てくることを目指すため、日本語をスペイン語にスイッチする練習を中心に行う。 ほぼ毎回、和 → 西の単語テストをする。語彙レベルはごく基本的なものに止めるが、短時間で答えられるようにする。授業では短い和文西訳を量的にこなす。教材はプリントで配布する。																																																																		
科目学習の効果（資格）	スペイン語検定 3 級、通訳案内士（ガイド）資格取得の一助となる。 オリンピック・パラリンピック（2020）、万博（2025）などで、日本を訪れる外国からの観光客やビジネスマンと接する機会もますます増える。そうした際にこの授業で得たことを活かすことができる。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>イントロダクション: この授業の進め方</td><td>通訳案内士（ガイド）試験とは？</td><td>単語を覚える努力をする。</td></tr> <tr> <td>2</td><td>メニューを説明する（1）</td><td>料理の種類を説明する</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>メニューを説明する（2）</td><td>食材の説明</td><td>食べ物関係の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>メニューを説明する（3）</td><td>レシビの説明</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>5</td><td>食べ方を説明する</td><td>お箸の持ち方</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>6</td><td>食事のマナーを説明する</td><td>麺類の食べ方</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>7</td><td>理解度確認テスト（1）</td><td>これまでの授業で習った語句や表現を中心としたテスト</td><td>既習事項の見直し</td></tr> <tr> <td>8</td><td>理解度確認テスト（1）の見直し</td><td>自分ができなかった箇所の復習</td><td>既習事項の見直し</td></tr> <tr> <td>9</td><td>道案内をする（1）</td><td>街中での案内</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>10</td><td>道案内をする（2）</td><td>交通機関を利用</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>11</td><td>道案内をする（3）</td><td>お薦めスポット</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>12</td><td>買い物の手伝い（1）</td><td>衣服</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>13</td><td>買い物の手伝い（2）</td><td>食べ物</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>14</td><td>買い物の手伝い（3）</td><td>日本のお土産</td><td>自分の単語帳を作る。</td></tr> <tr> <td>15</td><td>臨時試験</td><td>これまでに習ったことの確認</td><td>既習事項の見直し</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	イントロダクション: この授業の進め方	通訳案内士（ガイド）試験とは？	単語を覚える努力をする。	2	メニューを説明する（1）	料理の種類を説明する	自分の単語帳を作る。	3	メニューを説明する（2）	食材の説明	食べ物関係の単語帳を作る。	4	メニューを説明する（3）	レシビの説明	自分の単語帳を作る。	5	食べ方を説明する	お箸の持ち方	自分の単語帳を作る。	6	食事のマナーを説明する	麺類の食べ方	自分の単語帳を作る。	7	理解度確認テスト（1）	これまでの授業で習った語句や表現を中心としたテスト	既習事項の見直し	8	理解度確認テスト（1）の見直し	自分ができなかった箇所の復習	既習事項の見直し	9	道案内をする（1）	街中での案内	自分の単語帳を作る。	10	道案内をする（2）	交通機関を利用	自分の単語帳を作る。	11	道案内をする（3）	お薦めスポット	自分の単語帳を作る。	12	買い物の手伝い（1）	衣服	自分の単語帳を作る。	13	買い物の手伝い（2）	食べ物	自分の単語帳を作る。	14	買い物の手伝い（3）	日本のお土産	自分の単語帳を作る。	15	臨時試験	これまでに習ったことの確認	既習事項の見直し
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	イントロダクション: この授業の進め方	通訳案内士（ガイド）試験とは？	単語を覚える努力をする。																																																																
2	メニューを説明する（1）	料理の種類を説明する	自分の単語帳を作る。																																																																
3	メニューを説明する（2）	食材の説明	食べ物関係の単語帳を作る。																																																																
4	メニューを説明する（3）	レシビの説明	自分の単語帳を作る。																																																																
5	食べ方を説明する	お箸の持ち方	自分の単語帳を作る。																																																																
6	食事のマナーを説明する	麺類の食べ方	自分の単語帳を作る。																																																																
7	理解度確認テスト（1）	これまでの授業で習った語句や表現を中心としたテスト	既習事項の見直し																																																																
8	理解度確認テスト（1）の見直し	自分ができなかった箇所の復習	既習事項の見直し																																																																
9	道案内をする（1）	街中での案内	自分の単語帳を作る。																																																																
10	道案内をする（2）	交通機関を利用	自分の単語帳を作る。																																																																
11	道案内をする（3）	お薦めスポット	自分の単語帳を作る。																																																																
12	買い物の手伝い（1）	衣服	自分の単語帳を作る。																																																																
13	買い物の手伝い（2）	食べ物	自分の単語帳を作る。																																																																
14	買い物の手伝い（3）	日本のお土産	自分の単語帳を作る。																																																																
15	臨時試験	これまでに習ったことの確認	既習事項の見直し																																																																
関連科目	スペイン語の語学系科目（オラル、文章構成など）全般および日本の歴史・文化に関する科目																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	しばしば行う単語テスト（基本単語を和 → 西）が 30 % 中間的に行う理解度確認試験が 30 % 最終的な臨時試験が 40 %																																																																		
学生へのメッセージ	オリンピック、万博など大きなイベントだけでなく、日本に来る外国人観光客は急増しています。接触機会が増えると、日本のことを意外と説明できないことに気づくでしょう。ごく当たり前のことでもどう説明するか、日頃から考え、必要な語彙を補っておきましょう。																																																																		
担当者の研究室等	非常勤講師室（7 号館 2 階）																																																																		
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約 15 時間。 授業の始めに、前回の学習内容に関するコメントや質問を受け付けフィードバックを行う。 授業で課した課題や宿題は次週の授業で発表し講評を受ける。																																																																		

科目名	スペイン語通訳ガイドⅡ	科目名（英文）	Tour Guiding in Spanish II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	Q
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	篠原 愛人
ディプロマポリシー (DP)			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	日本の地理、歴史、文化、風習に関する基礎知識を深め、スペイン語で説明・紹介するために必要な語彙力と表現力の向上を目指す。																																																																		
到達目標	日本の風習や文化についてスペイン語で説明できることを目指す。 おもに京阪神の名所についてガイドできる知識とスペイン語力を身につける。 世界無形文化遺産である「和食」、日本人の生活習慣等、異文化圏の人に対して客観的にスペイン語で説明できるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	日本の歴史文化を理解し、現代社会の特質をスペイン語で説明できるよう基礎知識を習得し、スペイン語での質問に口頭で応答する実践を行う。 希望者には通訳案内士の資格試験に対応できる指導も行う。 毎回、単語テストを行う。教材はプリントで配布する。																																																																		
科目学習の効果（資格）	スペイン語検定3級、通訳案内士（ガイド）資格取得の一助となる。 オリンピック・パラリンピック（2020）、万博（2025）などで、日本を訪れる外国からの観光客やビジネスマンと接する機会もますます増える。 そうした際にこの授業で得たことを活かすことができる。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>前期の内容の復習</td><td>もう一度、単語テスト</td><td>語彙の確認</td></tr> <tr><td>2</td><td>日本の自然（1）</td><td>地理、気候</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>3</td><td>日本の自然（2）</td><td>自然遺産を中心に</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>4</td><td>日本の風習（1）</td><td>色々な年中行事（正月～夏）</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>5</td><td>日本の風習（2）</td><td>色々な年中行事（秋、冬）</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>6</td><td>理解度確認テスト</td><td>これまでの総括</td><td>語彙力の再点検</td></tr> <tr><td>7</td><td>日本人の通過儀礼</td><td>お宮参り、七五三など</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>8</td><td>日本の文化（1）</td><td>仏教と神道</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>9</td><td>日本の文化（2）</td><td>お寺と神社</td><td>語彙力の重要性を再認識</td></tr> <tr><td>10</td><td>近畿地方の観光スポット（1）</td><td>大阪の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。（1）</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>11</td><td>近畿地方の観光スポット（2）</td><td>大阪の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。（2）</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>12</td><td>近畿地方の観光スポット（3）</td><td>京都の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。（1）</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>13</td><td>近畿地方の観光スポット（4）</td><td>京都の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。（2）</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>14</td><td>近畿地方の観光スポット（5）</td><td>奈良の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>15</td><td>臨時試験</td><td>これまでの知識で何をどこまで、ただし説明できるか</td><td>これまでの学習のまとめ</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	前期の内容の復習	もう一度、単語テスト	語彙の確認	2	日本の自然（1）	地理、気候	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	3	日本の自然（2）	自然遺産を中心に	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	4	日本の風習（1）	色々な年中行事（正月～夏）	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	5	日本の風習（2）	色々な年中行事（秋、冬）	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	6	理解度確認テスト	これまでの総括	語彙力の再点検	7	日本人の通過儀礼	お宮参り、七五三など	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	8	日本の文化（1）	仏教と神道	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	9	日本の文化（2）	お寺と神社	語彙力の重要性を再認識	10	近畿地方の観光スポット（1）	大阪の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。（1）	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	11	近畿地方の観光スポット（2）	大阪の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。（2）	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	12	近畿地方の観光スポット（3）	京都の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。（1）	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	13	近畿地方の観光スポット（4）	京都の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。（2）	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	14	近畿地方の観光スポット（5）	奈良の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	15	臨時試験	これまでの知識で何をどこまで、ただし説明できるか	これまでの学習のまとめ
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	前期の内容の復習	もう一度、単語テスト	語彙の確認																																																																
2	日本の自然（1）	地理、気候	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
3	日本の自然（2）	自然遺産を中心に	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
4	日本の風習（1）	色々な年中行事（正月～夏）	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
5	日本の風習（2）	色々な年中行事（秋、冬）	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
6	理解度確認テスト	これまでの総括	語彙力の再点検																																																																
7	日本人の通過儀礼	お宮参り、七五三など	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
8	日本の文化（1）	仏教と神道	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
9	日本の文化（2）	お寺と神社	語彙力の重要性を再認識																																																																
10	近畿地方の観光スポット（1）	大阪の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。（1）	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
11	近畿地方の観光スポット（2）	大阪の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。（2）	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
12	近畿地方の観光スポット（3）	京都の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。（1）	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
13	近畿地方の観光スポット（4）	京都の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。（2）	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
14	近畿地方の観光スポット（5）	奈良の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
15	臨時試験	これまでの知識で何をどこまで、ただし説明できるか	これまでの学習のまとめ																																																																
関連科目	スペイン語の語学系科目（オラル、文章構成など）全般および日本の歴史・文化に関する科目																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	単語テスト（30%）、理解度確認テスト（30%）、臨時試験（40%）を総合的に評価する。																																																																		
学生へのメッセージ	目標は高く掲げ、それに向かって地道に学習を積み重ねましょう。 配布物が多いので、それらをこの科目のための固有のファイルに綴じて活用してください。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室																																																																		
備考	事前・事後学修に要する総時間は約15時間。 授業の始めに、前回の学習内容に関するコメントや質問を受け付けフィードバックを行う。 授業で課した課題や宿題は次週の授業で発表、講評を行う。 臨時試験の答案と解答例は北條研究室において返却する。																																																																		

科目名	スペイン語通訳ガイドⅡ	科目名（英文）	Tour Guiding in Spanish II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	R
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	北條 ゆかり
ディプロマポリシー（DP）			
科目ナンバリング			

授業概要・目的	日本の地理、歴史、文化、風習に関する基礎知識を深め、スペイン語で説明・紹介するために必要な語彙力と表現力の向上を目指す。																																																																		
到達目標	日本の風習や文化についてスペイン語で説明できることを目指す。 おもに京阪神の名所についてガイドできる知識とスペイン語力を身につける。 世界無形文化遺産である「和食」、日本人の生活習慣等、異文化圏の人に対して客観的にスペイン語で説明できるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	日本の歴史文化を理解し、現代社会の特質をスペイン語で説明できるよう基礎知識を習得し、スペイン語での質問に口頭で応答する実践を行う。 希望者には通訳案内士の資格試験に対応できる指導も行う。 毎回、単語テストを行う。教材はプリントで配布する。																																																																		
科目学習の効果（資格）	スペイン語検定3級、通訳案内士（ガイド）資格取得の一助となる。 オリンピック・パラリンピック（2020）、万博（2025）などで、日本を訪れる外国からの環境客やビジネスマンと接する機会もますます増える。 そうした際にこの授業で得たことを活かすことができる。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>前期の内容の復習</td><td>もう一度、単語テスト</td><td>語彙の確認</td></tr> <tr><td>2</td><td>日本の自然（1）</td><td>地理、気候</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>3</td><td>日本の自然（2）</td><td>自然遺産を中心に</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>4</td><td>日本の風習（1）</td><td>色々な年中行事（正月～夏）</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>5</td><td>日本の風習（2）</td><td>色々な年中行事（秋、冬）</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>6</td><td>理解度確認テスト</td><td>これまでの総括</td><td>語彙力の再点検</td></tr> <tr><td>7</td><td>日本人の通過儀礼</td><td>お宮参り、七五三など</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>8</td><td>日本の文化（1）</td><td>仏教と神道</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>9</td><td>日本の文化（2）</td><td>お寺と神社</td><td>語彙力の重要性を再認識</td></tr> <tr><td>10</td><td>近畿地方の観光スポット（1）</td><td>大阪の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。（1）</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>11</td><td>近畿地方の観光スポット（2）</td><td>大阪の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。（2）</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>12</td><td>近畿地方の観光スポット（3）</td><td>京都の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。（1）</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>13</td><td>近畿地方の観光スポット（4）</td><td>京都の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。（2）</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>14</td><td>近畿地方の観光スポット（5）</td><td>奈良の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。</td><td>テーマについての文献のまとめ・語彙集作成</td></tr> <tr><td>15</td><td>到達度確認テスト</td><td>これまでの知識で何をどこまで、ただし説明できるか</td><td></td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	前期の内容の復習	もう一度、単語テスト	語彙の確認	2	日本の自然（1）	地理、気候	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	3	日本の自然（2）	自然遺産を中心に	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	4	日本の風習（1）	色々な年中行事（正月～夏）	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	5	日本の風習（2）	色々な年中行事（秋、冬）	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	6	理解度確認テスト	これまでの総括	語彙力の再点検	7	日本人の通過儀礼	お宮参り、七五三など	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	8	日本の文化（1）	仏教と神道	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	9	日本の文化（2）	お寺と神社	語彙力の重要性を再認識	10	近畿地方の観光スポット（1）	大阪の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。（1）	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	11	近畿地方の観光スポット（2）	大阪の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。（2）	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	12	近畿地方の観光スポット（3）	京都の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。（1）	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	13	近畿地方の観光スポット（4）	京都の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。（2）	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	14	近畿地方の観光スポット（5）	奈良の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成	15	到達度確認テスト	これまでの知識で何をどこまで、ただし説明できるか	
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	前期の内容の復習	もう一度、単語テスト	語彙の確認																																																																
2	日本の自然（1）	地理、気候	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
3	日本の自然（2）	自然遺産を中心に	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
4	日本の風習（1）	色々な年中行事（正月～夏）	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
5	日本の風習（2）	色々な年中行事（秋、冬）	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
6	理解度確認テスト	これまでの総括	語彙力の再点検																																																																
7	日本人の通過儀礼	お宮参り、七五三など	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
8	日本の文化（1）	仏教と神道	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
9	日本の文化（2）	お寺と神社	語彙力の重要性を再認識																																																																
10	近畿地方の観光スポット（1）	大阪の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。（1）	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
11	近畿地方の観光スポット（2）	大阪の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。（2）	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
12	近畿地方の観光スポット（3）	京都の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。（1）	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
13	近畿地方の観光スポット（4）	京都の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。（2）	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
14	近畿地方の観光スポット（5）	奈良の観光スポットについて調べ、スペイン語で説明する。	テーマについての文献のまとめ・語彙集作成																																																																
15	到達度確認テスト	これまでの知識で何をどこまで、ただし説明できるか																																																																	
関連科目	スペイン語の語学系科目（オラル、文章構成など）全般および日本の歴史・文化に関する科目																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>プリント</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	プリント			2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	プリント																																																																		
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法（基準）	単語テスト（30%）、理解度確認テスト（30%）、臨時試験（40%）を総合的に評価する。																																																																		
学生へのメッセージ	目標は高く掲げ、それに向かって地道に学習を積み重ねましょう。 配布物が多いので、それらをこの科目のための固有のファイルに綴じて活用してください。																																																																		
担当者の研究室等	7号館5階 北條研究室																																																																		
備考	事前・事後学習に要する総時間は約15時間。 授業の始めに、前回の学習内容に関するコメントや質問を受け付けフィードバックを行う。 授業で課した課題や宿題は次週の授業で発表、講評を行う。 臨時試験の答案と解答例は北條研究室において返却する。																																																																		

科目名	スペイン語トピックス	科目名（英文）	Topics in the Spanish Language
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	安達 直樹
ディプロマポリシー (DP)	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL2095e0		

授業概要・目的	スペイン語圏の歴史や文化などに関する文章の読解を通して、スペイン語の実践的な語彙や表現を習得する。		
到達目標	スペイン語の読解力を養う。スペイン語圏についての理解を深める。日本の社会や文化との比較の視点を持つこと。		
授業方法と留意点	授業計画はあくまで目安であり、履修生の読解力と関心に応じて、取り組むテーマおよび速度を変更することがある。 小テストを行い、資料等も随時配布するが、欠席（妥当な理由を欠く）による再試験・再配布はしない。 学習の当事者として自己管理を徹底するように。		
科目学習の効果（資格）			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等
	1	イントロダクション	授業の進め方や評価基準について
	2	チリ イースター島のモアイ像	読解 講読の予習 文法事項の確認、復習
	3	チリ イースター島のモアイ像 アルゼンチン 九千年前の「手の洞窟」	読解 講読の予習 文法事項の確認、復習
	4	アルゼンチン 九千年前の「手の洞窟」	読解 講読の予習 文法事項の確認、復習
	5	2 課の調整 まとめ（小テスト含む）	読解 講読の予習 文法事項の確認、復習
	6	ジブラルタル スペインの中のイギリス領	読解 講読の予習 文法事項の確認、復習
	7	ジブラルタル スペインの中のイギリス領 イビサ島 フェニキア人の到来	読解 講読の予習 文法事項の確認、復習
	8	イビサ島 フェニキア人の到来	読解 講読の予習 文法事項の確認、復習
	9	2 課の調整 まとめ（小テスト含む）	読解 講読の予習 文法事項の確認、復習
	10	ウユニ湖 空を映す巨大な鏡	読解 -----
	11	ウユニ湖 空を映す巨大な鏡 イサベルの恋 スペイン王国の誕生	読解 講読の予習 文法事項の確認、復習
	12	イサベルの恋 スペイン王国の誕生	読解 講読の予習 文法事項の確認、復習
	13	2 回の調整 まとめ（小テスト含む）	読解 講読の予習 文法事項の確認、復習
	14	今期の臨時試験	読解 文法事項の確認、復習
	15	まとめ	今期の総復習 テスト解説 文法事項の確認、復習
関連科目	スペイン語の全科目		
教科書	番号	書籍名	著者名
	1	基礎から学ぼう！ スペイン語 中級	西川 喬
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法（基準）	受講態度・レポート・発表など 20%、試験（中間・臨時試験） 80%		
学生へのメッセージ	授業への積極的・主体的な参加を望む。 事前に教科書やプリントを必ず熟読し、授業に臨むこと。 日ごろから読書（言語を問わず、文脈のある文章）を習慣づけること。		
担当者の研究室等	7 号館 5 階 安達研究室		
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約 15 時間。 プリント類は一度しか配布しない（他の受講生に頼んでコピーさせてもらうなどすること）。欠席などによる不利益を回避するよう努力を。 授業内で行う中間・臨時試験は、答案の返却時に答えの確認を行う。		

科目名	スペイン語入門A	科目名（英文）	Introduction to Spanish Grammar A
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	西村 初美
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1083e0		

授業概要・目的	「スペイン語入門 ABC」は同じ教科書を使い、リレー形式でスペイン語の文法を学ぶ。そのため必ず「入門 ABC」を合わせて受講すること。 - アルファベットと発音から始めて直説法現在の動詞の活用を中心に、基本的な文の構造を理解する。 - 初習言語のマスターには語彙力の増強も不可欠であるため、毎週単語テストを課す。6月にボキャブラリ・コンテストを実施する。
到達目標	- スペイン語の文法事項のうち、名詞の性・数を見極めて、冠詞、形容詞、目的格人称代名詞を正しく用いることができる。 - 動詞の直説法現在の活用を正確に暗記し、用法を理解したうえで適切に肯定文、否定文、疑問文を作ることができる。
授業方法と留意点	「入門 ABC」は 3 人の教員のリレーで行う。教科書に基づいて文法解説を行い、練習問題を多くこなす。外国語の修得には継続的な予復習は必須である。必ず宿題と予習をして不明なところを把握し、練習問題を自力で解いておき、授業で不明点を解決すること。 - 語彙力強化のために毎週単語テストを行い、3 課ごとに中間テストを行う。
科目学習の効果（資格）	- スペイン語の文法、語彙、発音の基礎を修得し、基本的な運用能力が身につく。 - 辞書の使用を含めて外国語の学習方法が身につく。 - スペイン語検定 6 級を取得できる。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	1 課 発音とアクセント	アルファベット、母音と子音の発音、音節とアクセントの位置、数詞 0～10	教科書 1 課を見直し、正しく発音できるようにする。および『単語帳』pp. 2-5 の語彙を覚える。(2 時間)
	2	2 課 名詞の性数	名詞の性数、冠詞・形容詞の性数一致	教科書 2 課を見直し、性数一致を正しくできるようにする。および『単語帳』pp. 6-9 の語彙を覚える。(2 時間)
	3	3 課 直説法現在規則活用	主格人称代名詞、直説法現在規則活用、肯定文、否定文、疑問文、数詞 100 まで	教科書 3 課を見直し、動詞の活用を暗記する。1 課～3 課を終復習シテストに備える。(2 時間)
	4	1 課～3 課のテストと復習	発音、アクセント、性数一致、規則活用の動詞を用いる文の理解度確認と復習	テストの見直し、『単語帳』pp. 10-14 の語彙を覚える。(2 時間)
	5	4 課 動詞 ser, estar	ser と estar の用法	教科書 4 課を見直し、動詞 ser と estar の使い方を復習する。および『単語帳』pp. 15-18 の語彙を覚える。(2 時間)
	6	4 課 動詞 haber (hay) と疑問詞	estar と hay の使い分け、疑問詞を用いる疑問文の作り方	教科書 4 課を見直し、estar と hay の使い方を復習する。および『単語帳』pp. 19-23 の語彙を覚える。(2 時間)
	7	5 課 1 人称単数不規則動詞と指示詞、感嘆文	1 人称単数不規則動詞の活用、指示形容詞と指示代名詞の用法、感嘆文の作り方	教科書 5 課を見直し、不規則活用を暗記する。および『単語帳』pp. 23-27 の語彙を覚える。(2 時間)
	8	6 課 語幹母音変化動詞、接続詞、所有詞	語幹母音変化動詞の活用、接続詞の y, o, pero, 所有形容詞と所有代名詞	教科書 6 課を見直し、不規則活用を暗記する。4 課～6 課を終復習シテストに備える。(2 時間)
	9	4 課～6 課のテストと復習	動詞 ser, estar, hay の用法、不規則動詞、指示詞、所有詞の理解度確認と復習	テストの見直し、『単語帳』pp. 28-33 の語彙を覚える。(2 時間)
	10	7 課 その他の不規則動詞、目的格人称代名詞	tener, venir, ir 等の不規則動詞の活用、直接目的格と間接目的格の人称代名詞の用法、数詞 1 億まで	教科書 7 課を見直し不規則動詞の活用を覚え、目的格人称代名詞の用法を理解する。および『単語帳』pp. 34-39 の語彙を覚える。(2 時間)
	11	8 課 gustar 型動詞、前置詞	gustar, doler 等の動詞の用法、前置詞の意味と用法	教科書 8 課を見直し gustar 型動詞の用法を復習する。および『単語帳』pp. 40-44 の語彙を覚える。(2 時間)
	12	9 課 再帰動詞、無人称文	再帰動詞の活用と用法、無人称文の作り方、曜日・日付の表現	教科書 9 課を見直し、再帰動詞の用法を理解する。7～9 課を終復習し、テストに備える。(2 時間)
	13	7 課～9 課のテストと復習	不規則動詞、目的格人称代名詞、gustar 型動詞、再帰動詞の理解度確認と復習	テストの見直し、『単語帳』pp. 46-49 の語彙を覚える。(2 時間)
	14	難解な事項の復習	ser, estar, hay の用法、目的格人称代名詞、gustar 型動詞の復習	前期の文法項目の総復習と『単語帳』を用いて語彙力の再確認を行い、臨時試験に備える。(2 時間)
	15	臨時試験と復習	学期を通じた理解度の確認と要点の復習	試験範囲（教科書 pp. 1-55）までの総復習 (2 時間)

関連科目	スペイン語入門 B、C スペイン語応用 I スペイン語オラル I
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	初級スペイン語文法	和佐敦子	朝日出版社
	2	書き込み式 スペイン語単語帳	藤井嘉祥ほか	朝日出版社

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	西和中辞典	高垣敏博ほか	小学館
	2			

評価方法（基準）	スペイン語入門 ABC は総合的に評価するため、それぞれ同じ成績がつく。 3 課ごとの中間テスト 40%、臨時試験 40%、単語テスト 20%（ボキャブラリ・コンテストを含む）で評価する。 欠席や遅刻は減点となる。 欠席が多い場合は学期末の臨時試験は受けられない。
----------	--

学生へのメッセージ	- 最初から間違えずにできる人はいません。何でもつまずき失敗から学ぶ姿勢が大切です。単語ひとつ、活用ひとつを大切に地道に修得していきましょう。 - 予習、復習、自習（教科書や授業以外での取り組み）が大事なので、自己管理をしっかりと、学習ペースを作るように心掛けてください。 「覚える」ということに中高生の時以上に時間と労力を費やしてください。
-----------	---

担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師控室
----------	------------------

備考	- 事前・事後学習に要する総時間は約 30 時間。 - 授業内で行うテストは返却時に答えの確認を行う。臨時試験の返却と見直しは研究室で行う。 - 毎回の授業の始めに、前回の学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。 - プリント等の配布は一度しか配布しない。欠席や遅刻による不利益を被ることのないよう、学習の当事者としての意識をもって取り組むこと。
----	--

科目名	スペイン語入門A	科目名（英文）	Introduction to Spanish Grammar A
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	R
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	北條 ゆかり
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1083e0		

授業概要・目的	「スペイン語入門 ABC」は同じ教科書を使い、リレー式でスペイン語の文法を学ぶ。そのため必ず「入門ABC」を合わせて受講すること。 - アルファベットと発音から始めて直説法現在の動詞の活用を中心に、基本的な分の構造を理解する。 - 初修言語のマスターには語彙力の増強も不可欠であるため、毎週単語テストを課す。6月にボキャブラリ・コンテストを実施する。
到達目標	- スペイン語の文法事項のうち、名詞の性・数を見極めて、冠詞、形容詞、目的格人称代名詞を正しく用いることができる。 - 動詞の直説法現在の活用を正確に暗記し、用法を理解したうえで適切に肯定文、否定文、疑問文を作ることができる。
授業方法と留意点	「入門ABC」は3人の教員のリレーで行う。教科書に基づいて文法解説を行い、練習問題を多くこなす。外国語の修得には継続的な予復習は必須である。必ず宿題と予習をして不明なところを把握し、練習問題を自力で解いておき、授業で不明点を解決すること。 - 語彙力強化のために毎週単語テストを行い、3課ごとに中間テストを行う。
科目学習の効果（資格）	- スペイン語の文法、語彙、発音の基礎を修得し、基本的な運用能力が身につく。 - 辞書の使用を含めて外国語の学習方法が身につく。 スペイン語検定6級を取得できる。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	1 課 発音とアクセント	アルファベット、母音と子音の発音、音節とアクセントの位置、数詞 0～10	教科書第1課を見直し、正しく発音できるようにする。および『単語帳』pp. 2-5 の語彙を覚える。(2 時間)
	2	2 課 名詞の性数	名詞の性数、冠詞・形容詞の性数一致	教科書2課を見直し、性数一致を正しくできるようにする。および『単語帳』pp. 6-9 の語彙を覚える。(2 時間)
	3	3 課 直説法現在規則活用	主格人称代名詞、直説法現在規則活用、肯定文、否定文、疑問文、数詞 100 まで	教科書3課を見直し、動詞の活用を暗記する。1 課～3 課を総復習しテストに備える。(2 時間)
	4	1 課～3 課のテストと復習	発音、アクセント、性数一致、規則活用	テストの見直し、『単語帳』pp. 10-14 の語彙を覚える。(2 時間)
	5	4 課 動詞 ser, estar	ser と estar の用法	教科書4課を見直し、動詞 ser と estar の使い方を復習する。および『単語帳』pp. 15-18 の語彙を覚える。(2 時間)
	6	4 課 動詞 haber (hay) と疑問詞	estar と hay の使い分け、疑問詞を用いる疑問文の作り方	教科書4課を見直し、estar と hay の使い方を復習する。および『単語帳』pp. 19-23 の語彙を覚える。(2 時間)
	7	5 課 1 人称単数不規則動詞と指示詞、感嘆文	1 人称単数不規則動詞の活用、指示形容詞と指示代名詞の用法、感嘆文の作り方	教科書5課を見直し、不規則活用を暗記する。および『単語帳』pp. 23-27 の語彙を覚える。(2 時間)
	8	6 課 語幹母音変化動詞、接続詞、所有詞	語幹母音変化動詞の活用、接続詞の y, o, pero、所有形容詞と所有代名詞	教科書6課を見直し、不規則活用を暗記する。4 課～6 課を総復習しテストに備える。(2 時間)
	9	4 課～6 課のテストと復習	動詞 ser, estar, hay の用法、不規則動詞、指示詞、所有詞の理解度確認と復習	テストの見直し、『単語帳』pp. 28-33 の語彙を覚える。(2 時間)
	10	7 課 その他の不規則動詞、目的格人称代名詞	tener, venir, ir 等の不規則動詞の活用、直接目的格と間接目的格の人称代名詞の用法、数詞 1 億まで	教科書7課を見直し、目的格人称代名詞の用法を理解する。および『単語帳』pp. 34-39 の語彙を覚える。(2 時間)
	11	8 課 gustar 型動詞、前置詞	gustar, doler 等の動詞の用法、前置詞の意味と用法	教科書8課を見直し、gustar 型動詞の用法を復習する。および『単語帳』pp. 40-44 の語彙を覚える。(2 時間)
	12	9 課 再帰動詞、無人称文	再帰動詞の活用と用法、無人称文の作り方、曜日・日付の表現	教科書9課を見直し、再帰動詞の用法を理解する。7～9 課を総復習し、テストに備える。(2 時間)
	13	7 課～9 課のテストと復習	不規則動詞、目的格人称代名詞、gustar 型動詞、再帰動詞の理解度確認と復習	テストの見直し、『単語帳』pp. 46-49 の語彙を覚える。(2 時間)
	14	難解な事項の復習	ser, estar, hay の用法、目的格人称代名詞、gustar 型動詞の復習	前期の文法項目の総復習と『単語帳』を用いて語彙力の再確認を行い、臨時試験に備える。(2 時間)
	15	臨時試験と復習	学期を通じた理解度の確認と要点の復習	試験範囲（教科書 pp. 1-55）までの総復習（2 時間）

関連科目	スペイン語入門 B、C スペイン語応用 I スペイン語オラル I
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	初級スペイン語文法	和佐敦子	朝日出版社
	2	書き込み式 スペイン語単語集	藤井嘉祥ほか	朝日出版社

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	西和辞典	高垣敏博ほか	小学館

評価方法（基準）	スペイン語入門 ABC は総合的に評価するため、それぞれ同じ成績がつく。 3 課ごとの中間テスト 40%、臨時試験 40%、単語テスト 20%（ボキャブラリ・コンテストを含む）で評価する。 欠席や遅刻は原点となる。 欠席が多い場合は学期末の臨時試験は受けられない。
----------	---

学生へのメッセージ	- 最初から間違えずにできる人はいません。何度もつまずき失敗から学ぶ姿勢が大切です。単語ひとつ、活用ひとつを大切に地道に修得していきましょう。 - 予習、復習、自習（教科書や授業以外での取り組み）が大事なので、自己管理をしっかりして、学習ペースを作るように心掛けてください。 「覚える」ということに中高生の時以上に時間と労力を費やしてください。
-----------	--

担当者の研究室等	7 号館 5 階 北條研究室
----------	----------------

備考	- 事前・事後の学修は、それぞれ 1 時間ずつ、総時間数 30 時間を目安とする。 - 授業内で行うテストは返却時に答えの確認を行う。臨時試験の返却と見直しは研究室で行う。 - 毎回の授業の始めに、前回の学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。 - プリント等の配布は一度しか行わない。欠席による不利益を被ることのないよう、学習の当事者としての意識をもって取り組むこと。
----	--

科目名	スペイン語入門B	科目名（英文）	Introduction to Spanish Grammar B
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	藤井 嘉祥
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1084e0		

授業概要・目的	・「スペイン語入門 ABC」は同じ教科書を使い、リレー形式でスペイン語の文法を学ぶ。そのため必ず「入門 ABC」を合わせて受講すること。 ・アルファベットと発音から始めて直説法現在の動詞の活用を中心に、基本的な文の構造を理解する。 ・初習言語のマスターには語彙力の増強も不可欠であるため、毎週単語テストを課す。6月にボキャブラリ・コンテストを実施する。
到達目標	・スペイン語の文法事項のうち、名詞とそれを修飾する冠詞・形容詞および目的格人称代名詞の性と数の一致が正確にできる。 ・動詞の直説法現在の活用を正確に暗記し、用法を理解したうえで適切に肯定文、否定文、疑問文を作ることができる。
授業方法と留意点	・「入門 ABC」は 3 人の教員のリレーで行う。教科書に基づいて文法解説を行い、練習問題を多くこなす。外国語の修得には継続的な予復習は必須である。必ず宿題と予習をして不明なところを把握し、練習問題を自力で解いておき、授業で不明点を解決すること。 ・語彙力強化のために毎週単語テストを行い、3 課ごとに中間テストを行う。
科目学習の効果（資格）	・スペイン語の文法、語彙、発音の基礎を修得し、基本的な運用能力が身につく。 ・辞書の使用を含めて外国語の学習方法が身につく。 ・スペイン語検定 6 級を取得できる。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	1 課 発音とアクセント	アルファベット、母音と子音の発音、音節とアクセントの位置、数詞 0～10	教科書 1 課を見直し、正しく発音できるようにする。および『単語帳』pp. 2-5 の語彙を覚える。(2 時間)
	2	2 課 名詞の性数	名詞の性数、冠詞・形容詞の性数一致	教科書 2 課を見直し、性数一致を正しくできるようにする。および『単語帳』pp. 6-9 の語彙を覚える。(2 時間)
	3	3 課 直説法現在規則活用	主格人称代名詞、直説法現在規則活用、肯定文、否定文、疑問文、数詞 100 まで	教科書 3 課を見直し、動詞の活用を暗記する。1 課～3 課を総復習シテストに備える。(2 時間)
	4	1 課～3 課のテストと復習	発音、アクセント、性数一致、規則活用の動詞を用いる文の理解度確認と復習	テストの見直し、『単語帳』pp. 10-14 の語彙を覚える。(2 時間)
	5	4 課 動詞 ser, estar	ser と estar の用法	教科書 4 課を見直し、動詞 ser と estar の使い方を復習する。および『単語帳』pp. 15-18 の語彙を覚える。(2 時間)
	6	4 課 動詞 haber (hay) と疑問詞	estar と hay の使い分け、疑問詞を用いる疑問文の作り方	教科書 4 課を見直し、estar と hay の使い方を復習する。および『単語帳』pp. 19-23 の語彙を覚える。(2 時間)
	7	5 課 1 人称単数不規則動詞と指示詞、感嘆文	1 人称単数不規則動詞の活用、指示形容詞と指示代名詞の用法、感嘆文の作り方	教科書 5 課を見直し、不規則活用を暗記する。および『単語帳』pp. 23-27 の語彙を覚える。(2 時間)
	8	6 課 語幹母音変化動詞、接続詞、所有詞	語幹母音変化動詞の活用、接続詞の y, o, pero, 所有形容詞と所有代名詞	教科書 6 課を見直し、不規則活用を暗記する。4 課～6 課を総復習シテストに備える。(2 時間)
	9	4 課～6 課のテストと復習	動詞 ser, estar, hay の用法、不規則動詞、指示詞、所有詞の理解度確認と復習	テストの見直し、『単語帳』pp. 28-33 の語彙を覚える。(2 時間)
	10	7 課 その他の不規則動詞、目的格人称代名詞	tener, venir, ir 等の不規則動詞の活用、直接目的格と間接目的格の人称代名詞の用法、数詞 1 億まで	教科書 7 課を見直し不規則動詞の活用を覚え、目的格人称代名詞の用法を理解する。および『単語帳』pp. 34-39 の語彙を覚える。(2 時間)
	11	8 課 gustar 型動詞、前置詞	gustar, doler 等の動詞の用法、前置詞の意味と用法	教科書 8 課を見直し gustar 型動詞の用法を復習する。および『単語帳』pp. 40-44 の語彙を覚える。(2 時間)
	12	9 課 再帰動詞、無人称文	再帰動詞の活用と用法、無人称文の作り方、曜日・日付の表現	教科書 9 課を見直し、再帰動詞の用法を理解する。7～9 課を総復習し、テストに備える。(2 時間)
	13	7 課～9 課のテストと復習	不規則動詞、目的格人称代名詞、gustar 型動詞、再帰動詞の理解度確認と復習	テストの見直し、『単語帳』pp. 46-49 の語彙を覚える。(2 時間)
	14	難解な事項の復習	ser, estar, hay の用法、目的格人称代名詞、gustar 型動詞の復習	前期の文法項目の総復習と『単語帳』を用いて語彙力の再確認を行い、臨時試験に備える。(2 時間)
	15	臨時試験と復習	学期を通じた理解度の確認と要点の復習	試験範囲（教科書 pp. 1-55）までの総復習 (2 時間)

関連科目	スペイン語入門A、C スペイン語応用 I スペイン語オラル I
------	---------------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	初級スペイン語文法	和佐敦子	朝日出版社
	2	書き込み式 スペイン語単語帳	藤井嘉祥ほか	朝日出版社

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	西和中辞典	高垣敏博ほか	小学館

評価方法（基準）	スペイン語入門 ABC は総合的に評価するため、それぞれ同じ成績がつく。 3 課ごとの中間テスト 40%、臨時試験 40%、単語テスト 20%（ボキャブラリ・コンテストを含む）で評価する。 欠席や遅刻は減点となる。 欠席が多い場合は学期末の臨時試験は受けられない。
----------	--

学生へのメッセージ	・最初から間違えずにできる人はいません。何度もつまずき失敗から学ぶ姿勢が大切です。単語ひとつ、活用ひとつを大切に地道に修得していきましょう。 ・予習、復習、自習（教科書や授業以外での取り組み）が大事なので、自己管理をしっかりして、学習ペースを作るように心掛けてください。 ・「覚える」ということに中高生の時以上に時間と労力を費やしてください。
-----------	---

担当者の研究室等	7 号館 5 階 藤井研究室
----------	----------------

備考	・事前・事後の学修は、それぞれ 1 時間ずつ、総時間数 30 時間を目安とする。 ・授業内で行うテストは返却時に答えの確認を行う。臨時試験の返却と見直しは研究室で行う。 ・プリント等の配布は一度しか配布しない。欠席や遅刻による不利益を被ることのないよう、学習の当事者としての意識をもって取り組むこと。
----	--

科目名	スペイン語入門B	科目名（英文）	Introduction to Spanish Grammar B
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	R
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	三浦 知佐子
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1084e0		

授業概要・目的	・「スペイン語入門 ABC」は同じ教科書を使い、リレー形式でスペイン語の文法を学ぶ。そのため必ず「入門 ABC」を合わせて受講すること。 ・アルファベットと発音から始めて直説法現在の動詞の活用を中心に、基本的な文の構造を理解する。 ・初習言語のマスターには語彙力の増強も不可欠であるため、毎週単語テストを課す。6月にボキャブラリ・コンテストを実施する。
到達目標	・スペイン語の文法事項のうち、名詞の性・数を見極めて、冠詞、形容詞、目的格人称代名を正しく用いることができる。 ・動詞の直説法現在の活用を正確に暗記し、用法を理解したうえで適切に肯定文、否定文、疑問文を作ることができる。
授業方法と留意点	・「入門 ABC」は 3 人の教員のリレーで行う。教科書に基づいて文法解説を行い、練習問題を多くこなす。外国語の修得には継続的な予復習は必須である。必ず宿題と予習をして不明なところを把握し、練習問題を自力で解いておき、授業で不明点を解決すること。 ・語彙力強化のために毎週単語テストを行い、3 課ごとに中間テストを行う。
科目学習の効果（資格）	・スペイン語の文法、語彙、発音の基礎を修得し、基本的な運用能力が身につく。 ・辞書の使用を含めて外国語の学習方法が身につく。 ・スペイン語検定 6 級を取得できる。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	1 課 発音とアクセント	アルファベット、母音と子音の発音、音節とアクセントの位置、数詞 0～10	教科書 1 課を見直し、正しく発音できるようにする。および『単語帳』pp. 2-5 の語彙を覚える。(2 時間)
	2	2 課 名詞の性数	名詞の性数、冠詞・形容詞の性数一致	教科書 2 課を見直し、性数一致を正しくできるようにする。および『単語帳』pp. 6-9 の語彙を覚える。(2 時間)
	3	3 課 直説法現在規則活用	主格人称代名詞、直説法現在規則活用、肯定文、否定文、疑問文、数詞 100 まで	教科書 3 課を見直し、動詞の活用を暗記する。1 課～3 課を終復習シテストに備える。(2 時間)
	4	1 課～3 課のテストと復習	発音、アクセント、性数一致、規則活用の動詞を用いる文の理解度確認と復習	テストの見直し、『単語帳』pp. 10-14 の語彙を覚える。(2 時間)
	5	4 課 動詞 ser, estar	ser と estar の用法	教科書 4 課を見直し、動詞 ser と estar の使い方を復習する。および『単語帳』pp. 15-18 の語彙を覚える。(2 時間)
	6	4 課 動詞 haber (hay) と疑問詞	estar と hay の使い分け、疑問詞を用いる疑問文の作り方	教科書 4 課を見直し、estar と hay の使い方を復習する。および『単語帳』pp. 19-23 の語彙を覚える。(2 時間)
	7	5 課 1 人称単数不規則動詞と指示詞、感嘆文	1 人称単数不規則動詞の活用、指示形容詞と指示代名詞の用法、感嘆文の作り方	教科書 5 課を見直し、不規則活用を暗記する。および『単語帳』pp. 23-27 の語彙を覚える。(2 時間)
	8	6 課 語幹母音変化動詞、接続詞、所有詞	語幹母音変化動詞の活用、接続詞の y, o, pero, 所有形容詞と所有代名詞	教科書 6 課を見直し、不規則活用を暗記する。4 課～6 課を終復習シテストに備える。(2 時間)
	9	4 課～6 課のテストと復習	動詞 ser, estar, hay の用法、不規則動詞、指示詞、所有詞の理解度確認と復習	テストの見直し、『単語帳』pp. 28-33 の語彙を覚える。(2 時間)
	10	7 課 その他の不規則動詞、目的格人称代名詞	tener, venir, ir 等の不規則動詞の活用、直接目的格と間接目的格の人称代名詞の用法、数詞 1 億まで	教科書 7 課を見直し不規則動詞の活用を覚え、目的格人称代名詞の用法を理解する。および『単語帳』pp. 34-39 の語彙を覚える。(2 時間)
	11	8 課 gustar 型動詞、前置詞	gustar, doler 等の動詞の用法、前置詞の意味と用法	教科書 8 課を見直し gustar 型動詞の用法を復習する。および『単語帳』pp. 40-44 の語彙を覚える。(2 時間)
	12	9 課 再帰動詞、無人称文	再帰動詞の活用と用法、無人称文の作り方、曜日・日付の表現	教科書 9 課を見直し、再帰動詞の用法を理解する。7～9 課を終復習し、テストに備える。(2 時間)
	13	7 課～9 課のテストと復習	不規則動詞、目的格人称代名詞、gustar 型動詞、再帰動詞の理解度確認と復習	テストの見直し、『単語帳』pp. 46-49 の語彙を覚える。(2 時間)
	14	難解な事項の復習	ser, estar, hay の用法、目的格人称代名詞、gustar 型動詞の復習	前期の文法項目の総復習と『単語帳』を用いて語彙力の再確認を行い、臨時試験に備える。(2 時間)
	15	臨時試験と復習	学期を通じた理解度の確認と要点の復習	試験範囲（教科書 pp. 1-55）までの総復習 (2 時間)

関連科目	スペイン語入門A、C スペイン語応用 I スペイン語オラル I
------	---------------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	初級スペイン語文法	和佐敦子	朝日出版社
	2	書き込み式 スペイン語単語帳	藤井嘉祥ほか	朝日出版社

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	西和中辞典	高垣敏博ほか	小学館

評価方法（基準）	スペイン語入門 ABC は総合的に評価するため、それぞれ同じ成績がつく。 3 課ごとの中間テスト 40%、臨時試験 40%、単語テスト 20%（ボキャブラリ・コンテストを含む）で評価する。 欠席や遅刻は減点となる。 欠席が多い場合は学期末の臨時試験は受けられない。
----------	--

学生へのメッセージ	・最初から間違えずにできる人はいません。何度もつまずき失敗から学ぶ姿勢が大切です。単語ひとつ、活用ひとつを大切に地道に修得していきましょう。 ・予習、復習、自習（教科書や授業以外での取り組み）が大事なので、自己管理をしっかりと、学習ペースを作るように心掛けてください。 ・「覚える」ということに中高生の時以上に時間と労力を費やしてください。
-----------	--

担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師控室
----------	------------------

備考	・事前・事後の学修は、それぞれ 1 時間ずつ、総時間数 30 時間を目安とする。 ・授業内で行うテストは返却時に答えの確認を行う。臨時試験の返却と見直しは研究室で行う。 ・プリント等の配布は一度しか配布しない。欠席や遅刻による不利益を被ることのないよう、学習の当事者としての意識をもって取り組むこと。
----	--

科目名	スペイン語入門C	科目名(英文)	Introduction to Spanish Grammar C
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	安達 直樹
ディプロマポリシー(DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1085e0		

授業概要・目的	・「スペイン語入門 ABC」は同じ教科書を使い、リレー形式でスペイン語の文法を学ぶ。そのため必ず「入門 ABC」を合わせて受講すること。 ・アルファベットと発音から始めて直説法現在の動詞の活用を中心に、基本的な文の構造を理解する。 ・初習言語のマスターには語彙力の増強も不可欠であるため、毎週単語テストを課す。6月にボキャブラリ・コンテストを実施する。
到達目標	・スペイン語の文法事項のうち、名詞とそれを修飾する冠詞・形容詞および目的格人称代名詞の性と数の一致が正確にできる。 ・動詞の直説法現在の活用を正確に暗記し、用法を理解したうえで適切に肯定文、否定文、疑問文を作ることができる。
授業方法と留意点	・「入門 ABC」は 3 人の教員のリレーで行う。教科書に基づいて文法解説を行い、練習問題を多くこなす。外国語の修得には継続的な予復習は必須である。必ず宿題と予習をして不明なところを把握し、練習問題を自力で解いておき、授業で不明点を解決すること。 ・語彙力強化のために毎週単語テストを行い、3 課ごとに中間テストを行う。
科目学習の効果(資格)	・スペイン語の文法、語彙、発音の基礎を修得し、基本的な運用能力が身につく。 ・辞書の使用を含めて外国語の学習方法が身につく。 ・スペイン語検定 6 級を取得できる。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	1 課 発音とアクセント	アルファベット、母音と子音の発音、音節とアクセントの位置、数詞 0～10	教科書 1 課を見直し、正しく発音できるようにする。および『単語帳』pp. 2-5 の語彙を覚える。(2 時間)
	2	2 課 名詞の性数	名詞の性数、冠詞・形容詞の性数一致	教科書 2 課を見直し、性数一致を正しくできるようにする。および『単語帳』pp. 6-9 の語彙を覚える。(2 時間)
	3	3 課 直説法現在規則活用	主格人称代名詞、直説法現在規則活用、肯定文、否定文、疑問文、数詞 100 まで	教科書 3 課を見直し、動詞の活用を暗記する。1 課～3 課を終復習シテストに備える。(2 時間)
	4	1 課～3 課のテストと復習	発音、アクセント、性数一致、規則活用の動詞を用いる文の理解度確認と復習	テストの見直し、『単語帳』pp. 10-14 の語彙を覚える。(2 時間)
	5	4 課 動詞 ser, estar	ser と estar の用法	教科書 4 課を見直し、動詞 ser と estar の使い方を復習する。および『単語帳』pp. 15-18 の語彙を覚える。(2 時間)
	6	4 課 動詞 haber (hay) と疑問詞	estar と hay の使い分け、疑問詞を用いる疑問文の作り方	教科書 4 課を見直し、estar と hay の使い方を復習する。および『単語帳』pp. 19-23 の語彙を覚える。(2 時間)
	7	5 課 1 人称単数不規則動詞と指示詞、感嘆文	1 人称単数不規則動詞の活用、指示形容詞と指示代名詞の用法、感嘆文の作り方	教科書 5 課を見直し、不規則活用を暗記する。および『単語帳』pp. 23-27 の語彙を覚える。(2 時間)
	8	6 課 語幹母音変化動詞、接続詞、所有詞	語幹母音変化動詞の活用、接続詞の y, o, pero, 所有形容詞と所有代名詞	教科書 6 課を見直し、不規則活用を暗記する。4 課～6 課を終復習シテストに備える。(2 時間)
	9	4 課～6 課のテストと復習	動詞 ser, estar, hay の用法、不規則動詞、指示詞、所有詞の理解度確認と復習	テストの見直し、『単語帳』pp. 28-33 の語彙を覚える。(2 時間)
	10	7 課 その他の不規則動詞、目的格人称代名詞	tener, venir, ir 等の不規則動詞の活用、直接目的格と間接目的格の人称代名詞の用法、数詞 1 億まで	教科書 7 課を見直し不規則動詞の活用を覚え、目的格人称代名詞の用法を理解する。および『単語帳』pp. 34-39 の語彙を覚える。(2 時間)
	11	8 課 gustar 型動詞、前置詞	gustar, doler 等の動詞の用法、前置詞の意味と用法	教科書 8 課を見直し gustar 型動詞の用法を復習する。および『単語帳』pp. 40-44 の語彙を覚える。(2 時間)
	12	9 課 再帰動詞、無人称文	再帰動詞の活用と用法、無人称文の作り方、曜日・日付の表現	教科書 9 課を見直し、再帰動詞の用法を理解する。7～9 課を終復習し、テストに備える。(2 時間)
	13	7 課～9 課のテストと復習	不規則動詞、目的格人称代名詞、gustar 型動詞、再帰動詞の理解度確認と復習	テストの見直し、『単語帳』pp. 46-49 の語彙を覚える。(2 時間)
	14	難解な事項の復習	ser, estar, hay の用法、目的格人称代名詞、gustar 型動詞の復習	前期の文法項目の総復習と『単語帳』を用いて語彙力の再確認を行い、臨時試験に備える。(2 時間)
	15	臨時試験と復習	学期を通じた理解度の確認と要点の復習	試験範囲(教科書 pp. 1-55)までの総復習(2 時間)

関連科目	スペイン語入門 A, B スペイン語応用 I スペイン語オラル I
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	初級スペイン語文法	和佐敦子	朝日出版社
	2	書き込み式 スペイン語単語帳	藤井嘉祥ほか	朝日出版社

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	西和中辞典	高垣敏博ほか	小学館

評価方法(基準)	スペイン語入門 ABC は総合的に評価するため、それぞれ同じ成績がつく。 3 課ごとの中間テスト 40%、臨時試験 40%、単語テスト 20% (ボキャブラリ・コンテストを含む) で評価する。 欠席や遅刻は減点となる。 欠席が多い場合は学期末の臨時試験は受けられない。
----------	--

学生へのメッセージ	・最初から間違えずにできる人はいません。何度もつまずき失敗から学ぶ姿勢が大切です。単語ひとつ、活用ひとつを大切に地道に修得していきましょう。 ・予習、復習、自習(教科書や授業以外での取り組み)が大事なので、自己管理をしっかりして、学習ペースを作るように心掛けてください。 ・「覚える」ということに中高生の時以上に時間と労力を費やしてください。
-----------	---

担当者の研究室等	7 号館 5 階 安達研究室
----------	----------------

備考	・事前・事後の学修は、それぞれ 1 時間ずつ、総時間数 30 時間を目安とする。 ・授業内で行うテストは返却時に答えの確認を行う。臨時試験の返却と見直しは研究室で行う。 ・プリント等の配布は一度しか配布しない。欠席や遅刻による不利益を被ることのないよう、学習の当事者としての意識をもって取り組むこと。
----	--

科目名	スペイン語入門C	科目名（英文）	Introduction to Spanish Grammar C
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	R
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	篠原 愛人
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL1085e0		

授業概要・目的	・「スペイン語入門 ABC」は同じ教科書を使い、リレー形式でスペイン語の文法を学ぶ。そのため必ず「入門 ABC」を合わせて受講すること。 ・アルファベットと発音から始めて直説法現在の動詞の活用を中心に、基本的な文の構造を理解する。 ・初習言語のマスターには語彙力の増強も不可欠であるため、毎週単語テストを課す。6月にボキャブラリ・コンテストを実施する。
到達目標	・スペイン語の文法事項のうち、名詞の性・数を見極めて、冠詞、形容詞、目的格人称代名詞を正しく用いることができる。 ・動詞の直説法現在の活用を正確に暗記し、用法を理解したうえで適切に肯定文、否定文、疑問文を作ることができる。
授業方法と留意点	・「入門 ABC」は 3 人の教員のリレーで行う。教科書に基づいて文法解説を行い、練習問題を多くこなす。外国語の修得には継続的な予復習は必須である。必ず宿題と予習をして不明なところを把握し、練習問題を自力で解いておき、授業で不明点を解決すること。 ・語彙力強化のために毎週単語テストを行い、3 課ごとに中間テストを行う。
科目学習の効果（資格）	・スペイン語の文法、語彙、発音の基礎を修得し、基本的な運用能力が身につく。 ・辞書の使用を含めて外国語の学習方法が身につく。 ・スペイン語検定 6 級を取得できる。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	1 課 発音とアクセント	アルファベット、母音と子音の発音、音節とアクセントの位置、数詞 0～10	教科書 1 課を見直し、正しく発音できるようにする。および『単語帳』pp. 2-5 の語彙を覚える。(2 時間)
	2	2 課 名詞の性数	名詞の性数、冠詞・形容詞の性数一致	教科書 2 課を見直し、性数一致を正しくできるようにする。および『単語帳』pp. 6-9 の語彙を覚える。(2 時間)
	3	3 課 直説法現在規則活用	主格人称代名詞、直説法現在規則活用、肯定文、否定文、疑問文、数詞 100 まで	教科書 3 課を見直し、動詞の活用を暗記する。1 課～3 課を終復習シテストに備える。(2 時間)
	4	1 課～3 課のテストと復習	発音、アクセント、性数一致、規則活用の動詞を用いる文の理解度確認と復習	テストの見直し、『単語帳』pp. 10-14 の語彙を覚える。(2 時間)
	5	4 課 動詞 ser, estar	ser と estar の用法	教科書 4 課を見直し、動詞 ser と estar の使い方を復習する。および『単語帳』pp. 15-18 の語彙を覚える。(2 時間)
	6	4 課 動詞 haber (hay) と疑問詞	estar と hay の使い分け、疑問詞を用いる疑問文の作り方	教科書 4 課を見直し、estar と hay の使い方を復習する。および『単語帳』pp. 19-23 の語彙を覚える。(2 時間)
	7	5 課 1 人称単数不規則動詞と指示詞、感嘆文	1 人称単数不規則動詞の活用、指示形容詞と指示代名詞の用法、感嘆文の作り方	教科書 5 課を見直し、不規則活用を暗記する。および『単語帳』pp. 23-27 の語彙を覚える。(2 時間)
	8	6 課 語幹母音変化動詞、接続詞、所有詞	語幹母音変化動詞の活用、接続詞の y, o, pero, 所有形容詞と所有代名詞	教科書 6 課を見直し、不規則活用を暗記する。4 課～6 課を終復習シテストに備える。(2 時間)
	9	4 課～6 課のテストと復習	動詞 ser, estar, hay の用法、不規則動詞、指示詞、所有詞の理解度確認と復習	テストの見直し、『単語帳』pp. 28-33 の語彙を覚える。(2 時間)
	10	7 課 その他の不規則動詞、目的格人称代名詞	tener, venir, ir 等の不規則動詞の活用、直接目的格と間接目的格の人称代名詞の用法、数詞 1 億まで	教科書 7 課を見直し不規則動詞の活用を覚え、目的格人称代名詞の用法を理解する。および『単語帳』pp. 34-39 の語彙を覚える。(2 時間)
	11	8 課 gustar 型動詞、前置詞	gustar, doler 等の動詞の用法、前置詞の意味と用法	教科書 8 課を見直し gustar 型動詞の用法を復習する。および『単語帳』pp. 40-44 の語彙を覚える。(2 時間)
	12	9 課 再帰動詞、無人称文	再帰動詞の活用と用法、無人称文の作り方、曜日・日付の表現	教科書 9 課を見直し、再帰動詞の用法を理解する。7～9 課を終復習し、テストに備える。(2 時間)
	13	7 課～9 課のテストと復習	不規則動詞、目的格人称代名詞、gustar 型動詞、再帰動詞の理解度確認と復習	テストの見直し、『単語帳』pp. 46-49 の語彙を覚える。(2 時間)
	14	難解な事項の復習	ser, estar, hay の用法、目的格人称代名詞、gustar 型動詞の復習	前期の文法項目の総復習と『単語帳』を用いて語彙力の再確認を行い、臨時試験に備える。(2 時間)
	15	臨時試験と復習	学期を通じた理解度の確認と要点の復習	試験範囲（教科書 pp. 1-55）までの総復習 (2 時間)

関連科目	スペイン語入門 A、B スペイン語応用 I スペイン語オラル I
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	初級スペイン語文法	和佐敦子	朝日出版社
	2	書き込み式 スペイン語単語帳	藤井嘉祥ほか	朝日出版社

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	西和中辞典	高垣敏博ほか	小学館

評価方法（基準）	スペイン語入門 ABC は総合的に評価するため、それぞれ同じ成績がつく。 3 課ごとの中間テスト 40%、臨時試験 40%、単語テスト 20%（ボキャブラリ・コンテストを含む）で評価する。 欠席や遅刻は減点となる。 欠席が多い場合は学期末の臨時試験は受けられない。
----------	--

学生へのメッセージ	・最初から間違えずにできる人はいません。何度もつまずき失敗から学ぶ姿勢が大切です。単語ひとつ、活用ひとつを大切に地道に修得していきましょう。 ・予習、復習、自習（教科書や授業以外での取り組み）が大事なので、自己管理をしっかりと、学習ペースを作るように心掛けてください。 ・「覚える」ということに中高生の時以上に時間と労力を費やしてください。
-----------	--

担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室
----------	-----------------

備考	・事前・事後の学修は、それぞれ 1 時間ずつ、総時間数 30 時間を目安とする。 ・授業内で行うテストは返却時に答えの確認を行う。臨時試験の返却と見直しは研究室で行う。 ・プリント等の配布は一度しか配布しない。欠席や遅刻による不利益を被ることのないよう、学習の当事者としての意識をもって取り組むこと。
----	--

科目名	スペイン語プレゼンテーションⅠ	科目名（英文）	Presentation in Spanish I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	オラシオ ゴメス
ディプロマポリシー（DP）	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL3111d0		

授業概要・目的	3年次までに習得したスペイン語の基礎文法を素地として、比較文化の多様な観点からテーマを選定し、その意図や背景を解説し、役立表現や語彙・キーワードを教授します。それらをもとにスペイン語でスピーチを行う心構えで、毎回短いプレゼンテーションを発表することで、言語とテーマが何であっても聞き手にとって明瞭でわかりやすく論理的なコミュニケーションが行えるように導きます。プレゼンの内容を予め作文することの繰り返しによって、スペイン語で正しく文章表現ができる力を補います。プレゼン後に提出する作文は添削します。
到達目標	スペイン語で意思疎通を抵抗なく図れるようになるとともに、スペイン語圏はもちろん、異文化についての関心を深め、日本の歴史や文化についてもスペイン語で説明できるようになる。正確なスペイン語表現を行うための基礎となる書く力を養う。
授業方法と留意点	予め、プレゼンテーションのテーマ、慣用表現、語彙について解説します。教員による3分間スピーチを一例として示します。履修者はその次の週までに個別・具体的内容のプレゼンテーションの準備を行います。互いの発表に対する質問や意見交換を重んじます。テーマは履修者の積極的な提案に応じて変更することもあります。
科目学習の効果（資格）	スペイン語での詩の暗誦やスピーチを滑らかに行えるようになる。 スペイン語検定3級（とりわけ留学帰国者）

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	授業の進め方 自己紹介に必要な表現と語彙の解説	発表の準備
	2	自己紹介	発表 誕生日を迎えるにあたって将来の目標を語るための表現と語彙の解説	発表の準備
	3	将来の目標	発表 死生観と「死者の日」についての解説	発表の準備
	4	「死者の日」	発表 「お盆」との比較	発表の準備
	5	「お盆」と「死者の日」の比較	発表 日本文化の独自性（例：世界初の小説『源氏物語』）の紹介	発表の準備 過去時制の復習
	6	私が誇りに思う日本文化	発表 中国文化の一端について知る	発表の準備 過去時制の復習
	7	私が魅かれる中国文化	発表 スペイン語圏文化の一端について知る	発表の準備 過去時制の復習
	8	この目で見てみたいスペイン語圏文化	発表 米国文化の一端について知る	発表の準備 過去時制の復習
	9	私が影響を受けた米国文化	発表 料理についての慣用表現・語彙の解説	発表の準備 命令文の復習
	10	得意料理の作り方	発表 旅行についての慣用表現・語彙の解説	発表の準備 過去未来の復習
	11	旅行するとしたら	発表 買物の場面で必要な表現と語彙（気候、色、衣類、食べ物、飲み物等）	発表の準備
	12	買物の場で	発表	発表の準備
	13	買物の場で	発表	発表の準備
	14	訪日観光客を案内して	発表 固有の社寺を説明するための語彙	発表の準備
	15	訪日観光客を案内して	発表 料理文化についての語彙	発表の成果を振り返る

関連科目	スペイン語通訳ガイド（留学期間中に3年生で受講できなかった者は4年生の前・後期に受講することを推奨）
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法（基準）	授業における参加状況・発表 60%と課題提出 40%をもとに総合的に評価する。
----------	---

学生へのメッセージ	扱うテーマには履修者の提案も取り入れます。
-----------	-----------------------

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	--------------

備考	事前・事後学習に要する総時間数は約15時間。 受講生は毎回テーマに沿った発表を準備し、時間内に講評を受ける。 毎回の授業の始めに、前回の次学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。
----	---

科目名	スペイン語プレゼンテーションⅡ	科目名（英文）	Presentation in Spanish II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	オラシオ ゴメス
ディプロマポリシー（DP）	DP7○, DP8◎		
科目ナンバリング	LDL3112d0		

授業概要・目的	スペイン語とその文化がいかに様々な異言語・異文化の影響を取り込んできたかを理解できるよう、テーマを選定します。その意図や背景を解説し、役立つ表現や語彙・キーワードを教授します。それらをもとにスペイン語でスピーチを行う心構えで、毎回短いプレゼンテーションを発表することで、言語とテーマが何であっていても聞き手にとって明瞭でわかりやすく論理的なコミュニケーションが行えるように導きます。プレゼンの内容を予め作文することの繰り返しによって、スペイン語で正しく文章表現ができる力を補います。プレゼン後に提出する作文は添削します。
到達目標	スペイン語とその文化が内蔵する異文化要素を理解し、それについての説明ができるようになる。正確なスペイン語表現を行うための基礎となる書く力を養う。
授業方法と留意点	予め、プレゼンテーションのテーマ、慣用表現、語彙について解説します。教員による3分間スピーチを一例として示します。履修者はその次の週までに個別・具体的内容のプレゼンテーションの準備を行います。互いの発表に対する質問や意見交換を重んじます。テーマは履修者の積極的な提案に応じて変更することもあり得ます。
科目学習の効果（資格）	スペイン語での詩の暗誦やスピーチを滑らかに行えるようになる。 スペイン語検定3級（とりわけ留学帰国者）

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	日本語の中に定着したスペイン語	授業の進め方の再確認 次回のプレゼンテーションに必要な表現と語彙の解説	発表の準備
	2	スペイン語・文化が日本に与えた影響	発表 次回のプレゼンテーションに必要な表現と語彙の解説	発表の準備
	3	スペイン語・文化がギリシア語・文化から受け継いだもの	発表 次回のプレゼンテーションに必要な表現と語彙の解説	発表の準備
	4	ラテン語・文化から受け継いだもの	発表 次回のプレゼンテーションに必要な表現と語彙の解説	発表の準備
	5	アラビア語・文化から受け継いだもの	発表 次回のプレゼンテーションに必要な表現と語彙の解説	発表の準備
	6	スペイン語圏の歴史(1)	発表 次回のプレゼンテーションに必要な表現と語彙の解説	発表の準備
	7	スペイン語圏の歴史(2)	発表 次回のプレゼンテーションに必要な表現と語彙の解説	発表の準備
	8	スペイン語圏の歴史(3)	発表 次回のプレゼンテーションに必要な表現と語彙の解説	発表の準備
	9	スペイン語圏の政治(1)	発表 次回のプレゼンテーションに必要な表現と語彙の解説	発表の準備
	10	スペイン語圏の政治(2)	発表 次回のプレゼンテーションに必要な表現と語彙の解説	発表の準備
	11	スペイン語圏の経済	発表 次回のプレゼンテーションに必要な表現と語彙の解説	発表の準備
	12	スペイン語圏の貿易	発表 次回のプレゼンテーションに必要な表現と語彙の解説	発表の準備
	13	通訳としての仕事	発表 次回のプレゼンテーションに必要な表現と語彙の解説	発表の準備
	14	通訳としての実践	発表 次回のプレゼンテーションに必要な表現と語彙の解説	発表の準備
	15	各自最良の発表を行う	発表 次回のプレゼンテーションに必要な表現と語彙の解説	発表の成果を振り返る
関連科目	スペイン語通訳ガイド（留学期間中に3年生で受講できなかった者は4年生の前・後期に受講することを推奨）			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	授業における参加状況・発表 60%と課題提出 40%をもとに総合的に評価する。
学生への メッセージ	扱うテーマには履修者の提案も取り入れます。
担当者の 研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師室
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約 15 時間。 授業の始めに、前回の発表・学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。 授業で課した課題や宿題は、次週の授業で講評する。

科目名	スペイン語文章構成 I	科目名 (英文)	Spanish Composition I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	磯野 吉美
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL2099e0		

授業概要・目的	文の要素と構造を正しく理解することを通して、スペイン語での文構築が正確にできる力を養う。後半はそれと並行して、身近なテーマで短いスピーチ原稿を作成し、それをスペイン語に訳す。その自作スピーチの添削を受けた後、暗唱し発表する。これを後期に行うスピーチ・コンテストの試行体験と位置づける。
到達目標	基本文型を理解し、正確なスペイン語での文章表現ができる。 語彙力を高め、多様な表現を作ることができる。
授業方法と留意点	和辞典は必須です。必ず購入しておくこと。辞書は必ず授業に持参すること。 必ず与えられた練習問題を解いたうえで授業に臨み、受講生の板書に対する添削と説明を聴き、スペイン語の文の構造と構文についての理解を深める。指示された作文の宿題は提出してもらいます。受講生の理解度によっては、授業計画の進捗がずれる可能性があります。
科目学習の効果 (資格)	スペイン語検定 5 級～4 級 (4 級合格には接続法の理解が必要です。)

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	文の要素	主部・述部、句・節、単文・複文・重文、目的語、補語の理解と判別	文法用語の確認と品詞ごとの特徴の整理
	2	第 1 課 語順 (1)	文型と文の種類	和文西訳 (2～3 頁) をしておくこと 語彙の整理
	3	第 2 課 ser, estar, haber の使い分け	ser, estar, haber の使い分けと形容詞と副詞の正確な使い方	和文西訳 (6～7 頁) をしておくこと 語彙の整理
	4	冠詞、所有詞、指示詞、数量詞	名詞の前に置いて名詞を限定する冠詞、所有詞、指示詞、数量詞の用法	事前に配布されたプリントを読み和文西訳をしておくこと 語彙の整理
	5	第 3 課 不定語・否定語	一般動詞と不定語・否定語を用いた文	和文西訳 (10～11 頁) をしておくこと 語彙の整理
	6	一般動詞と不定詞 第 4 課 天候・気候の表現	一般動詞と不定詞を用いた現在時刻の文 天候・気候を正しく表現する	事前に配布されたプリントとテキスト (14～15 頁) の和文西訳をしておくこと 語彙の整理
	7	第 5 課 gustar 型動詞	gustar, interesar, parecer, doler 等の動詞	和文西訳 (18～19 頁) をしておくこと 語彙の整理 スピーチ原稿の準備 (和文)
	8	前半のまとめ 接続詞を増やす	既習項目の復習 多様な接続詞を知る	既習事項の復習 (2～15 頁、配布プリント)
	9	第 6 課 比較の表現	比較級と最上級	和文西訳 (22～23 頁) をしておくこと 語彙の整理 スピーチ原稿の西訳
	10	第 7 課 完了・経験・継続の表現	現在完了を用いた文	和文西訳 (26～27 頁) をしておくこと 語彙の整理 スピーチ原稿の添削を受け、理解した上で完成原稿を作成する
	11	第 8 課 点過去と線過去の使い分け	過去の動作・行為を正しく表現する	和文西訳 (32～33 頁) をしておくこと 語彙の整理と動詞の活用の確認 スピーチ原稿の西訳
	12	第 9 課 再帰動詞 (1)	自動詞と他動詞の再帰動詞を用いた文	和文西訳 (36～37 頁) をしておくこと 語彙の整理 スピーチ原稿を暗唱し、発表の練習をする
	13	第 10 課 再帰動詞 (2)	再帰動詞の相互・転意の用法	和文西訳 (40～41 頁) をしておくこと 語彙の整理 スピーチ原稿を暗唱し、発表の練習をする
	14	スピーチの発表	同級生のスピーチを理解しようと努め、同時に未知の語彙を聞き取り書きとめる	事前に、スピーチ発表のための発音、イントネーション、表現力などの指導を行う
	15	これまでの学習内容の確認	既習項目の復習	総復習 (第 1 課～第 10 課)

関連科目	スペイン語オラルⅢ、総合スペイン語 A・B、メディアのスペイン語 I			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	表現のためのスペイン語作文	木越勉・古川亜矢	朝日出版社
	2			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
評価方法 (基準)	練習問題の予習・提出物・スピーチの作成過程など授業参加意欲 30%、臨時試験 70%			
学生への メッセージ	主語と動詞、形容詞や副詞といった品詞の使い方、文型をよく理解することが大切です。これらにこだわって取り組んでください。 自作原稿をスペイン語に訳して暗唱する初めてのスピーチを体験します。			
担当者の 研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師控室			
備考	語彙力を養うために、ボキャブラリ・コンテストのための単語リストを最大限に活用すること。 事前・事後学習に要する総時間数は約 15 時間。 授業内で課した課題や宿題は、次週の授業で講評する。			

科目名	スペイン語文章構成 I	科目名 (英文)	Spanish Composition I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	R
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	林 安紀子
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL2099e0		

授業概要・目的	文の要素と構造を正しく理解することを通して、スペイン語での文構築が正確にできる力を養う。後半はそれと並行して、身近なテーマで短いスピーチ原稿を作文し、それをスペイン語に訳す。その自作スピーチの添削を受けた後、暗唱し発表する。これを後期に行うスピーチ・コンテストの試行体験と位置づける。
到達目標	基本文型を理解し、正確なスペイン語での文章表現ができる。 語彙力を高め、多様な表現を作ることができる。
授業方法と留意点	和西辞典は必須です。必ず購入しておくこと。辞書は必ず授業に持参すること。 必ず与えられた練習問題を解いたうえで授業に臨み、受講生の板書に対する添削と説明を聴き、スペイン語の文の構造と構文についての理解を深める。指示された作文の宿題は提出してもらいます。受講生の理解度によっては、授業計画の進捗がずれる可能性があります。
科目学習の効果 (資格)	スペイン語検定 5 級～4 級 (4 級合格には接続法の理解が必要です。)

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	文の要素	主部・述部、句・節、単文・複文・重文、目的語、補語の理解と判別	文法用語の確認と品詞ごとの特徴の整理
	2	第 1 課 語順 (1)	文型と文の種類	和文西訳 (2～3 頁) をしておくこと 語彙の整理
	3	第 2 課 ser, estar, haber の使い分け	ser, estar, haber の使い分けと形容詞と副詞の正確な使い方	和文西訳 (6～7 頁) をしておくこと 語彙の整理
	4	冠詞、所有詞、指示詞、数量詞	名詞の前に置いて名詞を限定する冠詞、所有詞、指示詞、数量詞の用法	事前に配布されたプリントを読み和文西訳をしておくこと 語彙の整理
	5	第 3 課 不定語・否定語	一般動詞と不定語・否定語を用いた文	和文西訳 (10～11 頁) をしておくこと 語彙の整理
	6	一般動詞と不定詞 第 4 課 天候・気候の表現	一般動詞と不定詞を用いた現在時刻の文 天候・気候を正しく表現する	事前に配布されたプリントとテキスト (14～15 頁) の和文西訳をしておくこと 語彙の整理
	7	第 5 課 gustar 型動詞	gustar, interesar, parecer, doler 等の動詞	和文西訳 (18～19 頁) をしておくこと 語彙の整理 スピーチ原稿の準備 (和文)
	8	前半のまとめ 接続詞を増やす	既習項目の復習 多様な接続詞を知る	既習事項の復習 (2～15 頁、配布プリント)
	9	第 6 課 比較の表現	比較級と最上級	和文西訳 (22～23 頁) をしておくこと 語彙の整理 スピーチ原稿の西訳
	10	第 7 課 完了・経験・継続の表現	現在完了を用いた文	和文西訳 (26～27 頁) をしておくこと 語彙の整理 スピーチ原稿の添削を受け、理解した上で完成原稿を作成する
	11	第 8 課 点過去と線過去の使い分け	過去の動作・行為を正しく表現する	和文西訳 (32～33 頁) をしておくこと 語彙の整理と動詞の活用の確認 スピーチ原稿の西訳
	12	第 9 課 再帰動詞 (1)	自動詞と他動詞の再帰動詞を用いた文	和文西訳 (36～37 頁) をしておくこと 語彙の整理 スピーチ原稿を暗唱し、発表の練習をする
	13	第 10 課 再帰動詞 (2)	再帰動詞の相互・転意の用法	和文西訳 (40～41 頁) をしておくこと 語彙の整理 スピーチ原稿を暗唱し、発表の練習をする
	14	スピーチの発表	同級生のスピーチを理解しようと努め、同時に未知の語彙を聞き取り書きとめる	事前に、スピーチ発表のための発音、イントネーション、表現力などの指導を行う
	15	これまでの学習内容の確認	既習項目の復習	総復習 (第 1 課～第 10 課)

関連科目	スペイン語オラルⅢ、総合スペイン語 A・B、メディアのスペイン語 I			
教科書				
	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	表現のためのスペイン語作文	木越勉・古川亜矢	朝日出版社
参考書				
	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
評価方法 (基準)	練習問題の予習・提出物・スピーチの作成過程など授業参加意欲 30%、臨時試験 70%			
学生への メッセージ	主語と動詞、形容詞や副詞といった品詞の使い方、文型をよく理解することが大切です。これらにこだわって取り組んでください。 自作原稿をスペイン語に訳して暗唱する初めてのスピーチを体験します。			
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師控室			
備考	語彙力を養うために、ボキャブラリ・コンテストのための単語リストを最大限に活用すること。 事前・事後学習に要する総時間数は約 15 時間。 授業の始めに、前回の学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。 授業で課した課題や宿題は、次週の授業で講評する。			

科目名	スペイン語文章構成Ⅱ	科目名（英文）	Spanish Composition II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	林 安紀子
ディプロマポリシー (DP)	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL2100e0		

授業概要・目的	文の要素と構造による種類をきちんと理解することを通して、スペイン語での文構築が正確にできる力を養う。 11 月末頃に行うスペイン語スピーチ・コンテストの原稿作成に重点をおく。日本語原稿を夏休み前までに完成させ、夏休み中にスペイン語訳に取り組み、後期初回の授業で提出する。10 月半ばまでに添削を受け、音読と暗唱の練習を行う。
到達目標	複文を含めた文章構造を理解し、スペイン語での正確かつ多様な文章表現ができる。 語彙力を高めて、自分の経験や考えを表現できる。
授業方法と留意点	必ず与えられた練習問題を解いたうえで授業に臨み、受講生の板書に対する添削と説明を聴き、スペイン語の文の構造と構文についての理解を深める。指示された作文の宿題は提出してもらいます。 理解度やスピーチ・コンテストの日程により、授業内容の順番が入れ替わることもある。
科目学習の効果（資格）	スペイン語検定 4 級

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	既習項目の復習	点過去、線過去、現在完了、再帰動詞などの復習 スピーチ原稿指導	点過去、線過去、現在完了の活用と用法の確認と再帰動詞の用法の確認 スピーチ原稿の西訳の提出
	2	第 11 課 受身の se	se と過去分詞を用いた受動文 スピーチ原稿指導	和文西訳（44～45 頁）をしておくこと 語彙の整理 スピーチ原稿の推敲
	3	第 12 課 一般の se を使った表現	se と動詞三人称複数形を用いた文 スピーチ原稿指導	和文西訳（48～49 頁）をしておくこと 語彙の整理 スピーチ原稿の推敲
	4	第 13 課 未来	未来、推量、命令の文 スピーチ原稿指導	和文西訳（52～53 頁）をしておくこと 語彙の整理 スピーチ原稿の推敲
	5	第 14 課 命令表現（1）	目的格人称代名詞を伴う命令文 スピーチ原稿指導	和文西訳（56～57 頁）をしておくこと 語彙の整理 スピーチ原稿の推敲
	6	第 15 課 命令表現（2）	再帰動詞の命令文 スピーチ原稿指導	和文西訳（62～63 頁）をしておくこと 語彙の整理 スピーチ原稿の推敲
	7	現在分詞、使役動詞、知覚動詞	現在分詞を用いた文及び使役・知覚表現 スピーチ原稿指導	事前に配布されたプリントを読み和文西訳をしておくこと 語彙の整理 スピーチ原稿の推敲
	8	前半のまとめ	既習項目の復習 スピーチ原稿指導	既習項目（44～63 頁と配布プリント）の復習 スピーチの暗誦と練習
	9	第 16 課 接続法現在（1）	名詞節での接続法現在の用法 スピーチ原稿指導	和文西訳（70～71 頁）をしておくこと 語彙の整理 スピーチの練習
	10	第 17 課 接続法現在（2）	形容詞節と副詞節での接続法現在の用法 コンテスト直前スピーチ指導	和文西訳（74～75 頁）をしておくこと 語彙の整理 スピーチの練習
	11	第 18 課 接続法過去（1）	名詞節での接続法過去の用法	和文西訳 78～79 頁）をしておくこと 語彙の整理
	12	第 19 課 接続法過去（2）	形容詞節と副詞節および現在の事実 に反する条件文での接続法過去の用法	和文西訳（82～83 頁）をしておくこと 語彙の整理
	13	第 20 課 過去未来	過去における推量と現在の事実 に反する条件文	和文西訳（86～87 頁）をしておくこと 語彙の整理
	14	第 21 課 複合時制	多様な時制の完了形を用いた文	和文西訳（90～91 頁）をしておくこと 語彙の整理
	15	これまでの学習内容の確認	既習項目の復習	総復習（70～91 頁）

関連科目	スペイン語オラルⅣ、スペイン語トピックス、メディアのスペイン語Ⅱ			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	表現のためのスペイン語作文	木越勉・古川亜矢	朝日出版社
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
評価方法 (基準)	練習問題の予習・提出物・スピーチの作成過程など授業参加意欲 30%、臨時試験 70%			
学生への メッセージ	前期のスピーチ体験に続いて、後期ではより内容の深いスピーチを目指し、日本語原稿の作成からスペイン語訳、添削、朗読練習を経て暗唱・発表まで取り組みます。夏休み前に配布する実施要領に従って計画的に準備してください。自分の経験や考えをスペイン語で表現し伝える楽しみを感じられるように、自信と勇気をもってやり遂げましょう。			
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師控室			
備考	語彙力を養うために、ポキャブラリ・コンテストのための単語リストを最大限に活用すること。 事前・事後学習に要する総時間数は約 15 時間。 毎回の授業の始めに、前回の学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。			

科目名	スペイン語文章構成Ⅱ	科目名（英文）	Spanish Composition II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2 年	クラス	R
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	磯野 吉美
ディプロマポリシー（DP）	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL2100e0		

授業概要・目的	文の要素と構造による種類をきちんと理解することを通して、スペイン語での文構築が正確にできる力を養う。 11 月末頃に行うスペイン語スピーチ・コンテストの原稿作成に重点をおく。日本語原稿を夏休み前までに完成させ、夏休み中にスペイン語訳に取り組み、後期初回の授業で提出する。10 月半ばまでに添削を受け、音読と暗唱の練習を行う。
到達目標	複文を含めた文章構造を理解し、スペイン語での正確かつ多様な文章表現ができる。 語彙力を高めて、自分の経験や考えを表現できる。
授業方法と留意点	必ず与えられた練習問題を解いたうえで授業に臨み、受講生の板書に対する添削と説明を聴き、スペイン語の文の構造と構文についての理解を深める。指示された作文の宿題は提出してもらいます。 理解度やスピーチ・コンテストの日程により、授業内容の順番が入れ替わることもある。
科目学習の効果（資格）	スペイン語検定 4 級

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	既習項目の復習	点過去、線過去、現在完了、再帰動詞などの復習 スピーチ原稿指導	点過去、線過去、現在完了の活用と用法の確認と再帰動詞の用法の確認 スピーチ原稿の西訳の提出
	2	第 11 課 受身の se	se と過去分詞を用いた受動文 スピーチ原稿指導	和文西訳（44～45 頁）をしておくこと 語彙の整理 スピーチ原稿の推敲
	3	第 12 課 一般の se を使った表現	se と動詞三人称複数形を用いた文 スピーチ原稿指導	和文西訳（48～49 頁）をしておくこと 語彙の整理 スピーチ原稿の推敲
	4	第 13 課 未来	未来、推量、命令の文 スピーチ原稿指導	和文西訳（52～53 頁）をしておくこと 語彙の整理 スピーチ原稿の推敲
	5	第 14 課 命令表現（1）	目的格人称代名詞を伴う命令文 スピーチ原稿指導	和文西訳（56～57 頁）をしておくこと 語彙の整理 スピーチ原稿の推敲
	6	第 15 課 命令表現（2）	再帰動詞の命令文 スピーチ原稿指導	和文西訳（62～63 頁）をしておくこと 語彙の整理 スピーチ原稿の推敲
	7	現在分詞、使役動詞、知覚動詞	現在分詞を用いた文及び使役・知覚表現 スピーチ原稿指導	事前に配布されたプリントを読み和文西訳をしておくこと 語彙の整理 スピーチ原稿の推敲
	8	前半のまとめ	既習項目の復習 スピーチ原稿指導	既習項目（44～63 頁と配布プリント）の復習 スピーチの暗誦と練習
	9	第 16 課 接続法現在（1）	名詞節での接続法現在の用法 スピーチ原稿指導	和文西訳（70～71 頁）をしておくこと 語彙の整理 スピーチの練習
	10	第 17 課 接続法現在（2）	形容詞節と副詞節での接続法現在の用法 コンテスト直前スピーチ指導	和文西訳（74～75 頁）をしておくこと 語彙の整理 スピーチの練習
	11	第 18 課 接続法過去（1）	名詞節での接続法過去の用法	和文西訳 78～79 頁）をしておくこと 語彙の整理
	12	第 19 課 接続法過去（2）	形容詞節と副詞節および現在の事実 に反する条件文での接続法過去の用法	和文西訳（82～83 頁）をしておくこと 語彙の整理
	13	第 20 課 過去未来	過去における推量と現在の事実 に反する条件文	和文西訳（86～87 頁）をしておくこと 語彙の整理
	14	第 21 課 複合時制	多様な時制の完了形を用いた文	和文西訳（90～91 頁）をしておくこと 語彙の整理
	15	これまでの学習内容の確認	既習項目の復習	総復習（70～91 頁）
関連科目	スペイン語オラルⅣ、スペイン語トピックス、メディアのスペイン語Ⅱ			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	表現のためのスペイン語作文	木越勉・古川亜矢	朝日出版社
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
評価方法（基準）	練習問題の予習・提出物・スピーチの作成過程など授業参加意欲 30%、臨時試験 70%			
学生へのメッセージ	前期のスピーチ体験に続いて、後期ではより内容の深いスピーチを目指し、日本語原稿の作成からスペイン語訳、添削、朗読練習を経て暗唱・発表まで取り組みます。夏休み前に配布する実施要領に従って計画的に準備してください。自分の経験や考えをスペイン語で表現し伝える楽しさを感じられるように、自信と勇気をもってやり遂げましょう。			
担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師控室			
備考	語彙力を養うために、ボキャブラリ・コンテストのための単語リストを最大限に活用すること。 事前・事後学習に要する総時間数は約 15 時間。 授業の始めに、前回の学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。 授業で課した課題や宿題は、次週の授業で講評する。			

科目名	スペイン語文章構成Ⅲ	科目名（英文）	Spanish Composition III
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	林 安紀子
ディプロマポリシー（DP）	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3105e0		

授業概要・目的	既習のすべての時制と文法事項を用いて、テーマごとにまとめた文章のスペイン語作文の練習を行う。文法的な正確さと文と文のつながりを意識して、話を展開する表現技法を高めることを目指す。
到達目標	文法的に正確な作文ができ、話を展開させる文章表現ができる。 語彙力を日常的なものから専門的なものへと高め、多様なテーマで文章表現ができる。
授業方法と留意点	文法事項と語彙を復習しながら、和文西訳の練習を行う。予習として複数の段落からなる文章をスペイン語訳した上で、授業では一文ごとの確認だけでなく、話を展開するための文と文のつながりを考える。直訳ではなくスペイン語に訳しやすい工夫も考える。
科目学習の効果（資格）	スペイン語検定 4 級～3 級

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	イントロダクション	授業の概要についての説明 既習文法事項（接続法現在の用法）の復習	接続法現在の活用（規則形・不規則形）を確認しておくこと
	2	第 18 課 接続法過去（1）	名詞節での接続法過去の用法	和文西訳（78～79 頁）をしておくこと 語彙の整理
	3	第 19 課 接続法過去（2）	形容詞節と副詞節及び現在の事実に対する条件文での接続法過去の用法	和文西訳（82～83 頁）をしておくこと 語彙の整理
	4	第 20 課 過去未来	過去における推量と現在の事実に対する条件文	和文西訳（86～87 頁）をしておくこと 語彙の整理
	5	第 21 課 複合時制	多様な時制の完了形を用いた文	和文西訳（90～91 頁）をしておくこと 語彙の整理
	6	第 22 課 食生活	和文西訳	和文西訳（94～95 頁）をしておくこと 語彙の整理
	7	第 23 課 天候・気象	和文西訳	和文西訳（96～97 頁）をしておくこと 語彙の整理
	8	前半のまとめと学習事項の確認	既習事項の復習	既習範囲（78～97 頁）の復習
	9	第 24 課 歴史上の出来事	和文西訳	和文西訳（98～99 頁）をしておくこと 語彙の整理
	10	第 25 課 大学生活	和文西訳	和文西訳（100～101 頁）をしておくこと 語彙の整理
	11	第 26 課 環境問題	和文西訳	和文西訳（102～103 頁）をしておくこと 語彙の整理
	12	第 27 課 医療	和文西訳	和文西訳（104～105 頁）をしておくこと 語彙の整理
	13	第 28 課 日本の伝統文化	和文西訳	和文西訳（106～107 頁）をしておくこと 語彙の整理
	14	政治と経済	和文西訳	配布されたプリントの和文西訳をしておくこと 語彙の整理
	15	これまでの学習内容の確認	既習項目の復習	総復習（第 18 課～第 28 課）

関連科目	スペイン語オラルⅥ、スペイン語通訳Ⅱ、メディアのスペイン語Ⅲ
------	--------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	表現のためのスペイン語作文	木越勉・古川亜矢	朝日出版社
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法（基準）	練習問題の予習・提出物など授業参加意欲 30%、臨時試験 70%
----------	----------------------------------

学生へのメッセージ	スピーチ原稿作成に関しては、配布する実施要領に従って計画的に準備してください。 外国語での表現力を身につけるには、基本的な文型、新出の語彙と構文を貪欲に覚えて、表現の引き出しを増やしていくことが一番の近道です。
-----------	--

担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師控室
----------	------------------

備考	授業スケジュールは一応の目安であり、状況により変更が生じる。 事前・事後学習に要する総時間数は約 15 時間。 授業の始めに、前回の学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。 授業で課した課題や宿題は、次週の授業で講評する。
----	--

科目名	スペイン語文章構成Ⅲ	科目名（英文）	Spanish Composition III
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	R
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	磯野 吉美
ディプロマポリシー（DP）	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3105e0		

授業概要・目的	既習のすべての時制と文法事項を用いて、テーマごとにまとめた文章のスペイン語作文の練習を行う。文法的な正確さと文と文のつながりを意識して、話を展開する表現技法を高めることを目指す。			
到達目標	文法的に正確な作文ができ、話を展開させる文章表現ができる。 語彙力を日常的なものから専門的なものへと高め、多様なテーマで文章表現ができる。			
授業方法と留意点	文法事項と語彙を復習しながら、和文西訳の練習を行う。予習として複数の段落からなる文章をスペイン語訳した上で、授業では一文ごとの確認だけでなく、話を展開するための文と文のつながりを考える。直訳ではなくスペイン語に訳しやすい工夫も考える。			
科目学習の効果（資格）	スペイン語検定 4 級～3 級			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	イントロダクション	授業の概要についての説明 既習文法事項（接続法現在の用法）の復習	接続法現在の活用（規則形・不規則形）を確認しておくこと
	2	第 18 課 接続法過去（1）	名詞節での接続法過去の用法	和文西訳（78～79 頁）をしておくこと 語彙の整理
	3	第 19 課 接続法過去（2）	形容詞節と副詞節及び現在の事実に対する条件文での接続法過去の用法	和文西訳（82～83 頁）をしておくこと 語彙の整理
	4	第 20 課 過去未来	過去における推量と現在の事実に対する条件文	和文西訳（86～87 頁）をしておくこと 語彙の整理
	5	第 21 課 複合時制	多様な時制の完了形を用いた文	和文西訳（90～91 頁）をしておくこと 語彙の整理
	6	第 22 課 食生活	和文西訳	和文西訳（94～95 頁）をしておくこと 語彙の整理
	7	第 23 課 天候・気象	和文西訳	和文西訳（96～97 頁）をしておくこと 語彙の整理
	8	前半のまとめと学習事項の確認	既習事項の復習	既習範囲（78～97 頁）の復習
	9	第 24 課 歴史上の出来事	和文西訳	和文西訳（98～99 頁）をしておくこと 語彙の整理
	10	第 25 課 大学生生活	和文西訳	和文西訳（100～101 頁）をしておくこと 語彙の整理
	11	第 26 課 環境問題	和文西訳	和文西訳（102～103 頁）をしておくこと 語彙の整理
	12	第 27 課 医療	和文西訳	和文西訳（104～105 頁）をしておくこと 語彙の整理
	13	第 28 課 日本の伝統文化	和文西訳	和文西訳（106～107 頁）をしておくこと 語彙の整理
	14	政治と経済	和文西訳	配布されたプリントの和文西訳をしておくこと 語彙の整理
	15	これまでの学習内容の確認	既習項目の復習	総復習（第 18 課～第 28 課）
関連科目	スペイン語の全科目			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	表現のためのスペイン語作文	木越勉・古川亜矢	朝日出版社
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法（基準）	練習問題の予習・提出物など授業参加意欲 30%、臨時試験 70%			
学生へのメッセージ	スピーチ原稿作成に関しては、配布する実施要領に従って計画的に準備してください。 外国語での表現力を身につけるには、基本的な文型、新出の語彙と構文を貪欲に覚えて、表現の引き出しを増やしていくことが一番の近道です。			
担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師控室			
備考	授業スケジュールは一応の目安であり、状況により変更が生じる。 事前・事後学習に要する総時間数は約 15 時間。 授業の始めに、前回の学習内容に関するコメントや質問を受け付けフィードバックを行う。 授業で課した課題や宿題は、次週の授業で講評する。			

科目名	スペイン語文章構成Ⅳ	科目名（英文）	Spanish Composition Ⅳ
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3 年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	磯野 吉美
ディプロマポリシー（DP）	DP7◎, DP8○		
科目ナンバリング	LDL3106e0		

授業概要・目的	既習のすべての時制と文法事項を用いて、テーマごとにまとめた文章のスペイン語作文の練習を行う。文法的な正確さと文と文のつながりを意識して、話を展開する表現技法を高めることを目指す。 スピーチコンテスト（全員参加）に向けて原稿のスペイン語訳、添削、暗唱を行う。授業内でスペイン語原稿の手直しもするが、自分の原稿だけでなく、他者の文章のチェック、修正も行う。この取り組みへの積極的な参加が求められる。																																																																		
到達目標	文法的に正確な作文ができ、話を展開させる文章表現ができる。 語彙力を日常的なものから専門的なものへと高め、多様なテーマで文章表現ができる。 スペイン語原稿の相互チェックの活動を通じて互いの成長のために他者と協働できる。																																																																		
授業方法と留意点	文法事項と語彙を復習しながら、和文西訳の練習を行う。予習として複数の段落からなる文章をスペイン語訳した上で、授業では一文ごとの確認だけでなく、話を展開するための文と文のつながりを考える。直訳ではなくスペイン語に訳しやすい工夫も考える。																																																																		
科目学習の効果（資格）	スペイン語検定 4 級～3 級																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th><th>授業テーマ</th><th>内容・方法 等</th><th>事前・事後学習課題</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>イントロダクション</td><td>授業の概要についての説明 文の構造の復習 スピーチ原稿指導</td><td>スピーチコンテストのスペイン語原稿の作成と提出</td></tr> <tr> <td>2</td><td>プリント①: スペイン語圏の都市を紹介する (1)</td><td>和文西訳 スピーチ原稿指導</td><td>和文西訳（プリント①）をしておくこと 語彙の整理 スピーチ原稿の推敲</td></tr> <tr> <td>3</td><td>プリント②: スペイン語圏の都市を紹介する (2)</td><td>和文西訳 スピーチ原稿指導</td><td>和文西訳（プリント②）をしておくこと 語彙の整理 スピーチ原稿の推敲</td></tr> <tr> <td>4</td><td>プリント③: スペイン語圏の著名人 (1)</td><td>和文西訳 スピーチ原稿指導</td><td>和文西訳（プリント③）をしておくこと 語彙の整理 スピーチ原稿の推敲</td></tr> <tr> <td>5</td><td>プリント④: スペイン語圏の著名人 (2)</td><td>和文西訳 スピーチ原稿指導</td><td>和文西訳（プリント④）をしておくこと 語彙の整理 スピーチ原稿の推敲</td></tr> <tr> <td>6</td><td>プリント⑤: スペイン語圏の文化 (1)</td><td>和文西訳 スピーチ原稿指導</td><td>和文西訳（プリント⑤）をしておくこと 語彙の整理 スピーチ原稿の推敲</td></tr> <tr> <td>7</td><td>プリント⑥: スペイン語圏の文化 (2)</td><td>和文西訳 スピーチ原稿指導</td><td>和文西訳（プリント⑥） 語彙の整理 スピーチの練習</td></tr> <tr> <td>8</td><td>前半のまとめと学習事項の確認</td><td>既習事項の復習 スピーチ原稿指導</td><td>既習内容の復習（プリント①～⑥） スピーチの練習</td></tr> <tr> <td>9</td><td>プリント⑦: スペイン語圏の社会問題 (1)</td><td>和文西訳 スピーチ原稿指導</td><td>和文西訳（プリント⑦）をしておくこと 語彙の整理 スピーチの練習</td></tr> <tr> <td>10</td><td>プリント⑧: スペイン語圏の社会問題 (2)</td><td>和文西訳 コンテスト直前スピーチ原稿指導</td><td>和文西訳（プリント⑧）をしておくこと 語彙の整理 スピーチの練習</td></tr> <tr> <td>11</td><td>プリント⑨: スペイン語圏の社会問題 (3)</td><td>和文西訳</td><td>和文西訳（プリント⑨）をしておくこと 語彙の整理</td></tr> <tr> <td>12</td><td>プリント⑩: スペイン語圏の世界遺産 (1)</td><td>和文西訳</td><td>和文西訳（プリント⑩）をしておくこと 語彙の整理</td></tr> <tr> <td>13</td><td>プリント⑪: スペイン語圏の世界遺産 (2)</td><td>和文西訳</td><td>和文西訳（プリント⑪）をしておくこと 語彙の整理</td></tr> <tr> <td>14</td><td>プリント⑫: スペイン語圏の世界遺産 (3)</td><td>和文西訳</td><td>和文西訳（プリント⑫）をしておくこと 語彙の整理</td></tr> <tr> <td>15</td><td>これまでの学習内容の確認</td><td>既習項目の復習</td><td>総復習（プリント①～⑫）</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	イントロダクション	授業の概要についての説明 文の構造の復習 スピーチ原稿指導	スピーチコンテストのスペイン語原稿の作成と提出	2	プリント①: スペイン語圏の都市を紹介する (1)	和文西訳 スピーチ原稿指導	和文西訳（プリント①）をしておくこと 語彙の整理 スピーチ原稿の推敲	3	プリント②: スペイン語圏の都市を紹介する (2)	和文西訳 スピーチ原稿指導	和文西訳（プリント②）をしておくこと 語彙の整理 スピーチ原稿の推敲	4	プリント③: スペイン語圏の著名人 (1)	和文西訳 スピーチ原稿指導	和文西訳（プリント③）をしておくこと 語彙の整理 スピーチ原稿の推敲	5	プリント④: スペイン語圏の著名人 (2)	和文西訳 スピーチ原稿指導	和文西訳（プリント④）をしておくこと 語彙の整理 スピーチ原稿の推敲	6	プリント⑤: スペイン語圏の文化 (1)	和文西訳 スピーチ原稿指導	和文西訳（プリント⑤）をしておくこと 語彙の整理 スピーチ原稿の推敲	7	プリント⑥: スペイン語圏の文化 (2)	和文西訳 スピーチ原稿指導	和文西訳（プリント⑥） 語彙の整理 スピーチの練習	8	前半のまとめと学習事項の確認	既習事項の復習 スピーチ原稿指導	既習内容の復習（プリント①～⑥） スピーチの練習	9	プリント⑦: スペイン語圏の社会問題 (1)	和文西訳 スピーチ原稿指導	和文西訳（プリント⑦）をしておくこと 語彙の整理 スピーチの練習	10	プリント⑧: スペイン語圏の社会問題 (2)	和文西訳 コンテスト直前スピーチ原稿指導	和文西訳（プリント⑧）をしておくこと 語彙の整理 スピーチの練習	11	プリント⑨: スペイン語圏の社会問題 (3)	和文西訳	和文西訳（プリント⑨）をしておくこと 語彙の整理	12	プリント⑩: スペイン語圏の世界遺産 (1)	和文西訳	和文西訳（プリント⑩）をしておくこと 語彙の整理	13	プリント⑪: スペイン語圏の世界遺産 (2)	和文西訳	和文西訳（プリント⑪）をしておくこと 語彙の整理	14	プリント⑫: スペイン語圏の世界遺産 (3)	和文西訳	和文西訳（プリント⑫）をしておくこと 語彙の整理	15	これまでの学習内容の確認	既習項目の復習	総復習（プリント①～⑫）
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	イントロダクション	授業の概要についての説明 文の構造の復習 スピーチ原稿指導	スピーチコンテストのスペイン語原稿の作成と提出																																																																
2	プリント①: スペイン語圏の都市を紹介する (1)	和文西訳 スピーチ原稿指導	和文西訳（プリント①）をしておくこと 語彙の整理 スピーチ原稿の推敲																																																																
3	プリント②: スペイン語圏の都市を紹介する (2)	和文西訳 スピーチ原稿指導	和文西訳（プリント②）をしておくこと 語彙の整理 スピーチ原稿の推敲																																																																
4	プリント③: スペイン語圏の著名人 (1)	和文西訳 スピーチ原稿指導	和文西訳（プリント③）をしておくこと 語彙の整理 スピーチ原稿の推敲																																																																
5	プリント④: スペイン語圏の著名人 (2)	和文西訳 スピーチ原稿指導	和文西訳（プリント④）をしておくこと 語彙の整理 スピーチ原稿の推敲																																																																
6	プリント⑤: スペイン語圏の文化 (1)	和文西訳 スピーチ原稿指導	和文西訳（プリント⑤）をしておくこと 語彙の整理 スピーチ原稿の推敲																																																																
7	プリント⑥: スペイン語圏の文化 (2)	和文西訳 スピーチ原稿指導	和文西訳（プリント⑥） 語彙の整理 スピーチの練習																																																																
8	前半のまとめと学習事項の確認	既習事項の復習 スピーチ原稿指導	既習内容の復習（プリント①～⑥） スピーチの練習																																																																
9	プリント⑦: スペイン語圏の社会問題 (1)	和文西訳 スピーチ原稿指導	和文西訳（プリント⑦）をしておくこと 語彙の整理 スピーチの練習																																																																
10	プリント⑧: スペイン語圏の社会問題 (2)	和文西訳 コンテスト直前スピーチ原稿指導	和文西訳（プリント⑧）をしておくこと 語彙の整理 スピーチの練習																																																																
11	プリント⑨: スペイン語圏の社会問題 (3)	和文西訳	和文西訳（プリント⑨）をしておくこと 語彙の整理																																																																
12	プリント⑩: スペイン語圏の世界遺産 (1)	和文西訳	和文西訳（プリント⑩）をしておくこと 語彙の整理																																																																
13	プリント⑪: スペイン語圏の世界遺産 (2)	和文西訳	和文西訳（プリント⑪）をしておくこと 語彙の整理																																																																
14	プリント⑫: スペイン語圏の世界遺産 (3)	和文西訳	和文西訳（プリント⑫）をしておくこと 語彙の整理																																																																
15	これまでの学習内容の確認	既習項目の復習	総復習（プリント①～⑫）																																																																
関連科目	スペイン語オラルⅥ、スペイン語通訳Ⅱ、メディアのスペイン語Ⅲ																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1																																																											
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1																																																											
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
評価方法（基準）	練習問題の予習・提出物・スピーチの作成過程など授業参加意欲 30%、臨時試験 70%																																																																		
学生へのメッセージ	スピーチ原稿作成に関しては、年頭に配布する実施要領に従って計画的に準備してください。 外国語での表現力を身につけるには、基本的な文型、新出の語彙と構文を貪欲に覚えて、表現の引き出しを増やしていくことが一番の近道です。 教材やスピーチ原稿作成にあたって出てきた語彙・構文を何度も復習して自分のものにしてください。																																																																		
担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師控室																																																																		
備考	授業スケジュールは一応の目安であり、状況により変更が生じる。 事前・事後学習に要する総時間数は約 15 時間。 毎回の授業の始めに、前回の学習内容に関する質問を受け付けフィードバックを行う。 臨時試験の解説はその時間内に行う。																																																																		

発行 2019年4月

常翔学園 摂南大学

寝屋川校地

〒572-8508

大阪府寝屋川市池田中町17番8号

電話(072)-839-9106 【教務課】

枚方校地

〒573-0101

大阪府枚方市長尾峠町45番1号

電話(072)-866-3100 【枚方事務室・薬学部】

電話(072)-807-6001 【枚方事務室・看護学部】

